											<del>_</del>					
( -	般	事業)	事業	П	_	ド 22	210080				1	部長	次	長	課	長
平月	或 1	5年度	事	業		名友	愛基金関係事業									
	-,,	- 1		<i>&gt;</i> 1<							1					
1	車	光 地工	<b>西 / ビュ</b> ゙	١												
			要(ドゥ) l± ± ヾ		πВ	抽	2 健やかでぬくもり	のある短趾針	合づて(1)				保健福祉	-立(7		
		一座巾 計画		中	W E		2 共に助け合う地域		<del>4</del> 2 ( )			所 管 課	総務課	. OP		
		施策		小			1 小地域福祉活動の					所管課長氏名		<u> </u>		
体	<b>X</b>	系系		細			1 3.505%(田正/口至)(5)	JE ZE				記入者氏名		•		
事		 業	ļ	<u>//に</u> 期		間昭			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号			内線	2501
根	拠	法		要			屋市社会福祉「友愛		WIT I I S EMM.		. шинЭ	実施主体			1 3 11/31	
実		施		<u>手</u>		法		□ 一部委託	;	□ 全部委託	E	□ 補助金		負担金		
委			託			先 [	外郭団体委託	名称			□ 民間	委託 委託内容				
						友	愛基金の利息等を活	用して慰問金等	等の支給等	を実施			•			
事		業	の	概		要										
							住宅付生涯学級住宅	費扶助(3人)	助成額	[31,400]	円/月					
事		業	の	現			被保護世帯等への夏		•							
			実現のた				一人世帯・施設病院	•	-		-	円,三~四人世帯	6 7 , 0	00円	,	
		<b>手</b> 段	及び実施	内容			五人以上世帯@7,	000円,結核	<b>逐</b> 予防命令	入所者@5,	000円					
				+1	+##	47 F	明忒士 <u>华</u> 丛									
			結果指標	_			間延支給件数 <sup>2</sup> 成13年度(実績)	平成14年度	(実繕)	平成15年度	: (宝塘)	平成16年度	(日堙)	亚击 1	7年度(	日畑、
				<u> </u>	標		594件	+ 成 1 4 + 長 6 6 3		<u> </u>	• •	<u> </u>		十八八	/ 牛皮(	日信丿
7,	<b>ウト</b>	プット			<del>バ示</del> 位コス		- J 9 4 IT	16,31		18,39	• •	3 0 0 1	-			
指	<i>-</i>	クノー標		_	標			10,31	013/11	10,33	3   17   11					
111		1235	  結果指標	-		_	<del>Z</del> 成13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	-	標		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		( - 4,-24 )		( ) ( )		( 1-1 1107 )		(	
			(-)		<u>ボ</u> 位コス											
2	事	業成	果(アウ	トカ	<u>(人)</u>									I		
			対			象被	保護世帯,芦屋浜住	宅団地内の賃貸	質の県公社	等に入居し住	宅つき生活	<b>厓学級に在籍する</b>	者の保護	者,養語	護老人ホ-	-ム入
			_			РЛ	「者及び結核予防命令」									
				カ ハ	<u>r – </u>	率対	t 象 数 (a) 延	5 4 4 件	受 益 数	t (b) 延	5 4 4 件	比 率 (b	÷ a) %		100%	
対	家'	意 図	***				ᄬᄼᄼ	<b>○</b> 从从ナゼロコ	. – 1.1– 1	. 12 <b>4</b> 17 0 ED		o./□++ <i>+</i> -□==				
			息が会を	<b>→</b> ±∓			問金等(法外扶助金)	の給付を受ける	ه د د اد ه	(リ , 生活の安)	正と健康(	の保持を図る。				
			(対象を	土詰	i   C   C	.)										
大		ŧ	な	目		的上	:もに助け合う地域福	外の宝租ために	· 社会的	1弱者に対し海に	祉施等の!	<b>異盟を図る</b>				
		_	-6-	н		ے ار ا			- , II A I .		正16年071	KMCB V				
				指	標	名被	保護者の保護割合(	%)								
			中間成界			_	保護者/人口×10									
			指标	票年		度平	☑成13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ウト	カム		指	標	値	0.35%	0 . 4 2	2 %	0 . 4 2	2 %	0.49	6		0 . 4 %	
指		標		指	標	名										
			最終成界													
			指析	票年			Z成13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指	標			4	٠ بــــــــــــــــــــــــــــــــــ			to collect the second			- +,L	
<b></b> -		- A - 1 -	<b>5</b> 4. 104.0		L		雪に	` '	)が教育と	<b>福祉並びに住宅</b>	が一体とな	なり地域住民と触れ	れ合う中で	でう生涯	主教育のた	:めの
户	至市	の特1	色など補	足す	る事			つき生涯学級	≤>₼₽₽ <i>~</i> ~; ; ;	+ <i>I</i> ⊈ ι \						
	声	<b>业</b> 弗	八千番十三	141	( ¬ ¬		三活保護の保護率(0	. 4 ∠%)ば隙	X仲间では		050	位民 1 1 平 12 7 E N	440	<b>₩</b>	11 42 早	t木厶hE
事	尹	<u>美貨</u> 業	·活動配		<u>(コス</u> 構成%		<sup>2</sup> 成13年度(決算)	亚成 1 / 年帝	(油管)	1世帯当り(円) 平成15年度		住民1人当り(円) 平成16年度	<u> </u>	一 70,10.4	4.1 住民基	54口帐
#		人			1曲のようで 24.	_	ル・コード区(仄昇)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	2,561	┌────────────────────────────────────	2,483	〒13% Ⅰ ℧ 牛!及「	· <del>并</del> /			
		事		貴	75.	_			8,253		7,523		4,501			
内	訓	1 3 .			70.	_ /0			0,200		1,520					
			丁償却費										-			
		合		it .	100.	0%	0		10,814		10,006		4,501			
		国		₹												
財	源	市		等												
	円			也	25.	0%			3,056		2,505					
		— <i>1</i>	般 財 派	原	75.	0%	0		7,758		7,501		4,501			
活		職	j		100.	0%			0.25		0.25		-			
配			∵臨時€	_									-			
(	A.	\  <del>스</del>		H	100	1961	0.00		0.25		0.25		0.00	i		

	一価視 視	評価チェックリスト	1 / / 本 / 本	2 /2 = 17/再
評	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1次評価	2次評1四
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	H + 3 × 3 1 ± (2 - 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
^	, , ,	□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	3
=	+ *(0 4)		<b>3</b>	3
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している 支給人数544人 □ 未把握		
8点	社会環境変化(1~1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	1123876216(1 1)	内容 生活保護世帯が年々増加している。		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1 _	4
効	成果の実績(2~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	4
性		成果があがっていない場合	-	
	- 成果向上余地(1~ 1)			
4点		□ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
効		□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	<u>.</u>	
		高い、または低い場合の理由		
	□ <del>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ </del>	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)		^
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>∣ 0</b> ∣	0
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
1,1		<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	_	
3点	コスト削減取組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	,	→ 内容 支給対象の見直し		
177 ⊑t;	1 [ 2 1 6 年 度 1	扶助費の見直し   支給対象の見直し(平成16年度)   総合		_
実施	15~16年度にした改善内容		l B l	В
5 今往	後の対応(アクション)			
	<u> 父 Vノ X J / U                                </u>			
	<u> </u>	扶助費の見直し		
現在:	<u>又♥♥ス゚ス゚ス゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚</u>			
	認識している課是			
市民,関	認 識 し て い る 課 是	你 障害者団体,市議会議員		
市民,関	認 識 し て い る 課 是	你 障害者団体,市議会議員		
市民,関	認 識 し て い る 課 是	你 障害者団体,市議会議員		
市民,関	認識している課題 1863 市民,関係者の名称意見 意見,要望内容	な 障害者団体 , 市議会議員 アルビリ学級の運営に関する今後のあり方について(平成19年度には学級生が全員成人部になる等)		
市民,関	認識している課題 原名市民,関係者の名称意見 意見,要望内名 対応内容	你 障害者団体,市議会議員		
市民,関	認識している課題 原名 市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内名 対応内容	原 障害者団体,市議会議員 P みどり学級の運営に関する今後のあり方について(平成19年度には学級生が全員成人部になる等) みどり学級の今後の位置づけやあり方について,保護者,教育委員会及び福祉で協議・検討する。		
市民,関からの要望	認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内を 対応内容 実施期限	原 障害者団体,市議会議員 日本 の できる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる		
市民,関	認識している課題 原名市民,関係者の名称意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限	が 障害者団体 , 市議会議員  おおいける おおいける おおいけん では、19年度には学級生が全員成人部になる等) おおいける おおいける の では、19年度には学級生が全員成人部になる等) おおいける の では、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、おいける の では、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、おいける の では、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、おいける の では、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、これば、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、これば、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、これば、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、19年度には学級生が全員成人部になる等) は、19年度には学級生が全員成人部になる等)		
市民、関の要	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2)	が 障害者団体 , 市議会議員 おどり学級の運営に関する今後のあり方について (平成19年度には学級生が全員成人部になる等) みどり学級の今後の位置づけやあり方について , 保護者 , 教育委員会及び福祉で協議・検討する。 平成 年 月		
市民,関からの要望	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2)	が 障害者団体 , 市議会議員 おどり学級の運営に関する今後のあり方について (平成19年度には学級生が全員成人部になる等) みどり学級の今後の位置づけやあり方について , 保護者 , 教育委員会及び福祉で協議・検討する。 平成 年 月		
市民、関の要	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	原書者団体,市議会議員  お でには学級の運営に関する今後のあり方について(平成19年度には学級生が全員成人部になる等)  お みどり学級の今後の位置づけやあり方について,保護者,教育委員会及び福祉で協議・検討する。  日 平成 年 月		
市民、関の要	認識 している課 是 関係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 (2) 対応内容	が 障害者団体,市議会議員  おおい で		
市民、関の要	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	が 障害者団体 , 市議会議員		
市民、関の要	認識 している課 是 関係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 (2) 対応内容	が 障害者団体,市議会議員  おおい で		
市民、関から望課題・要	認識 している課 是 関係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 (2) 対応内容	が 障害者団体,市議会議員  おおい で		
市民、関の要課題・要の他	認識 している課 是 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	が 障害者団体,市議会議員  おおい で		
市民、関の要課題・要の他	認識している課題 原子 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	が 障害者団体,市議会議員  おおい で	1次評価	2次評価
市民、関の要課題・要の他	認識している課題 原子 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限			2次評価
市民、関の要課題・要の他	認識している課題 原子 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	中 で	2	2次評価
市民、関の要課題・要の他	認識している課題 原子 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	原書者団体,市議会議員 おどり学級の運営に関する今後のあり方について(平成19年度には学級生が全員成人部になる等) みどり学級の今後の位置づけやあり方について,保護者,教育委員会及び福祉で協議・検討する。  「平成 年 月 ・みどり学級の今後の位置づけやあり方について,保護者,福祉及び教育委員会で 拡 大・充 実現 状 維 邦	Ē	2次評価
市か要課のである。	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 (2) 対応内容 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	原言者団体,市議会議員 おどり学級の運営に関する今後のあり方について(平成19年度には学級生が全員成人部になる等) おどり学級の今後の位置づけやあり方について,保護者,教育委員会及び福祉で協議・検討する。  「中成 年 月 ・みどり学級の今後の位置づけやあり方について,保護者,福祉及び教育委員会で協議・検討する。 ・被保護者等への扶助費の見直しは他市の状況等を参考に,支給対象及び支給額を ・ 法 改 事		2次評価
市か要課のである。	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 (2) 対応内容 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	ででである   でである   である   である		2次評価
市か要課のである。	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 (2) 対応内容 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	ででである   でである   である   である		2次評価
市か要課のである。	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 (2) 対応内容 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	の 障害者団体 , 市議会議員  お みどり学級の運営に関する今後のあり方について (平成19年度には学級生が全員成人部になる等)  お みどり学級の今後の位置づけやあり方について , 保護者 , 教育委員会及び福祉で協議・検討する。		2次評価
市か要課のである。	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 (2) 対応内容 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	ででである   でである   である   である		2次評価
市か要課へそ改平のものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	認識している課題 原子 (1) 対応内容 実理等 (2) 対応内容 実施期内容 対応 (3) 対応内期限 3 考えられる のアイデア			2次評価
市か要課へそ改平のものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	認識している課題 原子 (1) 対応内容 実理等 (2) 対応内容 実施期内容 対応 (3) 対応内期限 3 考えられる のアイデア	の 障害者団体 , 市議会議員  お みどり学級の運営に関する今後のあり方について (平成19年度には学級生が全員成人部になる等)  お みどり学級の今後の位置づけやあり方について , 保護者 , 教育委員会及び福祉で協議・検討する。		2次評価

									7			T		
(一般	事業)	事業	<u> </u>	2220	010				1	部	長	次	長課	長
平成15	5年度	事	業名	成年	後見制度利用支援	事業								
		_							_					
1 = = =	<del>***                                  </del>	毎(じょ)												
		要(ドゥ)	じの目標		健やかでぬくもり	のちょうけんかん	<b>ベノ 1</b> 2					/ワ/油 7戸 7に		
総 合				-	共に助け合う地域		7 ( )			所 管	課	保健福祉	·디	
総			<u>中</u> 小		福祉サービス利用					所管課長	1 丘夕	総務課		
体	心系系		<u>小</u> 細		田位り ころが方	1及6月0万任廷				記入者				
事	業	其		Н 1	<u> </u> 3年4月1日∼	収	常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797-38-		線 2501
根拠		,,,			後見制度利用支援		나 때바기		] EMH4	実施:			2040   73	70K 2001
実	施	<u>~</u> ∃		//×-				□ 全部委託	Ŧ					
委	716				外郭団体委託 外郭団体委託	名称				季託 委 部			スニ亚	
				_	性高齢者,知的障害		者の成	年後見制度の					が有する能力	で活用し,
事	業	Ø	概 要		希望する自立した							,		
-														
				・法	定成年後見制度は	平成12年4月か	ら施行	されている。						
事	業	の	現 状	· 平	成15年度は2件。									
	目的詞	実現のため	ხთ	・成	年後見等開始の申	し立て(申立費用	への助	成・後見人等	の報酬への	の助成)				
	手段及	ひ実施内	內容											
			指標 名	調査	件数									
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(	実績)	平成15年度	〔(実績)	平成 1 6	年度 (	(目標)	平成17年	度(目標)
		(1)	指標値		0件	0件		2 件	=		2件		2 '	件
アウト	プット		単位コスト		-	-		1,012,500	円/件	494,	500円。	/ 件		
指	標		指標 名	申立	て件数									
		結果指標			13年度(実績)	`	実績)	平成15年度	• •	平成 1 6		(目標)	平成17年	
		(2)	指標 値		0件	0 件		2 件			2 件		2 '	件
			単位コスト		-	-		1,012,500	円 / 件	494,	500円	/ 件		
2 事	業成績	果(アウ	<u>トカム)</u>											
		対	象	判断	能力が乏しく保護だ その親族があって	が必要な痴呆性高 # 辛信不通の状況	齢者,	知的障害者及るまには	び精神障害	害者で,配	偶者若	しくは四	親等内の親族	笑がない市
事業の	44	<del></del>	· 11" \						,	LL T	<del> </del>	) 0/	1 0	0.0/
事業の対象・			バー率	X.) 🥞	R 致 (a)	2 计 文	益数	. (D)	2件	[[] 4	(D) 华	÷ a) %	1 0	0 %
X) SK	忠囚	意	図	身寄	りのない判断能力の	の不十分な市民が	,成年	後見制度の利	用するこの	とを支援す	ること	により,	自らが希望す	「る自立し
			主語にして)	た日	常生活を営むことだ	ができるようにす	る。							
		())8(1)	тынсос)											
大	き	な	目 的	痴呆	性高齢者,知的障害	害者及び精神障害	者が利	用する福祉サ	ービス利用	用の推進				
					, ,									
			指標 名	選任	された件数									
		中間成果	考え方・式	成年	後見の市長申立て	し、後見人等が選	任され	た件数						
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(	実績)	平成15年度	〔(実績)	平成 1 6	年度 (	(目標)	平成17年	度(目標)
アウト	カム		指標 値		0件	0 件		2件			2 件		2 -	件
指	標		指標 名	選任	率(%) (代替	指標:成年後見等	の市長	申立てに対す	る市民の流	満足度 )				
		最終成果			人等が選任された(									
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(	実績)	平成15年度	〔(実績)	平成 1 6	年度 (	(目標)	平成17年	度(目標)
			指標値		-	-		1 0 0	%	1	00%	6	1 0	0 %
					化率(19.6%	)が阪神間で最高								
芦屋市	の特色	色など補え	足する事項											
2 == 4	ᄣᆂ	ンイチルエコ	/\	Į .					1	1004134		1	T-1-10 1 1 1	ロサナハギ
			<u>分(コスト</u>	í –	1.2万亩(油等)	亚巴 4 4 左座 7 3	+ 44 \	1世帯当り(円)		住民1人当		23	平成16.4.1 住	- 氏基本台帳
事	業			_	13年度(決算)	,	大异 <i>)</i> 1,321	平成15年度		平成 1 6	午及 (	(丁昇)		
	事	件 費業 費	1				0		1,827 198			989		
rb = 1	_	· 未 · 貝 『門経費					0		190			909		
		貸却費												
(	合				0		1,321		2,025			989		
	围	· 県					.,		_,,,			740		
財源	市													
(千円)		の他	-						206					
		段 財 源			0		1,321		1,819			249		
活 動	力職	<del></del>		_			0.10		0.15			-		
		・臨時等										-		
(人)		計	. 1		0.00		0.10		0.15			0.00		

±000	<u>   ( ナェック )</u>											
評	価 祷	点				評価チェ	ックリスト	•		1	次評価	2次評価
	口的双虫肿/	o o)	☑ 事業の∄	主目的は明確	である			事業の目的は一つに終	ることができない	.1		
	目的妥当性(	2 ~ Z)	☑ 事業成界	果が上位施策	それででして また こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅうしん しょうしん しゅうしん しゅうしん しゅう	は貢献度が高	آل ا J	貢献度が不明確、また	は高くない			
			□ 市が実施	をするよう法律 かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	聿等で義務づけ	られている		民間でやるべき、または	対応可能である	3		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基	基本的な生活	の維持に必要	である		他団体では見直しがさ	れている			
								いずれにも該当しない				
当			☑ 市民二-	-ズに基づい	て行うべき事業			市民ニーズに基づいて	行う事業ではな	L١	4	4
	市民ニーズ(	2 ~ 1)		ニーズが高い				ニーズが高いとは言えな			•	•
性	,	,		数字で把					□ 未把排	星		
8点	+1 A 7 m 1 + - + -		☑ 事業に関	関わる社会環	境の変化に適同	むしている		〕社会環境の変化にあわ	せた見直しが必	夢		
	社会環境変化	七(1~ 1)						変わってきている。				
	優先性,緊急	9性(1)			ば,市民の生命							
	対象カバー図		□ 対象カ/			② 他団体と同		□ 他団体よりた	バー率が低い			
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図	図と受益者は	整合している	□事業ラ	意図と受	益者が不整合 , または受	益が一部に限定	Ē		
**	世界の中雄/	0 4)	☑ 中間成身	果指標の実績	賃値を把握し,目	標値を設定し	ている□	〕実績値または目標値が	未記入		2	2
効	成果の実績(	2~ 1)	┗▶ ☑ 実績	責値から成果	があがっている	と言える		] 実績値から成果があが	っていると言えな	111	3	3
性	*#5.1	-1b-/4 4\	成果があが	っていない場	易合							
4点	- 成果向上余均	地(1~ 1)	□ 成果向」	上策あり					□ 特に	なし		
			☑ 比較でき	きる団体がある	る 団体名	宝塚市		比較できる団体はない	•			
	¥ / <del>2</del> ¬ ¬ 1 /4	43	☑ 他団体の	の数字を把握	している <sup>当</sup>	単位コスト	報酬28,	,000円/月 □ 把握して	こいない			
効	単位コスト(1	~ 1)		団体よりコスト		② 他団体と同	程度	□ 他団体よりコス	ストが高い			
				は低い場合の	****							
	<u> </u>	0 4)	☑ 負担を求	<b></b>	できる事業である	, <u> </u>	負担を求	えめるべき事業ではない				
-	受益者負担(	0~ 1)					( $\square$	]徴収不能・見直し不能	□ 徴収可能	: )	$\mathbf{a}$	^
率			直営事業()	正規職員が執	丸行)または出資	2団体へ委託し	ている業	務について			U	0
	T = 11/4 0	`	_		が義務づけられ			] 個人 , 家庭 , 地域等が	旦うべき部分がむ	5る		
	手段(1~ 3	)	☑ 民間(企	業 , NPO等)で	では対応できない	い業務である		] 民間(企業 , NPO等)で対	対応可能である			
性			,					] 嘱託 , 臨時職員等で対				
3点	1 ×1×+	<i>I</i> /□ (4 4)			を行っている			] 特に行っていない				
	コスト削減取	組(1~ 1)	▶ 内容	資産等があ	5れば,必要経動	貴は本人負担と	している	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
			成年後見	見制度の必要	とな人の把握が	困難	民生・リ	<b>見</b> 見童委員,福祉関係職員	等			
平 成	15~16した改	年 度 に 釜 肉 突	課題			改善 内容	から情幸	<b>服を収集する。</b>		総合評価	В	В
	0 /2 13	e ra e				Patri				піщ		
5 今往	後の対応(ア	クション)	•						-			
				長による成	ケベロ即ねる		44 FI	が選ばされ 沈後日1				
			現在までの市	KIC & DIX	午俊兄用炤の	番判の請求で	,俊兄人		の資産・貯蓄等	€で		
現在	認 識 し て い	いる 課 題						が、資産・貯蓄がなく		<b>〕</b> で		
			申立て経費及 後見人等への	なび後見人等		費等が負担され	れている			うで		
市民,関	関係者 市民,関		申立て経費及 後見人等への	なび後見人等	の報酬,生活動	費等が負担され	れている			うで		
市民,関 からの	原者 市民,関 意見	係者の名称	申立て経費及 後見人等への	なび後見人等	の報酬,生活動	費等が負担され	れている			デで 		
市民,関	原名 市民,関 意見		申立て経費及 後見人等への	なび後見人等	の報酬,生活動	費等が負担され	れている			<b>うで</b>		
市民 , 関 からの	原者 市民,関 意見	係者の名称 要 望 内 容	申立て経費及 後見人等への	なび後見人等)報酬等の市	の報酬,生活覧で負担する問題	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民 , 関 からの	原者 市民,関 意見	係者の名称 要 望 内 容	申立て経費及 後見人等への	なび後見人等)報酬等の市	の報酬,生活額で負担する問題 で負担する問題 援事業実施要約	費等が負担され 題が出てくる。	れている		なった場合,			
市民 , 関 からの	意見 意見,	係者の名称 要 望 内 容	申立て経費及後見人等への	なび後見人等)報酬等の市	の報酬,生活覧で負担する問題	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民 , 関 からの	意見 意見 , (1)	係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	申立て経費及後見人等への	なび後見人等 の報酬等の市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の報酬,生活額で負担する問題 で負担する問題 援事業実施要約	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民,関からの要望	意見 意見 , (1)	係者の名称 要望内容 対応内容	申立て経費及後見人等への	なび後見人等 の報酬等の市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の報酬,生活額で負担する問題 で負担する問題 援事業実施要約	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民,関からの要望	想係者 市民,関 意見 意見。 (1)	係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	申立て経費及後見人等への市の成年後見平成	なび後見人等 の報酬等の市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の報酬,生活額で負担する問題 で負担する問題 援事業実施要約	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民,関からの要望	想係者 市民,関 意見 意見。 (1)	係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 実施期限	申立て経費及後見人等への市の成年後見平成	なび後見人等報酬等の市場制度利用支	の報酬,生活動物を受力を受力を受力を受力を受力を受力を受力を受力を受力を受力を受力を受力を受力を	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民,関からの要望	想係者 市民,関 意見 意見。 (1)	係者の名称 要望内容 対応期限 対応期限 対応期限 対応内容	申立て経費及後見人等への市の成年後見平成平成	なび後見人等報酬等の市場制度利用支	の報酬,生活動で負担する問題を表現します。	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民,関からの要望	原名 市民,関 意見, (1) (2) (2) が 応	係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 実施期限	申立て経費及後見人等への市の成年後見平成平成	なび後見人等報酬等の市場制度利用支	の報酬,生活質で負担する問題を受ける。  接事業実施要約  月	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市民の望課題・要の	京 京 京 京 京 京 京 京 京 (1) (1) (2) 対 応 (3)	係者の名称 要望の内内 対応施いの期内の期内の期内の 実施の期内の 実施の期内の 実施の期内の 実施の期内の 実施の期のの 実施の期のの 実施の期のの 実施のの。	申立て経費及後見人等への市の成年後見平成平成	なび後見人等の市 開発 関係	の報酬,生活動で負担する問題を表現します。	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市か要課題のである。	原名 市民、関 意見 (1) 章 等 (2) 対 応 (3)	係者の名称 要望内内容 対応施応の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の	申立て経費及後見人等への市の成年後見平成平成	なび後見人等の市 開発 関係	の報酬,生活動で負担する問題を表現します。	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,			
市か要課題のである。	京 京 京 京 京 京 京 京 京 (1) (1) (2) 対 応 (3)	係者の名称 要望内内容 対応施応の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の	申立て経費及後見人等への市の成年後見平成平成	なび後見人等の市 開発 関係	の報酬,生活動で負担する問題を表現します。	費等が負担され 題が出てくる。	れている	が,資産・貯蓄がなく	なった場合,	⊒する。		
市か要課題のである。	原名 市民、関 意見 (1) 章 等 (2) 対 応 (3)	係者の名称 要望内内容 対応施応の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の	申立て経費及後見人等への存取を表現します。	なび後見人等の市 型制度利用支 年 年	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	おり、市で負担を	⊒する。	次評価	2次評価
市か要課題のである。	原名 市民、関 意見 (1) 章 等 (2) 対 応 (3)	係者の名称 要望内内容 対応施応の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	で後見人等の市場制度利用支車を受の利用の必要の利用の必要の利用の必要を表現します。	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、おり、市で負担を受ける。	i 向性 1	次評価	2次評価
市か要課題のである。	原名 市民、関 意見 (1) 章 等 (2) 対 応 (3)	係者の名称 要望内内容 対応施応の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の期内の	申立て経費及後見人等への存取を表現します。	で後見人等の市場制度利用支車を受の利用の必要の利用の必要の利用の必要を表現します。	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、	では では できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	次評価	2次評価
市か要課のである。	1 京 京 京 京 京 京 京 (1) (2) (3) ま よ イ デ な イ デ れ の の の の の の の の の の の の の	係者の名称 要 望 内 内 容 実 対応 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	なび後見人等市場制度利用する	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合, おり, 市で負担 今後大、 現、状、 方、法、	□する。 「 向性 「	次評価	2次評価
市か要課のである。	原名 市民、関 意見 (1) 章 等 (2) 対 応 (3)	係者の名称 要 望 内 内 容 実 対応 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	なび後見人等市場制度利用する	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、 おり、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	可充維攻託等	次評価	2次評価
市か要課のである。	1 京 京 京 京 京 京 京 (1) (2) (3) ま よ イ デ な イ デ れ の の の の の の の の の の の の の	係者の名称 要 望 内 内 容 実 対応 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	なび後見人等市場制度利用する	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、クロスのでは、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は	可充維攻託・小	次評価	2次評価
市か要課のである。	1 京 京 京 京 京 京 京 (1) (2) (3) ま よ イ デ な イ デ れ の の の の の の の の の の の の の	係者の名称 要 望 内 内 容 実 対応 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	なび後見人等市場制度利用する	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、クが現方民縮統のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経	する。 ウス ウス ウス かい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	次評価	2次評価
市か要課のである。	1 京 京 京 京 京 京 京 (1) (2) (3) ま よ イ イ デ な の の の の の の の の の の の の の	係者の名称 要 望 内 内 容 実 対応 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	なび後見人等市場制度利用する	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、クロスのでは、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は	する。 ウス ウス ウス かい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	次評価	2次評価
市か要課へそ改平限の望要う他で	1 (1) (1) (2) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	係者 望 対 実対 実対 実対 実が の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 向 向 作 を 下 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	なび後見人等市場制度利用する	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、クが現方民縮統のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経	する。 ウス ウス ウス かい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	次評価	2次評価
市か要課へそ改平限の望要う他で	1 京 京 京 京 京 京 京 (1) (2) (3) ま よ イ イ デ な の の の の の の の の の の の の の	係者 望 対 実対 実対 実対 実が の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 向 向 作 を 下 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	申立て経費及の機関を表現して経費を表現して経費を表現しています。 中の成年後見 平成 平成 不成 のは年後見制度	なび後見人等市場制度利用する	の報酬,生活動で負担する問題を受ける。  接事業実施要組  月  月	費等が負担され 関が出てくる。 鋼で成年後見ノ	人等の報	が,資産・貯蓄がなく	なった場合、クが現方民縮統のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経済のの・経	する。 ウス ウス ウス かい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	次評価	2次評価

									<del>-</del>						
(一般	事業)	事業	コード	22200	050				]	部	ŧ	次	長	課	長
平成1	5 任 度	車	業名	塩 シー・	サービス利用援助	車業									
T 13% 1	3 午 反	<del>"</del>	<del>*</del> T	THTL	クーレスが円頭の	<del>7</del> **									
1 事	業概	要(ドゥ)										•	· · · · · · · · · · · ·		·
第3次	芦屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり			所	管 課	保健福祉	部:		
総 合	計画		中	2	共に助け合う地域	福祉の実現				PII	官 研	総務課			
政 策	施策		小	2	福祉サービス利用	援助の推進				所管:	課長氏名	歯朶 治	ì		
体	系	:	細							記入	者氏名	小島 俳	之		
事	業	期	間	平成	11年~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話	括番号	0797-38-	2040	内線	2501
根 拠	法	令 ' 5	要綱 等	社会	福祉法,芦屋市補	助金等交付要約	岡			実が	15 主体	市			
実	施	手	法		直営	□ 一部委託	ŧ	□ 全部委託	ŧ	✓ 1	補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称			□ 民間	<b>多託</b>	委託内容	F			
				判断的	能力に不安のある	高齢者や障害者	当に対して	, 社会福祉協	議会が実施	施する	福祉サーヒ	ごス利用手	続きの扱	題か	
事	業	の	概 要	日常(	の金銭管理サービ	ス等に対し市が	が助成する	0.							
				福祉	サービス利用援助	事業の利用料金	金の 1 時間	1,000円	を500	円に減	額。				
事	業	の	現 状	相談的	件数81件,契約	件数 5 件,利月	用件数 1 2	5 回							
	目的	実現のため	o Ø												
	手段	ひ実施内	]容												
			指標 名	相談(	牛数										
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(1)	指標値		5 4件	5 41	牛	8 1 (	牛		1001	牛		100件	
アウト	プット		単位コスト			36,63	0円/件	15,81	4円/件	1.2	2,800	円/件	12,	8 0 0 F	9/件
指	標		指標 名	契約	牛数	•		•							
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(2)	指標値		-	3 件	=	5 件	-		6件			6件	
		, ,	単位コスト			659,33	3 3 円/件	256,20	0円/件	2 1	0,00	0円/件	2 1 0	, 0 0 0	円/件
2 事	業成!	果(アウ)	カム)												J
_			ĺ	,e			±==+								
		対	家	畑禾'	性高齢者、知的障害	舌有及ひ精伸降	早苦石								
事業の	目的	対象力	バー率	対 象	₹数 (a)	8 1 件	受 益 数	(b)	5件	ŀ	北 率 (b	÷ a) %		6.2%	
対象·	意 図			Me al mierra				- **+ - 1	/.% <u>1</u> —1   1			2444	A & B & & & T		
		意	図	判断に	能力に欠ける痴呆 る通帳・印鑑預か	性局齢者,知田 ロサービフをも	り障害者及 シナケーを	ひ精神障害者	か福祉サー	ーヒス( する	の利用相談	後や日常的	金銭管均	2, 日常8	りに使
		(対象を主	E語にして)	πэ		Jy LXES	χι <i>)</i> C , 11	七王/日飞达16	2 & JIC	2 O					
大	き	な	目 的	痴呆怕	性高齢者,知的障害	害者及び精神院	章害者が利	用する福祉サ	ービス利用	用の促	進				
			指標 名	支援!	員の派遣回数										
		中間成果	考え方・式	生活:	支援員の派遣回数										
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウト	・カム		指標値			5 7 [		1 2 5	回		150[	回		150回	
指	標		指標 名	一人	あたり派遣回数										
		最終成果	考え方・式	生活	支援員の派遣回数	/ 契約件数	(代替指標	: 福祉サービ	ス利用援助	助事業	に対する市	5民利用度			
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指標値			19回	/件	25回.	/ 件		25回/	件	2	5回/作	‡
				高齢	化率(19.6%	)が阪神間で晶	最高								
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項												
	業費	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	33	住民1,	人当り(円)	14	平成16.4	.1 住民基	本台帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度	【(決算)	平成15年度	(決算)	平成	16年度	(予算)			
	人	件 費	92.8%				1,886		1,189			-			
	事	業費	7.2%				92		92			92			
内	尺他部	門 経 費										-			
(千円	) 減 低	賃 却 費										-			
	合	計	100.0%		0		1,978		1,281			92			
	围	・県													
財		債 等													
(千円		の他													
	<u> </u>	段 財源	100.0%		0		1,978		1,281			92			
活 重	崩職	員	100.0%				0.15		0.10			-			
配 分	う 嘱 託	・臨時等										-			
(人	) 合	計	100.0%		0.00		0.15		0.10			0.00	Ī		

	<u> </u>	FI 57 (FUE)	4.55 AT /T	0 No AT /T
評		点 評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1	
	H-3X-11=()	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である	1	
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている	1	
		□ いずれにも該当しない		
当		☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>⊺ 7</b>	7
_	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,または未把握	'	•
.b41-	1320- 7(2 1)	② 数字で把握している 相談件数が増加している。 □ 未把握		
性		·	-	
8点	社会環境変化(1~ 1	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		内容   在会偏征の流れは、脱肔設、地域で支え合う、また障害者施束は措置から契約へと変化。	_	
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
**	世界の宝徳(2014)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	ີ່ຈ່	2
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性		成里があがって! か! !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	1 '	
4点	- 成果向上余地(1~ 1	□ 成果向上策あり □ 特になし		
7		□ 比較できる団体がある 団体名 西宮市 □ 比較できる団体はない	+	
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
XIJ		□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由	_	
	受益者負担(0~1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	)=(X==X==X==X==X==X==X==X==X==X==X==X==X=	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	0	-3
- <del></del>		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	7 0	-3
	T 50 (4 0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	- '	
о <i>т</i> .	コスト削減取組(1~	1)		
		P   NH	_	
平 成	1 5 ~ 1 6 年 度 し た 改 善 内	に 舞り 改善 改善 総合	В	В
実施	した改善内	容   「「「「「」」   「「」   「「」   「「」   「」   「		D
[ ^2				
J 71	友のスラルい(アフンョン	/ ■ 平成11年10月から実施された事業で,法定成年後見制度を補完する事業として位置付けられ,		
18 # *	÷л÷ш∖ ₹ ≀\ ₹ ≐⊞	関現行の社会福祉制度の流れは措置から契約へとなってきているなど,今後,利用者の拡大を図りたい。		
况 1工 7	が 覗 し しいる 味	8 現100社会価値制度の流れは拍量から突割へとなってきているなど,ラ後,利用有の拡入を図りたい。		
\				
	ほんお 土口 間においな	5-h		
市民,関	関係者 市民,関係者の名	<u></u> か		
市民,関からの	関係者 市民,関係者の名 意見 意見 乗り 乗望内			
市民, 関からの要望	間係者 市民,関係者の名 意見 意見 まり 要望内	財       容		
市民,関からの要望	意見,要望內	容		
市民、関からの要望	意見 意見,要望内 (1) 対応内:	容 ・市広報紙,CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとにPRをする。		
市民,関からの要望	意見,要望內	容 ・市広報紙,CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとにPRをする。		
市民、関 から 望 課題・要	意見 意見,要望内 対応内: 実施期	容 ・ 市広報紙, C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。		
からの 要 望	意見等意見,要望内(1)対応内等実施期	容 ・ 市広報紙, C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。		
からの 要 望	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 (2) 対応内:	容 ・ 市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。  艮 平成 年 月		
からの要望課題・要	意見 等 (1) 要望等 (2) 対応内: 実施期 対応内: 実施期	容       ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。       艮 平成     月       艮 平成     月		
からの要望課題・要	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 対応内:	容       ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。       艮 平成     月       艮 平成     月		
からの要望課題・要	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: (2) 実施期	容     ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。       艮 平成     月       B 平成     月       日 平成     月       日 平成     月		
からの要望課題・要	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 対応内:	容     ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。       艮 平成     月       B 平成     月       日 平成     月       日 平成     月		
まり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 (3) 実施期	容     ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。       艮 平成     月       B 平成     月       日 平成     月       日 平成     月		
からの望 課題・要・その他	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 (3) 実施期	容     ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。       艮 平成     月       B 平成     月       日 平成     月       日 平成     月		
からの望 課題・要・その他	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 (3) 実施期	容 ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。  艮 平成 年 月  民 平成 年 月  民 平成 年 月		3 Va ≑π.π.
からの望 課題・要 での他	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 (3) 実施期	容 ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。  艮 平成 年 月  マ		2次評価
からの望 課題・要 での他	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 (3) 実施期	帝 ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。  艮 平成 年 月  マ ス マ ス マ ス マ ス マ ス マ ス マ ス マ ス マ ス マ	Ē	2次評価
からの望 課題・要 での他	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 (3) 実施期	容       ・市広報紙,CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとにPRをする。         B 平成       年       月         B 平成       年       月         B 平成       年       月         *** 中成       年       月         *** 市広報紙, CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会ある毎にPRをする。       拡大・充身現状維身	井	2次評価
か要 課 へ そ改 の善 他 (	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 (2) 対応内: 実施期 (3) 対応内: 実施期 対応内: 実施期	容       ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。         艮 平成       年       月         艮 平成       年       月         艮 平成       年       月         ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会ある毎に P R をする。       拡 大 ・充 9         機会ある毎に P R をする。       現 状 維 す 方 法 改 書         ・民生・児童委員など通じて必要な場合は活用するようにしているが ,       方 法 改 書	持	2次評価
か要 課 へ そ改 の善 他 (	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 対応内: 実施期 (3) 実施期	容       ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。         艮 平成       年       月         昼 平成       年       月         日 平成       年       月         ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会ある毎に P R をする。       拡 大 ・ 充 見 現 状 維 才 方 法 改 書 任 り後も積極的に活用するよう働きかける。	等等	2次評価
か要 課 へ そ改 の善 他 (	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 (2) 対応内: 実施期 (3) 対応内: 実施期 対応内: 実施期	容       ・市広報紙, CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとにPRをする。         艮 平成       年         月       月         宮       現 平成         艮 平成       年         月       ・市広報紙, CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会ある毎にPRをする。         機会ある毎にPRをする。       現 状 維 身	等 ()	2次評価
か要 課 へ そ改 の善 他 (	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 (2) 対応内: 実施期 (3) 対応内: 実施期 対応内: 実施期	容       ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとに P R をする。         艮 平成       年       月         昼 平成       年       月         日 平成       年       月         ・市広報紙 , C A T V 及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会ある毎に P R をする。       拡 大 ・ 充 見 現 状 維 才 方 法 改 書 任 り後も積極的に活用するよう働きかける。	等 ()	2次評価
か要 課 へ そ改 の善 他 (	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 (2) 対応内: 実施期 (3) 対応内: 実施期 対応内: 実施期	容       ・市広報紙, CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとにPRをする。         艮 平成       年         月       月         宮       現 平成         艮 平成       年         月       ・市広報紙, CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会ある毎にPRをする。         機会ある毎にPRをする。       現 状 維 身	等 等	2次評価
か要 課 へ そ改 の善 他 (	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 (2) 対応内: 実施期 (3) 対応内: 実施期 対応内: 実施期	容       ・市広報紙,CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会があるごとにPRをする。         艮 平成       年         月       月         財 平成       月         ・市広報紙,CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで機会ある毎にPRをする。       拡 大・充 見 状 維 技 ・充 見 状 維 技 ・ 充 見 状 維 技 ・ 充 見 大 金 養 長 との連携を密にする。         ・市と社会福祉協議会との連携を密にする。       長 間 委 託 金 統合 / 終期設定	等 等	2次評価
<ul><li>か要</li><li>課へ</li><li>そ改</li><li>平</li><li>(1)</li><li>(1)</li></ul>	意見 等 意見,要望内 対応内: 実施期 (2) 対応内: 実施期 (3) 対応内: 実施期 対応内: 実施期	中元   日   日   日   日   日   日   日   日   日	等 等	2次評価
<ul><li>か要</li><li>課へ</li><li>そ改</li><li>平</li><li>(1)</li><li>(1)</li></ul>	意見 意見 意見,要望内 (1) 対応内: 実施期 (2) 対応内: 実施期 (3) 実施期 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。	中元   日   日   日   日   日   日   日   日   日	等 等	2次評価

										-					
( —	般事	業)	事 業	コード	2310	020				<u> </u>	部長	次	長	課	長
亚턴	t 1 5	年度	車 :	業名	<b>宣</b> 龄	者の地域活動の推	佳								
T 13.	<b>X</b> 1 J	十反	<del>7</del> :	* 1	미메전	日のルビスハロシリンコモル	<u>u</u>								
										_					
1	事業	と 根 き	要(ドゥ)									ļ			
				りの日標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	づくり				保健福祉	-部		
		十画		<del>,,,,</del> 中		高齢者の自立をサ					所 管 課	総務課			
		も 策		/\	_	高齢者の生きがい		07 <del>,2</del> 77,			所管課長氏名				
	ж IJ			-	1	同風で日の土とりで	(X) X								
事		系		細	n711n	20/510 🗸	43	7 <del>244 M</del> E n +		1 π <b>⊏</b> n+	記入者氏名			士 /位	0504
	1kn	業	期			39年10月~			☑ 経常 □	品時	電話番号		2040	内線	2501
	拠		令 · 引			市立老人福祉会館		上関りる			実施主体				
実		施	手			直営	一一部委託		☑ 全部委託		□補助金		負担金		
委			託	先			名称 社会福祉協				<b>多託</b> 委託内容	管理・連	宫		
					6 0	歳以上の市民を対	象に「老人福祉会	≩館」及	び「老人憩い	の家」	各1箇所を設置。				
事		業	の	概 要											
					(1) 캳	6人福祉会館は,舞	付き大広間(	140,	人定員),和室	≧(20人	、定員),風呂等	を備える。			
事		業	の	現 状	되	7成15年度は年間	393日開館し	, 1日約	的89人が利用	見。また,	各種の学級等を	実施。			
		目的質	€現のため	ത	(2)孝	き人憩いの家は,木	、   造家屋の 1 階部	分を(約	约78㎡)を賃	賃借して誤	}置。				
			ひ実施内		` ′	子成15年度は年間		•	-						
		. 1	/ // // :		'	1,52,104     10		, · ⊢ n	> (19 1/3/130						
				北 堙 夕	<b>年</b> 門	延利用者数(老人福	<b>計会館)</b>								
			結果指標	<b></b>		些利用有数(名入版 13年度(実績)		宇结り	平成15年度	(宝缮)	平成16年度	(日煙)	平成 1 7	7 午 庄 /	日梅ヽ
										, ,	28,10	. ,			
		، م	(1)	指標値		27,123人	26,54		27,32		28,10	0 人	2 8	, 900	) 人
	フトラ	プット 		単位コスト		,209円/人	1,273	1/人	1,221	円/人					
指		標		-		延利用者数(老人憩									
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(	実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
			(2)	指標値											
				単位コスト											
2	事美	<b>É成</b>	果(アウ)	トカム)			•						•		
			<u> </u>												
			対	家	内巾	に居住する60歳	以上の人								
事業	<b>≰</b> の	目的	対象力	バー 率	対象	象数 (a) 2 4	,151人 受	益 数	! (b) 延27	7,328	3人 比率 (b	÷ a) %	1 1	3 . 1 5	5 %
		意図													
,,,		<u></u>	意	図	高齢	者が老人福祉会館	で実施する各種の	D学級な	どを受講した	り , また	, 同会館で備えて	いる健康	器具など	を活用す	するこ
				上語にして)	とに	より高齢者の生き	がいと健康づく!	りを図る	•						
			(X)3/(C)	LIBIC O C)											
大		<b>*</b>	な	日 的	三松:	者の生きがいと交流	恋の提の提供に	トロな言か	の増准を図る						
		C	<i>'</i> <b>5</b>	н нл	口口型4					0					
				七 捶 夕	1 🗆	当たりの利用者数	( 孝 ) 恒祉会館 `	`							
				<b></b>		延利用者数/開館		,							
				-				中华、	亚代 1 5 年度	(安建)	亚代 1 6 年度	/ 口 插 \	ਹ ਹੈ 1 -	7年度(	口抽~
				<b></b>	十八	13年度(実績)			平成15年度				平成 1 7		
	ノト	カム		指標値		89.9人	87.3,	Λ	89.4	4人	95人			100人	
指		標		指標名											
				考え方・式			I <del></del>		<del></del>			:	I <b></b> "		
				<b></b>	半成	13年度(実績)	半成14年度(	<b>夫績)</b>	半成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	/ 牛度(	日標)
				指標値	ļ										
						化率(19.6%	•								
芦厚	で	の特色	色など補足	足する事項	老人	福祉会館の認知度	は,平成14年月	きに社会	福祉協議会が	実施した作	住民意識調査の編	果では3	6 . 7 %	である。	
					L										
3	事業	美費・	活動配:	分(コスト	)				1世帯当り(円)	861	住民1人当り(円)	372	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事		業	費	T	平成	13年度(決算)	平成14年度(	決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度	(予算)			
		人	件 費	5.5%		1,234		1,805		1,827		-	1		
		事	業費			12,249		12,618		12,236		10,854	1		
内		_	門経費			,						-	1		
			貸却費	57.8%		19,298		19,298		19,298		_	1		
( 1		合	計	1		32,781		33,721		33,361		10,854			
		国				32,701		00,121		00,001		10,004	1		
B+			- 県										-		
財	源		債 第										-		
( +	円)		の他			A:		00 =01		00.007		40.0=1	-		
			段 財源			32,781		33,721		33,361		10,854			
活	動		員	100.0%		0.10		0.15		0.15		-			
配			・臨時等									-			
(	۱ ا	습	*	100.0%		0.10		0.15		0.15		0.00	Ī		

評	<u>때 (フェッフ)</u> 価 視	. 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
н			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1 /A FT IIII	2次計画
	目的妥当性(2	2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 事業成業が主位施策に不引入、または貢献及が同い □ 貢献及が不明確、または同くない □ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
<u> </u>	19141-9(2	۷)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	6	5
=	市民ニーズ(2	) ~ 1\	□ 「同民」 人に塗りいて行りするとはない □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	0	J
性	1010- 7(2	- ')	☑ 二 人が高い □ 二 人が高いには日だない。などは水形屋 ☑ 一 大地屋 図 数字で把握している 延年間利用者数 27,328人 □ 未把握		
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
O.M.	社会環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	内容 老人福祉学級の科目などを見直ししている。		
	優先性,緊急	性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		-	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		_
効	成果の実績(2	2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性			成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余州	也(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	w w = = 1		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1 ·	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	巫 社 老 各 扣 //	0 4)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
727	受益者負担(0	0~ 1)	│ └▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)		2
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>⊣</b> 0	-3
	手段(1~ 3)		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	于权(1~ 3)	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			│ □ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取約	<b>約</b> 11~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
	1 / 1 H1//%/4//	м <u>⊐</u> (і і <i>)</i>	→ 内容	1	
亚 st	15~16	年 度 に			_
平成実施	1 5 ~ 1 6 した改善	年 度 に 善 内 容		В	В
				В	В
	1 5 ~ 1 6 した改善 <b></b>		経費の節減(平成16年度) 課題    と人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容   さ人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 評価	В	В
5 今1	後の対応(アク	クション)	課題 経費の節減 (平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し 老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。	В	В
5 今1	後の対応(アク	クション)	経費の節減(平成16年度) 課題    と人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容   さ人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 評価	В	В
5 今1 現 在 1	<u> </u>	クション)	課題 経費の節減 (平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討)	В	В
5 今 7 現 在 1 市民 , 関	<b>後の対応(アク</b> 認識してい	クション) る 課 題 系者の名称	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 と人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者	В	В
5 今 7 現 在 1 市民 , 関	<b>後の対応(アク</b> 認識してい	クション) る 課 題 系者の名称	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 と人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者	В	В
5 今 7 現 在 1 市民 , 関	<b>後の対応(アク</b> 認識してい	クション) る 課 題 系者の名称	課題 経費の節減 (平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討)	В	В
5 今 7 現 在 1 市民 , 関	後の対応(アクロックを) (アクロックで) (アのロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロッ	クション) る 課 題 系者の名称 要 望 内 容	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 と人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者	В	В
5 今 7 現 在 1 市民 , 関	<b>後の対応(アク</b> 認識してい	クション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 大人憩いの家の委託先等の見直し 改善 大人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については、指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。	В	В
5 今行現在 市民,限からの要 望	参の対応(アクロックで) 認識してい 関係者 市民,関係 意見 等 (1)	クション) る 課 題 系者の名称 要 望 内 容	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。 平成 17 年 5 月		
5 今 7 現 在 1 市民 , 関	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アのロックで) (アのロック	クション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。 平成 17 年 5 月 要望:他で余剰となっていた机20脚と椅子40脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具名		
5 今行現 市か要 課題・要	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の	クション) る課題 系者の内容 対応期限 対応内容	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。 平成 17 年 5 月 要望:他で余剰となっていた机20脚と椅子40脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具名る。		
5 今行現在 市民,限からの要 望	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の	クション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。 平成 17 年 5 月 要望:他で余剰となっていた机20脚と椅子40脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具名る。		
5 今行現 市か要 課題・要	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アのロックで) (アのロック	クション) る課題 系者の内容 対応期限 対応内容	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 内容 老人憩いの家の委託先等の見直し 改善 内容 と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合 評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。 平成 17 年 5 月 要望:他で余剰となっていた机20脚と椅子40脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具名る。		
5 今行現 市か要 課題・要	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の) (京の	クション) ままれる では では かん	経費の節減(平成16年度)   改善内容   老人憩いの家の委託先等の見直し   投資   老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合   評価		
5 今行現 市か要 課題・要	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アのロックで) (アのロック	クション) る課題 系者の名称容 望中応期の内期の内期の内限 実施期限	経費の節減(平成 1 6年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   投善   と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日		
5 今在は、限の望います。 ままれる ままま こうしゅう はいかい ままれる はいかい ままれる はい かいがい ままれる はい	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3)	クション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	経費の節減(平成16年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   総合   内容   老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合		
5 今在 限の望 課題 のの他	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3) (3)	クション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	経費の節減(平成 1 6年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   投善   と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日		
5 今在 限の望 課題 のの他	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3)	クション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題   経費の節減(平成16年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合	こにより対	চিব
5 今在 限の望 課題 のの他	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3) (3)	クション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題   経費の節減(平成16年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   総合   内容   老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合	上により対生	চিব
5 今在 限の望 課題 のの他	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3) (3)	クション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題   経費の節減(平成16年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   総合   大・充	上により対は、「は、「は、「は、「は、」」とは、「は、「は、「は、」」とは、「は、「は、」」とは、「は、「は、「は、「は、」」とは、「は、「は、「は、」」とは、「は、「は、「は、」」とは、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	চিব
5 今在 限の望 課題 のの他	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3) (3)	クション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題   経費の節減(平成16年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   投善   老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合   評価     (1)利用者が固定している傾向がある。	上により対 生 1次評価実	চিব
5 現 市か要 課 へ そ改 の	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3) (3)	クション) の ままれる いっぱい から は の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 間 の 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の 限 の 限 の 限 の の の の	課題   経費の節減(平成16年度)   改善   老人憩いの家の委託先等の見直し   投善   老人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合	生1次評価実	চিব
5 現 市か要 課 へ そ改 の	参の対応(アクロックを) (アクロックでは、アクロックでは、アクロックでは、 (1) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) の ままれる いっぱい から は の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 間 の 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の 限 の 限 の 限 の の の の	課題  (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討)  社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等  課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。  平成 17 年 5 月 要望:他で余剰となっていた机 2 0 脚と椅子 4 0 脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具含。 平成 16 年 3 月  平成 年 月 無償ボランティアによる障子等の張替え等 市民から健康器具などの無償提供  ・利用者が固定していることについては,広報紙及び老人クラブなどを通じて機会ある毎に P R を行う。・指定管理者制度導入の検討の中で経費の節減及びサービスの向上についての方法、改民間委託	生1次評価実	চিব
5 現 市か要 課 へ そ改 の	参の対応(アクロックを) (アクロックでは、アクロックでは、アクロックでは、 (1) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) の ままれる いっぱい から は の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 間 の 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の 限 の 限 の 限 の の の の	課題    経費の節減(平成16年度)   改善を人憩いの家の委託先等の見直し   改善を人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   設善を人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止)   総合   対している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討)   社会福祉協議会及び開館利用者   老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等   課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。   平成	生 1次評価 実 寺 等 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	চিব
5 現 市か要 課 へ そ改 の	参の対応(アクロックを) (アクロックでは、アクロックでは、アクロックでは、 (1) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) の ままれる いっぱい から は の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 間 の 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の 限 の 限 の 限 の の の の	課題  (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討)  社会福祉協議会及び開館利用者  老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等  課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。  平成 17 年 5 月  要望:他で余剰となっていた机20脚と椅子40脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具合る。  平成 16 年 3 月  無償ボランティアによる障子等の張替え等 市民から健康器具などの無償提供  ・利用者が固定していることについては,広報紙及び老人クラブなどを通じて機会ある毎にPRを行う。・利用者が固定していることについては,広報紙及びサービスの向上についての方法。改良・指定管理者制度導入の検討の中で経費の節減及びサービスの向上についての方法。改良間委託	生しない対は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は	চিব
5 現 市か要 課 へ そ改 の	参の対応(アクロックを) (アクロックでは、アクロックでは、アクロックでは、 (1) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) の ままれる いっぱい から は の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 間 の 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の 限 の 限 の 限 の の の の	課題	生しな評価により対	চিব
5   現市か要課へ   そ改     報の望   要     で   他     で   1	参の対応(アクロックを) (アクロックでは、アクロックでは、アクロックでは、 (1) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション 課 名 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が 変 の 方 向 性 性	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 と人憩いの家の委託先等の見直し 改善 と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。 平成 17 年 5 月 要望:他で余剰となっていた机20脚と椅子40脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具含る。 平成 16 年 3 月 無償ポランティアによる障子等の張替え等 市民から健康器具などの無償提供 ・利用者が固定していることについては,広報紙及び老人クラブなどを通じて機会ある毎にPRを行う。・指定管理者制度導入の検討の中で経費の節減及びサービスの向上についての方法改合に関策を記録により、方法で表現、状態に対している。方針を出す。	生しな評価により対	চিব
5   現市か要課へ   そ改     報の望   要     で   他     で   1	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション 課 名 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が 変 の 方 向 性 性	課題 経費の節減(平成16年度) 改善 と人憩いの家の委託先等の見直し 改善 と人福祉会館の事業等の見直し(相談業務の廃止) 総合評価 (1)利用者が固定している傾向がある。 (2)管理運営経費の削減に向けた見直し(指定管理者制度導入による検討) 社会福祉協議会及び開館利用者 老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム及び机・椅子の設置等 課題の(2)については,指定管理者制度導入のための内部検討会を行い、方針を出す。 平成 17 年 5 月 要望:他で余剰となっていた机20脚と椅子40脚を配置した。内装のリフォームは,今後の痛み具含る。 平成 16 年 3 月 無償ポランティアによる障子等の張替え等 市民から健康器具などの無償提供 ・利用者が固定していることについては,広報紙及び老人クラブなどを通じて機会ある毎にPRを行う。・指定管理者制度導入の検討の中で経費の節減及びサービスの向上についての方法改合に関策を記録により、方法で表現、状態に対している。方針を出す。	生しな評価により対	চিব

( —	般事	[業]	事 業	コ ー ド	6110	150					部	長次	長記	課	長
77.	+ 1 r	ケロ	=	** &	жкол.	老边长眼龙声光									
平力	<b>X</b> 1 5	年度	<del>事</del> :	業名	<b>乳</b> 泛	者追悼関係事業									
										<u> </u>					
4	<del>=</del> 2	TT TO 1 :	# / l* . \												
			要(ドゥ)								1	1			
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	6	その他の業務					所 管	保健福祉	上部		
総	合言	計画		中	1	サービス提供業務	i				//I E	総務課			
政	策力	施策		小	1	サービス提供業務	i				所管課長日	名 歯朶 治	ì		
体		系		細							記入者氏	名 岡田 き	よよみ		
事		業	期		四五千口	<u> </u> 39年4月~		経常臨時	☑ 経常		電話番			内線	2501
	1kn					3 5 午 4 月 ~		紅吊師时	□ 紅吊					门級	2501
	拠		令 · 5								実施主				
実		施				直営	☑ 一部委託	ŧ	□ 全部	<b>逐</b>	☑ 補助金		負担金		
委			託	先		外郭団体委託	名称			□ 民間	委託 委託 内	] 容			
					・兵	庫県遺徳顕彰会へ	の分担金(兵庫	車県遺徳顕	彰会に県	内のすべての	自治体が加入	)			
事		業	Ø	概 要	・戦	争犠牲者慰霊碑(	霊園内4か所)	) への供花	米斗						
5		<b>/</b>	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1770	120	3 13x 12 12 12 12 1 ( .	<u> </u>	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	· · · ·						
					-+,+-		~ ^ <del>- 1144-11</del>	- mc	1 <del>1</del> 1 + 1 + 1 + 1 + 1	****** * * * * * * * * * * * * * * * *	+++ - / ·	- /屮 /土 、	^ /D.I		
		MI2	_			屋市戦没者遺族会					,			,	
事		業	の	現 状		年毎の節目の年は				-	丰度の予定 ,	場所はルナ・	ホール)		
		目的	実現のため	のの	・戦	争犠牲者慰霊碑(	霊園内4か所)	) への供花	へ毎月1[	回					
		手段	及び実施内	]容	・戦	没者数(本籍単位	) 552人 平成1	2年合同追	悼式 942	柱(戦没者823	8柱,戦災死沒	者76柱,海	外引揚物故	女者43柱	:)
					・遺	族会会員 約22	0人								
				指 煙 夕		式参加者数(遺族:									
			結果指標			13年度(実績)	,	ほ ( 実繕 )	亚成 1 5	年度(実績)	平成16年	度(日煙)	平成 1 7	生度 (	日標)
						,」。十反(天順)	一一以 1 4 十 反	人大限力			T/13% 1 0 4	及(口信)	T13X 1 /	十皮(	ロカオノ
			, ,	指標値						20人					
アワ	ト.	プット		単位コスト					8,9	6 7円/人		-			
指		標		指標 名											
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成 1 5	年度(実績)	平成 1 6 年	度(目標)	平成17	'年度(	目標)
			(2)	指標値											
				単位コスト											
1	古	바 라 1													
	<del>事</del> ?	<b>耒</b> / / /	果(アウ)	rua)											
			対	象	戦没	者遺族会会員									
			,,,	200	12/2	i einaan									
事意	業の	目的	対象カ	バー 率	対象	R 数 (a) 2	20人	受 益 数	(b)	120人	比率	(b ÷ a) %	5 4	. 5 5	%
対	象・	意 図						4. 4							
			意	図		市民が,平和に関	する事業などに	こ参加・行	動するこ	とにより,日本	本を含む世界	が戦争のない	1恒久平和	の実現を	を目指
			. — .	 E語にして)	<b>9</b> .										
			(X)3(C)												
_		+	+>	_ +h	全市	民が戦没者の御霊	に対して慰霊と	ヒ感謝の誠	をささげ	, 永遠の平和。	と郷土の繁栄	を祈念してそ	の実現に	寄与する	るとと
大		ਣ	な	日 的	もに	, 次代を担う人々	へ平和に対する	る意識の醸	成づくり:	をする。					
				指標 名	芦屋	市合同追悼式									
			中間成果	考え方・式	案内	状送付数 ( 戦没者:	遺族会及び戦災	災死没者遺	族会)( <sup>-</sup>	平成12年度	は約380人	)			
						13年度(実績)							平成 1 7	'年度(	目標)
7 1	ל ל	カム		指標値		( > 0,000 )		( )				- ( /	1	300/	-
指	<i>-</i>						1		I		<u> </u>		ניא	5 5 6 7	`
扣		標		指標名											
				考え方・式	·	405-1-1-		- / <del></del>		F +		÷ / = != :			
						13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成15	牛皮 ( 実績 )	平成16年	度(目標)	平成 1 7	牛度(	日標)
				指標値			<u>                                      </u>						<u>L</u>		
							<del></del>			·					
芦厚	≣市(	の特負	色など補品	足する事項											
			_ 110 /												
2	事》	<b>坐弗</b>	、二番九番刀、	<b>公(コフ!</b>	\ \				1 ## # # 12	(B) 00	住民11211/	m) 40	平成16.4.	1 仕尺=	℄⋆ムႌᇀ
	尹			<u>分(コスト</u>	<i>)</i>	4.2左座 / 法签:		E / >+ ^*	1世帯当り		住民1人当り(		一,70,10.4.	- 住氏星	4日版
事		業	費		半成	13年度(決算)	平成 1 4 年度		平成 15	年度(決算)	平成16年	<b>没(</b>			
		人	件費	88.8%				979		956		-			
		事	業費	11.2%			<u>                                      </u>	120		120		128			
内	訳	他部	7門経費									-	1		
			賃 却 費										1		
, 1	,	合	計	100.0%		0		1,099		1,076		128	1		
		-				U		1,000		1,070		120	1		
<b>-</b> -	\r	国	- 県		-								4		
財		市	債 等										4		
( Ŧ	円)	そ	の他										]		
		- ī	段 財源	100.0%		0		1,099		1,076		128			
活	動	職	員	100.0%				0.10		0.10		-	1		
配			;·臨時等				1					_	1		
HU (		^/A)       	<u> </u>			0.00		0.10		0.10		0.00	1		

評	<u>画(フェッフ)</u> 価 視	点				評価チェッ	カリフト				1次部/布	2次評価
яT			□ 車業の	主目的は明確	生である	町川川ノエク		事業の目的は一つに絞る	ことができた		八十二	2人計画
	目的妥当性(2~	- 2)				またけ青献度が享し		貢献度が不明確、または高		V 1		
						ょたは貝帆及が同じ づけられている		民間でやるべき、または対		7		
537	市関与(2~ 2)			心りのより云1 基本的な生活				他団体では見直しがされる		ଚ		
妥	1月第一(2~ 2)	)	□ 巾氏の	基本的は主に	らい維持に必	安じのる		心団体では見直しかされていずれにも該当しない	. 110			
当				ーズに基づい	ア行うがきす	= <del>**</del>		市民ニーズに基づいて行	・ 車 类 で けか	N N	3	3
=	市民ニーズ(2~	1)		ースに <del>を</del> フィ ニーズが高い							3	3
性	11155— 11/2	1)		ーーへが高い 〕 数字で把				ニーズが高いとは言えない	□ 未把挂	し)注 层		
8点						適応している		社会環境の変化にあわせ				
о <i>ж</i> .	社会環境変化(1	1 ~ 1)						和行進など)の取り組みは		v. <del>zz</del>		
	優先性,緊急性	=(1)				E命 , 安全等が損な		11111 (E.G.C.) (074X 7 MEO/1G.	210 (010)			
	対象カバー率(1	• •						□ 他団体よりカバ	一座が低い			
有	受益者(1~ 1)							益者が不整合,または受益				
4.1								実績値または目標値が未		_	•	4
効	成果の実績(2~	- 1)	1					実績値から成果があがって		ない	3	4
性	*84   4			でっていないは								
4点	- 成果向上余地(1	1 ~ 1)	☑ 成果向.	上策あり	終戦後	60周年は,市主催	で合同道	<b>追悼式を実施</b>	□ 特に	なし		
								比較できる団体はない	•			
	₩ / <del>\</del> \-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\	4)	□ 他団体の	の数字を把握	屋している	単位コスト		☑ 把握してい	ない			
効	単位コスト(1~	1)	┗ □ 他[	団体よりコスト	が低い	□ 他団体と同和	呈度	☑ 把握してい □ 他団体よりコスト	が高い			
			高い、またに	は低い場合の	理由	西宮市では市直	営で実施	Ē.				
	受益者負担(0~	- 1)	□ 負担を	求めることがて	できる事業で	ある 🖸 🛭	負担を求	めるべき事業ではない				
率	V血百克拉(0	1)	▶ □ 現	在 , 適正な負	担あり [	] 負担なし,過少	( $\square$	徴収不能・見直し不能	□ 徴収可能	<b>( )</b>	_1	-2
			直営事業(	正規職員が韓	執行)またはと	出資団体へ委託して					_ 1	- 2
	手段(1~ 3)		□ 正規職	員による執行	が義務づけ	られている		個人,家庭,地域等が担う	べき部分が	ある		
	J PX(1 0)		□ 民間(企	業 , NPO等)	では対応でき	ない業務である		民間(企業 , NPO等)で対応	可能である			
性			□ 嘱託,旣	<b>福時職員等で</b>	は対応できた	ない業務である		嘱託, 臨時職員等で対応	可能である			
3点	コスト削減取組(	(1 ~ 1)	□ コスト削	減の取り組み	メを行っている	3	V	特に行っていない				
		, ,	▶ 内容									
平成	15~16年	F 度 に	±⊞ 8⊼			改善				総合	D	В
実 施	1 5 ~ 1 6 年 し た 改 善	内 容	<b></b>			内容				評価	В	В
	<b>後の対応(アク</b> )	2/7//										
J 71	タリスルル ノーノー											
		<i>/ 1/ )</i>										
租在	·	·										
現在	認識している	·										
	認識している	る課題	芦屋市戦没者	<b>当请</b> 族会								
市民,関	認識している	る 課 題 者の名称										
市民,関	認識している	る 課 題 者の名称			₹60周年に	当たるため,市主	催で合	同追悼式の実施				
市民,関	認識している 間係者 市民,関係者 意見 意見,要	る 課 題 者の名称 望 内 容	平成 1 7 年度	度は,終戦後								
市民,関	認識している 間係者 市民,関係者 意見 意見,要	る 課 題 者の名称 望 内 容	平成 1 7 年度	度は,終戦後		当たるため,市主 であるので市主催						
市民,関	認識している 原係者 意見 意見 等	る 課 題 者の名称 望 内 容	平成17年度	度は,終戦後								
市民,関	認識している 関係者 意見 意見,要 (1)	る課題 者の名称 望内容 対応内容 実施期限	平成17年度	度は,終戦後	の節目の年 							
市民, 関 からの 要 望	認識している 関係者 意見 意見,要 (1)	る課題 者の名称 望内容 対応内容	平成17年度	度は,終戦後	の節目の年 							
市民, 関 からの 要 望	認識している 関係者 市民,関係者 意見 意見,要 (1) 実 要望等	る課題 者の名称 望内容 対応内容 実施期限	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成	度は,終戦後	の節目の年 							
市民,関からの要望	認識している 原子 意見,要 (1) (1) (2) 対応	る 課 題 都 名 容 字 対応 施 期 内 内 容 官 応 応 期 内 容 限 で の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の の に の の の の に の の の の の に の	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成	度は,終戦後度は,5年毎年	日の節目の年							
市民,関からの要望	認識している 関係者意見,要 (1) (2) (3)	る課 名の 内 容 早 対応 期 内 容 限 で が に が に が に が に が に が に が に が に が に か に か	平成 1 7 年度平成 1 7 年度平成	度は,終戦後度は,5年毎年	日の節目の年							
市民,関からの要望	認識している 関係者意見,要 (1) (2) (3)	る 課 題 都 名 容 字 対応 施 期 内 内 容 官 応 応 期 内 容 限 で の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の の に の の の の に の の の の の に の	平成 1 7 年度平成 1 7 年度平成	度は,終戦後度は,5年毎年	日の節目の年							
市民の要課題・要の	認識 している 高原 (1) 要望等 (2) 文字 (3)	る課 名の 内 内 内 内 内 限 内 下 体 応 期 内 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	平成 1 7 年度平成 1 7 年度平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年	月月月							
市か要課ので	認識 している 原係者 意見,要 (1) 要望等 (2) 対応 (3) では、第のでは、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一	る課 名の 内 内 内 内 内 限 内 下 体 応 期 内 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	平成 1 7 年度平成 1 7 年度平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年	月月月							
市か要課ので	認識 している 高原 (1) 要望等 (2) 文字 (3)	る課 名の 内 内 内 内 内 限 内 下 体 応 期 内 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	平成 1 7 年度平成 1 7 年度平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年	月月月							
市か要課ので	認識 している 原係者 意見,要 (1) 要望等 (2) 対応 (3) では、第のでは、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一	る課 名の 内 内 内 内 内 限 内 下 体 応 期 内 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年	日の節目の年	であるので市主催	で実施	する。 -	今後のブ		1次評価	2次評価
市か要課ので	認識 している 原係者 意見,要 (1) 要望等 (2) 対応 (3) では、第のでは、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一	る課 名の 内 内 内 内 内 限 内 下 体 応 期 内 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施		拡大·	充 実	1次評価	2次評価
市か要課ので	認識 している 原係者 意見,要 (1) 要望等 (2) 対応 (3) では、第のでは、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一	る課 名の 内 内 内 内 内 限 内 下 体 応 期 内 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡大・ 現状	充 実 維 持	1次評価	2次評価
市か要課への多の善し、要のものものものである。	認識 している 市民,関係 意見 (1) (2) (3) きが まかり は かり まれる ア またが	る 者 望 寸 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 €	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡 大 · 現 状 方 法	充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
市か要課への多の善し、要のものものである。	認識 している 原係者 意見,要 (1) 要望等 (2) 対応 (3) では、第のでは、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一では、第一	る 者 望 寸 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 €	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡 大 現 状 方 法 民間委	充 実 維 持 改 善 託 等	1次評価	2次評価
市か要課への多の善し、要のものものである。	認識 している 市民,関係 意見 (1) (2) (3) きが まかり は かり まれる ア またが	る 者 望 寸 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 €	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡 大 · 現 状 方 法 民 間 委 縮	充 実 維 持 改 善 託 等	1次評価	2次評価
市か要課への多の善し、要のものものである。	認識 している 市民,関係 意見 (1) (2) (3) きが まかり は かり まれる ア またが	る 者 望 寸 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 €	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡 大 · 現 状 方 法 民 間 委 縮 統合 / 終!	充 維 持 改 手 手 小 即設定	1次評価	2次評価
市か要課への多の善し、要のものものである。	認識 している 市民,関係 意見 (1) (2) (3) きが まかり は かり まれる ア またが	る 者 望 寸 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 € 村 €	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡 大 · 現 状 方 法 民 間 委 縮	充 維 持 改 手 手 小 即設定	1次評価	2次評価
市か要 課へ そ改 平成 の 要 り の の 番 の も の も り も り も り も り も り も り も り も り も	認識 している (1) (1) (2) (3) (3) (3) (4) (5) (4) (5) (7 ~ 19 年度の (7 ~ 19 年度の	る 者 望 寸 尾 が 尾 対 尾 が 容 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 ト 向 に か 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の ト サ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡 大 · 現 状 方 法 民 間 委 縮 統合 / 終!	充 維 持 改 手 手 小 即設定	1次評価	2次評価
市か要 課へ そ改 平成 の 要 り の の 番 の も の も り も り も り も り も り も り も り も り も	認識 している 市民,関係 意見 (1) (2) (3) きが まかり は かり まれる ア またが	る 者 望 寸 尾 が 尾 対 尾 が 容 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 ト 向 に か 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の ト サ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 平成 平成 平成	度は,終戦後 度は,5年毎 年 年 年 ,市主催で実	の節目の年 月 月 月 月	であるので市主催	で実施	する。 -	拡 大 · 現 状 方 法 民 間 委 縮 統合 / 終!	充 維 持 改 手 手 小 即設定	1次評価	2次評価

(一般	事業)	事業	<u> </u>	2610	020			部長次	長課長
平成15	5 年度	事	業 名	生活	困窮者に対する法律	N.扶助金給付 <b>事</b> 業			
1 720	, , ,	<b>-</b>	ж н						
		要(ドゥ)			[mail 1			1000	
				-		のある福祉社会づくり		│ │ │ │ │	<del></del>
総合			<u>中</u>	-	経済的困窮者への			生活援護	
政策			<u>小</u>	1	生活自立への支援			所管課長氏名礒野 -	
体	系業		細	1771411	4.5.5.4.0.4.0	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩		記入者氏名礒野 - 電 話 番 号0797-38	
事物		令 ・			45年4月1日~ 困窮者に対する法:	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時		-2042 内線 2511
根拠		<del>文 ' :</del>		土油			□ ☆如禾虻	実施主体市	<b>台</b> 中 <b>今</b>
委	施	託				□ 一部委託 名称	□ 全部委託	補助金 間委託 委 託 内 容	負担金
<del>y</del>		B C	7.					町安市 安 市 内 台  ₹低限度の生活を保障すると	シャキに
事	業	Ø	概 要	ı	暖音及り安休暖音で 自立を助長する。	の土石四躬日に対して,	147円入切金で配り 0取	(1以)収及の土冶で 体障すると	. C 01C
<del>-3-1</del>	*	0)	144 32	00	писикую.				
				( =	な法外扶助の種類	<i>走)</i>			
事	業	Ø	現 状			*	0円 老人ホーム λ	所者無年金者日用品費扶助	1 延べ65人
-		ミ現のため 実現のため						ムレス等応急扶助…63件=	
		ひ実施内				ザ予防接種自己負担額扶			
								自己負担金…3,400円	
			指標 名			<u> </u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標値	i	115件	112件	121件	120件	120件
アウト	プット		単位コスト						
指	標		指標 名	支給	金額				
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績)		平成17年度(目標)
		(2)	指標 値	2	,086,772円	1,842,695円	2,174,000円	2,000,000円	2,000,000円
			単位コスト						
2 事	業成	果(アウ	<u>トカム)</u>						
		対	象	被保	護者及び要保護者				
= ** 0					- WL ( )	TF 24 W		III. + () > 0(	I
			バー 率	对》	R 数 (a)	受 益 数	(b) 165人	比 率 (b ÷ a) %	
対象・	忠 凶	意	NY.	被保	護者及び要保護者の	の生活困窮者に対して ,	法外扶助金を給付し最	低限度の生活を保障すると	ともに、その自立を助
			と 注語にして)	長す	る。				
		(X)8(C)	LILICO C)						
大	き	な	目 的	生活	困窮者に早期の自	立を促す。			
			指標 名	公立	・私立高校入学準位	<b>着金受給件数</b>			
		中間成果	考え方・式	向学	心・就学意欲の向.	上・将来の自立助長			
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	カム		指標 値		1件	1件	1件	1件	1件
指	標		指標 名						
			考え方・式				T		
		指 標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	半成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値	<u> </u>					
# P +	O #+ ^	Z +> 12 →+ F	コナッキャ						
户座巾	の特E	らなど 伸え	足する事項						
2 車:	<b></b>	(千番)和1	分(コスト	\			1世帯当り(円) 141	住民1人当り(円) 61	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	<u>/白纵化</u> 費			13年度(沖質)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)		十/从10.4.1 住民基本日報
7	<del>*</del>				13年及(八弁)	908	1,993	` `	-
	事	業 費				1,843	3,462		-
内 訴		<u>常</u> 引門 経費				.,0.0	0,102	_	1
		賞 却 費						_	
, , , , ,	合	計			0	2,751	5,455	0	
	国	・ 県							1
財 源	市	債 等							1
(千円)		の他							
	- 1	段 財源	100.0%		0	2,751	5,455	0	]
	職	員				0.15	0.25	-	]
		・臨時等	0.0%			0.00	0.00	-	
(人)	合	計	100.0%	5	0.00	0.15	0.25	0.00	

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1 / 左 = 17 / 西	2次評価
рТ			一八叶叫	2八計画
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	, ,	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	ີ 5	5
-	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	-	
O.M.	社会環境変化(1~1)	内容		
	盾件件 取名件(4)		-	
	優先性,緊急性(1) 対象カバー率(1~ 1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	+	
<del>_</del>		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定	_	
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	2	1
		▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		•
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	- 成未円工水池(1 1)	□ 成果冋上策あり □ □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	W (2 1 (4 4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 也団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )	_	_
率			⊣ 0	-3
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	312(. 0)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コフ L 当心成 円7/07/4 4 1	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取組(1~ 1)	→ 内容		
平成	15~16年度にした改善内容	改善  総合   課題	B	В
天 ル		·		
5 今往	<b>麦の対応(アクション)</b>		_	
	,			
現在意	認識している課題			
市民、関	関係者 市民,関係者の名称	,		
からの	音目			
更 望	意見意見,要望内容			
女主	<del>5</del>			
	対応内容			
	(1) 安松期間			
≐田 8吉	実施期限	平成		
課題·要	対応内容			
	(2)			
へ の s	対応実施期限	平成		
	対応内容			
	(3)			
	実施期限	平成   年   月		
その他	き考えられる			
改善	カ ア イ デ ア			
		今後の方向	生 1次評価	2次評価
		現状を維持する。 拡大・充当	実	
		現状維		
		方法改		
亚成 1	7~19年度の方向性			
1 13%		-	ŗ	
		软定	ls.	
	7 7 2 6 75 15 12	1778	<u>}\</u>	
		統合/終期設/	Ē	
		· ·	Ē	
2 1/		統合/終期設 廃 止 / 休 <u></u>	Ē	
2 次 評		統合/終期設/	Ē	

/ An :	= Mr /	<del>+</del> **		00400	22			÷n = \_	E +
(一般	事 業)	事業	<u>コード</u>	26100	30			部長次	長課長
平成1	5年度	事	業 名	援護資	資金貸付審査業務				
		要(ドゥ)							
		まちづく	りの目標	2 1	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり		保健福 所 管 課 ルンド	祉部
総合		l	<del> </del>		経済的困窮者への			生活援	APS A-1-
政 策	施策	4	小	1 :	生活自立への支援			所管課長氏名礒野	一夫
体	系		細					記入者氏名礒野	一夫
事	業	期	間	昭和4	45年4月1日~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-3	8-2042 内線 2511
根 拠	法	令 ' 引	要 綱 等	芦屋市	市援護資金貸付条係	列・同施行規則		実 施 主 体市	
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□補助金□□	負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称	□民間	香託 委託 内容	
				短期的	りに生活困難な世界	帯に金銭貸付援助をする	ことにより,短期的に	自立を促す。	
事	業	の	概 要						
				(貸付	付資金の種類等)第	短期的に生活困窮に落ち	る世帯に対し生活資金を		
事	業	Ø	現 状			0万円以内) 無利子			
-		€現のため		-	•	0万円以内) 利子=年			
		び実施内	· -		•	0万円以内) 無利子			
	J PX		. 🗀			0 万円以内 ) 無利子 0 万円以内 ) 無利子			
			指標名			- 1111-2011 J - 2001 J - 11			
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(宝績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
								, ,	
<b></b>	<b>-</b>		指標値		3件	2件	3件	4件	4件
アウト			単位コスト						
指	標		指標名				T		T
		結果指標				平成14年度(実績)			
		(2)	指標値	7 (	00,000円	400,000円	900,000円	1,000,000円	1,000,000円
			単位コスト						
2 事	業成界	艮(アウト	<u>`</u> カム)						
		対	免	结钳的	5に生活困窮とか;	る世帯で , 本事業を利用	はることに上げ早期のほ	白立が目込める	
		נא	<b></b>	/立州口	別に土冶四男とは	3 世市で、平尹未を利用	リッることにより十州の	ョエル兄匹のる。	
事業の	目的	対象力	バー率	対 象	数 (a) 申請·	件数3件 受益数	(b) 貸付承認件数3	件 比率 (b ÷ a) <sup>(</sup>	% 100%
対象·	意 図								
		意	図	生活資	資金等を貸し付け、	短期的に自立を促す。			
		(対象を主	三語にして)						
大	き	な	目 的	生活自	自立の支援				
			指標 名	貸付和	钊用率(%)				
		中間成果	考え方・式	貸付剤	承認件数 / 申請件数	数×100			
		指 標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	カム		指標値		3件	2件	3件	4件	4件
指	標		指標名					l .	_L
-		最終成果							
		4×11×11×11×11×11×11×11×11×11×11×11×11×11							
		华 煙			1 3 年度 ( 宝结 )	平成 1 <i>1</i> 年度 ( 宝績 )	平成15年度(宝績)	平成16年度(日標)	□ 平成17年度(日煙)
			年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
				平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
古层市			年 度 指 標 値	平成	1 3年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
芦屋市			年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	の特色	色など補足	年 度 指標値 ピする事項	平成	1 3年度(実績)	平成14年度(実績)			
3 事	の特色	きなど補足 活動配:	年 度 指標値 ピする事項 分(コスト	平成			1世帯当り(円) 90	住民1人当り(円) 3	平成 1 7 年度(目標)
	の特色 <b>業費・</b> 業	色など補足 活動配: 費	年 度 指標値 ピする事項 分(コスト 構成%	平成		平成14年度(決算)	1世帯当り(円) 90 平成15年度(決算)		
3 事	の特色 <b>業費・</b> 業 人	きなど補足 活動配 費 件 費	年 度 指標値 ピする事項 分(コスト 構成% 74.2%	平成		平成14年度(決算) 2,017	1世帯当り(円) 90 平成15年度(決算) 2,591	住民1人当り(円) 3	
3 事	の特色 業費・ 人 事	きなど補足 活動配: 費 件 費 業 費	年 度 指標値 ピする事項 分(コスト 構成%	平成		平成14年度(決算)	1世帯当り(円) 90 平成15年度(決算)	住民1人当り(円) 3	
3 事	の特色 業費・ 業 人 事 他部	きなど補品 活動配: 費 件 費 費 門 経費	年 度 指標値 ピする事項 分(コスト 構成% 74.2%	平成		平成14年度(決算) 2,017	1世帯当り(円) 90 平成15年度(決算) 2,591	住民1人当り(円) 3	
3 事	の特色 業費・ 業 人 事 他部	きなど補足 活動配: 費 件 費 業 費	年 度 指標値 ピする事項 分(コスト 構成% 74.2%	平成		平成14年度(決算) 2,017	1世帯当り(円) 90 平成15年度(決算) 2,591	住民1人当り(円) 3	
3 事	の特色 業費・ 業 人 事 他部	きなど補品 活動配: 費 件 費 費 門 経費	年 度 指標値 ピする事項 分(コスト 構成% 74.2%	平成 )		平成14年度(決算) 2,017	1世帯当り(円) 90 平成15年度(決算) 2,591	住民1人当り(円) 3 平成16年度(予算)	
3 事	の特色業費 人事 他部 領域 個	きなど補足 活動配費費費費 件費費費費費	年 度 指標値 ごする事項 分(コスト 構成% 74.2% 25.8%	平成 )	1 3年度(決算)	平成14年度(決算) 2,017 400	1世帯当り(円) 90 平成 1 5 年度 (決算) 2,591 900	住民1人当り(円) 3 平成16年度(予算)	9 平成16.4.1 住民基本台帳
3 事 事 内 部 (千円	の特色 業 人事 他減合 国	きなど補品 活動配 費費費 費費費 計	年 度 指標値 ごする事項 分(コスト 構成% 74.2% 25.8%	平成 )	1 3年度(決算)	平成14年度(決算) 2,017 400	1世帯当り(円) 90 平成 1 5 年度 (決算) 2,591 900	住民1人当り(円) 3 平成16年度(予算)	9 平成16.4.1 住民基本台帳
3 事 内 (千円) 財 源	の特色 業 人事 他減 合国市	きなど補品 活動配費 費費費費 計県	年 度 指標値 ごする事項 分(コスト 構成% 74.2% 25.8%	平成 )	1 3年度(決算)	平成14年度(決算) 2,017 400	1世帯当り(円) 90 平成 1 5 年度 (決算) 2,591 900	住民1人当り(円) 3 平成16年度(予算)	9 平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	の特色業人事他減合国市そ	さると 活動配 費費費費 計県等他	年 度 指標値 ごする事項 分(コスト 構成% 74.2% 25.8%	平成 )	1 3年度(決算)	平成 1 4年度 (決算) 2,017 400 <b>2,417</b>	1世帯当り(円) 90 平成 1 5 年度 (決算) 2,591 900 3,491	住民1人当り(円) 3 平成16年度(予算)	9 平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	の特色	さる が	年 度 指標値 マインスト 構成% マインスト 100.0%	平成 )	1 3年度(決算)	平成 1 4年度 (決算) 2,017 400 2,417	1世帯当り(円) 90 平成15年度(決算) 2,591 900 3,491	住民1人当り(円) 3 平成16年度(予算)	9 平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	の特色 業 人事 他減合 国市 そ 一職	さると 活動配 費費費費 計県等他	年 度 指標値 ごする事項 分(コスト 構成% 74.2% 25.8%	平成 )	1 3年度(決算)	平成 1 4年度 (決算) 2,017 400 <b>2,417</b>	1世帯当り(円) 90 平成 1 5 年度 (決算) 2,591 900 3,491	住民1人当り(円) 3 平成16年度(予算)	9 平成16.4.1 住民基本台帳

評	<u>I叫(クェク))</u> 価 視	· ·	評価チェックリスト	1 1/7	並価	2次評価
HI			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができた。		п і іші	2 / <b>/</b> (1)
	目的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の生日的は明確である □ 事業の生日的は □ 戸に放るととができる □ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	***		
			□ 事業成業が主位施業に不引入、または貢献及が同い □ 貢献及が不明確、または同くない □ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能であ	5.Z		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている	9.9		
- <del>y</del>	10181-0(2	2)	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	ない	1	5
	市民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ 「「RC」 人に塗りいて打り事業では、 □ ニーズが高いとは言えない,または未		•	J
性	1520- 7(2	- ')	☑ 一 大が高い □ 一 大が高いには日だない。などは木			
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが			
0,,,,,	社会環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	内容 金額の見直し,事業を銀行に業務委託できないか。(償還事務も含めて)	202		
	優先性,緊急	.性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対象カバー率	. ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	,1		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限	定		
**	世界の実体/	0 4)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		,	2
効	成果の実績(	2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	itan 3	)	3
性	- 成果向上余均	<b>址</b> (4 4)	成果があがっていない場合			
4点	- 成未円工ホル	B(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特日	になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 把握していない			
効		- 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(	0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	×===(	.,	L→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可	能 )	1	-2
'			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•	_
	手段(1~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分か			
	312(* 5)	,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	5		
性			☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない			
			→ 内容			
平 成	15~16 した改長	年度に	改善	総合評価	2	В
実施	した改善	善内容	内容	評価	ر	D
5 今	後の対応(ア	クション)				
, ,	( )	<i>,,,</i>	利用件数が増えるかもしれないが,調査・貸付・償還事務を含めて銀行に委託できるのではない			
現在	認識してい	る課題				
市民, 厚	関係者 市民,関係	係者の名称				
からの	意見意見,	= 胡 巾 宓				
要望	. 等	女堂内台				
		対応内容				
	(1)	ניוטוונג				
		実施期限	平成 年 月			
課題·要		対応内容				
	(2)					
への:	対 応	実施期限	平成 年 月			
		対応内容				
	(3)					
		実施期限	平成			
204	也考えられる					
	u ちんっれる の ア イ デ ア					
IX #	0) ) 1 ) )		会後の	方向性 1次	並佈	2次氫価
			日本の		ᇚᄤ	4人計画
			ので、市職員の人件費を考えれば充分に価値があるのではないか。 現 状		+	
			方法		$\dashv$	
平成 1	7~19年度	の方向性			1	
	. , 1 152	⊥				
			Marian	<u>/</u> ]\		
1			The state of the s			
				8期設定		
			統合/終	8期設定		
2 次 部	平価委員会	コメント	統合/終	8期設定		
2 次 評	平価 委員会	コメント	統合/終 廃止/	8期設定		

( -	般	事訓	業)	事業	コ	-	ド 2620	010				I	部		長次	長	課	長
平月	式 1	5 年	F度	事	業	4	1 災害	援護資金償還事務										
' '	-~ ·		<i>``</i> ~	<b>J</b>	<i></i>			XXXX 11 (X 2 7 1)				]						
1	由	<del>Л</del> К.	<del>1</del> 87 2	缶 / じょヽ														
				<u>要(ドゥ)</u> またづく	' 11 4	л <del>п і</del>	<b>画</b> 2	母 かかで かくまけ	のある福祉社会づく	/ I1					保健福祉	L立R		
		計			<u>, りし</u>	ル 日 fi		経済的困窮者への		( )			所	管	課性活援證			
			策		<u>小</u>			被災者の生活再建					所管	管課長氏	名機野 -			
体	<i>&gt;</i> /<	"	系		細			IXXII O ZIII IX	- 147 Z.J.Z						名 仙石 光			
事			業	斯		F	引平成		手度 経常	臨時	□ 経常 ☑	臨時			号 0797-38		内線	2552
	拠					綱(	9 災害	弔慰金の支給等に	関する法律,施行令					施主				
実			施	手			<b>*</b> 🗹		□ 一部委託		□ 全部委託	ŧ		補助金		負担金		
委				託		5	ե 🗆	外郭団体委託	名称			□ 民間	委託	委託内	容			
							阪神	・淡路大震災の被災	災者に貸付けた災害	援護	資金を回収し	, 県へ償	還する	3.				
事		業		の	概	3			居え置き。平成12		•		5 年間	間償還。 元	利均等払し	∖償還。		
									4,000千円 貸			7件						
		MI		_		-1			半年賦償還毎月				144.5		. — —			
事			. <del>6</del> 65		現	ł			4 , 7 3 6 千円 全									
				€現のため 及び実施内				•	還された元金を県へ おいて,借受人が無									TOHC
		7	FX	くび夫心と	分				のいて,恒安人が無 り支払が可能となるが									
					指	煙 4	_	書及び督促件数(現		<b>Д</b> О,	BICOVICION	7 5 % (0)	良松;		C1X11 7 8	_ 02/1 亚 1 /2	77.010	2010.
				結果指標	•				平成14年度(実	績)	平成15年度	(実績)	平	成 1 6 年度	ま(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(1)	<u> </u>				約8,000件		約12,3			約13,(	, ,			, , , ,
ア	ウト	プッ	ット	` ′	_	位コス	_		-									
指			標		指	標・	3償還	金額										
				結果指標					平成14年度(実		平成15年度	(実績)	平	成16年度	を (目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(2)	指	標(	直 5	87,561千円	516,066 <del>1</del>	田	454,02	2 4 千円	3	70,4	9 1 千円			
		. 3112				位コス	<b> </b>											
2	事	業	<u>成</u> 与	果(アウ	<u>トカ</u>	<u>ム)</u>												
				対		\$	東 阪神	・淡路大震災の被災	災者で,災害援護資	金の	借受人及び保護	証人						
事	業の	D 目	的	対象力	ノバ	<u> </u>	室 対 爹	象数 (a)	受 證	<b>益数</b>	(b)			比率(	÷ a) %			
		・意									, ]			, ,	,			
				意		[	図 災害	援護資金貸付金借	受人が貸付金を円滑	に返	済できるよう	に指導して	てい	<.				
				(対象を言	主語	にして	)											
					_													
大		ਣ		な	Ħ	В	引・災	害援護貧金の円滑を	な回収を図るととも	に適	切な債権官埋。	•						
					+6	標・	フ 偿温											
				中間成果				HR.										
					[年		_	13年度(実績)	平成14年度(実	績)	平成15年度	(実績)	平	成16年度	ま(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ウト	トカ		J. 12.		標値		87,561千円	516,066 <del>1</del>		454,02	, ,		70,4			(	.,,
指			標		_			償還件数										
				最終成果	考	え方・コ	ť											
				指 標	年	Į.	更 平成	, ,	平成14年度(実	績)	平成15年度	(実績)	平	成16年原	₹(目標)	平成 1	7年度(	目標)
					指	標(	直	1,316件	1,388件		1,46	1件		1,37	′ 1件			
<b></b> .			44.6	- 1. 18 <del>1. 1</del> . 1			- (-> / 1	A = = 0/ = A TILL										
户	至巾	י כט נ	特色	はなど伸え	王 9	る事」	貝貸何	金の3%の金利はr	市の歳入となってい	る。								
2	車	业	弗.	(千香) 而口	<u>~</u>	77					1 ## # #   1 / 四 \	004	住民	1 1 半 11 / 田	) 250	亚出6/	1.1 住民基	ⅎ⋆ℴℎℾ
事	<del></del>		<u>貝</u> 業	活動配 費		<u>コム</u> 構成%		13年度(沖筲)	平成14年度(決	笛)	1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	ļ	_	1人当り(円 成 1 6 年度		十成10.4	1.1 住氏	24日版
77		Т,	*	件費	_	94.4		34,639		,321	十八八十八十八	30,141		J. 1 0 - 13	-	1		
			<u>`</u>	業費	1	5.6		5,715		,236		1,796			7,708			
内	ŧ	沢代	也部	門経費				-,		,		,			-			
( <del>1</del>		_		償却費	-										-			
		<b>£</b>		Ħ	_	100.0	%	40,354	48,	557		31,937			7,708	1		
		Ξ		・県	!	11.3	%	3,609	3,	,609		3,609			3,609			
財		原市		債 等	_						-							
( <del>1</del>	円	) そ		の他	-	95.3		69,729		,547		30,432			30,000	1		
				<b>以 財源</b>	_	-6.6		-32,984		401		-2,104			-25,901	1		
活		動職		<b>原吐祭</b>	_	62.6		3.80		3.35		3.35			-	1		
配	-	分帽		·臨時等	_	37.4	_	2.00		2.00		2.00 <b>5.35</b>			0.00			

		1次評価	2次評価							
	口的可以	#(0 0)	☑ 事業	業の主目的に	は明確である	3	□ 事業の目的は一つに絞るる	ことができない		
	目的妥当的	±(2~ 2)	□事業	業成果が上位	<b>ス施策に不る</b>	可欠,または貢献度が高い	□ 貢献度が不明確、または高	「〈ない		
			☑ 市#	が実施するよ	う法律等で	義務づけられている	□ 民間でやるべき,または対	応可能である		
妥	市関与(2~	~ 2)	□市目	えの基本的な	生活の維持	寺に必要である	□ 他団体では見直しがされて	เาอ		
							□ いずれにも該当しない			
当			□市目	民ニーズに基	づいて行う	べき事業	☑ 市民ニーズに基づいて行う	事業ではない	3	2
	市民ニース	ズ(2~ 1)	└-▶	□ ニーズか	高い		□ ニーズが高いとは言えない	,または未把握		
性				□ 数字	で把握して	いる		□ 未把握		
8点	<b>社会理培z</b>	变化(1~ 1)	□事第	業に関わる社	会環境の変	ど化に適応している	□ 社会環境の変化にあわせた	た見直しが必要		
	社工场况外	支(L( l == 1)	<u> </u>	内容						
	優先性,緊	<b>緊急性(1)</b>	□事業	業を実施しな	ければ , 市	民の生命,安全等が損なれ				
	対象カバー	- 率(1~ 1)	☑ 対象	象カバー率は	高い	□ 他団体と同程	度 □ 他団体よりカバ	ー率が低い		
有	受益者(1~	~ 1)	☑ 事業	業意図と受益	者は整合し	ノている □ 事業意図	図と受益者が不整合 , または受益だ	が一部に限定		
効	成果の実績	清(2~ 1)	1 1				ハる□ 実績値または目標値が未記	入5	3	4
~/3	72200	9₹( <b>2</b> 1)				べっていると言える	□ 実績値から成果があがって	いると言えない	5	_
性	- 成果向上名	余地(1~ 1)		<b>ヾあがっていた</b>	い場合					
4点	7,0,7(1,1,1,1,7)	J. ( )		果向上策あり				□ 特になし		
				蛟できる団体		団体名	□ 比較できる団体はない			
	単位コスト	(1 ~ 1)	1 1			1る 単位コスト	☑ 把握してい			
効		,	II.			1 □ 他団体と同程	度 □ 他団体よりコストカ	が高い		
				または低い場						
	受益者負担	垣(0~ 1)		担を求めること	-		担を求めるべき事業ではない	7		
率							(□ 徴収不能·見直し不能 □	」 徴収可能 )	0	-3
				•		たは出資団体へ委託して				•
	手段(1~	3)		見職員による	執行が義務	うづけられている	□ 個人,家庭,地域等が担う			
	·	,		引(企業 , NPC	)等)では対	応できない業務である	□ 民間(企業, NPO等)で対応			
性						できない業務である	☑ 嘱託,臨時職員等で対応す	可能である		
3点	コスト削減	取組(1~ 1)		\小削減の取り 	組みを行っ	っている	☑ 特に行っていない			
			<b>▶</b> ⊅	7谷						
平成	1 5 ~ 1	6 年 度 に 善 内 容	・ 全甲旦百			改善		総合	В	В
実施	した改	善内容				内容		評価	Ь	Ь
5 全省	後の対応()	アクション)								
7 / 12	× • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	, , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>	破産、相	続放棄 個力	. 再生 . 行7	5不明等法的に同収不能と	なる者及び期限までに償還できな	ハ者について市の負	担となり	らない
現在意	忍識して	いる課題				災市の要望として国・県に			.,	0.10
			1			正人に対して法的に有効な				
市民,関	係者 市民,	関係者の名称	1							
からの	意見。	,要望内容								
要望	等思見	,要望内谷								
		対応内容								
	(1)	刈心内谷								
		実施期限	平成	年	F	]				
課題·要	望等	社内市家			•					
	(2)	対応内容			_					
へのタ	付 応	実施期限	平成	年	F	]				
		対応内容		<del></del>						
	(3)	אנייטיוניג								
		中批明阳	TT EÜ	年	F					
		実施期限			3 M4 1 M 1 M 12					
_	<b>.</b>		遠隔地へ	の訪問によ						
	考えられ	3	遠隔地へ	への訪問によ 図間を活用し						
	 考えられ D ア イ デ	3	遠隔地へ							
		3	遠隔地へ 休日・夜	<b>で間を活用し</b>	て償還督励	i).	A O O MATTER TO A CALL FOR THE COLUMN TWO IS NOT THE COLUMN TWO IS	今後の方向性		2次評価
		3	遠隔地へ 休日・夜 平成 1 7	でででである。   年度に最終的	て償還督励	动。 迎えますが , その後 1 、 C		拡大・充実		2次評価
		3	遠隔地へ 休日・夜 平成 1 7 に対する	を を を を は は は は は は は は は は は は は は は は	て償還督励 賞還期限を 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。		拡 大 · 充 実 現 状 維 持		2次評価
改 善 0	D ア イ デ 	3 7	遠隔地へ 休日・夜 平成17 に対する 現状,償	を活用し 年度に最終係 ら償還対応業 に選指導員2名	て償還督励 賞還期限を 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。		拡 大 · 充 実 現 状 維 持 方 法 改 善		2次評価
改 善 0	D ア イ デ 	3	遠隔地へ 休日・夜 平成17 に対する 現状,償	を活用し 年度に最終係 ら償還対応業 に選指導員2名	て償還督励 賞還期限を 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。		拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等		2次評価
改善の	D ア イ デ 	3 7	遠隔地へ 休日・夜 平成17 に対する 現状,償	を活用し 年度に最終係 ら償還対応業 に選指導員2名	て償還督励 賞還期限を 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。		拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮		2次評価
改 善 0	D ア イ デ 	3 7	遠隔地へ 休日・夜 平成17 に対する 現状,償	を活用し 年度に最終係 ら償還対応業 に選指導員2名	て償還督励 賞還期限を 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。		拡大・充実現       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       統合/終期設定		2次評価
平成1	D ア イ デ 7 ~ 1 9 年 J	る ア	遠隔地へ 休日・夜 平成17 に対する 現状,償	を活用し 年度に最終 ら償還対応業 選指導員2名 います。	て償還督励 賞還期限を: 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。 哉員で対応していますが増	員する必要があるのではないかと	拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮小統合/終期設定       廃止/休止		
平成1	D ア イ デ 7 ~ 1 9 年 J	る ア	遠隔地へ 休日・夜 平成17 に対する 現状,質 :考えてい	を活用し 年度に最終 ら償還対応業 選指導員2名 います。	て償還督励 賞還期限を: 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。 哉員で対応していますが増	員する必要があるのではないかと	拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮小統合/終期設定       廃止/休止		
平成1	D ア イ デ 7 ~ 1 9 年 J	る ア	遠隔地へ 休日・夜 平成17 に対する 現状,償	を活用し 年度に最終 ら償還対応業 選指導員2名 います。	て償還督励 賞還期限を: 務が増加る	加。 迎えますが,その後1、 0 することが想定できます。 哉員で対応していますが増		拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮小統合/終期設定       廃止/休止		

(一般	事業)	事業	<u> </u>	۲	26200	020				Ī	部	長	次	長	課	長
平成1			業			遺児就学激励金支網	<u></u> 企事発									
T 17% 1	J + 1X	. <del>T</del>	*	Н	灰火	<b>运儿似于/</b> 旅伽亚文i	11 <del>17</del> 17									
1 事	業概	要(ドゥ)	)													
第3次	古屋市	まちづ		目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	会づくり			所 管	課	保健福祉	:部		
総合			中			経済的困窮者への							生活援護			
政策			小		2	被災者の生活再建	への支援				所管課長					
<u>体</u> 事	<u>系</u> 業			胆	ᅲ	8年1月~平成2。	1 年 2 日	<b>经</b> 带际吐	□ 経常 ☑		記入者電話		仙石 輝 0797-38-		内線	2552
	<del></del> 法		要綱			市社会福祉「友愛」								2041	门級	2552
実			<u>文 ハラ</u> 手		<i>,</i> <u>,</u> <u>,</u> <u>,</u> .				□ 全部委託					負担金		
委		託				外郭団体委託	名称				委託 委言					
						・淡路大震災により						を支給	する。			
事	業	の	概	要	小学:	生・中学生・高校会	生〔高等専門学	校のとき	3 学年〕を対	象としてに	いる。					
					句任	4月に申請案内を	して 0日と2	9日に公日	・ア古絵してい	z						
事	業	Ø	現	状	<b>#</b> +	4月に甲酮条内を	UC,9AC3	ЯКЛІ	CZMOCII	<b>ာ</b> ့						
3		ェノ 実現のた		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,												
		及び実施														
		/+ TT !!= !	指標					/ <del>                                     </del>		/ <del>                                     </del>	<del></del>	c /= :-	/ <b>□</b> ±= \	<del></del>	7 F == 1	_ <del>_</del>
		結果指標	•		半成	13年度(実績)	平成 1 4 年度 4 件		平成 1 5 年度 4 件	( ,	平成 1 6	5 年度( 4 件	(日標)	平成 1	7年度(	日標)
アウト	プット	(1)	指標単位コ		4	80,000円	5 4 0 , 0		600,0		6.0.0	<del>41+</del> 0,00	0 0 円			
指	・ 標		指標			00,00013	3 1 0 7 0	0 0 1 3	000,0	0 0 1 3		, , ,	, 013			
		結果指標			平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1 6	5 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(2)	指 標	値												
	NIZ -15		単位コ													
2 事	業风:	果(アウ 	<u>(トカム)</u>													
		対		象	阪神	・淡路大震災の被	災者の遺児で小	\学校・中	学校・高校在	学生〔35	<b>手生</b> 〕					
事業の	目的	対 象:	カバー	率	対象	き数 (a)	4人	受 益 数	( (b)	4人	比:	率 (b	÷ a) %		100%	
対象·									. ( )		1					
		意			震災	遺児が受ける就学の	の経済的な支援	爰となる。								
		(対象を	主語にし	て)												
大	き	な	目	的	重巛;	遺児の就学における	スタンでは	球球 乃	7 以分免分免请	I日が1 Q i	岳. 草桥?	年を終	マオスキ	で継結で	۲z	
	c	<i>'</i> &	Ħ	מם	辰火	夏元の机子 にのける	の紅角的な貝だ	2年主/呪。 /メ	(0次) 家刈家庭	DENJ. I OF	成 「 同1又 3	+ C # S	: 1 २ ० ४		າ ຈຸ	
			指 標	名												
		中間成身	考え方													
			票年		平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1 6	5年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウト		-	指標		<i>=</i> ///	.e.10+1\-\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	* +v									
指	標		指 <u>標</u> 考え方		莀災)	遺児就学激励金対象	<b>家</b> 百									
			票年		平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1 6	5年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		1	指標		1 7-20	4名	4名		4名		1 7-70	- 1,2	( – 1.5. )	1 7-70		- I.M. /
			· L								I.					
芦屋市	の特	色など補	足する	事項												
າ <del>ສຣ</del> ∶	ᄣᇔ	ンイチもず	1/\ / — -	<b>7</b> 1 \	\						0 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1					t_L /\ 4E
3 事	美 <u>寶</u> 業	・活動配				13年度(決算)	亚式 1 1 年度	(油質)	1世帯当り(円) 平成 1 5 年度		住民1人当 平成16			半成16.4	1.1 住民基	本台帳
<del>*</del>	人			% 5.3%	十水	346	十八八十十尺	338	十八八八十尺	328	十/)人(	3 十皮(	、」′异丿			
	事			4.7%		480		540		600			600			
内 訴	他音	『門経														
(千円)		面償却聲											-			
	合		_	0.0%		826		878		928			600			
財 源	国由		等													
(千円)			<del>5</del> 也													
(113		<u>~´'</u> 般財湯	_	0.0%		826		878		928			600			
活 動	力職		_	0.0%		0.05		0.05		0.05						
配分		・臨時等	等													
(人	) 合	ŧ	it 100	0.0%		0.05		0.05		0.05			0.00			

	叫(アエツク)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
			☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性(2	2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
107	<b>→</b> ■□ ⊢ /o	0)			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			☑ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	1	2
	市民ニーズ(2	2 ~ 1)	└─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	*! A *!!!	1	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	内容		
	優先性,緊急	性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	, ,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	又血目(1	1)		_	_
効	成果の実績(2	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	2	4
	,		▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		
性	- 成果向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	7-X7K1 3±23(*)	<b>D</b> (,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	出たコフレル	4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1 ·	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
			□ 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0	0 ~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)		
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	$\dashv$ 0	-2
	手段(1~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
			<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	- V 1 133# W 1X	,,( · · · /	→ 内容		
ਜ਼ 🕂	1	年 庄 仁	75美	_	_
宇施	15~16 した改善	年 及 に 差 内 容	課題 内容 内容		B
~ "E	0 /2 12 1	<b>a</b> ,, n			
5 今1	後の対応(アク	<b>クション</b> )			
現在	認識してい	る 課 題			
市民,関	関係者 市民,関係	系者の名称			
からの	意見				
要望	首 貝 9	要望内容			
	- 1				
	(1)	対応内容			
	(1)				
+m e= ==	= +B AA	実施期限	平成 年 月		
課題·要		対応内容			
	(2)				
への 5	対応	実施期限	平成 年 月		
		対応内容			
	(3)	73/U/3 <del>T</del>			
		実施期限	平成		
その他	きえられる				
改善(	のアイデア				
			今後の方向	性 1次評価	1 2次評価
			現状のまま推移すれば平成24年3月まで継続。 拡大・充		
			現 状 維		-
			方法改		
<del></del> + 4	7 4 0 左 妄	~ + 4 14			
十	7~19年度	の方向性	民間委託	-	1
			編	小	1
			統合/終期設		1
			廃止 / 休	止	
2 次 評	平価 委 員 会	コメント			

												<del>-</del>			•		
( -	般	事業)	事	業 :		- ド	2620	030				<u> </u>	部	Ð	次	長	課
平月	成 1	5年度	事	對	Ě	名	被災	者自立支援金支給	事務								
												l					
1	事	業概	要(ド	ウ)											<del> </del>		
					りの	目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づく	נו			55	<u>^</u>	保健福祉	部	
総	合	計画		F	þ		6	経済的困窮者への	支援				所	管 部	生活援護	課	
政	策	施策		1	١,		2	被災者の生活再建	への支援				所管	課長氏名	3 磯野 一	·夫	
体		系		×	H						1			人者 氏名			
事		業		期				12年~平成17年	, , , ,			臨時		話番号		-2041	内線 2552
	拠	法		- 要	<b>三</b> 綱				実施要綱による受託	業務		•		施主位		ᄼᆔᄉ	
実委		施	託	手					□ 一部委託 名称		□ 全部委託			補助金 委 託 内 容		負担金	
<u> </u>			п.			70			<u>ロが</u> 去』の附帯決議を踏	まえ	. 既存の生活					制度を終	統合し.
事		業	の		概	要			ある生活を再建する		•	1223	حرر درا، عد				
									路大震災復興基金が								
							制度	の保障する受付期間	<b>聞は終了しているが</b>	,申	請できなかった	た正当なエ	理由を	付した申	立書があれ	ば受け作	けを行う
事		業	の		現	状	旨の	事務確認が阪神・流	炎路大震災復興基金	との	)間にある。 ( <sup>-</sup>	平成 1 7 年	年3月	31日)			
			実現の				(被	災者自立支援金)(	主家が全壊(焼)し	た世	帯、または半り	壊(焼)	し解体	なした世帯で	で、		
		手段	及び実	施内	容		所:	得、世帯主年齢に原	むじて、37万5千	円か	^ら最高1207	万円を支約	給する	· .			
				1.	+15 +13	<b>5</b> /-	<u> አ</u> ታ ‹‹‹	李白古士授合中等	5. 公开电动电								
			結果技					者自立支援金申請 13年度(宝績)	受付事務貸 平成14年度(実績	書 \	平成15年度	( 宇繕 )	<u>J</u> 7 =	戊16年度	(日煙)	亚式 1	7年度(目標)
				-	<u>牛</u> 指			7件	2 2 件	リノ	9件	•	7/3			T/1% 1	/ 牛/文(口/l示 /
ァィ	ナト	プット	,	· -				08,000円	300,000	9	120,0						
指		標			—			者自立支援金交付額	· ·		, .	13	ı			l	
			結果技	-					平成14年度(実統	漬)	平成15年度	(実績)	平局	<b>丸16年度</b>	(目標)	平成 1	7年度(目標)
			( 2	)	指 標	票 値	6,	450,000円	20,350,00	0 円	7,900,	000円		-			-
					単位:												
2	事	業成:	果(ア	ウト	<u>カム</u>	)	1										
			対			象	阪神	・淡路大震災により	)住家が全壊(焼)	した	世帯 , または	半壊(焼	) し解	<b> </b> 体した世帯	<b>带</b> 。		
車:	<del>Ψ</del> σ	ᆔᆄ	ਹੋਰ ਉ	, +	11, -	_ 5kr	<del>રોત</del> ⊈	₹数 (a)	受 益	<b>长 粉</b>	7 (h)			比 率 (b	: 2) 06		
		意図		( ))	/\ -	<del>~</del>	אַן אַ	K XX (a)	又正	<u> </u>	( ( ( )			比 平 (D	<del>-</del> a) 70		
\n_1	30		意			図	被災	者が一日も早く生活	舌を再建することを	支援	する。						
			(対象	を主	語に						., -,						
大		₹	な		目	的	被災	者の自立を支援する	3.								
								再建世帯割合	wood 1 종까드 Line	<u> </u>	*^ =	£ 111 <del>+++</del> -		L N/ I = / k+ :	1 477 (-)	± 111 ##	
				-					炎路大震災により住		,						7年度 / 日博 /
7	<b>₼</b> к	<b>h</b> /s	指	標			平成	13年及(美韻) 不明	平成 1 4 年度 (実績 不明	惧 丿	平成 I 3 年長 不明		+ 17	戊16年度	(日信)	平成「	7年度(目標)
指	<b>ر</b> ر	カム 標			指			11 1 <del>1/</del> /3	าเก		小明		<u> </u>			l	
711		ıxı	最終原	-													
			指	標			平成	13年度(実績)	平成14年度(実統	漬)	平成15年度	(実績)	平原	<b>丸16年度</b>	(目標)	平成 1	7年度(目標)
				-	指標												
芦	室市	の特1	色など	補足	する	事項											
	_	차도 <del>녹</del>	):T =1	, <del>, , ,</del>	\/-	<b>-</b>							<i>u</i> –	1.1// = :=			455
_	争		・活動					1.2 年度 / 油管 >	亚代 1 4 年度 / 法经	<u>~ \</u>	1世帯当り(円)		-	大当り(円)	<del></del>	平成16.4	1.1 住民基本台
事		*************************************	件	費費	構成	00.0%	平成	346	平成14年度(決算	异 <i>)</i> 338	平成15年度	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	平力	丸16年度	(丁昇)		
		事	 業	費	- 10	JU.U%		340		330		320					
内	訓	_	<u>不</u> 阝門 紹												-		
		_	道賞去												-		
		合		計	10	0.0%		346		338		328			0		
		国	•	県													
		市	債	等													
( <del>T</del>	円		<u>の</u>	他		36.6%		108		300		120					
>=	-		般財			33.4%		238	_	38		208			0		
活		職	. KE n	員 + 空	10	00.0%		0.05	C	.05		0.05			-		
配(		) 鳴 計	・臨日	守寺	40	n n«		0.05	0	05		0.05			0.00		

	<u>ш() т))</u>											1
評	価	視点					評価チェック				1次評価	2次評価
	口的双小州	-(0 0)	☑事	業の主目的は	:明確であ	5 <b>3</b>			事業の目的は一つに絞るる	ことができない		
	目的妥当性	<u>-</u> (2 ~ 2)	☑事	業成果が上位	施策に不	可欠。また	は貢献度が高い		貢献度が不明確、または高	高くない		
				が実施するよ					民間でやるべき、または対			
537	士問上/2	2)		i民の基本的な					他団体では見直しがされて			
妥	市関与(2~	2)	<u> </u>	氏の基本的は	土冶の紅	E付に必安	Coo			. (10		
									いずれにも該当しない			_
当			🗀 市	「民ニーズに基	づいて行	うべき事業		<b>✓</b>	市民ニーズに基づいて行	事業ではない	∃ 3	5
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	<b> →</b>	□ ニーズが	高い				ニーズが高いとは言えない	1,または未把握		
性				□ 数字	で把握し	ている				□ 未把握		
8点							むしている	П	社会環境の変化にあわせる	•		
O	社会環境変	图化(1~ 1)		内容	<b>公城况</b> ()	·女 [LIC]型/	UO CVIS		江云城先の交前にのわせ	C元直 0 17 20 安		
	/5 4-14 EV	7 W (1)	<del> </del>	i		<u> // - // // // // // - // </u>	- A 66 1810 to 1	1				
	優先性,緊						, 安全等が損なれ					
	対象カバー						] 他団体と同程					
有	受益者(1~	1)	☑ 事	業意図と受益	者は整合	している	□ 事業意図	図と受記	益者が不整合 ,または受益/	が一部に限定		
λh	世田の宝婦	E(O 4)	□中	·間成果指標の	実績値を	・把握し,目	標値を設定してに	1る 🗹	実績値または目標値が未認	記入	4	4
効	成果の実績	1(2~ 1)	l ┕ □	] 実績値から	成果があ	がっている	と言える		実績値から成果があがって	こいると言えない		
性				があがっていた								
4点	- 成果向上余	ミ地(1~ 1)		スラスラです。 ス果向上策あり	х ү					□ 特になし		
455					<b>↓</b> ♥★ フ	四 (4 / 2 )	<u> </u>		したセステスタイプを	ा पाटक∪		
				(較できる団体		団体名		Ш	比較できる団体はない			
	単位コスト(	1 ~ 1)	1 1	団体の数字を			単位コスト		☑ 把握してい	ない		
効	+ M = X ( (	,	┡ [	□ 他団体より:	コストが低	] ۱ا	] 他団体と同程	度	□ 他団体よりコスト:	が高い	]	
			高い、	または低い場	合の理由	ı						
				担を求めること			√ 負:	担を求	めるべき事業ではない			
	受益者負担	<u>4</u> (0 ~ 1)		□ 現在 , 適正	か負扣あ	1) 🗆 f			徴収不能・見直し不能	7 徴収可能 )		
率							<u>ミューな。, たこと</u>				<b>⊣</b> 0	-3
	手段(1~	3)		規職員による					個人,家庭,地域等が担う			
		-,		:間(企業 , NPC	)等)では	付応できな	い業務である		民間(企業 , NPO等)で対応	の可能である		
性			□ 嘱	託,臨時職員	等では対	応できない	業務である	<b>✓</b>	嘱託, 臨時職員等で対応す	可能である		
3点	コフし当心成日	Π4Π/4 4)		スト削減の取り	組みを行	っている		<b>~</b>	特に行っていない			
	コスト削減耳	以組(1~ 1)	<b>▶</b>	内容								
	I.											
平成	1 5 ~ 1 した改	6 年 度に	課題				改善			総合		В
美 施	した改	善 内 谷					内容			評価		
[		7/12/22/										
J 71	女 ひノ メリルい ( ブ	(ソンョン)	3th ((( tx )	ウナナゼクロ	/ D→ \ 70	*** *** ***	上声《佐园甘入》	, > ±/	<b>炒ナセフリス</b>			
		+					大震災復興基金が			1.3		
現 在 記	認識して	ハる課題							被災市にて受付をすること	とが		
				淡路大震災復	興基金と	の間にあ	るがその後の対応	がは不認	詳。			
市民,関	係者 市民,関	係者の名称										
からの	意見意見,	<b>=</b> +0 + -										
要望	等 息見,	要 望 内 谷										
	(1)	対応内容										
	(1)		L			_						
		実施期限	平成	年		月						
課題·要	望等	対応内容										
	(2)	73//C/3T										
へのが	対応	実施期限	平成	年		月						
			<u> </u>	I								
	(3)	対応内容										
	(3)											
			11/5	年		月						
		実施期限	半成	•								
<b>-</b> - "	* > > 1:		半成									
	メ考えられ	<b>క</b>	半成		•							
		<b>క</b>	半成							_		
		<b>క</b>	半成							今後の方向	生 1次評価	2次評価
		<b>క</b>		7年に「阪神	・淡路大	震災」か	ら 1 0 年の節目を	を迎え	ます。		_	2次評価
		<b>క</b>	平成 1							拡大·充:	実	2次評価
		<b>క</b>	平成 1 「阪神	・淡路大震災征	興基金.	の方針が	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡大・充具 状 維	実	2次評価
改善(	カアイデ:	3	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災征	興基金.	の方針が	不詳ながら,既に	受付其		拡 大 · 充 : 現 状 維 : 方 法 改	<b>美</b> 诗	2次評価
改善(		3	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災征	興基金.	の方針が	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡 大 · 充 : 現 状 維 : 方 法 改 : 民間委託	実 持 等	2次評価
改善(	カアイデ:	3	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災征	興基金.	の方針が	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡 大 · 充 : 現 状 維 : 方 法 改 : 民間委託 : 縮	実 持 善 等	2次評価
改善(	カアイデ:	3	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災征	興基金.	の方針が	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡 大 · 充 : 現 状 維 : 方 法 改 : 民間委託	実 持 善 等	2次評価
改善(	カアイデ:	3	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災征	興基金.	の方針が	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡 大 · 充 : 現 状 維 : 方 法 改 : 民間委託 : 縮	美 等	2次評価
改善(	カアイデ:	3	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災征	興基金.	の方針が	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡 大 充 現 状 維 方 法 改 民 間 委 託 縮 統合/終期設	美 等	2次評価
平成 1	の ア イ デ i	るア	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災行 7年には10	夏興基金 <sub>-</sub> 年目でも	, の方針が あること: 	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡 大 充 現 状 維 方 法 改 民 間 委 託 縮 統合/終期設	美 等	2次評価
平成 1	カアイデ:	るア	平成 1 「阪神平成 1	・淡路大震災行 7年には10	夏興基金 <sub>-</sub> 年目でも	, の方針が あること: 	不詳ながら,既に	受付其	期間も一応終了しており,	拡 大 充 現 状 維 方 法 改 民 間 委 託 縮 統合/終期設	美 等	2次評価

										<del>-</del>					
(一般	事為	(業	事業	<u> </u>	2620	070				1	部長	次	長	課	長
平成1	5年	度	事	業を	り災	証明書の発行事務									
	•			-11						1					
4 ==	- <del>71</del> 7 1		<b>5</b> / l* . \												
			要(ドゥ) キキズ/	11 0 0 1	5 0	健やかでぬくもり	のセフ行がな	ふづくい				/ワ/油が高かし	. <del>立</del> 7		
		-			_			ミノくリ			所 管 課	保健福祉			
総合政策				<u>中</u> 小		経済的困窮者への被災者の生活再建					所管課長氏名	生活援護 磯野 一			
		- 1		<u>小</u> 細	2	版火有の土泊円建	への又接						<u>大</u> !夫		
事		系業			TT ct	7年~	1	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	記入者氏名電話番号			内線	2552
	l iż					7 +		注 币 咖啡		四四十五	実施主体		2041	PY和K	2002
実		施	<del>~ 3</del> 手		· 🗸	古台	□ 一部委託		□ 全部委託	<u> </u>			負担金		
委		110	託				名称				季託 委託 内容		グニエ		
						・淡路大震災から		うとして	いる。		2 10 13 11				
事	業		の	概 男		「リ災証明」を必要				かしなか	ら他の災害もあ	ることから	ら事務そ	のものは	t存在。
					各種	制度(登録免許税	・不動産取得税	.) の施行	f期限が平成 1	7年3月	となっており,そ	の時期が	見直しの	時期と	なろう。
事	業		の	現 状	Ċ										
	目	的复	ぼ現のため	の											
	手	段及	なび実施内	容											
						証明書発行件数									
			結果指標		1	,13年度(実績)	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成 1	7年度(	目標)
	•		, ,	指標値		187件	1 4 0	件	96#	<u> </u>	5 8 件				
アウト		F		単位コスト											
指		標		指標名			T-1	( <del></del>	I	, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>		( D ) # \			
			結果指標		+	(13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値											
າ <b>=</b>	~ 114 -	+ =		単位コスト	`										
∠ <del>‡</del>	耒店	ひ ラ	艮(アウト	rua)	1										
			対	多	阪神	・淡路大震災及び何	也の自然災害の	被災者。							
重 丵 (	ם ת	的	対 象 ヵ	バー 幸	₹ \$1 €	ē 数 (a)		受 益 数	(h)		比 率 (b	÷ a) %			
対象		-	<u> </u>	/\	- V1 ×	xx (u)		х ш х	x (b)		16 + (b	. u) 70			
Y) 2(	101		意	図	被災	者が被災を受けたる	ことを証明する								
				ー (主語にして				Ü							
			(*	,											
大	ŧ		な	目 的	り災	証明書発行により礼	皮災者が阪神・	淡路大震	夏災等による生	活再建の	各種制度を円滑に	受けられ	る一助と	こなる。	
				指標 名	り災	証明書発行件数									
			中間成果	考え方・式	ò										
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	トカ	ム		指標 値		187件	1 4 0	件	964	<b>4</b>	5 8 件				
指		標		指標 名	í										
				考え方・式											
						(13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値	Ī										
	4	1+ 4		<del>-</del>											
户屋巾	3 (2) {	特色	こなと補力	足する事項	į										
3 事	₩₽	井	シエまり無コン	分(コスト	\				1 ###¥11 ( FF )		<b>仲巳11米ロイ田</b> )	1 4	平成16.4	1 A P	ŧ★ムħE
事		<u>貝:</u> 業	<u>/立劉伯)</u> 費			13年度(決算)	亚式 1 1 年度	(油質)	1世帯当り(円) 平成15年度		住民1人当り(円) 平成16年度		十成10.4	. 1 注氏者	がロチュ
<del></del>	人		件費			346	十八十十八	338	十八八八十八	328	十八八〇千尺	( ] 弁 /			
	事		業費	100.0	0	0+0		000		020		0			
内			門経費									-			
			償却費									-			
, , , ,	合		計	100.09	6	346		338		328		0			
	国		・ 県									-			
財	原市	ī	債 等												
(千円			の他												
		- A	以 財源	100.09	6	346		338		328		0			
活	動職	ì	員	100.09	6			0.05		0.05		-			
	_		·臨時等					·				-			
(人	) 合	ì	計	100.09	6	0.00		0.05		0.05		0.00			

	叫(テェック)					4-1						
評		. 点				評化	西チェックリ				1次評価	2次評価
	目的妥当性(2	2 ~ 2)		の主目的は					の目的は一つに絞るこ			
		<i>L L</i> )	□ 事業	成果が上位が	施策に不可久	欠,または貢献/	度が高い	□ 貢献	(度が不明確、または高	らくない こうしょう		
			☑ 市が	実施するよう	法律等で義	務づけられてい	3	□ 民間	でやるべき , または対	応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□市民	の基本的な生	上活の維持は	こ必要である		□ 他団	]体では見直しがされて	เาอ		
		,		, ,								
当				ーーブに甘っ	シング	キ事業				・車器ではかり	3	4
=	+	. 4\				0 尹未					3	4
	市氏人(2	<u>2</u> ~ 1)							人か高いとは言えない	•		
性						•				□ 未把握		
8点	オーク 理論 かん	V(1 ~ 1)	□ 事業	に関わる社会	≷環境の変化	とに適応している	3	□ 社会	:環境の変化にあわせカ	た見直しが必要		
	江乙城先交门	L(1 1)	Þ	容								
	優先性,緊急	性(1)	□事業	を実施しなけ	れば,市民	の生命,安全等	が損なわれ	าธ				
	対象カバー率	<u>≅(1~ 1)</u>	□対象	カバー率は高	高い	☑ 他団	体と同程度		□ 他団体よりカバ	一率が低い		
有	受益者(1~	市民の基本的な生活の維持に必要である										
	×== ( ·	/									┪ _	
効	成果の実績(2	2 ~ 1)	I 1								2	3
141						ていると言える		□ 夫縛	!他から风未かのかうし	いると古んない	-	•
性	- 成果向上余均	也(1~ 1)			八場台					T		
4点		- ( ,								□ 特になし		
			│ ☑ 比較	できる団体が	ある 団体	4		□ 比較	できる団体はない			
	出位コフト/4	1\	□ 他団	体の数字を排	B握している	単位コスト			☑ 把握してい	ない		
効	単位コスド(1)	~ 1)	<b>▶</b> □	他団体よりコ	ストが低い	□ 他団	体と同程度		□ 他団体よりコストカ	が高い		
			高い。ま	たは低い場合	の理由						"	
						 Éである	√ 負扣	を求める	べき事業でけない		1	
	受益者負担(	0 ~ 1)	1							一类117可能)		_
率											<b>⊹ 0</b>	-3
							安託してい			- ^ + + P / \ / * + P		
	手段(1~ 3)	)										
	,		凶 民間	l(企業 , NPO€	等)では対応	できない業務で	<b>゙</b> ある	□ 民間	](企業 , NPO等)で対応	可能である		
性			□ 嘱託	,,臨時職員等	では対応で	ぎきない業務でも	ある	☑ 嘱託	, 臨時職員等で対応。	可能である		
3点	コフト当じ成取り	<b>悠日/1~ 1</b> \			且みを行って	いる		☑ 特に	:行っていない			
		邢(1 1)	▶ 内	容								
	•			·								
平成	15~16	年度に	課題				改善			総合	l D	В
美 肔		<b>雪 内 谷</b>					内谷			評価		
5 全省	その対応(ア	クション)										
<u> </u>	又マンスコルい(ノー)	ノノコノト										
	•	, , ,,	巛宝の調	本什 锂铅钽	■ 75.7 KR☆ ((() ☆	#筆理で宝施し	アおり証明	旧聿の発	<b>ラだけた仕浜採罐運</b> け	- おハケー, ケハる		
田 左 =								明書の発行	うだけを生活援護課に	こおいてしている	0	
現在	認識してい		火災事故	にかかるもの	は消防署に	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
		る課題	火災事故 従前業務	にかかるもの	は消防署に	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
市民,関	係者 市民,関係	る課題	火災事故 従前業務	にかかるもの	は消防署に	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
	原者 市民,関係 意見 章 目 電	る 課 題系者の名称	火災事故 従前業務(	にかかるもの	は消防署に	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
市民,関	引係者 市民,関係 意見 音見	る 課 題系者の名称	火災事故 従前業務(	にかかるもの	は消防署に	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
市民, 関 からの	原者 市民,関係 意見 章 目 電	る課題系者の名称要望内容	火災事故 従前業務(	にかかるもの	は消防署に	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
市民, 関 からの	原名 市民,関係意見 意見 等 意見, 5	る課題系者の名称要望内容	火災事故 従前業務(	にかかるもの	は消防署に	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
市民, 関 からの	原者 市民,関係 意見 章 目 電	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容	火災事故 従前業務	にかかるもの の承継ではな	のは消防署に く証明書の	おいて処理し	ている。			こおいてしている	o	
市民,関からの要望	所係者 意見 意見 意見, 5 (1)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容	火災事故 従前業務	にかかるもの の承継ではな	のは消防署に く証明書の	おいて処理し	ている。			こおいてしている	0	
市民, 関 からの	(1) (1) (1) (1) (1)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	火災事故 従前業務	にかかるもの の承継ではな	のは消防署に く証明書の	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市民,関からの要望	(1) (1) (1) (2)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	火災事故 従前業務	にかかるもの の承継ではた 年	かは消防署に なく証明書の 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市民,関からの要望	(1) (1) (1) (2)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	火災事故 従前業務	にかかるもの の承継ではた 年	かは消防署に なく証明書の 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市民,関からの要望	(1) (1) (1) (2)	る課題 系者の名称 要望内容 対応期 対応期 対応期 実施期	火災事故 従前業務	にかかるもの の承継ではた 年	かは消防署に なく証明書の 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市民,関からの要望	(1) (1) (1) (2)	る 課 名の 内 内 内 期 内 実 が 下 施 応 期 内 容 限 対 実 が で 変 取 で 変 取 で 変 な で ま か で か で か で か で か で か で か で か で か で	火災事故 従前業務 平成	にかかるもの 水 ではな	かは消防署に なく証明書の 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市民,関からの要望	京島 第一 (1) 第一 (1) 第一 (2) 対応	る課題 系者の名称 要望内容 対応期 対応期 対応期 実施期	火災事故 従前業務 平成	にかかるもの の承継ではた 年	かは消防署に なく証明書の 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市民,関からの要望	京島 第一 (1) 第一 (1) 第一 (2) 対応	る 課 名の 内 内 内 期 内 実 が 下 施 応 期 内 容 限 対 実 が で 変 取 で 変 取 で 変 な で ま か で か で か で か で か で か で か で か で か で	火災事故 従前業務 平成	にかかるもの 水 ではな	のは消防署に はく証明書の 月 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市民の望課題・要の	京島 第一 (1) 第一 (1) 第一 (2) 対応	る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	火災事故 従前業務 平成	にかかるもの 水 ではな	のは消防署に はく証明書の 月 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市か要課題・でののの	市民,関係者 意見等 意見,第 (1) 望等 (2) が (3)	る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	火災事故 従前業務 平成	にかかるもの 水 ではな	のは消防署に はく証明書の 月 月	おいて処理し	ている。			こおいてしている		
市か要課題・でののの	市民,関係者 市民,関係 意見 第 (1)	る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	火災事故 従前業務 平成	にかかるもの 水 ではな	のは消防署に はく証明書の 月 月	おいて処理し	ている。					2次評価
市か要課題・でののの	市民,関係者 意見等 意見,第 (1) 望等 (2) が (3)	る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	火災事故 従前業務 平成 平成	にかかるもの の承継ではな 年 年	のは消防署に はく証明書の 月 月 月	において処理し の発行事務の見	ている。			今後の方向性	1 次評価	2次評価
市か要課題・でののの	市民,関係者 意見等 意見,第 (1) 望等 (2) が (3)	る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	火災事故 従前業務 平成 平成	にかかるもの の承継ではた 年 年	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 から10年	こおいて処理し の発行事務の見	でいる。	n S to S t	かではないか。	今後の方向性 拡 大・充 9	上 1 次評価	2次評価
市か要課題・でののの	市民,関係者 意見等 意見,第 (1) 望等 (2) が (3)	る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	アス マス	にかかるもの の承継ではな 年 年 年 大震災少と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 日 の 日 の	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後の方向性 拡 大 ・ 充 須 現 状 維 扌	上 1次評価	2次評価
市か要課のの多様のの事がある。	所名 市民,関介 意見,第 (1) 等 (2) (3) ・ ちディデア	系 せい	火災事故 平成 平成 平成 下防災はずい が明まい。	にかかるもの の承継ではな 年 年 年 大震災少と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 日 の 日 の	こおいて処理し の発行事務の見	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後の方向性 拡大・充 現 状 維 対 方 法 改	上 1次評価	2次評価
市か要課のの多様のの事がある。	市民,関係者 意見等 意見,第 (1) 望等 (2) が (3)	系 せい	火災事故 平成 平成 平成 下防災はずい が明まい。	にかかるもの の承継ではな 年 年 年 大震災少と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 日 の 日 の	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後の方向性	上 1 次評価	2次評価
市か要課のの多様のの事がある。	所名 市民,関介 意見,第 (1) 等 (2) (3) ・ ちディデア	系 せい	火災事故 平成 平成 平成 下防災はずい が明まい。	にかかるもの の承継ではな 年 年 年 大震災少と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 日 の 日 の	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後大状法を発力に対している。	上 1 次評価	2次評価
市か要課のの多様のの事がある。	所名 市民,関介 意見,第 (1) 等 (2) (3) ・ ちディデア	系 せい	火災事故 平成 平成 平成 下防災はずい が明まい。	にかかるもの の承継ではな 年 年 年 大震災少と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 日 の 日 の	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後の方向性	上 1 次評価	2次評価
市か要課のの多様のの事がある。	所名 市民,関介 意見,第 (1) 等 (2) (3) ・ ちディデア	系 せい	火災事故 平成 平成 平成 下防災はずい が明まい。	にかかるもの の承継ではた 年 年 年 大震災少と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 日 の 日 の	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後大状法を発力に対している。	上 1 次評価	2次評価
市か要課のの多様のの事がある。	所名 市民,関介 意見,第 (1) 等 (2) (3) ・ ちディデア	系 せい	火災事故 平成 平成 平成 下防災はずい が明まい。	にかかるもの の承継ではた 年 年 年 大震災少と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 から10年 される施策	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後の方向性 拡大・維 現 法 改 託 制 民 編 統合/終期設	上 1 次評価	2次評価
市か要課へそ改平限ら題のの善成しのの0	市民 , 関係   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が 変 の 内 内 期 内 期 内 期 向 向 性	火災事故 R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	にかかるもの の承継ではな 年 年 大 震 必 き ま せ で き ま も の ま り し っ し っ し っ し っ ら っ と っ と う っ と う っ と う と う と う と う と う と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 から10年 される施策	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後の方向性 拡大・維 現 法 改 託 制 民 編 統合/終期設	上 1 次評価	2次評価
市か要課へそ改平限ら題のの善成しのの0	所名 市民,関介 意見,第 (1) 等 (2) (3) ・ ちディデア	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が 変 の 内 内 期 内 期 内 期 向 向 性	火災事故 R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	にかかるもの の承継ではな 年 年 大 震 必 き ま せ で き ま も の ま り し っ し っ し っ し っ ら っ と っ と う っ と う っ と う と う と う と う と う と	Dは消防署に はく証明書の 月 月 月 から10年 される施策	た で た で で が で が で が で が で が で が で が で が で で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	たいる。 L直しが求る	められるの	のではないか。	今後の方向性 拡大・維 現 法 改 託 制 民 編 統合/終期設	上 1 次評価	2次評価

(一般				_ 10										
	ひ 事	業)	事業	コード	21200	ე10					部 長	次	長割	₹ 長
		-117												
平成1	151	王度	重 :	業 名	特定》	疾病療養費補助事	業							
- 13X	1 5 -	T 12	<del></del> :	* 4	1-J AE 7	人的法 民兵 附助于	**							
										<u>l</u>				
1 茸	<b>=</b> ₩	加正	更(ドゥ)											
			- ( ,											
第3次	でだり	室市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくも	りのある福祉社会	:づくり			rr ** +=	保健福祉	:部	
総合	· <b>≐</b> ∔	· 画		中	1	保健・医療・福祉	いの連携と充宝				所 管 課	健康課		
				-			並の注所でルス				~ ** +m = ~ ~ ~			
政策	施	東		小	2	保健事業の推進					所管課長氏名	小阪 郁	天	
体		系		細		特定疾病罹患者	への療養生活支援				記入者氏名	小阪 郁	· 法	
事									_	π <b>⊢</b> n+				上 / 位
		業	期		昭和	5 4 年度 ~	2,1	経常臨時	☑ 経常 □	品時	電話番号		1586	内線 2567
根数	処	法	令 ' 引	要綱 等	特定	疾病療養費補助金	主支給条例				実 施 主 体	芦屋市		
実		施	<b>=</b>		7	古兴	□ 一部委託		□ 全部委託				負担金	
		旭							□ 土部安託				貝担並	
委			託	先	Ш	外郭団体委託	名称			□ 民間	委託 委託 内容			
											•			
			_											
事	当	€	の	概 要	<b>病因</b>	が小明であって,	治療方法が確立	されてい	ない特定の狭窄	丙に罹患し	っている獠袞者に	対して獠	<b>養補助金</b>	を支給
					<b>F</b>	目がおウェブハス	対応のミナン院	/ 1 O /床/	テン・加 女 / フル	(市) の店	テに衆生している	ナズ		
							6難病のうち入院	•			内に惟忠している	力で		
事	当	Ę	の	現 状	入院	若しくは外来治療	寮を継続している:	方に月額	5 , 0 0 0 円を	を支給				
	F	自的宝	ぼ現のため	M	. #4	经対象 <b>老</b> 数 λ Γ′	完13人,外来1	1 5 J						
					X.	WHV1SVERYX V(P)	。1 3 八 , 八八 1							
	∃	F段及	び実施内	]谷										
				指標 名	古经									
									I		<del>-</del>		I — "	
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	) 平成14年度(	(実績)	半成 1 5 年度	(実績)	平成16年度(	目標)	半成17	年度(目標)
			(1)	指標 値		131人	136		1 2 8					
アウト	ı <b>⊸</b>	ar L				7,618円/人	52,948		59,648					
	トノ	יו ש				/,010円/人	32,940	口/人	39,040	0 口/人				
指		標		指標 名										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成17	年度(目標)
						1 122 (7 1121)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	( - 4 )	1	( - 4 )				1 12 ( 1 1 1 1 1 1 1
			(2)	指標値										
				単位コスト				ļ						
2 事	1	成月	具(アウ)	トカ (人 )					•				•	
		.73.27	() )	,,,,										
		,	対	象	市が	認定した疾病患者	<del>š</del>							
					, ,		-							
事業	の E	目的	対象力	バー率	対象	k 数 (a)	128人 5	受益数	(b) 1	28人	比 率 (b	÷ a) %	1	0 0 %
対象		-				,			. ( )		(		1	
און א	' 后		_	_				_						
			意	図	特定	疾病罹患者への療	景養費を支給する	ことで,	経済的・精神的	的支援を行	うう。			
			(対象を主	<b>注語にして</b> )										
			`	,										
	_		4.	_ +-	4+		* 4. 7 * <del>1. 2</del> = =	_						
大	5	5	な	目 的	特正	<b>疾柄獠袞者の獠</b> 袞	養生活の支援を図	<b>ర</b> 。						
				指 堙 夕										
				指標名										
			中間成果	考え方・式										
			中間成果	考え方・式	平成	13年度(実績)	) 平成14年度(	〔実績〕	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標〕	平成 1 7	年度(目標)
アゥ	<b>L</b> 4	:	中間成果 指  標	考え方・式 年 度	平成	1 3年度(実績)	) 平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標〕	平成 1 7	年度(目標)
アウ	トナ	ا ا د	中間成果 指 標	考え方·式 年 度 指 標 値	平成	13年度(実績)	) 平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標)	平成 1 7	年度(目標)
アウ 指	トナ	コム 標	中間成果 指 標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名	平成	13年度(実績)	) 平成14年度(	〔実績〕	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標)	平成 1 7	年度(目標)
	トナ	コム 標	中間成果 指 標	考え方·式 年 度 指 標 値	平成	13年度(実績)	) 平成 1 4 年度 (	(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成16年度(	〔目標)	平成 1 7	年度(目標)
	トナ	コム <sub>_</sub> 標	中間成果指 標	考え方·式 年 標 値 指 標 値 考え方·式										
	<b>ト</b>	コム <sub>_</sub> 標	中間成果 指 標 最終成果 指 標	考え方·式度 指標値 指標の名 考え方・ 度			) 平成14年度(							年度(目標)
	トナ	コム <sub>_</sub> 標	中間成果 指 標 最終成果 指 標	考え方·式 年 標 値 指 標 値 考え方·式										
	<b>ト</b>	コム <sub>_</sub> 標	中間成果 指 標 最終成果 指 標	考え方·式度 指標値 指標の名 考え方・ 度										
指		フム <sub>_</sub> 標	中間成果 指 最終成果 指 標	考え方・式 度値 名 式 度値 名 式 度値	平成	13年度(実績)	) 平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標〕	平成 1 7	
指		フム <sub>_</sub> 標	中間成果 指 最終成果 指 標	考え方・式 度値 名 式 度値 名 式 度値	平成	13年度(実績)		(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標〕	平成 1 7	
指 芦屋市	市の	ラム 標 特色	中間成果標 最終成果 指 を を を を を で で で れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ	考え方· 式度値名式度値 名式度値 名式度値 項	平成	13年度(実績)	) 平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成 1 7	年度(目標)
指 芦屋市	市の	ラム 標 特色	中間成果標 最終成果 指 を を を を を で で で れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ	考え方・式 度値 名 式 度値 名 式 度値	平成	13年度(実績)	) 平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成 1 7	
指芦屋市	市の	つ 点標 一	中間成果標 最終成果標 まな 補尿 活動配	考え方・ 標 標 表	平成対象?	13年度(実績)	) 平成14年度(	(実績)	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみ <sup>1</sup>	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	[目標]	平成 1 7	年度(目標)
指 芦屋市	市の	ム標等	中間成果標 最指 とな 活動配費	考え方· 芸 年 指 指 表 末 表 末 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算)	) 平成14年度( 療機関(入院・外: ) 平成14年度(	(実績) 来)を受 (決算)	平成15年度	(実績) ハてのみ! 197 (決算)	平成16年度(	[目標]	平成 1 7	年度(目標)
指芦屋市	市の	ム標等を発	中間 最指 よが 最指 な 動 費 費	考え方·式度値名式度値名式度値 インス度値名式度値 インス度値名式度値 インス度を インス度を インる インス度を インス度を インス度を インス度を イと インス度を インな イと インス度を インな イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算)	) 平成 1 4 年度 ( 原機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 (	(実績) (実績) (決算) 903	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) いてのみが 197 (決算) 1,430	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	(目標) けている 85 (予算)	平成 1 7	年度(目標)
指芦屋市	市の	ム標等	中間成果標 最指 とな 活動配費	考え方·式度値名式度値名式度値 インス度値名式度値 インス度値名式度値 インス度を インス度を インる インス度を インス度を インス度を インス度を イと インス度を インな イと インス度を インな イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算)	) 平成 1 4 年度 ( 原機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 (	(実績) 来)を受 (決算)	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみ! 197 (決算)	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	[目標]	平成 1 7	年度(目標)
指 芦屋市 3事	市の	は、「「「「「「「「」」」が、「「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」	中指 最指 な 新 は は な す す ず は は は は は は は は は は は は は は は は は	考え方·式度値名式度値名式度値 インス度値名式度値 インス度値名式度値 インス度を インス度を インる インス度を インス度を インス度を インス度を イと インス度を インな イと インス度を インな イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算)	) 平成 1 4 年度 ( 原機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 (	(実績) (実績) (決算) 903	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) いてのみが 197 (決算) 1,430	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	(目標) けている 85 (予算)	平成 1 7	年度(目標)
指 芦屋市 事 内	市の事業	ム標 特費業人事也 ・ 特費業	中指 最指 な 活 件業門 ・	考え方·式度値名式度値名式度値 インス度値名式度値 インス度値名式度値 インス度を インス度を インる インス度を インス度を インス度を インス度を イと インス度を インな イと インス度を インな イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと イと	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算)	) 平成 1 4 年度 ( 原機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 (	(実績) (実績) (決算) 903	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) いてのみが 197 (決算) 1,430	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	(目標) けている 85 (予算)	平成 1 7	年度(目標)
指 芦屋市 事 内	市の製料の	」 特 費業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	中指 最指 な 活 件業門償果標 果標 経却 費費費費	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745	) 平成 1 4 年度 ( 条機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 ( 3	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみわ 197 (決算) 1,430 6,205	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) している 85 予算) - 6,600	平成 1 7	年度(目標)
指 芦屋市 事 内	市の製料の	ム標 特費業人事也 ・ 特費業	中指 最指 な 活 件業門 ・	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算)	) 平成 1 4 年度 ( 条機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 ( 3	(実績) (実績) (決算) 903	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) いてのみが 197 (決算) 1,430	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	(目標) けている 85 (予算)	平成 1 7	年度(目標)
指 芦屋市 事 内	市の課業	」 特 費業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	中指 最指 な 活 件業門償 銀	考え方·式度 年 標 信 考え方・式度 信 標 信 考え方・式度 信 表 方・式度 年 に する 事 項 分 (コスト 18.7% 81.3%	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745	) 平成 1 4 年度 ( 条機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 ( 3	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみわ 197 (決算) 1,430 6,205	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) している 85 予算) - 6,600	平成 1 7	年度(目標)
指	市の課	ユ 標 特 費業 人事也咸 <b>合</b> 国	中指 最指 な 活 件業門償 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	考え方·式度 年 標 標 標 表え方・式度値名式度値名式度値名式度値 日本	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745	) 平成 1 4 年度 ( 条機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 ( 3	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみわ 197 (決算) 1,430 6,205	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) している 85 予算) - 6,600	平成 1 7	年度(目標)
指	市の業別のは、	ム標 特費業 人事也咸 <b>合</b> 国市	中指 最指 な 活 件業門償 ・債	考え方·式度 年 指 標 標 表 年 指 標 表 年 指 標 事 が (コス度 値 18.7% 81.3%	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745	) 平成 1 4 年度 ( 条機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 ( 3	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみわ 197 (決算) 1,430 6,205	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) している 85 予算) - 6,600	平成 1 7	年度(目標)
指	市の業別のは、	コープ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	中指 最指 な 活 件業門償 ・債の	考え方·式度 年 指 標 標 表 年 指 標 表 年 指 標 事 が (コス度 値 18.7% 81.3%	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745	) 平成 1 4 年度 ( 条機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 ( 3	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみわ 197 (決算) 1,430 6,205	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) している 85 予算) - 6,600	平成 1 7	年度(目標)
指	市の業別のは、	コープ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	中指 最指 な 活 件業門償 ・債	考え方·式度 年 指 標 標 表 年 指 標 年 指 標 ま を ま ま で は の は の の の の の の の の の の の の の	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745	) 平成 1 4 年度 ( 療機関 ( 入院・外: ) 平成 1 4 年度 ( 3 5 5 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 7 6 7 7 7 7	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみわ 197 (決算) 1,430 6,205	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) している 85 予算) - 6,600	平成 1 7	年度(目標)
指	市業に対しています。	コープ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	中指 最指 な 活 件業門償 ・債の 財 の は か は 一般 が は と 動 は 経却 は と 動 は 経却 は ま に ま で は ま で は か ま で は ま で は か ま で は か ま で は か ま で は な ま で は か ま で は か ま で は な な ま で は か ま で は ま	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の13.7% 81.3% 100.0% 100.0%	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745 6,238	) 平成14年度( 療機関(入院・外: ) 平成14年度( 3 5	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245 <b>7,148</b>	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみれ 197 (決算) 1,430 6,205 <b>7,635</b>	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) - 85 子算) - 6,600  6,600	平成 1 7	年度(目標)
指	市業、は、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し	」 特費業人事也咸 <b>合</b> 国市そ一職	中指 最指 な 活 件業門償 ・債の財	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 オース	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745 <b>6,238</b> <b>6,238</b>	) 平成14年度( 療機関(入院・外: ) 平成14年度( 3 5	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245 <b>7,148</b> 0.10	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみれ 197 (決算) 1,430 6,205 <b>7,635</b> 0.15	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) - 85 子算) - 6,600  6,600	平成 1 7	年度(目標)
指	市事。訳り、源り、動分	」 特費業人事也咸 <b>合</b> 国市そ一職嘱 ・	中指 最指 な 活 件業門償 ・債の 財 の は か は 一般 が は と 動 は 経却 は と 動 は 経却 は ま に ま で は ま で は か ま で は ま で は か ま で は か ま で は か ま で は な ま で は か ま で は か ま で は な な ま で は か ま で は ま	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の13.7%	平成対象?	13年度(実績) 疾病の制限と医療 13年度(決算) 493 5,745 6,238	) 平成14年度( 療機関(入院・外: ) 平成14年度( 3 5	(実績) 来)を受 (決算) 903 6,245 <b>7,148</b>	平成15年度 おおおお (円) 1世帯当り(円)	(実績) ハてのみれ 197 (決算) 1,430 6,205 <b>7,635</b>	平成 1 6 年度( 京養補助金を支給 住民1人当り(円)	目標) - 85 子算) - 6,600  6,600	平成 1 7	年度(目標)

<b>∃</b> 11/	<u> </u>	点 評価チェックリスト	1 \\\ \=\\\ (#	2次評価
評	Щ 1元		1///	2人計画
	目的妥当性(2~	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	`	□ 事業成果が上位施束に不可欠,または真献度が高い □ 貝献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		☑ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>□ 4</b>	0
	市民ニーズ(2~		•	
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点		□ 車業に関わる社会理接の恋化に適応している □ 社会理接の恋化にあわせた目直しが必要	_	
Om	社会環境変化(1~	内容		
	優先性,緊急性(1	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	_	
	対象カバー率(1~		_	
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
- 12	又血苷(1 1)		_	
効	成果の実績(2~	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入	2	1
		" 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	<b>_                                    </b>	•
性	- 成果向上余地(1~	1) 成果があがっていない場合		
4点	,	■ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │		
		□ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
効	(·	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~	」 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又血白只200	'' □ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	4	1
<del>4"</del>		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>□</b> '	- 1
	T 50 (4 0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点		□ コフト当時はの取り組みを行っている □ 株に行っていない		
Om	コスト削減取組(1	1) 内容		
平成	15~16年 した改善」	度 □ 課題   改善   総合	A	D
美 施	した改善		1 / ,	
5 今後	<b>多の対応(アクシ</b>	<u> </u>		
J / [5	× 00 X 3 N D ( 7 7 7 2			
租 在 🗈	認識している	果 題 対象疾病の見直し(難治性肝炎にC型肝炎を加える。)が必要。		
70 III II	16. HAN Q C 1. Q	A MANAGERIA CONTRACTOR OF TO DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF TH		
市民	関係者 市民,関係者			
からの	音目			
声 胡				
女主	意見,要望	·古他 方 容		
	意見意見,要望	内容		
	प्रेर्गा	内 容 内容		
	(1) 対5	内容 		
÷m 85	(1) 対 実施	内容		
課題・要	(1) 対 実施 至望等 対	内容 		
	(1) 対 実施 (2) 対 が	内容 財限 平成 年 月 内容		
課題・要への対	(1) 対 実施 (2) 対 が	内容 内容 期限 平成 年 月		
	(1) 対応 実施 (2) 対応 対応 実施	内容 財限 平成 年 月 内容		
	(1) 対応 実施 (2) 対が 対応 実施	内容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       内容		
	(1) 対応 実施 (2) 対が 対応 実施	内容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       内容		
へ の タ	(1) 対所 実施 (2) 対所 (3) 対所 実施	内容  期限 平成 年 月  大容  期限 平成 年 月  安給者(世帯)の所得制限の実施		
への対	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施	内容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       内容		
への対	(1) 対所 実施 (2) 対所 (3) 対所 実施	内容  期限 平成 年 月  安給者(世帯)の所得制限の実施 支給額の減額		
への対	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施	内容  期限 平成 年 月  受給者(世帯)の所得制限の実施  支給額の減額  今後の方向	性 1次評価	2次評価
への対	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施	内容  期限 平成 年 月  安給者(世帯)の所得制限の実施 支給額の減額		2次評価
への対	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施	内容  期限 平成 年 月  受給者(世帯)の所得制限の実施  支給額の減額  今後の方向	実	2次評価
への対	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施	内容  期限 平成 年 月  受給者(世帯)の所得制限の実施 支給額の減額  字後の方向 受給者の所得制限若しくは補助金額の見直しの必要がある。  拡 大・充	実 持	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施	内容	実 持 善	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施 である。 のアイデア	内容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       受給者(世帯)の所得制限の実施     支給額の減額       受給者の所得制限若しくは補助金額の見直しの必要がある。     ケ後の方向       現 状 維方 法 改	実 持 善	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施 である。 のアイデア	内容    別限 平成	実 持 善 等 小	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施 である。 のアイデア	内容    対象   対象   対象   対象   対象   対象   対象   対	実 持 善 等 小 定	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	(1) 対所 実施 対応 (2) 対所 実施 (3) 対所 実施 である。 のアイデア	内容    別限 平成	実 持 善 等 小 定	2次評価
その他で 平成 1	(1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 は考えられる のアイデア	内容	実 持 善 等 小 定	2次評価
その他で 平成 1	(1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 は考えられる のアイデア	内容    対象   対象   対象   対象   対象   対象   対象   対	実 持 善 等 小 定	2次評価

(一般	事業	)	事業	J - F	2120	020				部		長次		長	課	長
ਜ਼ ਜੋ 1	rÆя	# 1	±	* 4	如守	<b>卑</b> 赵笙兄之先还士	です。									
平成1	5 平 /:	支 =	<b>₽</b>	業名	) 無小	患者等居宅生活支	<b>抜争</b> 業									
					•											
1 事	業概	要	を(ドゥ)													
第3次	芦屋市	市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			所	管	課保	建福祉部	ß		
総合				中		保健・医療・福祉	の連携と充実			<i>[7]</i>	<b>–</b>	健康	康課			
政 策	施兌	策		小		保健事業の推進				所管	當課長氏	名小师	仮 郁夫	₹		
体	3	系		細		難病患者等の居宅	生活の支援			記	入者氏	名小	仮 郁き	Ę		
事	当		期			10年度~		☑ 経常 □		電	話番	号 079	7-31-1	586	内線	2567
	l 法	•	令 · !				、ス,日常用具給付,短期	入所事業運営	要綱	実	施主	体芦	屋市			
実	旅	色	手		V		☑ 一部委託	□ 全部委託						負担金		
委			託	先			名称 芦屋ハートフル福祉公社				委託内					
						疾患調査研究事業の	の対象疾患(121疾病)	患者及び慢性	関節リュワ	フマラ	チ患者の居	宅生活	舌の支援	曼		
事	業		の	概 要												
							援事業として次の3事業									
事	業		の 				ス事業(介護・家事等の		,							
			現のため				業(寝たきり状態にある)									
	手段	设及	び実施内	容	・短	期入所事業(介護者	皆の一時的な事情により	, 保護を必要と	する場合	に施	設で保護	する)				
		_		I= .	xuz	7.1 m ± 111										
				指標名					(中体)	I —	B					
		1	結果指標		1	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	( ,	半	成16年月	支(日	際) -	平成 1 7	/ 年度 (	目標)
	_		(1)	指標値	-		0人	1人								
アウト				単位コスト		7:T AN D±88		1,078,00	10円							
指	ł	標	/+ m +b.+=	指標名			五世4.4左座(南)(京)	亚子 4 5 左连	(中)(丰)		+4645	÷ / 🗆 :	L# \	T. + 4 :	- 左声 /	·
		1	結果指標		1	3 年 段 ( 美 線 )	平成14年度(実績)	平成15年度		41	成16年原	支(日/		平成 1 7	/ 平皮(	日悰)
			(2)	指標値			0 時間	3 2 時								
2 =	╨너	<del>;</del> =	ミ(アウ)	単位コスト				33,687円 /	时间							
<del>ا ا</del>	未以		E( ) ')	·/////////////////////////////////////												
		Ž	रेर्न	象	市内	の難病患者等で , ?	在宅での療養生活を送る	ために必要な月	用具等の	支援を	を必要とす	る方				
事 業 (	ם H f	钓	対象 カ	バー率	対 象	≵ 数 (a) 4	.00人 受益数	(b)	1人		比率(	h ÷ :	a) %			
チ 柔 、 対 象		_	v) 3( /)	/\ <del>+</del>	V1 ≫	( xx (u) .	V X M X	(6)	. / \		IL + (	<i>.</i>	2) /0			
,, ,,	76.	1	意	図	難病	患者等又はその介質	護者の安定した療養生活	を支援する								
				 主語にして)												
				•												
大	き		な	目 的	在宅	の難病患者等の安	定した療養生活を支援し	, 生活の質を向	句上させる	<b>პ</b> 。						
				指標 名	日常:	生活の不便さが改	善された人数									
		1		考え方・式												
		1	指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平/	成16年原	夏(目)	標)	平成 1 7	7年度(	目標)
アウ	トカム	4		指標 値				1人								
指	ŧ	標		指標 名												
		1		考え方・式			T=	r= <del>.</del>								
		1	指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年月	₹(目	標) ·	平成 1 7	7年度(	目標)
				指標 値												
	4+		4. 10 3-43 7	<del>-</del>		日の亜畑に甘べて	******* <b>+ * * * * * * * * * *</b>	.1.4.4								
芦屋市	うの特	色	なと補え	足する事 頃	国・	県の安綱に基づく	補助事業で,市の独自性	はない。								
າ <b>=</b>	. AT #	= :	イモルボコ	/\				4 III ## \\( \( \tau \) ( \( \tau \)		4.0				T + 10.4	4 4 🗆 1	ナナ ハ t E
				<u>分(コスト</u>		4.2.左左 / 法签 \	正式4.4左座(法签)	1世帯当り(円)		-	1人当り(円			平成16.4.	1 任氏4	基本台帳
事	第		費			13年度(沃昇)	平成14年度(決算)	平成15年度		平)	成16年月	夏(予	异)			
	人		件 費	1			1,185		1,029				-			
	事		業費				0		49				624			
		_	門経費	1									-			
(十円	´	1Щ	償却費			0	1,185		1,078				624			
	国						1,183		1,076				024			
財	原市		· 県 債 等						4							
ы і (千円			の他				0		29							
(			と財源			0	1,185		1,045				624			
活 !	動職	163	<b>( */)                                   </b>				0.05		0.10				-			
		託	<u>~</u> ·臨時等	1			0.00		0.00				_			
	) 合		計		_	0.00	0.05		0.10				0.00			
(人	/															

評価視				評価チェックリスト	1次評	呼価:	2次評価
		的妥当性(	2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない			
	Н	的女子[注(	2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
妥	市	関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
				□ いずれにも該当しない			_
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<del></del>	,	5
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把抗	屋		_
性				□ 数字で把握している □ 未把握			
8点	<b>ż</b> ∔.	<b>今理培亦/</b>	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	更		
	和	<b>広</b> 塚児女	t(1 ~ 1)	内容			
	優	先性,緊急	!性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対	象カバー革	区(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受:	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
効	ь¢.	果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1		3
~/3	13%.	不り大順(	- ',	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	١, ١		5
性	- <del>Б</del>	果向上余块	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	7-20.	N(1 1 ± 2)(-	5(,	□ 成果向上策あり □ 特にな	U		
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	単,	位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	_	<del> </del>	.,	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
				高い、または低い場合の理由			
	受:	益者負担(	0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率			,	L→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	2	,	1
-				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		'	•
	手!	段(1~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	3		
			,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	٦,	スト削減取	組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
				→ 内容 ヘルパー派遣事業はハートフル福祉公社に業務委託			
平 成	1 5	~ 1 6	年 度 に 善 内 容	改善改善	総合 人		Λ
実 施	L	た改	善内容	内容		<b>,</b>	Α
5 4	4のさ	付応(ア	クシュンハ				
7 71	タリノ)	(1) (J. )	<i>// = / /</i>				
租 左 章	河 煞	1. 7 1.	ハス 锂 頭	制度の利用者が非常に少ない。			
- 1 1	1/0 1144	0 0 0	1 S IN RES	はいた。 とういう コードのにく なくい。			
市民関	[ 4	市民 関係	係者の名称				
要 望	等	意見,	要望内容				
		(4)	対応内容				
		(1)	実施期限	平成			
課題·要	望等		対応内容	TAX			
_ ,		(2)					
へのす	对 心		実施期限	平成			
		(3)	対応内容				
		(3)	実施期限	平成 年 月			
			7 (30)(3)				
その他	きょう	もられる					
改善の	カ ア	イデア	,				
				今後の方	向性 1次評	呼価:	2次評価
				拡大・充	5 実		
				利用者は少ないが,国・県と連動している事業であり,現状維持 現 状 維	持		
				方 法 改	善善		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性	民間委託	£ 等		
				縮	小		
				統合/終期	設定		
				廃止 / 休	下止		-
2 次 評	一個	委 員 会	コメント				

(一般	事業	) 事	業	コード	2120060				部	長次	長課	長
<del>□</del> + 1	r /= =	± =	=	** &	(独体) 中マ (水本光							
平成1	5 年 13	支  手	₽	業名	健康被害予防事業							
		-						<u> </u>				
1 事	業概	要	(ドゥ)						<u> </u>		ļ.	
				りの日標	2 健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり				保健福祉	上部	
総合				<u>中</u>	1 保健・医療・福祉				所 管	課健康課	LUI	
政策				/\\	2 保健事業の推進				所管課長氏		R±	
		· 系		·····································	乳幼児の健やかな	・ ・ は			記入者氏			
体 事			斯		1			に行り土				2507
		• •			平成元年~		☑ 経常 □	临时	電話番		-1586 内線	2567
					公害健康被害の補償等				実施主		A II 스	
<u>実</u> 委	施	也	手		直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金 •	
<b>妥</b>			託	九		名称 文化振興財団	1808-1 m =	□ 氏間	委託 委託 内	谷小水拍点	<b>F</b>	
						喘息児の健康保持,健康	増進を図る。					
事	業		の	概 要								
					・アレルギー健康診査の	の実施						
事	業		の	現 状	アレルギー健診受診	者(83人人)						
	目的	)実	現のため	00	・アレルギー疾患の知	識普及						
	手段	设区	び実施内	容	アレルギー教室(1	9 1人) , アレルギー框	談(104人)	)				
						教室の開催 水泳教室 1	0 回 , 参加者 :	25人・3	延べ195人			
				指標 名	事業参加者数							
		糸	吉果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	【(目標)	平成17年度	(目標)
			(1)	指標値	550人	665人	573.	人				
アウト	プッ	٢		単位コスト	11,615円/人	10,015円/人	11,16	2円/人				
指	村	漂		指標 名		•	•		•		•	
		糸	吉果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	〔〔目標〕	平成17年度	〔目標)
			(2)	指標値								
				単位コスト								
2 事	業成	果	:(アウ	トカム)								
		文	<del>d</del>	免	1 歳6ヶ日児健康診査の	の受診者の内 , アレルギ	ニ健康診査の場	<b>以亜</b> か孝				
			す 象 カ	バー率	対象数(a) 2	6 7 人 受 益 数	(b)	8 3人	比 率 (b	• ÷ a) %	31.1	%
対 象	・意図	図										
		意	<u> </u>	ভা	アレルギー健康診査の	受診者で要医療者を早期	1に発見し、医症	寮につなり	<b>ずる。</b>			
				主語にして)			,0,0 0 ,					
			(対象を3	主語にして)								
大	ŧ			主語にして)	大気汚染等の影響によ							
大	ŧ		(対象を3	主語にして)		る健康被害を予防する。						
大	ŧ		- (対象を <u>3</u> な	主語にして) 目 的 指標名	要医療者の発見率(%	る健康被害を予防する。						
大	ŧ	F	(対象を3	主語にして) 目 的 指標名 考え方·式	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数	る健康被害を予防する。 ) × 1 0 0						
		日指	(対象を3	主語にして) 目 的 指標名 考え方·式 年 度	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績)	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績)	平成15年度		平成 1 6 年度	15(目標)	平成17年度(	〔目標〕
アウ	<b>.</b>	がなり	(対象を3 な 中間成果 指 標	主語にして) 目 指標表 考え方・式度値 指標値	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績)	る健康被害を予防する。 ) × 1 0 0			平成16年度	₹(目標)	平成17年度	〔目標〕
	<b>.</b>	がなった。	(対象を3 な 中間成果	主語にして)的名式度値名	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績)	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績)	平成15年度		平成16年度	₹(目標)	平成17年度	〔目標〕
アウ	<b>.</b>	「指」	(対象を3 な 中間成果 最終成果	主語にして)的名式度値名式	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3%	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%	平成 1 5 年度	3 %				
アウ	<b>.</b>	がなった。	(対象を3 な 中間成果 最終成果	主語にして)指 考年 指 指 考年 指 指 考年日据 方・標標 方・標標 方・原値名 式 度値名 式 度	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3%	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	3 %	平成 1 6 年度		平成 1 7年度	
アウ	<b>.</b>	「指」	(対象を3 な 中間成果 最終成果	主語にして)的名式度値名式	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績)	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度	(実績)				
アウ 指	トカ <i>I</i>	が、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	(対象を主 な 中間 成果 標 最終 成 標	主語にして) 的 名式度値名式度値	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績)	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  五である屋内のダニ調査	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の8	(実績)	平成16年度	〔目標〕		
アウ 指	トカ <i>I</i>	が、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	(対象を主 な 中間 成果 標 最終 成 標	主語にして) 的 名式度値名式度値	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績)	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の8	(実績)	平成16年度	〔目標〕		
アウ指	トカル	がは、	(対 な 中旨 最終 を言 など 神旨 など 神景 に は かい は	主語 目 指考年指指考年指 すて) 的 名式度値名式度値 項	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績)	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  五である屋内のダニ調査	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の8 康保持を図る1	3 % (実績) 啓発 ため,水流	平成16年度	を (目標)	平成17年度	〔目標〕
アウ指 芦屋市	トカル	な 漂 ・	(対象を主) ない 中間 最終 は で 動配 と 動配 と で 動配 と で しゅうしゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	主語にして)指考年指指考年指日標方・標標方・標標方・標準まる式度値名式度値項ト	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  本式14年度(実績)  本式14年度(実績)	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 答発 ため,水流	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り (円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
アウ指	トカルがの特質業	・	(対な 中旨 最旨 な 舌	主語にして)指考年指指考年指表年日指え、標標方・標標方・標標方・標標方・標準日1<	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  五である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算)	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の8 康保持を図る1	(実績) (実績) 答発 ため,水流 (決算)	平成16年度	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
アウ指 芦屋市	トカルを	ム漂道が	(対な 中旨 最旨 な 舌 件	主語にして)自指考年指表年指表年指表年指表年指表年指表日本の<	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で 平成13年度(決算) 3,450	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  型である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算) 3,459	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (字巻 ため,水流 (決算) 3,165	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り (円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
アウ 指	トカガーを対している。	ム票指	(対 な 中旨 最旨 な 舌 件業	<ul> <li>主語にして)</li> <li>自 指考年指表年標点方標標度方標標度方標標度方標標度方面</li> <li>「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」では、「日本のでは、「日本のでは、」では、「日本のでは、「日本のでは、」では、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」では、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」では、「日本のでは、」」では、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」」では、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」」では、「日本のでは、</li></ul>	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  五である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算)	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 答発 ため,水流 (決算)	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り (円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3事 内 ""	トカイをおります。大力を表現の大力を表現しています。	「	(対 な 申旨 最旨 な 舌 件業門 経 乗標 果標 異標 異標 と 乗 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	主語にして)的名式度値名式度値日標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標本日本日は日表日は <td>要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で 平成13年度(決算) 3,450</td> <td>る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  型である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算) 3,459</td> <td>平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)</td> <td>(実績) (実績) (字巻 ため,水流 (決算) 3,165</td> <td>平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り (円</td> <td>を を を を を を を を を を を を を を を を を を を</td> <td>平成17年度</td> <td>〔目標〕</td>	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で 平成13年度(決算) 3,450	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  型である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算) 3,459	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (字巻 ため,水流 (決算) 3,165	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り (円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3事 内 ""	カカが、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力	「	(対 な 間 終 な 舌 件業門償 を 重 の で の で で で で で で で で で で で で で で で で	E語にして) <ul> <li>自 指考年指指考年指表年指表年指表 の 1 成 %</li> <li>49.5% 50.5%</li> </ul>	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で の 平成13年度(決算) 3,450 2,938	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  対である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算) 3,459 3,201	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) ・	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り (円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3事 内 ""	トカカ 村 費業 人事 他減合	「	(対 な 中旨 最旨 な 舌 件業門償 を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E語にして) 目 指考年指指考年 指表末年標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標準方・標準 する コスペータ は 49.5% 50.5% 100.0%	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で の 平成13年度(決算) 3,450 2,938	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  型である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算) 3,459	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (字巻 ため,水流 (決算) 3,165	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り (円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3事 内(	カカボ 特費業人事他減合国	ム票が上き、ジャー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー	(対 な 申旨 最旨 な 舌 件業門償 ・ 象 成 成 ば が 動 経却 無標 果標 果標 間 動費費費費計県	E語にして) 目 指考年指 指え、標標方・標標方・標標方・標標方・標準 するコス成の 49.5% 50.5%	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で の 平成13年度(決算) 3,450 2,938	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  対である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健 平成14年度(決算) 3,459 3,201	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) ・	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り(円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3事 内( 財 )	カカボ 大事 一訳) 原 一家	ム票 指 色 : i 部 価	(対 な 中旨 最旨 な 舌 件業門償・債象 成 成 は 動 経却 祭 乗標 果標 温 配費費費費計県等	E語にして) 目 指考年指指考年指 標標方・標標方・標標方・ で ( J 成	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で 平成13年度(決算) 3,450 2,938	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  対である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健  平成14年度(決算)  3,459 3,201	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) 等発 ため,水流 (決算) 3,165 3,231 6,396	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り(円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3事 内(	カカ	な	(対 な 中旨 最旨 な 舌 件業門償・債の象 成 成 ば 動 経却 祭 成 成 で 動 経却 祭 乗標 果標 湯 配費費費費費 の 発 の で の の の の の の の の の の の の の の の の	E語にして) 日 指 考年 指 標 標 京 方 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で 平成13年度(決算) 3,450 2,938 6,388	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  五である屋内のダニ調査 ある芦屋市のこどもの健  平成14年度(決算)  3,459 3,201  6,660	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り(円	を を を で で で で で で で で で で で で で	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3 事 内( 財 千 ) 財 ( ) 円 ) 円	カカ	な	(対 な 中旨 最旨 な 舌 件業門賞・債の財象 成 成 ど 動 経却 最初 以 成 が 動 経却 関連等他源等	E語にして) 日 指 考年 指 持 表 標 標 京 方 標 標 標 方 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で のでである。 2,938 6,388 2,877 3,511	る健康被害を予防する。 ) ×100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  五である屋内のダニ調査 ある芦屋市のこどもの健  平成14年度(決算)  3,459 3,201  6,660  3,166 3,494	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り(円	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3 事 内(財)(活)	ト	な	(対 な 中旨 最旨 な 舌 件業門賞・債の財象 成 成 ど 動 経却 暴力 大 の 財 を また 果標 果標 活 配費費費費費 計県等他源員	E語にして) 日 指表	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で のようである。 2,938 6,388 2,877 3,511 0.45	る健康被害を予防する。 ) x 100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  対である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの健  平成14年度(決算)  3,459 3,201  6,660  3,166 3,494 0.45	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図るが 1世帯当り(円)	(実績) (実績) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り(円	を を を で で で で で で で で で で で で で	平成17年度	〔目標〕
ア指 芦 3 事 内(財)(活)	ト	な	(対 な 中旨 最旨 な 舌 件業門賞・債の財象 成 成 ど 動 経却 最初 以 成 が 動 経却 関連等他源等	世語にして) 日 指表	要医療者の発見率(% 要医療者数/受診者数 平成13年度(実績) 46.3% 平成13年度(実績) ・アレルギーの発症要 ・公害汚染対策地域で のようでは、13年度(決算) 2,938 6,388 2,877 3,511 0.45 0.10	る健康被害を予防する。 ) x 100 平成14年度(実績) 53.8%  平成14年度(実績)  五である屋内のダニ調査 ある芦屋市のこどもの健  平成14年度(決算)  3,459 3,201  6,660  3,166 3,494 0.45 0.10	平成 1 5 年度 5 7 . 8 平成 1 5 年度 や駆除方法の6 康保持を図る7 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成 1 6 年度 永教室を実施す 住民 1 人当り(円	を を を で で で で で で で で で で で で で	平成17年度	〔目標〕

評	価	視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
		的妥当性(	2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	Н	的女子[注(	2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
				□ いずれにも該当しない		_
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	ີ 5	5
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性				☑ 数字で把握している 事業参加者、カバー率 □ 未把握		
8点	<b>ネ</b> †:	会環境変化	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
				内容		
		先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
_			区(1~ 1)	□対象カバー率は高い□・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	
有	受:	益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
効	成:	果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	3	3
44		-		▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	<b>⊣</b>	
性 4点	- 成:	果向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合   □ 成果向上策あり □ 特になし		
4只				·		
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単	位コスト(1	~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
~3				高い、または低い場合の理由		
				□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
	受:	益者負担(	0 ~ 1)	□ 対元に外のできる。 □ 対元に対元に対元に対元に対元に対元に対元に対元に対元に対元に対元に対元に対元に対	4	4
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>⊣</b> 1	- 1
	_			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手	段(1~ 3	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		7 1 光心武田7	<b>6</b> 0 (4 4)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
	٦,	スト削減取	組(1~ 1)	→ 内容 事業の一部を芦屋市医師会·文化振興財団等に委託している。	···	
ਹਾ ⊏t	1 [	- 1 6	年 度 に	改善改善総合		
実施	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	た改善	年 度 に 善 内 容	課題  内容   内容   アルファン・アンファン	A	В
5 4	<u> </u>	<u></u>	<del></del>			
5 学程	复のメ	団心(アク	クション)	健康増進事業の水泳教室の拡大		
明 左 <b>章</b>	□ ☆	してい	へる 課 題			
- 九 1工 ロ	14년 선생	0 0 0	1 る 東本 佐笠			
市民,関	係者	市民,関	係者の名称	  公害健康被害補償予防協会		
				公害健康被害に係る健康事業の拡大		
要望	等	恵見,	要 望 凡 谷	公害健康後害に係る健康事業の拡大 		
			対応内容			
		(1)	对心内台			
			実施期限	平成年月		
課題·要	望等		対応内容		_	_
		(2)				
へのす	対応		実施期限	平成   年   月		
		(2)	対応内容			
		(3)				
			実施期限			
マの 供	1 # 3	こられる		・開催時期や開催回数の増(海浜プールの使用に制限がある。) ・水泳指導員の育成(文化振興財団に委託しているが,海浜プールの事業と調整が必要である。)		
		イデア		小小山寺貝の月成(大山脈宍州西に安配しているが、		
W = V	,, ,	1 ) )		今後の方向	生 1次評価	2次評価
				拡大・充		2 // [11   [2]
				・当面は事業の拡大が難しいので現状維持 現 状 維 :		
				方 法 改		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性			
				1	<u>ا</u> ر	
				統合/終期設	Ê	
				廃止/休	L	
2 次 評	一個	委 員 会	コメント			
				1		

( —	般事	₽業)	事 業	コード	2120	070				部長	次	長課	長
	ь		_	NII.		/							
半瓦	丈 15	年度	事	業 名	地域	保健事業							
					<u> </u>				ļ				
			要(ドゥ)										
第3	次芦	i屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			所 管 誢	保健福祉	上部	
総	合言	計画		中	1	保健・医療・福祉	の連携と充実			所 管 誤	健康課		
政	策力	施策		<b>/</b> \	2	保健事業の推進				所管課長氏名	小阪 郁		
体		系		細	_	健康づくりの意識	M向 F			記入者氏名			
事									II 左 n ±				0507
		業	期			/m /m > 1	経常臨時	☑ 経常 □	品时	電話番号		-1586 内線 :	2567
	拠	法		要綱等	老人	保健法				実施 主体	户屋市		
実		施	手	≦ 法	~	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金	
委			託	先		外郭団体委託	名称		☑ 民間	委託 委託 内容	健康大学	<b>卢講座開催運営業務</b>	į
								-			•		
事	;	業	Ø	概 要	健康	・福祉の施策及70	事業の普及・啓発を図る						
<del></del>	;	*	0)	1141 32	DE IX	田田の旭米次0-	<b>尹来の日次 日元で四</b> る						
事	1	業	の	現 状	・あ	しや健康大学の開	催(11日間・18講座	<u>(</u> )					
		目的第	実現のため	50	入	学者51人,卒業	者44人,延べ受講者5	0 6人					
		手段下	ひ実施内	内容	• 健	康・福祉フェアの!	開催(健康・福祉に関係	する9団体で	実行委員?	会を組織し、開催	( ا		
		J FX//		, LI			81人,各ブースの延べ			A C 11011100 7 171511	- /		
				+15 13 4-			・・ハ・ロノ 人の姓へ	シル日双 □ ,	5 / 4八				
						保健事業参加者数			, <u></u>		:-	T ·	
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)			平成16年度	(目標)	平成17年度(目	1標)
			(1)	指標値			659人	5 3 2,	人				
アウ	ナトフ	プット		単位コスト			4,506円/人	5,015F	円/人				
指		標		指標 名		参加者数						4	
		1.0.	結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度	(日煙)	平成17年度(目	目煙)
						13千及(天順)	2,755人			113210-132	( 1115 )	1 13X 1 7 +1X ( E	11111
			(2)	指標値				2,08				_	
				単位コスト			1,078円/人	1,283F	刊/人				
2	事美	<u> 美成り</u>	果(アウ	<u>トカム)</u>									
			<del>3-1</del>	会	/Z# C#5.	み行がに見いるも	フェロ						
			対	承	健康	や福祉に関心のある	2 lh C						
事当	≝の	目的	対象力	」バー率	対象	東 数 (a)	受 益 数	(b)		比 率 (b	÷ a) %	)	
		意図	,,, ,,, ,,	., .	,,, <sub>~</sub>	( )	~	. (3)		PS 1 (1)	,	1	
V.) =	<b>3</b> \		흐	INVI	/Z# C#5	E ましよばの所す!	ウレナサための母店づく	この行き単年ま	羽御士っ				
			意		)建康	<b>長寿と主活の貝を</b>	向上させための健康づく	リの知識寺を育	首待りる。				
			(対象を	主語にして)									
大		き	な	目 的	健康	長寿と生活の質の「	句上						
				指 標 名	健康	づくりの知識習得	者数						
			中間成里			づくりの知識習得							
				考え方・式	健康	大学の卒業者数 / /	入学者数	亚式 1 5 年度	(宝績)	亚成16年度	(日堙)		コ畑〜
	<b>-</b> 1			考え方・式年 度	健康.	大学の卒業者数 / /	入学者数 平成14年度(実績)			平成16年度	(目標)	平成17年度(目	目標)
	ウト	カム		考え方·式 年 度 指 標 値	健康 平成	大学の卒業者数 / /	入学者数	平成 1 5 年度 4 4 人 / 5		平成16年度	(目標)	平成17年度(目	目標)
ァ : 指	ウト	カム 標	指 標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名	健康 平成	大学の卒業者数 / /	入学者数 平成14年度(実績)			平成16年度	(目標)	平成17年度(目	目標)
	ウト	カム 標	指 標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方·式	健康 平成	大学の卒業者数 / <i>,</i> 1 3 年度(実績)	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人	44人/5	5 1人		(目標)	平成17年度(目	目標)
	ウト	カム 標	指標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方·式	健康 平成	大学の卒業者数 / <i>,</i> 1 3 年度(実績)	入学者数 平成14年度(実績)	44人/5	5 1人			平成 1 7 年度(目	
	ウト	カム 標	指標	考え方·式度 指標値 指標 3 考え方·式度	健康 平成	大学の卒業者数 / <i>,</i> 1 3 年度(実績)	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人	44人/5	5 1人				
	<b>ウ</b> ト	カム 標	指標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方·式	健康 平成 平成	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績)	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人 平成 1 4 年度 (実績)	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度	(実績)	平成16年度			
指		カム 標	指 標 最終成果 指 標	考え方·式度 指標標方·式度值 4 考え方·式度值 1 指標 情 信 年 指標 情	健康 平成 平成 健康	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績)	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度	(実績)	平成16年度			
指		カム 標	指 標 最終成果 指 標	考え方·式度 指標値 指標 3 考え方·式度	健康 平成 平成 健康	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績)	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人 平成 1 4 年度 (実績)	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度	(実績)	平成16年度			
指    芦属	屋市(	カム標の特色	指 標 最終成果 指 標 色など補り	考え方·式度 指標標 方·	健康 平成 平成 健康	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績)	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人 平成 1 4 年度 (実績)	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を約	5 1人 (実績) 組織して9	平成16年度 実施している。	(目標)	平成17年度(目	目標)
指 芦属	屋市(	カム標の特費・	指 標 最終成果 指 標 色など補り	考え方・式度値名式度値名式度値 日本 標標	健康 平成 平成 健康	大学の卒業者数 / ,:13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) 福祉フェアは健康	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7人 / 6 1人 平成 1 4 年度 (実績) や福祉に関係する 9 団体	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績)	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標)	平成17年度(目	目標)
指    芦属	屋市(	カム標の特色	指 標 最終成果 指 標 色など補り	考え方・式度値名式度値名式度値 日本 標標	健康 平成 平成 健康	大学の卒業者数 / ,:13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) 福祉フェアは健康	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人 平成 1 4 年度 (実績)	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を約	(実績)	平成16年度 実施している。	(目標)	平成17年度(目	目標)
指 芦属	屋市(	カム標の特費・	指標 最終成果 指標 色など補り 活動配	考え方・式度値名式度値名式度値 イ	健康 平成 健康	大学の卒業者数 / ,:13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) 福祉フェアは健康	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7人 / 6 1人 平成 1 4 年度 (実績) や福祉に関係する 9 団体	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績)	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標)	平成17年度(目	目標)
指 芦属	屋市(	カム標の発	指 標 最終成果 指 さざ補り 配費	考え方・式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 ようた。 本では、またいではでは、まにはでは、またいでは、まにはではでは、まには、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またい	健康 平成 健康 平成	大学の卒業者数 / ,:13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) 福祉フェアは健康	入学者数 平成 1 4 年度 (実績) 5 7 人 / 6 1 人 平成 1 4 年度 (実績) や福祉に関係する 9 団体 平成 1 4 年度 (決算)	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して 69 (決算)	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標)	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事	事第	カム標等を発送している。	指 標 最終成果 を が 動配費費費	考え方・式度 指標 信名式度 指標 信名式度 指標 信名式度 指標 信 日本 である。 日本 では、 日本 では 日本 では は	健康 平成 健康 平成	大学の卒業者数 / ,:13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) 福祉フェアは健康	入学者数       平成14年度(実績)       57人/61人       平成14年度(実績)       や福祉に関係する9団体       平成14年度(決算)       2,012	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して (決算) 2,284	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算)	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内	事第	カム標特費業人事他	指 最終成果 様 を が 動 の で も も な だ も も な き も も り も り も り も り も り も り も り も り も り	考え方・式度値名式 指標標	健康 平成 健康 平成	大学の卒業者数 / ,:13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) 福祉フェアは健康	入学者数       平成14年度(実績)       57人/61人       平成14年度(実績)       や福祉に関係する9団体       平成14年度(決算)       2,012	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して (決算) 2,284	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算)	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内	事第	カム標特費業人事他減	指 最終 標 標 無 標 に 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	考え方・式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	平成健康平成	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) :福祉フェアは健康 :13年度 (決算)	入学者数 平成14年度(実績) 57人/61人 平成14年度(実績) や福祉に関係する9団体 平成14年度(決算) 2,012 958	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して (決算) 2,284 384	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算) - 384	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内	事第	カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・	指 最指 色 活 件業 門 償	考え方・式度 指標 信 指標 名式度 指標 信 日 3 事項 分 (コスト は 85.6% は 14.4% は 100.0%	平成健康平成	大学の卒業者数 / ,:13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) 福祉フェアは健康	入学者数 平成14年度(実績) 57人/61人 平成14年度(実績) や福祉に関係する9団体 平成14年度(決算) 2,012 958	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して (決算) 2,284 384	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算)	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内	事	カの養人事他減合国	指 最終 標 標 無 標 に 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	考え方・式度 指標 信 指標 名式度 指標 信 日 3 事項 分 (コスト は 85.6% は 14.4% は 100.0%	平成健康平成	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) :福祉フェアは健康 :13年度 (決算)	入学者数 平成14年度(実績) 57人/61人 平成14年度(実績) や福祉に関係する9団体 平成14年度(決算) 2,012 958	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して (決算) 2,284 384	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算) - 384	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内( 財	量市( 事業 訳) 源	カの養人事他減合国市	指 最指 色 活 件業 門 償	考え方・式度 指標 値名式度 指標 の 名式度 指標 個名式度 指標 個 日本 1 本 1 本 1 本 1 本 1 本 1 本 1 本 1 本 1 本 1	平成健康平成	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) :福祉フェアは健康 :13年度 (決算)	入学者数 平成14年度(実績) 57人/61人 平成14年度(実績) や福祉に関係する9団体 平成14年度(決算) 2,012 958	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して (決算) 2,284 384	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算) - 384	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内( 財	事	カの養人事他減合国市	指 最指 色 活 件業門償 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	考え方・式度 指標 信名式度 指標 名式度 指標 名 3 事項 分(コスト は 構成% は 85.6% は 14.4% は 100.0%	平成健康平成	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績) :13年度 (実績) :福祉フェアは健康 :13年度 (決算)	入学者数 平成14年度(実績) 57人/61人 平成14年度(実績) や福祉に関係する9団体 平成14年度(決算) 2,012 958	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) (実績) 組織して (決算) 2,284 384	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算) - 384	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内( 財	量市( 事業 訳) 源	カカクラ・大事他減合国市その大学・大事のでは、「おおいま」のでは、「ままま」のでは、「まままま」のでは、「ままままま」のでは、「まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	指 最指 み 活 件業 門價 ・ 債	考え方・式度 指標 値名 指標 値名 まって度 指標 値名 まって度 指標 値 日本 では、 は 名 では、 は 名 では、 は 名 では、 は 名 では、 は 名 では、 は る 事 項 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	健康 平成 健康	大学の卒業者数 / / :13年度 (実績) :13年度 (実績) :福祉フェアは健康 :13年度 (決算)	入学者数         平成14年度(実績)         57人/61人         平成14年度(実績)         や福祉に関係する9団体         平成14年度(決算)         2,012         958         2,970         256	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) 組織して (決算) 2,284 384 <b>2,668</b> 256	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30(予算) - 384	平成17年度(目	目標)
指	屋市(事業) 訳() 源()	カの業人事他減合国市そーム標・特費業人事他減合国市そー	指 最指 を 活 件 業 経 類 計 県 等 他 級 財 源	考え方・式度 指標 個名式度 指標 値 子え方・式度 指標 値 子え方・式度 指標 値 子は 標値 日本 では 日本 では	平成健康平成	大学の卒業者数 / / 1 3 年度(実績) 1 3 年度(実績) 福祉フェアは健康 1 3 年度(決算) 0	入学者数         平成14年度(実績)         57人/61人         平成14年度(実績)         中福祉に関係する9団体         平成14年度(決算)         2,012         958         2,970         256         0         2,714	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) 組織して到 (決算) 2,284 384 2,668 256 0	平成16年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30 (予算) - 384 - 384	平成17年度(目	目標)
指 芦 3 事 内( 財	屋事 訳) 源) 動	カカサの大き人事他減合国市そ一職	指 最指 き 活 件業 門償 ・ 債の	考え方・式度 指標 値 指標 値 名式度 指標 値 分(コスト は 85.6% は 14.4% は 9.6% は 9.6% は 100.0%	平成 健康 平成	大学の卒業者数 / / 1 3 年度(実績) 1 3 年度(実績) 福祉フェアは健康 1 3 年度(決算) 0	入学者数         平成14年度(実績)         57人/61人         平成14年度(実績)         中福祉に関係する9団体         平成14年度(決算)         2,012         958         2,970         256         0	4 4 人 / 5 平成 1 5 年度 で実行団体を編 1世帯当り(円)	(実績) 組織して到 (決算) 2,284 384 <b>2,668</b> 256	平成 1 6 年度 実施している。 住民1人当り(円)	(目標) 30 (予算) - 384 - 384	平成17年度(目	目標)

評	価	視	点	評価チェックリスト	1次評値	1 2次評価
		的妥当性(2	2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	п	1)女当注(4	2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
				□ いずれにも該当しない		
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	4
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
性				☑ 数字で把握している 参加者532人 □ 未把握		
8点	补	会環境変化	<b>Ł(1~ 1)</b>	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
			- (	内容		
		先性,緊急		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
<i>+</i>		象カバー率	•	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	_	
有	受:	益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
効	成	果の実績(2	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	2	3
44			-	▶ ② 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	<b>⊣ -</b>	•
性	- 成	果向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合   □		
4点				□ 成果向上策あり     □ 特になし       □ 比較できる団体がある     団体名     □ 比較できる団体はない		
				☑ 比較できる団体がある 団体名       □ 比較できる団体はない         □ 他団体の数字を把握している 単位コスト       □ 把握していない		
効	単	位コスト(1・	~ 1)	□ 他団体の数字を記録している 単位コスト □ 一 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
~3				高い、または低い場合の理由		
				□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
	受	益者負担(	0 ~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>⊣</b> 1	-1
	_	-n		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある		
	手	段(1~ 3)	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		7   ¥12# 07.	<b>4</b> □ (4 4)	▽ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	۱,	スト削減取	組(1~ 1)	→ 内容 健康大学の事業は芦屋市医師会に委託している。		
T ===	1 [	1 (	<b>左                                    </b>	経費の見直し 15年度から健康福祉フェアに係る予算は0	,	
字	1 5 L	~10たみ	年度に 善内容	課題 改善 改善 おおおり は おおり は おおり は から は か	<b>a</b>   <b>A</b>	B
5 今後	色の対	付応(アク	フション)			
TB +- +	-271 <del>**</del> h		<b>7 -</b> 10 05	「あしや健康福祉フェア」の継続開催が財政的に困難になってきている。		
現 住 記	泌 誠	0 ( 61	る課題			
市民盟	係者	市民 関化	系者の名称	  健康福祉フェア実行委員会の参加団体		
からの	<b></b>					
要望	笙	意見,	要望内容	健康福祉フェアの継続要望		
			***			
		(1)	対応内容			
			実施期限	平成年月		
課題·要	望等		対応由家			
		(2)	対応内容			
へのタ	讨 応		実施期限	平成 年 月		
			対応内容			
		(3)				
			実施期限			
				健康福祉フェアの開催については民間企業との共催を検討		
	_	i られる ・		開催場所の検討		
改善 (	יע כו	イデア		A # A + D	ML 4 N= +11 /1	T 2.25 ± T/T
				今後の方向		1 2次評価
				「あしや健康福祉フェア」の実施にあたって , 民間企業の参加を促す。 <u>拡大・充</u> 市民が参加しやすい開催場所の検討 <u>現</u> 状 維		
				方 法 改		
亚成 1	7 ~	10年度	の方向性			
1 /2		. ,一及	/J I-J IX	縮	小	
				(大)	_	
				廃止 / 休	_	
				マスコミその他でも多様な情報を入手できますので、市関与の必要性に疑問があります。健康フェア		変の変
2 次 評	価	委員 会	コメント	更、事業廃止も含め事業のあり方を見直して下さい。継続して実施する場合は民間企業の参加、市民		
				催場所・曜日・時間など検討してください。		

(一角	设事	業)	事業	□	2120	080				部 長	次	長課	長
平成	1 [ 4	干曲	<b>=</b>	 業 名	/建序	診査事業							
十成	131	十反	<del>p</del>	未 1	健康i	沙旦尹未							
-		•			•				•				
			更(ドゥ)										
			まちづく	りの目標	_		のある福祉社会づくり			所 管 課	保健福祉	部	
総合				中		保健・医療・福祉	の連携と充実				健康課		
政策	施	策		小	2	保健事業の推進				所管課長氏名			
体		系		細		生活習慣病予防 ,		T		記入者氏名			
事		業	期			5 7年~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	, iii	0797-31	1586 内線 256	7
	拠					保健法				実施 主体			
実		施	手				☑ 一部委託	□ 全部委託		祖助金		負担金	
委			託	先		外郭団体委託	名称	77 - 184-41 -44 -4 1		委託 委託内容	医師会・	<b>歯科医師会</b>	
					1		の受ける機会のない市民	及び在動者を対	付家に健康	隶診査を実施			
事	業	ŧ	の	概 要	・か	んの早期発見のため	め各種がん検診を実施						
					_	□ //h □ ÷ \ ★							
_	ш	ı	_	TE .15	1	民健康診査	7. C. A. (2005   1.) W.C.	<b>→</b> □ //* → ∧ / / 0.00	1 \ //h / -		/7th ± /	· (00= 1 )	
事	業			現状			、健康診査(5205人)巡回i	市民健診(1323)	人) 健康ナ	-エック(46/人)図	<b>国周</b> 病健診	(307人)	
			ミ現のため			種がん検診 ボィ、ィマჿ。 ト ンロセーボィ	(7000 1 ) 土田が (400	・ ハフウギノ /	2000   \1	<del>                                    </del>	v. / (077	1.	
	Ŧ	一样之人	なび実施内	公谷		かん(786人)肺かん 粗しょう症健診299	,(7229人)大腸がん(4335 , ,	0人) 丁呂かん(2	∠303人)学	レかん(761人)肝だ	ייי (6//	^)	
				七 抽 夕			<sup>3人</sup> 診者数 + 各種がん検診受	診老ヽ					
			結果指標	<b></b>			ジ省数 + 台種かん快診支 平成14年度(実績)		(宝績)	平成16年度(	(日標)	平成17年度(目標	)
				指標値		9,222人	20,636人	24,52		一	、日信ノ	十八 1 7 十尺 ( 日信	)
アウ	L <del>J</del>	w k	(1)	担 信 温	-	,603円/人	6,588円/人	6,066					
指	1. )	が「標		指標名		, 0 0 3 1 1 / X	0,50013/7	0,000	13/7				_
3H		ាភ	結果指標			13年度(宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度(	(日梅)	平成17年度(目標	)
				指標値		1 3 千及(天順)	十八十十尺(天順)	十八八十万十尺	(大順)	十八八〇十尺〇	(H157)	十成17千皮(白擂	_
			(2)	単位コスト									_
2	巨業	战与	艮(アウト										
	<del></del>	10,0,0	() )	,,,									
			対	象	職域	等で健康診査の受討	診機会のない40歳以上	の市民及び在勤	勧者				
事業	の E	目的	対象力	バ - 率	対象	き数 (a) 15	,834人 受益数	(b) 7.	772人	比 率 (b	÷ a) %	49.08%	_
対象		-				. , , ( , )		. ( - /		120 . (2	,		
			意	図			生のため,健康診査等を SECで減小を押する	受診することに	こより,st	生活習慣病の予防	iや疾病の	早期発見及び適切な図	Ē
			(対象を3	主語にして)	はい	刀誘导し,4年期の	の死亡の減少を期する。						
				·									
大	ð	Ē	な	目 的	健康	寿命の延伸と生活の	の質の向上						
				指標 名	健康	教育への参加率( <sup>0</sup>	%)						
			中間成果	考え方・式	健康	教育参加者数/要	指導対象者×100						
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(目標	)
アウ	トカ	JΔ		指標値		58.0%	59.6%	51.9	9 %				
指		標				発見率(%)							
			最終成果	考え方・式	がん	であった人数 / 要	情密検査者×100						
							平成14年度(実績)			平成16年度	(目標)	平成17年度(目標	)
				指標値		2 . 3 %	3.9%	3 . 5		-			
					・受	診率の向上を図る	ため , 老人健康診査・巡	回市民健康診査	査の対象 つ	者に問診票を送付	Ť		
芦屋	市の	特包	となど補足	足する事項	・基	本健康診査とがん	検診を一部セットにして	受診の向上を図	図っている	<b>3</b> .			
	- 111									1	ı		
	<b>事業</b>			<u>分(コスト</u>				1世帯当り(円)		住民1人当り(円)	<u> </u>	平成16.4.1 住民基本台	帳
事		業	費				平成14年度(決算)	平成15年度	•	平成16年度(	(予算)		
	/	<u> </u>	件 費			10,049	10,739		10,390		- 440.000		
	1	<b>∌</b>	業費			116,887	125,198		138,388		148,695		
	-		門経費										
(+1			償却費			400.000	405.007		4.40.770		-		
		<u>合</u> 団	計			126,936	135,937		148,778		148,695		
D-+	i i	国	- 県			31,480	36,886		41,925				ļ
	源		<b>賃</b> 等			6 400	7 700		9 272				
(千F	7)		の 他			6,403	7,706		8,272		149 605	•	
汗	動甲		<b>りり 源</b>			<b>89,053</b>	<b>91,345</b> 1.25		<b>98,581</b>		148,695		
			員. 阳 旺 笙										
配	חות	尚 it	·臨時等	28.6%		0.45	0.45		0.50				

		ナエツク)	ı -	**/#** <b>5</b> U ¬ I		4 No +TE /TE	2.55±±.7±
評		苗 祷	点			1次評価	2次評価
	E	目的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることがで			
		) X I I X (4 I		☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能	である		
妥	ħ	<b></b>	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
				□ いずれにも該当しない			
当				☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業で	ごはない	4	4
	ħ	た民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,またに		•	•
性			,		未把握		
8点				□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直			
- All	往	社会環境変化	<b>化(1~ 1)</b>	内容を健診内容の見直し			
	優	憂先性,緊急	性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
		対象カバー科		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が	低い		
有		·····································		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部			
				□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	CPRAL		
効	Б.	成果の実績(	2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると	言えか!!	4	4
性				成果があがっていない場合	חתשוו		
4点	- 万.	成果向上余均	也(1~ 1)		特になし		
4 从					付になり		
				☑ 比較できる団体がある 団体名       □ 比較できる団体はない         □ 他団体の数字を把握している 単位コスト       ☑ 把握していない			
効	単	単位コスト(1	~ 1)				
XVJ				→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
				高い、または低い場合の理由			
	3	受益者負担(	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率		•		□ → □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収	X可能 )	1	-2
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•	_
	1	手段(1~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部: □ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業,NPO等)で対応可能で □ 嘱託,臨時職員等で対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	分がある		
		, , , , ,	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能で	である		
性					<u>ある</u>		
3点	_	コスト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
			,,(,	▶ 内容 健診業務の多くを芦屋市医師会に委託している。			
亚成	1 5	. ~ 1 6	年度に	がんの発見率を高める。 冒部のX線撮影を間接撮影から直接撮影			1
平成実施	; 1 5 も し	~ 1 6 た 改	年 度 に 善 内 容	がんの発見率を高める。 冒部のX線撮影を間接撮影から直接撮影	総合評価	Α	В
				がんの発見率を高める。 冒部のX線撮影を間接撮影から直接撮影	総合	Α	В
		i ~ 1 6 た 改 i		がんの発見率を高める。 冒部のX線撮影を間接撮影から直接撮影	総合	Α	В
5 4	後の	)対応(ア	クション)	課題 がんの発見率を高める。 改善 内容 に切り替える。	総合	A	В
5 4	後の	)対応(ア	クション)	がんの発見率を高める。 冒部のX線撮影を間接撮影から直接撮影	総合	Α	В
5 今現在	後の認識	)対応(ア <u>(</u> 戦してい	クション)	課題 がんの発見率を高める。 改善	総合	A	В
5 今 現 在 市民,	が後の 認 調 関係者	)対応(ア/ 職 してい 者 市民,関	クション)	課題 がんの発見率を高める。 改善 内容 に切り替える。	総合	Α	В
5 今現在 市民,から(	を後の認識 関係者の こうこう	対応(アクロック) 対応(アクロック) おいまま (アクロック) ままり でいまま (関係) 関係	クション) ハる 課 題 係者の名称	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
5 今現在 市民,から(	を後の認識 関係者の こう	対応(アクロック) 対応(アクロック) おいまま (アクロック) ままり でいまま (関係) 関係	クション) ハる 課 題 係者の名称	課題 がんの発見率を高める。 改善	総合	A	В
5 今現在 市民,から(	を後の認識 関係者の こう	対応(アクリカン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カ	クション) ( る 課 題 ( 系者の名称 ( 要 望 内 容	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
5 今現在 市民,から(	を後の認識 関係者の こう	対応(ア/戦してい	クション) (る課題 係者の名称 要望内容 対応内容	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
現 市 の 要	後の認識関係である。	対応(アール 対応(アール ) 対応(ア	クション) ( る 課 題 ( 系者の名称 ( 要 望 内 容	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
5 今現在 市民,から(	後の認識関係である。	対応(アール 対応(アール ) 対応(ア	クション) (る)課題 (系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
現 市 の 要	後の認識関係である。	対応(アール 対応(アール ) 対応(ア	クション) (る課題 (系者の内内容) (事が下の対応) (事が下の対応) (対応) (対応) (対応)	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
5 現 市か要 課題・	後の認識関係である。	対応(ア 載 してい 者 市民,関 意 見, (1)	クション) (る)課題 (系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
5 現 市か要 課題・	が後の 関係 関係 関連 要望	が (ア/	クション) ( る 課 題 ( 系者の名称容 対応 期の内内 期の内 実施応期	課題 がんの発見率を高める。	総合	A	В
5 現 市か要 課題・	が後の 関係 関係 関連 要望	対応(ア 載 してい 者 市民,関 意 見, (1)	クション) (る課題 (系者の内内容) (事が下の対応) (事が下の対応) (対応) (対応) (対応)	講題   がんの発見率を高める。   改善   改善   内容   に切り替える。   日部の X 線撮影を間接撮影から直接撮影 に切り替える。   基本健康診査にかかる利用者負担額の適正化   芦屋市医師会   前立腺がん検診の実施   可成   16   年   4   月   負担額の適正化400円から800円に改正   平成   16   年   4   月	総合	A	В
5 現 市か要 課題・	が後の 関係 関係 関連 要望	が (ア/	クション) ( る 課 題 ( 系者の名称容 対応 期の内内 期の内 実施応期	講題   がんの発見率を高める。   改善   改善   内容   に切り替える。   日部の X 線撮影を間接撮影から直接撮影 に切り替える。   基本健康診査にかかる利用者負担額の適正化   芦屋市医師会   前立腺がん検診の実施   可成   16   年   4   月   負担額の適正化400円から800円に改正   平成   16   年   4   月	総合	A	В
5 現 市か要 課題・	が後の 関係 関係 関連 要望	が (ア/	クション)	講題   がんの発見率を高める。   改善   改善   内容   に切り替える。   日部の X 線撮影を間接撮影から直接撮影 に切り替える。   基本健康診査にかかる利用者負担額の適正化   芦屋市医師会   前立腺がん検診の実施   可成   16   年   4   月   負担額の適正化400円から800円に改正   平成   16   年   4   月	総合	A	В
5 現 市か要 課 へ	は 後の 認 に で 関係 影 要 望 対 が が か か か か か か か か か か か か か か か か か	が (ア/	クション) 題	おんの発見率を高める。   改善内容	総合	A	В
5 現 市か要 課 へ そ	後の 調の望 要対 他	が 対応(ア 載してい 書記 意見, (1) 等(2)	クション)	おんの発見率を高める。   改善内容	総合	A	В
5 現 市か要 課 へ そ	後の 調の望 要対 他	対応(ア 載 してい 書意見, 章 (1) 等 (2) (3)	クション)	課題 がんの発見率を高める。	総合		
5 現 市か要 課 へ そ	後の 調の望 要対 他	対応(ア 載 してい 書意見, 章 (1) 等 (2) (3)	クション)	課題 がんの発見率を高める。	終合評価		
5 現 市か要 課 へ そ	後の 調の望 要対 他	対応(ア 載 してい 書意見, 章 (1) 等 (2) (3)	クション)	課題 がんの発見率を高める。	の方向性		
5 現 市か要 課 へ そ	後の 調の望 要対 他	対応(ア 載 してい 書意見, 章 (1) 等 (2) (3)	クション)	課題 がんの発見率を高める。	のたった。		
5 現 市か要 課 へ そ改	後 認 係意 望 対 他の 巻 ア	対応(ア/	クション)	課題 がんの発見率を高める。	の 大状 維 大		
5 現 市か要 課 へ そ改	後 認 係意 望 対 他の 巻 ア	対応(ア/	クション)	課題 がんの発見率を高める。	のた状法		
5 現 市か要 課 へ そ改	後 認 係意 望 対 他の 巻 ア	対応(ア/	クション)	課題 がんの発見率を高める。	のた状法・のないでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、		
5 現 市か要 課 へ そ改	後 認 係意 望 対 他の 巻 ア	対応(ア/	クション)	課題 がんの発見率を高める。	の大状法・の大状法・の大状法・の大状法・のの大状法・を持善等・小		
5 現 市か要 課 へ そ改	後 認 係意 望 対 他の 巻 ア	対応(ア/	クション)	課題 がんの発見率を高める。			
5   現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の   の善成	後 認 係意 望 が 他の 17	対応(ア/	クション (新要) 対実対実対実対 実対 実対 実対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	課題 がんの発見率を高める。			
5   現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の   の善成	後 認 係意 望 が 他の 17	対応(ア/	クション (新要) 対実対実対実対 実対 実対 実対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	課題 がんの発見率を高める。			

( –	- 般 -	<b>業</b> (	事 業	<b>□</b> - ド	2120	090								部	長	次	長	課	長
平月	式 1 5	5年度	事	業名	訪問	指導													
			要(ドゥ)																
第 3	3次产	⋾屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもじ	のある	る福祉	L社会づく	IJ				cc	<u>^</u>	保健福祉	部		
総	合:	計画		中	1	保健・医療・福祉	上の連打	隽と充	実					所	管 課	健康課			
		施策		<u>/</u> \\		保健事業の推進								所管	課長氏名	小阪 郁	3夫		
	<b>/</b> /			<u></u> 細		介護予防と生活の	いぼうば	51 F							\ 者 氏 名				
体_ 事		系				月暖 がりて土/60	ノ貝い川	711	المحاد 1/27	<del></del>		. —						十 // 中	0507
		業	期			n+ /- /- /- /-			経常的	品時	□ 経界	· 🗆			話番号		-1586	内線	2567
	拠	法				健康保健法								実	施主体				
実		施	手	法	>	直営	<b>✓</b>	一部	委託		□ 全部	逐託			補助金		負担金		
委			託	先		外郭団体委託	名称						☑ 民間	委託	委託内容	歯科訪問	指導等		
																•			
事		業	Ø	概 要	在字	寝たきり者訪問指	道乃7)	「在字	寝たきり	各族	科訪問指	道見	目じこま)	7 子 [5	訪問指道				
-		*	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	IM S	<u> </u>				ng/cc >		41 1M21-33M	CS- / 1-3		- 3 17	2 H 21 - 12 H 43				
						明化学事业													
						問指導事業													
事		業	の	現 状		たきり予防訪問指							回数 2 5	1 回					
		目的影	実現のため	00	・寝	たきり者歯科訪問	指導:	訪問	希望者数	2 3	人・訪問	件数	4 (	6 回					
		手段刀	及び実施内	]容	・閉	じこもり予防訪問	指導:	被指	導人数	1 4	人・延べ	訪問回	回数 1 4 (	0回					
				指標 名	延べ	訪問回数													
			結果指標				亚式	1 / 4	午度 / 宝绿	<b>事)</b>	亚式 1 5	任度	(宝績)	J7 5	世 1 6 年 度	(日堙)	平成 1	7 年度 /	日梅~
					一以	・サヤス(夫領)	一八八			ŧ)	1			<del>+</del> 5	以10午及	(口信)	十八八	/ 十戊(	口惊丿
				指標値			1		0 4 回	_		3 7	•						
י ק	<b>ラト</b>	プット		単位コスト			1 (	),0	38円/	回	15,8	3 6 4	円/回						
指		標		指標 名															
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成	141	年度(実績	į)	平成 1 5	年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値					-										
			(-)	単位コスト															
2	車:	类式 F	L 果(アウ)				1							<u> </u>					
	777	モルスフ	<del>木() フ</del> ロ	714)															1
			対	象	在宅	寝たきり者、閉じ	こもり	等に	より訪問	指導	が必要な.	文)人	対象カバ-	- 率 -	対象数(a)	は老健事業	業訪問対象	象数)	
									- · ·						1				
				バー率	対象	R 数 (a)	710,	<u>ل</u>	受 益	数	文 (b)	٥	99人		比 率 (b	÷ a) %	1	3.99	6
対	象·	意 図																	
			意	図	在宅	寝たきり者の介護	予防と	生活:	の質の向	上を	図る。								
			(対象を3	注語にして)															
大		き	な	目 的	介護	予防と生活の質の	向上												
^		_	΄δ	н нл	八阪	一門に工作の真の	1-7-												
				北 # 石	÷ 수 88	七首十八 本 / 0/	`												-
						指導カバー率(%		<b>1</b>	100										
						指導者数 / 在宅寝	_				I — »			-	b t .		I — "		
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成			į)	1			平月	成16年度	(目標)	平成1	7年度(	目標)
ア	ウト	カム		指標値				2 6	. 4 %		1 3	3.9	%						1
指		標		指標 名		<del></del>			-										
				考え方・式															
						13年度(実績)	平成	1 4 3	年度(宝績	<b>責)</b>	平成 1.5	年度	(実績)	平F	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値	, ,-,0	- 1 (	1 13%		. ~ ( ^ ///	- /	, ,,,, , ,		( - < mx /	- '	1132	( - IM )	~ !	, , , , (	
			l	1日 信 旧			1				1			l			l		
<del>,.</del> ,		O 4+ 4	5 + 1 × + + =	] + ; = ·	北上より		<b>Δ</b> 7. '	. 70	1 7117										
户)	至巾	の特色	3. など補足	E96事項	幽科	訪問指導は,1回	いみと	. 附正	している。										
3	事	業費·	活動配:	分(コスト	)					_	1世帯当り	(円)	179	住民	1人当り(円)	77	平成16.4	.1 住民基	本台帳
事		業	費			13年度(決算)	平成	1 4 1	年度(決算	Į)	平成 1 5	年度	(決算)	平月	成16年度	(予算)			
		人	件 費	54.5%					3.6	559			3,777			-	1		
		事	業費				1		3,4				3,156			3,800	İ		
内	±⊏		3門経費				+		0,7		1		3,100			0,000	†		
-							+				<del>                                     </del>						}		
( †	- 円)		道却費			_	1						0.000			-	}		
		合	計			0			7,0	67			6,933			3,800	ļ		
		国	・県														]		
財	源	市	債 等										-						
( <del>T</del>	- 円)	そ	の他														Ī		
	,		段 財源	100.0%		0			7,0	67			6,933			3,800	İ		
活	番	聞職	<del>以加</del>							40			0.40			-,500	t		
							1										ł		
		鳴乱	∵臨時等			0.00	1			.25 .65			0.30			0.00	}		
,																			

市民サービス・施設運営 0503(健康課)2120090訪問指導

評	価 初	見 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性的	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	HINKHI	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	_
当	<b></b>	'a 4\	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	6
141	市民ニーズ(	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握		
性			☑ 数字で把握している 対象者99人    □ 社会環境の変化により社具ましばが悪	1	
8点	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容 □		
	優先性,緊急	<b>当性/1</b> )		1	
	対象カバー図	. ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1 ~	· · · · · ·	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	1	
			□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	3
性	#8510	LIL (4 4)	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	出 ⇔っっし/4	- 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	文皿 日 只 三	(0 1)	□→□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直U不能 □ 徴収可能)	1	_1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	•
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3 12(.	• /	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	7組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
			→ 内容 歯科訪問指導は、初回のみとしている。		
平成	I 5 ~ 1 6 した改	年度に	改善改善	Α	В
実施	した改	善内容	内容   内容	^	D
5 今後	(ア	クション)			<u> </u>
3 7 13	C 0 > > 1 1 1 1 1 1 1	,,,,,			
現在談	忍識してし	しる 課 題			
	係者市民,関				
からの	意見意見,	要 望 贞 宓			
要望	等心光,	女 主 r) 古			
		対応内容			
	(1)				
+m n= -=	AD 77	実施期限	平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日		
課題·要		対応内容			
	(2)	c>+/r#1/19			
へのタ	نا <i>ر</i> ال	実施期限	平成		
	(3)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成 年 月		
		大旭朔似			
その他	考えられる	5			
	ファイデア				
			今後の方向性	1次評価	2次評価
			拡大・充実		
			現状維持 現 状 維 持		
			方法改善		
平成 1	7~19年度	の方向性	民間委託等		
			縮		
			統合/終期設定		
			廃 止 / 休 止		
2 次 評	価委員会	コメント			

									-					
( —	般事	[業]	事 業	コード	21201	100				部		長次	長課	長
平成	t 15	年度	事	業 名	機能	訓練事業								
									]					
1	車者	<b>学椒</b> 耳	要(ドゥ)											
				コの日梅	2	<b>砕わかでめくまり</b>	のある福祉社会づくり					保健福祉	上立7	
		L		_	-					所	管	锞┃	T¤h	
		計画		中		保健・医療・福祉	の連携と允実					健康課		
政策	策力	施策		小	2	保健事業の推進				所管	課長氏	名 小阪 有	序夫	
体		系		細		健康長寿の延伸				記	λ 者 氏:	名 小阪 有	<u> </u>	
事		業	期	問	亚式	12年	経常臨時	☑ 経常 □	臨時			号 0797-31		2567
	+hn						<u>柴</u> 工 口 四期 4.3		пшнл	_		_	אָאהֹניין טטטו	2001
	拠		令 • 星								施主			
実		施	手	法	~	直営	□ 一部委託	□ 全部委託	;		補助金		負担金	
委			託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託	委託内	容		
=		Ark	•	概 要	4 0 :	歩い トブナチ 継針/	低下者に対して身体機能	の供性や同復す	<b>去</b> 圆口 /	+:=1	の母の白 L	大 図 マ		
事		業	の	版 安	4 0 1	<b>秋以上(土冶筬形)</b>	は 7 台に 刈し C 分 体 機 形	,0ノ維付 2四1長で	で凶り、主	土/白0.	/貝の川工	で図る。		
事		業	Ø	現 状	機能	訓練A型(楽しい	リハビリ教室)を毎週1	回,年間47回	回実施					
			€現のため			-	数14人,延べ参加人数							
					971	こり 訓練天学加入を	以14八,進八多加八奴	,300%						
		<b>于</b> 段人	ひ実施内	]谷										
				指標 名	実参	加人数								
			結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	ΨF	成16年度	(月煙)	平成17年度(	(日標)
						· 5 1/2 ( ) ( )	15人	14人		1 /-	20 1 0 1 12		1 12% 1 7 1 13% 1	( H 135 )
				指標値				-	•					
アウ	<b>, ト</b> ラ	プット		単位コスト			306,133円/人	212,35	7円/人					
指		標		指標 名	延べき	参加人数								
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成17年度(	(目標)
				指標値		1 122 (1 21121)	298人	3 0 8				- ( 1-1101 )	1	( 1 )
			(2)		1								+	
	<del></del>	112 15 5		単位コスト	<u> </u>		15,409円/人	9,652	円/人					
2	争争	長以 ラ	果(アウト	・カム)										
			対	会	△羊群	保険を利用してい	ない40歳以上の方で,	自体操化が低-	エレ マロコ	z 1 /	(匠婊. 办	* # / P / P / A F	中央を除くし	
			נא	34	川陵	体験を利用している	よい40成以上の力で,	分件機能が低	r U CVI	5/\ (	(区/京 ) )	暖休火炮片	祖ではく)	
事業	<b>≝</b> の	目的	対象力	バー率	対象	表数 (a)	受 益 数	(b)	2 5人		比 率 (b	÷ a) %	5	
		意図		•			27 — 22	( )			. (	,	4	
V1 %			효	SVI	+0k ⇔比:	≐Ⅲ≠≠! 白体₩纟	能の現状維持・回復を図	17						
			意 (10 + 1		/茂 HE	訓練をし、身体機能	形の現状維持・凹接で凶	, ວຸ						
			(対象を3	主語にして)										
大		き	な	目 的	介護	予防と生活の質を何	句上し健康長寿の延伸を	図る。						
				华 煙 夕	参加:	老の洋兄母(マン/								
						1900川北戸しナン)	ケートによる)(%)							
					_		ケートによる)(%) 舌×100							
				考え方·式	満足	した人 / 事業参加者	耆× 1 0 0	亚式 1 5 年度	(宝績)	l 17 a	式16午度	F / 日畑 \		(日煙)
			指 標	考え方·式 年 度	満足 平成	した人 / 事業参加者	者×100 平成14年度(実績)	平成15年度		平月	成16年度	医(目標)	平成17年度(	(目標)
指	) [	カム	指 標	考え方·式 年 度 指 標 値	満足 平成	した人 / 事業参加者	耆× 1 0 0	平成15年度		平月	成16年度	を (目標)	平成17年度(	〔目標〕
抇	) [	カム 標	指 標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名	満足 平成	した人 / 事業参加者	者×100 平成14年度(実績)			平月	成16年度	〔【目標)	平成17年度(	〔目標〕
相	<i>)</i>	カム 標	指 標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方·式	満足 平成	した人 / 事業参加る 13年度 (実績)	者×100 平成14年度(実績) 100%	100	%		成16年度	踅(目標)	平成17年度(	〔目標〕
相	) [	カム 標	指標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方·式	満足 平成	した人 / 事業参加る 13年度 (実績)	者×100 平成14年度(実績) 100%	100	%		成16年度		平成17年度(	
相	) [	カム 標	指標 標 最終成果 指 標	考え方·式 年 標 値 指 標 値 考え方·式 年	満足 平成 平成	した人 / 事業参加る 13年度 (実績)	者×100 平成14年度(実績)	100	%					
加	<u> </u>	カム 標	指標 標 最終成果 指 標	考え方·式 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方·式	満足 平成 平成	した人 / 事業参加る 13年度 (実績)	者×100 平成14年度(実績) 100%	100	%					
		カム 標	指標 悬終成果 据 標	考え方· 年 据 標 標 標 表 え 方・ 式 度 値 名 式 度 値	海足 平成 平成	した人/事業参加7 13年度(実績) 13年度(実績)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績)	1000	% (実績)	平原	成16年度			
		カム 標	指標 悬終成果 据 標	考え方· 年 据 標 標 標 表 え 方・ 式 度 値 名 式 度 値	海足 平成 平成	した人/事業参加7 13年度(実績) 13年度(実績)	者×100 平成14年度(実績) 100%	1000	% (実績)	平原	成16年度			
芦屋	量市(	カム標の特色	指 標 最終成果 指 標 色など補品	考え方·式度値名式度値 日本 1 ままる 1	満足 平成 平成	した人/事業参加7 13年度(実績) 13年度(実績)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績)	1000	% (実績)	平原	成16年度			
芦屋	量市(	カム標の特色	指 標 最終成果 指 標 色など補品	考え方· 年 据 標 標 標 表 え 方・ 式 度 値 名 式 度 値	満足 平成 平成	した人/事業参加7 13年度(実績) 13年度(実績)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績)	1000	% (実績)	平点とって	成16年度	E(目標)		〔目標〕
芦屋	量市(	カム標の特色	指 標 最終成果 指 標 色など補品	考え方·式度値名式度値名式度値 日本 である コス で の コスト	満足 平成 平成 機能i	した人/事業参加を 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績)	1000 平成15年度 意味から送迎の	% (実績) の対応をる	下が とって	成16年度	) 33	平成17年度(	〔目標〕
芦屋	量市(	カーの業分	指標 最終成果 指 を ど補 記 で 話動配介 費	考え方・式度値名式度値名式度値 インス度値名式度値 インス度値名式度値 インス度値名式度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インス度値 インスの インスの インスの インスの インスの インスの インスの インスの	平成平成機能	した人/事業参加を 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる 77 (決算)	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	) 33	平成17年度(	〔目標〕
芦屋	量市(	カは標の特費業人	指標 最終成果 指 を が 補 配 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	考え方·式度値名式度値名式度値 インマース では できます できます できます できます できます できます できます できます	港足 平成 平成 機能	した人/事業参加を 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をも 77 (決算) 2,666	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	₹(目標) ) 33 ₹(予算)	平成 1 7 年度 (	〔目標〕
芦屋 3 事	重市( 事)	カム標の特費業人事	指 標 最終成果指 など補 記 費 費 費	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 な式度値名式度値 な 事項 分(コス% 89.7% 10.3%	港足 平成 平成 機能	した人/事業参加を 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる 77 (決算)	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	) 33	平成 1 7 年度 (	〔目標〕
芦屋 3 事	事業	カム標・特費業人事他	指 標 最終成果標 色な活動配費費費費	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 おまた。 年指標 標	港足 平成 平成 機能	した人/事業参加を 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をも 77 (決算) 2,666	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	₹(目標) ) 33 ₹(予算)	平成 1 7 年度 (	〔目標〕
芦屋 3 事	事業	カム標・特費業人事他	指 標 最終成果指 など補 記 費 費 費	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 おまた。 年指標 標	港足 平成 平成 機能	した人/事業参加を 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をも 77 (決算) 2,666	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	₹(目標) ) 33 ₹(予算)	平成 1 7 年度 (	〔目標〕
芦屋 3 事	事業	カム標・特費業人事他	指 標 最終成果標 色な活動配費費費費	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値 4 表え方・式度値名式度値名式度値名式度値 4 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示	平成機能	した人/事業参加を 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をも 77 (決算) 2,666	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	₹(目標) ) 33 ₹(予算)	平成17年度(	〔目標〕
芦屋 3 事	事業	カの業人事他減合	指 最指 な 動 費費費費	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1スト 構成% 89.7% 10.3% 100.0%	平成機能	した人/事業参加3 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの 13年度(決算)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	E(目標) ) 33 E(予算) - 450 -	平成17年度(	〔目標〕
芦 3事 内(	事 訳 円 )	カの業人事他減合国	指 最指 と 活 件業門償 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・	考え方·式 年 指標 標 名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 大 の	平成機能	した人/事業参加3 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの 13年度(決算)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	E(目標) ) 33 E(予算) - 450 -	平成17年度(	〔目標〕
方 3 事 内 ( 財	事。	カム標の特費業人事他減合国市	指 最終 は 活動 に 費費 費費 費 費 サ 県 等	考え方·式度 年 指標 考え方・式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 よする事項 分(コスト) 構成% 89.7% 100.0%	平成機能	した人/事業参加3 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの 13年度(決算)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	E(目標) ) 33 E(予算) - 450 -	平成17年度(	〔目標〕
芦 3事 内(	事。	カの業人事他減合国市そ	指 最終 は 活動 で 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 り た り た り し り し り し り し り し り し り し り し	考え方·式度 年 指標 考え方・式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 よする事項 分(コスト) 構成% 89.7% 100.0%	平成機能	した人/事業参加3 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの 13年度(決算)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	を (目標) 33 を(予算) - 450 - 450	平成17年度(平成16.4.1 住民	〔目標〕
声 3 事 内( 財(	事。	カの業人事他減合国市そ	指 最終 は 活動 に 費費 費費 費 費 サ 県 等	考え方·式度 年 指標 考え方・式度値名式度値名式度値 コス度値 3・100.0%	海 平成 機能 i	した人/事業参加3 13年度(実績) 13年度(実績) 訓練の場所に自らの 13年度(決算)	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	E(目標) ) 33 E(予算) - 450 -	平成17年度(平成16.4.1 住民	〔目標〕
方 3 事 内 ( 財	T	カの業人事他減合国市そ	指 最終 は 活動 で 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 り た り た り し り し り し り し り し り し り し り し	考え方·式 年 指標 標標 指標 表方・式 度値名式 年 指標 100.0%	海 平成 機能 i	した人/事業参加で 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(決算) 0	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	を (目標) 33 を(予算) - 450 - 450	平成17年度(平成16.4.1 住民	〔目標〕
芦 3 事 内( 財(	ず <b>事</b> 訳) 用 動	カカップを大事他減合国市そ一職工会を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	指 最指 を 活 件 業 門 優 財 源	考え方·式 年 指標 標標 指標 表方・式 度値名式 年 指標 100.0% 100.0% 100.0%	海 平 機 機 能 が 平 の の の の の の の の の の の の の	した人/事業参加で 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(決算) 0	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384 4,592	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307 2,973	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	を (目標) 33 を(予算) - 450 - 450	平成17年度(平成16.4.1 住民	〔目標〕
芦 3 事 内( 財( 活	事 田門原	カカップを大事他減合国市そ一職工会を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	指 最指 を 活 件 業 門 償 ・ 債 の 財 り し の り り し り し り し り し り し り し り り し り し	考え方·式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1 は	海足成 機能	した人/事業参加で 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(実績) 13年度(決算) 0	者×100 平成14年度(実績) 100% 平成14年度(実績) の意思で参加してもらう 平成14年度(決算) 4,208 384 4,592 0.45	1000 平成15年度 意味から送迎の 1世帯当り(円)	% (実績) の対応をる (決算) 2,666 307 <b>2,973</b> <b>2,973</b>	下が とって	成 1 6 年度 こいない。 1人当り(円	を (目標) 33 を(予算) - 450 - 450	平成17年度(	〔目標〕

評	<u>叫 (フェ)</u> 価	視	点					<b>±</b>	平価チェック	ロフト					1次輕価	2次評価
п	IЩ 	170	, <u>"</u>		事業の主目	日的計明	ケブ おる		ПЩЛТЛЛ		車業の日的	カナーつに絞	ることができた	21.1	一次们區	2 八 川 岡
	目的妥	3当性(2	2 ~ 2)					. ++.I+ <del>=</del> :	比中心一					¥01		
												いまったは				
_		- 10	۵)					務づけられて					対応可能であ	かる		
妥	市関与	ī(2 ~	2)	□i	市民の基本	本的な生活	ちの維持に	こ必要である				は見直しがさ∤	っている			
											いずれにも				_	4
当					市民ニース			き事業					行う事業では		5	4
	市民二	ニーズ(2	2~ 1)	┕	▶ ☑ =-	ーズが高い	1				ニーズが高	いとは言えな	いい,または未	₹把握		
性						数字で把							□ 未把			
8点	ᅺᄉᄪ	= 辛亦/	k/a a\	<b>√</b> i	事業に関れ	わる社会環	境の変化	とに適応してい	,1る		社会環境の	変化にあわ	せた見直しが	必要		
	任宏境	現役11	比(1~ 1)		内容											
	優先性	ŧ,緊急	性(1)		事業を実が	施しなけれ	ば,市民の	の生命,安全	等が損なわ	れる						
			<u>≤(1 ~ 1)</u>		対象カバ-							他団体よりカ	バー率が低い	. 1		
有		<b>首(1~</b>	· · · · · ·	\[\bar{\gamma}\]	事業音図と	と受益者に							益が一部に限			
		`										<u>コ, めたは女:</u> :は目標値が		· · ·		
効	成果の	)実績(2	2 ~ 1)	1				ェッ, 凸点に ていると言え					へ配え っていると言え	. tal 1	1	3
性					<u>」 スポラル</u> 果があがっ			CVISCEIL	<u> </u>		大順胆が	100011	Z CVISCE/	L'&V 1		
4点	- 成果向	1上余地	也(1~ 1)				<b>∅</b> □							- +s I		
4只					成果向上5 比較できる		7 🖂	L / 2			11. ** 7	四件出去口	□ 特	こなし		
									- I		比較できる					
**	単位コ	スト(1・	~ 1)	닏. 1	他団体の変	数子を把握	至している	単位コス	۸۲ 			☑ 把握して	いない			
効			-,	₩	□ 他団体	体よりコスト	が低い	□他	団体と同程原	芰	<u></u>	凶 把握して 也団体よりコス	いが高い			
				高い	八または個	低い場合の	理由									
	巫兴≠	∠台+□//	1)	<b>☑</b> 1	負担を求め	めることがて	できる事業	である	□ 負担	担を求	めるべき事	業ではない				
率	文量官	り 吐 貝 目	0 ~ 1)	┕	· 🗌 現在,	, 適正な負	担あり	☑ 負担な	し,過少	(	徵収不能·	見直し不能	☑ 徴収可	能 )	2	2
<del>4</del>				直営	当事業(正	規職員が	執行)また	は出資団体	へ委託してい	いる業績	務について					-3
								けられている				地域等が担	亘うべき部分だ	がある		
	手段(1	~ 3)	)										が可能であ			
性					•	,					•		心可能である 心可能である			
					コスト削減の				Cos				心り形でのる			
3点	コスト	削減取	組(1~ 1)					いる 門家に委託。		Ц	特に行って	11/411				
					内台	连到旧守	未加で守口	1多に女品。								
平 成	1 5 ~	1 6	年 度 に 善 内 容	≐田 日百					改善					総合	Α	В
実施	した	改善	善内 容	小人					内容					評価	$\wedge$	Ь
「	ちのかに	5. ( <b>7</b> /	フション)													
J 719	友リノスリバ	N ( ) ,	<i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i>													
TB <del>/-</del> ±	:771 ±±h\ I	<b>7</b> 11	<b>7 ≟⊞ 85</b>	TH CHIC	たけ 上のな	<b>左/</b> D										
現 住 記	認 誠 し	( (1	る 課 題	理子想	まな上の帽	<b>性</b> 1木										
			系者の名称													
からの	意見															
要望			更望内容													
	等思	見,嬰	要望内容													
	等思	見,弱														
		見 , 勇 (1)	要望内容													
						年	月									
課題·要			対応内容実施期限		f	年	月									
課題・要	望等	(1)	対応内容		f	年	月									
	望等		対応内容 実施期限 対応内容	平成		·	•									
課題・要	望等	(1)	対応内容実施期限	平成		年	月月月月									
	·····································	(1)	対応内容 実施期限 対応内容	平成		·	•									
	·····································	(1)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	Ì	年	月									
	·····································	(1)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	Ì	·	•									
^	望等	(1)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	Ì	年	月									
への対	望等が応し考えら	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	Ì	年	月									
への対	望等	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	Ì	年	月									
への対	望等が応し考えら	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	Ì	年	月						今後の	方向性	1次評価	2次評価
への対	望等が応し考えら	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	Ì	年	月						今後の拡大		1次評価	2次評価
への対	望等が応し考えら	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	f	年	月						拡大		1次評価	2次評価
への対	望等が応し考えら	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成	f	年	月						拡 大現 状	· 充 実	1次評価	2次評価
へのす	望等応きる	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成取明状系	f	年	月						拡 大現 状	· 充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
へのす	望等応きる	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成取明状系	f	年	月						拡 大 現 状 方 法	· 充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
へのす	望等応きる	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成取明状系	f	年	月						拡 大 現 状 方 法 民間 3	· 充 実 維 持 改 善 委 託 等	1次評価	2次評価
へのす	望等応きる	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成取明状系	f	年	月						拡 大 現 状 方 法 民 間 多 統合/終	充 集     表 持       改 善     手       小 定	1次評価	2 次評価
へのす	望等応きる	(1) (2) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成取明状系	f	年	月						拡 大 現 状 方 法 民間 3	充 集     表 持       改 善     手       小 定	1次評価	2次評価
への対 その他の	望等 応 ・ 考え ア イ 7 ~ 1 9	(1) (2) (3) れるア	対応内容 実施期限 対応期期容 対応期期の 方向性	平成平成,现代,	4.	年	月	<b>をとのな</b> 今た	給計し、アノ	だない	1.1		拡 大 現 状 方 法 民 間 多 統合/終	充 集     表 持       改 善     手       小 定	1次評価	2次評価
への対 その他の	望等 応 ・ 考え ア イ 7 ~ 1 9	(1) (2) (3) れるア	対応内容 実施期限 対応期期容 対応期期の 方向性	平成平成,现代,	4.	年	月	€との統合を	検討してく	ださい	L 1 <sub>0</sub>		拡 大 現 状 方 法 民 間 多 統合/終	充 集     表 持       改 善     手       小 定	1次評価	2次評価

(一般	事業)	事 業	コード	2120	110			1	部 長	次	長課	長
ਜ਼ ਜੋ: 1	- 左曲	古	業名	△쐪	予防・生きがい生	江土 控 声 兴						
平成1	9 年及	<b>尹</b>	来 右	川徳	で防・主さかい主	· 人名						
				•				•				
1事	業概	要(ドゥ)							•	-	·	
第3次萨	古屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			所 管 課	保健福祉	:部	
総 合	計画		中	1	保健・医療・福祉	の連携と充実				健康課		
政 策	施策		小	2	保健事業の推進				所管課長氏名	小阪 郁	扶	
体	系		細		健康長寿の延伸				記入者氏名	小阪 郁	扶	
事	業	期	間			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-31-	·1586 内線	2567
根 拠	法	令 ' :	要綱等	老人	保健法				実 施 主 体	芦屋市		
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	;	□ 補助金		負担金	
委		託	先		外郭団体委託	名称 芦屋市文化振興期	<b>村団他</b>	□民間	香託 委託 内容	運動指	導等	
事	業	の	概 要	生活	習慣病等の疾病予	防と介護予防						
				・介	護予防教室(6地	区集会場):参加者数 9	8人					
事	業	の	現 状		•	いき教室:潮見小学校P					9 0 人	
	目的記	実現のため	ხთ	・た	のしい運動教室(	体育館・青少年センタ-	- ):実参加者:	3 7人・3	延べ参加者数30	5人		
	手段及	及び実施内	容									
			1		(1							
			指標名				T=+	, <u></u> :			<del>-</del>	
		結果指標		1	13年度(実績)	平成14年度(実績)	-		平成16年度	(目標)	平成17年度	(目標)
			指標値	_		177人	1 4 6					
アウト			単位コスト		4. I = -tW	12,780円/人	15,158	3円/人				
指	標		指標 名			1			1			
			年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度(実績)			平成16年度	(目標)	平成17年度	(目標)
		(2)	指標値	1		508人	493					
• =	NI/ _15 F		単位コスト			4,453円/人	4,489	円/人				
	<b>美</b> 放き	果(アウ	トカム)									
		対	象	疾病	別栄養指導講習会	受講者及び心身機能の個	紙下している高齢	齢者等				
= ** -		11 A 1			- WL ( )	TT 24 H	4 (1)	4.6.1	lu //	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
			バー率	对》	表 数 (a)	受 益 数	X (b) 1	46人	比 率 (b	÷ a) %		
対象·	思 凶			4.17	羽畑庁の庁でる	しよばの話の力し						
				生活	習慣病の疾病予防	と生活の質の向上						
		(刈家を	主語にして)									
大	き	な	目 的	☆誰	<b>ス</b> 院 レナチの母の	向上を図り、健康長寿を	に延伸する					
^	c	<i>'</i> &	נים 🗀	八碳	がりて土地の負の	門上で凶り、健康反分で	で延用する。					
			华 煙 夕	健康	状態の改善率(%	)						
		山間成里				<u>/</u> れた人数/運動教室参加	□老数 ∨ 1 0 0					
						平成14年度(実績)		( 実績 )	平成16年度	(日標)	平成17年度	(月標)
アウト		J⊟ 15-	指標値	1	, 13 1及(入院)	6 4 %	689		113% 1 0 1132	( 113. )	113% 1 7 1132	( 113. )
指	標		指標名	-			1 00.					
	123		考え方・式									
					13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度	(目標)
		120	指標値			( ) ( )	, . , , ,	( )		,	, , ,	( , , , , ,
			74 12 12			l.	- I		1			
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項									
3 事	業費·	活動配	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	57	住民1人当り(円)	25	平成16.4.1 住民	基本台帳
事	業	費	1	-	,13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度	(予算)		
	人	件 費	84.8%			1,895		1,877		-	•	
	事	業費	15.2%			367		336		410		
内 訢	他部	門 経 費	!							-		
(千円)	減価	「償却費	İ							-		
	合	計	100.0%		0	2,262		2,213		410		
	围	· 県	!									
財 源	市	債 等									•	
(千円)	) そ	の他	!									
	_ #	段 財源	100.0%		0	2,262		2,213		410		
活 動	職	員	25.0%			0.10		0.10		-		
配分	嘱託	・臨時等	75.0%			0.30		0.30		-		
( 1 '	4	*1	100.0%		0.00	0.40		0.40		0.00		

評	<u> </u>	視 点				±iī/	価チェックし	176			1次証価	2次評価
П				事業の主目的は明	確である		1両ノエグブリ		事業の目的は一つに絞ることがで	きない	· // ATIM	4次町Ⅲ
	目的妥当性	E(2 ~ 2)					大度が高い		事業の目がは うに減ることがで 貢献度が不明確、または高くない	0. / 1		
				市が実施するよう					民間でやるべき、または対応可能	である	1	
妥	市関与(2~	2)	I	市民の基本的な生					他団体では見直しがされている	200		
	1-127 5 (-	-,		10000 1111001	_/ [				いずれにも該当しない			
当			<b>V</b>	市民ニーズに基づ	いて行う・	べき事業			市民ニーズに基づいて行う事業で	はない	6	5
_	市民ニーズ	(2 ~ 1)		→ 図 ニーズが高					ニーズが高いとは言えない。または		•	
性		,				ハる 事業参加	1者数			₹把握		
8点	+1 A TM 1 + -	- //		事業に関わる社会		•			社会環境の変化にあわせた見直し		1	
	社会環境级	图化(1~ 1)		内容							1	
	優先性,緊	急性(1)	<b>V</b>	事業を実施しなけ	れば,市[	民の生命,安全等	等が損なわれ	れる			1	
	対象カバー	率(1~ 1)		対象カバー率は高	56 N	☑ 他団	団体と同程度	₹	□ 他団体よりカバー率が	氏い		
有	受益者(1~	1)	✓	事業意図と受益者	は整合し	ている 🗆	]事業意図	と受討	益者が不整合 , または受益が一部に	限定		
効	成果の実績	<b>1</b> (2 ~ 1)	1 1						実績値または目標値が未記入		1	3
	na na na na na na na na na na na na na n	(- ')		・② 実績値から成		っていると言える	3		実績値から成果があがっていると	<b>≣えない</b>	<b>!</b>	J
性	- 成果向上余	≷地(1~ 1)		果があがっていない	\場合							
4点				成果向上策あり		14.5	· · · · · · · · ·			持になし		
				比較できる団体が			ı	Ц	比較できる団体はない			
効	単位コスト(	1 ~ 1)		他団体の数字を把					□ 他団体 503.3 は意い			
7/3				い、または低い場合			山仲と同作法	Ž	□ 他団体よりコストが高い		-	
			_			<u></u> 業である	□ 負扣	日を求	 なめるべき事業ではない		1	
	受益者負担	₫(0 ~ 1)			_			_	徴収不能・見直し不能 □ 徴収	可能 )		
率				営事業(正規職員)						- 3 86 /	<del> </del> 1	-3
				正規職員による執					個人,家庭,地域等が担うべき部分	<b>介がある</b>		
	手段(1~	3)					である	$\overline{2}$	民間(企業, NPO等)で対応可能で	ある		
性				,	•				嘱託,臨時職員等で対応可能であ			
3点		TT 60 (4 4)	ΙП	コスト削減の取り組					特に行っていない			
	コスト削減耳	取組(1~ 1)	<b>└</b>	内容							•	
π <del>ι</del>	1	( 左 庄 1-					75. 羊			w.		
実施	1 5 ~ 1 した改	・ 年 及 に 善 内 容	課題				改善 内容			総合評価	A	В
5 今往	<u> </u>	<u> (クション)</u>	1									
TB +- +	m +m l テ			いき数字の拡土(	立言恭奉	·伊伊 <u></u> 中 一 元 1 2	스+B+∺+⊓ I	2 🛆	<del></del>			
現 住 記	総 誠 し (	いる味趣	יום	いき教室の拡大(	机同断往		云场垣加し	2 <del></del> .	场としている。)			
市民、陸	係者 市民 塁	国係者の名称	介護	予防教室の参加者	•							
要望	意見,	要望内容	山手	にも「いきいき教	室」を開	設してほしい。						
	(1)	対応内容										
		実施期限	平成	年	月							
課題·要	望等	対応内容										
	(2)											
へのす	対 応	実施期限	平成	年	月							
		対応内容										
	(3)											
		実施期限	平成	年	月							
その供	きえられ	2										
	カアイデ											
		<b>´</b>							今後	の方向性	1次評価	2次評価
			平成	18年度に朝日ヶ	丘・岩園	地区に「いきり	ハき教室」	を増		. 充 実		
										大 維 持		
										去改善		
平成 1	7~19年度	度の方向性								委託等		
									縮	小	,	
									統合	終期設定	:	
			L						廃业	: / 休 止		
			事业	中容の乾坤 ゲク	- 41° M - 11° M	; <del> </del>	刊の事業兄		ロゼーナノださい 生活物場合	がたけるか	レルエグ	あっ 亡
2 次 評	価 委 員 会	ミコメント	事業  上	内谷の整理、統合 介護予防、高齢化	か必要で の進行≠	っ。心球密看₫ ありますので	聖の事業展 方法改善	用を	目指してください。生活習慣病の り受講機会を増やして下さい。	/疾病予防(	こ生店の	買い回
			<u> </u> _`	1/3\ 1-0m\1C			,,,,,,,					

(内部	事務)	事 業	J - F	2120130						部	長次	長	課	長
平成1	5 年度	重	業名	保健センタ	- 維持管理									
1 /2%	3 1 152	. <del>-</del>	* L	I I I I	からいない									
4 ===	<del>44 1</del> 01	#	<b>\</b>											
		要(ドゥ) l ± ± ヾ	<u>)</u> くりの目標	っ 健やか	でかくまけ	のある短え	止社会づくり				保健福祉	L立R		
総合			<u> </u>		医療・福祉					所 管	課健康課	TOP		
政策			/\\	2 保健事			-			所管課長	氏名小阪 有	 『夫		
体	系	<b></b>	細		ンター機能	の充実					氏名小坂 有			
事	業	j	期間	昭和56年			経常臨時	☑ 経常 □	臨時		号 0797-31		内線	2567
根 拠	1 法	令 '	要 綱 等	芦屋市保健·	センターの	設置及び管	理に関する条	例		実 施 主	体 芦屋市			
実	施			☑ 直営		☑ 一部	委託	□ 全部委託		□補助金		負担金		
委		託	先	□ 外郭団	体委託	名称			☑ 民間	養託 委託	内容 保守点	検業務		
_	NII4	_		/D /7th 1 to 1	= W = 14									
事	業	の	概要	保健センタ	ー事業の推	進								
				(足(掛わこ)	カーの母診	松 呉 兀っていな	設の保守管理							
					ターの健診 ゲン画像読									
事	業	Ø	現 状				自家用電気工	作物保安業務	<ul><li>自動  </li></ul>	ドア保守点検	業務 ・消防	i用設備保	守点検賞	<b></b>
3.			,,,				設内外清掃業		723		71317	77.542.115.11	. 3	
	目的	実現のた	めの	保健セン	ターの施設	補修								
	手段.	及び実施	内容	・自動ド	ア取替え工	事 ・2階	トイレ改修工	事 ・地下運	動指導室	・ホールの壁	面塗り替え工	事		
				施設の光	熱水費等									
			Tue := :											
- h -	<del>-</del>			施設補修数	<b>中</b> (中体)	T = 1 4	左帝 / 京雄 >	亚产 4 5 左岸	= / <del>                                    </del>	TI # 4 C #	- 中 / 口 挿 \	T = 1 1	7 左 4	□ <del>+=</del> \
ア ク <del>1</del> 指	ティ ノ 標	1、1六年川北台系	無年 度 指標値		<b>及(夫</b> 縜)	平成 1 4	年度(実績)	平成 1 5 年度 3 箇		平成161	F度(目標) -	平成Ⅰ	7年度(	日信)
18	12		担 信 温					322,00						
			指標名					322,00	0111 10111					
アウト	プット	(+ m +s )	年 度	平成13年	度(実績)	平成 1 4	年度(実績)	平成15年度	甚(実績)	平成16年	F度(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指	標	1 結果 指 和	票 <u>·</u> 指標値											
			単位コスト											
2 事	業成	果(アウ	トカム)							•				
		対	象	施設の補修	箇所									
車業の	カ日的	が 免・	カ バ ー 落	対象数	(2)	5 箇所	受 益 数	t (b)	3 箇所	H	(b ÷ a) %	J	6 0 %	
対象			/3 /\ <del>+</del>	- NJ 3K XX	(4)	3 四//	х ш х	<b>A</b> (D)	3 III//	и +	(b . u) /	<u>′1</u>	0 0 70	
		意	図	施設補修を	行い,施設	利用者の利	便性を高める	•						
		(対象を	主語にして)											
大	ਣੇ	な	目 的	保健センタ	ー機能の充	実を図る。								
		1	1F 1# 69											
		中間	指 標 名 間考え方・式											
		成果指标			度(実績)	平成 1 4	年度(実績)	平成 15年度	ま(実績)	平成 1 6 年	F度(目標)	平成1	7年度(	日標)
アウΙ	トカム		指標値		及(入殿)	1 13% 1 1	一及(入戶)	172 1 3 1 12		1 13% 1 0	I Q ( II III )	1 72%	, 112	H 1/4 /
指	標		指標名			II.				1		ı		
		最 糹	終考え方・式											
		成果指標	漂年 度	平成13年	度 (実績)	平成 1 4	年度 (実績)	平成15年度	延(実績)	平成16年	F度(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指標 値			<u> </u>								
++ =	<b>-</b>	4+			ーは昭和 5	6年に開設	とされたことか	ら,館内にエ	レベータ-	- が設置され	ていない。			
芦屋	屋 の	特	色 な ど											
2 車	***	、、千重加元	ピ分(コスト	)				1世帯当り(円)	391	住民1人当り	(円) 169	亚成164	.1 住民基	本台帳
事	業				度 (決算)	平成 1 4	年度(決算)	平成15年度			F度(予算)	1 17% 10.4	111/4	_ + HTK
	人		費 21.6%		,		3,249		3,283		-			
	事		費 41.1%				5,282		6,239		7,335	1		
		『門 経 』									<u> </u>			
(千円		賃却費	_				5,645		5,645		-			
	合		100.0%	6	0		14,176		15,167		7,335	4		
B→ `	国	·	_							-		-		
財が	原する		等 也 5.4%				5,680		819			-		
(十円		の fl 般財 湖	_		0		8,496		14,348		7,335	1		
活動	動職		<b>身 100.0</b> %		J		0.30		0.35		- ,000	1		
		: 臨時領					0.05		0.00		-	1		
(人			H 100.0%		0.00	1	0.35		0.35		0.00	1		

		エック								4.7	/# ~ L								
評	価		視	点		116 1 1					価チェック						1000	1次評価	2次評価
				~ 1)		対象カノ					本と同程度					リカバー率			
有	受益	益者(1~	- 1)	)		事業意図			-,							が一部に	限定		
効	成	果の実績	責(2 ~	1)	1 1					し,目標値を いると言える						記入 ていると言	えない	2	0
性		# <b></b>	<b>△⊥⊪</b> //	4 4)	成	果があが	っていた	い場合										1	
4点	- bX3	未归工法	天地(1	1 ~ 1)		成果向」	上策あり		[								特になし		
						比較でき	る団体に	がある		団体名				IJţ	比較でき	る団体はな	:61		
						他団体の			こいる	活動配分	5				巴握してい				
	沽	<b>動配分(</b>	1~	1)	↳	- 🗆 他[	団体より	少ない		□ 他団	体と同程原	 芰			也団体よ				
効						い,または			里由										
						比較でき				団体名	1			☑ t	比較でき	る団体はな	:61	1	
		u	, .			他団体の	D数字を	・把握して	こいる	単位コス				□ ŧ	巴握してい	ハない			
	単1	立コスト	(1 ~	1)	↳	- □ 他[	団体より	コストがイ	低い	□ 他団	体と同程原	<b> ★</b>				リコストが高	āι\	4	4
率						い,または						······································						1	1
										『団体へ委託	している美	養務につ!	117					1	
										ナられている				在 地域	数等が扫	うべき部分	がある		
性	手	设(1~	3)			早間(企	業 NPC	)等)では	対応で	できない業務で	である		パノスに 学介)間9	≛.NPC	(美)で対	かっていた。 応可能であ	55 55		
4点						-				きない業務で						可能である			
					V	コスト削え							持に行って			7130 ( 0)			
	37	(ト削減	取組(	(1 ~ 1)	1 1					管理を委託			310132						
	<u> </u>					健診フロ	<u>-</u> 17-σ				壁	の塗りを	えを実	施した					
平成	1 5	~ 1	6年	ド 度 に	課題	トイレの	-,・。. D改修		-			式のトイ					総合	Α	C
実 施	U i	た以	善	内 谷	m///~_	自動扉の	の修理				内谷 白	シャ・・ 動扉を修	を理した.		15010		評価	^	
5 今往	をのす	<del>↓応</del> (□	アクミ	:/=\/\		H 355/AF V	719-1					207F C 13	7-1 0 / 0						
J / 1:	207			<del>, , ,</del>															
現在	認識	して	ll a	る 課 題						朽化が進み ・1 階部分の									
市民,関	]係者	市民,	関係者	者の名称															
からの 要 望	意見	意見,	,要	望内容															
<u> </u>	,					階段部部	の雨漏	り補修											
		(1)	J	実施期限	平成	16	年	5	月										
課題·要	望等	(2)	文	付応内容	トイ	レの改修	}												
へのす	対応	(-)	-	定施期限	平成	16	年		月										
, ,	., ,,,		¥	付応内容	1 13%	10			1/3										
		(3)					1.		1_										
			E	定施期限	平成		年		月										
その他			-																
改善(	のア	イデ	ア															1	
																	)方向性		2次評価
																	・充実		
					冷暖	房設備の	改修(	部分的な	よ器機	更新が必要	)						維持		
																方 法	改善		
平成 1	7 ~ 1	9年月	度の	方向性												民間	委 託 等		
																縮	小		
																統合/	終期設定		
																廃止	/ 休 止		
2 次 評	F 価 着	委員名	会コ	メント	(成	果指標が	未記入	のためず	与効性	がC評価です	すが現状維	掛とし	ます。成	<b></b> 大果指标	票の設定	を検討して	て下さい。	)	

(一般	事業	<b>(</b> )	事業		2120140				部 長	次	長課長
( 132		` /	3. 210						Π	,,,	20, 201
平成1	5年	度	事	業 名	保健センター設備整備	事業					
1 =	<del>** 1</del> 117	证田	更(ドゥ)								<u> </u>
			,		I I man a						
第3次	产屋	市	まちづく	りの目標	2 健やかでぬくもり	)のある福祉社会づくり			所 管 課	保健福祉	部
総合	計画	画		中	1 保健・医療・福祉	Lの連携と充実				健康課	
政策	施台	審		<u>/</u> ]\	2 保健事業の推進				所管課長氏名	小阪 郁	夫
		<u> </u>			_						• •
体		系		細	健康の増進		T		記入者氏名		
事	美	業	期	間	昭和56年	経常臨時	☑ 経常 □ 臨	語時	電話番号	0797-31-	1586 内線 2567
根 扱	1 法		令 · 身	更 綱 等	芦屋市保健センターの	設置及び管理条例			実 施 主 体	芦屋市	
実		施	手		☑ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託				負担金
	"	שונ									只正亚
委			託	九	□ 外郭団体委託	名称	L	□ 氏间	委託 委託 内容		
事	業		Ø	概 要	保健センター機能の充	実					
	, i										
						W == EE - EE W					
					保健センターの健診用	機器等の整備					
事	業		の	現 状	・レントゲン自動現像	機(H12.6.更新) ・骨	量測定器 (H15.6	まで)			
	日的	内宝	頭のため	ത	・心電図計(H13.11.引	<b>事新</b> )					
			が実施内		・レントゲン一般撮影	•					
	于的	文以	ひき他へ	谷							
					・レントゲンテレビ撮	影装置(H14.9.更新)					
		П		指標名	健診用機器更新件数	<del></del>					
			結果指標			平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(	日煙)	平成17年度(目標)
		- 1					`	大順力	十八八〇十尺(	디기파기	十八八十尺(日157)
			(1)	指標値	2件	1件	0 件				
アウト	・プッ	-		単位コスト							
指	1	標		指 標 名	健診用機器レンタル件	数	•				
			結果指標			平成14年度(実績)	平成15年度(	宝结)	平成16年度(	日梅)	平成17年度(目標)
		1						天順丿	十八八〇十反(	日信ノ	十成17年及(日保)
			(2)	指標値	4件	5件	5件				
				単位コスト		2,134,600円/件	2,499,800円	/ 件			
2 重	業点	以集	₹(アウト	-カム)	•		•				
	- > < 1->	7/1	() )	,,							
		5	対	象	健診用機器						
事業(	の目的	的	対象力	バー 率	対 象 数 (a)	受 益 数	(b)	5件	比 率 (b	÷ a) %	
対 象	. 意 [	図				•					
<i>y</i> .5 25.	,	· 1	辛	NVI	耐田年粉が奴遇し老朽	化した機器を更新する。					
			意 かねも			化した機能を更制する。					
			(対象を3	E語にして)							
大	き		な	目 的	保健センターを健康づ	くりの拠点にする。					
	_		-								
				11: 1 <b>=</b> 4-	/ <del>/</del> ***	*L+7\F1\					
					健診用機器数(耐用年						
			中間成果	考え方・式	耐用年数を超過してい	る健診用機器数					
		1	指 標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(目標)
アウ	ι н	- 17		指標値		0件	1件	,			
		-				VIT.	1 17				
指	1	標		指標名							
		:	最終成果	考え方・式							
		1	指 標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(目標)
				指標値	, ,	( ( )				•	( )
					機器更新の方法をレン				1. 1.0545		
芦屋市	りの特	寺色	ぬと補足	足する事項	平成14年に更新した	レントゲンテレビ撮影装	置によりフイル	ムレスイ	とが進んだ。		
3 🕸		ŧ.:	注 動 起 4	分(コスト)			1世帯当り(円)	323	住民1人当り(円)	139	平成16.4.1 住民基本台帳
<del>」</del> 事						亚武11年中(法等)					
<b>尹</b>		業	費		十ル 1 3 牛皮(沃昇)	平成14年度(決算)	平成15年度(		平成16年度(	」/异)	
	人		件費	14.0%		621		1,749		-	
	事		業費	86.0%		10,052		10,750		10,610	
内	訳他	部	門経費							-	
		_				+					
( + 15		1Щ	償却費							-	
	合		計	100.0%	0	10,673	1	12,499		10,610	
	国		・県								
財	源市		債 等								
	117		の他								
(TH	() そ	-						40 400		40 640	
	) そ    -	-	別 財源	100.0%	0	10,673	1	12,499		10,610	
	) そ    動  職	膨	<b>財源</b> 員	<b>100.0%</b> 100.0%	0	10,673 0.05	1	0.15		10,610	
活	動職	膨	員	100.0%		0.05	1	0.15			
活	動職	膨		100.0%		0.05 0.00	7				

評	価	視	点	評価チェックリスト	1	次評価	2次評価
		的妥当性(	2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	, 1		
	Н	可女当注(	2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である	3		
妥	市	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
				☑ いずれにも該当しない		_	_
当				☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	L١	5	4
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	└─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未抵	□握		
性				☑ 数字で把握している 市民健診777人、事業所健診802人 □ 未把掘	星		
8点	ż∔	<b>스</b> 瑨培亦(	<b>七(1~ 1)</b>	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	)要		
				内容			
		先性,緊急		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
		象カバー3	· · · · ·	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	Ē		
効	成	果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		1	3
				▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	111	•	0
性	- 成	果向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点				□ 成果向上策あり □ 特に対	なし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
効	単	位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
XIJ				→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
				高い、または低い場合の理由  □ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受	益者負担(	0 ~ 1)	□ 貝担を水めることができる事業である □ 貝担を水めるべき事業ではない □ サン □ 貝担を水めるべき事業ではない □ 徴収可能 □ 徴収可能 □ 徴収可能 □ 徴収可能	٤ )		_
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	; )	1	0
					<b>5</b> ス		
	手	段(1~ 3	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	90		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点				□ □ □ □ □ 特に行っていたい			
0,,,,	٦.	スト削減取	組(1~ 1)	→ 内容			
	ı						
平成宝施	1 5	~ 1 6 +- 24 3	年 度 に 善 内 容	改善 内容	総合評価	Α	В
大 ル	U	/C LX 1	e ri e	rs H	піщ	<i>_</i>	)
5 今後	多の対	付応(ア	クション)				
				耐用年数を過ぎた眼底カメラの更新			
現在:	認識	してい	る課題	乳がん検診方法の変更に伴うマンモグラフィの導入又は健康財団の健診車の利用			
+ D BE	ョたャ	+0 88	5 + 0 <i>0 th</i>	サロナ広に入			
				芦屋市医師会			
要望	思兒等	意見,	要望内容	眼底カメラの更新,胸部×線撮影装置のデジタル化			
		(1)	対応内容	眼底カメラの更新 (レンタル方式)			
			実施期限	平成 17 年 月			
課題·要	望等	(2)	対応内容				
へのす	<del>서</del> 応		実施期限	平成    年    月			
( 0)	^; //C		大池州水	TM			
		(3)	対応内容				
		(3)	実施期限	平成年			
			∠//E/A/IFK	1 1/3	-		
その他	きょう	えられる					
改善	カ ア	イデア					
				今後の方	5 向性 1	次評価	2次評価
			•	健診器機の整備を必要性等を考慮しながら計画的に進める。 拡 大・	充 実		
				現状	維持		
				方法。	改善		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性	民間 委	託 等		
				縮	小		
				統合/終其			
				廃止 /	休 止		
1 \h. +T	, /ar	<b></b>	7 4 5				
2 次 評	· 1団	安 貝 会	コメント				

/ 向几	事 器 /	事 業	¬ _ Ŀ	2120210	<b>1</b>				部 .	長次	<b>⋿</b> I÷⊞	E
(一方文	尹 未)	尹 未	r	2120210	J				마 .	区人	長課	長
平成1	5年度	事	業 名	保健セン	ンター事業							
1 7-70	- 1 .~			FIVE C	3.210							
		•		•			•					
1 車	**#	要(ドゥ)								ļ		
			11 0 12 15	o //#	サンマサノナ 17	カナス 行列 社 人 づくり				/ロ //キャラ・	<b>⇒</b> 17	
			_			のある福祉社会づくり			所 管	保健福祉	部	
	計画		<u>中</u>		健・医療・福祉	の連携と充実				健康課		
政策	施策		小	2 保	健事業の推進				所管課長氏:	名 小阪 郁	3夫	
体	系		細	健	康増進				記入者氏	名 小阪 郁	· ·	
事	業	期		昭和 5		経常臨時	☑ 経常 □	臨時		号 0797-31·		2567
					-			四四十二		_	1300 円前板	2507
根拠						設置及び管理に関する条			実施主			
実	施	手	法	☑ 直	営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金	
委		託	先	□外	·郭団体委託	名称		☑ 民間	委託 委託内	容血液検査	の分析等	
						•	•		•			
事	業	Ø	概 要	市内の	事業所が宝施す	る従業員の健康診査業務	の受託事業					
<del></del>	*	0)	1144 32	1127902	于未川川大ル;	るに未見い性体的且未が	00文癿于未					
事	業	の	現 状	事業所存	が希望する健康	診査の実施						
	目的	実現のため	ത									
	<del>丁</del> F又/	及び実施内	) T									
					M+14							
					建診の受診者数							
		結果指標	年 度	平成 1	3年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	【(目標)	平成17年度(	目標)
		(1)	指標値			708人	802,	$\forall$				
アウト	・プット	, ,	単位コスト			10,812円/人	11,223					
						10,012 37	11,223	111, 1				
指	標		指標名			I = 8 · · · - + · · · · · · ·	I <b>-</b> n				I <b>–</b> s · – <del></del>	
		結果指標	年 度	平成1	3年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	〔(目標)	平成17年度(	目標)
		(2)	指標値									
			単位コスト									
2 事	業成!	果(アウ)	カム)				I.				l .	
	*****		734)									
		対	象	市内の	事業所に勤務す	る従業員等						
			バー率	対象	数 (a) 4 ,	4 3 5 人 受 益 数	(b) 8	02人	比 率 (b	÷ a) %	18.1	%
	の目的 ・意図		バー率	対 象	数 (a) 4 ,	4 3 5人 受益数	8 (b) 8	02人	比 率 (b	• ÷ a) %	18.1	%
						<u> </u>	( (b) 8	02人	比 率 (b	• ÷ a) %	18.1	%
		意	図		数 (a) 4 , の早期発見 , 早	<u> </u>	(b) 8	02人	比 率 (t	• ÷ a) %	18.1	%
		意				<u> </u>	(b) 8	02人	比 率 (比	• ÷ a) %	18.1	%
対象	・意 図	意 (対象を3	図 注語にして)	疾病等的	の早期発見 , 早	期治療を行う。	(b) 8	02人	比 率 (比	• ÷ a) %	18.1	%
		意	図 注語にして)	疾病等的		期治療を行う。	(b) 8	02人	比率(比	• ÷ a) %	18.1	%
対象	・意 図	意 (対象を3	図 注語にして)	疾病等的	の早期発見 , 早	期治療を行う。	(b) 8	02人	比率(比	• a) %	18.1	%
対象	・意 図	意 (対象を3	図 注語にして) 目 的	疾病等(	の早期発見 , 早	期治療を行う。	(b) 8	0 2人	比率(比	o ÷ a) %	18.1	%
対象	・意 図	意 (対象を3	図 注語にして) 目 的 指標名	疾病等(受診者(事業所)	の早期発見,早の疾病予防・健健	期治療を行う。 康増進を図る。		0 2人	比率(比	o ÷ a) %	18.1	%
対象	・意図	意 (対象を3 な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所(	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1	0 0					
対象  大 	・意 図	意 (対象を3 な 中間成果 指	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方・式 年 度	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/	期治療を行う。 康増進を図る。	0 0 平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度	[〔目標〕	平成 1 7 年度 (	
対象	・意図	意 (対象を3 な 中間成果 指	型 注語にして) 目 標 素方・ 年 指標値	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1	0 0	(実績)		[〔目標〕		
対象  大 	・意 図	意 (対象を3 な 中間成果 指	型() (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型)	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所(	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1	0 0 平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度	[〔目標〕	平成 1 7 年度 (	
対象	・意図	意 (対象を3 な 中間成果 指	型 (1) とは できます は しょう は は しょう は は しょう は しょ は しょ	疾病等( 受診者( 事業所( 平成 1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績)%	平成 1 6 年度	[〔目標〕	平成17年度(	目標)
対象	・意図	意 (対象を3 な 中間成果 揺 最終成果	型 (1) とは できます は しょう は は しょう は は しょう は しょ は しょ	疾病等( 受診者( 事業所( 平成 1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績)%	平成 1 6 年度	E(目標) %	平成 1 7 年度 (	目標)
対象	・意図	意 (対象を3 な 中間成果 揺 最終成果	世語 は は は は は は は は は は は は は	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績)%	平成16年度	E(目標) %	平成17年度(	目標)
対象	・意図	意 (対象を3 な 中間成果 揺 最終成果	世語 は は は は は に は に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績)%	平成16年度	E(目標) %	平成17年度(	目標)
対大ア指	· 意 図 トカ 標	意 (対象を当 な 中間成果 標 最終成標 指	を	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績)%	平成16年度	E(目標) %	平成17年度(	目標)
対大ア指	· 意 図 トカ 標	意 (対象を当 な 中間成果 標 最終成標 指	を	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績)%	平成16年度	E(目標) %	平成17年度(	目標)
対象 大 ア指  戸  ア  ア  ア  ア  ア  ア  ア  ア  ア  ア  ア  ア	· 意 図 き	意(対象を当ない) ない 中指 最終成標 と と は ままま と ままま と ままま と まままま こうしゅう しゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅ	図   日   指   考年   指   考年   指   考年   指   考年   表   標   方   標   南   京   標   南   京   東   南   南   南   南   南   南   南   南   南	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績)%	平成16年度	E(目標) %	平成17年度(	目標)
対象ア指ア産	· 意 図 き	意(対象を当ない) ない 中指 最終成標 と と は ままま と ままま と ままま と まままま こうしゅう しゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅ	を	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1	(実績) %	平成16年度	E(目標) % E(目標)	平成17年度(	目標)
対象ア指ア産	· 意 図 き	意(対象を当ない) ない 中指 最終成標 と と は ままま と ままま と ままま と まままま こうしゅう しゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅ	型(で) 的 名式度値名式度値 項 ト	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1) 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	0 0 平成 1 5 年度 1 8 . 1 平成 1 5 年度	(実績)%	平成16年度	E(目標) % E(目標)	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3	・ 意 図 き	意(対象を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1 平成1 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績)%	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) % E(目標)	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3	· 意 図 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	意(対な 中指 最指 と 活動 保標 果標 果標	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1) 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績)%	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) D(100 E(予算)	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3 事	きかった。	意(対な 中指 最指 を 新 の で	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1) 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績)%	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) % E(目標)	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3 事 内	きったの業人事他図	意(対象を当なり) 中指 最指 を 活動 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1) 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績)%	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) D(100 E(予算)	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3 事 内	きったの業人事他図	意(対な 中指 最指 を 新 の で	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1) 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績)%	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) D(100 E(予算)	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3 事 内	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意(対象を当なり) 中指 最指 を 活動 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1) 本市は。	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績)%	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) D(100 E(予算)	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3 事 内	<ul> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まります。</li> <li>・ まりまする。</li>     &lt;</ul>	意対な 中指 最指 さ 所 件業門償 を を ま の で の で の で で の で で の で で で で で で で で	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1) 本市は。	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績) 事業所が少ない。 3年度(決算)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(決算) 4,166 3,489	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績) % (実績) (実績) 5,206 3,795	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) I 100 E(予算) - 4,487 -	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3 事 内(	・	意 (対 な 中指 最指 と 活 件業門償 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図(で) 的 名式度値名式度値 100.0%	疾病等( 受診者( 事業所( 事業所( 平成1) 本市は。	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績) 事業所が少ない。 3年度(決算)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(決算) 4,166 3,489	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績) % (実績) (実績) 5,206 3,795	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) I 100 E(予算) - 4,487 -	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内( 財 別 別 別 別 の に の る 。 に の に 。 に の に の に 。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意対な 中指 最指 さ 活 件業門償 ・債 ・債 ・債	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績) 事業所が少ない。 3年度(決算)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(決算) 4,166 3,489	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績) % (実績) (決算) 5,206 3,795 <b>9,001</b>	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) I 100 E(予算) - 4,487 -	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 声 3 事 内(	・	意対な 中指 最指 な 活 件業門償・債の 水 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績) 事業所が少ない。 3年度(決算)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(決算) 4,166 3,489 7,655	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績) % (実績) (決算) 5,206 3,795 <b>9,001</b>	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) () 100 E(予算) - 4,487	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内( 財 別 別 別 別 の に の る 。 に の に 。 に の に の に 。	・	意対な 中指 最指 さ 活 件業門償 ・債 ・債 ・債	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績) 事業所が少ない。 3年度(決算)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(決算) 4,166 3,489	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績) % (実績) (決算) 5,206 3,795 <b>9,001</b>	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) E(目標) I 100 E(予算) - 4,487 -	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内( 財(	・	意対な 中指 最指 な 活 件業門償・債の 水 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	型 を を を を を を を を を を を を を	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績) 事業所が少ない。 3年度(決算)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(決算) 4,166 3,489 7,655	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績) % (実績) (決算) 5,206 3,795 <b>9,001</b>	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) () 100 E(予算) - 4,487	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 象 ウ 屋 事 "円 )円	・	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債の財 を	型 注語にして) 目 指考年 指持表 年指 標標 標標 表方・度値 名式度値 名式度値 名式度値 37.8% 42.2% 100.0%	疾病等( 受診者( 事業所( 平成1 本市は の 平成1	の早期発見,早 の疾病予防・健 建診利用率(% 建診受診者数/ 3年度(実績) 3年度(実績) 事業所が少ない。 3年度(決算)	期治療を行う。 康増進を図る。 ) 市内事業所従業員数×1 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 平成14年度(決算) 4,166 3,489 7,655	00 平成15年度 18.1 平成15年度	(実績) % (実績) (決算) 5,206 3,795 9,001 5,179 3,822	平成16年度 19 平成16年度	E(目標) () 100 E(予算) - 4,487	平成17年度(20%)平成17年度(	目標)

評	価	<u>エンン</u> 視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
		的可以此位	0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	L١		
	H	的妥当性(	2~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	る		
妥	市	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
				□ いずれにも該当しない			
当				☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	:61	4	3
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	│ └─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未打	巴握	•	•
性				☑ 数字で把握している 事業所健診受診者802人、18.1% □ 未把排	屋		
8点		人 理 培 赤 /	14/4 4	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	必要		
	仁	云塚児安1	化(1~ 1)	内容			
	優	先性,緊急	(性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対	象カバー率	<b>≊</b> (1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限録	Ē		
効	륪	果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		2	3
X/J	13%	木の大順(	2 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えた	ない	_	3
性	- FÇ	里向 F全t	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	15%	<b>ボ</b> 门エが	······································	□ 成果向上策あり □ 特に	なし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	畄	位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効		<u>π</u> / / ( ·	.,	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
				高い、または低い場合の理由			
	受	益者負担(	0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率				□ → □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	울 )	1	-2
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•	_
	手	段(1~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がる			
			,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	;	スト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
				→ 内容 血液検査業務等の委託			
平 成	1 5	~ 1 6	年 度 に 善 内 容	改善	総合	۸	В
実施	U	た改善	善内容	内容	評価	Α	D
5 今後	きのさ	対応(ア	クション)				
J / E	2007	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	// -//				
現在意	認識	してい	る課題				
市民,関	係者	市民,関係	係者の名称				
からの	意 見	± - :	要望内容				
要望	等	恵 見 , 5	要 望 凡 谷				
			<u> </u>				
		(1)	対応内容				
			実施期限	平成年			
課題·要	望等		おちゃっ				
		(2)	対応内容				
へのす	対応		実施期限	平成 年 月			
			対応内容				
		(3)	אניוטיונג				
			実施期限	平成 年 月			
	1 老 う	えられる					
135 羊 /							
以 当		イデア					ついた 会正 /王
CX # C		イデア		今後のブ		1次評価	2次評1四
以 告 (		イデア		拡大・	充 実	1次評価	2次評価
		イデア		拡大・       現状維持	充 実 維 持	1次評価	2次評価
	の ア			現状維持     拡大・       現 状 方 法	充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
	の ア		の方向性	拡大・       現状維持       現状       方法       民間委	充 集 持 改善 託等	1次評価	2次評価
	の ア			拡大・       現状維持       現状 (大)       方 法       民間委縮	充 実維 持改 善託 等	1次評価	2 次評1四
	の ア			拡大・       現状維持       現状       方法       民間委縮       統合/終料	充 実維 持改 善託 等財設定	1次評価	2 次評1四
	の ア			拡大・       現状維持       現状 (大)       方 法       民間委縮	充 実維 持改 善託 等財設定	1次評価	2 次評1四
平成 1	か ア 7 ~	19年度	の方向性	拡 大・現 状   	充 実維 持改 託所財休		
平成 1	か ア 7 ~	19年度		拡大・現状維持       現状維持       現状       方法       民間委縮       統合/終り廃止/	充 実維 持改 託所財休		

(一般	事業)	事業	¬ − +	2130	010				部 長	次	長課長
平成1	5年度	事	業名	健康	教育事業						
								ļ			
1 事	学杯!	要(ドゥ)							ļ		
				6 a	/# <b>サ</b> ムマサノナロ	のもっ行が社人べくい				/ロ /7キシニショ	÷17
						のある福祉社会づくり			所 管 課	保健福祉	司
総合	計画		中	1	保健・医療・福祉	の連携と充実			–	健康課	
政 策	施策		小	3	健康づくりの推進				所管課長氏名	小阪 郁	扶
体	系		細		生活習慣病予防と	生活の質の向 ト			記入者氏名	小阪有	₹
事				-	工作日度高了的C			II 信用土			
	業		朝 間				☑ 経常 □	品吁	電話番号		-1586   内線   2567
根拠	. 法	令 '	要綱等	老人	保健法				実 施 主 体	芦屋市	
実	施	=	手 法	<u> </u>	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	;	□ 補助金		負担金
委		託	<b></b>	ŧп	外郭団体委託	名称		日間	委託 委託 内容		
_					習慣病予防と健康・				NATU X HU F 3 LI		
					白頂内プツC健康	しくりの文接					
事	業	の	概 要	Ē							
				• 個	別健康教育(高加)	王6人・高脂血症9人・	糖尿病6人・『	Φ煙 0 人	):126人		
事	業	Ø	現 お	1		建康教室:1,208人			, 0, \		
<del></del>							•				
	目的	実現のたる	めの	・疾	病別宋養指導講習	会(高血圧・高脂血症・	糖尿病):1	5 4 人			
	手段刀	及び実施に	内容	・家	庭介護教室:98ん	人 , 歯周病疾患予防教室	:43人				
			世 抽 台	健康	教育事業参加延べん	人 <b>光</b> 力					
		/ ··-						/ <del>                                     </del>			
		結果指標			, 13年度(実績)	平成14年度(実績)			平成16年度(	(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標 値	Ĭ		1 , 7 3 2人	1,74	8人			
アウト	・プット		単位コスト			13,417円/人	11,685	5円/人			
指	標		指標名			- / 15 / 1	,				
314	ាភ				4 o F F ( 🔿 / E )		T-1 4 5 F F	/ <del>                                     </del>	T-1-4 c F- == 1		T-1-1-5-1-5-1
		結果指標		_	, 13年度(美績)	平成14年度(実績)	平成 15年度	(美縝)	平成16年度(	(日標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標 値	Ī							
			単位コスト								
2 事	業成!	果(アウ									
	*****	<del>水() )</del>	1/3/4/								
		対	多	基本	健康診査受診者の	要指導者数					
		,,,	~		ENGLY EXT I	~34 (3 11 24)					
事業の	の目的	対 象 カ	カバー薬	対象	R 数 (a) 3 ,	203人 受益数	(b) 1,	748人	比 率 (b	÷ a) %	54.6%
対 象	・ 意 図					•	•				
,,, ,,,,	75. [	意	100	伊车	数を車業会加老の	生活習慣病等の疾病予防	め介護子院を	ভা হ			
					<b>教育争未参加有の</b> :	土/百百頃/内守り/大阪」/約		∆೪.			
		(対象を	主語にして)								
大	き	な	目 的	壮年	期死亡の減少、介護	護予防、生活の質の向上	を図る。				
			北 +西 左	/Z+ C=	カケショウ イツン						
					教育利用率(%)						
		中間成果	₹ 考え方・式	健康	教育利用種数 / 健/	康診査受診者の要指導者	数×100				
		指 標	票年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標)	平成17年度(目標)
アウト	トカム		指標 値	i		57.7%	54.6	5 %			
指	標		指標名	_		<u> </u>			<u> </u>		<u>I</u>
111	行示										
			考え方・式			<b></b>	<del>-</del>				
		指 標			,13年度(実績)	平成14年度(実績)	半成15年度	(実績)	平成16年度(	目標	平成17年度(目標)
			指標 値	1							
		•	•						•		
本居士	5 M # 1	カかど猫	ワオュ車は	5							
一座巾	いいけし	ニダム 1曲	足する事項	•							
	. XII :			ļ							
<u>3</u> _事	業費	<u>活動配</u>	!分(コスト	)			1世帯当り(円)	527	住民1人当り(円)	228	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	Ē	遺 構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度(	(予算)	
	人	件		1		10,708		8,043			
	事	業		+						12,870	†
				6		12,530		12,383		12,070	<u>.</u>
		7 門 経 費								-	
(千円	) 減 個	「償却費	晝							-	
	合	ŧ	-	6	0	23,238		20,426		12,870	†
	国	·		1				,		,	
n											
	原市	債 等									
(千円	) そ	の ft	也 0.19	6				26			
	- 1	設 財 源	<b>99.9</b>	6	0	23,238		20,400		12,870	
活動	動職		_	_	•	1.20		0.95			†
			-	_							
		,臨時等		_		0.60		0.50		-	
/ I	۸ 📤	=	100 0	/ 1	0.00	1.80		1 45		0.00	ı

評	価	<u>エンン</u> 視	点	評価チェックリスト	1	次評価	2次評価
		的可以此位	0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	١		
	H	的妥当性(	2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	,		
妥	市	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
				□ いずれにも該当しない			
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	, 1	5	5
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把		•	
性		,	,	☑ 数字で把握している □ 未把握	ł		
8点		4 =m 1 = /		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必			
	社	会環境変化	化(1~ 1)	内容			
	優	先性,緊急	(性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
		象カバー率		☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
ᅔᇷ	rt:	田の宝娃が	2 4)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		2	1
効	DX.	果の実績(	2~ 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えな	:61	_	4
性	ct:	田白 上仝+	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	- IJX:	未凹工ホ	·명(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな	≩l		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	出	位コスト(1	~ 1\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	_		1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
				高い、または低い場合の理由			
	妥	益者負担(	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	У.	四日只江(	0 1)	└▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	)	1	-3
'				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		'	-5
	手	段(1~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	る		
	,	PX(1 0	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点		スト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
			( ,	→ 内容			
平成.	1 5	~ 1 6	年度に	改善改善	総合	Λ.	Г
実施	b	た改善	年度に 善内容	内容	評価	Α	В
Γ <b>Δ</b> 4	<u>*                                    </u>	H 다 / 코 /	h 2 2.0				
5 7 12	友の〉	付応(アク	<u> フンョフ)</u>				
田 左 ÷	≐ஏ ≐ஷ்	1 7 1)	1る 課 題				
况 1工 品	说 記	0 ( )	の味思				
古兄 既	1亿字	古兄 問	係者の名称				
要望	<b>心</b> 充	意見,	要望内容				
女主	ਚ						
		(1)	対応内容				
		(1)	実施期限	平成年			
課題·要	9 生		大肥知代				
DT ACC 54	. <del>_</del> \	(2)	対応内容				
へのす	না চি		実施期限	平成年			
. 55 )	, ,,,,,						
		(3)	対応内容				
		. ,	実施期限	平成			
その他	きょう	えられる					
改善の	カア	イデア					
				今後の方	向性 1	次評価	2次評価
				拡大・3	充 実		
				現状維持現状維持現代的	<b>掛</b>		
				方法改	女 善		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性	民間委	託 等		
				縮	小		
				統合/終期			
				廃止/1	休 止		
		<b>-</b>					
2 次 評	4 1曲	委 貞 会	コメント				

(一般	事業)	事 業	コード	2130	020				部 長	次	長課長
		_									
平成1!	年度	事	業 名	健康	相談						
								_			
1 <b>=</b>	ᄣᄪ	田/ピェ)								ļ	
		<u>要(ドゥ)</u> またでん	11 <b>0</b> 口 抽		(みよれるよくも)	)のもで行わせんべく!	1		l	/ロ /7キャラ ナル	<b>☆</b> 7
						のある福祉社会づくり	)		所 管 課	保健福祉	部
総合			<u>中</u>		保健・医療・福祉					健康課	
政策			小	Ů	健康づくりの推進				所管課長氏名		
体	系		細		生活習慣病予防と	生活の質の向上			記入者氏名	小阪 郁	<del> </del>
事	業	期				経常臨	時 ☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-31-	-1586 内線 2567
根 拠	法	令 ' 5	要綱 等	老人	保健法				実 施 主 体	芦屋市	
実	施	手	法	>	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	ŧ	□ 補助金		負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称			委託 委託内容		
				生活	習慣病予防と健康	づくりの支援		•	•	•	
事	業	の	概 要								
_											
				・市	民健診後の結果説	明と相談(医師相談:	140人, 栄養	相談:1	73人 延べ相談	8者数:3	13人)
事	業	Ø	現 状			結果説明と相談(医師			•	( 1 2 2	. 5/()
<del></del>		。 実現のため				相談:51人,栄養相		RIHIX.	3/()		
		と残めため			科相談:520人		mx . 0 3 /( )				
	士权力	メび夫他へ	日谷		竹竹砂、JLU人						
			l	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	10+427 - × 71 m +v *L						
					相談延べ利用者数		1		I = »		_ ,
		結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績			平成16年度	(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標値			696人	9 5 6	人			
アウト	プット		単位コスト			33,164円/人	23,49	3円/人			
指	標		指標 名								
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度	【(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標値								
			単位コスト								
2 事	業成績	果(アウト	カム)								
		<u> </u>			/h C + A + E + A + A	<b></b>	<b>5</b> 4577.5	11	L 70. / .		
		対	冢	基本	健康診査受診者の	要指導者(保健センタ	一実施分のみ:	<b>圏科相談</b>	も除く)		
事業の	目的	対象カ	バ - 率	対象	衰数 (a) 1 ,	218人 受益	数 (b) 4	4 3 6人	比 率 (b	÷ a) %	35.8%
対象・					(-)		(1)		10 1 (1	,	
	į	意	図	要指:	道の方に対する健	康相談を実施すること	で 生活習慣病	等の予防.	レ介護予防を図る	3	
			ー E語にして)	×,11.	4,000,110,100	ANTHUX COUNTY OF C	C //	13 02 3 173	C/1102 3 1/3 C E   G		
		(X)8(C)	<u> гипте о с</u> ј								
大	き	な	目 的	☆罐.	予防 , 生活の質の	向上を図る					
	C	<i>'</i> &	נים בו	八吱	]"例,土冶の負の	山工で四名。					
			北 振 夕	/Z# C#s ·	#ロ≐火井 ビっ毛 田	± (∩/)					
					相談サービス利用		0.0				
						者数/要指導者数×1		F / 🗁 /= \	五世46年	/ D.## \	亚武4.3左连(日播)
		指 標		半风	13年度(美額)	平成14年度(実績	_		平成16年度	(日標)	平成17年度(目標)
アウト			指標値			26.3%	35.	8 %			
指	標		指標名								
			考え方・式								
		指 標		平成	13年度(実績)	平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度	【(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(目標)
			指標値								
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項								
3 事	業費·	活動配:	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	580	住民1人当り(円)	251	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算	) 平成 1 5 年度	(決算)	平成16年度	(予算)	
	人	件 費	32.3%			7,18	3	7,250		_	
	事	業費				15,89	9	15,209		15,532	
内 訴	-	門 経費	J1 .1 /0			12,00	1	-,		-,	
		道却費									
(11)	合	計	100.0%		0	23,08	2	22,459		15,532	
	国				U	23,00		££, <del>1</del> 08		10,002	
H+ :/2		・ 県					+				
財源		債 第				<u> </u>					
(千円)		の他			_			00.475		45 500	
		<b>以 財源</b>	100.0%		0	23,08	_	22,459		15,532	
	職	員	50.0%			0.7		0.70		-	
配分	嘱託	・臨時等	50.0%			0.5		0.70		-	
		*	100.0%		0.00	1 1 2		1 40		0.00	

市民サービス・施設運営 0503(健康課)2130020健康相談

評	価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	±(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	пнухан	E(Z Z)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	_
当	<u> </u>	N	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5
	市民ニーズ	.(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握		
性			☑ 数字で把握している 利用者数 956人 □ 未把握	-	
8点	社会環境変	图化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容 □	-	
-	優先性,緊	<b>今</b> 싽(1)	○	-	
	対象カバー	. ,	□ 事業を実施しなければ、中民の主命、女主寺が損なわれる □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
-			□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1	4
効	成果の実績	[(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	4
性	****	. 111-74	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	除地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	出 ⇔っっし	1 - 1\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(	1~ 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
_			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	3(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又皿占只店	=(0 1)	└→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	-2
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	312(.	٠,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減耳	双組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	.]	
			→ 内容 栄養相談業務を在宅栄養士会に委託		
平 成 1	1 5 ~ 1 した改	6 年 度 に	改善改善	Α	В
実施	した改	善内容	内容	^	D
5 今後	<b>美の対応(ア</b>	7クション)			
3 7 13	2007/37/0/(7	,,,,,			
現在談	忍識して	いる課題			
	係者 市民,関				
からの	意見意見,	要 望 贞 宓			
要望	等心光,	女 王 / 3 廿			
		対応内容			
	(1)				
	+8 **	実施期限	平成		
課題·要		対応内容			
^ O †	(2)	実施期限	平成		
へのす	טא ני	<b>夫</b> 厄朔സ	<u> </u>		
	(3)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成年		
		Z/JUR/JFK			
その他					
	考えられ	<b></b>			
改善の	考えられ D ア イ デ :				
改善の			今後の方向性	1次評価	2次評価
改善の			今後の方向性 拡 大 ・充 実		2次評価
改善の				2	2次評価
改善の			拡大・充実	: •	2次評価
		7	現状維持     拡大・充実       現 状維持     方法、改善	F	2次評価
	アイデ	7	現状維持     拡大・充実       現 状維持     方法、改善		2次評価
	アイデ	7	拡大・充実       現状維持       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       が合/終期設定		2次評価
	アイデ	7	現状維持     拡大・充実       現状維持     現状維持       方法改善     民間委託等       縮     少		2次評価
平成1	7 ~ 1 9 年 6	アの方向性	据 大 · 充 集 現		2次評価
平成1	アイデ	アの方向性	据 大 · 充 集 現		2次評価

(一般	事業)	事 業	コード	2140	010				部	長	次	長部	<b>#</b>	長
平成15	年度	事	業 名	救急	医療事業									
1 事	業概認	要(ドゥ)							•			·		-
			りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり					保健福祉	·部		
総合			中		保健・医療・福祉				所 管	課	健康課			
政策			/\\			の圧肪でルス			所管課長	丘夕		·+		
			•		医療体制の充実									
体	系		細		救急医療体制の充	<u>実</u>			記入者	氏名	小阪 郁	<u>夫</u>		
事	業	期	間			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話	番 号	0797-31-	1586	内線	2567
根 拠	法	令 ' 5	要 綱 等	芦屋	市立休日応急診療	听条例			実 施 🗄	主 体	芦屋市			
実	施		法	П	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託			<del></del>		負担金		
委	,,,,	<u></u>	,		外郭団体委託	名称			委託 委託					
×		ПU	70		77. 孙凹怀女心	口小			女 10	בר ניו	37/2/2/3/			
						- <del>-</del> <del></del>								
事	業	の	概 要	休日	等における市民の	急病に対する医療機関の	確保							
				• —	次救急:休日応急診	診療所(内科・小児科)の道	軍営,夜間在宅	<b>輪番</b> 当番	医制					
事	業	Ø	現 状			目(眼科・耳鼻咽喉科)(				を圧生				
<del></del>						,					I. ID — \b-	·		
		<b></b>		· —		群輪番制ー市立芦屋病院		<b>座</b> 洪伪阶	5(314+ • 1/J	<b>1</b> 4) :/	小児——次都	以忌		
	手段及	ひ実施内	容			な急ー市立芦屋病院(土・	,							
				<b>・</b> ≡	次救急:救急救命セ	ンター(兵庫医科大学病院)	,救急医療情報	システム	、(県)					
			指標 名	休日	応急診療所の利用	者数								
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16	年度 (	(目標)	平成17	年度 ( )	目標)
					1,854人		1,95		1 /3% 1 0	112	(H1M)	1 /2% 1 7	1/2 (1	11.5
	ا م	(1)												
アウト	ノット					11,072円/人	12,667	円/人						
指	標		指標 名	救急	患者数(休日応急診	療所・在宅輪番当番制	<u>, 二次救急)</u>							
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16	年度(	〔目標)	平成17	年度(目	目標)
		(2)	指標値		9,108人	9,889人	9,25	5人						
		` ,	単位コスト		,074円/人	5,759円/人	6,110	円/人						
2 車 3	또 ct E	果(アウ)			7 0 7 11377	3 7 7 3 3 1 3 7 7 7	0,110	13//						
4 <del>31</del> 3	モルスフ	K() 71	·/////////////////////////////////////											1
		対	象	全市	R.									
			~`											
事業の	目的	対 象 カ	バ - 率	対象	\$数 (a) 88	, 4 3 7 人 受 益 数	(b) 9,	225人	、 比	<u>∝</u> (b	÷ a) %	1 0	. 439	%
対象·	意 図				<u>.</u>	<u>.</u>								
		意	図	休日	及び夜間における	数急患者の診療								
			上語にして)	PIVI .	,									
		(X)3KC_	End IC ( C)											
				٠ _										
大	き	な	目 的	市民	の生命と健康をま	もる。								
			指標 名											
		中間成果	考え方・式											
				亚式	13年度 ( 宝績 )	平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16	午度 (	(日標)	平成17	午度 ( E	日梅)
코 스 L		1日 1示		T-13X	1 3 千及(天順)	十八八十十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	十八八十八	(大順)	T/13% 1 0	十及(	、口1ボノ	T132 1 7	十及(日	コ1ホ ノ
アウト			指標値											
指	標		指標名											
		最終成果	考え方・式											
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16	年度(	(目標)	平成17	年度(	目標)
			指標値											
							I.		l					
苹厚士	Λ#± £	ス ナ> ビ 2ポ □	足する事項											
尸座巾	い 村 E	いると言え	とりる 争以											
							1		1					
3 事	業 <u>費</u> ・	活動配:	<u>分(コスト)</u>	)			1世帯当り(円)	1,460	住民1人当り	(円)	631	平成16.4.1	住民基	本台帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平成16	年度(	(予算)			
	人	件 費	3.6%		1,123	1,750		2,028			-			
	事	業費			54,204	55,209		54,529			54,111			
rh ÷□	-	門経費			31,204	00,200		,520			,			
											_			
(十円)		貸却費									-			
	合	計	100.0%		55,327	56,959		56,557			54,111			
	国	· 県	12.8%		6,391	7,344		7,215			4,000			
財 源	市	債 等												
(千円)		の他			13,299	17,554		14,718			15,000			
( [ [] )						·								
`+ -·	_	<b>とりまた。</b>	61.2%		35,637	32,061		34,624			35,111			
	職	員			0.10	0.15		0.20			-			
配分	嘱託	・臨時等	0.0%		0.00	0.00		0.00			-			
( 1 )	슾	計	100.0%		0.10	0.15		0.20			000			

日前記書世史 - 2		価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
日本の大田の本にもつり、正は東州政治の11		口的立小州	-(0 0)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		日的安国馆 	:(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
日 中民一大に至づいて行うべき事業 □ 中民一大に表当ない。				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
古民ニーズ(2-1)	妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
市民ニス(2・1)				□ いずれにも該当しない		
世	当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	∃ 6	7
5-8		市民ニーズ	(2 ~ 1)			-
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	性			☑ 数字で把握している 休日診療所利用者1,959人 □ 未把握		
個先性、緊急性()   日本業年票には付ければ、市民の主命・安全等が損なわれる   対象がパー率((-1)   対象がアー率((-1)   対象がアー率((-1)   対象がアー率((-1)   対象がアー率((-1)   対象がアー率((-1)   対象がアー率((-1)   ) 対象がアー率((-1)   )   日本業年票((-1)   ) 日本業年票((-1)   )   日本業年票((-1)   ) 日本業年票((-1)   ) 日本業年票((-1)   ) 日本業年票((-1)   ) 日本業年票((-1)   ) 日本業年票((-1)   日本業年票((-1)   ) 日本業年票((-1	8点	サム理 培が	5/V(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
対象力パー率化・		社云塚児女	10(1 1)	内容		
受益者(1 - 1)		優先性,緊	急性(1)			
□ 中間成果性種の実施を形成し、目標権を設定している   実施値から成果があわっていると言える   実施値から成果があわっていると言える   実施値から成果があわっていると言える   実施値から成果があわっていると言える   実施値から成果があわっていると言える   実施値から成果があわっていると言える   実施値から成果があわっていると言える   実施値から成果があわっていると言える   で表示しまあ。   特になし   他団体の数字を形成している   他団体の数字を形成している   他団体の数字を形成している   他団体の数字を形成している   他団体の数字を形成している   他団体の数字を形成している   をした 1   中位コスト   他団体と口なが一般に対抗の活動がある   長田(佐美 NPA)コストが高い   大正規議員は2017   会担を表示の表示に対抗のできない接続である   長田(佐美 NPA)ブルが高い   長田(佐美 NPA)ブルが高い   大正規議員は3017   会担を表示の表示に対抗できない接続である   民間(佐美 NPA)ブルがあら   大田(北京 大田(北京 NPA)   会担を表示の表記している   大田(北京 NPA)   会担を表示の表記している   大田(北京 NPA)   会記を表示の表記している   大田(北京 NPA)   会記を表示の表記している   特に行っていない   本の企業を表示している   本の企業を表示している   特に行っていない   本の企業を表示している   大田(北京 NPA)   会記を表示している   本の企業を表示している	対象カバー	率(1~ 1)				
対	有	受益者(1~	1)			
性 4点 現果向上余地(1・1) 及業所的からいちに言える	交力	成果の実績	i(2 ~ 1)		વ	1
4点	7/3	17,07,000	- 1)	▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		
「		   - 成果向上余	:地(1~ 1)			
単位コスト(1-1)	4点		. 5(,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
中国						
数		単位コスト(	1 ~ 1)	│ □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
平成 1 5 - 1 6 年 度 に 表 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本	幼		,			
要益者負担(0~1) → □現在、適正な負担あり ● 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)						
本		受益者負担	<u>l</u> (0 ~ 1)			
# 手段(1 - 3)	率				<b>⊣</b> 1	-2
世代   日本					•	_
世 3点 コスト削減取組(1-1)		手段(1~	3)			
3点 コスト削減取銀(1~ 1) コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	141					
□						
平成15~16年度       に製土       は       内容       管理運営費の一部を1割減額する       総合 A B         5 今後の対応(アクション)       現在認識している課題       平日夜間の小児救急の充実         市民、関係者市民、関係者の名材からの意見要望等       食用医師会及び芦屋市薬剤師会         (1)       対応内容       平成16年度から年末年始の薬剤師を1名増員要望がある。         (2)       対応内容       平成16年度から年末年始の薬剤師を1名増員要望がある。         (2)       対応内容       平成16年度から年末年始の薬剤師を1名増員要望がある。         (2)       対応内容       平成16月         (3)       対応内容       年月度療機関の連携の強化         その他考えられる改善のアイデア       日度療機関の連携の強化         その他考えられる改善のアイデア       日度療機関の連携の強化         その他考えられる改善のアイデア       日度療機関の連携の強化         その他考えられる 改善のアイデア       日度度機関の連携の強化         その他考えられる 改善のアイデア       日度度機関の連携の強化         その他考えられる 改善のアイデア       日度度機関の連携の強化	3点	コスト削減耳	双組(1~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
5 今後の対応(アクション) 現 在 認 讃 し て い る 課 類 平日夜間の小児救急の充実  市民、関係者 市民、関係者の名称				一		
5 今後の対応(アクション) 現 在 認 讃 し て い る 課 類 平日夜間の小児救急の充実  市民、関係者 市民、関係者の名称	平 成	1 5 ~ 1	年度に	改善   改善   総合	Ι Λ	B
現 在 認 識 し て い る 課 題 平日夜間の小児救急の充実  市民、関係者 市民、関係者の名称	実施	した改	善内容	内容に発生しません。	^	ט
現 在 認 識 し て い る 課 題 平日夜間の小児救急の充実  市民、関係者 市民、関係者の名称	5 今後	きの対応(ア	'クション)			
市民、関係者 市民、関係者の名称 芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 からの意見 要 望 等	, ,	× • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	,,,,,			
からの意見要望 等 (1) 対応内容 平成 1 6 年度から年末年始の薬剤師の増員要望がある。	現在意	認識して				
からの意見要望 等 (1) 対応内容 平成 1 6 年度から年末年始の薬剤師の増員要望がある。			ハる課題	平日夜間の小児救急の充実		
要望等	+ D BE		ハる課題	平日夜間の小児救急の充実		
(1) 対応内容   対応内容   平成   16   年   12   月     月	巾氏, 溪					
実施期限   平成   16   年   12   月   対応内容   実施期限   平成   年   月		係者市民,関	係者の名称	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会		
実施期限   平成   16   年   12   月   対応内容   実施期限   平成   年   月	からの	原者 市民,関 意見 章 目	係者の名称	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会		
課題・要望等	からの	原者 市民,関 意見 章 目	係者の名称 要望内容	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。		
(2)     対応内容       実施期限 平成     年     月       その他考えられる 改善のアイデア	からの	見 意見 等 息見,	係者の名称 要望内容	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。		
への対応     実施期限 平成 年 月       その他考えられる 改善のアイデア     今後の方向性 1次評価 2次評価       平成17~19年度の方向性     現状維持       平成17~19年度の方向性     現状維持       中の方向性     中の方向性       中の方向性     中の方向性       中の方向性     中の方向性       中の方向性     中の方向性       中の方向性     中の方向性       中の方向性     中の方向性       中の方向性	からの	見 意見 等 息見,	張者の名称 要望内容 対応内容	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。 平成16年度から年末年始の薬剤師を1名増員		
対応内容   実施期限 平成   年   月   医療機関の連携の強化   子の 他 考えられる 改善の アイデア   今後の方向性   1次評価   拡大・充実 現 状 維 持 方 法 改善   民間委託等   編	からの 要 望	意見 意見 (1)	原名の名称 要望内容 対応内容 実施期限	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。 平成16年度から年末年始の薬剤師を1名増員		
(3)   実施期限 平成   年   月   医療機関の連携の強化   日   医療機関の連携の強化   日   日   日   日   日   日   日   日   日	から望課題・要	原	原者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。 平成 1 6 年度から年末年始の薬剤師を 1 名増員 平成 16 年 12 月		
(3)   実施期限 平成   年   月   医療機関の連携の強化   日   医療機関の連携の強化   日   日   日   日   日   日   日   日   日	から望課題・要	原	原者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。 平成 1 6 年度から年末年始の薬剤師を 1 名増員 平成 16 年 12 月		
その他考えられる         改善のアイデア	から望課題・要	原名 市民, 厚意見, 等 (1) (1) (2) (2) (2)	原者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会 休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。 平成 1 6 年度から年末年始の薬剤師を 1 名増員 平成 16 年 12 月		
その他考えられる       ウ後の方向性 1次評価 2次評価         次部価       拡大・充実現状維持         現状維持       現状維持方法改善民間委託等         底間委託等       総額         小       統合/終期設定度廃止/休止	から望課題・要	原名 市民, 厚意見, 等 (1) (1) (2) (2) (2)	<ul><li>原者の名称</li><li>要望内容</li><li>対応内容</li><li>対応内内限</li><li>対応内限</li><li>対応内容</li><li>対応内容</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16年 12月         平成 年 月		
改善のアイデア       今後の方向性 1次評価 2次評価 拡大・充実 現 状 維 持 方 法 改善 民間委託等 縮 小 統合/終期設定 廃 止 / 休 止	から望課題・要	原名 市民, 厚意見, 等 (1) (1) (2) (2) (2)	<ul><li>原者の名称</li><li>要望内容</li><li>対応内容</li><li>対応内内限</li><li>対応内限</li><li>対応内容</li><li>対応内容</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16 年 12月         平成 年 月         平成 年 月		
	から 要 課題·要 へ の す	(1) (1) (2) (3)	<ul><li>係者の名称</li><li>要望内内容</li><li>対応期に内内期の容</li><li>対応期の内限容</li><li>対応期の容</li><li>実施期限容</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16 年 12月         平成 年 月         平成 年 月		
平成17~19年度の方向性     拡大・充実       現状維持       平成17~19年度の方向性       医 託 等       縮       小       統合/終期設定       廃止 / 休止	か要 課題·要 の の 他	原名 意見, 意見, (1) (2) 対応 (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>要望内内容</li><li>対応期に内内期</li><li>対応期に内容</li><li>実施期限容</li><li>実施期限</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16 年 12月         平成 年 月         平成 年 月		
現状維持 現状維持 平成17~19年度の方向性 民間委託等 縮 が統合/終期設定 廃止/休止	か要 課題·要 の の 他	原名 意見, 意見, (1) (2) 対応 (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>要望内内容</li><li>対応期に内内期</li><li>対応期に内容</li><li>実施期限容</li><li>実施期限</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化		A. b
方法改善         平成17~19年度の方向性         据         が         統合/終期設定         廃止/休止	か要 課題·要 の の 他	原名 意見, 意見, (1) (2) 対応 (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>要望内内容</li><li>対応期に内内期</li><li>対応期に内容</li><li>実施期限容</li><li>実施期限</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化         今後の方向性		2次評価
平成17~19年度の方向性       民間委託等         縮       小         統合/終期設定       廃止/休止	か要 課題·要 の の 他	原名 意見, 意見, (1) (2) 対応 (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>要望内内容</li><li>対応期に内内期</li><li>対応期に内容</li><li>実施期限容</li><li>実施期限</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化         今後の方向性拡大・充当	Ę	2次評価
縮     小       統合/終期設定       廃止/休止	か要 課題·要 の の 他	原名 意見, 意見, (1) (2) 対応 (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>要望内内容</li><li>対応期に内内期</li><li>対応期に内容</li><li>実施期限容</li><li>実施期限</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師の増員要望がある。         平成 16年度から年末年始の薬剤師を1名増員         平成 年 月         平成 年 月         区療機関の連携の強化         現状維持	寺	2次評価
統合 / 終期設定   廃 止 / 休 止	か要課ののを	(3) (3) (3) (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>対定応期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期限容</li><li>スプラス</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16 年 12 月         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化         現状維持         ク後の方向性拡大・充調状維持	寺	2次評価
廃止 / 休止	か要課ののを	(3) (3) (3) (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>対定応期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期限容</li><li>スプラス</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師を1名増員         平成       16       年       12       月         平成       年       月         平成       年       月         医療機関の連携の強化       今後の方向し         塩状維持       方法改良         民間委託	<b>美</b>	2次評価
	か要課ののを	(3) (3) (3) (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>対定応期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期限容</li><li>スプラス</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16 年 12 月         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化         現状維持         原間 委託 縮	<b>ま</b> き ・	2次評価
2 次 評 価 委 員 会 コメント	か要課ののを	(3) (3) (3) (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>対定応期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期限容</li><li>スプラス</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16 年 12 月         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化         現状維持         ク後の方向性が大・充・現状維持         現状維持	<b>ま</b> き ・	2次評価
	か要課ののを	(3) (3) (3) (3)	<ul><li>係者の名称容</li><li>対定応期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期内</li><li>対応施期限容</li><li>スプラス</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師を1名増員         平成 16 年 12 月         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化         現状維持         ク後の方向性が大・充・現状維持         現状維持	<b>ま</b> き ・	2次評価
	か要 課 の の き 題 の の 善 成 1	(1)   (2)   (3)   (3)   (3)   (3)   (3)   (3)   (4)   (7 × 1 9 年 M m m m m m m m m m m m m m m m m m m	<ul><li>(番望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が 方 向 向 内 内 期 内 の カ の カ の カ の カ の カ の カ の カ の カ の カ の</li></ul>	芦屋市医師会及び芦屋市薬剤師会         休日応急診療所における年末年始の薬剤師を 1 名増員         平成 16 年 12 月         平成 年 月         平成 年 月         医療機関の連携の強化         現状維持         ウ後の方向付拡大・充         現状維持         原 近 / 休 1	<b>ま</b> き ・	2次評価

(一般	事業)	事業	J - F	241009	90				部	1	長次	長	課	長
亚成 1	5年度	車	業 名	が安煌	]支援事業									
T 11X 1	7 午 反	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	未 口	江生邓	又及尹未									
		•					•							
1 事	業概	要(ドゥ)									•	•		
			りの目標	2 俊	建やかでぬくもり	のある福祉社会づくり				**	保健福祉	上部		
総合	計画	i	中	4 3	 Pどもたちの心と	体を豊かにはぐくむ社会	会の実現		所	管	課健康課			
政 策	施策	Į –	小	1 '	「エンゼルプラン	」子育て支援の推進			所管	課長氏	名 小阪 有	<b>序</b>		
体	系		細	ģ-	壬産婦の健康増進				記入	者 氏:	名 小阪 有			
<u>··</u> 事	業			1		経常臨時	☑ 経常 □	臨時			号 0797-31		内線	2567
根拠				母子保		WELLS BRIE.		EM. 3			本 芦屋市		1 3 1490	
実	施					□ 一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
<u>~</u> 委	I)UB	託			<del>ュロ</del> 小郭団体委託	名称				委託内容	_	只正亚		
¥		B C	76		作种凹件安心	百柳			女心	女礼例	Ħ			
<b>=</b>	गार	•	107 ===	4T <del>**</del> 43	あい立にかかって	てウッタンドファビナ田に ト	フ かに <i>4</i> -1ロ /ロ /フ++	七譜						
事	業	の	概 要	姓座烯	の山産にかかる	不安の解消及び訪問によ	. る新生児保健/	百号						
					支援事業									
事	業	の	現 状	・母子	'健康手帳の交付	:916件								
	目的	実現のため	o Ø	・妊産	婦相談	: 67人								
	手段	及び実施内	容	・妊産	婦及び新生児訪問	問指導:妊婦163人・	新生児163/	人 人						
			指標 名	相談件	数及び訪問件数									
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成.1	7 年度 (	目標)
			指標値		- 12 (2000)	3 6 4 人	393		1 7-2	, , , ,		1 12%	12	H 13.7
マウト	プット		単位コスト			22,327円/人	14,262							
						22,327137	14,202	.11/人				ļ		
指	標		指標名		2.左座/京建》	亚产 4 4 左连 / 安建 \	五代 4 5 左座	/ 中/ = \	₩.	· 1 C/T 🛱	- / 口+m \	₩#4:	7.左左 /	口+ボヽ
		結果指標			3年段(美韻)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	( 美領 )	平加	, 1 6 年度	【(目標)	平风!	7年度(	日保)
		(2)	指標値											
	NII2 IN I	<u>L</u>	単位コスト											
2 事	業成	果(アウ)	<u> </u>											
		対	免	丹之健	康手帳交付者									
		χ.)	承		原子收入17日									
事業の	り目的	対象力	バー率	対象	数 (a) 9	16人 受益数	(b) 2	3 0 人		比 率 (b	÷ a) %	2	5 . 1 %	6
	D目的 ·意図		バー率	対象	数 (a) 9	日6人 受益数	(b) 2	3 0人		比 率 (b	• ÷ a) %	2	5 . 1%	6
					, ,	16人 受益数 不安の解消(軽減)を図	- ( /	3 0人		比 率 (b	÷ a) %	2	5.1%	6
		意			, ,	<u> </u>	- ( /	3 0人		比 率 (b	• a) %	2	5.1%	6
		意	図		, ,	<u> </u>	- ( /	3 0人		比 率 (b	) ÷ a) %	2	5.1%	6
対 象	・意 図	意 (対象を <u>3</u>	図 主語にして)	妊産婦	の出産にかかる	不安の解消(軽減)を図	- ( /	3 0人		比 率 (b	• ÷ a) %	2	5 . 1%	6
		意	図 主語にして)	妊産婦	, ,	不安の解消(軽減)を図	- ( /	3 0人		比率(b	o ÷ a) %	2	5 . 1%	6
対 象	・意 図	意 (対象を <u>3</u>	図 主語にして) 目 的	妊産婦健やか	の出産にかかる	不安の解消(軽減)を図 び育児支援	- ( /	3 0人		比率(b	o ÷ a) %	2	5 . 1%	6
対 象	・意 図	意 (対象を <u>3</u>	図 注語にして) 目 的 指標名	妊産婦健やか	の出産にかかる	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %)	18.	3 0人		比率(b	o ÷ a) %	2	5 . 1%	6
対 象	・意 図	意 (対象を3 な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	妊産婦 健やか 訪問サ	の出産にかかる。 へな妊娠と出産及で ・・・ビス利用率(で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数	(× 1 0 0							
対象 大	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式 年 度	妊産婦 健やか 訪問サ 訪問サ 平成1	の出産にかかる。 へな妊娠と出産及で ・・・ビス利用率(で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績)	る。  ×100  平成15年度	(実績)			o ÷ a) %		5 . 1%	
対象 大 アウ	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指	型 注語にして) 目 的 指標方式度 年 度値	妊産婦 健やか 訪問サ 訪問サ 平成1	の出産にかかる。 へな妊娠と出産及で ・・・ビス利用率(で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数	(× 1 0 0	(実績)						
対象 大	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指	型 注語にして 的 程 表 方 年 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標	妊産婦健やか 訪問サ 可成 1	の出産にかかる。 へな妊娠と出産及で ・・・ビス利用率(で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績)	る。  ×100  平成15年度	(実績)						
対象 大 アウ	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	主語目指表年指指表方・は表式度値名式	妊産婦健やか 訪問サ 可成 1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及 ・一ビス利用率( ・一ビス利用者数 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4%	る。  ×100  平成15年度   25.1	(実績) %	平成	:16年度	[(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対象 大 アウ	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	tian	妊産婦 健やか 訪問サ い 部で成1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及 ・一ビス利用率( ・一ビス利用者数 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績)	る。  ×100  平成15年度   25.1	(実績) %	平成	:16年度		平成 1		目標)
対象 大 アウ	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	主語目指表年指指表方・は表式度値名式	妊産婦 健やか 訪問サ い 部で成1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及 ・一ビス利用率( ・一ビス利用者数 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4%	る。  ×100  平成15年度   25.1	(実績) %	平成	:16年度	[(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対象 大 アウ	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	tian	妊産婦 健やか 訪問サ い 部で成1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及 ・一ビス利用率( ・一ビス利用者数 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4%	る。  ×100  平成15年度   25.1	(実績) %	平成	:16年度	[(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対象 大 ア指	きかり、カークラー・カークー・カーク	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	主語目 指考年指指考年指 名 一 標 方・標 標 方・標 標 方・標 標 方・標 標 方・標 標 方・標 標 方・標 値 名 式 度 値	妊産婦 健やか 訪問サ 可成 1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及で 一ビス利用率(で 一ビス利用者数 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4%	× 1 0 0   平成 1 5 年度   2 5 . 1   平成 1 5 年度	(実績) %	平成	:16年度	[(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対象 大 ア指	きかり、カークラー・カークー・カーク	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	主語目 指考年指指考年指 名 標 京 が 名 式 度値名 式 度値	妊産婦 健やか 訪問サ 可成 1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及で 一ビス利用率(で 一ビス利用者数 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4%	× 1 0 0   平成 1 5 年度   2 5 . 1   平成 1 5 年度	(実績) %	平成	:16年度	[(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対大ア指産	・意図 き ム標	意 (対象を主) な 中指 最終成標 指 を ど補 が に かい こうしゅう かい こうしゅう かい こうしゅう かい こうしゅう かい こうしゅう かい こうしゅう かい こうしゅう かい こうしゅう しゅうしゅう しゅう	型 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	姓産婦 健やか 訪問サ 可成 1 平成 1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及で 一ビス利用率(で 一ビス利用者数 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4%	× 1 0 0   平成 1 5 年度   2 5 . 1   平成 1 5 年度	(実績) %	平成	:16年度	E (目標)	平成 1	7年度(	目標)
対大ア指産	・意図 き ム標	意対象を な中指 最終成成果標 を活動配	型() 的 名式度値名式度値 項 ト	好産婦 健やか 訪問サ 平成1	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及 ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4%	× 1 0 0   平成 1 5 年度   2 5 . 1   平成 1 5 年度	(実績) % (実績)	平成平成 住民1	1 6 年度	E(目標) E(目標)	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 3	意図をある。	意対象を記する 中指 最終 が は が は が は が が が が が が が が が が が が が	型() 的 名式度値名式度値 項 ト	妊産婦 健やか 訪問サ 可成 1 平成 1 出産後	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及 ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算)	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績)%	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標)	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 3	意図を対している。	意対な 中指 最指 と が 配費費	型 主語にして) 目 指考年 指 持え 標標方・標標方・標標方・標標方・ 標本 のコス後値名式度値 のコス% のコス% のコス% のコス% ののである。	姓産婦 健やか 訪問サ 平成1	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及 ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (実績) (決算) 5,505	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標) O(1) E(目標) O(2) F(1) E(1) F(2) F(3) E(3) E(3) F(4) F(5) F(5) F(6) F(6) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 事	意図をある。	意対な 中指 最指 と 新配費費費	型 を を を を を を を を を を を を を	姓産婦 健やか 訪問サ 平成1	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及 ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算)	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績)%	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標)	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内	意 き カ の 業 人事他 図 「	意対な 中指 最指 と 活 件業門 経 で	型 (mag) (m	姓産婦 健やか 訪問サ 平成1	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及 ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (実績) (決算) 5,505	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標) O(1) E(目標) O(2) F(1) E(1) F(2) F(3) E(3) E(3) F(4) F(5) F(5) F(6) F(6) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内	意 き カ の 業 人事他減 図 ム標 特 費業 国の値	意対な 中指 最指 を活件業門償却 を 1 の で 1	型 を を を を を を を を を を を を を	健やか 訪問ササ 京成 1 出産後	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及で ・一ビス利用率(で ・一ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912 215	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (決績) (決第) 5,505 100	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標) O(1) E(1) O(2) E(3) E(7) O(3) E(7) O(3) E(7) O(3) O(3) E(7) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内	・ 意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 図 ム標 特 <b>費</b> 業 高値	意対な 中指 最指 色・ ・ 野瓜 保標 果標 と 動	型 注語にして) 的 名式度値名式度値 スカー は の の の の の 名式度値名式度値 1.8%	健やか 訪問ササ 京成 1 出産後	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及 ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (実績) (決算) 5,505	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標) O(1) E(目標) O(2) F(1) E(1) F(2) F(3) E(3) E(3) F(4) F(5) F(5) F(6) F(6) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7) F(7	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内 í	<ul> <li>意きカカの業人事他減合国</li> <li>図 ム標 特費業 高値</li> </ul>	意対な 中指 最指 色・	図の 国 指 考 年 指 指 表 年 指 表 年 信 表 一 は ま え 一 は ま る は ま る は は る は は は は は は は は は は は は は	健やか 訪問ササ 京成 1 出産後	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及で ・一ビス利用率(で ・一ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) / 母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912 215	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (決績) (決第) 5,505 100	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標) O(1) E(1) O(2) E(3) E(7) O(3) E(7) O(3) E(7) O(3) O(3) E(7) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財象	<ul><li>意きカの業人事他減<b>合</b>国市図</li></ul>	意対な 中指 最指 と 活 件業門償・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債	型 注語にして) 目 指考年 指表 年 指表え 標標方 で は は は は は は は は は は は は は は は は は は	健やか 訪問ササ 京成 1 出産後	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及で ・一ビス利用率(で ・一ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912 215	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (決績) (決第) 5,505 100	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標) O(1) E(1) O(2) E(3) E(7) O(3) E(7) O(3) E(7) O(3) O(3) E(7) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内 í	・	意対な     中指     最指     と     活     件業門償・債の       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・	図   図   図   図   図   図   図   図   図   図	好産婦 健やか 訪問ササ 平成1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及で ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績) の新生児訪問指導 3年度(決算)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912 215 8,127	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (決算) 5,505 100	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標)  E(目標)  63 E(予算)  - 153	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( )	(記)   (記	意対な 中指 最指 と 活 件業門償・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債	図   図   図   図   図   図   図   図   図   図	好産婦 健やか 訪問ササ 平成1	の出産にかかる。 やな妊娠と出産及で ・一ビス利用率(で ・一ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912 215 8,127	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (決算) 5,505 100 5,605	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標) E(目標) O(1) E(1) O(2) E(3) E(7) O(3) E(7) O(3) E(7) O(3) O(3) E(7) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3) O(3	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 屋 事 … 円 ※円	・	意対な     中指     最指     と     活     件業門償・債の       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・	型 注語にして) 目 指 考年 指 指 表 年 指 指 表 末 点 た 標 標 点 方 、 標 標 点 う で は の は の は り り り り り り り り り り り り り り り	好産婦 健やか 訪問ササ 平成1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及で ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績) の新生児訪問指導 3年度(決算)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912 215 8,127	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (決算) 5,505 100	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標)  E(目標)  63 E(予算)  - 153	平成1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 象 ウ 屋 事 "円 "円 "	(記)   (記	意対な中指最指を活件業門償・債の財産を発力を開発して、一般の財産の財産を発力を発売して、一般の財産を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	型 注語にして) 目 指 考年 指 指 表 方・標標 標 表 方・標標 標 表 方・ は は る 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 の り し 1.8% 1.8% 1.8% 1.8% 1.8% 1.8% 1.8% 1.8%	好産婦 健やか 訪問ササ 平成1	の出産にかかる。 な妊娠と出産及で ・・ビス利用率(で ・・ビス利用者数 3年度(実績) 3年度(実績) の新生児訪問指導 3年度(決算)	不安の解消(軽減)を図 び育児支援 %) /母子健康手帳交付者数 平成14年度(実績) 21.4% 平成14年度(実績) 導の希望をはがきで確認 平成14年度(決算) 7,912 215 8,127	(× 1 0 0 平成 1 5 年度 2 5 . 1 平成 1 5 年度	(実績) % (実績) (決算) 5,505 100 5,605	平成平成 住民1	、16年度 16年度	E(目標)  E(目標)  63 E(予算)  - 153	平成1	7年度(	目標)

評	価	<u>エッン</u> 視	点	評価チェックリスト	1次評	面 2次評価
		4001141	0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	H	的妥当性(	2~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
				□ いずれにも該当しない		
当				☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>5</b>	5
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	┃ └━▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把掘		
性		,	,	☑ 数字で把握している 相談・訪問回数 □ 未把握		
8点	<u> </u>	A === 1 = /		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	1	
	社	会環境変化	化(1~ 1)	内容		
	優	先性,緊急	(性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
			区(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受:	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
÷+	-	田の守徳が	0 4)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		1
効	DX:	果の実績(	2~ 1)	┃ └▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	'   3	4
性	ct:	田白上会も	也(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	- IJX:	未凹工ホル	·B(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になり	J	
				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	) 当	位コスト(1	~ 1\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	+	コント()	~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
				高い、または低い場合の理由		
	妥:	益者負担(	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	Х.	四日只15(	0 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	_1
'				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	'	
	手	段(1~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	5	
	, ,	PX(1 0	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	٦:	スト削減取	組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
			( ,	→ 内容 助産婦は嘱託職員である。		
平成	1 5	~ 1 6	年度に	改善改善	:合 <b>人</b>	
実施	b	た改善	年度に 善内容	内容	福   A	B
Γ <b>Δ</b> 4	<u>*                                    </u>	<del>다 ( 코 /</del>	h22.			
5 7 12	友のソ	付応(アク	<u> フンョフ)</u>			
田 左 ÷	≐ஏ ≐±்	1 7 11	1る 課 題			
况 1工 品	说 龍	0 ( )	の味思			
市民既	1亿字	市民 悶(	係者の名称			
要望	心 尤 空	意見,	要望内容			
女主	ņ					
		(1)	対応内容			
		(1)	実施期限	平成年		
課題·要	9 9 9		大肥粉似			
HUT NEX 32	- <del></del> -	(2)	対応内容			
へのす	対応		実施期限	平成年		
,	., ,,,,,					
		(3)	対応内容			
		` ,	実施期限	平成年		
その他	考え	えられる				
改善の	カ ア	イデア				
				今後の方向	可性 1次評	面 2次評価
				拡大・充	実	
				現状維持現状維持	持	
				方法改	善善	
平成 1	7 ~	19年度	の方向性	民間委託	等	
				縮	小	
				統合/終期	<b>设定</b>	
				廃 止 / 休	止	
12 次 評	4 価 :	委 員 会	コメント			

( —	般	事業	€)	事業		<b>-</b>	2410	100				部	Ð	長 次	長	課	長
<del></del> -	+ 1 r	· /-	-	#	<b>ж</b>	<i>F</i> 7	<b>→</b> .	\$8.554E \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	`								
<b>₩</b> 'n	艾15	٥ <del>千</del>	岌	争	業	台	ノレ	親学級(母親学級	)								
			•								•						
1	事	業権	既更	更(ドゥ)													
			_		( 1) σ.	)目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり					保健福祉	上部		
	合				中				体を豊かにはぐくむ社会	会の実現		所	管語	健康課			
	策				//\		1		」子育て支援の推進			所管	課長氏名		[] 		
体	-14		系		細		•	母子の健康	11111222012				∖者氏名				
事			業	#	<u>"叫</u> 钥	間		4) VEA	経常臨時	☑ 経常 □	吃時		話番号			内線 2	2567
	‡bn.			<del></del>			母子	保健法	が五日が		пшыл		施主体		1000	P J MAR 2	-007
実	اللا		施		<u> </u>			直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	<u> </u>		補助金		負担金		
<u>夲</u> 委			IJŒ	 託	Г				名称				委託内容				
女				пь					<u> 五松 </u> 産,育児に関する知識の	並乃		安武	安託內名		=		
=		<del>41.</del>		Φ.	+R/T		XXXH		生,自元に関する知識の	'自汉							
事		業		の	概	要											
							→.	カルかつの事業									
		NII/		_		.1.6	-	おや教室の事業									
事		業		の - <b></b>	現	状			, 実参加者数 5 0 3 人 ,								
				ぼ現のため				•	・異常予防・栄養と調理			-					
		手	段及	び実施に	内容		後	期3回(お産の経)	過と呼吸法・産後の生活	・沐浴実習・	赤ちゃん。	とのま	δ流会): 6	45人			
					指	標名	プレ	親教室事業参加者	数								
				結果指標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(目	標)
				(1)	指	標値			778人	9 5 3	人						
アウ	ו ל	プッ	<i>)</i>		単位	ユコスト			5,383円/人	5,573	円/人						
指			標		指	標名						•					
				結果指標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(目	標)
				(2)	指	標値											
					単位	ンコスト											
2	事	業后	戊身	ミ(アウ	<u>トカ</u> /	<u> </u>				I .					1		
		-								:+=							
				対		家	市内	在任,在鱽の吐婦。	及びその夫(母子健康手	・帳交付数)							
事章	<b>⊭</b> の	目	的	対象が	b バ	- 率	対象	R 数 (a) 9	16人 受益数	(b) 5	0 3人		比 率 (b	÷ a) %	5	4.9%	
	象 ·			,,, ,,, ,,,			,,,	/	~ ~	(4)			1 (5	,			
	•	,,,		意		図	奸婦	への妊娠・出産・	育児に関する知識を普及								
				心 (対象を	主語に		VTVID			•							
			!	(2) 2) C.	<u>— нн г</u>	-0 ()											
大		き		な	目	的	母性	と乳幼児の健康保持	持と健康増進を図る。								
		٠		<i>'</i> 5-	н	# 7	<del>-3</del>  ⊥		りこには石造と四つ。								
					坦	<b>煙</b> 夕	午□≕戦	習得度(%)									
				中国代目						0							
									平成14年度(実績)		(宝繕)	₩.	成16年度	(日煙)	₩ <b></b> 1 7	7年度(目	抽ノ
	<b>-</b> L	+		指標	年		十八人	13 牛皮(夫縜)	<u> </u>	<u> </u>		+7.	以10午反	(日信)	十八八	/ 牛皮(日	作示 丿
	<b>)</b> ト				_	標値			30.3%	54.5	9 %0						
指			標	目幼子氏		標名											
				最終成果	_			4.2左座/ウ建》	正式4.4年度(ウ焙)	五世 4 5 左连	/ ch/# >		+ 4 6 左座	<b>/口标</b> \	T == 4 =	7.左连 7.日	1# \
				指標	<b>年</b>		半放	13年度(美額)	平成14年度(実績)	平成 15 年度	(美額)	平片	成16年度	(日標)	平成1/	7年度(目	<b>(院)</b>
					指	標値											
芦属	≣市	の‡	诗色	など補	足す	る事項											
										T	1			1	1		
3	事	業	<u></u>	活動配	分(:	<u>コスト)</u>				1世帯当り(円)	137	住民	1人当り(円)	59	平成16.4.	1 住民基本	x台帳
事		1	業	費	構	成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平月	成16年度	(予算)			
		人		件費	ŧ	85.5%			3,634		4,543			-			
		事		業	ŧ	14.5%			554		768			750			
内	訴	で	部	門経費	ŧ									-	]		
(干	円)	) 減	価	償却費										-	1		
		合		ħ		100.0%		0	4,188		5,311			750	1		
		国		• 県	_	3.0%			140		160			530	1		
財	源	市		債 等											†		
	円)	_		<u>の</u> 他		2.4%			125		125			150	†		
, 1	)	Ē	-	· 財源		94.6%		0	3,923		5,026			70	†		
活	番t	力職		<u> </u>		52.9%			0.45		0.45			-	†		
心配		_		·臨時等		47.1%			0.45		0.40				†		
	ר ז רל			- mu 142 45		47.1%		0.00			0.40			0.00	†		

評	価	視	点	評価チェックリスト	1.7	次評価	2次評価
		的妥当性(	2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	١		
	П	1)女当注(	2~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	5		
妥	市	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
				□ いずれにも該当しない		_	_
当				☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>١</b> ١	5	4
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把	湿		
性				☑ 数字で把握している 参加者数503人 □ 未把握	Ē		
8点	补	会環境変化	· 七(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	要		
		先性,緊急		事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
<i>_</i>		象カバー率	· · · · · · · · ·	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受:	益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	<u> </u>		
効	成	果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		2	4
444		-	-	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	111	_	•
性 4点	- 成	果向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合	<del>-</del> - 1		
4只				□ 成果向上策あり □ 特にな □ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない	30		
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 担握していない			
効	単	位コスト(1	~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
7/3				高い、または低い場合の理由			
				□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受	益者負担(	0 ~ 1)	□ 対元 ( ) 現在 , 適正な負担あり □ 負担なし , 過少 ( □ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	. )	4	^
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		1	-3
	_	-n		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	53		
	手	段(1~ 3	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点		7 L 光心武田7	40/A A)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	٦,	スト削減取	組(1~ 1)	→ 内容			
ਜ਼ ਹੈ:	1 [	1 (	左 庄 L	7万美	<i>W</i>		
実施	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	た改善	年 度 に 善 内 容	課題 内容	総合評価	Α	В
5 今後	多のえ	付応(アク	フション)				
IB ★ ±	:71 <b>±±</b> ±	1 7 11	、 フ ≐田 田百	事業参加希望者が多い(会場等の都合により人数制限をしている。)			
况 1工 ā	说 龍	0 ( )	の味思	争未参加布主省が夕い(云物寺の即口により入奴即収をひている。) 			
市民盟	係者	市民 関係	係者の名称				
要望	等	意見,	要望内容				
		(1)	対応内容				
			実施期限	平成 年 月			
課題·要	望等		対応内容				
へのす	对応	(2)	実施期限	平成    年    月			
		(3)	対応内容				
			実施期限	平成 年 月			
		えられる					
改善の	カア	イデア		A // a ->	<u> 10   .</u>		
				今後の方		次評価	2次評価
				拡 大 ·   現状維持   現状維持   現状			
				現状維持			
亚成儿	7 ~	10年度	の方向性				
1 13%	'	,一个这	~> /J I=J I±		小		
				廃止 /			
				770 444			
2 次 評	価	委員 会	コメント				

(一般	事業	) 事	業	<b>_</b> _	- F	24101	110				-			部		長	次	長	課長
平成1	5年月	事		業	名	乳幼!	児健康診査	ì											
		_																	
4 =	103 علاد	<del></del>	. \																
		要(ド	. ,		_ =		P# 11 1			<u> </u>	A = \$ 4 10						/m /r++-+	<u> </u>	
		まち	-		日標	_	健やかで							所	管	課	保健福祉	部	
総合				<u>中</u>		4	子どもたる					会の実現					健康課		
政 策	施分	ŧ		小		1	「エンゼル	レプラン	」子育	て支援の	の推進			所 f	管課	長氏名	小阪 郁	法	
体	3	Ā		細			乳幼児の	身体・精	神発達	に関する	る早期発見	見と指導		記	入 者	氏 名	小阪 郁	扶	
事	業	É	斯	]	間						経常臨時	☑ 経常	。□ 臨時	電	話	番 号	0797-31	-1586	内線 2567
根拠	L 法	令		要 綖	等	母子位	保健法							実	施	主 体	芦屋市		•
実	於	<u> </u>	手	•	法	<b>V</b>	直営		<b>√</b> –	-部委託	;	□ 全部	逐託					負担金	
委		託			先		外郭団体	委託	名称				☑ 民	間委言	f. 委 i	千内容	芦屋市医	師会,包	<b>樹科医師会</b>
事	業	Ø		概	要	到.幼!	児の発育の	)節目に	おけるほ	建康診查	ミにおいて	乳幼児の	身体・精神等	の発	達里常	は早の早期	発見と保	健指道を	F行う.
7	*	0,		1476	×	30-732	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ZIJ II IC	3717 67		[[0]	. 50-017007.	20 TH THE	0,70	X > < 11	302   303	17070 - 17	. KE 1 H C	-13 20
						回 411	児健康診査	の字体											
=	गर	•		TE					= □ //++-△		7011								
事	業	の		現	1天		か月児健身	•		,		/846人	•						
		実現の					歳児健康診					/879人							
	手段	及び実	施内	容					•	,		/920人							
				1			歳児健康診	•	]健診)		778人	/ 9 1 3 人							
				指机			児健診受診												
		結果技	指標	年	度	平成	13年度	(実績)	平成 1	4 年度	(実績)	平成 1 5	年度(実績)	平	7成16	6年度(	〔目標)	平成 1	7年度(目標)
		( 1	)	指机	票 値		2,931	人	3	, 13	1人	3,	170人						
アウト	・プッ	<b></b>		単位	コスト	5	, 192	刊/人	5,	, 330	円/人	5,1	2 7円/人						
指	ħ.	票		指机	票名													Į.	
		結果技	指標			平成	13年度(	(実績)	平成 1	4年度	(実績)	平成 1 5	年度(実績)	平	7成16	6年度(	〔目標〕	平成 1	7年度(目標)
		( 2		指相				( )			( ,		( )						
		(-	,	単位															
2 車	ませい とうしゅう こうしゅう こうしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	<u>ー</u> :果(ア	古上									<u> </u>							
<del></del>	* <del>**</del> //X	<del>人人()</del>	<u> </u>	7,7,74	,														
		対			象	4か)	月,1歳,	1歳6	か月及び	ゾ3歳の	)乳幼児								
車業/	カロは	⁄ા <del>ડેડ</del> ી ⊈	, +		\ <del>\$</del> .	<del>11 ⊈</del>	è数 (a)	3	5 5 8	۱ .	受 益 数	7 (h)	3,170,	1	H- 1	蛇 /h	÷ a) %	Ω	9.09%
対象			( /)	/\		Y) S	( XX (a)	<i>J</i> ,	3 3 0		又血奶	(0)	3,170,		FL -	<del>'</del> (D	- a) 70	0	3.0370
V.) SV	100 K	意			ভিস	剄 4九1	児健康診査	の四診	変を向し	<b>-</b>									
			ったコ	主語に		TU4)].	儿性冰心	107 × 107	+ 5 1-1 -1	L									
		(V18)	\ <u>C</u> _		0 ()														
大	き	な		目	的	到 4九	児の健やか	ななない	の排准										
^		΄δ		н	н	TU-91.	)	670 FI											
				指机	= 夕														
		山田門	北里	考え															
		指		年		亚式	1 3 午 度 /	(宝績)	亚成 1	1年度	(宝績)	亚成 1 5	年度(実績)	<u> 1</u>	2成16	6 年度 (	〔目標〕	亚成 1	7年度(目標)
アウ	<b>Ь                                    </b>		វភ	指相		1 73%	13712		1 /3% 1	7 715		1 13% 1 3	一及(天順)		17% 1 4	0 <del>+ 12</del> (	, H155 /	1 /3% 1	/ <del>-                                     </del>
		_										1							
指	木		+ ==	指え															
						ਜ਼ ਦੇ	1 2 左座:	(中/主)	TT CT 1	4 左 庄	(中/主)	₩ <b>.</b> + 1 . Γ	左座 / 安健 >		7 - 1 4	7. 左左 /	· 🗆 += `	₩# 1	7.左连 / 口插 \
		指	標	年		十八	13午段(	(夫縜)	十八八	4 牛贤	(夫縜)	十八 15	年度(実績)	) <del>''</del>	-рх, I (	0 年岌(	〔目標)	十八八	7年度(目標)
				指机	景値		<del></del>	1576-4	12.17										
							象者に個別												
芦屋市	りの特	色など	補足	足する	事項								成指導を実施	il,	保護者	の育児	不安の軽	減を図っ	っている。
						・健	診未受診者	旨に対し	て電話等	等での個	別勧奨を	実施。							
3 事	業費	・活動	配:	<u>分(コ</u>	スト)							1世帯当り	(円) 419	住民	民1人当	り(円)	181	平成16.4	1.1 住民基本台帳
事	業	ŧ	費	構匠	<b>ኒ</b> %	平成	13年度	(決算)	平成 1	4年度	(決算)	平成 1 5	年度(決算)	平	7成1	6年度(	(予算)	[	
	人	件	費		46.2%			7,427			8,010		7,507	,			-		
	事	業	費		53.8%			7,790			8,679		8,745	; <u> </u>			10,727		
内	訳他:	部門系	至費														-		
(千円	) 減 ′	価償去	] 費														-	İ	
, , , ,	合		計	1	00.0%			15,217			16,689		16,252	:			10,727	†	
	国		県	-	13.7%			1,556			2,297		2,230	_			1,410	<b>†</b>	
財	源市	債	等		/0			.,555				<u> </u>	_,				.,	t	
(千円		の	他									<del> </del>						<u> </u>	
( [				1	06 01			13,661			14 202		14,022	,			0.247	}	
:I :	手力 Pab	般財			86.3%						14,392		•	_			9,317	ł	
	動職	: r	員	1	70.4%			0.80			0.85	-	0.95				-	}	
配 :	分嗎	託・臨日	寸寺	<b> </b>	29.6%			0.55			0.55		0.40				- 0.00		

4 計評		ナエツク)	点	☆/本イーックリフ↓		1 1/2 章 (本	2次評価
計	<u> </u>	苗 視	品 点		51.1	一次評1四	2次評1回
	E	目的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができた	461		
				□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	<del>-</del> -		
107		÷=== ⊢ (o	0)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である。 ホース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	かる		
妥		<b>市関与(2~</b>	2)	□ 他団体では見直しがされている			
\/\				□ いずれにも該当しない □ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	+>! \	5	_
当	l _	+p- *"	2 4\	1 1		<b>O</b>	5
	'	<b>市民ニーズ</b> (2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未 □ 数字で把握している □ ホャ			
性				□ 数字で把握している □ 計			
8点	7	社会環境変化	化(1~ 1)	内容	'必安		
	- 42	憂先性,緊急	5性(1)	1967			
		対象カバー国	. ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	. 1		
有		·····································	,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に陥			
		•		□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		•	4
効	F	成果の実績(	2 ~ 1)	▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	えない	2	1
性		*=	ul. (a. a.)	成果があがっていない場合			
4点	-	成果向上余均	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特	になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	۷.	¥ /÷ ¬ ¬   /4	4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	-	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
				高い、または低い場合の理由			
	2	受益者負担(	0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率		文画百兵22(	0~ 1)	│ └━▶ □ 現在,適正な負担あり   ② 負担なし,過少   ( □ 徴収不能·見直し不能   ② 徴収可	能 )	1	-3
_				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		ı	-3
		手段(1~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分だ	がある		
	-	J <b>PX</b> (1 0	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能であ	る		
性				□ 嘱託, 臨時職員等で対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である	1		
3点	-	コスト削減取	組(1~ 1)	└」 コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
				→ 内容 業務の一部を芦屋市医師会等に委託している。			
平成	. 1 5	5 ~ 1 6	年度に	16年度から   改善    16年度から	総合	۸	В
実が	も し	た改	善内容	課題 3歳児健康診査時の混雑性の解消 改善 内容 実施回数を月1回から2回に増やす。	総合評価	Α	В
_ ^	~谷の	対応(ア	クシュンハ				
	/ 12 0.	/ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<i>,,,</i>	1歳児健診を子どもの発育の節目である10か月健診に変更。			
現在	認言	誰してい	へる 課 題	人口の増加に伴い、対象者が増加。			
				集団健診の場所の確保(現在、健康福祉事務所で実施)			
市民,	関係	者市民,関	係者の名称	市民			
からの	の意り	見幸日	西胡贞宓	保健センターにエレベーターを設置せよ。			
要	望(	等	女主门台				
			対応内容	  1歳児健診を子どもの発育の節目である10か月健診に変更する。			
		(1)	אור יויטיונג				
			実施期限	平成  16  年   4  月			
課題·	要望等	-	対応内容				
	<b>.</b>	(2)	<b>☆ *</b> ← #8 85				
への	対「	心	実施期限	平成			
		(2)	対応内容				
		(3)	中批 4078	<u>u.t.</u>			
			実施期限	平成   年   月			
<b>チ</b> の		えられる		歴的物刊の唯体(体度にグラーの指案)			
	佃 老						
		アイデア		今後の	方向性	1次評価	2次評価
			,	今後の拡 大	方向性	1次評価	2次評価
				拡大		1次評価	2次評価
				拡大       エレベーターの設置及び健診等のスペース確保から保健センターの増改築が必要。     現 状	· 充 実	1次評価	2次評価
平成	o 7			拡大 エレベーターの設置及び健診等のスペース確保から保健センターの増改築が必要。	· 充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
平成	o 7	ア イ デ <i>ア</i>		拡大         エレベーターの設置及び健診等のスペース確保から保健センターの増改築が必要。       規 状方 法	· 充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
平成	o 7	ア イ デ <i>ア</i>		拡大エレベーターの設置及び健診等のスペース確保から保健センターの増改築が必要。	· 充 集	1次評価	2次評価
平成	o 7	ア イ デ <i>ア</i>		拡 大	· 充 集	1次評価	2 次評価
	17~	ア イ デ ア 	の方向性	拡 大	· 充 集	1次評価	2 次評価
	17~	ア イ デ <i>ア</i>	の方向性	拡 大	· 充 集	1次評価	2次評価

									_				
(一般	事業)	事業	コ ー ド	2410	120					部 長	次	長課	長
平成1	[ 年 庄	重	業名	育児:	±⊟≐火								
一双	3 牛皮	. <del>→</del>	<b>未</b> 1	月元	们可以								
1 事	業概	要(ドゥ)									Į.	*	
		( ,	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	会づくり				保健福祉	·部	
総合			<u>中</u>		子どもたちの心と			金の実現		所 管 課	健康課		
政策			<u>'</u> //\	1				4 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -		所管課長氏名		<del></del>	
体	_	-	·····································	-	乳児の健やかな成		7)EE			記入者氏名			
事	系業	期			おいしのほ でかるが		経常臨時	□ 経常 [	「吃吐	電話番号			2567
		令 ・			(中/建)十		紅市咖啡					1300 内部	2307
					保健法	□ ±7.5±4			±+	実施主体		쇼·디스	
実	施					一一部委託	;	□ 全部委		□ 補助金		負担金	
委		託	先	Ш	外郭団体委託	名称			□ 氏筒	委託 委託 内容			
事	業	Ø	概 要	母親	の育児不安の軽減の	と親同士の交流	流場の設定	:					
事		の 実現のため 及び実施内	o Ø		から3歳児とその( 加者数611人(リ						母乳相談	: 5 1人)	
			指標 名	相談	事業参加者数								
		結果指標	<b></b>		13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年	度(実績)	平成16年度(	(目標)	平成17年度(	(目標)
			指標値			6 4 7		6 1			( , , , , , ,		( , , , , , ,
アウト	プット		単位コスト			2,100		3,42					
指	標		指標名			,				!			
711	11/1	   結果指標			13年度(実績)	亚成 1 / 任度	(宝績)	平成15年	・ 全信 )	平成16年度(	(日煙)	平成17年度(	(日煙)
			指標値		13十及(天順)	1 13% 1 7 7 15%	(大順)	1 132 1 3 -1	又(天順)	1/32 1 0 +12 (	(H1)# /	1132 1 7 -152 (	(H1#)
		(2)											
2 事	ᄣᆣ	<u> </u> 果(アウ)	単位コスト   <b>カイ</b> ン										
∠ <del>p</del>	未以	<del>末</del> (ア・フェ	·/////////////////////////////////////	1									
		対	象	0歳	から3歳児とその何	保護者							
重要σ	、日 的	하 수 ㅋ	バー率	ਹੋਰ ਉ	5 粉 (2) 2	444人	受 益 数	(h)	611人	比 率 (b	. 2) %	17.7	06
対象・			/\ +	YJ 3	K χχ (α)	7 7 7 7	又血双	(0)	0117	比 <del>平</del> (D	- a) 70	17.7	70
X) SK		意		育児	不安の軽減と親同	土の交流を図る	<b>S</b> .						
		(対象を:	主語にして)										
大	ਣੇ	な	目 的	乳幼	児の健やかな成長の	と育児を支援す	る。						
			<b>华 煙 夕</b>	村≐火	事業利用率(%)								
		山田は田			<del>事業利用率(約)</del> 参加者数/0~3歳	無児の乳 幼児粉	<b>ታ</b> ፈ በ ሰ ሰ						
			<b></b>		<u> </u>				・ 安结 \	平成16年度(	(日煙)	平成17年度(	(日煙)
アウト	. + /.		指標値		13年及(天禊)	19.4		17.		十八八〇千尺(	、口信がノ	十八八十尺(	、口信がノ
						19.5	+ 70	17.	7 70				
指	標		指標名										
			考え方·式 年 度		13年度(実績)	亚成 1 / 生座	(宝绩)	亚成 1 m 年	・ 安健 、	平成16年度(	(日堙)	平成17年度(	(日増)
		指標		十八	13 牛皮(夫縜)	十八   4 十 反	( 夫縜 )	十成13年月	支(夫縜)	平成10年度(	、日信ノ	平成17年及(	、日信ノ
			指標値	4 +>	月児健康診査のとる	キに安山ナーフ	-117						
芦屋市	の特質	色など補足	足する事項		月元健康彰重のこ	さに来りをひて	- いる。						
2 ==	北井	ンチェー	/\	<u> </u>				4 III ##3/4 19 4 FF		45 4 1 1/40 (F)			サナハギ
			<u>分(コスト)</u>	)   <del></del>	4.2左京 / 油笠 >	亚产 4 4 左座	/ `+ œ \	1世帯当り(円	<del> </del>	住民1人当り(円)		平成16.4.1 住民	<b>基本台帳</b>
事	業	費			13年度(決算)	平成 1 4 年度	·	平成15年	• • •	平成16年度(	(予昇)		
	人	件 費					1,140		1,877		-		
	事	業費	10.3%				219		215		221		
		『門経費									-		
(千円		道償却費									-		
	合	計			0		1,359		2,092		221		
	国	- 県	1										
	市	債 等											
(千円		の他										,	
		般財源			0		1,359		2,092		221		
	地職	員					0.20		0.20		-		
		: 臨時等					0.00		0.15		-		
( )		計	100.0%		0.00		0.20		0.35		0.00		

市民サービス・施設運営 0503(健康課)2410120育児相談

評	<u> </u>	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
ат	<u>іщ</u>	1元 流	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	「八計画	2次計画
	目的妥当性	E(2 ~ 2)			
			□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
_		- \	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			☑ いずれにも該当しない	_	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>5</b>	4
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			☑ 数字で把握している 相談事業参加者数611人 □ 未把握		
8点		-////	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	<b>任会</b> 境現象	图化(1~ 1)	内容	···]	
	優先性,緊	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
		率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	,		□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	┨ _	
効	成果の実績	[(2 ~ 1)	□ 〒岡成朱宙県の美麗値を10座0、白原値を放足のでいる□ 実績値から成果があがっていると言えない □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	3
**			成果があがっていない場合		
性	- 成果向上余	除地(1~ 1)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
4点			□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(	1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	+ m = X ( )	' ',	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	平 共 本 台 七	3(0 4)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
<del></del>	受益者負担	2(0~ 1)	│ └▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	2
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b> </b>	-2
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点					
3点	コスト削減耳	双組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない   └▶ 内容   栄養指導を在宅栄養士会に委託		
			→ 内谷 不良拍与で任七不良上云に女礼		
平 成	1 5 ~ 1	6 年 度 に	課題 1歳児健診後の母親の交流の場の設置		D
実 施	し た 改	善内容	課題 1歳児健診後の母親の交流の場の設置	A	В
5 4	4 a t l = /=	• - > > > >			
5 学程	後の対応(ア	<u>(クンヨン)</u>			
現在:	認識して	いる課題			
	係者 市民,関				
からの	意見意見,	<b>更</b> 胡 贞 宓			
要望	等意光,	女主的甘			
	(1)	対応内容			
		実施期限	平成年月		
課題·要	望等				
	(2)	対応内容			
へのす			1		
, ( 0) )		宝饰期阳	TU CLU CLU CLU CLU CLU CLU CLU CLU CLU CL		
	×3 //C	実施期限	平成 年 月		
		実施期限対応内容	平成 年 月		
	(3)	対応内容			
	(3)	対応内容			
その他		対応内容			
	(3)	対応内容 実施期限			
	(3)	対応内容 実施期限		生 1次評価	2次評価
	(3)	対応内容 実施期限	平成 年 月		2次評価
	(3)	対応内容 実施期限	平成 年 月 タ後の方向f	Ē	2次評価
	(3)	対応内容 実施期限	平成 年 月 タ後の方向 t 拡 大・充 3	寺	2次評価
改善の	(3)	対応内容実施期限るるア	平成     年     月       今後の方向性拡大・充気現状維持     現状維持方法改善	寺	2次評価
改善の	(3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	対応内容実施期限るるア	平成     年     月       今後の方向性     拡大・充質       現状維持     現状維持       長間委託	<b>美</b>	2次評価
改善の	(3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	対応内容実施期限るるア	平成     年     月       今後の方向性     拡大・充領現状維持       現状維持     現状維持       店間委託等       縮     /	<b>き</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2次評価
改善の	(3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	対応内容実施期限るるア	平成     年     月       今後の方向性     拡大・充調       現状維持     現状維持       方法改調       民間委託       縮     (統合/終期設定	等 (N) (E)	2次評価
改善の	(3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	対応内容実施期限るるア	平成     年     月       今後の方向性     拡大・充領現状維持       現状維持     現状維持       店間委託等       縮     /	等 (N) (E)	2次評価
平成1	(3) お考えられ カアイデ 7~19年ほ	対応内容実施期限るるア	平成     年     月       今後の方向性     拡大・充調現状維持       現状維持     方法改善民間委託電       底間委託電     統合/終期設定廃止/休」	等 (N) (E)	2次評価
平成1	(3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	対応内容実施期限るるア	平成     年     月       今後の方向性     拡大・充調現状維持       現状維持     方法改善民間委託電       底間委託電     統合/終期設定廃止/休」	等 (N) (E)	2次評価

(一般	事業)	事業	コード	24101	130			1	部 長	次	長課	長
,	,											
平成15	年度	事	業 名	育児	教室							
1 事	業概 3	要(ドゥ)								•	*	
			りの目標	2	健やかでめくまじ	のある福祉社会づくり				保健福祉	- 並7	
							A = 0.77		所 管 課		.ap	
総合			<u>中</u>			:体を豊かにはぐくむ社:	会の美境			健康課		
政策	施策		小	1	「エンゼルブラン	′」子育て支援の推進			所管課長氏名	小阪 郁	扶	
体	系		細		乳幼児の健やかな	:成長			記入者氏名	小阪 郁	扶	
事	業	斯	間			経常臨時	□ 経常 □	臨時	電話番号	0797-31-	·1586 内線	2567
根 拠	法			母子(	保健法				実 施 主 体			_
実	<u>/仏</u> 施	<u>`                                    </u>		<b>√</b>		☑ 一部委託	□ 全部委託				負担金	
	ルビ	•					□ 土即安司					
委		託	九		外郭団体委託	名称			委託 委託 内容	木食拍导	<b>耒務守</b>	
				母親	司士の情報交換の	場の提供と育児や離乳食	(等について指導	尊と学習(	の場をもつ。			
事	業	の	概 要									
				たか	FI.奈旧教会(6	~ 7 か月児とその保護者	¥ )					
=	ш	•	TD 315		•		•					
事	業	の				数,親:214人・子:						
	目的記	実現のため	の			やつの教室(2~3歳り		)				
	手段及	ひ実施内	]容		6 回開催・参加者	数 , 親:131人 , 子 <sup>·</sup>	45人					
			七 垣 夕	苔旧	教室参加者数							
		/+ ED 15 15				立式1.4左座/ウは、	亚出 4 5 左左	/ <del>□</del> /± \	W#4655	/ D ## \	亚出 4 3 5 5	/ D # \
		結果指標			13年度(美額)	平成14年度(実績)			平成16年度	(日標)	平成17年度	(日標)
		(1)	指標値			790人	7 0 6	人				
アウト	プット		単位コスト			2,856円/人	3,552	円/人				
指	標		指標 名			*	*					
		結果指標		平成	13年度(宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度	(日標)	平成17年度	(日標)
			指標値			172 ( ) ( )	1720 1 172		1772 . 5 172		1 1/20 1/20	(
		(2)										
• +	111/ _15 F		単位コスト									
	美风	果(アウ)	`カム)									
		対	免	<b>工</b> 容·	て中の母親等							
		χ.)	31	1 1	て中の母派子							
事業の	目的	対象力	バー率	対象	₹数 (a) 2 ,	563人 受益数	久 (b) 7	'06人	比 率 (b	÷ a) %	27.	5 %
対象・					` '1				,	,		
,,, ,,,	~ H		ভা	日報日	コーの女児に関す							
		意				ス桂却亦換を行うことで	ッ 到幼児の健児	わかかば」	<b>巨た古埒する</b>			
		(対象を:		-3 3761	可工の育児に関り	る情報交換を行うことで	、乳幼児の健 <sup>4</sup>	やかな成も	長を支援する。			
			上語にして)	-3001	可工の育児に関す	る情報交換を行うことで	ご,乳幼児の健 <sup>4</sup>	やかな成れ	長を支援する。			
大	き			-50%1	可工の育児に関す	る情報交換を行うことで	₹,乳幼児の健⁴	やかな成も	長を支援する。			
	C	な	注語にして)			る情報交換を行うことで と育児支援を図る。	҈,乳幼児の健⁴	やかな成れ	長を支援する。 			
	С	な	注語にして)				『,乳幼児の健*	やかな成も	長を支援する。			
	С .	な	注語にして) 目 的	乳幼!	児の健やかな成長		『,乳幼児の健*	やかな成人	長を支援する。			
	e		E語にして) 目 的 指標名	乳幼児育児	見の健やかな成長	と育児支援を図る。	ご,乳幼児の健	やかな成化	長を支援する。			
		中間成果	E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	乳幼!育児	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数(	と育児支援を図る。 0歳児,2~3歳児)				(日梅)	亚成17午度	(日煙)
7.5.		中間成果	E語にして) 目 的 指標名 考え方·式 年 度	乳幼!育児	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数(	と育児支援を図る。 0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	長を支援する。 平成16年度	(目標)	平成 1 7 年度	(目標)
アウト	カム	中間成果	E語にして) 目 指標 考え方・式 年 標値	乳幼!	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数(	と育児支援を図る。 0歳児,2~3歳児)		(実績)		(目標)	平成 1 7 年度	(目標)
アウト指		中間成果	E語にして) 目 的 指標名 考え方·式 年 度	乳幼!	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数(	と育児支援を図る。 0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)		(目標)	平成 1 7 年度	(目標)
	カム	中間成果指  標	E語にして) 目 指標 考え方・式 年 標値	乳幼!	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数(	と育児支援を図る。 0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)		(目標)	平成 1 7 年度	(目標)
	力ム標	中間成果指標	E語 目 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 末 京 ・ 標 標 方 ・ 標 標 方 ・ 標 標 方 ・  京 ・ 標 点 方 ・  は で は り か 名 式 度 値 名 式	乳幼!育児!参加:平成	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数 / 乳幼児数( 1 3年度(実績)	と育児支援を図る。 0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績)	平成15年度27.5	(実績)			平成 1 7 年度平成 1 7 年度	
	力ム標	中間成果指標	E語 目 指 考 年 指 指 考 年	乳幼!育児!参加:平成	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数 / 乳幼児数( 1 3年度(実績)	と育児支援を図る。 0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%	平成15年度27.5	(実績)	平成16年度			
	力ム標	中間成果指標	E語 目 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 末 京 ・ 標 標 方 ・ 標 標 方 ・ 標 標 方 ・  京 ・ 標 点 方 ・  は で は り か 名 式 度 値 名 式	乳幼! 育児教 参加 平成 平成	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績)	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績) 32.0%	平成15年度27.5	(実績)	平成16年度			
指	カム 標	中間成果 標	E語にして) 的 名式度値名式度値	乳幼! 育児記 参加 平成 平成	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数 / 乳幼児数( 1 3年度(実績)	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績) 32.0%	平成15年度27.5	(実績)	平成16年度			
指	カム 標	中間成果 標	E語 目 指 考 年 指 指 考 年	乳幼! 育児記 参加 平成 平成	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績)	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績) 32.0%	平成15年度27.5	(実績)	平成16年度			
指 芦屋市	カム標の特色	中間成果 指 標 最終成果 指 標 色など補足	E語目 指考年指指考年指 する 標	乳幼! 育児記 参加 平成 平成	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績)	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績) 32.0%	平成15年度27.5	(実績)	平成16年度			
指 芦屋市	カム標の特色	中間成果 指 標 最終成果 指 標 色など補足	E語にして) 的 名式度値名式度値	乳幼! 育児記 参加 平成 平成	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績)	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績) 32.0%	平成15年度27.5	(実績)	平成16年度	(目標)		(目標)
指 芦屋市	カム標の特色	中間成果 指 標 最終成果 指 標 色など補足	E語目 指考年指指考年指 す 分 の 名式度値名式度値 項 ト	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績) 32.0%	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5% (実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度	(目標)
芦屋市 3 事	カム 標 の特 発 業	中間成果 指 標 最終成果 指 を 活動配 費	E語 目 指 考 年 指 指 考 年 指 ま マ か に し て ) 的 名 式 度 値 名 式 度 値 項 ト	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績)  ている。	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5% (実績)	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成17年度	(目標)
芦屋市 3 事	カム 標 の特色 <b>業費・</b>	中間成果 指 最終成果 指 を が補足 作 費	E語にして) <ul> <li>おおおおります。</li> <li>おおおります。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいまする。</li> <li>おいます。</li> <li>おいまする。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいまする。</li> <l< td=""><td>乳幼! 育児 参加: 平成 4か)</td><td>見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し</td><td>と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373</td><td>平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)</td><td>(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877</td><td>平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)</td><td>(目標) 28 (予算) -</td><td>平成17年度</td><td>(目標)</td></l<></ul>	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) -	平成17年度	(目標)
指 芦屋市 3 事事	カム標の特色業人事	中間成果標 最終成標 を 活動配費費 件業	E語にして) 的 名式度値名式度値 項 ト	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5 % (実績) (表績)	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成17年度	(目標)
指芦屋市 3 事 内 訳	カム標の特色費業人事の	中間成果 指 最終成果 指 を 活動配費 費費費	E語にして) <ul> <li>おおおおります。</li> <li>おおおります。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おおいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいまする。</li> <li>おいます。</li> <li>おいまする。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいます。</li> <li>おいまする。</li> <l< td=""><td>乳幼! 育児 参加: 平成 4か)</td><td>見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し</td><td>と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373</td><td>平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)</td><td>(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877</td><td>平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)</td><td>(目標) 28 (予算) -</td><td>平成17年度</td><td>(目標)</td></l<></ul>	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) -	平成17年度	(目標)
指芦屋市 3 事 内 訳	カケックを表しています。カケックでは、カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。	中間成標 最終成標 を活動配費費費費費	E語にして) 目 指考年 指え 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 月健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績)  32.0%  平成14年度(実績)  ている。  平成14年度(決算)  1,373 883	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5% (実績) (決算) 1,877 631	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 -	平成17年度	(目標)
指芦屋市 3 事 内 訳	カム標の特色費業人事の	中間成標 最終成標 は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	E語にして) 日 指考年指指考年 標標 方・標標 京・標標 京・標標 京・標標 京・ コス で は で は で は で は で で は で で で で で で で で	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	見の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 目健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) -	平成17年度	(目標)
指芦屋市 3 事 内 訳	カケックを表しています。カケックでは、カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。カケックを表しています。	中間成標 最終成標 を活動配費費費費費	E語にして) 日 指考年指指考年 標標 方・標標 京・標標 京・標標 京・標標 京・ コス で は で は で は で は で で は で で で で で で で で	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 月健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)  平成14年度(実績)  32.0%  平成14年度(実績)  ている。  平成14年度(決算)  1,373 883	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5% (実績) (決算) 1,877 631	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 -	平成17年度	(目標)
指芦屋市 3 事 内 訳	カーの業人事他減合国	中間成標 最終成標 は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	E語にして) 目	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 月健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)   平成14年度(実績)   32.0%   平成14年度(実績)   ている。   平成14年度(決算)   1,373   883	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5% (実績) (決算) 1,877 631	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 -	平成17年度	(目標)
指	カケックの大きの大手の大手の大手を持ちます。	中間成標 果標 果標 果標 発却 ・債	E語にして) 目 指考年指 指え、標標方・ 標標方・ 標標方・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 月健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児)   平成14年度(実績)   32.0%   平成14年度(実績)   ている。   平成14年度(決算)   1,373   883	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5% (実績) (決算) 1,877 631	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 -	平成17年度	(目標)
指	カの業人事他減合国市でム標の業人事の機業人事の場合の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	中指 最指 を 活 り は が は が が が が が が り に り に り し り し り し り り り り り り り り り り	E語にして) 日 指考年指指えた 標標方・標標方・標標方・標標方・ は	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 日健診時に案内し 13年度(決算)	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373 883 2,256 400	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877 631 <b>2,508</b> 400	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 - 610	平成17年度	(目標)
指	カの業人事他減合国市を一	中指 最指 を 活 件業門償 で <b>財</b> 保標 果標 の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の	E語にして) 目	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 月健診時に案内し	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373 883 2,256 400	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877 631 <b>2,508</b> 400	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 -	平成17年度	(目標)
指	カの業人事他減合国市を一職	中指 最指 と 活 件業門償 ・債の <b>財</b> 展標 果標 報 配費費費費 <b>計</b> 県等他 <b>源</b> 員	E語にして) 目 指表方 原値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度を	乳幼! 育児 参加: 平成 4か)	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 日健診時に案内し 13年度(決算)	と育児支援を図る。  0 歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373 883  2,256 400  1,856 0.25	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 1,877 631 <b>2,508</b> 400 <b>2,108</b> 0.20	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 - 610	平成17年度	(目標)
指	カの業人事他減合国市を一職	中指 最指 を 活 件業門償 で <b>財</b> 保標 果標 の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の	E語にして) 目 約 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	乳幼! 育児を 参平成 4 か) 平成	児の健やかな成長 教室参加率(%) 者数/乳幼児数( 13年度(実績) 13年度(実績) 日健診時に案内し 13年度(決算)	と育児支援を図る。  0歳児,2~3歳児) 平成14年度(実績) 32.0%  平成14年度(実績) ている。  平成14年度(決算) 1,373 883  2,256 400  1,856 0.25 0.00	平成 1 5 年度 2 7 . 5 平成 1 5 年度 1 世帯当切(円)	(実績) 5 % (実績) (決算) 1,877 631 <b>2,508</b> 400	平成 1 6 年度 平成 1 6 年度 住民1人当り(円)	(目標) 28 (予算) - 610 - 610	平成17年度	(目標)

市民サービス・施設運営 0503(健康課)2410130育児教室

評	価	視	点				評価チェッ	クリスト			1	次評価	2次評価
	Вť	的妥当性(2	2 2)	☑事	業の主目的は明	確である			事業の目的は一つに絞る	ことができない	١		
	п	17女当注(4	2 ~ 2)	☑事	業成果が上位施	5策に不可欠	,または貢献度が高い	<b>ν</b> ι 🗆	貢献度が不明確、または高	引くない			
				□ 市	が実施するよう活	法律等で義務	らづけられている		民間でやるべき、または対				
妥	市	関与(2~	2)	□市□	民の基本的な生	活の維持に	必要である		他団体では見直しがされて	いる			
									いずれにも該当しない			_	_
当				1 1	民ニーズに基づ		事業		市民ニーズに基づいて行う			5	4
	市	民ニーズ(2	2~ 1)	<b>└</b>	☑ ニーズが高		<del></del>		ニーズが高いとは言えない	•:			
性							育児教室参加者			□ 未把握			
8点	社会	会環境変化	比(1~ 1)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	環境の変化	こ適応している	Ш.	社会環境の変化にあわせる	た見直しが必!	要		
					内容								
		先性,緊急					生命,安全等が損な		□ 他団体よりカバ	<del></del>			
有		象カバー率	· · · · · ·		象カバー率は高								
H	文í	益者(1~	1)		業意図と受益者				とされて整合 , または受益が 実績値または日標値がま			_	_
効	成县	果の実績(2	2 ~ 1)	1					実績値または目標値が未記 実績値から成果があがって		.1.1	3	3
性					・		いって日んっ		<b>美観値が5成未がめがり</b>	.いると言えな	.61		
4点	- 成	果向上余均	也(1~ 1)		アのかっていない 果向上策あり	地口				□ 特にな	î I .		
7/11					較できる団体が	ある 団体	名		比較できる団体はない		• •		
				□ 他[	団体の数字を把	!握している	単位コスト		☑ 把握してい	ない			
効	単位	位コスト(1 ·	~ 1)	1	□ (1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		i	程度	□ 他団体よりコスト				
					または低い場合				_ 10	- 1-50			
		¥ + A + D //	2 4)	☑ 負担	担を求めることか	べきる事業で		負担を求る	めるべき事業ではない				
<del>1</del>	受?	益者負担((	0~ 1)	L <b>→</b> ☑	] 現在,適正な	負担あり	□ 負担なし,過少	( 🗆	徴収不能・見直し不能 [	] 徴収可能	)	4	2
率				直営事	事業(正規職員 <i>t</i>	が執行)またに	は出資団体へ委託して	ている業剤	<b>答について</b>			I	-2
	<b>=</b>	-π./4 o)		□ 正規	規職員による執	行が義務づけ	けられている		個人,家庭,地域等が担う	べき部分があ	3		
	于‡	设(1~ 3)	)		間(企業 , NPO等	(す)では対応で			民間(企業 , NPO等)で対応				
性							きない業務である	<b>V</b>	嘱託, 臨時職員等で対応す	可能である			
3点	77	7 ト当小試 取り	組(1~ 1)		スト削減の取り組				特に行っていない				
	1/	<b>、「円」//%、4</b> X;	RET(1 1)	<b>-</b> → Γ	内容 在宅栄養	養士会に事業	の一部を委託						
平成	1 5	~ 1 6	年度に				改善			4	総合		_
実施	่บัว	た 改 i	年 度 に 善 内 容	課題			内容			Í	評価	Α	В
Γ <b>Δ</b> /4	<u>κ                                    </u>	+ i  ( 코 /	722.										
3 <del>'5</del> 13	夏リノス	寸応 (アク	/ンョノ)										
現在意	忽 誡	1, 7 1.1	る 課 題	参加希望	2者が多いが、	会場の関係:	で人数制限をしてい	1る.					
-70 12 14	70. H-M	0 0 0	0 I/N ACE	3		_ x = 150113.							
市民,関	係者	市民,関係	系者の名称										
からの	意 見	<del>-</del>											
要 望	等	息 見 , 3	要望内容										
			対応内容										
		(1)	און ואיוניע די										
			実施期限	平成	年	月							
課題·要	望等		対応内容										
_ ,		(2)			1_								
へのタ	可心		実施期限	平成	年	月							
		(3)	対応内容										
		(3)	実施期限	TV FÜ	年	月							
			天肥别似	T11X	+-	/3							
その他	考え	られる											
	_	イデア											
										今後の方	向性 1	次評価	2次評価
										拡大・i	充 実		
				現状維持	寺					現状維			
										方 法 改	女 善		
平成 1	7 ~ 1	1 9 年度	の方向性							民間委	託 等		
										縮	小		
										統合/終期	設定		
										廃止/作			
	. ,												
2 次 評	插	委員会	コメント										

								_				
(一般	事業)	事 業	コード	2410°	140				部長	次	長課	長
平成1	5年度	事	業 名	乳幼.	児育成指導事業							
								ļ				
1 事	業概要	要(ドゥ)									<u>.                                      </u>	
			11の日標	2	健やかでめくもり	のある福祉社会づくり				保健福祉	- 空(	
総合						体を豊かにはぐくむ社会	の中田		所 管 課	:1	·II	
			<u>中</u>		-		の美現			健康課		
政 策	施策		小	1		」子育て支援の推進			所管課長氏名	小阪和	天	
体	系		細		こどもの健やかな	成長			記入者氏名	小阪 郁	夫	
事	業	其	間			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-31	1586 内線 256	67
		令 '			保健法	N-11AH			実施主体		1 010	
						ローカチャ					A+0.0	
実	施			-		☑ 一部委託	□ 全部委託		祖助金		負担金	
委		託	先			名称			委託 委託 内容			
				乳幼.	児健診時の要経過額	観察の必要な子どもを対	象に障害の早期	朝発見や	専門員による個別	刂相談等を	行い,	
事	業	の	概 要	保護	者の育児不安の軽減	咸を図る。						
_												
				可加力	児の育成指導事業							_
	NIK	_					ul lester					
事	業	の	現 状		•	・心理相談員による個別	,					
	目的詞	実現のため	5 <b>0</b>	精	伸科: 2 3人(延べ!	5 3 人),心理相談員相誌	炎: 4 9 人(延べ	(74人)				
	手段及	ひ実施内	容	· ¬	アラクラブの実施(	1歳6か月児健診後の知	豆期観察)					
	. ~~				来所者数:69人(3							
			比描名		スハロ奴: 0 5人(x 児育成指導事業参加							$\dashv$
		/+ m +~ 1~					亚出 4 5 左左	/ <del>                                     </del>	W#4655	/ D +# \	亚芹 4 3 左宫 4 豆豆	ff \
		結果指標		-	13年度(美額)	平成14年度(実績)	平成15年度		平成16年度	(日標)	平成17年度(目標	ļ)
		(1)	指標値			418人	4 1 3.					
アウト	プット		単位コスト			7,115円/人	9,235	円/人				
指	標		指標 名						•			
		結果指標			13年度(宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度	(日煙)	平成17年度(目標	<b>≣</b> \
		(2)	指標値			17% 1 1 1/2 ( 入原)	172 1 3 172		172.10112	( 11 1 1 )	17% 17 11X ( 1113	` /
		(2)										
• =	· NIV —15 F		単位コスト									
2 事	<b>業成</b> り	果(アウ	トカム)									
		対	免	到 4九	児健診時の要観察り	В						
		Λ3	3	TU2/J.	心性的的 少女既示力	, L						
事業の	り目的	対象力	バー率	対象	表数 (a) 1	3 9 人 受 益 数	(b)	7 2人	比 率 (b	÷ a) %	51.7%	
対象・									`	,		
Y1 2/		意	NY.	回 41	旧御診時の亜知家し	<b>児を持つ親の育児不安の</b>	起ばた図 2					
				子し4月.	心性的时以女似宗》	元で持つ税の自元小女の	#主,例で囚る。					
		(刈家を)	主語にして)									
大	き	な	目 的	乳幼.	児の健やかな成長。	と保護者の育児支援を図	る。					
			指標 名	保護	者の不安度軽減率	(%)						
		中間成里			参加人数/要観察り	• •						
						平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度	(日煙)	平成17年度(目標	<b>5</b> \
I		1日 作	`		13年及(天順)	, ,			十八八〇十尺	(口1示)	十八八十尺(口177	* ノ
アウト			指標値	_		45.0%	51.7	7 %				
指	標		指標 名									
		最終成果	考え方・式									
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(目標	ķ)
			指標値									
		L										$\dashv$
节层市	の性を	カかど猫!	足する事項									
一座巾	いいけと	こると補え	にょる 争児									
	NIV	\_ TI ==							ı			
	<b>業費</b>	沽動配	<u>分(コスト)</u>	)			1世帯当り(円)	98	住民1人当り(円)	43	平成16.4.1 住民基本台	計帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度	(予算)		
	人	件 費	59.8%			1,449	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2,282		-		
	事	業費				1,525		1,532		1,740	•	
内 i		3門経費				.,		,		,		
一一円		道道却費	1			- AF-1		0.011		4 = 10		
	合	計	1		0	2,974		3,814		1,740		
	国	· 県	17.5%			400		666				
財	原市	債 等		L								
(千円	) そ	の他	!									
, ,		設財源			0	2,574		3,148		1,740		
		175 180	JZ.0/0		, ,	2,077		٥, ٠		.,		
迁 垂		H	Q7 F0/		i i	0.50		0.35		_		
	動職	員				0.20		0.35		-		
配分	動職	員 : 臨時等	12.5%		0.00	0.05		0.35		- 0.00		

評	価	<u>エッン</u> 視	点	評価チェックリスト	12	欠評価	2次評価
		的妥当性(	2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない			
	н	1)女当注(	2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
妥	市	関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
				□ いずれにも該当しない		_	_
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	١	5	5
	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	│ └─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把打	屋		
性				☑ 数字で把握している □ 未把握			
8点	<b>ネ</b> +	会環境変化	<b>化(1~ 1)</b>	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	更		
			. ,	内容			
		先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
<del>_</del>		象カバー率	· · · · · ·	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	党:	益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定			
効	成	果の実績(	2 ~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ 字標係からば思ざまが。ているトララス	,	2	3
A44				□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない □ 実績値から成果があがっていると言えない □ 実績値から成果があがっていると言えない	, 1	_	
性 4点	- 成	果向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合   □ 成果向上策あり □ 特にな			
4				□ 成素向工泉のり □ 付にな □ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない	0		
				□ に致くさる団体がある 団体日 □ □ に致くさる団体はない □ □ □ に致くさる団体はない □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
効	単	位コスト(1	~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
743				高い、または低い場合の理由			
				□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受	益者負担(	0 ~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	)		4
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		1	-4
	_	EU (4 0)	`	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	3		
	于	段(1~ 3)	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	٦.	スト削減取	织(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない			
	-1,	人「日」/収4以	組(1~ 1)	▶ 内容			
亚 st	1 5	~ 1 6	年 度 に	世 田 田 田 田	総合		)
実施	่เ	た改善	年 度 に 善 内 容	課題    内容    内容	平価	Α	В
- A 4	<del>4</del>	<del>나 ( - ) / - )</del>	<del>/</del>				
3 7512	変り)	付応(ア/	<u> /ンョノ)</u>				
現在意	認 識	してい	くる 課 題	  すくすく学級の定員があり,コアラクラブの後の受け皿がない。			
-70 11 11	40 44						
市民,関	係者	市民,関係	係者の名称				
からの	意 見	<del>立</del> 口 7	要望内容				
要 望	等	思見,	安 望 内 谷				
			対応由家				
		(1)	対応内容				
			実施期限	平成    年    月			
課題·要	望等		対応内容				
		(2)	×1,041,1				
へのす	対応		実施期限	平成 年 月			
			対応内容				
		(3)					
			実施期限	平成			
マの 供	1 #2 -	e c to z					
		えられる イデア					
IX # U	, J	1 ) )		今後の方	向性 17	ケ証価	2次証価
				拡大・乳		Λπіщ	2八計画
				現状維持現状維持現代的			
				方法改			
平成 1	7 ~	19年度	の方向性				
				縮	小		
				統合/終期	設定		
				廃止 / 6	卞 止		
2 次 評	4 価	委 員 会	コメント				

/ An =	<del>-</del> ж /	± **			100				T	÷n =	\ <u>_</u>	= +=	_	
(一般	事 業)	事 業		2120					1	部長	次	長課	長	
平成15	年度	事	業 名	難病	患者等居宅生活支	援事業								
									1					
1 事	業概	要(ドゥ)									ļ	<b></b>		
			くりの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり			所 管 課	保健福祉	:部		
総合			中	1	保健・医療・福祉	の連携と充実					障害福祉	:課		
政策			小	2	保健事業の推進					所管課長氏名				
体	系		細				1			記入者氏名				
事	業				10年5月~	<b>ナゲロ光生ご</b>	経常臨時		臨時	電話番号		2043 内級	2519	
根拠	<u>活</u> 施	令 '			県要綱、市難病患					実施主体		負担金		
委	旭	<del>-</del> 託	, ,-				<u> </u>	□ 全部委託		□ 補助金 B委託 委 託 内 容		貝担並		
-		но	,,	_	患者への特殊寝台		用具の給付	を行う。		호마(호마() 급				
事	業	Ø	概 要		ZET WOTOMET	(3 () H (1) T/H/	1377 97 11 13	(213 )						
				日常	生活用具の給付申	請書に医師の詞	参断書およ	び所得額証明	書等書類	を提出し、市が審	査し給付	決定を行い		
事	業	の	現 状	日常	生活用具決定通知	書を受け、給作	寸券で給付	用具と引き換:	えに直接	業者に支払う。				
	目的領	実現のため	かの	負担	国1/2、県1	/4、市1/4	4							
	手段及	ひ実施に	内容											
			北 # 4	, 4A.I-L	<i>l/</i> +									
		結果指標	指標名		<u>什</u> 致 ,13年度 (実績)	平成 1 / 年度	・ ( 宝績 )	平成15年度	(宝績)	平成16年度(	(日煙)	平成17年度	ま(日煙)	
		(1)	指標値		0件	0件		0件		3件	( H 15 /	T13, 1 7 T15	2 ( 口1示 /	
アウト	プット	, ,	単位コスト	_	• 11	011		011		159,20	0 円			
指	標		指標名			J.		I		,				
		結果指標			,13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成17年度	₹(目標)	
		(2)	指標 値	Ī										
			単位コスト	•										
2 事	業成	果(アウ	<u>トカム)</u>											
		対	象	在宅	の難病患者									
事業の	日的	対象 #	」バー 薬	₹ रेत ई	を 数 (a) /	- 0 0 人	受 益 数	/ (h)	0人	比 率 (b	÷ 2) %	0 %	ń	
対象・			, , , +	_ V1 ×	7 30 XX (4)									
		意	図	在宅	の難病患者が特殊	寝台等日常生活	舌用具の給	付を受けるこ	とにより	日常生活の便宜か	図れる。			
		(対象を	主語にして)											
	_	t.			***	14434								
大	き	な	目 的	在宅	難病患者の福祉の	<b>埋</b> 進								
			<b>华 煙 夕</b>	日堂	生活の不便が軽減	された人数								
		中間成果	考え方・式			C10/C/(XX								
					,13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成17年度	₹(目標)	
アウト	カム		指標 値	Ī	0人	人0		0人		3人				
指	標		指標 名	í										
			考え方・式			I = - 1	- / /- /- >	I =	· /= >	I	( D   E )			
		指 標		1	(13年度(実績)	平成14年度	(美績)	平成15年度	(美績)	平成16年度(	(目標)	平成17年度	き(目標)	
			指標値		業は,平成8年度	国が難信が登	£レして	京學子, 陪宝	老垣小牛山	 音の父問たうめて	いく車器	レレア立たト	<b>リギ</b> ナー	
古层市	の特色	るかど補	足する事項		未は,十成0千皮		RCUC,	同歌日 " 悍古"	百曲红巾儿	支の古间をうめて	いく尹未	СОСТОТ	1) /८。	
7 12 113	0210	2 % C Im	~ , 0 4 %											
3 事	業費·	活動配	分(コスト	.)				1世帯当り(円)	28	住民1人当り(円)	12	平成16.4.1 住	民基本台帳	
事	業	費	構成%	平成	,13年度(決算)	平成14年度	【(決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度(	(予算)			
	人	件 費		6	0		0		1,029		-			
	事	業費		6	0		0		49		251			
		門経費									-			
(十円)	合	賞 却 費 <b>青</b>	_		0		0		1,078		251			
	国		_	•					1,070		201			
財源	市	債 等												
(千円)		の (t												
		段 財 渡	100.09	6	0		0		1,078		251			
	職	į	+	6	0.00		0.00		0.10		-			
		・臨時等			0.00		0.00		0.00		-			
(人)	合	Ħ	100.09	6	0.00		0.00		0.10		0.00			

評	価	<u>エンン)</u> 視	点				評値	<b>ゴチェックリ</b>	リスト				1次評価	2次評価
	日か	り妥当性(2	2 ~ 2)	☑ 事業	業の主目的は明	確である			□ 事業	€の目的は一つに	こ絞ることができ	ない		
		1X = II(	Z Z)				欠,または貢献原							
				☑ 市#	が実施するよう活	法律等で義	務づけられてい	る		間でやるべき , また		がある		
妥	市隊	氡与(2~	2)	☑市目	民の基本的な生	活の維持	に必要である			団体では見直しか				
										「れにも該当しな			_	
当					民ニーズに基づ		き事業			ミニーズに基づい			4	3
	市目	ミニーズ(2	2 ~ 1)	🝑	□ニーズが高		<del></del>		☑ =-	・ズが高いとは言				
性					□ 数字で						一未			
8点	社会	会環境変(	七(1~ 1)			環境の変化	七に適応している	<u></u>	□社会	会環境の変化にあ	あわせた見直し	が必要		
					内容			1845 to 1 1						
		上性,緊急					の生命,安全等 図 他団(			□ 他団体よ	11 + 11 + 414	EIV		
有		Rガハー <sub>年</sub> 益者(1~	<u>≅(1 ~ 1)</u>		象カバー率は高 業意図と受益者					── ──────────── が不整合 , または				
	又正	<u>т</u> Н ( і	1)				握し,目標値を設					PIXAE		
効	成昇	₹の実績(2	2 ~ 1)	1 1			ほり、日候値をむ っていると言える			間によたは日保証 責値から成果があ		えかい	1	3
性					があがっていない		Z CVIOCE/CO			長にか シルズベル の	,,, , cvioch	76.601		
4点	- 成昇	<b>具</b> 向上余均	也(1~ 1)		果向上策あり		最により周知を図	る。個別に	パンフレ	ットを送付。	□ 特	きになし		
. ////					交できる団体が			O 111/331-		<u>・・・~・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		3,12,0,0		
							・・ 単位コスト				していない			
効	単位	ユコスト(1	~ 1)				□ 他団(		 E					
					または低い場合			•••••				•••••		
	巫→	益者負担((	0 1)	□ 負担	旦を求めることか	「できる事業	業である	☑ 負担	を求める	べき事業ではなり	, 1			
率	文值	百只担()	0~ 1)	<b>→</b> □	] 現在 , 適正な	負担あり	□ 負担なし,	過少	( □ 徴収	双不能・見直し不	能 🗌 徴収す	可能 )	-2	_1
-							とは出資団体へ	委託してい	る業務に	ついて			-2	_
	∓£	殳(1~ 3)	١	□正規	現職員による執	行が義務に	づけられている		□ 個人	、, 家庭 , 地域等	が担うべき部分	がある		
	J F.	χ(. ο,	<b>,</b>	☑ 民間	間(企業 , NPO等	(では対応	できない業務で	ある	□ 民間					
性				□ 嘱言	托,臨時職員等	では対応で	できない業務であ	58	□ 嘱ぎ	任,臨時職員等で	対応可能であ	გ		
3点	コス	上削減取:	組(1~ 1)		ト削減の取り組	みを行って	こいる		□特に	一行っていない				
				<b>→</b> Þ	内容									
平 成 策 施	1 5	~ 1 6	年度に	全甲旦百 牛川日	度利用者がいな	81.1		改善広報	으쑛 ( )	)周知を図る。		総合	D	В
実施	U t	と改善	善 内 容	10不及2017	支利用日月1116			内容	付により	/同川で囚る。		評価	ט	D
5 今後	<b>きの</b> す	市応(ア	クション)											
	~	37-0- ( )	,,,,	本事業は	は,平成8年度	に国が難り	<b>病対策として,</b>	高齢者・阿	障害者福	祉制度の谷間を	うめていく事	業としてご	なとげ	た。
現在記	忍 識	してい	る 課 題	患者数は	年々増加をして	: : いるが , -	それに比して制度	度の利用者	がいない	のは比較的障害	程度の軽い方が	多いためと	考えられ	<b>1</b> る。
市民,関	係者	市民,関係	系者の名称											
からの	意見	意見,	要望内容											
要 望	等		I											
		(4)	対応内容	制度利用	者がいないが	, 広報等	こより制度の周	知を図る。	,					
		(1)	<b>⇔</b> ₩-₩-79	₩.#										
課題・要	胡笙		実施期限	平成	年	月								
<b>沐</b> 思`女	王寸	(2)	対応内容											
への対	讨応	(2)	実施期限	平成	年	月								
					I ·	1 1.5								
		(3)	対応内容											
			実施期限	平成	年	月								
その他														
改善の	カ ア	イデア									A 14 a	~ <del>* * * *</del> **		
				生を	<b>1/11がエエハか</b>	ためか宝を	遺はないが,潜	ナーカクナンチル	<b>ロー ブ</b>	が日ンまわった		) 方向性	1次評価	2次評価
					』ねがホーカな 継続は必要と考		演14分1111、1月	1エロソ/み イトリ/	m^	か兄匹よれるに		充 実 維 持		
				チ未り心	エルル。i&必女に写	/Lで0。								
平成 1	7 ~ 1	9年度	の方向性									委託等		
1 72%	. '	, 1 IX	-> /J I~J IX								縮	小 <del>女 II 女</del>		
												終期設定		
												/ 休 止		
											L			•
2 次 評	価多	き 員 会	コメント											
				1										

										7					1	
( —	般事	[業]	事 業	コード	2510	010				1	部	Æ	次	長	課	長
ᄑᄓ	<del>,</del> 15	年度	車 :	業名	心自	障害者福祉事業										
۲ ۲	<b>(</b> 13	十反	<del>7</del> :	<b>未</b> 口	Ŋ	<b>焊占日佃业争未</b>										
										<u> </u>						
1	事業	<b>羊概</b>	要(ドゥ)										1		Į.	
				りの日標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり					保健福祉	-部		
		計 画		<del>,。,。</del>		障害者の社会参加		_, , , ,			所	管 詡	障害福祉			
		1 策		/ \		障害者(児)福祉		サービスの	D充宝		<b>所答</b>	里長氏名	米田と			
体	× 1.	系系		·」· 細	-	17年日日(九)周田	、	, ,,,	7/L <del>X</del>				米田と			
事		業	斯		₩ ct	<u> </u>		47 告诉吐	☑ 経常 □	] ##n±			0797-38		内線	2515
	+60						田州春华田代司	経常臨時		一四时				-2043	门級	2010
	拠					市福祉タクシー利力				_		主 体		2410		
実		施	手			直営	☑ 一部委託	t	□ 全部委託			前助金		負担金		
委			託				名称		.*n. \	凶 氏間	可安託 3	<b>長託内容</b>	ř			
		NII.			` '	量祉タクシー利用料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		•	•							
事		業	の		` '	はり・灸・あんま・				<b>尾施(補助</b>	])					
					` '	E宅重度心身障害者			, ,							
					. ,	重度障害者に1枚50					1,000円	のガソリ	ン費用の	助成を行	っている	0
事		業	の	現 状		川用者数 タクシー										
		目的質	<b></b> ぼ現のため		, ,	50歳以上の手帳所										
		手段及	ひ実施内	]容	(3)፮	尿庭での入浴が困難	は重度障害者	に委託業	者が入浴槽を护	般入し入浴	介助を	行ってい	る。			
					禾	別用実人員 2名	延べ49回利用	<u> </u>								
				指標 名	タク	シー制度利用者										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	医(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値		4 3 1人	4 4 6	人	3 8 8	人						
アウ	1 > 7	プット		単位コスト		17,251円	17,2	5 1円	24,2	89円						
指		標		指標 名	ガソ	リン助成利用者										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	と (実績)	平成15年度	〔(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値		261人	274	人	2 9 1	人						
				単位コスト		11,199円	11,9	5 9 円	11,2	19円						
2	事業	€成.5	果(アウ)	カム)			ı				1					
			- '	Í		。 三 三 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	**	~ *= *+ B <del>+</del>	1 +							
			対	家	仕乇	の重度の身体障害	者およひ里度(	り知的障害	首							
事為	ξの	目的	対象カ	バー率	対 🦠	象数 (a) 1,	149人	受 益 数	(b)	579人	t	比 率 (b	÷ a) %		5 9 %	
対≨	<b>東</b> ・	意 図			(1) 4	アクシー助成…重度	暗宝老の外出	支援に上げ	1陪実老の針4	シ 参加を伝			,			
			意	図	(2)	(浴サービス 雷度	暗宝老の健康	の増進お.	上7、家族の負‡	日軽減		0				
			(対象を主	E語にして)	(3) ا	はり・灸・マッサー	- ジ事業…高齢	障害者の	建康増進を図る	5.						
大		き	な	目 的	心身	障害者の在宅支援										
				指標 名	タク	シー・ガソリン助/	成利用率(%)	)								
			中間成果	考え方・式	利用	人数 / 重度在宅障	害者数×10(	0								
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	〔(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	ト	カム		指標値		61.4%	6 2 9	%	5 9 9	%						
指		標		指標 名	障害	者在宅率(%)			•							
						障害者数 / 障害者	数×100									
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	隻(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		95.7%	9 7	%	96.	7 %						
					重度	障害(者)児の中	には一般タク:	シーの利用	が困難なため	,移動手	段に自刎	京用自動車	■を使用し	なければ	Ĭ	
芦屋	市	の特色	色など補足	足する事項	なら	ない方が多いため	,ガソリン費用	用の助成を	行っている。							
3	事業	Ě費∙	活動配:	分(コスト	)				1世帯当り(円)	451	住民1/	(当り(円)	195	平成16.4	4.1 住民基	基本台帳
事		業	費	1	平成	13年度(決算)	平成14年度	隻(決算)	平成15年度	(決算)	平成	16年度	(予算)			
		人	件 費	22.6%		1,737		4,777		3,939			-	[		
		事	業費	76.1%		10,865		11,514		13,283			17,821	1		
内	訳	他部	門経費	1.4%		261		296		236			-			
(千	円)	減価	償却費										-			
		合	計	100.0%		12,863		16,587		17,458			17,821			
		国	・県													
財	源	市	債 等													
(千	円)	そ	の他	0.2%				53		28				1		
			段 財 源	99.8%		12,863		16,534		17,430			17,821	[		
活	動	職	員	100.0%		0.35		0.45		0.45			-	[		
配	分	嘱託	・臨時等	0.0%		0.00		0.00		0.00			-	]		
( )	ιı	습	Ħ	100.0%		0.35		0.45		0.45			0.00			

評	<u> </u>	点	評価チェックリスト	1次評価	5 2次評価
HI			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1 // (41 14	4 2 7 7 11 1144
	目的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		,	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>⊣</b> 7	6
_	市民ニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	·   •	•
性	,	,	☑ 数字で把握している 利用率 59% □ 未把握		
8点	*1 A TELE ** /	12/4 4)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変化	七(1~ 1)	内容		
	優先性,緊急	(1)	☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率	<b>室(1~ 1)</b>	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	3
XIJ	ル木の天順(	2 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
性	- 成果向上余均	₩(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	- 成未向工示》	·많(1 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし	,	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	十四3八(1	',	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	×==1×;=(	.,	L→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	_ 1	_1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>"</b>	•
	手段(1~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
		,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 特に行っていない □ トクロ 中では 中では 中では 中では 中では 中では 中では 中では 中では 中では		
			→ 内容 中2回の利用分文刊を中1回一括文刊とした。		
平 成	1 5 ~ 1 6	年度に	課題 事務の簡素化および郵送料の削減 改善 内容 タクシー券の交付を年1回一括交付とした。 総 評	合	В
実 施	した改善	善内容	内容    内ac        内ac	<b>福   A</b>	D
「 <b>企</b> 名	<b>後の対応(ア</b> /	クションハ			
J 71:	タリスリルい(ア	<i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i>	ガソリン助成者の利用状況の把握ができない。		
現在意	認識してい	る課題	•		
-70 12 1	110 114V O C V				
市民,関	原名 市民,関係	係者の名称	タクシー利用権の利用者		
要望	等意見,	要望 内谷	タクシー助成利用者からチケットの増数について強い要望をうけている。		
				なければな	らない
	(1)	対応内容	方が多い。	0.17 1 1.0.0	
		実施期限	平成 年 月		
課題·要	望等	***			
	(2)	対応内容			
へのす	対 応	実施期限	平成年月		
		対応内容			
	(3)	אניוטוונג			
		実施期限	平成 年 月		
			ガソリン助成者に対しての月額1,000円の一律助成を見直し,タクシー利用助成のみとすること	を検討。	
	きえられる				
改善(	のアイデア				
			今後の方向		1 2次評価
			重度障害者の社会参加に外出支援は必要であり事業を継続させたい。 拡大・充		
			現状維		
<del>-</del>		111		善	
平成 1	7~19年度	の方向性			
			縮	小	
			統合/終期記		1
			廃止 / 休		1
ว \⁄≂ ≐ถ	亚価系昌合	7 4 1/ 6	  はり・灸・あんま・マッサージ・指圧施術助成については、他市の状況をみながら廃止の方向で見直  す。	す必要があ	りま
4 八 計	1 叫女貝式	コ / ノ 「	<b>]</b> इं.		
			<u>l</u>		

										_			1			
( —	般事	業)	事業	コード	2510	020				_	部	長	次	長	課	長
퍼	<del>,</del> 15	年度	車:	業名	自休	<b>障害者福祉事業</b>										
T 133	<b>(</b> 1)	十反	<del>7</del> :	* 1	<b>3</b> M	<b>焊百日佃业争未</b>										
										<u> </u>						
1	事業	<b>羊概</b> 望	更(ドゥ)											· ·		
				りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり					保健福祉	部		
		十画		中		障害者の社会参加	の実現				所 管	課	障害福祉	·課		
		1 策		<u>.</u> /\	_	障害者(児)福祉		サービスの	D充宝		所管課	長氏名		口子		
体	) N	系		<u>,</u> 細	'	1700 (70) 100	N Prize Eliza	, ,,,,,	2702				米田と			
事		業	期		亚式	<u> </u> 4年4月1日~		経常臨時	☑ 経常 [	] 臨時			0797-38-		内線	2515
	拠					ューュク・ロ 綱、芦屋市福祉給1						主体		2040	PUNK	2010
実	拠	施	<del>マ : 3</del>		_	直営				:T				수비스		
委		ルセ	託				<ul><li>☑ 一部委託</li><li>名称 芦屋八一</li></ul>		□ 全部委託		補			負担金		
女			記	兀							委託委	批 内 谷				
		NII/	_	ing -	, ,	記食サービス事業(				安計 )						
事		業	の	概 要	(3)	<b>去外日常生活用具給</b>	3竹事業 (4)	任七改造	貫助成事業							
					` '	5人の身体障害者相								いる。	176件	:
事		業	の		` , -	食事の準備が困難な					•	帯 2				
		目的詞	ぼ現のため	00	` ′	章害を軽減するため							217千	円		
		手段及	ひ実施内	容	(4) ſ	ト護保険対象以外の	)障害のある人	に対応した	た既存住宅のi	改造に要す	る経費を	助成。	3件	933千	円	
					<u> </u>											
				指標 名												
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成 1 5 年原	夏(実績)	平成 1	6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値		125人	2 3 9	人	176	5人		200/			200人	
アウ	1 1 7	プット		単位コスト		5,760円	3,01	2 円	4,09	9 0 円	3	, 4 2 0	) 円	3	, 4 2 0	円
指		標		指標 名	配食	数					•			•		
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成15年月	き(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値		281食	186	食	2 6 8	3食		4801	<b>1</b>		500食	
			` '	単位コスト		1,120円	2 5 0	円	25(	) 円		250 P	9		2 5 0 円	
2	事当	<b>É成</b>	果(アウ)		l .		I							l		l l
_	,,,			,												
			対	家	内巾	の在宅身体障害者の	と家族									
事業	ξの	目的	対象カ	バー率	対象	象数 (a) 2,	353人	受 益 数	(b)	188人	比	率 (b	÷ a) %	7	. 989	6
対纟	マ・:	意 図									1		·	l.		
			意	図	(1)核	様々な悩み事心配事 ∃常生活を容易にし	■の解消軽減を 左宏生活の不	図る。	<del></del> z							
			(対象を主	主語にして)	(2)	1市土泊を合勿にし	任七主店の小	世で附用	୨ ଚ୍ଚ							
			•	·												
大		き	な	目 的	在宅	障害者の自立支援。	と福祉の増進									
				指標 名	在宅	支援サービス利用	率(%)									
			中間成果	考え方・式	利用	人数 / 在宅身体障	害者数×10(	0								
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成 1 5 年原	き(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	ト	カム		指標値		5 . 7 %	10.	3 %	7 . 9	9 %		1 0 %			1 0 %	
指		標		指標 名	身体	障害者在宅率(%	)									
			最終成果	考え方・式	在宅	身体障害者数 / 身份	体障害者数×	1 0 0								
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年原	复(実績)	平成 1	6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		9 9 %	999	%	9 9	%		99%			99%	
							·						<del></del>	<del></del>		
芦屋	市の	の特色	となど補足	足する事項	住宅	改造を除き市単独	事業									
3	事業	<b>養</b> ・	活動配:	分(コスト	)				1世帯当り(円	229	住民1人	的(円)	99	平成16.4	.1 住民基	本台帳
事		業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年原	き(決算)	平成 1	6 年度 (	(予算)			
		人	件 費	44.1%		6,825		12,295		3,911			-			
		事	業費	55.9%		14,267		21,896		4,948			5,284			
内	訳	他部	門経費	0.0%		0		0		0			-			
(千	円)	減価	償却費	0.0%		0		0		0			-			
		合	計	100.0%		21,092		34,191		8,859			5,284			
		国	· 県	14.7%				12,421		1,301						
財	源	市	債 等													
(千	円)	そ	の他					905								
			段 財 源	85.3%		21,092		20,865		7,558			5,284			
活	動	職	員	100.0%		0.85		1.40		0.40			-			
配	分	嘱託	・臨時等	0.0%		0.00		0.00		0.00			-			
( )	١ )	슾	Ħ	100.0%		0.85		1 40		0.40			0.00	1		

4 評1 評	<u>曲(チェック)</u> 価	見 点	評価チェックリスト	1次評価	1 2次評価
	目的妥当性(		<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>☑ 事業の目的は一つに絞ることができない</li><li>☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い</li><li>□ 貢献度が不明確、または高くない</li></ul>		
妥	市関与(2~	2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 他団体では見直しがされている</li><li>☑ いずれにも該当しない</li></ul>		
当性	市民ニーズ(	2~ 1)	<ul> <li>□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li> <li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない</li> <li>□ ニーズが高いとは言えない,または未把担</li> <li>□ 数字で把握している 相談人数188人</li> </ul>		7
8点	社会環境変		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容	Ag.	
	優先性,緊急		<ul><li>☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる</li><li>□ 対象カバー率は高い</li><li>☑ 他団体と同程度</li><li>□ 他団体よりカバー率が低い</li></ul>		
有	対象カバー3 受益者(1~	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(		<ul> <li>         □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入         □ 実績値から成果があがっていると言える□ 実績値から成果があがっていると言えない□ 実績値から成果があがっていると言えない□ 実績値から成果があがっていると言えない□ 実績値から成果があがっていると言えない□ 実績値から成果があがっていると言えない□ 実績値から成果があがっていると言えない□ まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	. 4	3
性 4点	- 成果向上余年	地(1~ 1)	成果があがっていない場合 □ 成果向上策あり □ 特にな	:U	
効	単位コスト(1	~ 1)	□ 比較できる団体がある 団体名       □ 比較できる団体はない         □ 他団体の数字を把握している       単位コスト       □ 把握していない         □ 他団体よりコストが低い       □ 他団体と同程度       □ 他団体よりコストが高い         高い、または低い場合の理由       □ 他団体よりコストが高い		
率	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	<u> </u>	0
性	手段(1~ 3	3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について      正規職員による執行が義務づけられている	3 	
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
平 成実 施	15~16 した改	年 度 に 善 内 容	課題 経費の削減	※合 平価 A	В
5 今往	後の対応(ア	クション)			
現在	認識してし	ヽる 課 題	(1)身体障害者相談事業 - 相談日の利用者が少ない。 (2)配食サービス事業 - 精神障害者の配食サービスが増加傾向にある。		
市民,関	係者 市民,関	係者の名称	相談員		
からの 要 望		要望内容	障害のある人が相談をしやすい環境に相談場所の変更をしたい。		
	(1)	対応内容	相談しやすくするため、市庁舎外の適当な場所を検討している。		
	, ,	実施期限	平成年月		
課題·要		対応内容	配食サービス対象者の増加に応じ予算を増やす。		
へのす	対 応	実施期限	平成    年    月		
	(3)	対応内容			
		実施期限	1777		
その供	きえられる		(3)法外日常生活用具の給付基準を明確にしていく。		
	3 らんられる カアイデア				
				向性 1次評価	2次評価
			いずれの事業も身体障害者の在宅生活の支援には欠かせないものである。 拡大・ 充事業対象者の増加に伴い,配食サービスが増加傾向にあるため,事業予算の拡大が必要。 現 状 維	持	
平成 1	7 ~ 1 9 年度	の方向性	方 法 改 民 間 委 ii	托 等	
			編		
			μ <del>κ</del> π. / γι	νЩ	
2 次 評	福委員会	コメント	現状維持。		

(一般	事	業)	事業	コード	2510	030				Ī	部	ŧ	次	長割	果	長
平成1	. <i>-</i>	干倍	車	業名	白.休	障害者保護事業				Ī						
+ 1JX 1	) 1	十反	<del>*</del>	未口	为中	<b>焊杏旬体暖<del>萝</del>未</b>										
										_						
1 事	業	概引	要(ドゥ)										*			
第3次	芦	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり				** ±0	保健福祉	:部		
総合	計	画		中	5	障害者の社会参加	の実現				所	管 詡	障害福祉	:課		
政 策				小	1	障害者(児)福祉	、保健・医療	サービスの	D充実		所管	課長氏名	米田ヒ	口子		
体		系	,	細		, ,						者氏名		口子		
<u>··</u> 事		業	期			<u> </u>		経常臨時	☑ 経常 □	臨時		舌番号			内線	2515
	Л.		令 ' 身			障害者福祉法		WELLPERME	WE113	THE T		<del>□ □ □ □</del> 包 主 体			I. 2 Way	2010
実		施	<u>`</u>			直営	□ 一部委託	Į.	□ 全部委託	F		<u>。                                    </u>		負担金		
<u>交</u> 委		שנו	 託				名称	U				委託内容		只让业		
У.			по	70		近别神经成 <u>。</u> 在設訓練等支援,居					U <b>X</b> n L	女礼的台	T .			
事	業	¥	•	±9.7 <del>7.15</del>				·エ田日の4	γΔ <i>Ι</i> -+							
尹	耒	Ę	の	概 要	, ,	捕装具の交付・修理 5455年の終せ	のよい口吊王	泊用具の約	17J							
					` ′	<b>E生医療費の給付</b>										
					` ′	章害者の生活支援の										
事	業	ŧ	の	現 状		设訓練等支援費入				包生活支援	養費ホ	-ム <b>ヘルフ</b> ゙・シ	ヨートステイ・ラ	゛゙゙゙゙゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	45人	
	E	1的第	€現のため	<b>)</b> の	, ,	身体上の障害を補う			付を行う。							
	手	=段及	ひ実施内	]容		<b>車椅子・義肢・装具</b>										
					(3)阻	章害の軽減および機	能回復を図る	ことを目的	的とした医療⊄	D給付を行	īう。	25人				
				指標 名	施設	入所人数										
			結果指標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成	,16年度	(目標)	平成17	年度(	目標)
			(1)	指標値		2 2 人	20,		2 1 ,	<del></del>		2 1 人			2 1 人	
アウト	、プ	ット	( · )	単位コスト		3 , 6 1 7 千円	4,07		3,32			3,673			6 7 3 <del>1</del>	F.E.
指		標				具交付件数	. , . ,	9 113	0,02	- 113		.,	113	<i>J</i> ,		13
10			結果指標			13年度(実績)	亚成 1 / 任度	チ(宝结)	平成15年度	・ (宝績)	亚式	,16年度	(日標)	平成 1 7	午度(	日梅)
				指標値		477件	5 8 1		6 4 4		T 13X	7001			00件	
			(2)													
^ =	علاد -	. <del>- 1</del> -	- / <del></del> -	単位コスト		16,770円	18,4	2 8 円	15,3	16円		15,31	4円	15	, 3 1 4	+ 173
4 事	耒	ルシ	果(アウ)	<b>トルム</b> )												
			対	象	介護	保険制度による同権	漾のサービス(	の提供を受	けていない身	体障害者						
		-	対象力	バー率	対	k 数 (a) 1,	414人	受 益 数	7 (b) 2	229人		比 率 (b	÷ a) %	1	6.1%	6
対 象	・意	、図														
			意	図	障害	者の身体上の障害の	の軽減およびE	日常生活に	おける障害の	軽減のたる	めの支	援である。				
			(対象を主	主語にして)												
大	ŧ	ţ	な	目 的	身体	障害者の福祉の増進	進									
				指標 名	支援	等サービスの利用率	<b>率(%)</b>									
			中間成果	考え方・式	利用	人数 / 身体障害者数	数×100									
			指 標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成	,16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
アウ	トカ	ע נ		指標値		4 . 4 %	5.2	. %	9.8	%						
指		標		指標 名	-				l		ı					
			最終成果	考え方・式	-											
						,13年度(実績)	平成14年度	ま(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
			) I I	指標値		1 = 1 = ()	17-2 - 172	( ) ( ) ( )	1 1 2 1 1 2	( ) ( ) ( )	1 7-2	,	( – 1.5. )	1 7-70	120	- 12.7
古层	ŧσ	性有	カかど猫り	マオス車項	市内	には障害者の受けん	λわ体証がかし	1ため 併	1市・仲厚の施	紅を利用	1.711	z				
一座!	כט נו	10 -	2 G C 1111 X	とうる手供	מארוו	に182年百日の文177	(1 then X to 10 to 1	, 17C 07 , 1E	שוולס אליםו נוינ	מאניים או	0 (1)	<b>0</b> ,				
າ ≢	<del>- 11.</del>	弗	シエチャー	<u>/\/                                     </u>	\				1 ###¥11 ( FE )	0.000	/÷₽ 1	1 坐 17 / 田 )	4.000	₩##	() () () ()	T★∠hE
	未			<u>分(コスト</u>		1.2年度/油質》	亚世 1 4 年度	F / 油管 \	1世帯当り(円)		<del></del>	人当り(円)	<del>+</del>	平成16.4.1	住氏至	外口版
事		業	費		_	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	平成 1 4 年度	• •	平成15年度		平加	,16年度	(			
		<u> </u>	件費			3,021		8,200		11,095			-			
	_ <u> -</u>	<u> </u>	業費			90,254		95,539		102,653			122,098			
			門経費										-			
(千円	) j	戓 価	償却費										-			
	1	<u> </u>	計	100.0%		93,275		103,739		113,748			122,098			
		Ŧ	・県	53.8%				49,010		61,244						
財	源「	र्न	債 等													
(千円	1) 1	ح	の他					7,547								
	-		段 財 源	46.2%		93,275		47,182		52,504			122,098			
活	動耳		員		_	0.40		0.90		1.75			-			
			·臨時等			0.00		0.00		0.00			-			
( <b>J</b>			#H			0.40		0.90		1 75			0.00			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1 次 河 (西	2次評価
рТ	1元 7		八八叶川	2八計画
	目的妥当性(2~2)			
	, ,	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	∃ 8	8
	市民ニーズ(2~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	•	
性	,	② 数字で把握している 利用率 16.1% □ 未把握		
8点		┃   √  事業に関わる社会環境の恋化に適応している       │ 社会環境の恋化にあわせた目古しが必要		
OM	社会環境変化(1~1)	内容		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	-	
	対象カバー率(1~ 1)	□ 事業を実施のなければ、「は民の主命、女主寺が損なわれる □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)		-	
н	又無有(1 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
効	成果の実績(2~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
	, ,	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	•	
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	,	→ □ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	+ 12 = X ( ( ) )			
		高い、または低い場合の理由 国基準のとおり		
	受益者負担(0~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	1	
率	文画有其22(0 1)	│ │	0	0
<del>*</del>		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	7 0	U
	T50/4 0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		、 □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
Omi	コスト削減取組(1~ 1			
平成	1 5 ~ 1 6 年度 1	課題   支援費制度の周知   改善   改善   広報等により積極的に制度の周知に努めた。   総合   評価	В	В
美 他	した改善内を			
5 今後	<b>多の対応(アクション)</b>			I.
, ,	<u> </u>	サービス提供事業者の確保等基盤整備を進めること。		
現在意	認識している課題	夏平成15年度より始まった支援費制度についての対象者への周知に努める。		
		予算額の確保		
市民.関	関係者 市民、関係者の名称	が利用者および障害者団体		
要 望	意見,要望内容	必要な量のサービスを受けたい。 財政事情を理由にサービスに制限がかからないようにしてもらいたいとの要望を受けている。		
<u> </u>	3			
	(1) 対応内容	『 適正で偏りのない利用決定ができるように担当者の研修に努めた。		
	実施期限	型 平成 15 年 3 月		
課題・要				
休迟 女	(2) 対応内容			
へのす		型 平成 年 月		
( 0)	^」"心 天旭朔阳	( T		
	(3) 対応内容			
	実施期限	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
	天	『「「「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」		
マの 供	き 考えられる	は代われるが同反の向外に方のも。		
	3 写 んられる の ア イ デ ア			
以普	<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	今後の方向性	+ 1\p ÷π/π	2.7年至7年
				2次計1曲
		制度改正等国の動向を見ながら制度の充実を図る。 拡大・充領		
		支援費については支給量にあわせた予算額の確保が必要。 現 状 維 対 法 は 20 世		
<del></del>	7 40 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	方法改善		
平成 1	7~19年度の方向1			ļ
				1
		統合/終期設置		1
1				
2 次 評	平価 委員 会コメン	ト現状維持。 (利用者ならびに利用量の増加に対応した予算措置が必要です。)		

										-						
( —	般引	[業]	事業	コード	2510	040					部	長	次	長	課	長
	<b>.</b>	左曲	=	ж ъ	60 AA	  空中 大				Ī						
平 5.	<b>X</b> 1 5	年度	<del>事</del>	業名	扣印	障害者福祉事業										
										1						
1	車3	<del>上 加</del> 工	要(ドゥ)													
				1) A D ##		/## <b>か</b> か   ス ト / ナ   1	のまっ切りな	<b>人づノ</b> ロ					/ロ /7キ シロ シ	÷π		
						健やかでぬくもり		会ノくリ			所 管	課	保健福祉			
		計 画		中	_	障害者の社会参加							障害福祉			
政	策力	施 策		小	1	障害者(児)福祉	、保健・医療	サービスの	の充実		所管課	長氏名	米田ヒ	口子		
体		系		細							記入者	氏名	米田 ヒ	口子		
事		業	期	間				経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話	番号	0797-38-	2043	内線	2515
	拗.		令 ' 5		知的	<b>障害者福祉法、重</b> 度	。 暗宝児老日堂	生活用且給			実施				1 3 /// 51	
実	المرا	施				直営	一部委託		□ 全部委託					負担金		
委		ル						<u> </u>	□ 土部安計					貝担並		
安			託	九			名称			□ 氏筒	委託 委託	批 囚 谷				
					(1)5	口的障害者居宅生活	支援									
事		業	の	概 要	(2)矢	口的障害者日常生活	5用具給付事業									
					(3)失	口的障害者相談事業	€ 2名が相談	窓口として	て生活その他の	)相談業務	にあたる	。相談(	牛数179	9件。		
					居宅	生活支援 利用。	人数 46人									
事		業	Ø	現 状				人 <i>( ホー /</i> ・^	<b>ハルフ</b> ゚19人,ショ	a-1777 3	5 人 <del>デ</del> イ	'サーヒ゜ スフ	人 ゲル-	·フ゜ホーん 1	۲)	
-								•	•				/ / / //	<i>y</i>	/ /	
			実現のため なが実施す		பக்	生活用具給付事業			1市土泊州县の2	וו 電	城则注語表	<del>J</del>				
		于段力	及び実施内		<b></b>	m :	給付件数 1 倍			- 4 \-·-		_,	18400	. 146.		
						障害者相談員2名:	か知的障害者の	<b>ル相談窓口</b>	1としてあらゆ?	6生活相	淡を受けて	(いる。	相談件	致 17	9件	
				指標 名	居宅	生活支援利用者数										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値			1 3,	人	41)	ι		46人				
アウ	<b>7</b>	プット	` '	単位コスト			177,5	9 1円	266,9	0 7 円	7 0	7,04	1 3 円			
指		標				員取り扱い件数	, -	13		- 13		. , -	13	l		
314		ាភ				13年度(実績)	立代 1 1 年度	1. 字结)	亚式 1 5 年度	(宇健)	₩ <del>1</del> 1	6年度	つ押し	ज <del>हो</del> 1	7年度 /	口抽~
			結果指標										(目標)		7年度(	
			(2)	指標値		129件	1 1 2		179	• •		150件			150件	
				単位コスト		1,860円	2,14	- 2 円	1,34	0円	1	, 266	5円	1	, 266	円
2	事業		果(アウ)	トカム)												
			<del>3-1</del>	会	<b>左</b> 中	の知的陪审者と学	<del>}</del>									
			対	家	仕七	の知的障害者と家族	佚									
事業	<b>≰</b> の	目的	対象力	バー率	対象	R 数 (a) 1	4 1 人	受 益 数	(b)	42人	ŁŁ.	率 (b	÷ a) %	2	9.79	%
		意図				( )			. ( )		-	- (	,	l		
,,, ,	•	,e, <u>—</u>	意	ভা	口学	生活の支援により	在空陪宝老(	カ生活活制	1節囲が拡大され	カスレ共口	- 家族(	の色切の	軽減が図	lh Z		
					μт	土冶の文法により	,江七岸百日	// <del></del> /_/U/U <del>=</del> /		100CXI	C , 3011X0	/月1三0/	/+±//%//J 🖂	11000		
			(対象でコ	主語にして)												
١.		_	4.				++=++ ~ =	<b>-</b> 1								
大		ਣੇ	な	目 的	仕乇	の知的障害者自立	文援と偏祉の	可上								
			1													
						生活支援利用率(										
			中間成果	考え方・式	利用	人数 / 在宅障害者	数 ×100									
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	を (実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア「	ナト	カム		指標値			8.5		29%							
指		標				障害者の在宅率( '					1			i		
		120				知的障害者数 / 知		x 1 0 0								
									亚成15年度	(宝结)	平成 1	6年度	(日煙)	亚式 1	7 年 度 /	日煙~
						13年度(実績)	-	• •	平成15年度		十八八	∪十戊(	、口信ノ	一成「	7年度(	口信)
				指標値		7 4 %	71.	<i>5</i> %	67.7	/ %	<u> </u>			<u> </u>		
芦属	を	の特色	色など補足	足する事項	市内	のサービス提供事	業者が少ないが	とめ他市事	業所に頼ってし	いる。						
					<u> </u>											
3	事業	美費・	活動配	分(コスト	)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1世帯当り(円)	691	住民1人当	じ(円)	299	平成16.4	1.1 住民基	本台帳
事		業	費		平成	13年度(決算)	平成14年度	₹(決算)	平成15年度	(決算)	平成 1	6 年度 (	(予算)			
		人	件 費			4,578		5,306		6,534			-			
		事	業費	1		341	1	2,851	<u> </u>	20,235			33,037			
ф	±⊓	_	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	75.0%		041	1	۲,001	+	20,200			00,001			
内ィ							1		<del>                                     </del>				-			
(+	円)		貸却費					- :		00 ===			-			
		合	計			4,919		8,157		26,769			33,037			
		国	・県	56.2%				-		15,049						
財	源	市	債 等						<u> </u>		 L_					
(千	円)	そ	の他													
			段 財 源	43.8%		4,919		8,157		11,720			33,037	1		
活	<b>重</b> 力	職	<del></del>			0.45		0.50		0.80			-			
配			·臨時等			0.00		0.00	<del>                                     </del>	0.00			_			
		病 il	+			0.00		0.50		0.00			0.00			

4 計1	<u> 曲(チェック)</u>	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(2~2)	<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>☑ 事業の目的は一つに絞ることができない</li><li>☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い</li><li>፴ 貢献度が不明確、または高くない</li></ul>		
妥	市関与(2~ 2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 他団体では見直しがされている</li><li>☑ いずれにも該当しない</li></ul>		
当	市民ニーズ(2~ 1)	<ul> <li>☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li> <li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない</li> <li>□ ニーズが高いとは言えない、または未把握</li> <li>☑ 数字で把握している</li> <li>利用率 29。7%</li> <li>□ 未把握</li> </ul>	8	8
性 8点	社会環境変化(1~ 1)	図 数子で記録している   利用単 23.7%   □ 末記録   □ 末記録   □ 本記録   □ 本記録   □ 本記録   □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要   内容   支援費制度への移行(措置から契約によるサービスへ)	<u> </u>	
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	対象カバー率(1~ 1) 受益者(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
効	成果の実績(2~ 1)	□ 事業息図と交流省は発音している □ 事業息図と交流省が不発音,または交流が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性 4点	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合   □ 成果向上策あり		
効	単位コスト(1~ 1)	☑ 比較できる団体がある       団体の数字を把握している       単位コスト       国基準       □ 把握していない         ☑ 他団体よりコストが低い       ☑ 他団体と同程度       □ 他団体よりコストが高い		
率	受益者負担(0~ 1)	高い、または低い場合の理由  ☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ ショフリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	0
性	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について  ② 正規職員による執行が義務づけられている		U
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容 適正なサービス量を決定している。		
平 成実 施	1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容	課題 支援費制度の周知を図る。	Α	В
5 今往	後の対応(アクション)		•	
現在	認識している課題	中・軽度障害者に制度の利用が出来るようになったことや,サービス支給量に上限が設けられていない 支援費制度開始後,サービスの利用者とサービスの支給量が急激に増加している。	ために,	
	関係者 市民,関係者の名称	「手をつなぐ育成会」		
からの 要 望		   必要な量のサービスを受けたい。財政事情を理由にサービスに制限がかからないようにとの要望がある。 	)	
	(1) 対応内容実施期限	適正で偏りのない利用決定ができるよう研修に努めた。         平成       15       年       3       月		
課題·要	等			
への ラ	対応 実施期限	平成年月		
	(3) 対応内容			
	実施期限	平成 年 月		
	きえられる			
改善(	の ア イ デ ア	今後の方向性	1次評価	2次評価
	,	介護保険との統合,対象者の増加等今後の動向を見ながら制度の充実を図る。 拡大・充実 支援費については支給量に応じた予算の確保が必要。 現状 維持	ŧ	
平成 1	7~19年度の方向性	方 法 改 善 民 間 委 託 等 縮 切 統合/終期設定	<b>F</b>	
		廃止 / 休止		
2 次 評	平価 委 員 会 コメント	現状維持。(利用者ならびに利用量の増加に対応した予算措置が必要です。)		

(一般	事業	)	事業	コード	2510	050					Ī	部	Ð	<b>表次</b>	長	課	長
平成1	5 年 6	F 3	E :	業名	知的	障害者保護事業					Ī						
十八八	o 牛 ß	<b>₹</b>   ₹	₽ ;	未 口	עםטא	<b>华古白体</b> 读争未											
											_						
1 事	業概	要	三(ドゥ)														
			,	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社:	会づくり						保健福祉	部		
総合		_		中		障害者の社会参加						所	管語	制 障害福祉	-課		
政策				<u>.</u> /\	_	障害者(児)福祉		サービスの	の充実			所管	課長氏名		·····································		
体	70 7	_		<u>,</u> 細	'	1700(70)100	N PRIZE ELIX	, ,,,,,	,,,,,				、者 氏 名				
事		_				<u> </u>		経常臨時		経常 🗆	臨時		話番号			内線	2515
根拠								紅市咖啡		姓币 匚	四十二		施主体		2043	PY和K	2313
								<u> </u>		人並呑≐	<u> </u>				수비스		
<u>実</u> 委	施	9	手			直営	一一部委託	t	Ш	全部委託			補助金		負担金		
安			託	先			名称	- V = 4 /5	1 + ++ /		氏間	一段	委託内容	¥ .			
						障害者の更生を援詞	護するとともに	こ必要な保	護を行	ユつ							
事	業		の	概 要													
					知的	障害者施設訓練等	支援 通所 3	3 0人、入	、所 6	7人							
事	業		の	現 状	知的	障害者措置医療の網	給付 6	57人									
	目的	実	現のため	o O	社会	事業授産施設措置	費 通所	1人									
	手段	及	び実施内	]容	福祉	施設相互利用措置質	費 通所	1人									
		T		<b> </b>	通所	施設利用人数											
		4	结果指標			13年度(実績)	平成14年度	E ( 宝结 )	亚式	15年度	(実績)	亚丘	116年度	(日標)	平成 1 7	7 年度 (	日梅)
		ñ				3 2 人	3 2		7 13%	3 2 /	, ,	7 13,	(10千皮	(口が)	T/10X 1 /	十及(	ᄓᇷᄼ
7 A I	<b>-</b>		(1)	指標値													
アウト				単位コスト	\	2,036,971	2,106,	958		1,991,	324						
指	科	票.		-		施設利用人数	I = 8 · · · = =							. = .= .	I <b></b>		
		4	結果指標			,13年度(実績)	平成14年度		平成		(実績)	平瓦	116年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
				指標値		5 3人	61,	人		67,	<u>ل</u>						
				単位コスト		4,784,578	4,630,	548		3,860,	911						
2 事	業成	果	!(アウト	カム)													
		٠,	-1	4		マッチングロサナン	加加萨宝のまこ	7									
		文	Ŋ	家	<b>多</b> 庭	での生活が困難な領	加削陣書ののる	5人。									
事業の	カ目的	匀文	寸象カ	バー率	対 🦠	泉数 (a) 2	08人	受 益 数	(b)		99人		比 率 (b	÷ a) %	4	7.59	6
対象									. ( )					,	1		
			意	図	障害	のある人が施設のマ	利用により自て	カレた生活	七計	会参加の	ために必	要な訓	練や援助る	を受ける.			
		1		ー 注語にして)			137.3.23.2		. –			Δ G-μ/-		-2.,, 00			
		_	(X)3(C)														
大	*		な	目 的	如你	障害者の自立支援。											
^	C		<i>'</i> &	<u>п</u>	VHUJ	存古日のロエ又1及。	,										
				15 1E 6	+/±л	十短到四本 ( 0/ )											
						支援利用率(%)	** 100										
						者数/知的障害者数		- / <del></del> /= >	<b>—</b> >		· · · · · · ·		·	( D   T )	I —		
		1 -				,13年度(実績)			半成		(実績)	半点	116年度		平成 1 7	•	日標)
アウ	トカ <i>I</i>	۷_		指標値		41.6%	43.	6 %		47.	5 %		4 8 %	Ó		4 8 %	
指	村	票		指標 名	入所	施設利用率(%)											
		Ē	<b>晨終成果</b>			者数 / 知的障害者数											
		ŧ	旨 標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成	15年度	(実績)	平成	116年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
				指標値		25.9%	28.	6 %		32.	2 %		32.2	2 %	3	2.29	6
芦屋市	の特	色	など補足	足する事項	本市	には知的障害者の	受け入れ施設だ	が1箇所ある	るのみ	で,施設	利用の希望	望者は	遠方施設を	を利用して	いる。		
3 事	業費	٠.;	舌動配:	分(コスト	)				1 世帯	当り(円)	6.979	住民1	人当り(円)	3.017	平成16.4.	.1 住民基	本台帳
<u>。</u> 事	<del>/////</del> 業		費	1		,13年度(決算)	平成14年度	(決算)	<del></del>		(決算)	<u> </u>	116年度	<del></del>			
-	人	-	件費			4,659	1	8,200	1 7-20		8,473		V 1/2	-			
	事		業 費			.,,000		285,871			261,947			286,198			
т :			門経費					0			0			200,100			
(十円		іЩ ,	償却費	0.0%		4.050		0			0 400			-	-		
	合		計	1		4,659		294,071			270,420			286,198			
			· 県				<u> </u>	129,194	1		130,905	1					
	原市		債 等		<u> </u>		<u> </u>										
(千円			の他												]		
		般	財源	51.6%		4,659		164,877			139,515			286,198			
活	動職		員	100.0%		0.60		0.90			1.25			-			
	分嘱言	٤٠	臨時等	0.0%		0.00		0.00			0.00			-	]		
( <b>,</b>			<b>#</b>			0.60		0.90			1 25			0.00	1		

評	<u>画 (フェクノ)</u> 価 視 点	評価チェックリスト	1 / / □ / 西	2次評価
計	1		「次評1画	2次評1回
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>∃</b> 7	8
	市民ニーズ(2~ 1)	□□□□ガガ京□□□□□ガガ京□□□□□ガガ京□□□□□ガガ京□□□□□□□□	<i>'</i>	O
.keL	1320- 7(2 1)			
性		□ 数字で把握している 利用率 47.5% □ 未把握 □ 未把握 □ ホール	_	
8点	社会環境変化(1~1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		内容 支援費制度への移行(措置から契約によるサービスへ)		
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
**	- TRACIE (2007)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		4
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性		成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
4			+	
4.1	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 国基準のとおり □ 把握していない		
効	, ,	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
	平分400 1	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	2	4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>−</b> 2	1
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
Art		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	4	
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	,	→ 内容 適正な認定を行っている。		
√7 ⊑t	1 [ 2 1 6 年 度 1			_
実施	15~16年度にした改善内容	改善 課題 内容 内容	∣ A	Α
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	·			
5 今往	後の対応(アクション)			
現在意	認識している課題	   芦屋市には障害者施設がないため,施設利用者は遠方の施設を利用。		
市民.関	関係者 市民,関係者の名称	対象者の保護者		
西胡	, <sup> </sup>	親亡き後等施設利用が必要となったときに速やかに利用したい。		
安 笙	守			
	対応内容			
	(1)			
	実施期限	平成 年 月		
課題·要	望等			
	「・」 対応内容			
へのす		平成年月		
	7 (35,031 K			
	対応内容			
	(3)	2000		
	(3) 対応内容 実施期限	2000		
	実施期限	2000		
	(3) 実施期限	2000		
	実施期限	平成     年     月		
	(3) 実施期限	2000	生 1次評価	2次評価
	(3) 実施期限	平成     年     月		2次評価
	(3) 実施期限	平成 年 月	実	2次評価
	(3) 実施期限	平成     年     月       今後の方向で対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。     拡大・充電現状維護	诗	2次評価
改善(	(3) 実施期限 也考えられる のアイデア	平成     年     月       対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。     な 大・充・現 状 維 流 方 法 改 売	美 诗	2次評価
改善(	(3) 実施期限	平成     年     月       対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。     拡大・充       現状維度     方法改善       民間委託	実 寺 善 等	2次評価
改善(	(3) 実施期限 也考えられる のアイデア	平成     年     月       対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。     拡大・充       現状維持方法改善民間委託。       縮	<b>美</b> 寺 <b>等</b> 小	2次評価
改善(	(3) 実施期限 也考えられる のアイデア	平成 年 月 今後の方向で対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。 拡大・充 現 状 維 方 法 改 書 民間 委 託 縮 統合/終期設	美 寺 等 小 定	2次評価
改善(	(3) 実施期限 也考えられる のアイデア	平成     年     月       対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。     拡大・充       現状維持方法改善民間委託。       縮	美 寺 等 小 定	2次評価
平成 1	(3) 実施期限 也考えられる のアイデア 7~19年度の方向性	平成     年     月       対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。     拡大・充・現 状 維 : 方 法 改 : 民間委託・縮	美 寺 等 小 定	2次評価
平成 1	(3) 実施期限 也考えられる のアイデア 7~19年度の方向性	平成 年 月 今後の方向で対象者,利用者が増加傾向にあるため事業予算の拡大が必要。 拡大・充 現 状 維 方 法 改 書 民間 委 託 縮 統合/終期設	美 寺 等 小 定	2次評価

										-					
( — #	設事	業)	事 業	コード	2510	070					部 長	次	長	課	長
ਜ਼ +	1 [	٦ ج	<b>=</b> :	** &	‡	ナ短かるの土が東	76			Ī					
平成	15	干歧	争 :	業 名	户厔	市福祉金の支給事	7分								
										1					
4 =	<del>=</del> ਘ	K 101 =	FF / IV . \												
			要(ドゥ)								1				-
第3次	欠芦	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり			所 管 課	保健福祉	:部		
総旨	言言	十画		中	5	障害者の社会参加	の実現					障害福祉	:課		
政分	钜 旅	16 策		<u>/</u> ]\	1	障害者(児)福祉	、保健・医療	サービスの	D充実		所管課長氏名	米田 ヒ	口子		
体		系		細							記入者氏名	川西正	勝		
事		業			TV ct:	<u> </u>		経常臨時	☑ 経常 □	11年日土	電話番号			内線	2519
	1 km							紅吊師时		四时			2043	门級	2019
	拠					市福祉金条例					実施 主体				
実		施	手			直営	□ 一部委託	ŧ	□ 全部委託	5	□ 補助金		負担金		
委			託	先		外郭団体委託	名称			□ 民間	委託 委託 内容				
					障害	者等に福祉金を支	給する。								
事	È	業	Ø	概 要											
				1.70											
					7字中.	± 07 //7 '9	2101-3-1 R <del>*</del>	· 마라하네	<b>ム ロフ ハフ</b>	기하네스	*************************************	۸ <del>+</del> ۶			
_		ш				者,母子・父子・遺	-		-	-					
事		業	の			区分により支給額				<居住	削限・所得制限あ	リ>			
		目的詞	<b></b> ぼ現のため	の	平成	16年度は30,	500円~15	5,000	円						
	=	手段及	ひ実施内	容											
				指 堙 夕	福祉	金受給者数									
							亚成 1 1 年度	F(宝繕)	亚成 1 5 年度	(宝绩)	亚战 1 6 年度 4	日堙)	亚武士	7年度/	日畑、
			結果指標			13年度(実績)			平成15年度		平成16年度(		十八八	7年度(	口信)
		•	` '	指標値		2,726人	2,87		3,04		3,273			0人	
アウ	トフ	゚゚゚ゕト		単位コスト	4	46,515円	46,5	10円	46,43	3 1 円	23,07	4 円		-	
指		標		指標 名											
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	[目標]	平成 1	7年度(	目標)
				指標値				- ( )		( ,		, , , , ,			,
	<u>— лі</u>	<u> </u>		単位コスト											
_	手手	きり込ま	果(アウ)	`カム)											
			対	兔	陪宝	者、母子世帯、父·	字世帯 清児								
			<b>V</b> 3	31	译白		」正市、庭儿								
事業	の	目的	対象力	バー率	対象	R 数 (a) 3,	487人	受 益 数	(b) 3,	036人	比 率 (b	÷ a) %		8 7 %	
対象	. 7	意 図				· •			•		•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
<i>y</i>		J	意	<b>₩</b>	温か	金給付を受けるこ	とによって経済	き的に 数と	カス						
					ІЩІШ			H I J I C 17X 12	/100°						
			(対象でコ	E語にして)											
١.															
大	7	ŧ	な	目 的	社会	的弱者に対する経	済的支援								
				指標 名	福祉	金受給率(%)									
			中間成果	考え方・式	福祉	金受給者数 / 申請	者数 × 1 0 (	0							
			指標			13年度(実績)		( 実績 )	平成15年度	( 実績 )	平成16年度(	(月標)	平成 1	7年度(	月標)
アウ	L .				1 7-2	87.6%	87.		87.2		87%	, H 13.7	1 7-20	- 12	H 130 /
	Γ,			指標値		37.070	0 / .	1 /0	L 0/.2	_ /0	0 / 90				
指		標		指標名											
				考え方・式			I — 1,		l <b>–</b> 10						
			指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	〔(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	[目標]	平成 1	7年度(	目標)
				指標値			1								
					6	5 歳以上の中軽度	障害者数 3 1 !	5人、65	歳以上障害者	5 9 7人					
芦屋	市の	り特色	色など補品	とする事項											
			- 110 %	• "-,											
γ <del>-</del>	# <del>#</del>	2.	・エモトボフ	/\/¬¬'	\				1 ## W// C T :	0 = ::	GRALWAYES	1.001	₩ + 10	1 /+ II +	ナナムギ
	尹弟			<u>分(コスト</u>	)		I		1世帯当り(円)		住民1人当り(円)	1,621	平放16.4	.1 住民基	本台帳
事		業	費	構成%	半成	13年度(決算)	平成14年度	• •	平成15年度		平成16年度(	<b>予算)</b>			
		人	件費	2.6%		1,558		3,556		3,716		-			
		事	業費	97.4%		127,029	1	133,979		141,544		75,912			
内	訳	他部	門 経 費	0.0%		10		10		10		-			
			償却費	0.0%		0	1	0		0					
(		合				128,597		137,545				75,912			
			計	100.0%		120,097		101,040		145,270		13,312			
	-	国	・ 県												
財	源		債 等												
(千月	円)	そ	の他				1								
			段 財 源	100.0%		128,597		137,545		145,270		75,912			
活	動		<del></del>	100.0%		0.25		0.35		0.40		-			
			·臨時等	0.0%		0.00	1	0.00		0.00					
配		嘱 託 <del>全</del>	· 蹄时寺			0.00		0.00		0.00		0.00			

4 証価(チェック)

4 計1	<u>叫(テェック)</u> 価 視	見 点	評価チェックリスト		1次部/高	2次評価
āŤ	1Щ 13	7. H	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができ	<i>†</i> 21.1	八計	2次計1曲
	目的妥当性的	(2 ~ 2)	□ 事業の生自のは明確である □ 事業の目的は ラに紋るととがてき □ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	/ <b>J</b> V I		
			□ 事業成業が上位他界に不可欠,または負極度が同い □ 負極度が不明確、または同くない □ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能で	± z		
177	市関与(2~	2)		ග ව		
妥	川渕一(2~	۷)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
214			□ いずれにも該当しない	L+\1\	2	4
当	+	·0 4\	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では		2	ı
141	市民ニーズ(	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,またはま			
性			□ 数字で把握している 受給率 87% □ 未打 □ 未			
8点	社会環境変化	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直した 内容	ア 必 安		
	優先性,緊急	<b>当⊬/</b> /1\				
	対象カバー図		□ 事業を実施しなければ、中氏の主命、女主寺が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低	1.1		
有	受益者(1 ~		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に降			
	,	<u> </u>	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	<u> </u>	4	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言	えない	4	4
性			成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特	になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない			
	** (** 1 (**	43	▽ 仲団休の数字を押握している 単位コスト □ 押握していない			
効	単位コスト(1	~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(	(0 - 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	文型有具担	(0~ 1)		「能 )	1	0
-4			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		ı	U
	手段(1~ 3	8)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分:	がある		
	7+X(1 C	<i>)</i>	☑ 民間(企業 , NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業 , NPO等)で対応可能であ	<b>る</b>		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	<b>់</b>		
3点	コスト削減取	7組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		, ,	→ 内容 平成16年度より半額支給。次年度より支給をしない。	_		
平成	15~16	年度に	理題 制度の見点 と 改善 1.6 年度主処額を光額とした	総合	۸	
実施	した改	善内容	課題 制度の見直し 改善 内容 16年度支給額を半額とした。	評価	Α	D
[	<u>●</u> 後の対応(ア	カミュコンハ				
J 718	女 リノスリルい ( ブ	<u> </u>				
現在意	忍識してし	1る課題	 生活費の一部として期待をしている方がいる。			
-70 11 11	HAW 0 C V					
市民,関	係者 市民,関	係者の名称	当事者団体			
からの	辛日		見直しについては団体等から強い反対があった。今後,早期の復活に期待を寄せている。			
要望	等思見,	安 望 内 谷	見且しにプいては団体寺から強い反対がめった。今後,早期の復活に期待を奇せている。 			
	(1)	対応内容				
	(1)	実施期限	平成			
課題・要			TM   +    /3 			
HAN AREA 32	(2)	対応内容				
へのタ		実施期限	平成年			
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成    年    月			
その他	考えられる	5				
改善の	カアイデア	7				
				方向性	1次評価	2次評価
				・ 充 実		
				維持		
- "				改善		
平成 1	7 ~ 1 9 年 度	の方向性		委託等		
			編 (本会)	小		
				終期設定		
				/ 休止		
2 1/2 ≢17	. 価 禾 昌 스	7 4 1/ 6	  無年金者への支援については、国・県への要望を続けることが必要です。			
14 /A IT	叫 女 只 云	コハノ「	ホールロ、ツメ及にしいては、国・ホーツ女主で削けることが必女にす。			

										_	T				
( $-$	般事	業)	事業	コード	2510	080					部長	次	長	課	長
₩ -	<u></u> 1 г	上田	<b>=</b> :	* 47	壬中	空中 老 性 叫	の土仏事物								
平力	<b>K</b> 1 5	年度	<del>事</del> :	業名	里皮	障害者特別給付金	の文紀事務								
4	ᆂᆚ	F 101 =	# / l» . \									ļ			
			要(ドゥ)												
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり			   所 管 課	保健福祉	:部		
総	合言	十画		中	5	障害者の社会参加	の実現					障害福祉	:課		
政:	策力	も 策	•	小	1	障害者(児)福祉	、保健・医療	サービスの	D充実		所管課長氏名	米田 ヒ	口子		
体		系	-	細							記入者氏名	川西正	勝		
事		業	期		TT ct:	<u> </u> 6年4月1日~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号			内線	2519
	1hn												2043	门級	2019
	拠		令 ' 星			綱、市重度障害者	特別紹竹金文》 ——	<b>治安</b> 綱			実 施 主 体				
実		施	手			直営	□□□□部委託	ŧ	□ 全部委請		□ 補助金		負担金		
委			託	先		外郭団体委託	名称			□ 民間	養託 委託 内容	:			
					国民:	年金制度の改正が	行われた昭和	5 7 年 4 月	1日前に20	歳に達し	ていた外国人なと	、現行制	度で障害	<b>『基礎年3</b>	金等を
事		業	Ø	概 要	支給:	できない重度障害	者の負担を軽減	咸するため	給付金を支給						
		-1-					><;								
					四亿	の年合制度で除す	甘琳左会学士	立	がっきかいま	中学	L 計 L 松什会士	- 4A <del>- 1</del> - 7 -	LI- L-	<i></i>	
_		ш	•	TD .15		の年金制度で障害		文リること	かいさない里	皮    舌石	に刈し結刊金を文	と	CILE:	) ( \	
事		業 				障害者の負担を軽減									
		目的第	実現のため	のの	特	別給付金額 平原	成15年度 月	ヲ額56,	000円	年額67	2 , 0 0 0 円				
		手段及	ひ実施内	容		平	成16年度 月	月額63,	500円	年額76	2 , 0 0 0 円				
				指標 名	対象:	 者数									
			結果指標			13年度(実績)	平成 1 / 年度	ま(宝績)	平成15年度	ま(宝繕)	平成16年度	(日煙)	平成 1	7年度(	日煙)
						1人	1人		1人		1人	、ロガノ	1713%	,一皮(	ᆸᇾᄼ
			(1)	指標値					-			0 TH			
	ナラ	プット		単位コスト		45,000円	45,0	00円	56,0	00円	61,50	0円			
指		標		指標 名											
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	を (実績)	平成15年度	夏(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値											
				単位コスト											
າ	車3	보다 E	果(アウ)								<u> </u>				
	# 3	ミルスフ	木(グラ)	[] [] []											
			対	象	国民:	年金制度の改正が	行われた昭和	5 7 年 4 月	1日前に20	歳に達し	ていた外国人なと	2			
											1		1		
				バー 率	対象	R 数 (a)	1人	受 益 数	( (b)	1人	比 率 (b	÷ a) %		100%	
対纟	象・:	意 図													
			意	図	国民:	年金制度の改正が	行われた昭和	5 7 年 4 月	1日前に20	歳に達し	ていた外国人なと	ごの経済的	負担の軸	圣減。	
			(対象を主	主語にして)											
			•	,											
大		<b>*</b>	な	日 的	经溶	的支援									
		_	'δ	н нл	ルエル円	1)X)X									
				11: 1= 7:	壬中	## 보니 # # # # # # # # # # # # # # # # #	+4A+++ ( 0/ )								
						障害者特別給付金									
						人数 / 対象者数 ×			1		•		ı		
				<b></b>		13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	甚(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	ト	カム		指標値		1 0 0 %	1 0 0	) %	100	) %					
指		標		指標 名											
				考え方・式											
					平式	13年度(実績)	平成14年度	(宝績)	平成15年度	ま(宝績)	平成16年度	(日煙)	平成 1	7年度(	日煙)
					1 13%		1 1/2 1 7 7 15		11% 1 3 718	こ、大根ノ	17%10千段	( H 15 /	1 13%	· FIX (	日ホノ
				指標値							1		<u> </u>		
<u></u> -			- 4	<del>-</del>											
芦屋	₫市(	の特色	色など補足	足する事項	県補	助制度 阪神間	司一歩調により	〕支給額を	決定している	0					
3	事業	養 ・	活動配	分(コスト	)		·	-	1世帯当り(円)	55	住民1人当り(円)	24	平成16.4	1.1 住民基	本台帳
事		業	費	1	平成	13年度(決算)	平成14年度	₹(決算)	平成15年度	₹(決算)	平成16年度	(予算)			
		人	件費		, ,-,0	492	, , . , . , . , . , . , . , .	959		1,478		-			
		事	業費			540		540		672		738			
		_										130			
内			門経費	0.0%		0		0		0		-			
(千			貸却費	0.0%		0		0		0		-			
		合	計	100.0%		1,032		1,499		2,150		738			
		国	· 県	11.2%		240		240		240		240			
財	源	市	債 等												
(千			の他								1				
( 1	I J )		<u>ジ 間</u>			792		1,259		1,910		498			
`~	#1							•		•		490			
活	動		員	100.0%		0.05		0.10		0.10		-			
配			·臨時等			0.00		0.00		0.00		-			
( )	( )	습	計	100.0%		0.05		0.10		0.10		0.00	1		

評	<u>叫(ナエック)</u> 価視	点	評価チェックリスト	1	か 部 (番	2次評価
āŤ	1脚 1兒	Ж	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない □ 事業の目的は一つに絞ることができない □ 事業の目的は一つに絞ることができない		八計111	2次計111
	目的妥当性(2~	2)	□ 事業の生自的は時曜とのる □ 事業の目的は ラに黙るととがてきない □ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	, 1		
			□ 事業成業が工位心界に不可欠,または負敵反が高い □ 負敵反が不可能、または高いない □ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である	z		
537	市関与(2~ 2)			5		
妥			│ ☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない			
714				1.	5	5
当	<b>キロー ブ</b> (2	4)			O	<b>O</b>
44	市民ニーズ(2~	1)				
性			☑ 数字で把握している 対象者1名 □ 未把握 □ 未把握 □ 未把握 □ まだに思わるさんではなかける □ まんぱん			
8点	社会環境変化(1~	~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必 内容	)安		
	優先性,緊急性(1	1)	○			
	対象カバー率(1~		□ 事業を実施しなければ、中氏の主命、女主寺が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受益者(1~ 1)	''	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	2		
	, ,		□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	_		
効	成果の実績(2~	1)	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	261	4	4
性			成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余地(1-	~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にた	なし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 □ 比較できる団体はない			
	W (4 1 / /	4)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1~	1)	- □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(0~	1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	文益有其担(0~	1)		)	_1	-2
-4			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		-	-2
	手段(1~ 3)		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	<b>ある</b>		
	7+X(1 3)		☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取組(1	~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	- 7 ( 133# X-1X#EE( .	.,	→ 内容			
平成	15~16年	度に	改善	総合		Ь
実施	1 5 ~ 1 6 年 した改善	内容		評価	В	В
- A 6	* a + t = ( = 1 = 1	- > . \				
5 7512						
	<u> 後の対応(アクシ</u>	(コノ)				
田 左 🗈			関係団体 トロ陪実程度の範囲が十た並められている			
現在意			関係団体より障害程度の範囲拡大を求められている。			
	忍識している	課題				
市民,関	窓識 している	課 題の名称	関係団体			
市民,関 からの	忍識している 係者市民,関係者 意見音員 要望	課 題の名称		まで拡大		
市民,関	忍識している 情報 意見 意見,要望	課題の名称 2内容	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害	まで拡大		
市民,関 からの	忍識している 原者市民,関係者 意見 等 意見,要望	課題の名称 図内容	関係団体			ີ່ສຸງ
市民,関 からの	忍識している 原書市民,関係者 意見 等 意見,要望 対ル	課題の名称 習内容 応内容	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に			ີ່ສາງ
市民,関 からの	忍識している 信者市民,関係者意見,要望 (1) 実施	課題の名称 内容応期限	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に			゚゚゚ぉ゚゚゚゚゚
市民,関からの要望	忍識している 信者市民,関係者意見,要望 (1) 実施	課題の名称 習内容 応内容	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に			<b>i</b> おり
市民,関からの要望	<ul> <li>認識している</li> <li>情報</li> <li>意見,要望</li> <li>(1)</li> <li>実施</li> <li>(2)</li> </ul>	課題の名称 内容応期限	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に 平成 16 年 5 月			゚゙おり
市民、関からの要の課題・要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	<ul> <li>認識している</li> <li>情報</li> <li>意見,要望</li> <li>(1)</li> <li>実施</li> <li>対が</li> <li>実施</li> <li>対が</li> <li>実施</li> </ul>	課名の内内期内を施応が期内を存る。	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月			ិតប
市民、関からの要の課題・要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	<ul> <li>認識している</li> <li>情報</li> <li>意見,要望</li> <li>(1)</li> <li>実施</li> <li>対が</li> <li>実施</li> <li>対が</li> <li>実施</li> </ul>	課 名 内 内 期 応 施 応 内 容 容 容 容 容 容 容 容 な な か れ ぬ か れ ぬ か な か か れ か か か か か か か か か か か か か か か	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月			<b>まり</b>
市民、関からの要の課題・要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	② 識 している 別係者 意見, 要望 (1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 (3) 対が	課名の内内期内を施応が期内を存る。	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月 平成 年 月			<b>まり</b>
市民、関からの要の課題・要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、要のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	② 識 している 別係者 意見, 要望 (1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 (3) 対が	課名内内期内期内 のかい おおおお いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月 平成 年 月			ໍສາງ
市か要課のである。	図識している 別係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 (3) 対が 実施	課名内内期内期内 のかい おおおお いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月 平成 年 月			゚゙おり
市か要課のである。	② 識 している (所名 市民,関係者 意見 , 要望 対 次字) 対 応 (3) 対 実施 対 実施 対 に (3) 対 に (3)	課名内内期内期内 のかい おおおお いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月 平成 年 月	ついては	現行と	
市か要課のである。	図識している 別係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 (3) 対が 実施	課名内内期内期内期の解答。	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月 平成 年 月	ついては	現行と	
市か要課のである。	図識している 別係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 (3) 対が 実施	課名内内期内期内期の解答。	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月  平成 年 月  平成 年 月  本事業は,阪神8市1町で主管連絡者会をもっており,ほぼ足並みを揃えた対応となっている。 拡大・	ついては <u> う 向性</u> 1	現行と	
市か要課のである。	図識している 別係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 (3) 対が 実施	課名内内期内期内期の解答。	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	ついては	現行と	
市か要課へそ改集の望まり、関のの書である。	② 識 している (1) 対が 実施 (2) 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 の アイデア	まる 内内期内期内期別 容容 限容限容限 容限 という おりまた いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	ついては 有力 を 対	現行と	
市か要課へそ改集の望まり、関のの書である。	図識している 別係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が 実施 対応 (2) 対が 実施 (3) 対が 実施	まる 内内期内期内期別 容容 限容限容限 容限 という おりまた いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	ついては	現行と	
市か要課へそ改集の望まり、関のの書である。	② 識 している (1) 対が 実施 (2) 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 の アイデア	まる 内内期内期内期別 容容 限容限容限 容限 という おりまた いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に 平成 16 年 5 月 平成 年 月 平成 年 月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ついては	現行と	
市か要課へそ改集の望まり、関のの書である。	② 識 している (1) 対が 実施 (2) 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 の アイデア	まる 内内期内期内期別 容容 限容限容限 容限 という おりまた いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に 平成 16 年 5 月 平成 年 月 平成 年 月 平成 年 月 正成 年 日 日	ついては	現行と	
市か要課へそ改集の望まり、関のの書である。	② 識 している (1) 対が 実施 (2) 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 (3) 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 対が 実施 の アイデア	まる 内内期内期内期別 容容 限容限容限 容限 という おりまた いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に 平成 16 年 5 月 平成 年 月 平成 年 月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ついては	現行と	
市か要課へそ改平限ら題のの善成関の望要対他の	図識 している R	まる内内期内期内 期間 称容容限容限 容限 容限	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害。 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大にで 平成 16 年 5 月  平成 年 日  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 日  平成 年 月  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 年 日  平成 日  平成 日  平成 日  平成 日  平成 日  平成 日  平成 日  平成 日  本事業は、阪神8市1町で主管連絡者会をもっており、ほぼ足並みを揃えた対応となっている。  本事業は、阪神8市1町で主管連絡者会をもっており、ほぼ足並みを揃えた対応となっている。  本事業は、阪神8市1町で主管連絡者会をもっており、ほぼ足並みを揃えた対応となっている。  日 日  ・	ついては	現行と	
市か要課へそ改平限ら題のの善成関の望要対他の	図識 している R	まる内内期内期内 期間 称容容限容限 容限 容限	関係団体 (1)県・市の共同事業として障害基礎年金に見合う金額の支給 (2)給付対象者を中度障害 団体に対して回答 (1)市の支給額については平成16年度より障害基礎年金の1/2に増額(2)障害程度の拡大に 平成 16 年 5 月 平成 年 月 平成 年 月 平成 年 月 正成 年 日 日	ついては	現行と	

										<del>-</del>						
( $-$	般事	業)	事業	コード	2510	090				1	部	Ð	次	長	課	長
₩ -	<u> </u>	上田	<b>=</b>	** 47	7辛辛	旧本代事業				Ī						
平力	<b>(</b>   5	年度	<del>事</del> :	業名	性者	児育成事業										
										_						
1	車3	5 相互 3	要(ドゥ)										-			
				りの目標		母サかでサノナロ	のもったが	<b>ムボノ</b> ロ					/ワ/2争が言かし	. <del>†</del> 17		
				_		健やかでぬくもり		エフトリ			所	管 誤	保健福祉			
		+ 画		中	_	障害者の社会参加							障害福祉			
政	策力	も 策		小	1	障害者(児)福祉	、保健・医療	サービスの	D充実			課長氏名		口子		
体		系	;	細							記入	、者氏名	米田 ヒ	口子		
事		業	期	間		•		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電	話番号	0797-38-	2043	内線	2515
根	拠	法	令 ' 5	要 綱 等	児童神	福祉法・(県・市)	<b>緊急一時保護者</b>	制度実施要	綱・補助金交付	要綱ほか	実	施 主 体	市			
実	,,,	施	<u>`</u>			直営	☑ 一部委託		□ 全部委託			<u>//2                                   </u>		負担金		
委		IJВ	託	先				L .						只让亚		
女			пъ	76			名称				到安託	委託内容	ř			
					心身	障害児の在宅支援	及び父流活動									
事	1	業	の	概 要												
					居宅	生活支援	5 4人									
事		業	の	現 状	一時	保護事業	10人									
			ェー 実現のため		_	具交付・修理事業										
			と述めため とび実施内			生活用具給付事業	0人									
		丁F又か	x U 天心へ	эĦ		主活用具結り事業 障害児年末の集い		0 1								
				11: ITT (			沙川伯利 1 5	υ <b>Λ</b>								
				<b></b>		生活支援利用人数	<del>-</del>	_ , , _	I — _n · · · · ·				. — ·—	I — "		
			結果指標		平成	13年度(実績)	平成14年度	き(実績)	平成15年度		平成	116年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値					5 4 ,	人						
アウ	1 1 7	プット		単位コスト					500,9	84						
指		標		指標 名	補装	具交付(修理)人	数							ı		
			結果指標	-		13年度(実績)		ま(実績)	平成15年度	(実績)	平片	116年度	(月標)	平成 1	7年度(	月標)
				指標値	1 7-20	3 5人	3 3		3 8		1	V · - 1/2	( – 1.5. )	1 7-70		- 1 /
			(2)	単位コスト		121,090	148,4		109,7							
	= 1	<u>د -۲</u> د	B / ラム l			121,090	140,4	192	109,7	41						
	争身	€ ルスラ	果(アウ)	トカム)												
			対	象	在宅	の心身障害児										
事為	₿ወ	目的	対象力	バー 率	対象	R 数 (a) 1	15人	受 益 数	(b)	5 4人		比 率 (b	÷ a) %	4	6.99	6
対纟	マラス マラス マラス マース マース マース マース アース アース アース アース アース アース アース アース アース ア	意 図			7** c		******** ***	r <del></del>	et ///		- ~ ~ 1	D <b>4</b> +2\4	_			
			意	図	[障害 (足鑵	児家庭にヘルパー 者が一時的に児童の	寺を派遣し,障 の保護ができた	舌児の行動	即配囲の扱入と	こその豕的	その貝	旦を軽減す	<b>ం</b> .			
			(対象を主	主語にして)	不改	有力, 时间 正元里(	/	411CG1C	心はなる利用す	ຈຸ						
			(	,												
大		ਣੇ	な	日 的	在字	障害児の福祉の増殖	隹									
		_	·6	н нл	11.0	PF E 70 07 IB IE 07/E/										
				# # 4	尼文	ナンスナック リック	印本(八)									
						生活支援サービス		白座中10米	1.0.0							
						支援サービス利用							. = .= .	I — n .		
						13年度(実績)	平成14年度	き(実績)			半月	116年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	ト	カム		指標値					46.	9 %						
指		標		指標 名												
			最終成果	考え方・式												
					平成	13年度(実績)	平成14年度	夏(実績)	平成15年度	〔(実績)	平点	116年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値				( ) 4.00( )		( . 4.50)			,		(	
				1다 기자 1년												
* F	= <del>+</del> /	D #± ←	ろ かい ジラギ ロ	ᄀᅔᇰᆂᄧ												
尸店	<u>∗</u> m (	リ特日	らみて佣え	足する事項												
			1271						1							
	事美	€費・	活動配:	<u>分(コスト</u>	)				1世帯当り(円)	916	住民 1	人当り(円)	396	平成16.4	1.1 住民基	本台帳
事		業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度	₹(決算)	平成15年度	(決算)	平成	116年度	(予算)			
		人	件 費	16.6%		2,507		1,937		5,889			-			
		事	業費	83.4%		1,049		5,835		29,613			34,119			
内	≣尺		<u> </u>	0.0%		0		0		0						
			貸却費	0.0%		0		0		0						
( 1		合											34,119			
			計	1		3,556		7,772		35,502			34,118			
		国	· 県							14,616						
	源		債 等								ļ					
(千	円)		の他													
		_ #	段 財 源	58.8%		3,556		7,772		20,886			34,119			
活	動	職	員	100.0%		0.30		0.20		0.90			-			
配			·臨時等			0.00		0.00		0.00			-	1		
( )		<u> </u>	#H			0.30		0.20		0.90			0.00	1		

4 計1	<u>叫(ナェック)</u> 価 祷		評価チェックリスト	1 \/2 ≐亚/西	ついた 幸 (本
āŤ	1Щ 15	t	【 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	「八計1曲	2次評価
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	□ 事業の生日的は明確である □ 事業の日的は □ 戸記数などができない □ 事業の日的は □ 戸記数などができない □ 事業の日的は □ 戸記数などができない		
			□ 事業成業が上位地域に不可入、または負制及が同い □ 負制及が不明確、または同へない □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
^	11 150 3 (=	-,	□ いずれにも該当しない		
当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>□</b> 7	8
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把掛	-	
性			☑ 数字で把握している 居宅生活支援利用率46.9% □ 未把握		
8点	社会環境変化	(¥(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	Ē	
		<u> </u>	内谷 :		
	優先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	対象カバー選	, ,	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
Ħ	受益者(1~	1)	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>		_
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	,   4	4
性			成果があがっていない場合	<u>.                                      </u>	
4点	- 成果向上余年	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな	ι l	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 国基準額 □ 把握していない		
効	キロコス!(!	1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率			→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	<b>─</b> 2	-1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について □ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		_
	手段(1~ 3	3)	<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>☑ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>	<b>'</b>	
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	ココーツルボロ	140(4 4)	□ □ □ □ □ □ □ 特に行っていない		
	コスト削減取	【組(1~ 1)	→ 内容 適正な認定		
亚式	15~16	年 度 に	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		)
実施	した改善	善内容	課題 支援費制度の周知を図る。	洽 価 A	В
	タンサウ (フ	h2.=>.\	図った。		
3 7 12	<u> 後の対応(ア</u>	クション)	_		
現在意	忍識してい	ヽる 課 題	見児童の居宅生活支援費の支給量が増加傾向にある。		
		係者の名称	「芦屋市手をつなぐ育成会」「身体障害児者父母の会」		
からの	音 目	要望内容	    財政事情によりサービスに制限がかからないようにしてほしい。		
要 望	等思先,	1			
	(1)	対応内容			
	(1)	実施期限	平成 年 月		
課題·要	 望等				
	(2)	対応内容			
へのす	讨 応	実施期限	平成 年 月		
		対応内容			
	(3)				
		実施期限	平成		
その他	考えられる				
	. ョ カ ア イ デ ア				
			今後の方「	句性 1次評価	2次評価
		1	乳幼児健診において発見される障害リスク児童が増加している。 拡 大 ・ 充		
			支援費制度の開始によりこれまで支援が受けられなかった児童のサービス利用が 現 状 維	持	
			急増しており,事業予算の拡大が必要。 方法 改		
亚成 1		$\wedge$ $+$ $\leftarrow$ $+$	民間委託	: 等	
1 /2	7~19年度	の方同性			
1 /32 1	/~19年度	の方向性	縮	小	
1 12%	/ ~ 1 9 年 度	00万间生	縮 統合 / 終期i	设定	
1 13%	/~19年度	00万间性	縮	设定	
			縮 統合/終期 廃止/休	设定	
			縮 統合 / 終期i	设定	

. 40 =	<b>⊢</b> 317 3	<b>+</b> W	_	14				i		- lam -
(一般 引	事業)	事 業	<b>_</b> _	F 2510	100				部長次	長課長
平成15	年度	事	業	5 兵庫	県心身障害者扶養	<b>共済制度</b>				
1 事	業概3	要(ドゥ)							L	<u> </u>
			くりの目れ	票 2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			保健福 課 : : : :	祉部
総合言			中	5	障害者の社会参加	の実現			所 管 課 障害福	祉課
政策力	施策		小	1	障害者(児)福祉	、保健・医療サービス	の充実		所管課長氏名米田	ヒロ子
体	系		細				-		記入者氏名川西	
事	業				46年4月1日~	経常臨時		臨時	電 話 番 号 0797-3	8-2043   内線   2519
		令 '		_		市心身障害者保険扶養条例の廃止に伴い			実施主体市	7 2 17 4
<u>実</u> 委	施	託		± □		□ 一部委託 名称	□ 全部委託		□ 補助金 □ □ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	〕負担金
<del></del>		по				<u> 中型 </u> fが死亡した時に残され	た心身暗害者に			
事	業	Ø	概	` ′		って申請受付及び県が				
	<i>-</i> 10		1,70		果共済制度掛金の市		• . •			
				(1)	n 入者数 104	人				
事	業	の	現	犬 (2) 挂	卦け金負担者数 3	人				
	目的第	実現のたる	かの	(掛	け金)昭和61年	~ 1,400円~	5,800円			
	手段及	ひ実施に	内容			3,500円~13	, 300円			
			Tu.		丰金1口 20,0	00円/月額				
		/+ m /- /-		_	加入者数	亚产4.4左连(宁/丰)	TT# 4 5 7 7	/ <del>                                     </del>	亚出 4 6 左克 4 豆 煙 5	亚出 1 2 左连 1 豆连 1
		結果指標				平成14年度(実績)			平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	<del>f</del> w. k	(1)	指標(	_	<u>107人</u> 114	103人 94	1 0 4.	^	1 0 4人 288	1 0 4 人 288
ガラド. 指	ノッド標		単位コス			94	113		200	200
3 🛱	125	結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度	( 実績 )	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標 1		3人	3人	3人	• •	3人	1人
		(-)	単位コス	_	65,440	39,786	40,773		46,000	46,000
2 事	業成身	果(アウ	トカム)				1		•	1
		対	1					5 年に県6	制度による「心身障害者	扶養共済制度」へ移行と
- W -						が延長となった加入者。		2.1	lu "	
事業の対象・			) // — <u>2</u>	<b>科</b> 刈 🧃	象数 (a)	3人 受益	X (D)	3人	比率 (b ÷ a) <sup>(</sup>	% 100%
X) 3K		意	[	型掛金	の完納により心身に	<b>筒害者の保護者が死亡</b>	,た時に残され,	た心身障:	害者が共済制度を享受す	ることができる。
			・ 主語にして			+11 1 3 FINE 1 3 7 0 -		- 0 23 1 - 1		
		<u> </u>								
大	き	な	目	的 心身	障害者の生活の安置	定と福祉の増進				
			T							
		<b>₼</b> 88 <b>#</b> F	指 標 3 考え方・3		受給者数					
						平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト		JH 12	指標 1		3.8人	3 7人	34人	• •	172.5 12 (113.7)	172 172 (1137)
指	標			_	:受給率(%)					
		最終成果	考え方・	式 受給	者 / 加入者 × 1 0	0				
		指 標	年 /	度 平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標(		26.2%	26.4%	24.6	5 %		
	<b>↑ 4+</b> ¢	z +> 1* ++		1		辰替とすることを県に ****・エネエいる	要望している。			
户座巾	の特目	らなど 舗	正りる事」	貝掛け	金の市負担対象者	<b>ま減つてきている。</b>				
2 車	坐書.	注動而	分(コス	F.)			1世帯当り(円)	12	住民1人当り(円)	5 平成16.4.1 住民基本台帳
事	<u> </u>	<u>/山土//日C</u> 檀			13年度(決算)	平成14年度(決算)			平成16年度(予算)	11200000
	人	件 費		_	492	676		328	` ` `	-
	事	業	29.2	2%	208	128		135	170	)
		『門 経 費		)%	0	C		0		-
(千円)		償却費	_	)%	0	0		0		-
	合	ħ		_	700	804		463	170	<u>)</u>
D+ \r	国	·		5%		16		16		_
	市	<b>債</b> 等								_
(千円)		の 他 <b>段財源</b>		94	700	788		447	170	
活 動	職				0.05	0.10		0.05	170	-
		·臨時等			0.00	0.00		0.00		-
(人)		<u> </u>	-	-	0.05	0.10		0.05	0.00	)

	叫(テェック)					
評	価 視	点	評価チェックリスト	12	次評価	2次評価
		0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	, 1		
	目的妥当性(2~ 2	21	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	7		
777	士門上(2 2)			٥		
妥	市関与(2~2)		□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			□ いずれにも該当しない		4	^
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな		4	6
	市民ニーズ(2~ 1	1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未打	巴握		
性			☑ 数字で把握している 受益率100% □ 未把掘	屋		
8点			☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	クター クター		
- OAK	社会環境変化(1~	1)	内容が対象者の把握			
	優先性,緊急性(1)		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
<del>_</del>	対象カバー率(1~					
有	受益者(1~ 1)		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	É		
効	   成果の実績(2~ 1	1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		3	3
~/3	7%スペック 入川県(上	.,	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えた	はい	J	J
性		4)	成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余地(1~	1)	□ 成果向上策あり □ 特に	なし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない			
			☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1~ 1)					
X/J						
			高い、または低い場合の理由			
	□ 受益者負担(0~ 1	1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □			
率	V=[X=[X]=(V	.,	□ 現在 , 適正な負担あり □ 負担なし , 過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	( )	1	0
-4			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		1	U
	T50(4 0)		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある。	ある		
	手段(1~ 3)		☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取組(1~	1)				
			▶ 内容 県に対し口座振替を要望。			
			掛金滞納者を出さない。   県の滞納者リストにより納付勧奨している。		1	
亚成	15~16年度	き にょ	改憲	松合	A	
平成実施	15~16年度した改善内	度 に i 容		総合評価	Α	В
平成実施	1 5 ~ 1 6 年 月 し た 改 善 内	度に i p	課題 内容 内容 掛金の口座引き落とし。 県に要望している。		Α	В
	1 5 ~ 1 6 年 月 し た 改 善 内 <b>炎の対応(アクショ</b>	у —			Α	В
		ン)			Α	В
5 今往		。	掛金の口座引き落とし。 県に要望している。		Α	В
5 今往	後の対応(アクショ	。	掛金の口座引き落とし。 県に要望している。		Α	B 
5 今行現在	多の対応(アクショ 認識している記	・ 「 ン) 課題	掛金の口座引き落とし。		Α	В
5 今行現在 1 市民,関	多の対応 (アクショ 認 識 し て い る 記 関係者 市民, 関係者の	・ 「 ン) 課題	掛金の口座引き落とし。		A	В
5 今 行 現 在 i 市民, 関 からの	多の対応(アクショ 認識している記 原係者 市民,関係者の 意見	別の名称文	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現在 1 市民,関	多の対応(アクショ 認識している記 原係者 市民,関係者の 意見	別の名称文	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今 行 現 在 i 市民, 関 からの	多の対応(アクショ 認識している記 原係者市民,関係者の 意見 意見,要望「	シン 無 題 から	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今 行 現 在 i 市民, 関 からの	多の対応(アクショ 認識している記 原係者 市民,関係者の 意見	シン 無 題 から	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今 行 現 在 i 市民, 関 からの	多の対応(アクショ 認識している記 原係者 市民,関係者の 意見 等意見,要望に 対応	シン 無 題 から	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現在に戻りの要	参の対応(アクショ 認識している記 関係者 市民,関係者の 意見 等 意見,要望[ (1) 実施	シン 無題 対 対 対 対 内 内 限 国 の 対 限 の 対 に 対 は か が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が が 対 が が が が	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今 行 現 在 i 市民, 関 からの	多の対応(アクショ 認識している意 原係者市民,関係者の意見 意見,要望「 (1) 対応 実施	シン 無題 対 対 対 対 内 内 限 国 の 対 限 の 対 に 対 は か が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が が 対 が が が が	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現 在 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	多の対応(アクショ 認識している意 意見 意見,要望「 (1) 対応 実施	カン) 無	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現在に戻りの要	多の対応(アクショ 認識している意 意見 意見,要望「 (1) 対応 実施	シン 無題 対 対 対 対 内 内 限 国 の 対 限 の 対 に 対 は か が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が が 対 が が が が	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現 在 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	参の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望「 (1) 対応 実施 対応 実施	シ) 親名称容別の 別内 期内 期内 期	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現 在 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	を	ン 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 第 本 章 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現 在 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	を	シ) 親名称容別の 別内 期内 期内 期	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現 在 R R R R R R R R R R R R R R R R R R	を	ン 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 第 本 章 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今行現 市か要 課題・要 課題・要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要	を	ン 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 第 本 章 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今 現 市か要 課 の の 他	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望! (1) 対応 実施 対応 (3) 実施	ン 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 第 本 章 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	掛金の口座引き落とし。	評価		
5 今 現 市か要 課 の の 他	を	ン 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 第 本 章 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	掛金の口座引き落とし。	まの継続を	· 希望。	
5 今 現 市か要 課 の の 他	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望! (1) 対応 実施 対応 (3) 実施	。 フ) 親名内内期内期内期 なが、ないでする。 ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	掛金の口座引き落とし。	京向性 1%	· 希望。	
5 今 現 市か要 課 の の 他	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望! (1) 対応 実施 対応 (3) 実施	つ) 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 国 の で る で に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	掛金の口座引き落とし。	京 向性 1% 充 実	· 希望。	
5 今 現 市か要 課 の の 他	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望! (1) 対応 実施 対応 (3) 実施	つ) 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 国 に の に 。 。 。 に 。 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	掛金の口座引き落とし。	京の継続を 1次 1次 2 1次 2 1次 2 1次 2 1次 2 1次 2 1次 2	· 希望。	
5 現 市か要 課 へ そ改 で	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望「 (1) 実施 対応 (3) 実施 3 考えられる のアイデア	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	掛金の口座引き落とし。	京の継続を 2 元 年 12 元 年 12 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元	· 希望。	
5 現 市か要 課 へ そ改 で	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望! (1) 対応 実施 対応 (3) 実施	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	掛金の口座引き落とし。	京の継続を 2 元 年 12 元 年 12 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元	· 希望。	
5 現 市か要 課 へ そ改 で	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望「 (1) 実施 対応 (3) 実施 3 考えられる のアイデア	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	掛金の口座引き落とし。	京の継続を 2 元 年 12 元 年 12 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元	· 希望。	
5 現 市か要 課 へ そ改 で	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望「 (1) 実施 対応 (3) 実施 3 考えられる のアイデア	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	掛金の口座引き落とし。	での継続を	· 希望。	
5 現 市か要 課 へ そ改 で	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望「 (1) 実施 対応 (3) 実施 3 考えられる のアイデア	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	掛金の口座引き落とし。	で	· 希望。	
5 現 市か要 課 へ そ改 で	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望「 (1) 実施 対応 (3) 実施 3 考えられる のアイデア	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	掛金の口座引き落とし。   「プロ   県に要望している。   別度の趣旨に基づき掛金滞納者をなくす。   対象者   掛金の市負担については,加入時の条件が変更となったために生じた加入期間の延長であり,制度   平成   年   月   月   平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	で	· 希望。	
S   1   1   1   1   1   1   1   1   1	多の対応(アクショ 製 識 している 記 関係者の 意見, 要望 に (1) 実施 (2) 対応 実施。 (3) 実施 (3) 実施 (3) 実施 (4) 実施 (5) イデア	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 向 ・	掛金の口座引き落とし。	で	· 希望。	
S   1   1   1   1   1   1   1   1   1	多の対応(アクショ 認識している記 意見,関係者の 意見,要望「 (1) 実施 対応 (3) 実施 3 考えられる のアイデア	。 フ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 向 ・	掛金の口座引き落とし。	で	· 希望。	

(一般	事業)	事業	<b>□</b> - ド	2510	110				部長	次	長	課長
,	,		<u> </u>							<i></i>		W/ U
平成15	中度	<del>事</del> :	業名	有仲	障害者福祉事業							
1 <b>==</b> -	<del>*** +</del> 0.7 =	冊/じょ)										
		要(ドゥ)	コの日標	2	健やかでめくもり	のある福祉社会づくり				保健福祉	·	
総合			<u>ッの日標</u> 中		障害者の社会参加				所 管 課	障害福祉		
政策:			<u>'</u> 小	-		、保健・医療サービスの	 )充実		所管課長氏名			
体	系	;	細		` '	·			記入者氏名	川西 正	勝	
事	業	期	間	平成	1 4 年から	経常臨時	☑ 経常 □ 臨	語時	電話番号	0797-38-	2043	内線 2519
	法	令,身	要綱 等	精神	保健及び精神障害	者福祉に関する法律			実施 主体	市		·
実	施	手			直営	一部委託	□ 全部委託		□補助金		負担金	
委		託	先		外郭団体委託	名称			委託 委託 内容			
<b>=</b>	जार	•	+0.7 <del>715</del>		障害者の社会復帰の	の促進と自立及び社会活	動への参加					
事	業	の	概 要									
				• 焙	油陪宝老民字生活		グループホー	/\ =\ :	ョートステイ)			
事	業	Ø	現 状			<sup>文援事業(か・ムベル)</sup> 世帯、 グループホーム						
3		ェク 実現のため				所補助 3箇所 19人		1 7 ( )				
		ひ実施内		_								
					ムヘルプサービス							
		結果指標				平成14年度(実績)		実績)	平成16年度(		平成 1	7年度(目標)
			指標値	_	0人	5人	12人		15人			15人
アウト			単位コスト		- / ^ !! = = 12 = 12 = 1	226,656円	224,19	5円	3 3 3 , 0 0	8円	3 3	3,008円
指	標				ムヘルプサービス	近へ利用凹数 平成14年度(実績)	平成15年度(	中佳)	平成16年度(	口捶)	ਹਾ≓ 1	7年度(目標)
			指標値		0人	240回	596回		1,080			/ 牛及(日保 <i>)</i> , 080回
			単位コスト		-	4,722円	4,514		4,625			,625円
2 事	業成	果(アウ)				1,7,2,213	1,311	13	1,023	13		, 0 2 3 1 3
	21277		ĺ	<del>/-</del>	体计院中大							
		対	家	仕七	精神障害者							
			バー率	対象	è数 (a) 1	9 1 人 受 益 数	(b) 3	3人	比 率 (b	÷ a) %	1	7.3%
対象・	意 図											
		意	-	精神	障害者の社会復帰の	の促進と自立及び社会活	動への参加支援					
		(対象を3	E語にして)									
大	÷	な	日 的	焙油	暗実者の福祉の増	進及び精神保健の向上						
^	C	<i>'</i> &	н ну	ΉÐΊΤ	学百日の佃伍の相	<b>些</b> 次0.461年休度の同工						
			指標名	在宅	サービス利用率(	%)						
					人数 / 在宅障害者	-						
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(	目標)	平成 1	7年度(目標)
アウト	カム		指標値		_	2.8%	6 . 2 %	ı				
指	標				復帰施設利用率(							
						数/在宅障害者数×10		<b>□</b> /± \	五世46年度/	□ <del>+=</del> \	TF 4	7.左左 / 口捶 \
						平成14年度(実績)			平成16年度(	目標)	半成1	7年度(目標)
			指標値		10.6%	10.6%	9.8%	1				
古层市	の特色	るかど補品	こする重頂	市内	に精油科の λ 院の!	出来る病院がないため緊	刍時の受けλれ	先の確値	早に困っている			
/ · /王 113	V) 113 C	2 % C Im X	L , O 7 75	112 17 3			2017) (10)	ノロマンド氏に	水に四 J CVI O。			
3 事	業費·	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	261	住民1人当り(円)	113	平成16.4	.1 住民基本台帳
事	業	費	1		13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(	決算)	平成16年度(	予算)		
	人	件 費	64.8%			10,838		6,561		-		
	事	業費				1,228		3,564		26,407		
		門経費				0		0		-		
(千円)		賞 却 費	0.0%			0		0		-		
	合	計			0	12,066	1	10,125		26,407		
財源	国	· 県				849		2,668				
(千円)		債 等の 他										
(11)		<u>以</u> 財源			0	11,217		7,457		26,407		
活 動	聞職	<del>以 M M</del>				1.05		0.95				
		·臨時等				0.00		0.00		-		
	合	Ħ			0.00	1.05		0.95		0.00		

評	<u> </u>	点評価チェックリスト	1 \欠 ≑亚/莱	2次評価
計	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		「次評1画	2次評1回
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	H=3×=1±(= =)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
_	10101 3(2 2)	□ いずれにも該当しない		
214			<b>⊣</b> →	0
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	/	8
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 大が高い □ 大が高い □ 大が高い □ 大が高い □ 大が高い □ 大・記述 □ 小・記述 □ 大・記述 □ 大・記述 □ 大・記述 □ 大・記述 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小述 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小述 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元 □ 小・元		
8点		■ 【▽」事業に関わる社会理接の恋化に適応している。 □ 社会理接の恋化にあわせた目古しが必要		
-7	社会環境変化(1~	り 内容 グループオーム・ショートステイ事業の整備		
	盾化州 取名州(4)			
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~	,		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
*+	世界の宝徳(2011)	│ ☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1	1
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性		成甲があがっていたい担合		
	- 成果向上余地(1~	1)		
4点		' □ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 県基準額 □ 把握していない		
効	キロコヘト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)			
率		□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	⊣ ი	_1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•
	<b>Ξ</b> ΕΠ/4 ο\	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~	1) コスト削減の取り組みを行っている 日 特に行っていない		
		'/  ┗ 内容		
	L.		_	
亚战	15~16年度			)
平成実施	1 5 ~ 1 6 年 度 した改善内		В	В
平成実施	1 5 ~ 1 6 年 度 し た 改 善 内	に 容 課題 居宅生活支援事業の整備。 改善 内容 か ループ ホーム・ショートステイ事業を開始。 評価	В	В
	1 5 ~ 1 6 年 度 し た 改 善 内 <b> </b>	に	В	В
		に	В	В
5 今往	<b></b>	に	В	В
5 今往	<b></b>	に	В	В
5 今征	<u> </u>	に 課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今征現在 記市民,関	<b> </b>	に容課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今征現在 記市民,関	<b> </b>	に容課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今征現在 記市民,関	<b> </b>	に 課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今征現在 記市民,関	参の対応(アクション 認識している課 係者市民,関係者の行意見 意見,要望内	に 課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今征現在 記市民,関	<b> </b>	に 課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今征現在 記市民,関	後の対応(アクション 認識している課 原名者市民,関係者の名意見 等 意見,要望内 (1) 対応内	に容課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今行現在 請市民,関か要 望	参の対応(アクション 認識している課 係者市民,関係者の領意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期	に 課題 居宅生活支援事業の整備。	В	В
5 今征現在 記市民,関	参の対応(アクション 認識している課 係者市民,関係者の名意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期	に	В	В
5 今征現 市民の望 課題・要	参の対応(アクション 認識 している課 係者 市民,関係者の行意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期	に	В	В
5 今行現在 請市民,関か要 望	参の対応(アクション 認識 している課 係者 市民,関係者の行意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期	に	В	В
5 今征現 市民の望 課題・要	後の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見。 意見,要望内 (1) 実施期 対応内 実施期	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	В	В
5 今征現 市民の望 課題・要	参の対応(アクション 認識 している課 係者 市民,関係者の行意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	В	В
5 今征現 市民の望 課題・要	参の対応(アクション 認識している課 原係者 意見,関係者の名 意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (2) 対応内 実施期	「	В	В
5 今征現 市民の望 課題・要	参の対応(アクション 認識している課 原係者 意見,関係者の名 意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (2) 対応内 実施期	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	В	В
5 今 福 市か要 課題・ の 3	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期	「	В	В
5 現 市か要 課 へ そ	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期	「	В	В
5 現 市か要 課 へ そ	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学		
5 現 市か要 課 へ そ	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期	「		
5 現 市か要 課 へ そ	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	生 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期	大・充   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	生 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期	大・充地   現地   大・充地   大・充地   現地   大・充地   現地   大・充地   現地   大・充地   現地   大・充地   現地   大・充地   現・状・維地   大・充地   現・大・産	生 1次評価実持	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ 他で	参の対応(アクション 認識している課 の対応(アクション 認識している課 のでは、関係者の名意見、要望内 意見、要望内 (1) 実施期 (3) 実施期 (3) 実施期	大・充 現 状 維 折 法 改 改善 内容 か ループ ホーム・ショートスティ事業を開始。   総合 内容 か ループ ホーム・ショートスティ事業を開始。   総合 内容 の	性 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ 他で	参の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	性 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ 他で	参の対応(アクション 認識している課 の対応(アクション 認識している課 のでは、関係者の名意見、要望内 意見、要望内 (1) 実施期 (3) 実施期 (3) 実施期	大	生 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ 他で	参の対応(アクション 認識している課 の対応(アクション 認識している課 のでは、関係者の名意見、要望内 意見、要望内 (1) 実施期 (3) 実施期 (3) 実施期	大きな   大き	性 1次評価実持等等	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ 他で	参の対応(アクション 認識している課 の対応(アクション 認識している課 のでは、関係者の名意見、要望内 意見、要望内 (1) 実施期 (3) 実施期 (3) 実施期	大	性 1次評価実持等等	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ 他で	参の対応(アクション 認識している課 の対応(アクション 認識している課 のでは、関係者の名意見、要望内 意見、要望内 (1) 実施期 (3) 実施期 (3) 実施期	大きな   大き	性 1次評価実持等等	
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 世の望   要 う 他()	参の対応(アクション 認識している課 情報 市民,関係者の名意見,要望内 意見,要望内 (1) 実地 対応内 実が応加 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 7~19年度の方向	大きな   大き	性 1次評価実持等等	
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 世の望   要 う 他()	参の対応(アクション 認識している課 情報 市民,関係者の名意見,要望内 意見,要望内 (1) 実地 対応内 実が応加 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 7~19年度の方向	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	性 1次評価実持等等	

										7		•	1		
( —	般事	業)	事業	<u>コード</u>	2520	010				1	部	長次	長	課	長
平点	1.5	年度	事	業名	早期	療育訓練事業									
1 7-7	,	~	<b>.</b>	ж I	1 703	101 F3 101 101 57 N				1					
			要(ドゥ)												
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	会づくり			所 管	保健福祉	上部		
		十画	ı	中	_	障害者の社会参加					//I =	障害福祉	上課		
政:	策が	话 策	,	小	2	教育・療育体制の	充実				所管課長日	名 米田 と	1口子		
体		系	7	細							記入者氏	名 米田 と	二口子		
事		業	期	間		•		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番	号 0797-38	-2043	内線	2515
根	拠	法	令 · 身	更綱 等	児童	福祉法					実 施 主	体市	-	-	
実		施	手	法		直営	☑ 一部委託	£	□ 全部委託	£	□ 補助金		負担金		
委			託	先		外郭団体委託	名称			☑ 民間	委託 委託 卢	容 訓練業務	<u> </u>		
					心身	に発達遅滞のおそれ	れのある乳幼児	見及び親に	対し、通園の	場を設けて	て適切な療育	及び訓練を行	<sub>i</sub> う。		
事	į	業	の	概 要											
					親子	通園が可能なおおる	むね1歳から京	大学前まで	を対象に、芦	屋くすのる	きデイケアセ	ンターの「す	くすく学	級」で行	行う。
事	j	業	の	現 状	保護	者に対しては、児童	童の療育につい	1ての個別	]及び集団によ	る指導					
		目的复	実現のため			に対しては、障害に									
	:	手段及	ひ実施内	容	訓練	業務を一部委託。									
				指標 名	登録	児童数									
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1 6 年	度(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
				指標値		2.4人	2 4 /		24/			<del>2(日流)</del> 4人		2 4 人	,
アウ	トフ	9ット	( - )	単位コスト		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•								
指		標		指標名	延べ	利用人数					l		I.		
,11			結果指標			13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年	度(目標)	平成 1 7	7 年度 (	目標)
				指標値		2,658人	2,73		2,59	• •	1 7-70 : - 1	~ ( - 1.5. )	1 7-70	120	- 13. 7
				単位コスト		_ ,			2,00						
2	电岩	⊥ ≥ ہائ ⊑	果(アウト		l .										
_	<del>J'</del> 7		- '												
			対	象	健診	において,発達遅滞	のおそれがあ	るため訓練	練の必要がある	と指摘を	·受けた,1歳 <i>t</i>	いら就学前ま	での児童		
事当	£ Φ	目的	対象力	バー率	対象	象数 (a) 1.	614人	受 益 数	7 (b)	2 4 人	比率	(b ÷ a) %	1	. 489	<b>%</b>
		意図	73 36 73		V1 ×	, xx (u) . 7		<u>х</u> ш х	(5)	/\	10 +	(b . u) /	1 .		
,,, ,			意	図	保護	者に対しては、児童	童の療育につい	ての個別	及び集団によ	る指導					
				ー E語にして)	児童	に対しては,障害に	!心した生活指	導と遊戯3	指導及ひ訓練						
			(2133122												
大		<b>*</b>	な	目 的	児童	の健全育成									
,			<b>.</b>	,	/ -										
				指標 名	诵級	率(%)									
						- <u>- 、                                 </u>	登録児童数 x 1	1 0 0							
						13年度(実績)			平成15年度	(実績)	平成 1 6 年	度(目標)	平成 1 7	7 年度 (	目標)
アウ	<b>7</b>			指標値		49.4%	49.0		48.1	• •	1720 : 0 1	Z (	1 7-20 1 1	12(	H 13.7
指		想		指標名							j		1		
				考え方・式											
			指標		平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1 6 年	度(目標)	平成 1 7	7 年度 (	目標)
				指標値				( )		( )				~ (	,
		<u> </u>		14 IV IE											
古屋	市の	り特色	0.など補5	2 する事項	発達	遅滞のおそれのある	る児童の唯一 <i>0</i>	)早期訓練	の場である。						
, ,	. 1   5   0	<i>-</i> 13 C	2 G C IB A	L / U	70.2	22/100000	070 <u>=</u> 07E 0	> 1 201H/H/N	(0)-% (0) 0,						
3	电岩	≰費.	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	1 134	住民1人当り(	円) 490	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事	<del>7</del> 7	<u>. 吳.</u> 業	費		<i>)</i> 亚成	13年度(決算)	平成14年度	( 沖質 )	平成15年度		平成16年		1 /20.10.11	1 1104	E-T-LITE
7		<u>**</u> 人	件費		7111	28,577	+13, 1 <del> +12</del>	29,860	十八八十五十尺	24,344	T/10.1 0 T	及(丁卉)			
	ŀ	<u>ハー</u> 事	業費			17,221		17,469		17,182		18,821			
内	L		門経費	0.0%		0		0		0		10,021			
			償却費	5.5%		0		2,416		2,415					
( 1		合								43,941		18 821			
		国	計	100.0%		45,798		<b>49,745</b> 9,481		6,148		18,821	4		
B→			- 県	14.0%				3,401		0,140			-		
財 (千	源田、		債 等の 他										1		
( +	( Ci					AE 700		40.264		37 702		10 004	1		
		月	段 財源	86.0%		45,798		40,264		37,793		18,821			
<b>.</b>	壬山		무	0.4.50		4 00		4 00		4 20					
活配	動	職	·臨時等	24.5% 75.5%		1.20 5.00		1.30 5.00		1.30 4.00		-			

4 計1	<u>叫(テェック)</u> 価 ネ	見 点	評価チェックリスト		小分钟/画	2次評価
計	1Щ 1: I	兄 从	ま計画デェックリスト □ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな		八計111	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の王白的は明確である □ 事業の王白的は ラに款ることができる □ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	.01		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能であ			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	1-12/3 3 (=	-/	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	211	7	7
	市民ニーズ(	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未		•	•
性			☑ 数字で把握している 待機児童数 7人 □ 未把	握		
8点	社会環境変	(l/(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが過	必要		Į.
		<u> </u>	内容			
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	,		
有	対象カバー	• •	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
H	受益者(1~	1)	<ul><li> ☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限対</li><li> ☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>	<u></u>	_	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	□ 中間成未指標の実績値を記録し、自標値を設定している□ 実績値なたは自標値が不能へ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	ない	4	4
性			成果があがっていない場合	75.01		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特に	こなし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 三田市 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1	I ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	千四コス」(1	1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担	.(0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	١,		
率			□ 現在,適正な負担あり ② 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	岜 )	1	-3
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	んある		
	手段(1~ 3	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である	·		
3点	コスト削減取	748(1 - 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	コスト削が対	双組(1~ 1)	▶ 内容 嘱託職員を配置している。			
亚成	15~16	・ 年 度 に	改善	総合		7
実施	1 5 ~ 1 6 した改	善内容	課題 内容	評価	Α	В
5 4	後の対応(ア	'カシュンハ				
3 / 15	× 02 × 1100 ( 2	<i>,,,</i>	職員配置の改善			
現在意	認識してし	1る 課 題	慢性的に待機者を抱えている。			
	係者 市民,関	係者の名称	保護者			
からの 要 望	] 春 自	要望内容	適切な指導訓練が受けられる体制と環境を保障してほしい。			
	(1)	対応内容				
	` ,	実施期限	平成年月			
課題·要	望等	対応内容				
	(2)					
へのす	对 心	実施期限	平成   年   月			
	(3)	対応内容				
	(3)	実施期限	平成年			
	<u> </u>	ZIEMITK.	1700			
その他	考えられる	3				
改善の	カアイデブ	7				
			今後の7		1次評価	2次評価
				充 実		
			待機児童を慢性的に抱えており改善を図る必要がある。			
平成 1	7~19年度	の方向性				
1 132	, , , , , ,	. 00 / 1 1 1 1 1	縮	小		
			·····································	期設定		
			廃止 /	休 止		
2 次 評	4 価 委 員 会	:コメント	待機児童の解消、民間活力の導入を含め改善策を検討する必要があります。			

(一般	<b>重</b> 業)	事業	□ <b>-</b> ド	2520	040				部長次	7	長詞	<b>#</b>	長
,	,				-	*** *** *** ***					K I	ж	IX.
平成15	年度	争	業名	障害	児福祉施設等通園	貫扶助事業							
4 <del>=</del> 2	717 TO 1 =	FF / I* · `											
		要(ドゥ) ま <i>ャ</i> づノ	りの目標	2	伊かかでかくま ロ	のある福祉社会づくり				<b>健福祉</b>	立7		
第3次F 総合			<u>りの日信</u> 中		障害者の社会参加				M 管 課	《健価仙》 害福祉			
<sup>総 口</sup> 政 策 )			<u>十</u> 小	-	教育・療育体制の				所管課長氏名米		• •		
体	系		<u>,</u> 細		3713 2713 273	702			記入者氏名米				
事	業	期		昭和	5 1年4月1日~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電 話 番 号 07			内線 25	15
根 拠	法	令 ' 星	要 綱 等	芦屋	市福祉施設等通園	(通学)費扶助要綱			実 施 主 体市	ī			
実	施	手	法	>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称			委託 委託 内容				
	NIP.			訓練	を受けるために通	園施設等に通園に要する	交通費の一部を	を負担する	<b>3</b> .				
事	業	の	概 要										
				t± 85	弗1口2	コが四度							
事	業	Ø	現 状		費1日2,500  すく学級は1日6								
<del>7</del>		しり 実現のため		9 \	9 (子紋は1口)								
		るび実施内											
	3 1 2/2												
			指標名	対象:	者数								
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目	1標)	平成17	年度(目標	¥ )
		(1)	指標値		5人	1 3人	1 1人		6人			6人	
アウト	プット		単位コスト		16,650円	16,214円	15,41	4円	72,000	円	7 2	,000円	
指	標		指標名										
		結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	• •	平成16年度(目	1標)		年度(目標	¥)
		, ,	指標値		4 3人	4 3人	5 3人		5 0 人			5 0人	
٠ <del>= ١</del>	#K -+ E		単位コスト		2,323円	4,902円	3,19	9円					
2 事	美风き	果(アウ)	トリム)	/\	55.00000000000000000000000000000000000	++4 o # =	マツンナーフ	17 1 4	4.1.5				
		対	象	·公	的機関で判定を安I すくすく学級」にi	ナ市外の施設等に通園( 通級している児童等で交	選子)をしてい 通費の負担のa	つる人( ある人(	1人) 24人)				
事業の	目的	対象力	バー率			2 5 人 受 益 数		1 1人	比 率 (b ÷	a) %		4 6 %	
対象・		7.3 20 10		//3 %	~ ~ (=)	~ ~	. (4)		PS   (4 )	,			
		意	図	訓練	が必要な児童とその	の保護者の通園費用負担	の軽減を図る						
		(対象を主	注語にして)										
大	き	な	目 的	訓練	等に施設を利用する	る本人と保護者の負担を	軽減し , 福祉の	の向上を[	図る。				
			# # 47	<b>'</b> 不国:	弗什叻纠弃利田女	( 0/ )							
					費扶助制度利用率 費扶助制度利用者	(※) 数/扶助制度対象人数×	1 0 0						
			-			平成14年度(実績)		(宝績)	平成16年度(目	1煙)	平成 1 7	年度(目標	≣ )
アウト	カム		指標値	1 132		17%:17及(入限)	4 6 %		1/2/10/1/2(1	11/1/	1 72% 1 7	112 (11)	. ,
指	標		指標名							I			
			考え方・式										
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目	1標)	平成17	年度(目標	¥)
			指標値										
					,	) の訓練施設がないため	-		なければならない。				
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	すく	すく学級には駐車	スペースがないため車で	の通級を禁じて	ている。					
2 = 3	** #	ンエチもあつ。	<u>/\                                    </u>	`			4 III ## >\( 10 C FT >		A-Da Livia (B)		TI C# 40.4	. CD#+/	\ <b>.</b> #E
3 事 事	<u>乗買'</u> 業	7古劉昭 曹	分(コスト 構成%		1 2 年度 / 注答 \	平成14年度(決算)	1世帯当り(円) 平成15年度		住民1人当り(円)    平成16年度(予		平成16.4.	1 住民基本台	可收取
<del>7</del>	人	件費		T11X	345	490	十成13千反	956	十成10千及()	(弁)			
	事	業費			135	211		170		792			
内 訴		<u>采 员</u> 引門経費	1		0	0		0		-			
		償却費	0.0%		0	0		0		-			
/	合	計			480	701		1,126		792			
	围	· 県											
財 源		債 等											
(千円)		の他											
		段 財源			480	701		1,126		792			
	職	員			0.05	0.05		0.15		-			
	嘱託 合	·臨時等 <b>計</b>			0.00	0.00		0.00		- 0.00			
	16	aT.	100.0%		0.05	0.05		0.15		0.00			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1次評価	つる資価
н.	叫 1元		八計画	4从計画
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	, ,	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	, ,	☑ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	4
=	+ */0 1)		J	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		☑ 数字で把握している 通園費扶助制度利用率 46% □ 未把握		
8点	社会環境変化(1~1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	1124870210(1 1)	内容障害のある児童の通級に乗用車利用は不可欠である。		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1 _	•
効	成果の実績(2~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	2
性		成果があがっていない場合		
	- 成果向上余地(1~ 1)			
4点		□ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 把握していない □ 他団体よりコストが高い	.	
		高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
		□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<del> </del> 0	- 1
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
		☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 限試 原味際号等で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	-	
3点	コスト削減取組(1~ 1)	│ □ □ □ □ □ 特に行っていない □ 特に行っていない □ サール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
		<b>→</b> 内容		
亚成	15~16年度に	保護者に自家用車通級禁止の周知を図り   改善   保護者に自家用車通級禁止の周知を図り   総合		_
実施	した改善内容	課題 駐車による近隣からの苦情をなくす。 内容	B	В
5 今後	<u> </u>			
		障害のある児童の通級に乗用車利用は不可欠である。		
		·		
現在:	認識している課題	·		
市民,関	信係者 市民,関係者の名称	可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可		
市民,関	信係者 市民,関係者の名称	可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可		
市民,関	信係者 市民,関係者の名称	可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可		
市民,関	間係者 市民 , 関係者の名称 意見 意見 , 要望内容	対象者数 野駐車スペースの確保		
市民,関	原係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容 対応内容	可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可		
市民,関	原係者 市民,関係者の名称意見 意見,要望内容 (1) 対応内容	対象者数 野駐車スペースの確保 ・駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。		
市民,関からの要望	商係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限	対象者数 野駐車スペースの確保 駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。		
市民,関	現係者 市民,関係者の名利意見等 意見,要望内容 対応内容 実施期限	京 対象者数 写 駐車スペースの確保 ・ 駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。 ・ 平成 16 年 4 月		
市民,関か要 望	情係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内名 等 対応内容 (1) 対応内容 実施期限	京対象者数  野駐車スペースの確保  駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。  ・ 平成 16 年 4 月		
市民,関からの要望	市民,関係者の名和 意見 等 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限	対象者数		
市民,関か要 望	原名 市民,関係者の名称 意見 第 見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	京 対象者数 学 駐車スペースの確保 ・ 駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。 ・ 平成 16 年 4 月 ・ 平成 年 月		
市民,関か要 望	情係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内名 等 対応内容 (1) 対応内容 実施期限	京 対象者数 学 駐車スペースの確保 ・ 駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。 ・ 平成 16 年 4 月 ・ 平成 年 月		
市民,関か要 望	(1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	京対象者数 写駐車スペースの確保 ・駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。 ・ 平成 16 年 4 月 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
市民,関か要 望	原係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	京対象者数 写駐車スペースの確保 駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。 平成 16 年 4 月		
市民の要望課題・要ので	原係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	京対象者数 写駐車スペースの確保 駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。 平成 16 年 4 月		
市民の要課題・要のの他	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	京対象者数 写駐車スペースの確保 駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。 平成 16 年 4 月		
市民の要課題・要のの他	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	京対象者数  S 駐車スペースの確保  駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。  「 平成 16 年 4 月  「 平成 年 月	1次評価	2次評価
市民の要課題・要のの他	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	対象者数   野車スペースの確保   駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。   平成   16   年   4   月		2次評価
市民の要課題・要のの他	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	対象者数   野車スペースの確保   野車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。   平成   16   年   4   月	?	2次評価
市民の要課題・要のの他	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	対象者数	<u> </u>	2次評価
市か要課へそ改	京原 市民 , 関係者の名称 意見 , 要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) である アイデア	対象者数   野車スペースの確保   野車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。		2次評価
市か要課へそ改	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	対象者数   駐車スペースの確保     駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。   平成   16   年   4   月		2次評価
市か要課へそ改	京原 市民 , 関係者の名称 意見 , 要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) である アイデア	対象者数   駐車スペースの確保     駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。   平成   16   年   4   月		2次評価
市か要課へそ改	京原 市民 , 関係者の名称 意見 , 要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) である アイデア	対象者数   駐車スペースの確保     駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。		2次評価
市か要課へそ改	京原 市民 , 関係者の名称 意見 , 要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) である アイデア	対象者数   駐車スペースの確保     駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。   平成   16   年   4   月		2次評価
市か要 課 へ で そ改 平 の で あ の も の も の も の も の も の も の も の も	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 (1) 対応内容 実地等 対応 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 である。 アイデア	対象者数		
市か要 課 へ で そ改 平 の で あ の も の も の も の も の も の も の も の も	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 (1) 対応内容 実地等 対応 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 である。 アイデア	対象者数   駐車スペースの確保     駐車スペースの確保は難しいことを説明。協力を求めている。		

/ 40 =								
(一般	事業)	事業	J - 1	2550010			部長次	長課長
平成15	午度	車 :	業 名	  「市町村障害者社会参	加,促准重举			
T-13% 1 3	一反	<del></del> .	* 4		加」促進事業			
		要(ドゥ)						
		まちづく	りの目標	2 健やかでぬくもじ			│	
総合			<u> </u>	5 障害者の社会参加	* * * * *		障害福祉	
政策			<u>小</u>	5 スポーツ・文化活	動等による社会参加の技術	<b>E</b> 進	所管課長氏名米田 は	
体	系		細				記入者氏名米田と	
事	業	期		1		☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38	-2043 内線 2515
		令 · 里			・要約筆記者奉仕員派遣		実施主体市	
<u>実</u> 委	施	手 託		□ 直営	□□□・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 全部委託		負担金
女		n't	π.	□ 外郭団体委託	名称 芦屋市点字友の会 構成員として必要な情報		間委託委託内容	
事	業	Ø	概 要		構成員として必要な情報 派遣 (2)点訳・音訳広		ーフ店動又援守を行う。 車運転免許取得助成・改造	弗叻代
<del></del>	未	0)	194. 女	` '	派遣 (2)点訳(音)(2) 7シー助成 (5)障害者	` '		貝切川以
					, クロの域 (3) 障害 自 派遣対象者30人 派遣回額		が云の所催                     	派遣同数60回
事	業	Ø	現 状	( ,	(這对象者30人 /// //// /// /// /// 音訳対象者30人 広報/			
-		・・・ 実現のため		(3)免許取得一部助成(		JEH DIMACO		
		と玩のため とび実施内		` '	- 利用延べ人員 300/	λ		
	3 1 2/2	~ 0 ) < 1151 5	, _	(5)年1回開催。参加者				
			指標名	点訳・音訳広報利用人				
		結果指標			平成14年度(実績)	平成15年度(実績	) 平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標値	213人	2.5人	3 0人		
アウト	プット		単位コスト	_	17,720円	16,366円		
指	標		指標 名	リフト付タクシー利用	人数		•	•
		結果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績	) 平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標 値	1 300人	260人	300人		
			単位コスト	4,370円	4,615円	4,000円		
2 事	業成	果(アウ)	<u> カム)</u>	1				
		対	象	・情報入手が困難な在	宅の聴覚・視覚障害者 流の機会の少ない障害者	・移動が困難な在宅重	度障害者	
= ** ~	_ **	11 <del>2</del> 1					III. + (1 ) A	
事業の対象・			八 - 率	対象数(a) 2	500人 受益数	(b) 480人	比率 (b ÷ a) %	19.2%
X) ak	忠 凶	意	ভ	・情報の入手を支援す	る。 ・移動の不便を軽	≦減∙解消する。		
			と (三語にして	・運動等交流の機会を	提供する。			
		(×18(τ)						
大	₹	+>						
		み	目 的	   障害者の社会参加の促	進支援			
		な	目 的	障害者の社会参加の促	進支援			
				障害者の社会参加の促 情報支援提供率(%)	進支援			
			指標 名	情報支援提供率(%)	進支援 ・要約筆記利用人数 / 対	  象者数 × 1 0 0		
			指 標 名 考え方・式	情報支援提供率(%)	·要約筆記利用人数/対	平成15年度(実績	) 平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト		中間成果指  標	指 標 名 考え方·式 年 度 指 標 値	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績)	·要約筆記利用人数/対		) 平成 1 6 年度 (目標)	平成17年度(目標)
ア ウト 指	カム 標	中間成果指  標	指標名 考え方·式 年 度 指標值 指標名	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度(実績) -	平成15年度(実績	) 平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	カム 標	中間成果指標	指標名式度 年標標 指標標名式 考え方式	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合	平成15年度(実績 56%		
	カム 標	中間成果指標級成果	指標 名式 考え方式 度値 指標 名式 年 で 名式 年 を で また で また で また で また で また で また で また で	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績)	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度(実績) -	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績		平成17年度(目標)
	カム 標	中間成果指標級成果	指標名式度 年標標 指標標名式 考え方式	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績)	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合	平成15年度(実績 56%		
指	カ ム 標	中間成果指 標級成果 標	指 標 方 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績)	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績		
指	カ ム 標	中間成果指 標級成果 標	指標 名式 考え方式 度値 指標 名式 年 で 名式 年 を で また で また で また で また で また で また で また で	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績)	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績		
指 芦屋市	カム 標 の特も	中間成果 指 最終成果 指 をご補品	指 考 年 標 標 方 度値 名式 度値 名式 度値 名式 度値	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績)	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績 不明	) 平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指 芦屋市 3 事	カム 標 の特 <b>費</b> ・	中間成果 撮終成果 指 を 指 が補 が 活動配	指標方・式度値名式度値名式度値名式度値名式度がます。	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績)	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度(実績) 一 る割合 平成 1 4 年度(実績) 一	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績 不明 33	9 住民1人当り(円) 147	平成17年度(目標)
指 芦屋市	カム 標 の特も	中間成果 最終成果 指 を 活動配 費	指標名式度 指標標点方・式度 指標標点方・式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度 を のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数/対 平成14年度(実績) - る割合 平成14年度(実績) -	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績 不明 1世帯当り(円) 33 平成 1 5 年度 (決算	9 住民1人当り(円) 147 ) 平成16年度(予算)	平成17年度(目標)
指 芦屋市 3 事	カム標 の特 養 大	中間成果 根 服 根 が は が は が る が る が る が る が う は う は う は う り も り も り も り も り も り も り も り も り も り	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合 平成 1 4 年度 (実績) - 平成 1 4 年度 (決算) 9,813	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績 不明 1世帯当り(円) 33 平成 1 5 年度 (決算 6,91	9 住民1人当以(円) 147 ) 平成16年度(予算) 0 -	平成17年度(目標)
指 芦屋市 3 事事	カム標の特色	中指 最終 成標 果標 発 が する が する が する が は が は が は が は り は り は り は り し り も り も り も り も り も り も り も り も り も	指標名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 ではる事項 分(コスト 構成% 52.5% 47.5%	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合 平成 1 4 年度 (実績) - 平成 1 4 年度 (決算) 9,813 7,020	平成 1 5 年度 (実績 5 6 % 平成 1 5 年度 (実績 不明 33 平成 1 5 年度 (決算 6,914 6,24	9 住民1人当 <sup>1</sup> (円) 147 2 平成16年度(予算) 0 -2 17,821	平成17年度(目標)
万屋市3事	カム標の特色を表している。	中間成果標 最終成果標 上など動配費費費費	指標名 考え方・式度値 指標 名 考え方・式度値 名 考え方・式度値 名 考え方・式度値 名 考え方・式度値 名 4 な な な は は は は な な は は な な は は な な は は な な は な は な は な は な は な は な は な は な は な は は な は な は な は は な は な は な は は な は は は は な は は は は は は は は は は は は は	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数 / 対 平成 1 4 年度 (実績) - る割合 平成 1 4 年度 (実績) - 平成 1 4 年度 (決算) 9,813	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当以(円) 147 ) 平成16年度(予算) 0 -	平成17年度(目標)
万屋市3事	カム標の特質業人事他減	中指 最終 成標 果標 発 が する が する が する が は が は が は が は り は り は り は り し り も り も り も り も り も り も り も り も り も	指標名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 ではる事項 分(コスト 構成% 52.5% 47.5%	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	<ul> <li>要約筆記利用人数/対 平成14年度(実績)</li> <li>る割合</li> <li>平成14年度(実績)</li> <li>ー</li> <li>平成14年度(決算)</li> <li>9,813</li> <li>7,020</li> <li>0</li> </ul>	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当12(円) 147 平成16年度(予算) 0 - 17,821 0 - 0	平成17年度(目標)
万屋市3事	カム標の特色を表している。	中指 最終 成 果標 と 動 動 費 費 費 費	指標名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 大年標値名 イスト 構成% 47.5% 0.0% 0.0%	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	<ul> <li>要約筆記利用人数/対 平成14年度(実績)</li> <li>る割合</li> <li>平成14年度(実績)</li> <li>ー</li> <li>平成14年度(決算)</li> <li>9,813</li> <li>7,020</li> <li>0</li> </ul>	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当り(円) 147) 平成16年度(予算) 0 -2 17,821 0 -2 17,821	平成17年度(目標)
指 芦屋市 3 事 内(千円)	カーの業人事他減合	中指 最終 成 果標 と 動 費 費 費 費 費	指標名式 年 標値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数/対 平成14年度(実績) - る割合 平成14年度(実績) - の 平成14年度(決算) 9,813 7,020 0 16,833	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当り(円) 147) 平成16年度(予算) 0 -2 17,821 0 -2 17,821	平成17年度(目標)
指 芦屋市 事 内(千円)	カの業人事他減合国市	中指 最指 を が は が は が は が が が が が が が が が が り の り の り の り の り の	指標名式 年 標値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数/対 平成14年度(実績) - る割合 平成14年度(実績) - の 平成14年度(決算) 9,813 7,020 0 16,833	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当り(円) 147) 平成16年度(予算) 0 -2 17,821 0 -2 17,821	平成17年度(目標)
指 芦屋市 事 内(千円) 財(千円)	カの業人事他減合国市を一人	中指 最指 な 動 の は が も き も も き も も も も も し も し も し も し も し も	指標名式 年 標値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数/対 平成14年度(実績) - る割合 平成14年度(実績) - の 平成14年度(決算) 9,813 7,020 0 16,833	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当以(円) 147) 平成16年度(予算) 0 -2 17,821	平成17年度(目標)
指 芦屋市 事 内千円) 財千円 動	カの業人事他減合国市そ一職ム標・特費業・部価・	中指 最指 さ 活 件業門償 ・債の 財 成 成 ば 動 費費費費計県等他源員	指標名 考え方・式度 指標標名 表方・式度値名 考え方・式度値名 考え方・式度値名 ではる事項 分(コスト 構成% 52.5% 47.5% 0.0% 100.0% 31.8%	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数/対 平成14年度(実績) - る割合 平成14年度(実績) - 平成14年度(決算) 9,813 7,020 0 16,833 4,703	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当以(円) 147 9 住民1人当以(円) 147 0 平成16年度(予算) 0 - 2 17,821 1 17,821	平成17年度(目標)
指 芦屋市 事 内千円) 財千円 動	カの業人事他減合国市そ一職嘱	中指 最指 と 動 の は が は が は が は が は が は が は が り り り し り し り し り し り り り り り り り り り	指標名 考え方・式度 指標 個名 考え方・式度 指標 個名 考え方・式度 位名 ではる事項 分(コスト 構成% 52.5% 47.5% 0.0% 100.0% 31.8%	情報支援提供率(%) 点訳・音訳広報,手話 平成13年度(実績) 一 社会参加・活動率 社会参加活動をしてい 平成13年度(実績) 一	・要約筆記利用人数/欠 平成14年度(実績) - る割合 平成14年度(実績) - 平成14年度(決算) 9,813 7,020 0 0 16,833 4,703	平成 1 5 年度 (実績 5 6 %	9 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円) 147 9 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円) 147 1 平成16年度(予算) 0 - 2 17,821 1 17,821 1 17,821 0 - 0 - 0 - 1 17,821	平成17年度(目標)

4 評1 評	<u>曲(チェック)</u> 価	視点	評価チェックリスト	1次評	価 2次評価
	目的妥当性		<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>☑ 事業の目的は一つに絞ることができない</li><li>☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い</li><li>☑ 貢献度が不明確、または高くない</li></ul>		
妥	市関与(2~	2)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない	1	
当	市民ニーズ	£(2 ~ 1)	<ul> <li>□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li> <li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない</li> <li>□ ニーズが高いとは言えない,または未把</li> <li>□ 数字で把握している 点訳・音訳広報利用 30人、カバー率19.2%</li> <li>□ 未把握</li> </ul>	2握	6
性 8点		图化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必内容		
	優先性,緊		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	受益者(1~	率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	,—	
	,		□ 事業总員と支血省は差百0といる □ 事業总員と支血省が不差百,または支血が一部に限足□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績	<b>恒</b> (2~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えな	:ii   <b>4</b>	1
性 4点	- 成果向上邻	除地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
效力	単位コスト(	1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 他団体とりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
XII			□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い高い、または低い場合の理由		
			同い、または低い場合の理由 □ 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担	⊒(0 ~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	)	
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<del>'</del> -2	2   -4
	手段(1~	2)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	5 <b>3</b>	
	<del>丁</del> 叔(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減耳	取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
₩ 🖶	1 5 1	· · · · ·	改善とは、「おおおり」とは、「おりまり」とは、「おりまり」とは、「おりまり」とは、「おりまり」とは、「おりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりま	<i>w</i>	
	1 5 ~ 1 した改		課題 内容	総合 評価 B	В
5 今往	<u> </u>	<u>"クション)</u>			
現在	認識して	いる課題	ニーズ調査未実施のため数値がつかめない。		
市民,関	原者 市民, 厚	関係者の名称			
からの 要 望		要望内容			
	(1)	対応内容	団体等の協力を得てアンケート調査を実施する。		
		実施期限	平成年月		
課題·要	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成 年 月		
	(2)	対応内容			
	(3)	実施期限	双战		
		美胞期限	平成 年 月		
その他	考えられ	వ			
	カアイデ				
			今後の方	向性 1次評	価 2次評価
			さまざまな障害のある人が、社会の構成員として地域の中で共に暮らせるように、 拡大・ 3	充 実	
			必要な情報支援,文化・スポーツ活動等の参加促進をはかる必要がある。 現 状 維		
			方法改		
平成 1	7~19年月	きの方 向性			
			縮	小	
			統合 / 終期   <b>                                    </b>		+
			<del>                                    </del>	W T	
2 次 評	平価 委 員 会	ミコメント			

(一般	事	業)	事 業	コード	2220	025			部 長	次	長課	長
T + 1			=	<b>ж</b> Б		^Z##. a.t	/ . 11 11 12 12 12 13 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14					
平成 ′	1 5 -	干歧	<b>尹</b>	業名	可丁	• 又于世帝へのか・	- ムヘルパー派遣事業					
1 ቜ	業	概	要(ドゥ)								ļ .	
			,	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			保健福祉	部	
総合				中	-	共に助け合う地域			所 管 課	児童課		
政策				<u>'</u> /\		福祉サービス利用			所管課長氏名			
体	. ,,_	系		<u></u> 細		THILL	32-33-5-32-2		記入者氏名			
事		業	期		四和	<u>                                     </u>	<b>经</b> 经	☑ 経常 □ 臨時	電話番号			2544
	п						- ビス事業の費用徴収に関		実施主体		2040 P3 RX	2044
実	e.	施	マ・3			直営	□ 一部委託					
<del>支</del> 委		ルビ	<del>_</del> 託				名称 芦屋ハートフル福	□ 全部委託	国委託 委託 内容		貝担並	
女			n L	76			<u>百称  尸屋パードブル個</u> フ一時的に日常生活に支			スために		
击	7	ıç.	•	+0.7 ===						るために		
事	Þ	Ě	の	概 要	小	ームヘルハーを派は	遣し,家事援助・身体介	護・相談・助言寺を行	つ。			
									_			
事		É	の				世帯数:2世帯,利用時	·	•			
	E	目的質	<b></b> ほ現のため	のの	・所	得税課税年額に応	じて利用者負担あり	(1時間当り)0円~	950円			
	Ξ	手段及	ひ実施内	容								
				指標 名								
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	〔目標)
			(1)	指標値		2 世帯	2 世帯	2 世帯				
アウ	トプ	ット		単位コスト			493千円/世帯	592千円/世帯				
指		標		指標 名	利用	時間数						
							平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	[目標]
				指標値		(144)	2 2 時間	2 9 時間	1111			
			(2)	単位コスト			45千円/時間	41千円/時間				
つ 重	5 井	£ Fit E	果(アウ				40     J/ HJ DJ	41   1 J / #J   D				
4 7	<del>- *</del>	ミルスフ	K() )	1/1/4)								
			対	象	病気	等により緊急かつ-	ー時的に日常生活に支障	のある母子家庭・寡婦	及び父子家庭			
車業	ω E	日的	计免力	バー 弦	रेत ई	è数 (a) 6	8 7 世帯 受 益 数	! (b) 2 世帯	比 率 (b ·	. 2) %	0.3%	6
尹 未 対 象			X) SK //	/\ — <del>*</del>	צו צ	K 🕉 (a)	07世帝   文 盖 数	(U) 2 Em	LL 平 (D ·	<del>.</del> a) 70	0.57	U
XI SK	· /:	ᆳᅜ	ᆓ	- NO	_	/ A II 11º 1- 1- 25	京東採助 自体人群等大	<b>仁</b> () 吐的尼贝普先	ばの空中 回っ			
			总		小一	ムヘルハーによる	家事援助・身体介護等を	付い,一時的に日吊生	活の女正を凶る。			
			(対象を:	主語にして)								
	_	_	4.	_ **		5 × 5 □ ₩ 4 ¼ *						
大	2	ž	な	日 的	• 37	家者の日常生活を:	安定したものにする。					
				1								
				3 III II		負担軽減率(%)						
							ヘルパーを緊急的に必要					
			指 標				平成14年度(実績)				平成17年度(	
アウ	1	υマ		指標値		100%	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %	)	100%	ó
指		標		指標 名	市全	体の母子・父子家原	庭の家事負担軽減率					
			最終成果	考え方・式								
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	〔目標)
				指標値		未把握	未把握	未把握				
芦屋市	<b>市</b> σ.	特包	色など補足	足する事項								
3 ቜ	業	費・	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円) 31	住民1人当り(円)	13	平成16.4.1 住民	基本台帳
<u>,</u>		業	費	1		13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(	予算)		
		人	件費			12 (201)	954	1,134	17.2	-		
	-	<u>^</u> 事	業費				32	49		59		
ф			門経費	4.1/0			32	73		-		
( + 1:			償却費				000	4 400		-		
	_	<u>合</u>	計			0	986	1,183		59		
	- 1	国	· 県						-			
財			債 等									
(千円	3)		の他					3				
		<b>–</b> 4	段 財源	99.7%		0	986	1,180		59		
活	動	職	員	100.0%			0.15	0.15		-		
配	分	嘱託	·臨時等	0.0%			0.00	0.00		-		
( <b>J</b>		_	tH.	100.0%		0.00	0.15	0.15		0.00		

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1 7夕前7日	2次評価
рТ	1四 1元			1 2 八 計 川
	目的妥当性(2~	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	,	□ 事業成果が上位施束に不可欠,または貝献度が高い □ 貝献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	<b>  7</b>
_	市民ニーズ(2~ 1		_	<b>'</b>
.141	111111 / 121		1/±	
性		② 数字で把握している 家事負担軽減率100% □ 未把握 □ 未把握 □ まで □ まで □ まで □ まで □ まで □ まで □ まで □ ま	-	
8点	社会環境変化(1~	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		内谷 離婚による母子家庭の増、核家族化によりヘルバー派遣を必要とする世帯の増加が見込まる	れる。	
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~	1) 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	,	▽ 中間成里投煙の宝績値を押場し、日煙値を設定している□ 宝績値またけ日煙値が未記 λ		
効	成果の実績(2~	)	3	3
44			-	_
性	- 成果向上余地(1~	がまがっていない場合		
4点		■   □ 放果问上束めり : □ 特にな	: b	
		☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	₩ / <del>\</del> ¬ ¬   // // //	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	,	
率		/ □ → ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	<del>'</del> -3	-4
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	<b>ర</b>	
	7-FX(1 - 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点		1) □ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
OM	コスト削減取組(1~	1) 内容 内容		
		P 内台		
平 成	1 5 ~ 1 6 年 月 した 改善内	で に   血	総合	В
宇施	したか羊は			
大 ル			窓合   B	ט
			平価   D	В
	りた 以 書 K 多の対応(アクショ		平価   D	ם
5 今往	後の対応(アクショ	ン)		
5 今往		ン)		В
5 今往	後の対応(アクショ	ン)	平価 <b>D</b>	
5 今征現在記	<b></b>	ン) R 題 名称		
5 今征現在記	<b></b>	ン) R 題 名称		
5 今征現在記	<b></b>	ン) R 題 名称	平価 <b>D</b>	
5 今征現在記	<b>後の対応(アクショ</b> 認 識 し て い る i	ン) R 題 名称	平価 <b>D</b>	
5 今征現在記	後の対応(アクショ 認識している。 現係者市民,関係者の 意見 等 見、要望	ン) R 題 名称 内 容	平価 <b>D</b>	
5 今征現在記	<b></b>	ン) R 題 名称 内 容	平価 <b>D</b>	
5 今征現在記	後の対応(アクショ 認識している。 現係者市民,関係者の 意見 等 見,要望	ン) R 題 名称 内 容	平価 <b>D</b>	
5 今征現在記	参の対応(アクショ 認識している。 関係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施	フ) <b>*</b> 題 名称 内容 <b>*</b> 切容	平価 <b>D</b>	
5 今後現在 請市民, 関か要 望	参の対応(アクショ 認識している。 現係者市民,関係者の 意見 等意見,要望 対応 実施	フ) <b>*</b> 題 名称 内容 <b>*</b> 切容	平価 <b>D</b>	
5 今後現在 請市民, 関か要 望	参の対応(アクショ 認識している。 別係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施	フ) 根題 名称 内容 胡限 平成 年 月	平価 <b>D</b>	
5 今後 現 氏の望 課題・要	参の対応(アクショ 認識している。 別係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施	フ) <b>*</b> 題 名称 内容 <b>*</b> 切容	平価 <b>D</b>	
5 今後 現 氏の望 課題・要	を	フ) ・	平価 <b>D</b>	
5 今後 現 氏の望 課題・要	をの対応(アクショ 認識している。 引係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応	フ) * 題 名称 内容 朝限 平成 年 月 内容 朝限 平成 年 月	平価 <b>D</b>	
5 今後 現 氏の望 課題・要	をの対応(アクショ 認識している。 引係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応	フ) ・	平価 <b>D</b>	
5 今 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクショ 図 識している 記 間係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3)	フ) * 題 名称 内容 朝限 平成 年 月 内容 朝限 平成 年 月	平価 <b>D</b>	
5 今 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクショ 認識している。 引係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応	フ) * 題 名称 内容 朝限 平成 年 月 内容 朝限 平成 年 月	平価 <b>D</b>	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクショ 図 識している 記 間係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3)	フ) * 題 名称 内容 朝限 平成 年 月 内容 朝限 平成 年 月	平価 <b>D</b>	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応) では、関係者の意見、要望を対応を関係者の実施を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を	フ) * 題		
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応) では、関係者の意見、要望を対応を関係者の実施を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を	2   2   2   2   2   2   2   2   2   2	向性 1次評	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応) では、関係者の意見、要望を対応を関係者の実施を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を	大容       期限 平成     年     月       内容       期限 平成     年     月       内容     期限 平成     年     月       大容     財限 平成     年     月	向性 1次評価 支	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応(アクションの対応) では、関係者の意見、要望を対応を関係者の実施を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を対応を	大容         財限 平成       年       月         内容       財限 平成       年       月         内容       財限 平成       年       月         小容       財限 平成       年       月         小次       年       月       本       本         小水       年       月       本	向性 1次評価 支票:::持	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応 (アクショ 認識している。 間係者 市民, 関係者の 実力 第一章 見, 要望 (1) 実対応 (3) 実対応 (3) ます。 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、	フ)  東 題  名称  内容  期限 平成  年 月  内容  期限 平成  年 月  小容  朝限 平成  年 月  小容  れた  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向性   1次評価   1次評価   1次評価	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応 (アクショ 認識している。 間係者 市民, 関係者の 実力 第一章 見, 要望 (1) 実対応 (3) 実対応 (3) ます。 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、	大容         内容         期限 平成       年       月         内容         期限 平成       年       月         内容       期限 平成       年       月         小内容       域の方       拡大・チ         本の方       小ルパー派遣を利用している世帯数は少ないが、母子家庭等で家事や介護をすることが困難となり親族を頼ることのできない世帯にとっては、この制度以外に方法、改良       方法、改良         自性支援を受ける方法がない。       民間委託	向性 (1次) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応 (アクショ 認識している。 間係者 市民, 関係者の 実力 第一章 見, 要望 (1) 実対応 (3) 実対応 (3) ます。 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、	フ)  東 題  名称  内容  期限 平成  年 月  内容  期限 平成  年 月  小容  朝限 平成  年 月  小容  れた  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向性   1次評価   1次評価   1次評価	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応 (アクショ 認識している。 間係者 市民, 関係者の 実力 第一章 見, 要望 (1) 実対応 (3) 実対応 (3) ます。 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、	大容         内容         期限 平成       年       月         内容         期限 平成       年       月         内容       期限 平成       年       月         小内容       域の方       拡大・チ         本の方       小ルパー派遣を利用している世帯数は少ないが、母子家庭等で家事や介護をすることが困難となり親族を頼ることのできない世帯にとっては、この制度以外に方法、改良       方法、改良         自性支援を受ける方法がない。       民間委託	中性 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応 (アクショ 認識している。 間係者 市民, 関係者の 実力 第一章 見, 要望 (1) 実対応 (3) 実対応 (3) ます。 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	向性 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応 (アクショ 認識している。 間係者 市民, 関係者の 実力 第一章 見, 要望 (1) 実対応 (3) 実対応 (3) ます。 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、	プン)  東 題  名称  内容  朝限 平成  年  月  内容  朝限 平成  年  月  小次容  朝限 平成  年  月  へルパー派遣を利用している世帯数は少ないが,母子家庭等で家事や介護をする ことが困難となり親族を頼ることのできない世帯にとっては,この制度以外に 支援を受ける方法がない。 また,所得に応じた利用者負担を徴収して実施しており,現状の制度を維持して ゆく方向である。  第 法 強 統合/終期	向性 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 関の望   要 う 他で	参の対応 (アクショ を) で いる に で いる に で いる に で いる に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	プン	向性 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 関の望   要 う 他で	参の対応 (アクショ 認識している。 間係者 市民, 関係者の 実力 第一章 見, 要望 (1) 実対応 (3) 実対応 (3) ます。 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、 まず、	プン	向性 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	

( -	- 般	事	業)	事業	コ	- 1	2410	030					部	長	次	長	課	長
平月	戎. 1	5 年	F度	事	業	Ę	延長	保育事業										
	-70	- '	·~		-10													
1	車	瑽	和工品	要(ドゥ)														
					1) (	カ日根	2	健やかでぬくもり	)のある福祉社会	会づくり					保健福祉	·部		
			画		<del></del> 中	7 H 12	+	子どもたちの心と			会の実現		所	管 課	児童課	ш		ļ
			策		小		1	「エンゼルプラン	/」子育て支援(	の推進			所管	課長氏名	足立 宏	行		
体			系	f	細								記,	入 者 氏 名	濱西 恒	之		
事			業	期	-	目	平成	5年4月~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電	話 番 号	0797-38-	2045	内線	2547
	拠	<u>;</u>	法			,		市延長保育事業実	施要綱					施主体				
実			施	手			<u> </u>		一一一部委託	;	□ 全部委託			補助金		負担金		
委				託		71		外郭団体委託	名称	-n+88## <i>+</i>	・カンマクカナ			委託内容				
=		र्भार		•	±₽.T	#		形態の多様化等に	より、週吊保育	時間帝を	:超えて保育を	布望りる1	未護者	ヨに対 し美州	19 ව.			
事		業		の	概	要	É											
							4字	護者からの申請受	<b>付</b>									
事		業	į	Ø	現	壮		きたい決定	13									
•				ェー 実現のため				要と認めたときは	,午後6時から	午後7時	までを限度に	保育の実施	施					
				ひ実施内					,				_					
					指			用者数(人)(										
				結果指標	<u> </u>			13年度(実績)					平月	成16年度	,		7年度(	
_				(1)				1,250人	1,35		1,47			1,50			, 5 0 0	
	フト	ブ	·			位コスト		17.92%	18.4	7 %	19.9	2 %		20.2	) %	2	0.20	%
指			標				_	延日数	五世 4 4 左座	(中体)	□ 元	: / 中/丰 \	च	+ 1 6 左座	/ D +# \	<b>₩</b> # 1	7/10年/	口柵~
				結果指標		標値	+	13年度(実績) 9,580日	10,21		千成 I 5 年及		+1	<u> </u>			7年度( .,00	
				(2)		 位コスト		э, 300Д	10,2	гоц	11,9.	У/Ц		12,00	υц	1 2	, 0 0	ОП
2	重	丵	ᄩ	果(アウ)														
	<u> </u>	*			/5			/D ====================================	nt >									
				対		豸	通常	保育時間(午後 6	時)を超えて保	(育を希望	する児童							
事	<b>業</b> σ	D 目	的	対象力	バ	— 哮	対	象数 (a) 1	16人	受 益 数	(b)	I 16人		比 率 (b	÷ a) %		100%	)
対	象·	・意	、図															
				意			保護	者の勤務時間,通	動時間等生活実	態に合わ	)せた保育を行	う。						ļ
			!	(対象を主	二語	こして)												
大		き		な	目	Ď,	λEF	児童が時間内に安	心し. て保育所で	で生活がで	<b>*</b> ⇒ス							
^		2		<i>'</i> &	Н	и			<i>ЮОСМ</i> В М	- <del>-</del>	. C &.							
					指	標を	充足	率(%)										
					_			者数 / 対象者数 ×	1 0 0									
				指 標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ウト	トカ	厶		指	標値	1	100%	1 0 0	%	100	%		1009	6		100%	)
指			標		指	標名	3											
				最終成果	-				r=		1							
					年			13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
					指	標値		±0 ( ) ± 11± \										
± 1	=±	- <b>Δ</b>	#土 右	ひょう レンボロ	ᄀᆂ	z 車 Ti		設(公立・私立)	で美施									
μ.	至 口	עט נ	₹ <del>寸</del> ピ	色など補足	E 9	の事項	Į											
3	重	丵	舂.	活動配	<del>公</del> (	コスト	• )				1世帯当り(円)	372	住民	1人当り(円)	161	平成164	1.1 住民基	基本台帳
事	7	*	<u>只</u> 業	費		<u>コス  </u> 構成%		13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度		-	成 1 6 年度	<del></del>	1 122 10.1	1200	ETHI
-		ノ		件費		66.09	_	, · - 1 ~ ( , ( , ( , ) )	1720 - 172	10,281	1770 172	9,518			-			
		· 事	4	業費		34.0	_	3,384		4,860		4,908			5,880			
内	Ė	沢化	也部	門経費		0.0	%	0		0		0						
( Ŧ	円	) 源	<b>丸</b> 価	償却費		0.0	6	0		0		0			-			
		£	1	計		100.09	6	3,384		15,141		14,426			5,880			
		_ E	-	• 県		22.1	%	2,600		3,189		3,189			3,189			
財		原市		債 等	-													
( <del>T</del>	円	) 7		の他	_	28.9		3,607		4,142		4,175			4,300			
2.7		E+ 114	_	<b>以 財源</b>		49.09		-2,823		7,810		7,062			-1,609			
活	_	動贈		. 阳 旺 笙		24.5				0.75 2.00		0.65 2.00			-			
配(	ر ل	_		·臨時等	_	75.59	_	0.00		2.00		2.00			0.00			

評	<u>画 (フェクァ)</u> 価 視	点	1次評価	2 72 = 11/1番
計	1脚 1兒		八計1	2次計1曲
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	,	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	6
_	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	J	U
444	10557(2 - 1)			
性			_	
8点	社会環境変化(1~	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		内谷		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
		☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	7	4
効	成果の実績(2~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
ArL				
性	- 成果向上余地(1~	成果があがっていない場合		
4点	,	/ □ 成果向上策あり □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 他市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスパ(1~ 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い ☑ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	□ 対 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		
率			⊣ O ∣	-1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		-
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3 12(1 - 5)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コフ   当心ば FD / D / A	√ □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取組(1~	"		
	1			
平成	1 5 ~ 1 6 年 度 し た 改 善 内	□はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	B	В
実 施	した改善内	容。「「「「」」「「」」「「」」「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「		
[	多の対応 (フカション			
<sup>3</sup> <del>7</del> 1:	後の対応(アクション			
		************************************	= I — 欧7 <del>立</del> 上心	N THE
		就労形態の多様化により、保護者からの希望が多いが、長時間保育における児童の生活リズム等の健康配	に留意が	必要。
現在	認識している課		面に留意が	必要。
		題	同に留意が!	必要。
市民思	現仏名 市民 関係者の名	題 	面に留意が!	必要。
市民思	現仏名 市民 関係者の名	題 	に留意が	必要。
市民思	現仏名 市民 関係者の名	題 	に留意が	必要。
市民思		題 	同に留意が	必要。
市民思	原名 市民,関係者の名意見 意見 意見,要望内 対応内	題 称 容	可に留意が!	必要。
市民思	原係者 市民,関係者の名意見 意見,要望内 (1) 対応内	題 称 容	可に留意が!	必要。
市民思	原係者 市民,関係者の名意見 意見,要望内 (1) 対応内	題 称 容	で留意が	必要。
市民思	引係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期	題 称 容 マ R 平成 年 月	で留意が	必要。
市民,関からの要望	利係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期	題 称 容 マ R 平成 年 月	で留意が	必要。
市民,関からの要望	利係者 市民,関係者の名 意見 意見 等 見,要望内 対応内 実施期 デジャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	題 称 容 容 限 平成 年 月	で留意が	必要。
市民,関から望課題・要	<ul> <li>(1)</li> <li>(1)</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>(4)</li> <li>(5)</li> <li>(6)</li> <li>(7)</li> <li>(8)</li> <li>(1)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> </ul>	題 称 容 容 限 平成 年 月	で留意が	必要。
市民,関から望課題・要	引係者 意見 意見,要望内 (1) 対応内 実施期 対応内 実施期 対応内 実施期	題 称 容 容 限 平成 年 月	で留意が	必要。
市民,関から望課題・要	(3) 関係者の名 高見 意見,要望内 対応内 実施期 (3) 対応内	題	で留意が	必要。
市民,関から望課題・要	(3) 関係者の名 高見 意見,要望内 対応内 実施期 (3) 対応内	題 称 容 容 限 平成 年 月	で留意が!	必要。
市民、関から望課題・要へのご	(3) 関係者の名 市民,関係者の名 意見,要望内 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期	題	で留意が!	必要。
市民の要望課題・要ので	原子 (1) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (4) 対応内 (	題	で 留意が	必要。
市民の要望課題・要ので	(3) 関係者の名 市民,関係者の名 意見,要望内 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期	題	で 留意が	必要。
市民の要望課題・要ので	原子 (1) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (4) 対応内 (	題		
市民の要望課題・要ので	原子 (1) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (4) 対応内 (	題 称 容 容 程 平成 年 月 容 程 平成 年 月 容 程 平成 年 月 容 程 平成 年 月 一 会 年 日 中 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の	生 1次評価	
市民の要望課題・要ので	原子 (1) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (4) 対応内 (	題	生1次評価	
市民の望課題・要ので	原子 (1) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (4) 対応内 (	題 称 容 容 限 平成 年 月 空 限 平成 年 月 空 R 平成 年 月 空 R 平成 年 月 四 で R 平成 年 月 の で に R 平成 年 月 の で に R 平成 年 月 の で に R 平成 年 月 の で に R 平成 年 月 の で れ に R ア成 日 の に の た に R ア成 日 の た の た の た の た の た の た の た の た の た の	生 1次評価	
市か要課のの事の事のを改	根係者 意見, 要望内 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期 は考えられる のアイデア	題	生 1次評価	
市か要課のの事の事のを改	原子 (1) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (3) 対応内 (4) 対応内 (	題 称	生(次評価)	
市か要課のの事の事のを改	根係者 意見, 要望内 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期 は考えられる のアイデア	題 称	生(大評価)	
市か要課のの事の事のを改	根係者 意見, 要望内 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期 は考えられる のアイデア	題	生 1次評価	
市か要課のの事の事のを改	根係者 意見, 要望内 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期 は考えられる のアイデア	題 称	生 1次評価	
市か要課のの事の事のを改	根係者 意見, 要望内 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期 は考えられる のアイデア	題	生 1次評価	
市か要 課 へ そ改 平成 1	根係者 意見, 要望内 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 実施期 は考えられる のアイデア	題	生 1次評価	
市か要 課 へ そ改 平成 1	原子 (1) (1) (1) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	題	生 1次評価	

	- 114	- 111							_			1.,			
(一般	事業)	事業	J - F	2410	040				_	部	長	次	長	課	長
平成1	5年度	事	業名	障害	児保育事業										
1 事:	₩₩⋾	要(ドゥ)													
			りの日標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	<b>≙づくり</b>					保健福祉	·部		
総合			<del></del>	-	子どもたちの心と			会の実現		所 管	雪 課	児童課	. — .		
政策			<u>·</u> 小		「エンゼルプラン					所管課	長氏名	足立 宏	:行		
体	系		細							記入者	1 氏名	濱西 恒	之		
事	業	期	間	昭和	5 7 年 4 月 ~	;	経常臨時	☑ 経常 [	□臨時	電話	番号	0797-38-	2045	内線	2547
	法	令 · §	要綱 等	芦屋	市障害児保育事業第	実施要綱				実 施	主 体				
実	施	手		V		□ 一部委託		□ 全部委	託	☑ 補	助金		負担金		
委		託				名称				委託 委					
	NIIZ	_	int		所における集団保育			害児で,日々	?通所でき	る者を他	の幼児と	ともに保	育するこ	とにより	),
事	業	の	概 要		児の発達を支援し			町ナ仁ニ							
					児童の状況により 歳以上児は公立全(										
事	業	Ø	現 状		歳以工元は公立主 歳未満児は私立全(										
<del></del>		しり 実現のため			/	不月四 足臭	01(1	мицас							
		ひ実施内													
	3 1 2 2														
			指標 名	全市	保育所入所児童数										
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年	度(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
		(1)	指標 値	Į.	604人	614,	人	6 1 3	3人						
アウト	プット		単位コスト	_											
指	標		-		保育所入所障害児数									, .	
		結果指標		1	13年度(実績)		• •	平成 1 5 年	• •	平成 1	6年度(	•	平成 1 7	•	目標)
		(2)	指標値	_	1 1人	10人		1 1	人		14人			14人	
) 車:	₩ ct; E	果(アウ	単位コスト												
∠ <del>3</del>	未ルス	未(グラ)	rna)												
		対	象	1歳	6ヶ月以上で障害7	が中程度以下で	集団保育	が可能で,日	日々通所で	きる児童。	,				
事業の	目的	対象力	バー 率	対象	象数 (a)	1 4 人	受 益 数	(b)	14人	比	率 (b	÷ a) %	1	1 0 0 %	
対象·	意 図														
		意	叉	他の	児童との集団による	る保育を行うこ	とにより	,障害児の優	全な成長	発達を促	す。				
		(対象をヨ	主語にして)												
					10 <del>2</del> 1 - 4 - 10 - 1 - 1	- /			- D+ A L. 7V.	+ /* >					
大	ਣੇ	な	目 的	他の	児童との集団による	6保育を行つこ	とにより	,両者か共に	上健全な発	達か凶ら:	กอ.				
			<b>指 煙 夕</b>	暗宝	児保育充足率(%)	) (かっこ内	は待機児	<b>童数)</b>							
		中間成果			障害児数/保育を処				と と と と と と と と と と と と と と と と と と と						
					13年度(実績)					平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
アウト	カム		指標値	7 8	3.6%(3人)	66.6%(	5人)	78.6%	(3人)	9 3	. 3%(	1人)	93.	3%(	人)
指	標		指標 名	í											
			考え方・式												
		指 標	-		13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年	度(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
			指標値	1											
本层士	n#±£	み <i>ナ</i> > ビ 対ボ □	足する事項												
一座山	の行と	らなて押ん	とりの事 塩	ŧ.											
3 事:	業費,	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円	1 046	住民1人	当り(円)	452	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事	<del>水页</del> 業	費			13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成 1 5 年			6 年度 (		, , , ,		
	人	件 費			20,268		27,025		40,535			-			
	事	業費	0.0%	0	0		1,815		0			1,659			
内 訪	化 部	門 経 費	0.0%	0	0		0		0			-			
(千円	) 減 価	貸却費	0.0%	0	0		0		0			-			
	合	計		1	20,268		28,840		40,535			1,659			
n+ \-	国	· 県		_	2,993		1,828		0			0			
	する。	債 等		_	0		0		0			0			
(千円		の と 財源		1	17,275		<b>27,012</b>		40,535			1,659			
活 重	力職	<b>以                                    </b>	100.0%	1	3.00		4.00		6.10						
		·臨時等		_	0.00		0.00		0.00			-			
(人		Ħ	1	1	3.00		4.00		6.10			0.00			ļ

	曲(チェック)				•	
評	価 視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることが	「できない		
	目的妥当性(2~	2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くな			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可			
-	→					
妥	市関与(2~2)		□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			□ いずれにも該当しない		_	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業	美ではない	5	4
	市民ニーズ(2~	1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,まだ	たは未把握		_
性			☑ 数字で把握している 子育て支援に関するアンケート □	〕未把握		
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見	直しが必要		
Omi	社会環境変化(1-	~ 1)	内容   待機児童増加への対応が必要	E011 20 X		
	優先性,緊急性(	1\	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
				7.4°/П   1		
<del>_</del>	対象カバー率(1~	~ 1)				
有	受益者(1~ 1)		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部	部に限定		
効	成果の実績(2~	1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		1	4
7/3	7%スペック人は気(こ	.,	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっている	と言えない	•	_
性	世田白 1	4)	成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余地(1-	~ 1)	□ 成果向上策あり □	□ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない	1		
効	単位コスト(1~	1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
~,,				v 1		
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(0~	1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	, , , , ,	,	→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴	数収可能 )	1	-2
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•	
	手段(1~ 3)		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき			
	于权(1~ 3)		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能	もである		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能			
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
O/M	コスト削減取組(1	~ 1)	→ 内容			
"	4 5 4 6 4	<del></del>	7. ±			
平 成	15~16年	及 に	<sub>里類</sub>	総合	Λ	R
平 成実 施	1 5 ~ 1 6 年 した改善	皮に内容	果題   内容	総合評価	Α	В
			果題   内容 	総合評価	Α	В
	」。~ 」。年 し た 改 善 <b>多の対応(アクシ</b>	′ョン)		総合評価	Α	В
5 今征	<b>多の対応(アクシ</b>	/ョン)   		総合 評価 	Α	В
5 今征	<b>多の対応(アクシ</b>	/ョン)   		総合 評価 ———	Α	В
5 今征現在	<u> </u>	/ョン) 課 題		総合 評価 ———	Α	В
5 今征 現 在 記 市民,関	<u> </u>	/ョン) 課 題		総合 評価 ———	Α	В
5 今征現在	後の対応(アクシ 認識している 原係者市民,関係者	課題		総合 評価	Α	В
5 今征 現 在 記 市民,関	参の対応(アクシ 認識している 関係者市民,関係者 意見 音目 要は	課題		総合評価	Α	В
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	参の対応(アクシ 認識している 間係者市民,関係者 意見 等	アョン) 課題の名称 習内容		総合評価	A	В
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	後の対応(アクシ 認識している 原係者市民,関係者 意見 等	アョン) 課題の名称 習内容		総合評価	A	В
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	後の対応(アクシ 認識している 原係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対/	(ヨン) 課題の名称 型内容	国際	総合評価	A	В
5 今征現 在 に 市民,関か 要 望	参の対応(アクシ 認識している 係者市民,関係者 意見 等 意見,要望 (1) 実	アョン) 課題の名称 習内容	国際	総合評価	A	В
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	参の対応(アクシ 認識している 関係者市民,関係者 意見,要望 等 対加 実理等 対加	(ヨン) 課題の名称 型内容	国際	総合評価	A	В
5 今征 現 在 展, 関の 望 課題・要	参の対応(アクシ 認識している 関係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が 実理等	(ヨン) 課題の名称容の内容に応期限である。 これでは、	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 1 5 年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今征現 在 に 市民,関か 要 望	参の対応(アクシ 認識している 関係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が 実理等	(ヨン) 課題 の名称 容 応内容 施期限	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 1 5 年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今征 現 在 展, 関の 望 課題・要	後の対応(アクシ 認識している 関係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 実理等 対応 実理等	(ヨン) 課題の名称容の内内 内内 限応 応期限	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 1 5 年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今征 現 在 展, 関の 望 課題・要	後の対応(アクシ 認識している 関係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 実理等 対応 実理等	(ヨン) 課題の名称容の内容に応期限である。 これでは、	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 1 5 年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今征 現 在 展, 関の 望 課題・要	を	(ヨン) 課題の名称容の内内 内内 限応 応期限	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 15年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今征 現 在 展, 関の 望 課題・要	を	/ 3 課 名 容 応 施 応 施 応 施 応	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 15年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今在 課題・要 課題・の 3	を	/ 3 課 名 容 応 施 応 施 応 施 応	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 15年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今在 課 課 へ で 他	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対が 実が 対応 (3) 実対が 実が ながった。	/ 3 課 名 容 応 施 応 施 応 施 応	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成 15年度から補助金が交付税措置に変更	総合評価	A	В
5 今在 課 課 へ で 他	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対が 実が 対応 (3)	/ 3 課 名 容 応 施 応 施 応 施 応	本産市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成   17   年   4   月   月   月   日   日   日   日   日   日   日	評価		
5 今在 課 課 へ で 他	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対が 実が 対応 (3) 実対が 実が ながった。	ンコ課ののである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	本産市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   平成   17   年   4   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	後の方向性		
5 今在 課 課 へ で 他	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対が 実が 対応 (3) 実対が 実が ながった。	ンコ課ののである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	空屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。 平成 15年度から補助金が交付税措置に変更 事業内容に対する協議を行っている。 平成 17 年 4 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	後の方方向性実	1次評価	
5 今在 課 課 へ で 他	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対が 実が 対応 (3) 実対が 実が ながった。	ンコ課ののである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、		後の方充を持て、	1次評価	
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,関係者 意見,要望 (1) 対が 実が (3) 実が またる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ソコ 課名容容 応施応施応施 応施応施	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   下成 1 5 年度から補助金が交付税措置に変更	後大状法と	1次評価	
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対が 実が 対応 (3) 実対が 実が ながった。	ソコ 課名容容 応施応施応施 応施応施		後大状法のの・維改氏の・維改氏の・一般のの・一般のの・一般のの・一般のでは、これので	1次評価	
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,関係者 意見,要望 (1) 対が 実が (3) 実が またる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ソコ 課名容容 応施応施応施 応施応施	本屋市障害児保育(統合保育)の有り方を明確にする為の要綱改正。   下成 1 5 年度から補助金が交付税措置に変更	後大状法と	1次評価	
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,関係者 意見,要望 (1) 対が 実が (3) 実が またる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ソコ 課名容容 応施応施応施 応施応施		後大状法のの・維改氏の・維改氏の・一般のの・一般のの・一般のの・一般のでは、これので	1次評価	
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る ら る る る る る る る る る る る る る	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,関係者 意見,要望 (1) 対が 実が (3) 実が またる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ソコ 課名容容 応施応施応施 応施応施	国際	後 大 状 法 間 で 性 実 持 善 等 小	1次評価	
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る ら る る る る る る る る る る る る る	後の対応(アクシ 認識している 原係者 意見,関係者 意見,要望 (1) 対が 実が (3) 実が またる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ソコ 課名容容 応施応施応施 応施応施	国際	後 大 状 法 間 の・ 維 改 託 の 方 充 維 改 託 の お か 設 に い 段 が に い た に ま 持 善 等 小 定	1次評価	
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     年 限の望     ・要     他     1	参の対応(アクシ 認識している 情係者 意見, 要望 (1) 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 で (3) 実 で (3) ま で (4) で (5)	/ 3 課 の 型 応 施 応 施 応 施 応 施 方 知 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 単 作	国際	後 大 状 法 間 の・ 維 改 託 の 方 充 維 改 託 の お か 設 に い 段 が に い た に ま 持 善 等 小 定	1次評価	
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     年 限の望     ・要     他     1	参の対応(アクシ 認識している 情係者 意見, 要望 (1) 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 で (3) 実 で (3) ま で (4) で (5)	/ 3 課 の 型 応 施 応 施 応 施 応 施 方 知 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 単 作		後 大 状 法 間 の・ 維 改 託 の 方 充 維 改 託 の お か 設 に い 段 が に い た に ま 持 善 等 小 定	1次評価	

( -	- 般	事業	業)	事業	コ	- F	2410	050					部	長	次	長	課	長
平月	或 1	5年	達	事	業	名	一時	保育事業										
							_											
1	重	<b>举</b> t	四耳	要(ドゥ)											<u> </u>			
					1) (	カ目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	゚ゔ゙゚゙ゔ゙゚ゔ゙゚゚゚゚					保健福祉	部		
		計	-		中 中	<i>&gt;</i>   130		子どもたちの心と			会の実現		所	管 課	児童課	.—.		
政	策	施	策		小		1	「エンゼルプラン	」子育て支援の	D推進			所管	課長氏名		行		
体			系	1	細								記入	者氏名	濱西 恒	之		
事			業	期	]	間	平成	4年4月~		経常臨時	☑ 経常 [	□臨時	電言	括番号	0797-38-	2045	内線	2547
	拠	且法	去	令 · 引	要	綱等	芦屋	市一時的保育事業第	実施要綱				実が	色 主 体				
実			施	手	Ė			直営	□ 一部委託		☑ 全部委託			補助金		負担金		
委				託		先			名称		=== /Nr - + 11			委託内容				
_		МĘ			107	_		者の急病や断続的	助務,短時間動	務等の勤	務形態の多材	既化に伴う-	一時的	保育の需用	記対し利	使の向上	を図る。	•
事		業		の	概	要												
							±E.	定型保育サービス	保護者の労	(新) 1943	訓練 社学学	こう といったに	カーギ	+3侭夸か	が形体的レ	かる旧名	ミニかって	Z
事		業		Ø	現	状		た望休育り一しス ービスで週3日を降						いる体目が	·阿加加口70	はる元里	EICX19	<b>ે</b>
<del></del>				しり 『現のため		171		急保育サービス	-					婚葬契等な	- 会的にや	かを得た	いい児童	<del>-</del>
				び実施内				するサービスで月				-		-1 57 /0 13	LAINC	0 6 10.0	** .70=	,
								週月曜日から土曜[						保育園)で	変施			
					指	標名	延利	用者数										
				結果指標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年原	度(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(1)	指	標値		2,033人	1,73	1人	1,24	4 1人		1,72	3人	1	, 728	人
ア	ナト	プッ	ット		_	立コスト												
指			標			標名				/= .	- n t		I — "		. — . — .			
				結果指標				13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年月	度(実績)	半成	16年度	(目標)	半成 1	7年度(	目標)
				(2)	-	標値												
າ	車	₩.	at E	果(アウ)		<u>位コスト</u> ケハ												
	<del>7</del>	来/		- ,	· /J .													
				対		象	0歳	から就学前の市内I	こ居住する児童	(家庭に	おける保育が	「断続的 , !	緊急一	時的に困難	きとなる児	童。)		
			-	対 象 カ	バ	- 率	対象	象数 (a) 1,	241人	受 益 数	(b) 1	, 241人		北 率 (b	÷ a) %		100%	l
対	象	・意		_														
				意	_ + <del>_</del> ,		一時	的に保育する。										
				(対象を3	上語	こして)												
大		き		な	目	於	存罐:	者の急病や断続的勤	劫務 短時閉勒	発等の對	発形能の名詞	似に伴う-		保育の重田	1. 1. <del>1. (</del> 1. El	価の向!	- 友 図 ス	
^		-		'Φ	Н	нэ	小岐		EU177 , MARI 101 EU	1777 <del>CT</del> Vノ 37.	<b>バカハンは、マンシ</b> が	KIDICIT J	нуцу	水自り而れ	1 (X ) (M)	文のココエ	- 6 12 0	•
					指	標名	延利	用者率(%)										
								用者 / 延入所者数:	× 1 0 0									
				指 標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年原	度(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ウト	トカ	᠘			標値		29.15%	23.6	8 %	16.7	7 1 %		25%			2 5 %	
指			標		_	標名												
				最終成果				4.2年度(中华)	五世 4 4 左座	/ ch/s >	TH 4 5 F F	5 / D/s >	I <del></del>	4.6.左座	/ D += \	TT = 1 4	7.左连 /	
					年			13年度(実績)	平成 1 4 年度	( 美額 )	半成 1 5 年8	夏(美額)	平以	16年度	(日標)	平成1	7年度(	日悰)
					扫	標値												
古」	量市	ī ທ ‡	持仓	色など補足	マす	る事項												
, ,	± '  -	, 0, 1	1.5 C	7.G C III X		O												
3	事	業	費・	活動配	分(	コスト	)				1世帯当り(円)	185	住民 1	人当り(円)	80	平成16.4	.1 住民基	基本台帳
事			業	費	· `	構成%	<u> </u>	13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成 1 5 年月	度(決算)	平成	16年度	(予算)			
		人		件 費		6.7%		0		0		478			-			
		事	Į	業費		93.3%	)	6,696		6,696		6,696			6,696			
内				門経費	-	0.0%		0		0		0			-			
( <del>T</del>	円	· -		償却費	+	0.0%		0		0		0			-			
		合		計	+	100.0%	)	6,696		6,696		7,174			6,696			
D-1		国	•	- 県		25.6%		2,200		2,116		1,836						
財		原する		債 (5)		0.0%	_	3,050		2,580		1,836			2,592			
( +	H	) そ ー		の 役 財源	+	25.6% <b>48.8%</b>		1,446		2,000		3,502			4,104			
活	ı	動職		<b>X N3 A</b> 不 員	-	100.0%	_	0.00		0.00		0.05			-7, 10-7			
記	_			·臨時等	-	0.0%		0.00		0.00		0.00			-			
				#	+	100.0%		0.00		0.00		0.05			0.00			

	囲(テェック)			
評	価視	点 評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	D# 7 1/1/1/2 2	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
	±⊞ ⊢ (0 0)			
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		_
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	□ 5	5
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		☑ 数字で把握している 子育て支援に関するアンケート □ 未把握		
8点		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している ☑ 社会環境の変化にあわせた目直しが必要		
	社会環境変化(1~			
	優先性,緊急性(1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
	対象カバー率(1~			
有	受益者(1~ 1)	□ 対象がべ 単は同じ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_	
H	文益有(1~ 1)			
効	成果の実績(2~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	3	3
	, ,	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		
性	- 成果向上余地(1~	成果があがっていない場合		
4点	- 成本同工小吃(1	<sup>7</sup> │ □ 成果向上策あり □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 他市 □ 比較できる団体はない		
	W 42 1 (4 4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるへき事業ではない □ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )	_	_
率			<b>⊣ -1</b>	-2
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	_
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~	1) コスト削減の取り組みを行っている		
		' │		
平成	1 5 ~ 1 6 年 度 し た 改 善 内	改善改善とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		В
美 虺		容。		
5 今往	* - \   <del>-</del>			
	多のすはい アクション			
7,	後の対応(アクション			
	·	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。		
	·			
現在	認識している課	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用)		
現在 記市民,関	認識している課	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用)		
現在 前民,関からの	認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 音見 要望内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称		
現在 記市民,関	認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 音見 要望内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称		
現在 前民,関からの	認識している課 間係者 市民,関係者の名 意見 意見 等 見 乗望内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称		
現在 前民,関からの	認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 音見 要望内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称		
現在 前民,関からの	認識している課 原名 意見 意見,要望内 (1) 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称容		
現在 記市民,関から 望	認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 等 見,要望内 対応内 実施期	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 容 平成 年 月		
現在 前民,関からの	認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 等 意見,要望内 対応内 実施期 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 容 平成 年 月		
現在に、関か要課題・要	認識 している課 関係者 市民,関係者の名 意見 等 意見,要望内 対応内 実施期 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 図 平成 年 月		
現在 記市民,関から 望	認識 している課 関係者 市民,関係者の名 意見 等 意見,要望内 対応内 実施期 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 容 平成 年 月		
現在に、関か要課題・要	認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見,要望内 (1) 実施期 対応内 実施期 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 容 限 平成 年 月		
現在に、関か要課題・要	認識している課 関係者 意見 意見,要望内 (1) 実施期 (2) 対応内 実施期 (3)	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容		
現在に、関か要課題・要	認識している課 関係者 意見 意見,要望内 (1) 実施期 (2) 対応内 実施期 (3)	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 容 限 平成 年 月		
現在関の望課ので	認識している課 (1) (1) (3) 認識している課 (1) (1) (2) (3) (3) (3)	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容		
現在関の望課ののである。	認識している課 原係者 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容		
現在関の望課ののである。	認識している課 (1) (1) (3) 認識している課 (1) (1) (2) (3) (3) (3)	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容		
現在関の望課ののである。	認識している課 原係者 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容	性1次評価	2次評価
現在関の望課ののである。	認識している課 原係者 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 容 限 平成 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 月 8 年 8 日 日 8 年 8 日 日 8 年 8 日 日 8 日 8 日 8		2次評価
現在関の望課ののである。	認識している課 原係者 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称 容 容 限 平成 年 月 容 限 平成 年 月 容 限 平成 年 月 容 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実	2次評価
現在関の望課ののである。	認識している課 原係者 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称容容限での関連を表現である。 では、「中国のでは、	実 持	2次評価
現市か要課へそ改作に関の望まり、の善の善し、のものを	認識 している課 (1) (1) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用)  称 容 で で で で で で で で で で で で で で で で で	実 持 善	2次評価
現市か要課へそ改作に関の望まり、の善の善し、のものを	認識している課 原係者 意見, 要望内 (1) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内 実施期 (3) 対応内	□ 広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 ・	実 持 善 等	2次評価
現市か要課へそ改作に関の望まり、の善の善し、のものを	認識 している課 (1) (1) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	<ul> <li>広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。</li> <li>題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用)</li> <li>称</li> <li>容</li> <li>限 平成 年 月</li> <li>容</li> <li>限 平成 年 月</li> <li>容</li> <li>限 平成 年 月</li> <li>平成 7年度に新設される保育所において一定の協議を行う。</li> <li>拡 大・充現 状 維 方 法 改 民間委託 縮</li> </ul>	実 持 善 等 小	2次評価
現市か要課へそ改作に関の望まり、の善の善し、のものを	認識 している課 (1) (1) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。   題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用)   称	実持 善等 小定	2次評価
現市か要課へそ改作に関の望まり、の善の善し、のものを	認識 している課 (1) (1) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	<ul> <li>広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。</li> <li>題時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用)</li> <li>称</li> <li>容</li> <li>限 平成 年 月</li> <li>容</li> <li>限 平成 年 月</li> <li>容</li> <li>限 平成 年 月</li> <li>平成 7年度に新設される保育所において一定の協議を行う。</li> <li>拡 大・充現 状 維 方 法 改 民間委託 縮</li> </ul>	実持 善等 小定	2次評価
現 市か要 課 へ そ改 平 在 民 ら 題 の の善 成 1	認識 している課 原係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内 実対応期 (3) 実対応期 (3) まきえイイデア	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称	実持 善等 小定	2次評価
現 市か要 課 へ そ改 平 在 民 ら 題 の の善 成 1	認識 している課 (1) (1) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (8) (1) (1) (2) (3) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	広報での周知の徹底と実施箇所の増設が必要。 題 時代に即応した一時的保育の実施(私的理由等による利用) 称	実持 善等 小定	2次評価

( -	般	事業)	事業	É	1 -	7,	24100	080				]	部	長	次	長	課	長
平F	<del>1</del> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5年度	車	業	ŧ	夕	保育	所の運営及び維持 <sup>・</sup>	管理業務									
Τ.	, X	J + 12	<b>.</b>	*	•	П	<b>小</b> 月	州の建古及り続い	日生未切									
			要(ド:															
				ゔくじ	) の [	目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	会づくり			所	管 課	保健福祉	:部		
		計画		中			4	子どもたちの心と			会の実現				児童課			
政	策	施策		小			1	「エンゼルプラン	′」子育て支援(	の推進				課長氏名				
体		系		細	1									人 者 氏 名				
事		業		期				27年8月~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時		話 番 号		2945	内線	2547
	拠	法	令 '	要	綱			福祉法,芦屋市保	育の実施に関す	する条例				施主体				
実		施		手			7		────────────────	ŧ	□ 全部委託			補助金		負担金		
委			託					外郭団体委託	名称	• 10 <del>*</del> 1.	<b>&gt;</b> /□ <del></del>			委託内容				
		NII/	_					者の労働又は疾病										
事		業	の	相	既	安	保負	所において保育す	ることにより,	,保護者か	安心して働く	ことが出	米,组	三古状況が改	をされる	•		
								W-1877	/D <del>-&gt;-</del>									
=		गार	•	т.	_	ALD.		施場所 市内6年										
事		業	の		見		・定			T/4 C 0+								
			実現の抗		-			育時間 午前 7										
		丁-F艾.	及び実施	四门名	⇒		- 况	童の対象年齢 01	吸かり 似子削る	K (								
				+1	날 #표	57	λFF	児童数(毎年度末	祖在の旧音粉 /	) 亚武 1	3午庁を甘淮	<b>レ</b> 1.ア ( )	0/6 \					
			結果指	_				13年度(実績)						成16年度	(日煙)	亚成 1	7年度(	日煙)
				-	<u>+</u> 旨標			160人(100%)	506人(		503人(1		_	<u> </u>			<del>/ 平及(</del> 8人(114	
ァィ	<b>カト</b>	プット			单位二			F 0 0 X(100%)	300%(	(110%)	3 0 3 7 (1	103.5%)	<u> </u>	7 2 0 7 (11	7.0%)	3 2	0 ) ( 1 1 4	.0/0)
指	,	クノー標	_				定員	に対する入所児童	L の割合 ( λ 所!!	見竜数/定	<u> </u>  }		l .					
10		าส	結果指	_				13年度(実績)				(宝績)	平F	成16年度	(日標)	平成 1	7年度(	日標)
			(2)		旨標	_		94%	105		105		1 /-	1109	• •		110%	H 13. /
			(2)		単位コ			3 . 70		,,,		,,,						
2	事	業成.	<u>-</u> 果(ア						l				1					
_		<i>&gt;</i>   <i>&lt;</i>			<u></u>	,	/n			- 10								
			対			冢	保負	所の施設管理及び <sup>・</sup>	それを利用する	5児菫								
事	業σ	目的	対象	力 .	バー	- 率	対 象	è数 (a) 6	84人	受 益 数	( (b)	03人		比 率 (b	÷ a) %	7	3.5%	ó
対:	象·	意 図									-							
			意			図	親が	勤労又は疾病等に	より保育ができ	きない場合	に , 安心して	預けられる	るよう	な施設の供	ț給と保育	の実現を	きする。	
			(対象	を主	語にし	(ブ												
大		き	な	E	∄	的	保育	に欠ける児童を保	育所が預かるこ	ことにより	、保護者の生	活の安定の	と , 뜻	記童の心身の	)健全な育	成を図る	5.	
				_				児童数(人)										
								労及び保育所の限			I —		-					
			指	標白	•		平成	13年度(実績)			平成15年度		平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
	ウト	カム			旨標			0人	2 2 ,	<u>۸</u>	3 4 ,	٨						
指		標			旨 標													
			最終成				π+	1.2年度/南塘、	亚出 4 4 年 🕏	F / chuit >	亚出 4 5 左	: / 🖘 /# N	<del>,,,</del> -	# 1 C 左 安	/ D +#= \	π≓⁴	7年安 /	о <del>іт</del> х
			指	標生			平成	13年度(実績)	半成   4 年度	と(美額)	十成   5 年度	(美額)	平):	成16年度 -	(日標)	十九八	7年度(	日標)
				Ŧ	旨 標		但女	土の配置基準が国	甘淮にレベテロ	カマルムマ	<u> </u>							
ᆇ	<b>-</b> +	ω#±.	タナッピ:	# <b>-</b>	<del></del>						· •							
P 1	全 巾	O) 村	巴なて1	備疋	୨ ଚ			料が国基準に比べ 児童数1人当り月	•			) <del>-</del> 1 \ \	1 6		о пп / 1			
2	車	光弗	八千五十	ボコノヽ	\/ ¬		<b>八四</b> :	元里致 「人ヨリ月	ヨスト(事実	道÷(八)						₩	14 伏兄甘	★△₩
事	<b>尹</b>	<u>具果</u> 業	·活動				) V/ ct:	1 2 年度 / 油管 \	亚代 1 4 年度	F(油質)	1世帯当り(円) 平成15年度	1		人当り(円)   <b>戊16年度</b>		十八八 10.4	1.1 住民基	外口作
<b>尹</b>			<i>II</i> +	費費	構成	_	十八	13年度(決算) 893,996	十八 1 4 午及	905,612	干成 1 3 牛皮	868,342	+7.	以10午反	( ]′异 /			
		事	<u>件</u> 業	費		9.5% 9.1%		80,298		85,360		87,852			83,112			
内	±ı		<u>来</u> 阝門 経			9.1/0		00,290		03,300		07,002			00,112			
			5 [] 注 5 償 却			1.5%		18,140		18,140		14,324						
( [	13	合	ᄥᅝᅜ	計		0.0%		992,434	1	1,009,112		970,518			83,112			
		国		県		5.5%		151,188		153,049		150,331			00,112			
財	;JE	市		等	<u>'</u>	J.U/0		.31,100				,						
	<i>"</i> - 円		の	他	1	4.6%		150,199		150,750		142,072			166,181			
, 1	, ,		般財			9.9%		691,047		705,313		678,115			-83,069			
活	重	間職		員		1.7%		98.25		96.25		93.80			-			
配配			:・臨時			8.3%		42.40		46.48		21.08			-			
(				±+		O 0%		140 65		142 73		114 88			0.00	1		

4 評1 評	<u>曲(チェック)</u> 価	視点	評価チェックリスト	1;	次評価	2次評価
	目的妥当性		<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>☑ 事業の目的は一つに絞ることができな</li><li>☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い</li><li>☑ 貢献度が不明確、または高くない</li></ul>	261		
妥	市関与(2~	2)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能であ □ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない	58		
当	市民ニーズ	(2 ~ 1)	<ul> <li>□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li> <li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業ではた</li> <li>□ ニーズが高いとは言えない,または未</li> <li>□ 数字で把握している 待機児童数34人,子育て支援アンケート</li> <li>□ 未把</li> </ul>	把握	1	3
性 8点		化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している ☑ 社会環境の変化にあわせた見直しが 内容 入所希望者の増加、待機児童の解消			
	優先性,緊		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
有	対象カバー 受益者(1~		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限			
P			<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>			
効	成果の実績	į(2 ~ 1)	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	ない	-1	3
性			成果があがっていない場合	-76.01		
4点	- 成果向上余	:地(1~ 1)	□ 成果向上策あり   待機児童に対応した入所円滑化   □ 特に	こなし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	<b>労/</b> 会コフし//	4 4\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(	1~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由配置基準が他市より多いため人件費が高い			
	受益者負担	1(0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又皿日只15	<u> </u>	L→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	能 )	-2	-3
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			)
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が			
	3	-,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	3		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減耳	双組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
			内容			
平 成実 施	1 5 ~ 1 6 した改	毎 度 に 善 内 容	適正な保育料の徴収 課題 内容 に対しております。 は、 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 は、 のでである。 のでする。 のでする。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです	総合 評価	D	В
5 今1	<b>多の対応(ア</b>	7クション)				
		,	行政コストの削減(保育士の配置基準)			
			民間活力の導入による定員の増 公立保育所の役割			
	係者 市民,関	係者の名称				
からの 要 望		要望内容	保育所の待機児童の解消			
	(1)	対応内容	保育士の配置基準の見直し			
		実施期限	平成年月			
課題·要	望等	対応内容	民間保育所(110人)を開設予定			
へ の i	(2)					
( 0 )	און ניא	実施期限	平成 17 年 4 月			
	(3)	対応内容				
	(3)	実施期限	平成年			
	I	705701 K				
その他	考えられる	3				
改善(	カァイデ:	7				
			今後の	方向性 17	次評価	2次評価
			公立保育所の役割を認識し、保育士の配置基準の見直しや民間活力の導入による 拡 大・	充 実		
				維持		
			19年度に幼稚園の廃止に伴い、跡地に保育所の設置の検討を行う。 方法	改 善		
平成 1	7~19年度	その方 向性	保育料の年毎の見直しを行う。 民間 委	話 等		
			縮	小		
			統合/終			
				休 止		
	:					
2 次 評	平価 委 員 会	ミコメント				

( —	・般■	事業)	事業	コ	- F	2410 <sup>-</sup>	190				部 長	次	長	課	長
平月	龙 1 5	5年度	事	業	名	交诵:	遺児就学激励金								
' '-	~	- 1 /2	<b>J</b>			~~.	ESOUTH S MINISTER								
4	<b>=</b> 3	TT TO 1 :	<del></del> / l* . \												
			要(ドゥ)		~ ¬ +=	_	(ない カマサノナ 12	のナス短がかるべくの			ı	/ロ //キャラ・・	÷r		
				-	カ 日 標			のある福祉社会づくり	<b>Д</b>		所 管 課	保健福祉	部		
		計画施策		中 小				体を豊かにはぐくむ社 」子育て支援の推進	云の美境		所管課長氏名	児童課	16=		
	來			細		1	エンセルノフノ	」丁月で又扱い推進			記入者氏名				
体 事		系業	ļ ,		胆	四紙口	 4 8年4月~	<b>经</b> 经	☑経常□	哈吽	電話番号			内線	2544
	±bn	<del>素</del> 法								-nn •	実施主体		2045	门級	2344
実	اللا	施	=			<i>-1</i> <u>∓</u>		□ 一部委託	□ 全部委託				負担金		
委		שונו	託					名称			量 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		只正亚		
_			#0				刀和四件女儿	H101							
事		業	Ø	概	要	· 就:	学激励金の支給(/	小・中学生:年額60,00	0円(月額5,000	)円) . 高	等学校生:年額 <sup>2</sup>	120.000円	(月額1	0.000円)	)
				1-70	_	""	3 13/13/3 == 2 2 13/13	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	-,3 (,3 дл., ,	, , ,	75 7 12 7 1 12	,,	( / J HA	-,,	,
事		業	の	現	状	· 小:	学生への支給:(1	人)60,000円							
		目的	実現のため	かの		• 中:	学生への支給:該	当なし							
		手段	及び実施の	内容		・高	等学校生への支給	: (1人)120,000円							
				指	標名	受給	者数								
			結果指標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指	標値		4人	2人	2人		3人			3人	
アワ	ナト	プット		単位	位コスト			180千円/人	90千円/	'人	60千円/	人			
指		標		指	標名										
			結果指標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指	標値										
					位コスト										
2	事	業成.	果(アウ	<u>卜力.</u>	ム)										
			対		象	自動	車等の運行によっ <sup>-</sup>	て生じた交通上の事故に	こより保護者をタ	失った交ù	通遺児(小・中学	生,高等	学校生)	)	
<b>=</b> 3	44 A		<u> </u>	- 11%		<b>ع</b> يد	5 ¥5 / \	177 14 H	÷ (1)	2.1	116 = # 11	) O/			
		日 的 意 図		) /\	<b>一</b> 率	刈	t 数 (a)	受 益 数	X (D)	2人	比 率 (b	÷ a) %			
נא :	<b>∌</b> K '	思凶	l		NY	. 42	这的か古怪を行う:	ことにより,交通遺児を	に激励する						
			怠 (対象を	士≐五□		* #至	月时4又接で11つ0	- こにより,文世退元で	上放1別9つ。						
			(X)3K.C.	上四	(C (C)										
大		き	な	目	的	・ 子	どもが健やかに育ら	成される環境をつくる。							
		_		-	н.,	,		20 10 0 AR 71 C 2 1 0 8							
				指	煙 名	受給	率(%)								
			中間成果				者数 / 申請者数 ×	1 0 0							
				年				平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア・	ウト	カム		_	標値		100%	100%	1 0 0		1 0 0 9			100%	,
指		標			標名				•		•				
			最終成果	_											
			指 標	年	度	平成	1 3年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指	標値										
									. <u></u>						
芦属	屋市	の特色	色など補	足す	る事項										
	_										T	ı			
	事		活動配						1世帯当り(円)		住民1人当り(円)		平成16.4	1.1 住民基	本台帳
事		業	費		構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度	(予算)			
		스	件費	_					<u> </u>			-			
		事	業費		100.0%			360		180		180			
内			門経費	+								-			
( +	一円 )		貸却費					200		400		- 400			
		合	Ť.	-	100.0%		0	360		180		180			
в→	217	国	· 県						<del> </del>						
	源 · 円)		- 41												
( +	H ,		の 他 設財調		100.0%		0	360		180		180			
活	話	聞		+	100.0%		U	300		100		100			
加配			· 臨時等	_					<del> </del>			_			
AC (			中四时元	_			0.00	0.00		0.00		0.00			

評	曲(チェック)			
	価 視 現	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
107	+⊞ ⊢ (0 0)			
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		☑ いずれにも該当しない		4
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	□ 3	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		☑ 数字で把握している □ 未把握		
8点	*1 A TIME ** /1.//	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変化(1~1)	内容		
		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 対象がが、単は同い □ 他団体と同程度 □ 他団体との程度 □ 他団体との形式 □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
H	文価有(1~ 1)			
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	3
	,	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		0
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	- 成来问工小吃(1 1)	→ □ 成果向上策あり □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	W 45 = <b>-</b> 1 44 43	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~1)	□ 見担を水めるととかできる事業である □ 見担を水めるべき事業ではない □ 銀収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )		_
率			<b>⊣ -</b> 31	-3
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	312(. 0)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コフ L 当心成 HD 4D /4 4	、 □ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
	コスト削減取組(1~ 1	/		
	I .			
平成	15~16年度  した改善内名	○は課題	B	В
美 肔	しに改善内を	内容   内容   評価		
5 全省	<b>麦の対応(アクション)</b>			
J / 15	× () / () / /   / / / / / / / / / / / / / / / /			
IB <del>/-</del> ≐				
	≒刃 ≐並 I ア I N Z ≐田 E	ā		
現 住 i	認識している課題	夏		
市民,関	関係者 市民 , 関係者の名称			
市民 , 関 からの	間係者 市民 , 関係者の名称	尔		
市民,関	引係者 市民,関係者の名称 意見 意見、要望内3	<b>尔</b>		
市民 , 関 からの	間係者 市民 , 関係者の名称 意見 意見 , 要望内 ?	が   		
市民 , 関 からの	間係者 市民 , 関係者の名称	が   		
市民 , 関 からの	原係者 市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内る (1) 対応内容			
市民,関からの要望	原係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内を (1) 対応内容 実施期限	が 容 <b>『</b> <b>『</b> 平成 年 月		
市民 , 関 からの	現係者 市民,関係者の名和 意見 意見,要望内 3 (1) 対応内容 実施期限	が 容 <b>『</b> <b>『</b> 平成 年 月		
市民、関からの要の課題・要	京 京 京 京 京 京 京 見 (1) 対応内容 実施期所 対応内容 対応内容 対応内容	が 容 る で で で で で で で で で で で で で		
市民,関からの要望	京 京 京 京 京 京 京 京 月 京 京 ラ (1) 対応内容 実施期限 対応内容 文 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	が 容 る で で で で で で で で で で で で で		
市民、関からの要の課題・要	原子 (2) 対応内容 (2) 対征			
市民、関からの要の課題・要	原子 (1) 対応内容 (2) 対応内容 (3) 対応内容 (3)	が		
市民、関からの要の課題・要	原子 (2) 対応内容 (2) 対征	が		
市民、関からの要の課題・要	原子 (1) 対応内容 (2) 対応内容 (3) 対応内容 (3)	が		
市の要課のである。	原係者 市民,関係者の名称 意見 第 見 ,要望内 第 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	が		
市の要課のである。	照係者 市民,関係者の名称 意見 第	が		
市の要課のである。	原係者 市民,関係者の名称 意見 第 見 ,要望内 第 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	が	性 1次評価	2次評価
市の要課のである。	原係者 市民,関係者の名称 意見 第 見 ,要望内 第 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限			2次評価
市の要課のである。	原係者 市民,関係者の名称 意見 第 見 ,要望内 第 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	が   マ成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	実	2次評価
市の要課のである。	原係者 市民,関係者の名称 意見 第 見 ,要望内 第 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	が	実 持	2次評価
市か要課へそ改成の望まり、数の望まり、のものである。	照係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) であり、 実施期限 は考えられる のアイデア	が	持善善	2次評価
市か要課へそ改成の望まり、数の望まり、のものである。	照係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) であり、 実施期限 は考えられる のアイデア		実 持 善 等	2次評価
市か要課へそ改成の望まり、数の望まり、のものである。	照係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) であり、 実施期限 は考えられる のアイデア	# マ	実 持 善 等 小	2次評価
市か要課へそ改成の望まり、数の望まり、のものである。	照係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) であり、 実施期限 は考えられる のアイデア	# 日	実       持       等       小       定	2次評価
市か要課へそ改成の望まり、数の望まり、のものである。	照係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) であり、 実施期限 は考えられる のアイデア	# マ	実       持       等       小       定	2次評価
市か要課へそ改平R ら題のの善成関のの善成	原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内部 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3 まるのアイデア 7~19年度の方向作		実 持 善 等 小	2次評価
市か要課へそ改平R ら題のの善成関のの善成	照係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) であり、 実施期限 は考えられる のアイデア		実 持 善 等 小	2次評価

(一般	事業)	事 業	□ - H	2420	050					部	Ð	<b>長次</b>	長部	<b></b>	長
ᅲᄼ	· /- =	=	** *		旧李和敦是不知里										
平成1	5 年段	·   争	業名		児童相談員の設置										
1 事	業概	要(ドゥ)													
			くりの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	会づくり					保健福祉	部		
総合			中		子どもたちの心と			会の実現		所	管 説	児童課			
政策			//\		子育て支援のネッ					所管	課長氏名	日 足立 宏	·····································		
体	系	<b>——</b>	細	<u>-</u>								余吾 康			
事				平成	!		経常臨時	✓ 経常 [	□臨時			30797-38-		内線	2544
<del>ず</del> 根 拠		令 '			福祉法		W王 LD E間6.0						2010	ZVII C 1	2011
実	<u>/</u> 施			<u> </u>		□ 一部委託	:	□ 全部委	<b>≐</b> ∓		<u> </u>		負担金		
<u>个</u> 委	טוו	託				名称	,				要託 内 容		分に並		
		но			歳未満の児童に関す		′ 生迁翌惟	1 知能•===					短沙 陪	主笑 )	
事	業	Ø	概 要		歳れ高の光重に関する相 童虐待に関する相詞			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	a , <del>T</del>   <b>X</b> _ 1	/ш , ¬гі	ו אנויפי, נ	*11/1\ / *4X*71	ынш , r <del>+</del> i	<b>1 7</b> )	
<del></del>	*	0)	1144. 32		量に内に関する伯 設入所,里親等の相	-	» II <del>ж</del> 1Л								
				ne.	政八川,主机号071	H 100 A-177									
事	業	Ø	現 状	. *=	談員数 平成	14年10月か	いた 現行の	ヽつ ↓ 休生!!							
<del></del>				ı	談員数 干成 童に関する相談			/2 八体刷 人), 延相部	火同粉(1	E 6 ·	о <b>п</b> У				
		実現のため					•		•	-	-				
	<del>丁</del> 卡又.	及び実施に	り谷	・元	童虐待に関する相語	災 進作記	(百数( )	10人),延	出一一一一一一	(33.	2 凹)				
		1	1F: 1= 6-	7:1-1-	÷u +> *b										
		/+ m +r +a	指標名			亚产 4 4 左座	(中4)		<b>车≠</b>	π.+	1.6 左座	/ D ## \	₩#17	<b>左</b>	口抽丶
		結果指標		-	13年度(実績)	平成14年度		平成15年月		平成	16年度	(日標 <i>)</i>	平成17	牛皮(	日悰)
		(1)	指標値		774人	674		670							
アウト		_	単位コスト		4.1. — M	11,1	7 2 円	14,0	19円						
指	標		指標 名					1							
		結果指標			13年度(実績)			平成15年原		平成	16年度	(目標)	平成17	年度(	目標)
		(2)	指標値	<u> </u>	1,342回	1,37		1,89							
			単位コスト			5,46	0円	4,9	5 9 円						
2 事	業成	果(アウ	トカム)												
		対	兌	18歳	未満の児童及びその	の保護者等									
		<b>^</b> 3	<i>a</i>	, TO JUST	水崎の元重及して	の休暖日守									
事業の	り目的	対象が	」バー 薬	対 🦠	東数 (a) (18歳未)	満)13,674人	受益数	₹ (b) ₹	延670人	t	比 率 (b	÷ a) %			
対 象	意図	]		・児	童養育上の悩みやる	不安の解決を図	₫る。								
		意	図	・問	題を早期発見し,『	関係機関との週	<b>೬携により</b>								
		(対象を	主語にして)	・深	刻なケースにおい <sup>っ</sup>	ては,こどもも	2ンター(	児童相談所)	に一時保	護・施語	<b>殳入所を</b>	衣頼する。			
		•													
大	き	な	目 的	・児	童が心身ともに健 <sup>4</sup>	やかに生まれ,	育成され	1,その生活を	-保障され	, 愛護る	される環境	竟をつくる	0		
			指標 名	相談	内容が解決した人の	の割合									
		中間成果	考え方・式	;											
		指 標	集年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年原	度(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
アウト	・カム		指標 値		未把握	未把排	星	未把	」握						
指	標		指標名	_				ı		1			ı		
		最終成果	考え方・式												
					13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年	度(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
			指標値		``				, ,			`			,
		1	3H 1M 1L		任児童委員会(月	<u>.</u> 1 回開催 ) にま	いて.具	 L体的なケース	スについて	_ の情報る	交換を行う	うことによ	1) .		
芦屋市	の特	色など補	足する事項	ı	域と連携して問題の	•							,		
, ,,	, ,,		AC 7 G 4-7			77 17 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
3 重	<b>举</b> 巷	- 活動症	分(コスト	)				1世帯当り(円	) 242	住民1	人当り(円)	105	平成16.4.1	住民基	本台帳
<u>ュ チ</u> 事	<del>不只</del> 業	<u>/山北川</u>			13年度(決算)	平成14年度	( 決質 )	平成15年			16年度	<del></del>	1 /2% 101111	12003	- HIK
<del>*</del>	人				13千及(八升)	1132 1 7 7132	7,472	1 132 1 3 7 13	9,238	1 73%	1 0 +152	-			
	事	<u>                                    </u>	_				58		155			182			
- ±							30		100			102			
		形門 経 費													
(十円	· -	西償 却	_				7 500		0.000			400			
	合	ħ	_	1	0		7,530		9,393			182	-		
D-1	国	· 県											-		
	原市	債 等		<u> </u>						<u> </u>			1		
(千円		の ft	_				=					***			
		般財源	_		0		7,530		9,393			182			
	助 職	<u> </u>					0.20		0.20			-			
		E·臨時等	_				1.48		2.00			-			
( <b>J</b>	\ ♠	*	H 100 0		0.00		1 68		2 20			0.00	i		

日夕東当後は 2	評	<u>叫(ナェック)</u> 価 視	点	評価チェックリスト		1次輕価	2次評価
日初会日間2   3   事後成男人性倫照本不可及、表社首員なが終わ   日報位かられる。表社は八分でもでき、表社は八分でもできる。	П	1			とができない	八八丁四	2次計画
		目的妥当性(2	~ 2)				
□ 19年1-スに至り、「日本民一大に正分いて行うべき事業 □ 中に一大に至りに対け事業ではない。	<del>-</del> <del>-                                 </del>	市関与(2~ 2	2)				
当	•		-/		710		
情報ニース/2~ 1	गर				車業でけかい	5	7
	=	古民ニーブ(2。	~ 1)			5	- /
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	ı <del>)./-</del> -	10 5% - \(\lambda\)	1)				
特別の政策が行い、第(日)   学業を実施して対比は、市民の中毒、安全が関係と対比を   安全を実施して対比。市民の中毒 交会を対した   学生を表して対比は、市民の中毒 交会を対した   会議を表して対比。市民の中毒 交会を対した   会議を表して対し、   学生を表して対比は、市民の中毒 交易を表し、   会議を表して対し、   学生を表し、   会議を表して対し、   学生を表し、   会議を表して対し、   学生を表し、   会議を表して対し、   学生を表し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   学生を表し、   会議を表して対し、   学生を表し、   会議を表して対し、   学生を表して対し、   会議を表して対し、   学生を表して対し、   学生を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議を表して対し、   会議と表して対し、   会議と表している。   会議を表して対し、   会議と表している。   会議と表して対し、   会議と表している。   会議を表している。   会談を表している。   会談を表している。   会談を表している。   会談を表している。   会談を表している。   会談を表している。   会談を表している。							
	о <i>ж</i> .	社会環境変化	(1 ~ 1)				
対象カバーボー 1		優先性 緊急性	牛(1)		HKK-11CHK		
					- 率が低い		
カ	有		,				
加速の支援性	4.1	,				4	^
4点	郊	成果の実績(2・	~ 1)			1	U
4点	性	*84.44		成果があがっていない場合			
単位コスト(1-1)		- 放果问上余地( 	(1~ 1)	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
中位コスト(1 - 1)				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
新聞   新聞   新聞   新聞   新聞   新聞   新聞   新聞		※公コフト/4	4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していた	<b>311</b>		
要益者負担(0-1) □ 自担を求めることができる事業である □ 負担を求めるくき事業ではない □ 例収不能・見直し不能 □ 例収可能 ) □ 言言等案(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について □ 正規職員による持行業務プけられている □ 個人、家庭・見場等が担うべき部分がある □ 規則による場合が登録を行うされている □ 規則による場合が変勢を □ 規則による場合が変勢を □ 規則による場合ができない業務である □ 規則に表し、 □ 日間企業、外内の等で対応可能である □ 規則による場合ができない業務である □ 規則に 臨時職員等で対応可能である □ 規制に 臨時職員等で対応可能である □ 規制に 臨時職員等で対応可能である □ 表に 臨時職員等で対応可能である □ 表に 関連を持つませませませませませませませませませませませませませませませませませませませ	効	一 単加コスド(1~	1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	高い		
▼							
単型		受达 <b>老</b> 負扣(0)	~ 1)				
# 手段(1 - 3)	蒸	♥無日貞12(0	1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □	徴収可能 )	-2	-3
性性   3点	_			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-2	-3
性   1		手段(1~ 3)					
3点 コスト削減取組(1 ~ 1)		) FX(1 0)		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
平成 1 5 ~ 1 6 年度 に 課題					能である		
	3点	コスト削減取組	∄(1 ~ 1)				
実施した改善内容   評価   D   D   5 今後の対応(アクション)   児童虐待の実態把握・早期発見及び防止を組織的に図るため,こどもセンター・医療機関・学校・警察・児童委員等の関係機関との連携をより強化する必要がある。   市民、関係者   市民、関係者の名称   方 の 意見   要 望 等   2   対応内容   実施期限   平成   17   年   3   月     月				→ 内容			
実施した改善内容   評価   D   D   5 今後の対応(アクション)   児童虐待の実態把握・早期発見及び防止を組織的に図るため,こどもセンター・医療機関・学校・警察・児童委員等の関係機関との連携をより強化する必要がある。   市民、関係者   市民、関係者の名称   方 の 意見   要 望 等   2   対応内容   実施期限   平成   17   年   3   月     月	平成	15~165	年度に	改善	総合	D	Р
現在認識している課題所係機関との連携をより強化する必要がある。  市民、関係者 市民、関係者の名称からの意見要望等 (1) 対応内容 調液会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強化を図る。 実施期限 平成 17 年 3 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 万 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	実 施	し た 改 善	内容	内容	評価	D	D
現在認識している課題所係機関との連携をより強化する必要がある。  市民、関係者 市民、関係者の名称からの意見要望等 (1) 対応内容 調液会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強化を図る。 実施期限 平成 17 年 3 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 万 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	5 2	タの計序 (マカ					
現 在 認 識 し て い る 課 題 関係機関との連携をより強化する必要がある。    市民、関係者	<u> </u>		ごノコ こノ \				
市民、関係者 市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等		友の別心(アク	<u>ション)</u>		関・学校・警察・	児童季	昌等の
からの意見要望等       意見,要望内容         課題・要望等への対応       (1) 対応内容 実施期限 平成 17 年 3 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 年 月         で成17~19年度の方向性 (子どもの相談窓口)と位置付けられ、児童相談所は困難な事例への対応や市のパックアップ 体制を強化する必要がある。       (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月     (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (4) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (5) 技術期限 平成 月  (6) 大・充実 現場 大・充実 現場 大・充実 現場 大・充実 現場 大・・充実 現場 大・・充実 現場 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	現在				関・学校・警察・	児童委	員等の
からの意見要望等       意見,要望内容         課題・要望等への対応       (1) 対応内容 実施期限 平成 17 年 3 月 対応内容 実施期限 平成 17 年 月 対応内容 実施期限 平成 年 月         で成17~19年度の方向性 (子どもの相談窓口)と位置付けられ、児童相談所は困難な事例への対応や市のパックアップ 体制を強化する必要がある。       (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月     (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (4) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (5) 技術期限 平成 月  (6) 大・充実 現場 大・充実 現場 大・充実 現場 大・充実 現場 大・・充実 現場 大・・充実 現場 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	現在				関・学校・警察・	児童委	員等の
接 望 等		認識してい	る 課 題		関・学校・警察・	児童委	員等の
(1)   対応り容   講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強化を図る。   実施期限 平成   17   年   3   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   日   対応内容   実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	市民,関	認識してい 18番 市民,関係	る 課 題者の名称		関・学校・警察・	児童委	員等の
(1)   対応り容   講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強化を図る。   実施期限 平成   17   年   3   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   日   対応内容   実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	市民,関 からの	認識してい 係者市民,関係 意見 音目 要	る 課 題者の名称		関・学校・警察・	児童委	員等の
課題・要望等	市民,関 からの	認識してい 原名 市民,関係 意見 等	る課題者の名称	関係機関との連携をより強化する必要がある。			
(2) 対応内容   実施期限 平成   年   月	市民,関 からの	認識してい 原格者市民,関係 意見 意見,要	る課題者の名称	関係機関との連携をより強化する必要がある。 平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く,	, メンバーの異動		
(2)     実施期限 平成 年 月       対応内容     実施期限 平成 年 月       その他考えられる     (3)       改善のアイデア     少後の方向性 1次評価       が応内容     次達価祉法の改正(平成17年4月1日施行)により,市が児童に関する一義的な相談支援機関 (子どもの相談窓口)と位置付けられ,児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップに重点化することとなるため,家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため,体制を強化する必要がある。     「人ともの相談窓口」と位置付けられ、児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップに重点化することとなるため、家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため、統合/終期設定廃止/休止	市民,関 からの	図識してい 原係者市民,関係意見 意見,要 (1)	る課題 者の名称 望内容 対応内容	関係機関との連携をより強化する必要がある。 平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強	, メンバーの異動		
対応内容   実施期限 平成   年   月	市民,関からの要望	認識してい 原係者 意見,要 (1)	る課題 者の名称 望内容 対応内容 実施期限	関係機関との連携をより強化する必要がある。 平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強	, メンバーの異動		
実施期限   平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	市民、関からの望	認識してい 原子 意見,要 (1) (1)	る課題 者の名称 望内容 対応内容 実施期限 対応内容	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動		
実施期限   平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	市民、関からの望	認識してい 原子 意見,要 (1) (1)	る課題 者の名称 望内容 対応内容 実施期限 対応内容	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動		
その他考えられる 改善のアイデア    次章福祉法の改正(平成17年4月1日施行)により,市が児童に関する一義的な相談支援機関 (子どもの相談窓口)と位置付けられ,児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップ に重点化することとなるため,家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため, 依制を強化する必要がある。   日	市民、関からの望	認識してい 原係者 意見,要 (1) (2) 対応	る課題 者の名称 望内内容 対応内容 対応内容 実施期限	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動		
改善のアイデア	市民、関からの望	認識してい 原係者 意見,要 (1) (2) 対応 (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動		
改善のアイデア	市民、関からの望	認識してい 原係者 意見,要 (1) (2) 対応 (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動		
平成17~19年度の方向性       (平成17年4月1日施行)により,市が児童に関する一義的な相談支援機関 (子どもの相談窓口)と位置付けられ,児童相談所は困難な事例への対応や市のパックアップ 方 法 改 善	市民・関から望います。	認識してい 原係者 意見,要 (1) (1) (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動		
児童福祉法の改正(平成17年4月1日施行)により,市が児童に関する一義的な相談支援機関 (子どもの相談窓口)と位置付けられ,児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップ 方 法 改 善民 間 委 託 等体制を強化する必要がある。   民間 委 託 等   「本部では、「本語では、「本語で	市の要課題・要の他	認識してい 原名 市民,関係 意見,要 (1) 三望等 (2) 対応 (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動		
児童福祉法の改正(平成17年4月1日施行)により,市が児童に関する一義的な相談支援機関 (子どもの相談窓口)と位置付けられ,児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップ 方法改善 に重点化することとなるため,家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため, 体制を強化する必要がある。 に重点化する必要がある。	市の要課題・要の他	認識してい 原名 市民,関係 意見,要 (1) 三望等 (2) 対応 (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが、活動期間がまだ短く、講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月	, メンバーの異動 化を図る。	もあるた	-Ø ,
(子どもの相談窓口)と位置付けられ、児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップ 方法 改善 日本 では 17~19年度の方向性 に重点化することとなるため、家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため、 に では では では では では では では では では では では では では	市の要課題・要の他	認識してい 原名 市民,関係 意見,要 (1) 三望等 (2) 対応 (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンバーの異動 化を図る。 今後の方向性	もあるた	-Ø ,
平成17~19年度の方向性 に重点化することとなるため,家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため,	市の要課題・要の他	認識してい 原名 市民,関係 意見,要 (1) 三望等 (2) 対応 (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強 平成 17 年 3 月	, メンパーの異動 化を図る。 今後の方向性 拡大・充実	もあるた	-Ø ,
体制を強化する必要がある。     縮     小       統合 / 終期設定     廃止 / 休止	市の要課題・要の他	認識してい 原名 市民,関係 意見,要 (1) 三望等 (2) 対応 (3)	る課題者の名称容 対応 内容 実施 期限 対応 内容 実施 期限 容 が できる かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが、活動期間がまだ短く、講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月	, メンパーの異動 化を図る。 今後の方向性 拡大・充実 現状維持	もあるた	-Ø ,
統合/終期設定 廃止/休止	市か要課のの善課のの善のの善	認識 してい 高意等 意見等 (1) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが、活動期間がまだ短く、講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  収置福祉法の改正(平成17年4月1日施行)により、市が児童に関する一義的な相談支援機関(子どもの相談窓口)と位置付けられ、児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップ	今後の方向性現状維持方法改善	もあるた	-Ø ,
廃止 / 休止	市か要課のの善課のの善のの善	認識 してい 高意等 意見等 (1) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く, 講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  収置福祉法の改正(平成17年4月1日施行)により,市が児童に関する一義的な相談支援機関(子どもの相談窓口)と位置付けられ,児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップに重点化することとなるため,家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため,	, メンバーの異動 化を図る。 今後大状态 うた お、 は、 と で で た は 、 と で 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、	もあるた	-Ø ,
	市か要課のの善課のの善のの善	認識 してい 高意等 意見等 (1) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く,講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  に重福祉法の改正(平成17年4月1日施行)により,市が児童に関する一義的な相談支援機関(子どもの相談窓口)と位置付けられ,児童相談所は困難な事例への対応や市のバックアップに重点化することとなるため,家庭児童相談員が受持つ相談件数の増加が見込まれるため,体制を強化する必要がある。	, メンバーの異動 化を図る。 今 抜 現 方 底 間 表 託 香 等 小	もあるた	-Ø ,
2 次 評 価 委 員 会 コメント 相談件数の増加にあわせて、相談員の増員を検討して下さい。	市か要課のの善課のの善のの善	認識 してい 高意等 意見等 (1) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く,講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 日 日  中域 日 日	, メンバーの異動 化を図る。 今後大状表の の・維改託の うたと は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	もあるた	-Ø ,
	市か要課のの善課のの善のの善	認識 してい 高意等 意見等 (1) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く,講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 日 日  中域 日 日	, メンバーの異動 化を図る。 今後大状表の の・維改託の うたと は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	もあるた	-Ø ,
	市か要課へそ改平の対象を表現ののものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	認識 してい 原子 意見, 要 (1) デ望 応 (2) (3) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 者 望 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が 容 存 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	関係機関との連携をより強化する必要がある。  平成15年4月に「児童虐待防止ネットワーク会議」を設置したが,活動期間がまだ短く,講演会・啓発パンフレットの作成・ケース検討会等を実施して知識の向上及び連携の強平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 日 日  中域 日 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日  中域 日	, メンバーの異動 化を図る。 今後大状表の の・維改託の うたと は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	もあるた	-Ø ,

												_						
( —	・般▮	事業)	事	業	Π.	<b>-</b> ド	2420°	110				]	部	長	次	長	課	長
平月	† 1 ¹	5年度	事		業	名	母子:	家庭児童育成事業。	ト母子相談昌σ	つ設置								
' '-	~	- 1 /2	<b>-</b>		<i></i>		<i>-</i> 33.	3、足力至日7%于水、		- 11.2		1						
4	<b>=</b> :	TT TO 1	<del> </del>															
		業概			11 0			/ ウェンストノナロ	o t z jaji ji	<b>へづく!</b> 2					/ロ // <del>ホ</del> ッニッ.	÷π		
		9座巾 計画				日標		健やかでぬくもり			<b>&gt;</b> л⊕п		所 管	言課	保健福祉 児童課	(計)		
		計 施 策			<u>中</u> 小			子どもたちの心と 子育て支援のネッ		<b>〈〈①社</b> 2	50美現		庇答課	巨丘夕	児里課 足立 宏	:4 <del>=</del>		
体	來	心系			<u>小</u> 細		2	丁月(又接の不り	1-7-716						余吾 康			
事		業	1	斯		問	昭和	 4 5 年度 ~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797-38-		内線	2544
	<b>#</b> ЛП.		令		要級			・リー及 及び寡婦福祉法		光土 中 四 中寸		1 成的 4 之		<u>曲 っ</u> 主 体		2043	אמהנין	2044
実	JÆ	施		<u>-</u>			1		☑ 一部委託	£	□ 全部委託	F				負担金		
委			託						名称						母子家庭		東事業	
								子家庭の身上相談		医療・家庭	紛争・就労等							
事		業	の		概	要	• 母	子福祉資金の貸付し	t									
							• 母	子家庭育成訓練()	スキー),年末	<b>ミのつどい</b>	١							
							· 母·	子自立支援員数	1人									
事		業	の		現	状	• 母	子相談回数 3	325回									
		目的!	実現の	ため	のの		• 母	子福祉資金の貸付け	ナ 貸付数	女:4人・5	6件,貸付金額	: 8,346,0	000円					
		手段	及び実	施内	容		• 母	子家庭育成訓練()	•		(:13世帯,38	人						
									参加者数:46世	世帯 , 117,	λ							
						漂 名												
			結果		-			13年度(実績)			平成15年度		平成 1	6 年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
_						漂 値		843回	8 1 6	• •	3 2 5	• •						
	フト	プット	_			コスト	<del></del>	~ _ 1*1 1 <del>4 1</del> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2,782	円	12,246	5円	(単位コ)	ストは人	牛費のみ)			
指		標						のつどい参加世帯数		: / ch/s >		: / ch/s >	TI # 4	C左座	/ D ## \	TT = 1	2左座 / [	¬ +# \
			結果		<u> </u>			13年度(実績) 34世帯	平成 1 4 年度 3 6 世		平成 1 5 年度 4 6 世	• •	十八八	0 年段(	(目標)	平成Ⅰ	7年度(目	3 惊)
			( .	2)		<u>標 値</u> コスト		2 4 匠市	13,944		13,174		(単位コ	フトけ事:	業費のみ)			
2	車	業成:	<u> </u> 単 / 7	7 🖒					13,944	· [ ]	13,174	· [ ]	(千匹山	<b>ハ I I (本)</b>	来貝のの)			
_	<del>_</del>	<del>**</del> //X.			111													
			対			象	母子	・父子家庭及び寡婦	帚									
事	業の	目的	対 纟	東 力	バ	- 率	対 象	è数 (a) 6 8	8 7世帯	受 益 数	(b)		比	率 (b	÷ a) %			
対	象·	意 図						÷4.75 o ch ch 77 = 15/4	2 *** * * * * * *							l.		
			意			図	・砂・	庭生活の安定及び約 子・父子家庭の交流	経済的な目立る 充を通じて、子	E凶る。 Pどもの健	全な育成を図	る.						
			(対	象を主	主語に	して)		3 23 20 20	, i = 2 = 0 = 7 · 3	2000	2201722							
					_													
大		き	な		目	的	・健	東で文化的な生活 <i>7</i>	が保障され,児	見童が心身	ともにすこや	かに育成る	される環境	竟をつく	る。			
			1		1		/17 \rightarrow	64 <del>4</del> 4 <del>4</del> 7 8 1	ロキサギイルク	\ \dagger_1 \land \dagger_1	:.l +v = thi A							
								的自立度(%)				0						
			中间 指					人所得による)全語					ਹ <b>ਾ ≓</b> 1	6年度	(日插)	₩ ct: 1	7年度(「	コ+亜 /
7 1	<b>∸</b> ⊾	カム		信示	年	<u> </u>		13年度(実績) 未把握	12.3		11.0		十八八	0 牛皮	(目標)	十八八	7年度(目	コ信ノ
指	) I	カム標						を図れた母子家庭の		1 70	11.0	1 70						
10		ាភ				<del>原 日</del> 方·式	14		· 41 H									
			指		年		平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成.1	6 年度 (	(目標)	平成.1	7年度(	目標)
				120		漂値		未把握	未把抓		未把排							/
											l		I					
芦属	屋市	の特1	色なと	補足	足する	事項												
	事	業費	·活動	加配	分(:	コスト					1世帯当り(円)	118	住民1人当	的(円)	51	平成16.4	4.1 住民基	本台帳
事		業		費	構	戎%	平成	13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度	(決算)	平成 1	6 年度	(予算)			
		人	件	費	-	86.8%				2,270		3,980			-			
		事	業	費		13.2%				502		606			295			
内		他音													-			
( 7	円 :	減値	山價		<b>1</b>							4 = 20			-			
		合		計	_	00.0%		0		2,772		4,586			295			
B- <del>1</del>	:F	国	<u>·</u> 債	- 県 等		1.0%						47						
	源 · 円 :		1貝 の	他														
( T	T .		般り			99.0%		0		2,772		4,539			295			
活	重	職	NA. 9%	員		14.3%		U		0.25		0.15			-			
配		嘱託	,臨			85.7%				0.00		0.90			_			
HU (			- 1414	# #		00.7 M		0.00		0.00		1.05			0.00			

4 評1 評	<u>曲(チェック</u> 価	<u>)</u> 視 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当	性(2~ 2)	<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>☑ 事業の目的は一つに絞ることができない</li><li>☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い</li><li>☑ 貢献度が不明確、または高くない</li></ul>		
妥	市関与(2	~ 2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ いずれにも該当しない</li></ul>		
当	市民二一	ズ(2~ 1)	<ul> <li>□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li> <li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない</li> <li>□ ニーズが高いとは言えない,または未把握</li> <li>□ 数字で把握している 相談件数 325回</li> <li>□ 未把握</li> </ul>	6	8
性 8点		変化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容 母子自立支援員の雇用等		
	優先性, 舅		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有		一率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 東米寺岡上平されて取り、または平台が、初に関ラ	_	
F	受益者(1	•	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>	┥ .	_
効	成果の実	績(2~ 1)	<ul><li>□ 中間成果指標の美績値を把握し,自標値を設定している□ 美績値から成果があがっていると言えない</li><li>□ 実績値から成果があがっていると言えない</li></ul>	1	1
性 4点	- 成果向上	余地(1~ 1)	成果があがっていない場合  □ 成果向上策あり  □ 特になし		
4,			□ 成末向工泉のり □ 行になり □ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	W 45 1		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト	·(1 ~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由	""]	
	<b>巫</b>	担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又皿日只	j=(0 i)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	_ ი	_1
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	0	_ [
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
1.1	,	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削洞	<b></b> 取組(1~ 1)	<ul><li>□ コスト削減の取り組みを行っている</li><li>□ 特に行っていない</li><li>□ 内容 母子家庭育成訓練事業(スキー)を,15年度は日帰りにし,16年度から廃止する。</li></ul>		
			タスカナゼのコからず   ロフ京庁笙の白   ロフロウナゼ号の戻用(立げ15年5日)		
平成実施	1 5 ~ 1 した改	6 年 度 に 善 内 容	課題 立を促進するため,子育で・生活支援・ 就労支援・養育費の確保等を推進する。 に対する。 でするに対するに対して、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	В	В
5 今1	●	アクション)			
現在	認識して	いる課題	離婚等による母子家庭の増加及び相談内容の複雑化に伴い,より専門分野の知識が必要となってくる。 そのため,絶えず支援員の技術の向上を図るとともに,関係機関との連携を強化する必要がある。		
市民,関	係者 市民	関係者の名称			
からの	意見	,要望内容			
要望	等思先		課内研修やケース会議等を開き,知識の向上及び関係機関との連携を強化する。		
	(1)				
課題·要		実施期限	平成 17 年 3 月		
DA RES 54	(2)	対応内容			
への 5	対応	実施期限	平成年月		
	(3)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成年		
	考えられ				
改善(	カアイデ	ア			ı
			今後の方向性	_	2次評価
			拡大・充動		
			母子及び寡婦福祉法において,母子家庭等の自立を支援していくいく上で, 現 状 維 者 各種事業の効率的・効果的実施を図る観点から,地域の実情に応じた 方 法 改 者		
亚	7~10年	度の方向性	「母子・寡婦自立支援計画」の策定について規定されている。 民間委託		
1 /2%	, ,, –	IQ 07 71 1-1 II		<u>ا</u> ا	
			も参考にしながら検討する。		
			廃止 / 休」		
2 次 評	一価 委 員	会 コメント			

	- 111	>112						г			—l.m	_
(一般	事業)	事業	<u> </u>	2420	120				部長	次	長課	長
平成15	年度	事	業 名	子育	て支援事業							
1 事	業概	要(ドゥ)						L		ļ	<u> </u>	
			りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			所 管 課	保健福祉	-部	
総合			中	4	子どもたちの心と	体を豊かにはぐくむ社会	会の実現		所 管 課	児童課		
政策	施策		小	2	子育て支援のネッ	トワーク化			所管課長氏名	足立 宏	行	
体	系		細						記入者氏名			
事	業	斯			15年4月~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時		電話番号		-2045 内線	2543
		令 · ·	<u> </u>		虐待防止ネットワ				実施主体		5.45.6	
実 委	施		•=			□ 一部委託 名称	全部委託				負担金	
女		art .	л		が郭凶冲安式 育て中の親子の居り			比间	委託  委託内容	1		
事	業	Ø	概 要	_		╗/// ⊃ ∖ つ ,早期予防のためのネッ	トワークづくり並び	机厂包	<b>攻</b> 発活動			
7	*	0,	11/1/2			, <del></del>		) IC L	J /U/U±//			
				市	内の公共施設の一覧		親子の遊び場として	7月1	1 回ずつ開放。			
事	業	の	現 状	±	任児童委員等がスタ	タッフになり,相談にの	ったり,情報提供を	きして	ていく。			
	目的詞	実現のため	ხთ	開	設場所 旧山手幼科	推園「のびのび学級」, 体	育館・青少年センタ	<b>7</b> — ₹	ロ室 , 児童センタ	7 —		
	手段及	ひ実施内	容	2	ヶ月毎に庁内,関	系機関21人程が集まり	, 虐待に関する情報	<b>及交換</b>	負,防止に向けた	: 啓発活動	を検討。	
					所の開催回数				<del></del>		I <del> : - : - : - : - : - : - : - : - </del>	
		結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)		漬 )	平成16年度		平成17年度	
741	<del></del> ı		指標値	_			2 9 回		5 8 回		60回	
アウト: 指			単位コスト 指標 名	_	±xx ≐:+ ₩n							
扫	標	結果指標				平成14年度(実績)	亚成 1 5 年度 ( 宝紅	唐 \	平成16年度	(日標)	平成17年度	(日煙)
			指標値		, 1 3 千及(天順)	十八八十十尺(天順)	7件	リノ	10件	• •	10件	, ,
		(2)	単位コスト				, 11		. 011		1 0 11	
2 事	業成	果(アウ						l.			I .	
		対	· #	计学	 前児童							
			バー率	対象	R 数 (a) 5 ,	093人 受益数	(b) 145.	人	比 率 (b	÷ a) %	2.89	6
対象・	思 凶	意	逐	親	子のふれあいを通	して,保護者の子育てに	対する不安,ストレ	ノスを	を解消する。			
			ム 注語にして)	要	保護児童を虐待かり	ら守る。						
		(×18/02	<u> гиппе о с</u> ј									
大	₹	な	目 的	親が	子育てを楽しみ,	地域で子どもを育てるコ	ミュニティができる	3				
					所に参加した親子の							
						つながりができ,地域コ				/ D.#= \		(D#)
7 4 1		指標			13年度(美績)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 ( 美紅 延 4 8 9	镇 )	平成16年度 延90		平成17年度 延950	
ア ウト 指	カム標		指標値		てを楽しんでいる	祖の数	進469		延90	U	延950	,
38						<sup>死の奴</sup> 中の親から聞き取る						
						平成14年度(実績)	平成15年度(実績	漬)	平成16年度	(目標)	平成17年度	(目標)
		7.1	指標値	_			不明	,	1 0 0 0	•	1 0 0 9	` '
	-		· ·	民生	児童委員が運営主任	本になり全市的な広がり	をもって活動してい	る事	事例は少ない。		I.	
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	į								
			分(コスト	· -					住民1人当り(円)	<u> </u>	平成16.4.1 住民	基本台帳
事	業	費		+	13年度(沃昇)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算		平成16年度	(予昇)		
	事	件 費業 費	1	_				110 336		257	-	
内 訳	_	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0			1,0	330		231	-	
		道却費								-		
( 1 13 )	合	計			0	0	4,4	146		257		
	国	• 県	!				·					
	市	債 等										
(千円)		の他							-			
	+	段 財源		+	0	0	•	146		257		
	職	員		Ó			0.	.20		-		
		・臨時等			0.00	0.00	^	20				
(人)	F	計	100.0%	P	0.00	0.00	0.	.20		0.00		

評	<u>叫(テェック)</u> 価 視	点	評価チェックリスト		1 1/2 = 11 / 再	いたがほ
āT .	1脚 代		<u>計画デェックッスト</u>   ☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな	21.1	八計画	2次評価
	目的妥当性(2~	2)	□ 事業の主自的は明確である □ 事業の目的は一つに終ることができる □ 事業の実践が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	¥01		
			□ 事業成業が工位他家に不可欠,または負献及が向い □ 負献及が不明確、または向へない □ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能であ	= Z		
妥	市関与(2~ 2)		□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている	00		
女			□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではが	<i>†</i> >! \	4	4
=	市民ニーズ(2~	1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		4	4
性	10 EC - X(2	1)	② 数字で把握している 子育て支援に関するアンケート(H16年3月) □ 未把			
8点			□ 数字で記録している □ 目で又接に関するプラグ 「(1110年3月) □ 木紀□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが			
ож.	社会環境変化(1	~ 1)	内容 育児の孤立化, 育児の社会化	必女		
	優先性,緊急性(	<b>'1</b> )	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~	. ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低し	.1		
有	受益者(1~ 1)	•,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限			
	, ,		□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	٠,٠٠		_
効	成果の実績(2~	1)	→ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	ない	2	2
性			成果があがっていない場合	- 0.11		
4点	- 成果向上余地(1	~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特に	こなし		
-7			☑ 比較できる団体がある 団体名 まちの子育てひろば □ 比較できる団体はない	0.0		
			□ 仲団体の数字を押握している 単位コスト □ 押握していない			
効	単位コスト(1~	1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	□ → → → 和 /o	41	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
<del></del>	受益者負担(0~	1)	┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	能 )	-2	2
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		-2	-2
	工		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	がある		
	手段(1~3)		│ □ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	3		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取組(1	1 ~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	コスト日3//火井大和丘(1	1)	Ⅰ ┗ 市家:公共の全姿施設を利田 Ⅱサイクル島を注田			
ਜ਼ ਹੈ:	1 5 ~ 1 6 年	亩 1-	居場所をより地域に根ざした場所にする   市内3ヶ所 市内5ヶ所   津頭 ため市内の公共施設の全総分を利用   改善	400	)	
実施	」 5 ~ 7 8 年 し た 改 善	内 容	課題 ため市内の公共施設の余裕分を利用 内容	総合評価	В	В
5 今後	後の対応(アクシ	<u>/ョン)</u>				
			居場所の認知度が低い。			
現 在 記	認識している	課 題				
<del></del>						
	関係者 市民,関係者	( A A 1 h				
からの	보다 보다	の名称				
要望						
	等意見,要望	望内容				
	等意見,要望	望内容	特になし 市内にPR用ちらしを配布			
無明. Ⅲ	等 息 見 , 要 当 対 対 実	望内容	特になし 市内にPR用ちらしを配布			
課題・要	等 <sup>息 見 , 要 当</sup> 対 (1) 実	望内容	特になし 市内にPR用ちらしを配布 平成 17 年 3 月			
	等意見,要当 対, (1) 対, 実望等 (2) 対,	望内容 応内容 施期限 応内容	特になし 市内にPR用ちらしを配布 平成 17 年 3 月			
課題・要へのう	等意見,要当 対, (1) 対, 実望等 (2) 対,	望内容 応内容 施期限	特になし 市内にPR用ちらしを配布 平成 17 年 3 月			
	等 息 見 ,要 当 対 (1) 実望等 (2) 対 応 実対 が 対 応 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	望内容 応内容 施期限 応内容	特になし 市内にPR用ちらしを配布 平成 17 年 3 月			
	等 意 見 ,要 当 対 (1)	型内容 施 加	特になし  市内にPR用ちらしを配布  平成 17 年 3 月  平成 年 月			
	等 意 見 ,要 当 対 (1)	望内容 応期限 応内容 施期限	特になし  市内にPR用ちらしを配布  平成 17 年 3 月  平成 年 月			
^ Ø ɔ๋	等 意 見 ,要 当 対 (1) 対 実 対 応 実 対 (3) 実 対 実	型内容 施 加	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17       年       3       月         平成       年       月         平成       年       月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要			
へのう	等 意 見 ,要 当 対 (1)	型内容 施 加	特になし  市内にPR用ちらしを配布  平成 17 年 3 月  平成 年 月			
へのう	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>(1)</sub> 対 <sub>(2)</sub> 対 応 (3) 実 対 <sub>(3)</sub> ま 考 え ら れ る</sup>	型内容 施 加	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17 年 3 月         平成       年 月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する	方向性	1次評価	2次評価
へのう	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>(1)</sub> 対 <sub>(2)</sub> 対 応 (3) 実 対 <sub>(3)</sub> ま 考 え ら れ る</sup>	型内容 施 加	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17       年       3       月         平成       年       月         平成       年       月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要		1次評価	2次評価
へのう	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>(1)</sub> 対 <sub>(2)</sub> 対 応 (3) 実 対 <sub>(3)</sub> ま 考 え ら れ る</sup>	型内容 施 加	特になし  市内にPR用ちらしを配布  平成 17 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要 子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する	充実	1次評価	2次評価
へのう	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>(1)</sub> 対 <sub>(2)</sub> 対 応 (3) 実 対 <sub>(3)</sub> ま 考 え ら れ る</sup>	型内容 施 加	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17 年 3 月         平成       年 月         平成       年 月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する       今後の         居場所を全市的に広げていく。       拡大・	充 実 維 持	1次評価	2次評価
へのうその他改善の	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>(1)</sub> 対 <sub>(2)</sub> 対 応 (3) 実 対 <sub>(3)</sub> ま 考 え ら れ る</sup>	图 内内 施 応 施 応 施 加 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 限	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17 年 3 月         平成       年 月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する       今後の活場所を全市的に広げていく。         居場所を全市的に広げていく。       拡大・現状方法	充 実維 持改 善	1次評価	2次評価
へのうその他改善の	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>実</sub> </sup>	图 内内 施 応 施 応 施 加 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 限	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17 年 3 月         平成       年 月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する       今後の活場所を全市的に広げていく。         居場所を全市的に広げていく。       拡大・カ法・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	充 実維 持改 善	1次評価	2次評価
へのうその他改善の	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>実</sub> </sup>	图 内内 施 応 施 応 施 加 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 限	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17       年       3       月         平成       年       月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する       今後の         居場所を全市的に広げていく。       次       拡大・         スタッフの数を充実させる。       現状方法         民間要	充 実 維 持 改 善 長 託 等	1次評価	2次評価
へのうその他改善の	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> 対 <sub>実</sub> </sup>	图 内内 施 応 施 応 施 加 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 限	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17 年 3 月         平成       年 月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する       今後の         居場所を全市的に広げていく。       次         スタッフの数を充実させる。       現 状方法民間委縮	充 維 持 善	1次評価	2次評価
へのう で	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> (1)                                  </sup>	望 応 施 応 施 応 施 方 内 内 期 内 期 内 期 内 期 向 間 存 限 容 限 容 限	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17 年 3 月         平成       年 月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育で支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する       今後の居場所を全市的に広げていく。         居場所を全市的に広げていく。       拡 大・現 状方 法民間 委縮 統合 / 終廃 止 /	充 維 改 託 等 小 定 止		
へのう で	等 <sup>意 見 ,要 <sup>3</sup> (1)                                  </sup>	望 応 施 応 施 応 施 方 内 内 期 内 期 内 期 内 期 向 間 存 限 容 限 容 限	特になし         市内にPR用ちらしを配布         平成       17 年 3 月         平成       年 月         市長部局と教育委員会部局が一体となった子育で支援事業に取り組める体制づくりが必要子育て支援の核となる拠点(子育で支援センター)を確保する       今後の         居場所を全市的に広げていく。       次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次 次	充 維 改 託 等 小 定 止		

(一般事	事業)	事業	J - 1	2310	040			部 長次	長課長
平成15	午度	車	業名	生主	がい活動支援事業				
T-13% 1 3	一尺	<del></del> -	* 4	Τ.C	77 17 日到又汲安未				
		要(ドゥ)							
				1		のある福祉社会づくり		│ │所 管 課│ <sub>→ 〜</sub> 、	
総合			中			ポートする社会の実現		高年福祉	- H-11-
政策			小	1	高齢者の生きがい	対策		所管課長氏名浜野 孝	
体	系		細	ļ	<u></u>			記入者氏名川原智	
事	業	斯			12年4月1日~	11-11-AN 0	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38	-2044   内線   2522
		令 ' !		_		生きがい活動支援通所事		実施主体市	- I - A
実	施	手			直営	一部委託	☑ 全部委託		
委		託	九		外郭団体委託	名称  		間委託 委託 内容 各種講座	
=	गर	•	407 <del>711</del>	ı		有に老人価値会能,集会	部,小学校内ゆつゆつ1	具楽部等で高齢者のための	趣味活動の場を
事	業	の	概 要	提供	する。				
				±2 I	短礼人给 使人乐	/ 健业町士労 打山 污	図 芋守) ゆうゆう		
事	業	Ø	現 状		•	(陽ル町巾呂・打山・海 の他(精道小学校会議室			ı
_		しり 実現のため			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•		・スノム畷主)で 養講座,日常動作訓練を行	<del>-</del> -
		と残りため		القا	このうからの同様で	日を対象に、土とガヤル	1到1及助兵で配直し、70	民時圧,口巾到下削   水で	J 7°
	J FX		, LI						
			指標名	生き	がい活動支援通所	サービス実施回数			
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		237回	3 4 4 回	387回	400回	450回
アウト	プット		単位コスト				16,295円		
指	標		指標 名	生き	がい活動支援通所	サービス利用延べ人数			
		結果指標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)		平成17年度(目標)
		(2)	指標 値	i	2,772人	4,107人	4,445人	4,500人	4,600人
			単位コスト				1,419円		
2 事	業成	果(アウ	トカム)						
		対	象	1 1	暮らしの60歳以	上の自立している高齢者	f		
		_					-		T
			八 - 率	対象	象数 (a) 21	,319人 受益数	(b) 4,455,	人 比率 (b ÷ a) %	20.9%
対象·	恵 凶		Lave Lave	ا د م	歩い トのウネレス	いっち歩老が 人名七字	ᄬᄪᄵᇆᄼᆘᄔᆂᆽᅩᇈᆓ	88 1 * = + 13 <i>+ 1</i> + 1 + 7	
		意		60	<b>成以上の日立して</b>	いる高殿有か,今後も正	・期的に外面することで	閉じこもりを防止する。	
		(X)家でこ	主語にして)						
大	き	な	目 的	高齢	者の閉じこもりを	防止し生きがいを持つこ	とで 介護を予防し白す	立した生活が続けられるよ	うにする
	_			П	H 43/83 0 C G 3 C 1	ME 0 E C 13 V · C 13 P C		201011111111111111111111111111111111111	J.C / 3°
			指標 名	閉じ	こもりが予防され	 た人数			
		中間成果			参加実人数				
				_	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	カム		指標値	i	230人	370人	370人	400人	450人
指	標		指標 名	6 0	歳以上の在宅高齢	者率(%)	•	-	•
		最終成果	考え方・式	6 0	歳以上の高齢者数	- 施設入所者数/60歳	以上の高齢者数		
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標 値		97.7%	97.8%	98.0%	98.0%	98.0%
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	į					
. = 1	II ====	<b>ング チ</b> 上 ボコ	/\	<u> </u>			1	T., T	I = 8
			分(コスト	1				住民1人当り(円) 70	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費			13年度(沢昇)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)		-
	事	件 費業 費				1,321	1,187		-
	_	 邓門経費				3,548	5,119	5,301	
		貸却費						_	-
(113)	合	計			0	4,869	6,306	5,361	
	国	· 県				2,411	2,287	·	†
財源	市	債 等				,	,		
(千円)		の他							1
, ,		段 財源	63.7%		0	2,458	4,019	5,361	1
活 動	職	員	1			0.10	0.15	-	1
	嘱託	・臨時等	0.0%			0.00	0.00	-	
(人)	合	計	100.0%		0.00	0.10	0.15	0.00	

	<u> </u>	100万イーックリフト	1,	· \	2.7年 ☆亚/平
評		評価チェックリスト		八評価	2次評価
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな	:61		
	,	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能であ	58		
妥	市関与(2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
		□ いずれにも該当しない		_	_
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	ない	5	3
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未	把握		
性		☑ 数字で把握している 利用人数の増加 □ 未把	握		
8点	41.4 mm 1 m - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	▽ 事業に関わる社会環境の恋化に適応している □ 社会環境の恋化にあわせた目直しが	必要		
	社会環境変化(1~1)	内容 閉じこもりが増えているので,外出の機会の提供が必要	~		
		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~ 1)	<ul><li></li></ul>	1		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限			
- 13	文皿目(1 1)	□ 事業認為と支血することでは、 □ 事業認為と支血すが小差点, または支血が一部に成 □ 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	Æ.	_	_
効	成果の実績(2~ 1)		4513	4	2
		□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	.ない	•	_
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	,	□ □ 成果回上束めり □ □ 特に	こなし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	十四コハ (1 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
		高い、または低い場合の理由			
	□ → → → + + + + + + + + + + + + + + + +	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(0~ 1)	□ 現在,適正な負担あり ② 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 ② 徴収可能	能 )	4	9
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	,	1	-3
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	がある		
	手段(1~ 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
.b41-		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	ا		
性					
3点	コスト削減取組(1~ 1	│ ☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		/ □ □ ▶ 内容 □委託料の積算方法を変更。			
平成.	1 5 ~ 1 6 年度にした改善内名	改善改善	総合	٨	D
宝 施	1 4 功 善 贞 2	. [			
~ III		内容	評価	Α	ט
		内容	評価	А	ט
	後の対応(アクション)		評価	<u> </u>	
5 今征	後の対応(アクション)	男性受講者が少ない。	評価	A	D
5 今征	後の対応(アクション)	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。	評価	A	U
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認 識 し て い る 課 是	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。	評価	A	
5 今征 現 在 記 市民,関	後の対応(アクション) 認 識 し て い る 課 是 関係者 市民,関係者の名称	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。	評価	A	
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名利意見	男性受講者が少ない。 頭現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が市議会	評価	<u> </u>	
5 今征 現 在 記 市民,関	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名利意見	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。	評価	<u> </u>	
5 今征 現 在 ii 市民, 関からの	後の対応(アクション) 認識している課題 原者市民,関係者の名称意見 意見,要望内名	男性受講者が少ない。 頭現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が 市議会 野性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。	評価	A	
5 今征 現 在 ii 市民, 関からの	後の対応(アクション) 認識している課題 原者市民,関係者の名称意見 意見,要望内名	男性受講者が少ない。 頭現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が市議会	評価	<u> </u>	
5 今征 現 在 ii 市民, 関からの	後の対応(アクション) 認識している課題 原名市民,関係者の名和意見 意見、要望内名	男性受講者が少ない。 頭現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が市議会 学男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 を委託先に依頼	評価	A	
5 今行現在 記市民,関の望	後の対応(アクション) 認識している課題 引係者市民,関係者の名称意見意見,要望内容 (1) 対応内容実施期限	男性受講者が少ない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価	A	
5 今征 現 在 ii 市民, 関からの	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価	A	
5 今征 現在 に 所の 要 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 頭に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が 市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月	評価	A	
5 今行現在 記市民,関の望	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 頭現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が 市議会 野性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 そ 委託先に依頼 最 平成 17 年 3 月	評価	A	<b>U</b>
5 今征 現在 に 所の 要 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期所 対応内容 実施期所 対応内容	男性受講者が少ない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価	A	<b>U</b>
5 今征 現在 に 所の 要 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	男性受講者が少ない。 頭に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 型 平成 17 年 3 月	評価	A	
5 今征 現在 に 所の 要 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期所 対応内容 実施期所 対応内容	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月	評価	A	
5 今往 課題・要 課題・の 3	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 頭現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月	評価	A	
5 今往 課題 ・要 が 他	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月	評価	A	
5 今往 課題 ・要 が 他	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 頭現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月	評価	A	
5 今往 課題 ・要 が 他	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。   現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。	方 向 性 1		
5 今往 課題 ・要 が 他	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。  委託先に依頼  平成 17 年 3 月  平成 年 月 「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 今後のこ			
5 今往 課題 ・要 が 他	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 年 月 「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 実施内容の工夫,財源の確保の問題があるが,閉じこもり防止の対策は必要であるため, 拡大・	方向性		
5 今往 課題 ・要 が 他	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 頭に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月 「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 今後のこ 実施内容の工夫,財源の確保の問題があるが,閉じこもり防止の対策は必要であるため, 内容の検討・委託料の算定について,委託先の協力を得ながら改善を行い実施する。	方 充 維 持		
5 現 市か要 課 へ そ改 m e c c c c c c c c c c c c c c c c c c	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられるのアイデア	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため,今後財源の確保が困難。 が 市議会 習 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 型 平成 年 月 「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 実施内容の工夫,財源の確保の問題があるが,閉じこもり防止の対策は必要であるため, 内容の検討・委託料の算定について,委託先の協力を得ながら改善を行い実施する。 現 状 方 法	方		
5 現 市か要 課 へ そ改 m e c c c c c c c c c c c c c c c c c c	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	男性受講者が少ない。 現現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が市議会  男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。  委託先に依頼  平成 17 年 3 月  「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 実施内容の工夫、財源の確保の問題があるが、閉じこもり防止の対策は必要であるため、 内容の検討・委託料の算定について、委託先の協力を得ながら改善を行い実施する。  提 状	方在維改託		
5 現 市か要 課 へ そ改 m e c c c c c c c c c c c c c c c c c c	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられるのアイデア	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月 「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 今後のこ 実施内容の工夫、財源の確保の問題があるが、閉じこもり防止の対策は必要であるため、拡大・ 内容の検討・委託料の算定について、委託先の協力を得ながら改善を行い実施する。 現 状 方 法 民間 委	方充維改託		
5 現 市か要 課 へ そ改 m e c c c c c c c c c c c c c c c c c c	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられるのアイデア	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が 市議会  零 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。  委託先に依頼  平成 17 年 3 月  「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 実施内容の工夫、財源の確保の問題があるが、閉じこもり防止の対策は必要であるため、 内容の検討・委託料の算定について、委託先の協力を得ながら改善を行い実施する。  現 状 方 法 民間 委縮  統合/終	方。維改、統一期		
5 現 市か要 課 へ そ改 m e c c c c c c c c c c c c c c c c c c	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられるのアイデア	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が市議会 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。 委託先に依頼 平成 17 年 3 月 「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 今後のこ 実施内容の工夫、財源の確保の問題があるが、閉じこもり防止の対策は必要であるため、拡大・ 内容の検討・委託料の算定について、委託先の協力を得ながら改善を行い実施する。 現 状 方 法 民間 委	方。維改、統一期		
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     年 ,	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が 市議会	方充維改託期休性実持善等小定止	次評価	2次評価
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     年 ,	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられるのアイデア	男性受講者が少ない。 現に閉じこもりの状態にある高齢者を把握できていない。 県の補助対象からはずされてしまったため、今後財源の確保が困難。 が 市議会  零 男性受講者が行きやすい講座を開設してほしい。  委託先に依頼  平成 17 年 3 月  「男性のための 講座」から始めて男女交流型に移行する。 元々男性が興味を持ちやすい機械・工作等の分野の高齢者でもできる簡易なものをする。 在宅介護支援センターを中心とした地域での見守りの体制の中で閉じこもりの発見を図る。 受講中の高齢者に近所の閉じこもりの高齢者を誘ってもらう。 実施内容の工夫、財源の確保の問題があるが、閉じこもり防止の対策は必要であるため、 内容の検討・委託料の算定について、委託先の協力を得ながら改善を行い実施する。  現 状 方 法 民間 委縮  統合/終	方充維改託期休性実持善等小定止	次評価	2次評価

		1							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
(一般	事業)	事業	コード	2310	070				部長次	長課長
平成15	(年度	重 .	業名	<b>차스</b> :	参加・生きがい事	些				
T 13X 1 3	十汉	<del></del>	* 4	TI	多加 土CガVi手:	*				
•		•								
1 事	<b>坐概</b>	要(ドゥ)								-
			コの日煙	2	健やかでめくもり	のある福祉社会づくり			保健福	込上立で
総合			<u>りの日1家</u> 中			ポートする社会の実現			所 管 課	
総 ロ i					高齢者の生きがい				デー 高年福 に 第 章	
			<u>小</u>	1	同版有の主さかい	刈束			所管課長氏名浜野	
体	系		細				г		記入者氏名川原	
事	業	期				経常臨時	☑ 経常 □臨	時	電 話 番 号 0797-3	88-2044 内線 2522
	法	令 ' 5	要綱 等	老人	福祉法				実施 主体市	
実	施	手	法	$\overline{\checkmark}$	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金 [	□ 負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称		」民間	委託 委託 内容	
				高齢	者の生きがい作り	,健康作りのための催し	の開催や,情報提	是供。		
事	業	Ø	概 要							
	214		1-70							
				おお	会 , 高齢者のつど(	1の関係				
击	<del>41.</del>	•								
事	業	の 				者の市長敬老訪問の実施 * ロの恋伝	}			
		実現のため			での高齢者福祉特質	集号の発行				
	<b>于</b> 段及	及び実施内	]谷	局齡	者証明書の発行					
			指標 名	催し	への参加者数					
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(写	実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標値		2,312人	2,050人	2,050/	٧	2,350人	2,500人
アウト	プット		単位コスト			·	3,696F	9	·	·
指	標		指標名				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
10	ाक	結果指標			1 2 年度 / 宝结 \	平成14年度(実績)	平成15年度(写	主結入	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			-	十八人	13千及(天禊)	十八八十十尺(天浪)	十八八八十八八	天視丿	十八八〇十尺(日标)	十八八十尺(日际)
		(2)	指標値							
			単位コスト							
2 事	業成	果(アウ	トカム)							
		対	兔	6.0	歳以上の高齢者					
		<b>V</b> 1	<i>3</i> \	0	成外工の问题日					
事業の	目的	対 象 カ	バー率	対象	è数 (a) 21	,319人 受益数	(b) 2,0	50人	比率 (b ÷ a)	% 9.6%
対象・	意 図									
		意	図	,	者が活動発表の場っ	を持つことにより,活動	∣が活発化する。ま	きた長素	导者を敬老することで <sub>,</sub>	生きる楽しみと力が湧
			 主語にして)	۲.						
		(),13(-1)								
大	き	な	目 的	生き	ス重に楽しみが持っ	て,長生きして良かった	・レ田マス喜齢老ヵ	が増える	3	
<b>X</b>	C	<i>'</i> &	<u>н</u>	ΞC	る事に来しいか可	C, RECUCRITION	. こ心人の回路日か	乃相人	۵,	
		ı	11 IT 6	= **		V >				
					に対する参加率(					
					者数 / 対象者の数		1			_
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(写	実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	カム		指標値		2 4 %	25%	2 5 %		28%	3 0 %
指	標		指標 名	6 0	歳以上の在宅高齢	者率(%)				
		最終成果	考え方・式	6 0	歳以上の高齢者数	- 施設入所者数/60歳l	以上の高齢者数			
						平成14年度(実績)	,	実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		97.7%	97.8%	98.0%		98.0%	98.0%
			11 IN IE							
古层市	の性を	カかど 油口	足する事項							
广连市	V) 113 C	5 & C 1111 X	にブッチ点							
ე <del>≓</del> = ∸	<b>学</b>	ンエチャェフ	/\/¬¬!				4 ## 1/2 / 5 - 1		CHA LIVIA (E)	E WE'40 44 A-F
			分(コスト		4.0 /= #= / \}	==4.4F= (1.55)	1世帯当り(円)			85 平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費		半成	13年度(決算)	` '	平成15年度(流		平成16年度(予算)	
	人	件 費				5,547		4,783		-
	事	業費				4,378		2,794	2,75	9
内 訳	他部	3 門 経 費		L						-
(千円)	減 佃	賃 却 費								-
, ,	合	Ħ			0	9,925		7,577	2,75	9
	国	· 県			0	0		0		0
財源								•		<del>-</del>
(千円)										-
( + 13)						0.005		7 577	0.75	
·		段 財源			0	9,925		7,577	2,75	<del>8</del>
	職	員				0.60		0.55		-
		·臨時等				0.00		0.00		-
(人)	合	計	100.0%		0.00	0.60		0.55	0.0	0

4 計1	<u> 叫(ナェック)</u>  価 - 将		評価チェックリスト	1次評価	2次評価
н	1		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	17/11/14	2//11/14
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			☑ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>∃</b> 3	2
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			☑ 数字で把握している 参加者人数      □ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容		
	優先性,緊急	<b>当性/1</b> )	○		
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績の	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	$\neg$	3
XIJ	双来の美額(	(2~ 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	_ 4	3
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	7.0011 3.2.31	5(* ',	□ 成果向上策あり □ 特になし		1
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	│ □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 把握していない □ し 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
~3			高い、または低い場合の理由		
	= V + 6 10	· · · · ·	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	受益者負担(	(0 ~ 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	1
<del>**</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	1	-
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3,12(.	• /	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない   ┗━ 内容   広報特集号の編集業務の委託を取りやめ。 行事(金婚夫婦お祝い会)の廃止		
			·		
平成宝施	15~16 した改	年度に	金婚夫婦を祝う事は市の役割か根拠が不明 改善 で祝うものとして、15年度から廃止。 と改善 内容		D
			rotal at la		
5 今1	後の対応(ア	クション)			
TB +- :	÷π ÷₩ I ~ I	\ 7 <b>≐</b> ⊞ 88	敬老会への参加が少なく , 記念品だけ後で取りに来る人が多い		
現住	認識してし	1 る 誄 選			
市民、関	関係者 市民,関	 係者の名称			
からの	音目				
要 望	!等息見,	安 望 内 谷	出演者が決まっていて,他の団体が出られない。		
		対応内容	  記念品の交換を敬老会当日だけにして,会への参加を図る。		
	(1)				
<u>+</u> ⊞ 85 ==	E +8 **	実施期限	平成 16 年 9 月		
課題·要	(2)	対応内容	出演者を広報で公募		
への:		実施期限	平成 16 年 5 月		
	//3 //6	7 410-710101			
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
	b 考えられる の ア イ デ ア				
以普(	0)		今後の方向	性 1次部研	こった 証 (番
			市民ニーズ,特に対象者は非常に楽しみにしているものである。 拡 大 ・ 充		2次計画
			催しでは出演者の公募や参加者の拡大のための改善に取り組んでいるので , 現 状 維		1
			実施方法を改善しながら,今後も実施する。 方法 改		1
平成 1	7~19年度	の方向性	民間委託	等	
				小	
			統合/終期設		
			廃止 / 休	止	
ን ሃታ ≐፣	亚価禾昌스	7 4 1/ 1	  イベント等の企画、実施には実施主体の見直しを検討して下さい。		
2	女貝云	1	1 、ノ 1 サツ圧圏、大心には大心工件の尤其して探引して「CVI。   		
			L		

(一般	ひ事:	業)	事業	コード	2310	080					部 長	次	長	課	長
平成	154	中中	車	業名	<b>宣</b> 龄	者バス運賃助成事	<del>**</del>								
— 13X	1 ) -	一反	<del>J'</del> :	<del>*</del> T	回園な	百八人圧貝の以ず	<del>**</del>								
1	業	概要	更(ドゥ)								!		ļ.		
				りの日標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社	会づくり				保健福祉	部		
総合		-		<del>,。,。</del> 中		高齢者の自立をサ					所 管 課	高年福祉			
政策				<u>'</u> / \		高齢者の生きがい		200			所管課長氏名				
体	פונו .	系		· <u>·····</u> 細	'	同既日の工でガリ	·v1%				記入者氏名				
事		業			ozi≨n	<u>                                     </u>		少学吃吐	☑ 経常 □		電話番号			内線	2521
	hn :							紅吊師时					2044	门級	2321
	<u>,                                    </u>					者バス運賃助成事					実施主体		240		
実委		施	手			直営	一一一部委託	t	□ 全部委託			Ш	負担金		
安			託			外郭団体委託	名称	7 10 7 4 7			委託 委託 内容	/L			
						0歳以上の高齢者						1寸する			
事	業		の	概 要	助成	券は阪急バス回数	カード等を購ん	入する場合	1,3,000	りを補助す	するものである				
					本人	が70歳に到達す	る月に,高年ネ	畐祉課の窓	『口で「バス乗車	<b>[券購入</b> ]	助成券」を交付す	る。			
事	業	į	の	現 状	助成	券は , はんきゅう	グランドパス(	65,阪急	バス回数カート	*又は阪タ	急バス定期券に利	用できる	0		
	E	的美	ぼ現のため	00	平成	15年4月1日よ	り現行制度に変	变更							
	手	段及	な実施内	]容	平成	15年4月1日現	在 70歳以_	上の高齢者	前数 約12,0	入00人					
				指標 名	助成	券交付枚数									
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
				指標値					7,53!	• •	8,500			, 0 0 0	
アウ	トプ	ット	, ,	単位コスト	-				3,43		,			·	
指		標				券利用人数 ( 交付 <sup>2</sup>	L 枚数×95% `	)		- 13	I				
111			結果指標			13年度(実績)	,		平成15年度	(宝绩)	平成16年度(	日煙)	平成 1 7	7 年度 (	日煙)
				指標値		131及(入限)	1720 1 1 1250		7,159		8,075			, 5 5 0	
				単位コスト					3,61		0,073		0	, , , , ,	
າ 📑	= 光	<u></u>	艮(アウト						3,017	<b>4</b> []					
<del>ا ا</del>	<del>* ⊼</del>	リスフ	K() ()	(JA)											
			対	象	満7	0 歳以上の高齢者									
車業	თ E	的	対 免 ヵ	バー 本	र्ग ई	R 数 (a) 1 2	0 0 0 7	平 光 数	7 (b) 7	人000人	比 率 (b	· a) %	5	8.39	6
対象		-	V) 3( ))	/\ <u>+</u>	V1 %	x (u) 12	, , , , ,	<u>х ш х</u> /	(5) , ,	0 0 0 7	(5)	. u) /0		0.5,	•
V1 3/	76		意	図	満っ	0歳以上の高齢者	が バス垂車を	5購入助成	を受けることに	- <b>-</b> 11	バスを利田し社会	参加を促	谁する		
			_	と語にして)	/III) /		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	Yel (1947 ) VEHIC C	, e XI) & e e l	-67,7	ハスと作がしては五	<i>&gt;</i> / C / C	Æ , O.		
			באופנא)	<u> Ендісо</u> су											
大	ŧ		な	日 的	高齢	者の地域における	活動、老人クラ	ラブ活動!	スポーツ、趣味	未乃び文化	化活動等の社会参	加の機会	を促進す	るため、	
	_			п ",	Поде	100000000000000000000000000000000000000	, a = 3 , a > 1 .	· / /Ц±3 /	) (i.j. ) / <u>\</u>	1.2021	0/1120/12/07	22 12 2	ر الحرب	0,200	
				指 煙 名	助成	制度利用率(%)									
						人数 / 7 0 歳以上	の高齢者数x	1 0 0							
						13年度(実績)			平成15年度	(実績)	平成16年度(	目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
アウ	トカ			指標値		1 12 (7 4 11 7		- (	59.5		64.30	_		5.09	-
指		標				者の外出頻度	1				1			1	
						1回以上外出する	割合(すこやか	長寿プラン	ンアンケートに	よる)					
						13年度(実績)					平成16年度(	目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
				指標値			54.		未把握		58.00			0.09	
		!					1				I				
芦屋市	市の	特色	など補足	足する事項											
. —															
3 ቜ	業	費・	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	667	住民1人当り(円)	289	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事	<del></del>	<u>八</u> 業	<del>/ロェ//ロ)</del> 費		平成	13年度(決算)	平成14年度	「決算)	平成15年度		平成16年度(		, , , ,		
		(	件費			257		1,645		2,232	1111	-			
	-	<u>`                                    </u>	業費			44,699		40,123		23,628		26,670			
内			門経費	0.0%		,		,		0					
	_		償却費	0.0%						0		_			
( 1 1.	] / <u>"</u>		計			44,956		41,768		25,860		26,670			
	E		· 県			11,000		, ,		0		0			
財	源了	-	債 等							0		0			
n (千円			の他							0		0			
( I T	٠ / ر		財源			44,956		41,768		25,860		26,670			
活	番h Bi		<b>以 90) /0</b> 員			0.10		0.10		0.20		20,070			
	動り			100.0%		0.10		0.10		0.20		-			
配(人	分 <b>ツ</b>		·臨時等			0.10		0.20		0.00		0.00			

	叫(テェック)				
評		. 点		1次評価	2次評価
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		(2 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	,	,	☑ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	2	2
-	市民ニーズ(	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	_	_
性	1520- 70	_ ')	□ 数字で把握している □ 大の間がには日光ない。または木には木には		
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	_	
O.M.	社会環境変化	化(1~ 1)	内容		
	優先性,緊急	<b>3 性/1</b> )	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	, ,	□ おまが、 中間間・ □ 同間神に引き及 □ 同間神をデが、 中が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
	文皿日()	-1)	□ 事業息凶と支血するまたが。 □ 事業息凶と支血すが不差点,または支血が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	-	_
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	□ 中間成未指標の美韻値を記録し、自標値を設定している□ 美韻値なたは自標値が不能へ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
h41-			成果があがっていない場合		
性	- 成果向上余年	地(1~ 1)			
4点			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
			<ul><li>☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない</li><li>☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 5,000円 □ 把握していない</li></ul>		
効	単位コスト(1	~ 1)			
XVI			→ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率			□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	<b>-</b> 2	1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	•
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	,		<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
			→ 内容 半額助成方式を見直し,運賃助成方式とした。		
平成	1 5 ~ 1 6	年度に	高齢者の増加 15年度から助成券(1人年間3,000円)方式に 改善 次再 1 たところであり、 京参考専用の回数 総合		_
実施	した改	善内容	怀悠	A	
- ^ /	# <u> </u>	<b>L</b> >	カードを作成している。		
5 学程	<u> </u>	<u>クション)</u>			
		+	満70歳以上の高齢者が増加し続けること		
現 在 記	認識してし	1る 課 題	実際に利用している人の把握が困難なこと		
\					
	係者 市民,関	係者の名称			
からの		要望内容			
要 望	等显光,				
		対応内容			
	(1)				
		実施期限	平成 年 月		
課題·要		対応内容			
	(2)				
へ の 5	対応	実施期限	平成  年   月		
		対応内容			
	(3)				
		実施期限	平成 年 月		
	考えられる				
改善(	カアイデア	7		. 1	1
			今後の方向性	_	2次評価
			平成15年度から,助成券(1人年間3,000円)方式に変更したところであり, 拡大・充身		
			事業の有効性を判断するため継続する。 現 状 維 対		
			方法改善		
平成 1	7~19年度	の方向性		_	
			縮		
			統合/終期設定		
			廃止/休山		
			   現行の制度では   高齢者の社会参加を促進するという重要効果に疑問があります   航得制限を道λする	ナンド 小公	亜か↓
2 次 評	平価 委 員 会	コメント	現行の制度では、高齢者の社会参加を促進するという事業効果に疑問があります。所得制限を導入するに、必要な助成ができるよう見直しが必要です。	ふこ、必	女体八

	112 :						<del></del>		-1
(一般	事業)	事 業	<u> </u>	2340	010			部長次	長課長
平成1	5年度	事	業名	シル	バーハウジング・I	自立支援事業			
1 車:	茶和豆	要(ドゥ)							ļ
			′11の日輝	9	健やかでめくま!1	のある福祉社会づくり		保健福祉	- <b>≟</b> R
総合			<u>ウの日間</u> 中	-		ポートする社会の実現		所管課品	
政策			<u>'</u> 小		高齢者の生活自立			所管課長氏名浜野 孝	
体	系		細	<u> </u>				記入者氏名浜野 孝	
事	業	其	] 間	平成	4年4月~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38-	2044 内線 2521
根 拠	法	令 ·	要綱等	国・	県要綱、市高齢者	世話付住宅生活援助員派	遣事業実施要綱	実 施 主 体市	
実	施	手	= 法		直営	□ 一部委託	☑ 全部委託	□補助金□□	負担金
委		託	先	· 🔽	外郭団体委託	名称 (財)芦屋ハートフ	ル福祉公社 🛛 🖸 民間	委託 委託 内容 援助員派	遣業務
				高齢	者世話付住宅に居住	主する高齢者に対し生活	援助員を派遣して,生	舌指導・相談,安否の確認	<b>,</b>
事	業	の	概 要	一般	的な家事援助,緊急	急時の対応等のサービス	の提供を行う。		
					者世話付住宅の入り				_
事	業	<u>の</u>		1	•	56尺 (陽光町)市営	住宅 110户 県営	住宅 120戸 合計 2	8 6 尸
		実現のため			員設置人数	2   / 78 N/MT > 2	15° 401 53-	++ <del></del>	
	于段人	及び実施内	分	(大	東市営)	∠人 (陽光町)シル	・バー 10人 自立	文援 8人	
			华 梅 农	派海	 人数(援助員数)				
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		18人	20人	20人	20人	20人
アウト	プット		単位コスト		10%	20%	2 0 7	20%	20%
指	標			_	員派遣件数				
3.0	170	結果指標		_		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標値		40,109件	38,152件	38,902件	38,000件	38,000件
		, ,	単位コスト			1,291円	1,214円		
2 事	業成績	果(アウ	トカム)						1
		対	矣	三齢	者世話付住宅の入り	子老(戸数) 子老(戸数)			
						<u> </u>			
			リバー 率	対象	R 数 (a) 2	8 6 戸 受 益 数	(b) 286戸	比率 (b ÷ a) %	1 0 0 %
対象·	怠 凶			入居	者に生活援助員を済	派遣して生活指導、相談	. 緊急時の対応等のサ	- ビスを提供することによ	り、自立して安全かつ
		意 /*******	-	快適	な生活を営むこと	ができるようにする。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		7 / 112 (212)
		(対象を	主語にして)						
大	ŧ	な	日 於	自立	した快適な在宅生活	舌の推進			
/			н н	1	O ICINE GE GE				
			指標 名	入居	率 ( % )				
		中間成果			に対する入居率				
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	カム		指標値	1	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %
指	標				者在宅率(%)				
						者数/高齢者人口×10			
		指 標		1		平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値	1	97.0%	97.1%	97.3%	97.3%	97.3%
本屋士	·	み ナ> ビ 2击!	足する事項	5					
户座巾	の神に	となる細が	正90事項	1					
3 事:	<b>坐</b> 费,	活動配	分(コスト	. )			1世帯当り(円) 1,217	住民1人当り(円) 526	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	<u>/山玉//印し</u> 費			13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1 M. 10.11.1 EXCEPTIN
	人	件費		_	1 12 (1111)	3,590	1,365	-	
	事	業費	1			45,692	45,780	46,204	
内 訪	尺他 部	門 経 費	0.09	6			0	-	
(千円	) 減 個	償 却 費	0.0%	6			0	-	
	合	뉡		6	0	49,282	47,145	46,204	
	国	· 県		6	_	28,269	30,575	28,269	
	市	債 等		1			0	0	
(千円		の 他				175	897	1,005	
`T -		<b>以 財 源</b>			0	20,838	15,673	16,930	
	加職	,吃味笑				0.40	0.20	-	
		·臨時等			0.00	0.00 <b>0.40</b>	0.00 <b>0.20</b>	0.00	
(人	/ <b>P</b>	Ħ	100.09	9	0.00	0.40	0.20	0.00	

評	<u>m (フェクフ)</u>   価 視 点	評価チェックリスト	4 \h ÷π /≖	2次評価
計			「次評1四	2次評1回
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない □		
	,	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<sup>-</sup> 5	6
_	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握	0	0
性	1020- 71(2 1)	□ 数字で把握している □ 未把握		
		·	_	
8点	社会環境変化(1~1)			
	75 4- 11 - 150 5- 11 - 12	内容 24時間常駐方式をとっている。	_	
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	3	4
X/J	成未の夫績(2~ 1)	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	<b>3</b>	4
性		成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
		□ 比較ととも団体がある □ 団体日 □ 比較ととも団体はない □ 比較していない □ 地間していない		
効	単位コスト(1~ 1)			
X/J		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
		高い、または低い場合の理由	4	
	受益者負担(0~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	XIII 1 X 3 = (0 · ·)	└→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	_ 1	_1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	'	
	<b>エF</b> ル(4 つ)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	_	
υ	コスト削減取組(1~ 1)	→ 内容 補助対象の増額を図っている。		
		NA improved to constant and a second	_	
平 成	15~16年度にした改善内容	.│ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	A	В
実施	した改善内容	内容		D
[				
J 71:	友のスラルロ(アフンョン)	震災の被害を受けた入居者がほとんどで,震災の経過とともに介護を必要とする人が増えてきている。		
TB +- ±				
况 1工 品	記している 味 歴	自立支援事業が平成16年度で終了が予定されている。 		
→ □ BE	ほん サーロー 明 に せ の ね ひ			
巾氏, 僕	関係者 市民,関係者の名称			
からの	意見意見,要望内容			
要望				
	対応内容			
	(1) 対心内合			
	実施期限	平成年月		
課題·要	東望等			
# 34	(2) 対応内容	I and the second		
へのす				
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				
	対 応 実施期限 対応内容	平成    年    月		
	対応 実施期限 対応内容	平成		
	対 応 実施期限 対応内容	平成 年 月		
	対応 実施期限 対応内容 実施期限	平成		
	対 応 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる	平成		
	対応 実施期限 対応内容 実施期限	平成		
	対 応 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる	平成	生 1次評価	2次評価
	対 応 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる	平成     年     月		2次評価
	対 応 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員 2 4 時間派遣体制を継続する。     今後の方向       拡大・充	実	2次評価
	対 応 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員 2 4 時間派遣体制を継続する。     今後の方向       現 状 維	実 持	2次評価
改善(	対 応 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 せ考えられる の ア イ デ ア	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員 2 4 時間派遣体制を継続する。     今後の方向・現 大・充現 状維 方 法 改	実 持 善	2次評価
改善(	対 応 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる	平成       年       月         平成       年       月         自立支援事業の補助金を確保し生活援助員 2 4 時間派遣体制を継続する。       本 大・充現 状維 方 法 改民間委託	実 持 善	2次評価
改善(	対 応 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 せ考えられる の ア イ デ ア	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員24時間派遣体制を継続する。     本 大・充現 状 維 方 法 改民間委託 縮	実 持 善 等 小	2次評価
改善(	対 応 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 せ考えられる の ア イ デ ア	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員 2 4時間派遣体制を継続する。     今後の方向現 大・充現 米維方法改良 計議額       長間委託縮       統合/終期設	実 持 善 等 小 定	2次評価
改善(	対 応 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 せ考えられる の ア イ デ ア	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員24時間派遣体制を継続する。     本 大・充現 状 維 方 法 改民間委託 縮	実 持 善 等 小 定	2次評価
平成 1	対 応 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 は考えられるの ア イ デ ア マ マ 1 9 年度の方向性	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員 2 4時間派遣体制を継続する。     今後の方向       現 状 維 方 法 改 民間 委 託 縮     統合/終期設 廃 止 / 休	持善等小定止	
平成 1	対 応 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 は考えられるの ア イ デ ア マ マ 1 9 年度の方向性	平成     年     月       平成     年     月       自立支援事業の補助金を確保し生活援助員 2 4時間派遣体制を継続する。     今後の方向現 大・充現 米維方法改良 計議額       長間委託縮       統合/終期設	持善等小定止	

										_						
(一般	事業)	事業	コ	- F	2340	040				]	部	ŧ	次	長	課	長
平成15	5年度	事	業	夕	介謹	保険制度外在宅支	<del></del>									
T 13% 1 .	7 干皮	<del></del>	*	Н	八吱	体内间及/11年七文:	<b>双</b> 于未									
, <del>.</del>	VIIV 107 -	<del></del> / le :	`													
		要(ドゥ				les					1		I			
				の目標		健やかでぬくもり					所	管 課	保健福祉			
総合			中			高齢者の自立をサ		の実現			** ±0		高年福祉	- 14-11-		
政策			小		4	高齢者の生活自立	文援の推進						浜野 孝			
体	系	ļ	細	88			1,	.7 44 FF p+		1 m=n+			浜野 孝		_L &5	0=04
事	**		期	間		短短法 人姓伊哈		经常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797-38-	2044	内線	2521
		令 '	<u>安</u> 手			福祉法・介護保険 直営						主体		수 II 스		
実 委	施	 託	<del>-</del>				<ul><li>☑ 一部委託</li><li>名称 (財) 芦屋/</li></ul>		□ 全部委託		神			負担金 :		
女		pЪ		76		が郭凶体安託 歳以上の高齢者に									£	
事	業	Ø	概	. ===		成以上の同転省に 入浴事業,日常生活			・ーム・ハノチ	未,丿1	リーレス	・尹未,之	/ =     /	.ノイ <del>サ</del> 未	₹,	
<del></del>	*	0)	144	. <del>Z</del>		八石事業,口市王/ 保険の円滑な推進(			軽減や社会短	ᅓᆦᆂᆚᇆ	トス減な	1				
					-	歳~64歳及び6							ブフを提供	:1,		
事	業	Ø	現	<del>/</del> −		を行うことにより				ないへて	(13KIC11	. <del></del> ) [	- 人で派穴	,		
<del>-</del>		ま現のた		-		, 介護保険対象者				を行う						
		えび実施			870	,八段区区区		PX71 02 2		C11 70						
	J TX	~ ~ 118														
			指	標名	登録:	者数(概数)										
		結果指				13年度(実績)	平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(1)		標 値		1,200人	1,300		1 , 4 0	0人		, 50	• •	1	, 6 0 0	人
アウト	プット	, ,		・位コスト			,		29,1							
指	標			標名		用回数	I				1			I		
		結果指				13年度(実績)	平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(2)	指	標値		2,031人	2,485		2,74	6人	3	3,00	0人	3	, 0 0 0	人
			単	.位コスト					14,8	5 0人						
2 事	業成	果(アウ	1トカ	Jム)					•							
		対		免	6.0	歳以上の援護を必	要とする 真齢者									
			カノ	( - 率	対象	R 数 (a) 2 1	,000人	受益数	( (b) 1	, 400人	、 比	; 率 (b	÷ a) %	6	. 6 7	%
対象・	意 図			_												
		息			介護	保険とあわせた一	<b>設資源として活</b>	用し在宅	生活を支える							
		(対象を	主語	いして)												
	+	+>	_	<b>h</b>	<b>△</b> ±#.	心吹をひ ジョナ	はウナッケウム	レ <b>ンフ</b> し	して担供を仁	= - 1-1-	L 12 ##	;+∞÷#==#	<b>^</b> *^*;	ナニのケ		7
大	ਣੇ	な	Ħ	的	汀:護	保険をサービスを	開元9 る仕七丁		して提供を付	つことに	より,安	技護同圏	で有の仕も	注活の女	正を凶	<b>ට</b> ං
		1	+6	標 名	£II⊞'	弦 ( 0/4 )										
		中胆式				<u>平(                                    </u>	ルプ) × 1 0 0									
			漂年			13年度(実績)		(宝績)	平成15年度	(宝績)	平成 1	16年度	(日煙)	平成 1	7 年度 (	日煙)
アウト		) H 1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		81.4%	89.4		91.	• •	1 /3%	9 2 %	• •	1 /32. 1	92%	H 155 /
指	7. 標								3		1	3 = 70			3 = 70	
3.6	1731					高齢者出現率 + 在		/ 6 0 歳	以上高齢者人	□ × 1 0	0					
			漂年			13年度(実績)						6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				標値		13.4%	15.0		15.			15.4			5 . 8	
							I		I					1		
芦屋市	の特色	色など補	足す	する事項												
3 事	業費・	活動面	分	(コスト	)				1世帯当り(円)	975	住民1人	当り(円)	422	平成16.4	.1 住民基	基本台帳
事	業	Į.	費 7	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(	(決算)	平成15年度	(決算)	平成 1	6 年度	(予算)			
	人	件	費	13.9%				4,933		5,261			-			
	事		費	86.1%				33,905		32,518			29,616			
内 訴	他部	門経	費	0.0%				0		0			-			
(千円)	減 個	貸却	費	0.0%				0		0			-			
	合		Ħ	100.0%		0		38,838		37,779			29,616			
	国		果	29.5%	-			6,938		11,147			13,805			
	市		等	0.0%				0		0			0			
(千円)			也	0.0%	_			0		0			0			
`	_	设财	_	70.5%		0		31,900		26,632			15,811			
	職		員 ~~	100.0%				0.50		0.60			-			
		·臨時等	-	0.0%		0.00		0.20		0.00				-		
(人)	一百		Ħ	100.0%		0.00		0.70		0.60			0.00	Ī		

評	<u> </u>	点					評価チェッ	whlla	L		1 \欠 =亚/莱	2次評価
āT .	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				. → n□ 7#1 →	+ 7	計画アエ			1.40	「 八計 111	2次計画
	目的妥当性(2	~ 2)	_	■業の主目的  ■業の主目的					□ 事業の目的は一つに絞るこ			
									□ 貢献度が不明確、または高			
_		_,					けられている		□ 民間でやるべき,または対応			
妥	市関与(2~ 2	2)		民の基本的な	な生活の	維持に必要	要である		□ 他団体では見直しがされて	113		
									□ いずれにも該当しない		4	_
当				「民ニーズに基		亍うべき事	業		□ 市民ニーズに基づいて行う		4	5
	市民ニーズ(2 ^	~ 1)	<b>└</b>	☑ ニーズ:					□ ニーズが高いとは言えない	•		
性							計画策定時に把			□ 未把握		
8点	社会環境変化	(1 ~ 1)	□事	業に関わる社	土会環境(	D変化にi	適応している		□ 社会環境の変化にあわせた	:見直しが必要		
	江公城先交门	(1 1)		内容								
	優先性,緊急性	生(1)	□事	業を実施した	。ければ,	市民の生	命,安全等が損な	なわれる	3			
	対象カバー率(	[1 ~ 1)	☑ 対	象カバー率	は高い		□ 他団体と同	]程度	□ 他団体よりカバ・	- 率が低い		
有	受益者(1~ 1	1)	☑ 事	業意図と受証	金者は整治	<del>合</del> している	□事業ラ	意図と受	受益者が不整合 , または受益か	で一部に限定		
<del>∆</del> +	世田の宝建(2	4)	☑中	間成果指標	の実績値	を把握し、	目標値を設定し	ている[	□ 実績値または目標値が未記	E入	1	1
効	成果の実績(2	~ 1)	<b>└</b> ▶ ⊡	② 実績値か	ら成果がな	<b>あがってい</b>	1ると言える		□ 実績値から成果があがって	いると言えない	4	4
性	*B* L \ U		成果:	があがってい	ない場合							
4点	- 成果向上余地	(1~ 1)	□成	は果向上策あ!	)					□ 特になし		
				比較できる団体		団体名		Г	□ 比較できる団体はない			
						ている	単位コスト	<del>-</del>	 ☑ 把握してい	ない		
効	単位コスト(1~	1)	<b>-</b>	□ 他団体よ	コストが1	ÆL1	□ 他団体と同	程度		で高い		
				、または低い均				1112	_ 10Д/10074777	1-00		
							5.5.	負扣を	 求めるべき事業ではない			
	受益者負担(0	~ 1)	1 1				] 負担なし, 過少		、	] 沙川7可能 )		
率							・受理なり、過少 出資団体へ委託し			]	1	-1
				事乗(止戍戦 E規職員による					素務について □ 個人,家庭,地域等が担う・	ヾキ 郊 仏 が あ る		
	手段(1~ 3)											
444				。间(止来,NP 3計 吃味奶5	ひ守) では	以心でで	ない実務である		□ 民間(企業, NPO等)で対応	り形でのる		
性							い業務である		☑ 嘱託,臨時職員等で対応□	見能である		
3点	コスト削減取組	1(1~ 1)		スト削減の取 内容 負担				L	□ 特に行っていない			
				•		を言うし		ウコム	切の日本し # 安佐			
平 成	1 5 ~ 1 6 <sup>4</sup> した改善	年度に	+田田	護保険との	至古汪		改善		担の見直しを実施 割負担を五割負担に	総合	Λ.	В
実 施	し た 改 善	内容	水起				内容	tlp	刮貝担で五刮貝担に	評価	Α	D
	<b>多の対応 (フ</b> カ	2,721)										
J 71	<u> 後の対応(アク</u>	ンコノ)	<b>小罐</b> 但		ラオスグに	到を担っ、	ているが 今強/	「ワ 『全牛』 F	要の見直しが予定されており	まわせて目古	が必亜	
田左台	認識してい	2 ≐田 昭		映削反で開か	で り る 1又 i	別を担う	こいるか、月喪!	木火巾が	支の兄直しかりたされてのり	,の17년(兄直)	ノル必女	0
况 1工 7		の林思										
+0 8	関係者 市民,関係	*^										
中氏, 度	部份有 中代,例除	有の名称										
からの	意見意見,要	望 内 容										
安 望	寺	r , n										
		対応内容										
	(1)	対応内容										
	(1)			年		月						
課題・要	(1) : · · ·	対応内容実施期限		年		]月						
	(1)	対応内容 実施期限 対応内容	平成									
課題・要への言	(1)	対応内容実施期限	平成	年		月月						
	(1) 宝望等 (2) 対応	対応内容実施期限対応内容実施期限	平成									
	(1) 注望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成									
	(1) 注望等 (2) 対応	対応内容実施期限対応内容実施期限	平成									
	(1) 注望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成	年		月						
^ Ø 3	(1) 注望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成	年		月						
へのう	(1) 注望等 (2) 対応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成	年		月						
へのう	(1) (2) 対応 (3) 3 3 3 3 3 3	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成	年		月				今後の方向性	1次評価	2次評価
へのう	(1) (2) 対応 (3) 3 3 3 3 3 3	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成平成	年	直しにあれ	月	直しの予定。			今後の方向性拡 大・充 実		2次評価
へのう	(1) (2) 対応 (3) 3 3 3 3 3 3	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成平成	年	直しにあれ	月	直しの予定。					2次評価
へのう	(1) (2) 対応 (3) 3 3 3 3 3 3	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成平成	年	しにあれ	月	直しの予定。			拡大・充実		2次評価
へ の i	(1) (2) 対応 (3) 3 3 3 3 3 3	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年	しにあれ	月	直しの予定。			拡 大 · 充 実 現 状 維 持 方 法 改 善		2次評価
へ の i	(1) (2) 対応 (3) 3考えられる のアイデア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年	重しにあれ	月	直しの予定。			拡 大 · 充 実 現 状 維 持		2次評価
へ の i	(1) (2) 対応 (3) 3考えられる のアイデア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年	重しにあれ	月	直しの予定。			拡大・充実現状維持方法改善         民間委託等         縮		2次評価
へ の i	(1) (2) 対応 (3) 3考えられる のアイデア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年	重しにあれ	月	直しの予定。			拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       統合/終期設定		2次評価
へ の i	(1) (2) 対応 (3) 3考えられる のアイデア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年	しにあれ	月	直しの予定。			拡大・充実現状維持方法改善         民間委託等         縮		2次評価
その他改善(	(1) (2) 対応 (3) 3考えられる のアイデア	対応内容 実施期限 対 定施期限 対 定施期限 容 実 が 実施期限 合 向 性	平成平成	年	しにあれ	月	直しの予定。			拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       統合/終期設定		2次評価
その他改善(	(1) (2) 対応 (3) 3 3 3 3 7 ~ 19年度の	対応内容 実施期限 対 定施期限 対 定施期限 容 実 が 実施期限 合 向 性	平成平成	年	1 UIC 5 A	月	直しの予定。			拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       統合/終期設定		2次評価

(一 45)	事業)	重 丵	□ <b>-</b> ド	2340	1090				部長	次	長課	長
,	,					_	= 1114				区际	IX.
平成1	5年度	争	業名	仕毛	介護支援センタ	<b>一</b> 身	業					
ر ا <del>ا ا</del>	<del>기사</del> 101 5	FF / I* . \										
		要(ドゥ) ま ぉ づ ゙	′11の日標	2	健やかでめく‡	: 11	のある福祉社会づくり			保健福祉	L-並K	
総合			<u>ソの日保</u> 中				ポートする社会の実現		所 管 課	高年福祉		
政策			<u>'</u>		高齢者の生活自				所管課長氏名			
体	系		細						記入者氏名	浜野 孝	<u> </u>	
事	業	其		平成	. 2 年 ~		経常臨時	☑ 経常 □臨時	電話番号	0797-38	-2044 内線	2521
		令 · !				県要	と にゅうしゅう という とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう という という という という という という という という という とい		実 施 主 体	市		
実	施	手			直営		一部委託	☑ 全部委託	□補助金		負担金 -	
委		託	先		外郭団体委託			ル福祉公社等 □ 民間 関係機関と連携してニ				
事	業	Ø	概 要					関係機関と連携して二 ・護予防プラン」の作成		ド)连伸位り	-626	
7	未	0)	194. 女	灰片	(522)	/			<b>で1</b> ] ノ (いる。			
				市内	に4か所設置	基			ートフル福祉公	<u></u> 社内)		
事	業	の	現 状					エルホーム芦屋・ハー		,		
	目的第	実現のため	5の	各中	学校区に1か所	づこ	)設置し,市の対代替機	能として24時間体制	で相談に応じてい	いる。		
	手段》	ひ実施内	內容									
			#s #= ~	+□+0	/ <del>/</del>							
		結果指標	指標名			1	平成14年度(実績)	立成15年度(宝建)	平成16年度	(日煙)	平成17年度(	(日煙)
			指標値		1,433件	! )	1,624件	1,686件	2,00		2,200	
アウト	プット	(1)	単位コスト	-	1,45511		1,0241	18,036円	2,00	0 11	2,200	7 11
指	標		指標名		実人数			, , , , , ,			1	
		結果指標				į)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(	(目標)
		(2)	指標値		947人		1,028人	1,049人	1,20	0人	1,300	)人
	NI2 IV -		単位コスト					28,988円				
2 事	業成績	果(アウ	<u>トカム)</u>	ı								
		対	象	在宅	の要援護高齢者	若し	,くは要援護となるおそ	れのある高齢者又はその	の家族等			
事業σ	)目的	対象力	」 バ ー 率	対象	象数 (a) 1	7.	457人 受益数	(b) 1,049人	比 率 (b	÷ a) %	6 %	
対象・			, , , ,	\J \2	K XX (U)			(5)	V   DD + (V	. u) 70	1 0 70	
		意	図	在宅	の要援護高齢者	若し	,くは要援護となるおそ	れのある高齢者が自立	した日常生活を賞	含むための	)支援を行う。	
		(対象を	主語にして)									
	_	4.		在宅	の要援護高齢者	若し	くは要援護となるおそ	れ高齢者がニーズに対	応した保健・福祉	ŀサービス	が総合的に受け	られる
大	ਣੇ	な	目 的	よう	支援する。				NO O TO PRIZE THE		(7) 110 (17)	5100
			<b>指煙</b> 夕	ケア	プラン作成件数							
		中間成果		_			。 ためにサービスを受け	<u> </u>				
							平成14年度(実績)		平成16年度	(目標)	平成17年度	(目標)
アウト	カム		指標値		376件		5 3 0 件	6 1 3 件	675f	<b>4</b>	7 4 3 件	#
指	標				者在宅率(%)							
						_	数/高齢者人口×10	,		. = .= .	I = 10	. = .= .
		指標				į)	平成14年度(実績) 97.1%		平成16年度	· · · · · · · · /	平成17年度(	` ′
			指標値		97.0%		97.1%	97.3%	97.3	%	97.3	%
芦屋市	の特色	凸など補品	足する事項									
, ,,_		2 0. 2 1137										
3 事	業費・	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円) 785	住民1人当り(円)	339	平成16.4.1 住民	基本台帳
事	業	費	構成%	平成	,13年度(決算	į)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度	(予算)		
	人	件 費					4,568	4,305		-		
	事	業費					27,828	26,104		26,593		
		門経費	1	_				0		-		
(十円	合	計		-		0	32,396	30,409		26,593	-	
	国	<u> </u>		_		_	32,330	18,177		19,517	-	
財源	東市	債 等		-		$\dashv$		0		0	1	
(千円		の他		-				0		0		
		段 財 源				0	32,396	12,232		7,076		
	職	員					0.50	0.50		-		
		·臨時等			-	20	0.00	0.00		-		
(人	川台	計	100.0%	ı	0.0	UU	0.50	0.50		0.00		

±₩	<u>ш() т))</u>	テェック)   神				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1.	次評価	2次評価
	口的可以供价	0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができた	<b>11</b>		
	目的妥当性(2~	2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能であ	5 S		
妥	市関与(2~2)		☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	, ,,,		□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	<i>†</i> >1 \	4	7
	市民ニーズ(2~	1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未		7	,
性	1520- >1/2	.,	□ 数字で把握している 相談件数 1,686件 □ 未把			
8点			□ 数字で記録している にはいる ・・・・・・・ □ 社会環境の変化にあわせた見直しが			
о <i>ж</i> .	社会環境変化(1-	~ 1)	内容 地域ケア体制の構築に取り組んでいる	必女		
		1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~	•	□ 事業を実施しなければ、市民の主命、女主寺が預なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	1		
有	受益者(1~ 1)	''	□ 対象のパン 平は間が □ に固体と同様を □ に固体を がが、 平が 間が □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限			
	, ,		□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	-		
効	成果の実績(2~	1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	t 1.1.1	4	4
性			成果があがっていない場合	L'&V1		
4点	- 成果向上余地(1·	~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特	= to L		
4,55			□ 成未向工泉のり □ □ 171 □ 比較できる団体はない	L/4.0		
			□ 比較できる団体がある □ 四本日 □ □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1~	1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
~/3			高い、または低い場合の理由			
			□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(0~	1)	□ 貝担を求めることができる事業である □ 貝担を求めるべき事業ではない □ 貝担を求めるべき事業ではない □ 貝担を求めるべき事業ではない □ 徴収可!	46、	_	_
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	HE )	1	0
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分か	vi ≒ z		_
	手段(1~ 3)					
444			☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取組(1	~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない トタマ 人件費については補助金の範囲内で対応している			
			<u>_</u>			
平 成	1 5 ~ 1 6 年	度に	地域資源の活用と相談機能の強化 課題 地域ケア会議の再構築と 改善 2 日 6 年度に一箇所増設	総合	٨	В
実施	し た 改 善	内容	内容	評価	Α	D
J — 1	後の対応(マクシ	//			-	
- /	<u>後の対応(アクシ</u>		行政だけでは支えきれない部分についての地域資源の活用	•		
	·		行政だけでは支えきれない部分についての地域資源の活用 在字介護支援センターあたり3.000~4.000人を対象にしていることから順次増設を図	13.		
	·	課題	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図	13.		
現在	認識している	課題	The state of the s	13.		
現在 市民,関	認識している	課 題の名称	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図	13.		
現在 市民,限からの	認識している 関係者 市民,関係者 意見 音 見 要な	課 題の名称	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図	13.		
現在 市民,関	認識している 関係者 市民,関係者 意見 意見,要望	課題の名称 2 内容	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図	13.		
現在 市民,限からの	認識している 関係者市民,関係者 意見 意見,要望	課 題の名称	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図	13.		
現在 市民,限からの	認識している 関係者 意見 意見,要望 (1)	課題の名称 召内容 応内容	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図 当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。	13.		
現 在 満市民, 関 か 要 望	認識している 関係者 意見 意見,要望 (1) 実施	課題の名称 内容応期限	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。	13.		
現在 市民,限からの	認識している 関係者 市民,関係者 意見 意見,要望 (1) 実別	課題の名称 召内容 応内容	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図 当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。	13.		
現 在 満市民, 関 か 要 望	認識している 関係者 意見 意見,要望 (1) 要望等 (2)	課名の内内期の施施の	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月	13.		
現在は、限の望います。	認識している 関係者 意見 意見,要望 (1) 要望等 (2) 対応	課名称容容施応施加	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月	13.		
現在は、限の望います。	認識している 関係者 意見 意見,要望 (1) (1) (2) 対応 (2) 対応	課名の内内期の施施の	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月	13.		
現在は、限の望います。	認識している 関係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が実施がない。 (2) 対が 実施がない。 (3) 対が	課名なった施応施のからでは、おおおおいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月	13.		
現在は、限の望います。	認識している 関係者 市民,関係者 意見,要望 (1) 対が実施がない。 (2) 対が 実施がない。 (3) 対が	課名称容容施応施加	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月	13.		
現在に、別の望います。	認識している 関係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対応 (3)	課名なった施応施のからでは、おおおおいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月	13.		
現在に、別の望います。	認識している 関係者 意見,要望 (1) 要望等 (2) 対が 実対が (3) 実対対 (3)	課名なった施応施のからでは、おおおおいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月	13.		
現在に、別の望います。	認識している 関係者 意見,要望 (1) 実理等 (2) 対応 (3)	課名なった施応施のからでは、おおおおいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月		次評価	2次評価
現在に、別の望います。	認識している 関係者 意見,要望 (1) 要望等 (2) 対が 実対が (3) 実対対 (3)	課名内内期内期内期のない。	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	方向性	次評価	2次評価
現在に、別の望います。	認識している 関係者 意見,要望 (1) 要望等 (2) 対が 実対が (3) 実対対 (3)	課名内内期内期内期のない。	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	方向性 1	次評価	2次評価
現在に、別の望います。	認識している 関係者 意見,要望 (1) 要望等 (2) 対が 実対が (3) 実対対 (3)	課名内内期内期内期のない。	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 7  本成 7  本成 7  本成 7  本成 7  表現 状	方 危 担 1	次評価	2次評価
現 市か要 課 の の の の あ	認識している 関係者 意見,要望 (1) 要望等 (2) 対が 実対が (3) 実対対 (3)	まる 内 内 期内 期内 期限 称 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本成 年 月  本成 年 月 月  本成 年 月 日  本成 年 月 日  本成 年 月 日  本成 年 月 日  本成 年 月 日  本成 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	方 向性 1 性 実持 善	次評価	2次評価
現 市か要 課 の の の の あ	認識している (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	まる 内 内 期内 期内 期限 称 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 年 月 7  本成 7  本成 7  本成 7  本成 7  本成 7  表現 状	方 向性 1 性 実持 善	次評価	2次評価
現 市か要 課 の の の の あ	認識している (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	まる 内 内 期内 期内 期限 称 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下の代替機能である相談体制の充実を図るために増設を進める。  な 大・現 状 方 法 民間 多縮	方充維改託中華等小	次評価	2次評価
現 市か要 課 の の の の も の の も に に に に に に に に に に に に に	認識している (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	まる 内 内 期内 期内 期限 称 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本語 中  本	方充維改託財設	次評価	2次評価
現 市か要 課 の の の の も の の も に に に に に に に に に に に に に	認識している (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	まる 内 内 期内 期内 期限 称 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 の しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下の代替機能である相談体制の充実を図るために増設を進める。  な 大・現 状 方 法 民間 多縮	方充維改託財設	次評価	2次評価
現 市か要 課 へ そ改 平 に の の の が の の の の の の の の の の の の の	認識 している (1) 実対 (1) 実対 (2) 対対 (3) 実対 (3) 実対 (3) まが (3) まが (4) まが (5) おる のアイデア	課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 下 容 容 限 容 限 容 限	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本務 中 日  本 日  本 日  本 日  本 日  本 日  本 日  本 日	方充維改託財設	次評価	2次評価
現 市か要 課 へ そ改 平 に の の の が の の の の の の の の の の の の の	認識している (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 下 容 容 限 容 限 容 限	在宅介護支援センターあたり3,000~4,000人を対象にしていることから順次増設を図当面は18年度に新設される特別養護老人ホームに併設。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本務 中 日  本 日  本 日  本 日  本 日  本 日  本 日  本 日	方充維改託財設	次評価	2次評価

(一般	丰 类 /	事業	<b>□</b> - ド	2340	110				Ī	部	<b>=</b>	次	長	≐甲	長
( 一 四又 =	尹未)	尹未	<u> </u>	2340	110					리	TX.	人	玹	林	又
平成15	5年度	事	業名	入所:	措置業務										
									<u>.</u>						
1 事	業概	要(ドゥ)										1	ļ		
		,	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉	业社会づくり				** AF	保健福祉	:部		
総合	計画	1	中	3	高齢者の自立をサ	ポートする	る社会の実現			所	管 課	高年福祉	:課		
政策	施策	,	小	4	高齢者の生活自立	支援の推進	進			所管	管課 長 氏 名	浜野 孝	1		
体	系	1	細							記	入者氏名	浜野 孝	ŧ		
事	業	期					経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電	話 番 号		2044	内線	2521
	法				ホーム入所措置等に						施主体				
実	施	手			直営	□ 一部	委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称	<u> </u>	++ <del>-</del>	□ 民間	委託	委託 内容	<u> </u>			
=	ग्रार	•	+07 <del>715</del>	<b></b>	が必要な高齢者に対	付して、老	スポーム寺に	措直を仃つ。							
事	業	の	概 要												
				自休		カ理由乃が	(怒窓的か理由	に上り足字にお	おいて寿き	誰が!	当けらわか!	\空齢老を			
事	業	Ø	現 状		ホーム等に入所され		だけりなた田	により店七に	ひいて良ら	受力で	XI) 51646	니미B4.FI.C			
<del>-</del>		ェスク 実現のため			3. 236/0/6	<b></b> 0									
		及び実施内													
	- 1 ~ //														
			指標名	相談	件数(QOLの向.	E)									
		結果指標			13年度(実績)		年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(1)	指標値		4 7件	5	5 1件	4 8 件			5 0 件			50件	
アウト	プット		単位コスト					300,7	5 9 円						
指	標		指標 名												
		結果指標			13年度(実績)			平成15年度		平	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指標値		2人		3人	3人			5人			5人	
2 == 3	TTC -1- 1		単位コスト												
<u> </u>	美风	果(アウ) 	·/////////////////////////////////////												
		対	象	6 5	歳以上で,身体的	苦しくは精	精神上又は環境	上の理由及び終	経済的理(	由に。	より居宅で養	養護を受け	ることか	(困難なも	らの等
事業の	目的	対象力	バー率	対象	き数 (a)	5 4人	受 益 数	(b)	3 7人		比 率 (b	÷ a) %	6	8.5%	6
対象・					/							,	I		
		意	図	老人	ホーム等に入所し <sup>-</sup>	て自立した	日常生活を営	'む							
		(対象を主	E語にして)												
大	き	な	目 的	日常:	生活を営むのに支煙	障がある者	能 , そのおか	れている環境に	こ応じて	自立	した日常生活	舌を営むた	めの支援	そを行う	
			# # 47	) FC.	=±										
			指標名		<sup>百奴</sup> 末の入所者総数										
					13年度(実績)	平成 1 4	<b>年度(宝績)</b>	平成15年度	(宝績)	亚	成16年度	(日標)	平成 1	7年度(	日標)
アウト	カム		指標値	1 13%	4 4 件		<u> </u>	3 7 件			40件	•	1 /22 1	40件	H 15 /
指	標			高齢:	者在宅率(%)								l		
					者人口 - 施設入所	者数/高齢	者人口 × 1 0 (	0							
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14	年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指標値		97.0%	9 7	7.1%	97.3	3 %		97.3	%	9	7.3%	ó
					·										
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項												
<u> </u>	ᅲ	ンエチャェフ	/\ / = = !	\						w =	4 1 1/10 :=		<del>111 ± · ·</del>	, ,,,,,,,,	+ //-
			<u>分(コスト</u>		4.2万亩/油等》	ਜ਼ ਦੇ 1 1 1	左连 (油等)	1世帯当り(円)			1人当り(円)		半成16.4	.1 住民基	本台帳
事	業	費		平风	13年度(決算)	十		平成15年度		*	成16年度	(丁昇)			
	事	件 費 業 費	20.6% 79.4%				2,119		3,350 12,891			15,178			
内 訴		* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0.0%				17,007		12,091						
		道却費	0.0%						0			-			
(113)	合	計			0		16,806		16,241			15,178			
	国	· 県					5,584		5,461			6,440			
財 源	市	債 等					0		0			0			
(千円)		の他	11.5%				3,517		1,875			1,620			
	- 1	段 財源	54.8%		0		7,705		8,905			7,118			
	職	員	100.0%				0.30	-	0.40			-			
		·臨時等					0.00		0.00			-			
(人)	合	計	100.0%		0.00		0.30		0.40			0.00	Ī		

4 評1 評	<u>曲(チェック)</u> 価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	1 2次評価
	目的妥当性(2		<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>□ 事業の目的は一つに絞ることができない</li><li>□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い</li><li>□ 貢献度が不明確、または高くない</li></ul>		
妥	市関与(2~	2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 他団体では見直しがされている</li><li>☑ いずれにも該当しない</li></ul>		
当	市民ニーズ(2	~ 1)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握	4	4
性 8点	社会環境変化	, ,	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容		
	優先性,緊急		<ul><li>☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる</li><li>☑ 対象カバー率は高い</li><li>☑ 他団体と同程度</li><li>☑ 他団体よりカバー率が低い</li></ul>		
有	対象カバー率 受益者(1~	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
効	成果の実績(2		□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
性 4点	- 成果向上余地	1(1 ~ 1)	成果があがっていない場合 □ 成果向上策あり □ 特になし		
効	単位コスト(1~	- 1)	☑ 比較できる団体がある 団体名       □ 比較できる団体はない         □ 他団体の数字を把握している       単位コスト       □ 把握していない         □ 他団体よりコストが低い       ☑ 他団体と同程度       □ 他団体よりコストが高い         高い、または低い場合の理由       □ 他団体と同程度       □ 他団体よりコストが高い		
率	受益者負担(0	~ 1)	<ul><li>☑ 負担を求めることができる事業である</li><li>□ 負担を求めるべき事業ではない</li><li>□ 現在,適正な負担あり</li><li>□ 負担なし,過少</li><li>□ 徴収不能・見直し不能</li><li>□ 徴収可能 )</li></ul>	2	0
性	手段(1~ 3)		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について  ② 正規職員による執行が義務づけられている  ③ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である  □ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である  □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取約	且(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない → 内容		
平 成実 施	1 5 ~ 1 6 した改善	年 度 に ト 内 容	課題 専門業務の知識取得 改善内容 研修等受講 が修等受講	A	В
5 今征	後の対応(アク	7ション)			
現在	認識してい	る 課 題	老人福祉法に基づく専門的職員の配置		
	係者 市民,関係	系者の名称			
からの 要 望	意見意見,要	望内容			
	(1)	対応内容			
+m == ==	+8.77	実施期限	平成 年 月		
課題·要	(2)	対応内容			
へのす	` ` `	実施期限	平成		
	(3)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成		
	考えられる				
改善(	カアイデア		今後の方向	性 1次短備	1 2 次 証 価
			老人福祉法に基づく措置であり継続 拡 大 ・ 充		1 2 /A RT IIII
			介護保険制度の改正に伴い変更の可能性もある 現 状 維		
平成 1	7~19年度(	の方向性	方 法 改 民 間 委 託		
1 7-20		.,,,,,,,	縮	小	
			統合/終期設		
			廃止 / 休	止	
2 次 評	『価委員会』	コメント			

									_						
(一般	事業)	事業	コード	2340	150					部	Ð	次	長	課	長
		+	W 5	A 4#	// // // /	114			Ì						
平成15	牛皮	争	業 名	介護	予防・生活支援事業	<b>美</b>									
									Į						
		要(ドゥ)													
第3次产	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	会づくり			55	管 誤	保健福祉	:部		
総合	計画		中	3	高齢者の自立をサ	ポートする社会	会の実現			所	管 詡	高年福祉	:課		
政策			<u>/</u>  \	1	高齢者の生活自立	支援の推進				所曾	言課長氏名	浜野 孝	:		
			<u> </u>	7	ISIN DO TABLE	Z1X**/IE.					入者氏名				
体	系			07110	10510010		47 M4 That	T - 42.44							
事	業	期			49年12月1日		経常臨時		臨時	电	話 番 号	0/9/-38-	2044	内線	2522
根 拁	法	今 • •	更 綱 等	は、	果要綱,市事業実施 要援護高齢者寝具洗済	发鹇(整生活拨5 翟乾燥消毒サ-ド7	切、後 <i>に</i> さ 1、要接護語	リ石人理(美)谷 5齢者外出支援サ	リーヒ -ドス は	宔	施士は	<b>+</b>			
אנ אוי	14	۷ 3	K M9 77		&・あんま・マッサ <b>-</b>			- 1 日 八 田 文 及 /	C // 10	~	//B 14	115			
実	施	手	法	\	直営	☑ 一部委託	£	□ 全部委託	;		補助金		負担金		
委		託	先	<b>~</b>	外郭団体委託	名称 芦屋八一	・トフル福	祉公社	☑ 民間	季託	委託内容	清掃等軽度家事接	助・訪問理容・	寝具洗濯乾燥・酢	己食と安否確認
					予防サービス,生活										
<b>=</b>	業	Ø			の質の向上を図る。		( C JAE I/ C	, ios o o o -	<i></i>		JIC / 52/11	&  / ()(L) (C 0)		3 02	
事	耒	0)	似 安	土冶	の貝の凹上を凶る。										
					り暮らしの60歳し			•	,			•	)74回),		
事	業	の	現 状	訪問	理美容(111回),寝	具の洗濯・乾	燥(16回)	, 緊急通報シス	テム利用	のサ	ービス(80回	回),			
	目的記	実現のため			支援(1,156回),7										
	手段及	ひ実施内			間委託)芦屋市シル					•	,	<b></b> ラリーニ	ング環ti	6衛牛同	業組合
	3 7 % //		指標名	_		, (1)	- /-	, C, (IMILE A	, ,	\ H				- 1-3 <u></u> 1 33	
						亚式 1 1 左车	(字集)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(宝结)	717	式 1 6 年度	(日插)	\(\pi\cd\): 1	7年度 /	日梅、
		結果指標			13年度(実績)		• •	平成15年度	• •	+	成 1 6 年度	•		7年度(	
	•	(1)	指標値		79,778回	73,45	면정전	76,14			77,00	U 미	7 8	3,000	ᅵ믜
アウト	ブット		単位コスト					4 4 1	円						
指	標		指標 名	利用	実人数(概数)			<u></u>							
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指標値		940人	7 6 0		8 0 0			9 0 0	• •		, 0 0 0	
		(2)	単位コスト		3 . 0 / .	, , ,		41,96			, , ,		•	, , , ,	
2 == 3	₩ <del>- 1</del> F	11 ( 元 台 )						41,90	0 0 13						
<u> </u>	ま 八 き	果(アウ)	rua)												-
		対	象	援助	を必要とする60点	患以上の高齢者	<b>š</b>								
		7	31	N N	C25C70007		-								
事業の	目的	対 象 カ	バー率	対 🦠	象数 (a) 3,	568人	受 益 数	(b) 8	00人		比 率 (b	÷ a) %	2	22.49	%
対象·	意 図				•		•	•			•				
		意	図	援助	を必要とする60点	患以上の高齢者	きが 必要	なサービスを	受けて生活	舌の質	質を向上さ†	tる.			
		· - ·	と語にして)			/,/ I-DMY E	, 20 94			5	,	0			
		(V18/.C]													
_	+	4.	- 44	^ +#*	<b>カマはし人世ウニ</b> 、	<b>生仁ナ+のこっ</b>									
大	ਣੇ	な	目 的	か護 かんしょう かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	の予防と介護度の記	<b>進行を抑える。</b>									
			指標 名	在宅	高齢者で負担が軽減	咸した割合(代	替指標	サービス利用率	( % ) )				· <u></u>		
		中間成果	考え方・式	利用	者数 / 6 0 歳以上	生宅要援護高齢	₹(虚弱	出現率 + 在宅認	定者) ×	1 0 (	0		-		
					13年度(実績)						成16年度	(目標)	平成.1	7年度(	目標)
アウト	カム		指標値		32.5%	22.6		22.4			26.8			29.19	_
指	カム標												1	/	
111	作示					女粉/古松女!		0							
					者人口 - 施設入所				/ ph // :	_		/ D I= :			- J=-
				半成	13年度(実績)					平	成16年度	• •		7年度(	
			指標値		97.0%	97.	1 %	97.3	3 %		97.3	%		7.39	%
								<u></u>							
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項												
2 車	坐書.	注 新元	分(コスト	)				1世帯当り(円)	966	住民	1人当り(円)	375	亚式16	4.1 住民基	木台框
				<i>)</i>	19年度/油等》	亚出 1 4 左座	: / th 答: \			-		<del></del>	1 13%, 10.2	正氏者	ᅮᄓᄬ
事	業	費		十八	13年度(決算)	十八 4 年度	• •	平成15年度	•	*	成16年度	(丁昇)			
	스	件費					3,955		4,305			-			
	事	業費	87.2%				28,195		29,263			39,786			
内 訳	他部	『門経費										-			
(千円)	減 佃	償却費										-			
,	合	計	100.0%		0		32,150		33,568			39,786			
	围	· 県					17,444		19,328			27,106			
H+ :/=	<u> </u>						.,,		10,020			۵۱,۱۵۵			
財源		債 等													
(千円)		の他													
	<u> </u>	段 財源	42.4%		0		14,706		14,240			12,680			
活 動	職	員	100.0%	L			0.40		0.50			-			
	嘱託	·臨時等	0.0%				0.20		0.00			-			
	슴	#H			0.00		0.60		0.50			0.00	1		

4 評1 評	<u>曲(チェック)</u> 価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(2~ 2)	<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>☑ 事業の目的は一つに絞ることができない</li><li>☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い</li><li>☑ 貢献度が不明確、または高くない</li></ul>		
妥	市関与(2~ 2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 他団体では見直しがされている</li><li>☑ いずれにも該当しない</li></ul>		
当性	市民ニーズ(2~ 1)	<ul> <li>□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li> <li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない</li> <li>□ ニーズが高いとは言えない、または未把握</li> <li>□ 数字で把握している 実施件数の増加</li> <li>□ 未把握</li> </ul>	5	7
8点	社会環境変化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容	- - -	
	優先性,緊急性(1) 対象カバー率(1~1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 対象カバー単は高い □ 個団体と同程度 □ 個団体よりカバー単か低い □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(2~ 1)	<ul><li>□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li><li>□ 実績値から成果があがっていると言える□ 実績値から成果があがっていると言えない</li></ul>	1	4
性 4点	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 □ 成果向上策あり □ 特になし		
効	単位コスト(1~ 1)	☑ 比較できる団体がある 団体名       □ 比較できる団体はない         □ 他団体の数字を把握している       単位コスト       ☑ 把握していない         □ 他団体よりコストが低い       □ 他団体と同程度       □ 他団体よりコストが高い         高いまたは低い場合の理由       □ 他団体よりコストが高い		
率	受益者負担(0~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない ■ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	_1	-3
性	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について      正規職員による執行が義務づけられている	<u> </u>	
3点	コスト削減取組(1~ 1)	│ □ コスト削減の取り組みを行っている        ☑ 特に行っていない │ └► 内容		
平成実施	1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容	・理美容,寝具乾燥の一部負担が無い 改善・課税所得者に一部負担金を導入 総合	В	В
5 今往	後の対応(アクション)		.I.	Į.
現在	認識している課題	サービスについて知られていない。 サービスが必要でも対象とならないケースがある。(外出支援の対象者)		
	関係者 市民,関係者の名称			
からの 要 望	1首员 男坦冈谷			
	(1) 対応内容			
	実施期限	平成年月		
課題·要	要望等 (2) 対応内容			
へのす		平成年月		
	対応内容			
	実施期限	   平成		
	も考えられる の ア イ デ ア			
IX # (		今後の方向性	1次評価	2次評価
	-	特に市民ニーズが高く,本人の生活の質の向上について妥当性は高い。		
平成 1	7 ~ 1 9 年度の方向性	方 法 改 善 民 間 委 託 等 縮 //		
		統合/終期設定		
		廃止 / 休止		
2 次 評	平価 委 員 会 コメント	はり・灸・あんま・マッサージ・指圧施術助成については、他市の状況をみながら廃止の方向で見直す。 す。	必要があ	りま

(一般事	事業)	事業	コード	2340	180				部長次	長課長
₩ C+ 1 C	<del>上</del> 由	<b>=</b>	** &		人类士拉声光					
平成15	干皮	<del>事</del> :	業名	<b>多灰</b>	介護支援事業					
4 == 4	<u> </u>	# / l* . \								
		要(ドゥ)								
第3次产	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			保健福祉  所 管 課  大名	部
総合	計画		中	3	高齢者の自立をサ	ポートする社会の実現				課
政策力	施策		<u>/</u> \\	4	高齢者の生活自立	支援の推進			所管課長氏名浜野 孝	
体	系		細						記入者氏名川原智	盲
事	業	斯		π≓	1 2 年 4 日 1 日	/マ 告 味 ロナ		[左 ] 土	電 話 番 号 0797-38-	
<del>**</del>	耒				12年4月1日~			臨時	电 品 笛 写 0/9/-38-	2044 内線 2522
根 拠	法	今 · 亨	要綱 等	国·県	<b>皇要綱、市事業実施</b>	要綱(家族介護慰労,要の	介護高齢者介護	用品支	実施主体市	
	,,,	` -	C, thi	給,往	非徊高齢者家族支援	₿サ-L λ実施要綱)			X 1/0 T 1/1-10	
実	施	手	法		直営	□ 一部委託	☑ 全部委託		□補助金□□	負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称 地域型在宅介護支	援センター	□民間	委託 委託 内容	
						成と,介護に対する慰労 <sup>;</sup>	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		<del>'</del>	
事	業	Ø	概 要	-5.137		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
<del></del>	未	0)	15% 女							
				要介	護4・5相当で過	去1年間,介護保険の給付	付を受けなかっ	た介護者	た介護手当金を支給。(1f	‡)
事	業	の	現 状	要介	護4,5の高齢者を	:介護している市民税非	課税世帯に介護	用品を支	[給。(215件)	
	目的領	実現のため	00	徘徊	の見られる痴呆性	高齢者を抱える家族に徘	‡徊位置探知シス	ステム機器	器の貸与。(4件)	
		ひ実施内		家族	介護教室の実施。	(12回)			` '	
	3 1 2 /2		指標名			,				
						平成14年度(実績)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(宝徳)	亚式16年度/日播》	亚式 1 7 年度 / 口捶 \
		結果指標					平成15年度	• •	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標値		124件	228件	2 3 21		260件	280件
アウト	プット		単位コスト				20,22	8円		
指	標		指標 名	利用	実人数					
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		2 1人	109人	1 3 3,		180人	2 3 0人
		(2)	単位コスト				35,28		. 5 5 7	2337
2 == 3	ᄣᅷ	B / ラム l					33,20	0 []		
∠ 事∌	美 八 き	果(アウ)	<b>トカム</b> )	1						
		対	象	重度:	要介護高齢者を介護	護する家族				
		ν,	31	±1X.	女月 映画版 日 4 月 1	12 7 0 3\11X				
事業の	目的	対象力	バー率	対象	t 数 (a)	不明 受益数	ኒ (b) 6 7	7 1世帯	比率 (b ÷ a) %	
対象·	意 図					•				
		意	図	重度	要介護高齢者を介	護する家族が介護用品の	)支給や,介護に	こ必要な知	印識や技術を身につけるこ	とによって負担が
			上語にして)	軽減	され,介護に対する	負担が報われる。				
		(大)多(でこ								
						_ ,				
大	き	な	目 的	家族	と共に在宅で生活	できる高齢者が増える。				
			指標 名	家族	介護者の負担軽減	率 (代替指標 サーヒ	ズ利用率)(%	)		
		中間成果	考え方・式	利用	実人数/要介護4	・5と痴呆高齢者の数×	: 1 0 0			
						平成14年度(実績)		(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト			指標値		3.6%	19.8%	21.3		22.0%	23.0%
							21,3	70	22.U70	2 J , U 70
指	標				護在宅高齢者率(		·			
			0.170 - 0			要援護高齢者数(認定者				
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		76.8%	80.6%	82.6	%	83.5%	85.0%
	<u>'</u>									
芦屋市の	の特色	色など補品	足する事項							
		110 ^	•							
りませ	<b>坐</b> 建	・千まりまつ	<b>公(コフ!</b>	\			1###11 ( 17 )	101	住民114117円\	교육16.4.4 수무분+스+F
			<u>分(コスト</u>	) 	4.2/= / \\	亚产4.4左京(注答:	1世帯当り(円)			平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費		平成	13年度(沢昇)	平成14年度(決算)	平成15年度	•	平成16年度(予算)	
	人	件費				4,519	ļ	2,551	-	
	事	業費	45.6%	L		1,659	<u> </u>	2,142	4,007	
内 訳	他部	門 経 費							-	
		償却費							_	
(113)	合	計	100.0%		0	6,178		4,693	4,007	
					0					
n	国	・ 県				1,179	1	1,721	2,900	
財 源		債 等								
(千円)	そ	の他								
	- 1	段 財源	63.3%		0	4,999		2,972	1,107	
活 動	職	員	100.0%			0.45		0.50	-	
		·臨時等				0.20	1	0.00	_	
	^/A) II U	#			0.00			0.50	0.00	

評	<u> </u>		:			=====================================	価チェックリス	7 h		12	次輕価	2次評価
HI				業の主目的に	†旧確では			<u>`'</u> □ 事業の目的は一つに	- 絞ることができなし		八川川	2 /X II IIII
	目的妥当性(	2 ~ 2)						□ 貢献度が不明確、ま				
			1			で義務づけられてい		□ 民間でやるべき,また		,		
妥	市関与(2~	2)				t持に必要である		□ 他団体では見直しが				
	17151-5(2	_,	- 170	, (u) 42 (v).	т/П o У WI	ENICAL COLO		□ いずれにも該当しな				
当				マニーズに基	はづいて行	 うべき事業		□ 市民ニーズに基づい		. 1	6	7
-	市民ニーズ(2	2 ~ 1)		$\square$ $\square$ $\square$ $\square$		), (C <del>J ×</del>		□ ニーズが高いとは言			·	•
性	.1520— 54(-	,				ている 実施人数			□ 未把握			
8点			☑ 事業			変化に適応してい		□ 社会環境の変化にあ				
	社会環境変化	<b>化(1~ 1)</b>		,		增加。重度要介護高						
	優先性,緊急	独性(1)				市民の生命,安全等						
	対象カバー落							□ 他団体よ	リカバー率が低い			
有	受益者(1~	1)	☑ 事業	業意図と受益	者は整合	\$している □	事業意図と	受益者が不整合 ,または	受益が一部に限定	2		
効	成果の実績(	2 - 1	□中間	引成果指標 <i>0</i>	り実績値を	を把握し,目標値を記	没定している	☑ 実績値または目標値	が未記入		4	Λ
X/J	ル未の夫績(	2~ 1)	┗ □	実績値から	成果があ	がっていると言える		□ 実績値から成果があ	がっていると言えな	113	ı	U
性	- 成果向上余均	1)	成果が	<b>゙あがってい</b> フ	ない場合							
4点	- 成未向工示	·B(1 - 1)	□ 风身	具向上策あり					□ 特にな	なし		
			☑比輔	交できる団体	がある	団体名		□ 比較できる団体はな	<b>, 1</b>			
	単位コスト(1	~ 1)	│ □ 他回	団体の数字を	を把握して	いる 単位コスト	,	<ul><li>☑ 把握</li><li>□ 他団体より</li></ul>	していない			
効	十四コス1(1	')	┡ □	] 他団体より	コストが低	ほい □ 他団	体と同程度	□ 他団体より	コストが高い			
								な業者と契約している。				
	受益者負担(	0 ~ 1)	1 1					を求めるべき事業ではない				
率		,						□ 徴収不能・見直し不同	能 📙 徴収可能	)	-1	-3
				•		または出資団体へ			1010 > -0 + +0 /\ 10+		•	
	手段(1~ 3	)				務づけられている		□ 個人,家庭,地域等		58		
	,	,		閩(企業 , NP(	O等)では	対応できない業務で	: ある 	□ 民間(企業, NPO等)	で対応可能である			
性								☑ 嘱託,臨時職員等で	対心可能である			
3点	コスト削減取	組(1~ 1)	L	ト削減の取り	川組みを行	10(116		☑ 特に行っていない				
			- P	1谷								
平 成	15~16 した改	年度に	: 課題				改善			総合	В	В
実施	した改善	善内容	I II/NAZZ				内容			評価	ן	ט
5 今1	後の対応(ア	クション)									ı	
	2-17-37-5 (1	, , , ,										
現在	認識してい	る 課 題	į									
市民, 厚	関係者 市民,関係	係者の名称	1									
からの	意見意見,	亜 坦 贞 交										
要望	. 等	女 主 r 3 口										
		対応内容										
	(1)	אור זיטיונג										
		実施期限	平成	年		月						
課題·要	<b>E望等</b>	対応内容										
	(2)			1.								
への:	対応	実施期限	平成	年		月						
		対応内容										
	(3)			1_		I =						
		実施期限	半成	年		月						
Z 0 44	h === 2 th 7											
	b 考えられる の ア イ デ ア											
IX #	0) , 1 , ,								今後の方	向性 (2)	ケ虾油	2.を証価
			効率性で	け供い評価と	かってい	スが 家族介護の負	おおばけ 必ず	要であり,コスト削減に取			八計画	2八計画
				は低い計画と まで行なう。	a J CVI	3.3 ,水跃八暖以具	,」二+エ <i>ル%</i> (Φ火८)∕3		現状約			
			かいハルエコ・	1 (11.00 )					方法。			
平成 1	7~19年度	の方向性	:						民間委			
		1 - 1 - 1 - 1	-						20 120 32	.,,		
									縮	/]\	ļ	
									縮 統合 / 終期 廃 止 /	1設定		
									統合/終期	1設定		
2 次 評	平価 委 員 会	コメント							統合/終期	1設定		
2 次 部	平価 委員 会	コメント							統合/終期	1設定		

												_					
( —	般	事業)	事	業	7	<b>–</b> ۴	2340	280					部長	次	長	課	長
平月	龙 1	5年度		<b>.</b>	業	名	敬老	祝金									
1 7	~ .	· 1/2					·3x U	170 ME									
1	=	<del>717.</del> 101	<del></del>	/ l* . \													
_			_	(ドゥ) : ナ づノ	11 1	\ D ##	il o	母やかざめくまり	のちょうけん	ふづくい				/ワ/油 ブラブル	.立[7		
		→座Ⅱ 計画			<u>りの</u> 中	ノロ信	-	健やかでぬくもり 高齢者の自立をサ					所 管 誃	保健福祉 高年福祉			
		施策			<u>干</u> 小			高齢者の生活自立		の大坑			所管課長氏名				
体		厄系	_		細		-	108 日 0 工/11口立	之成 <b>少</b> 市/2				記入者氏名				
事		業		期		間		<u> </u>		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号			内線	2521
	拠	法	4	> 5	要	綱等	芦屋	市敬老祝金条例			<u> </u>		実施主体				
実		施		手		法	V	直営	□ 一部委託		□ 全部委託	;	□ 補助金		負担金		
委				託		先		外郭団体委託	名称			□ 民間	委託 委託 内容	ř			
							高齢	者に対し敬老祝い	金を支給し,社	会に尽く	してきた高齢を	者を敬愛す	するとともに長ぇ	手を祝う。			
事		業		の	概	要	il.										
		NII.						市敬老祝金 77			,						
事		業		の ''' の ナ ''	現	オオ	I	9月1日(基準日	•		台帳による記録	録又は外間	国人登録法による	6登録をさ	れている	る者に支給	3する。
				現のため バマなよ			I	方法は,原則とし			100塩 2:	າ! / <del>≐</del>	±1 0 5 2 1				
		丁杉区	X(	び実施内	台		' '	歳 - 703人 8	O 成 - ∠ ∠ ठ 人	. 99,	I U U 成 - Z .	۷ <u>۸</u> / آ	וו פסט 八				
					指	標名	支給										
			紶	吉果指標				13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成.1	7年度(	目標)
				(1)			-		884,		953.		1,04	6人		, 750,	
アワ	ナト	プット	-			ンコスト			15,77	1円	16,50	) 1円					
指		標	Ę		指	標名							•		l.		
			絬	:果指標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(2)	指	標値	i										
		NII2 IN	┸			ンコスト	•										
2	事:	業成	果	(アウ	·力 <i>I</i>	ム)	1										
			欬	ţ		象	9月	1日現在において	77歳,88	歳,99	歳,100歳0	の者					
事	<b>業</b> の	日的	1 文·	1 象 力	バ	- 本	対 复	R 数 (a) 9	5 3 人	受 益 数	(h) 9	5 3 人	比 率 (b	÷ a) %		100%	
		意図	_			<u> </u>	,,, ,	(-)		~ ~	. (-)		75   (3	,			
			意	ī		义	多年	にわたり社会に尽	くしてきた高齢	者を敬愛	し,長寿を祝る	<b>う</b> 。					
			(	対象を主	E語に	こして)											
١.					_												
大		き		な	目	的	高齢	者が生きがいをも	って長寿を迎え	られる環	境をつくる。						
					+⊬;	±# #7	古典	者における受給率	( 0/ )								
			L					<u> </u>									
			推		年			13年度(実績)		(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ウト	カム				標値			5.3		5 . 5		5 . 8	` ,		9.5%	, , ,
指		標	_					化率(代替指標 -	長寿を実感した	人の割合	(%)		•				
			聶					者人口 / 人口 × 1									
			指		年			13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)		7年度(	
					指	標値	<u> </u>	18.8%	19.0	%	19.4	1 %	19.9	%	2	0.4%	Ď
		~ #+	<b>-</b> -	4. 1° <del>1 4.</del> F	- <u>-</u>	- = -=											
户區	至巾	の特	色	など補足	E 9 1	る事項											
2	車:	<b>光弗</b>	. ::	舌動配:	<u>~ ( · </u>	776	\				1世帯当り(円)	200	住民1人当り(円)	160	亚战167	1.1 住民基	木ム框
事	<del></del>	<del>丰貝</del> 業		立到(16) 費		<u>コスト</u> 成%	1	13年度(決算)	亚成 1 / 任度	(沖質)	平成15年度	ļ	平成16年度	<del></del>	十八八10.2	1.1 住氏垄	子口収
7		人		<u></u>		17.2%		13千皮(八井)	十八八十十尺	2,621	十成13十段	2,607	十成10十度	- ·			
		事		· <u> </u>	1	82.8%				11,321		12,515		14,058			
内	訢	他音		門経費		0.0%	_			,		0		-			
			_	賞却費		0.0%						0		-			
		合		計		100.0%		0		13,942		15,122		14,058			
		国		・・・・県		0.0%						0		0			
		市	ſ	責 等		0.0%		_				0		0			
( <del>T</del>	円			<u>り</u> 他		0.0%						0		0			
`-		_	敝	財源		100.0%		0		13,942		15,122		14,058			
活		職	Ľ	員 吃 吐 笙		38.5%				0.20		0.20		-			
配		嗎 計	ι,	臨時等		61.5%		0.00		0.32		0.32		0.00			

## 個 現 点 事業の工目的知明を含め、		<u>ш(у туу)</u>		ATT COLUMN			
日前から日間で 2	評	一 価 視	点		1次評価	2次評価	
世代により、		目的妥当性(	2 ~ 2)				
# 前期与(2 - 3)		1110	,	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
日本民ニーズ(2-1)				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
世代	妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
市民ニーズ2~1				☑ いずれにも該当しない			
市民ニーズ2~1	当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>□</b> 2	2	
世		市民ニーズ(	2 ~ 1)			_	
日本語	性	11-20-	,	***************************************			
在芸術現金((1・1)					-		
	O.M.	社会環境変化	化(1~ 1)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
対象力パー単化		原生州 取名	5 hH-/1\	,	$\dashv$		
			. ,		+		
対応異の実績(2-1)	右	-			_		
加	P	文無日(11	1)		_		
性 4点 成果向上余地(1-1)	効	成果の実績(	2 ~ 1)		4	2	
4点					_ '	_	
対 単位コスト(1-1)		- 成果向上余均	也(1~ 1)				
対 単位コスト(1-1) □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 他団体よりコストが高い □ 他団体よりコストが低い □ 他団体よりコストが低い □ 他団体よりコストが高い □ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めることを事業ではない □ 他団体より温ルが低い □ 他団体より温ルが低い □ 他団体より温ルが低い □ 他団体より温ルが低い □ 位地収が能 見直し不能 □ 他団体より温ルが低い □ 位地収が能 見直し不能 □ 他団体より温ルがし □ を設定する □ 負担を求めることができる事業ではない □ 長間(企業・NPO等)で対が表が引われている □ 民間(企業・NPO等)で対が表が良からない 単務である □ 民間(企業・NPO等)で対が可能である □ 民間(企業・NPO等)で対が同できない 単務である □ 保証・施時報尚等で対が可能である □ 保証・施時報尚等で対が可能である □ 保証・施時報尚等で対が可能である □ 保証・施時報尚等で対があり能である □ 保証・施時報尚等で対があり能である □ 保証・施時報尚等で対があり能である □ 保証・施時報尚等で対があり能である □ 保証・施時報 □ を立つまた ○ 一様に行っていない □ 内容 ■ 大きた 改善 一人 内容 ■ 実施財報 □ では ○ 大きを要になるため □ 保証・ □ 体 ○ 人 ○ フェト財政のできない 単常である □ 保証・施時報尚等で対応可能である □ 保証・施時報 □ を立つまた ○ 大きた 改善 一人 ○ フェト財政のできない 単常である □ 保証・施時報 □ を立つまた ○ 大きた 改善 □ 内容 ■ 大きた 改善 □ 内容 ■ 大きた 改善 □ 内容 □ 保証・ □ 付 □ 「大きた □ 日本 □ 「大きた □ 「「大きた □ 「大きた  □ 「大きた □ 「「大きた 点							
数別				□ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 □ 比較できる団体はない			
数別		単位コスト(1	~ 1)	│ ☑ 他団体の数字を把握している  単位コスト			
要益者負担(0 - 1) □ 自担を求めるとができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 一	郊	1 12-37 (1)	• ,	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
単型							
事		│ ・	0 ~ 1)				
直営事業に規職員が執行。または当箇団体へ委託している業務について □ 正規論による統行が教務づけったれている □ 民間(企業、NPO等)で対応可能である □ 民間(企業、NPO等)で対応可能である □ 民間(企業、NPO等)で対応可能である □ 規制。	蒸	/三八八四人	0 1)	□ ・ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	_ 1	Λ	
世	-			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	'	U	
世   日間(企業、NPO等)では対応できない業務である		手50/1 ~ 2	١	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
世 3点 コスト削減取組(1~1) 「		于权(12 3	)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
TA F 門房 (1) (1) (2) 内容 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	性						
平成 1 5 ~ 1 6 年 度 に 課題	3点	ココー半心井田	#0/A A)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
5 今後の対応(アクション)         現在認識している課題         市民、関係者市民、関係者の名称からの意見要望等         (1)       対応内容実施期限平成         (2)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (1)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容         (3)       対応内容         (4)       対応内容         (5)       大・方案         (6)       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。		コスト削減収	.組(1~ 1)	→ 内容 業務時期だけの臨時職員の配置	*****		
5 今後の対応(アクション)         現在認識している課題         市民、関係者市民、関係者の名称からの意見要望等         (1)       対応内容実施期限平成         (2)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (1)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容         (3)       対応内容         (4)       対応内容         (5)       大・方案         (6)       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。							
5 今後の対応(アクション)         現在認識している課題         市民、関係者市民、関係者の名称からの意見要望等         (1)       対応内容実施期限平成         (2)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容実施期限平成         (1)       対応内容実施期限平成         (3)       対応内容         (3)       対応内容         (4)       対応内容         (5)       大・方案         (6)       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。	平成	15~16	年度に	課題	i A	D	
現 在 認 識 し て い る 課 題  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その 他 考えられる 改 善 の ア イ デ ア  平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性 平成 1 6 年度に見直しを予定しており,1 7 年度以降の方向性を検討予定 平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性 平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性  平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性	天 ル	U /C LX			"   ' `		
現 在 認 識 し て い る 課 題  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その 他 考えられる 改 善 の ア イ デ ア  平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性 平成 1 6 年度に見直しを予定しており,1 7 年度以降の方向性を検討予定 平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性 平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性  平成 1 7 ~ 1 9 年度の方向性	5 今征	後の対応(ア⋅	クション)				
市民,関係者   市民,関係者の名称		24 15 112 (1	, , ,,	県で88歳以上に支給されている長寿祝金が平成17年度から変更になるため,重複部分があり見直	 」が必要		
からの意見要望等       (1)       対応内容 実施期限 平成 年 月         (2)       対応内容 実施期限 平成 年 月         (3)       対応内容 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア       年 月         平成17~19年度の方向性       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。 拡大・充実 現 状 維 持 方 法 改善 民間 委託等 編 小 公 統合/終期設定 原 止 / 休 止 月	現在	認識してい	くる 課 題				
からの意見要望等       (1)       対応内容 実施期限 平成 年 月         (2)       対応内容 実施期限 平成 年 月         (3)       対応内容 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア       年 月         平成17~19年度の方向性       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。 拡大・充実 現 状 維 持 方 法 改善 民間 委託等 編 小 公 統合/終期設定 原 止 / 休 止 月							
からの意見要望等       (1)       対応内容 実施期限 平成 年 月         (2)       対応内容 実施期限 平成 年 月         (3)       対応内容 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア       年 月         平成17~19年度の方向性       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。 拡大・充実 現 状 維 持 方 法 改善 民間 委託等 編 小 公 統合/終期設定 原 止 / 休 止 月	市民、関	係者 市民, 関係	係者の名称				
(1) 対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・	からの	意見					
(1) 対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・充実   現 大・・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・ 大・	要 望	意見,	要望内容				
実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月     日   日   日   日   日   日   日   日	女主	ਚ					
実施期限 平成   年   月   対応内容   大・充実   平成   1   7   7   7   7   7   7   7   7   7		(1)	対応内容				
課題・要望等		(1)	中体期阳	立			
(2)   対応内容   実施期限 平成   年   月	≐冊 日舌 、 冊		夫加朔സ				
文の対応     実施期限 平成     年     月       その他考えられる 改善のアイデア     年     月       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。 平成16年度に見直しを予定しており、17年度以降の方向性を検討予定     拡大・充実       現状維持方法改善民間委託等編編 小統合/終期設定廃止/休止	林起 女		対応内容				
(3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その他考えられる 改善のアイデア 今後の方向性 1次評価 2次評価 平成13年4月から現行制度に変更になり,所管課も移行されたものである。 拡大・充実 現状維持 方法 改善民間委託等 縮 小統合/終期設定 廃止/休止			c=+/c#078				
(3)   実施期限 平成   年   月   月   子の他考えられる   改善のアイデア   今後の方向性 1次評価 2次評価   平成13年4月から現行制度に変更になり,所管課も移行されたものである。   拡大・充実   平成16年度に見直しを予定しており,17年度以降の方向性を検討予定   現 状 維 持   方 法 改善   民間委託等   縮	( 0)	אטיו ניצ	美虺期限				
実施期限     平成     年     月       その他考えられる 改善のアイデア     今後の方向性 1次評価 2次評価       平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。 平成16年度に見直しを予定しており、17年度以降の方向性を検討予定     拡大・充実 現状維持 方法改善 民間委託等 縮 小 統合/終期設定 廃止/休止		(2)	対応内容				
その他考えられる 改善のアイデア		(3)					
改善のアイデア			美肔期限				
改善のアイデア	"						
平成13年4月から現行制度に変更になり,所管課も移行されたものである。       拡大・充実         平成17~19年度の方向性       中成17~19年度の方向性         平成17~19年度の方向性       上の方向性         中成17~19年度の方向性       上の方向性         中の方向性       上の方向性       上の方向性         中の方向性       上の方向性       上の方向性 <td rowspan<="" td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>						
平成13年4月から現行制度に変更になり、所管課も移行されたものである。     拡大・充実       平成16年度に見直しを予定しており、17年度以降の方向性を検討予定     現 状 維 持方 法 改 善       民間委託等     編 小       総合/終期設定     廃止/休止	改善(	カアイテア		A // a a b de	141	I	
平成16年度に見直しを予定しており,17年度以降の方向性を検討予定						2次評価	
方法改善       平成17~19年度の方向性       超級       施合/終期設定       廃止/休止							
平成17~19年度の方向性 縮 小 統合/終期設定 廃 止 / 休 止							
縮     小       統合 / 終期設定       廃止 / 休止							
統合 / 終期設定 廃 止 / 休 止	平成1	7~19年度	の方向性				
廃止 / 休止					-		
				統合/終期設	定		
2 次 評 価 委 員 会 コメント 事業手段として金銭給付が妥当かどうか検討が必要です。限られた財源の中、休止を含めた検討が必要です。				廃止 / 休	止		
2 次 評 価 委 員 会 コメント 事業手段として金銭給付が妥当かどうか検討が必要です。限られた財源の中、休止を含めた検討が必要です。							
	2 次 評	平価 委 員 会	コメント	事業手段として金銭給付が妥当かどうか検討が必要です。限られた財源の中、休止を含めた検討が必要です。	更です。		

. 45 =	<b>⊢</b> 317 3	± 311/							T		_	-1	-1	<b>-</b> m	
(一般	事業)	事業	<u> </u>	2340	350				1	部	長	次	長	課	長
平成15	年度	事	業 名	高齢	世帯生活援助員派達	遣事業									
									1						
1 事	業概3	要(ドゥ)										!			
			りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づく	IJ			SC.	管 誤	保健福祉	部		
総合			中	3	高齢者の自立をサ	ポートする社会の実	現			所		高年福祉	課		
政策	施策		小	4	高齢者の生活自立	支援の推進				所管記	果長氏名	浜野 孝	É		
体	系		細									浜野 孝			
事	業	斯			14年度~	経常問	諨時	☑ 経常 □	臨時			0797-38-	2044	内線	2521
		令 · ·	~ ,,, ,,		・淡路震災復興計画	<u> </u>						市			
実	施	手				一部委託		☑ 全部委託			助金		負担金		
委		託				名称 主する被災高齢者等を	<b>5.</b> 3.1	毎に 空不疎				生活援助		: (三)	
事	業	Ø	概 要		後典な合任七に占し	主りる放火向取日守っ	נע ב	<b>氷に,又口唯i</b>	祕 , 土/白1	日等,们	口成, 中	ないいのかま	がを助守で	11 ノ。	
<del></del>	*	0)	144 32												
				災害	復興公営住宅に居住	主する被災高齢者宅を	<u> </u>	调に一回程度を	生活援助	員を派遣	書し、身位	は状況等の	確認を行	うとと	ŧ.に.
事	業	Ø	現 状			むじている。緊急の <sup>5</sup>					=0 / 25 /	I. D(D) (3 4)	*### C   1	,,,,,,	0,0 /
		実現のため		訪問		団地・大東町西団地					· 楠町団均	也・翠ヶ丘	町団地		
	手段及	ひ実施内	容	対象	世帯 74世帯										
				生活	援助員1人で巡回										
			指標 名	訪問	回数										
		結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績	(重	平成15年度	• •	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(1)	指標値	i		3,865回		4,05			4,10	0 回			
アウト			単位コスト	_	III NA			8 3 9	円						
指	標		指標名			T 1 1	<b>.</b> .	T	, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>			(D.E.)	I <del></del>		
		結果指標		1	13年度(実績)	平成14年度(実績	į)	平成 1 5 年度	• •	半成	16年度	• •	平成1	7年度(	目標)
		(2)	指標値			8 5 回		5 0 🗵	믜		600	l			
2 事3	또 ct: E	果(アウ	単位コスト												
4 <del>3 </del>	未ルスス	木(グラ	['JJ A')	<b>**</b>	ケータ	マサザブ 掘れてて	누니	Lの出自者 :	ナセクシ	n##/	_±**.6	다告U L\	### to 6	- 변기	トの古
		対	象	火舌	災害復興公営住宅の入居世帯で,概ね65歳以上の単身者,夫婦のみの世帯(一方が65歳以上),概ね65歳以上 齢者のみの世帯等									LV回	
事業の	目的	対象力	バー率	対象	R 数 (a) 1	6 3 戸 受 益	数	(b)	7 4戸	Ł	比 率 (b	÷ a) %	4	5 . 49	6
対象·	意 図			,,, -	/= (B) () 24 () == 1 - 1	7		1100 1100110	\		IB				144.00
		意	図	災害  保健	復興公宮住宅に入り センター 在字介記	居している高齢者のſ 獲支援センター等に <sup>*</sup>	建康の	状況,生活状》 ぐ)を行う	況を確認	し,必要	とな場合記	<b>遺止な対処</b>	(関係す	る必要な	:機関 ,
		(対象をヨ	主語にして)	PICIAL		22,2227 3,10		(/ = 13 /							
				l											
大	き	な	目 的	災害	復興公営住宅に入り	<b>居している高齢者が</b>	,在	宅で安心して	生活できる	るように	こ支援する	5.			
			III 6		<del></del>										
		<b>中間                                    </b>	指標名		<u>率(∞)</u> に対する入居率										
				_		平成14年度(実績	書 )	亚成 1 5 年度	: (宝结)	亚战	16年度	(日煙)	亚战 1	7年度(	日種)
アウト		1 1 개	指標値	-	, 1 3 千及(天順)	100%	R /	100		777	1000		T-13% 1	7 干皮(	ᄓᇷᄼ
指	7. 点標				者在宅率(%)		J								
						替数/高齢者人□×1	0 0	)							
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績	責)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指標 値			97.1%		97.3	3 %		97.3	%			
					屋浜地区において	は24時間常駐で対応	心								
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	İ											
	IIZ <del>-11</del> -	V-=1	75 / <del></del> 1	ļ .									I —	= .	
			<u>分(コスト</u>		4 2 5 5 (3 5 6 7 )		<del>-</del> \	1世帯当り(円)			(当り(円)	<del></del>	平成16.4	.1 住民基	本台帳
事	業	費			13年度(決昇)	平成14年度(決算		平成15年度		平成	16年度	(予昇)			
	<u>人</u> 事	件 費業 費	1			2,3	65 50		956 2,447			2,443			
内 訳		門経費				2,0	0		0			2,443			
		償却費	0.0%	_			0		0			_			
(113)	合	計			0	2,9			3,403			2,443			
	国	· 県					0		0			0			
財源	市	債 等					0		0			0			
(千円)	そ	の他	88.3%			3,0	000		3,005			2,443			
	-	段 財源	11.7%		0	-	85		398			0			
	職	員			_		.05		0.10			-			
		·臨時等					.00		0.00			-			
(人)	台	計	100.0%	)	0.00	0.	05		0.10			0.00			

	叫(テェック)			1	1
評		視 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	:(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		-()	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>2</b>	∣ 1
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	└─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	24 今理培亦	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		, ,	内容 震災から年数を経過するとともに震災以外の影響による身体状況の悪化もあり見直しが必要		
	優先性,緊	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー	率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
交力	成果の実績	{/2 ~ 1\	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	2
7/3	ルスペッス点	1/2	└▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	_ ~	_
性	- 成果向上余	:+b/1~ 1\	成果があがっていない場合		
4点	- 成未向工示	(FE(1 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(*	1 ~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	十位コスパ(	' '/	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	1(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又皿日只三	-(0 1)	└→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直U不能 □ 徴収可能)	<b>」</b> 1	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	0
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	J PX(1	0)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減耳	双組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	7711133777	//iiii	→ 内容 事務費等の削減に取り組んでいる		
亚成	1 5 ~ 1 (	、 年 度 に	相談内容が多岐にわたっている 改善 在宅介護支援センター等地域資源の活用 総合		
実施	した改	善内容	課題   改善   改善   総合   対策   対策   対策   対策   対策   対策   対策   対	A	D
- A	*	7 5 >			
5 771	後の対応(ア	<u>(クション)</u>	高齢世帯生活援助員設置事業が阪神・淡路大震災復興基金事業であり,16年度で終了することに伴い		
珥 左 =	切 ≐	、 z ≐田 昭	同駅世市主店技助員取直争業が限仲・淡崎入晨火復興基立争業であり、「も年度で終」することに任い その後の支援体制をどのようにするのか	,	
坑 红	ios ieus OC (	ハる味思	での後の文後体制をこのようにするのか。		
市民思	属者市民,関	低老の夕称			
からの	辛日				
要望	台 日	要望内容			
<u> </u>	7				
	(1)	対応内容			
	(1)	実施期限	平成年		
課題·要		大ルビ州が	<u> </u>		
W/ ACC 34	(2)	対応内容			
へのす	, ,	実施期限	平成年		
,					
	(3)	対応内容			
	( ,	実施期限	平成年月		
	I	7 (30) (3) (4)	LSAの派遣制度		
その他	考えられる	3	在宅介護支援センターによる支援		
改善(	カァィデ:	7			
			今後の方向性	上 1次評価	2次評価
			震災後10年を経過することにより、年齢的にも、身体的・精神的にも支援の必要な 拡 大 ・ 充 実	<b>E</b>	
			方が増えることが予想されるなか、県の方向を見極めながら支援体制を決める。 現 状 維 丼	<del>j</del>	
			方法改善	Š	
平成 1	7~19年度	その方向性 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	民間委託等	j	
			縮		
			統合 / 終期設定	2	1
			廃止 / 休山		1
				T# / C / *··	+
2 次 評	価 委 員 会	ミコメント	国・県にLSA(ライフ・サポート・アドバイザー)事業として継続するよう要望を続けること。財源 場合は廃止を含め抜本的な見直しを行うこと。	催保が出	米ない
			物目は応生でロジ版やIJで配旦してロブして。 		

										7						
(一般	事業	( )	事業	<u> </u>	2340	390				<u> </u>	部	+	長次	長	課	長
平成1	5年月	度	事	業名	高齢	者相談業務										
1 7-70	- 1 *	^			Поде	H 11100010333				1						
	- 2017 10.	ı	E / IA \													
			長(ドゥ)			Int 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		A = \$ / 10					/m /m =================================			11
		-				健やかでぬくもり					所	管	保健福祉 			
総合				<u>中</u>		高齢者の自立をサ		会の実現				<b>5</b> — Е.Г.	高年福祉			
政策		-		<u>/小</u>	4	高齢者の生活自立	文抜の推進					管課長氏:				
事		系業		細	ᅲ	12年2月~		/▽₩F5n±			電	入者氏:	号 0797-38-	夏	<del>山</del> 柏	0500
	 L 法	• •						経常臨時	☑ 経常 □	臨時		施主(		-2044	内線	2522
実		施	<del>マ ・ 3</del> 手			直営	□ 一部委託	<u> </u>	□ 全部委託	<u> </u>		  補助金		負担金		
委	,,	11E	託				名称	<b>J</b>				任 委 託 内 ?		只让亚		
_						<u>才到四种女的</u> 者福祉相談員(嘱託		高齢者の	総合相談にあ		JXI	0 × 110 F3	-			
事	業		Ø	概 要			, ,									
	214															
					相談	員を市役所窓口に関										
事	業		の	現 状	高齢	者の相談内容かられ	 冨祉サービスヤ	b各種の情	報の提供をお	こない,「	問題	解決にあた	っている。			
	目的	勺実	ミ現のため	o O												
	手段	0.00	な実施内	]容												
				指標 名	相談	可能日数										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平	成 1 6 年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標 値		2 4 4 日	2 4 5	日	2 4 7	日		2 4 5	日		245日	
アウト	・プッ	٢		単位コスト					11,23	3 0 円						
指	1	標		指標 名												
			結果指標			13年度(実績)			平成15年度	• •	平	成16年度	• •		7年度(	
				指標値		300人	1 8 5	人	3 0 6			3 3 0	人		360人	
	- 31171			単位コスト					9,06	5円						
2 事	業別	习	具(アウト	トカム)	1											
			対	象	援助	を必要とする高齢	<b></b>									
古光	~ <del>-</del> -	۸,	<del>\</del>	11 340	*+ ¢	3 *b /-> 2 1	0.0.0.1	교 사 #	, ,,,	0.0.6.1		ᅡᆎᆔ	) 0/	l 1	. 4 5 9	/
争 兼 ( 対 象		-	刘 家 刀	バー 率	X₁ ≶	R 釵 (a) 2 I	,000人	受 益 数	(D) 3	306人		几 平 (D	÷ a) %	l	. 4 5 %	/0
XI 3K	' 忠!		意	ভি	<b>宣</b> 戀	者やその家族等が	その拘える問	明ちわざ	1. 採助方法	た坦併す	z <del>.</del>	とにトって	問題解治の	幺口がつ	つかめる	
			_	と と語にして)	回图7	白 らての外族寺が	, ていたんかに	1)起で作政	(0,16则)]压	で延択り	<i>ي</i> د	CICAJC	可起肝/大い	'ж Ц Л	717.07る。	'
		_	(X13/6.T													
大	ਣੇ		な	目 的	相談	を受けることによ <sup>、</sup>	って,制度やサ	ナービスの	利用につなげ	, 生活の	質を	向上させる	•			
,	_						,			, —, —			•			
				指標 名	サー	ビス情報提供件数										
						替指標)問題解決の	Dためのサー b	ごスや情報	が得られた人							
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	トカ	ム		指標値		4 2 3 件	2 6 8	件	3 7 9	件		4 0 0	件		450件	
指	1	標		指標名	高齢	者在宅率(%)										
			最終成果	考え方・式	高齢	者人口 - 施設入所	<b>皆数/高齢者人</b>	□ × 1 0 (	0							
		-	指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)			平	成 1 6 年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		97.0%	97.	1 %	97.3	3 %		97.	3 %	9	7.39	%
						の市に比べて高齢値	化率が高い。									
芦屋市	5の特	寺 色	など補足	足する事項												
_ ==	ᄣᄲ	<b>+</b>	ンイチもまつ。	/\	<u> </u>								. 1	l <del></del>		+ / +=
				分(コスト	)   <del>ज</del>	1.2万亩(油等)	亚产1.4左南	: / :+ <del>//</del> /	1世帯当り(円)		_	1人当り(円		平成16.4	1.1 住民基	基本台帳
事	<del> </del>	¥	費		平以	13年度(決算)	平成   4 年度	•	平成15年度		4	成16年度	(			
	事		件 費業費					2,110		2,774						
ф :			門経費													
		_	償却費													
(     ]	合	ІЩ	計	100.0%		0		2,110		2,774			0			
	国		· 県			<u> </u>		-, 110		4,117			<u> </u>			
財			債 等											-		
(千円			の他													
, , , ,		船	段 財源			0		2,110		2,774			0	1		
活	動職	_	員	100.0%						,			-			
			·臨時等	100.0%				0.40		1.00			-			
(人	_		計			0.00		0.40		1.00			0.00	1		

	<u> </u>						
評	価	視	, 点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	l =6	的妥当性(2	2 ~ 2\	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな	:61		
		17女二年(4	2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能であ	i 3		
妥	市園	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			,	□ いずれにも該当しない			
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではた	21.1	7	7
=	+	<b>マー ブ</b> (c	۸۱			1	<i>'</i>
	Пр	民ニーズ(2	2~ 1)				
性				□ 数字で把握している 相談件数・時間・内容を集計。増加している。 □ 未把			
8点	計会	会環境変化	七(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが	必要		
			, ,	内容 高齢化率が上昇し、それに伴い相談が増える。			
	優先	先性,緊急	性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象	象カバー率	<b>≝</b> (1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受記	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限	定		
効	ct; E	果の実績(2	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		1	3
XIJ	DX.=	未切夫領(4	2~ 1)	┃ ▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える     □ 実績値から成果があがっていると言え	ない	ı	3
性		74 . 41	11.4	成果があがっていない場合			
4点	- 成	果同上余5	也(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特に	なし		
- 7444				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
				□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 地域できる日本はない □ 世位コスト □ 地握していない			
效力	単位	立コスト(1	~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
7/3				·			
				高い、または低い場合の理由			
	受記	益者負担((	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率				L→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	能 )	1	_1
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•	•
	∓E	设(1~ 3)	١	│ □ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	ある		
	7+	-x(1 3)	,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	5		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点		. I NON-18-TTE	/II / A	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	コノ	くト削減取!	組(1~ 1)	▶ 内容 人件費の低い年齢層の嘱託職員を雇用している。			
	1						
平成	1 5	~ 1 6	年度に 善内容	課題 改善	総合	Α	В
美 池	<i>U I</i>		当 内 谷	内容	評価	, ,	
5 今征	多の文	対応(アク	クション)				1
		370 (2	, , ,,	総合的な問題の発見・分析に至っていない。			
現在	認識	してい	る課題	高年担当と介護担当の2分化			
市民、関	係者	市民、関係	系者の名称				
からの	<del> </del>						
要望	l'	意見,	要望内容				
× ±	, ,,			  基幹型在宅介護支援センターへ相談記録の集約を送り,問題の発見・分析にあたる。必要に応じて	г Г+Ы+ <del>=!:</del>	ケマムギ	± ±
		(1)	対応内容	季軒空任七月護文族センダーへ作談記録の集制を送り、同題の光兄・万州にめたる。 必要に心して  使って施策への反映を図る。	、 TETAX	ソプ云語	我」で
		( ' )	実施期限				
課題・要	f to 公		天肥知似				
林起 女	(王寸	(2)	対応内容				
へ の i	<del>)  </del>	(2)	実施期限				
, (0)	אין ניא		<b>夫</b> 厄朔സ	平成			
		(2)	対応内容				
		(3)					
			実施期限	平成			
W				平成   年   月			
		. られる		平成 年 月			
		. られる イデア					
				今後の		1次評価	2次評価
						1次評価	2次評価
				今後のフ 受当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡 大・ 拡大・充実の方向で取り組む。 現 状	充 集 持	1次評価	2次評価
				今後のフ 受当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡 大・ 拡大・充実の方向で取り組む。 現 状	充 実	1次評価	2次評価
改 善 (	の ア	イデア		今後のご 妥当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡 大・ 拡大・充実の方向で取り組む。 現 状 方 法	充 実維 持改 善	1次評価	2次評価
改 善 (	の ア	イデア		今後のご 妥当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡 大・ 拡大・充実の方向で取り組む。 現 状 方 法	充 実維 持改 善	1次評価	2次評価
改 善 (	の ア	イデア		会後の 7 妥当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡大・ 拡大・充実の方向で取り組む。 現 状 方 法 民間委	充 実 維 持 改 善 託 等	1次評価	2次評価
改 善 (	の ア	イデア		会後の 7 妥当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため,拡大・ 拡大・充実の方向で取り組む。 現状 方法 民間委 縮	充実維持改託新い期設	1次評価	2次評価
改 善 (	の ア	イデア		会後のご 妥当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡 大・ 拡大・充実の方向で取り組む。	充実維持改託新い財休		
平成 1	の ア 7 ~ 1	イ デ ア 9 年 度	の方向性	受後のご 会後のご 会後のご 会当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡大・ 充実の方向で取り組む。 現 状 方 法 民間 委縮 統合 / 終 廃 止 / データ集計・分析を行い、高齢者福祉に求められるニーズ、課題発見に努めること。(相談業務	充実維持改託新い財休		
平成 1	の ア 7 ~ 1	イ デ ア 9 年 度		安当性が高く,個々の問題解決のみならず,総合的な問題の発見・分析が求められるため, 拡 大・拡大・充実の方向で取り組む。 現 状 方 法 民間 委 縮 統合 / 終 廃 止 /	充実維持改託新い財休		

(一般	事	業)	事業	<b>_</b>	F 2350	010				1	部	長	次	長	課	長
平成 ′	1.5	年度	車	業	2仕字					Ī						
十以		十反	<del>7</del>	未		;以但又扬尹未										
			要(ドゥ)			T					ı		T			
						健やかでぬくもり					所 f	管 課	保健福祉	:部		
総合		L		<u>中</u>	3	高齢者の自立をサ		会の実現					高年福祉			
政策	. <b>施</b>			小	5	高齢者に優しい住	環境整備						浜野 孝			
<u>体</u>		系		細	- "			I	I — =				川原 智			
事		業	期			14年6月1日~		経常臨時					0797-38-	2044	内線	2522
	<u></u>		令 ·			生80年いきいき住宅								5 II A		
<u>実</u> 委		施	<b></b>			直営	一一部委託	t	□ 全部委託		_ □ 補			負担金		
安	_		託	7		外郭団体委託	名称	+色に 左5	マズの生活をし		委託委			hd オ z		
事	×	¥	Ø	概 望		常生活に支障をき <i> </i>     人居室整備資金貸		り家に,仕-	七での主治をし	J 199 C 9	る に め い	7注七(X)	担負用で!	ил <b>х</b> 9 го.		
<b>尹</b>	7	Æ	U)	15亿 3	z ' 12	,人店至空闸貝並貝1	门争未									
	_				☆蕪	<b>養保険の住宅改修を</b>	行から 世 単 に	<b>介字边</b> 核	<b>駅内 安 切 イ ク り</b>	下田 \ たま	辺ラス丁	車费用を	ᆄᄼᆂᅡ	ぱたむこ	から	
事	괄	¥	Ø	現 丬		『休阪の任宅以修を1 ☑,便所,玄関,廊 <sup>□</sup>			-							
7			しり 実現のため			1,仗川,公民,瓜	r , PB+X , <i>I</i> G3	E, 0019	r CBM CCO	以交前几	<i>р</i> у,	пСТИ	X O O / J   J	A C C D)	ه و کردا!	
			と残めため													
		F+X/2	KO <del>Z</del> ijer	310												
				指 樗 4	2 住字											
			結果指標			以13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度	(目標)	平成 1 7	7 年度 (	目標)
				指標値	_	5 4件	8 5 4		7 5 1	•	1 7-20 .	1001	•		120件	
アウ	トブ	゚ット	( · )	単位コス			1	<u> </u>	293,0	-			<u> </u>			
指		標		指標名	_		<u> </u>		,							
			結果指標			成13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6年度	(目標)	平成 1 7	7 年度 (	目標)
			(2)	指標値						( )			<u> </u>			,
			,	単位コス												
2 事	業	成	果(アウ	トカム)					1						-	
			3-4			ナン・ナーナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナ	<b>まこり造り F</b> 4	のた空音製	\_±×							
			対	1	K D A	生活に支障をきたる	9 6 0 成以工0	7仕七同断								
事業	の F	目 的	対象力	ı バー ≥	対 1	象 数 (a)	不明	受 益 数	(b)	75人	比	率 (b	÷ a) %			
対 象	• 漢	意 図														
			意	[2	日常	生活に支障をきたる	す60歳以上 <i>0</i>	D在宅高齢	含者が,住宅をご	<b></b> 佐するこ	とにより	), 安全	で快適な存	主宅生活力	ができる	•
			(対象を	主語にして												
大	2	ž	な	目 自	小語	隻度の進行が抑えられ	れ,在宅生活が	が続けられ	<b>いる。</b>							
				I		1 % - 51 - 7										
						・ビス利用率(%)	*****	1.0.0								
						実人数 / 在宅要援護				- / ch/s >	TT # 4	6.左座	/ D +# \	TI # 4 -	7.左座 /	_ <del>_</del> _
<b>-</b> -			指標			<u>【13年度(実績)</u>			平成15年度		半成1	6 年度		平成 1 7		
アウ	r 7			指標值	_	6.0%	9.1	%	8 . 6	%		9.09	//0		9.5%	
指		標	10000000000000000000000000000000000000			(護高齢者率(認定)		(韧宁老)	1 0 0							
						醫要援護高齢者数/要 以13年度(実績)		, ,		- (宝塘)	<b>⊽ ದ</b> : 1	6 年度	(日輝)	平成 1 7	7 年 度 (	日押/
			指標	年 月 指標値	_	76.8%	80.6		82.			83.5			7 <del>牛皮(</del> 8 5 . 0	口信儿
	-			1日 1示 1		7 0 . 8 70	00.6	0 70	02.	0 70		0 3 . 3	70		33.0	
古层市	<del>+</del> π	い性を	るかど猫!	足する事エ	百											
<b>一注</b> ·	J. V.	/19 [	2,04 C LHB Y	C 2 0 77 2												
ર <b>ਭ</b>	[ 学		活動配	分(コス	•)				1世帯当り(円)	730	住民1人	当1)(円)	316	平成164	.1 住民基	本台帳
<u>」                                    </u>	<del>- *</del>	業	<u>/ロョル 能し</u> 費		1 .	成13年度(決算)	平成 1 4 年度	( 沖質 )	平成15年度	<b>.</b>		6 年度		1 /3% 10.4.	1 111/4	**************************************
-	Т	人			+	(13 1 <u>k</u> ( <del>M</del>	1120 1 112	2,634	1120 1 3 1 130	3,029	1 72%	0 1/32	-			
	-	<u>/                                    </u>	業 費					26,494		25,270			30,625			
内	<u> </u>	•	<u>パーク</u> 引門経費		70					,			-			
	-		道却費										-			
( 1 1.	-	<del>////</del> 合	Ħ	. 1	%	0		29,128		28,299			30,625			
	_	<u></u> 国	· 県		_			5,282		6,562			13,810			
財	- 4		債 等					-		· ·						
(千円			の他		%			3,107		3,776						
			段 財 源			0		20,739		17,961			16,815			
活	動	職	員	100.0	%			0.30		0.40			-			
	分	嘱託	・臨時等	0.0	%			0.20		0.00			-			
(人	_		Ħ	. 1	%	0.00		0.50		0.40			0.00			

4 計1	<u> </u>	現 点	☆(価エーッカリフト	1 \欠 ≑亚 /来	1 1/2 = 1 / <b>A</b>
<del>11'</del>	価 7	児 点		1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
			□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
177	士間上(2	2)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
NZ			□ いずれにも該当しない		0
当	+	'(O 4)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	8
141	市民ニーズ	(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握		
性			☑ 数字で把握している 住宅改造件数 □ 未把握	_	
8点	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急	会 (4)	内容在宅生活の継続が高齢者の生活の基本として考えられている。	_	
	対象カバー		☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる   ☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有			□ 対象カバー学は高い □ 回回体と同程度 □ 回回体よりカバー学が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
''	文皿省(1	1)	□ 事業息凶と支血者は登台している □ 事業息凶と支血者が小登台,または支血が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	┨ .	_
効	成果の実績	i(2 ~ 1)	□ 中間成未有標の美韻値を記録し、自標値を設定している□ 美韻値なたは自標値が不記べ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	1	∣ 4
性			成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	:地(1~ 1)	成来があかりていない%日   □ 成果向上策あり □ 特になし		
455			□		
			□ に致くさる団体がある 団体日 □ □ に致くさる団体はない □ □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 四 把握していない		
効	単位コスト(	1 ~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
743			高い、または低い場合の理由		
			□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担	<u>l</u> (0 ~ 1)	□ 気温を水のあるとの でものず来である □ 気温を水のある にず来ではない □ 徴収可能 □ 数収可能 □ 数収可能 □ 数収可能 □ 数収可能 □		
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<del>-</del> 1	-1
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ R間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ R間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
0,	コスト削減耳	双組(1~ 1)	→ 内容 一部負担金の見直しにより、過剰な工事を防ぐ		
	1		太人負担額が0円の場合 補助限度額の 所得制限 一部負担全の割合を変更		
平成	1 5 ~ 1 6	年度に	毎時  5四キで必要以上にて事が入っ事がなっ   改善  629  四キでは、カキで会せらだった唯屋で   総合	Α	В
美 施	した以	善 内 谷		' \	
5 今1	<b>●</b> 参の対応(ア	7クション)			ı
	( )	, , ,,,	真に対象者本人に適した工事になっているかの判断があいまい。		
現在	認識してし	ハる課題			
市民,関	係者 市民,関	係者の名称			
からの	意見	要望内容			
要 望	等思想,	女堂内台			
		対応内容	工事を決める際,保健・福祉・建築担当者のチームによる訪問をし,各専門分野からその人に適した工事	を提案し	,工事を
	(1)	ראניוטונג 🗗	決定する体制をとる。		
		実施期限	平成 16 年 7 月		
課題·要	望等	対応内容			
	(2)	אניוטוינג			
へのす	対応	実施期限	平成 年 月		
		対応内容			
	(3)	אנייטיוניג			
		実施期限	平成 年 月		
その他	考えられる	3			
改善(	カアイデフ	7			
			今後の方向性	_	2次評価
			事業の妥当性が高く,課題についても改善を図っているため,現状維持で行なう。 拡大・充身	€	
			現、状に維い対	ŧ	
			方法改善		
平成 1	7~19年度	その方向性 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	民間委託等	Ě	
			縮		
			統合/終期設定	2	
			廃 止 / 休 山		
			  助成制度の対象者本人に適した工事内容になっているのかどうか、認識している課題について改善を図	ス必亜が	ー (あいま
2 次 評	価 委 員 会	ミコメント	助成前及の対象有半人に適した工事内合になっているのかとうが、認識している味趣について以告を図  す。	マガ女リ	シッム

( — 韓亞	車 森 /	車 業	□ - F	2330	030			•	部長	次	長課	長
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								•	DP IX	<u>//</u>	及麻	IX.
平成1	5年度	事	業名	介護	保険給付							
								•				
		要(ドゥ)										
						のある福祉社会づくり			所 管 課	保健福祉		
総合政策			中			ポートする社会の実現				介護保険		
	他 束 系		<u>小</u> 細	3	介護保険制度への	以 1 / 心			所管課長氏名記 入者氏名			
<u>体</u> 事	業	- 期		亚战	<u> </u> 12年4月1日~	経常臨時	☑ 経常 □	<b>哈</b> 哇	電話番号			2561
_		令 '			· · / / · · · · · · · · · · · · · ·			пшнл	実施主体		2021 13/08	2001
実	<u>. /二</u> 施				直営	☑ 一部委託	□ 全部委託				負担金	
委		託	先	·	外郭団体委託	名称 福祉公社		☑ 民間	委託 委託内容	介護認定	:調査	
				1	介護を必要とする	人に対する要介護度の認	定					
事	業	の	概 要	2	要介護者対する介	護サービスの適正な給付	-					
					<b>なる日本旧の</b> セル	47 000 L TA	*****	2021	40.00().		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
事	業	Ø	現 状		第1号被保険者数 介護サービスの給f	·	獲認定者数 2	, 882人 (	16.0%)(	平成16年	3月末現在)	
<del></del>		り 実現のため				<sup>」</sup> サービス受給者数・金額	1,932人	(3日公)	2 1/	1,394干	. ш	
		と残りため			酒七月暖(又扱) 施設サービス受給 <sup>。</sup>		-	(3月7) (3月分	•	39 , 656 <sup>-</sup>		
	3 . ~ /	> \ 1001	-		高額介護サービス			(3月分)		20 , 520千 2 , 520千		
			指標 名	認定	者数(人)							
		結果指標	年 度			平成14年度(実績)			平成16年度(	目標)	平成17年度	
		(1)	指標値		2,238人	2,464人	2,88		2,771		2,924	4人
アウト			単位コスト		1,402円	1,471円	1,38	9円	1,474	円		
指	標				介護サービスの受		亚代 1 5 年度	(守繕)	平成16年度(	口捶)	平成17年度	(日插)
		結果指標 (2)	指標値		1,318人	1,577人	平成15年度 1,93		1,668		1,775	• •
		(2)	単位コスト		1,310%	1,3777	1,33	27	1,000		1,,,,	
2 事	業成	上 果(アウ										
		対		<b>一</b>	雑初史老で介護サ		1					
		_										
			) バー率	対象	象数 (a) 2,	882人 受益数	(b) 1,	932人	比 率 (b	÷ a) %	6 7 %	
対象	・意 図		[avr	<b>無人</b>	<b>栄老がえの左右</b> え	**+- **+- **+-	ナン・サン・リ	レベッキ	フレミ以亜も人袋		<b>₽₩</b> / <del>+</del>	
		意が免を	凶 主語にして)	安川	護有かての何9句	能力に応じ自立した日常	生活を含むこの	こかでき	るよう必要な介護	サービス	(0)為計划	
		(X)3K.C.	Indico C)									
大	き	な	目 的	市民	の保健医療の向上	及び福祉の推進						
					ビス受給者の割合							
						護認定者数 × 1 0 0			I = n		I <b>-</b> » <del></del>	
<b>-</b> 1	т,	指 標			13年度(実績)		平成15年度		平成16年度(		平成17年度	
アウト 指	トカム標		指標値		58.9% の介護に要する時	64.0%	67.0	1 %	60.2	9/0	60.7	%
314	125	最终成果				間の軽減時間 に応じ自立した生活を営	おことはもちる	ろん、家だ	<b>佐の介護負担を軽</b>	くするこ	とも重要な成果	である
						平成14年度(実績)					平成17年度	
			指標値		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	```						· · · · ·
			•	要介	護認定者が保険給付	を受けやすいように , 原	則償還払いサー	・ビスの受	領委任払い(現物	支給)の	取扱いを導入し	ている
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項									
	· MIZ ====	<b>ング エレ</b> エコ	// / <del></del>	Ļ					I			
			<u>分(コスト</u>	í –	1.2万亩/油签》	亚世 1 4 左座 / 沽签 \			住民1人当り(円)		平成16.4.1 住民	基本台帳
事	業 人	件 費		_	28,323	平成14年度(決算) 45,267	平成15年度	44,804	平成16年度(	. 丁昇)		
	事	業費			3,107,543	3,577,387	3.	,956,357	4	.082,716		
内言	沢他部	<u> </u>			5,121,010	2,011,001		, ,		-		
(千円	) 減 値	首償 却 費	t							-		
	合	計	100.0%		3,135,866	3,622,654	4,	001,161	4,	082,716		
_ ,	国	• 県			1,073,922	1,250,101	1,	,420,176	1	,444,190		
	原って	債 等			1 510 00-	4.0=4.0==	_	000.07	-	075.004		
(千円		の 他			1,542,695	1,874,085		,022,654		,075,924		
活 重	動職	<b>投財源</b>			<b>519,249</b> 2.80	<b>498,468</b> 3.74		<b>558,331</b> 4.50		562,602		
		· 臨時等			1.00	4.68		4.00		-		
		il		_	3.80	8.42		8.50		0.00		

4 計1	<u>叫(ナ</u> 価	<u>エツク)</u> 視	· ·	評価チェックリスト		1 \/a =\\au /#	2次評価
āT .				は 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができ		八計川	1 2 次評11
	目白	的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の上目がは明確である □ 事業の目がは つに放ることができ 事業の目がは つに放ることができ 事業の果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	/A.V I		
				□ 事業が未が上位が果に下ろう、または質解を対している □ 民間でやるべき、または対応可能で	ある		
妥	市原	関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	. 151.	), J(=	-/	□ いずれにも該当しない			
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	はない	8	8
	市目	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない、または		O	•
性			,	☑ 数字で把握している H14利用意向調査で80%以上が現状利用継続希望 □ 未	巴握		
8点	*1	^ == ı÷ <del>*</del> /	'lerra a)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直した	が必要		
	1 往	会塚現役1	<b>化(1~ 1)</b>	内容 市の高齢者率が19.66%となり,増加傾向にある			
	優先	先性,緊急	(1)	☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対	象カバー率	≅(1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低	<i>(</i> )		
有	受益	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に	限定		
効	成長	果の実績(	2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		3	3
	13,00	ACOD XMSE(I		└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言	えない	J	٦
性	- 成.5	果向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	1-22	101 12200	5(,		になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない			
効	単化	泣コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
X/J							
				高い、または低い場合の理由  ② 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益	益者負担(	0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収す	TÁL )		
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	JAE )	1	0
				□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分	がある		
	手	段(1~ 3)	)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である       □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性				□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点		- 1 1/412-2000	<b>ATI</b> (1)	マコスト削減の取り組みを行っている   特に行っていない			
,		スト削減取	組(1~ 1)	▶ 内容 給付費の審査·支払事務の委託。認定審査システムの導入			
		4 6	<i>-</i>	要介護認定の適正化 合議体長会議を開催し,資質向上を図った	w 6	_	
半成事施	1 5 1, 7	~ 16 #- 24	年 度 に 善 内 容	課題 内容 内容	総合評価	Α	В
5 今往	後の文	対応(ア	<u>クション)</u>	I			
TB +- +	-271 <del></del>		. → ±m n=	1 要介護認定の適正化			
現 住 記	沁 記	0 ( 1)	の味趣	2 保険給付の適正利用 			
市民問	[係去	市民 関係	係者の名称				
からの							
要望		意見,	要望内容				
			***	├──  各年度の計画(第2期介護保険事業計画)に沿って,審査判定業務をより公平・公正にするため,	全体研修る	を行いる	<b>多質向上</b>
		(1)	対応内容	に取り組む			
			実施期限	平成 17 年 3 月			
課題·要	望等		対応内容	各年度の計画(同上)に沿って,事業所に対して保険給付の適正化のための情報提供。また,	个護サービ	え提供	基盤の
		(2)		充実のための民間事業者の活用促進			
へのす	対応		実施期限	平成 17 年 3 月			
			対応内容				
		(3)					
			実施期限	平成			
Z 10 44	. ±× =	c +o 7					
		.られる イデア					
以 書 (	יל ענ	1 ) )		全後 (	方向性	1次証価	2次輕価
					· 充 実		
				特に保険給付の適正利用に関しては、保険給付の目標値が設定されており、目標値に対する 現 状			
				1	改善		
平成 1	7 ~ 1	9年度	の方向性		委託等		
		-		予測される中,第3期介護保険事業計画を策定し,単に対象や要件の拡大という問題に 縮	小		
					8期設定		
					/ 休 止		
				<u>'</u>			
2 次 評	2 /而 2	季 昌 委	コメント				
- //C HI	1Щ 3						

			I							Ī			_		
( —	般引	<b>業</b> )	事業	<u>コード</u>	2330	040					部長	次	長	課	長
平瓦	ኒ 1 5	年度	事	業 名	介護	保険料の賦課・徴し	IΣ								
1	电子	<del>''                                   </del>	<b>亜</b> / じょ \												
			要(ドゥ) l± + づ /	コの日梅	_	健やかでぬくもり	のある行がが	<u> </u>				保御がら	· 立(7		
		'屋巾 計画				高齢者の自立をサ					所 管 課	保健福祉 介護保険			
		11 四		<u>中</u> 小		向断省の日立をり 介護保険制度への		ない天児			所管課長氏名				
体	ж 1.	必系		<u></u>	3	八	עוין ניא				記入者氏名				
事		業	斯		亚式	1 2 年 4 月 ~		経常臨時	<ul><li>✓ 経常 □</li></ul>	臨時	電話番号			内線 2	2562
	枷		令 · •			- 2 平 4 万 保険法,芦屋市介記		光土 中 四四十寸		四世五	実施主体		2040	אקה פין	2002
実	JÆ	施	<del>~</del> 手			直営		:	□ 全部委託	:			負担金		
委		7,15	託				名称	,			委託 委託 内容		关记业		
_						に住所を有する6		: (第1号	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				の賦課・	徴収を行う	<u>.</u>
事		業	Ø	概 要		[	- 13.0 71 17.0 1.0	- ( >,- · -	, IIX III / 1 - 1.		331-1-277	#2 P147711	7,20471	-x 1x - 1 3	_ 0
		<b>-1</b>													
					1	被保険者及び前年原	まが得金額等の	)把握							
事		業	Ø	現 状		介護保険料の賦課			引き)と普通復	数収(市2	が個別徴収)				
			ェー 実現のため			介護保険料の収納			,		,				
			及び実施内			保険料未納者に対し	して督促状・催	告書の送	付 等						
				指標 名	被保	険者数(人)									
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標〕	平成 1	7年度(目	標)
			(1)	指標値			17,46	6人	17,98	86人	17,99	5人	1 8	, 509,	Λ.
アウ	)ト:	プット		単位コスト											
指		標				料徴収率(%)									
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)			平成16年度(		平成 1	7年度(目	標)
			(2)	指標値			97.1	6 %	96.6	5 %	98.3	%	9	8.3%	
				単位コスト											
2	事	<b>美成</b>	果(アウ	<u>トカム)</u>											
			対	象	市内	在住の65歳以上の	の人(第1号被	保険者)							
<b></b> v	ı		N 67 1							0.0.6		```		1.0.00/	
				バー率	对 🧸	R 数 (a) 1 /	,986人	受 益 数	(b) 1 /	, 986,	人 比率 (b	÷ a) %		1 0 0 %	
X) §	豕 '	意 図		ভয়ে	士が	<b>小猫の必要かま兄!</b>	ニュナー ア 4分/-	+++ _	なかこかるレニ	キに必要。	かけるの数位				
			(対象をご	凶 主語にして)	יט חי	介護の必要な市民Ⅰ		リリーヒス	、そのこなりこ	さに必安/	よ別源の唯体				
			(X)3K & _												
大		ŧ	な	月 的	市民	が高齢者社会を考え	え 介護保険制	順度が社会	*相互扶助の考え	えに基づき	き運営されている	ことを理	解してま	5らう.	
		_		Н	. 10 20		C / / I REPRING	JA 112	(14-17/23/07/37	CICT -				J J J ,	
				指 標 名	給付	制限等を受けた人の	の割合(%)								
				-		制限等を受けた人		:納者 × 1	0 0						
						13年度(実績)				(実績)	平成16年度(	〔目標)	平成 1	7年度(目	標)
アワ	ナト	カム		指標値			0 %		0 %			-		-	
指		標			保険	料の完納した人の語	割合(%)				•				
			最終成果	考え方・式	完納	者数 / 被保険者数:	× 1 0 0								
			指 標		平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 15年度	(実績)	平成16年度(	[目標]	平成 1	7年度(目	標)
				指標値					9 7 %	6	98%			98%	
芦厚	ますの	の特色	色など補足	足する事項											
			\								1				
	事			<u>分(コスト</u>	)	4 0 5	T-4 ::	, salane :	1世帯当り(円)		住民1人当り(円)	3,672	平成16.4	1.1 住民基本	台帳
事		業	費 # #		半成	13年度(決算)	平成14年度	•	平成15年度		平成16年度(	予算)			
		<u>人</u>	件 費					29,762		28,387		-			
<u>_</u>	÷Π	事	業費					43,945		34,738		28,629			
内 / エ			門経費					297		265,949		-			
( +	円)	海 10 合	「償却費 計			0		74,004		329,074		28,629			
		国				U		7-1,004		J23,U/4		20,028			
財	酒	市	債 等	_											
» (千			の他					227		235		299			
( ]	17)		<u>"</u> 段 財 源			0		73,777		328,839		28,330			
活	動	職	<del>及 73 A6</del>					3.00		2.83					
配		_	∵臨時等					0.92		1.83		-			
( /		合	<u>計</u>			0.00		3.92		4.66		0.00			

4 計1	<u>   (ナー</u>  価	エッフ) 視	点					価チェック!	Jスト			1次評価	2次評価
H1	T				の主目的は日	明確である		1,4,7 - 7,7,7		事業の目的は一つに絞る	ことができない	177411	2 // CHT   IM
	日的	9妥当性(2	2~ 2)	☑ 事業	成果が上位が	施策に不可	可欠 , または貢献	(度が高い		貢献度が不明確、または高	高くない		
				☑ 市が	実施するよう	法律等で	義務づけられてい	13		民間でやるべき , または対			
妥	市関	与(2~	2)	□市民	の基本的な生	生活の維持	寺に必要である			也団体では見直しがされて	113		
NZ							.» + = **			1ずれにも該当しない	· = W - 1 + 4 1 )	0	_
当	± E	ミニーズ(2	) ~ 1)		ニースに <del>基</del> っ コーズが		べき事業			市民ニーズに基づいて行う ニーズが高いとは言えない		8	5
性	ı İn Ez	c^(2	- 1)				いる 第2期介	護保険策定			□ 未把握		
8点				□事業						せ会環境の変化にあわせ;			
	社会	:環境変化	比(1~ 1)		容							"	
	優先	性,緊急	性(1)	□事業	を実施しなけ	れば,市	民の生命,安全等	等が損なわ	れる				
			<b>፩</b> (1 ~ 1)		カバー率は高			団体と同程度		□ 他団体よりカバ			
有	受益	益者(1~	1)							者が不整合 , または受益が		-	
効	成果	見の実績(2	2 ~ 1)	1 1						実績値または目標値が未記 実績値から成果があがって		2	2
性					<u> </u>		うしいると言える	9	و لا	<b>夫縜旭から成未かのかつ</b> (	いると言えない	┨ —	
4点	- 成集	2向上余5	也(1~ 1)		のかっている 向上策あり		付制限の実施				□ 特になし		
- 7/11					<u>つ エバジケ</u> できる団体か		団体名			比較できる団体はない	: - 1310.00		
	₩ / <del>:</del>	ンコスト(1 <sup>-</sup>	- 1)	□ 他団	体の数字を打	巴握してい	1る 単位コス	٢		☑ 把握してい	ない		
効	丰山	7171(1	- 1)	<b>▶</b> □	他団体よりコ	ストが低い	\ □ 他団	体と同程度	₹	□ 他団体よりコストカ	が高い	.]	
					たは低い場合								
	受益	益者負担((	0 ~ 1)							)るべき事業ではない 数収不能・見直し不能 [	☐ <b>₩</b> ЫД <del>Т</del> 46. \		
率									•			<b>∤ 1</b>	0
		_			,		いたは山貝団体へ			用こういて 固人 , 家庭 , 地域等が担う	べき部分がある		
	手段	<b>设</b> (1 ~ 3)								民間(企業 , NPO等)で対応			
性					•					属託 , 臨時職員等で対応。			
3点	コス	ト削減取約	組(1~ 1)		・削減の取り約		ている		□ ‡	寺に行っていない			
	7/	1133777-177	.,	→ 内:	容 システ <i>L</i>			1 1					
平 成	1 5	~ 1 6	年度に	・保	険料の減免的 険料の徴収す。	制度を拡え を ウト	充する。	改善  北点		なる所得制限の見直しをおる も職員の配置	こなった。   総合	Λ.	В
実 施	した	さ 改 割	善内 容		央	か 1911年		内容	5 重月91萬百	て職員の配置	評価	A	D
5 今1	後の対	応(アク	<u>フション)</u>										
				1 低所行	导者対策	介語	護保険料の減免制	制度の周知	徹底				
現在	認識	してい	る 課 題		料の口座振権								
<del></del>	18 17 ±/ =	<del></del>	T + 0 - 2 11-		率の向上	介語	護保険制度の理解	解を図る。					
からの			系者の名称										
要望		意見,要	要望内容										
		(1)	対応内容										
			実施期限	平成	年	月						-	-
課題·要	要望等	(3)	対応内容										
への:	<del>11</del> 15	(2)	実施期限	ᇴ	年	月	1						
. ( 0)	X1 //U			十八八		/-	1						
		(3)	対応内容										
			実施期限	平成	年	月							
				1		•							
		られる											
		られるイデア									<b>◇</b> 後 ○ 〒 白 州	- 1 \p \in (#	2. 左京(本
											今後の方向性拡大・充実		2次評価
				・介護保障	乗制度の啓乳	ě					拡大・充実	2	2次評価
					乗制度の啓 アロ座振替 <i>の</i>							£	2次評価
改 善 (	の ア ·	イデア		・保険料の	の口座振替の	)推進	)統合・被保険を	者の範囲拡	大等,[	国の示す新たな流れも	拡 大 · 充 実 現 状 維 持		2次評価
改 善 (	の ア ·	イデア		・保険料の ・支援費制 予測され	の口座振替の 制度と介護例 れる中,第3	)推進 R険制度の 期介護保障	険事業計画を策	定し,単に対	付象や	要件の拡大という問題に	拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮		2次評価
改 善 (	の ア ·	イデア		・保険料の ・支援費制 予測され	の口座振替の 制度と介護例 れる中,第3	)推進 R険制度の 期介護保障		定し,単に対	付象や	要件の拡大という問題に	拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       統合/終期設定		2次評価
改 善 (	の ア ·	イデア		・保険料の ・支援費制 予測され	の口座振替の 制度と介護例 れる中,第3	)推進 R険制度の 期介護保障	険事業計画を策	定し,単に対	付象や	要件の拡大という問題に	拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮		2次評価
平成 1	の ア · 7 ~ 1	タ年度	の方向性	・保険料の ・支援費制 予測され とどまり	の口座振替 <i>0</i> 削度と介護係 れる中,第3 らず今後も見	)推進 保険制度の 期介護保限 で利用し	険事業計画を策	定し,単に対	付象や	要件の拡大という問題に	拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       統合/終期設定		2次評価
平成 1	の ア · 7 ~ 1	タ年度	の方向性	・保険料の ・支援費制 予測され とどまり	の口座振替の 制度と介護例 れる中,第3	)推進 保険制度の 期介護保限 で利用し	険事業計画を策	定し,単に対	付象や	要件の拡大という問題に	拡大・充実       現状維持       方法改善       民間委託等       縮       統合/終期設定		2次評価

一																	
事業機要(ドゥ)   おけん   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	( -	般	事業)	事業	¥ .	_	ド 2340	120					部 長	次	長	課	長
野沢茂原田  15 丁 ブ りの 日曜 2	平月	戊 1	5年度	事	当	<b>¥</b> 1	3 養護	老人ホーム運営事	業								
野沢茂原田  15 丁 ブ りの 日曜 2																	
野沢茂原田  15 丁 ブ りの 日曜 2																	
報告的   日本   3														*			
接 策 節 乗													   所 管		部		
## 2						•				垷			6. 答 钾 巨 丘 夕	11111-11-1	27/		
# 東	- • •	來					4	同数日の土冶日立	.又接切推進								
度 手 法 ② 立ち ① ・				<u> </u>			引 昭和	40年~	経常問	諨時	☑ 経常 □	臨時				内線	2577
要		拠	法	令 ·	要	是 綱 急	芦屋	市立養護老人ホー	ムの設置及び管理に	関す	る条例,和風	<b>園処務規</b> 則	実施主体				
- 利見図価量量及び一般無極調の支払素持等 - 報係のの支払素持等 - 報係の大力・4の配面の運営、定員 0 名) - 平均特別 8 3 . 6 成 間条所割 9 渡 成 金融的 6 ら 係 中成 10 京 兵 人 10 の 10 の 10 京 兵 人 10 の 10 の 10 の 10 の 10 の 10 の 10 の 10			施		手		-				□ 全部委託		****				
### ### ### ### #####################	委			託		- 5	_			*/*		□ 民間	毒託 委託 内容	調埋業務	3		
# 報義の3と私業務等	重		丵	Φ		相 三				于							
# 葉 の 現 以 * 平成15年度入無者の現立、人類者2人 温解者6人 年度末年無者32人 平均年齢 83.6億 最高齢者99歳 最低齢者69歳 平均在側年数8年4か月 - 年間主張行事 花泉念、大少男り、熱財が大念、盆飾り、別立路、健療過度、発を閉じ念、パスツアー、	<del></del>		*	0)		144. 3			ਹਿਲਦ								
目的実現のための   平均年齢 8 3 6 版							・養	護老人ホーム和風	園の運営(定員50:	名)							
手段及び実施内容   年間生寒行事 花見会、大少祭り、精紀打大会、盆頭り、側面藻、健康講座、鏡を悪む会、パスツアー、	事		業	の		現											
応年金、クリスマス会、新年税資金、奈道別金、新道別金、新道別金を   一次の1 5年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   単位コスト   4、823年円   4、989年円   5、132千円   2 事業成果(2)   海標 個   中位コスト   2 事業成果(7)プトカム   第1標 個   平成13年度(実績)   平成14年度(実績)   平成15年度(実績)   平成16年度(目標)   平成17年度(目標)   平成17年度(目標)   100%   2 事業成果 (2)   海標 個   平成13年度(実績)   平成16年度(日標)   平成17年度(目標)   100%   2 事業成果 (2)   海標 個   平成17年度(日標)   100%   2 事業成果 (2)   海標 個   平成17年度(日標)   100%   2 事業成果 (2)   海標 日本の   100%   2 事業の目的対象カバー   中期成果   一次の下書の上が開始なため、老人福祉法に基づき措施を受けた者   100%   2 事業の目的対象カバー   中期成果   一次の下書の上が開始なため、老人福祉法に基づき措施を受けた者   2 事業の目の   100%   2 事業の目の   100%   2 事業の目の   100%   2 事業の目の   100%   100%   2 事業の目の   100%   2 事業の目の   100%   2 事成13年度(実績)   平成16年度(日標)   平成17年度(日標)   平成17年度(実績)   平成16年度(実績)   平成16年度(実績)   平成17年度(実績)   平成16年度(実績)   平成16年度(実績)   平成17年度(日標)   平成17年度(日標)   平成17年度(日標)   平成17年度(日本)   100%   1														_	* <del>-</del>		
開 様 名 入所音俊   平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)   日標 個 38人 36人 32人 36人 36人 36人 36人 36人 36人 36人 36人 36人 36			<b>于</b> 段,	り (人) 美力	他囚	谷							選康講座 , 鍋を閉	昭公会,八	スツァー	- ,	
無果排釋   1					:	指標:			云,别牛1九 <u>莫云,</u> 东	드까	並,即刀立み(	=					
押値コスト   4 ,823千円   4 ,989千円   5 ,132千円   1				結果指	-				平成14年度(実績	(重	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
据				(1)	<u> </u>		_				-	•	3 6 人			36人	
機果指標		ナト		<b> </b>				4 , 8 2 3 千円	4,989千円		5,132	2千円					
2 事業成果(アウトカム) 横線を人ホーム入所者)65歳以上で、身体上苦しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により層宅において養養業の目的対象カバー率対象数(a) 32人 受益数(b) 32人 比率(b+a)% 100% 対象・意図 (対象を主語にして) 機能を見から、大き、福祉法に基づき措置を受けた者 (対象を主語にして) 機能を見から、大き、福祉法に基づき措置を受けた者 (対象を主語にして) 機能を見から、大き、福祉法に基づき措置を受けた者 (対象を主語にして) 機能を見から、大き、本 目 的 高齢者の生活自立支援の推進 (対象を主語にして) 場に 展示式・3 不同で (大) 大 音 な 目 的 高齢者の生活自立支援の推進 (大) 大 指 権 度 度 下成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標) 指 標 倍 ア 6% ア 2 % (6 4 % ) 1 世帯の特色など補足する事項 (大) 本 (大)	指		標		- 1			:13年度/宝缮》	亚出 1 4 年度 / 宇想	Ė∖	亚式 1 5 年度	(守繕)	双式 1 6 年度	(日播)	₩ <del>1</del> 1	7年度(	日抽)
事業成果(アウトカム)   一番					_			, 13 牛皮(夫椇)	十八14十反(美術	Į)	十八 1 3 千尺	( 夫棋 )	十八 1 0 千尺	(日信)	十八八	/ 牛皮(	日信力
対 泉 (養護夫)木一ム人所名 6 5歳以上で、身体上者しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難なため、老人福祉法に基づき措置を受けた名   比率 (b ÷ a) % 100% 対象・意図   一				(2)													
事業の目的 対象 カ バー 率 対象 数 (a) 3 2 人 受益数 (b) 3 2 人 比率 (b ÷ a) % 100% 対象・意図	2	事	業成:	果(ア	ウト	カム)			I				•				
事業の目的   対象カバー 率対象数(a)   32人   受益数(b)   32人   比率(b+a)%   100%   対象・意図   意   図   機謀老人ホーム和風圏に入所させ、養護する。   日   的   高齢者の生活自立支援の推進   指標 名入所率(%)   中間成果 考え方・式・人所者数 / 定員×100   指標 佐   度平成13年度(実績)平成14年度(実績)平成15年度(実績)平成17年度(目標)   指標 佐   76%   72%   64%   日   指標 佐   度平成13年度(実績)平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標)   平成17年度(目標)   指標 佐   度平成13年度(実績)   平成14年度(実績)   平成15年度(実績)   平成16年度(目標)   平成17年度(目標)   上版   指標 佐   日   接続				対		ģ	(養証	養老人ホーム入所者 妥はステムが円数:	(1) 6 5 歳以上で,身(1) 15 to 15 t	本上	若しくは精神」	上又は環境	境上の理由及び終	Z済的理由	により唇	官宅にお	いて養
対象・意図	<b>*</b>	<del>"</del> σ		<del>)  </del> 在	+	11, _ 2							₩ ₩ /b	06		1 0 0 0/	
意 図 (対象を主語にして) 大 き な 目 的 高齢者の生活自立支援の推進					/J	/ - 2	בי עא	3K \$X (a)	3 2 八 文 三	<b>. 女</b> X	. (D)	3 2 八	LL 举 (D	÷ a) %		1 0 0 %	J
大きな 目 的 高齢者の生活自立支援の推進  指標 名入所率(%) 中間成果 考え方・式 入所者数 / 定員×100 指標 位 度 平成13年度 (実績) 平成14年度 (実績) 平成15年度 (実績) 平成16年度 (目標) 平成17年度 (目標) 指標 位 76% 72% 64%  指標 名 景終成果 考え方・式 指揮 年度 平成13年度 (実績) 平成14年度 (実績) 平成15年度 (実績) 平成16年度 (目標) 平成17年度 (目標)  芦屋市の特色など補足する事項  3 事業費・活動配分(コスト) 平成13年度 (決算) 平成14年度 (決算) 平成15年度 (決算) 平成16年度 (予算)  人 件費 54.2% 117,081 115,750 89,070 - 9 (代 円) 接債 0.0% 0 1,240 0 - 1,240 0 - 1,240 0 - 1,240 0 - 1,240 0 - 1,240 0 - 1,240 0 - 2,240 1,3475 13,		•		意		[2	図 養護	老人ホーム和風園	こ入所させ,養護す	<b>ა</b>							
指標				(対象	を主	語にして											
指標			<u>.</u>	4.				*************************************	O 14.14								
中間成果 指 標 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)	不		ਣੇ	な		E E	可局廠	者の生活目立文接の	の推進								
中間成果 指 標 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)					:	指標 希	3 入所	率(%)									
アウトカム     指標値     7 6%     7 2%     6 4%       万・九 標 標 値     指標値     7 2%     6 4%       万・式 指標値     平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)       予 本 費 橋成%     平成13年度(決算) 平成14年度(決算) 平成15年度(決算) 平成16年度(予算)       人 件費 54.2%     117,081     115,750     89,070       中 業費 37.6%     52,722     49,133     61,688     64,359       内 訳他部門経費 0.0%     0 0 1,240     0 0 - 1,240     0 0 - 2,9696       財源 価償却費 8.2%     13,475     13,475     13,475     13,475     13,475     13,475     16,541       日 財源 市 債 等     16,541     16,541     16,541       一般財源 71.8%     183,278     179,598     117,996     64,359       活動職 員 90.0%     12.00     12.00     12.00     9.00       所述 1,83     9.00     12.00     12.00     12.00     12.00     12.00     <				中間成					0								
指 標 名 最終成果 考え方・式 指 標 値				•	標	年 原	平成			į)		• •	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
最終成果 考え方・式 指標 年度 中成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)		ウト						7 6 %	7 2 %		6 4 %	6					
指標 年度 中元 1 3年度(実績) 平成 1 4年度(実績) 平成 1 5年度(実績) 平成 1 6年度(目標) 平成 1 7年度(目標)	指		悰		-												
指標値								13年度(実績)	平成14年度(実績	• )	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7 年度 (	目標)
3 事業費・活動配分(コスト)					-		1			• /		(		( , , , , ,			
3 事業費・活動配分(コスト)																	
事業費構成%       構成%       平成13年度(決算)       平成14年度(決算)       平成15年度(決算)       平成16年度(予算)         人件費       54.2%       117,081       115,750       89,070       -         事業費 37.6%       52,722       49,133       61,688       64,359         内部       他部門経費 0.0%       0       1,240       0       -         (千円)       減価償却費 8.2%       13,475       13,475       13,475       -         合計       100.0%       183,278       179,598       164,233       64,359         国 ·県 18.1%       29,696       -       -         財源市債等       10.1%       16,541       -         一般財源 71.8%       183,278       179,598       117,996       64,359         活動職員 90.0%       12.00       12.00       9.00       -         配分嘱託・臨時等 10.0%       2.00       2.00       1.00       -	芦	屋市	の特1	色など	補足	する事具	頁										
事業費構成%       構成%       平成13年度(決算)       平成14年度(決算)       平成15年度(決算)       平成16年度(予算)         人件費       54.2%       117,081       115,750       89,070       -         事業費 37.6%       52,722       49,133       61,688       64,359         内部       他部門経費 0.0%       0       1,240       0       -         (千円)       減価償却費 8.2%       13,475       13,475       13,475       -         合計       100.0%       183,278       179,598       164,233       64,359         国 ·県 18.1%       29,696       -       -         財源市債等       10.1%       16,541       -         一般財源 71.8%       183,278       179,598       117,996       64,359         活動職員 90.0%       12.00       12.00       9.00       -         配分嘱託・臨時等 10.0%       2.00       2.00       1.00       -		車	<b>张</b>	、汗乱	而しく	<b>☆</b> (コフ					1 ##第411 ( 四 )	4 220	住民1人当11(四)	1 922	亚成16/	11 住民1	主木公帳
人件費       54.2%       117,081       115,750       89,070       -         事業費       37.6%       52,722       49,133       61,688       64,359         内部       他部門経費       0.0%       0       1,240       0       -         (千円)       減価償却費       8.2%       13,475       13,475       -       -         合計       100.0%       183,278       179,598       164,233       64,359         財源市債等       -<		<del>_</del>		/U =//				13年度(決算)	平成14年度(決算	Į)					1 /// 10	IT LV2	E-T-11K
内訳他部門経費       0.0%       0       1,240       0       -         (千円)減価償却費       8.2%       13,475       13,475       13,475       -         合計       100.0%       183,278       179,598       164,233       64,359         財源市債等       29,696       -         (千円)その他 10.1%       16,541       -			人	件	_				`					-			
(千円)       減価償却費       8.2%       13,475       13,475       - 13,475       2,475       2,696       - 2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696       2,696 <th< td=""><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>37.6</td><td>%</td><td>52,722</td><td>49,1</td><td>33</td><td></td><td>61,688</td><td></td><td>64,359</td><td></td><td></td><td></td></th<>			-			37.6	%	52,722	49,1	33		61,688		64,359			
合計     100.0%     183,278     179,598     164,233     64,359       国・県 18.1%     29,696       財源市債等       (千円) その他 10.1%     16,541       一般財源 71.8%     183,278     179,598     117,996     64,359       活動職員 90.0%     12.00     12.00     9.00     -       配分嘱託・臨時等 10.0%     2.00     2.00     1.00     -								<u>_</u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					-			
国     県     18.1%     29,696       財源市債等     16,541       (千円) その他 10.1%     16,541       一般財源 71.8%     183,278     179,598     117,996     64,359       活動職員 90.0%     12.00     12.00     9.00     -       配分嘱託・臨時等 10.0%     2.00     2.00     1.00     -	( +	- 円		11負却				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		_				64 350			
財 源 市 債 等 (千円) そ の 他 10.1% 16,541 一般財源 71.8% 183,278 179,598 117,996 64,359 活 動 職 員 90.0% 12.00 12.00 9.00 - 配 分 嘱託・臨時等 10.0% 2.00 2.00 1.00 -			_		_		_	100,210	119,5			· ·		07,000	1		
一般財源     71.8%     183,278     179,598     117,996     64,359       活動職員     90.0%     12.00     9.00     -       配分嘱託·臨時等     10.0%     2.00     2.00     1.00     -	財	源	<u> </u>	債								<u> </u>			]		
活動職員     90.0%     12.00     9.00     -       配分嘱託·臨時等     10.0%     2.00     2.00     1.00     -	( ₹	円			_												
配 分嘱託・臨時等 10.0% 2.00 2.00 1.00 -	>-	-		段 財			_		•			•		64,359			
				. 腹性										-	-		
				, <u>em</u> 147	_									0.00			

4 評价 評	<u> </u>	見点	評価チェックリスト	1次輕和	五 2次評価
п	<u> </u>		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1// 1/1	1 2 /A GT III.
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		
当	+ P	(0 4)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高いとは言えない、または未把握	5	2
性	市民ニーズ(	(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握 □ 数字で把握している □ 未把握		
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変	化(1~ 1)	内容 民間活力導入 全国的に動きがある。		
	優先性,緊急	急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える ☑ 実績値から成果があがっていると言えない	2	2
性			成果があがっていない場合	$\dashv$	
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり 民間活力の導入 □ 特になし	,	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 □ 比較できる団体はない		
**	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	,	,	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由  ② 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない	$\dashv$	
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業とある □ 負担を求める (C事業とはない) □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )		
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>-</b> 1 -1	-2
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	J PX(1	2)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	_	
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 特に行っていない トライン 中内容 生活指導員の嘱託化,調理業務の民間委託		
			施設のパリアフリー化 集会室をパリアフリー化した		
半 成 実 施	15~16	年 度 に	課題 民間活力導入 改善 内容 調理業務を民間委託した。		D
J 713	<u> </u>	<u>ソンョン)</u>			
現在意	認 識 し て 1	しる 課 題	和風園の民間委託 経費節減が必要		
	係者 市民,関				
からの 要 望	意見意見,	要望内容			
	(1)	対応内容	委託方針案の策定		
	( . ,	実施期限	平成 17 年 3 月		
課題·要	望等	対応内容			
_ ,	(2)				
へのす	对心	実施期限	平成		
	(3)	対応内容			
	(-)	実施期限	平成年		
	きえられる				
改善の	カアイデア	7	A 40 A + 6	1 hH 4 \n ± 17/2	I 2\2 ÷ π/=
			今後の方向  受託者を公募し,平成18年度を目途として民間委託等を実施する。 拡 大 · 充		11 2 次評111
			現状維		
			方法改		
平成 1	7~19年度	の方向性	<u> </u>	等	
			縮	小	
			第 工 / 环	Щ	
2 次 評	平価 委 員 会	コメント			

(一般	<b>5 **</b> /	<b>吉</b> ※	¬ 1°	4000	000			部長次	El±m E
( 一 対文 =	尹 耒)	事業	<u> </u>	1220		制度 苯尼卡亚代字地段		部長次	長課長
平成15	年度	事	業 名	御巾	可四争乗行別煕貝。 っせん制度	制度,芦屋市既成宅地防	]火工争貝立照		
1 事	業概	要(ドゥ)							
			りの目標		活気あふれる豊か			建設部	
総合			<u>中</u>		安全と防災の確保			※務課	
政策			小	2	防災生活圏の整備	充実		所管課長氏名 阪本 繁	
体	系		細			I		記入者氏名杉町美	
事	業	期			56年3月~,平成8			電 話 番 号 0797-38	-2070 内線 2902
根拠	<u>法</u> 施	令 ・ 手				度要綱,既成宅地防災工事資		実施主体市	<b>4</b> 和 人
<u>実</u> 委	他		<del>-</del> 法		<u>自宫</u> 外郭団体委託	□ 一部委託  名称	全部委託		負担金
女		пъ	70			1 115		引委託 委 託 内 容  せん制度に係る資金調達の	因難か市民を
事	業	Ø	概 要					さん耐及に尿る質金調達の 預託し,事業の円滑な推進	
<b>-</b>	*	0,	19% 32	AL ITA	及  天	C/V CO C & VI , MA A A			ECIL 9 o
				都市	計画事業特別融資				
事	業	Ø	現 状	対	象事業は土地区画	···~ 整理事業,再開発事業,	街路事業。近年,金融村	機関の融資が多様化し,低	〔金利が続き ,
	目的記	実現のため	<b>o</b>	=	の制度よりもっと	利用者に有利な融資が金	会融機関等で実施されて	おり,この制度の利用者は	t無い。
	手段》	ひ実施内	容			事資金融資あっせん制度			
				近:	年,申請者はない	が,危険な既成宅地の防	5災工事を対象としてい	る。	
			指標 名	都市	計画事業特別融資	制度による融資のあっせ	けん件数		
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標値			0 件	0 件		
アウト			単位コスト						
指	標					事資金融資あっせん制度		I = 8 <del> </del>	I = » · = - + · = ·
		結果指標		-	13年度(実績)	平成14年度(実績)	` `	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標値			0件	0 件		
2 車当	뿐 ct: E	<u> </u> 果(アウ	単位コスト   <b>サイ</b> ハ						
∠ <del>3</del> 7 ₹	未ルス	<del>末</del> (ア・フ)		<b>≠</b> 7 →		。 「乾坤東米   大牛地市門	改事类 生肉事类归阳?	) の区域中の佐利老で	東米の佐仁に トロ
		対	象	移転	計画事業(工地区世 に要する建築資金	『登理事業,巾街地冉用? ・土地購入資金・清算金	<del>兀事業</del> ,街路事業に限る st充当資金の調達が困難;	。)の区域内の権利者で , な者及び危険宅地の所有者	事業の他付により 着
事業の	目的	対象力	バー率			受 益 数		比 率 (b ÷ a) %	
対象・				<i>/</i> .3 = 2	(-)	~ ~	(-)	(a   b)   1	1
		意	図	資金	調達が容易となり	,事業に協力できる。			
		(対象を言	主語にして)						
大	き	な	目 的	事業	の円滑な推進を促	すことにより,災害のな	い安全で住み良いまち	づくりができる。	
					を受けて事業を実			ᄼᄳᅙᇫᄘᄱᅩᇙᇅᆠᅮᇊ	1
								ん制度の融資を受けた市民	
7 4 1		指 標			3 中			平成16年度(目標)	平成   / 牛度(日標)
ア ウト 指	カム標		指標値	_	宅地での災害発生	0件	0 件		
18	尓	是级战甲					滑か堆准を促 。 住み		
								平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		אוי בונ	指標値			0件	0件	Thus of Decision	1777 7 12 (1111)
			34 135 12						
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項						
3 事	業費·	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円) 88	住民1人当り(円) 38	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	H14,H15過去融資分
	人	件費				490	478	-	預託金
	事	業費		•		5,263	2,920	20,804	
		門経費	1					-	融資額 預託率
(千円)		貸却費						•	@2000万×4件×1/4
	合	計			0	5,753	3,398	20,804	
B+ >/=	国	- 県							既成宅地 既融資分
財 源  (千円)	市	<b>債等</b>				E 000	2.020	20.004	402万×1/5 = 804千円
(十円)		の 他 財源	1		0	5,263 <b>490</b>	2,920 <b>478</b>	20,804	- 0 0 4 子門
活動	職	区 別 你			U	0.05	0.05	-	-
		∵臨時等				0.00	0.00	_	†
		<b>計</b>			0.00	0.05	0.05	0.00	-
( / )		×I	.00.07	1	0.30	J.00	3.00		I .

評	<u> </u>					評価チェッ	ノクリスト			1次評価	2次評価
н	T			の主目的は明	確である				とができない		- // UT 1 IM
	目的妥当性(	(2 ~ 2)						〕貢献度が不明確、または高			
						義務づけられている		〕民間でやるべき、または対		1	
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民	の基本的な生	活の維持	に必要である		〕他団体では見直しがされて			
	·	,						〕いずれにも該当しない			
当			□ 市民	ニーズに基づ	いて行うへ	べき事業	<b>~</b>	市民ニーズに基づいて行う	事業ではない	∃ 3	3
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	└→ □	] ニーズが高	L١			] ニーズが高いとは言えない	,または未把握		
性				□ 数字で打	巴握してい	18			□ 未把握		
8点	社会環境変化	(V(1 ~ 1)	□事業	に関わる社会	環境の変	化に適応している	7	◯ 社会環境の変化にあわせカ	と見直しが必要		
	社云城境友	16(1 1)		容 利率の引							
	優先性,緊急					民の生命,安全等が損な					
	対象カバー図							□ 他団体よりカバ			
有	受益者(1~	1)						益者が不整合,または受益が		_	
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	1 1					] 実績値または目標値が未記		2	2
						っていると言える		] 実績値から成果があがって	いると言えない	<b>-</b>	_
性	- 成果向上余	地(1~ 1)		うがっていない <del>カーグエル</del>		<b></b>					
4点				向上策あり		率の引き下げ。		2 14 数字 2 2 日 4 4 か 1 2	□ 特になし		
								] 比較できる団体はない	<b>+</b> >1.1		
効	単位コスト(1	~ 1)		体の数子を把 体団体 + ハ = =	握してい!	る 単位コスト □ 他団体と同	<b>1</b> 0 ф	□ 他団体よりコストが	ない		
7/3				他団体よりコス たは低い場合			住反	□ 世里神ありコストル	い回い	.	
						業である 「ノー1	白切たで			1	
	受益者負担(	(0 ~ 1)	1 1			-		】徴収不能·見直し不能 [	〕 徴収可能 )		
率						たは出資団体へ委託して			_ IX1X -J BC /	<b>-2</b>	-2
				•	,			〕個人 , 家庭 , 地域等が担う∙	べき部分がある		
	手段(1~ 3	3)						] 民間(企業 , NPO等)で対応			
性			☑嘱託	,臨時職員等	, c.c., c. では対応	できない業務である		] 嘱託 , 臨時職員等で対応す	丁能である		
3点	コフト当じば田	760/4 4)	□ コスト	削減の取り組				] 特に行っていない			
	コスト削減取	(AH(I~ I)	L 内?	容						1	
77 ct:	1 E - 1 6	年 亩 1-				力美			<b>松</b> 春		
実施	15~16 した改	年 及 に 善 内 容	課題			改善 内容			│ 総合 │ 評価	D	D
5 37	<u> </u>	<u>クション)</u>	ı								
1月左:	認識してし	いる 鯉 頭	近年の全員	加佳執にあわ	サた生!   庁	の目古し					
>/L III I	16 14 O C V	1 0 p/ AC	21-VJ 31210	14 16 55 1C 05 17	چرورات <i>ا</i>	の元直で。					
市民,関	原子 市民,関	係者の名称									
				W			<b></b>				
要望	等意見,	要 望 内 谷	耿扱金融税	暖関から , 近	年,利用	者かないので制度の内	谷を見	見直してはどうかとの意見か	いあった。		
		対応内容									
	(1)	XI/UPIA	_								
		実施期限	平成	年	月						
課題·要		対応内容									
	(2)		<u> </u>		<del></del> -						
への 5	対心	実施期限	平成	年	月						
	(2)	対応内容									
	(3)			1-							
		実施期限		年 年	月月	<b>姿の利索をエばっか</b> に	-0117	11、时边体37大块类1一个4	全計中でもで		
マの 44	考えられる		瓜並列の原	引してち思し	呪1丁の煕	貝の利率を下げる守に		[は,財政状況を勘案して検	表別中である。		
	ュラんりゅう										
IX = \									今後の方向性	1次証価	2次証価
									拡大・充実		2 // 11 1144
									現状維持		
									方法改善		
平成 1	7~19年度	の方向性							民間委託等		
	~								縮 小		
									統合/終期設定	:	
									廃 止 / 休 山		
2 次 評	平価 委 員 会	コメント	事業の対象	象について検	討する必	要があります。					

/ ń	ル 車	** /	事業	コード	41300	20			,	部		長次	長課長
( )9	X Ŧ	未)	<b>尹</b> 未	<u> </u>	41300	J20				미		K //	
平成	1 5	年度	事	業 名	住居	表示の変更及び実施	拖						
1 를	業事	€概₹	要(ドゥ)										·
				りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり					建設部	
総合				<del>中</del>			高い市街地の形成			所	管	課総務課	
政策				<u>'</u> /\		市街地の整備	120 110 121-12077/7/2			6F 6	<b>等锂 厚 氏</b> :	名 阪本繁樹	<del>1</del>
	< ///	l.		•	3	い口がひを開							
体		系		細			1					名 杉町美和	
事		業	期			43年5月1日~	経常臨時			電	話番		内線 2902
	処	法	令 ' 5	要綱 等	住居	表示に関する法律	, 芦屋市住居表示に関す	る条例		実	施主	体市	
実		施	手	法	$\checkmark$	直営	□ 一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金
委			託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託	委託内:	容	
							 更と実施区域の整備						
事	à	業	Ø	概 要		20,3 00 20,000 20,000	~ - > 1.00 - 1.00 - 1.10						
<del></del>	7	*	0)	144 32									
					,,,		( <del></del>	<u> </u>	-N 1. I. I	- ^	<b>*</b> -^-		
							(南芦屋浜の一部)を除			5全	域で任居表	亦を実施。	
事	Ì	業	の	現 状	・南	芦屋浜の開発事業の	の進捗状況にあわせて住	居表示を実施す	予定。				
		目的复	€現のため	<b>の</b>	・西	部第一地区区画整理	理事業区域内の街区変更	に伴う住居表示	示の変更を	を実	施。		
	=	手段及	ひ実施内	容	・住	居表示実施区域の	住居表示の整備 と証明	書の発行。					
				指 煙 夕	住屋:	表示付定件数							
			結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度	(宝繕)	TI,	成16年度	医(目標)	平成17年度(目標)
						13 牛皮(夫棋)	十八14十反(美領)		( 天縜 )	7		2(日信)	平成 1 / 牛皮(日标)
			(1)	指標値				478					
アウ	トフ	゚゙ット		単位コスト				340					
指		標		指標 名	住居	表示実施件数							
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成 1 6 年度	〔〔目標〕	平成17年度(目標)
			(2)	指標値				0					
			(-)	単位コスト				0					
າ	巨出	é ct; E	果(アウ)		<u> </u>			0					
۷ =	17年	ミクスラ	長(アラ)	rna)	1								
			対	象	市域の	の市街化区域全体							
							I				1		1
			対象力	バー率	対象	R 数 (a)	受 益 数	(b)			比 率 (b	• ÷ a) %	
対 象	· ]	意 図											
			意	図	住居	表示により市民生活	舌が向上する。						
			(対象を主	主語にして)									
		•											
大	=	<u>*</u>	な	目 的	住み	良い環境となる。							
				世 堙 夕	市民	が迷うことかく短	時間で目的の相手を訪問	オスことができ	きる				
				考え方・式	113 201	7 E J C C G ( M.		, , , , , , , , ,	_ & 。				
					ਜ਼ ਦ	1.2左帝(宋结)	亚芹 1 4 左连 / 宝娃 \	亚产 4 5 左连	/ 中雄 \	<b>1</b> 17	亡 4 6 左左	E / 口 +	亚代 4 7 左连 / 口插 >
						Ⅰ 3 年段(美韻)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(	Ψ'	成16年度	(日信 <i>)</i>	平成17年度(目標)
アウ	١: ١			指標値									
指		標		指標 名	市民	が迷うことなく短い	時間で目的の相手を訪問	することができ	きる。				
			最終成果	考え方·式									
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成 1 6 年度	【(目標)	平成17年度(目標)
				指標値									
										<u>                                       </u>			
古层:	市の	うちゃ	るかど猫!	足する事項									
一座	ען ו	7 1 J C	2 G C 1111 X	とうる子供									
າ =	ᄪᄱ	ć <b>#</b>	シエモナボコ	/\(\n-\n-\)	\			4 ## W.12 ( TO )	6:5	/÷ -	4 1 20/12 4 77		<b>東京46.4.4 トロサナハ</b> 45
	手手			<u>分(コスト</u>			- n	1世帯当り(円)			1人当り(円		平成16.4.1 住民基本台帳
事		業	費		半成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	•	平	成16年度	〔(予算)	
		人	件 費	91.7%			12,517		11,104			-	
		事	業費	8.3%			1,786		1,004			6,563	
内	訳	他部	門経費									-	
	-		償却費									-	1
, , ,		<del>////////</del> 合	計	100.0%		0	14,303		12,108			6,563	1
	_	<u>日</u> 国	· 県			U	17,000		,.00			0,000	
B-+	-												-
	源_		債 等										
(千F	၂ )		の他										
			段 財 源	100.0%		0	14,303		12,108			6,563	
活	動	職	員	38.1%			1.15		0.85			-	
配	分	嘱託	·臨時等	61.9%			1.00		1.38			-	
(人	)		計			0.00	2.15		2.23			0.00	1

	<u> </u>		,		
評	価 初	見点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	74. T.V.	,	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
	→ BB I– (o	0)			
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		_
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	ີ 5	5
	市民ニーズ(	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		_
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点			☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
ο <i>γ</i> ιι	社会環境変	化(1~ 1)	内容		
	優先性,緊急	<b>当性/1</b> \	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	-	
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	, ,		_	
H	文兰有()~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	3	3
			└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	_  •	
性	- 成果向上余	th/1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	一成来问工小	را ا) <u>تا</u>	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	** 4 1 4	43	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
			□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を不めることができる事業とのる □ 負担を不める・くと事業とはない □ 負担をし、過少 □ 負収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )	_	_
率				<b>⊣</b> 1	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-	
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
		,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	1 A 1 H3//%47	(i i)	→ 内容 専門技術の要する業務だけを委託		
_ "					
半	15~16	年度に	課題 GISデーター利用による委託料の縮減。 内容 GISデーターを端末パソコン処理で出力。 総合 評価	A	В
天 ル	U IL IX	普 內 台		' `	
5 今往	後の対応(ア	クション)			
	X 42 X 3 Y 10 ( )	,,,,,	・南芦屋浜の開発事業の進捗状況にあわせて住居表示の実施を予定しているが,住居表示を実施するこ	とができ	る状能
1月左:	認識してし	ヽ ス 锂 頭		<i>C13</i> CC	Q-17(16X
九 江 [	INC. THAT O C V	1 2 11/1 162	・GISを導入し、地番の確認等データーを活用し効率を高めることができる。		
+0 8	8次型十口 88	<b>に</b> せのない			
	原名 市民,関	係有の石砂			
からの	- I <del>-</del> I	要望内容			
要望	等思先,				
		対応内容	   南芦屋浜の開発事業の進捗状況を開発者である県企業庁と調整し実施する。		
	(1)	×1,041,1			
		実施期限	平成   年   月		
課題·要	望等				
	(2)	対応内容			
へのま		実施期限	平成年月		
	(3)	対応内容			
	(3)	ch+/c++070			
		実施期限			
41			GISデーターを端末パソコンで確認や画像処理ができると効率を高めることができる 。		
	き考えられる				
改 善 (	のアイデア	7		1	1
			今後の方向!	生 1次評価	2次評価
			住居表示は市民に定着した市民生活に密着したものであり、継続して実施する。   拡 大 ・ 充 ]	実	
			現状維持	寺	
			方法改善	<b>善</b>	
平成 1				·/-	
	7~19年度	の方向性	民間委託	手	
	7~19年度	の方向性		<u></u>	
	7~19年度	の方向性	縮	J۱	
	7 ~ 1 9 年 度	の方向性	縮統合/終期設	jv E	
	7 ~ 1 9 年 度	の方向性	縮	jv E	
ן לי נ			縮 統合/終期設 廃 止 / 休 」	jv E	
2 次 訊	7~19年度		縮 統合/終期設 廃 止 / 休 」	jv E	

(一般	事為	( 美	事業		26200	040				部		長	次	長	課	長
平成1	5 年	由	<b>=</b>	業名	<b>※字</b> :	復興住宅特別融資統	制度									
十八八	3 <del>11</del>	皮	尹 :	未 1	火古1	<b>支</b> 典住七付別熙貝「	<b>削</b> 浸									
									_							
1 事	業村	既要	更(ドゥ)													
第3次	芦屋	市:	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			所	管	語	建設部	3		
総 合	計	画		中	6	経済的困窮者への	支援			m	B	i	住宅調	R K		
政 策	施	策		小	2	被災者の生活再建	への支援			所	管課	長氏名	中尾	育泰		
体		系	į	細						記	入者	氏名	徳山	浩二		
事		業	期	間	平成	7年度~平成16年度	・延長有り 経常臨時	□ 経常 ☑	臨時	電	話	番号	0797-3	38-2026	内線	2875
根 拠	; ;7	<u></u>	令 · 引	要綱 等	芦屋	市災害復興住宅特別	引融資制度			実	施	主 体	芦屋市	ī		
実		施	手	. 法	7	直営	□ 一部委託	□ 全部委託	;		] 補助	加金		□ 負担金		
委			託			外郭団体委託	名称		□ 民間							
					阪神	・淡路大震災によ	り住宅に被害を受けた人	に自らの住宅を	を確保する	るた	こめに,	芦屋市	が資金の	の一部を預	託し,	
事	業		の	概 要	金融	機関から必要な資金	金を融通し,もって早期	に再建復興を	円滑に図る	る。						
					•融	資利率等 融資限原	度額(新築1500万円以内	,中古購入1000	)万円以内	],住	E宅のご	女良600	万円以口	内)		
事	業		の	現 状		償還期	間 (新築25年以内							)		
	目	的実	ぼ現のため かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ はんしょ かんしょ かんしょ しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしょう はんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃり しゅうしゃ しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり し	<b>)</b> の		利率	(新築3.3%	,中古購入3.39	%	, 住	E宅のご	坟良2.5	%	)		
	手!	段及	なび実施内	]容	・融	資借入れ件数及び	浅高 1,099件,869,5207	5円 (平成16	6年3月末 <del>1</del>	見在	E)					
					・融	資貸付け件数及び	残高 462件,238,2797	5円 (平成16	年3月末 <del>月</del>	見在	E)	15年度	€ 6件:	分 3,100万	河の予算	算
				指標 名	融資	あっせん件数										
		:	結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	2	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値			0件	0件				6件				
アウト	プッ	ノト		単位コスト			0円	0円			3	3100万日	9			
指		標				あっせん金額										
		1	結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	, ,	平成15年度	(実績)	7	平成 1		(目標)	) 平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値			0件	0件				6件				
				単位コスト			0円	0円			3	3100万日	<del>"</del>			
2 事	業原	<u> </u>	艮(アウト	<u> トカム)</u>												
		,	対	象	阪油	・淡路大震災により	り被災された方で,芦屋で	市内で自ら住む	ための住	宇	を建設	• 購入	ען דאו	良 <i>(</i> 補修等	) される	方.
											•					
		-	対象力	バー率	対象	R 数 (a)	不明 受益数	(b)	不明		比	率 (b	÷ a)	%	不明	
対象·	意	図														
		1	怠 		阪神	・淡路大震災によ	り被災された方の住宅再	·建復興。								
			(対象を3	主語にして)												
					n-+1	W85   <b>-</b>			4 <del>- +</del> /				_ <del>_</del>			
大	ŧ		な	目 的	阪神	・淡路大震災によ	り住宅に被害を受けた人	に目らの住宅を	を確保する	るた	こめに ,	早期に	- 冉建復	関連を円滑に	図る。	
				IT 6	r=1+4-1	/t_ *r-										
				指標名			佐笠の港口座 / N ) 土	卸本のため完	生工口							
				0.110			件等の満足度(%),未			,	T C + 1	- / -	/ ロ <del>/ </del>	TT# 1	7.左连 /	口抽丶
7 4 1	_	- 1	指標		平风	3 年段(美縜)	平成14年度(実績)		(		<del>作</del> 成 I (		(目標)	) 平成 !	7年度(	日信)
アウト	· //			指標值指標名	<b>仕字</b>		0件	0件				6件				
指		標		5 III II			ー 句上することによる借入	カ件数の増加								
							平成14年度(実績)		(宝績)	<u> </u>	区式10	6 年度	(目標)	▼ 成 1	7年度(	日煙)
		1		年度指標値	一以	1 3 针及(天穥)	0件	平成 1 5 年度 0件	(大限)	Ė	T_11 <b>)</b> (	6件	(口信)	, <del>+</del> ////	,十戌(	口信丿
				1日 1示 10		_	VIT	VI <del>T</del>				VIΤ				
古层市	ر ا	<b></b>	かど油に	足する事項												
广座山	1 0 1	ा च ⊏	, '& C THI A	ころの事点												
2 車	₩₹	歩 ,	注動品:	<u>分(コスト</u>	)			1世帯当り(円)	3,195	住	足 1 人当	り(円)	1,38	81 巫成164	.1 住民基	本台帳
<u>ュ ヂ</u> 事		<del>론</del> 業	<u>/ロョルもし.</u> 費			13年度(決質)	平成14年度(決算)	平成15年度	<u> </u>	1			(予算)		.1 11104	24 H TK
<del></del>	人		件費		1 /-2	13千及(八升)	827	1132 1 3 712	1,853		1 12% 1	0 <del>+1</del> X	( 1 ++ )	<u>-</u>		
	事		業費				167,830		121,930				121,93	30		
内 i			門経費				101,000		121,000				121,00	-		
			償却費											-		
(   1   3	合		計	100.0%		0	168,657		123,783				121,93	30		
	国		· 県				100,007		5,. 55				, 00			
財派	見市		債 等											-		
(千円			の他											$\dashv$		
, , , ,			<u>ジ 湿</u>			0	168,657		123,783				121,93	30		
活 重	力職		<del>、                                    </del>	1			0.10		0.20				,	-		
			·臨時等				0.00		0.00					-		
			計	1		0.00	0.10		0.20				0.0	00		

4 計1 評	皿(テェック)	現 点	☆/悪エ~**/カリフト	1 次 1 (本 2 ) 次 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1 (x ) x % 1
<del>a''</del>		児 点	評価チェックリスト ② 事業の主目的は明確である □ 事業の目	1次評価   2次評価   2次評価   2次評価   1次評価   2次評価   2次評価   2次評価   2   2   2   2   2   2   2   2   2
	目的妥当性	(2 ~ 2)		
			② 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が、	
-	<b>→</b> ■ ⊢ (o	0)		るべき、または対応可能である
妥	市関与(2~	2)		は見直しがされている
114				
当	*ローーブ	(2 - 1)		
.644-	市民ニーズ	(2~ 1)	→ □ ニースか高い □ ニースか高 □ 数字で把握している 初期の目標は達成している。	高いとは言えない,または未把握
性。上				□ 未把握 の変化にあわせた見直しが必要
点8	社会環境変	化(1~ 1)	事業に関わる社会環境の変化に適応している ☑ 社会環境 内容	ル受化にのわせた兄直しか必安
		<b>与性/1</b> )		
	対象カバー			他団体よりカバー率が低い
有	受益者(1~	, ,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整	
	· ·		□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値また。	- (+ □ 挿(もが + ≒ ) )
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ □ 実績値から成果があがっていると言える ☑ 実績値か!	
性		tat	成果があがっていない場合	7.
4点	- 成果向上余	:地(1~ 1)	□ 成果向上策あり	
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる	·
	** /   //		〕他団体の数字を把握している 単位コスト	☑ 把握していない
効	単位コスト(1	1~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ □	他団体よりコストが高い
			高い、または低い場合の理由	
	受益者負担	/(O ~ 1)	〕 負担を求めることができる事業である ② 負担を求めるべき事	業ではない
率	又無有其担	.(0 - 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能	·見直∪不能 □ 徴収可能 ) -2 -2
-4			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-2 -2
	手段(1~ :	3)		至,地域等が担うべき部分がある
	J PX(1	0)	☑ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業	, NPO等)で対応可能である
性			〕嘱託,臨時職員等では対応できない業務である    □ 嘱託,臨師	<b>射職員等で対応可能である</b>
3点	コスト削減耳	又組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行って	CII ない
			▶ 内容	
平成	1 5 ~ 1 6	毎度に	改善	
実 施	1 5 ~ 1 6 した改	善内容	内容	
5 2	後の対応(ア	(カミノコン/)		
7 / 1	× 07 7 110 ( 7	<i>//////</i>	融資条件等の見直し。	
現在	認識してに	ハる課題	住宅特別融資制度は,今後の住宅政策の課題の一つである。	
市民,関	関係者 市民,関	係者の名称		
からの	意見	要望内容		
要 望	!等思見,	安里内谷		
		対応内容		
	(1)	בריוטונג		
		実施期限	成 年 月 月	
課題·要	<b>E望等</b>	対応内容		
	(2)			
への 5	対応	実施期限	成   年	
	(2)	対応内容		
	(3)	C 16 HO 50	*	
		実施期限	成	
マの 供	も考えられる	z		
	5 そんられる の ア イ デ フ			
K E	0, , , , ,	<b>'</b>		今後の方向性 1次評価 2次評価
			融資条件等の見直しが必要である。	拡大・充実
				現状維持
				方法改善
平成 1	7~19年度	の方向性		民間委託等
	. ~			縮小
				統合/終期設定
				廃止/休止
2 次 評	平価委員会	:コメント	災復興10年を経過する平成16年度をもって廃止の検討をする必要	があります。

										_						
( —	般	事業)	事業	<b>_</b>	2620	050				1	部	Æ	次	長	課	長
平成	<u>1</u> 1 يًا	5年度	事	業	高齢	者住宅再建支援事	業									
1	車	光和	要(ドゥ)													
					<b></b> 2	健やかでぬくもり	のある福祉社	全づく11					建設部			
		計画		<u>、                                    </u>	_	経済的困窮者への		4 - ( )			所	管 誤	住宅課			
-		施策		<u>'</u>		被災者の生活再建					所管	課長氏名	中尾育	泰		
体		系		細	_						記入	者氏名	徳山 浩	Ξ		
事		業	Ĭ	明 間	平成	9年度~平成16年度	長(終了)	経常臨時	□ 経常 □	臨時			0797-38-	2026	内線	2875
根	拠	法	令 ·	要綱領	財団	法人 阪神・淡路:	大震災復興基金	事業	•		実が	色 主 体	財団法人	阪神・淡	路大震災征	复興基金
実		施	=	۶ آخ	ţ 🗸	直営	□ 一部委託	E	□ 全部委託	ŧ		補助金		負担金		
委			託	Ħ		外郭団体委託	名称					委託内容				
						再建にあたり,高的					が居住	するための	D住宅を建	設・購力	(または)	大規模
事		業	の	概 要	は補	修を行った被災者	を支援すること	こにより ,	住宅復興を促	進する。						
					3-43	n++++	W. 1 = 1	//wich_4_	11 1 <del>1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</del>	ATI (						
事		<del>41.</del>	Φ.	現 北			半壊以上の被災				_,,,	トフ、共仁版	ᅂᆖᄓᅩ	<b>√</b> <del>/</del>		
尹		業日的	の 実現のたる			・) 助対象限度額 ・3	前年所得が690 建設・購入の#					の河牛豚	00成以上0	リカ。		
			実現のた。 及び実施[		THI		建設・購入の場 補修の場合830		-		J )					
		J 7X/		3.11	活		内訳:建設・則	-		-	3月31日	現在				
				指標名			13477242	137 (10011	7 11312 - 5 5 11 7	177010	,,,,,,,	1 - 70 1				
			結果指標			,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	【(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値	1		8件		1件	:		5件				
アウ	)ト	プット		単位コス	`		61千月	<del>၂</del>	2,809=	千円						
指		標		指標 名												
			結果指標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	【(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値												
	<u></u>	4112 <u>-11</u> 2 1		単位コス	`											
2	事:	業成:	果(アウ -	トカム)	. 14	壊以上の被災判定	ᆂᄑᅛᅓᄿᄼᅼᄝ	>≠₩/ <del></del>	+ + +							
			対	\$	2 I	集以上の被炎判定。 年所得が690万円以				帯午齢65帯	≣N ⊢σ	方				
事当	<b>⊭</b> ທ	目的	対象が	」バー 導				受益数		不明			÷ a) %		不明	
		意図			//3 ~	(-/		~	( ( )			75 1 (4	,			
			意	<u> </u>	被災	者(65歳以上の高	齢者)の住宅科	<b>厚建支援を</b>	することによ	り,住宅	复興を	促進する。				
			(対象を	主語にして)		被災者(65歳以上の高齢者)の住宅再建支援をすることにより,住宅復興を促進する。										
					仕字	再建にあたり 草	込まが融資を₹	タルボウニ	咨全を取り品	1. 白らっ	が足住:	するための	D仕字を建	:≛凸 • 日華 )	\ <b>=</b> <i>t</i> -  +-	<b>大</b> 担 柑
大		ਣੇ	な	目 的	は補	再建にあたり,高i 修を行った被災者:	を支援すること	とにより、	住宅復興を促	進する。	小山江	9 212000	ノ圧七で足	:0又 :	(&/6/4/	八水1天
			1													
			中国式用			者住宅再建支援の 対象条件(補助金		<b></b>	未調査のため	宇结不明						
					_	13年度(実績)					平成	16年度	(月標)	平成 1	7年度(	月標)
アウ	ל ל	カム		指標値			不明	• •	不明	• •	1 72%	不明	(	1 7-20	, 12(	H 13.7
指 指		標		指標名		実績		<u> </u>	1	-						
			最終成果	考え方・豆												
			指 標	集年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	楚(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標 値	1		8件		1件			5件				
芦屋	市	の特色	色など補	足する事項	Į											
<u> </u>	由 :	***	これまりまっ	V					4 ## W/12 / FE	70	<i>1</i> ÷□ 1	LN/12 / III \	0.4	₩#40		ナーノンカミ
事	<del>事</del> :	美 <u>美</u> 業	<u>' /古里川四</u> 費	分(コスト    ####		(13年度(決算)	亚式 1 1 年度	: (油質)	1世帯当り(円) 平成15年度			人当り(円) 16年度	<del></del>	平成16.4	1.1 住民基	24日帳
Ŧ		<del>*</del>	件 費			, 1 3 千皮(从异)	一八八十十月	489	十八八八十八	2,809	T-13X	10千皮	( )′升/			
		事	業費	.				0		0			0			
内	訢		<u> </u>					<u>_</u>		<u>_</u>			-			
			面償 却 費	+									-			
		合	ŧ	100.0	6	0		489		2,809			0			
		围	· 県													
財			債 等	_		_										
(千	円)		の 他	_												
\			般 財 渡			0		489		2,809			0			
活品	_	職に	. 吃吐谷					0.05		0.30			-			
配()		嗎 計   <b>合</b>	· 臨時等 •			0.00		0.00 <b>0.05</b>		0.00 <b>0.30</b>			0.00			

評	<u>画 (フェクノ)</u> 価 視 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
B I	1元   元	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	一八叶叫	2次計画
	目的妥当性(2~2)			
		□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
	<b>→</b> ■ ⊢ (0 0)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
114		□ いずれにも該当しない	<b>⊢</b>	1
当	+ *(0 4)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>5</b>	ı
141	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握 □ 数字で把握している 初期の目標は達成している。 □ 未把握		
性		·	_	
8点	社会環境変化(1~1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	唐 44 B 57 5 44 (1)	内容	_	
	優先性,緊急性(1)	事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
Ħ	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
効	成果の実績(2~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している② 実績値または目標値が未記入	2	0
44		□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点		□ 成果向上策あり       □ 特になし         □ 比較できる団体がある 団体名       破災市       □ 比較できる団体はない	+	
		□ 比較できる凶冲がある 凶冲台: 板火中: □ 比較できる凶冲はない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
X/J		高い、または低い場合の理由		
		高い、または低い場合の理由	-	
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )		_
率			<b>⊣</b> 0	-1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について □ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		_
	手段(1~ 3)			
.444-		<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li><li>□ 限訂、際時職号等では対応できない業務である</li></ul>		
性 3点		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である □ 場に,臨時職員等で対応可能である □ 特に行っていない	_	
о <u>ж</u>	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 特に行っていない		
平成	15~16年度にした改善内容	改善 改善 と	В	D
実 施	した改善内谷	内容		
5 今後	後の対応(アクション)			<u> </u>
,,,	<u> </u>			
現在意	認識している課題	  65歳以上の高齢者の住宅再建支援は,今後の住宅政策の課題である。		
市民,関	関係者 市民,関係者の名称			
からの	意見意見,要望内容			
要望	. 等 . 意 兑 , 娄 望 内 谷 ! 等			
	対応内容			
	(1) 実施期限			
課題・要	9. 单等			
WK 25	~~   対応内容			
へのが	対 応 実施期限	平成 年 月		
	対応内容			
	(3)			
	実施期限	平成		
<b>-</b>	. + > > ! -			
	り考えられる			
改善(				
	のアイデア		ш	
	のアイデア	今後の方向		2次評価
	のアイデア	拡大・充	実	2次評価
	のアイデア	拡大・充       平成16年度で事業終了。       現状維	実 持	2次評価
<b>₩</b>		拡大・充       平成16年度で事業終了。       規 状 維 方 法 改	実 持 善	2次評価
平成 1	の ア イ デ ア 7 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性	拡大・充       平成16年度で事業終了。     現 状 維 方 法 改 民 間 委 託	実 持 善 等	2次評価
平成 1		拡大・充       平成16年度で事業終了。     現 状 維 方 法 改 民 間 委 託 縮	実 持 善 等 小	2次評価
平成1		拡大・充         現状維         方法改         民間委託縮         統合/終期設	実 持 等 小 定	2次評価
平成 1		拡大・充       平成16年度で事業終了。     現 状 維 方 法 改 民 間 委 託 縮	実 持 等 小 定	2次評価
	7~19年度の方向性	取成16年度で事業終了。       拡大・充現 状維 方 法 改 民間 委託 縮 統合/終期設 廃 止 / 休	実 持 等 小 定	2次評価
	7~19年度の方向性	拡大・充         現状維         方法改         民間委託縮         統合/終期設	実 持 等 小 定	2次評価

. 40	+ 111 1	+ N/						ĺ		\ <u></u>	l+m	
(一般	事業)	事業	<u> </u>	2620	060				部長	次	長課	長
平成1	5年度	事	業名	民間	賃貸住宅家賃負担	<b>軽減事業</b>						
4 ==	· 사수 107 7	# (   ° )										
		要(ドゥ)	1)		/ ウサムズムノナロ	のまで短短な人がくい				7÷+ ↑ ↑ 7		
			りの目標			のある福祉社会づくり			所 管 課	建設部		
総合政策	計画		<u>中</u>		経済的困窮者への被災者の生活再建				5. 等 钾 目 5. 5	住宅課	· <del>*</del>	
			小 4m	2	仮火有の土泊円建	への又抜			所管課長氏名			
事	<u>系</u> 業	期	細	TV ct:	<u> </u> 8年度~平成17年度	(終了) 経常臨時	□ 経常 □ 臨時		記入者氏名電話番号			2075
		令 ' 5				·(於))     経吊脳吋 大震災復興基金事業		र्ग			Mag	2875
実	施施	- マ・ュ				八展灰後與墨亚 <del>丁</del> 業 □ 一部委託					負担金	及兴坐亚
委	IJВ	託				名称		一日間	季託 委託 内容		<b>其担並</b>	
•		но	70			ロ111    )家屋が滅失し,被災者					場合 家賃の一	部を補
事	業	Ø	概 要	助す			N WILL DO	( 4 1	g, ZHEO, 10	7 (10 0 10	-% 口 / 次英•>	EP C Im
3	~	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	19% 54	273 7	•							
				補	助対象者・家		政今月収が20万円	以下の	D.者。			
事	業	Ø	現 状			重が6万円未満の場合,				て)		
_	目的	実現のため	oの			重が6万円以上の場合,1						
	手段	ひ変変施内	容	活		ーク時で補助対象者	950件。	受信	寸け,平成12年度	で終了。	退去まで継	続。
						成15年度末の補助対象者			成17年度で事業終			
			指標 名	活用	実績							
		結果指標	<b></b>			平成14年度(実績)	平成15年度(実	[績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
		(1)	指標値			210件	170件		170件		170件	
アウト	・プット		単位コスト			6千円	21千円					
指	標		指標 名									
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実	[績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
		(2)	指標値									
			単位コスト									
2 事	業成	果(アウ)	トカム)									
		対	象	阪神	・淡路大震災によ	)家屋が滅失し,被災者	が民間賃貸住宅等	(公園	団、公社含む)に	入居して	いる者。	
<u> </u>												
			バー率	対象	R 数 (a)	不明 受益数	( (b) 不即	月	比 率 (b	÷ a) %	不明	
対象	' 恵 凶	l	Lavel Lavel	阪神	・淡路大震災によ	)家屋が滅失した被災者	に対し , 民間賃貸	住宅等	等(公団,公社含	む)に入	居している場合。	、家賃
		意		の一	部を補助する。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		- ( ,	_ , ,		
		(対象を3	主語にして)									
大	÷	な	目 的	阪神	・淡路大震災によ	)家屋が滅失した被災者	に対し,民間賃貸	住宅等	等(公団,公社含	む) に入	居している場合。	。家賃
	C	<i>'</i> &	н нэ	の-	部を補助し生活再	建への支援を図る。						
			指 煙 名	民間	賃貸住宅等家賃負:	担軽減補助事業の満足度						
						類等)の満足度(%)。		不明。				
				1		平成14年度(実績)			平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
アウ	トカム		指標値			不明	不明	,	不明		不明	,
指	標		指標名	_								
			考え方・式		実績							
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実	[績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
			指標値	i		210件	170件		170件		170件	
芦屋市	5の特色	色など補足	足する事項	į								
	- 1112	1221=		<u> </u>							T	
		活動配	<u>分(コスト</u>				1世帯当り(円)		住民1人当り(円)	40	平成16.4.1 住民基	基本台帳
事	業	費			13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決	-	平成16年度(	予算)		
	<u> </u>	件費				1,053	3	3,465		-		
	事	業費	2.2%			104		78		113		
		門経費								-		
(十円	_	貸却費			•	4 457	•	10		- 440		
	合田田	計			0	1,157	3	,543		113		
B <del>-/</del> :	国由	· 県		1								
財が	源する	側 守の 他					ာ	3,543		113		
(十円		とり 財源			0	1,157	3	0,543		0		
活	動職	以 <b>別                                   </b>	100.0%		U	0.20		0.40		-		
		·臨時等				0.00		0.00		_		
(人		<u>計</u>			0.00	0.20		0.40		0.00		
											1	

評	<u>画 (フェクノ)</u> 価 視 点	評価チェックリスト	1次部/高	2次評価
пT			一人計画	4.从計画
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない	_	_
当		☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	ີ 5	5
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		☑ 数字で把握している 初期の目標は達成している。 □ 未把握		
8点	A.I. A. =	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
- ,,,,	社会環境変化(1~1)	内容		
		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	, i	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ☑ 実績値または目標値が未記入	٦ ۾	
効	成果の実績(2~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	0	0
性		成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
7///		□ 比較できる団体がある 団体名 被災市町 □ 比較できる団体はない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
7/3		,		
		高い、または低い場合の理由  □ 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)			
率		□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	<b>⊣ -1</b>	-1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	•
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
		☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	,	▶ 内容		
亚成	15~16年度に	  理題    改善		
実施	15~16年度にした改善内容	課題    内容    内容	D	D
5 今往	<u>後の対応(アクション)</u>			
現在	認識している課題			
	1			
市民,関	関係者 市民,関係者の名称			
からの	意見意見,要望内容			
要 望	等			
	対応内容			
	(1)			
	実施期限	平成 年 月		
課題·要	要望等 対応内容			
	(2) 対心内容			
へのす	対 応 実施期限	平成年月		
	対応内容			
	(3)   対心内谷			
	実施期限	平成 年 月		
その他	きえられる			
改善(	のアイデア			
		今後の方向	生 1次評価	2次評価
		拡大・充!	ŧ	
		平成17年度,終了予定。 現 状 維 :		
		方法改		
平成 1	7~19年度の方向性			
			ار ا	
		統合/終期設		
		廃止 / 休.		
		рж. II. / үй		l
2 次 斡	平価 委 昌 会 コメント	  阪神・淡路大震災復興基金事業の終了をもって廃止すること。		
		pion in carticological and a contraction of the co		
- // #1				

	部員	₽務)	事 業	コード	4310060				部長	次	長	詸	長
ᄑᄞ	t 1 5	年度	重	業名	市営住宅管理業務								
1 /3/	<b>t</b> , 13	<b>TIX</b>	<b>T</b>	ж н	IP O DE COLORADO								
			要(ドゥ)		I III saa - sa aa II	L = 45 L - 2 / 14							
					4 快適でうるおいの				所 管 課	建設部			
		計画		中	3 安全で快適な生活	基盤の允美			C ~ # = C 4	住宅課	<del>_</del>		
	東	施策		小 'm	1 住宅の整備				所管課長氏名				
体		系		細	π71 <b>4</b> Πος/ <del>/</del> Σ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	+		記入者氏名			<b>中</b> /中	0075
事	+60	業	令 ・		昭和26年~ 公営住宅法	経吊品	寺 ☑ 経常 □			0797-38-	2026	内線	2875
実	拠	法施	₹ ' : 1			☑ 一部委託	□ 全部委託		実施主体 計制金		負担金		
委		旭	託		□ 単昌 □ 外郭団体委託	名称 (財) 芦屋市都			委託 委託 内容		貝担並		
¥			B C	76	・市営住宅の居住性の		1. 正開立江		安机安机内台				
事		業	Ø	概 要	・維持・修繕,空家住		市整備公社に委	手している	ς.				
7		*	0)	1144 32	MEI1 1986, 工31工	- 100以停守で一座市部	15正備公正に女	100000	,				
					・管理戸数 1 289戸・	駐車場 469台・集会所	2ヶ所						
					・各設備の保守点検	100日 木乙川	27771						
事		業	Ø	現 状	・各団地(各戸)の小	修理							
					・空家住宅の改修								
		目的影	実現のため	ത									
		手段及	及び実施内	容									
				指標 名	施設の維持補修予定件	数							
	7 テ	ィブ	活動指標		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標	/U±//101/13	指標値		259件	250件		250件				
				単位コスト		29千円	66千月	9	37千円				
				* III I	施設の維持補修件数	I = 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10	1= 5 ( -						
	) ト :	プット 	結果指標	<b></b>	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)			平成16年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標		指標値		259件	250件		250件				
7	由火	바다:F	 果(アウ	単位コスト		29千円	66千月	7	37千円				
	<b>尹</b> =	長八人ラ	未(グラ)	rna)									
			対	象	市営住宅入居世帯数								
事当	ĔΦ	目的	<del>}, 6</del> +						III				
			ויאו אאר ויאו	バー 率	対 象 数 (a)  1	.289戸   受 益	数 (b)	1.289戸	ltr. 率(b	÷ a) %		100.00%	
	豕 '	意図	XI SK /J	バー率	対象数(a) 1	,289戸 受益	数 (b) 1	1,289戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
	₹ '		意		対 象 数 (a)  1    市営住宅の居住性の保		数 (b) 1	1,289戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
	₹ '		意				数 (b) 1	1,289戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
	* '		意	図			数 (b) 1	,289戸	比率(b	÷ a) %		100.00%	
大			意	図 注語にして)			数 (b) 1	,289戸	比率 (b	÷ a) %		100.00%	
大		意 図	意 (対象を <del>፤</del> な	図 注語にして) 目 的	市営住宅の居住性の保良好な住宅環境の維持		数 (b) 1	,289戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
大		意 図	意 (対象を <u>3</u> な	図 注語にして) 目 的 指標名	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率	持,施設の維持	数 (b) 1	1,289戸	比率 (b	÷ a) %		100.00%	
大		意図	意 (対象を3 な 中 間	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方・式	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ	持,施設の維持	.,						
		意図	意 (対象を <u>3</u> な	図 注語にして) 目 的 指標: 考え方・式 年 度	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%)   平成14年度(実績	) 平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成1	7年度(	目標)
アウ		意 図 き カム	意 (対象を3 な 中 間 成果指標	型 注語にして) 目 指標 考え方・式度値	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持	.,	(実績)		(目標)	平成1		目標)
		意図	意 (対象を3 な 中 間標	型 注語にして) 目 標方 で 標 方 で 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 の で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%)   平成14年度(実績	) 平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成1	7年度(	目標)
		意図  お  か  な標	意 (対象を な 中 成果指標	bia li li li li li li li li li li li li li	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公	) 平成15年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100.0%	〔目標〕	平成 1	7年度(100.0公	
アウ		意図  お  か  な標	意 (対象を主) な 中成果指標 終標 終標	型 (1) という との (2) という との (3) という との (4) という という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公	) 平成15年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100.0%	〔目標〕	平成 1	7年度(	
アウ		意図  お  か  な標	意 (対象を主) な 中成果指標 終標 終標	bia li li li li li li li li li li li li li	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公	) 平成15年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100.0%	〔目標〕	平成 1	7年度(100.0公	
アは	ל ל	意図	意 (対象を な 中 成果指標 最 累指標	注語にして)指考年指指考年指指表末標標方標方標度方標度方標標方標度名式度値名式度値名式度値	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公	) 平成15年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100.0%	〔目標〕	平成 1	7年度(100.0公	
アウ		意図	意 (対象を主) な 中成果指標 終標 終標	注語にして)指考年指指考年指指表末標標方標方標度方標度方標標方標度名式度値名式度値名式度値	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公	) 平成15年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100.0%	〔目標〕	平成 1	7年度(100.0公	
ア指		意 図 カ	意 (対象を な 中成果指標 最 規格 終標	を注語にして) 的 名式度値名式度値 と	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公	) 平成 1 5 年度 100.0 ) 平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度 ( 100.0公 平成 1 6 年度 (	〔目標〕	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指		意 図 カ	意(対象を主) な中成果指標 最成果指標 を主	図() 的 名式度値名式度値 ど ト	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公 平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度 100.0 ) 平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100.0%	〔目標)	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3		意 き カ 業	意 (対象を な 中成果指標 最 規格 終標	図() 的 名式度値名式度値 ど ト	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公 平成14年度(実績 平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度 100.0 ) 平成 1 5 年度	(実績)	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	〔目標)	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3		意 き カ 業	意(対象を主) な中成果指標 最成果 指動配費	型 (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D)	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公 平成14年度(実績 平成14年度(実績	<ul> <li>平成15年度</li> <li>100.0</li> <li>平成15年度</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成15年度</li> </ul>	(実績) (実績) (実績) (共績) (共元) (共元) (共元) (共元) (共元) (共元) (共元) (共元	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	〔目標)	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3	) ト 屋 事	意 き カ	意(対象を主) な中成果指 指標 終標 中配費費	型 を を を を を を を を を を を を を	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公 平成14年度(実績 平成14年度(実績	<ul> <li>平成15年度</li> <li>100.0</li> <li>平成15年度</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成15年度</li> </ul>	(実績) (実績) (実績) (決算) 7,750	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3 事 内	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 き カ 葉 人事他 図 ム標 の 費業 人事 部	意(対な 中成 最成 特 動で費費費	型 を を を を を を を を を を を を を	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公 平成14年度(実績 平成14年度(実績	<ul> <li>平成15年度</li> <li>100.0</li> <li>平成15年度</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成15年度</li> </ul>	(実績) (実績) (実績) (決算) 7,750	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3 事 内	・ 屋事 訳 ()	意 き カ 葉 人事他 図 ム標 の 費業 人事 部	意 対象を 中成 最成 特 動 費費費費	図() 100.0%	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公 平成14年度(実績 平成14年度(実績	<ul> <li>平成15年度</li> <li>100.0</li> <li>平成15年度</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成15年度</li> </ul>	(実績) (実績) (実績) (決算) 7,750	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3事 内(千	下 屋 事 訳 ()	意 き カ 業 人事他減 <b>合</b> 国 図 ム標 の 費業 部価	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0分	<ul> <li>平成15年度</li> <li>100.0</li> <li>平成15年度</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成15年度</li> </ul>	(実績) (実績) (実績) (実績) (決算) 7,750 8,871	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 9,158 -	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3事 内(財	, 屋事 訳) 源	意 き カ 葉 人事他減合国市図 ム標 の 費業 部価	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却 県等</li><li> 情 を</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0分	<ul> <li>平成15年度</li> <li>100.0</li> <li>平成15年度</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成15年度</li> </ul>	(実績) (実績) (実績) 7,750 8,871	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 9,158 - - 9,158	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3事 内(千	, 屋事 訳) 源	意 き カ 業 人事他減合国市そ 図 ム標 の 費業 部価	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却 県等 他 で で で で で で で で で で で で で で で で で で</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公元  平成14年度(実績 7,544	) 平成 1 5 年度 100.0 ) 平成 1 5 年度 1世帯当り(円) ) 平成 1 5 年度 )	(実績) (実績) (実績) 7,750 8,871 16,621	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 9,158 - - 9,158	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3事 内( 財(	・	意     き     力     業人事他減合国市そー       図     ム標     の費業     部価	<ul> <li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却 県等 他</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公 平成14年度(実績 7,54) 7,54	) 平成 1 5 年度 100.0 ) 平成 1 5 年度 1世帯当り(円) ) 平成 1 5 年度 )	(実績) (実績) (実績) 7,750 8,871 16,621 16,621	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 9,158 - - 9,158 9,158	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3事 内( 財( 活	, 屋 事 、 田 一 原 円 、	意 き カ	意     対       な     中成     最成       表     手     動     経却       を     を     の       が     上     の       の     財       の     対       の     対       の     対     対       の     対     対	型 注語にして) 目 増考え 年 指 指 考 年 指 持 え 年 標標標 方 ・ 標標標 方 ・ 様 様 の は の の の の の の の の の の の の の の の の	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	た満足度の割合(%) 平成14年度(実績 100.0公  平成14年度(実績 7,54)  7,544 0.00	) 平成 1 5 年度 100.0 ) 平成 1 5 年度 1世帯当り(円) ) 平成 1 5 年度 )	(実績) (実績) (実績) (決算) 7,750 8,871 16,621 16,621	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 9,158 - - 9,158	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)
ア指 芦 3事 内( 財( 活配	·	意 き カ	<ul> <li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却 県等 他</li></ul>	型 注語にして) 目 指考え 年 指指考年 指 持 を が (コスト 構成% 46.6% 53.4% 100.0% 100.0%	市営住宅の居住性の保 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情。要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	持,施設の維持  た満足度の割合(%)  平成14年度(実績 100.0公  平成14年度(実績 7,544  7,544  0.00 0.00	) 平成 1 5 年度 100.0 ) 平成 1 5 年度 1世帯当り(円) ) 平成 1 5 年度 う	(実績) (実績) (実績) 7,750 8,871 16,621 16,621	平成16年度( 100.0公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 9,158 - - 9,158 9,158	平成 1	7年度( 100.0公 7年度(	目標)

	叫(テェック)									1	1
評		視 点	_			評価チェックリ	ノスト			1次評価	2次評価
		- 率(1 ~ 1)		対象カバー率は高		□ 他団体と同程度		□ 他団体よりカバー率			
有	受益者(1~	· 1)		事業意図と受益者				合,または受益が一部に『	艮定		
効	成果の実績	責(2~ 1)	1 1	中間成果指標の第 図 実績値から成		し,目標値を設定してい いると言える		とは目標値が未記入 ら成果があがっていると言;	えない	4	4
性	式田白 L4	余地(1~ 1)	成身	果があがっていない	/場合						
4点	- 成条内工法	F.地(1~ 1)		成果向上策あり					特になし		
			<b>✓</b>	比較できる団体が	ある	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はな	l I		
	<b>ハイチムエフ ハノ</b>			他団体の数字を把	2握している	活動配分		☑ 把握していない			
	活動配分(	1~ 1)	<b>-</b>	□ 他団体より少	ない	□ 他団体と同程度		□ 他団体より多い			
効				ハ,または少ない場							
			<b>V</b>	比較できる団体が	ある	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はな	l I		
	***	(4 4)		他団体の数字を把	2握している	単位コスト		☑ 把握していない			
	単位コスト	(1 ~ 1)	<b>L</b>	□ 他団体よりコ	ストが低い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	L١	2	_
率			高い	ハ,または低い場合	うの理由					-3	-5
				•			終について				
				行政職員による執	•			፪,地域等が担うべき部分;	がある		
性	手段(1~	3)		民間(企業 NPO章	*)では対応で	きない業務である	□ 民間(企業	, NPO等)で対応可能であ	る る		
4点				嘱託,臨時職員等				持職員等で対応可能である			
			П	コスト削減の取り組			<ul><li>☑ 特に行って</li></ul>				
	コスト削減	取組(1~ 1)		内容	10) [1] 2 [0						
				1311							
平成	1 5 ~ 1 した改	6 年度に	課題			改善			総合	В	В
実 施	した改	善 内 谷	H-IVAL			内容			評価	ן ט	
5 全省	後の対応(フ	アクションハ									
J / E	×0771101(7	, , , , , ,	・新川		度建設から	平成9年度建設がある)	で居住性に差え	 がある			
現在意	忍識して	いる課題		-		高くなる。どの程度の					
>/ III II	10. 114M O C	א אינו ש יי						等に配慮した住宅も必要	である		
市民歴	係者 市民,	関係者の名称		RIBIZICIJI/IC	-7370 (717)	777 1007 13 25 25	CO 0. F4 11 1	13 TC   10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10	2 200 00		
からの	音目	X10. E •> E 15.									
更 望	意見意見,	要望内容									
Ø ±	ū										
	(1)	対応内容									
	( . ,	実施期限	平成	年	月						
課題·要	望等		1 72		1 1/3						
#//\~	(2)	対応内容									
へのす		実施期限	平成	年	月						
,,	., , , ,	) I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	1 7-2		1 1/3						
	(3)	対応内容									
	(5)	実施期限	亚战	年	月						
		- Alle Hill	1 /32		/ 1						
その他	考えられ	z									
	カアイデ										
K = V		<b></b>						△ 後 σ	方向性	1 冷邨/雨	2 を証価
				_					· 充 実		2 八計Ⅲ
									維持		
									改善		
Ω7 <del>(*)</del> 1	7 10/= 6	<b>ま へ ナ 白 州</b>									
平成「	7~19年原	せい カ 回 性							委託等		
								縮	小女士二十		
									終期設定 / /		
									/ 休 止		
2 3/2 200	不手旦	<u> </u>	+6	空田老生(安学)上	ヘムチギル	<b>ま</b> 紅山ののセナナム	<b>≒</b> → → 1-				
2 次 評	一個安貝名	<b>ミコメント</b>	拍疋間	≦理有制度導入モ	さい安託先	・委託内容の拡大を検討	iy 9 ること。				

(一般事	事業)	事業	J - 1	4310	080			部	ß ₽	次	長	課	長
平成15	年度	重 .	業名	市営	住宅募集業務								
T-13% 1 3	一尺	<del>T</del>	* 4	ם יוי	<u> </u>								
		要(ドゥ)			T					I-++-+-			
				-	快適でうるおいの			所	斤 管 詡	建設部			
総合			中		安全で快適な生活	基盤の充実		-		住宅課	<del></del>		
政策			<u>小</u>	1	住宅の整備				f 管課長氏名				
事	系業	斯	細	1771411	00/5	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩		_	2 人 者 氏 名			十/中	0075
					26年~	経常臨時	掛 ☑ 経常 □ 臨時	電			2026	内線	2875
		令 · §			住宅法,住宅地区改				€ 施 主 体 □ ###☆		<b>4</b> 切众		
実 委	施	<del></del> 託			 外郭団体委託	□ 一部委託  名称	□ 全部委託		□ 補助金 €託 委 託 内 容		負担金		
<del></del>		пь	7.			<u> 至極 </u> 所得者に対して低廉な┊					答録 ( 容	宏の登	소큐 \
事	業	Ø	概 要			が付替に対して低深なが 度(点数制)の高い方が			E 1877 S 72 W 13	工艺四躬日	日本水(エ	.水切豆:	业水 丿
<del>31</del>	*	0)	144 32			と ( 点数的 ) の間 ( り) が 、居資格のある方は斡旋			あろ				
						:宮川町 217戸,若宮町(		1075					
事	業	Ø	現 状	ı		者 169人(世帯) 3		į	λ 居者 16 人 (	世帯)			
3.		ェラ 実現のため		] '		音 100人(こほ) 登録の有効期間:平成15							
		ひ実施内					10/3/04	٠, ,	. 400 600 . 11-	- ,			
			指標 名	住宅	困窮者登録(空家(	の登録)件数							
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績	)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
		(1)	指標値	i		158世帯	168世帯		168世帯	ŧ			
アウト	プット		単位コスト			61千円	21千円						
指	標		指標 名	入居	世帯数			•			•		
		結果指標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績	) :	平成16年度	平成 1 7	7年度(	目標)	
		(2)	指標 値	i		48世帯	16世帯	168世帯					
			単位コスト		61千円 535円								
2 事	業成	果(アウ	トカム)										
		対	象			録し、かつ居住してい	る方,又は2年以上市	内に勤	勤務しているだ	5			
		_		ЧХ	入基準に合致してI		, に該当しているプ		1		1		
			バー 率	对	R 数 (a) 1	68世帯 受益勢	效 (b) 16世帯		比 率 (b	÷ a) %		9.52%	
対象·	思 凶		lov.		に田容士で 仏苑氏	得者に対して低廉な家!	きった代し ナズのウ	÷≠□	W 7				
		意 かまき		性七	に凶躬9 つば顔別1	守有に刈して瓜麻は豕!	見じ貝貝 し,土泊の女	圧では	MO.				
		(X) 3K & 3	主語にして)										
大	き	な	日的	良好	な住宅環境の維持。								
	_				TO PERSON MENTS	•							
			指標 名	斡旋	世帯(入居世帯+辞	望退世帯)の割合							
		中間成果				の登録)世帯数からみ7	に斡旋世帯の割合(%	)					
						平成14年度(実績)			平成16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
アウト	カム		指標値	i		62.0½	15.4 <sup>パー</sup>		100 <sup>1/1</sup>				
指	標		指標 名	入居	世帯の割合	1	•				•		
		最終成果	考え方・式	住宅	困窮者 <u>登録(空家</u> の	の登録)世帯数からみ7	た入居世帯の割合(%	)					
		指 標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績	)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
			指標値			30.30%	7.70%		100%				
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	住宅	困窮者登録(空家)	の登録)制度を採用し	, 困窮度の度合いを的	確に打	把握できるよう	うにしてい	る。		
											1		
			分(コスト						注民1人当り(円)	<del></del>	平成16.4.	1 住民基	基本台帳
事	業	費		_	,13年度(決算)	平成14年度(決算)			平成16年度	(予算)			
	<u></u>	件費	1			9,511	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			-			
	事	業費				105	!	90		92			
	` <b>—</b> —	門経費								-			
(十円)	_	貸却費	1			0.646	2.5	:=					
	合田田	計			0	9,616	3,5	00		92			
B+ 3/5	国市	· 県		-				+					
財 源  (千円)		りの他	1				3,5	55		92			
( + 15)				)	0	9,616	<u> </u>	0		0			
活動	一般財源       動職     員				0	5,010	0			-			
		∵臨時等		+			0.4						
(人)		<b>計</b>			0.00	0.00	0.4	10		0.00	1		
( / )	_	MI	.00.07		0.00	0.00	0.	-		2.00			

評	曲(チェック)	<del>-</del>			
	価 視 5	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
		☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	L١		
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である。	z		
177	+⊞ ⊢ (o o)		ຈ		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
		□ □ いずれにも該当しない		4	4
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	111	4	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未打	把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把排	握		
8点	*1 A **** /1.//	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している ☑ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	必要		
	社会環境変化(1~1)	内容			
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受益者(1~ 1)	□ 対象がパー単は同い □ 他団体に内柱度 □ 他団体なりがパー単かはい □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
H	文価有(1~ 1)		£		
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		3	3
	,	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えた	ない	•	0
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	一,2000年1000年11	□ 成果向上策あり □ 特に	はし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神7市 □ 比較できる団体はない			
	W 45 1 44 0	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
		高いまたは低い場合の理由			
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(0~ 1)		F \		
率		□ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	Ĕ )	-2	-4
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		_	•
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がる			
	312(. 0)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性		□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コフし当心は177/4日/4	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	コスト削減取組(1~ 1				
平成	15~16年度にした改善内容	改善改善	総合	В	В
美 肔	した改善内名	内容	評価		
5 全省	<b>多の対応(アクション)</b>				
7 / 12	× • > > > 1 · · · · ( ) / > -   >	・新旧建物(昭和26年建設から平成9年度建設がある)で居住性に差があるため、ニーズに応じた募集方法も検	全計 1 . ナンコー	th litte i	5 to 1 1
п <del>/</del> ≐	認 識 し て い る 課 是		KB1 0/417	11000	J /4.V I <sub>0</sub>
况 1工 品	説 覗している 味 あ	3 (建物等の以修が不可欠である)			
<b>→</b> □ □					
	9 K + 1 - 1 1 1 K + 2 2 4 5 1 1				
	関係者 市民,関係者の名称	R			
からの	意見一要切力を				
からの 要 望	意見要望内容				
	意見,要望内名	Z <sup>A</sup>			
	意見一要切力を	Z <sup>A</sup>			
	意見,要望内容等が成内容				
要望	意見 意見 ,要望内名 対応内容 実施期限	マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト			
	意見 等 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限	マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト マスト			
要望課題,要	意見 等 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (2)	F R 平成 年 月			
要望	意見 意見,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	F R 平成 年 月			
要望課題,要	意見	マ成 年 月			
要望課題,要	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応 (3)	F			
要望課題,要	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	F			
要望課題・要へのう	意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	F			
要望課題・要なののである。	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	F			
要 望 課題·要 へ の う	意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	F			
要 望 課題·要 へ の う	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	F	5 向性	1次評価	2次評価
要 望 課題·要 へ の う	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	日 平成 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		1次評価	2次評価
要 望 課題·要 へ の う	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	マ成 年 月		1次評価	2次評価
要 望 課題·要 へ の う	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	マ成 年 月	充 実 維 持	1次評価	2次評価
要望課を受ける。	意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	日 マ成 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	充 実維 持改 善	1次評価	2次評価
要望課を受ける。	意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	日 平成 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	充 実維 持改 善託 等	1次評価	2次評価
要望課を受ける。	意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	充実維持改善託等小	1次評価	2次評価
要望課を受ける。	意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成 年 月   月   平成 年 月   月   平成 年 月   日   平成 年 月   日   平成 年 月   日   平成 年 月   日   中成 年 月   日   中成 年 月   日   中成 中 月   中成 中 日   中成 日   中   中成 日   中   中   中   中   中   中   中   中   中	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価
要望課を受ける。	意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価
要 望 課 へ そ改 平 成 1	意見 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3 対応内容 実施期限 3 対応内容 実施期限 7 ~ 19年度の方向性	平成   年   月   月	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価
要 望 課 へ そ改 平 成 1	意見 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3 対応内容 実施期限 3 対応内容 実施期限 7 ~ 19年度の方向性	平成 年 月   月   平成 年 月   月   平成 年 月   日   平成 年 月   日   平成 年 月   日   平成 年 月   日   中成 年 月   日   中成 年 月   日   中成 中 月   中成 中 日   中成 日   中   中成 日   中   中   中   中   中   中   中   中   中	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価

(内	部事	事務)	事 業	<b>1</b> -	۲	4310	090				部 長	次	長	課	長
亚터	<b>ቲ</b> 1 5	年度	車	業	夕	市台	住宅等改良改修工	ŧ							
T 133	<b>X</b> , 1 J	十反	Ŧ	*	П	םיוי	在4.以及以除工:	<del></del>							
	<del></del> \	UZ 1877													
	_		要(ドゥ		- 1		14 to 2 7 to 1 to	+ 2 47 + ~ / / /			T	7-21-11-11			
				<u> </u>	1 標		快適でうるおいの				所 管 課	建設部住宅課			
		計画		中		-	安全で快適な生活	基盤の允夫 			5. 答知 5. 5. 4		=		
	來 /	施 策 系		<u>小</u> 細		1	住宅の整備  第3次芦屋市総合言	<b>上而功华坎华林玄</b>			所管課長氏名記 入者 氏名				
事		業		期	問	四和	第300円屋巾総口6 26年~	経常臨時	: ☑ 経常 □	臨時	電話番号			内線	2875
根	枷		令 '				<del>20年</del> 住宅法	元 市 四 市		成期中立	実施主体		2020	PUNK	2013
実	,~	施		<u> </u>			直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	•	□補助金		負担金		
委			託				外郭団体委託	名称			<b>多託</b> 委託内容		743—11		
										ı		I			
事		業	の	概	要	長期	修繕計画に基づき	順次改良・改修工事を行	īう。						
						・市	営住宅	1,289戸,駐車場 469台							
							宮町住宅	92戸,駐車場 64台		所					
事		業	の	現	状		宮川町住宅	217戸 , 集会所 1ヶ	所						
							前居住者用住宅	99戸,駐車場 47台	7mT/	- ~~ \ ±±-	T = 1 23 . C = 1			<u> </u>	
			実現のた				平成15年度(41年	):外壁改修工事(岩園 屋上防水改修工事(	, ,			モ・萃ケ	正町 701土	モ)	
		<del>J</del> -F∑/	及び実施	合い合				压工例小以形工事(	#カログ 旦門 公↑	ュエ七した	本 丿				
				指標	名	長期	修繕計画予定工事(	 牛数							
アク	っ テ	ィブ	ンナチレント	年	- ' '		,13年度(実績)		平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標	活動指導	指標	値			4件	4件		2件			2件	
				単位コ	スト			2,840千円	2,380千	- 円	13,213千	円	6	,059千円	3
				指 標			修繕計画工事件数				_				
	7 ト .	プット	結果指	年			,13年度(実績)	平成14年度(実績)		(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標	WHYICIH	指標				4件	4件		2件			2件	_
<u> </u>	== 4	<del>  </del>	B / -> -	単位コ		<u> </u>		2,840千円	2,380∓	-円	13,213干	円	6	,059千円	1
_	争;	<b>美</b> /火	未( <b>)</b> 'ノ	<u> ナカム)</u>	)	1									
			対		象	市営	住宅・共同施設及で	びそれを利用する市民							
事当	ĚΦ	目的	対象	カバー	- 率	<b>対</b>	象数 (a) 1	,697戸 受益 3	数 (b) 1	.697戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
		意図					(.)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,	10 1 (1	,			
			意		図	安心	して利用できる住	宅環境の整備。							
			(対象を	主語にし	(て)										
大		き	な	目	的	良好	な住宅環境の維持。								
			1	T		1.t- 1.**	<del></del>								
			_				率(100%) 予定件数÷工事実施	左/ <del>// 米// _ 400</del> 0/							
			中 成果指				了近什数:工事夫/ 513年度(実績)	平成14年度(実績)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(宝績)	平成16年度(	(日煙)	平成 1	7年度(	日煙)
7 4	<b>5</b>	カム		指標			, 1 3 千皮(天禊)	11,361千円(4件)	9,520千円		26,426千円			/ <u>牛皮(</u> 18千円(2	-
指		カム標					修繕計画金額	,ooi  J(+IT/	J,02011J	(111)		(-11)	14,1	(4	-11/
		145		終考え方											
			成果指				(13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標	値			11,361千円(4件)	9,520千円	(4件)	26,426千円	(2件)	12,1	18千円(2	2件)
芦	屋	の	特	色な	ど										
	<del></del> \	11/	\- = I =	70						1	1	ı	1	= .	=
	事			<u> 己分(コ</u>			1.2万亩 / 油签 >	亚代 4 4 左连 / 边签 >	1世帯当り(円)	291	住民1人当り(円)	126	平成16.4	.1 住民星	本台帳
事		業		費構成			13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度		平成16年度	(丁昇)			
		事			5.6% 4.4%			11,361		1,757 9,520		26,426			
内	章臣	3.	来 3 門 経		→.4%			11,301		9,320		20,420			
			貸却									-	-		
(	, ,	合			0.0%		0	11,361		11,277		26,426			
		国			0.0%					11,277		26,426			
財	源	市		等											
(千	円)		Ø .	他											
			设 財 :	源			0	11,361		0		0			
活		職			0.0%			0.00		0.20		-			
配			,臨時		0.0%			0.00		0.00		-			
( )	( )	合		計 10	0.0%		0.00	0.00		0.20		0.00			

評	<u> </u>	<u>レファ</u> 視	点				評価チェック	リスト			1次評価	2次評価
	対象	ミカバー 率	<b></b> (1 ~ 1)	V	対象カバー率は高	il I			□ 他団体よりカバー2	軽が低い		
有	受益	捨(1~	1)	V	事業意図と受益者	は整合してい	る □ 事業意図	図と受益者が不整	隆合 ,または受益が一部に	限定	1	
効		見の実績(2	2 4)	V	中間成果指標の実	[績値を把握し	, 目標値を設定してい	\る □ 実績値ま	たは目標値が未記入		1	1
XJJ	以未	その夫領(4	2~ 1)	-	・ 🖸 実績値から成り	果があがってい	いると言える	□ 実績値か	ら成果があがっていると	言えない	4	4
性	式甲	in F소H	也(1~ 1)	成	果があがっていない	1場合						
4点	- 13X.7 <del>1</del>	门工示约	B(1 ~ 1)		成果向上策あり					うい 特になし		
				✓	比較できる団体がる	ある	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体は	ない		
	活動	加配分(1~	. 1)		他団体の数字を把		活動配分		☑ 把握していない			
	711 32	0HD>3(.	.,		・ 🗌 他団体より少		□ 他団体と同程原	ŧ	□ 他団体より多い			
効					い,または少ない場							
					比較できる団体があ		団体名 阪神7市		□ 比較できる団体は	ない		
	単位	コスト(1・	~ 1)	1	他団体の数字を把		単位コスト		☑ 把握していない			
率					・ □ 他団体よりコン		□ 他団体と同程	<b></b>	□ 他団体よりコストが	高い	-3	-3
					い,または低い場合		コム・エイ! ている	ヒカー・ハー				
							団体へ委託している第		ᅘᅟᄺᄔᅷᅉᄼᅶᆉᇊᇰᅑᆠᅘᄱ	\ <u> </u>		
44	手段	₹(1 ~ 3)	)		行政職員による執行				庭,地域等が担うべき部? É,NPO等)で対応可能で			
性 4点					·	•		•	€,NPO寺)で対応可能で 時職員等で対応可能であ			
4					明記、臨時職員等 コスト削減の取り組			□ 嘱託,區i		) ଚ		
	コス	ト削減取:	組(1~ 1)		・ 内容	[07-21] J CV	3	□ 41C117	CVIAVI			
平成	1 5	~ 1 6	年度に 善内容	課題			改善			総合	В	В
美 肔	U Ta	二以音	善 内 谷				内容			評価		ט
5 今後	後の対	応(アク	フション)	!	<u></u>							
		(,	, , ,,	長期	修繕計画に基づき	順次改良改修	を工事を行っているか ないるができます。	ヾ,建物保全(延	命)のための工事につ	ハては現在	の財政事	情の
現在意	忍 識	してい	る 課 題	下で	も早急な対応をし	なければなら	<b>らない。</b>					
市民,関	係者	市民,関係	系者の名称									
からの	意見	金 田 三 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	要望内容									
要望	等 "	EN 70 , 3	<u> </u>									
			対応内容									
		(1)			<del></del>							
+m 0= ==	+		実施期限	平成	年	月						
課題·要	望寺	(2)	対応内容									
, ,	<del>-</del>	(2)	実施期限	₩.+								
へのす			美肔期限	半成	年	月						
		(3)	対応内容									
		(3)	実施期限	TV Ett	年	月						
					<del>+</del> 面での対応が必要	1 1: -						
その他	考え	られる			市営住宅の廃止を		が必要である.					
改善				П.		H->/C XII.	22 (00)					
									今後	の方向性	1次評価	2次評価
			<u>l</u>							. 充 実		7 7 7 7 7 7
										犬 維 持		
									方;	去 改 善		
平成1	7 ~ 1	9年度	の方向性						民間	委 託 等		
									縮	小		
									統合	/終期設定		
									廃业	: / 休 止		
				l								
2 次 評	4 価 委	ē 員 会	コメント	課題	解決のために,長	期修繕計画の	)見直しを行うこと。					

(一般	事業	事業	=	1 — F	4310	110		,		]	部	ŧ	長 次	長	課	長
平成1	5 年底	=	業	± 5	<b>仕字</b>	使用料等に関す	て車数									
十八八	3 十 /5	ž  <del>                                   </del>	未	: 1	注七	使用科寺に関り	の事務									
										_						
1事	業概	要(ドウ	,)										•			
			_	の目標	4	快適でうるおり	1のある都市づ	うくり					建設部			
総合			中			安全で快適な生					所	管言	料 住宅課			
政策			/\ <u>'</u>		-	住宅の整備		,			所管	課長氏名	3 中尾 育	表		
体	系		細		-	正 000 正 116							3 徳山 浩			
事	 業		期		四和	! 26年~		<b>奴</b> 告 哈 咕	✓ 経常 □	1 防味			를 0797-38-		内線	2875
		· 令 ·				20年 住宅法,住宅地[	文功自注 计字			nn		施主作		2020	门前秋	2013
						直営								수비스		
<u>実</u> 委	施		手				一一部	经武	□ 全部委請			補助金		負担金		
安		託		九		外郭団体委託	名称		<del>+</del>			委託内容	¥			
_	NII/	_				営住宅等の家賃		舌者からのり	(人甲音に基つ	さ事業王′	本かを	<b>E</b> のも				
事	業	の	Ħ	既 要	・滞	納者への徴収事	·務									
					・市	営住宅 1,289月	□(近傍同種家	『賃)・駐車』	場 469台 니	又入超過者	家賃	,高額所得	者明渡しあ	נו		
事	業	の	Ŧ	見 状	・上	宮川町住宅 21	7戸(限度額家	『賃) 収入』	超過者の割増し	<b>J賃料あり</b>	(事	業入居者な	こし),高額	所得者明	渡しなり	し
	目的	実現のカ	こめの	D	・若	宮町住宅 92戸	(限度額家賃	)・駐車場 6	34台 4	又入超過者	の割	増し賃料あ	5り,高額所	得者明渡	₹しなし	
	手段	及び実施	也内容	~	・従	前居住者用住宅	99戸(近傍	同種家賃,限/	度額家賃,条例	家賃)・	駐車場	易 68台				
					住	宅管理戸数全体	1697戸うち	政策空家44戸	ī							
			‡	旨標 名	申告	書配布戸数										
		結果指				,13年度(実績	1) 平成14年	F度(実績)	平成15年度	(実績)	平原	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(1)	_	<u>· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /</u>		, · · · / ~ () < /		653件	1,653	, ,	1 1	1,697	• •		1,697件	H 13. 7
アウト	-J vi l	, ,	-	<u>ロー1宗 12</u> 単位コスト				<del>555円</del> 千円	8 <del>千</del> F			1,007	1		1,00711	
指		_		ドロコ <u>スト</u> 旨標名		生	13	111	011	J						
相	枴		_				E \   \pi c + 1 4 4	T 亩 / 中体 \	亚产 4 5 左座	1 中4 1	77.5	+ 4 6 左座	(口插)	ਜ਼-1 -	7.左座 /	口抽丶
		結果指				,13年度(実績			平成 1 5 年度		+-17	成 1 6 年度 。//	(日信)	平成1	7年度(	日信)
		(2)	_	旨標値				6件	34件			0件			0件	
	NIIZ IN			単位コスト			13	千円	8千F	4						
2 事	業成	果(ア	<u>フト:</u>	<u>カム)</u>												
		対		象	市営	住宅等入居世帯	(全体1 697世	帯)								
							( ± pp. 1,001 E									
			力 .	バー率	対象	<b>敦</b> (a)	1,697世帯	受 益 数	(b) 1	,697世帯		比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
対 象	意図															
		意		図	・住	宅使用料(家賃	) の決定及び	収納・徴収事	務							
		(対象	を主	語にして)												
大	き	な	E	ョ 的	・良	好な住宅環境の	維持									
			‡	旨標 名	家賃	等収納率										
		中間成	_			住宅等全入居世	帯の収納率									
		指	標点			,13年度(実績		E度(宝績)	平成15年度	(宝績)	平日	成16年度	(日標)	平成 1	7年度(	日標)
アウト	· + /·			· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		7. 5 1 12 ( )C//s		. 42 <sup>1/-</sup>	86.32		1 7	100/5		1 7-20 .	100パー	H 13.7
指	カー根			日 標 名				7297	00.02	· E/F	1	1000	<u>r</u>		100676	
111	12		_													
				考え方・式		110年度(史建	[	エ帝 / 守健 /	亚式 1 5 年度	F / 宇健 \	₩.	#16年度	(日悔)	ग्रद्ध 1 .	7年度(	日抽~
		指	標点			,13年度(実績	1) 平成 1 4 年	F及(夫領)	十八 1 3 年度	2(夫縜)	平月	成16年度	(日信)	平成1	7年度(	日信丿
			ł	旨標 値												
<b></b> .	- 44															
户屋市	の特	色など	<b>東足</b>	する事項												
	VII2								1					ı		
	業費	•活動	<b>纪</b> 分	<u>}(コスト</u>	)				1世帯当り(円)	346	住民1	人当り(円	150	平成16.4	.1 住民基	基本台帳
事	業		費	構成%	平成	,13年度(決算	[) 平成14年	F度(決算)	平成15年度	【(決算)	平局	戊16年度	(予算)			
	人	件	費	100.0%				21,129		13,400			-			
	事	業	費	0.0%			0	0		0			0			
内言	沢他音	部門 経	費										-			
(千円	) 減 (	西償却	費										-			
·	合		計	100.0%			0	21,129		13,400			0			
	国		県							•						
財	原市	債	等				1									
(千円		の	他	100.0%						13,400						
(   []			源	100.0%			0	21,129		13,400			0			
江 =		HX XH	_	64.6%				21,129		1.30			U			
	脚職	í . ⊑≒ n+	員	61.9%									<u> </u>			
配分		ť·臨時	寺計	38.1%			no	0.00 2.45		0.80			0.00			

	一( アエック )			
評	価視	点 評価チェックリスト	1次部	F価 2次評価
	D# 5 1/11/2	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	l I	
	目的妥当性(2~ 2	) ☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高〈ない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である。	z	
	→=== (o o)		ຍ	
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	:t1   <b>4</b>	.   4
	市民ニーズ(2~ 1	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未打	巴握	
性		□ 数字で把握している □ 未把拡	屋	
8点		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	沙要	
- ,,,,	社会環境変化(1~			
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~			
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	又血苷(1 1)		<u>-</u>	
効	成果の実績(2~	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	2	2
	,	′	211 <b>-</b>	'   <del>-</del>
性	- 成果向上余地(1~	成果があがっていない場合		
4点	**************************************	□   □   成果回上束あり   □   尸別訪問 , 明渡 □ 請氷 を積極的に美施 9 6 。   □ 特に	なし	
		☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神7市 □ 比較できる団体はない		
	当体コフト(4 4)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□		
	受益者負担(0~	)	5 )	
率			<u> </u>	1   -3
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	+ 7	
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がる		
	, ,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である ☑ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~	1) コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
	1)TWY-WILL (1	- <sup>'/</sup>		
	45 46 7 5	- I- 36 ±	<i>w</i>	
平 成	15~16年月	きに   改善    内容	総合 B	3   B
			н іщ	
5 今1	後の対応(アクショ	<u>- : : : : : : : : : : : : : : : : : : :</u>		
		・未申告者をなくすこと。		
現在	認識している言	・		
		・入居者の公平性を保つため明渡しを積極的に行なうこと。		
市民.関	関係者 市民 , 関係者の			
からの		名称		
要望				
女主	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一			
	一百二二二百 三			
	意見,要望	3 容		
	意見,要望	<b>为容</b> <b>为容</b>		
	意見,要望  対応 (1) 実施	3 容		
課題·要	意見,要望 対応 対応 実施	内容       明限 平成 年 月		
課題・要	意見,要望  対応 (1) 実施	内容       明限 平成 年 月		
課題・要への:	(1) 対応 実施 (2) 対応	内容       明限 平成 年 月		
	(1) 対応 実施 対応 実施	内容 開限 平成 年 月 開限 平成 年 月		
	(1) 対応 実施 (2) 対応	内容 開限 平成 年 月 開限 平成 年 月		
	(1) 対応 実施 対応 (2) 対応 実施 (3) 対応	内容       内容       明限 平成     年     月       内容       明限 平成     年     月       内容		
	(1) 対応 実施 対応 (2) 対応 実施 (3) 対応			
^ Ø :	(1) 対応 実施 対応 (3) 実施	内容       内容       明限 平成     年     月       内容       明限 平成     年     月       内容		
へ の : そ の 他	世 等 意見,要望「対応 実施 対応 (3) 実施 せ考えられる	内容       内容       明限 平成     年     月       内容       明限 平成     年     月       内容		
へ の : そ の 他	(1) 対応 実施 対応 (3) 実施	内容 開限 平成 年 月 明限 平成 年 月 明限 平成 年 月	与 向 <del>杜</del> 1 次约	·····································
へ の : そ の 他	世 等 意見,要望「対応 実施 対応 (3) 実施 せ考えられる	内容 開限 平成 年 月 明限 平成 年 月 明限 平成 年 月 明限 平成 年 月 明限 平成 年 月	方向性 1次部	平価 2次評価
へ の : そ の 他	世 等 意見,要望「対応 実施 対応 (3) 実施 せ考えられる	内容 別限 平成 年 月 内容 別限 平成 年 月 内容 別限 平成 年 月 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本 「日本	充 実	平価 2次評価
へ の : そ の 他	世 等 意見,要望「対応 実施 対応 (3) 実施 せ考えられる	内容 別限 平成 年 月 内容 別限 平成 年 月 内容 別限 平成 年 月 小容 ・収納率を上げること 個別訪問等を行う。	充 実 維 持	Р価 2次評価
へ の : そ の 他 改 善 (	要望等 (1) 対応 実施 対応 実施 対応 対応 実施 カラウス 対応 対応 対応 対応 対応	内容	充 実 維 持 改 善	平価 2次評価
へ の : そ の 他 改 善 (	世 等 意見,要望「対応 実施 対応 (3) 実施 せ考えられる	内容	充 実 維 持 改 善 託 等	平価 2次評価
へ の : そ の 他 改 善 (	要望等 (1) 対応 実施 対応 実施 対応 対応 実施 カラウス 対応 対応 対応 対応 対応	内容	充 実 維 持 改 善	平価 2次評価
へ の : そ の 他 改 善 (	要望等 (1) 対応 実施 対応 実施 対応 対応 実施 カラウス 対応 対応 対応 対応 対応	内容	充 実 維 持 改 善 託 等 小 朝設定	平価 2次評価
へ の : そ の 他 改 善 (	要望等 (1) 対応 実施 対応 実施 対応 対応 実施 カラウス 対応 対応 対応 対応 対応	内容	充 実 維 持 改 善 託 等 小 朝設定	平価 2次評価
へ の : そ の 他 改 善 (	要望等 (1) 対応 実施 対応 実施 対応 対応 実施 カラウス 対応 対応 対応 対応 対応	内容	充 実 維 持 改 善 託 等 小 朝設定	平価 2次評価
その他の善の本の1	世 等 意見,要望「 対応 実施 対応 (3) 対応 大 対応 大 対応 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	内容	充 実 維 持 改 善 託 等 小 朝設定	平価 2次評価
その他の善の本の1	世 等 意見,要望「 対応 実施 対応 (3) 対応 大 対応 大 対応 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	内容	充 実 維 持 改 善 託 等 小 朝設定	平価 2次評価

( -	- 般	事	業)	事 業	<b>¬</b> -	- F	4310°	140					部	長	次	長	課	長
平月	式. 1	5 在	F度	事	業	名	市営	住宅等入居者対応										
' '			<i>'</i> ~	<i>-</i>	<b>/</b>		.  -											
1	由	. <del>기</del> 누	<b>∔</b> 97 F	<b>冊</b> / じょヽ														
				要(ドゥ) ま + づ /	11 1	□ <del> </del> =	4	快適でうるおいの	ちょ 打士づく	וו					建設部			
			山鱼		<u>りの</u> 中	口信		安全で快適な生活		'/			所 旬	うり 課 におり こうしょ かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	住宅課			
			策		<u> </u>			住宅の整備	<b>全置の元夫</b>				所管課	長氏名	中尾育	表		
体		1)6	系		細		'	工 0 4 元 四							徳山 浩			
事			業	<u> </u>		間	昭和			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話		0797-38-		内線	2875
	拠	L j			要 綱			主。 住宅法,住宅地区改	良法,住宅市街					主体			1 3 1000	20.0
実			施	手		法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	E	□ 全部委託	E	□補		•	負担金		
委				託		先		外郭団体委託	名称			□ 民間	委託 委	託内容				
							· 入	居者からの苦情・弱	要望への対応				•		•			
事		業	Ė	の	概	要	• 収.	入超過者・高額所行	导者への措置									
							・各	種,申請・届出・詞	正明の事務処理	里及び管理	人への事務連	絡						
								営住宅 = 管理戸数	•	巨場 469台	・集会所 2ヶ	所						
事		業		の	現	状		宮川町住宅 = 管理原										
				実現のため				宮町住宅 = 管理戸数			/.							
		于	-F兌人	及び実施内	]谷			前居住者用住宅=育				□**	1					
		_	_		+5 +	<b>あ</b> 夕		平成15年度:収入起 超過世帯数	<u> </u>	上市 、他の	性七个切料派	四致 3四	l.					
				結果指標				<sup>色過色帝奴</sup> 13年度(実績)	亚成 1 // 任度	(宝績)	亚成 15 年度	(宝績)	亚成 1	6 年度 (	(日梅)	亚成 1	7年度(	日煙)
				(1)				1 3 千及(天順)	63世春	• •	67世春	• •	T-13%, 1	67世帯	•	T-13% 1	7 干皮(	ᄓᇷᄼ
ア・	ウト	プ	ット		単位:				131千		110千			07 [2]				
· 指	•		標		—		収入	超過世帯に対するな					L 数					
				結果指標	-			13年度(実績)						6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(2)	指標				3回		3回			5回				
					単位:				131千	円	110千	円						
2	事	業	成	果(アウ)	トカム	.)												
				対		象	市営	住宅等入居者										
													1					
				対象カ	八 -	- 率	対多	₹数 (a) 1,0	697世帯	受 益 数	( (b) 1	,697世帯	比	率 (b	÷ a) %		100%	
प्रग	冢	· 思	図	3 <sup>2</sup> 2.		[337]	) P	者からの苦情・要望	'BI- *+-+ 7 *+-	<del>-</del> 11π λ	打りまな。の	供の仕事	n ±∧+⁄=					
				意 (対象を主	±≐五≀−		八店	有からの古頂・安語	EICXJ 9 のXJM	い。 4Xノ <b>ハ</b>	、起迴有寺への	他の生七の	刀料ルで。					
			!	(X)3K&I		<i>U</i> ()												
大		き		な	目	的	良好:	な住宅環境の維持。										
•		Ū		Ū.	_	-3	200	0. IT 0 30 -2 WE 30										
					指標	票名	苦情	件数										
								。- 苦情件数÷入居	世帯数									
				指 標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ウー	トカ	<b>L</b>		指標				86.4 <sub>t</sub>	(- ) )	82.3 <sup>1</sup>	(- ) )		90だー			90だー	•
指			標		指標	票 名	苦情	件数										
				最終成果							I = "							
					年		平成	13年度(実績)			平成15年度		平成 1	6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
					指標	県 値			230년	F	3004	F		170件			170件	
土口	<del>=</del> ±	<b>-</b> Φ	<b>#</b> ± <i>¢</i>	色など補足	ᄀᅔᄀ	車 1百												
μ,	至 川	לט נ	₹ <del>寸</del> E	こみて押り	Eタる	尹以												
3	車	業	巷.	活動配	<del>分(</del> ¬		)				1世帯当り(円)	191	住民1人	当1)(円)	82	平成164	1.1 住民基	本台帳
事	7	*	業	費	<del>- ` </del>		平成	13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度			6年度(		1 /2010.1	12003	PIT III TK
_		IJ	<u> </u>	件費		00.0%		1 122 (11 11 )		8,270	11.0	7,394			-			
		事	Ē	業費	1	0.0%		0		0		0			0			
内	Ė	沢化	也部	門 経 費											-			
( <del>1</del>	一円	) 泝	戓 価	賞 却 費											-			
		£	<b>1</b>	計		00.0%		0	<u> </u>	8,270		7,394			0			
		Ŀ	E .	• 県														
財		原す		債 等														ļ
( <del>1</del>	一円	) ₹		の他	1	20 5:				0.0=0		= ^						
2.7		E+ D	_	と 財源		00.0%		0		8,270		7,394			0			
活配	_	動雕		員 ·臨時等	+	88.9%				0.95		0.80			-			
配(	-	기생		· 歸 時 寺	+	11.1%		0.00		0.00		0.10			0.00			

	曲(チェック)				
評	価 視 点	評価チェックリスト	1	次評価	2次評価
		☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	١		
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	2		
	→ 間 ⊢ (o o)		,		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
		□ いずれにも該当しない		_	•
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	L١	8	2
	市民ニーズ(2~ 1)	│ └─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把	9握		
性		□ 数字で把握している 苦情件数 □ 未把握	星		
8点	+1 A 7001+2 //-/- ()	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	要		
	社会環境変化(1~1)	内容 高齢化にむけて,同居申請等の個別対応			
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	· · ·		, -		
∄	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	<u> </u>		
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		3	2
743		└▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えな	111	9	_
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	-	□ 対になる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	なし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神7市 □ 比較できる団体はない			
		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
, ,,		高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	,		
率	, ,	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	)	-3	-5
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		0	O
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	5 S		
	于校(1 · · · 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点		□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
O/M	コスト削減取組(1~ 1)	→ 内容			
平成	1 5 ~ 1 6 年 度 に		総合	В	ח
平成実施	l 1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容		総合評価	В	D
			総合評価	В	D
	1 1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容 <b>炎の対応(アクション</b> )	課題 內容	評価		
5 今征	<b>多の対応(アクション)</b>	改善内容 と	評価		
5 今征	<b>多の対応(アクション)</b>	課題 內容	評価		
5 今征現在	<u> </u>	課題 改善 内容  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今征現在	<b>多の対応(アクション)</b>	課題 改善 内容  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今征現在	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称	課題 改善 内容 ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今征 現 在 記 市民,関	参の対応(アクション) 認識している課題 『係者 市民,関係者の名称 意見 章 見 要望内容	課題 改善 内容 ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	参の対応(アクション) 認識している課題 「原名」 「市民,関係者の名称意見」 「意見」、要望内容	改善内容   改善内容   改善内容   改善内容   で苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見 意見,要望内容 対応内容	改善内容   改善内容   改善内容   改善内容   で苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	参の対応(アクション) 認識している課題 係者 市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内容 (1)	課題	評価		
5 今征現在 に 市民,関か要 望	参の対応(アクション) 認識している課題 係者 市民,関係者の名称 意見 等 は、要望内容 (1) 対応内容 実施期限	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今4 現 在 i 市民, 関 からの	参の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容 実施期限	課題	評価		
5 今征 市か要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 (本) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	課題  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。	評価		
5 今征現在 に 市民,関か要 望	参の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	課題  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月	評価		
5 今征 市か要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月	評価		
5 今征 市か要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 (本) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月	評価		
5 今征 市か要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見。 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	課題	評価		
5 今征 市か要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者 意見, 要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	課題 改善 内容  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月	評価		
5 今征 課題・要 課題・の 3	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者 意見, 要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	課題 改善 内容  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月	評価		
5 今在 課 課 へ で 他	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	課題 改善 内容  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月	評価		
5 今在 課 課 へ で 他	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	改善内容   改善内容   で苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。   平成   年   月   平成   年   月   平成   年   月		が現状で	ීත් බි
5 今在 課 課 へ で 他	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	課題 改善 内容  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  ・平成 年 月  平成 年 月	「向性」	が現状で	ීත් බි
5 今在 課 課 へ で 他	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	課題 改善 内容  ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し ・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	ででは、 できないの できない できない できない できない できない できない できない できない	が現状で	ීත් බි
5 今在 課 課 へ で 他	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。   平成 年 月	で	が現状で	ීත් බි
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見, 関係者の名称 意見, 要望内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3・考えられる のアイデア	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。   平成   年   月	「「「「「「「「「「「」」」	が現状で	ීත් බි
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	課題   改善内容   内容   内容   ・	で	が現状で	ීත් බි
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見, 関係者の名称 意見, 要望内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3・考えられる のアイデア	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	(できる)	が現状で	ීත් බි
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見, 関係者の名称 意見, 要望内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3・考えられる のアイデア	課題   改善内容   内容   内容   ・	(できる)	が現状で	ීත් බි
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見, 関係者の名称 意見, 要望内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3・考えられる のアイデア	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	が現状で	ීත් බි
5 現 市か要 課 へ で を の を の を の を の を の を の を の の を の の も の の も の の も の の も る も る ら る る る る る る る る る る る る る	参の対応(アクション) 認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見, 要望内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  で で	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	が現状で	ීත් බි
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     年 限の望     ・要     他     1	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番) 意見, 関係者の名称 意見, 要望の内内 実施期限 (3) 対応 (3) まきえられる アイデア アークション) においる課題 はおいる。 (1) 対応者の名称 実施期限 はおいる。 (3)	・苦情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  で で	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	が現状で	ීත් බි
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     (1)     (2)     (3)       7     (4)     (4)     (4)     (4)       8     (4)     (4)     (4)     (4)       9     (4)     (4)     (4)     (4)       1     (4)     (4)     (4)     (4)       1     (4)     (4)     (4)     (4)       2     (4)     (4)     (4)     (4)       3     (4)     (4)     (4)     (4)       4     (4)     (4)     (4)     (4)     (4)       5     (4)     (4)     (4)     (4)     (4)       6     (4)     (4)     (4)     (4)     (4)     (4)       7     (4)<	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番) 意見, 関係者の名称 意見, 要望の内内 実施期限 (3) 対応 (3) まきえられる アイデア アークション) においる課題 はおいる。 (1) 対応者の名称 実施期限 はおいる。 (3)	決善 内容   大・芸情・要望については早急に対応しているところであるが、経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応し・収入超過者が住宅を明渡さない。 積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが空家が少ない。   平成   年   月     月	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	が現状で	ීත් බි

( ピリ	ᄜ	●7分)	争業	コード	4310150			]	部 長	次	長	沐	長
亚片	715	年度	車	業名	 上宮川町住宅管理業務								
1 132	, , ,	T 1X	<del></del>	ж ц	工日川町圧で日往来の								
			要(ドゥ)										
					4 快適でうるおいの				所 管 課	建設部			
		計画		<u>中</u>	3 安全で快適な生活	基盤の允美			C * '' = C 2	住宅課	_		
	東方	色 策		小 /m	1 住宅の整備				所管課長氏名				
体		系		細	四771年104年	<b>√2 ₩ (</b> En-	-		記入者氏名			<b>- /</b> - /- 1	0075
事	+ <i>h</i> n	業	令 ・		昭和61年~	経吊臨時	☑ 経常 □			0797-38-	2026	内線	2875
実	拠	法施	<u>₹';</u>		住宅地区改良法 □ 直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		<ul><li>実施 主体</li><li>□ 補助金</li></ul>		負担金		
委		旭	託		□ 且吕 □ 外郭団体委託	名称 (財) 芦屋市都市			委託 委託 内容		貝担並		
¥			пь	76	・上宮川町住宅の居住		正備公江		安礼安礼内台				
事	;	業	Ø	概 要	・維持・修繕 , 空家住			チレている					
7	,	*	0)	1M. 32	wE171 PSWE , 工3VIL-		五冊 A IIIC 女	10000	,				
					・管理戸数 217戸・集	会所 2ヶ所,店舗 14戸,	作業所 21戸						
					・各設備の保守点検	2// 2///,/LIB 11/ ,	II- <del></del>						
事	1	業	Ø	現 状	・各団地(各戸)の小	修理							
					・空家住宅の改修								
		目的詞	実現のため	o Ø									
		手段及	ひ実施内	]容									
				指標 名	施設の維持補修予定件	数							
	ァテ	ィブ	活動指標		平成13年度(実績)		平成15年度		平成16年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標	\H∓\\]□'\x	指標値		55件	58件		58件				
				単位コスト		445千円	329千	円	374千円	]			
				- III	施設の維持補修件数	1= , , , , , , , ,	1=	T					
	トラ	プット 	結果指標		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度		平成16年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標		指標値	60件	55件	58件		58件	,			
1	中十	¥ r+; F	果(アウ)	単位コスト		445千円	329千月	<del>'</del> J	374千円	j			
	尹ヲ	長刀入え	未(グラ)	·/////////////////////////////////////									
			対	象	上宮川町住宅入居世帯	数							
事当	£ Ω	日的	対象力	バー 率	対象数(a)	217戸	数 (b)	217戸	比	∸ a) %		100.00%	
		目的意図	対象力	バー 率	対 象 数 (a)	217戸 受益	数 (b)	217戸	比 率 (b	÷ a) %	,	100.00%	
			_				数 (b)	217戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
			意		対 象 数 (a) 上宮川町住宅の居住性		数 (b)	217戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
			意	図			数 (b)	217戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
対象	東・:		意	図 E語にして)			数 (b)	217戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
対象	東・:	意 図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的	上宮川町住宅の居住性		牧 (b)	217戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
対象	東・:	意 図	意 (対象を な	図 E語にして) 目 的 指標名	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率	の保持,施設の維持	牧 (b)	217戸	比 率 (b	÷ a) %		100.00%	
対象	東・:	意 図	意 (対象を な	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方・式	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ	の保持,施設の維持の保持,施設の維持	. 7						
大	<b>R</b> · :	意 図 き	意 (対象を言 な 中 間 成果指標	図 注語にして) 目 標 考え方・式 年 考え方・度	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率	の保持,施設の維持 の保持,施設の維持 た満足度の割合(%)   平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度 (			7年度(	目標)
対象	<b>R</b> · :	意 図 き カム	意 (対象を な 中 間 成果指標	E語にして) 目 指標 表え方・変 年標 値	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ	の保持,施設の維持の保持,施設の維持	. 7	(実績)					目標)
大	<b>R</b> · :	意 図 き	意 (対象を言な な 中 成果指標	E語にして) 図T) 目 標方・標標 年 指標標	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ	の保持,施設の維持 の保持,施設の維持 た満足度の割合(%)   平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度 (				目標)
対象	<b>R</b> · :	意 図 カ 標	意 (対象を言 な 中 成果指標	E語にして) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100公	〔目標〕	平成 1	7年度(	
対象	<b>R</b> · :	意 図 カ 標	意 (対象を主) では、 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	E語にして) 相考年指指考年 を指する 標標点 元 度値名式度	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100公	〔目標〕	平成 1		
対象	<b>R</b> · :	意 図 カ 標	意 (対象を主) では、 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	E語にして) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100公	〔目標〕	平成 1	7年度(	
対 大 ア指	フト	意 き カ標	意 (対象を言 な 中成果指標 最 集指標	を	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100公	〔目標〕	平成 1	7年度(	
対象	<b>R</b> · :	意 き カ標	意 (対象を主) では、 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100公	〔目標〕	平成 1	7年度(	
対 大 ア指 声	ア	意 図 カ標 の	意 (対象を主) な 中成 最標 終標 を は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	E語目 指考年指指考年指 なの 名式度値名式度値 と	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 100億	(実績)	平成 1 6 年度 ( 100公 平成 1 6 年度 (	〔目標〕	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 声	ア	意 図 カ標 の	意対象をませれる。 中成 最成 特 動配 経標 を	医語目 指考年指指考年指 な ス は で の 名式度値名式度値 ど ト	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度	(実績)	平成 1 6 年度( 100公	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3	ア	意 の 費	意 (対象を主) な 中成 最標 終標 を は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	図) 的 名式度値名式度値 ど ト	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 100© 平成 1 5 年度	(実績)	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3	ネ・:	意 の 費	意対象を当れる 中成 最成 特 動配費	図) 的 名式度値名式度値 ど ト	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 100© 平成 1 5 年度	(実績) (実績)	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3	東	意 き カ	意 対象を おり おり おり は かり は かり は かり は かり は かり は かり	図) 目 指考年指 指 表 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 点 に の に り て り て り て り て り て り て り の し の し の し の し の し り し の し り し り し り	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 100© 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (13 (予算)	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内	た 屋 事 訳	意 き カ	意 対 な 中成 最成 特 動 費費費	図) 目 指考年指 指 表 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 点 に の に り て り て り て り て り て り て り の し の し の し の し の し り し の し り し り し り	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 100© 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (13 (予算)	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内	ない 屋 事 訳 )	意 き カ	意 対象 な 中成 最成 特 動 養 経 野 間標 終標 色 ご 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	Ei語にして	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 100公 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (13 (予算)	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内(	な 事 訳)	意 き カ 黄業 人事他減 <b>合</b> 国 図 ム標 の 費業 部価	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却</li></ul>	図(T) 目 指考年指指考年 指表末 標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標準 は コスペーク は 100.0% 100.0%	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	で の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 0 24,484	平成 1 5 年度 100公 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057 17,024	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 21,698 -	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財	· 屋 新 訳) 源	意 き カ 費業人事他減合国市図 ム標 の費業 部価	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却 集</li></ul>	図(T) 目 指考年指指考年 標序方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標 は コスペーク は 100.0% 100.0%	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	で の保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 0 24,484	平成 1 5 年度 100公 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057 17,024	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 21,698 - - 21,698	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内(	· 屋 新 訳) 源	意 き カ 費 人事他減 <b>合</b> 国市そ 図 ム標 の 費業 部価	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 経却 県等 他 で で で で で で で で で で で で で で で で で で</li></ul>	図(T) 目 指考年 標序方・標標	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	で満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 24,484	平成 1 5 年度 100公 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057 17,024 19,081	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (1) (予算) - 21,698 - - 21,698	平成 1	7年度(	目標)
対     大     ア指     声 3事     内( 財代	<b>東</b>	意 き カ 費業 人事他減合国市そー図 ム標 の費業 部価	<ul><li>意(対 な 中成 最成 特 動 経却 県等他源</li><li>を で は</li></ul>	図(T) 目 指考年 標序方・標標 所	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	で満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 24,484 24,484	平成 1 5 年度 100公 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057 17,024 19,081 0	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 21,698 - - 21,698	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内( 財( 活	<b>東</b>	意 き カ 費業 人事他減合国市そ一職図 ム標 の費業 部価	意 (対 な 中成 最成 特 動	図 E語にして) 目 指考年 指標標 京方・ 標標標 京方・ 標標標 京方・ 標標標 で が (コスト 構成% 10.8% 89.2% 100.0% 100.0%	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	で満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 24,484 24,484 0.00	平成 1 5 年度 100公 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057 17,024 19,081 0	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (1) (予算) - 21,698 - - 21,698	平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内( 財( 活配	<b>東</b>	意 き カ 養 人事他減合国市そー職嘱図 ム標 の 費業 部価 脈託	<ul><li>意(対 な 中成 最成 特 動 経却 県等他源</li><li>を で は</li></ul>	図 目 指考末 年 指指 素 年 指 素 年 指 素 年 が は の の の の の の の の の の の の の	上宮川町住宅の居住性 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	で満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 24,484 24,484 0.00 0.00	平成 1 5 年度 100% 平成 1 5 年度 1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,057 17,024 19,081 0	平成16年度( 100公 平成16年度( 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (1) (予算) - 21,698 - - 21,698	平成 1	7年度(	目標)

	評		<u>・エファ)</u> i 視	点				±\\#	エーックロ	7 L				1 / / = 1 / 画	2次評価
### (1	āŤ				_	<b>計算中心 本口</b>	<b>51</b> \			<u> </u>	□ (4日/4 b) 1 d	- 11° + +	E/ELV	次評1	2次評1曲
対している。	<b>#</b>	_								レロンキバテ物					
加来の美調(  - 1)	13	⋝	(1~	1)									正		
性 4点	効	成	えまで実績(2	2 ~ 1)	1								ない	4	4
4点	性							тосдио			213001010 0210 0 0	тосди			
上		- 成	<b>某</b> 向上余地	也(1~ 1)			, 20						持にかし		
注動配分(1-1)	7777						 (ある	団体夕 [	仮袖7市		□ 比較できる[	•			
か								Š.e.	77117117				•		
数		汪	動配分(1~	1)					と日担産						
単位コスト(1~ 1)  単位コスト(1~ 1)  単位コスト(1~ 1)  単位コスト(1~ 1)  単位コスト(1~ 1)  単位日本の数字を把握している 単位コスト   一位団体と同程度   他団体よりコストが高い   一位団体と同程度   他団体よりコストが高い   一位団体と同程度   他団体よりコストが高い   一個人家庭, 地域等が担うべき部分がある   一日のはよりコストが動育がは行いる   個人、家庭, 地域等が担うべき部分がある   民間企業, NPO等)で対応できない業務である   民間企業, NPO等)で対応で能である   コスト削減取組(1~ 1)  平成 1 5 ~ 1 6 年度 に 課題   コスト削減の取り組みを行っている   小容   一人内容   一人内容   一人の容   一人の容   一人の容   一人の容   一人の容   一人の容   一旦のは、アクション)  現 在 認 識 し て い る 課 題   ・空家改修等, 経費をどの程度かけるかが課題である。   ・応謝化社会に向けた対応 (パリアフリー化)が必要である。   ・応謝名前氏、関係者の名称 からの意見 意見, 要 望 内 容   「11 対応内容   実施期限 平成   年   月 対応内容   実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	۸ħ								こり住反		□ 地図冲より3	<b>511</b>			
単位コスト(1-1)	X/J							日 休 夕 「	アニッチュー		☐ LL±÷-==+ 7 [	7/-	,		
単位コスト(1~ 1)													1		
# 日間性体をリコストが低い 日間体をリコストが低い 日間体をリコストが高い 日間体をリコストが高い 日間に共和員が執行。または低い場合の理由 自営に正規職員が執行。または休い務務である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日間(企業、NPO等)で対応可能である 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		単	<b>位コスト(1</b> -	~ 1)	1				i						
情い   またには「場合の理由	率		,	•				□ 他団体	と同程度		□ 他団体よりこ	コストが高し	1	-3	-5
世 性 4点	·														0
世 4点															
性		=	EEQ(1 ~ 3)												
□ スト削減取組(1~ 1) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	性	7	- <del></del>	'		民間(企業, NPO	等)では対応で	できない業務でも	<b>ある</b>	☑ 民間(企業	, NPO等)で対応	可能である	5		
□ A F 門 N 取 取 和	4点					嘱託,臨時職員等	<b>筆では対応で</b>	きない業務であ	る	☑ 嘱託,臨日	寺職員等で対応可	「能である			
平成15~16年度に課題  5 今後の対応(アクション) 現在認識している課題・		_	フレ当心式取り	<b>έ</b> Β/4 . 4\			且みを行ってい	18		☑ 特に行って	ていない				
実施した改善内容     内容       5 今後の対応(アクション)     ・空家改修等,経費をどの程度かけるかが課題である。 ・高齢化社会に向けた対応(パリアフリー化)が必要である。 ・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ である。 ・ 同・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ である。 ・ 同・ 同齢・・ 同・ 同様・ 日				#H(1~ 1)	<b>▶</b>	· 内容									
実施した改善内容     内容       5 今後の対応(アクション)     ・空家改修等,経費をどの程度かけるかが課題である。 ・高齢化社会に向けた対応(パリアフリー化)が必要である。 ・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ である。 ・ 同・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ 同齢・・ である。 ・ 同・ 同齢・・ 同・ 同様・ 日						·							<i>w</i> •		
5 今後の対応(アクション)       ・空家改修等,経費をどの程度かけるかが課題である。・高齢化社会に向けた対応(パリアフリー化)が必要である。・障害者等に配慮した住宅も必要である。・障害者等に配慮した住宅も必要である。         市民、関係者 市民、関係者の名称からの意見要望等       (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月         (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月       4 月         その他考えられる改善のアイデア       今後の方向性 1次評価拡大・充実	平 成 第	15	~ 1 6 t- 24 ±	年度にまめる	課題			1	牧 <del>善</del> カ突				総合	В	В
・ 空家改修等,経費をどの程度かけるかが課題である。         ・ 高齢化社会に向けた対応 (パリアフリー化) が必要である。         市民,関係者市民,関係者の名称 からの意見 意見,要望内容         (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月         東施期限 平成 年 月         への対応 (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア         今後の方向性 1次評価 拡大・充実	大 ル	U	/C IX =	ם ניו ב					7312				атіш		
・ 空家改修等,経費をどの程度かけるかが課題である。         ・ 高齢化社会に向けた対応 (パリアフリー化) が必要である。         市民,関係者市民,関係者の名称 からの意見 意見,要望内容         (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月         東施期限 平成 年 月         への対応 (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア         今後の方向性 1次評価 拡大・充実	5 今後	後の	対応(アク	フション)											
・障害者等に配慮した住宅も必要である。  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その他考えられる 改善のアイデア  今後の方向性 1次評価 拡 大・充実				•	・空	家改修等,経費を	どの程度かけ	けるかが課題で	ある。						
市民,関係者 市民,関係者の名称	現在記	認諳	ましてい	る 課 題	・高	齢化社会に向けた	-対応 ( バリ	アフリー化)だ	が必要であ	<b>ある</b> 。					
からの意見要望等     (1)     対応内容       課題・要望等への対応     (2)     対応内容       実施期限平成     年月       (3)     対応内容       実施期限平成     年月       その他考えられる改善のアイデア     今後の方向性 1次評価拡大・充実					• 障	害者等に配慮した	住宅も必要	である。							
(1) 対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	市民,関	関係者	市民,関係	系者の名称											
(1) 対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	からの	意見													
(1) 対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	要 望	<b>2</b>	意見,對	と 望 内 谷											
(1)   実施期限 平成   年   月															
課題・要望等			(1)			,									
(2)   対応内容   実施期限 平成   年   月	+m == ==			実施期限	平成	年	月								
への対応     実施期限 平成     年     月       その他考えられる 改善のアイデア     今後の方向性 1次評価 拡大・充実		安望寺		対応内容											
(3)   実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	へのタ	対応		実施期限	平成	年	月								
(3)   実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日				対応内容											
その他考えられる 改善のアイデア   今後の方向性 1次評価 拡 大・充 実			(3)		<b>-</b>	1—									
改善のアイデア       今後の方向性 1次評価         拡大・充実       ***				美肔期限	平成	牛	月								
改善のアイデア       今後の方向性 1次評価         拡大・充実       ***	スの他	uh 크ᆂ	= c +o z												
今後の方向性 1次評価   拡 大 · 充 実															
拡大・充実	以 書 0	יל כט	1 7 1									A /// -	W		
														1次評価	2次評価
現 状 維 持															
方法改善															
平成17~19年度の方向性  民間委託等	平成 1	7 ~	19年度	の方向性								民間委	託等		
縮															
統合/終期設定															
廃止 / 休止												廃 止 /	休止		
2 次 評 価 委 員 会 コメント 指定管理者制度導入も含め委託先・委託内容の拡大を検討してください。	2 次 評	评価	委員会	コメント	指定	管理者制度導入も	ら含め委託先	・委託内容の扱	広大を検討	付してください					

/ rb									
( PJ	部事	務)	事業	コード	4310170			部 長	欠 長課 長
TZ ⊏	<b>뉯</b> 15 <b>年</b>	<b>-</b> #	<b>=</b>	業名	  若宮町住宅管理業務				
<del>+</del> 11,	( I ) <u>-</u>	十反	<del></del>	* 1	在古町住七日珪未物				
					I.				
1	車業	相互目	要(ドゥ)					LL	l
				りの目標	4 快適でうるおいの	なる知古づくい		l z	建設部
									主宅課
	合計	l l		<u>中</u>	3 安全で快適な生活	基盤の元夫			= 11.1
	策施			小	1 住宅の整備			所管課長氏名	
体		系		細				記入者氏名	
事		業	期	間	平成10年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号(	797-38-2026 内線 2875
根	拠	法	令 ' 5	要 綱 等	住宅地区改良法			実 施 主 体	<sup>苎</sup> 屋市
実		施	手	法	□ 直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金	□ 負担金
委			託	先	☑ 外郭団体委託	名称 (財) 芦屋市都市	整備公社 □ 民間	雪託 委託内容	
					・若宮町住宅の居住性				
事	業	¥	Ø	概 要		宅の改修等を芦屋市都市	整備公社に委託している	3	
<b>-</b>			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	19% 54		DODANOG CI IZ IP HOIP	Emaile Silo CV.		
					<b>奈田三粉 ○○三 駐</b> 司	ま担 0144 住人に 1.に	: 庄维 o言		
						亘場 64台・集会所 1ヶ所	,应带 2户		
	M		_		・各設備の保守点検				
事	業	€	の	現 状	・各団地(各戸)の小	修埋			
					・空家住宅の改修				
	E	目的到	実現のため	のの					
	手	<b>手段</b> 及	ひ実施内	]容					
				指標名	施設の維持補修予定件	数			
アク	フティ	ィブ		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
指		標	活動指標	指標値	172.312(XIII)	7件	10件	10件	
10		125				988千円	770千円	744千円	<u> </u>
				単位コスト	施設の維持補修件数	900 [ ] ]	770113	744     ]	
						五世 4 4 左座 / 京建 >	亚芹 4 5 左连 / 宁/佳 \	五世46年第7	口插、
	ァトプ		結果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
指		標		指標 値		7件	10件	10件	
				単位コスト		988千円	770千円	744千円	
2	事業	成	果(アウト	<b>`</b> カム)					
			対	会	  若宮町住宅入居世帯数				
			χ.)	31	在古町住宅八店店市数				
事為	ŧの F	ᄀᄼᆈ	1 A I						
対≨		<b>∃</b> ₽Л	对 冢 刀	バー率	対 象 数 (a)	92戸 受益数	女 (b) 92戸	比 率 (b ÷	a) % 100.00%
	マ・ 意		对 家 刀	バ - 率	対 象 数 (a)	92戸 受益数	女 (b) 92戸	比率 (b ÷	a) % 100.00%
			_			<u> </u>	牧 (b) 92戸	比率 (b ÷	a) % 100.00%
			意	図	対象数(a) 若宮町住宅の居住性の	<u> </u>	牧 (b) 92戸	此 率 (b ÷	a) % 100.00%
			意			<u> </u>	牧 (b) 92戸	比率(b÷	a) % 100.00%
*	象,意	意 図	意 (対象を言	図 E語にして)	若宮町住宅の居住性の	<u> </u>	牧 (b) 92戸	比率(b÷	a) % 100.00%
大		意 図	意	図 E語にして)		<u> </u>	牧 (b) 92戸	比率(b÷	a) % 100.00%
大	象,意	意 図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持	<u> </u>	牧 (b) 92戸	比率(b÷	a) % 100.00%
<b>大</b>	象,意	意 図	意 (対象をi	図 E語にして) 目 的 指標名	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率	保持,施設の維持	牧 (b) 92戸	比率(b÷	a) % 100.00%
大	象,意	图 意	意 (対象を な 中 間	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方・式	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ	保持,施設の維持 保持,施設の維持 た満足度の割合(%)			
	<b>象・意</b>	意 図	意 (対象を な 中 間 成果指標	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方・式 年 度	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	
アワ	象,意	京図	意 (対象を3 な 中 間 成果指標	世報 (1) を表す。 を表する。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 保持,施設の維持 た満足度の割合(%)			
	<b>象・意</b>	意 図	意 (対象を な 中 間 成果指標	E語にして)目指表え方・式度値名	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	
アワ	<b>象・意</b>	京図 ・	意 (対象を な 中 間 成果指標	世報 (1) を表す。 を表する。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
アワ	<b>象・意</b>	意 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	意 (対象を な 中 間 成果指標	E語にして) 相 標方 標	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公	平成 1 5 年度(実績) 100公	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
アワ	<b>象・意</b>	意 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	意 (対象を主 な 中成果指標 を標準を持続している。	E語にして) 相 標方 標	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公	平成 1 5 年度(実績) 100公	平成16年度( 100公	目標) 平成17年度(目標)
アワ	<b>象・意</b>	意 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	意 (対象を主 な 中成果指標 を標準を持続している。	E語にして)指考年指表方・標標標素え方・度値名式度	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公	平成 1 5 年度(実績) 100公	平成16年度( 100公	目標) 平成17年度(目標)
アワ	<b>象・意</b>	1	意 (対象を主 な 中成果指標 を標準を持続している。	E語にして)指考年指指考末年指指考え標序方標標方標度4本表年年様表年長値名五長位名五長6名3長6名7日7日8日9	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公	平成 1 5 年度(実績) 100公	平成16年度( 100公	目標) 平成17年度(目標)
ア「 指	か . 意	1	意 (対象を3 な 中成果指標 最 終標	E語にして)指考年指指考末年指指考え標序方標標方標度4本表年年様表年長値名五長位名五長6名3長6名7日7日8日9	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公	平成 1 5 年度(実績) 100公	平成16年度( 100公	目標) 平成17年度(目標)
アだ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	意図という標のの	意 (対象を3 な 中成果指標 最 終標	E語にして) 的 名式度値名式度値 ど	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績)	平成 1 6 年度 ( 100 小	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)
ア f 音 3	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	意図の大標ので	意 (対象を な 中成果 指標	医語目 指考年指 考年指 な コス 標 京 標 標 方 標 標 方 で コス は ス ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績)	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)
アだ	·	意図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 (対象を当 な 中成果指標 終標 中 新配費	医語目 指考年指指考年指 な コスペーク の 名式度値名式度値 ど 人 構成%	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 1世帯当り(円) 199 平成 1 5 年度 (決算)	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)
ア f 音 3	・ 意 ・ き ・ た ・ 屋 業	は の 豊 米人	意 (対象を ままま) な 中成 最成 特 配 費費	E語にして) 目 指考年指指考年 指える 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標 値 と スペースペース は なん は なん は なん は なん は なん は なん は なん は な	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 100分 平成 1 5 年度 (実績) 1世帯当り(円) 199 平成 1 5 年度 (決算) 2,057	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標) 86 平成164.1 住民基本台帳 予算)
ア指    芦 3事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「	意 対象 中成 最成 特 動産費費	E語にして) 目 指考年指指考年 指える 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標 値 と スペースペース は なん は なん は なん は なん は なん は なん は なん は な	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算)	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)
ア指 芦 3事 内	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「関図」 「「な標」 の 費業人事他	<ul><li>意 対 な 中成 最成 活 件業門</li><li>一</li></ul>	E語にして) 目 指考年指指考年 指える 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標 値 と スペースペース は なん は なん は なん は なん は なん は なん は なん は な	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 100分 平成 1 5 年度 (実績) 1世帯当り(円) 199 平成 1 5 年度 (決算) 2,057	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標) 86 平成164.1 住民基本台帳 予算)
ア指 芦 3事 内	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図   「	意 対象 な 中成 最成 特 動 養 経却 と は と は から は から は から は から は から は から は か	図   図   図   図   図   図   図   図   図   図	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 0 6,917	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算)
ア指 芦 3事 内		図   公標   の費業   部価	<ul><li>意 対 な 中成 最成 特 動 養</li></ul>	図   図   図   図   図   図   図   図   図   図	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 100分 平成 1 5 年度 (実績) 1世帯当り(円) 199 平成 1 5 年度 (決算) 2,057	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標) 86 平成164.1 住民基本台帳 予算)
ア指    芦 3事  内(千	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図   公標   の費業   部価	<ul><li>意 対 な 中成 最成 特 動</li></ul>	図() 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 0 6,917	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算)
ア指 芦 3事 内(財	Text	図   公標   の費業   部価	<ul><li>意 対 な 中成 最成 特 動 養</li></ul>	図() 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 0 6,917	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算)
ア指 芦 3事 内(財	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図   公標   の費業   部価	<ul><li>意 対 な 中成 最成 特 動</li></ul>	図() 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 0 6,917	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算)
ア指 芦 3事 内(財	Table   Ta	図	意 (対)   な   中成   最成   括   上	図() 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 0 6,917	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 1世帯当り(円) 199 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算)
ア指 芦 3事 内(財)	Table   Ta	図   公標   の費業   部価   目   日   日   日   日   日   日   日   日   日	意 (対)     な     中成     最成     括     上     上     で       ・ (重)	図() 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 06,917	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算) 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639 7,696	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算) - 7,436 - 7,436 - 7,436
ア指 芦 3事 内(財)	Text	図   公標   の費業   部価   用	意 (対)     な     中成     最成     活     件業門價・債の股       を     1     上     上     計     上     上     日     上     日     上     日 <td>図() B</td> <td>若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)</td> <td>保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 6,917</td> <td>平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算) 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639 7,696 0</td> <td>平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)</td> <td>目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算) - 7,436 - 7,436 - 7,436</td>	図() B	若宮町住宅の居住性の 良好な住宅環境の維持 修繕率 苦情・要望件数からみ 平成13年度(実績) 平成13年度(実績)	保持,施設の維持 た満足度の割合(%) 平成14年度(実績) 100公 平成14年度(実績) 平成14年度(実績) 6,917	平成 1 5 年度 (実績) 100公 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (決算) 平成 1 5 年度 (決算) 2,057 5,639 7,696 0	平成16年度( 100分 平成16年度( 生民1人当り(円)	目標) 平成17年度(目標) 目標) 平成17年度(目標)  86 平成16.4.1 住民基本台帳 予算) - 7,436 - 7,436 - 7,436

	叫(アエック)										
評		見 点					リスト			1次評価	2次評価
	対象カバー			対象カバー率は高		□ 他団体と同程度		□ 他団体よりカバー率			
有	受益者(1~	1)		事業意図と受益者				合,または受益が一部に降	艮定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	1 1	中間成果指標の第 実績値から成		し,目標値を設定してい いると言える		とは目標値が未記入 ら成果があがっていると言え	えない	4	4
性	世田白 LA	±₩/4 4\	成身	果があがっていない	/場合						
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)		成果向上策あり					特になし		
			<b>V</b>	比較できる団体が	ある	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はな	l I		
	ンエチトエフノンノム	4		他団体の数字を把	2握している	活動配分		☑ 把握していない			
	活動配分(1	~ 1)	<b>-</b>	□ 他団体より少	ない	□ 他団体と同程度		□ 他団体より多い			
効			多し	ハ,または少ない場	場合の理由						
			<b>V</b>	比較できる団体が	ある	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はな	l I		
	×///	4)		他団体の数字を把	2握している	単位コスト		☑ 把握していない			
	単位コスト(1	1~ 1)	<b>└</b>	□ 他団体よりコ	ストが低い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	i۱۱	2	_
率			高い	ハ,または低い場合						-3	-5
				•		3団体へ委託している業	務について				
				行政職員による執	行が義務づけ	けられている	□ 個人,家園	匡,地域等が担うべき部分:	がある		
性	手段(1~ :	3)		民間(企業, NPO等	 等)では対応で	きない業務である	☑ 民間(企業	, NPO等)で対応可能であ	ි බ		
4点				嘱託, 臨時職員等				持職員等で対応可能である			
7,11,			П	コスト削減の取り組			<ul><li>☑ 特に行って</li></ul>				
	コスト削減取	双組(1~ 1)		内容							
平成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	課題			改善			総合評価	В	В
夫 旭	U IE EX	善 內 谷				内容			a₩1∭		
5 今後	後の対応(ア	クション)								l	
	2007/37/01 (7	,,,,,									
現在詞	忍識してい	ハる 課 題	空家记	火修等,経費をどの	の程度かける	かが課題である。					
市民,関	係者 市民,関	係者の名称									
からの	意見。	<b>=</b> + + +									
要望	意見意見,	安望内容									
	(1)	対応内容									
		実施期限	平成	年	月						
課題·要	(2)	対応内容									
へのタ		実施期限	平成	年	月						
		対応内容			1 1, 2						
	(3)										
		実施期限	半成	年	月						
7.0.45	*	,									
	考えられる										
改善 0	カアイデフ	<b>′</b>						A 14. 0	· <del></del>		- N- +T /T
									方向性		2次評価
									· 充 実		
									維持		
<del></del>	- 40 = =	- ~ 44							改善		
平成1	7~19年度	の方向性							委託等		
								縮	<u>小</u>		
									終期設定		
								発 止	/ 休 止		
2 次 評	<sup>7</sup> 価 委 員 会	:コメント	指定管	管理者制度導入も	含め委託先	・委託内容の拡大を検	討してください	lo.			

( P	기 마 글	∮撈)	事 業	<u> </u>	43101	180				部	区	次	長 課	攴
平	成15	年度	事	業名	県公社	社住宅管理業務								
	-70	1 /~	•		,,,,,,	OH-12KW								
4	ᆂᆠ	K 101 3	#											
			要(ドゥ)		4	加油でふるかいの	キュ 打士 づくい					Z <del>=)</del> = Π 立Γ		
	3 次尸 合 言			りの目標 中		快適でうるおいの 安全で快適な生活				所(	<b>管</b> 課	建設部住宅課		
	策			<u>中</u> 小	Ŭ	<u>ダェで区週なエル</u> 住宅の整備	基盤の元夫			도도 손속 ==	巨丘夕	中尾育	<u>=</u>	
	來』	U 來 系		<u>小</u> 細	1	住七の霊権						西岡 周		
体事		業	斯		昭和4	/任 ~	経常臨時	☑ 経常 □	防井			0797-38-		2872
根	‡bn.					<del></del>	<b>淮市咖时</b>		民間中立		主体		2020 円板	2012
実	المر	施	<del>~ 3</del>					□ 全部委託	:		<u></u>		負担金	
委		שונו	 託	,			名称 (財) 芦屋市都市				託内容		只正亚	
_			но			社住宅の居住性の信		E18211		3 H D 3	ם ניוטם			
事	i	業	Ø	概 要			它の改修等を芦屋市都市	整備公社に委託	もしている	3				
		-15		1-70		, , , , , ,				_				
					・管Đ	型戸数 68戸								
					・各詞	2備の保守点検								
事	į	業	の	現 状	・各国	団地(各戸)の小(	多理							
					・空縁	家住宅の改修								
		目的第	実現のため	ത										
	2	手段及	ひ実施内	]容										
						の維持補修予定件数				ı				
	クテ		活動指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度		平成 1	6 年度 (	(目標)	平成17年度(	(目標)
指		標	/H±01H1W	指標値			15件	19件			19件			
				単位コスト			290千円	560千日	<del>"</del>		432千円	]		
						の維持補修件数			/	- n -		. = 1= .		
	ウトフ		結果指標		半成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度		半成 1	6年度(	(目標)	平成17年度	(目標)
指		標		指標値			15件	19件			19件			
_	ᆂᆚ	¥ <del>- 1</del>	日/マ <b>ナ</b> リ	単位コスト			290千円	560千月	<del>၂</del>		432千円	j		
	争身	長り入え	果(アウ)	·//A)	ı									
			対	象	公社信	主宅入居世帯数								
重	業の	日的	対象力	バー率	対 象	· 数 (a)	68戸 受益数	t (b)	68戸	H	<b>率</b> (h	÷ a) %	100.00%	6
	象・意		X) % //	/\ <u>+</u>	V) %	( <b>x</b> (a)		x (b)	00)	LC	<del>+</del> (b	- a) /u	100.007	0
V.1	30		意	ভ	小なれ	主宅の居住性の保持	キ 施設の維持							
				と語にして)	Δ II I	工-00/日 [[[[]]]] [[]]	0 , 1161X 07 WE 1 0							
			(),18(2)	Ludie o C)										
大	;	き	な	目 的	良好な	な住宅環境の維持								
				指標 名	修繕	率								
			中間	考え方・式	苦情	・要望からみた満足	足度の割合(%)							
			成果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成17年度(	(目標)
ア	ウト	カム		指標値			100½	100 <sup>1/-</sup>	-		100だー			
指		標		指標 名										
			最 終	考え方・式				-						
			成果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成17年度(	(目標)
				指標値										
芦		の	特色	となど										
	座													
_		I	\	/\ / - <del>-</del> - :							11.11		<b>—</b> n .	
				分(コスト				1世帯当り(円)			当り(円)	L	平成16.4.1 住民	基本台帳
3	事第	業	費	構成%	平成	1 3年度(決算)	平成14年度(決算)	1世帯当り(円) 平成 1 5 年度	(決算)		当り(円) 6 年度(	L	平成16.4.1 住民	基本台帳
	事第	業	費 件 費	構成% 29.7%	平成	13年度(決算)	0		(決算) 3,165			(予算) -	平成16.4.1 住民	基本台帳_
事	事業	業 人 事	費     件   費     業   費	構成% 29.7%	平成	13年度(決算)	_		(決算)			L	平成16.4.1 住民	基本台帳
事内	事業	業 人 事 他部	費     件   費     業   費     び門経費	構成% 29.7%	平成	1 3年度 (決算)	0		(決算) 3,165			(予算) -	平成16.4.1 住民	基本台帳
事内	訳(千円)	業 人 事 他部 減 価	件 費 業 費 経費 債 却費	構成% 29.7% 70.3%	平成		0 4,346		(決算) 3,165 7,484			(予算) - 8,216 - -	平成16.4.1 住民	基本台帳
事内	訳	業 人 事 他 減 <b>合</b>	費件 費 費	構成% 29.7% 70.3% <b>100.0%</b>	平成	1 3年度(決算)	0		(決算) 3,165			(予算) -	平成16.4.1 住民	基本台帳
事 内 ( 千	訳行円)	業 人事 他減 <b>合</b> 国	件 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	構成% 29.7% 70.3% 100.0%	平成		0 4,346		(決算) 3,165 7,484			(予算) - 8,216 - -	平成16.4.1 住民	基本台帳
事内(計財	事第 訳	業 人事他減 <b>合</b> 国市	件 費費費費	構成% 29.7% 70.3% <b>100.0%</b>	平成		0 4,346		(決算) 3,165 7,484 <b>10,649</b>			(予算) - 8,216 - - <b>8,216</b>	平成16.4.1 住民	基本台帳
事内(計財	事業 訳 ( ) 源 ( ) [ ]	業 人事他減合国市そ	費費       件     費費       専費     費       直     計       ・     県       の     他	構成% 29.7% 70.3% <b>100.0%</b>	平成	0	4,346 4,346		(決算) 3,165 7,484 <b>10,649</b>			(予算) - 8,216 - - <b>8,216</b> 8,216	平成16.4.1 住民	基本台帳
事 内 ( 財 ( )	事 訳 (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F)	大事他減合国市そー	<ul><li>費費費費</li><li>・ は</li></ul>	構成% 29.7% 70.3% <b>100.0%</b>	平成		4,346 4,346		(決算) 3,165 7,484 <b>10,649</b> 10,649			(予算) - 8,216 - - <b>8,216</b>	平成16.4.1 住民	基本台帳
事 内( 財( 活	事(新) (新) (新)	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	費費費費 計県等他 W 財源	構成% 29.7% 70.3% <b>100.0%</b> 100.0%	平成	0	4,346 4,346 4,346 0.00		(決算) 3,165 7,484 <b>10,649</b> 10,649 0			(予算) - 8,216 - - 8,216 8,216 0	平成16.4.1 住民	基本台帳
事 内	事(新) (新) (新)	業 人事他減合国市そー 職嘱	<ul><li>費費費費</li><li>・ は</li></ul>	構成% 29.7% 70.3% 100.0% 100.0%	平成	0	4,346 4,346		(決算) 3,165 7,484 <b>10,649</b> 10,649			(予算) - 8,216 - - 8,216 8,216 0	平成16.4.1 住民	基本台帳

	皿(テェック)					**/#~ L				I	
評		見点	_	16		評価チェック				1次評価	2次評価
<b>=</b>	対象カバー			対象カバー率は		□他団体と同程度		□ 他団体よりカバー率7			
有	受益者(1~	1)		事業意図と受益				合,または受益が一部に限	还		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	1 1	P間成果指標の ☑ 実績値から成		起し,目標値を設定してい こいると言える		こは目標値か未記人 ら成果があがっていると言え	えない	4	4
性	- 成果向上余	th/1~ 1\	成果	!があがっていな	い場合						
4点	一版来问工术	יו) טיי		<b>艾果向上策あり</b>					特になし		
			☑ H	比較できる団体だ	<b>がある</b>	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はない	, 1		
	活動配分(1	~ 1)		也団体の数字を		活動配分	<u>.</u>	☑ 把握していない			
	/ロ宝川日じノ」(「	')	<b>→</b>	□ 他団体より	少ない	□ 他団体と同程度		□ 他団体より多い			
効				,または少ない:							
			☑ t	比較できる団体だ	<b>がある</b>	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はない	, 1		
	単位コスト(1	~ 1)	∏ ft	也団体の数字を	把握している	単位コスト		☑ 把握していない			
率	十四コスパ	'')	<b>→</b>	□ 他団体より:	コストが低い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	l I	-3	-5
			高い	,または低い場	合の理由					-3	-5
			直営	(正規職員が執	行)または外	郭団体へ委託している業	務について				
	手段(1~ 3	٥١		<b>亍政職員による</b> 韓	丸行が義務づ	けられている	□ 個人,家庭	፪,地域等が担うべき部分が	<b>ゞある</b>		
性	J-FX(1~ 3	)		民間(企業 , NPO	等)では対応	できない業務である	☑ 民間(企業	, NPO等)で対応可能であ	る		
4点				属託,臨時職員等	等では対応で	きない業務である	☑ 嘱託,臨時	<b>持職員等で対応可能である</b>	1		
	コフト当小成町	双組(1~ 1)		コスト削減の取り	組みを行って	いる	☑ 特に行って	こいない			
	コスト円が成れ	X 和丑( 1 ・ 1 )	•	内容							
亚成	15~16	年度に				改善			総合	_	7
実施	1 5 ~ 1 6 した改	善内容	課題			内容			評価	B	В
	<del>// - \   - / -</del>										
5 今後	<u> 後の対応(ア</u>	<u>クション)</u>		3L 10 66 13 # 4	1° = 10 = 1.1	1 - 1. 1%+mpr + -					
TD +- +	371 ±40 1 1	, <b>,</b> += ==				ナるかが課題である。 - ファル・ルンだと悪不	+ >				
块 仕 記		18脒超			-	アフリー化)が必要で	<i>ග</i> රිං				
<b>本兄 問</b>	係者 市民,関	仮字の夕称		者等に配慮した	こ注七以形で	必安である。					
からの	音目 10 尺,底	は日の日か									
声 胡	意見意見,	要望内容									
× ±	,,										
	(1)	対応内容									
		実施期限	平成	年	月						
課題·要		対応内容		·							
へのタ	(2)	実施期限	平成	年	月						
	(2)	対応内容	•	•							
	(3)	実施期限	₩.								
		夫加朔സ	十八人	年	月						
その他	考えられる										
	アイデブ										
K = V	0 7 1 7 7							今後 の	方向性	1 / / = 1 / 画	2.7左≐亚/亜
									· 充 実		2 从計画
									維持		
									改善		
亚成1	7 ~ 1 9 年度	の方向性							委託等		
T 13%	/ 1 7 <del>+ 1</del> 2							縮	<u>女 記 寸</u>		
									<u>小</u> 冬期設定		
									/ 休 止		
									, W T	1	j
2 次 評	· 価 委 昌 会	コメント	指定管	理者制度道入:	<b>ち含め季託先</b>	・委託内容の拡大を検	討してください	•			
- // 41	,,,, , , , ,	-,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	H 1931X-17/ \	— — -> ж но/с	, A101311 VIII/(C1X		•			

(内部	事	務)	事業	コード	4310	200			部 長次	大 長課 長
ਜ਼ ਦੇ 4		т æ	=	** 57	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	日企老田企宜答理	<b>ドン</b> り			
平成1	151	中度	争	業名	(征則)	居住者用住宅管理第	美撈			
1 重	攀	概引	要(ドゥ)							<u>'</u>
				りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			建設部
総合				中		安全で快適な生活				主宅課
政策	施	策		<u>/</u> \\		住宅の整備			所管課長氏名中	
体	. ,,,	系		<u>,</u> 細	<u> </u>	正砂亚丽			記入者氏名四	
事		業	期		平成		経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号0	
根が						'' 市街地整備総合支持			実施主体芦	
実		施	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金	
<u>~</u> 委		שונו	 託	,_,			名称 (財) 芦屋市都市		委託委託内容	
У.			ПU	70			主宅市街地整備総合支援			
事	当	£	Ø	概 要			ェモロビルを 開巡台文版 居住性の保持,施設の維		am III-C	
<b>尹</b>	7	₹	0)	「 安	1				2	
							宅の改修等を芦屋市都市	<b>登補公社に安託している</b>	5	
						理戸数 99戸・駐車	!场 4/台			
_	31	ız		TD 4.6		設備の保守点検	<b>₽</b> TIII			
事	身	Ě	Ø	現 状		団地(各戸)の小値	<b>沙</b> 埋			
	_			_	・空	家住宅の改修				
			実現のため							
	∃	<b>上</b> 段及	及び実施内	]容						
						の維持補修予定件数				
アク	テ・	ィブ	活動指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目	目標) □平成17年度(目標)
指		標	/U=//]D'\X	指標値	<u> </u>		18件	23件	23件	
				単位コスト			397千円	385千円	301千円	
				指標 名	施設	の維持補修件数				
アウト	トプ	ット	結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目	目標) 平成17年度(目標)
指		標	和木田东	指標値	i		18件	23件	23件	
				単位コスト			397千円	385千円	301千円	
2 事	業	成	果(アウト	カム)					•	•
			<del></del>	4	~ <u>~</u>		<b>₩</b> ₩			
			対	家	(促削)	居住者用住宅入居t	<b>些帝</b> 数			
事業	のほ	目的	対象力	バー率	対 🖠	於数 (a)	99戸 受益数	女 (b) 99戸	比 率 (b ÷	a) % 100.00%
対 象	・意	医圆				•		'	<b>'</b>	
			意	図	従前.	居住者用住宅の居住	主性の保持,施設の維持			
			(対象を主	主語にして)						
			·							
大	ㅎ	5	な	目 的	良好	な住宅環境の維持				
				指標 名	改修:	 率				
					_		た満足度の割合(%)			
			成果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目	目標) 平成17年度(目標)
アウ	<b>ト</b>			指標値		· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	100%	100%	100%	
指	' '	標		指標名			1006)	100621	1006)	<b>L</b>
, H				考え方・式						
			成果指標			13年度(宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度(宝績)	平成16年度(目	目標) 平成17年度(目標)
				指標値		13十及(天順)	7,3、「十一及(天順)	73,13 干及(天順)	1 /3% 1 0 <del>1</del> /3% (	
				기타 기ボ IIC	1					
芦	层	の	特色	きなど						
_ '	=	0)	10 🗆	5 /A C						
2 重	<u>₹</u>	弗.	:千香h而]。	分(コスト	\			1世帯当り(円) 229	住民1人当り(円)	99 平成16.4.1 住民基本台帳
<u>ュ ま</u>	<del>-</del> → <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del>	業	費			1 2 年度 / 注管 \	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)		
#		<u>未</u> 人				13年及(八年)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1,757	十八八十八八八十八八八十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	1· <del>4·</del> )
	-	<u>^</u> 事						·		6,930
_			業 費				7,144	7,105		6,930
	_									-
(十片	-		貸却費			•	7 4 4 4	0.000		6.020
	_	<u>合</u>	計			0	7,144	8,862		6,930
D-+	-	国	・ 県							
財化の			債 等					0.000		6.020
(千円	_		の他					8,862		6,930
`~	_		段 財源			0	7,144	0		0
	動		員				0.00	0.20		-
			·臨時等				0.00	0.00		-
( <b>J</b>	) 1	=	計	100 0%		0.00	0.00	0.20		0.00

	叫(アエック)										
評		見 点					リスト			1次評価	2次評価
	対象カバー			対象カバー率は高		□ 他団体と同程度		□ 他団体よりカバー率			
有	受益者(1~	1)		事業意図と受益者				合,または受益が一部に降	艮定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	1 1	中間成果指標の第 実績値から成		し,目標値を設定してい いると言える		とは目標値が未記入 ら成果があがっていると言え	えない	4	4
性	世田白 LA	±₩/4 4\	成身	果があがっていない	/場合						
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)		成果向上策あり					特になし		
			<b>V</b>	比較できる団体が	ある	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はな	l I		
	ンズチャエフノンノム	41		他団体の数字を把	2握している	活動配分		☑ 把握していない			
	活動配分(1	~ 1)	<b>-</b>	□ 他団体より少	ない	□ 他団体と同程度		□ 他団体より多い			
効			多し	ハ,または少ない場	場合の理由						
			<b>V</b>	比較できる団体が	ある	団体名 阪神7市		□ 比較できる団体はな	l I		
	×///	4\		他団体の数字を把	2握している	単位コスト		☑ 把握していない			
	単位コスト(1	1~ 1)	<b>└</b>	□ 他団体よりコ	ストが低い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	i۱۱	2	_
率			高い	ハ,または低い場合						-3	-5
				•		3団体へ委託している業	務について				
				行政職員による執	行が義務づけ	けられている	□ 個人,家園	匡,地域等が担うべき部分:	がある		
性	手段(1~ :	3)		民間(企業, NPO等	 等)では対応で	きない業務である	☑ 民間(企業	, NPO等)で対応可能であ	ි බ		
4点				嘱託, 臨時職員等				持職員等で対応可能である			
7,11,			П	コスト削減の取り組			<ul><li>☑ 特に行って</li></ul>				
	コスト削減取	双組(1~ 1)		内容							
平成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	課題			改善			総合評価	В	В
夫 旭	U IE EX	善 內 谷				内容			a₩1∭		
5 今後	後の対応(ア	クション)								l	
	2007/37/01 (7	,,,,,									
現在詞	忍識してい	ハる 課 題	空家记	火修等,経費をどの	の程度かける	かが課題である。					
市民,関	係者 市民,関	係者の名称									
からの	意見。	<b>=</b> + + +									
要望	意見意見,	安望内容									
	(1)	対応内容									
		実施期限	平成	年	月						
課題·要	(2)	対応内容									
へのタ		実施期限	平成	年	月						
		対応内容			1 1, 2						
	(3)										
		実施期限	半成	年	月						
7.0.45	*	,									
	考えられる										
改善 0	カアイデフ	<b>′</b>						A 14. 0	· <del></del>		- N- +T /T
									方向性		2次評価
									· 充 実		
									維持		
<del></del>	- 404	- ~ 44							改善		
平成1	7~19年度	の方向性							委託等		
								縮	<u>小</u>		
									終期設定		
								発 止	/ 休 止		
2 次 評	<sup>7</sup> 価 委 員 会	:コメント	指定管	管理者制度導入も	含め委託先	・委託内容の拡大を検	討してください	lo.			

( —	般	事業)	事業	コ <b>-</b> ド	43100	)30			部 長次	長課長
ᄑ	t 1 1	5年度	車	業名	性宁位	憂良賃貸住宅家賃	分等油助			
T 14	χ · .	十反	<del>7</del>	未 口	17 AE 18	夏以貝貝吐七小貝。				
1	事	業概	要(ドゥ)							
第3	次产	≐屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり		上	
総	合	計画		中	3	安全で快適な生活	基盤の充実		→所 管 課 住宅・都	3市整備公社担当
政	策	施策		小	1	住宅の整備			所管課長氏名山田 昌	ΙΞ
体		系		細					記入者氏名山田	ΙΞ
事		業	期		平成 8	8年度~30年度	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38	-2110 内線 4280
根	拠	法	令 ' 5	要綱等	特優質	<b>手供給の促進に関</b>	する法,特優賃制度実施		実施主体市	1 2
実	,,,_	<u>··</u> 施	<u>`</u>					☑ 全部委託		負担金
委		.,,,	<del></del> 託			<u> </u>	名称   芦屋市都市整備公		間委託 委託 内容	×1-m
									るようにするため,契約家1	雪と入居者負扣額の差額
事		業	Ø	概 要			[1/2~2/3負担]が補助す			
7		*	•,	19%		•	·		契約家賃に達するまで(20年	限度)
						重の受けれる新聞		2八石百兵三圣吨6579	で	-rkix)
事		業	Ø				, ,	Ͱスが気年)足耂色切筋	が3.5%ずつ増加する分,補I	カ松菊 小浦 小オス
7			ま現のため						が3.5%すり増加するが, 柵が ある1戸当り月平均補助金は	-
					(平成	,13年及八店有切り	(八フノクは補助金の取)	ヘフンクか90%,補助のす	かる「アヨリ月平均補助金」。	は94.5万円となっている。
		于较加	及び実施内	一						
				+12 +# -	<u></u>					
				指標名			亚武 1 4 左连 / 克/捷 、	立式15左斉(ウは)	立式10年、10年、	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
l			(1)	指標値		146戸	146戸	146戸	146戸	146戸
	<b>ノト</b> :	プット		単位コスト						
指		標		指標名				1		
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			(2)	指標値		139戸	133戸	123戸	136戸	136戸
				単位コスト	6	627,474円/戸	602,015円/戸	558,575円/戸		
2	事:	業成果	果(アウ	<u> </u>						
			対	象	中堅的	听得者屋の所得に	応じた適正な負担で優良	む賃貸住宅を求めてい	る人	
			_							
				バー 率	対 象	、数 (a) 1	4 6 戸 受 益 数	文 (b) 123戸	比 率 (b ÷ a) %	84.25%
対	象・	意 図			酒白#	か見明佳俊介字を	曲かす			
			意	図	所得!	な民間賃貸住宅を こ応じた適正な入り	頃です。 居者負担となるよう契約	家賃と入居者負担額の	差額を市・国が補助する。	
			(対象を3	主語にして)						
大		き	な	目 的	中堅原	所得者層が居住す	るための優良な賃貸住宅	8を供給する。		
					年間立	平均入居戸数				
						平均入居戸数				
ア「			中間成果	指 標 名 考え方・式		平均入居戸数 13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
41-	<b>ウト</b>	カム	中間成果 指 標	指標名 考え方・式	平成		平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 1 2 3 戸	平成16年度(目標) 136戸	平成17年度(目標) 136戸
指	<b>ウト</b>		中間成果 指 標	指 標 名 考え方・式 年 度	平成	13年度(実績)			` ′	
指	<b>う</b> ト	カム	中間成果 指 標	指標名 考え方·式 年度 指標値	平成	13年度(実績)			` ′	
指	ウト	カム	中間成果指 標	指 標 名式·式度	平成	13年度(実績)			136戸	
指	ウト	カム	中間成果指 標	指標名式·式度 指標標名 指標標名式 考え方·式	平成	13年度(実績)	133戸	123戸	136戸	136戸
指	ウト	カム	中間成果指 標	指標	平成	13年度(実績)	133戸	123戸	136戸	136戸
		カム標	中間成果 標 最終成果 指 標	指標	平成	13年度(実績)	133戸	123戸	136戸	136戸
		カム標	中間成果 標	指考え方· 年指指表方· 標標方· 標標方· 標標 行 標 標 方 の の の の の の の の の の の の の の の の の	平成	13年度(実績)	133戸	123戸	136戸	136戸
	量市	カム 標 の特も	中間成果 指 最終成果 指 を を を を を を を を を を を を を を を も を も と を も と を も と を も と も と	指考年 年指表 年 標標方・ 度値名式度値 事	平成	13年度(実績)	133戸	123戸平成15年度(実績)	136戸	136戸
芦屋	量市	カム 標 の特も	中間成果 指 最終成果 指 を を を を を を を を を を を を を を を も を も と を も と を も と を も と も と	指表え方・ 年 指 標 標 点 方・ 年 標 標 標 点 方・標 標 標 点 方・ 年 は ま る ま ま す る は スト	平成平成))	13年度(実績) 139戸 13年度(実績)	133戸	123戸平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	136戸平成17年度(目標)
	量市	カム 標 の特 <b>2</b>	中間成果標 最終成果標 名ど補尿 活動配費	指表え方・ 年 指指表え 標標 標	平成平成))	13年度(実績) 139戸 13年度(実績)	133戸平成14年度(実績)	1 2 3 戸 平成 1 5 年度 (実績)	136戸 平成16年度(目標) 住民1人当り(円) 767	136戸平成17年度(目標)
芦屋	量市	カム 標 の特 <b>2</b>	中間成果 指 最終成果 指 をざ補尿 活動配	指考え 年 指 指 考 年 指 指 表 オ 標 標 市 方・標 標 恵 オ 東 で は 東 で か は 本 で は 本 で は か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	平成平成))	13年度(実績) 139戸 13年度(実績)	133戸平成14年度(実績)	1 2 3 戸 平成 1 5 年度 (実績)	136戸 平成16年度(目標) 住民1人当り(円) 767	136戸平成17年度(目標)
芦厚 3 事	事	カム標の特色	中間成標 最終指 を 活動 で は が は が は が は が は が は が は り は り は り も り も り も り も り も り も り も り	指考え 年 指 指 考 年 指 指 表 オ 標 標 市 方・標 標 恵 オ 東 で は 東 で は 東 で か は で は 東 で か に は か に か に か に か に か に か に か に か に か	平成平成))	13年度(実績) 139戸 13年度(実績) 13年度(実績)	133戸 平成14年度(実績) 平成14年度(決算)	123戸 平成15年度(実績) 1世帯当り(円) 1,773 平成15年度(決算)	136戸 平成16年度(目標) 住民1人当り(円) 767 平成16年度(予算)	136戸平成17年度(目標)
<b>芦</b> 3 事	事	カム標の特色業人事他部	中間成標 最終指 を 活動 は が が が れ に は が は が れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ	指考え 年 指 指 考 年 指 指 表 オ 標 標 市 方・標 標 恵 オ 東 で は 東 で は 東 で か は で は 東 で か に は か に か に か に か に か に か に か に か に か	平成平成))	13年度(実績) 139戸 13年度(実績) 13年度(実績)	133戸 平成14年度(実績) 平成14年度(決算)	123戸 平成15年度(実績) 1世帯当り(円) 1,773 平成15年度(決算)	136戸 平成16年度(目標) 住民1人当り(円) 767 平成16年度(予算)	136戸平成17年度(目標)
<b>芦</b> 3 事	事	カム標の特色	中間成標 最指 を 活動 の は が は が は が は が は が れ に れ に れ い る り る り る り る り る り る り る り る り る り る	指表え方・現標 標 表 表 表 ま 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 項 か ( コスト	平成平成	13年度(実績) 139戸 13年度(実績) 13年度(実績) 87,219	平成14年度(実績) 平成14年度(決績) 平成14年度(決算) 80,068	1 2 3 戸 平成 1 5 年度 (実績) 1世帯当り(円) 1,773 平成 1 5 年度 (決算) 68,705	136戸 平成16年度(目標) 住民1人当り(円) 767 平成16年度(予算) - 73,234	136戸平成17年度(目標)
<b>芦</b> 3 事	事	カーの業人事他減合	中間成標 最指 を 活動 で は が は が は が は が は が れ に れ に れ り し り し り し り し り し り し り し り し り し り	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1 は	平成平成	13年度(実績) 139戸 13年度(実績) 13年度(実績) 87,219	平成 1 4 年度 (実績) 平成 1 4 年度 (決算) 平成 1 4 年度 (決算) 80,068	1 2 3 戸 平成 1 5 年度 (実績)  1世帯当り(円) 1,773 平成 1 5 年度 (決算)  68,705	136戸 平成16年度(目標) 中成16年度(予算) 平成16年度(予算) - 73,234 - - 73,234	136戸平成17年度(目標)
3事内(千	事	カケックを大事の大事のは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	中間成標 最指 を 動	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の100.0% 100.0% 48.8%	平成平成	13年度(実績) 139戸 13年度(実績) 13年度(実績) 87,219	平成14年度(実績) 平成14年度(決績) 平成14年度(決算) 80,068	1 2 3 戸 平成 1 5 年度 (実績) 1世帯当り(円) 1,773 平成 1 5 年度 (決算) 68,705	136戸 平成16年度(目標) 住民1人当り(円) 767 平成16年度(予算) - 73,234	136戸平成17年度(目標)
	事 新 新	カケックの一般の大学を表現である。	中間 成成 成成 が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	指標 名式度 指標	平成平成	13年度(実績) 139戸 13年度(実績) 13年度(実績) 87,219	平成 1 4 年度 (実績) 平成 1 4 年度 (決算) 平成 1 4 年度 (決算) 80,068	1 2 3 戸 平成 1 5 年度 (実績)  1世帯当り(円) 1,773 平成 1 5 年度 (決算)  68,705	136戸 平成16年度(目標) 中成16年度(予算) 平成16年度(予算) - 73,234 - - 73,234	136戸平成17年度(目標)
3事内(千	事 新 新	カの業人事他減合国市そ	中間 成成 成成 を が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	指標 名式度値 名式度値名式度値 名式度値名式度値 名式度値 100.0% 48.8%	平成平成	1 3年度(実績) 1 3 9戸 1 3年度(実績) 1 3年度(決算) 87,219 87,219 42,185	平成 1 4 年度 (実績) 平成 1 4 年度 (決算) 80,068 80,068 39,098	1 2 3 戸 平成 1 5 年度(実績) 1世帯当り(円) 1,773 平成 1 5 年度(決算) 68,705 68,705	136戸 平成16年度(目標)	136戸平成17年度(目標)
芦     3       事     内()       財()	事事	カの業人事他減合国市そー	中指 最指 な 活 件業門償 ・債の財果標 果標 補 配費費費費計県等他源	指標 名式度値 名式度値名式度値 名式度値名式度値 名式度値 100.0% 48.8%	平成平成	13年度(実績) 139戸 13年度(実績) 13年度(実績) 87,219	平成 1 4 年度 (実績) 平成 1 4 年度 (決算) 平成 1 4 年度 (決算) 80,068	1 2 3 戸 平成 1 5 年度 (実績)  1世帯当り(円) 1,773 平成 1 5 年度 (決算)  68,705	136戸 平成16年度(目標) 中成16年度(予算) 平成16年度(予算) - 73,234 - - 73,234	136戸平成17年度(目標)
	室事 新門 新門 新門 一動	カの業人事他減合国市そ一職	中間 成成 成成 を が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	指標 考え方・ 指標標 指標標 指標標 指標標 では では がは 100.0% 100.0% 48.8%	平成平成	1 3年度(実績) 1 3 9戸 1 3年度(実績) 1 3年度(決算) 87,219 87,219 42,185	平成 1 4 年度 (実績) 平成 1 4 年度 (決算) 80,068 80,068 39,098	1 2 3 戸 平成 1 5 年度(実績) 1世帯当り(円) 1,773 平成 1 5 年度(決算) 68,705 68,705	136戸 平成16年度(目標)	136戸平成17年度(目標)

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1次部/画	2次評価
PT	IЩ 176 5		「八計画	2.从計画
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	, ,	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	∃ <b>-2</b> ∣	-2
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握	_	_
性	,	□ 数字で把握している □ 未把握		
8点		□ 重要に関わる社会環境の変化に適応している。 □ 社会環境の変化にあわせた目直しが必要		
Om	社会環境変化(1~1)	内容:近傍家賃調査による契約家賃の見直し		
		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)			
ы	文画有(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定 □ 申問は思い歴の内はほよが思し、日本はよれる□ □ のはほよれる□ □ のはほよれる□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_	
効	成果の実績(2~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1	2
	` ,	▶ □ 実績値から成果があがっていると言える ☑ 実績値から成果があがっていると言えない	- "	_
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	,	□ □ 成果向上束あり 契約家員の見直し、入居者員担額への補助による減額 □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	│ │ │ 他団体の数字を把握している   単位コスト		
効	キロコヘー(1・1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由	]	
	五 <u>十</u> 十九日(0 )	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	□ ・ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	4	0
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>-</b> 1	-2
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~ 1	<ul><li>□ コスト削減の取り組みを行っている</li><li>□ 特に行っていない</li><li>内容 近傍家賃調査によるオ・ナ・との契約家賃見直し協議を実施</li></ul>		
平 成	15~16年度に	人居率の向上   賃貸専門業者に入居者あっせんを委託   総合	<b>D</b>	<b>D</b>
実 施	1 5 ~ 1 6 年 度 li した改善内 名	内容 内容	D	D
- 4	<b>4 の社庁 (フカン・-&gt; ハ</b>			
5 今後	<b>多の対応(アクション)</b>			
		入居率の向上のため		
	<b>後の対応(アクション)</b> 認 識 し て い る 課 是	更 契約家賃の見直し		
現在意	認識している課題	夏 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額		
現在 請市民,関	認 識 し て い る 課 是	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 が市会議員		
現在 請市民,関	認 識 し て い る 課 是	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 が市会議員		
現在 請市民,関	認 識 し て い る 課 是	夏 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額		
現在 請市民,関	認識している課題 高係者 市民,関係者の名称意見 意見,要望内名	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 水市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。		
現在 請市民,関	認識している課題 高係者 市民,関係者の名称意見 意見,要望内名	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 が市会議員		
現在 請市民,関	認識している課題 原名 市民,関係者の名称意見 意見,要望内名 対応内容	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市合議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中		
現在 請市民,関	図 識 している課 是 原係者 市民,関係者の名称 意見 第 見,要望内名 対応内容 実施期所	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中		
現在 請市民, 関から 望	図 識 している課 是 原係者 市民,関係者の名称 意見 第 見,要望内名 対応内容 実施期所	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中		
現在 請市民, 関から 望	認識 している課 是 (1) 対応内容 (2) 対応内容	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 が 市会議員 四 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 日 平成 17 年 3 月		
現在は、関の望います。	認識している課題 原係者 意見 等 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 日 平成 17 年 3 月 空家対策として入居者負担額の減額の実施		
現在は、関の望います。	認識している課題 原係者 意見 等 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 が 市会議員 四 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 日 平成 17 年 3 月	UTINS	
現在は、関の望います。	認識 している課 是 引係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期所 対応内容 実施期所 (2) 対応内容	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 日 平成 17 年 3 月 日 空家対策として入居者負担額の減額の実施 日 平成 16 年 9 月 日 毎年入居者負担額が3.5%ずつアップする等の特優賃制度の改善を兵庫県を通じて各市とともに国に要求	していく。	
現在は、関の望います。	認識 している課 是 原係者 市民,関係者の名和 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 日 平成 17 年 3 月 日 空家対策として入居者負担額の減額の実施 日 平成 16 年 9 月 日 毎年入居者負担額が3.5%ずつアップする等の特優賃制度の改善を兵庫県を通じて各市とともに国に要求	UTI14,	
現在に関の望課のです。	認識 している課 是 引係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期所 対応内容 実施期所 (2) 対応内容	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 日 平成 17 年 3 月 空家対策として入居者負担額の減額の実施 日 平成 16 年 9 月 毎年入居者負担額が3.5%ずつアップする等の特優賃制度の改善を兵庫県を通じて各市とともに国に要求	UT61<	,
現市か要課のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 平成 17 年 3 月 空家対策として入居者負担額の減額の実施 平成 16 年 9 月 毎年入居者負担額が3.5%ずつアップする等の特優賃制度の改善を兵庫県を通じて各市とともに国に要求 平成 年 月 入居対象者を増やすため,単身者の入居基準を設定して認めていく。	UTI14,	,
現市か要課のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	型 契約家賃の見直し 入居者負担額の補助による減額 市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 17 年 3 月 空家対策として入居者負担額の減額の実施 平成 16 年 9 月 毎年入居者負担額が3.5%ずつアップする等の特優賃制度の改善を兵庫県を通じて各市とともに国に要求 平成 年 月 入居対象者を増やすため, 単身者の入居基準を設定して認めていく。 入居対象者を増やすため, 入居者の収入基準の引き下げ。。		
現市か要課のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	型 契約家賃の見直し	1次評価	
現市か要課のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	型 契約家賃の見直し	1次評価	
現市か要課のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識している課題 原係者 市民,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	型約家賃の見直し 人居者負担額の補助による減額 が市会議員 国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。 契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中 平成 17 年 3 月 空家対策として入居者負担額の減額の実施 平成 16 年 9 月 毎年入居者負担額が3.5%ずつアップする等の特優賃制度の改善を兵庫県を通じて各市とともに国に要求 平成 年 月 入居対象者を増やすため,単身者の入居基準を設定して認めていく。 入居対象者を増やすため,入居者の収入基準の引き下げ。。 今後の方向性 オ・ナ・との20年間の一括借り上げ契約書がある限り,特優賃の廃止は困難と考えられる。 これから契約家賃の減額や空家対策を通じて市(公社)の損失をいかに少なくするかの努力 現 状 維 邦	1次評価	
現 市か要 課 の の の あ 他 の の も 他 の も の も 他 の も の も の も の も の も	認識 している課題 引係者 意見,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	型約家賃の見直し入居者負担額の補助による減額  「市会議員  国への特優賃制度の改善を要求すること。早急に契約家賃の見直しと空家対策を実施すること。  契約家賃の見直しを平成15年12月からオ・ナ・と協議中  「中成 17 年 3 月  「空家対策として入居者負担額の減額の実施 「中成 16 年 9 月  「毎年入居者負担額が3.5%ずつアップする等の特優賃制度の改善を兵庫県を通じて各市とともに国に要求  「中成 年 月  「入居対象者を増やすため、単身者の入居基準を設定して認めていく。 「入居対象者を増やすため、人居者の収入基準の引き下げ。。  「中 「 「 「 」 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	上 1次評価	
現 市か要 課 の の の あ 他 の の も 他 の も の も 他 の も の も の も の も の も	認識 している課題 引係者 意見,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	理 契約家賃の見直し	1次評価	
現 市か要 課 の の の あ 他 の の も 他 の も の も 他 の も の も の も の も の も	認識 している課題 引係者 意見,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	理 契約家賃の見直し	1次評価	
現 市か要 課 の の の あ 他 の の も 他 の も の も 他 の も の も の も の も の も	認識 している課題 引係者 意見,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	理 契約家賃の見直し	1次評価	
現 市か要 課 の の の あ 他 の の も 他 の も の も 他 の も の も の も の も の も	認識 している課題 引係者 意見,関係者の名称 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	理 契約家賃の見直し	1次評価	
現 市か要課 へそ改平在 民 ら題 の の善 成1 使 の望要 う 他 の	認識している課題 原子 (1) 対応内容 (1) 対応内容 実理等 (2) 対応内容 実施内容 (3) 対応応期的 (3) 対応応期的 (3) 対応施期的 である。 である。 である。 でする。 では、第一のでは	理 契約家賃の見直し	1次評価	
現 市か要課 へそ改平在 民 ら題 の の善 成1 使 の望要 う 他 の	認識している課題 原子 (1) 対応内容 (1) 対応内容 実理等 (2) 対応内容 実施内容 (3) 対応応期的 (3) 対応応期的 (3) 対応施期的 である。 である。 である。 でする。 では、第一のでは	理 契約家賃の見直し	1次評価	

(内部	事務)	事業	コード	1270	020			部長次	長課長
平成15	年度	事	 業 名	公益	灯の新設・改良・約	維持管理			
		要(ドゥ)	100		活気あふれる豊か	た生活理培べてい		7-4-≐0 07	
第 3 次 F			りの目標 中		安全と防災の確保			所 管 課 建設部 道路課	
政策			· 小		防犯対策の推進				明日出
体	系		細						政夫
事 根 拠	業 法				法第42条	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-3 実 施 主 体 市	8-2062 内線 2812
実	施	手			<del>////////////////////////////////////</del>	☑ 一部委託	□ 全部委託		〕負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称	□民間	委託 委託 内容	
事	業	Ø	概 要	交益:	灯の新設・改良・維持	持管理を行なう			
事		の 実現のため ひび実施内	ത	・公 ・市 ・上 ・公	益灯の球切れについ 内を4つの区域に分記による点検や市E 益灯箇所数 5 7 元 平均設置間隔 3 元	いては、年間契約を結び 分け,月2回夜間に公益 民からの通報による球切 70箇所 補修箇所数	れ箇所は週3回契約業者 878箇所 前年度から 3.0km÷公益灯箇所数	をとっている。 2 ヶ月で全市を点検する 皆に補修の指示を出してい 6 の増加箇所数 3 5 箇/	<b>いる</b> 。
			指標名	道路	パトロール回数	単位:回 (道路延長	単位:km)		
アクテ	ィブ	活動指標				平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	標	/白里川1日代示	指標値		51(188.4)	28 (191.3)	24 ( 193.0 )	24 (196.8)	24 ( 198.1 )
			単位コスト 指標名	かさ	灯総設置数(球切れ	 れ箇所補修数) 単位:	<b>第</b> 66		
アウト:	プット					平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	標	結果指標	指標値		,267 (1,220)	5,735 (988)	5,770 (878)	6,069	6,215
			単位コスト						
2 事	(乗成り	果(アウト	`カム)	ı					_
		対	象	道路	を利用する市民及び	ゾー般交通			
事業の	目的	対象力	バー率	対 🦠	条数 (a) 8 7	7 8 箇所 受 益 数	牧 (b) 878箇所	比 率 (b ÷ a)	% 100%
対象・	意 図		_				I= (-101± 15/H1 >= (-		
		意 /対象を⇒	凶 E語にして)	<b>迪</b> 吊	有すべき安全性をク	尺くことかないよつ公益	☆灯を維持,修繕し通行の	り安全を図る。	
		(X)3(C1	Linico C)						
大	ਣੇ	な				こ保持して一般交通の用	に供する。		
					灯平均設置間隔 延長・公益灯気等	変形物 (単位・m)			
		中 間 成果指標			延長 ÷ 公益灯設置億 13年度(実績)		平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	カム		指標値		35.8m	3 3 . 4 m	3 3 . 4 m	3 2 . 4 m	31.9m
指	標		指標名		路が暗いことに起図			D満足度(住民要望件数	)
			考え方・式			事故件数を減少させる。 「巫母 1 4 年度(安建)		高ければ要望件数は減少	未調査のため不明。
		成果指標	指標値		2.7件	平成 1 4 年度 (実績) 5 5 件	平成 1 5 年度 (実績) 7 0 件	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			71 IX IE					」 也地区や旧市街地は一部:	 を除き公益灯の整備は
芦屋	の	特色	もなど		遅れている。 育て支援に関するフ	アンケート調査報告書(	H16.3)暗い通りが多く	子供が犯罪にあわないか	心配 45.5%
			<u>分(コスト</u>	)	12/20/20/20	五式4.4左克 / <b>法</b> 签 >			5 平成16.4.1 住民基本台帳
事	業 人	<b>費</b> 件 費	構成% 9.7%	半成	10,188	平成 1 4 年度 (決算) 6,321	平成 1 5 年度(決算) 6,571	平成16年度(予算)	_
	事	業費	90.3%		51,350	56,068	61,098	58,08	3
内 訳	他部	門経費					, 11	,,,,,	-
(千円)		貸却費							<u>-  </u>
	<b>合</b> 国	<b>計</b>	100.0%		61,538	62,389	67,669	58,08	3
財源		債 等							
(千円)		の他			51,350	56,068	61,098		0
	-	段 財 源	9.7%		10,188	6,321	6,571	58,08	
	職嘱託	·臨時等	20.0%		1.05	0.25	0.25		<u>-</u>
	嗎 it	· 晒 时 寺	80.0%		1 05	1.00	1.00	0.00	

評	価価	<u>- ファ)</u> 視	点				評価チェック	'リスト			1次評価	2次評価
	対象	カバー率	(1 ~ 1)	V	対象カバー率は	 高い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりカバー	率が低い		
有	受益	者(1~	1)	<b>√</b>	事業意図と受益者	」	る □ 事業意[	図と受益者が不整	隆合,または受益が一部		1	
効	-	の実績(2	1)	V	中間成果指標の	実績値を把握し	, 目標値を設定してし	\る □ 実績値ま	たは目標値が未記入		1	4
XJJ	八 未	(2) 夫領(2	.~ 1)	-	・☑ 実績値から成	え果があがってし	いると言える	□ 実績値か	ら成果があがっていると	言えない	4	4
性	成甲	io F소#	2(1 ~ 1)	成	果があがっていな	い場合						
4点	- /以 <del>木</del>	门工示范	3(1 1)		成果向上策あり					□ 特になし		
				$\overline{\checkmark}$	比較できる団体か	<b>バある</b>	団体名 近隣都	₱	□ 比較できる団体は	ない		
	活動	配分(1~	1)	1 1	他団体の数字を持		活動配分		☑ 把握していない			
	711373	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,		▶ □ 他団体より		□ 他団体と同程	<b></b>	□ 他団体より多い			
効					い,または少ない				. —			
					比較できる団体が		団体名 近隣都		□ 比較できる団体は	はい		
	単位	コスト(1~	- 1)	1 1			単位コスト		☑ 把握していない			
率					▶ □ 他団体よりこ		□ 他団体と同程』	芟	□ 他団体よりコストカ	るい	-4	-4
					い,または低い場合		ロケ・モゲーイルス	<u> </u>				-
							団体へ委託している			ハゼナフ		
44	手段	(1 ~ 3)							庭 , 地域等が担うべき部 能 , NPO等)で対応可能で			
性 4点					·	-		•	•			
4					明記、師母職員等			□ 嘱託,區 ☑ 特に行っ	時職員等で対応可能では	ນ ວ		
	コス	ト削減取約	且(1~ 1)		コスト的別の取りに 内容 公益灯	の適性な配置の	る の見なおしと高効率器					
					公益灯台帳の不			益灯台帳の整備				
平成	1,5,	- 1 6	年度に	課題	ZEZIZ	rm	改善	血八口水		総合	В	В
美 肔	U 15	以書	4 内谷				内容			評価	-	ט
5 今後	後の対	応(アク	フラョン)		<u> </u>		<u> </u>					
			, , , ,	・照	度基準に満たない	ル地域の改善と	:既存施設の老朽化に	こよる補修				
現在意	認識し	してい	る 課 題									
			系者の名称									
からの	意見	5 目 車	更 望 内 容	・卒	単やアトったく!プ	等の被害を防止	するため 公益灯の	)増設や昭度不足	足の改善要望が多い。			
要望	等		<u> </u>		来( 0 ) たく)、		_ ,	7-EW ( M.W.   X	COMEQ = 7 7 V			
			対応内容	夜間	パトロールにより	) 原因を調査	登し迅速に対応する。					
		(1)										
+m 0= ==			実施期限	平成	年	月						
課題·要	望寺	(2)	対応内容									
へのす	++ r <del>\</del>	(2)	実施期限	₩.								
( 0 )	אין (א		<b>美</b> 他期限	平成	年	月						
		(3)	対応内容									
			実施期限	च क	年	月						
			大池别代	<b>¬</b> -13X,	<u>ı 1<del>"</del></u>							
その他	きる	5 h. 3										
改善		L										
									今後	の方向性	1次評価	2次評価
		J.		市民	が夜間も安全に述	 直路を通行でき	るよう公益灯の迅速	速な補修や増設を		ト・充 実		7 7 7 7 7 7
									現	状 維 持		
									方	法 改 善		
平成1	7 ~ 1	9年度0	の方向性						民間	引委 託 等		
									縮	小		
									統合	/終期設定		
									廃 」	上 / 休 止		
2 次 評	位 委	員 会:	コメント									

(中立7	車 殺 \	事 業	□ <b>-</b> ド	1120050			部長次	長課長
( 17 12 )	<del>]</del> (75 )	尹未	<u> </u>	4130030			마 ᅜᄊ	区林 区
平成1	5年度	事	業名	J R 芦屋駅北周辺公共	施設維持管理業務			
4 == -	<del>71. 1</del> 01 5	# ( I) + \						
		要(ドゥ)	1000 ===	は、は、本本スニスやいの	オフ却士づくい		Z <del>1</del> ± Ω ∴ 7	
				4 快適でうるおいの			所 管 課 建設部 道路課	
総合			<u>中</u>		)高い市街地の形成			
政策	-		<u>小</u>	3 市街地の整備			所管課長氏名谷崎	
体	系		細		/= \/ ===		記入者氏名宮脇『	
事	業	斯			経常臨時	☑ 経常 ☑ 臨時	電 話 番 号 0797-38	3-2062 内線 2813
	法			芦屋駅前広場管理要綱			実施主体市	1 2 1 2
実	施	手	,_,	☑ 直営	☑ 一部委託	全部委託		自担金 ************************************
委		託	兀	外郭団体委託 □ 外郭団体委託	名称		委託 委託内容 清掃・	且拟守旨注耒份安订
_	गार	_	107 THE	JR芦屋駅周辺公共施設	··· · · · <del>- ·</del>			
事	業	Ø	概 要	JR芦屋駅周辺公共施設(	の白・伊用計り業務。			
				15.#FFFFFFFF	1++\\ = \\ + 1.	***	705 - FLAC 50 E-14 - NK75-1	- <del>/</del>
							<b>通路の監視盤点検の業務を</b>	E年間契約で行っている。
_	NII.	_	TD .115	-	部)6167㎡ (緑地	•	在水 916m	
事	業	の	現 状		らの通報・要望により路			
	_,,			タイル舗装補修		点検・補修 2箇所		
		実現のため		・占・使用許可数 4	4件及び使用料徴収			
	手段》	及び実施内	]谷					
					Λ <del>Υ</del> ΕΛΙΟΙ — ·· →	** \		
					(道路パトロール時に実		亚出 4 6 左左 4 豆块、	
アクテ		1.活動指標		平成13年度(実績) 241回	平成14年度(実績) 241回	平成 I 5 年及 ( 美線 ) 2 4 1 回	平成16年度(目標) 241回	平成17年度(目標) 241回
指	標		指標値単位コスト		241回	2 4 1 년	2 4 1 년	241四
				施設の清掃等実施回数	/ 毎日 1 同 N			
アウト	-1 w L			平成13年度(実績)		平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	クラー標	1 結果指標	指標値		365回	365回	3 6 5 回	3 6 5 回
18	125		単位コスト		2021	3 0 3 🖪	303日	3032
2 事:	業成り	<u> </u> 果(アウ		1				1
		対	冢	JR芦屋駅周辺を利用す	る市民及び一般通行者			
事業の	目的	対象力	バー率	対象数(a) 3	3 6 5 日 受 益 数	文 (b) 365日	比率 (b ÷ a) %	100%
対象・	意 図				•	1		•
		意	図	JR芦屋駅周辺の安全で	快適な環境整備を図る。			
		(対象を	<b>注語にして</b> )					
大	き	な	目 的	芦屋の顔としてのJR芦	屋駅周辺の安全で快適な	環境を提供する。		
					利用)許可件数(総利用	日数)		
				駅周辺施設の使用(利			T = 10 / 10 = 10	I = 1
		成果指標			平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト				44件(597日)		42件(577日)		
指	標			駅周辺利用者の満足度				
				満足度が高ければ苦情		- n	I - n	I - n
		成果指標			平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		0件	0件	0件	0 件
				1	調査し,できるだけ早く	対心する。		
芦屋	■ の	特色	となど					
2 ==:	개 구	・イチエコ	/\				[0=.180.=.]	TT-10.1.1 (CD+1-1.15
3 事			<u>分(コスト</u>	)   平成13年度(決算)	亚代1.4年度(油管)	1世帯当り(円) 508 平成15年度(決算)		平成16.4.1 住民基本台帳
<del>*</del>	業	費					十八 1 0 十尺 ( 丁昇 )	-
	<u>_</u>	件 費	13.3%	· ·	565	2,611	37	-
rb ±r	事の他可	業 費	0.1% 86.6%		33 20,539	20 17,039	- 3/	
		丁償却費	00.0%	22,021	20,039	17,039		+
(17)	合	計	100.0%	23,497	21,137	19,670	37	+
	国	· 県	100.0%	20,731	21,107	10,070	37	1
財源	東市							1
(千円)		の他		12,821	11,281	9,995		1
, , , , ,		<u>ジ</u> 財源		<b>'</b>	9,856	9,675	37	1
	- #		73.2.0					=
活動	力職	<b>以 ※) 杯</b>	100.0%		0.05	0.30	-	
	力職		100.0%		0.05	0.30	-	-

評	<u>皿 (フェノ</u> 価	<u>,</u> 視	点				評価チェック	7リスト			1次評価	2次評価
	対象カノ	「一率	(1 ~ 1)	·	対象カバー率は高	١١			□ 他団体よりカバー率を	が低い		
有	受益者(	1 ~	1)	<b>✓</b>	事業意図と受益者	は整合してい	る □ 事業意	図と受益者が不整	隆合,または受益が一部に阿	定	1	
効	成果の乳	÷/≛/∩	1)	V	中間成果指標の実	績値を把握し	,,目標値を設定して	ハる □ 実績値ま	たは目標値が未記入		1	1
XJJ	成未のま	夫領(乙	~ 1)	┕	・☑ 実績値から成り	果があがって\	1ると言える	□ 実績値か	ら成果があがっていると言え	えない	4	4
性	成甲向	⊢ 소 H	½(1 ~ 1)	成:	果があがっていない	場合						
4点	- ル末門-	ᆫᅏᄱ	3(1 1)		成果向上策あり					特になし		
					比較できる団体があ	ある	団体名		☑ 比較できる団体はなり	١,		
	活動配名	<del>ن</del> ک(1 ~	1)		他団体の数字を把		活動配分		□ 把握していない			
	/D =//HU/	,) ( ı	')	┕	・ 🗌 他団体より少	ない	□ 他団体と同程	芰	□ 他団体より多い			
効					い,または少ない場				-			
					比較できる団体があ		団体名		☑ 比較できる団体はなり	۱,		
	単位コス	ζ	- 1)	1 1	他団体の数字を把		単位コスト		□ 把握していない			
率			,		· 🗌 他団体よりコス		□ 他団体と同程	<b></b>	□ 他団体よりコストが高	l I	-1	-2
				_	い,または低い場合						•	_
							団体へ委託している					
	手段(1~	~ 3)			行政職員による執行				庭,地域等が担うべき部分な			
性	312(	-,			•	•		•	≰, NPO等)で対応可能であ			
4点									時職員等で対応可能である	1		
	コスト削	減取約	组(1~ 1)		コスト削減の取り組	みを行ってい	<u>a</u>	☑ 特に行っ	ていない			
				-	· 内容							
平 成	1 5 ~	1 6	年度に	≐田田百			改善			総合	Ь	В
実 施	1 5 ~ したi	改 喜	喜 内 容	休起			内容			評価	В	D
[	きの対応	( <del>7</del> /	72,-2,		<u> </u>							
3 71	タリノメリルい	( ) )	(ション)									
現在意	忽 識 1, -	T 1.1	る 課 題	. ~	デストリアンデッ <sup>:</sup>	キの橋脚支達	な部の補修					
>/L II I	NO. 1149. C	C V.	0 p/ A2	1	,,,,,,,,	1 0万间加入又方	CDIO O I III I S					
市民,関	係者 市民	. 関係	系者の名称	地元	 自治会							
要望	意意	包,要	要望内容	北地:	域からJR芦屋駅へ	の通路のバリ	Jアフリー化(エレ <sup>・</sup>	ヾーター設置,『	皆段改修)			
	( .	1)	对心内容	橋脚!	支承部補修ついて	は半成23,	2 4年度で実施予	Ē				
		•	実施期限	平成	年	月						
課題·要	望等		***	11k 1 1	**	<b>-</b> ///						
	( 2	2)	刈心内谷	地上	階についてバリア	ノリー化						
へのす	対応		実施期限	平成	年	月						
			対応内容									
	( :	3)	刘心内台									
			実施期限	平成	年	月						
	考えられ	L										
改善の	カアイラ	デア										
										方向性		2次評価
				l						・ 充 実		
				現状	維持とします。					維持		
										改善		
平成 1	7~19年	₣度(	の方向性						民間	委 託 等		
									縮	小		
										<b>終期設定</b>		
				<u> </u>					廃止	/ 休 止		
2 25 5-	. / = -											
2次評	一価 委 員	! 会	コメント									

	n == =	7 h .	± 311					1	1	÷n =	1.4	= +m	_
(内部	事	勞)	事業	<u>コード</u>	4220	210				部長	次	長課	長
平成	15年	由	車 :	業 名	治:欧:	構造物等の補修工	E .						
T 13%	1 3 -	-152	<del></del>	* 1	)但如	再足物サの間以上。	F						
1 重	巨米	阳工电	更(ドゥ)						Ų				
		_				加海ブンスカルの	<b>キュ</b> 籾士づノロ				Z+⇒+1.立17		
				りの目標		快適でうるおいの				所 管 課	建設部道路課		
総合		Į.		<u>中</u>	_	快適な交通体系の	盆佣						
政策	施			小	2	生活道路の整備				所管課長氏名			
体		系		細						記入者氏名			
事		業	期	間			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-38-	·2062 内絲	2811
根抗	処 注	去	令 ' 引	要綱 等	道路	法第42条				実 施 主 体	市		
実		施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金	
委			託	先	П	外郭団体委託	名称		民間	委託 委託内容			
						7777411210				× 10   × 10   1 1			
事	業		Ø	概 要	声内:		等不良箇所の補修工事						
<b>尹</b>	耒		U)	100 安	ון ווין	口の追路構造物を	まれ 民国別の神修工争						
					・道	路パトロールや市目	民からの苦情,要望によ	り道路舗装の補	修を行う	<b>5</b> .			
					・通	常有すべき安全性な	を欠くことなく,また破	損を放置するこ	となく組	<b>掛け,修繕を行う</b>	•		
事	業		の	現 状									
					・補	修工事箇所数 1	9 9 箇所						
	B	的第	ミ現のため	00	街	渠補修 332.	1 m 側溝補修 3 4 2	m 雨水管改修	・補修	128.5m	転落防止	柵 22m	
			び実施内				2.5 箇所 緊急処置及び						
	,_	, ,,,,	10 VIBIT		113	י שוחו שואיייי	IIII MORELAU	2 . W. X III I Y 'J'					
		- 1		# # -	<b>'⊁마</b>	10° F D 11 D#F ,	* <b>(</b>						
						パトロール回数							
アク	ティ		活動指標		平成		平成14年度(実績)	平成15年度		平成16年度		平成17年度	
指		標	/H±03H I/M	指標値		2 4 1 回	2 4 1 回	2 4 1	回	2 4 1 🗓	<u> </u>	2 4 1	回
				単位コスト									
				指標 名	道路	構造物補修箇所数	単位:箇所						
アウ	トプミ	ット	/+ m +> 1=	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度	【(目標)
指		標	結果指標	指標値				199箇					- (
,,,		1234		単位コスト					1771				
າ 📑	巨张口	ct; E	艮(アウ)		<u> </u>								
۷ 3	P <del>.K</del> /	リスフ	K() )	714)	ı								
			対	象	道路	を利用する市民及び	ゾー般交通						
- NK			1 A I		A 1 6	7. ML ( )	100 T 14 W	<b>⊢</b>		lu. + "	\ 01		
			対象力	バ - 率	对	R 数 (a)	199 受益数	(b)	199	比 率 (b	÷ a) %	100	
対 象	・意	义											
			意	図	通常	有すべき安全性を欠	尺くことがによう道路構	造物の損傷を維	<b>詩,修編</b>	善し通行の安全を	図る。		
			(対象を主	主語にして)									
大	き		な	目 的	道路	を常に良好な状態」	こ保持して一般交通の用	に供する。					
. ,	_												
				华 煙 夕	道路:	補修窓(老朽化に)	よる道路構造物全面改修	を除く)					
							- (苦情・要望箇所数 - J		したい笛	<b>所数+道段パト</b> Γ	1 — 川. 発目	補修笛	) * 1 0 0
			成果指標				平成14年度(実績)					平成17年度	
アウ	トカ	-		指標値		100%	100%	1009		1009		100	
指		標		指標名		路構造物の損傷に起				(苦情件数 道路			
				考え方・式			する事故件数を減少させる			が高ければ苦情件	数は減少		のため不明
			成果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度	〔〔目標〕
				指標値				1714	#				
					苦情	, 要望については	周査し,できるだけ早く	対応する。		•		•	
芦	屋	の	特色	きなど	市	道延長 193.	O km						
2 重	巨茶	费.	:千番1茄2.	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	924	住民1人当り(円)	256	平成16.4.1 住	マギャン作
事		<u>貝</u> 業		1		13年度/油質》	平成14年度(決算)	平成15年度		平成16年度		192010.7.1   庄[	~v포~다다.
Ŧ	- 1	禾	費	11.01.10	LIJ			・ル・フート		□ル□□サ皮□	( ) <del>A</del> /		
	4	-	件費		-	2,162	6,278		5,506		-		
	事		業費	82.7%		29,665	28,681		26,412		32,910		
			門経費								-		
(千円	9)洞	<b>基</b> 価	償却費						_		-		
	슅	1	計	100.0%		31,827	34,959		31,918		32,910		
	玉		· 県										
財	源市	ī	債 等										
// (千円			の他			29,665	28,681		31,918		32,910		
, , , ,	Ĩ / E		<del>文</del> 財源			2,162	6,278		0		0		
汪	動職		<del>以                                    </del>			0.25	0.70		0.65				
			·臨時等		<u> </u>	0.25	0.70		0.00				
	分學		· 蹦 呀 寺			0.25	0.70		0.65		0.00		

	川(アコ																			
評	価	視	点							価チェッ		<u> </u>							1次評価	2次評価
		カバー率	•		対象カバ-				□ 他団体								(一率か			
有	受益	渚(1~	1)		事業意図					事業意								定		
効	成果	との実績(2	~ 1)						, 目標値を記 ると言える	没定して		□ 実績						ない	4	4
性			./4 4\	成	果があがっ	ていない	場合													
4点	-	问上东地	2(1 ~ 1)		成果向上:	策あり	ſ											特になし		
				V	比較できる	る団体がる	ある		団体名	近隣都	市				比較で	きる団	体はない			
					他団体の			. Nる	活動配分						把握し					
	活動	配分(1~	1)		□ 他団			_	□ 他団(		:唐				他団体					
効					じ <u></u> い,または:			ф	_ 1011	71.01 312					ЮЩП					
					比較できる				団体名	沂滕都	店市			П	<b>比較で</b>	きる団	体はない	1		
					他団体の			.13	単位コスト			- 精質其	進		把握し					
	単位	[コスト(1~	- 1)	1	□他団				□他団体			1877-12	·j				、 いが高い	1		
率					い,または1				المراقا ال	本と1971	E/X				ᄣᄪᄣ	87J/	(1,12,16)		0	-2
					-				団体へ委託	T \Z	坐权	1-0117								
									がれている	O C C I S		□個人		7 +Jh+	<b>ポケが</b>	to a ベ =	キカワノへか	<b>΄ τ</b> Ζ		
	手段	₹(1 ~ 3)			1」以戦貝	による#X1 * NDO	リル我が	労 ノリら + 広 でき	れている ない業務で	3 <del>+</del> 7	I.		,多姓	אום א נאר, ז	以守か:	はいべ	ᄬᇎ	າທວ -		
性																		9		
4点									い業務であ	୭ବ		□ 嘱託				心可目	ECのも			
	コス	ト削減取約	且(1~ 1)		コスト削減 内容	の取り組	かを仃	つ (いる	)		L	☑ 特に	- 仃つ (	. 1 1/4	<u>۱</u>					
				7	内谷															
平成	15	~ 1 6	年度に	+田 日本						改善								総合	D	D
実施	した	: 改善	年度に	詸趄						内容								評価	В	В
5 0/4	<b>4 0 1</b>	L / 4																		
5 学程	せいと	応(アク	(ション)																	
					構造物はも	と 村化に	よる補作	修必要(	箇所が増加	してお	り計i	画的に改	收修整	備す	る必要	がある	0			
市民,関	係者「	市民,関係	系者の名称	市民																
からの	意見	新見 男	更望 内容	雨水	桝泥溜に。	よる蚊の	発生防.	止対応	・構造物の	破損・	步道	巻き込る	み部の	自転	車走行	での衝	撃(買	物籠から	落下)	・道路
要望	等 ^	5, 70 7 2		排水	个艮なと	#修安望	か多い。	•												
		(1)	対応内容	原因	を調査し記	迅速に対	応する。	•												
÷== 85 ==5	: +B **	, ,	実施期限	平成		年	J	月												
課題·要	望寺	(2)	対応内容																	
へのタ	讨 応		実施期限	平成		年	J	月												
		(3)	対応内容																	
			実施期限	平成		年	J	月												
	1				度基準を作	作成し,	計画的	な補修	を行う。											
その他	考え	られる																		
改善の	カア・	イデア																		
																4	後の	方向性	1次評価	2次評価
		I																充 実		
				道路	管理瑕疵に	こならな	いよう	道路損	傷を放置せ	ず維持	補修	を行う。				玛	1 状	維持		
																Ė	. 法	改 善		
平成 1	7 ~ 1	9年度(	の方向性															き 託 等		
,																紅		小		
																_		期設定		
																-		休止		
																15	· /	F1. 11		<u> </u>
2 次 評	価 委	員会	コメント																	
				•																

(内	部	事務)	事業	<b>É</b> =	ı — ド	4220	220			1	部 長	次	長	課	長
亚丘	t 1 1	5 年度	車	業	· 2	市内	一円舗装補修								
T-10.	χι.	十段	. <del>)</del>	未		האן כן ד									
	_		要(ドウ								1				
					の目標		快適でうるおいの				所 管 課	建設部			
		計画		中			快適な交通体系の	整備				道路課			
	東	施策		小		2	生活道路の整備				所管課長氏名				
体		系		細				177 AL FE FA	I — /344 —		記入者氏名		日出	/	
事	+60	業		期	間		+ <del></del>	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号 寒施主体		2092	内線	2811
根実	17/4	施	令 '	要手			法第42条	□ 一部委託	□ △如禾≒	1	実 施 主 体 □ 補助金		台七个		
委		ル	託					名称	□ 全部委託		型 開助並 接託 委 託 内 容		負担金		
			но		70		7777四件安11	1010			할 때 살 때 19 삼				
事		業	Ø	Ħ	既要	市内	一円の舗装不良箇月	<b>听の補修丁事</b>							
		<i></i>	• • •	,	<i>"</i>	1-1-1	13 - PAIN DO T DO THE	71 11012 3							
						・道	路パトロールや市		り道路舗装の袖	補修を行う					
								装工事については年間契							
事		業	の	Ŧ	見 状	•通	常有すべき安全性	を欠くことなく,また破	損を放置する	ことなく約	推持,修繕を行う				
						・補	修工事箇所数 1	10箇所							
		目的!	実現のカ	こめの	D	ア.	スファルト舗装補値	修面積 4159㎡ イ	ンターロック語	舗装等補値	多 33㎡ 板石	舗装等補	修 14	4箇所	
		手段	及び実施	色内容	\$	緊	急処置及び小規模額	舗装等 51箇所							
								w.o							
_			,	-			パトロール回数・		I	, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>	T			- <del>-</del> -	_ 1= ·
	クテ	・ィブ	1 活動指	ベスト			13年度(実績)		平成15年度	•	平成16年度(			7年度(	-
指		標		-	旨標値		2 4 1 回	2 4 1 回	2 4 1	凹	2 4 1 🗈	1		241回	
					単位コスト		<b>◇</b>								
<del></del>	5 6	-1° × 1. L		-			舗装補修箇所数 13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度(	日煙)	ग से 1	7年度(	日煙~
指	) r	ブット 標	1 結果 雅	標井	F 及 旨標値		13 牛皮(夫棋)	十八   4 十尺 ( 夫縜 )	110億	•	平成10年度(	日信ノ	十八八	/ 牛皮(	日信)
18		122			<u>目 1伝 1但</u> 単位コスト				1102	회기					
2	車	坐成.	<u> </u> 果(ア'			ļ									
	<del></del>	~ · · · · ·						. 41 - 17							
			対		家	道路	を利用する市民及び	ひ一般交通							
事業	<b>業の</b>	目的	対 象	力 .	バー率	対 🕯	录数 (a) 1	10箇所 受益数	牧 (b) 1	10箇所	比 率 (b	÷ a) %		1 0 0 %	
対	象・	意 図					<u>.</u>								
			意		図	通常	有すべき安全性をタ	欠くことがないよう道路	舗装の損傷を	維持,修繕	善し通行の安全を	図る。			
			(対象	を主	語にして)										
١.			4.	_	- 44	\** F.F.			··- ··						
大		き	な	E	目 的	道路	を常に良好な状態!	に保持して一般交通の用	に供する。						
				1+	b +声 々	光砂	ポタマ / セセルト	よる道路全面改修を除く	`						
			ь				-	+ (苦情・要望箇所数 - !	-	1.かい笛	<b>所粉ェ首段パト</b> ロ	1 _ II.	<b></b>	<b>- 米カ \ \ *</b>	1 0 0
			中 成果指	·				平成14年度(実績)						<u>」                                    </u>	
7 -	<b>ウト</b>	カム		_	上 反		100%	100%	100		1009			<del>/ 中皮(</del> 100%	
指	- 1	カム標					装状況に起因する								
7.1		.172	最	_			装状況による事故				ければ苦情件数は			査のため	
			成果指	_				平成14年度(実績)					平成 1	7年度(	目標)
				ŧ	旨 標 値				171	件					
			1			苦情	, 要望については	調査し,できるだけ早く	対応する。		•				
芦	屋	の	特	色	など	市	道舗装率(191	. 6 km ÷ 1 9 3 . 0 k m	99%						
	事	業費	·活動		<u> (コスト</u>			T	1世帯当り(円)	l	住民1人当り(円)	374	平成16.4	.1 住民基	本台帳
事		業			構成%	平成		平成14年度(決算)	平成15年度		平成16年度(	予算)			
		<u></u>	件	費	16.4%		2,161	6,616		5,506		-			
4		事	業界銀	費	83.6%		29,178	35,784		27,981		25,938			
内ィ			17門経									-			
(+	円)	-	賃 却	計	100.0%		31,339	42,400		33,487		25,938			
		国		県	100.0%		31,339	42,400		JJ,401		20,300			
財	涯	市		等											
(千			<u></u> の	他	100.0%		29,178	35,783		33,487		25,938			
( 1	, ,		般財		.00.070		2,161	6,617		0		0			
活	動	職		員	100.0%		0.25	0.75		0.65		-			
配			・臨時	等								-			
( ,				計	100.0%		0.25	0.75		0.65		0.00			

	皿(テェック)					AT /T - 1 1 1					
評		視 点				評価チェックリ	スト			1次評価	2次評価
		- 率(1 ~ 1)		対象カバー率は				□ 他団体よりカバー率			
有	受益者(1~	· 1)						合,または受益が一部に『	限定		
効	成果の実績	責(2~ 1)		中間成果指標の ・ ☑ 実績値から成		ン,目標値を設定している いると言える		たは目標値が未記入 ら成果があがっていると言え	えない	4	4
性	世田白 1-4	戻地(1~ 1)	成	果があがっていな	い場合					1	
4点	- 成条内工法	F.址(1~ 1)		成果向上策あり					特になし		
			<b>V</b>	比較できる団体が	· ある	団体名 近隣都市		□ 比較できる団体はな	l I		
	\			他団体の数字を		活動配分		☑ 把握していない			
	活動配分(	1 ~ 1)		□ 他団体より		□ 他団体と同程度	<i>.</i>	□ 他団体より多い			
効				い,または少ない		_ 10_111013120		1011111111111			
				比較できる団体が		団体名 近隣都市		□ 比較できる団体はな	1. 1	1	
				他団体の数字を		単位コスト 同		☑ 把握していない	•		
	単位コスト	(1 ~ 1)	1 1	・ □ 他団体より:		一 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	1.1	_	_
率						□ 旭団体に円往及			V 1	0	-2
				い,または低い場		アスナッチがしていて光さ	カニヘンエ				
				•		団体へ委託している業績			L+ →		
1.1	手段(1~	3)		行政職員による第	3.イン表務 フロ	「5れしいる カカルンドスカーカラ	□ 個人,豕屬	産, 地域等が担うべき部分; €, NPO等)で対応可能であ	かめる -		
性				氏間(企業, NPO	寺)では刃心で	きない業務である	□ 民間(企業				
4点						ない業務である		寺職員等で対応可能である	)		
	コスト削減	取組(1~ 1)		コスト削減の取り ・ 内容	組みを行ってい	13	☑ 特に行っ	ていない			
						76.46			W 6		
平 成	15~1 1. <i>t</i> - 24	6 年 度 に 善 内 容	課題			改善   内容			総合評価	l B	В
	0 12 13	— гэ <u>—</u>				rst			піщ		
5 今後	後の対応(フ	アクション)		,		<u> </u>					
		•									
現在;	認識して	いる課題						30年経過する老朽化し 整備する必要性がある。	ている。		
市民	16名 市民 月	関係者の名称				2 C (3) 7 / E (1) TO HIRAC (		· 正備, 6.25 文 [17 07 08]			
要望	意見,	要望内容	車両	通行による振動	, 水溜り泥はオ	a , 陥没 , 凹凸により	歩きにくい等				
	(1)	対応内容	原因	を調査し迅速に対	付応する。						
		実施期限	平成	年	月						
課題·要	(2)	対応内容									
へのす	対 応	実施期限	平成	年	月						
	(3)	対応内容			<u> </u>						
	(3)	実施期限	TV ct	年	月						
	<b>l</b>	关肥朔限	十八人	]  +	/-						
スの供	考えられ	7									
	! ちんっれ D ア イ デ										
汉 晋 (	D Y 1 T	,						A 44 0	· <del></del>		
									方向性		2次評価
			\ <del>\\</del>	~ mm;		₽ <i>/= -</i>	5 <del>-</del> 1		· 充 実		
			<b>追</b> 路	官理取述になり	よいよつ坦路が	員傷を放置せず維持補値	多を仃つ。		維持		
									改善		
平成 1	7~19年月	度の方向性						民間	委 託 等		
								縮	小		
									冬期設定		
								廃止	/ 休 止		
2 次 評	值委員会	会コメント									

(内	部事	務)	事 業	<b>_</b> _	ا 4220	230				部 長	次	長課	長
亚丘	t 1 5	年度	重	業	2 側藩	・雨水桝・法面等の	の除首・清掃						
		1 /2	7	*	- 1737 <del>13</del>	14970 171 72 EFF	1910 TO 1010						
	<del></del> su	·											
			要(ドゥ			14.*	+ = +n+ - 1 / 10			T	T-+++-		1
				くりの目		快適でうるおいの				所 管 課	建設部		
		十 画		中		快適な交通体系の	整備			C ~ = C -	道路課		
	策が			/ <u>/</u> \	2	生活道路の整備				所管課長氏名			
事		系業		<u>細</u> 期	18		47 学吃中		15円土	記入者氏名電話番号			7/A 2042
根	±bn	<del>素</del> 法			自然的	法第42条	経常臨時	☑ 経常 □[	品时			2002	1線 2812
実	17/2	施			去区		□ 一部委託	□ 全部委託		実 施 主 体 □ 補助金		負担金	
委		ИВ	託		± □		名称			季託 委託内容		只让亚	
			но			77-护四件安10	1013			호마(호마기 1	1		
事	3	業	Ø	概	更 側 溝	や雨水桝の清掃やi	道路敷地の除草を行う						
-		~	• • •	1976 .	2 1//3/1-3	. 1 113.3 11/102 13/1							
					・道	路パトロールや市門		り道路敷の清掃	や除草を	キ行う。			
							ったときは迅速に現地調				示を行う		
事	Ť.	業	の	現	犬・除	草・清掃実施箇所	数 182箇所						
					•雨	水桝清掃	2 箇所 側溝清掃 5 5	7 9 m 排水管	清掃	1094m 路面	清掃 2	2 5 m²	
	ļ	目的詞	実現のた	めの	・側	溝除草等 5 0 2 ·	5 m 道路(法面)除草	6 5 0 m²					
	=	手段及	及び実施	内容	- 1	ミや落葉量の少なし	ハ地域の側溝については	, 市民による清	掃が行れ	つれている。			
				1									
						パトロール回数		- p	/	I = p	. — !—	- n :	
	ラ テ		活動指	=		13年度(実績)		平成15年度(		平成16年度	•		度(目標)
指		標		指標	_	241件	2 4 1 件	2414	Ŧ	2 4 1 4	Ŧ	2 4	. 1件
				単位コス		注担实体签65数	<b>光</b>						
	- ı -	<i>e</i> t				清掃実施箇所数 13年度(実績)	単位:箇所 平成14年度(実績)	亚代 1 5 年度 /	(字结)	亚代16年度	(日插)	亚出 1 7 年	(日本)
י 'עו	ナトフ	ット 標	結果指	標指標が		(13 牛及(夫組)	十八   4 十尺 ( 夫縜 )	182箇		平成16年度	(日信)	平成1/4	度(目標)
		小示			_			102酉	<i>P</i> /I				
指				一曲 ボラファ									
指	車当	<u></u> €п₹ 5	果(アウ	単位コス   トカ <i>ト</i> 、)	II.								
指	事業		,	アトカム)									
指	事業		果(アウ 対	アトカム)		を使用する市民及び	リール グー般交通						
2			対	アトカム)	象道路		リ び一般交通 8 2 箇所	女 (b) 1 8	3 2 箇所	  比 率 (b	÷ a) %	1 0	0 %
指 2 事業	業の		対対象	トカム)	象道路			文 (b) 1 8	3 2 箇所	比 率 (b	÷ a) %	1 0	0 %
指 2 事業	業の	目的	対対象	ルカム) カバー:	象道路率対	象数 (a) 1				,	÷ a) %	1 0	0 %
指 2 事業	業の	目的	対象意	ルカム) カバー:	象 道路 率 対 1	象数 (a) 1	8 2 箇所 受 益 数			,	÷ a) %	1 0	0 %
1 事対	業の	目的	対象意	カバー:	象 道路 率 対 1	象数 (a) 1	8 2 箇所 受 益 数			,	÷ a) %	1 0	0 %
指 2 事業	業の象・ラ	目的	対象意	カバー: ま主語にして	家 道路率 対 前 取 市民	象 数 (a) 1	8 2 箇所 受 益 数	造物の清掃や道	路敷の隙	余草をおこなう。	÷ a) %	1 0	0 %
1 事対	業の象・ラ	目的意図	対 対 象 意 (対象を	7トカム) カ バ ー : E主語にして	東道路 対 市民 市民	象数(a) 1 生活に支障をきたる	8 2 箇所 受 益 巻	造物の清掃や道	路敷の隙	余草をおこなう。	÷ a) %	1 0	0 %
1 事対	業の象・ラ	目的意図	対 対象 意 (対象を	カバー: ま主語にして 指標:	京 道路 対 市 市 民 草	象数(a) 1 生活に支障をきたる が文化的かつ快適に 清掃率	8 2 箇所 受 益 費 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に	造物の清掃や道道路を良好な状	態に保っ	余草をおこなう。 つ。	,		
1 事対	業の象・ラ	目的意図	対 対象 意 (対象を な	カバー: ま主語にして 指標: 考え方:	東 道路 対 市 市 除 ( ) 下 除 ( )	象数(a) 1 生活に支障をきたる が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に 数÷(苦情・要望箇所数一	造物の清掃や道 道路を良好な状 清掃や除草を要し	旅島敷の際 態に保っ ない箇所	余草をおこなう。 つ。 数+道路パトロー川	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 除草箇所数	))*100
1 事対 大	業の 象・j	目的意図	対 対象 意 (対象を	カバー: 主主語にして 指標: 標年	象 道路	象数(a) 1 生活に支障をきたる が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 (13年度(実績)	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 こ生活できるよう,常に 数÷(苦情・要望箇所数一 平成14年度(実績)	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成 1 5 年度 (	道路敷の除 栄態に保て ない箇所 (実績)	余草をおこなう。 つ。 数+道路パトロー川 平成16年度	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	· 除草箇所数 平成 1 7 年	))*100 F度(目標)
指2 事対 大ア	業の象・ラ	目的意図	対 対象 意 (対象を な 中成果指	カ バ ー : : : : : : : : : : : : : : : : : :	象 率 図) 内 名式 度 値	<ul><li>象数(a) 1</li><li>生活に支障をきたるが文化的かつ快適</li><li>清掃率</li><li>路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100%</li></ul>	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 こ生活できるよう,常に 数÷(苦情・要望箇所数一 平成14年度(実績) 100%	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成 1 5 年度 ( 1 0 0 9	路敷の除 態に保っ ない箇所 (実績)	余草をおこなう。 つ。 数+道路パトロー川 平成16年度 1009	レ発見清掃 ( 目標 ) %	·除草箇所数 平成 1 7年 1 0	))*100 度(目標) 0%
1 事対 大	業の 象・j	目意とかる標	対 対 象 意 (対象をな 中 成果指	カバー: ま主語にして 指表方: 指標: 指標: 指標:	京	象数(a) 1 生活に支障をきたる が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不	8 2 箇所       受益 要         さないよう,道路排水構       こ生活できるよう,常に         次÷(苦情・要望箇所数一)       平成14年度(実績)         100%       100%         株に起因する事故件数	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成 1 5 年度 ( 1 0 0 9 道路を利用する計	態に保ったい 能に保ったい ない の所 (実績) を を を を を を を を を を を を を	余草をおこなう。  数+道路パトロー川     平成 1 6 年度     1 0 0 9 日度 (苦情件数 道	ル発見清掃 ( 目標 ) る 路関係のお	- 除草箇所数 平成17年 10 困りです課の	))*100 E度(目標) 0% O苦情件数)
指2 事対 大ア	業の 象・j	目意きかく	対 対象 意 (対象を な 中成果指	カ バー :	京	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不	8 2 箇所       受益 数         さないよう,道路排水構造       こ生活できるよう,常に数÷(苦情・要望箇所数一)         次÷(苦情・要望箇所数一)       平成 1 4 年度(実績)         100%       100%         株に起因する事故件数数       数を減少させる。市	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成 1 5 年度 ( 1 0 0 9 道路を利用する市 民満足度 満足	態に保っない箇所 (実績) 6 時民の満足		ル発見清掃 (目標) & 路関係のお する。	・除草箇所数 平成17年 10 困りです課の 未調査の	))*100   度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明
指2 事対 大ア	業の 象・j	目意きかく	対 対 象 意 (対象をな 中 成果指	カ バー :	象 率 図) 内 呂式度直呂式度 所 民	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不	8 2 箇所       受益 要         さないよう,道路排水構       こ生活できるよう,常に         次÷(苦情・要望箇所数一)       平成14年度(実績)         100%       100%         株に起因する事故件数	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成 1 5 年度 ( 1 0 0 9 道路を利用する市 民満足度 満足	旅島 水の 除る はい の はい の はい の はい の はい の はい の はい の はい	余草をおこなう。  数+道路パトロー川     平成 1 6 年度     1 0 0 9 日度 (苦情件数 道	ル発見清掃 (目標) & 路関係のお する。	・除草箇所数 平成17年 10 困りです課の 未調査の	))*100 E度(目標) 0% O苦情件数)
指2 事対 大ア	業の 象・j	目意きかく	対 対象 意 (対象を な 中成果指	カ ガ ー :	象 率 図) 内 呂式度直呂式度直宮式 医直 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適に 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 最等による雨水排除不 掃等による雨水排除不 は13年度(実績)	8 2 箇所       受益 数         さないよう,道路排水構造       こ生活できるよう,常に数÷(苦情・要望箇所数一)         次÷(苦情・要望箇所数一)       平成 1 4 年度(実績)         100%       100%         株に起因する事故件数数       数を減少させる。市	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する司 民満足度 満足 平成15年度( 171件	旅島の際の際は、 ない箇所 (実績) を を を を を に に に に に に に に に に に に に	数+道路パトロー川         平成 1 6 年度         1 0 0 9         2度(苦情件数 道力れば苦情は減少         平成 1 6 年度	ル発見清掃 (目標) & 路関係のお する。 (目標)	・除草箇所数 平成17年 10 困りです課の 未調査の	))*100   度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明
指2 事対 大ア	業の 象・j	目意きかくのできます。	対 象 意 (対象を な 中 成 最 成 果 指	カカ が	象 率 図) 的 吕式度直吕式度直。· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 帰等による雨水排除不 掃等によ因する事 13年度(実績) 13年度(実績) 路排水構造物の清	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 こ生活できるよう,常に 数÷(苦情・要望箇所数一 平成14年度(実績) 100% 備に起因する事故件数 数を減少させる。 市 平成14年度(実績)	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する市 民満足度 満足 平成15年度( 171代 多い奥池地区や	旅島の際に保った。 ない箇所 (実績) 6 市民の満足 (実績) 十 中岩園、デ	<ul> <li>会草をおこなう。</li> <li>数+道路パトロー川</li> <li>平成 1 6 年度</li> <li>1 0 0 9</li> <li>2度(苦情件数 道力れば苦情は減少</li> <li>平成 1 6 年度</li> <li>、確地区に集中し</li> </ul>	ル発見清掃 (目標) & 路関係のお する。 (目標)	・除草箇所数 平成17年 10 困りです課の 未調査の	))*100   度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明
指 2 事対 大 ア指	業の ・ う ト:	目意きかくのできます。	対 象 意 (対象を な 中 成 最 成 果 指	カカ が	象 率 図) 的 吕式度直吕式度直。· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 帰等による雨水排除不 掃等によ因する事 13年度(実績) 13年度(実績) 路排水構造物の清	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に 数÷(苦情・要望箇所数 - 平成 1 4 年度(実績) 100% 備に起因する事故件数 数を減少させる。 市平成 1 4 年度(実績) 帰は主に樹木や空き地の	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する市 民満足度 満足 平成15年度( 171代 多い奥池地区や	旅島の際に保った。 ない箇所 (実績) 6 市民の満足 (実績) 十 中岩園、デ	<ul> <li>会草をおこなう。</li> <li>数+道路パトロー川</li> <li>平成 1 6 年度</li> <li>1 0 0 9</li> <li>2度(苦情件数 道力れば苦情は減少</li> <li>平成 1 6 年度</li> <li>、確地区に集中し</li> </ul>	ル発見清掃 (目標) & 路関係のお する。 (目標)	・除草箇所数 平成17年 10 困りです課の 未調査の	))*100   度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明
指 2 事対 大 ア指 芦	業の · j ·	目意きカ標の	対 対 象 意 (対象を 中成 最成 特	カカ が	象 率 図) 内 S式度直名式度直 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 帰等による雨水排除不 掃等によ因する事 13年度(実績) 13年度(実績) 路排水構造物の清	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に 数÷(苦情・要望箇所数 - 平成 1 4 年度(実績) 100% 備に起因する事故件数 数を減少させる。 市平成 1 4 年度(実績) 帰は主に樹木や空き地の	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する市 民満足度 満足 平成15年度( 171代 多い奥池地区や	態に保った。 ない箇所 (実績) を持民の満足 (実績) 特民の満足 (実績) 特別、デーラー	<ul> <li>会草をおこなう。</li> <li>数+道路パトロー川</li> <li>平成 1 6 年度</li> <li>1 0 0 9</li> <li>2度(苦情件数 道力れば苦情は減少</li> <li>平成 1 6 年度</li> <li>、確地区に集中し</li> </ul>	V発見清掃 (目標) % 路関係のお する。 (目標) ている。	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100   度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明
指 2 事対 大 ア指 芦	業の · j ·	目意となった標の費業	対 対 象 意 対 な 中成 最成 特 動	カカ が に は 標 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	象 率 図) 内 名式度直 Z式度直 Yu 下 民 异道尔 平 清清	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不 掃等に起因する事故 13年度(実績) 路排水構造物の清 路除草は道路法面領	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する市 民満足度 満足 平成15年度( 1714 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 i態に保っ (実績) を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	会草をおこなう。 数+道路パトロー川 平成 1 6 年度 1 0 0 9 程度(苦情件数 道 ナれば苦情は減少 平成 1 6 年度 一、麓地区に集中し っている。	ル発見清掃 (目標) % 路関係のお する。 (目標) ている。	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3	( )	目意とかり、日意としている。	対 対 象 意 対 象 中成 最成 特 動 作	カカ バー は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	東	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適に清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不 掃等に起因する事。 13年度(実績) 路排水構造物の清 路除草は道路法面部。	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に な÷(苦情・要望箇所数一平成14年度(実績) 100% (株に起因する事故件数 なを減少させる。 市平成14年度(実績) にはまに樹木や空き地の等の未舗装部分を毎年,平成14年度(決算) 2,839	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する。 民満足度 満足 平成15年度( 171作 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保こ ない箇所 (実績) を持民の満局 (実績) 中 岩園、デ 1)に行こ 300 (決算) 2,283	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) の 路関係のむ する。 (目標) でいる。	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3 事	( )	目意とかり、日意としている。	対 対 意 (対 な 中成 最成 特 動 作業	カカ バー は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	東	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不 掃等に起因する事故 13年度(実績) 路排水構造物の清 路除草は道路法面領	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する。 民満足度 満足 平成15年度( 171作 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 i態に保っ (実績) を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) % 路関係のお する。 (目標) ている。	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3 事 内	で ・ ・	目意きかの貴業人事他的図	対対象 意(対な 中成 最成 特 動作 件業経	カカ が に	東	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適に清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不 掃等に起因する事。 13年度(実績) 路排水構造物の清 路除草は道路法面部。	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に な÷(苦情・要望箇所数一平成14年度(実績) 100% (株に起因する事故件数 なを減少させる。 市平成14年度(実績) にはまに樹木や空き地の等の未舗装部分を毎年,平成14年度(決算) 2,839	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する。 民満足度 満足 平成15年度( 171作 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保こ ない箇所 (実績) を持民の満局 (実績) 中 岩園、デ 1)に行こ 300 (決算) 2,283	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) の 路関係のむ する。 (目標) でいる。	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3 事 内	(第一) 「「「「」」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「	目意 き カ 費 人事他減的図 ム標 の 費業 部価	対対象 意対な 中成 最成 活 件業門償 経却	カカ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	象 率 図) 内 S式度直 S式度直 Si N N N N N N N N N N N N N N N N N N	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除 清等に起因する事が 13年度(実績) 路排水構造物の清排路除草は道路法面域 13年度(決算) 2,162 10,093	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に な÷(苦情・要望箇所数一 平成 1 4 年度(実績) 100% (構に起因する事故件数 なを減少させる。 市平成 1 4 年度(実績) 帰は主に樹木や空き地の等の未舗装部分を毎年,平成 1 4 年度(決算) 2,839 11,954	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する。 民満足度 満足 平成15年度( 171作 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保っ ない箇所 (実績) を持民の満品 (実績) は に行っ 300 (決算) 2,283 9,355	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) % 路関係のお する。 (目標) ている。 (予算) - 9,793	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3 事 内	(第一) 「「「「」」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「	目意 き カ 男 人事他減 <b>合</b> 的図 ム標 の 費業 部価	対対象 意対な 中成 最成 活 件業門償却	カ バー : it it it it it it it it it it it it it	象 率 図) 内 S式度直 S式度直 Si N N N N N N N N N N N N N N N N N N	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適に清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除不 掃等に起因する事。 13年度(実績) 路排水構造物の清 路除草は道路法面部。	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に な÷(苦情・要望箇所数一平成14年度(実績) 100% (株に起因する事故件数 なを減少させる。 市平成14年度(実績) にはまに樹木や空き地の等の未舗装部分を毎年,平成14年度(決算) 2,839	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する。 民満足度 満足 平成15年度( 171作 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保こ ない箇所 (実績) を持民の満局 (実績) 中 岩園、デ 1)に行こ 300 (決算) 2,283	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) の 路関係のむ する。 (目標) でいる。	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3 事 内( )	で	目意 き カ 質 人事他減 <b>合</b> 国的図 ム標 の 費業 部価	対対象 意対な 中成 最成 活 件業門償 ・	カ バー : i	象 率 図) 内 S式度直 S式度直 Si N N N N N N N N N N N N N N N N N N	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 13年度(実績) 100% 帰等による雨水排除 清等に起因する事が 13年度(実績) 路排水構造物の清排路除草は道路法面域 13年度(決算) 2,162 10,093	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に な÷(苦情・要望箇所数一 平成 1 4 年度(実績) 100% (構に起因する事故件数 なを減少させる。 市平成 1 4 年度(実績) 帰は主に樹木や空き地の等の未舗装部分を毎年,平成 1 4 年度(決算) 2,839 11,954	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する 民満足度 満足 平成15年度( 1714 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保っ ない箇所 (実績) を持ての満足 (実績) は、 は、 に行って、 300 (決算) 2,283 9,355	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) % 路関係のお する。 (目標) ている。 (予算) - 9,793	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	で	目意 き カ 質 人事他減 <b>合</b> 国市的図 ム標 の 費業 部価	対対 意 (対 な 中成 最成 活 件業門償・債	カ バー は で は で は で で で で で で で で で で で で で で	象 率 図) 内 S式度直S式度直 と / %% % % % % % % % % % % % % % % % %	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 帰等による雨水排除不 掃等による雨水排除不 は13年度(実績) 路排水構造物の清 路排水構造物の清 路除草は道路法面 は13年度(決算) 2,162 10,093	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に な÷(苦情・要望箇所数一平成 1 4 年度(実績) 100% (株に起因する事故件数 なを減少させる。 市平成 1 4 年度(実績) (未付金) はまに樹木や空き地の まがまる。 では、1 4 年度(決算) (2,839 11,954 14,793	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する 民満足度 満足 平成15年度( 1714 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保っ ない箇所 (実績) を たまの満足 (実績) 中 に行っ 300 (決算) 2,283 9,355	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) 6 路関係のようする。 (目標) ている。 (予算) - 9,793	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	で	目意 き カ 費 人事他減 <b>合</b> 国市そ 的図 ム標 の費業 部価	対対 意 (対 な 中成 最成 活 件業門償 ・ 債の	カ バー :	東 率 図)     内 Sttgeestgeestgeestgeestgeestgeestgeestge	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 帰等による雨水排除不 掃等による雨水排除不 13年度(実績) 路排水構造物の清 路除草は道路法面 13年度(決算) 2,162 10,093	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 こ生活できるよう,常に 数÷(苦情・要望箇所数一 平成14年度(実績) 100% 備に起因する事故件数 故を減少させる。 市 平成14年度(実績) 帰は主に樹木や空き地の 等の未舗装部分を毎年, 平成14年度(決算) 2,839 11,954	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する 民満足度 満足 平成15年度( 1714 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の除 :態に保っ ない箇所 (実績) を を を を を に を を に に に に に に に に に に に に に	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) % 路関係のお する。 (目標) ている。 (予算) - 9,793	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3 事 内( 財 ) 財 ( 財 ) Thin	<b>業</b> 象 ウ 屋	目意 き カ 費 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 的図 ム標 の費業 部価	対対 意 (対 な 中成 最成 特 動 作業経却 に	カ バー :	東	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 帰等による雨水排除不 掃等による雨水排除不 は13年度(実績) 路排水構造物の清 路排水構造物の清 路除草は道路法面 は13年度(決算) 2,162 10,093	8 2 箇所 受 益 奏 さないよう,道路排水構 に生活できるよう,常に な÷(苦情・要望箇所数一平成 1 4 年度(実績) 100% (株に起因する事故件数 なを減少させる。 市平成 1 4 年度(実績) (未付金) はまに樹木や空き地の まがまる。 では、1 4 年度(決算) (2,839 11,954 14,793	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する 民満足度 満足 平成15年度( 1714 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保っ ない箇所 (実績) を たまの満足 (実績) 中 に行っ 300 (決算) 2,283 9,355	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) 6 路関係のお する。 (目標) ている。 (予算) - 9,793 - 9,793	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)
指 2 事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	<ul><li>業象</li><li>ウ</li><li>上</li><li>屋</li><li>業</li><li>訳り</li><li>動</li></ul>	目意 き カ 質 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職的図 ム標 の 費業 部価 ¶	対対 意 (対 な 中成 最成 特 動 作業経却 に	カ バー :	東	象数(a) 1 生活に支障をきた。 が文化的かつ快適 清掃率 路清掃及び除草箇所数 100% 帰等による雨水排除7 掃等による雨水排除7 掃等に起因する事 13年度(実績) 路排水構造物の清 路除草は道路法面 13年度(決算) 2,162 10,093 12,255	8 2 箇所 受 益 数 さないよう,道路排水構 こ生活できるよう,常に 文÷(苦情・要望箇所数一 平成14年度(実績) 100% 備に起因する事故件数 校を減少させる。 中成14年度(実績) 帰は主に樹木や空き地の等の未舗装部分を毎年, 平成14年度(決算) 2,839 11,954 14,793	造物の清掃や道 道路を良好な状 青掃や除草を要し 平成15年度( 1009 道路を利用する 民満足度 満足 平成15年度( 1714 多い奥池地区や 定期的(年2回	i路敷の隊 :態に保っ ない箇所 (実績) 6 市民の満局 :度が高い (実績) 中岩園、ブ 1)に行っ 300 (決算) 2,283 9,355 11,638	(株) (本) (年民1人当り(円)	ル発見清掃 (目標) 6 路関係のお する。 (目標) ている。 (予算) - 9,793 - 9,793	・除草箇所数 平成 1 7年 1 0 困りです課の 未調査の 平成 1 7年	))*100 E度(目標) 0% D苦情件数) Dため不明 E度(目標)

評	価価	<u>エフフ)</u> 視	点				評価:	チェックリ	スト				1次評価	2次評価
	対	象カバー率	<u>(1 ~ 1)</u>	V	対象カバー率は	 :高い				□ 他団体よりカ	バー率が	低い		
有	受:	益者(1~	1)	<b>V</b>	事業意図と受益	者は整合してい	1る 🗌 事	業意図	と受益者が不整	合,または受益が	一部に限	定		
λħ		田の守徳の	)	V	中間成果指標の	実績値を把握	し,目標値を設定	Eしている	5 □ 実績値ま	たは目標値が未記	入		1	1
効	DX:	果の実績(2	2~ 1)	┕	▶ ☑ 実績値から反	<b>丸果があがって</b>	いると言える		□ 実績値か	ら成果があがってい	いると言え	ない	4	4
性	ct:	田白上会地	h/4 . 4)	成	果があがっていな	い場合								
4点	- DX:	果向上余地	B(1~ 1)		成果向上策あり							特になし		
				7	比較できる団体が	がある	団体名 近	隣都市		□ 比較できる団	体はない	1		
	活	動配分(1~	1)	1	他団体の数字を		活動配分	<u></u>		☑ 把握していた	111			
	/ -	まいはしノ」(「	')	┕	▶ □ 他団体より	少ない	□ 他団体と	:同程度		□ 他団体より多	; l 1			
効					い,または少ない									
					比較できる団体が		団体名 近			□ 比較できる団		1		
	単	位コスト(1 -	~ 1)	1	他団体の数字を		単位コスト	i	一積算基準	☑ 把握していた				
率			.,		▶ □ 他団体より		□ 他団体と	:同程度		□ 他団体よりコ	ストが高い	1	-1	-3
					い,または低い場								•	
					営(正規職員が執									
	手.	段(1~ 3)								庭,地域等が担うべ				
性		-/			•	-			•	É, NPO等)で対応す		3		
4点										時職員等で対応可	能である			
	٦,	スト削減取約	組(1~ 1)		コスト削減の取り	組みを行ってし	18		☑ 特に行っ	ていない				
				•	► 内容	<u>-</u>		) +4 n/a	` <del>`</del>		-14			
平成	1 5	~ 1 6	年度に	≐田田古	道路法面の除草	Ī	강	□ 追路 【善	法国の舗装化し	こより除草を不要	こした。	総合	D	D
実 施	U	た改善	年度に 事内容	沐迟	1			容				評価	В	В
[	<u>\$ 0 3</u>	付応(アク	72,-2,1											
3 71	友リノ)	いんしょう	/ション)	無	油地区や六陸・	光周州区17年:	11円地が名く穴	き抽の道	第正な祭理がフ	ごきていないため、	雨のた	7ドに士馬	1.1二重石+折1	<b>т</b>
現在意	忽論	してい	る 課 題		落ち葉が道路側					ie consonies,	אלספוא	して八里		73
>/L II I	10 HeV	0 0 0.	0 pr 165	ט נו	76 0条76 色面的		ii & 7 Wiki Mic	'C 0 - 10 F	113 20 10					
市民,関	係者	市民、関係	系者の名称	市民										
要望	等	意見,要	要望内容	側溝	や雨水桝の詰ま	りによる道路	非水不良及び蚊	の発生						
		(1)	对心内容	原因	を調査し、迅速	に対応する。								
			実施期限	平成	年	月								
課題·要	望等		***											
		(2)	対応内容											
へのす	対応		実施期限	平成	年	月								
			対応内容											
		(3)	对心内谷											
			実施期限	平成	年	月								
		えられる												
改善の	カ ア	イデア												
											今後の	方向性	1次評価	2次評価
				道路	横造物の清掃や	除草をしなけ	ればならなくな	る要因の	D排除に努力す	·	拡 大・			
										L-	現状			
										-	方 法			
平成 1	7 ~	19年度(	の方向性							_	民間委	き 託 等		
										L-	縮	小		
										-	統合/終			
											廃 止 /	休 止		
		<b>.</b>												
2 次 評	4 1曲 1	委 貞 会	コメント											

										-						
(-1)	般事	業)	事業	コード	4220	240				1	部	Æ	次	長	課	長
平成	1.5	午 度	車 :	業名	私道	の舗装整備工事										
אנו די	, 1 3	十反	<del>7</del> :	<del>*</del> T	心足	の開衣を開工事										
										_'						
1	事業	€概録	要(ドゥ)										•			•
第32	次芦	屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づく「	)				77 ±0	建設部			
総言				<del></del>		快適な交通体系の					所	管 課	道路課			
政分				/ \		生活道路の整備					所管	課長氏名		IH.		
体	1 11	系		<u></u> 細		工作之外。						\ 者氏名				
事		業	期					経常臨時	□経常□	臨時		話番号			内線	2811
	+60					士 4 / 2 岩 全 本 本 女 / 芒   一 月		紅吊師时		四时				-2002	门級	2011
	拠				_	市私道舗装整備に						施主体		5 II A		
実		施	手			直営	一一部委託	;	□ 全部委託			補助金		負担金		
委			託	先	Ш	外郭団体委託	名称				多託	委託内容	ř			
事	Ì	業	の	概 要	芦屋	市私道舗装整備に	関する要綱に基	びき地元	要望がある私	道の舗装	整備を	行う。				
					・芦	屋市私道整備に関す	する要綱に基っ	づき舗装整	経備申請があった	た私道舗	装整体	± Ħ				
事	Ì	業	の	現 状	・現	に一般交通の用に値	共されている幅	i員 2 mり	上で両端が公	道に接続	してい	1る私道を対	対象とする	١,٥		
		目的詞	<b></b> ほ現のため	o Ø	・路	面舗装費に対して値	則溝等整備費カ	「2割以下	のもの(2割	以上となる	る場合	は土地所着	<b>貧担)</b>			
			ひ実施内			舗装の私道は所有			•							
		. ~/-	, 1.,0,1		'`		30314					3 70				
				指 煙 夕	私道	整備申請件数 単位	·····································									
			結果指標			13年度(実績)		(実績)	平成15年度	(実績)	<u> </u>	成16年度	(日煙)	平成 1	7年度(	日煙)
					T11X	0		(大限)		(大限)	一丁/.		(口信)	十八人		ᄓᇷᄼ
		٠١	(1)	指標値		U	1		1			1			1	
アウ	1)			単位コスト		++ / <del>+ -</del> /+ \\ \\ \	2 2 2 2		2							
指		標		指標 名			: m <sup>2</sup> 単位コス									
			結果指標			13年度(実績)		(実績)		(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値		0	153		397							
				単位コスト			8176		4919	)						
2	事業	€成₹	果(アウト	·カム)												
			**	4	<b>#</b> D	ナギン学動供に関す	7 亜畑に甘べく	' -h ==	シュー・							
			対	家	戸座	市私道整備に関する	5 安綱に奉 ノく	中,市私连	担に囲りる住氏							
事業	の	目的	対象力	バー率	対象	R 数 (a)	1	受 益 数	(b)	1		比 率 (b	÷ a) %		100	
対象						( )	l		. ( )				,			
,,,		5	意	図	道路	の凹凸がなくし生活	舌環境を向上さ	てせる.								
				ー E語にして)				0								
			(×18(×	<u> присос</u>												
大	=	≢	な	日 的	<b>道</b> 改	を良好な状態にし-	-船交通の田に	仕する								
^	•	2	<b>'</b> A	נים בו	但四	で [XX] 44/(窓)に O	以又通り市に	-   スッシ。								
				11: 1 <b>=</b> 2-	11	关的供应状态										
				指標名		道整備実施率	てい ** お /# わ ***・	/#- \ + A	0.0							
						ム道整備実施件数÷				, <del></del> /= >	I —	*	( D I = )	I		
			指 標		半成	13年度(実績)		(実績)	1	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	ı	カム		指標値		0	100		100			100			100	
指		標		指標 名	私道	を利用する市民(-	-般交通)の清	<b>詩足度(ア</b>	'ンケート)							
			最終成果			査のため不明										
			指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値												
芦屋	市の	り特色	色など補足	足する事項												
3	事業	≝費・	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	71	住民 2	1人当り(円)	31	平成16.4	1.1 住民基	基本台帳
事	J- 71	<u>```</u> 業	費		平成	13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度		-	成16年度	<del></del>			
•		人	件費		1 7-20	0	1770 - 172	2,012	1770 1 2 172	806			-			
	-	<u>ハ</u> 事	業費			0		1,251		1,953			1,037	1		
т			 『門 経 費	70.0%		•		1,201		1,000			1,007			
内ィ																
( +			貸却費					0.000		0.750			4 007			
		<u>合</u>	計	100.0%		0		3,263		2,759			1,037			
	-	<u>国</u>	・ 県								1					
財	源		債 等		ļ						1					
(千	円)		の他	70.8%				1,251		1,953			1,037			
		<u> </u>	段 財 源	29.2%		0		2,012		806			0			
活	動	職	員	100.0%		0.00		0.20		0.10			-			
配	分	嘱託	·臨時等										-			
( <b>J</b>	١	슬	計	100.0%		0.00		0.20		0.10			0.00	1		

	叫(アエツク)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	口的双小件(0	) 2\	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1	
	目的妥当性(2	· ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	5	
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
_	10100 5 (=	-,	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	2	2
=	市民ニーズ(2	- 1\	□ 「「「RC」 - 人に参ういて行う事業 しばない □ ニーズが高いとは言えない、または未把	_	
44	IDEX	~ 1)			
性			☑ 数字で把握している 申請件数 □ 未把握 □ 未把握 □ 未把握 □ またしている □ 計 △ 環境 ② 恋 (火に) またしている		
8点	社会環境変化	ረ(1 ~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	一安	
	優先性,緊急	ht- (4)	内容		
			□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	対象カバー率	• •		,	
FF (F)	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
効	成果の実績(2	2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
			□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	-	•
性	- 成果向上余地	b(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点		. ,	□ 成果向上策あり □ 特にな	<b>な</b> し	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣都市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 同一積算基準 ☑ 把握していない		
効	, ,	,	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0	) ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □		
率	×=====================================	/	L→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 ☑ 徴収可能	<del>)</del> -2	-3
'			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-2	-0
	手段(1~ 3)		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	58	
	J PX(1 0)		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取約	组(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	171 B3//3/47/	<u>ш</u> (т т)	<b>▶</b> 内容		
π <del>d</del> t	1 E 1 6	年 申 1-		wa _	_
実施	15~16 した改善	牛 皮 に	課題  内容	総合B評価B	В
<u>5 今1</u>	後の対応(アク	<u> フション)</u>			
現在	認識してい	る 課 題			
	関係者 市民,関係	系者の名称			
からの		更望内容			
要 望	. 等	( ± 1) T			
		対応内容			
	(1)	V11/0/17			
		実施期限	平成 年 月		
課題·要	<b></b> 望等	対応内容			
	(2)	对心内台			
への:	対 応	実施期限	平成    年    月		
		対応内容			
	(3)	אויטיינג			
		実施期限	平成 年 月		
その他	と考えられる				
改善。	のアイデア				
			今後の方	向性 1次評価	1 2次評価
			拡大・	充 実	
			私道舗装整備については、ほぼ舗装済みであり残事業としては少ない。   現 状   網   状	<b>住</b> 持	
			年間整備件数は1件程度となっている。 方法 己	攵 善	
平成 1					
	7~19年度(	の方向性	民間委	託 等	
	7~19年度(	の方向性	民間委	託 等 小	
	7~19年度(	の方向性		小	
	7 ~ 1 9 年 度 (	の方向性	縮	小 月設定	
	7 ~ 1 9 年 度 (	の方向性	縮 統合 / 終期	小 月設定	
2 次 評	7~19年度(		縮       統合 / 終期       廃止 / ·	小 月設定	
2 次 評			縮       統合 / 終期       廃止 / ·	小 月設定	

(内	部事	務)	事業	J - 1	4220250			部長次	長課長
√7 <del>=1</del> :	÷ 1 E	年度	<b>=</b>	業名	  市内主要道路路面清掃	1			
T DX	(1)	牛皮	<del></del>	来 石	中内土安坦始始闽/月79				
					I.				
1 3	車型	と 相 耳 三	要(ドゥ)						
				コの日梅	4 快適でうるおい	カカス都古づく!1		<i>三</i>	
新 3 / 総 6								所   官   課	
				<u>中</u>	2 快適な交通体系の	り登補		道路課	
政章	策が			小	2 生活道路の整備			所管課長氏名谷崎	
体		系		細				記入者氏名谷崎	
事		業	期	間		経常臨時	☑ 経常 🏻 臨時	電 話 番 号 0797-3	8-2062 内線 2811
根	拠	法	令 ' 导	要 綱 等	道路法第42条	<u>.</u>		実施 主体市	
実		施	手	法	☑ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託		] 負担金
委			<del></del>	先		名称		委託 委託 内容	- /
_					L /IPEFE	Hin		SHU SHU FI	
=	3	杯	•	<del>1</del> 97 <del>715</del>	十一一一一	パーにトス吹売注号			
事	3	業	Ø	概 要	主要道路のロードスィ	ハーによる姶固河畑			
					・道路パトロールや市	「民からの苦情 , 要望によ	り路面清掃を行う。		
					・主要道路延長	53.8km 路	宿延長(両側車線) <sup>*</sup>	107.7km	
事	Ì	業	の	現 状	・清掃対象路肩延長	81.3km (植栽状	況により清掃が不要なる	延長及び市民協力による	青掃延長を除く)
						: 損延長) 687.4km			•
		日的写	実現のため	ÓΦ		(6月・10月)は選定	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		<b>キ重点に清掃を行う</b>
			を成めため 及び実施内			   落葉が少ない道路につい			ニニハルロコロヒコン
	-	于F又力	メび夫心と	1台	・早   週1] 里が少なく	冷未が少ない追応につい	には、中氏による角がん	11111111111111111111111111111111111111	
				1					
				5 III	道路年間清掃回数	単位:回			
アク	ァテ	ィブ	活動指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指		標	/ 古里川 日 作示	指標値	12.0回	8.5回	8.5回	7.9回	
				単位コスト					
					道路清掃実施延長 单	立: km			
アウ		f w L				平成14年度(実績)	亚成15年度(宝績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	' 1' )		結果指標						一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
指		標		指標値		683.3km	687.4km	636.8km	
				単位コスト					
2 }	事業	き成り	果(アウ)	トカム)					
			<del>}-</del>	各		- 7 ギニー 机 六 : 革			
			対	豖	道路を利用する市民及	ひ一般交通			
事業	ŧ の	目的	対象力	バー 率	対象数(a) 6	87.4km	牧 (b) 687.4km	n 比率 (b ÷ a) <sup>(</sup>	% 100%
対象					7.3 5.1 5.2. (4)		x (=)	PS 1 (= 1 =)	
V.1 20	,	. E		ভিস	(年間	1,道路状況を良好な状態	に保た通行の字令を図る	z	
			意		/5摂理路の/月7年を111	1, 連鉛仏爪を長灯な仏忠	に休り週11の女主を囚る	5	
			(刈家を:	主語にして)					
大	7	ŧ	な	目 的	道路を常に良好な状態	に保持して一般交通の用	に供する。		
				指標 名	汚損道路清掃率				
					(清掃実施延長÷道路	活損延長)*100	道路汚損延長 = 清	掃対象延長 - 住民による	清掃延長
			成果指標			平成14年度(実績)			平成17年度(目標)
アウ	7 -	<b>h</b> /s		指標値		100%	100%	100%	100%
				指標名					1 0 0 70
指		標							マ 士細木のもはア門
						こよる事故件数を減少させる		が高ければ苦情件数は減少す	
			成果指標			平成14年度(実績)			平成17年度(目標)
				指標値		0件	1件	0件	0件
					苦情 , 要望についてに	できるだけ早く対応する	•		
芦	屋	の	特包	きなど	市道舗装率(191	. 6 km ÷ 1 9 3 . 0 k m	) 99%		
					植栽がある道路の害	合(53.8km÷道路延	長193.0km) 28	8 %	
3 :	事業	έ費⋅	活動配	分(コスト					8 平成16.4.1 住民基本台帳
事	J- 7	業	費			平成14年度(決算)			
<b>J</b> .	I	<u>**</u> 人	件費				1,733	1 0 1.00 (1.74)	_
					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	· ·	·	0.54	7
		事	業費		8,903	7,120	7,055	6,517	'-
内			門経費						-
(千	円)	減個	貸却費						-
		合	計	100.0%	11,065	9,470	8,788	6,517	7
		国	· 県						
財	源	市	債 等						
(千			の他	-		7,120	7,055	6,480	0
( 1	, ,		<u>ジ 間</u>				1,733	37	
:=	動						0.20	3	
活					0.25	0.25	0.20		-
配.			·臨時等						-
( 人	( )	台	計	100.0%	0.25	0.25	0.20	0.00	)

対象カバー率(1- 1)
小田原東指標の実績値を把握し、目標値を設定している □実績値を比固を設定している □実績値が未記入 □ 実績値が応果があがっていると言えない □ 実績値が応果があがっていると言えない □ 原果があがっていると言えない □ 原果の上余地(1 ~ 1) □ 成果向上策あり □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体と同程度 □ 仲間体より多い 多い。または少ない場合の理由 □ 世位コスト(1 ~ 1) □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体と同程度 □ 仲間体より多い 多い。または少ない場合の理由 □ 世位コスト(1 ~ 1) □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体と同程度 □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体と同程度 □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体と同程度 □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体が行きたはが形がある □ 民間(企業・NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業・NPO等)で対応可能である □ 電話・臨時職員等では対応できない業務である □ 民間(企業・NPO等)で対応可能である □ 電話・臨時職員等では対応できない業務である □ に、臨時職員等で対応可能である □ コスト削減取取(1 ~ 1) □ → 内容 □ コスト削減取取(1 ~ 1) □ スト削減の取り組みを行っている □ 対応行っていない → 内容 □ スト削減取取(1 ~ 1) □ スト削減の取り組みを行っている □ 対応行っていない → 内容 □ スト削減の取り組みを行っている □ 対応内容との調整により清掃回数を低減 総合 B 日
小田原東指標の実績値を把握し、目標値を設定している □実績値を比固を設定している □実績値が未記入 □ 実績値が応果があがっていると言えない □ 実績値が応果があがっていると言えない □ 原果があがっていると言えない □ 原果の上余地(1 ~ 1) □ 成果向上策あり □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体と同程度 □ 仲間体より多い 多い。または少ない場合の理由 □ 世位コスト(1 ~ 1) □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体と同程度 □ 仲間体より多い 多い。または少ない場合の理由 □ 世位コスト(1 ~ 1) □ 仲間体の数字を把握している □ 仲間体と同程度 □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体と同程度 □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体と同程度 □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体よりコストが低い □ 仲間体が行きたはが形がある □ 民間(企業・NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業・NPO等)で対応可能である □ 電話・臨時職員等では対応できない業務である □ 民間(企業・NPO等)で対応可能である □ 電話・臨時職員等では対応できない業務である □ に、臨時職員等で対応可能である □ コスト削減取取(1 ~ 1) □ → 内容 □ コスト削減取取(1 ~ 1) □ スト削減の取り組みを行っている □ 対応行っていない → 内容 □ スト削減取取(1 ~ 1) □ スト削減の取り組みを行っている □ 対応行っていない → 内容 □ スト削減の取り組みを行っている □ 対応内容との調整により清掃回数を低減 総合 B 日
世
性 4点
- 成果向上余地(1 ~ 1)
注動配分(1~1)
注動配分(1~1)   他団体の数字を把握している   一位団体と同程度   他団体より少ない   一位団体と同程度   他団体より多い   参い、または少ない場合の理由   一位団体と同程度   他団体より多い   参い、または少ない場合の理由   単位コスト(1~1)   世位団体の数字を把握している   単位コスト   同一種算基準   上報していない   一位団体の数字を把握している   単位コスト   同一種算基準   上報していない   一位団体よりコストが高い   高い、または低い場合の理由   直営「正規職員が執行」または外郭団体へ委託している業務について   行政職員に金素、NPO等)では対応できない業務である   民間(企業、NPO等)で対応可能である   民間(企業、NPO等)で対応可能である   国統・臨時職員等で対応できない業務である   国統・臨時職員等で対応可能である   国統・臨時職員等で対応できない業務である   国統・臨時職員等で対応可能である   国統・臨時職員等で対応できない業務である   国統・臨時職員等で対応可能である   国統・臨時職員等で対応可能である   国統・臨時職員等で対応可能である   国統・臨時職員等で対応可能である   国統・臨時職員等で対応可能である   日本に、国际の事業を対応の事業を
独立スト(1~1)
少
単位コスト(1~1)
平成 1 5 ~ 1 6 年度 に実施 した 改善 客 内容 を では できない 業務 である
中位
下野(1~3)
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本
性 4点
性 4点 □ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である □ 項託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である □ コスト削減取組(1~1) □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ おより 古路樹剪定との調整により清掃回数を低減 総合 評価 B B B B B B B B B B B B B B B B B B
性 4点 □ 民間(企業、NPO等)で対応できない業務である □ 民間(企業、NPO等)で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である □ 可託, 臨時職員等で対応可能である □ 可託, 臨時職員等で対応可能である □ 可託, 臨時職員等で対応可能である □ 可託, 臨時職員等で対応可能である □ 可託, 臨時職員等で対応可能である □ 可託, 臨時職員等で対応可能である □ 可式・削減の取り組みを行っている □ 対応内容 □ 対応内容 □ 対応内容 □ は対応内
□ コスト削減取組(1~ 1) □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 水 1 5 ~ 1 6 年度 に 課題 清掃時期 □ 改善 内容 哲路樹剪定との調整により清掃回数を低減 日本 記 識 し て い る 課 題 落葉の量が多い道路路面清掃は月に 2 ~ 3回であるが清掃回数を増やす必要がある。 樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。 市民、関係者 市民、関係者の名称 市民 からの意見 意 見 , 要望 内容 落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態 □ 対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。 ま施期限 平成 □ 月 □ 対応内容 □ 対応内容 □ 対応内容 □ 対応内容 □ 対応内容 □ 対応内容 □ 対応内容 □ 対応内容 □ サバル内容 □ サバル内容 □ サバル内容 □ サバル内容 □ サバル内容 □ サバル内容 □ サバル内容 □ コスト削減の取り組みを行っている □ 総合 □ は 日本 □ 日 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ 日 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ コスト削減の取り組みを行っている □ は 日本 □ コスト削減の取り組みを用する □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを用する □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを用する □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り組みを行っている □ コスト削減の取り □ コ
マ 成 1 5 ~ 1 6 年 度 に 課題 清掃時期
平 成 1 5 ~ 1 6 年 度 に 課題 清掃時期 内容 街路樹剪定との調整により清掃回数を低減 総合 評価 B 見 現 在 認 識 し て い る 課 題 落葉の量が多い道路路面清掃は月に 2 ~ 3 回であるが清掃回数を増やす必要がある。 樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。 市民,関係者 市民,関係者の名称 市民 からの意見 意 見,要望 内容 落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態 望 等 見,要望 内容 落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態 対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。 実施期限 平成 月 月 課題・要望等 対応内容
平成15~16年度       では       課題       清掃時期       改善内容       街路樹剪定との調整により清掃回数を低減       総合評価       B       B         現在認識している課題落葉の量が多い道路路面清掃は月に2~3回であるが清掃回数を増やす必要がある。樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。       市民,関係者市民,関係者の名称市民からの意見要望等       意見,要望内容落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態         実施期限平成年       対応内容       道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。         課題・要望等       対応内容       年月
B 現在認識している課題落葉の量が多い道路路面清掃は月に2~3回であるが清掃回数を増やす必要がある。 樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。 市民,関係者市民,関係者の名称市民 からの意見要望等 意見,要望内容落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態  (1) 対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。 実施期限 平成 年 月
B 現在認識している課題落葉の量が多い道路路面清掃は月に2~3回であるが清掃回数を増やす必要がある。 樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。 市民,関係者市民,関係者の名称市民 からの意見要望等 意見,要望内容落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態  (1) 対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。 実施期限平成年月 対応内容
現 在 認 識 し て い る 課 題 落葉の量が多い道路路面清掃は月に2~3回であるが清掃回数を増やす必要がある。 樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。 市民,関係者 市民,関係者の名称 市民 からの 意 見 要 望 今 落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態  (1) 対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。 実施期限 平成 年 月
現 在 認 識 し て い る 課 題 落葉の量が多い道路路面清掃は月に2~3回であるが清掃回数を増やす必要がある。 樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。 市民,関係者 市民,関係者の名称 市民 からの 意 見 要 望 今 落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態  (1) 対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。 実施期限 平成 年 月
樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。  市民,関係者 市民,関係者の名称 市民 からの意見 要 望 等 意見,要望内容 落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態
樹木の成長による落葉量が増加する路線の清掃回数及び南芦屋浜道路供用開始に伴い清掃延長が増加する。 市民,関係者 市民,関係者の名称 市民 からの意見 要 望 等 意見,要望内容落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態
市民,関係者 市民,関係者の名称 市民 からの意見 意見,要望内容落葉の量が多いので地域住民の清掃では手に余る状態 要望等
からの意見
対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。   実施期限 平成   年   月   月   対応内容
対応内容 道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。   実施期限 平成   年   月   月   対応内容
(1)     実施期限 平成     年     月       課題·要望等     対応内容
(1)     実施期限 平成     年     月       課題·要望等     対応内容
課題·要望等 対応内容
(2)
への対応 実施期限 平成 年 月
ALC: ACC
(3) 対応内容
実施期限平成
Sandra i i i i i i i i i i i i i i i i i i i
その他考えられる
改善のアイデア
今後の方向性1次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2
拡大・充実
道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。 方法改善
道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。
道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。   方 法 改 善   民間 委託 等
道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。
道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。
道路パトロールにより状況を把握し適切な清掃を実施する。

(投資	事	業)	事業	<b>_</b> _	۴	1260	010			]	部			長が			長課	長
平成1	5:	年度	事	業	名	交通	安全施設等整備事	<b>業</b>										
										]								
1 事	業	(概3	要(ドゥ)														I	
				くりの目	標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			所	싙	<b>=</b>	課	建設部	ß		
総合				中		2	安全と防災の確保							ii ii		交通安	全担当	
政策	旅			小		6	交通安全対策の推	進					長氏			克人		
体		系		細	88	D714D	4 1 午 年	+0.2015中十	□₩□				五			<u>克人</u> 38-2063	<b>中</b> /自	0004
事 根 扱	ιЛ.	法		<u>明</u> 要綱			41年度~ 安全施設等敕借に	投資臨時  関する特別措置法,(通	☑ 投資 □		電実		主			38-2063	内線	2821
実	و	施		<del></del>			直営	□ 一部委託	□ 全部委託				_ <u></u> 助金	11		□ 負担	<u></u>	
<del>交</del>		,,,	託	<u>,                                      </u>	先		外郭団体委託	名称			委記			容			- ME	
								-				•						
事	Ì	¥	の	概	要	交通	安全施設の新設・i	改修・補修工事及び街路	格灯の新設工事	Į.								
						72	**************************************	ᄜᇊᅅᆇᄡᆘᇷᆉᄝᆏᄼ	\ <del>+/</del>									
								路反射鏡などの交通安全 柵・横断防止柵の改修	E.他設の新設									
事	ž	¥	Ø	現	壮			路反射鏡・標識・区画総	泉などの補修									
•			•	-70	<i>V</i> (			げなどのバリアフリー化										
	E	目的詞	実現のた(	めの		・夜	間の安全対策強化	に向けた街路灯(防犯が	丁) の新設									
	Ξ	手段及	び実施	内容														
				<del>                                    </del>	-	7+÷#	<b>押の数供が</b> E											
			<b>姓里</b> 指	0 1101	_		柵の整備延長 により新設及7~2次修	を行った防護柵(転落防	1上##   構紙形   1	-柵 ガ <b>ー</b>	۲I.,	— JL.≘	<u>等</u> ) の3i	ſĘ.				
			(1)	年				平成14年度(実績)					6年度		目標)	) 平成	17年度	(目標)
アウト	・ブ	゚ット	( · )	指標			299m	503m	278m				1000	•			300m	•
指		標		指 標	名	区画	線の整備延長									l .		
			結果指標	考え方				を行った区画線の延長										
			(2)	年	_	平成		平成14年度(実績)	平成15年度		平	7成1	6年度	•	目標)	) 平成	17年度	
າ 🖶	5 <del>31</del> 5	é ct: E	果(アウ	指標	値		6,285m	6,318m	5,402r	m			6,000	)m			6,000r	n
<del>ا</del>	* 未	ミリスフ	K() 7	I'MA)														
			対		象	道路	を通行する歩行者	及び自動車等										
事業(																		
対 象	· 清	意 図																
			意が免ち	÷====================================		交通	安全施設の整備に	より,歩行者及び自動車	≣等の安全を確	保する								
			(対象を	主語にして	()													
大	ŧ	<u> </u>	な	目	的	自転	車・歩行者の安全	確保と自動車交通の円滑	骨化を図り,安	全で快適	なる	を通環	環境を研	確保	する			
							指標名	指標値					考え方	i • 🗹	t			
i	ι.	+ /	中	[1]		交通	安全施設等の設置 等の要望数	0箇所	交通安全施設	等の整備	によ	り道路	8利用:	者の	安全	が確保さ	れる	
ア ウ 成 里			成果指標	<u> </u>		六涌	安全施設等の不備											
(事業			~~~1¤1	(2)			安宝施設寺の不備る道路の危険箇所	0箇所	交通安全施設	等の整備	によ	り道路	各の危[	険箇	所を	削減する		
			<b>最级</b> 5		梅	र्देऽ		0%	交通安全施設	等の敕借!	<del> -</del>   -	门许	改が却	因と	かスス	かる事が	の発生を「	防ぐ
			取 形 /	X 7K 1H	135		<b>地争以の</b> 原囚平	070	又四又王旭以	サの正備	۱۲۵	7, 但」	13 /J	عاد	14 W Z	人四争的	の光エで	,,, ,
*=-	± ~	\ #± 4	ろナ いナ	足する事	T (5													
尸座「	IJ V.	ノ村 ヒ	となる補	正90事	り													
3 <b>事</b>	学	- 曹・	活動配	分(コス	. h				平成16.4.1住民	基本台帳	1	世帯当	当り(円	)	1.72	20 住民	1人当り(円	) 744
事		業	<u> </u>			平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)			累計額		·算)	事業	費総額(決	算+計画)
		人	件		.9%		3,752	4,516		5,053			•			-		-
	L	事	業		.1%		19,489	23,971		23,194					66,65	54		87,107
	-		門経費													-		-
(十円		<b>減 1</b> Ⅲ 合	i 償 却 費		Λ%		23,241	28,487		28,247					66,65	- 34		87,107
	_	<u>日</u> 国	· 県		. U /0		20,271	20,707		20,271				•	55,00	7		57,107
財	源		債 等															
(千円		そ	の ft	<u>t</u>														
			段 財 源	-			23,241	28,487		28,247					66,65		/B-1	87,107
	動		. 吃 吐 勻		.0%		0.50	0.70		0.70		(H	H13 ~ I	H150	の累記	<b>i</b> †)	(累計 + H <sup>-</sup>	16予算額)
配 : ( 人			·臨時等		.0%		0.50	0.70		0.70								
	/																	

	叫(アエック					
評	価	視 点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	口的公平	± (0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	とができない		
妥	目的妥当怕	±(2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高	<b>らない</b>		
			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う	事業ではない		
	市民ニース	ζ(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない		_	
当	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	()	□ 数字で把握している 要望数 年平均30件	□ 未把握	5	4
			□ 数子で記述している   安全数 キャップ・・・・ 社会環境の変化にあわせが ■ 社会環境の変化にあわせが		1	
441	社会環境	变化(1~ 1)		こ兄且しか必安	ł	
性	/= // I/I m	t de la co	内容 設置基準の改正,バリアフリー化の促進			
6点	優先性,緊		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	受益者(1~	- 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が			
有	進捗状況(	2 ~ 1)	│ ☑ 進捗状況の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未訂	入5		
効	(E15-1//)L(	- 1)	▶ □ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出てに	13	2	2
性	`件+此7h 羊。	>+b/4 4)	計画から遅れが出ている場合			
4点	- 進捗改善名	余地(1~ 1)	☑ 改善策あり 予算の確保,他の道路修繕事業でも必要箇所を整備する	□ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる	<u>.</u> 団体はない		
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 団 把握してい			
効	コスト(1~	1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコ			
~/3			7	1711011	1	
			高い、または低い場合の理由		-	
率			直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		1	0
	手段(1~	3)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担う			0
	3 12(.	0,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応	可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応す	丁能である		
3点	コフト当じば	HT 60 / 4 4 )	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	コスト削減	<b>以組(1~ 1)</b>	▶ 内容 道路反射鏡の方向修正など簡易な作業は直営で実施し,事業費の軽減を図	っている	1	
			道路利用者の視点に立った施設整備 2学校園のPTAと定期的な会議を開催	しており		
平成	1 5 ~ 1	6 年 度 に	理頭   改善	は チェュー総合	Α	В
美 施	した改	善内容	内容	惟を妛請評価	^	ן כ
「	後の対応(フ	フクシュンハ				
J 712	友マノスリルい(フ	77237)	・施設管理台帳の不整備により,計画的な整備工事ができない			
TR #= =	=77 ±₩ I <del>-7</del>					
現 住 記	認 誠 し (	いる誄題	・信号機及び横断歩道の設置など,公安委員会所管分の要望が多い			
			ŀ <del></del>			
	係者 市民,	関係者の名称	市民			
からの	意見	要望贞宓	道路反射鏡(カーブミラー)の設置要望が特段に多い			
要望	等◎元	女主门口				
		がなり必	施設管理台帳の整備はこの事業を計画的に進捗させる基礎であり,予算が確保できれ	ギロタ に 敕供する		
	(1)	刘心内台	他故自垤ロ喉の霊神はこの事業を計画的に延抄させる金姫でのり,     昇が唯体でされ 	4十志に置備する	)	
		実施期限	平成年月			
課題·要	望等		要望等には必ず現地確認を行い回答しているが,道路反射鏡に関しては,設置により。	な通担則(一日信	ミルンがき	テらわず
W1172 2	(2)	対応内容	出会い頭事故の発生要因となるため,事情を説明して断る場合がある	文造成制 (三百	-ш ) //	3 2109
へのす		実施期限				
( 0) /	^, ,,,,	大池州水	<u> </u>	1. 黑水水(土)目数土	- <del> </del>	D+. 14
	(2)	対応内容	公安委員会所管分の要望は現地調査を行い芦屋警察署に伝えているが,全ての施設の 要望者への回答に時間を要す	设直判断は宗警4	*部决正(	ひにめ ,
	(3)	C +/- HD 70				
		実施期限		*	±5 /# <b></b> /	
			(評価欄にも記載)学校園のPTAと施設改修などの要望を協議する場を設け,利用	首の立場に立った	整備を	1つ
	考えられ					
改善の	カアイデ	ア				
				今後の方向性	1次評価	2次評価
			・予算が確保できれば施設管理台帳を作成し,整備計画を策定する	拡 大 · 充 実		
			・歩行者及び通行車両の安全確保を図る事業であるが,財政的に厳しいこともあり	現状維持		
					-	
			通学通園路を優先した整備を進める	方 法 改 善		
平成 1	7~19年1	きの方向性	通学通園路を優先した整備を進める			
平成 1	7~19年1	度の方向性	通学通園路を優先した整備を進める ・北部区画整理事業で整備された朝日ヶ丘町等では,施設の老朽化が同時に進行して	民間委託等		
平成 1	7~19年1	度の方向性	通学通園路を優先した整備を進める	民間委託等縮 小		
平成 1	7~19年1	度の方向性	通学通園路を優先した整備を進める ・北部区画整理事業で整備された朝日ヶ丘町等では,施設の老朽化が同時に進行して	民間委託等縮 小統合/終期設定		
平成 1	7~19年』	度の方向性	通学通園路を優先した整備を進める ・北部区画整理事業で整備された朝日ヶ丘町等では,施設の老朽化が同時に進行して	民間委託等縮 小		
			通学通園路を優先した整備を進める ・北部区画整理事業で整備された朝日ヶ丘町等では,施設の老朽化が同時に進行して	民間委託等縮 小統合/終期設定		
	7~19年1		通学通園路を優先した整備を進める ・北部区画整理事業で整備された朝日ヶ丘町等では,施設の老朽化が同時に進行して	民間委託等縮 小統合/終期設定		

									T				
(一般事	事業)	事業	<u> </u>	1260	020					部長次		長課	長
平成15	年度	事	業名	交通	安全運動の推進								
									1				
1 車	<del>二</del> 相	要(ドゥ)											
		,	りの日標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり				建	設部		
総合			<u>ゥッカル</u>		安全と防災の確保					h 管 課		通安全担当	
政策			<u>'</u>		交通安全対策の推					所管課長氏名礼			
体	系		細							記入者氏名礼			
事	業	期	間	昭和	4 3 年 ~	経常節	諨時	☑ 経常 □	臨時	電 話 番 号 079			2821
根 拠	法	令 '	要 綱 等	交通	安全対策基本法					実 施 主 体市			
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託		☑ 全部委託	;	□ 補助金		負担金	
委		託	先			名称 シルバー人材t				委託 委託 内容 交通			
										こ交通安全思想の普及	及徹底	を図り,	
事	業	の	概 要	正し	い交通ルールの習行	得と交通マナーの実践	线を	習慣づけ,交対	通事故を	なくす			
				ļ		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \							
	МК		TE .U.			交通安全教育の開催							
事	業	の ===の+-¥			国交通安全運動等の		167 ZV :	: <b>1</b> €4					
		ξ現のため ススス宇┷ゖ				イルドシート着用のst チチホカ	3年	<b>活</b> 到					
	丁F又か	ひ実施内	TH C		法駐車排除の啓発液	口却							
			指 煙 夕	交诵	安全教室の盟催回	数(雨天中止を除く)				 (事業費:交通指導	<b>自</b> 季	モ米斗の60%。)	
		結果指標				平成14年度(実績		平成15年度	(実績)	平成16年度(目		平成17年度(	目標)
			指標値		38回	33回	,	35回		43回		43回	1 1 1.5. )
アウト	プット	,	単位コスト	_	130,289円/回	118,606円/回		111,200	9/回	88,652円/回		88,652円/	
指	標		指標 名	交通	安全運動など啓発流	舌動回数(雨天中止?	を除	< )		(事業費:事業費集詞	計一交	通安全教室経費	)
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績	責)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目	標)	平成17年度(	目標)
		(2)	指標値	i	29回	28回		29回		38回		38回	
			単位コスト		127,621円/回	128,108円/回		115,621₽	9/回	88,132円/回		88,132円/	
2 事	業成	果(アウ	<u>トカム)</u>										
		対	象	4 ,	5 , 6 歳児(幼稚[	園児及び小学1年生	) 及	び11歳児(/	小学4年9	生で自転車教室受講	者)		
<b>事</b> # 4	- h	<del></del>	11" 1		5 ** (-) O	0001	*	(1-)	1 227 1	LL <del> </del>	-) 0/	75.60%	
対象・			バー 率	נא ן וּצ	R 致 (a) 2	,960人 受 益	<b>安</b> 义	(D) 2	2,237人	比 率 (b ÷	a) %	75.60%	
X) SK		意	№		安全教室を通じて	, 正しい交通ルールる	を学	んだ子供の数					
			ニー 主語にして)		X 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	, 1100.200	<u> </u>	7070 3 17107 87					
		(1.0.01											
大	き	な	目 的	子供	の交通違反が原因	で発生する交通事故な	を減	らす					
					ルール,交通マナ・								
					安全教室を受講し					T			
		指 標				平成14年度(実績	(人)	平成 1 5 年度		平成16年度(目	標)	平成17年度(	
アウト			指標値	1	1,701人	1,865人		2,237,	Λ	2,345人		2,482人	
指	標	是级式田			の交通事故件数の交通違反が原因の	の交通事故件数(県氰	シギ	<b>_</b> タブ15歩!	リ下の生	計 /			
						平成14年度(実績				平成16年度(目	煙)	平成17年度(	[日標]
		]	指標値	-	4件	11件	R /	7件		4件	1 <i>x</i> /	2件	, H155 /
					.,,			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				-11	
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	i									
3 事	業費·	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	315	住民1人当り(円)	136	平成16.4.1 住民	基本台帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算	1)	平成15年度	(決算)	平成16年度(予	算)		
	人	件 費		5	6,725	5,6	34		4,972		-		
	事	業費		5	7,626	7,5	01		7,245	7	7,161		
		門経費									-		
(千円)		償却費	100.00		44.054	40.4	0.5		40.047	_	-		
	<b>合</b>	<u>計</u>			14,351	13,1	<b>3</b> 0		12,217	-	7,161		
財源	市	· 県					-						
(千円)		の他											
( 1 1 1 )		<u>。</u> 財源			14,351	13,1	35		12,217	7	7,161		
活動	職	<del>文 //3 //3</del>			0.70		.55		0.65		-		
		・臨時等			0.50		.50				-		
(人)		計			1.20	1.	05		0.65		0.00		

4 評1 評	<u>曲(チェ</u> 価	<u>ック)</u> 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
н	T		2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	177411	27(111)
	H = 3.	~ -1 1 - (-		☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関-	与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
				□ いずれにも該当しない	_	_
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	6
141	市民	ニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握		
性				□ 数字で把握している □ 未把握	4	
8点	社会	環境変化	比(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要内容 交通情勢に応じた啓発テーマの選定。		
	優先	性,緊急	性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
			<b>፩</b> (1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益	者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の	の実績(2	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	2	2
				▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	<b>~</b>	_
性	- 成果[	句上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点			_	☑ 成果向上策あり 保護者による日常生活での教育実施 □ 特になし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市町 □ 比較できる団体はない		
**	単位:	コスト(1・	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 単純比較は不可 □ 把握していない		
効		·	,	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	•	
				高い、または低い場合の理由 指導員を直営の市と比較すれば、委託が安価、また、担当職員数も少ない	-	
	受益	者負担((	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である    ☑ 負担を求めるべき事業ではない		
率				□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	<b>∤ 1</b>	-1
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-	-
	手段(	(1 ~ 3)	)	<ul><li>□ 正規職員による執行が義務づけられている</li><li>□ 固人,家庭,地域等が担うべき部分がある</li><li>□ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業,NPO等)で対応可能である</li></ul>		
.h41-				□ 氏同(正業, NPO等)で対応できない業務である □ 氏同(正業, NPO等)で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
性 3点				□ 場計、臨時報員等では対応できない業務である □ 場計、臨時報員等で対応引能である □ 特に行っていない	1	
ож.	コスト	·削減取	組(1~ 1)	→ 内容 平成15年度から臨時職員の採用を中止した		
				伊奈氏での方海空へ数字の字体   今6伊奈氏のうた3伊奈氏で字体		
平成	1 5 ~	1 6	年度に	舞り / 裏はけ字の数字を経験せずに小学校に     改善    の名形での六通字の数字関係を担案中   総合	Α	В
美 池	U 12	CX E	善 内 容	講題   「関元は女主教室を経験とりに小子校に   内容   主味   門での交通女主教室用権を提条中   評価   誰むため交通ルール習得の機会がない	'`	
5 今1	後の対	応(ア	フション)			
		,	,	交通安全教室及び交通安全運動などの内容の充実		
現在	認 識 し	てい	る 課 題	日常生活(家庭内)での交通安全教育の実践		
				自転車利用者の交通マナーの向上		
		民,関係	系者の名称	学校園の先生		
からの	台		更望内容	交通安全教室に必ず芦屋警察署の参加を求められている		
要望	等心	. / . / .	<u> </u>	ACATATICA / FEENEW/MICHO DIVINO		
			対応内容	阪神交通安全対策協議会で交通指導員研修を実施し,資質の強化及び事業内容の充実を図る		
		(1)				
+m == ==	E +0 66		実施期限	平成 年 月		
課題·要	2 望寺	(2)	対応内容	交通安全教室に保護者の参加を要請し,日常生活において保護者による交通安全教育を実施		
への:	対 応		実施期限	平成 年 月		
			対応内容	自転車利用者の交通マナーの向上対策は、芦屋警察署など関係機関とも協議を行っているが、決定的な	対策が見	出せず
		(3)	אניוטיונגג	苦慮している		
			実施期限			
				高齢者への交通安全教室を,福祉部門とも共催する		
	り考えら					
改善。	のアイ	デア				
				今後の方向性		2次評価
				・直ちに効果が発生する事業ではないため,継続した実施が必要である 拡大・充実		
				・高齢者への交通安全教室も交通指導員業務委託先の芦屋交通安全協会,芦屋警察署 現 状 維 持		
T + 1	7 1 (	· /- ==	~ <del>+</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> <del>-</del> -	と共催実施しているが,今後さらに高齢化社会を迎えるため対策の強化が必要方法の改善方法の登録しているので、同様に微体字数する		
DX 1	/~   !	千段	の方向性	・啓発活動には自治会などの参加も得て実施しているので,同様に継続実施する 民間委託等 ・全保育所での交通安全教室の開催及び学校園での交通安全教室への保護者参加は,縮 堀 小		-
				・ 宝味自然での交通女主教室の開催及び子校園での交通女主教室への休護有参加は, 細 ク 機会のあるたびに要請していく 統合/終期設定		
				機会のあるたびに委領していく 統合・終期設定 廃止 / 休止		
				乗		1
2次氧	平価季	員 今	コメント			
- // 17	. іщ 350	<b>A</b> A	- /· / I			

(投	資事	業)	事 業		7.	4130190			部長	次	長記	果 長
ᅲ	: 1 г	左庇	击	<del>41.</del>	47	(住宅市街地総合整備	事業)南芦屋浜地区幹線i	道路及び補助				
平双	, 1 5	年度	<del>*</del>	業		幹線道路整備事業	,					
1 }	事業	を 根 を	要(ドゥ	)								
					標	4 快適でうるおい	のある都市づくり		Ar Am	建設部		
		+ 画		中		1 暮らしやすく質					通安全担	当
		も 策		小 小		3 市街地の整備			所管課長氏名			
体		系		細		0 1127 2 112			記入者氏名		<del>/ ` `</del> 券	
事		業		朝	問	 平成11年度から平原	战2 0 年度 投資臨時	☑ 投資 □ 臨時	電話番号			内線 2815
	拁.		令 '	要綱	等	11211 2112	X Z V I IX		実施主体			P3/WK 2010
実	JAC	施		<u> </u>		☑ 直営	☑ 一部委託	□ 全部委託			負担金	
委		IJШ	託	т	_	<ul><li>□ 量音</li><li>□ 外郭団体委託</li></ul>	名称		間委託 委 託 内 容		只让亚	
女			пL		_		<u>  ロが </u> 全 安心 魅力を基本理					
事	á	業	Ø	概		•	000人,住宅供給戸数	•				
<b>→</b>	=	未	0)	俬			•	•		+4公 <del>士</del> Z		
						文地の基件となる計画	<sup>泉及び補助幹線道路を整位</sup>	用し、国区を形成し地	4月の任七七地では	t和9 る。		
						初刊 丁東大兵庫県		<b>ルについても C</b> 序目へ	光亡から即復士で			
			_		.116		県企業庁に委託。道路用 <sup>は</sup>					
事	3	業	の	現	汏		,幅員18~20m,延 <del>[</del>	•				,
							各は4路線,幅員18m		傾する。(計6路線	禄,延長3	, 8 5 8 n	n)
			実現のた			・景観に配慮して全路	路線を対象に電線類の地域	P化を実施。				
	-	<b>手段</b> /	及び実施	内容								
				1								
						道路整備延長(累計)	Pag =					
			結果指標	考え方		歩車道舗装等工事完成		1				
			(1)	年		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標)	平成 1 7	年度(目標)
アウ	トフ	プット		指 標		0m	241m	1,668m	2,148m		2	2,148m
指		標				電線地中化延長(累計						
			結果指	票考え方	·式	電線共同溝工事完成到	<b>E</b> 長					
			(2)	年	度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標)	平成 17	年度(目標)
			( 2 )						110% : 0 112		1 7-70	
			(2)	指標		792m	1,668m	2,148m	2,148m			2,748m
2 }	事業	<b>美成</b> 男	【 (2) 果(アウ	指標		792m	1,668m		_			2,748m
2 }	事業	€成.	, ,	指標		792m	1,668m		_			2,748m
2 }	事業	《成	, ,	指標	値	792m 南芦屋浜地区のまちご	<u> </u>		_			2,748m
		€成. 目的	果(アウ 対	指標	値		<u> </u>		_			2,748m
事業	の		果(アウ 対	指標	値		<u> </u>		_			2,748m
事業	の	目的	果(アウ 対	指標	<b>値</b>	南芦屋浜地区のまちて	<u> </u>	2,148m	2,148m			2,748m
事業	の	目的	果 (アウ 対 意	指標	值 象 図	南芦屋浜地区のまちて	づくり	2,148m	2,148m			2,748m
事業	の	目的	果 (アウ 対 意	指標 トカム)	值 象 図	南芦屋浜地区のまちて	づくり	2,148m	2,148m			2,748m
事業	<b>も</b>	目的	果 (アウ 対 意	指標 トカム)	値象図で)	南芦屋浜地区のまちて まちづくりの基幹とな	づくり	2,148m で,南芦屋浜のまちづ	2,148m			2,748m
事業対象	<b>も</b>	目的意図	果 (アウ 対 意 (対象を	指標トカム)	値象図で)	南芦屋浜地区のまちて まちづくりの基幹とな	びくり	2,148m で,南芦屋浜のまちづ	2,148m			2,748m
事業対象	<b>も</b>	目的意図	果 (アウ 対 意 (対象を	指標トカム)	値象図で)	南芦屋浜地区のまちて まちづくりの基幹とな	びくり	2,148m で,南芦屋浜のまちづ	2,148m	式		2,748m
事業対象	<b>も</b>	目的意図	果(アウ 対 意 (対象を	指標トカム)	値 象 で) 的	南芦屋浜地区のまちでまちでは、まちづくりの基幹となったまままででは、まままでは、10の基幹となったまままでは、14標名	づくり なる道路を整備することで た、安全に、安心して暮! 指標値	2,148m で,南芦屋浜のまちづ らすことができる,魅	2,148m くりを促進する かあるまちづくり 考え方・:		2	2,748m
事業対象	<b>( の</b> )	目的意図	果(アウ 対 意 (対象を	主語にし目	値 象 で) 的	南芦屋浜地区のまちてまちでは、まちづくりの基幹とな	びくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮	2,148m で,南芦屋浜のまちづ	2,148m くりを促進する かあるまちづくり 考え方・:		2	2,748m
事対ター大のプログラ	<b>きの</b> けい	目的図	果(アウ 対 意(対象を な	指標トカム)	値 象 図 て) 的	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率	づくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮! 指標値 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづ らすことができる,魅 電線類を地中化するこ	2,148m くりを促進する 力あるまちづくり 考え方・ とで,良好な街並み:	景観を創	出する	
事対ター大のプログラ	(の) (マン) (マン) (マン)	目意きから	果(アウ 対 意 (対象を	指標トカム) 主語にし 目	値 象 図 て) 的	南芦屋浜地区のまちでまちでは、まちづくりの基幹となったまままででは、まままでは、10の基幹となったまままでは、14標名	づくり なる道路を整備することで た、安全に、安心して暮! 指標値	2,148m で,南芦屋浜のまちづ らすことができる,魅	2,148m くりを促進する 力あるまちづくり 考え方・ とで,良好な街並み:	景観を創	出する	
事対 大 ア成業第	(の) (マン) (マン) (マン)	目意きから	果(アウ 対 意 (対象を 中 成果指	指標トカム) 主語にし 目 (1)	値象図で)的	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率	づくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮い 指標値 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ	2,148m くりを促進する 力あるまちづくり 考え方・ とで,良好な街並み: ることで,道路利用:	景観を創	出する・安心を確	保する
事対 大 ア成業第	(の) (マン) (マン) (マン)	目意きから	果(アウ 対 意 (対象を 中 成果指	指標トカム)	値象図で)的	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率	づくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮い 指標値 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづ らすことができる,魅 電線類を地中化するこ	2,148m くりを促進する 力あるまちづくり 考え方・ とで,良好な街並み: ることで,道路利用:	景観を創	出する・安心を確	保する
事対 大 ア成業第	(の) (マン) (マン) (マン)	目意きから	果(アウ 対 意 (対象を 中 成果指	指標トカム) 主語にし 目 (1)	値象図で)的	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率	づくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮ら 指標値 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ	2,148m くりを促進する 力あるまちづくり 考え方・ とで,良好な街並み: ることで,道路利用:	景観を創	出する・安心を確	保する
事対大ア成(事	り、対象を	目意 き カ旨ご の お標り	表(アウオ) 意(対象を中 成 終 を	指標トカム) 主語にし 目 (1)	値象図で的標	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率	づくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮ら 指標値 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ	2,148m くりを促進する 力あるまちづくり 考え方・ とで,良好な街並み: ることで,道路利用:	景観を創	出する・安心を確	保する
事対大ア成(事	り、対象を	目意 き カ旨ご の お標り	表(アウオ) 意(対象を中 成 終 を	指標トカム) 主語にし 目 (1)票 (2)	値象図で的標	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率	づくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮ら 指標値 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ	2,148m くりを促進する 力あるまちづくり 考え方・ とで,良好な街並み: ることで,道路利用:	景観を創	出する・安心を確	保する
事対 大 ア成( 芦屋	り、根業では、	目意 き カ旨・ ひ り り の り の も の も の も の も に かん 標 り かん 標 り	果(アウ) 意(対 な 中 成 最 など 補	指標トカム) 主語にし 目 (1)票 (2)	値 象 図)的 標 項	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率	づくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮ら 指標値 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ	2,148m くりを促進する かあるまちづくり 考え方・・ とで、良好な街並み・ ることで、道路利用・ 000戸の住宅宅地の	景観を創	出する ·安心を確 可能となる	保する
事対 大 ア成(事 戸 3	り、根業では、	目意 き カ旨・ ひ り り の り の も の も の も の も に かん 標 り かん 標 り	果 対 意対 な 中 成 最 な 動脈	指標 トカム)	値 象 図() 的 標 項 (人)	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率	びくり なる道路を整備すること た,安全に,安心して暮ら 指標値 100% 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅.電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・ とで,良好な街並み: ることで,道路利用: 000戸の住宅宅地の	景観を創 者の安全 の供給が「 256,264	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	保する
事対 大 ア成(事 屋 !!!	り、根業では、	目意きからの特別をおいては、日意のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の	果 対 意(対 な 中 成 最 な 活動	指標 トカム)	値 象 図 の の の に に に に に に に に に に に に に	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率 住宅宅地供給可能率	びくり はる道路を整備すること た,安全に,安心して暮い 指標値 100% 100% 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅.電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す道路の整備により全3,	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・・ とで、良好な街並み・ ることで、道路利用・ 000戸の住宅宅地の  は 1世帯当り(円)   歳出累計額()	景観を創 者の安全 の供給が「 256,264	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	保する
事対 大 ア成( 芦屋	り、根業では、	目意 き カドラ か 巻	果 対 意(対 な 中 成 最 な 活動 件)	指標 トカム) 主語にし 目 果 する コス成 (2) 構	値 象 図 で 的 標 項 スト) 3.5%	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹となまちづくりの基幹とな生活者の視点に立った指標名電線類地中化率歩道整備率 住宅宅地供給可能率	びくり はる道路を整備すること た,安全に,安心して暮い 指標値 100% 100% 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3, 平成16.4.1住民基本台軸平成15年度(決算)	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・・ とで、良好な街並み・ ることで、道路利用・ 000戸の住宅宅地の  【 1世帯当り(円)   歳出累計額()	景観を創 者の安全 D供給がT 256,264 夬算)	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	*保する 切(円)   110,789 額(決算+計画)
事対 大 ア成(事	り、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、お	目意 き カドラ カ 養 人事的図 ム標) (特)	果 対 意(対 な 中 成 最 な 活 件業	指標 トカム) 主語にし 目 (1) 票 成足 分(構成) (2) 指	値 象 図 の の の に に に に に に に に に に に に に	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹となまちづくりの基幹とな生活者の視点に立った指標名電線類地中化率歩道整備率住宅宅地供給可能率平成13年度(決算)	びくり はる道路を整備すること た,安全に,安心して暮い 指標値 100% 100% 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3, 平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算)	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・・ とで、良好な街並み・ ることで、道路利用・ 000戸の住宅宅地の  【 1世帯当り(円)   歳出累計額()	景観を創 者の安全 の供給が「 256,264	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	保する
事対 大 ア成(	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ旨ご カ 貴 人事他的図 ム標了 特 貴業 部	果 対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門 経 が は 神 に 経 が は 神 に 経 が に は か に は は は は	指標 トカム) 主語 目 (1) 票	値 象 図 で 的 標 項 スト) 3.5%	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹となまちづくりの基幹とな生活者の視点に立った指標名電線類地中化率歩道整備率住宅宅地供給可能率平成13年度(決算)	びくり はる道路を整備すること た,安全に,安心して暮い 指標値 100% 100% 100%	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅 電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3, 平成16.4.1住民基本台軸平成15年度(決算)	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・・ とで、良好な街並み・ ることで、道路利用・ 000戸の住宅宅地の  【 1世帯当り(円)   歳出累計額()	景観を創 者の安全 D供給がT 256,264 夬算)	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	*保する 切(円)   110,789 額(決算+計画)
事対 大 ア成(	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ旨う カ 貴業 人事他減的図 ム標了 特 費業 部価	果 対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償 に 特別で	指標 トカム) 主語にし 目 (1) 票 (2) 構成 (2) 構成 (9) では (1) できまます。 (2) は (1) できまます。 (2) は (1) できまます。 (3) は (1) できまます。 (4) は (1) できまます。 (4) は (1) できまます。 (5) は (1) は (1) に (1)	値 象 図 て) 的 標 項 入 % 3.2.5%	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹となまちづくりの基幹とな生活者の視点に立った指標名電線類地中化率歩道整備率住宅宅地供給可能率平成13年度(決算) 2,945 986,638	びくり はる道路を整備することで た,安全に,安心して暮い 指標値 100% 100% 100% 2,992 250,547	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅. 電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3, 平成16.4.1住民基本台・平成15年度(決算) 1,770 384,583	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・ とで、良好な街並み: ることで、道路利用: 000戸の住宅宅地の  は出界計額(注 は出界計額(注 の 9,	景観を創 者の安全 D供給がi 256,264 夬算) - 929,475 -	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	が (付) 110,789 額(決算+計画) - 15,433,423 -
事対 大 ア成(	の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意 き カ旨 ひ 貴 人事他減合 的図 ム標 ) 特 費業 部価	果 対 意対 な 中 成 最 み 活 件業門償却 情報 が は は が は か が は か が は と が が は と が が は と が が は と が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か か が は か は か	指標	値 象 図 て) 的 標 耳 スト) % 3.5%	南芦屋浜地区のまちでまちづくりの基幹となまちづくりの基幹とな生活者の視点に立った指標名電線類地中化率歩道整備率住宅宅地供給可能率平成13年度(決算)2,943986,638	びくり はる道路を整備することで に,安全に,安心して暮く 指標値 100% 100% 100% 2,992 250,547	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅.電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す道路の整備により全3,平成16.4.1住民基本台・平成15年度(決算)1,770384,583	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・ とで、良好な街並み・ ることで、道路利用・ 000戸の住宅宅地の  (1世帯当り(円) 歳出累計額(え) は、9,1	景観を創 者の安全 D供給が可 256,264 夬算) - 929,475 - - - 329,475	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	が (付) 110,789 額(決算+計画) - 15,433,423 - 15,433,423
事対 大 ア成(事 芦 3事 内(	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ旨 り 特 貴業 一部価	果 対 意対 な 中 成 最 み 活 件業門償 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指標	値 象 図 て) 的 標 項 入 % 3.2.5%	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹となまちづくりの基幹とな生活者の視点に立った指標名電線類地中化率歩道整備率住宅宅地供給可能率平成13年度(決算) 2,945 986,638	びくり はる道路を整備することで に、安全に、安心して暮ま 指標値 100% 100% 100% 2,992 250,547 253,539 59,809	2,148m で,南芦屋浜のまちづらすことができる,魅. 電線類を地中化するこ全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3, 平成16.4.1住民基本台・平成15年度(決算) 1,770 384,583	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・ とで、良好な街並み・ ることで、道路利用・ 000戸の住宅宅地の  (1世帯当り(円) 歳出累計額(え) は、9,1	景観を創 者の安全 D供給が可 256,264 夬算) - 929,475 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	(1) (円) 110,789 額(決算+計画) - 15,433,423 - - 15,433,423 6,615,898
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財 業	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ旨 り 費 人事他減合国市的図 ム標 ) 特 費業 部価	表     中成最多       大力     意対な       中成最少     活件業門償・債       大力     経却       大力     経却       大力     経却       大力     上       大力	指標	値 象 図 て) 的 標 耳 スト) % 0.0.5% 1.9%	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹となまちづくりの基幹とな生活者の視点に立った指標名電線類地中化率歩道整備率住宅宅地供給可能率平成13年度(決算)2,945,986,638	びくり はる道路を整備することで に、安全に、安心して暮ま 指標値 100% 100% 100% 2,992 250,547 253,539 59,809 35,200	2,148m  で,南芦屋浜のまちづ  すことができる,魅 電線類を地中化するこ 全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3, 平成16.4.1住民基本台・平成15年度(決算) 1,770 384,583	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・: とで、良好な街並み: ることで、道路利用: 000戸の住宅宅地の  歳 1世帯当り(円)  歳出累計額(え) 3 9,	景観を創 者の安全 D供給が可 256,264 夬算) - 929,475 - 929,475 259,208 35,200	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	(1) (円) 110,789 額(決算+計画) - 15,433,423 - - 15,433,423 6,615,898 35,200
事対 大 ア成(事 芦 3事 内(	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カドラ カ 美 人事他減合国市そ的図 ム標) 特 費業 部価	果 対 意(対 な 中 成 最 な 活 件業門償・債の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の	指標	値 象 図 て) 的 標 耳 スト) % 0.0% 1.9%	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率 住宅宅地供給可能率 平成13年度(決算) 2,945 986,639 989,582 442,000 557,605	びくり はる道路を整備することで に、安全に、安心して暮ま 指標値 100% 100% 100% 2,992 250,547 253,539 59,809 35,200 152,776	2,148m  で,南芦屋浜のまちづ  っすことができる,魅: 電線類を地中化するこ 全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3,  平成16.4.1住民基本台・ 平成15年度(決算) 1,770 384,583 386,353 161,856	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・: とで、良好な街並み: ることで、道路利用: 000戸の住宅宅地の  (1世帯当り(円)   歳出累計額(え) ) 9,5	景観を創 者の安全 D供給が可 256,264 夬算) - 929,475 - - 929,475 259,208 35,200 669,391	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	(1) (円) 110,789 額(決算+計画) - 15,433,423 - - 15,433,423 6,615,898 35,200 8,820,514
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財(	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カドご り 美 人事他減合国市そー的図 ム標) 特 費業 部価	果 対 意対 な 中 成 最 み 活 件業門償 ・債の財 ・ 情の財	指標	値 象 図 で) 的 標 耳項 スト) % 0.5% 1.9% 0.0% 1.9%	南芦屋浜地区のまちでまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率 住宅宅地供給可能率 平成13年度(決算) 2,945 986,636 989,582 442,000 557,606 -10,023	びくり なる道路を整備することで た、安全に、安心して暮まれる。 指標値 100% 100% 100% 100% 平成14年度(決算) 5 2,992 250,547 2 253,539 5 9,809 35,200 152,776 5 5,754	2,148m  で,南芦屋浜のまちづ  っすことができる,魅: 電線類を地中化するこ 全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3,  平成16.4.1住民基本台・ 平成15年度(決算) 1,770 384,583 161,856	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・: とで、良好な街並み: ることで、道路利用: 000戸の住宅宅地の  (1世帯当り(円)   歳出累計額(え) ) 9,5	景観を創 者の安全 D供給が「 256,264 夬算) - 929,475 - 929,475 259,208 35,200 669,391 -34,324	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	(1) (円) 110,789 額(決算+計画) - 15,433,423 - - 15,433,423 6,615,898 35,200
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財 業	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カドご り 美 人事他減合国市そ一職的図 ム標) 特 費業 部価 第	果 対 意対 な 中 成 最 み 活 件業門償 ・債の財 ・ 情の財	指標	値 象 図 て) 的 標 耳 スト) % 0.0% 1.9%	南芦屋浜地区のまちたまちづくりの基幹とな まちづくりの基幹とな 生活者の視点に立った 指標名 電線類地中化率 歩道整備率 住宅宅地供給可能率 平成13年度(決算) 2,945 986,639 989,582 442,000 557,605	びくり なる道路を整備することで た、安全に、安心して暮まれる。 指標値 100% 100% 100% 100% 平成14年度(決算) 5 2,992 250,547 2 253,539 5 9,809 35,200 152,776 5 5,754	2,148m  で,南芦屋浜のまちづ  っすことができる,魅: 電線類を地中化するこ 全路線で歩道を整備す 道路の整備により全3,  平成16.4.1住民基本台・ 平成15年度(決算) 1,770 384,583 386,353 161,856	2,148m  くりを促進する  力あるまちづくり  考え方・: とで、良好な街並み: こことで、道路利用: 000戸の住宅宅地の  は 1世帯当り(円)   歳出累計額(え)	景観を創 者の安全 D供給が「 256,264 夬算) - 929,475 - 259,208 35,200 669,391 - 34,324 費等には	出する ・安心を確 可能となる 住民1人当	(1) (円) 110,789 額(決算+計画) - 15,433,423 - - 15,433,423 6,615,898 35,200 8,820,514

	<u>曲(ナ</u>	エック)													
評	価	視	点					評価	<b>آチェックリ</b>					1次評価	2次評価
_		的妥当性(	2 ~ 2)		事業の主目的は						事業の目的は一つに絞		ない		
妥	Ī	1) X I I I (	<i>z z</i> )		事業成果が上位				が高い		貢献度が不明確 ,またに				
				1 1	市民ニーズに基		行うべき事	業			市民ニーズに基づいて				
当	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)		▶ □ ニーズが			<del>,</del>			ニーズが高いとは言えな	い,またはタ	ト把握	3	3
							ている					□未	把握	3	3
	<b>ż</b> +:	会環境変化	<b>Ł(1~ 1)</b>	V	事業に関わる社	会環境	の変化に	適応している	3		社会環境の変化にあわ	せた見直した	が必要		
性			, ,		内容 宅地供	給時期	, 分譲方	法,分譲価	挌						
6点	優	先性,緊急	!性(1)		事業を実施しなり										
	受:	益者(1~	1)	~	事業意図と受益	者は整	合している	3 🗆	事業意図	と受剤	益者が不整合,または受	益が一部に	艮定		
有	准:	<b>捗状況(2~</b>	- 1)	V	進捗状況の実績	値を把	握し,目	漂値を設定し	ている		実績値または目標値が	未記入		_	_
効	,E	15-1// 156/2	'/		☑ 実績値から			こいると言え	3		当初計画から遅れが出	ている		3	3
性	- 谁:		也(1~ 1)		画から遅れが出て	ている場	合								
4点	, <u>L</u>		G(1 1)		改善策あり							□特	になし		
					比較できる団体が			団体名			☑ 比較でき		, 1		
	٦:	スト(1~ ・	1)	1 1	他団体の数字を			単位コスト	<u></u>		□ 把握して				
効	-/	· · · · · ·	• /		□ 他団体より			□ 他団(	本と同程度	ŧ.	□ 他団体よ	リコストが高	l I		
					ハ,または低い場										
率					営事業(正規職員				委託してい					1	1
	手	段(1~ 3	)		正規職員による						個人 , 家庭 , 地域等が担			•	•
	'		,		民間(企業, NPC					_	民間(企業 , NPO等)で対				
性					嘱託,臨時職員				5る		嘱託 , 臨時職員等で対	芯可能である	)		
3点	زد	スト削減取	組(1~ 1)	1	コスト削減の取り						特に行っていない				
			( ,	₩	内容 工事用	の資材	に再生を	を使用							
平成	1 5	~ 1 6	年度に	+m n=					改善				総合		
実施	· b	た改善	年 度 に 善 内 容	課題					内容				評価	Α	Α
/	<u> </u>	<u></u>													
5 学程	复(ノ)メ	付応(アク	<u> /ション)</u>	1											
TR +===	±an ±ah	1 7 11	7 ±H 85	<b>丘唐</b> (	目の光亡に トフ	() 中宁	₩ /# 6△ I—	<b>ヘ</b> ゎヰァゞ	の数件へ	.` <del>/±</del> +⊥	<b>た回え必亜がまえ</b>				
現 住 記	沁 誠	0 ( 11	つ味起	八件	示止来川 による	住七七	心法治に	一つして担	、始発補の	<b>沙兰</b> 沙	を図る必要がある。				
市民即	1亿字	市民 悶(	系者の名称	丘庙	 目企業庁										
からの															
要望	心允	意見,	要望内容	宅地	及び住宅供給が	徐々に	本格化す	ることに伴	い,道路信	共用詞	開始時期の決定を求めら	られている。			
<u> </u>	ú														
		(1)	対応内容	市内語	部,県公安委員会	会,兵庫	県企業庁	と協議を進	め供用時	期を	決定する。				
		( ' )	実施期限	亚战	16 年	7	月								
課題·要	望等			i '	10   +		1/ 3								
	· <del>_</del> .5	(2)	対応内容												
へのタ	动成	, ,	実施期限	平成	年		月								
	., ,,			1 7-2			1/ 3								
		(3)	対応内容												
		, ,	実施期限	平成	年		月								
			7 102 1101 21				1								
その他	きき	こられる													
改善の	カ ア	イデア													
												今後の	方向性	1次評価	2次評価
				平成	20年度の道路	整備完	成時期を	目指し計画	に沿って	整備	<b>を進める。</b>	拡大	充実		
												現状	維持		
												方 法			
平成 1	7 ~	19年度	の方向性									民間多	5 託 等		
												縮	小		
												統合/終	期設定		
												廃止	/ 休 止		
2 次 評	4 価	委員 会	コメント												
I															

(投資事業)事業コード4210130

長次

長課

長

部

平月	戊1!	5年	度	事	業	3 幹線	道路舗装等修繕事	業								
1	事	業権	班季	更(ドゥ)						Į						
					りの目标	票 4	快適でうるおいの	ある都市づくり			cc	<u>~</u> ~ ±m	建設部			
総	合	計	画		中	2	快適な交通体系の	)整備			所	管 課		逐通安全担	旦当	
	策		-		小	1	幹線道路・交通機	能の整備				管課長氏名				
体			系		細							入者氏名			1	
事	+60		業 F	期 令 · 弱			(14年度から	投資臨時	☑ 投資 □[	臨時	電空		0797-38 ±	-2063	内線	2821
根実	拠		施	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		算道路 5 ②		☑ 一部委託	□ 全部委託		実	施 主 体		負担金		
<u>大</u> 委			IJĽ	 託	· //			名称		□ 民間	季記	· 福助亚 毛委託内容				
事		業		0				年代に整備された幹線道	直路の舗装等の値			<u> </u>		<u>,                                      </u>		
事				の 窓現のため なび実施内	の	・修・修	繕工法の決定及び 繕工事箇所の調査	長L=5,720mの個優先度を判定するための 優先度を判定するための 及び道路占用者との工事 計積算及び現場管理業系	D調査を委託する 事調整を行う	პ						
			- 1	1	11× 1== 4	* *** /**	77 E									
					指標名		延長 により修繕整備を行	った道路の延星								
						_		平成14年度(実績)	平成15年度(	(宝績)	亚	成16年度(	(日標)	平成 1	7 年度 (	日煙)
ァヮ	ナト	プッ	<i>,</i>	` '	指標値	-		579m	264m	( ) Chige )	_	160m		1 72%	170m	H 14 /
指			標			3 舗装	面積	<u> </u>		l						
				結果指標	考え方・ュ	業 事業	により修繕を行った	車道及び歩道の舗装面積	Ę							
				(2)	年 月	平成	113年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(		平	成16年度(	(目標)	1	7年度(	目標)
					指標値	直		6,244m²	3,088m	1		1,950 m	1		2,250m²	
2	事	業后	戊月	具(アウト	<u> カム)</u>											
	業の象・		的	対	\$	き 道路	を利用する車両,	歩行者及び沿道に居住す	する市民							
				意 (対象を主	図 E語にして)		等の修繕により,	通行の安全性を確保する	るとともに大型頭	車の通行	によ	にる振動の低流	咸など沿	道環境を	改善する	5
大		ਣੇ		な	目的	通行		安全性の向上及び沿道の	)環境改善に寄り	与する		+* > -	_15			
				т 88	(1)		指標名	指標値				考え方・	式			
ァ	ウト	<b>,</b>		中間	(1)	沿	ら 道からの苦情数	0件	道路の平坦性が	が保たれ,	大型	型車通行による	る振動が)	咸少する		
成		指	標	成果指標	(2)	沿	道の環境改善率	100%	舗装等の修繕に れる	こより振動	及び	び騒音等が低	減し,沿道	直居住者の	D環境が	改善さ
				最終 成	果指标	快適	な歩行及び通行が できる道路率	100%	舗装等の修繕に	こより平坦	性力	が保たれ安全で	で快適なi	通行ができ	きる	
芦厚	屋市	の‡	寺色	となど補足	とする事!!	Į										
	事				分(コスト	-		l==4 . <del></del>	平成16.4.1住民基			世帯当り(円)	,	住民1人		704
事		_	業	費	構成%		13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(		肩	裁出累計額 (	決算)	事業費約	総額(決算	+計画)
		人事		件 費業 費	11.9			3,457		3,171			62 424			- 00 101
内	±□			業 費 門 経 費	88.1	%		39,643		23,478			63,121			89,121
		_		償却費												-
( 1	ı J ,	合		計	100.0	%	0	43,100		26,649			63,121			89,121
		国		· 県	. 30.0			15,120		,			.,			,
財		市		債 等	87.8	%		37,400		23,400						
( ∓	円)	) そ		の他												
		_		段 財源	12.2		0	5,700		3,249		4	63,121			89,121
活		職		員	100.0	%		0.55		0.50		(H13 ~ H1	5の累計)	(累	計 + H16	予算額)
配 ( .		)   嗎		·臨時等 <b>計</b>	100.0	<b>%</b>	0.00	0.55		0.50						
( .	,	, –		RI	100.0	~	0.00	0.00		0.00						

	叫(アエック)						
評	価 視	点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日的亚当州/	(2 - 2)	☑ 事業の	主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな	:61		
妥	目的妥当性(	(2 ~ 2)	☑ 事業成	果が上位施策に不可欠,または貢献が高い 🔲 貢献度が不明確,または高くない			
			□ 市民二・	ーズに基づいて行うべき事業 団 市民ニーズに基づいて行う事業ではた	111		
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	1	ニーズが高い ニーズが高いとは言えない、または未		_	_
当		,				3	3
						_	
441	社会環境変化	化(1~ 1)			心安		
性	/= // I// E5 /	- Id (a)		歩道の改修ではバリアフリー化を実施			
6点	優先性,緊急			実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	受益者(1~	1)		図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合 ,または受益が一部に限	定		
有	進捗状況(2 <sup>-</sup>	~ 1\	☑ 進捗状況	況の実績値を把握し,目標値を設定している 🗌 実績値または目標値が未記入		_	_
効	压7岁1人儿(2 **	- 1)	▶ ☑ 実	績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている		3	3
性	\# 4 b 7 b 7 b 7	lilera as	計画から遅	星れが出ている場合			•
4点	- 進捗改善余均	地(1~ 1)	□ 改善策	あり り 特に	なし		
. 7111				きる団体がある 団体名 近隣都市 🗵 比較できる団体はない			
				の数字を把握している 単位コスト 同一積算基準 □ 把握していない	'		
効	コスト(1~	1)	1	i			
XIJ				2団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	1		
			高い,また	は低い場合の理由			
率			直営事業(	正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		1	0
<del>'P'</del>	T 50/4 0			員による執行が義務づけられている 🔲 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	ある	ı	U
	手段(1~ 3	3)	□ 民間(企	*業, NPO等)では対応できない業務である 日間(企業, NPO等)で対応可能である	5		
性				温時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)		減の取り組みを行っている	<b>コーナ</b> 4		
			→ 内容	再生資材の活用。直営で測量・設計を行い,委託費の節減で整備区域を拡大し,単位コ	人 トを目		
√ <del>ct</del>	1 5 . 1 6	年 庄 仁			総合	_	_
平 成 宝 施	15~16 した改 <sup>章</sup>	年 度 に 善 内 容	課題	改善 内容	評価	ΑΙ	В
	0 /2 13	ם ניום		l <sub>13</sub> =	піщ		_
5 今後	後の対応(ア∕	クション)		<u> </u>			
, , , ,	×>,3,7-0-(>	,,,,	·   ( ( ( 7	。 iイフサイクルコスト)の低減を図るため,適切な時期での補修等の工事を実施して,耐用年数	かが長	を図る	
1月左章	辺 辿してい	ハス 鯉 頭		員状況等に応じた改修工法の選定による事業費の低減			
<i>ν</i> π 1⊥ n	NO DEE O C V	I SO DAT NEE	足山 ひ 収 19	5.1/1/1.1/1/10 0 1/1/10 1/10			
+ D BE	3/5 2/ 1- 12 18 /	にせのわり					
	]徐有 巾氏,舆1		<b>せん / 7キ</b> +ロコ	<b>40 /                                   </b>			
からの		係者の名称	議会(建設委	委員会)			
	辛日						
要望	辛日			委員会) (排水性舗装)の実施			
	辛日	要望内容	低騒音舗装 (直路は適切な	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCカ	では減でき	きる。こ	これには
	辛日		低騒音舗装 (直路は適切な		「低減でる 「事となっ	きる。こ らざるを	これには E得ない
	意見意見,意	要望内容	低騒音舗装 ( 道路は適切な 施設の健全度	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCカ 度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修エ	「低減で 「事となり	きる。こ らざるを	これには E得ない
要望	意見,等 意見, 5	要望内容对応内容 実施期限	低騒音舗装 ( 道路は適切な 施設の健全原 平成	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか 度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工   年   月	事となり	らざるを	E得ない
	意見 等 (1)	要望内容	低騒音舗装( 道路は適切な 施設の健全原 平成 適切な工法選	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか 度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工  年   月  選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査	事となり	らざるを	E得ない
要望 課題·要	意見等 (1)	要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	低騒音舗装( 道路は適切な 施設の健全原 平成 適切な工法道 アドバイスの	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか 度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工  年   月  選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査 の実施で対応	事となり	らざるを	E得ない
要望	意見等 (1)	要望内容对応内容 実施期限	低騒音舗装( 道路は適切な 施設の健全原 平成 適切な工法道 アドバイスの	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか 度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 日本 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査 の実施で対応 月	事となり	らざるを 段階で <i>0</i>	E得ない )適切な
要望 課題·要	意見, 語見, 語	要望内容对応内容实施期限对応内容实施期限	低騒音舗装( 道路は適切な 施設の健全原 平成 適切な工法資 アドバイスの 平成 低騒音舗装(	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCが度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工  年   月	事となり	らざるを 段階で <i>0</i>	E得ない )適切な
要望 課題·要	意見等 (1)	要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	低騒音舗装( 道路は適切な 施設の健全原 平成 適切な工法道 アドバイスの	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCが度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工  年   月	事となり	らざるを 段階で <i>0</i>	E得ない )適切な
要望 課題·要	意見, 語見, 語	要望内容对応内容实施期限对応内容实施期限	低騒音舗装( 道路は適切な 施設の健全原 平成 適切な工法道 アドバイスの 平成 低騒音舗装( して実施する	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCが度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工  年   月	事となり	らざるを 段階で <i>0</i>	E得ない )適切な
要望 課題·要	意見, 語見, 語	要望内容 对応期限 对応内容 実施期限 对応内容	低騒音舗装( 道路はの健全原 平成 適切なイスの アドバイスの 平成 価報実施 も舗装( して 平成	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか 度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 日本 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 日年 月 「排水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路線	事となり	らざるを 段階で <i>0</i>	E得ない )適切な
要望課題・要への対	意見, (1) (2) 対応 (3)	要望内容实施期限对应,实施期限容实施期限容实施期限容实施期限容实施期限	低騒音舗装( 道路はの健全原 平成 適切なイスの アドバイスの 平成 価報実施 も舗装( して 平成	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 年 月 (排水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路線る	事となり	らざるを 段階で <i>0</i>	E得ない )適切な
要 望 課題·要 へ の 対 そ の 他	意見 (1) (2) 対応 (3)	要望内容实施期限对应,实施期容实施期限。	低騒音舗装( 道路はの健全原 平成 適切なイスの アドバイスの 平成 価報実施 も舗装( して 平成	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 年 月 (排水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路線る	事となり	らざるを 段階で <i>0</i>	E得ない )適切な
要 望 課題·要 へ の 対 そ の 他	意見, (1) (2) 対応 (3)	要望内容实施期限对应,实施期容实施期限。	低騒音舗装( 道路はの健全原 平成 適切なイスの アドバイスの 平成 価報実施 も舗装( して 平成	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月	・設計に	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要 望 課題·要 へ の 対 そ の 他	意見 (1) (2) 対応 (3)	要望内容实施期限对应,实施期容实施期限。	低騒音舗装( 道路はの健全原 平成 エスイ ので エスイ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCか度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月	事となった。記計は、である。	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要 望 課題·要 へ の 対 そ の 他	意見 (1) (2) 対応 (3)	要望内容实施期限对应,实施期容实施期限。	低騒音舗装( 道路はの健全原 平成 一	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCC 食評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 日年 月 「排水性舗装」を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路線 る 日年 月 延長する最適な工法を選定するために,技術提案型入札の活用 「 学校の予	・設計はである領である領方向性充実	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要 望 課題·要 へ の 対 そ の 他	意見 (1) (2) 対応 (3)	要望内容实施期限对応期容实施期容实施期限容实施期限容实施期限	低騒音舗装( 道路段の 平成 一	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCC 食評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 日年 月 指水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路線をある。 日年 月 延長する最適な工法を選定するために,技術提案型入札の活用 「手幹線の整備に合わせるため,宮川線の修繕工事を優先実施する 拡 大・経年劣化や車の荷重などの外的要因で,ある時点から急激に破壊が進み,現、状	・設計にである。 ウーク 一名 大維 持	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要 望 課題·要 へ の 対 そ の 他	意見 (1) (2) 対応 (3)	要望内容实施期限对応期容实施期容实施期限容实施期限容实施期限	低騒音舗装( 道路段の 平成 一	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCC 食評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 日年 月 「排水性舗装」を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路線 る 日年 月 延長する最適な工法を選定するために,技術提案型入札の活用 「 学校の予	・設計にである。 ウーク 一名 大維 持	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要望、またので、またので、またので、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	意見 (1) (2) 対応 (3)	要望内内内侧侧的一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,	低騒音舗装( 道施 収成	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCC 食評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 選定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 日年 月 指水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路線をある。 日年 月 延長する最適な工法を選定するために,技術提案型入札の活用 「手幹線の整備に合わせるため,宮川線の修繕工事を優先実施する 拡 大・経年劣化や車の荷重などの外的要因で,ある時点から急激に破壊が進み,現、状	・設計に である に 一	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要望、またので、またので、またので、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	意見 意見, 意見, 意望等 (2) おかアイデア	要望内内内侧侧的一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,	低騒音 はなり では できます は は は は は なり できます は は なり できます できます できます できます は は は は は は は す は は は す が ま が ま が ま が ま か と が ま か と が ま か と が ま か と が と が と が と が と が と が と が と が と が と	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCの食評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月	・設計に である に 一	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要望、またので、またので、またので、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	意見 意見, 意見, 意望等 (2) おかアイデア	要望内内内侧侧的一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,	低	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCの度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工    年	事とない。	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要望、またので、またので、またので、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	意見 意見, 意見, 意望等 (2) おかアイデア	要望内内内侧侧的一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,	低	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCが度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 露定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 年 月 (排水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路網る 年 月 延長する最適な工法を選定するために,技術提案型入札の活用  「手幹線の整備に合わせるため,宮川線の修繕工事を優先実施する経年劣化や車の荷重などの外的要因で,ある時点から急激に破壊が進み,現状式大規模工事となる。延命化と整備区域拡大を図るため,直前に改修工事方法で表が表している。なお,測量及び設計を直営で行い,工事費を確保したいと表の整備路線は,再度の状況調査と事業費の確保見込みにより決定する紹介。(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事・で「充維改託」 脚とない 計る にない 性実持善等小定	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要望、またので、またので、またので、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	意見 意見, 意見, 意望等 (2) おかアイデア	要望内内内侧侧的一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,一个大型,	低	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCの度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工    年	事・で「充維改託」 脚とない 計る にない 性実持善等小定	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要 2 課 へ そ改 平 成 1	意見等 (1) 意 (1) 意 (2) (3) (3) (3) (3) (4) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	要 対 実 が 実 が 実 が 実 が 変 限 容 限 容 限 容 限 の 方 向 性	低	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCが度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 露定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 年 月 (排水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路網る 年 月 延長する最適な工法を選定するために,技術提案型入札の活用  「手幹線の整備に合わせるため,宮川線の修繕工事を優先実施する経年劣化や車の荷重などの外的要因で,ある時点から急激に破壊が進み,現状式大規模工事となる。延命化と整備区域拡大を図るため,直前に改修工事方法で表が表している。なお,測量及び設計を直営で行い,工事費を確保したいと表の整備路線は,再度の状況調査と事業費の確保見込みにより決定する紹介。(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事・で「充維改託」 脚とない 計る にない 性実持善等小定	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定
要 2 課 へ そ改 平 成 1	意見 意見, 意見, 意望等 (2) おかアイデア	要 対 実 が 実 が 実 が 実 が 変 限 容 限 容 限 容 限 の 方 向 性	低	(排水性舗装)の実施 な予防的補修により耐用年数延長が図られ,大規模改修の先送りで結果的にLCCが度評価や劣化予測等を含めたデータベース化を要すが,現状では経験に頼った補修工 年 月 露定には担当者の経験と技量の向上が不可欠のため,技術研修会等への参加及び調査の実施で対応 年 月 (排水性舗装)を行う道路は,住宅地を通過する道路で,大型車混入率が高くバス路網る 年 月 延長する最適な工法を選定するために,技術提案型入札の活用  「手幹線の整備に合わせるため,宮川線の修繕工事を優先実施する経年劣化や車の荷重などの外的要因で,ある時点から急激に破壊が進み,現状式大規模工事となる。延命化と整備区域拡大を図るため,直前に改修工事方法で表が表している。なお,測量及び設計を直営で行い,工事費を確保したいと表の整備路線は,再度の状況調査と事業費の確保見込みにより決定する紹介。(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事・で「充維改託」 脚とない 計る にない 性実持善等小定	らざるを 段階で <i>0</i> 等を基準	を得ない の適切な 単に選定

(投資	事業)	事業	<b></b> _	ド	220010				部 長	次	長課	長
平成15	午度	車	業	夕.	般生活道路舗装等修	送車 <del>業</del>						
十八八	十尺	<del>7</del>	未	П	放土/10世份研表专序	带 <del>手未</del>						
		要(ドゥ)								I		
				標	4 快適でうるおいの				所 管 課	建設部	- VZ A IDVI	
総合			<u>中</u>		2 快適な交通体系の	)整備			C * # E C 4		·通安全担当	
政策)			<u>/</u> /\		2 生活道路の整備				所管課長氏名			
体	系		細	88		+0.2011年11十		E/Sn±	記入者氏名			0004
事 根 拠	業 法	令 '	-	間学		投資臨時	│ ☑ 投資 □	臨時		0797-38	-2063   内線	2821
実	施	マ : :			型路/云 ▽ 直営		□ 全部委託	1	実 <u>施</u> 主体 □ 補助金		負担金	
<del>天</del> 委	旭		_	先	<u> </u>	名称	□ 土即安司		委託  委託   内容			
×		пu		70		L10			X11 X 11 1 1	的且未分	J	
事	業	Ø	概	要 -	- 般生活道路の歩道及	び車道の舗装・道路構造	告物の改良・改	修丁事				
<del>-</del>	*	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1696	•	放工作と出いうた人			ハシエチ				
					・道路パトロール等で	発見した,歩車道の舗装	表及び道路構造	物が老朽	化した道路の調	<u></u>		
					· 自治会 , 地元住民等	の整備要望箇所の調査				_		
事	業	の	現	状	(年間の苦情・要	望数:お困りです課受付	寸数では171	件,内1	0 件程度が道路	整備の要!	望)	
					・改良・改修等の工事	が必要と判断した道路の	の整備費を予算	要求				
	目的	実現のため	りの		(新規の要整備路	線数は5件程度,優先	頁位の高い8~	10路線	を予算要望 )			
	手段	及び実施内	內容		・工事実施決定路線の	測量・設計・現場管理及	及び道路占用者	との協議	調整			
					#装面積							
		結果指標	考え方・	-		た車道及び歩道の舗装面						
		(1)	年	_		平成14年度(実績)		_	平成16年度	,	平成17年度(	目標)
アウト			指標		3,844mf	3,765mf	4,030r	ní	3,650 m	<u> </u>	5,000m <sup>f</sup>	
指	標		指標									
		結果指標			五世4.2年度(中华)	正式4.4左座(克娃)		( <del>                                     </del>	五世46左京	<b>(口插)</b>	亚代 4 7 左京 7 1	
		(2)	年	į	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(	日標)
2 == 3	₩ 🕂 1	<u> </u> 果(アウ	指標	1但								
<del>ا جو ا</del>	未ル	<del>末</del> (アワ	rna)									
		対		象i	道路を利用する市民及	7、沿道居住者						
事業の	目的			30,0								
対象・												
		意				することで道路を利用す	する市民の安全	性・利便	性を確保し,併	せて振動の	の低減など沿道居	住者の
		(対象を	主語にして	ر) [۲	環境を改善する							
大	き	な	目	的	<b>歩行者及び通行車両の</b>	安全確保及び道路利用者	皆の利便性の向	上				
					指標名	指標値			考え方・	式		
		中 間	(1)		苦情·要望数	0件	道路の整備に	より水溜り	及び段差の解消が	よど利用者	の利便が向上する	,
アウト						-11		. 3 град 7 /		13/13 =		
		成果指標	(2)		沿道の環境改善率	100%	舗装等の修繕	により振動	等が低減し,沿道	重居住者の	)環境が改善される	
(事業)	元〔)				************		***	/# I= 1 · · · ·	CD 44	* 454 TIM TIM -		
		最 終 成	限 指	標	道路施設の破損による 事故示談件数	0件	連路の改修整   談件数が削減:		段差での転倒など	官埋塅狱	による事故がなくな	い, ホ
					チャック・HVII XV	l	HOLI 2012 103/196	_ , ~ &				
芦屋市	の特色	五など補り	足する事	頂	h道認定道路の舗装率	は99%以上で,未舗装	長区間は芦屋川	両岸の歩	道部及び岩園町	の 1 路線	(1区間)	
,	- 191	_ C _ IM /	_, , ,					, -,	n.xto nmail		,_,	
3 事	<b>坐</b> 費。	活動配	<del>分</del> (コス	(1)			平成16.4.1住民	基本台帳	1世帯当り(円)	2.374	住民1人当り(円)	1,026
事	業	費			平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	歳出累計額(	決算)	事業費総額(決算・	
	人	件 費	14	.1%	4,826	3,795		4,191		-		-
	事	業費	85	.9%	25,840	40,601		25,556		91,997	13	31,147
		7 門 経 費								-		-
(千円)		「償却費								-		-
	合	計		.0%	30,666	44,396		29,747		91,997	13	31,147
	国	· 県										
	市	債 等				28,000						
(千円)		の他								04.0==		
`+	_	段 財 源			30,666	16,396		29,747	(1110	91,997		31,147
	職官主	50000000000000000000000000000000000000		.0%	0.70	0.60		0.70	(H13 ~ H1	1500累計)	(累計 + H16=	ア昇額)
配分	· 嗎託	·臨時等		00/	0.70	0.60		0.70				

	曲(ナ	エック)																		•
評	価	視	点						剖	平価チェッ								1	次評価	2次評価
_	日	的妥当性(	2 ~ 2)		事業の主									は一つに			きない			
妥	Ī	1) X I I X (	<i>L L</i> )	_	事業成果					献が高い				明確,ま						
				1	市民ニー			うべき事	<b>事業</b>					に基づい						
当	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)		▶ □ =									いとは言			未把握		5	3
						数字で	把握して	いる	新規に	改修等の	要望か	がでる道	道路は年	間5~1	0路線		卡把握		J	3
	<b>ż</b> +:	会環境変化	<b>Ł(1~ 1)</b>	✓	事業に関							] 社会	会環境の	変化にな	あわせか	:見直し	が必要			
性					内容	步道改值	多ではバ	リアフ!	)一化を実	施										
6点		先性,緊急	, ,		事業を実施															
	受:	益者(1~	1)	_	事業意図					」事業意							限定			
有	谁:	<b>捗状況(2~</b>	. 1)	1 1	進捗状況						3 [	] 実約	績値また	は目標値	きが未言	己入				
効		15-1/1/16(2	'')	_	☑ 実績				ていると言	える		□ 当袖	初計画か	いら遅れか	ば出てい	13			3	3
性	- 谁:	涉改善余 <sup>‡</sup>	也(1~ 1)		画から遅れ		いる場合													
4点	Ų		(۱ ۱)		改善策あ											□ ‡	寺になし	,		
					比較できる				団体名	<u> </u>				☑ 比較			111			
	7	スト(1~ 1	1)		他団体の				単位コス					□ 把握	してい	ない				
効		<b>V</b> 1 (1	' /	<b>→</b>	□ 他団	体よりコ	ストが低	L١	□他□	団体と同種	程度			□ 他団	体よりこ	コストが高	引い			
				高	ハ,または	低い場合	今の理由													
率				直	営事業(正	規職員	が執行)	または	外郭団体·	へ委託し	ている	業務は	こついて						1	0
	垂	段(1~ 3	١		正規職員	による執	行が義和	外づけ	られている	5		□ 個ノ	人,家庭	, 地域等	が担う	べき部分	かある		ı	U
	,	rx(1 0,	,	✓	民間(企業	, NPO€	等)では対	応でき	ない業務	子である		」民間	間(企業)	NPO等)	で対応	可能で	ある			
性					正規職員民間(企業嘱託,臨	寺職員等	では対ル	むでき	ない業務で	である	Ŀ	✓ 嘱言	託,臨時	職員等で	"対応。	J能であ	る			
3点		スト削減取	組(1~ 1)	4	コスト削減	の取り組	はみを行っ	ってい	ර		L	特に	こ行って	いない						
		11133770 17	,,()	₩			才の活用	。直営	'で測量·i								ユコストで	を削		
ᄑᄨ	1 5	~ 1 6	年度に		事業費の	節減				ᇪᆍ				『との合作	并施工	により	総合	<b>_</b>		
実施	่เ	た改善	年度に 事内容	課題						内容	経費節	「減を図	図った				評値	西	Α	В
	I																			
5 今後	受())メ	付応(アク	<b>フション</b> )		b=//./ + A	+1+ - 4	- 1- 1- 124		\ <del>₩</del> пь π/ 6₽	5	<del>-</del> - = ===	` ~ 7	<u> </u>	· <del></del>	b + 1 A .	- \m - A	7514			
TP +- +	-77 <del>* 6</del> 1		7 ±0 05		朽化した舗															
現 仕 記	泌 誠	U C (1	る課題	(7.	ーハーレ	1 C相順	を行つ	に連路	ild , 恞町	ではいる	きりく	く単位	句士 ,于	・押し単れ	かまつ	9 \ ICA	三行 ぐる	これい	1)	
士兄 問	1/2 🛨	士兄 悶/	系者の名称	士足																
からの		111 代,判11	が有の石砂	אַ נווי בּב																
要望	忠兄	意見,	要望内容	道路(	の水溜り魚	解消,舗	装及び	道路構	造物の破	沒損補修 ,	,舗装	の段差	差等によ	る振動の	の解消	等				
女主	4			\ <del>¥</del> □ <b>⁄</b> 1	ひ能のな	÷1+===	****	AL III n±	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2/01-1-1	ν <del>π. +</del> >	赤ケ/土コ	しまった	7 4 1	百十中	ケノナ/4-D	からのま	<b>₩</b>	5 ÷ B ± 2 /	N TEL 477 I →
		(1)	対応内容		形態の改割 れにくい	当る同断	で自守の	小田吗	の女王唯	三木 に 14火	い安仏	"金"佣」	L <del>事</del> での	າວ/ນ , 1 <u>i</u>	変尤夫/	他民世出	合級の金	全1用子	を呈有い	ク理 群は
		(1)	実施期限			<del></del>	F	3												
課題·要	<b>垣</b>		大池州水		要望等がる					措工車で	でから	司能+	·›·坦수너	·	巨づ加!	EBI 9:	女娘でが	タイギ ナ	が必番が	· · · 브슨 / ·
IN AE. 54	. <del>_</del>	(2)	対応内容	本事	安皇寺がの 業で対応	りれいみび	むせりがま	iiú	<b>ሀ</b> Ι, / <b>Ϳ</b> \Σπ	(保工争)	טיוניג ט	凹肥化	よ场口は	· AET寸 =	₽ CXU	主し , 此	日級で	ジが告ん	ア必安な	よ物口に
へのタ	计点	, ,	実施期限	_		年	F	3												
	., ,				I	<u>'</u>														
		(3)	対応内容																	
		(-)	実施期限	平成		年	F	3												
			7 (30743) K	1 1-20	l l	•	1 1													
その他	考え	られる																		
	_	イデア																		
																今後0	) 方向	性 1	次評価	2次評価
				・舗	装の耐用年	手数は1	5 年程.	度であ	るが,大	半の道路	烙はこ	れを述	過ぎてい	る。整備	<b>講要望</b>					
					は年々増加															
					政事情も記													善		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性		スコン部の								営で行い	工事費を	を確保			等		
					るなどに。													小		
				なの	ので,財I	女状況か	が好転す:	れば事	業費の拡	大を要望	望した	l I				統合/	終期設	定		
																廃止		_		
2 次 評	猫 :	委員会	コメント																	
				1																

(一般	0事	業)	事 業	J - 1	4230	060				Ī	部	長	次	長	課	長
			_	NII -												
平成	151	中塻	爭	業名	目転	車駐車場運営管理										
										1						
1	巨業	椒	要(ドゥ)											!		
				りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づく」	)					建設部			
総合				<del></del> 中	_	快適な交通体系の					所 🏗	第 課		通安全担	8当	
政策				//\	3	駐車・駐輪対策の					所答課	長氏名	礼場		=-	
体	. 110	系系		<u></u> 細	3	POT THINKS OF	JE ZE					当 氏 名				
事		業	其			<u> </u>	1	経常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797-38-		内線	2821
	処		令 '			你)自転車法、芦屋						<u> </u>		2003	17170水	2021
実	処	施	₹ :		` _	可用数单次、产 <u>度</u> 直営	□ 一部委託							負担金		
委		旭	託	,_,			名称 名称		☑ 全部委託		国委託 委	助金		貝担並		
女			пL	л.		<b>外</b> 郭凶冲安式	石砂				9安武 安	<b></b>	日垤			
事	当	Ě	Ø	概 要	市営	自転車駐車場の管理	理運営									
	-				-											
					市内	4駅8箇所に設置	している市営自	転車駐車	場の管理及びi	運営						
事	当	Ě	Ø	現 状	・管	理業務は全て業務	委託で実施。(	阪神南自	転車駐車場は	利用料金	制度の導	入により	委託料は	発生した	(1)1	
-			実現のため			有地の使用貸借契						, ,,			,	
			ひ実施は			月の管理報告(利				·> WE3 -3 E1 -	1.044					
		TX		<b>у</b> П		月の自建報日(初) 用率:阪神打出 77		-		lt. 53 8%	,JR苔	屋駅南 1	07.0%	<b>仮神芒层</b> (	駅南 03	5%
				指 煙 夕		車駐車場収容台数										
			結果指標			<u> </u>						6年度(			7年度(	
			(1)	指標値		3,922台	3,922		3,922		1 /2/	4,071台			<del>7 平及(</del> 4,071台	IM /
アウ	トプ	w F	(1)	単位コスト		29,232円/台	29,989円		28,617円	•	2	8,687円/			,000円/	<u></u> 台
指	' -	標				利用台数(コスト)	·		,			,			,,000, 37	
10		ाक	結果指標			1376日 (1377年)						6年度(		亚成 1	7年度(	日煙)
			(2)	指標値		650,566台	687,150	• •	683,767	, ,		694,000f			7 <u>十没(</u> 04,000台	
			(2)	単位コスト	_	128円/台	124円/		119円/			117円/台			116円/台	
2 耳	巨型	战	果(アウ			12013/ 🖂	124137	<u>н</u>	110137	н		11/13/	1	<u> </u>	110137	
_ =	FX	:13%,2	K() )	1/1/4/	白紅	古笠を利田して外	*************************************	7 <b>十</b> 兄 (		たの細木	4.日・ケ	≟÷ 1 1 □±	マクロ目	ム粉~		
			対	象	日野	車等を利用して鉄	旦駅同辺を訪れ	) 知叩の	毋午!!//夫/	他の調査	紀末・十 受益数に	則して問題	注車場台	百奴) 汝(2.30	6台)を	含む
車業	m E	目的	対 免 ナ	バー率	† <del>√</del> ₹	ē 数 (a) 5	,200台	受 益 数	(b) 6	,228台			÷ a) %		119.77%	
対象				· /\ +	\)	x xx (a)  0	,200Д	<u>х ш у</u>	(6)	,,220Д	I-L	+ (b	- a) /0		110.77/0	
Y1 2/	,	. H	意	図	白転	車駐車場の適切なり	管理運営により	<b>放</b> 置白	転車対策の解	*の一因	とし、白	転車の谚	i正利田を	促進する	5	
				ー 主語にして)	шта	T-900000000		, ,,,,,,	14447176071177	X** 🖂	со, п	T4 + V) /C	⊃ دا ۱۳۰۱، سد	IK 7 4		
			())8(1)													
大	ą	F	な	目 的	鉄道	駅の周辺に設置す 自動車等の安全で	ることで通勤・	通学での	自転車等利用	者の利便:	を図ると	ともに ,	放置自転	車等をな	よくして:	步行者
		•			及び	目動車等の安全で	<b>刊滑な通行と艮</b>	好な都市	環境を確保する	<b>వ</b>						
				指 煙 夕	白転	車駐車場利用台数	(阪神芦屋南を	·含tì)								
			中間成里	3 H 1131 H		車駐車場を認知し	1		均)	<u> </u>	四の利用	日台数は	平均利用的	台数の約	10%增	á
						,13年度(実績)						6 年度 (			7年度(	
アウ	<b>L</b> 1		מו חנ	指標値		2,830台/日	3,002台		2,904台			3,050台/			<del>, 1及(</del> ,200台/I	,
指	, ,	標		- III		辺の放置台数	0,00211	_	_,		1	,		. ,	, V III / I	-
3.0			最終成里			車駐輪場の利用に	より、放置台数	が減心す	る(毎年11	日の調査	結果: 1	1時での	瞬間放置	台数)		
						,13年度(実績)						6 年度 (			7年度(	月標)
			ਤਜ਼ '1 <i>ਹ</i>	指標値		366台	442台		415台		1.2%	374台			337台	140 /
				11 IN IE		神芦屋駅南自転車					I	од			оо. д	
芦屋市	市σ	特色	色など補具	足する事項		市的に見れば放置	-				は充足し	ているが	î, JR芦	屋駅南に	は余裕	がない
													, - ,			
3 ∄	[業	費.	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	2.163	住民1人	当り(円)	935	平成16.4	1.1 住民基	基本台帳
事		<u>業</u>	費	1		,13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度			6 年度 (	予算)			
_	T.	<u>人</u>	件 費		-	1,156		2,321		2,695			-			
	1	事	業費	1		82,873		85,020		81,132			81,329			
内	訳	也部	門 経 費			·							-			
			償却費										-			
		合	Ħ	1		84,029		87,341		83,827			81,329			
	_	玉	- 県			•		•		•			•			
財	源 i	市	債 等								1					
(千円			の他			47,001		48,506		47,890			50,627			
			段 財 源		-	37,028		38,835		35,937			30,702			
活	動		<del></del>		-	0.20		0.25		0.30			-			
	-		·臨時等										-			
(人	_		Ħ			0.20		0.25		0.30			0.00			

評	<u>叫(テェック)</u> 価 視		評価チェックリスト		1次輕価	2次評価
н			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができた			2/八叶川
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能で	ある		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			□ いずれにも該当しない			
当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	ない	4	4
	市民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,またはオ	·把握	•	•
性			☑ 数字で把握している JR芦屋駅南は利用率が高く,定期契約待ちが100名 □ 未抵	₿握		
8点	社会環境変化	(¥(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが	が要		
			内容 自転車利用者の増加に伴い放置自転車をなくす対策で発生した事業			
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
<b>≠</b>	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に阻☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	廷正		
効	成果の実績(	2 ~ 1)	□ 中间成業指標の美機値を把握し、自標値を放走している□ 美機値まだは自標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	7 to 1 1	3	3
性			成果があがっていない場合	1/4/1	_	
4点	- 成果向上余均	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり R芦屋駅北を改修工事で利便性を向上させ,利用率を上昇さ □ 特	になし		
17.11			☑ 比較できる団体がある       団体名       □ 比較できる団体はない	12.0		
	w		┃ □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 即握していない			
効	単位コスト(1	~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(	·() · · · 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	)空铁巨血叉	0 1)	□→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可	能 )	_1	-3
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		_ 1	-0
	手段(1~ 3	5)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が			
	312(	,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能であ			
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	1		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
			□ 内容   収容台数の増強   収容台数の増強			
平成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	課題   改善   改善   改善   改善   改善   改善   改善   改	総合	В	В
実 施	した改善	善内 谷	内容 (1,08/音 1,230音)	評価	ט	ט
5 今往	<b>後の対応(ア</b> €	クション)				
			・自動二輪車の違法駐車対策			
現在:	認識してい	\る課題	・指定管理者制度の導入			
+0 8		<b>に</b> * ^ なむ	+			
市氏, 戻からの	係者 市民,関係					
要望	意見,	要望内容				
Ø ±	4		JR芦屋駅南側の自転車駐車場の拡充			
				<u></u>	<b>阪急</b> 古	屋川駅
	(1)	対応内容	J R 芦屋駅南側の目転車駐車場の拡充    自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余  北及び阪神打出駅では収容が可能。なお, J R 芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対	 ≷裕のある オ応してい	阪急芦	屋川駅
	(1)	対応内容	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余 北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対	< ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	阪急芦	屋川駅
課題·要		実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが、収容台数に余 北及び阪神打出駅では収容が可能。なお、JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対 平成 年 月		阪急芦	室川駅
	望等 (2)	実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが、収容台数に余 北及び阪神打出駅では収容が可能。なお、JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対 平成 年 月 指定管理者制度の導入は、条例改正内容も含めて先進都市の事例を調査中	≷裕のある 対応してい	阪急芦	屋川駅
課題・要へのう	望等 (2)	実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが、収容台数に余 北及び阪神打出駅では収容が可能。なお、JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対 平成 年 月 指定管理者制度の導入は、条例改正内容も含めて先進都市の事例を調査中	☆裕のある 対応してい	阪急芦	室川駅
	望等 (2) 対応	実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが、収容台数に余 北及び阪神打出駅では収容が可能。なお、JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対 平成 年 月 指定管理者制度の導入は、条例改正内容も含めて先進都市の事例を調査中	対応してい	ঠ	屋川駅
	望等 (2)	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,」R芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対平成 年 月	対応してい	ঠ	室川駅
	望等 (2) 対応	実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,」R芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対平成 年 月	対応してい	ঠ	屋川駅
^ Ø 3	(2) 対応 (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,」R芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対平成 年 月	対応してい	ঠ	屋川駅
へのう	望等 (2) 対応	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車対平成 年 月	対応してい	ঠ	屋川駅
へのう	望等 (2) 対応 (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余 北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,」R 芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が 平成 年 月 指定管理者制度の導入は,条例改正内容も含めて先進都市の事例を調査中 平成 年 月 」R 芦屋駅南の自転車駐車場整備は市街地再開発事業と同時に実施する計画であったが,事業の 平成 年 月	対応してい	り延期	
へのう	望等 (2) 対応 (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余 北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が 平成 年 月 指定管理者制度の導入は,条例改正内容も含めて先進都市の事例を調査中 平成 年 月 JR芦屋駅南の自転車駐車場整備は市街地再開発事業と同時に実施する計画であったが,事業の 平成 年 月	)凍結によ	り延期	
へのう	望等 (2) 対応 (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が平成 年 月	対応していり、連結により、方の充・維持を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	り延期	
へ の s	望等 (2) 対応 (3) (3) (3) (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が平成 年 月	対応していた。 京結により、方のを実施を持た。 は、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	り延期	
へ の <sup>3</sup> そ の 他 改 善 (	望等 (2) 対応 (3) (3) (3) (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,」R芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が平成 年 月	が応していた。 京・一様では、一様では、一様では、一様では、一様では、一様では、一様では、一様では、	り延期	
へ の <sup>3</sup> そ の 他 改 善 (	望等 (2) 対応 (3) (3) (3) (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が平成 年 月	が応していた。 京・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	り延期	
へ の s	望等 (2) 対応 (3) (3) (3) (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が平成 年 月	が 対応 が が が が が が が が が が が が が	り延期	
へ の <sup>3</sup> そ の 他 改 善 (	望等 (2) 対応 (3) (3) (3) (3)	実施期限対応内容実施期限対応内容実施期限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,」R芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が平成 年 月	が応していた。 京・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	り延期	
その他改善で	型等 (2) 対応 (3) (3) (3) (3) アイデア 7~19年度	実施期限 対応内容 実施期限 対応内期限 対応内間限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に分北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,JR芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車文平成 年 月	が 対応 が が が が が が が が が が が が が	り延期	
その他改善で	型等 (2) 対応 (3) (3) (3) (3) アイデア 7~19年度	実施期限 対応内容 実施期限 対応内期限 対応内間限	自動二輪車の違法駐車対策も全国的な課題である。条例等の改正が必要となるが,収容台数に余北及び阪神打出駅では収容が可能。なお,」R芦屋駅南側と阪神芦屋駅では民間駐輪場が駐車が平成 年 月	が 対応 が が が が が が が が が が が が が	り延期	

(一般	事業)	事業	<b>*</b>	<b>_</b>	ド4	12300	)70						部		長次	長	課	長
平成1	5 年 度	車	귈	<b>業</b>	夕ţ	边署 (	自転車等の撤去及び	<b>バ</b> 泛漫業務										
<b>⊤</b> // <b>λ</b> . ∣	7 十 反	. <del>T</del>	7	F	ם וו	以且は	コ和半分の版な及び	广丛悠来加										
1事																		
			_			-	快適でうるおいの		( i)				所	管	建設部			
総合				<u>†</u>			快適な交通体系の								道路・	交通安全技	旦当	
政 策				<u>ال</u>		3	駐車・駐輪対策の	推進						當課長氏				
体	系			细										入者氏				
事	業		期		間				経常臨時	✓ ½	圣常 🗌	臨時		話番		38-2063	内線	2821
根 拠	法	令 ·	要		等 (	通称	7)自転車法、芦屋7			関する	条例		実	施主	体市			
実	施		手			<b>✓</b>	直営	☑ 一部委	託		全部委託			補助金		] 負担金		
委		託			先		外郭団体委託	名称				☑ 民間	委託	委託内	容積込・	運搬 , 保管	雪・返還	
事	業	の		概	要釒	鉄道!	駅周辺に放置されて	ている自転車	ӭ等の撤去・	移送及	び移送	した自転	車等(	の保管・過	氢業務			
						・放う	置自転車等の撤去の	及び移送業務	F .									
事	業	の		現	状	放	置された自転車等を	を撤去し,係	R管所に移送	する(	年72[	回 )						
	目的:	実現の	ため	の	١ .	・放う	置自転車等の保管	,返還及び如	l分業務									
	手段	及び実施	施内	容		保	管所の管理及び運営	営(移送され	1た自転車等	を保管	し,引	取りに来り	5 <i>1</i> 1	た所有者に	返還する	)		
						引	取り手のない自転車	- 車等の処分 (	売却,解体	な() 及び	譲与( '	リサイク	ル)					
				指標	名生		撤去台数(自転車·							( H	15事業費	: 6,291千F	9)	
		結果指	-				13年度(実績)		度(実績)	平成 1	5年度	(実績)	平	成 1 6 年 6			<del>- /</del> 7年度(	目標)
		(1)	-	<u>'</u> 指標	-		3,805台	4,46			4.026			3,62			3.318台	.,,
アウト	プット		· F	<u>ガローボー</u> 単位コス	_		1,837円/台	1,537			1,563円			1,736			.896円/台	<b>'</b>
指	標	-				王間i	返還台数(自転車				,		<u> </u>			: 8,156千F		_
111	1235	結果指	-				13年度(実績)						亚	成 1 6 年			<u>7</u> 年度(	日標)
		(2)	-	<u></u>	_	1 12%	2,351台	2,69		1 /2% 1	2,423		<u>'</u>	2,35	_		2,157台	H 13. /
		( 2 ,	-	<u>3日 15</u> 単位コス			3,482円/台	3,072			3,366円			3,451			,769円/台	<b>'</b>
2 事	<b>举</b> 战.	<u>し</u> 里 ( ア			V I		0,402  3/ Д	0,012	13/14	,	3,000  3	<u>′                                    </u>	<u> </u>	0,4011	J/ II		,700137	
<del>4                                    </del>	<del>*</del> ///.	<del>本 ( )</del>	<u>フ</u> 1	114)														
		対			象片	节内(	の鉄道駅周辺の放置	置禁止区域内	]での自転車	等の利	用者							
車業の	ひ日め	计会	+	//° —	抜す	计 年	き数 (a)	4駅	受 益 数	(h)		4 駅		H	b ÷ a)	06	100%	
対象			. //	/ (	- <del></del> >	(1) 28	( XX (a)	T 10)(	又血奶	X (D)		T rest		и <del>т</del> (	υ <del>-</del> α)	70	100/0	
X) SK		意			w t	<b>治罢</b> (	自転車等をなくし	白転車の道	1年利用を5	准する								
			<b>*</b> .+	語にして		以且は	コ和手みでなくひ	,白私牛切起	ᄣᅭᇄᅲᄯ	E 生 9 る								
		(X) SK	(Z I		.)													
大	<b>÷</b>	tì.		н	的馬	駅周)	辺の公共の場所から る	ら放置自転車	≦等をなくし	て , 歩	行者等の	の安全なi	通行す	を確保する	らとともに	.,都市の自	良好な生活	舌環境
^	C	φ.			4ء د ۳	を守る	<b>వ</b>											
			1	+6 +=	々ぜ	- 本土	・移送した自転車等	- 単の減小液										
		-h 88 -	-				10年度を基準とし		こ 業1回去た	- 12 の性	十白起	古竿の河	111727					
			-											+ 1 6 年 5	在 / 口插 \	₩#1	7年度 /	口抽~
<b>7</b> 4 1	+ ,	指	標			十八人	13年度(実績) 58.5%			十八八	5 年度	(実績)	+	成 1 6 年月 59.		十八八	7年度( 56.1%	日信丿
アウト					値	-h === 1		09.	. 5%		02.27	0		59.	170		30.1%	
指	標						自転車等の台数	- 二字 - 二字 - 二字 - 二字 - 二字 - 二字 - 二字 - 二字	がは小士フィ	<b>与</b> 年 1	1 0 0 ==	和水灶田 .	₩ □	ではて かじ	フのケギュ	1 D± 77 O E	- 388+b 聖 ム	***
			-				車等の適正利用で放											
		指	標		_	十八人	13年度(実績)			十八八		(実績)	4-7	成 1 6 年		十八八	7年度(	日信ノ
				指標	1世		366台	442			399台	i		329			296台	
# <b>=</b> +	- 0.4+.	5 to 18	++ F	1 <del>+</del> 2 =														
户屋巾	い符も	きなと	伸足	する事	垻													
<u> </u>	ᄱᅺ	<b>・イエ</b>	<b>I</b>	<del>// /</del>	Ļ					T								+ 1 (. +5
		'活勁		<u>分(コス</u>			4.0 5 5 (3.55)	T-1-4-4-5-	D ( ) + 65 \		(円)	627	_	1人当り(円			4.1 住民基	本台帳
事	業	***	費	構成%	_	半风		平成14年		平成 1	5 年度	(決算)	平	成16年原	芟(予算)	)		
		件	費	40.	_		7,206		9,274			9,856				-		
	事	業	費	59.	4%		10,613		15,120			14,447			15,33	33		
	沢他部															-		
(千円		遺貨却														-		
	合		計	100.	0%		17,819		24,394			24,303			15,33	3		
	国	•	県															
	原市	債	等															
(千円		の	他	32.	4%		7,622		8,552			7,883			8,11	4		
		設 財	源	67.	6%		10,197		15,842			16,420			7,21	9		
	助職		員	100.	0%		1.10		1.20			1.20				-		
配	分嘱託	・臨時	等													-		
(人	合		計	100.	0%		1.10	1	1.20			1.20			0.0	0		

評	<u> </u>	点					評価チェック	1176			1	がず無	2次評価
рТ	1四 1元				D7th -75 ±	7	計画フェック		506H 504	フーレがポキナルト		八叶叫	2次計画
	目的妥当性(2	2 ~ 2)		D主目的は明					の目的は一つに絞る				
	,								度が不明確、また <b>は</b>				
						で義務づけられ			でやるべき , またはタ				
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の	)基本的な生	上活の維	持に必要であ	5る	□ 他団体	本では見直しがされ	ている			
								☑ いずオ	れにも該当しない				
当			☑ 市民二	ニーズに基つ	がいて行	うべき事業		□市民□	ニーズに基づいて行	jう事業ではない	1	6	5
	市民ニーズ(2	?~ 1)	<b>→</b> ✓	ニーズが高	高い			□ =- <i>z</i>	ズが高いとは言えな				0
性	11-20- 11(-	,	_	□ 数字で	-50. 押据1.7	ている 苦情	数(お困りです	課)55件		□ 未把握	_		
8点						•					5		
о <i>ж</i> .	社会環境変化	比(1~ 1)		- 例12011五	が現り	交通加工 利用	そのフナーケ	── 江云》	。 の放置) により発生	こん元旦 リカルタート た車笠	Σ		
	盾光州 取名	hH-(4)							(の)放直) により光エ	このに事未			
	優先性,緊急						全等が損なわ			11° <del>11.</del> ±%/11 1 1			
<del>_</del>	対象カバー率	, ,					他団体と同程が		□ 他団体よりカル				
有	受益者(1~	1)							不整合 ,または受益				
効	成果の実績(2	2 ~ 1)							直または目標値がオ			2	2
~/3	が入べり大幅(2	- '/	_ <b>-</b> □ ∮	€績値から成	えまがある	がっていると言	言える	☑ 実績値	直から成果があがっ	ていると言えなし	.1	_	_
性	世田白	h(4 4)	成果があ	がっていない	//場合								
4点	- 成果向上余地	<u>⊮(1~ 1)</u>	☑ 成果向	自上策あり	j	費用は伴うが	,撤去移送回数	女を増やす		□ 特にな	b		
									できる団体はない	•			
			□ 他団仂	太の数字を押	見握してし	いる 単位	<b>ブ</b> コスト		☑ 把握して	いない			
効	単位コスト(1・	~ 1)	_ ISI_1	4団休上11コ.	ストが低し	i.) 🗆	他団体と同程が	<b></b>	□ 他団体よりコス	トが高い			
743				は低い場合			ISE IMCIDIES	×		1 /3  0] V 1			
								ロナポルフが	た声光ではれい				
	受益者負担(0	) ~ 1)	1						き事業ではない	□ /₩EUD □ AF	,		
率									不能・見直し不能	□ 徴収可能	)	-1	-3
							体へ委託してい					•	
	手段(1~ 3)					務づけられて	いる	□ 個人,	, 家庭 , 地域等が担	うべき部分がある	3		
	3 +2(1 0)		☑ 民間(:	企業 , NPO	等)ではタ	寸応できない賞	業務である	□ 民間(	企業 , NPO等)で対	応可能である			
性			□ 嘱託,	臨時職員等	では対	応できない業	務である	☑ 嘱託,	, 臨時職員等で対応	ぶ可能である			
3点	コフレ光心能取り	6D/4 4)	コスト	削減の取り組	日みを行	っている		☑ 特に行	テっていない				
	コスト削減取続	組(1~ 1)		<b></b>									
				<u> </u>									
平成	15~16 した改善	年度に	課題				改善 内容			# #	総合 平価	В	В
夫 心	U IC DX =	当 73 台					內台			Ē.	+1Щ		
5 今往	後の対応(アク	フション)								<u></u>			
			・ホームセ	ンター等で	安価な	自転車が販売	<b>きれているこ</b>	となどの影	響もあり,返還率	図の低下傾向が約	売いてに	ハる	
現在意	認識してい	る課題											
市民,関	係者 市民,関係	系者の名称	市民										
亜 切	意見意見,要	要望内容	意見・要望	より,撤去	された	ことへの苦情	<b>∮が大半である</b>	5					
× ±	,,								現時点では有効な	>>+## +×* +>+ \	后加田名	タナレ・	七回垟
	(1)	対応内容	八宝このい の状況で	日かれた人の	か叫い 全対策	ロ料果の流り協議会でもま	サルよる影響ル キ通課題となっ	·へ c いか , っている )	元吋品では有別る	トンコ沢沢いない(ド	以刊刊	□ ih C.	いり依
	(1)	実施期限		年		月	(A)						
÷田 8古 . ##	i te 44	<b>夫</b> 厄朔സ	十八			H							
課題·要	(2)	対応内容	放置禁止区	域外の放置	自転車	は,警告札等	穿を貼付け後 ,	一定期間経	過後に維持担当か	「撤去している			
へのす	, ,	中批地吧	77 C#	年									
( 0)	V3 //U	実施期限	十八人	<u></u>	/	月							
	(2)	対応内容											
	(3)												
		実施期限	平成	年		月							
その他	!考えられる												
改善(	カアイデア												
										今後の方	向性 1	次評価	2次評価
			・放置自転	車対策は,	大都市	圏のみならす	『地方都市でも	大きな課題	[となっている。	拡大・充	主実		
			対策の一	つとして各	鉄道駅	周辺に自転車	重駐車場を設置	置しているが	, 放置自転車が	現 状 維	持		
									と思われるため	方 法 改			
		~ ~ ~ ~			, ,,,,,	~							
平 成 1	7~19年度	(/) 🖯 🖂 🕾	現狀維持	とする							t. 📥		
平成 1	7 ~ 1 9 年 度	の方向性	現状維持	とする						民間委言			
平 成 1	7 ~ 1 9 年 度。	00万间性	現状維持	とする						縮	小		
平 成 1	7 ~ 1 9 年 度	00万间性	現状維持	とする						縮統合/終期	小 設定		
平成 1	7~19年度	00万间性	現状維持	とする						縮	小 設定		
			現状維持	;とする 						縮統合/終期	小 設定		
	7~19年度		現状維持	iとする 						縮統合/終期	小 設定		

	- 111	NI2							T		_	.1.,			
(一般	事業)	事業	<u> </u>	4230	090					部	長	次	長	課	長
平成15	年度	事	業名	(緊	急地域雇用創出特別	引基金事業)放置	自転車	防止対策							
									<u> </u>						
1 車	朱和雪	要(ドゥ)													
			りの日標	1	快適でうるおいの	ある都市づくり						建設部			
総合			<u>,,,,</u> 中	_	快適な交通体系の					所	管 課	道路・交	诵安全拒	当当	
政策			<u>'</u> 小		駐車・駐輪対策の					所管制	果長氏名	礼場克			
体	系		<u>-</u> 細	<u> </u>								礼場 克			
事	業	期		平成	1 4 年度 ~ 平成 1	6 年度 紹	常臨時	□ 経常 ☑	臨時			0797-38-		内線	2821
根 拠	法	令 · 5	要 綱 等	(通利	r)自転車法、芦屋i	市自転車等の駐車	軽序に	関する条例		実 施	主体	市	l		
実	施	手	法	V	直営	□ 一部委託		☑ 全部委託	;		助金		負担金		
委		託	先	. 🗸	外郭団体委託	名称 シルバー人	、材セン	ター	□ 民間	委託 委	話内容				
事	業	の	概 要	違法	駐輪排除の啓発										
	ALL.	_	TE				<>************************************		> + 14 = =	++					
事	業	ຶ DTB O t∈ ¥			芦屋駅周辺に指導! 置された自転車等!	,		:午後1時かり	ら十俊 5章	守ま <i>じ)</i>					
		実現のため 及び実施内		107 (	直された自転車寺! 転車等の利用者に			田を伊丁安内	する						
	コート又ん	スレ大心と	· —		+4千寸の心用日に)	へ」し、 ロギム半点は年	<b></b> ∞0 ∨ノ 个り	これの米内	, W						
			指標名	年間											
		結果指標			13年度(実績)	平成14年度(	実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(1)	指標値			4,678時間		4,337時	間		4,820時	<u>`</u>		`	
アウト	プット		単位コスト	_		840円/時		840円/	時		840円/日	<b>诗</b>			
指	標		指標 名	i						•					
		結果指標		1	13年度(実績)	平成14年度(	実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(2)	指標 値	_											
			単位コスト												
2 事	業成績	果(アウ	トカム)												
		対	象	JR	芦屋駅周辺の放置	禁止区域内での自	転車利	用者							
事業の	日的	対 免 ヵ	バー 率	रेत ई	も 数 (2)	型	益数	(h)		Н	· 蒸 /h	÷ a) %			
ず象の対象・			/\ +	_ \1	κ & (α)			. (b)			J + (D	- a) //			
X3 %(		意	図	放置	自転車等をなくし	, 自転車の適正和	川用を促	進する							
		(対象を言	・ 注語にして)												
	-			En	T 0 11 + 0 18 CC 1.	> +L ==	- 4- / 1	15/= ±/55 0.1	カムムンマイ	- <del>-</del> //		+n	<u>-</u>	ナー・ル・イエ	mı÷-
大	き	な	目 的	「「「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「	辺の公共の場所かっ する	り放直日転単寺で	となくし	, 歩仃看寺の	女宝な週位	丁を唯物	F9 るとと	こもに,郁	市の良好	な生活は	哀現を
					芦屋駅北及び南自										
				_	員の誘導により利用				(中体)		4 C F F	/ D.#= \		- <del></del>	
<b>-</b> - 1		指 標	<b></b>		13年度(実績)		美額)	平成 1 5 年度	• •	半成	16年度			7年度(	日標)
ア ウト 指	カム標		指標値		929台 自転車等の台数(	987台		973台	Í		1,022台	1		1、073台	
18					日 <u>料単等の言数(</u> 車の適正利用で放う			毎年11日の	調杏结里	· 亚口っ	で晴天の年	二前11時	での瞬間	お置台巻	<b>汝)</b>
			<b></b>		13年度(実績)	,		平成15年度			16年度			7年度(	
		אוי בונ	指標値	_	153台	161台	J(N.K.)	157台	(,	1 7-20	142台	( 11 13 )	1 720	127台	H 13.7
			10						-	l					
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	į											
3 事	業費·	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	140	住民1人	(当り(円)	61	平成16.4	.1 住民基	本台帳
事	業	費		平成	13年度(決算)	平成14年度(	決算)	平成15年度	(決算)	平成	16年度	(予算)			
	人	件 費		1			1,832		1,786			-			
	事	業費		ó			3,930		3,643			4,116			
		門経費										-			
(十円)	合	道 却 費 計	100.00		0		5,762		5,429			4,116			
	国		100.0% 67.1%	+	<u> </u>		3,930		3,643			4,116			
財源	市	債 等					0,000		5,045			7,110			
(千円)		の他								<u> </u>					
(113)		<del>"</del> 財源	32.9%	5	0		1,832		1,786			0			
活 動	職	員	100.0%	+			0.20		0.20			-			
配分		・臨時等										-			
(人)	合	計	100.0%	6	0.00		0.20		0.20			0.00			

	(ナエック)			1	
評		点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	. 1	
	אור אניים	(2 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	3	
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	ιı <b>3</b>	2
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把	巴握	
性			☑ 数字で把握している 苦情数(お困りです課)55件 □ 未把握	星	
8点	社会環境変化	(V/1 - 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	夢	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1七(1~ 1)	内容 社会環境の変化により発生した事業		
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー図	<b>率(1~ 1)</b>	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	Ē	
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		0
X/J	ル未の天順(	(2 1)	▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	211 O	U
性	成用向上全	₩/1 ~ 1\	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余年	וש(ו~ ו)	□ 成果向上策あり □ 特に	なし	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 750~1,100円/時 □ 把握していない		
効	千匹コス ! (!	1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	′n ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	文皿百页12(	(0 1)	│ └→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	-2	-2
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-2	
	手段(1~ 3	2)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	<b>5</b> る	
	7+X(1 2	')	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
	17 H1/1/4X	·жц(т т)	▶ 内容		
π <del>ct</del> :	1 E - 1 6	年 亩 1-	改善	400	
実施	1 5 ~ 1 6 した改	善内容	課題  内容	総合 D	D
<u>5 今1</u>	<u>後の対応(ア</u>	<u>クション)</u>	T		
現 在	認識してし	1 る 課 題	失業者の雇用を創出する事業であるが、高齢者の就労対策事業ともなっている 		
<del></del>		II + 0 - 11-	+		
	関係者 市民,関	係者の名称	巾氏 		
からの	音	要望内容	撤去の要望が強い。		
要望	! 寺	1			
	(4)	対応内容			
	(1)				
+m n= -m	F 48 65	実施期限	平成 年 月		
課題·要		対応内容			
	(2)				
への:	对心	実施期限	平成		
	(2)	対応内容			
	(3)	D-15-H070			
		実施期限	平成		
7 0 /4	h === > +o =				
	也考えられる				
以 普(	のアイデア		Δ ½ Δ ±		E 2\5±0/≖
				方向性 1次評価	1 2 次評1画
			拡 大 ·		+
			平成16年度で事業終了予定 現 状 糸		1
TT = + 4	· 40/F E	~ ~ ~ ~	方法。		
十 以 1	7~19年度	の方回性			+
				小	1
			統合/終其	<b>扮</b>	1
				/± 1L	
			廃止 /	休 止	
ე \ <i>h</i> ; ≐:	ᄑᄺᇴᇢᄼ	7 / >	廃止 /	休 止	
2 次 部	平価委員会	コメント	廃止 /	休止	

(内	部事	耳務)	事業	□ <b>-</b> ド	5230440			部長次	長課長
-						コルッグ祭1曲			
平加	<b>X</b> 1 5	年度	<del></del>	業 名	土木積算システムの運/ 	用及び官理			
	<del></del> 1	14 TO 2 2	<del></del> ( 1						
			要(ドゥ)	コクロ毎	「古民レ協働」でつ	/ 2白立した行動甘般で	<b>ゴノ</b> コ	7争≐几立7	
		'屋巾 計画		中	2 効率的な市役所シ	くる自立した行政基盤で ステムの確立		所 管 課 建設部 一所 管 課	交通安全担当
		1 臣 策		/\	3 事務事業の効率化			所管課長氏名礼場	
体	ж <i>и</i>	系系		<u>细</u>	りずが子来のが平に			記入者氏名山城	· 勝
事		業	期	問 間	平成11年度から	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-3	8-2063 内線 2815
根	拠	法	令 ' 5	要 綱 等				実 施 主 体市	
実		施	手		☑ 直営	□ 一部委託	☑ 全部委託		] 負担金
委			託	先	□ 外郭団体委託	名称		<b>香託</b> 委託内容機器及	
								を迅速に行い,工事等設	
事	-	業	の	概 要				一バ機は道路課内に設置	
						訂作業を実施し,機器の -夕を兵庫県等に対し提		ることでシステムの運用 <sup>:</sup> sを受ける	を図る。
						ータを共庫宗寺に対し提 び改訂作業により,常に			
事	į	業	Ø	現 状				ェっぽこする。 里・運用を行っている。	(事務局:道路課)
		-12		.,,	7 12 11 22 11 12 23 12 1		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		(3:33/-3 : ~24#//
		目的	実現のため	00					
		手段》	及び実施内	容					
				I :-					
		_			データ改定回数				
	ファ	ィブ +==	活動指標	-	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指		標		指標値		13回 405,538/回	10回 514,900/回	12回	12回
				単位コスト 指標名	設計書作成件数	400,000/四	514,9007回		
ァゥ	<b>5</b>	プット			平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指		標	結果指標	指標値		556件	500件	450件	450件
				単位コスト		9,482/件	10,298/件		
2	事為	だし しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	果(アウ)	トカム)		•			
			対	象	丁事等発注のために十:	木積算を行う技術系職員			
- N	uv	_ +-						10. <del>+</del> //	vI
		日的意図		八 - 率	対 象 数 (a)	68 受益数	女 (b) 68	比 率 (b ÷ a)	% 100
X) ≋	ak ' .	忠 凶	意	ভো	利田老が党時正確かつ	迅速に積算できるよう ,	シフテムを正党が出能し	<b>-</b> -保つ	
				ム 主語にして)		世体に使弁(こるよ)、	ノスノムを止事な小窓に	こはつ。	
			())&()	<u> гипеос</u>					
大		き	な	目 的	正確かつ統一した土木	工事等の設計書を作成す	る。		
				3 H 1131 H	利用者苦情件数				
						事務局(道路課)への苦情		1	T
			成果指標			平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	
	ノト	カム		指標値	10件 設計書 1 件当り積算業	8件	8件	0件	0件
指		標				<sub>防貝何</sub> 率 計算・積算の一連業務の	うち精質業務に要する呼	寺間が占める割全	
			成果指標			平成14年度(実績)	1	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			17. V. 10.12.	指標値		31%	30%	30%	30%
						<u> </u>		<u>l</u>	
芦	屋	の	特色	きなど					
	事業			<u>分(コスト</u>	)	T= 15			7 平成16.4.1 住民基本台帳
事		業	費		平成13年度(決算)		平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
		事	件 費業 費			1,342 3,930	1,539 3,610	3,55	7
内	記	,	来 貝 『門経費		3,499	3,930	3,010	3,33	-
			「償却費						-
( 1		合	計	100.0%	5,086	5,272	5,149	3,55	7
		国	· 県		,	, :=	,	,,,,	7
財	源		債 等						
(千	円)		の他			767	767	75	
			段 財源			4,505	4,382	2,80	2
活	動		員		0.20	0.15	0.20		-
配			∵臨時等		0.00	0.45	0.00	0.0	-
( )	<b>\</b> )	Ħ	計	100.0%	0.20	0.15	0.20	0.0	J

評		<u> </u>	点						±π/#	iチェック!	171				4 \h ÷π /≖	2.55 = 17 / 17
市	価	視ったが一変			****	1° -+-1-1-	<u>+.</u> .				7.7.1			e III i i	一次評価	2次評価
_		象カバー率	· /		対象カル								よりカバー率か			
有	党?	益者(1~	1)		事業意図								益が一部に限	疋		
効	成	果の実績(2	·~ 1)	1 1							る □ 実績値				3	3
743	1-202	(CU) > Chist (-	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	→	⋅ ☑ 実績	賃値から 成	<b>艾果があ</b>	がってし	りると言える		□実績値が	から成果があか	うていると言え	ない.	J	J
性	⊏tt E	果向上余地	1/1 1)	成	果があが	っていな	い場合									
4点	- 11X,=	木凹上赤地	3(1~ 1)		成果向」	上策あり							<b></b> ✓	特になし		
				<b>V</b>	比較でき	る団体が	がある		団体名	県及び県	具内14市26町	□ 比較で	きる団体はない	١		
					他団体の	ひ数字を	把握して	いる	活動配分			☑ 把握し	ていない			
	沽	<b>勯配分(1~</b>	1)	1 1	□ 他				□ 他団体	と同程度		□ 他団体				
効					いっまたは			里由		-1 31-12	·					
				_	比較でき				団体名	見及716月	内14市26町	□₩較で	きる団体はない	1		
					他団体の			7112	単位コスト			□ 比較し		•		
	単位	立コスト(1~	- 1)	1 1	・□他				□ 他団体	i			こいない よりコストが高し	1	_	_
率										く回住反		<u>∟ ושושו</u>	・よりコントル・回い		-1	0
					い , またl					NIK	76				-	
									団体へ委託し							
	手目	设(1~ 3)											担うべき部分か			
性	, ,	<b>X</b> (1 0)		V	民間(企	業 , NPO	等)では	対応でき	きない業務で	<b>ある</b>	□ 民間(企	業 , NPO等)で	対応可能である	3		
4点										る	□ 嘱託,盬	語時職員等で対	応可能である			
	7.7	スト削減取約	:B/1 -: 1)		コスト削え						□ 特に行っ					
	-1/	<b>、「日」/水中X</b> 糸	组(1~ 1)	<b>▶</b>	内容	委託業	務の一	部の直営	営化も検討した	こが,作業	f内容·作業時	間等を考慮す	ると委託費が安	:価		
_ "																
平成	1 5	~ 16	年度に ・内容	課題						改善				総合評価	В	В
夫 肔	0 1									内容				市十1川		
5 4	色のす	寸応 (アク	7 = 1 - 1 )		l										l	
J / E	× • > >	376 7 7	,,,,,	データ	クル定作	学を学者:	盉釺Ⅰ.7	コハスが	直営に変面す.	ろ (かお	作業亜領を翌	得するため亚	成16年度から	宇践研修	を行って	1.12 )
11日 左 章	刃≐鉢	1 7 11	z ≐甲 晒						言言に及文) ごされている。	- ( -	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	10 7 6 100 1 1	X 1 0 +12/3 5	X 11/10 X 11/15		,
ル 1工 ロ	ᄣ	0 0 0	る。本語	机工人	小工事情	并 件 尔	107191	) /J. ], YE	2016 (618)							
+	1/5. ±z	<b>→</b> □ 88/2	5 + 0 A 1h	亡庄												
			係者の名称													
からの	息 見	意見,要	更望内容	新土	木工事積	算体系	への移行	うが予定	さているたる	か検討が.	必要。(シスラ	- ム更新必要)				
安 望	寺	1														
			対応内容	兵庫リ	県及び他	市町の	動向を半	训新材料	とし移行のす	T能性を	検討する。					
		(1)								3 130 12 2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
			実施期限	平成	17	年	3	月								
課題·要	望等		対応内容													
		(2)	אויטייניג													
へのす	対 応		実施期限	平成		年		月								
					1	1		1								
		(3)	対応内容													
		,	実施期限	亚式		年		月								
			איוואטוויא	1 13%	l	1 '		1/ 3								
マの4	孝 ラ	られる														
		. っ れる イ デ ア														
以当	יל עו	1 7 7											A 14 A	<del></del>		* > f - += f=
					_ , _ <del>_ ,</del>	AD m7 :	- \ 1- +	- 10° > TE		- \ <del>+</del> - 1:		<b>_</b>	今後の			2次評価
				シス	アム更新	⊺を倪野Ⅰ	こ入れる	よから切	状システムの	り適止か	つ円滑な運用	を図る。	拡大			
													現状	維持		
													方 法	改 善		
平成 1	7 ~ 1	9年度(	の方向性										民間類	き託 等		
													縮	小		
													統合/終	期設定		
													廃 止 /	休 止		
																1
				1												
2 次 割	価	委員会:	コメント													
2 次 評	価	委員 会	コメント													

(内部事	務)	事業	コ <b>-</b> ド	41302	260			部長次	長課長
平成15年	丰度	事	業名	南芦	屋浜公園等管理業績	<del></del>			
1 事業	+AZ 3	五/じょヽ							
			りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり		<sub>年</sub> 建設部	
総合計	画		中		暮らしやすく質の	高い市街地の形成		所 管 課 公園緑	
政策施	-		<u>小</u>	3	市街地の整備				幸夫
事	系業		細ります。	亚战	10年度~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	記入者氏名若原 信 話 番 号 0797-3	憂嗣 8-2065 内線 2841
					- 0 <del>- 1</del> 2 公園法	流元 市 血血力		実施主体市	5 2000   PSHOR   2041
実	施	手	,-,			☑ 一部委託	□ 全部委託	□補助金□□	〕負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称(社)芦屋市沙川・	-人材センタ-   □ 民間 持管理並びに樹木の育原	委託 委 託 内 容	
事 業	É	Ø	概 要		屋,共地区の部17公2 緑地 A=41,643m2、				公園 A=85,533m2
						線・陽光1号線 A=6,97		, , , ,	,
				H	*******	/T/C/\t+12	NB	+ /r   ++++	
事 業	¥	Ø	現 状		等清掃 12回/年、 清掃 15回/年	便所清掃 3回/週/52	週、 除草 2回/年、	中低木剪定 1回/年	
<del>,</del> ,	~	0)	276 170	ID /T					
		<b></b> ほ現のため							
手	=段及	なび実施内	]容						
			指標名	維持	管理面積				
アクティ		活動指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	標		指標値			51,283㎡ 492円 / ㎡	156,938㎡ 281円 / ㎡		
			単位コスト 指標名	伐採	量(焼却)	432  ] / 111	201  1/ 111		
アウトプ	ット	結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	標	和木相棕	指標値				41,600kg		
2 事業	ct; E	日/マウト	単位コスト				700円/100kg		
2 尹未						₹ 7 ° ° ° ° 1 + + + + + 1 ° ° ° ° ° ° ° ° °	\/+-Db.++1		
		対				園及び公共施設緑地並び 			_
事業の目対象・意	L	対象力	バー率	対象	R 数 (a) 1	56,938	女 (b) 156,938	比率 (b ÷ a) <sup>c</sup>	100%
20 多、后	3 D	意	図	南芦	屋浜地区の環境をほ	良好に保つ			
		(対象を主	E語にして)						
<b>+</b> +	_	+>	- 6	都市の	の環境、景観機能の	の充実を図り清潔な公園	、緑地を維持することに	こより、公園利用者が増え	え、市民が自ら清掃等に
大 き	•	な	目 的	参加	意識を持つことで約	維持管理費のコスト縮減	を図る。		
			指標名	駐車	台数				
			考え方・式						
フゥ L +		成果指標	年   度     指標値		13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 20128	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
ア ウト カ 指	」ム 標		指標名		率	<u> </u>	20120	<u> </u>	1
			考え方・式						_
		成果指標		平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値				不明		
芦屋	の	特色	。 な ど	苦情	・要望については、	出来る限り早く対応す	る。		
		100100					Г	T	
3 事業	費 業	<u>沽動配?</u> 費	分(コスト 構成%	)   亚战	1 3 年度 (	平成14年度(決算)	1世帯当り(円) 1,140 平成15年度(決算)	世民1人当り(円) 493 平成16年度(予算)	3 平成16.4.1 住民基本台帳
	<u>**</u> 人	件費	2.5%	1 13%	13千及(八升)	490	1,116	1/1X 1 0 +1X ( 1 + 1)	-
=	<b></b>	業費	97.5%			24,761	43,039		
_		門経費				0			
(千円) ៛	咸 価 <b>合</b>	償却費	100.0%		0	0 <b>25,251</b>	44,155		<u>-</u>
	<b>三</b> 国	· 県	100.0%		U	20,201	77,100		
財源	†	債 等							]
(千円)		の他				45.45	44.45-		_
活 動 耶		<b>分射源</b> 員	100.0% 100.0%		0	<b>25,251</b> 0.05	<b>44,155</b> 0.10	(	_
_		·臨時等	100.0%			0.00	0.10		-
(		#1	100.0%		0.00	0.05	0.10	0.00	ব

4 計1	<u>叫(テェック)</u> 価 ネ	現 点					±π.	<b>価工</b> –	ックリス	7 L				1 / / 京 / 本	2 \b ±0/#
<del>āT</del>	1脚 1 対象カバー			対象カバー率	'		□ 他団体			<b>Λ</b> Γ	他団体より	カバー家が	(AEL)	「次評1曲	2次評価
有	受益者(1 ~			事業意図と受						<b>呉</b> さまが不東	整合,または受益:				
	,										<u>Eロ, &amp; たは文血</u> :たは目標値が未		~		
効	成果の実績	(2 ~ 1)		□ 実績値か							いら成果があがって		ない	3	1
性	N = 4 1 A	til ()		<u>ニース・ボース</u> 果があがってい			Тосдії				27-227476 5276 2				
4点	- 成果向上余	:地(1~ 1)		成果向上策あ	(1)	維持管	理費の縮減	;					持になし		
			<b>V</b>	比較できる団体	本がある	i .	団体名	神戸	市、西	宮市	□ 比較できる	団体はない	1		
	活動配分(1	- 1\		他団体の数字			活動配分				☑ 把握してい	ない			
	/百里川0万(1	~ 1)	┕	□ 他団体。	り少ない	١	□ 他団	体と同	程度		□ 他団体より	多い			
効				い,または少な											
				比較できる団化			団体名		市、西	宮市	□ 比較できる		1		
	単位コスト(1	1 ~ 1)		他団体の数字					<u> </u>		☑ 把握してい				
率	(	,		□ 他団体よ			□ 他団	体と同	程度		□ 他団体より	コストが高い	1	n	-3
·				い,または低い					- ****					•	0
				営(正規職員か											
141	手段(1~ :	3)		行政職員によ	る執行力	で義務つけ	られている			□ 個人,豕	庭 , 地域等が担う 業 , NPO等)で対応	べき部分か	·ある   •		
性				氏間(企業, N	PO寺) C 号祭るに	は対心で	さない業務(	∵める + ≀		□ 民間(企)	業,NPO寺)で対応 時職員等で対応	い可能でめる	,		
4点				鳴武, 臨時職コスト削減の耳				න ව		<ul><li></li></ul>		円形でのも			
	コスト削減耳	双組(1~ 1)		内容 樹種				<del>ከ</del> Π (;= _}			((141)			-	
				樹木(低木)			7/2017				て年1回に剪定回数	女を減らした			
平成	15~16 した改	年度に	=甲旦百	利用・活用及			市民参加	改善 内容	<b>→</b> □ /		あしやを組織化	X = 11 X 3 0 1 E	総合	В	D
美 肔	した改	善内容						内谷					評価		
5 今往	<b></b>	'クション)							l						1
			週3[	回の便所清掃	並びに生	F2回実施	の除草及び	樹木 (	低木]	) 剪定					
現在意	認識してし	ハる課題	住民	参加による公	園の管理	里									
	係者 市民, 関														
からの	意見意見,	要望内容	便所の	の清掃並びに	除草及で	ブ剪定の 🛭	回数を増やし	てほり	しい						
安 宝	守	1													
	(1)	対応内容	財政	状況により辛	抱しても	ちらうよう	うに説得								
	( ' '	実施期限	平成	年		月									
課題·要	望等		1 7-20	·		1, 3									
	(2)	対応内容													
へのす	対応	実施期限	平成	年		月									
		対応内容													
	(3)														
		実施期限				月									
W		_		市総合公園の				:る陸_	上競技	場の除草作業	業				
	きえられる		公園(	の市民参加に	よる利用	村・沽用の	)增進								
以善	カアイデフ											△ 後 △	十白州	4.25年/年	2.54 ÷T/T
			古民市	総合公園の指定	?管理者制	庶による智	デ理運営により 1	利田・	活用の	増進と維持管理	里費の低減を図る。	今後の拡大			2次評1曲
			, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			10 0 E	TEDICS /	1-3713	7071302		主員の11,1/1% で回 0。	現状			
												方法			
平成 1	7~19年度	の方向性										民間委			
1 7-20		, ,, , , , , , , , , , , , , , , , ,										縮	小		
												統合/終			
												廃 止 /			
														•	
2 次 評	価 委 員 会	:コメント	指定	管理者制度導	入の検討	寸をしてく	ください。								

(投資事業)	争業		4130270			部 長 次	長はは
平成15年度	事	業 名	, (住宅宅地関連公共施設 園整備事業	段整備促進事業)南芦屋海	兵地区都市公		
1 事業概		/ D & D #		x+ 7 #7+~~ / 12		7400	
第3次产屋市 総 合 計 画		<u>(リの目標</u> 中	4 快適でうるおいの	)ある都市つくり )高い市街地の形成		・ 所 管 課 建設部 公園緑地	hit
<sup>総 ロ 訂 </sup> 政 策 施 策	1	小	1 暮らしやすく質の 3 市街地の整備	プログログは 111年11年12月27日 1111年11年12月27日 1111年11年12月27日 1111年12月2日 111年12月2日 1111年12月2日 111年12月2日 1111年12月2日 1111年12月2日 1111年12月2日 1111年12月2日 1111年		所管課長氏名伊丹幸	
<b>本</b> 系		細	0 12月2602正開			記入者氏名若原優	
事 業	Į	月 間	平成12年4月~平成2	2年3月 投資臨時	□ 投資 □ 臨時	電 話 番 号 38-2065	内線 2842
艮 拠 法	令 ·	要綱等	都市公園法			実施 主体市	
寁 施			直営	☑ 一部委託	全部委託		負担金
<b>E</b>	託	先	外郭団体委託 □ 小京でも 1-	名称		表記 委 託 内 容	
事業	•	±9.7 <del>7.1</del>		毛地開発を進める南戸原	室浜地区に、都市公園及	び都市緑地を整備する。	
事 業	Ø	概 要	:				
			平成12年,親水中央	公園,親水西公園,親2	K緑地を都市計画決定後	2,住宅宅地関連公共施設	整備促進事業として
			事業認可(補助金事業	)。平成12年度から	平成14年度で親水中央	公園を整備。平成13年	度から親水西公園
事 業	の	現 状		着手し,平成17年3月	月完成予定。平成16年	度から,まちづくり交付	金の補助対象事業と
			なる。				
	実現のため					『後,事業認可の手続を取	り,事業着手の予定。
<b></b>	及び実施に	小谷	整備工事については , 	兵庫県公営企業管理者	(正美厅)に委託。		
		指標 名	要望件数				
	結果指標		公園計画説明会で寄せ	られた住民要望			
	(1)		平成13年度(実績)		平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウトプット	-	指標値	1件	0件	0件		
旨 標			整備箇所数				
	結果指標		,整備完了した公園	T	T	I —	T
	(2)		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
2 事業成	甲 (マウ	指標値	[ 0箇所	1箇所	0箇所	2箇所	1箇所
事業の目的 対象・意図	意		南芦屋浜地区住民       南芦屋浜地区に緑を伴	う公共空間が創出される	ることで,快適に暮らせ	÷る。	
大 き	な	目 的	良好な住環境の創出と	住民のスポーツ・レク!	リエーションの場の確保	1	
			指標名	指標値		考え方・式	
アウトカム	中間	(1)	地域内人口	9000人	南芦屋浜地区の計画人	П	
成 果 指 標 (事業完了)		(2)	整備面積	3 . 96h a	親水中央公園 2 h a , 親 箇所×0.25 h a	水西公園 0.76ha,親水緑	地 0.45ha, 街区公園3
	最終成	以果 指 標	都市公園数の増加	6箇所	誘致距離を500mとした。 箇所	丘隣公園1箇所 , 誘致距離を	E250mとして街区公園を4
当屋市の特	色など補ん	足する事項	į				
	ンエチャボコ	/\/ n n l	\		平成16.4.1住民基本台帳	1冊#217(円)	<b>☆</b> □1 【坐り/□)
3 事業質 事 業		分(コスト 構成%		平成14年度(決算)	平成16.4.1住民基本旨帳	1世帯当り(円) 0 歳出累計額(決算)	住民1人当り(円)  0  事業費総額(決算+計画)
<del>罗 未</del>				十八十十尺(八升)	7,856	从山东门识(八开)	于未具心识(八并·川凹) -
事	業 費				328,372		
为 訳他部	部門経費	Ĩ				-	-
千円)減値	西償却費	Ī.				-	-
合	計		0	0	336,228	0	0
国	· 県		0		163,003		
財 源 <mark>市</mark>	債 等				105.000		
(千円) <del>そ</del>	の 他			0	165,369	0	0
活動職	般財源			0	<b>7,856</b>	0	U
	 €·臨時等				0.10	1	
(人)合				0.00	0.90	1	
						1	

		ェック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	目	的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	11		
妥		-32 -1-(-		□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高〈ない			
				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな			
当	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未打 □ ニーズが高いとは言えない, または未打 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		3	2
				□ 数字で把握している □ 未把	握	5	_
	<b></b>	会環境変化	<b>化(1~ 1)</b>	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	必要		
性			` ′	内容			
6点	優	先性,緊急	!性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	受:	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限別	定		
有	<b>治</b>	<b>捗状況(2~</b>	~ 1\	☑ 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		_	_
効	進	191/NL(2	1)	▶ ☑ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている		3	3
性	- 注:		也(1~ 1)	計画から遅れが出ている場合			
4点	- 進	沙以吉示,	·B(1 1)	□ 改善策あり □ 特に	:なし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 神戸市、西宮市 □ 比較できる団体はない			
	٦-	スト(1~ 1	1\	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	٦,	<b>\</b> 1(1	1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	j		
				高い,または低い場合の理由 整備状況(一人当たり面積)			
率				直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		1	1
<del>'1"</del>	<b>=</b>	段(1~ 3	١	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	ある	ı	ı
	<del></del>	FX(1 - 3	)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性				☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点		スト削減取	炤(1 ~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	٦,	へ ト日リ/成4X	組(1~ 1)	▶ 内容 コンクリート2次製品の活用、再生資材の活用等			
		4 6	<i>F</i>	公園・緑地完成時の周辺住民の有無 宅地開発・住宅建設の進捗に合わせて整備時期	<i>W</i>	_	_
平 成 1	15	~ 1 6 た 改 i	年 度 に 善 内 容	課題 内容 を変更する	総合 評価	Α	Α
	U	/C	= r, n		птщ		
5 今後	色の対	対応(アク	フション)	· · ·			
				兵庫県公営企業管理者(企業庁)に工事を委託しており,事業を効率よく進めるには,意思疎通	が不可	欠である	3.
現在談	忍 識	してい	る 課 題				
市民,関	係者	市民,関係	系者の名称	地区内住民			
からのだ	意 見	辛日 8	要望内容	宅地開発中の地区であることから、未整備区域が裸地のため、土埃がたちやすい。そのため、整	備工事	中の車両	5の往来
要望	等	总允,3	女主门台	による土埃対策が求められている。			
			対応内容	宅地開発及び道路、公園、下水道等の工事業者による散水により土埃対策を実施			
		(1)	דניוטיונע די	でも例光及り色は、公園、「小色寺の工事来自による散外により工味対象を失応			
			実施期限	平成年			
課題·要	望等		対応内容				
		(2)	דניוטיונע די				
へのタ	寸 応		実施期限	平成年			
			対応内容				
		(3)	אניוטיונג ב				
			実施期限	平成 年 月			
その他	考え	られる					
改善の	つ ア	イデア					
				今後の方	5 向性	1次評価	2次評価
				拡大・	充 実		
				空地開発に併せて公園・緑地整備を行う。 現 状 編	維持		
				方法。	改善		
平成1	7 ~	19年度	の方向性	民間委	託 等		
				縮	小		
				統合/終其	钥設定		
				廃 止 /			
				<u> </u>			
2 次 評	価	委員会	コメント				

	1									
(一般事	■ 業)	事 業	□ <b>-</b>	4420	070			i	部長次	長課長
平成15	年度	事	業 名	保護	樹等保存奨励金交·	付関係				
								•		
4 <del>==</del> 4	<del>''' 1</del> 07 3	<b>冊</b> / じょヽ								
		要(ドゥ)	/ I) O D +==		小流でニスカルの	キフ切士づくい			Z±⇒Ω∴Ω	
		まりノ			快適でうるおいの 個性と風格のある				所 管 課 <del>建設部</del> 公園緑地	4≐⊞
総合意政策が			小		緑の保全と育成	哲业のの制造			所管課長氏名伊丹 幸	
	心 · 來		細		級の体主と自成				記入者氏名林茂曜	
<u>体</u> 事	業	Į.		四和	 5 5 年 ~	<b>奴</b>	☑ 経常 □	<b>哈</b> 哇	電 話 番 号 0797-38	
<u>ず</u> 根 拠		令 '							実施主体市	-2000   PSINK   2040
実	施	_ ₹		<i>Mx</i> · <i>y</i>		□ 一部委託	□ 全部委託			負担金
<del></del> 委		託	先		外郭団体委託	名称			委託 委託 内容	7.7——
						[2000]	l			
事	業	の	概 要	まち	の美観風致を維持	するために必要な樹木を	保護樹等として	て指定し	, 緑を保護育成する。	
事	業	の	現 状							
	目的第	実現のため	かの	保護	樹等に指定された	所有者に樹木の保護育成	の援助のため	,奨励金を	を交付する。	
	手段及	ひ実施に	内容							
			指標名					, <u></u>		1
		結果指標			, ,	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	ا ه	(1)	指標値		110	110	120		120	
アウトス			単位コスト		43 in <del>12</del>					
指	標	/+ ED +15 +27	指標名			亚世1.4年度(宝建)	亚代 1 5 年度	(安建)	亚代16年度1日博士	立式17年度(日挿)
		結果指標	指標値		不明	平成14年度(実績) 不明	平成15年度不明	(	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	単位コスト		מאיור	71×P/3	7114/3			
2 重製	おおし	果(アウ								
		対	象	保護	樹等に指定された	樹木の所有者				
事業の	目的	対象が	」バー率	対象	t 数 (a)	10 受益数	(b)	6	比 率 (b ÷ a) %	60
対象·	意 図					· ·	· •			•
		意	図	保護	樹等に指定された	樹木を保護する。				
		(対象を	主語にして)							
大	き	な	目 的	緑の	保全と育成のため	の助成制度を推進するこ	とにより,個性	生と風格の	のあるまちなみを創造する	0.
			I	67.00	++ == A					
					講習会参加者数	LM = 7				
					関心を持つ市民が		亚代 1 5 年度	(安建)	亚代16年度1日博士	立代17年度(日博)
アウト		指 標	年   度     指標値	-	13年及(夫縜)	480	436	(	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	カム標		指標名			400	430			
10		最終成里	考え方・式							
					13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		- 12	指標値							
			100 100 100			<u> </u>				<u> </u>
芦屋市の	の特色	色など補	足する事項							
3 事業	≹費·	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	12	住民1人当り(円) 5	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度(予算)	
	人	件費	73.2%					328	-	
	事	業費			110	110		120	120	
		門経費	_						-	
	-	償却費	.						-	-
	合				110	110		448	120	-
B+ >F	国	· 県								-
財源(エロ)		債 等	_							-
(千円)		の 他 段 財 湖			110	110		448	120	-
活動	職		_		110	0.15		0.05	120	-
		·臨時等				0.10		0.00	_	†
(人)		<u> </u>			0.00	0.25		0.05	0.00	†
										·

	1四(テェック)			
評	価視	点 評価チェックリスト	1次評価	2次評価
		☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	_	
	→BB ⊢ (0 0)			
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>□ 2</b>	2
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	7	
- ,,,,	社会環境変化(1~	内容		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	1	
	対象カバー率(1~ 1		+	
有	受益者(1~ 1)	□ 対象がん 平は同い □ 四回体に同程度 □ 四回体はががた 平が低い □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
H	文益有(1~ 1)		4	
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
	` ′	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	_ "	•
性	- 成果向上余地(1~	成果があがっていない場合		
4点	- 成米門工小吃(1	<sup>1</sup> │ □ 成果向上策あり □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
	***	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
	受益者負担(0~1)			
率		→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	<b>⊣ -2</b>	-3
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	J PX(1 0)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コフト当代 田田 4日 (4	√ □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取組(1~	1)		
		·		
平成	15~16年度	に 課題 改善		В
美 施	した改善内	容。		
- A2				
7 71	1女のスラルい(アフション			
TD +- 1	±77 ±10 1 −7 1 1 −7 ±19	RX		
現 仕	認識している課	超		
	関係者 市民,関係者の名	称		
からの				
要望	等思先,安主的			
	N 1			
	(1) 対応内	<sup>≚</sup>		
	` '	限 平成 年 月		
課題·要				
休起 女	マエザ しいよい	177		
	~~ ) <sub>/ 2 、</sub>   対応内			
	(2)	容		
/\ (J) ;	(2)			
( W )	対 応 実施期	容       限 平成     年     月		
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	対応 実施期 対応内	容       限 平成       年       月		
× 00 3	対応 実施期 対応内	容       限 平成     年     月		
, W	対応 実施期 対応内	容       限 平成     年     月       容		
	対応 実施期 対応内	容       限 平成     年     月       容		
その他	対応 実施期 対応内 実施期	容       限 平成     年     月       容		
その他	対 応 (2) 実施期 (3) 実施期 也考えられる	容 限 平成 年 月 容 限 平成 年 月	生 1次評価	2次評価
その他	対 応 (2) 実施期 (3) 実施期 也考えられる	容 限 平成 年 月 容 限 平成 年 月 今後の方向	_	2次評価
その他	対 応 (2) 実施期 (3) 実施期 也考えられる	容 限 平成 年 月 マ 平成 年 月 マ 今後の方向 t 拡 大・充 3	実	2次評価
その他	対 応 (2) 実施期 (3) 実施期 也考えられる	宮     月       図 平成     年     月       図 平成     年     月       本     今後の方向性       拡 大・充電現 状 維 ま	美	2次評価
その他改善の	対 応 (3) 実施期 (3) 世考えられる の ア イ デ ア	マ	<b>美</b> 诗	2次評価
その他改善の	対 応 (2) 実施期 (3) 実施期 也考えられる	マ マ	実 等 等	2次評価
その他改善の	対 応 (3) 実施期 (3) 世考えられる の ア イ デ ア	マ マ	<b>芝</b> 寺 <b>等</b>	2次評価
その他改善の	対 応 (3) 実施期 (3) 世考えられる の ア イ デ ア	マ マ	美 等 小 定	2次評価
その他改善の	対 応 (3) 実施期 (3) 世考えられる の ア イ デ ア	マ マ	美 等 小 定	2次評価
その他改善の	対 応 (3) 実施期 (3) 世考えられる の ア イ デ ア	マ マ	美 等 小 定	2次評価
その他改善(	対 応 (3) 実施期 (3) 世考えられる の ア イ デ ア	マ マ成 年 月 マ	美 等 小 定	2次評価
その他改善(	対 応 (2) 実施期 (3) 対応内 実施期 也考えられる の ア イ デ ア	マ マ成 年 月 マ	美 等 小 定	2次評価

	<del></del> :	- NK		T				Elam E
(内部	事務)	事業	コード	4420080			部長次	マ 長課 長
TT = 1	· /- #	<b>=</b>	<u> </u>	/\ \B\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	22.TB			
平成1	5 年度	<b>→</b>	業名	公園樹・街路樹維持・	官理			
1 事	業概	要(ドゥ)						
第3次	5屋市	まちづく	りの目標	4 快適でうるおい	のある都市づくり		3	建設部
総合			<del>,。,。</del> 中	4 個性と風格のあ				∑園緑地課
				· .	2日並の2月2			
政策		-	小	2 緑の保全と育成			所管課長氏名例	
体	系		細				記入者氏名	象原 雅雄
事	業	期	間	平成15年4月から平成	划16年3月 経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号0	797-38-2065 内線 2842
根 拠	法	今 , ;	要 綱 等		·	l .	実 施 主 体 7	
実	施			☑ 直営	□ 一部委託	☑ 全部委託		□ 負担金
	ne.		,_,					
委		託	兀	□ 外郭団体委託	名称		司安計 安 託 内 谷 2	<b>〉</b> 園樹、街路樹除草剪定
				公園樹、街路樹の除草	剪定			
事	業	の	概 要					
					F (			
				公園・道路の生活環境	見を良好に保つ			
事	業	の	現 状	公園数	126ヶ所 道路延	E長 25km		
				中低木の剪定及び除草	1~2回/年			
	日的	実現のため	oΩ	高木の剪定				
						1+3×+-a±1-#-		
	一样以	及び実施内	台	樹木の薬剤散布	桜2回/年、その他	は光土吋に取作		
				夏季の潅水作業	10回/年			
								<u></u>
			指標 名	維持管理面積				
アクテ	- ィブ			平成13年度(実績	) 平成14年度(実績)	平成15年度(宝績)	平成16年度(	目標) ▼成17年度(目標)
指	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1. 古里川沿岸	指標値	-	214,948㎡	259,547㎡	1 1-2 T X (	7 / 1.0x ( 113x )
扫	1示							
			単位コスト		655円/㎡	615円/㎡		
				伐採量 ( 焼却量 )				
アウト	プット	/+ m +> 1=	年 度	平成13年度(実績	) 平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
指	標	一类字沿栏	指標値		315,280t	371,050t		
34	177		単位コスト		700円 / t	700円 / t		
2 ==	7114 <u>-1</u> 5 1				700円7 に	700円7 L		
	<b>兼</b> 风:	果(アウ	`ガム)					
		対	免	公園及び道路を利用す	よる市民			
		X3	31	ム国及び追応を利用:	211156			
事業の	目的	対象力	バー 率	対象数(a) 25	9,547㎡ 受益数	牧 (b) 259,547	7 m  比  率  (b ÷	a) % 100%
対象・				7.3 - 2.4 (-)	- /	x (=) = = = / =	po 1 (5 )	2, 11
V.) 3/	~ A	l	lean.	> + 100 ~ 144 4r 1×14+++		•		
		意		連路の機能か維持です	きる。 公園利用者の増加			
		(対象を3	E語にして)					
大	き	な	目 的	美しい景観の保持、	住みやすい町になる			
, ,	_	<b>.</b>		200000000000000000000000000000000000000	E-1,1, 1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,			
		l	TF T# 52	+++ ++ /+ ++				
			指標名					
		中間			-ションの場として利用・			
		成果指標	年 度	平成13年度(実績)	) 平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) ▼成17年度(目標)
アウト	カム		指標値		124件	109件		
指	7. 点標			苦情処理率		1	1	I.
18	15	l			(1) 早知の白しが回むっ			
			0.110 10		がり、景観の向上が図れる	-	T-0	74.
		成果指標			平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(日	目標) 平成17年度(目標)
			指標値		100%	100%		
芦屋	<b>0</b>	特包	さなど	苦情・要望については	は、できる限り早く対応す	·る。		
, ,4	- 0)					- 3		
	71K <del>21</del>	ンイチナエフ	/\			A III MANUAL CO	454	1 = = 1 TI = 1
	主管:		<u>分(コスト</u>	) 	I = n		住民1人当り(円)	1,782 平成16.4.1 住民基本台帳
事			144 11		) 平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(-	が算)
1	業	費		平成 1 3 年度 ( 沃昇	/ 11-2 ( // <del>//</del> /			,
		費 件 費			11,096	14,919		-
			9.3%			14,919 144,795		-
内 ≕	業 人 事	件費業費	9.3% 90.7%		11,096	144,795		-
	業 人 事 化 部	件 費 業 費 3 門 経 費	9.3%		11,096	•		-
	業 人事 他部 減価	件 費業 費羽門経費	9.3% 90.7% 0.0%		11,096 129,898	144,795		-
	業 人 事 化 部	件 費業 費 任 費 任 任 費 任 任 任 任 任 任 任 任 任 任 任 任	9.3% 90.7% 0.0%		11,096	144,795		- - - 0
	業 人事 他部 減価	件 費業 費羽門経費	9.3% 90.7% 0.0%		11,096 129,898	144,795		-
(千円)	業 人事 他減 <b>合</b> 国	件 費業 費 好 経費 情	9.3% 90.7% 0.0% 100.0%		11,096 129,898	144,795		-
財源	業 人事他減合 国市	件 業 可 可 質 可 質 却 費 <b>計</b> 果 手 情 目 是 手 門 是 手 門 見 日 門 長 日 手 日 手 日 長 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	9.3% 90.7% 0.0% 100.0%		11,096 129,898	144,795		-
(千円)	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ	件 業 3門経費 (質却 計 ・ 債 の 他	9.3% 90.7% 0.0%		11,096 129,898 0 140,994	144,795 0 159,714		- - - 0
財源(千円)	業 人事他減 <b>合</b> 国市そー	件 業 3門経費 所 所 情 の 他 を 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	9.3% 90.7% 0.0% 100.0%		11,096 129,898 0 140,994 0 140,994	144,795 0 159,714		-
財別(千円)	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職	件     費       3 門 経費     計算       6 億 の     他       b 財 源     員	9.3% 90.7% 0.0% 100.0% 100.0% 79.1%		11,096 129,898 0 140,994	144,795 0 159,714		- - - 0
財別(千円)活配	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職嘱託	件 業 3門経費 所 所 情 の 他 を 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	9.3% 90.7% 0.0% 100.0% 100.0% 79.1%		11,096 129,898 0 140,994 0 140,994	144,795 0 159,714		- - - 0
財別(千円)	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職嘱託	件     費       3 門 経費     計算       6 億 の     他       b 財 源     員	9.3% 90.7% 0.0% 100.0% 100.0% 79.1% 20.9%		11,096 129,898 140,994 1.10 0.45	144,795 0 159,714 159,714 1.70		- - - 0

対象カバー率(1 ~ 1)		叫(アエック)		1			4=1== 4					
	評			_				ノスト			1次評価	2次評価
対												
放果の美術(2-1)	有	受益者(1~	1)							建		
4点	効	成果の実績(2	2 ~ 1)	1 1						えない	2	4
4点	性	世田白 トクナ	h/4 4\	成:	果があがっていな	い場合						
活動配分(1-1)	4点	- 成果内上东方	면(1~ 1)		成果向上策あり					特になし		
活動配分(1-1)				<b>V</b>	比較できる団体が	, がある	団体名 神戸市·西	雪市	□ 比較できる団体はない	١,		
一個団体より少ない   一個団体より少ない   一個団体と同程度   一個団体と同程度   一個団体との多い。または少ない場合の理由   一個性の体との影子を把握している   一世位コスト(1 - 1)   一世位は今の数字を把握している   一世位コスト(1 - 1)   一世位は今の数字を把握している   一世位コスト   一他団体よりコストが出い。   一世位コスト(1 - 1)   一個人、家庭、地域等が担うべき部分がある   一般団体よりコストが出い。   一個人、家庭、地域等が担うべき部分がある   一般団体よりコストが出い。   一個人、家庭、地域等が担うべき部分がある   一般団体よりコストが出い。   一個人、家庭、地域等が担うべき部分がある   一般団体よりコストが出い。   一個人、家庭、地域等が担うべき部分がある   一般団体よりコストが出い。   一般団体よりコストが出い。   一般団体よりコストが出い。   一般団体よりコストが出い。   一般団体よりコストが出い。   一般団体よりコストが出い。   一般団体よりコストが出い。   一般団体と関心を著の注意を含むした。   一般団体と関心を著の注意を含む。   一般は、悪い性の等で対点の形である   一般の体を表している   一般の体を表した。   一般の体を表した。   一般の体を表した。   一般の体を表した。   一般の体を表した。   一般の体を表した。   一个内容   一个内容   一个内容   一个内容   一个内容   一个内容   一个内容   一个内容   一个人会							5		☑ 把握していない			
タリ・または少な1場合の理由		活動配分(1~	1)				i		<b>'</b> —			
単位コスト(1 - 1)	効											
単位コスト(1-1)  □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 担握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体と同程度 □ 世界の □ 東京に低い場合の理由 □ 直営に圧規順合が執行または外別団体へ委託している業務について □ 行政機関による統行・競技が15 たてい ■ 個人 家庭・地域等が担うべき部分がある □ 既託・臨時職員等で対応可能である □ スト削減取配(1-1) □ コスト削減取配(1-1) □ カタ宮 □ 対応行っていない □ コスト削減取配(1-1) □ カタ宮 □ 対応行っていない □ オール 内容 □ 対応行っていない □ 大き 改善 内容 □ 対応の配の除草及び樹木(低木)の剪定 □ なぬ □ なぬ □ なぬ □ なぬ □ なぬ □ なぬ □ なぬ □ な							団体名 神戸市·ア	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□ 比較できる団体はなり	. 1		
単位コスト(1-1)												
単性		単位コスト(1・	~ 1)	1			i			1.1		
世 性 4点	率									<u> </u>	-2	-2
世生       子段(1 ~ 3)       一 行致職員による執行が義務づけられている       一 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある         一 民間(企業、NPO等)で対応可能である       一 関係、臨時職員等で対応可能である       一 関係、臨時職員等で対応可能である         一 文人・削減取取(1 - 1)       一 コスト削減の取り組みを行っている       一 特に行っていない         中 成 1 5 ~ 1 6 年度 下表 施 し た 改善 度 下名       日本 大 方本 度 下名         事権 した 改善 度 下名       日本 大 介容       日本 大 介容         現在 部 議 し て い る 課 題 住民参加による公園の管理       日本 大 介容 上 の 会  全  自  会  全  自  会  会  全  会  会  会  会  会  会  会  会  会  会								数について				
世 4点					•	•			克 地域筆が切らべき郊公。	がなる		
4点		手段(1~ 3)	)		11以戦員による#	タイ1」か我術 ノロ	とかい光数でもで		姓,地域寺が担がつる部の/	ュ 1,00.0		
□ コスト削減取組(1-1) □ □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 関題 樹木(低木)の剪定 □ 改善 内容 □ 関題 樹木(低木)の剪定 □ 改善 内容 □ 関題 樹木(低木)の剪定 □ 大き で 改善 皮 密 内容 □ 大き で 改善 □ 大き で 交 を で で で で で で で で で で で で で で で で で												
□ スト門原収銀印(1 つ 1 ) → 内容   改善	4点									)		
平成 1 5 ~ 1 6 年度 定実施 した 改善 内容         課題 樹木(低木)の剪定         改善 内容         中2 回を樹種によって1回に剪定回数を減らした 投合 評価         股 目           5 今後の対応(アクション)         現在 認識 している課題 住民参加による公園の管理         年2 回実施の除草及び樹木(低木)の剪定 住民参加による公園の管理         市民、関係者市民、関係者の名称 市民 助らの意見 意見 ,要望 內容 除草回数を増やしてほしい。         財政状況により辛抱してもらうように説得 実施期限 平成 年 月           (1) 対応内容 実施期限 平成 (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月         年 月         日           その他 考えられる 改善のアイデア 自治会等に公園の地元維持管理を要請する。         本 月		コスト削減取	組(1~ 1)			組みを行う(い	16	凶 特に行っ	(11/41)			
平成 1 5 ~ 1 6 年度 に容課題 樹木 (低木)の剪定 内容 内容				7	内谷		<del> </del>	<b>同类性结点</b> 1.	7.4 日に並中日料ナばこしま			
実施した改善内容     評価 D       5 今後の対応(アクション)     年2回実施の除草及び樹木(低木)の剪定       市民、関係者市民、関係者の名称市民     意見,要望内容       市民、関係者の名称市民     意見,要望内容       ※車回数を増やしてほしい。       (1)     対応内容       実施期限     平成     年月       その他考えられる       改善のアイデア     中成 中月       その他考えられる       で成 17~19年度の方向性     自治会等に公園の地元維持管理を要請する。       平成 17~19年度の方向性       中成 17~19年度の方向性       中成 17~19年度の方向性	平成	1 5 ~ 1 6	年度に	÷田 日石	烘土 ( /// 土 ) の	÷::-	改善 年2	凹を樹種によっ	(1回に男正回奴を減らした	総合	Ь	В
現 在 認 議 し て い る 課 題 住民参加による公園の管理  市民、関係者 市民、関係者の名称 市民  からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  対応内容 実施期限 平成 年 月  マの 対 応  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その 他 考えられる 改善の ア イ デ ア  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実 施	した改善	善 内 容	<b></b>	樹木(瓜木)の	界正				評価	D	В
現 在 認 議 し て い る 課 題 住民参加による公園の管理  市民、関係者 市民、関係者の名称 市民  からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  対応内容 実施期限 平成 年 月  マの 対 応  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その 他 考えられる 改善の ア イ デ ア  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- A 44	* 0 H F ( 7 /	<del>5</del> 5. – 5. )									
現 在 認 識 し て い る 課 題 住民参加による公園の管理  市民、関係者 市民、関係者の名称 市民 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 財政状況により辛抱してもらうように説得 実施期限 平成 年 月  (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その他考えられる 改善のアイデア  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 学修	复の対心(アク		<b>/</b> ~ ~ .		, W1+1-1- / /rf -1- \						
からの意見要望等     (1)     対応内容 財政状況により辛抱してもらうように説得 実施期限 平成 年 月       (2)     対応内容 実施期限 平成 年 月       (3)     対応内容 実施期限 平成 年 月       その他考えられる 改善のアイデア     年 月       中成17~19年度の方向性 自治会等に公園の地元維持管理を要請する。	現在談	忍識してい					) の男正					
からの意見要望等       意見,要望内容除草回数を増やしてほしい。         (1) 対応内容 財政状況により辛抱してもらうように説得 実施期限 平成 年 月         への対応 (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア         平成17~19年度の方向性 自治会等に公園の地元維持管理を要請する。         中成 17~19年度の方向性 (2次) (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	+0 88	1/5 本 十口 間/	5 <b>キ</b> の <i>む</i> む	+								
対応内容   対応内容   対応内容   実施期限   平成   年   月   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日												
実施期限 平成   年   月   対応内容   大・充実   現 状 維 持   方 法 改 善   民間 委託等   編 小 統合/終期設定   廃止 / 休 止	要望	<sup>息兒</sup> 意見,	要望内容	除草	回数を増やして	ましい。						
課題・要望等		(1)	対応内容	財政	状況により辛抱!	してもらうよう	うに説得					
(2) 対応内容 実施期限 平成 年 月       (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月       その他考えられる 改善のアイデア       今後の方向性 1次評価 2次 拡大・充実 自治会等に公園の地元維持管理を要請する。       平成17~19年度の方向性 日			実施期限	平成	年	月						
実施期限 平成     年     月       その他考えられる 改善のアイデア     今後の方向性 1次評価 2次 拡大・充実 自治会等に公園の地元維持管理を要請する。       平成17~19年度の方向性     自治会等に公園の地元維持管理を要請する。     原 出 状 維 持 方 法 改善民間委託等 縮 小 統合/終期設定 廃止/休止	課題·要		対応内容		·							
(3) 対応内容   実施期限 平成   年   月   月   子の他考えられる   改善のアイデア   今後の方向性 1次評価 2次   拡大・充実   現 状 維 持   方 法 改善   民間委託等   編 小   統合/終期設定   廃 止 / 休 止	への対		宇施期限	平成	年	月						
実施期限   平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	,			. /-~	ı	1 // 3						
その他考えられる       今後の方向性 1次評価 2次         次 善のアイデア       拡大・充実         国治会等に公園の地元維持管理を要請する。       現 状維持方法改善         民間委託等       縮         小統合/終期設定廃止/休止		(3)										
改善のアイデア       今後の方向性 1次評価 2次         拡大・充実       拡大・充実         現状維持方法改善       民間委託等         経験       (2次)         (2次)       (2次)			実施期限	平成	年	月						
改善のアイデア       今後の方向性 1次評価 2次         拡大・充実       現 状維持方法改善         日治会等に公園の地元維持管理を要請する。       民間委託等         経期設定廃止 / 休止												
中成17~19年度の方向性       1次評価 2次         本成17~19年度の方向性       一次評価 2次         市方法改善       日間委託等         経期設定       廃止/休止												
直治会等に公園の地元維持管理を要請する。	改善 0	カアイデア										
自治会等に公園の地元維持管理を要請する。     現 状 維 持 方 法 改 善       平成17~19年度の方向性     民間委託等       縮     小       統合/終期設定     廃 止 / 休 止												2次評価
方法改善         平成17~19年度の方向性         配         (本)												
平成17~19年度の方向性       民間委託等         縮       小         統合/終期設定       廃止/休止				自治	会等に公園の地方	元維持管理を要	要請する。					
縮     小       統合/終期設定       廃止/休止									方 法	改善		
統合/終期設定       廃止/休止	平成 1	7~19年度	の方向性						民間	委 託 等		
廃止/休止									縮	小		
									統合/約	冬期 設定		
2 次 評 価 委 員 会 コ メ ン ト 公園の管理について,地元協力の拡大を検討してください。									廃止	/ 休 止		
	2 次 評	值 委 員 会	コメント	公園	の管理について	, 地元協力の排	広大を検討してくださ	, I.,				

/ 由 郊	市 玖 \	中 米	コード	4420420			部	長次	長課
י נום ציין	<b>→</b> 175 )	尹未	<u> </u>	4420120			T qp	× //	1文 1林
平成1	5年度	事	業名	都市公園維持・管理					
1 車:	光阳	要(ドゥ)							
			コの日栖	4 快適でうるおいの	かある知古づくい			建設部	
総合			<u>りの日標</u> 中	4 個性と風格のある			—— 所 管 i	果 <b>全成品</b> 公園緑地	钽
政策			<u> </u>	2 緑の保全と育成	日型のハン間に		所管課長氏領		****
			<u>小</u> 細	2 級の休主と自成			記入者氏名		
事	系業	斯			年3月 経常臨時				
	法			都市公園法	午3月	☑ 経常 □ 臨時	宝話番号 寒 施 主 体		2065 内線 28
実	施	<u> </u>		1 直営			美 - № - 至 - № - № - № - № - № - № - № - №		負担金
委	旭	託		□	名称		民間委託 委 託 内 名		
<del></del>		пU	76	都市公園及び公共緑地			大间安乱 安 託 内 名		ii E
事	業	Ø	概 要		の他成の体土を囚る。				
<del></del>	未	U)	194. 女						
				初士の国ながの共体され	緑地の環境を良好に保つ				
					緑地の環境を良好に休り 2回/年 便所 3.[		(市に米)	r , sc	
事	業	Ø	現 状		2回/ヰ  使別 3. f点検を行い不良箇所の値		便所数 2 遊具数 2		
<del></del>	耒	()	况 1人					ココ埜	
		主田のたり	<b>.</b>	``	回転ジャングル、向い合せプ よ猫回中卵を輸出し			2 0 - 5=	
		実現のため ひび宝饰は		12%の人畑凹出別快宜	犬猫回虫卵を検出し	に沙塚の沙の八首を	天心 炒场数	ουグ析	
	于段	及び実施内	合						
			比 抽 々	維持管理面積					
アクラ	ティゴ			平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	亚成 1 5 年度 / 宝绿	責) 平成16年度	(日標)	平成17年度(目標
指	, 」 ク標	1.活動指標	指標値		433,132㎡	439,686m	-		十成17千皮(白18
10	ាភ		単位コスト		167円/㎡	204円/㎡	•		
				危険遊具の補修・撤去		2 0 1137 111			
アウト	プット			平成13年度(実績)		平成15年度(実績	漬) 平成16年度	(月標)	平成17年度(目標
指	標		指標値		11-201112	補修6基、撤去11	-	( – 1 )	120 - 120
311	120		単位コスト			IIII) O EX IIIX Z	-		
2 事:	業成!	 果(アウ			ļ.		<u> </u>		
			,	5 0 m/s// - 2/m -					
		対	家	各公園緑地の利用者					
事業の	D目的	対象力	バー率	対象数(a) 439	9,686㎡ 受益数	文 (b) 439,6	8 6 ㎡ 比率 (b	÷ a) %	100%
対象·	意 図			•					
		意	図	公園、緑地が清潔にな	る。 危険な遊具が	減る。			
		(対象をヨ	主語にして)						
大	き	な	目 的	公園に対する市民の満	足度が向上する。 遊具	を安心して利用でき	る。		
		ı	1						
				苦情・要望件数					
				安全に遊べ、事故を減		T-4 - 5-5 (-)	E.   = + 4 6 F =	/ El III \	
		成果指標			平成14年度(実績)		情) 平成16年度	(目標)	平成17年度(目標
アウト			指標値		170件	121件			
指	標			苦情・要望処理割合(		<b>エロナッナロ バザ</b> っ	7		
					ションの場として利用・			/ D +# \	亚武 1 7 左应 / 口口
		成果指標			平成14年度(実績)	· ·	賃) 平成16年度	(日標)	平成17年度(目標
			指標値		100%	100%			
<b>₩ =</b>	■ Λ	#± 4	5 +> Ľ	<b>本桂・亜胡についてけ</b>	できる四ハ日ノが広す	7			
芦屋	ė UJ	1寸 ⊏	5 4 C	古頂・女主に ノいては	、できる限り早く対応す	<b>ు</b>			
3 事				\		1世帯当り(円) 2,4	178 住民1人当り(円)	1 071	平成16.4.1 住民基本台
	<b>坐</b> 巷。	:壬旬和,	分(コフト	1		·			
			分(コスト   <sub>構成%</sub>		平成14年度(決算)				1版10年1 正民至平日
事	業費 業 人	費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算	算) 平成16年度		1,00.4.1 住民至平日
		費 件 費	構成% 17.5%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算) 6,300 66,074		平成 1 6 年度 83		TIX.10.4.1 EC. 244 E
事	業 人 事	費 件 費 業 費	構成% 17.5%	平成13年度(決算)	6,300	平成 1 5 年度 (決算 16,7	平成 1 6 年度 83		THE TENEST
事 内 部	業 人 事 化 部	費 件 費 業 費 3 門 経 費	構成% 17.5%	平成13年度(決算)	6,300	平成 1 5 年度 (決算 16,7	平成 1 6 年度 83		TOTAL CONTRACTOR
事 内 部	業 人 事 化 部	費 件 費 業 費	構成% 17.5% 82.5%	平成13年度(決算)	6,300	平成 1 5 年度 (決算 16,7	7) 平成 1 6 年度 83 13		100 IOH
事 内 部	業 人 事 他 部 減 個	費件 費業 費	構成% 17.5% 82.5%	平成13年度(決算)	6,300 66,074	平成 1 5 年度 ( 決算 16,7 79,2	7) 平成 1 6 年度 83 13	(予算) - - -	TIME TO SERV
事 内 (千円	業 人事 他前 () ()	費件 費業 費	構成% 17.5% 82.5% 100.0%	平成13年度(決算)	6,300 66,074	平成 1 5 年度 ( 決算 16,7 79,2	7) 平成 1 6 年度 83 13	(予算) - - -	100.10-11
事 内 (千円	業       人事       他減       自       東	件 費 件 費 子 費 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	構成% 17.5% 82.5% <b>100.0%</b>	平成13年度(決算)	6,300 66,074	平成 1 5 年度 ( 決算 16,7 79,2	7) 平成 1 6 年度 83 13	(予算) - - -	100.10-11
事	業 人事の (利) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	件 費費 業 費費 面償却費 計 県等	構成% 17.5% 82.5% 100.0%	平成13年度(決算)	6,300 66,074	平成 1 5 年度 ( 決算 16,7 79,2	章) 平成 1 6 年度 83 13 <b>96</b>	(予算) - - -	100.10-11
事 内( 財( 財( 活	<ul><li>業</li><li>人事の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の<td>費費 (件) 費費 (番) では、 (番) では、 (本) では、</td><td>構成% 17.5% 82.5% 100.0% 100.0% 68.9%</td><td>平成 1 3 年度 (決算) 0</td><td>6,300 66,074 <b>72,374</b></td><td>平成 1 5 年度 (決算 16,7 79,2 <b>95,9</b> <b>95,9</b></td><td>章) 平成 1 6 年度 83 13 <b>96</b></td><td>(予算) - - - 0</td><td>100.10-11</td></li></ul>	費費 (件) 費費 (番) では、 (番) では、 (本) では、	構成% 17.5% 82.5% 100.0% 100.0% 68.9%	平成 1 3 年度 (決算) 0	6,300 66,074 <b>72,374</b>	平成 1 5 年度 (決算 16,7 79,2 <b>95,9</b> <b>95,9</b>	章) 平成 1 6 年度 83 13 <b>96</b>	(予算) - - - 0	100.10-11
内(甲) 財(干円	業 人事他減 <b>合</b> 国市そー 関 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>費費</li><li>費費</li><li>費費</li><li>賃</li><li>計場</li><li>・</li><li>債の</li><li>他</li><li>財源</li></ul>	構成% 17.5% 82.5% 100.0% 100.0% 68.9%	0	72,374	平成 1 5 年度 (決算 16,7 79,2 <b>95,9</b> <b>95,9</b>	事) 平成 1 6 年度 83 13 96	(予算) - - - 0	100.000

	叫(アエック)		1								
評	価 視	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				評価チェック!	ノスト			1次評価	2次評価
	対象カバー国			対象カバー率は高		□ 他団体と同程度		□ 他団体よりカバー率			
有	受益者(1~	1)		事業意図と受益者				合,または受益が一部に阝	限定		
効	成果の実績(	2 ~ 1)	1 1	中間成果指標の実 図 実績値から成果		し,目標値を設定してい いると言える		たは目標値が未記入 ら成果があがっていると言;	えない	4	4
性	- 成果向上余均	₩/4 . 4\	成	果があがっていない	場合						
4点	- 成果内工乐	·唑(1~ 1)		成果向上策あり					特になし		
			<b>V</b>	比較できる団体があ	5 <b>5</b>	団体名神戸市·西	西宮市	□ 比較できる団体はな	l I		
	<b>トイチ上下</b> フ ハ / 4	4		他団体の数字を把	握している	活動配分		☑ 把握していない			
	活動配分(1~	~ 1)	<b>▶</b>	□ 他団体より少れ	ない	□ 他団体と同程度		□ 他団体より多い			
効			多以	い,または少ない場	合の理由						
			<b>V</b>	比較できる団体があ	5 <b>3</b>	団体名		□ 比較できる団体はな	l I		
	¥ /	4)		他団体の数字を把	握している	単位コスト		☑ 把握していない			
	単位コスト(1	~ 1)	<b>-</b>	□ 他団体よりコス	ストが低い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	۱J	4	_
率			高い	い,または低い場合	の理由					- 1	-5
				•			務について				
			Ιп	行政職員による執行	・ 〒が義務づけ	けられている	□ 個人.家園	莛,地域等が担うべき部分;	がある		
性	手段(1~ 3	)		民間(企業, NPO等	)では対応で	きない業務である	☑ 民間(企業	€, NPO等)で対応可能であ	న		
4点			$\Box$	嘱託 臨時職員等	では対応でき	ない業務である	▽ 嘱託. 臨	<b>  時職員等で対応可能である</b>	5		
7,			П	コスト削減の取り組			<ul><li>☑ 特に行っ</li></ul>				
	コスト削減取	組(1~ 1)		内容	-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -						
平成	15~16 した改き	年度に	課題	İ		改善 内容			総合評価	В	В
夫 虺	U IE EX	普 內 谷		İ		内谷			a₩1Щ		
5 今後	<u></u> 後の対応(ア	クション)									
	2-17/3/6 (7	, , ,,									
現在意	忍識してい	1る 課 題	週3[	回の便所清掃では欠	少ない。						
市民,関	係者 市民,関	係者の名称	市民								
要 望	等意見,	安望内谷	清掃	回数を増やしてほ	しい。 (伊戸	小、砂場か汚い)					
	(1)	対応内容	財政	状況により辛抱し <sup>-</sup>	てもらうよう	うに説得					
		実施期限	平成	年	月						
課題·要		対応内容	自治	会等に公園の地元編	維持管理を要	<del></del> 要請する。					
へのす	(2)	実施期限	ਜ਼ਾਦ	左							
/\ () \	(1) /(1)	夫他别收	平成	年	月						
	(3)	対応内容	<u>.</u>								
		実施期限			月						
			公園(	の市民参加による	維持管理						
	考えられる										
改善の	カアイデア										
								今後 の	方向性	1次評価	2次評価
								拡 大	・充実		
								現状	維持		
								方 法	改善		
平成 1	7~19年度	の方向性						民間	委 託 等		
								縮	小		
								統合/約	终期設定		
								廃 止	/ 休 止		
2 次 評	值 委 員 会	コメント	指定管	管理者制度導入の	検討をして・	ください。					

(投	資	事業)	事業		ド 4420	0130				部 長	次	長課	長
平月	成 1 !	年度	事	業	名芦屋	<b>置市総合公園整備事</b>	業						
									J				
			要(ドゥ		+== 4	加密できてもいる	オフ和士づくい				<del>2+1</del> ÷ Λ ÷ π		
		9座巾 計画		<u>中</u>	_	快適でうるおいの 個性と風格のある				所 管 課	建設部公園緑地	1課	
		施策		<u></u> 小		緑の保全と育成	, 国业() () 周之			所管課長氏名			
体		系		細						記入者氏名	若原 優	嗣	
事		業				t11年10月~平成	16年3月 投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電話番号			2842
	拠	法	令 '		等					実施主体			
実 委		施	託		法 □ 先 □		□ 一部委託 名称 環境事業団	☑ 全部委託		□ 補助金 I委託 委 託 内 容		負担金	
女			пU			外郭団体委託 (面積 約10へク	石称   <sup>坂児事業四</sup> タール、総事業費 18,	526.957千円、					95m2
事		業	Ø	概			,597本、低木 21,331本						
							環境の改善を図るため、				フークづ	くりを推進する	とともに
畫		र्गर	Φ.	TB.			広域避難地(市内2箇月 供用開始(約8ヘクタ-		<b>i</b> 災拠点整	備を行う。			
事		業	Ø	現	八十四	(13年4月 一部	共用  知知(約0 ベンター	- <i>IV</i> )					
		目的	実現のた	:めの									
			及び実施										
				- III		公面積、供用面積	+ - /*//						
							市民が供用できる面積平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度(	日梅~	平成17年度	(日輝)
7 -	<b>カト</b>	プット	(1)	指標	_	X 1 3 牛皮(天麒)	十八十十尺(天旗)	80%		100%	、日信・ノ	十八八十尺	(日信)
指	,	, , · 標	<u> </u>	指標	_			0 0 70	<u>'</u>	10070			
			結果指	標考え方・	_								
			(2)			【13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	[目標]	平成17年度	(目標)
		-112 -12		指標	値								
2	事	業成:	果(アワ 	<u> ナカム)</u>									
			対		象 象 JR	以南地域の住民	スポーツ愛好家他全般的	かな市民					
事業	業の	目的				7(13 B 7/14 E E		5 6 1   20					
対:	象·	意 図			<b>₩</b>	2011年会に2011年	きる。 陸上競技場、サ	t =#\	ビー竿の-	7 ポーツの利用ト	ン約7ドレ <i>H</i>	- 物の知窓の坦:	た球化す
			意		비る。	時に女主に避無し	さる。 隆上脱技場、リ	ッカー、フグロ	ヒー寺の人	スポークの利用と	近いこま	:初の観余の場合	生曜 休り
			(対象を	を主語にして	.)								
大		ਣੇ	な	目	的健康	な市民の増加. 都	市に関する安心感の増加	□ 都市環境の	向上				
		_	•	П	13 122	COMPONENT AND		HI HIS IS SEC. 20 02					
						指標名	指標値			考え方・	式		
				間 (1)		利用者数	回数	有料施設である	る陸上競技	支場の年間利用回	数		
		力厶		13E		137.3 E.A.		13118082 402		~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~			
		指《院 完了)	成果指	(2)		稼働率							
( -	***	, C J )											
			最 終	成果指	標	緑化面積率	6.87m2/人	1人当たりの公	〉園面積	市内公園面積/	市内行政	人口	
芦	屋市	の特1	色など補	#足する事	項 緑化	ど率、樹林地率が高	い大気汚染対策緑地事業	美の手法で整備	i. No	×の軽減化を図れ	1る公園	である。	
3	車:	<b>坐弗</b>	、:千舌九冊	記分(コス	<b>L</b> )			平成16.4.1住民	!其木公框	1世帯当り(円)	102 245	住民1人当り(円	) 44,635
事	<del>*</del>	<del>末貝</del> 業		<u>じカ(コス</u> 費 構成%		成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成10.4.1任氏		歳出累計額()		事業費総額(決	
<b>J</b> .		人		費 4.	_	~ · · · / ~ ( // ( // // )	124 1 12 (201)	1777 - 172	7,692	WALLSON IN CO.	-	3-SICSCIIIO HA (17-C	-
		事		費 95.	2%	1,268,650	42,850		151,627	4,	000,426	14	,038,225
内			『門経								-		-
( <del>T</del>	円)		質 却		004	4 000 050	40.050		450.040	4	-		-
		国		<b>計</b> 100. 県	U%	1,268,650	42,850		159,319	4,	000,426	14	,038,225
財	涯	市		等									
	<i>[[</i> ]			他									
				源 100.	0%	1,268,650	42,850		159,319	4,	000,426	14	,038,225
活		職		員 85.	2%			_	0.75				
配	分	_	:·臨時				2.55		0.13				
( .	人	合		<b>計</b> 100.	U%	0.00	0.00		0.88				

		ェック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	目	的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることがで	きない		
妥		-32		☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高くない			
				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業で			
当	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, またi		4	4
					未把握	_	_
	<b></b>	会環境変化	<b>化(1~ 1)</b>	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直し	が必要		
性			` ′	内容			
6点	優:	先性,緊急	性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	受:	益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部	限定		
有	<b>治</b>	<b>捗状況(2~</b>	~ 1\	☑ 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		_	_
効	,	194/////(2	'/	▶ ☑ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている		1	3
性	- 注:	<b>⊭</b> 办	也(1~ 1)	計画から遅れが出ている場合			
4点	- Æ	沙以吉示,	·B(1 · 1)	□ 改善策あり □	特になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体は	<b>311</b>		
	٦-	スト(1~ 1	1\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	٦,	<b>\</b>  (	1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	高い		
				高い,または低い場合の理由			
率				直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		0	0
<del>'1"</del>	<b>=</b>	段(1~ 3	١	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分	∱がある	U	U
	<del></del>	FX(1 - 3	)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能で	ある		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能であ	i3		
3点		スト削減取	炤(1 ~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	٦,	ヘ 「 円 J / P以 4X .	組(1~ 1)	▶ 内容 事業費縮減(当初25373百万、最終18527百万)			
TT = + /		4 6	<i>F</i>	広報紙に掲載する。	<i>w</i> . ^		
平	1 5	~ 1 b t- 水 章	年度に 善内容	課題 内容	総合評価	В	В
~ <i>n</i> E	Ū	/C	<b>=</b> ,,	親子サッカー教室を行った。	н і іщ		
5 今後	色の対	付応(アク	クション)				
現在談	忍 識	してい	る 課 題	平日は利用者の少ない日がある。 交通の便が悪い。			
		市民,関係	系者の名称				
からの		音貝	要望内容				
要望	等	NE 70 , 3	X = 13 H				
			対応内容				
		(1)	×1,40.1.1 □				
			実施期限	平成 年 月			
課題·要	望等		対応内容				
		(2)					
へのタ	寸応		実施期限	平成 年 月			
			対応内容				
		(3)	×1,40.1.1 □				
			実施期限	平成 年 月			
		<b>i</b> られる					
改善の	) ア	イデア					
				今後	の方向性	1次評価	2次評価
					· 充 実		
				整備事業は平成15年度で完了しているが、建設譲渡事業の割賦金を支払うもの。 現 オ			
					改善		
平成1	7 ~	19年度	の方向性	民間	委 託 等		
				縮	小		
				統合/	終期設定		
				廃 止	/ 休 止		
					<del></del>		
2 次 評	価	委員 会	コメント	平日利用拡大のための啓発の検討をしてください。			

(一般	事	業)	事業	コ	<b>-</b> ド	44201	160						部	長次	長	課	長
平成1	151	王度	車	業	名	まち	なみ緑化助	加工工	関係業務								
1 /2%		T 152	7	*	Н	ω ).	\$ 07 mm   UD).	<b>ルルチ</b> 木	*110/**177			1					
	- 511		<b>T</b> (   4 )														
			更(ドゥ)				L->=		+ = += + -×				T	7+40+0			
		-	まちつ	-	の目標				ある都市づ				所 管	建設部	. <del></del>		
総合		L		中					街並みの創	造			5. 经细 E f	公園緑地			
政策	加			小 "m		2	緑の保全と	と育成					所管課長氏				
事		系業		細_	BB	ਜ਼-+	1 1 T			/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	[]	l π <b>⊏</b> n+	記入者氏			- //	00.45
	ın			朝			11年~	+ <i>+</i> -	: / 17 夕 <i>[</i> ]	経常臨時		] 臨時 5.44番/9		号 (*) 主		内線	2845
根数	L	施	-	要 手	綱 等 法			いまりっ			み緑化助成金3 ② 全部委託		実施主		台中会		
委		旭	託	<del></del>	先		型品 外郭団体3	<del>π</del> ≐τ		<del>6</del> 元 ) 芦屋市都市			□ 補助金		負担金		
女			по		76		77子1121平3	女官し			正備公江		安乱  安乱  7	台			
事	当	¥	Ø	概	亜	   = 5;	なみ景観の	)向上を[	図ス								
<del></del>	7	<b>K</b>	0)	1476	¥	δ 5,	より元成の	기의 그 전1	⊴ •ು								
事	当	Ě	Ø	現	状	地域(	の住民等が	「主体と	なって行う約	緑化に必要な	経費を助成す	る。					
	-		・・ 『現のた						0. 2 (13 2 "			- 0					
			び実施														
			,,,,,,,														
				指	標名	助成	対象件数										
			結果指標	_			13年度(	(実績)	平成14年	F度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指	標値		56件		6	6件	8件						
アウト	トプ	ット		単位	位コスト												
指		標		指	標名												
			結果指標	票年	度	平成	13年度(	(実績)	平成14年	F度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	[(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指	標値												
				単位	位コスト												
2 事	業	成员	艮(アウ	トカ	<u>ム</u> )												
			対		象	指定:	を受けた地	区の緑色	化工事を行う	う住民等							
								J	017	<u> </u>			1				
		-	対象ス	カバ	( – 率	対象	è数 (a)			受 益 数	(b)		比 率 (b	÷ a) %			
対象	・ 危		**			45.00	指定地区のまちなみの景観の向上を図り ,美しく住みよい芦屋を実ヨ						<b>_</b> -				
			意	<b>-</b>		指正	地区のまち	なみの	京観の回上で	を凶リ,美し	く任みよい戸	厔を実現	9 රි.				
			(対象を	土語	にして)												
大	큳	F	な	目	ዕኅ	緑の	ロタレ 育は	たっためん	の助成制度を	た垪准するこ	とに上げ 姓	ウホス白#	子な市街地景観	の向上を図	12		
^	•	2	<i>'</i> &	Ħ	נם	が氷りノ	休土と自の	(0)/20)(	70以以中11支7	在 注 座 み の C	こにより、秋	けのの区)	いる川均地泉飲	の向工を区	າວ.		
				坦	標名												
			中間成界														
				票年		平成	13年度(	(実績)	平成 1 4 年	E度(実績)	平成15年度	( 実績 )	平成16年度	(日標)	平成 1	7年度(	月標)
アウ	<b>ト</b>		JH 1/		標値	1 7-20	1,2 (	( ) ( ) ( )	1 7-70	( ) ( )	122	( ) ( ) ( )	1720 : 5 172	. ( – ۱ )	1 7-70		- 1 /
指	. ,	標			標名	市内	緑被率		<u> </u>		I		<u> </u>		1		
			最終成男					が広が	〕, 景観の[	向上が図れる							
				票年							平成15年度	(実績)	平成 1 6 年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			·	_	標値		不明			下明	不明						
芦屋市	市の	特包	となど補	足す	る事項												
	業	費.	活動配			)					1世帯当り(円)		住民1人当り(円	) 56	平成16.4	1.1 住民基	本台帳
事		業	Į.		構成%	平成	13年度(	(決算)	平成14年	F度(決算)	平成15年度		平成16年度	(予算)			
	-	人	件	_	28.5%							1,422		-			
		事	業		71.5%			18,955		23,040		3,568					
	-		門経費											-			
(千円			償却費					10.5==				4		-			
	_	<u>合</u>	İ	_	100.0%			18,955		23,040		4,990		0			
D-4	-	国	·												-		
	源		債 領												-		
(千円	1)		の ft		400.00			10 OFF		22.040		4 000			1		
<b>:</b>	動 <sup>i</sup>		<b>分財法</b>		100.0%			18,955		23,040		4,990		0	1		
	-			_										_	-		
	_		·臨時等	_				0.00		0.00		0.00		0.00	1		
(人				4.1				0.00		0.00		0.00		0.00			

評	<u>m (フェクノ)</u>   価 視 点	評価チェックリスト	1次部/画	2次評価
ПT	IЩ 176 г.		「八計画	2次計画
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	_	
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない	_	_
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	ີ 5	5
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		☑ 数字で把握している 助成件数 □ 未把握		
8点	なる では かん かん かん かん かん できない かん できない かん できない かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変化(1~1)	内容 良好な景観保持と地域温暖化防止対策		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	·	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ☑ 実績値または目標値が未記入	┪╻	_
効	成果の実績(2~ 1)	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	1	0
性		成甲があがっていたい提合	-	
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
7///		□ 比較できる団体がある 団体名: 阪神間各市 □ 比較できる団体はない	+	
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
7/3				
		高い、または低い場合の理由	_	
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	` ,	□ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	<b>⊣</b> -1	-2
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	_
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3 12(. 0)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		/ <b>→</b> 内容		
₩ 🖶	4 C C E E I	- JA #		
宇施	15~16年度にした改善内容	改善	⊟B	D
× 110				
5 今往	後の対応(アクション <u>)</u>			
現在意	認 識 し て い る 課 題	<b>風</b> まちなみ緑化助成事業にかわる助成制度の必要性		
市民,関	関係者 市民,関係者の名称	B		
からの	意見意見,要望內容	2		
要望	!  等 思兄,安望内名	<del>i</del>		
	(1) 対応内容			
	実施期限	年 月		
課題·要	草草等			
W/1 N/2 34	(2) 対応内容			
へのす		平成 年 月		
. 0,	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人		<del></del>	
	(3) 対応内容			
	, , ,			
	実施期限	平成         年		
マカル	し考えられる			
以善(	の ア イ デ ア	\( \lambda \tau \cdot \tau \)	LUL L + T / T	0.15 AT /T
			性 1次評価	2次評価
		拡大・充		
		拡 大 · 充 現 状 維	持	
<b>—</b> . "		<u>拡大·充</u> 現 状 維 方 法 改	持善	
平成 1	7 ~ 1 9 年度の方向性	拡 大 · 充 現 状 維 方 法 改 車平成17年度以降制度廃止となるので、生垣等設置助成事業をまとめ 民 間 委 託	持 善 等	
平成 1	7~19年度の方向性	拡大・充現 状維 方法 改       世平成17年度以降制度廃止となるので、生垣等設置助成事業をまとめ     民間委託       助成額の減額を行う。     縮	持 善 等 小	
平成 1	7~19年度の方向性	拡 大 · 充現 状 維 方 法 改 性 平成 1 7 年度以降制度廃止となるので、生垣等設置助成事業をまとめ 民 間 委 託 助成額の減額を行う。 縮 統合 / 終期設	持 善 等 小 定	
平成 1	7~19年度の方向性	拡大・充現 状維 方法 改       世平成17年度以降制度廃止となるので、生垣等設置助成事業をまとめ     民間委託       助成額の減額を行う。     縮	持 善 等 小 定	
		拡大・充現 状 維 方 法 改 世 平成17年度以降制度廃止となるので、生垣等設置助成事業をまとめ 日 間 委 託 助成額の減額を行う。   縮 統合/終期設 廃 止 / 休	持 善 等 小 定	
		拡 大 · 充現 状 維 方 法 改 性 平成 1 7 年度以降制度廃止となるので、生垣等設置助成事業をまとめ 民 間 委 託 助成額の減額を行う。 縮 統合 / 終期設	持 善 等 小 定	

			ı							_		•			
( —	般引	[業]	事業	<u> </u>	4420	270					部	長次	長	課	長
平点	<b>1</b> .15	年度	事	業 名	住民	緑化団体育成事業									
, ,		' ^		<i>7</i> 15	1220	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
	<u></u> .	U4 107	<del></del> (18 )												
			要(ドゥ)		-1 .	14.**	+ = # + - · / ·	10			T	7±+0 ±0			
				くりの目標	_	快適でうるおいの		עי			所 管	建設部課	.÷m		
		計画		中		個性と風格のある	街亚みの創造					公園緑地			
	來 /	施 策		小 ‴	2	緑の保全と育成					所管課長氏				
事		系業		期 間	귟란	<u> </u> 3年~		47 # FE T		7 c5n±	記入者氏電話番	号 0797-38		<b>中</b> /自	00.45
_	+60					3 年 ~ 市住民緑化団体育/		経常臨時		」臨時			-2005	内線	2845
実	拠	<u>/太_</u> 施	令 ·							<u>-</u>	実施主		名中心		
委		ル	託	先 先			□ 一部委託     名称  (財)   円		<ul><li>✓ 全部委託</li></ul>		□ 補助金 団委託 委 託 内		負担金		
¥			n u	7.	, 🖸	<b>介</b> 郭凹	古柳(カナ	·(포기) 테기	正備厶江		女心 安 元 八	日台			
事		業	Ø	概 要	緑化	活動団体の活動支	字								
7		*	0)	1144 32	. MAIL	/山新四件()/山新文:	· ×								
					-										
事		業	Ø	現 状	<u>.</u>										
-			実現のたの			で緑化活動をして	ハる団体に助成	1全を交付	tする.						
			及び実施				, одинеда,	ж <u>ш</u> С Д ( )	, , ,						
		^.													
				指標 名	申請	団体数									
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年原	度(実績)	平成 1 6 年	度(目標)	平成 1	7年度(目	]標)
			(1)	指標 値	Į.	4 2 団体	46団	体	5 2 🛭	団体					
アウ	)ト.	プット		単位コスト											
指		標	į	指標 名	i				•		•				
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年原	度(実績)	平成16年	度(目標)	平成 1	7年度(目	目標)
			(2)	指標 値											
				単位コスト											
2	事	業成:	果(アウ	トカム)											
			対	象	市内	で緑化活動をして	ハる団体								
													ı		
				カバー率	対	R 数 (a)		受 益 数	(b)		比率	(b ÷ a) %			
对 3	<b></b> 7	意 図				マタルバチ・ナーマ	<b>、2回仕に払</b> し	ンエチレク	·++∞+√-, \/-	ルま光の	<b>☆☆</b> ★  ~				
			意 /対象を		시마니	で緑化活動をして	ハる団体に対し	ノ,沽虯0.	)文抜を仃い額	就化事業の	<b>育</b> 放を図る。				
			(刈家を	主語にして)											
大		き	な	日飲	緑の	保全と育成のため	の助成制度を増	#谁するこ	とにより 食	好か市街	 	を図る			
^		C	<i>'</i> &	Д μ	が来り	体主と自成のため	70川水町反で1	主座すると	- C IC & 7 , IS	יו בן יווי אי נא	也呆眠切门工	പേരം			
				北 煙 <b>夕</b>	绿化	助成申請数									
			中間成り			の緑化活動の活性	化								
					_	13年度(実績)		(実績)	平成 1 5 年度	ま(実績)	平成 1 6 年	度(目標)	平成 1	7年度(目	目標)
アワ	ל ל	カム		指標値	_	4 2 団体	46団		5 2 5		5 8		1 1-20	1,2(1	1 130 7
指		7. 一標	<b>-</b>	指標名	_						1		1		
					_	緑化レベルの向上									
						13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年度	度(実績)	平成 1 6 年	度(目標)	平成 1	7年度(目	目標)
				指標 値	Į.	不明	不明		不明	月					
芦厚	₹市(	の特1	色など補	足する事項	į										
	事	業費	・活動配	3分(コスト	)				1世帯当り(円)	) 116	住民1人当り(	円) 50	平成16.4	1.1 住民基	本台帳
事		業		遺 構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度		平成 1 5 年原		平成 1 6 年	度(予算)			
		人	件		Ó			1,773		2,155		-			
		事	業		Ó	1,947		2,094	ļ	2,354		2,500			
内ィ			17門経費									-			
(+	円)		<b>□ 償 却 聲</b>	_		4 047		0.007		4 500					
		合田田	. 1	_	0	1,947		3,867		4,509		2,500			
財	治	国市	債等												
(千			の作	_											
( T	17)		般財源	_		1,947		3,867		4,509		2,500			
活	重h	職		_	_	1,047		0.15		0.20					
配					_			0.05	<u> </u>	0.10		_			
( /		合	<u> </u>			0.00		0.20		0.30		0.00			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1次部/高	2次評価
рТ			「八計画	4.八計画
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	, ,	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	_	ĺ
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		☑ いずれにも該当しない		İ
当		☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>□</b> 5	5
_	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	"	
性	1020- 7(2 1)	☑ 数字で把握している 助成団体数 □ 未把握		
		□ 数子でもほどでいる □ が成日件数 □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	-	
8点	社会環境変化(1~1)	,		
	F 4- 11 - F7 5- 11 / 12	内容	_	
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	3
X/J	八未の夫領(2~ 1)	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	1	3
性	D = 7 1 A 11	成里があがっていたい提合		
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名: 阪神間各市 □ 比較できる団体はない	_	
効	単位コスト(1~ 1)			
X/J		,		1
		高い、または低い場合の理由	_	1
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	<u>∠шц</u> ҳ;=(° ')	□ → □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	<b>⊣</b> 0	-3
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	0	-3
	I = 57.(4 0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点		□ コスト的ボの取り組みを行っている □ 性に行っていない	-	
OM	コスト削減取組(1~1)	→ 内容		
		アの台	_	-
平 成	15~16年度にした改善内容	改善 改善	В	В
実施	した改善内容	内容		ט
「	 复の対応(アクション)			<u> </u>
7 71	タリスリルい(アフフョン)	_		
п <del>/</del> ≐	認 識 し て い る 課 題			
坑 红 亩	が 郎 ひ しい る 試 歴			
<del>-</del>				
巾氏, 度	関係者 市民,関係者の名称			
からの	意見意見,要望内容			
要望	等			
	社内中容			
	(1) 対応内容			
課題·要	` '			
	実施期限	平成 年 月		
	実施期限	平成 年 月		
^ O *	実施期限 実施期限 対応内容	平成    年    月		
へのす	実施期限 実施期限 対応内容	平成    年    月		
へ の タ	実施期限 対応内容 対応 対応内容 対応内容	平成     年     月       平成     年     月		
へ の ゔ	実施期限       対応内容       対応内容       実施期限       対応内容	平成     年     月       平成     年     月		
へ の ゔ	実施期限 対応内容 対応 対応内容 対応内容	平成     年     月       平成     年     月		
へ の ゔ	実施期限       対応内容       対応内容       実施期限       対応内容	平成     年     月       平成     年     月		
	実施期限       対応内容       対応内容       実施期限       対応内容	平成     年     月       平成     年     月		
その他	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月		
その他	実施期限 対応内容 対応 対応 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月	生 1次評価	2次評価
その他	実施期限 対応内容 対応 対応 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       今後の方向		2次評価
その他	実施期限 対応内容 対応 対応 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       本成     本     大・充	実	2次評価
その他	実施期限 対応内容 対応 対応 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       本成     年     月       本域     大・充・現・状・維・	持	2次評価
その他改善の	実施期限 対応内容 対応 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       本成     年     月       本成     大・充・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・元・	<b>美</b> 持	2次評価
その他改善の	実施期限 対応内容 対応 対応 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       京成     大・充・現・状・維・方・法・改・民間委託・	持善等	2次評価
その他改善の	実施期限 対応内容 対応 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       京後の方向     拡大・充・現・状・維・方・法・改・民間委託・縮・	実 持 善 等	2次評価
その他改善の	実施期限 対応内容 対応 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       一次     本     方       本     元     元       現     状     維       方     法     改       民間     長     銀       統合/終期設	実 持 等 小 定	2次評価
その他改善の	実施期限 対応内容 対応 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       京後の方向     拡大・充・現・状・維・方・法・改・民間委託・縮・	実 持 等 小 定	2次評価
その他改善の	実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3 考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       小後の方向     拡大・充・現状維・方法改良       現状維     方法改良       民間委託・縮     統合/終期設廃止/休	実 持 等 小 定	2次評価
その他改善の	実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 3 考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       一次     本     方       本     元     元       現     状     維       方     法     改       民間     長     銀       統合/終期設	実 持 等 小 定	2次評価

(一般	<b>重</b> 業)	事業	<b>□</b> - ド	4420	280			T	部長	次	長詞	<b>里</b>	長
,	,		<u> </u>					1			ΙΧ Ι	<i>I</i> /K	K
平成15	年度	争	業名	生け	垣等設置助成事業								
1 車	朱 和 5	要(ドゥ)								<u> </u>			
			りの目標	4	快適でうるおいの	 ある都市づくり				建設部			
総合			<del>中</del>		個性と風格のある				所 管 課	公園緑地	1課		
政策	施策	,	小	2	緑の保全と育成				所管課長氏名	伊丹 幸	夫		
体	系		細				_		記入者氏名				
事	業	期			2年~	経常臨	時 ☑ 経常 □	臨時		0797-38-	-2065	内線	2845
根 拠	<u>法</u> 施	令 · 引 手			市生け垣等設置助/ 直営	业金父付要綱 □ 一部委託	☑ 全部委託	Ľ	<ul><li>実 施 主 体</li><li>□ 補助金</li></ul>		負担金		
委	ルビ	<del></del> 託	先			名称 (財) 芦屋市都			□ 開助並   委託 委 託 内 容		貝担並		
					713FHITTS III	H19 ( 119 ) 1 1 1 1 1 1			2 HO   S HO   7 L				
事	業	の	概 要	緑の	保全とまちなみの	景観の向上を図る。							
<b>=</b>	गार	•	dl. ==	/ED 1	<b>。</b> 日任日任中郡地	+~ <u>+</u> -~+=~+	7.担人に収まる	÷r ← n+ .	* - 7				
事	業	の 実現のため		個人	の居住用住宅敷地	内で生け垣等を設置す	る場合に経貨の	一部を助	<b>以する。</b>				
		€呪いため 及び実施内											
	J FXA												
			指標名										
		結果指標		平成		平成14年度(実績			平成16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
		(1)	指標値		1 7件	19件	1 0 f	牛					
アウト: +ヒ			単位コスト										
指	標	結果指標	指標名	亚成	13年度(宝績)	平成14年度(実績	) 平成15年度	(宝績)	平成16年度	(日煙)	平成 1 7	7 年度(1	日煙)
			指標値	1 1-20		112 112 ( )	) 1132 1 3 1 132		1120 1 0 1 120		1 12% 1 7	1/2 (1	H 1M /
			単位コスト										
2 事	業成	果(アウト	カム)								J.		
		対	象	住宅	の新築および居住	している住宅敷地内で	生け垣等を設置	する工事:	を行う市民				
<b>=</b> * ~	_ **									\ 0/	1		
事業の対象・		刘 家 刀	バー 率			受 益	` '		比 率 (b				
X) SK		意	図	生け	垣等を設置する工	事を行う市民に助成す	ることにより ,	まちなみの	の景観の向上が図	図られ,美	しく住み	よい芦屋	を実
			ー E語にして)	<b>垷</b> 9	<b>ర</b> ం								
		•											
大	き	な	目 的	緑の	保全と育成のための	の助成制度を推進する	ことにより , 秩	序ある良	好な市街地景観 <i>の</i>	)向上を図	る。		
			II- I= -	4-1-	L= ^/-1								
					垣等設置件数 らしい景観を保つ								
						平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度	( 実績 )	平成16年度	(日標)	平成 1 7	7年度()	目標)
アウト			指標値		17件	19件	1 0 f		11201012	(	1 7-20 . 7	12(	H 1M /
指	標		指標名		緑被率	I.			1				
		最終成果			の向上が図れる								
						平成14年度(実績			平成16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
			指標値		不明	不明	不明	1					
古层市	の生ん	るかど猫5	足する事項										
广连巾	V) 113 C	5 & C III A	C 7 0 开块										
3 事	業費·	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	87	住民1人当り(円)	38	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事	業	費			13年度(決算)	平成14年度(決算	) 平成15年度	(決算)	平成16年度	(予算)			
	人	件費						966		-			
	事	業費	71.3%		4,389	4,45	5	2,398		3,800	]		
		門 経費								-	-		
( F F3 )	合	計	100.0%		4,389	4,45	5	3,364		3,800	1		
	国	· 県			1,000	1,70		2,30 1		2,300	†		
財 源	市	債 等									]		
(千円)		の他									]		
·		段 財源	100.0%		4,389	4,45	5	3,364		3,800	1		
	職に	員・晩時祭								•	-		
	鳴乱	·臨時等 <b>計</b>			0.00	0.0	0	0.00		0.00			

評	<u> </u>	点が一点がある。	1 / / □ / 西	2次評価
計	1脚 伐 T		八八評1四	2次評1四
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	H + 3 × 3 1± (= -)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	, ,,,	☑ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	4
=	+ */0 4)		5	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		☑ 数字で把握している 助成件数 □ 未把握		
8点	社会環境変化(1~	□ 主業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	1124090210(1	クター 内容 良好な景観保持		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~	) □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	7	
		☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	٦ ۾	4
効	成果の実績(2~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える ☑ 実績値から成果があがっていると言えない	0	1
性		成果があがっていない場合	-	
	- 成果向上余地(1~			
4点		/ □ 成果向上策あり □ 特になし □ 特になし	+	
		☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
4.1	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
効	, ., .,			
		高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
-		□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	7 1	-1
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
441		☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である	4	
3点	コスト削減取組(1~	1) ☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	·	- 内容 助成限度額の見直しを検討		
平成	15~16年度	に		<b>D</b>
実施	1 5 ~ 1 6 年 度 し た 改 善 内	に 課題 容	C	D
- 4/	4 a 1 1 - 1 - 1 - 1			
5 今往	<u> </u>			
現 在 記	認識している課	題		
市民,関	関係者 市民,関係者の名	称		
からの	意見意見,要望内			
要望	等 思見,安望的	<b>谷</b>		
	(1) 対応内	容 		
	` '	限 平成 年 月		
= 日百 元		**( 〒/04     十     / フ		
課題·要	一 一 対応内	容		
	(2)			
へ の 5	灯 心 実施期	艰 平成 年 月		
	対応内	容		
	(3)			
	実施期	限   平成   年		
その他	きえられる			
改善(	カァィデァ		-	
		今後の方向	生 1次評価	2次評価
		拡大・充!	_	- 07 (81 184
		まちなみ緑化助成事業廃止に伴い,本制度と一体化し助成限度額の引下げ及び 現 状 維 :		
ਜ਼ ਦੇ 4	7 105 = ~ + -			-
<del>''</del> '' '' '' '	7~19年度の方向			
		10118	<u>ا</u> ا	
		統合/終期設/	Ē	
		The state of the s	Ē	
		統合/終期設 廃止/休	Ē	
	『価 委 員 会 コメン	統合/終期設/	Ē	

( — #	设事	業)	事業	コード	4420	300					部	ŧ	長次	長	課	骨
										·						
平成	1 5	年度	事	業名	芦屋	市民記念植樹										
										1						
1 📱	事業	€概₹	要(ドゥ)													
第3%	次芦	屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づく	I)				~~ ±	建設部			
総合		-		<del></del>		個性と風格のある					所	管	料 公園緑地	課		
政策				<u>/</u> /\		緑の保全と育成	加亚小切加巴				6F. ≅	課長氏名				
	₹ <i>I</i> JI	-			2	級の休主と自成										
体		系		細								入者 氏名				
事		業	期	間	平成	10年~		経常臨時	│ ☑ 経常 □	臨時	電	話番号	를 0797-38-	2065	内線	2845
根:	拠	法	令 ' 身	要綱 等	芦屋	市民記念植樹事業	に関する実施要	要綱			実	施主が	本市			
実		施	手				□ 一部委託		☑ 全部委託	:		補助金		負担金		
委		טוו	託			外郭団体委託	名称 (財) 芦	_				委託内容		ス 1二 並		
¥			пь	76		<b>外孙四</b> 件安心	古が「おノ	· (포 i) 테이	正備厶江		女心	安託內台	1			
事	Ì	業	の	概 要	市民	の記念に植樹を行	い,かけがえσ	つない緑を	守り育てる							
事	3	業	Ø	現 状	古拱	事業の参加者から	の中になったまと	コギ 枯枝	り たのた倶屋:	太巫出士。	+v,¥∓∔ →	- 答理太海	<b>=</b>			
<del></del>					1旦1切:	事業の多加有がら	07中区07/1001	いみ,但位	したのう帰属で	在文1) lb/	기·(명) 시	(日年で1)	ノ。			
			実現のため													
	=	手段及	なび実施内	]容												
				指標 名	植樹	 本数										
			結果指標			13年度(実績)	平成 1 / 年度	(宝绩)	平成15年度	(実績)	<u> </u>	成16年度	(日煙)	亚成 1	7年度(	日煙)
					_	・フナ区(天限)					+1	ル・サケ	(口が)	T-13% 1	,十皮(	ᆸᆁᇴᄼ
			(1)	指標値	_		3 6 1	4	9 2 4	4	<u> </u>					
アウ	トフ	<sup>†</sup> ット		単位コスト												
指		標		指標 名	緑化	相談件数										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		366	329		324	()()		-w 1 /2	( - 14.7	1 7-70		- I.M. /
			(2)			300	329		324							
				単位コスト												
2 ≣	事業	<b>談</b>	果(アウ)	<u> トカム)</u>												
			<del></del>	会	±⊐	植樹に参加する市	<b>-</b>									
			対	豖	心心	恒倒に参加りる巾	氏									
車業	മ	日的	対象力	バー率	対 象	を数 (a)		受 益 数	7 (b)			比 率 (b	÷ a) %			
対象		-		,, <u> </u>	V1 ×2	( xx (u)		<u>Д ш х</u>	( (5)			V + (V	. u) /0			
X) 3K	. ' /	군 [스					1 1- 1- 1-1-1-1	43 -	/// A L ** ** * *							
			怠		事業	に参加する市民と	ともに植樹を行	Tい,緑の	除全と育成を	凶る。						
			(対象を主	E語にして)												
大	ŧ	ŧ	な	目 的	住民	参加による公園,	緑地の整備を図	図りながら	緑化意識の高	揚を図る。						
				指標名	タヨイレ・	村沙外地										
					-		ナロが持っっ									
						行政に関心を持つ			I — »		1 -	B				
						13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	卜:	カム		指標値		366	329	_	324	_			_	1	_	
指		標		指標 名		 率の向上								_		
						緑化レベルの向上										
						13年度(実績)	平成 1 / 年度	(宝绩)	平成15年度	(実績)	<u> </u>	成16年度	(日煙)	亚成 1	7年度(	日煙)
											<del>-</del> 1	ル・サケ	(口が)	T-11% 1	,十皮(	ᆸᆁᆓᆺ
				指標値		不明	不明	ı	不明							
芦屋	市の	り特色	色など補足	足する事項												
3	丰岩	≦費・	活動和	分(コスト	)				1世帯当り(円)	181	住民	1人当り(円)	78	平成16.	4.1 住民基	基本台帳
事	<del>, , ,</del>	<del>. 具.</del> 業			<i>∏</i>	1 2 任府 / 沛答 \	亚成 1 / 生中	(油質)			-		<del></del>	, 12, 10.	11.1/2	
#			費		_	13年度(決算)	〒川、14午及		平成15年度		+1	成16年度	( ]′异丿	-		
	-	<u> </u>	件費					3,837		3,575			-			
		事	業費	49.0%		798		11,542		3,432			3,000	]		
内	訳	他部	『門経費										-			
(千F	<del>y</del> )	減 価	償却費										-	1		
, , ,		<del>///   </del>	計	100.0%		798		15,379		7,007			3,000	1		
						190		10,013		7,007			0,000	1		
			· 県		-		1				<del>                                     </del>			-		
	-	国	/± ~-		1		1		Ī		1			I		
財	源	市	債 等								_					
財 (千F	源	市	债 の 他			798		11,542		7,007			3,000			
	源	市 そ				798 <b>0</b>		11,542 <b>3,837</b>		7,007 <b>0</b>			3,000 <b>0</b>			
(千F	源 円)	市 そ <b>一 角</b>	の 他 財源	100.0%						0						
	源 刊) 動	市 そ <b>一角</b>	の他	70.0%				3,837								

評	<u>曲(チェック)</u> 価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
н	目的妥当性(2~ 2)	② 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない □ 事業の目的は一つに絞ることができない □ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	. 77(1) 1144	277411144
_		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない		
当	市民ニーズ(2~ 1)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	ີ 3	3
性。生	, ,	☑ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している ☑ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容		
	優先性, 緊急性(1) 対象カバー率(1~ 1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	, ,	□ 成果向上策あり □ 特になし □ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
**	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	,	□ 他団体よりコストが低い     □ 他団体と同程度     □ 他団体よりコストが高い     高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	,	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 ) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>-1</b>	-2
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
性	51.3(	<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li><li>□ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である</li><li>☑ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である</li></ul>		
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
_ "		→ 内容		
字 施	1 5 ~ 1 6 年 度 にした 改善内容	課題 内容 中間	В	В
5 今往	<b>多の対応(アクション)</b>			I.
現在	認識している課題			
	関係者 市民,関係者の名称			
からの 要 望				
	(1) 対応内容			
	実施期限	平成年月		
課題·要	望等 対応内容			
へのす		平成		
	(3) 対応内容			
	実施期限	平成    年   月		
その他	きえられる			
改善(	の ア イ デ ア		4	
		今後の方向    拡 大 · 充 :		2次評価
		現		
平成 1	7 ~ 1 9 年度の方向性			
			<u></u>  \	
		統合 / 終期設;   廃止 / 休		
າ >⊅ ≐π	平価 委 員 会 コメント	·		
4 从前	「叫女貝云コァノ「			

. 45 =	<b>←</b> N// \	- 11/						_	[±n =	<b>&gt;</b> L		
(一般	事業)	事業	<u> </u>	4420	330				部長	次	長課	長
平成15	年度	事	業 名	緑化	委員業務							
1 事	業概	要(ドゥ)							<u> </u>		<del>-</del>	
			りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			所 管 課	建設部		
総合			中	4	個性と風格のある	街並みの創造			所 管 課	公園緑地	課	
政策	施策		小	2	緑の保全と育成				所管課長氏名			
体	系		細						記入者氏名			
事	業	斯			3年~	経常臨	時 🗹 経常 🗌	] 臨時	電話番号		2065 内線	2845
		令 · ·		-	市緑化委員制度に				実施主体		5.10.4	
実 委	施		•			<ul><li>□ 一部委託</li><li>名称 (財) 芦屋市都</li></ul>	☑ 全部委員		□ 補助金		負担金	
女		a.r.	π.	, v	<b>外</b> 郭凹冲安式	名称  (別)戸屋印部	山罡備公社		委託 委託 内容			
事	業	Ø	概 要	绿化	全般にわたり市民	の意見,提案等を聴取	1.緑化重業の指	煙に沓す	<b>3</b>			
7	*	0,	11/1/2		主放にうたうけん	<i>乃忘几,旋来守飞响中</i>			<b>.</b>			
事	業	の	現 状	市民	代表者 ( 各小学校	区2名)と緑化推進協	力店の40名以	内の緑化	委員を委嘱し,毎	月の活動	内容を市に報告	する。
	目的詞	実現のため	ხთ	委員	報酬月額2,00	0 円						
	手段及	ひ実施内	容									
					人数(一般市民)		. I <del>-</del>	_ , ,	I · · · ·			·
		結果指標			` `	平成14年度(実績	-		平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
741	<del>-</del> ı	(1)	指標値		16	16	22					
アウト: 指			単位コスト 指標名	_	#H = 炒/什 米h							
扫	標	結果指標				平成14年度(実績	) 亚成15年度	まく宝績)	平成16年度(	日煙)	平成17年度(	(日梅)
			指標値		366件	329件	3 2 4		十八八十八八	<u> </u>	十八八十尺(	(日1赤丿
		(2)	単位コスト	_	3 0 0 11	3 2 311	32.					
2 事	業成	果(アウ							1			
		対	· .	緑化	推進に理解と熱意	りある市民						
		-	_								T	
			バー率	対象	R 数 (a)	受 益	数 (b)		比 率 (b	÷ a) %		
対象・	思 凶	意	NY.	1 4ヲイレ	<b>始後に執音のある</b> :	市民を地域緑化相談 <i>の</i>	空口レーア   紀	ルの運営	・始進を強化する			
			と 注語にして)	川泉水门し	推進に熱急ののも	口氏で地域が10個級の	あ口CUC, AX	心の建合	・推進を選択する	0		
		()/3/6[/	<u> гиппе о с</u> ј									
大	き	な	目 的	緑の	保全と育成 , 緑化	<b>推進への取組み意識の</b>	向上を図る。					
					助成(住民緑化団							
				_	の緑化活動の活性の		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- ( <del>                                    </del>		· - · - · - · · - · · · · · · · ·		, D.L.
7 4 1		指標			13年度(美績) 42団体	平成14年度(実績46団体	) 平成 1 5 年度 5 2 団		平成 1 6 年度 ( 5 5 団体		平成 1 7 年度 ( 5 5 団体	
ア ウト 指	カム標		指標値			40回座 た緑に関する意見・苦		4114	2.2 回机	Δ.	2 2 जि.स	Δ.
314					安貝がら奇せられた の景観の向上	これに対する思元(古	1月 「ヘレスコパレ女X					
			-			平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度	と 実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	〔目標〕
		7.1	指標値	_	2 5 件	2 4件	3 0		3 0 件		3 0 件	
	-		· ·									
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	į								
			<u>分(コスト</u>			T-10 1 5-5 (1) 55	1世帯当り(円)		住民1人当り(円)	12	平成16.4.1 住民	基本台帳
事	業 T_	費	+		13年度(沃昇)	平成14年度(決算		328	平成16年度(	予昇)		
	事	件 費業 費	1	_	796	54 72		740		720		
内 訳	_	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0	790	12	3	740		720		
		償却費										
( 1 13 )	合	計	1		796	1,27	3	1,068		720		
	国	・ 県				,						
	市	債 等										
(千円)		の他										
	_	段 財源		_	796	1,27		1,068		720		
	職	員		_		0.0		0.05		-		
		・臨時等		1	0.00	0.0		0.00		- 0.00		
(人)	Ħ	計	100.0%	•	0.00	0.1	U	0.05		0.00		

評	<u> </u>	57/年イー・・クリフト	4.56 ±0.75 0.56 ±0.75
計		評価チェックリスト	1次評価 2次評価
	目的妥当性(2~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	
	, ,	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である	
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている	
		☑ いずれにも該当しない	
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>1 4   3</b>
_	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない、または未把握	7   3
.hel	11125- 11		
性			-
8点	社会環境変化(1~1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	
		内谷	_
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	
	対象カバー率(1~1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	1
	n ==	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1 4   6
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	1   3
性		成果があがっていない場合	-
	- 成果向上余地(1~1)		
4点		□ 成果向上策あり □ 特になし	
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない	
	単位コスト(1~ 1)	┃ └│ 他団体の数字を把握している  単位コスト  ┆       ┆ └│ 把握していない	
効	十四コハ (( )	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	
		高い、または低い場合の理由	
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	1
	受益者負担(0~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>∃ 1   -2</b>
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	
	, ,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	_
3点	コスト削減取組(1~ 1	√ □ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない	
	コハ ( 円 ) // ペイス // ( ) ( ) (	/	
h		76.44	
平 成	15~16年度にした改善内容	では、 対理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	B   B
天 ル		内容   内容   評価	
5 今往	多の対応(アクション)		
5 今往	<b>後の対応(アクション)</b>		
	<u> </u>		
	<u> </u>		
現在意	認識している課是	A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR	
現在意	認識している課品	ā	
現在意	認識している課品	ā	
現在意	認識している課品	ā	
現在意	認識している課題 原名市民,関係者の名称意見 意見,要望内名	g T T	
現在意	認識している課題 原者市民,関係者の名称 意見 意見,要望内名 対応内容	g T T	
現在意	認識している課題 原名 市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内名 対応内容	可 尔 字	
現在 請市民,関からの要望	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 実施期所		
現在意	認識している課題 関係者 市民,関係者の名利 意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限	原 (マ成 年 月	
現在に対しています。現代の関連を表現である。	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容	原 マ マ マ 平成 年 月	
現在 請市民,関からの要望	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名利 意見 等 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容	京 マ マ マ 平成 年 月	
現在に対しています。現代の関連を表現である。	認識 している課 是 原係者 意見 等 (1) 要望等 (2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	原 (マ成 年 月 (R 平成 年 月	
現在に対しています。現代の関連を表現である。	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容	原 (マ成 年 月 (R 平成 年 月	
現在に対しています。現代の関連を表現である。	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	京	
現在に対しています。現代の関連を表現である。	認識 している課 是 関係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	京	
現在に関の望課ので	認識 している課 是 原係者 意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	京	
現で、一般では、現場では、現場では、現場では、現場では、のは、ののでは、できまれば、のでは、できまれば、現場では、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、これは、	認識している課題 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	京	
現で、一般では、現場では、現場では、現場では、現場では、のは、ののでは、できまれば、のでは、できまれば、現場では、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、これは、	認識 している課 是 原係者 意見 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	原	±   1 ンケ空収/研   2 ソケ空収/研
現で、一般では、現場では、現場では、現場では、現場では、のは、ののでは、できまれば、のでは、できまれば、現場では、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、できまれば、これは、	認識している課題 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	原	生 1次評価 2次評価
現で、一般では、現場では、現場では、現場では、現場では、のは、ののでは、できまれば、のは、ののでは、できまれば、これでは、できまれば、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	認識している課題 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	原 (本) 日 (本)	E
現で、一般では、現場では、現場では、現場では、現場では、のは、ののでは、できまれば、のは、ののでは、できまれば、これでは、できまれば、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	認識している課題 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	原 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	<del>-</del>
現市か要課へそ改を関する。	認識 している課 是 関係者 意見, 関係者の名利 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 3 考えられる のアイデア	原 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	÷
現市か要課へそ改を関する。	認識している課題 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	西 「中 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	÷
現市か要課へそ改を関する。	認識 している課 是 関係者 意見, 関係者の名利 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 3 考えられる のアイデア	原 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##
現市か要課へそ改を関する。	認識 している課 是 関係者 意見, 関係者の名利 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 3 考えられる のアイデア	国 の	
現市か要課へそ改を関する。	認識 している課 是 関係者 意見, 関係者の名利 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 3 考えられる のアイデア	Total	EE
現市か要課へそ改を関する。	認識 している課 是 関係者 意見, 関係者の名利 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 3 考えられる のアイデア	国 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	EE
現 市か要 課 の の の の の の の の の の の の の	認識 している課 是 原係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 対応施期内容 実対応 (3) 対応応期所 (3) 対応期所 3 考えられる のアイデア	国	EE
現 市か要 課 の の の の の の の の の の の の の	認識 している課 是 関係者 意見, 関係者の名利 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 3 考えられる のアイデア	国	EE

/ <b>d</b> h	如 事	務)	事業	¬ _ Ŀ	442036	0				部 長	次	長言	: H	長
( N	마ㅋ	135)	尹 未	<u> </u>	442030	U				자	<i>/</i>	ᅜ	木	IX.
平成	1 5	年度	事	業 名	公園花	壇植栽管理業務								
	<del></del> лі	_ 10.T =	E / I\$ . \											
			要(ドゥ)			·*	+ = +n+ - × /			T	754040			1
		L		りの目標		適でうるおいの				所 管 課	建設部			
総言				中		性と風格のある	街並みの創造				公園緑地			
政章	策が	-		小	2 緑	の保全と育成				所管課長氏名				
体		系		細						記入者氏名				
事		業	期				経常臨時	□ 経常 □ 🖽	<b>福時</b>	電話番号		2065	内線	2845
根	拠		令 ' 引							実 施 主 体	市			
実		施	手			[営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金		
委			託	先	☑ 外	·郭団体委託	名称 (財) 芦屋市都市	整備公社	□ 民間	委託 委託 内容				
事	j	業	の	概 要	市内 61	箇所の花壇の維持	寺管理							
事	¥	業	の	現 状	花壇を	維持管理すること	とにより , 都市景観の向	上を図り,地域	住民の心	いにやすらぎを与	える。			
	-	目的复	€現のため	<b>の</b>										
	Ξ	手段及	ひ実施内	]容										
				指標名	花壇数	・苗数								
アク	テ	ィブ					平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (	(実績)	平成16年度	(日標)	平成 1 7	年度(	日標)
指	•	標	活動指標	指標値		效10,41,465苗	花壇数10,27,972苗	花壇数8,13,		花壇数6		1 122 . 7	12	H 135 /
111		123		単位コスト	10-50	хто , тт, тоощ	10-шхх 10 / 21 , 012 Ш	10-200 / 10,	ООЕЩ	10-500	<u></u>			
				指標名										
アウ	L -	P L				2年度 / 宝績)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (	宝绩)	平成16年度(	(日煙)	平成 1 7	午度 (	日煙)
指	1 )	ッド標	結果指標	年度指標値		3 千及(天限)	十八八十十尺 ( 天禄 )	十八八八十尺(	大限人	十八八〇十尺(	、口信・ノ	十/12、1 /	十及(	ᄓᇷᄼ
拍		信												
1	古地	é <del>- 11</del>	B / 코스 I	単位コスト										
۷ :	事果	€ 万火ラ	具(アウト	·//A)										
			対	象	花・緑	に興味のある市目	₹							
= 44	<u> </u>	- 66	** ** *	11 47	<b>+</b>	坐5 (-)	177 Y W	÷ (L)		Lle <del>37</del> 77 (1	) 0/			
		L	刈 家 刀	バー率	刈 家	致 (a)	受 益 数	(D)		比 率 (b	÷ a) %			
対象	₹',	思図	<b></b>	-	<u> </u>	<del>40 - 67</del> /141 - 641 -	- <del>-</del> - 1							
			意		市民全	般の緑化レベルの	り同上							
			(対象を3	E語にして)										
١.	_	_		- 44	***	*n - 4 1 11 11 - 4 1								
大	7	<u>\$</u>	な	目 的	都巾景	観の向上,やすら	っきの創出							
		-		I		<del></del>	1 1// -							
						続の住民の声(作								
						緑化に対する関心								
			成果指標			3年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	(実績)	平成16年度		平成 1 7		目標)
アウ	) h :	-		指標値			10件	15件		15件			15件	
指		標		指標名										
				考え方・式										
			成果指標		平成 1	3年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
				指標値										
芦	屋	の	特色	となど										
3	事業	養·	<u>活動配</u> :	<u>分(コスト)</u>	)			1世帯当り(円)	143	住民1人当り(円)	62	平成16.4.1	1 住民基	本台帳
事		業	費	構成%	平成 1	3年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(	決算)	平成16年度	(予算)			
		人	件 費	30.2%			1,166		1,674		-			
		事	業費	69.8%		8,066	4,741	<u> </u>	3,860		3,447			
内			門経費								-			
(千	円)	減価	償却費								-			
	-	合	計	100.0%		8,066	5,907		5,534		3,447			
		国	・県											
財	源	市	債 等											
(千			の他											
			段 財 源			8,066	5,907		5,534		3,447			
活	動		員	66.7%			0.10		0.20		-			
							0.15		0.10					
配	分	嘱託	・臨時等	33.3%			0.10		0.10					

		[ツク)	-						±±./±.~									
評	価	視かび変	****	_	*** T 11°	##÷			評価チョ		<b>X</b> ト			L 🗆 /+ L	11 ± 11° ±	±¢/П   \	1次評価	2次評価
有		<u>くガハー卒</u> き者(1~	(1 ~ 1)		対象カバ-				団体と同		四六字か				リカバー率 が一部に『			
- F	又血	111(11	1)					にいる !握し,目標値								KÆ.		_
効	成果	見の実績(2	!~ 1)	1 1				っていると言え							ていると言	えない	3	3
性	- 成集	自 上余州	보(1 ~ 1)		果があがっ		場合											
4点	7-7071	************	-,		成果向上											特になし		
					比較できる			団体名	5	<u>:</u>					る団体はな	l I		
	活動	加配分(1~	1)		他団体の					700			_	握してい				
効					· □ 他団			······	団体と同	]程度			⊔ 1t	団体よ	)多い			
XJJ					い,または <u>!</u> 比較できる				, [					ができ	7 🖽 👉 🗠	1.1		
					比較できる			団体名 る 単位コ	\$						る団体はな	<b>(1</b>		
	単位	෭コスト(1~	- 1)	1	・□ 他団					140 🚓				児握してい	ハない リコストが高		_	_
率					・ い,または1			שוע	河体で	]住反			וו ע	1四144よ	ノコマトル回	161	-2	-2
								 小郭団体へ委		12 坐黎	スニついて	_						
							-	小型四体へ安 づけられている					+#++	空が担	うべき部分	がちる		
性	手段	₹(1 ~ 3)			1] 以嘅貝	E NID○表	ノン・手がに	できない業剤	り タブホス			,亦庭 (/企業	NDO	はまりだけ	アNC 叩刀。 広可能であ	いのの		
4点								できない業務							心可能である 可能である			
7.77				П	コスト削減				Coro		□ 特に	,			1-1 HG C 00 8	<u>,                                      </u>		
	コス	卜削減取約	组(1~ 1)		内容	1074X 7 ML	0, 6112	CV10				1100	V 1/6.V	·				
					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,													
平成宝	1 5	~ 1 6 - ># =	年度に ・内容	課題	コスト削	減の取り	組みを行	うっている	改善	花苗の	の数量減	,植犁	え回	数の減		総合評価	В	В
大 ル	0 10	- IX =	a ry 127						P31=	1						атіш		
5 今後	きの対	応(アク	7ション)															
現在詞	認 識	してい	る課題	庭園	都市宣言に	こよる花	苗を増や	す施策とコス	くト削減	の実施	į							
市民,関	係者で	市民,関係	系者の名称	花壇	周辺住民													
からの	意見,	÷ - =	要望内容	###==	 <u>+</u> #.o.#+	940011												
要 望	等	息 兄 ,多	安全 70 谷	化造	仔続の妥当	色か多い。	•											
		(1)	対応内容															
		(1)	実施期限	平成		年	月											
課題·要	望等	(2)	対応内容															
へのタ	対 応	(2)	実施期限	平成		年	月											
		(3)	対応内容															
		(3)	実施期限	平成	1	年	月											
								植えの面積を	上減らす	-								
その他	考え	られる																
改善の	カア・	イデア																
		Ī													今後の	方向性	1次評価	2次評価
				地元	の花壇の存	字続要望:	が強く継	続して実施し	ていく	۰					拡 大	・ 充 実		
																維持		
															方 法	改 善		
平成 1	7 ~ 1	9年度(	の方向性												民間	委 託 等		
															縮	小		
																終期設定		
															廃 止	/ 休 止		
2 次 評	一 価 季	長員 会:	コメント															

	<b>- 111</b> . I	>112							-l.,	=1+= =
(一般	事業)	事 業	<u> </u>	4420	610				部長次	長課長
平成15	年度	事	業 名	緑化	啓発業務					
1 事	業概3	要(ドゥ)							ļ	<u> </u>
			りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			<sub>年 </sub> 建設部	
総合			中	4	個性と風格のある	街並みの創造			所 管 課公園緑均	也課
政策	施策		小	2	緑の保全と育成				所管課長氏名 伊丹 幸	孝夫
体	系		細				1		記入者氏名林茂昭	
事	業	期				経常臨時	□ 経常 □ 臨	<b>詰時</b>	電 話 番 号 0797-38	-2065 内線 2845
		令 · ·							実施主体市	
実 委	施					□ 一部委託	☑ 全部委託			負担金
安		缸	九		外郭団体委託	名称 (財) 芦屋市都市	整備公社	□ 氏间	委託内容	
事	業	Ø	概 要	花	緑に関する相談業績	絡				
J.	<i>_</i>	•	1770							
事	業	の	現 状	・毎	週水,金曜日・第	1,第3月曜日の午前中	に窓口を設け,	緑化に	関する相談を受ける。	
	目的詞	実現のため				如できない状況にある。				
	手段及	ひ実施内	容	• г	ひょうご花と緑の	コンクール」への参画に	より緑化の啓発を	を行う。		
			_			芸講習会を月3回行い,	植物に親しんで	もらう。		
		(+ m !!= !=		_	会開催回数			<b>→</b> /= \		
		結果指標				平成14年度(実績)		美績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	-f L	(1)	指標値		36回	36回	36回		36回	36回
指	ノット 標		単位コスト指標 名		<b>老</b> 数					
38		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(	宝績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		366件	3 2 9件	3 2 4 件		1 12 ( 113 )	T JAC T T IX ( III III )
		(-)	単位コスト	_		2 2 7 11	2 2 111			
2 事	業成	果(アウ	トカム)	1			I.			
		対	免	龙	緑に関する質問がる	ある市民				
									F	
			バー率	対象	R 数 (a)	324人 受益数	(b) 32	24人	比率 (b ÷ a) %	6 100
対象・	思 凶	意	NV.	庭門	がある古足の相談:	を受け指導,助言を行う	ニレートロ 緑	の保全・	レ会式を図る	
			ム 主語にして)	[貝미	いののごけたのは歌。	と文17指导,助占を11プ	ことにより、線の	の床主の	と自成で囚る。	
		(×18/02	<u> гиппе о су</u>							
大	き	な	目 的	緑化	行政に対する満足	度の向上,都市景観の向	]上を図る。			
					会参加者数					
						),景観の向上が図れる		<u>-</u>		
·		指標		-	13年度(実績)	平成14年度(実績)		実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
ア ウト 指	カム標		指標値			480	436		450	450
314			指標名 考え方・式							
					13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		J⊟ 175	指標値				1			
	ı		1				I .			
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	į						
									<del></del>	
			分(コスト				1世帯当り(円)		住民1人当り(円) 39	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費			13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(		平成16年度(予算)	
	人	件 費業 費	1		2 201	1,532		1,207	2.050	_
д ÷п	事他部	業 費			2,281	1,824		2,254	2,059	-
		貸却費							_	
(113)	合	計			2,281	3,356		3,461	2,059	
	国	· 県				-,,,,,,				
財源	市	債 等								
(千円)	そ	の他								
		段 財源	<b>.</b>		2,281	3,356		3,461	2,059	
	職	員				0.15		0.15	-	_
		·臨時等				0.15		0.00	-	_
(人)	百	計	100.0%	)	0.00	0.30		0.15	0.00	

4 <b>評1</b> 評	<u> 曲(チェック)</u>   価 視 点	評価チェックリスト	1次証価	2次評価
aT.		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	「八計画	2次計画
	目的妥当性(2~2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高〈ない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		☑ いずれにも該当しない		4
当	市民ニーズ(2~ 1)	☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	4	4
性		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
8点	A.I. A. =	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変化(1~1)	内容		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
効	成果の実績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性		レビン 実績値から成来がめかりていると言える □ 実績値から成来がめかりていると言えない □ 大績値から成来がめかりていると言えない	┪	
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	十世コスト(1 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1)	│ □ 負担を求めることができる事業である     ☑ 負担を求めるべき事業ではない │ □ ● □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	_	_
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>⊣</b> 1	-2
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		└▶ 内容		
平成	15~16年度にした改善内容	改善 課題 内容	В	В
天 ル		内容		
5 今1	<u>後の対応(アクション)</u>			
11日 左:	認 識 し て い る 課 題	講習会参加希望者が多く,1人の講師で対応できる人数に限度があり,参加者を増やせない。 		
-π 1 <u>.</u> 1				
市民,関	関係者 市民,関係者の名称			
からの				
要 望	等意先,安宝内各			
	対応内容			
	(1)			
課題·要	実施期限	平成   年   月		
HA 1623 54	(2) 対応内容			
への:		平成年月		
	対応内容			
	(3)			
	実施期限	平成		
その世	<u> </u>			
	のアイデア			
		今後の方向	生 1次評価	2次評価
		拡大・充:	実	
		現状維		
		方法改		
<del>                                      </del>	7~19年度の方向性		· ·	
1				i
		廃止 / 休 .	L	
			L	
2 次 評	平価 委員 会 コメント	廃止 / 休 .	L	

(内	部	事務)	事業	<b>¬</b> –	· ド	4420	640						部		長	次	長	課	長
平点	ž. 1 !	5年度	事	業	名	森林	病害虫防除事業												
		' ^		<i>&gt;</i> 10		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,												
	<b>-</b> :	717 711.7	<del></del> / 18 .	,															
			要(ドゥ		O +m		加盗がふるかし	のちぇ初士づく	11							Z=b ≐ ∩, 立/7			
		9座巾 計 画		くりの F 中	日 悰			のある都市づく る街並みの創造					所	管	課	建設部公園緑地	1言甲		
		加强施策		<u> </u>			緑の保全と育成						65 설	; <u>‡</u> ⊞ F	■丘夕	伊丹 幸			
体	×.	心系		<u></u> 細			談の休主と目が									桑原雅			
事		業		期	問	亚成:	<u> </u>		経常臨時	✓ 経	常口	臨時				0797-38		内線	2842
	拠		令 '				病害虫等防除法		NCE 1 13 EMIL 3		<u> </u>	TM12			<u> </u>			1 3 11/3	20.2
実		施		手				□ 一部委請	託	☑ 全	部委託			補助			負担金		
委			託		先		外郭団体委託	名称	-				委託			薬剤散布	<u> </u>		
						松の	薬剤地上散布	2回/月/年	F										
事		業	の	概	要														
								虫等を早期に且?	つ徹底的に	.駆除及ひ	その蔓	蔓延を防山	Łし、	森林	の松の	保全を図	る		
事		業	の	現	状	対象	面積 1ha												
			<del></del>																
			実現のた																
		于段.	及び実施	.内谷															
				指 輝	5 夕	遊剤	散布面積												
アク	) <del>-</del>	· ィフ	r	午	度		13年度(実績	) 平成14年度	度(実績)	平成 1 5	5年度	(実績)	平	式 1 6	年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標		標出標			. 5 12 (20)	10,0			, 0 0		<u>'</u>	-20	1/2		1 7-20 1	. 12	H 13.7
				単位二				160P			8円/								
				指標									l				1		
アウ	) h	プット	/+ FEI +15	年	度	平成	13年度(実績	) 平成14年度	度(実績)	平成 1 5	5年度	(実績)	平/	或16	年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標	結果指	指標	! 値														
				出 /	コスト														
				単位二															
2	事	業成	 果(アウ	単位		!											ļ		
2	事	業成	  果(アウ   <sub>対</sub>		)	前山·	 公園の松						!				ļ		
			対	<b>フトカム</b>	)		公園の松		<u> </u>	- (L)		1 1	<b>!</b>	IIL T	<del>177</del> (1.	) 0/		400%	
事業	(単の	目的	対対象	<b>フトカム</b>	)		公園の松 家 数 (a)	1 h a	受 益 数	女 (b)		1 h a		比型	<b>枢 (b</b>	÷ a) %		100%	
事業	(単の		対対象	<b>フトカム</b>	) 象 - 率	対象	象数 (a)	1 h a	受 益 数	牧 (b)		1 h a		比图	率 (b	÷ a) %		100%	
事業	(単の	目的	対 対 象 意	カバー	) 象 — 率		象数 (a)	1 h a	受 益 数	文 (b)	,	1 h a		比至	壑 (b	÷ a) %		100%	
事業	(単の	目的	対 対 象 意	<b>フトカム</b>	) 象 — 率	対象	象数 (a)	1 h a	受 益 数	女 (b)		1 h a		比至	<b>率</b> (b	÷ a) %		100%	
事業対象	<b>養の</b>	目的意図	対 対 象 意 (対象で	<b>ルカム</b> カ バ -	) 象 - 率 図 ンて)	対象保全	家 数 (a) する。	1 h a	受益 数	文 (b)		1 h a		比至	<b>を</b> (b	÷ a) %		100%	
事業	<b>養の</b>	目的	対 対 象 意	カバー	) 象 - 率 図 ンて)	対象保全	象数 (a)	1 h a	受益 数	文 (b)	,	1 h a		比至	<b>枢</b> (b	÷ a) %		100%	
事業対象	<b>養の</b>	目的意図	対 対 象 意 (対象で	カ バ ー	) 象 率 図 の の の の の の の の の の の の の	対 象保全	家 数 (a) する。		受益 数	文 (b)	,	1 h a		比至	<b>率</b> (b	÷ a) %		100%	
事業対象	<b>養の</b>	目的意図	対 対象 意 (対象を	カ バ - ま主語にし 目 指 標	) 象 率 図() 的 名	対象保全	象数(a) する。 な景観が保全	â	受 益 数	文 (b)		1 h a		比图	<b>を</b> (b	÷ a) %		100%	
事業対象	<b>養の</b>	目的意図	対 対象 意 (対象を	カ バ ー ま主語 目 指考えた 標 年	) 象 率 図 ) 的 名式度	対 第 保全 豊 前枯平成	<ul><li>款数(a)</li><li>する。</li><li>な景観が保全</li><li>公園の松枯れ割</li><li>本数/前山公園</li></ul>	â					平/			÷ a) %		100%	目標)
事対が大	<b>養</b> の	目的意図	対 対 意 (対象をな 中 成果指	カ が ー 間標	) 象率 図() 的 名式度値	対 保全 豊 前山 枯平成	象数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績	合 の松の本数	度(実績)				平月						目標)
事対対	<b>養</b> の	)目的意図	対 対 ま 意 対象を な 中 成果指	カ が ー 間標	) 象 率 図() 的 名式度値名	対 保 豊 前 枯 平 声 屋	象数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績	合 の松の本数 )   平成 1 4 年ほ 1 9	度(実績)		5 年度		平/						目標)
事対が大	<b>養</b> の	自的意 き カム	対 対 意 (対象を な 中成果指	カ ガ	) 象 率 図 () 的 名式度值名式	対保 豊前枯平 芦芦	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9	夏(実績)	平成 1 !	5年度 2%	(実績)		式 1 6	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	
事対が大	<b>養</b> の	自的意 き カム	対 対 ま 意 対象を な 中 成果指	カカ主間標終標方店掲月月月日月月月月日月月月月日月月月日日月月月日日月月月日日日月月日日日 <td>)</td> <td>対保 豊 前枯平 芦芦平</td> <td>家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保</td> <td>合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度</td> <td>度 (実績)</td> <td>平成 1 !</td> <td>5年度 2%</td> <td>(実績)</td> <td></td> <td>式 1 6</td> <td>6年度</td> <td></td> <td>平成 1</td> <td></td> <td></td>	)	対保 豊 前枯平 芦芦平	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度	度 (実績)	平成 1 !	5年度 2%	(実績)		式 1 6	6年度		平成 1		
事対が大	<b>養</b> の	自的意 き カム	対 対 意 (対象を な 中成果指	カ ガ	)	対保 豊 前枯平 芦芦平	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9	度 (実績)	平成 1 !	5年度 2%	(実績)		式 1 6	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	
事対 大ア指	<b>着</b> の・ ウト	) 目意 き カ標	対 対 意 対象 な 中成果指 最果指	カカ きま 目標     終標       カ バ 語 目 指考年指指考年指     構え 標標方 標標方	)	対保 豊 前枯平 芦戸平	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明	度(実績)	平成 1 !	5年度 2%	(実績)		式 1 6	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	
事対が大	<b>着</b> の・ ウト	) 目意 き カ標	対 対 意 対象 な 中成果指 最果指	カカ きま 目標     終標       カ バ 語 目 指考年指指考年指     構え 標標方 標標方	)	対保 豊 前枯平 芦戸平	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度	度(実績)	平成 1 !	5年度 2%	(実績)		式 1 6	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	
事対 大 ア指 芦	i	)目的図 き カム標	対 意 対 意 対 な 中 成 特	カカ主間標終標カバ語目指考年指指考年指は様標方標標方	) 象率 図() 的 名式度値名式度値	対保 豊 前枯平 芦戸平 松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明	度(実績)	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績)	平月	或 1 6	年度	(目標)	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3	i	自意 き カ標 の費	対対象 中成 最成 活動	力主間標終標色力ご1ま11ま21ま21ま21ま21ま21ま31ま31ま31ま31よ31ま3<	) 象率 図) 的名式度値名式度値 ど ト	対保 豊 前枯平 芦芦平 松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明 できる限りの対力	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績)	平)	或 1 6	年度 (	(目標)	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦	i	)目的図 き カム標	対対象 意対な 中成 最成 特動	カカ     主     間標     終標     色     ご費       カガー     「     「     標子     上     日	) 象率 図) 的名式度値名式度値 ど ト	対保 豊 前枯平 芦芦平 松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績)	平)	或 1 6	年度 (	(目標)	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3	i	自意 き カ標 の 費業	対対 象 中成 最成 活 件	力主間標終標色ご費費力バ語目指考年指指考年指分イは大標序標序は日は大標榜大標榜よ大標榜よ口は大は日日はよ日日日はよ日日日はよ日日日はよ日日日はよ日日日はよ日日日はよ日日日はよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよはよよよよよよはよよよよよよよはよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよ<	) 象率 図) 的 名式度値名式度値 ど ト	対保 豊 前枯平 芦芦平 松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明 できる限りの対力	度 (実績) 変 (実績) 明 応をする。	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績)	平)	或 1 6	年度 (	(目標)	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3	<b> </b>	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	対対 象 中成 最成 特 動	力主間標終標色ご費費費力バ語目指考年指指考年指分構成付構え標榜方標榜方標榜1	) 象率 図) 的 名式度値名式度値 ど ト 33.1%	対保 豊 前枯平 芦芦平 松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明 できる限りの対力	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。 度(決算) 1,498	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (実績) (決算) 478	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (目標) (予算)	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3 事 内	で 上屋事 訴	日意 き カ 業 人事他的区 仏標 の 費業人事 倍	対対 意対な 中成 最成 活件業	力主間標終標色ご費費費力バ語目指考年指指考年指分イ付表標序標序はははのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよのののののよののののののよののの<	) 象率 図() 的 名式度値名式度値 ど ト 33.1% 16.9%	対保 豊 前枯平 芦芦平 松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明 できる限りの対力	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。 度(決算) 1,498	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (実績) 478 97	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (予算) - 97	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3 事 内	で 上屋事 訴	日意 き カ 業 人事他減合 的図	対対 意対 な 中成 最成 活 件業門償 経却	力力     注     間標     終標     色     2費費費費       が     語     目     指考年指指考年指     分     構成       標え     標準     の     の     の       は     の     の     の     の       は     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の     の       の	) 象率 図() 的 名式度値名式度値 ど ト 33.1% 16.9%	対保豊前枯平芦芦平松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 不明 できる限りの対力	度(実績) 必 度(実績)明 応をする。 度(決算) 1,498 97	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (決算) 478 97 0	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (予算) - 97 - - 97	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内(	で 事 野 一 ア 一 屋 事 一 野 円 一 屋 事 一 野 円 一 屋 事 一 野 円 一 一 屋 事 一 野 円 一 一 屋 事 一 野 円 一 一 一 屋 事 一 野 円 一 一 一 屋 事 一 野 円 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	日意 き カ 業 人事他減合国的区 ム標 の 費業 一部位	対対意 は 中成 最成 活 件業門償・	力     力       力     パ     記       目     指考年指指考年指     分       構え     標準       は     の       は	) 象 率 図() 的 名式度値名式度値 ど ト) 16.9% 16.9% 16.9% 17.0% 17	対保豊前枯平芦芦平松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 できる限りの対り	度(実績) を 変(実績) 原 をする。 度(決算) 1,498 97	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (決算) 478 97 0	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (予算) - 97 -	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	で 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日意 き カ 業 人事他減合国市的区 ム標 の 費業 一部値	対対意 は 中成 最成 活 件業門償・債	力     注     間標     終標     色     2費費費費計       が     語     目     指考年指指考年指     分構     1       が     語     日     1     1       が     点     1     1       が     点     1     1       が     点     1     1       が     1     1       が     1     1       の     1     1       の     1     1       の     1     1       の     1     1       の     1     1       の     1     1       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     2       の     2     3     3       の     3     3     3       の     3     4     3       の<	) 象 率 図() 的 名式度値名式度値 33.1% (6.9% O).0% (10.0% O).0%	対保豊前枯平芦芦平松	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 できる限りの対り	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。 度(決算) 1,498 97	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (決算) 478 97 0	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (予算) - 97 - - 97	平成1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	で 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日意 き カ 業 人事他減合国市そ的区 ム標 の 費業 音に	対対意 は 中成 最成 活 件業門償・債の	力     注     間標     終標     色     2費費費費計       力     バ     語     目     指考年指指考年指     分構     1       付     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の     の       の<	) 象 率 図() 的 名式度値名式度値 ど ト 10.0% 10.0% 12.7%	対保 豊 前枯平 芦芦平 松 平	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成14年度 19 持 ) 平成14年度 不明 できる限りの対別 ) 平成14年度	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。 度(決算) 1,498 97 1,595 73	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (決算) 478 97 0 <b>575</b> 73	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (予算) - - 97 - - 73	平成1	7年度(	目標)
事対     大     ア指     芦     3事     内(     財(		日意 き カ 業 人事他減合国市そ一的区 ム標 の 費業 音化	対対意対な中成最成活件業門償・債の財産を	力     注     間標     終標     色     2費費費費計       力     バ     語     目     指考年指指考年指     分構     1       付     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の       の     の     の     の     の     の     の     の     の     の     の     の     の     の<	) 象 率 図 ) 的 名式度値名式度値 ス 2 2 3 3 1 1 8 1 6 1 6 9 8 1 7 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1	対保 豊 前枯平 芦芦平 松 平	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成 1 4 年度 1 9 持 ) 平成 1 4 年度 できる限りの対り	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。 度(決算) 1,498 97 1,595 73	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (決算) 478 97 0 <b>575</b> 73	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (予算) - - - - - - - 73	平成1	7年度(	目標)
事対     大     ア指     芦     3事     内(     財(     活		日意 き カ 業 人事他減合国市そ一職的図	対対意対な中成最成活件業門償・債の財産を	力     注     間標     終標     色     2費費費費計     10       方     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点       点     点     点     点     点     点     点     点       点	) 象 率 図() 的 名式度値名式度値 ど ト 10.0% 10.0% 12.7%	対保 豊 前枯平 芦芦平 松 平	家数(a) する。 な景観が保全 公園の松枯れ割 本数/前山公園 (13年度(実績 市の緑被率 らしい景観の保 (13年度(実績	合 の松の本数 ) 平成14年度 19 持 ) 平成14年度 不明 できる限りの対別 ) 平成14年度	度(実績) 後 度(実績) 明 応をする。 度(決算) 1,498 97 1,595 73	平成 1 5	5年度 2% 5年度 不明	(実績) (実績) (決算) 478 97 0 <b>575</b> 73	平)	或 1 6	年度 (	(目標) (目標) (予算) - - 97 - - 73	平成1	7年度(	目標)

評	<u>叫(フェファ</u> 価	<i>)</i> 視 点	i			評価チェック!	171			1次証価	2次評価
яT				対象カバー率は高	11		/		が任い	八計画	2人計画
有	受益者(1						レ四六字が不較	合 ,または受益が一部にN			
н	文画有(1	- 1)							死		
効	成果の実	績(2~ 1)	1 1			し,目標値を設定してい。 いると言える		こは日標値か木記へ ら成果があがっていると言え	えない	2	4
性				があがっていない						1	
4点	- 成果向上:	余地(1~ 1)		<b>以果向上策あり</b>				П	特になし		
17111				と較できる団体がる	あろ	団体名 兵庫県	I				
				也団体の数字を把		活動配分		□ 把握していない	, ·		
	活動配分	(1 ~ 1)	1 1	□ 他団体より少		☑ 他団体と同程度	i	□ 他団体より多い			
効				」 他団体なりク							
~/3				<u>, または少ない場</u> 比較できる団体がる		団体名 兵庫県	1			-	
				L戦 Ces団体がで 也団体の数字を把		単位コスト		☑ 把握していない	, 1		
	単位コスト	·(1 ~ 1)	1 1			·	j		1.	_	_
率				□ 他団体よりコ		☑ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	<b>61</b>	<b>-1</b>	-3
				,または低い場合		7回仕・エヤー・ロンギ	77.1.7			-	
						3団体へ委託している業			, » ± =		
	手段(1~	3)		「政職員による執行				匡,地域等が担うべき部分が			
性		,					•	, NPO等)で対応可能であ			
4点						ない業務である		<b>詩職員等で対応可能である</b>			
	コスト削減	取組(1~ 1)		スト削減の取り組	みを行ってし	13	☑ 特に行って	ていない			
		· // // · · /	<b>→</b>	内容							
ᄑᄨ	1 5 ~ 1	6 年 度 に				改善			総合	_	
実施	した改	6 年 度 に 善 内 容	課題			内容			評価	В	В
<u>5</u> 今後	後の対応(∵	アクション)									
現在意	忍識して	いる課題	全国的	な松枯れ							
市民,関	]係者 市民,	関係者の名称	7								
からの	意見音目	,要望内容	Ξ								
要望	等心光	, <u>A</u> = 11 =									
		対応内容									
	(1)										
±⊞ 85 æs	t = 25	実施期限	平成	年	月						
課題·要	(2)	対応内容									
へのす		実施期限	平成	年	月						
					1 1 -						
	(3)	対応内容									
		実施期限	平成	年	月						
	•										
その他	考えられ	3		-					-		
改善	カアイデ	ア									
								今後の	方向性	1次評価	2次評価
									・充実		
			継続し	て松枯れ防止策	を実施する。				維持		
				7121417132					改善		
平成 1	7~19年	度の方向性							委託等		
1 /20		·~ /1  -1  1						縮	小 文 記 安		
									<u>小</u> 佟期設定		
									/ 休止		
								冼	, N II	1	<u> </u>
2 1/2 ≢⊞	(	会 コメント									
4 八 計	川 女 貝	<del>ム</del> コ									

(内部	事務)	事業	コード	44206	660				部	ŧ	長次	ŧ	課	長
								ľ						
平成1	5年度	事	業 名	芦屋	兵公園緑地等維持管	<b>言理業務</b>								
4 ==	<del>71. 1</del> 01 £	## / IV + \						L					1	
		要(ドゥ)	·		仕油ーこったいの	+ 7 #7 + ~ / / /					7.41.41.41.41			
					快適でうるおいの				所	管言	異建設部			
総合			中		個性と風格のある	街並みの創造						录地課		
政 策	施策		小	2	緑の保全と育成				所管	課長氏名	3 伊丹	幸夫		
体	系	. f	細						記入	者氏名	3 桑原	雅雄		
事	業	期	間	平成1	15年4月~平成16年	年3月 経常臨時	☑ 経常 □ 🛭	臨時	電話	岳番 岩	를 0797-	38-2065	内線	2842
根 拠	法	令 ' 弱	要 綱 等	都市	公園法				実が	主作	本市			
実	施			V	直堂	□ 一部委託	□ 全部委託		i	補助金		□ 負担金		
委	,,,,	<u></u>	先			名称		民間		委託内容				
_		но	,,,		八种四种女儿	H10			34 B D 3	E 11 1 1 1	<b>-</b> 1			
=	र्गार	•	±19.7 = 755	八国4	在+生竺田市双6C1-1	シスガラル 水洋化 市	<b> </b>							
事	業	の	概 要	公园和	維付目注事物別には	系るガス代、水道代、車	恢复用守							
				ガス	・電気料金・水道料	料金の支払								
事	業	の	現 状											
	目的記	実現のため	oの											
	手段7	及び実施内	容											
	3 1 2/2	~ O / NOI .	,											
			+15 +15 47	÷∕⊏≐л÷	#h									
			指標名				T- 1 - 5-5	. <del></del>			( D ==			- L
アクラ		1:士面722至			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(		半成	16年度	(日標	) 半成1	7年度(	日標)
指	標		指標値			1ヶ所	1ヶ所							
			単位コスト											
			指標 名	支払	明細、納品書									
アウト	プット	/+ m +b +=	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	(実績)	平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	目標)
指	標		指標値			5 , 1 5 4 千円	2,912							
			単位コスト			, , , , , , , ,	,							
2 重	サポロ 型	<u> </u> 果(アウト										ļ		
<u> </u>	*/JV/	<del>水() )  </del>	734)											
		<del>3.1</del>			CI CT A 40									
		対	象	公園	利用者全般									
= ** a						4 . 5	<del>-</del> (1)	. 55	lı.	le <del>ste</del> (1	\	0/	100%	
	目的	対象力	(スペーン) また。			1ヶ所 受益数	文 (b) 1	ケ所	ŀ	北 率 (b	÷ a)	%	100%	
事業の対象・	目的	対象力	バー 率	対象	R 数 (a)			ヶ所	ŀ	比 率 (b	÷ a)	%	100%	
	目的	対象力	バー 率	対象	R 数 (a)	1ヶ所 受 益 数		ヶ所	t	北 率 (b	÷ a)	%	100%	
	目的	対象力	バー 率	対象	R 数 (a)			ケ所	ŀ	比 率 (b	÷ a)	%	100%	
	目的	対象力	バ - 率 図	対象	R 数 (a)			ヶ所	l	北 率 (b	÷ a)	%	100%	
	目的	対象力	バ - 率 図 E語にして)	対象公園を	R 数 (a)	環境で公園を利用できる		ヶ所	<u> </u> t	比 率 (b	÷ a)	%	100%	
対 象 ·	意図	対 象 カ 意 (対象を主	バ - 率 図 E語にして)	対象公園を	き数(a)	環境で公園を利用できる		ケ所	ŀ	比 率 (b	÷ a)	%	100%	
対 象 ·	意図	対 象 カ 意 (対象を3	バー 率 図 E語にして) 目 的	対象公園を対象を表現である。	表数 (a) 利用者がより良い致	環境で公園を利用できる		ケ所	į	比 率 (b	÷ a)	%	100%	
対 象 ·	意図	対 象 カ 意 (対象を3	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標名	対象公園和利用和支払時	表数 (a) 利用者がより良いま 者の増加、満足度の明細、納品書	環境で公園を利用できる の向上	ようにする。			比 率 (b	÷ a)	%	100%	
対 象 ·	意図	対象カ 意 (対象を3	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標 表え方・式	対 第公園和 利用 支払 公園和 公園和	表数 (a) 利用者がより良いま 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に	環境で公園を利用できる の向上 系るガス代、電気代、水	ようにする。	の支払い	1					目標)
対 象 · 大	)目的 意図	対象カ 意 (対象を3 な 中 ル 果指標	バー 率 図 E語にして) 目 的 名 考え方・式 度	対 第公園 和用 支払 公園 和 公園 和 不 公園 和 不 公園 和 不 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	表数 (a) 利用者がより良いま 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に	環境で公園を利用できる の向上 系るガス代、電気代、水平成14年度(実績)	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 (	の支払し	1				7年度(	目標)
対象・ 大 アウト	目的図を	対象カ 意 (対象を3 な 中 現指標	バー室図り     1       おおり<	対 象公園和 利用 支払 収	表数(a) 利用者がより良いま 者の増加、満足度の 明細、納品書 維持管理事務所に 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上 系るガス代、電気代、水	ようにする。	の支払し	1					目標)
対 象 · 大	)目的 意図	対象カ 意 (対象を3 な 中 現指標	<ul><li>ボーン (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	対 多 公園 和	利用者がより良い 対力 は がより良い 者の増加、満足度の 明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上 系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 ( 3 8 件	の支払い	1					目標)
対象・ 大 アウト	目的図を	対象カ 意(対象を3 な 中成果指標 最終	ボー し	対 多 公園 を	表数(a) 利用者がより良い話者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に任 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレーシ	環境で公園を利用できる の向上 系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 ( 3 8 件 活用する市民が	の支払 <i>l</i> (実績) が増える。	\ 平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	
対象・ 大 アウト	目的図を	対 意 (対象を3 な 中成 最 よ 最 よ に に に に に に に に に に に に に	ボー し	対 多 公園 利用 記述 公園 で 公園 で 公園 で 公園 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	表数(a) 利用者がより良い話者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に任 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレーシ	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績)	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 ( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度 (	の支払 <i>l</i> (実績) が増える。	\ 平成		(目標	) 平成 1		
対象・ 大 アウト	目的図を	対 意 (対象を3 な 中成 最 よ 最 よ に に に に に に に に に に に に に	ボー し	対 多 公園 利用 記述 公園 で 公園 で 公園 で 公園 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	表数(a) 利用者がより良い話者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に任 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレーシ	環境で公園を利用できる の向上 系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 ( 3 8 件 活用する市民が	の支払 <i>l</i> (実績) が増える。	\ 平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	
大りかり	日意 き カ標	対 意 (対象を3 な 中成 最 表標	<ul><li>バ 語 目 指考年指指考年指</li></ul>	対 多	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に低 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 ( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度 ( 不明	の支払 <i>l</i> (実績) が増える。	\ 平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	
大りかり	日意 き カ標	対 意 (対象を3 な 中成 最 表標	<ul><li>バ 語 目 指考年指指考年指</li></ul>	対 多	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に低 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績)	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 ( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度 ( 不明	の支払 <i>l</i> (実績) が増える。	\ 平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	
対 大 フ指 声	日意 き カ標の	対 意 (対象を主) な 中成 指標 終標 を	バ 語 目 指考年指指考年指 な 欠 的 名式度値名式度値 ど	対	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所に低 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度 ( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度 ( 不明	の支払 <i>l</i> (実績) が増える。	\ 平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	
対 大 フ指 声	日意 き カ標の	対 意 (対象を主) な 中成 指標 終標 を	バー に に 標方 標標方 標 な スト で の と 式度値名式度値 ど ト	対公利支公平公憩平苦り	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー会 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) が増える。 (実績)	平成平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	目標)
対 大 フ指 声	日意 き カ標の	対 意 (対象を主) な 中成 指標 終標 を	バー に に 標方 標標方 標 な スト で の と 式度値名式度値 ど ト	対公利支公平公憩平苦り	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー会 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) が増える。 (実績)	平成平成	16年度	(目標	) 平成 1	7年度(	目標)
対象 ·	日意 き カ標 の費	対象 意 (対象を引き) な 中成 最成 特 配費	ボー は	対公利支公平公憩平苦り	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー会 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) が増える。 (実績)	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	) 平成 1	7年度(	目標)
対象 ·	1 日意 き カ	対 意 (対象を引 な 中 ル 果 指 事 れ に 大 の に り に り に り に り に り し の し の し の し の し の し の し の し の し の し	ボーマの     1       指表年指指考年指     分(構成)       本図り     名式度値名式度値       が構成%     0.0%	対公利支公平公憩平苦り	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー会 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払ル (実績) (実績) (実績) (実績) (決算) 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	) 平成 1	7年度(	目標)
対 大 フ指 声 事	1 日意 き カ	対 意 (対 な 中成 最成 特 配費費費	ボーマ図の     1       おきまり     1       大田本の     1       大田本の     1       本の     1       大田本の     1       大田本の     1       大田本の     1       大田本の     1       1     1	対公利支公平公憩平苦り	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー会 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算)	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	) 平成 1	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 事 に	日意     き     力標     の     費業     人事他       的図     工業     人事他	対 意 ( な 中成 最成 特 動 費費費	ボーマの     1       指表年指指考年指     分(構成)       本図り     名式度値名式度値       が構成%     0.0%	対公利支公平公憩平苦り	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー会 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払ル (実績) (実績) (実績) (実績) (決算) 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	) 平成 1 ) 平成 1 32 平成16 ) -	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 事 に	日意     き     力標     の     費業     日       的図     ム標     の     費業     部価	対 意 ( な 中 成 最 成 特 動 で	ボー率       国       指表年指       標序方       標標方       本       コス度値       スペースの       100.0%       100.0%       0.0%       0.0%	対の別の対象を対しています。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	を数(a) 利用者がより良いを 者の増加、満足度の 明細、納品書 維持管理事務所に 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレージ 13年度(実績) ・要望については、	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581 5,154	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	32 平成16)	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 事 に	1 日意 き カ	対 意 ( な 中 成 最 成 特 動 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値 2 (T) 内 (T) h (T)	対の別の対象を対しています。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	を数(a) 利用者がより良い。 者の増加、満足度の明細、納品書 維持管理事務所には 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレー会 13年度(実績)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	) 平成 1 ) 平成 1 32 平成16 ) -	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 3事 内( 下) 同 下)	日意 き カ <b>選業 (R)</b> 的図 ム標 の <b>費</b> 業 (新価)	対 意 ( な 中 成 最 成 特 動 費 費 費 費 費 県	ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値 2 (T) 内 (T) h (T)	対の別の対象を対しています。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	を数(a) 利用者がより良いを 者の増加、満足度の 明細、納品書 維持管理事務所に 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレージ 13年度(実績) ・要望については、	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581 5,154	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	32 平成16)	7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財 ・ 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財	日意     き     力     業     R)     日       自意     も     カ標     の     事業     日     部価       的図     ム標     の     事業     部価	対 意対 な 中成 最 果 指 指 指 指 指 指 指 指 作 業 門 償 ・ 債 ・ 債 ・ 債 ・	ボー 図 () (	対の別の対象を対しています。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	を数(a) 利用者がより良いを 者の増加、満足度の 明細、納品書 維持管理事務所に 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレージ 13年度(実績) ・要望については、	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581 5,154	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	32 平成16)	7年度(	目標)
対 大 ア指 声 3事 内( 下) 同 下)	日意 き カ <b>聖業 人事他減合</b> 国市そ的図 ム標 の 費業 高価	対 意() な 中成 最成 特 動 養理 () ・ 債の の象 象 お 指 指 指 事 動 費費費費計 県等他	ボー 率 図() 的 名式度値名式度値 3 (100.0% 100.0% 100.0%	対の別の対象を対しています。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	を数(a) 利用者がより良いを 者の増加、満足度の 明細、納品書 維持管理事務所に 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレージ 13年度(実績) ・要望については、	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581 5,154	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払し (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	32 平成16)	7年度(	目標)
対     大     ア指     声     3事     内(     財(       ま     **     **     **     **     **     **     **	日意 き カ <b>聖業 人事他減合</b> 国市そ的図 ム標 の 費業 高価	対 意対 な 中成 最 果 指 指 指 指 指 指 指 指 作 業 門 償 ・ 債 ・ 債 ・ 債 ・	ボー 率 図() 的 名式度値名式度値 3 (100.0% 100.0% 100.0%	対 公 利 支公平 公憩平 苦 ) 平	を数(a) 利用者がより良いを 者の増加、満足度の 明細、納品書 維持管理事務所に 13年度(実績) 利用者数 遊び、レクレージ 13年度(実績) ・要望については、	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581 5,154	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	32 平成16)	7年度(	目標)
対     大     ア指     声     3事     内(     財(       ま     in     in     in	日意 き カ <b>聖業 人事他減合</b> 国市そ的図 ム標 の 費業 高価	対 意() な 中成 最成 特 動 養理 () ・ 債の の象 象 お 指 指 指 事 動 費費費費計 県等他	ボー 率 図() 的 名式度値名式度値 名式度値 名式度値 100.0%	対 公 利 支公平 公憩平 苦 ) 平	を数(a)  利用者がより良い。  者の増加、満足度の  明細、納品書 維持管理事務所に  13年度(実績)  利用者数  遊び、レクレー  13年度(実績)  ・要望については、  13年度(決算)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件  ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算) 23,581 5,154	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払し (実績) (実績) (実績) (決算) 0 2,912 0	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	32 平成16)	7年度(	目標)
対     大     ア指     声     3事     内( 財( 活       ま     ・     ・     ・     ・     ・	日意 き カ <b>雲 美</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職的図 ム標 の <b>貴</b> 業 部価	対 意() な 中成 最成 特 動 経知 ・ 債の財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財	ボー 率 図() 的 名式度値名式度値名式度値 2 100.0% #DIV/0! #DIV/0!	対 公 利 支公平 公憩平 苦 ) 平	を数(a)  利用者がより良い。  者の増加、満足度の  明細、納品書 維持管理事務所に  13年度(実績)  利用者数  遊び、レクレー  13年度(実績)  ・要望については、  13年度(決算)	環境で公園を利用できる の向上  系るガス代、電気代、水 平成14年度(実績) 40件  ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 不明 できる限り早く対応す  平成14年度(決算)  23,581 5,154	ようにする。 道代、車検費用 平成 1 5 年度( 3 8 件 活用する市民が 平成 1 5 年度( 不明 る。	の支払い (実績) が増える。 (実績) の 2,912 の 2,912	平成平成	1 6 年度 1 6 年度	(目標	32 平成16)	7年度(	目標)

評	<u>叫(フェフ.</u> 価	<u>/</u> 視	点						評価チ:	・ックリ	1176					1次証価	2次評価
ат			(1 ~ 1)		対免力バ	*_ 家け草	l1						他団体 b	<u>リカバー率</u> か	《任1)	「人計画	2.从計画
有	受益者(*		•				<u>い</u> は整合して				と受益者が不						
											る □ 実績値						_
効	成果の乳	€績(2	~ 1)					たいると言え						、記して ていると言え	ない	3	0
性	B = 4 - 1				果があがっ												
4点	- 成果向」	上余地	!(1 ~ 1)		成果向上	策あり	市耶	戦員の直営管	理の廃	止					特になし		
					比較でき		<u> </u>	団体名				<b>V</b>	比較でき	る団体はない			
	ンゴチもまつ!	\/ <b>4</b>	4)		他団体の	数字を把	握している	活動配	:::::::::::::::::::::::::::::::::::::	Ţ			把握して	いない			
	活動配分	ר) (ז ~	1)	<b>└</b>	. □ 他回	団体より少	ない	□ 他	団体と同	1程度			他団体よ	り多い			
効				多	い,または	は少ない場	合の理由										
					比較でき	る団体がる	ある	団体名				V	比較でき	る団体はない	١		
	単位コス	<b>⊦</b> (1 ~	. 1)		他団体の	)数字を把	握している						把握して	いない			
率	十四二八	( .	1)	<b>▶</b>	□ 他回	団体よりコス	ストが低い	□他	団体と同	1程度	: :		他団体よ	リコストが高し	, 1	_1	_1
_					い,または											_ [	- 1
								、郭団体へ委									
	手段(1~	3)						づけられてい			□ 個人,						
性	3 1%(.	0,					-				☑ 民間(企		-		3		
4点								できない業務	である					可能である			
	コスト削え	減取糾	且(1~ 1)				みを行って				□ 特に行	っていな	:11				
				-	内容	巾職貝0.	直営管理	の発止									
平 成	1 5 ~ 1	6	年度に	金田田百	士咄号の	・ 古学学理	1		改割	事士服	戦員による除	古前字#	七类左底	⊢! <b>+</b> _	総合評価	Ъ	ח
実 施	15~1	女 善	内 容	沐起	巾堀貝の	)且吕官珪	Ė		内容	平町	頭貝による(は	早男走	F耒を廃」	EUIE.	評価	В	D
5 42	後の対応	(7h	(3/7//)														
7 71	タリスツルい	() )	<u> フョフ)</u>	1													
現在意	忍識 して	- L1	る課題														
-70 12 1			0 p/ 20														
市民,関	係者 市民	,関係	者の名称														
からの	意見等意見		- +														
要 望	等意見	. ,要	望内谷														
	( 1	)	対応内容														
			実施期限	平成		年	月										
課題·要	望等		対応内容														
	( 2	!)															
へのす	付 応		実施期限	平成		年	月										
			対応内容														
	( 3	( )				7											
			実施期限	平成		年	月										
7 0 11	± = - ·																
	考えられ	<u> </u>															
以善	カアイラ	- "												A 44 A	<del>-</del>	4 No. 407 / 77	0 >L +T /T
														今後の拡 大		1次評価	2次評価
				<b>举</b> 李	未紅に ト	ス維持答	理業務の国	宇族						現状			
				* 1	ZIUICA.	OWE14 E	± <del>★</del> 4万♥25	₹IJB						方法			
亚成 1	7~19年	直度 (	の方向性											民間参			
1 /3%	, , , , ,	- 152 0	2 73 I-3 II											縮	小 小		
														統合/終			
														廃止			
2 次 評	価委員	会:	コメント	公園:	維持管理	事務所清	掃・点検賞	業務と統合の	うえ整	理を	検討してくた	ごさい					

(内	部事	務)	事業	コード	44206	670				部	長	次	長	課	長
₩ 4	ኒ 1 5 :	年度	車	業名	か 国 4	維持管理事務所清排	坦 <b>,</b> 占捻 <del>类</del> 教								
+11,	ζ I J ·	十反	<del>"</del>	* 1	乙图	胜付日生争伤的用	师" 从快来伤								
1	事業	€概3	要(ドゥ)						'						
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			所 管	課	建設部			
総	合計	画		中	4	個性と風格のある	街並みの創造			所 管	話話	公園緑地	課		
政	策が	5 策		<b>小</b>	2	緑の保全と育成				所管課	長氏名	伊丹 幸え	ŧ		
体		系		細						記入者	氏名	若原 優麗	嗣		
事		業	期	間	平成1	15年8月から平成 <sup>2</sup>	16年3月 経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話	番号	38-2065		内線	2842
根	拠	法		要綱 等							主体				
実		施	手	法		直営	□ 一部委託	☑ 全部委託	:	□補助			負担金		
委			託	先			名称					消防用設		宁点検	
							務所の消防設備の保守点	.検			но го д	<u>l</u>			
事	ji	業	Ø	概 要											
•				1-70											
	_				白動生	火災報知器、消火	器具の作動点検								
					I = 37	/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\									
事	è	¥	Ø	現 状											
<b>-</b>		~	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	-70 //											
	ı	目的国	実現のため	ത											
			るび実施内												
		- FX/	~ ~ //UEY	,											
				指標名	契約:	金額									
アク	<b>ラ</b> テ	ィブ		年 度		13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成.1	7年度(	目標)
指		標	活動指標	指標値		21,000	21,000	21,00				( 1-110-)		(	1.1.0.7
-		123.		単位コスト					-						
	_			指標名				<u>l</u>					l		
アウ	トブ	<sup>P</sup> ット				13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指	' '	標	結果指標	指標値	1 7-70	12 (2000)	11-2011	17-2015	()	1 7-70	- 1,2	( – 13. )	1 7-20 1		- 1 )
10		ាភ		単位コスト											
2	事業	凯	果(アウ)		<u> </u>			<u>l</u>					<u> </u>		
			<u></u>	· ·		ful m +v									
			対	· ·	公園	利用者									
				· ·			受 益 数	牧 (b)		比	率 (b	÷ a) %			
事第		目的		象			受 益 梦	牧 (b)		比	率 (b	÷ a) %			
事第	≰の	目的		象 バ - 率	対象	R 数 (a)	受益数		听を不慮 <i>0</i> .	l		÷ a) %			
事第	≰の	目的	対象力意	象 バ - 率	対象	R 数 (a)	,		所を不慮の	l		÷ a) %			
事第	≰の	目的	対象力意	象 バー率 図	対象	R 数 (a)	,		听を不慮 <i>0</i>	l		÷ a) %			
事第	<b>美の</b>   象・意	目的	対象力意	象 バ - 率 図 E語にして)	対象	快数 (a)	,	ため管理事務所	新を不慮 <i>0</i>	l		÷ a) %			
事新対象	<b>美の</b>   象・意	目的意図	対象力 意 (対象を3	象 バー率 図 E語にして)	対 多安心 安定	<ul><li>数 (a)</li><li>して利用できるよー</li><li>した公園管理を行っ</li></ul>	うな安定した管理を行う	ため管理事務所	听を不慮 <i>0</i>	l		÷ a) %			
事新対象	<b>美の</b>   象・意	目的意図	対象力 意 (対象を3	象 パー率 図 E語にして) 目 的 指標名	対 第 安心 安定 補修[	R 数 (a)  して利用できるよ・  した公園管理を行・	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期	ため管理事務所		事故から		÷ a) %			
事新対象	<b>美の</b>   象・意	目的意図	対象力 意 (対象を3 な 中 間	象 バー 率 図 E語にして) 自 的 名 考え方・式	安定 補修[	<ul><li>数 (a)</li><li>して利用できるより</li><li>した公園管理を行り</li><li>回数</li><li>の不具合が減少する</li></ul>	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費	ため管理事務所 点検行う	補修匠	の事故から	6守る。				
事対対大	<b>養の</b> ∤	目的意図	対 象 カ 意 (対象を3 な 中 ル 果指標	象 バー 率 図 目 指標表方・度	対 第 安心 安 補修[ 平成	た数 (a) して利用できるよー した公園管理を行っ 可数 の不具合が減少すっ 13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績)	ため管理事務所 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度	補修匠	の事故から	6年度(			7年度(	目標)
事対が大	<b>美の</b>   象・意	目的図	対象力 意(対象を3 な 中成果指標	ままります。 第 本 図) ・	安定 補修 平成	た数 (a)  して利用できるよう  した公園管理を行う  回数  の不具合が減少する 13年度(実績)  0回	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費	ため管理事務所 点検行う	補修匠	の事故から	6守る。			7年度( 0回	目標)
事対対大	<b>養の</b> ∤	目的意図	対象力 意 (対象を3 な 中成果指標	第本図()       指表末標標       指表末標標	安定 補償 改平 苦情	た数 (a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数  の不具合が減少する  13年度(実績)  の回  件数	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回	ため管理事務所 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度	補修匠	の事故から	6年度(				目標)
事対が大	<b>養の</b> ∤	目意とかった。	対象 カカ 意 (対象 な 中成果指標 終	(ま)	安安福设平 苦安	表数 (a)  して利用できるよ  した公園管理を行  の数  の不具合が減少す  13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回	ため管理事務所 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度 0回	補修匠(実績)	D事故から 回数 / 年 平成 1	6年度( 0回	〔目標〕	平成1	0回	
事対が大	<b>養の</b> ∤	目意とかった。	対 意 対 な 中 成 最 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長	また。 また。 また。 また。 また。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	対 安 審 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	表数 (a)  して利用できるよ  した公園管理を行  回数  の不具合が減少す  13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度 0回	補修匠(実績)	D事故から 回数 / 年 平成 1	6年度( 0回	〔目標〕	平成1	0回 7年度(	
事対が大	<b>養の</b> ∤	目意とかった。	対 意 対 な 中 成 最 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長	(ま)	対 安 審 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	表数 (a)  して利用できるよ  した公園管理を行  の数  の不具合が減少す  13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回	ため管理事務所 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度 0回	補修匠(実績)	D事故から 回数 / 年 平成 1	6年度( 0回	〔目標〕	平成1	0回	
事対 大ア指	<b>養の</b>   で	目意のような標	対 意 (対 な 中成 最成 果指 終標	ボー して は	対 安 審 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	表数 (a)  して利用できるよ  した公園管理を行  回数  の不具合が減少す  13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度 0回	補修匠(実績)	D事故から 回数 / 年 平成 1	6年度( 0回	〔目標〕	平成1	0回 7年度(	
事対 大ア指	<b>養の</b>   で	目意のような標	対 意 対 な 中 成 最 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長	ボー して は	対 安 審 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	表数 (a)  して利用できるよ  した公園管理を行  回数  の不具合が減少す  13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度 0回	補修匠(実績)	D事故から 回数 / 年 平成 1	6年度( 0回	〔目標〕	平成1	0回 7年度(	
事対 大 ア指 芦	( すっぱ ) で	目意 き カ標 の	対 意 (対 な 中成 最成 特 に 経標 終標 を	ボー して は	対 安 審設平 苦安平	表数 (a)  して利用できるよ  した公園管理を行  回数  の不具合が減少す  13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成 1 5 年度 0回 平成 1 5 年度	補修匠(実績)	D事故から 可数 / 年 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	〔目標〕	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3	( すっぱ ) で	目急・カークラーので	対意(対象を引き) おり かん ままり おり かん はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま	また。 また。 また。 また。 では、ことでは、 では、ことでは、 では、ことでは、 では、ことでは、 では、ことでは、 では、ことでは、 では、ことでは、ことでは、 では、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、こと	対 安 審設平 苦安平	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数  の不具合が減少す。 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利) 13年度(実績)  の件	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修[(実績)	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦	(では、) 「「「」」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	目息 か	対意(対象 中成果 指標 終標 日間標 終標 日間費	また は また は また は また は また は また は また は また は	対 安 審設平 苦安平	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数  の不具合が減少す。 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利) 13年度(実績)  の件	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修匠(実績) (実績) (実績)	D事故から 可数 / 年 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3	(では、) 「「「」」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	目息 か	対 意 対 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	(ボーン は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	対 安 審設平 苦安平	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数  の不具合が減少す。 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利) 13年度(実績)  の件	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修E (実績) (実績) (実績)	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3事	(では、) 「「「」」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	目意 き カ 質業人事的図	対 意 対 意 対 な 中 成 最 成 特 動 費 費 費 費 費	第本図)       指考年指指考年指       本図)       特別       本図)       標方標標方標標方標       本の1成ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	対 安 審設平 苦安平	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数  の不具合が減少す。 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利) 13年度(実績)  の件	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修E (実績) (実績) (実績) 0 21	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3 事 内	( ) 「	目意 き カ 質 人事他的図 ム標 の 費業 部	対 意 対 意 対 な 中 成 最 成 特 動 で 経 長 長 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	(ボーン は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	対 安 審設平 苦安平	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数  の不具合が減少す。 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利) 13年度(実績)  の件	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修E (実績) (実績) (実績)	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3 事 内	(では、) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	目意 き カ	対 意 対 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	ままります。 ままままます。 ままままます。 はままままます。 はままままます。 はままままます。 はままままます。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	対 安 安 補設平 苦安平 平 成	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行い  可数の不具合が減少す・ 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利が 13年度(実績)  の件  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成 1 4 年度 (実績) 0回 用者が増える。 平成 1 4 年度 (実績) 0件	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修[(実績) (実績) (実績) 0 21 0	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3 事 内	( ) 「	目意 き カ	対 意 対 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	ままります。 ままままます。 ままままます。 はままままます。 はままままます。 はままままます。 はままままます。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	対 安 安 補設平 苦安平 平 成	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数  の不具合が減少す。 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利) 13年度(実績)  の件	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績)	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修E (実績) (実績) (実績) 0 21	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内(	( ) 「	目意 き カ	対 意 (	ままれる (A man and and and and and and and and and a	対 安 安 補設平 苦安平 平 成	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行い  可数の不具合が減少す・ 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利が 13年度(実績)  の件  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成 1 4 年度 (実績) 0回 用者が増える。 平成 1 4 年度 (実績) 0件	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修[(実績) (実績) (実績) 0 21 0	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	(素) である (表)	目意 き カ	対 意 (	ままれる (本語にして) (本語にして) (本語にして) (本語にして) (本語に対して)	対 安 安 補設平 苦安平 平 成	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行い  可数の不具合が減少す・ 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利が 13年度(実績)  の件  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成 1 4 年度 (実績) 0回 用者が増える。 平成 1 4 年度 (実績) 0件	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修[(実績) (実績) (実績) 0 21 0	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	( ) 「	目意 き カ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	対 意 (	ままれる (本語に ) (本	対 安 安 補設平 苦安平 平 成 定 修備成 情定成	表数 (a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数の不具合が減少す・ 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利  13年度(実績)  の件  13年度(決算)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績) 0件	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修E (実績) (実績) (決算) 0 21 0	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標) (目標) (予算) - - 0	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対     大     ア指     芦     3事     内(     財(	(素) である (本) 「大」 「大」 「大」 「大」 「大」 「大」 「大」 「大」 「大」 「大」	目意 き カ	対 意 (	ままれる (A) (本) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	対 安 安 補設平 苦安平 平 成 の 定 修備成 情定成	を数(a)  して利用できるよー  した公園管理を行い  可数の不具合が減少す・ 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利が 13年度(実績)  の件  13年度(実績)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成 1 4 年度 (実績) 0回 用者が増える。 平成 1 4 年度 (実績) 0件	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修[(実績) (実績) (実績) 0 21 0	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標)	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)
事対     大     ア指     芦     3事     内(     財(     活	(素) で 「	目意 と カ	対 意 (	ままれる (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	対 安 安 補設平 苦安平 平	表数 (a)  して利用できるよー  した公園管理を行っ  回数の不具合が減少す・ 13年度(実績)  の回  件数  した管理なため利  13年度(実績)  の件  13年度(決算)	うな安定した管理を行う うため管理事務所の定期 ることにより維持管理費 平成14年度(実績) 0回 用者が増える。 平成14年度(実績) 0件	ため管理事務F 点検行う が減少する。 平成15年度 0回 平成15年度	補修区 (実績) (実績) (決算) 0 21 0	D事故から 可数 / 年 平成 1 平成 1	6年度( 0回 6年度( 0件	(目標) (目標) (予算) - - 0	平成 1	0回 7年度( 0件	目標)

評	価	<u>エフフ)</u> ネ	視	点							診	平価チ:	ェックリ	Jスト								1次評価	2次評価
	対	象カバー				対象カル	「一率は	高い		[								他団体	よよりカ	バー率	が低い		
有	受:	益者(1~	1)	-	<b>V</b>	事業意図	図と受益	者は整	合して					と受益	者が不								
効	ct:	果の実績	(2	1)	V	中間成界	果指標の	実績値	直を把握	<b>ĕ</b> し, <b>E</b>	目標値を	設定	している	る 🗌	実績値	また	は目	標値が	が未記	λ		2	3
XII	DX:	未の夫領	!(2 ~	1)	<b>▶</b>	☑ 実績	値から反	뷫果がる	あがって	こいる	と言える	,			実績値	から	成果	があた	がってし	ると言	えない	3	3
性	타	果向上余	t#1/1 ~	- 1)	成	果があが	っていな	い場合	<u> </u>														
4点	- 13%:	未凹工示	: FB( 1	1)		成果向	上策あり														特になし		
						比較でき	きる団体が	がある			団体名	S								体はな	l I		
	活	動配分(1	~ 1)	)	1	他団体の					活動配名		<u> </u>						ていな				
	,,,,,	E311073 ( .	٠,	,		□他				ا	□ 他団	]体とに	司程度				Ш.	他団体	はり多	۱۱		-	
効						ハ,またl			理由													_	
						比較でき					団体名	A								体はな	L I		
	単位	位コスト(1	1~ 1	1)		他団体の					単位コス		710 de						ていな			_	_
率											□ 他団	11本Cli	引任歧				Ш.	凹凹14	トレルム	ストが高	U	<b> 1</b>	0
						ハ,またに 営(正規!				可研	★∧禾≐	エー フィ	۱2 <del>      </del>	ター~	21.7								
						音(正戏) 行政職員									がし 個人 , 家	京豆	+#++	古竿か	はおうべ	き部分:	がある		
性	手!	段(1~ :	3)			民間(企																	
4点						嘱託, 篮									嘱託,既								
.,,,,,		- 1 3/215 - 0 ===				コスト削					. 74:37.				特に行				370- 3	130 000		_	
	=/	スト削減耳	X組(1	~ 1)		内容																-	
<u>-</u>				<u></u>								76.4	_								<i>\(\(\)</i>	_	_
平 成実 施	15 1,	~ 1 6 <i>t</i> - 747	) 牛 基 「	度 に 内 容	課題							改善 内容									総合評価	ΙA	В
																					#1 III		
5 今後	色の対	付応(ア	<u>'クシ</u>	ョン)																			
現在意	忍 識	してし	ハる	課 題				事務所	として	利用	し、テ	ニスニ	1— Þ′	、野均	环場、芝	生儿	ム場(	の管坦	を行っ	っている	が事務的	けの統廃・	台
+0 86	1/5.42	+	1/5 ±2/	0 67 1h		討が必要	ŧ																
市民,関	川赤石 辛 日	巾氏,朕	JI於白(	の石砂																			
からの 要 望	总兄	意見,	要 望	内容																			
女主	₩																						
		(1)	対局	心内容																			
		( . )	実施	<b>も期限</b>	平成		年		月														
課題·要	望等				1 7-20		<u> </u>		1, 3														
		(2)	对加	心内容																			
へのす	讨 応		実施	<b>も期限</b>	平成		年		月														
			<del>3.1</del> G	心内容																			
		(3)	ויונג	טרא <del>בר</del>			_																
			実施	<b>も期限</b>	平成		年		月														
その他																							
改善の	カ ア	イデフ	γ <u> </u>																-	A 14 0	<u> </u>	I	T= .=
																					方向性		2次評価
																					· 元 表 維 持		
					消防	設備点検	计消除	法施行	担則筆	[2 1	冬の41	筆1頂	5万7万	笹3エ゙	ョニ 定め	っこ					改善		
平成 1	7 ~	19年度	ŧの≠	6 位性					ハレンソコ	, , ,	// V/ T	NJ 1 25	, X O 2	A3 J 2;	RICALVA	~ ~							
1 22	,	. , , ,,,	2 00 7	, 1-3 1-	,,,,,,,		- 7 / 1/2	, 0,												縮	<u>文 HU (3</u>		
																			-		<u>。</u> 终期設定		
																					/ 休 止		
																			- '				1
2 次 評	価	委 員 会	: コ メ	レント	芦屋	浜公園緑	地等維持	持管理	業務と	統合	のうえ	整理を	検討	してく	ください	١.							

(内部事	<b>事務</b> )	事 業	コード	4420680				部	長	次	長	課	長
平成15	年度	事	業 名	公園設備・物	品等補修	<b>事務</b>							
		要(ドゥ)											
第3次芦	屋市	まちづく	りの目標	4 快適でう	るおいの	ある都市づくり		所	管 課	建設部			
総合	計画		中	4 個性と風	格のある	街並みの創造		17/1		公園緑地	也課		
政策力	施 策		<u>/</u> ]\	2 緑の保全	と育成			所管	管課長氏名	伊丹 幸	夫		
体	系		<u> </u>					_	入者氏名			羊種	
事	業	期		平成 1 5 年 4 /	日二亚式	16年2日 22 労労時時	☑ 経常 □ 臨時			0797-38			20.42
					月~十八	16年3月 経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電			-2003	内線	2842
根 拠				都市公園法				実		市			
実	施	手				一部委託	□ 全部委託		1115=75 ===		負担金		
委		託	先	□ 外郭団体	委託	名称	□民	間委託	委託 内容	ř			
事	業	の	概 要	公園施設に係	る消耗品	(トイレットベーパー,	小動物用飼料等)						
_													
事	業	の	現 状	南芦屋浜地区	を除く公園	園・緑地の便所用の消耗	:品,打出公園の小動物	の飼料	料・購入				
	目的影	実現のため	<b>の</b>										
	手段刀	及び実施内	容										
	3 1 2/2	~ O / (1) Di .	, 11										
			1E 1= C	<b>体にはる**</b>									
				便所棟の数			T = " : :				1		
アクテ	ィブ	活動指標	年 度	平成13年度	(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平	成 1 6 年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
指	標	/口里//7日1示	指標値			30ヶ所	31ヶ所						
			単位コスト				9451円/ヵ所						
			指標 名	消耗品費			L				1		
アウトこ	プット		年 度	平成13年度	(宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	亚	.成 1 6 年度	(日煙)	平成 1 7	生度 (	日煙)
		結果指標		十成13千段	. (大限)				7九 1 0 千皮	(口1ボノ	T13X 1 7	十及(	ᄓᇷᄼ
指	標		指標値			1,368千円	818千円						
			単位コスト										
2 事第	<u> </u>	果(アウト	<u> </u>										
			4	八国压尔特数									
		対	象	公園便所棟数									
事業の						123	t (b) 123		lt. 塞 (b	∸ a) %	6	100%	
	目的			公園便所棟数 対 象 数 (a)		123	文 (b) 123		比 率 (b	÷ a) %	ó	100%	
事業の 対象・	目的	対象力	バー 率	対 象 数 (a)		•		12 🖨 1		•			
	目的	対象力意	バ - 率 図	対 象 数 (a)		123 受 益 数		り良い		•			
	目的	対象力意	バー 率	対 象 数 (a)		•		り良い		•			
	目的	対象力意	バ - 率 図	対 象 数 (a)		•		り良い		•			
対 象 ·	目的	対象力意	バ - 率 図 E語にして)	対 象 数 (a)	トイレツ	トペーパーの補充をする		り良い		•			
対 象 · 	目的意図	対 象 カ 意 (対象を3	バ - 率 図 E語にして)	対象数(a) 公園便所棟の	トイレツ	トペーパーの補充をする		り良い		•			
対 象 · 	目的意図	対象力 意 (対象を3	バ - 率 図 E語にして)	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加	トイレッ	トペーパーの補充をする		り良い		•			
対 象 · 	目的意図	対 象 カ 意 (対象を3	バー 率 図 E語にして) 目 的 名	対象数(a)公園便所棟の利用者の増加苦情・要望件	トイレッ ,満足度の	トペーパーの補充をする の向上		り良い		•			
対 象 · 	目的意図	対象カ 意 (対象を3 な	バー 率 図 語にして) 目 的 指標 名 考え方・式	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持	トイレッ ,満足度の 数 管理によ!	トペーパーの補充をする D向上 J苦情件数が減る	ことにより利用者がよ		, 1環境で公園	を利用で	ぎきるよう	こする	口悟、
対象·  大	目的図	対象カ 意 (対象を3 な 中 ル 果指標	バー 率 図 E語にして) 目 標 表え方・式 度	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度	トイレッ ,満足度の数 管理により	トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成14年度(実績)	ことにより利用者がよ ことにより利用者がよ 平成 1 5 年度 (実績)		小環境で公園	を利用で		こする	目標)
対象・ 大 アウト	目的図	対象カ 意 (対象を3 な 中 果指標	バー 率 図で) も 標方・ で が 名式度値	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度 65件	トイレッ ,満足度 <sup>(</sup> 数 管理によ (実績)	トペーパーの補充をする D向上 J苦情件数が減る	ことにより利用者がよ		, 1環境で公園	を利用で	ぎきるよう	こする	目標)
対象·  大	目的図	対象カ 意 (対象を3 な 中 ル 果 指標	<ul><li>バーン</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります<td>対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度 65件 公園利用者数</td><td>トイレッ ,満足度<sup>(</sup> 数 管理によ (実績) ::</td><td>トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成14年度(実績) 27件</td><td>ことにより利用者がよ 平成 1 5 年度 (実績) 36件</td><td>平</td><td>小環境で公園</td><td>を利用で</td><td>ぎきるよう</td><td>こする</td><td>目標)</td></li></ul>	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度 65件 公園利用者数	トイレッ ,満足度 <sup>(</sup> 数 管理によ (実績) ::	トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成14年度(実績) 27件	ことにより利用者がよ 平成 1 5 年度 (実績) 36件	平	小環境で公園	を利用で	ぎきるよう	こする	目標)
対象・ 大 アウト	目的図	対象カ 意 (対象を3 な 中 ル 果 指標	<ul><li>バーン</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はおります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります</li><li>はなります<td>対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度 65件 公園利用者数</td><td>トイレッ ,満足度<sup>(</sup> 数 管理によ (実績) ::</td><td>トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成14年度(実績)</td><td>ことにより利用者がよ 平成 1 5 年度 (実績) 36件</td><td>平</td><td>小環境で公園</td><td>を利用で</td><td>ぎきるよう</td><td>こする</td><td>目標)</td></li></ul>	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度 65件 公園利用者数	トイレッ ,満足度 <sup>(</sup> 数 管理によ (実績) ::	トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成14年度(実績)	ことにより利用者がよ 平成 1 5 年度 (実績) 36件	平	小環境で公園	を利用で	ぎきるよう	こする	目標)
対象・ 大 アウト	目的図	対象カ 意 (対象を3 な 中 ル 果 指標	バー しし	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件に定期的な維持で成13年度 65件公園利用者数額い、遊び、	トイレッ ,満足度の 数 管理により (実績)	トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成14年度(実績) 27件	で ことにより利用者がよ 平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える	· 平	小環境で公園	(目標)	ぎきるよう	にする 7 年度 ( 30件	
対象・ 大 アウト	目的図	対象カ 意(対象を3 な中ルス を は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ボート は	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件に定期的な維持で成13年度 65件公園利用者数額い、遊び、	トイレッ ,満足度の 数 管理により (実績)	トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成 1 4 年度(実績) 27件 ションの場として利用・	で ことにより利用者がよ 平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える	· 平	,1環境で公園 成16年度 30件	(目標)	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	にする 7 年度 ( 30件	
対象・ 大 アウト	目的図	対象カ 意(対象を3 な中ルス を は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	バー しし	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件に定期的な維持で成13年度 65件公園利用者数額い、遊び、	トイレッ ,満足度の 数 管理により (実績)	トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成 1 4 年度(実績) 27件 ションの場として利用・	では、リ利用者がよいでは、15年度(実績) 36件 活用する市民が増える 平成 15年度(実績) 平成 15年度(実績) で成 15年度(実績)	· 平	,1環境で公園 成16年度 30件	(目標)	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	にする 7 年度 ( 30件	
対 大 ウ ト	目意 き カ標	対象力 意 (対象を3 な 中 の に の に 対象を3 は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	バー し	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度 65件 公園利用者数 憩い、遊び、 平成13年度	トイレッ ,満足度の 数 管理により (実績) レクレーコ (実績)	トペーパーの補充をする の向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明	· 平	,1環境で公園 成16年度 30件	(目標)	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	にする 7 年度 ( 30件	
対象・ 大 アウト	目意 き カ標	対象力 意 (対象を3 な 中 の に の に 対象を3 は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	バー し	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な維持 平成13年度 65件 公園利用者数 憩い、遊び、 平成13年度	トイレッ ,満足度の 数 管理により (実績) レクレーコ (実績)	トペーパーの補充をする D向上 D苦情件数が減る 平成 1 4 年度(実績) 27件 ションの場として利用・	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明	· 平	,1環境で公園 成16年度 30件	(目標)	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	にする 7 年度 ( 30件	
対 大 ア指 芦 ト 屋	目意 き カ の	対象 カ 意(対象を3 な 中 展 指標 と 機 に と に は に は に は に は に は に は に は に は に は	バー に 標方 標標方 標 な 図) 的 名式度値名式度値	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な3年度 65件 公園利用遊び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度の 数 管理により (実績) レクレーコ (実績)	トペーパーの補充をする の向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度(実績)	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標)	で 平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 フ指 声 3	目意 き カ 賞	対象 意 (対象 中 成 最 成 特 配 )	バー に	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な3年度 の65件 公園利用遊び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度( 数 管理により ( に レクレーラ ( 実績)	トペーパーの補充をする の向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度 (実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度 (実績) 動物の好きな市民に委	ではより利用者がよりでは、15年度(実績) 36件 活用する市民が増える 平成 15年度(実績) 不明 託	。	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標)	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 ト 屋	目意 き カ の	対象 カ 意(対象を当 な 中 服	バー に	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な3年度 の65件 公園利用遊び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度( 数 管理により ( に レクレーラ ( 実績)	トペーパーの補充をする の向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度(実績)	ではより利用者がよりでは、15年度(実績) 36件 活用する市民が増える 平成 15年度(実績) 不明 託	。	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標)	で 平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 フ指 声 3	目意 き カ 賞	対象 意 (対象 中 成 最 成 特 配 )	バー に	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な3年度 の65件 公園利用遊び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度( 数 管理により ( に レクレーラ ( 実績)	トペーパーの補充をする の向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度 (実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度 (実績) 動物の好きな市民に委	ではより利用者がよりでは、15年度(実績) 36件 活用する市民が増える 平成 15年度(実績) 不明 託	。	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標)	で 平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 フ カ ト 屋 事	目意 き カ標 の 費業	対象 カ 意(対象を当 な 中 服	ボー を 図 が 名 式 度 値 名 式 度 値 と す ト	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な3年度 の65件 公園利用遊び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度( 数 管理により ( に レクレーラ ( 実績)	トペーパーの補充をする の向上 の向上 の方法情件数が減る 平成 1 4 年度 (実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度 (実績) 動物の好きな市民に委	ではより利用者がよりでは、15年度(実績) 36件 活用する市民が増える 平成 15年度(実績) 不明 託	。	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標)	で 平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 フ カ ト 屋 事	目意 き カ	対 意 (対 な 中 成 最 成 特 動 費 費	ボー を 図 が 名 式 度 値 名 式 度 値 と す ト	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な3年度 の65件 公園利用遊び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度( 数 管理により ( に レクレーラ ( 実績)	トペーパーの補充をする D向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度 (実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度 (実績) 動物の好きな市民に委 平成 1 4 年度 (決算) 2,083	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託	。	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標)	で 平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内 ・ 屋 事 訳	目意 き カ 業 人事他的図 ム標 の 費業 一部	対 意 (対 な 中成 最成 特 配費費費	ボー を 図 が 名 式 度 値 名 式 度 値 と す ト	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望件 定期的な3年度 の65件 公園利用遊び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度( 数 管理により ( に レクレーラ ( 実績)	トペーパーの補充をする D向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度 (実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度 (実績) 動物の好きな市民に委 平成 1 4 年度 (決算) 2,083	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託	。	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算)	で 平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内 ・ 屋 事 訳	目意 き カ 業 人事他減的図 ム標 の 費業 部価	対 意 (対 な 中 成 最 成 特 動 で ) で ) で で で で う で で う で で う で う で で う で う	ボー 率 図) 1	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望維持 定期的な13年度 公園利用者数 憩い、近び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度の 変質ではより (実績) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トペーパーの補充をする の向上 の言情件数が減る 平成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託 1世帯当り(円) 2: 平成 1 5 年度 (決算)	中中	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算) -	で表して で成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内 ・ 屋 事 訳	目意 き カ 葉 人事他減合的図 ム標 の 費業 部価	対 意 (対 な 中 成 最 成 特 動 で ) 音 で ) 音 で で で う で で う で う で う で う で う で う で う	ボー 率 図) 1	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望維持 定期的な13年度 公園利用者数 憩い、近び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度( 数 管理により ( に レクレーラ ( 実績)	トペーパーの補充をする D向上 D 苦情件数が減る 平成 1 4 年度 (実績) 27件 ションの場として利用・ 平成 1 4 年度 (実績) 動物の好きな市民に委 平成 1 4 年度 (決算) 2,083	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託	中中	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算)	で表して で成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対     大     ア指     声     3事     内(千)       ま     明(千)	目意 き カ 業 人事他減 <b>合</b> 国的図 ム標 の 費業 部価	対 意 (対 な 中 成 最 成 特 動 で ) 音 で ) 音 で で で う で で う で う で う で う で で う で う で	ボー 率 図() 的 名式度値名式度値 2 スペープ 100.0% 100.0%	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望維持 定期的な13年度 公園利用者数 憩い、近び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度の 変質ではより (実績) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トペーパーの補充をする の向上 の言情件数が減る 平成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託 1世帯当り(円) 2: 平成 1 5 年度 (決算)	中中	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算) -	で表して で成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対     大     ア指     芦     3事     内(     財       ま     ・     国     事     訳り     源	目意 き カ 業 人事他減 <b>合</b> 国市的図 ム標 の 費業 部価	対 意 (対 な 中 成 最 成 特 動 で ) 音 で ) 音 で で で う で で う で う で う で う で う で う で う	ボー 率 図() 的 名式度値名式度値 2 スペープ 100.0% 100.0%	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望維持 定期的な13年度 公園利用者数 憩い、近び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度の 変質ではより (実績) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トペーパーの補充をする の向上 の言情件数が減る 平成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託 1世帯当り(円) 2: 平成 1 5 年度 (決算)	中中	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算) -	で表して で成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対     大     ア指     声     3事     内(千)       ま     明(千)	目意 き カ 業 人事他減 <b>合</b> 国市的図 ム標 の 費業 部価	対 意 (対 な 中 成 最 成 特 動 で ) 音 で ) 音 で で で う で で う で う で う で う で で う で う で	ボー 率 図 () (	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・要望維持 定期的な13年度 公園利用者数 憩い、近び、 平成13年度 小動物園の管	トイレッ ,満足度の 変質ではより (実績) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トペーパーの補充をする の向上 の方 で成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託 1世帯当り(円) 2: 平成 1 5 年度 (決算)	中中	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算) -	で表して で成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7 平成 1 7	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対     大     ア指     芦     3事     内(     財       ま     ・     国     事     訳り     源	目意 き カ 葉 人事他減 <b>合</b> 国市そ的図 ム標 の 費業 部価	対 意 () な 中成 最成 特 動 経却・債 を標 を配費費費費計県等	バー 率 図() 的 名式度値名式度値 ど か (	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・野な3年度 (4) では、13年度 小動物園の管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トイレッ ,満足度の 変質ではよりでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	トペーパーの補充をする の向上 の方 で成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明 託 1世帯当り(円) 2: 平成 1 5 年度 (決算)	平平生物	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算) -	平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対     大     ア指     声     3事     内(     財(       ま     ・ <t< td=""><td>目意 き カ 葉 人事他減<b>合</b>国市そ一的図 ム標 の 費業 部価</td><td>対 意 対 ま な 中 成 最 表 ま も も も も も も も も も も も も も</td><td>バー 率 図() 的 名式度値名式度値 ど か (</td><td>対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・野な3年度 (4) では、13年度 小動物園の管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>トイレッ ,満足度の 数管理により ででである。 レクレーラ では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、</td><td>から上 の向上 の向上 の方情件数が減る 平成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368</td><td>平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明  託 1世帯当り(円) 2 平成 1 5 年度 (決算) 818</td><td>平平生物</td><td>.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度</td><td>(目標) (目標) (予算) -</td><td>平成17</td><td>でする 7年度( 30件 7年度(</td><td>目標)</td></t<>	目意 き カ 葉 人事他減 <b>合</b> 国市そ一的図 ム標 の 費業 部価	対 意 対 ま な 中 成 最 表 ま も も も も も も も も も も も も も	バー 率 図() 的 名式度値名式度値 ど か (	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・野な3年度 (4) では、13年度 小動物園の管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トイレッ ,満足度の 数管理により ででである。 レクレーラ では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	から上 の向上 の向上 の方情件数が減る 平成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明  託 1世帯当り(円) 2 平成 1 5 年度 (決算) 818	平平生物	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算) -	平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)
対大ア指芦3事内( 財( 活ま・事訳() 源() 動	目意 き カ 葉 人事他減合国市そ一職的図 ム標 の 貴業 部価	対 意 対 意 対 な 中 成 最 成 特 動 で 長 果 特 動 に 長 の 財 に し の の は の に の の の の の の の の の の の の の	バー 率 図() 的 名式度値名式度値 ど か (	対象数(a) 公園便所棟の 利用者の増加 苦情・野な3年度 (4) では、13年度 小動物園の管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トイレッ ,満足度の 数管理により ででである。 レクレーラ では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	から上 の向上 の向上 の方情件数が減る 平成14年度(実績) 27件 ションの場として利用・ 平成14年度(実績) 動物の好きな市民に委 平成14年度(決算) 2,083 1,368	平成 1 5 年度 (実績) 36件 活用する市民が増える 平成 1 5 年度 (実績) 不明  託  1世帯当り(円) 2  平成 1 5 年度 (決算) 818	平平生物	.1環境で公園 成16年度 30件 成16年度	(目標) (目標) (予算) -	平成17	でする 7年度( 30件 7年度(	目標)

評	<u>叫(フェファ)</u> 価 ネ	見 点			禁価チェ	ックリスト			1次証価	2次評価
пΤ	対象カバー			+宣()				が任い	八計画	2 八計画
有	受益者(1 ~		□ 対象が 平に 対象 が 平に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				☆ 「			
	文曲日(1	- '/					<u>には、または支血が、部にか</u> たは目標値が未記入	XXE		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	□ 中間成業指標の				たは日標値が不記べ ら成果があがっていると言:	えない	4	4
性	- 成果向上余	t₩(1 ~ 1)	成果があがっていれ	ない場合						
4点	- 成未问工示	יו)של	□ 成果向上策あり					特になし		
			□ 比較できる団体	がある	団体名		□ 比較できる団体はな	61		
	ご まり 高コノン / 4		□ 他団体の数字を	E把握している	活動配分		☑ 把握していない			
	活動配分(1	~ 1)	▶ □ 他団体より	)少ない	□ 他団体と同	程度	□ 他団体より多い			
効			多い,または少ない	1場合の理由						
			☑ 比較できる団体	がある	団体名 阪神	間	□ 比較できる団体はな	11		
	単位コスト(1	I ~ 1)	□ 他団体の数字を	E把握している	単位コスト		☑ 把握していない			
率	千四コスパ	1)	┗ □ 他団体より	コストが低い	□ 他団体と同	程度	□ 他団体よりコストが高	l I	0	_1
<del>'1</del> "			高い,または低い均	場合の理由					U	
			直営(正規職員が	執行)または外郭	団体へ委託してい	る業務について				
	<b>エETL/4</b>	۵۱	☑ 行政職員による	執行が義務づけ	られている	□ 個人,家	庭,地域等が担うべき部分:	がある		
性	手段(1~ :	3)	□ 民間(企業, NPC	O等)では対応で	きない業務である	□ 民間(企業	≹, NPO等)で対応可能であ	る		
4点			□ 嘱託,臨時職員	等では対応でき	ない業務である	☑ 嘱託,臨	時職員等で対応可能である	ذ		
		Π/- A\	☑ コスト削減の取り	〕組みを行ってい	გ	□ 特に行っ	ていない	-	1	
	コスト削減期	又組(1~ 1)	▶ 内容 利用	の少ない施設の	凍結等					
			·		-, -,					
平 成	15~16 1, #= 24r	) 年 度 に 基 内 窓	課題水道・下水道の	使用料金の減額	改善	散水を必要としな	くなった公園・道路の	総合評価	l B	B
~ "JE	0 /2 12	п ,, п			1,20	水道メーターの閉	栓	н пи		
5 今後	後の対応(ア	'クション)						_		
現在:	忍識してし	ハる 課 題								
士兄 題	係者 市民,関	1.6. 字の夕む								
からの	辛 目	が白い石が								
夢 望	意見意見,	要望内容								
		対応内容								
	(1)									
課題·要	· 胡笙	実施期限	平成 年	月						
M K 女	(2)	対応内容								
へのす		実施期限	平成 年	月						
	(3)	対応内容								
	(3)	実施期限	平成年	月						
		ZIII MIII	1 1-20	1 1/3						
その他	考えられる	3								
改善	カアイデフ	7								
							今後 の	方向性	1次評価	2次評価
		•					拡 大	・ 充 実		
							現状	維持		
			現模の大きな公園の	照明灯の減灯・	減光		方法	改善		
平成1	7 ~ 1 9 年度	の方向性					民間:	委 託 等		
							縮	小		
							統合/約	终期設定		
							廃止	/ 休 止		
								-		
2 次 評	価委員会	:コメント								

		74.	- 114						ſ	1-		.,		l.m	
(内)	<b> </b>	務)	事業		ド 6110	120				部	長	次	₹	課	長
亚式	151	年度	車	業	z	公園動物管理業務									
- 13X	1 3 -	十反	<del></del>	* 1	131111	A四到10日4来10									
1 3	車業	- 和工 3	要(ドゥ)						ļ			l			
				11 A D +	#I 0	その他の業務						z+n≐n ⇔n			
				りの目標						所 管	課	建設部	LıL±⊞		
総言		L		中		サービス提供業務						公園緑:			
政分	€ 施	-		小	1	サービス提供業務				所管課·					
体		系		細						記入者	氏名	桑原雅	鍅		
事		業	期	] [	引平成	15年4月~平成16年	年3月 経常臨時	☑ 経常 □ 🛭	<b></b>	電話	番 号	0797-3	8-2065	内線	2842
根	拠	法	令 ' 弱	要 綱 領	新都市·	公園法		•		実施	主 体	市			
実		施	手		k 🔽	直営	□ 一部委託	☑ 全部委託	Į.	□補助			負担金		
委		.,.	託		_		名称		7 民間				飼育、園1	舎の清掃	
			но	,			ロゴブ  鳥、リス他)の飼育、園			女叩女	וניין זו	至517502	, E	מונפולכס ב	
_	21	пс	_	107 2		ム国の小割物(小湯	7、ソヘル)の四月、四	ロの相神							
事	詳	Ē	の	概 要	ζ										
					公園	の小動物を良い状態	<b>態で飼育すること</b>								
事	詳	É	の	現場	犬										
	E	目的官	実現のため	)D											
	-		と呪いため とび実施内												
	7	ニャヌル	k U 天心内	ıЩ											
				1	4										
				指標名		物の飼育・清掃日数									
アク	テ・		活動指標	年 月	_	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成 1	6 年度 (	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標	/白劉/日代示	指標値	直		3 6 5 日	3 6 5 E	3						
				単位コス			4,734円/日	5,572円	3/日						
				指標名		物の頭数	·		Į.						
アウ	トプ	' w L		年月		13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	宝績)	平成 1	6年度(	(日煙)	亚成 1	7年度(	日煙)
指	1. )		結果指標			, 「 」 千及( 天順 )			大限力	T/17% 1	0 千皮(		T-13% 1	7 干及(	ᄓᇷᄼ
拍		標		指標値			21匹	20匹							
				単位コス	1		82,285円/匹	101,700	)円/匹						
	- 1117	- 12 0													
2 }	事業	成身	果(アウト	<u> </u>	_										
2 }	事業			<u> </u>	さいまか										
2 -	事業		果(アウト 対	<u> </u>	划動:	物好きな市民									
			対	<u> </u>			2 0匹	女 (b) 2	0匹	比	<b>率</b> (b	÷ a) <sup>(</sup>	%	100%	
事業	<b>あ</b>	目的	対	\$			2 0 匹 安 益 娄	女 (b) 2	0匹	比	率 (b	÷ a) (	<b>%</b>	100%	
	<b>あ</b>	目的意図	対象力	バー 3	室対 象	象数 (a) Z	2 0 匹	女 (b) 2	0匹	比	率(b	÷ a) (	%	100%	
事業	<b>あ</b>	目的意図	対象力意	デー 2   1	対象対象		2 0匹	女 (b) 2	0匹	比	率 (b	÷ a) (	%	100%	
事業	<b>あ</b>	目的意図	対象力意	バー 3	対象対象	象数 (a) Z	2 0匹	女 (b) 2	0匹	比	率 (b	÷ a) (	<b>%</b>	100%	
事業対 象	意の目	目的	対 対象カ 意 (対象を3	バ - 図 E語にして)	対象対象	家 数 (a) 2 楽しむ	2 0匹	女 (b) 2	0匹	比	率(b	÷ a) '	<b>%</b>	100%	
事業	<b>あ</b>	目的	対象力意	バ - 図 E語にして)	対象対象	象数 (a) Z	2 0匹	女 (b) 2	0匹	比	率 (b	÷ a) <sup>(</sup>	%	100%	
事業対 象	意の目	目的	対 対象カ 意 (対象を3	ダ バー図 E語にして)	対象対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	<ul><li>款数(a)</li><li>楽しむ</li><li>利用者の増加</li></ul>	2 0匹	女 (b) 2	0匹	比	率 (b	÷ a) (	<b>%</b>	100%	
事業対 象	意の目	目的	対 対象力 意 (対象を3	が - 図 にして) 目 標標・名	対象対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	<ul><li>象数(a)</li><li>楽しむ</li><li>利用者の増加</li><li>合わせ件数</li></ul>		女 (b) 2	0匹	比	率 (b	÷ a) (	%	100%	
事業対 象	意の目	目的意図	対 対象力 意 (対象を3	が - 図 にして) 目 標標・名	対象対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	<ul><li>款数(a)</li><li>楽しむ</li><li>利用者の増加</li></ul>		女 (b) 2	0匹	ltt.	率 (b	÷ a) (	%	100%	
事業対 象	意の目	目的意図	対 対象力 意 (対象を3	バー図 E語にして) 目 標 名 考え方・記	対象対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える				平成1				100%	目標)
事業分大	<b>の</b> 目	目的 意図	対 対象力 意 (対象を3 な 中 飛指標	が - 図 B E 語にして) 日 指 標 名 考え方・式 年	対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える	3.								目標)
事対分大のプロ	<b>の</b> 目	目的 図	対 対象力 意 (対象を3 な 中間標標	が - 図 Bin にして) 日 指表方・点 標 fin に に 標 fin に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	対対 見て 対対 見て 対対 の は 関 平成 直	<ul> <li>教 数 (a)</li> <li>楽しむ</li> <li>利用者の増加</li> <li>合わせ件数</li> <li>のある市民が増える</li> <li>1 3年度(実績)</li> </ul>	る。 平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (							目標)
事業対象	<b>の</b> 目	目の図となった。	対 対象力 意 (対象を3 な 中 規標	が - 図 (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	図 対 第 対 見 で が 引 間 関 平 が 引 間 関 平 が が 引 間 関 平 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	<ul> <li>教 数 (a)</li> <li>楽しむ</li> <li>利用者の増加</li> <li>合わせ件数</li> <li>のある市民が増える</li> <li>1 3年度(実績)</li> <li>者数</li> </ul>	る。 平成14年度(実績) 3件	平成 1 5 年度 (							目標)
事対分大のプロ	<b>の</b> 目	目前のというな標	対 対象力 意 (対象を3 な 中 ル 果指標 &	が - 図 (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	対 対 見 で 対 別 見 で 対 別 別 心 間 別 心 間 別 心 成 間 可 利 用 記 小 動 い か 動 に 対 か 動 に が か か か か か か か か か か か か か か か か か か	<ul> <li>教 数 (a)</li> <li>楽しむ</li> <li>利用者の増加</li> <li>合わせ件数</li> <li>のある市民が増える</li> <li>1 3年度(実績)</li> <li>者数</li> <li>物を楽しむ市民が</li> </ul>	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。	平成 1 5 年度 ( 5 件	実績)	平成 1	6 年度(	〔目標〕	平成 1	7年度(	
事対分大のプロ	<b>の</b> 目	目前のというな標	対 対 象 力 意 対 象 を り 中 果 指 標 終 標 終 標 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	が - 図 (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	対対の対対の対対の対対の対対の対対が対対の対対が対対が対対が対対が対対が対対が対	<ul> <li>教 数 (a)</li> <li>楽しむ</li> <li>利用者の増加</li> <li>合わせ件数</li> <li>のある市民が増える</li> <li>1 3年度(実績)</li> <li>者数</li> <li>物を楽しむ市民が</li> </ul>	る。 平成 1 4 年度 (実績) 3件 増える。 平成 1 4 年度 (実績)	平成 1 5 年度 (5件	実績)		6 年度(	〔目標〕	平成 1		
事対分大のプロ	<b>の</b> 目	目前のというな標	対 対 象 力 意 対 象 を り 中 果 指 標 終 標 終 標 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	が - 図 (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	対対の対対の対対の対対の対対の対対が対対の対対が対対が対対が対対が対対が対対が対	<ul> <li>教 数 (a)</li> <li>楽しむ</li> <li>利用者の増加</li> <li>合わせ件数</li> <li>のある市民が増える</li> <li>1 3年度(実績)</li> <li>者数</li> <li>物を楽しむ市民が</li> </ul>	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。	平成 1 5 年度 ( 5 件	実績)	平成 1	6 年度(	〔目標〕	平成 1	7年度(	
事対 大 ア指	<b>ぎの</b> E の E き	目気のム標	対 対 象 カ 意 (対象を3 中 成 最 展	が 一 図 図 で の 日	対する。 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が地 13年度(実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 曽える。 平成14年度(実績) 不明	平成 1 5 年度 ( 5 件 平成 1 5 年度 ( 不明	実績)	平成 1	6 年度(	〔目標〕	平成 1	7年度(	
事対分大のプロ	<b>ぎの</b> E の E き	目気のム標	対 対 象 力 意 対 象 を り 中 果 指 標 終 標 終 標 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	が 一 図 図 で の 日	対する。 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が地 13年度(実績)	る。 平成 1 4 年度 (実績) 3件 増える。 平成 1 4 年度 (実績)	平成 1 5 年度 ( 5 件 平成 1 5 年度 ( 不明	実績)	平成 1	6 年度(	〔目標〕	平成 1	7年度(	
事対 大 ア指	<b>ぎの</b> E の E き	目気のム標	対 対 象 カ 意 (対象を3 中 成 最 展	が 一 図 図 で の 日	対する。 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対の 対対	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が地 13年度(実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 曽える。 平成14年度(実績) 不明	平成 1 5 年度 ( 5 件 平成 1 5 年度 ( 不明	実績)	平成 1	6 年度(	〔目標〕	平成 1	7年度(	
事対 大 ア指 芦	きの 見き き	目意図	対 象 カ 意 (対象を) 中成 最	が し	対対の見のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が地 13年度(実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 曽える。 平成14年度(実績) 不明	平成 1 5 年度 ( 5 件 平成 1 5 年度 ( 不明	実績)	平成 1	6 年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦	きの 見き き	目意図	対 象 カ 意 (対象を) 中成 最	が ー 図 (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	対対の見のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方のは、一方	家 数 (a) ※ しむ ※ しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度 (実績) 者数 物を楽しむ市民が 13年度 (実績) 物園の管理業務を動物 で変しまる 13年度 (実績)	る。 平成 1 4 年度(実績) 3 件 曽える。 平成 1 4 年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績)	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3	で の F ( )	目的図の上の標のできます。	対 対 対 ま 対 ま 対 な 中 成 長 大 も も も も も も も も も も も も も	が に	対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対	家 数 (a) ※ しむ ※ しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度 (実績) 者数 物を楽しむ市民が 13年度 (実績) 物園の管理業務を動物 で変しまる 13年度 (実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成14年度(決算)	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 実績) 53 決算)	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3	で の E 意 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意 か か で	対 対 対 象 か ま が な ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が に	対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対が対対の対対の対対の対対の対対の対	家 数 (a) ※ しむ ※ しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度 (実績) 者数 物を楽しむ市民が 13年度 (実績) 物園の管理業務を動物 で変しまる 13年度 (実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) (実績) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 <u>3</u> 事	(************************************	目意 か か で	対 対 対 意 対 ま な ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が ー 図 B T T E E E E E E E E E E E E E E E E E	対 見 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	家 数 (a) ※ しむ ※ しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度 (実績) 者数 物を楽しむ市民が 13年度 (実績) 物園の管理業務を動物 で変しまる 13年度 (実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成14年度(決算)	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) (実績) (実績) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内 業		目意 カ ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク ク	対 対 対 ま 対 ま 対 な ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	が に	対 見 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	家 数 (a) ※ しむ ※ しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度 (実績) 者数 物を楽しむ市民が 13年度 (実績) 物園の管理業務を動物 で変しまる 13年度 (実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) (実績) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内 業		目意 と カ の 貴業 人事他減	対 対 対 対 ま 対 な ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が ー 図	対対 見の はいい は は は は は は は は は は は は は は は は は	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が増 13年度(実績) 物園の管理業務を動	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 助物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008 720	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 53 決算) 1,315 720 0	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内 業		目意 カ ク クロボー カ の 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	対 対 対 ま 対 ま 対 な 中 成 最 成 特 動 費 費 費 費 費 費 費 費 費 長 に に に に に に に に に に に に に	が ー 図	対対 見の はいい は は は は は は は は は は は は は は は は は	家 数 (a) ※ しむ ※ しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度 (実績) 者数 物を楽しむ市民が 13年度 (実績) 物園の管理業務を動物 で変しまる 13年度 (実績)	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) (実績) (実績) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別) (表別	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内 業		目意 と カ の 貴業 人事他減	対 対 対 対 ま 対 な ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が ー 図	対対 見の はいい は は は は は は は は は は は は は は は は は	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が増 13年度(実績) 物園の管理業務を動	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 助物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008 720	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 53 決算) 1,315 720 0	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内 業		目意 ち カ クラ 大事他減合国 の ラ 業 一部価	対 対 対 ま 対 ま 対 な 中 成 最 成 特 動 費 費 費 費 費 費 費 費 費 長 に に に に に に に に に に に に に	が - 図 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	対対 見の はいい は は は は は は は は は は は は は は は は は	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が増 13年度(実績) 物園の管理業務を動	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 助物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008 720	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 53 決算) 1,315 720 0	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財 業		目意 と カ クラ 大事他減合国市的図 ム標 の 貴業 部価	対 対 対 意 対 な 中 成 最 成 特 動 き き き も も に も に も に に も に に に に に に に に に に に に に	が - 図 Bin Company in the second in the sec	対対 見の はいい は は は は は は は は は は は は は は は は は	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が増 13年度(実績) 物園の管理業務を動	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 助物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008 720	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 53 決算) 1,315 720 0	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財 業		目意 き カ 賃 人事他減合国市そ 的図 ム標 の 貴業 部価	対対 意(対 な 中成 最成 活 件業門償 · 債の カ を	が - 図 Bin にして) 自 指考年指指考年指 表 年	対見 公問関平利小平 小 平 % % % % % % % % % % % % % % % % %	象数(a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が増 13年度(実績) 物園の管理業務を動	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008 720	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 53 決算) 1,315 720 0	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財( <sup>***</sup> ********************************		目意 き カ 賃 人事他減合国市そ一的図 ム標 の 貴業 部価	対対 意(対 な 中成 最成 活 件業門償 · 債の財	が - 図 Ei語にして) 自 指考年指指考年 標標方・原 係 名	対見 公問関平利小平 小 平 % % % % % % % % % % % % % % % % %	家 数 (a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が増える 13年度(実績) 物園の管理業務を重け、13年度(決算) の 0	る。 平成 1 4 年度 (実績) 3 件 増える。 平成 1 4 年度 (実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成 1 4 年度 (決算) 1,008 720 1,728	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 53 決算) 1,315 720 0 2,035	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活業) 第		目意 き カ 賃 人事他減合国市そ一職的図 ム標 の 貴業 部価	対対 意(対 な 中成 最成 活 件業門償 · 債の カ を	が - 図 Ei語にして) 自 指 考年 指 指 表 年 指 指 表 年 指 表 年 指 表 4 子 年 指 表 4 子 年 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1	対見 公問関平利小平小 小 平 % % % % % % % % % % % % % % % %	家 数 (a) 楽しむ 利用者の増加 合わせ件数 のある市民が増える 13年度(実績) 者数 物を楽しむ市民が増える 13年度(実績) 物園の管理業務を重け、13年度(決算) の 0	る。 平成14年度(実績) 3件 増える。 平成14年度(実績) 不明 動物の好きな市民に委託 平成14年度(決算) 1,008 720	平成15年度( 5件 平成15年度( 不明	実績) 53 決算) 1,315 720 0	平成 1 平成 1	6年度(6年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)

	叫(テェック)									1	
評		見 点				評価チェックリ	スト			1次評価	2次評価
<b>+</b>	対象カバー			対象カバー率は高		□他団体と同程度	5 14 + 18 T = 15	□ 他団体よりカバー率			
有	受益者(1~	1)		事業意図と受益者				合,または受益が一部に	限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	1 1	中間成果指標の ☑ 実績値から成		ン,目標値を設定している ハると言える		こは目標値が未記人 ら成果があがっていると言	えない	4	3
性	- 成果向上余	th(1~ 1)		果があがっていな	い場合						
4点	戏术门工小	<b>-</b> E(1 1)		成果向上策あり		<u> </u>			特になし		
				比較できる団体が		団体名		☑ 比較できる団体はな	: L 1		
	活動配分(1	~ 1)		他団体の数字を打		活動配分		□ 把握していない			
	7030000(	.,	<b>→</b>	□ 他団体よりり	<b>いない</b>	□ 他団体と同程度		□ 他団体より多い			
効				い,または少ないは							
				比較できる団体が	<b>、ある</b>	団体名		☑ 比較できる団体はな	: L 1		
	単位コスト(1	~ 1)		他団体の数字を持	巴握している	単位コスト		□ 把握していない			
率	十四コスパ	'')	<b>→</b>	□ 他団体より=	1ストが低い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストが高	56 N	_1	_1
			高	い,または低い場	合の理由					_ [	- 1
			直	営(正規職員が執	行)または外郭	団体へ委託している業剤	务について				
	<b>Ξ</b> ΕΠ/4	2)		行政職員による執	れ行が義務づけ	られている	□ 個人,家庭	🗉 , 地域等が担うべき部分	がある		
性	手段(1~ 3	5)		民間(企業, NPO	等)では対応で	きない業務である	☑ 民間(企業	- , NPO等)で対応可能であ	53		
4点				嘱託, 臨時職員等	<b>手では対応でき</b>	ない業務である	□ 嘱託,臨日	<b>寺職員等で対応可能である</b>	3		
		7/0/4 4)	П	コスト削減の取り終			□ 特に行って	ていない			
	コスト削減期	双組(1~ 1)	<b>└</b>	内容							
平成実施	1 5 ~ 1 6 した改	年度に 善内容	課題	委託料の減額		改善 内容	日数を減らし	委託料を減額	総合評価	В	В
5 4	<u></u> 後の対応(ア	カシュンハ									
J / 12	× 07 × 11/10 ( 7	<i>)</i> / / -									
現在詞	忍識してし	ヽる 課 題	亡〈	なった台湾猿の小	屋の有効利用	Ħ					
市民,関	孫者 市民,関	係者の名称	市民								
からの	意見。	亜坦山中	x± + 1	購入してほしい。							
要 望	等 息兒,	安望内谷	狼を!	購入してはしい。							
	(1)	対応内容	獣医	の対応ができない 	1ので、猿の作	复元はできないことを訓	说明				
		実施期限	平成	年	月						
課題·要	(2)	対応内容									
へのす	付 応	実施期限	平成	年	月						
	(3)	対応内容		<b>'</b>	1 1						
	(3)	実施期限	平式	年	月						
		大小巴州门下队	1 13%								
その他	考えられる	3									
	カアイデア										
м <sub>Б</sub> ,								△ 後 (	) 方 向 性	1次証価	2次証価
											2.从計画
			ハまか	物園として管理を	に継続する				維持		
			ハモル	物風として自建る	LWEWLA O				改善		
π <del>-1:</del> 1	7~19年度	・ヘナウキ									
十 7 八	/~19午 及	の万円生							委託等		
								縮	小物☆		<del>                                     </del>
									終期設定		-
									/ 休 止		]
2 次 評	酒 委 員 会	コメント									

	n == 114	\l= \	41¢ =	_ 10	1.0.10					<del></del> 1		÷-p		=  \_	=1.	-m	
( — 月	ひ事業	) 事 :	<b>美</b> -	<u> </u>	1240	140						部	t	次	長	::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	長
平成	15年月	度 事	詳	善 名	市民	啓発・浸水情報マ	ップ等情報公開	甲									
		<del>【要(ド</del>				N								T-+++-			
					-	活気あふれる豊か		<b>〈</b> !)				所	管部	建設部			
	ì計 ii i 施 5					安全と防災の確保 防災意識の向上						所答:	理長氏名	下水道課 小野 政			
体		· 系	紙			の久思城の门工							者氏名				
事			期	<del>"</del> 間	不	! 明~		経常臨時	☑ 経	常口的				0797-38-	_	内線	2315
根	処法	令	· 要	網 等									色 主 亿				
実	旅		手		<b>V</b>		□ 一部委託	ŧ	□ 全	部委託			補助金		負担金		
委		託		先		外郭団体委託	名称				□ 民間	委託	委託内容	F			
=	गार	•		<del></del>		0.01.00 T-1	****	- +	L	L /44 4/m 4-	88/44 🛨 :		0 - 0 - 0 - 1	7.			
事	業	Ø	1	概 要		9月10日・下水 6月1日~30日								-	<b>等</b> 運 廿 同	1)	
						0 A 1 L 2 0 L	・エルグ早別エ	上月间」に	-1917 C	IZI FIX (D)		ज <b>∵</b> ट :	و ۱۱۹۶	(KAMERIA)	<b>東蘇共</b> 門	)	
事	業	の		現状	下	水施設見学会の実	施(PR)										
	目的	実現の	ための	の		水道施設整備状況		実績等をマ	/ップに	し情報公	開してい	いる					
	手段	及び実	施内	容													
						A											
		<i>4</i> + = +	-	指標名			亚出 1 4 左至	F / 宇/丰 \	ਜ਼ ਦੇ 1	C 年 年 /	中华、	₩	16年座	(日播)	₩# 1 -	7 年	日抽丶
		結果打		中 及指標値		13年度(実績)	平成 1 4 年度 21回		平风Ⅰ	5 年度 ( 14回	, 美韻 <i>)</i>	平风	16回	(日信)	平成 1 7	/ <u>年度(</u> 16回	日保)
アウ	トプッ	(1	-	ra /□ /□ 単位コスト		20回	215	1		1414			10回			10121	
指		· 票		<u> </u>					<u> </u>						<u>I</u>		
		結果打	-			13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成 1	5 年度 (	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
		( 2	) [	指標値													
				単位コスト													
2 -	業成	<u>课(ア</u>	<u>'ウト</u>	カム)	ı												
		対		象	市	内全小学校の児童	等 , 市内全位	主民									
事業	の目的	内対 象	: h	バー率	対象	R 数 (a)		受 益 数	(b)		903	li	北. 率 (b	÷ a) %			
	・意図					· · · ·							•	,	I		
		意		図	・児	童が下水道施設の 水道への理解と啓	適止な役割及で 発。防災意識で	♪防災意識 を持っても	を持って	てもらつ 災害時で	。 の被害を	を最小に	限に止める	5.			
		(対象	を主	語にして)													
大	±	<i>†</i> >		D 65	. Att	適な市民生活を維	± <del>, ,</del> z										
^	き	な		目 的		週4川氏土冶を維:	17 9 D.										
			1	指標名	下水	道施設見学会の参	加者数										
		中間原		<u>考</u> え方 · 式													
		指	標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成 1	5年度(	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
	トカ <i>I</i>		_	指標値		717人	907	(		903人			900人			900人	
指	木	票	-	指標名													
		取於 指	以来   2 標   2	考え方・式		13年度(実績)	平成14年度	E ( 宝绪 )	亚成 1	5 年度 (	宝績)	亚成	16年度	(日煙)	平成 1 7	7 年度 (	日煙)
		38	-	<u>+ 及</u> 指標値		13千及(天順)	1132 1 7 7 13		1 /2% 1	3 +IX (	人順力	1 13%	10 -152	( 11 15 )	1 /3% 1 /	+IX (	H155 /
				, H 12. 12.			I		<u> </u>			I			Į.		
芦屋	市の特	色など	補足	する事項													
									•								
				<u> } (コスト</u>	1		I — »		1世帯当				人当り(円)		平成16.4.	1 住民基	基本台帳
事	業 <del>-   ,</del>	•	費			13年度(決算)	平成14年度		平成1	5 年度 (		半成	16年度	(予算)			
	事	件 業	費費	73.0%	_	4,392 1,216		1,287 503			1,517 562			625			
内		部門紹		27.070		1,210					002			-			
		価償刦												-			
	合		計	100.0%		5,608		1,790			2,079			625			
	国	•	県														
	-	/==	等		1		1		1			Ì			I		
	源市	債			<u> </u>										ł		
Ŋ (千F		の	他	400.00		F 000		4 700			2.070			605			
(千F	子 一		他源	100.0%		<b>5,608</b>		<b>1,790</b>			<b>2,079</b>			625			
(千F 活	子 一 動職	の	他 <b>源</b> 員	<b>100.0%</b>		<b>5,608</b> 0.45		<b>1,790</b> 0.15			<b>2,079</b> 0.15			625			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1 \欠≐亚/哥	2次評価
計	1		「次評1曲	2次評1曲
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	113211()	│ □ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	,, 2(	□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>∃</b> 5	4
=	+ *(0 4)		5	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握	_	
8点	社会環境変化(1~1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	1124(7)(10(1 1)	内容		
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績(2~ 1)	→ ② 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
性		成果があがっていない場合	-	
	- 成果向上余地(1~ 1)			
4点		□ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
4.1	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
効	, .,	***************************************		
		高い、または低い場合の理由		
	平分本台中(0 4)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	4	4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_ 1	-1
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
Art		<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	_	
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		→ 内容 防災対策課(土砂災害危険箇所図)と共同作成		
平成	15~16年度に	と	<b>}</b> ∧	
実施	15~16年度にした改善内容		<b>[</b>   <b>A</b>	В
- 4	4 a 1 l to / a 1 2 2 2 2 2			
5 今往	<u> </u>	_		
現 在 記	認識している課題			
市民,関	関係者 市民,関係者の名称			
からの	意見意見,要望内容			
要望	等 思兄,安皇内谷			
	(1) 対応内容			
	実施期限	<del> </del>		
課題·要				
小丛女	2 均 等	平成		
^ ^ 3	(2) 対応内容			
へのが	(2) 対応内容			
へのが	対応内容 実施期限 対応内容	平成年月		
へ の ゔ	(2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	平成 年 月		
へ の ゔ	対応内容 実施期限 対応内容	平成 年 月		
へ の ゔ	(2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	平成 年 月		
	(2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	平成 年 月		
その他	(2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	平成 年 月		
その他	(2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 2 考えられる	平成 年 月	性 1次評価	2次評価
その他	(2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 2 考えられる	平成 年 月 平成 年 月		2次評価
その他	(2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 2 考えられる	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向拡大・充	実	2次評価
その他	(2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 2 考えられる	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向     拡大・充現状維	実 持	2次評価
その他改善の	(2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向     拡大・充現状維方法改	実 持 善	2次評価
その他改善の	(2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 2 考えられる	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向     拡大・充現 状維方 法 改民間委託	実 持 善 等	2次評価
その他改善の	(2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向拡大・充現状維方法改民間委託縮	実 持 善 等	2次評価
その他改善の	(2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向     拡大・充現 状維方法改民間委託縮       総合/終期設	実 持 善 等 小	2次評価
その他改善の	(2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向拡大・充現状維方法改民間委託縮	実 持 善 等 小	2次評価
その他改善(	(2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向     拡大・充現状維 方法改民間委託縮 統合/終期設廃止/休	実 持 善 等 小	2次評価
その他改善(	(2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	平成     年     月       平成     年     月       今後の方向     拡大・充現 状維方法改民間委託縮       総合/終期設	実 持 善 等 小	2次評価

(投	資	事業	€)	事業	<b>_</b>	- ř	4130	010						部			長	次		長	課	長
平月	龙 1	5年	度	事	業	名	六麓	<b>茌地区都市基</b> 盤	整備事	業												
1	事:	雅	狂丑	<b>五 / ビュ</b> \																		
				<u>更(ドゥ)</u> まちづ、	( I) M	日梅	1	快適でうるおし	ハのある	都市づく	13							建設部	-R			
		計	- 1	A 5 7	<u>中</u>	口 1 <b>示</b>		暮らしやすく						所	Í	管	課	下水道				
		施	L		<u>/</u> \			市街地の整備	-2071-00		7177-20			所	管課	1 長氏	名	小野				
体	215		系		細													西村				
事		ì	業	其	月	間	平成	6年4月~平成	20年	3月	投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電		番	号				内線	2314
根	拠	法	<u>-</u>	令 ·	要 綱	等	下水:	道法						実	施	主	体	市		U		
実		j.	施	亨	F	法	<b>V</b>	直営		一部委託	ŧ	□ 全部委託	£		]補	助金			□ 負	担金		
委				託		先		外郭団体委託	名称				□民間	委	託 委	託内	容					
						_				(29.3ha)												
事		業		の	概	要				(21.9ha)	2,											
								整備延長 L=5 水道事業計画 ,				- 車のサハーサイ浴エサ	1									
								小理争来前画, 治会,地元住民					<b>E</b>									
事		業		Ø	現	<del>/</del> -k		ロ云,地元庄ら 線類地中化を目				_										
7		*		0,	276	1/1	45,	WXXX-6110C	11100	/С II Æ III I	J/11 E C V.											
		目白	的美	₹現のため	かの																	
				が実施に																		
								進捗率		<b></b>	+ VIV -+-											
								進捗率 = 執行済				亚芒 4 5 左 安	(中)(丰)	्य	7 🕂 1	с. / <del>Т</del>	<b>—</b>	<b>′</b> □ +≖ ¹	\ T <sub>17</sub>	7 🕂 1	7 左 左 /	口柵~
7 -	5 6	プッ	L	(1)	年 # #			13年度(実績38.0	1) 半加	X 1 4 年度 49.9	, ,	平成 1 5 年度 65.7		+	<u>-</u> ЪХ, I	6 年. 76		[目標]	) 1	FDX I	7年度( 85.0	日信)
指	) <sub> </sub>		標		指相			三 30.0 管整備率		49.9		05.7				70	.ა				00.0	
111				結果指標				<del>=                                    </del>	済み延	長/計画額	整備延長											
				(2)	年			13年度(実績		以 1 4 年度		平成15年度	(実績)	4	₹成 1	6年	度 (	[目標]	) 4	☑成 1	7年度(	目標)
				,	指標	票値		42.0		56.8	1	68.3				77	.2				89.3	-
2	事	業瓦	ţ身	見(アウ	トカム	)			·													
		_		対		象	六麓:	荘地区の住民な	び地区	の道路等の	の利用者											
		目	·																			
ניא:	家'	意		意		図	・六	<b>藿</b> 荘地区の公共	下水道	を整備する	ることで ,	地区の衛生環	境を改善	する	<b>პ</b> 。							
				<sup>忌</sup> (対象を:	主語に	_	・六	麓荘地区の道路	整備に	より , 地[	区の交通和	l便性 , 安全性	の向上。									
				(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>	<u> </u>																
大		き		な	目	的		水道普及率100 通利便性,安全			の衛生環	境が改善される	る。									
											_											
				中間	<b>∄</b> (1	1)		指標名		指標值	<b>世</b>	あ/共→→ ← 1·L·1·上	<b>ФТ-1</b> <del>×</del>	<del>11/-</del> T		考え7			· — ,	\ <del>+-</del>	-V++ '	/FF + /17
ア・	<b>-</b>	カ		十	0 (	1)		下水道普及率		100%	Ó	整備対象地域 全する。	のト水道・	当り	文楽を	:100%	ء ات	9 6 2 6	C , 2	公共用	水域(0)7	(質を保
				成果指標				■ 6点米エリ・1 · 0	+		,	整備対象地域	の雷線類	を完	全世	中化:	する	ことで	芦层	51,1.1	景観を育	l出す
		 完了			(2	2)	'	電線類地中化		100%	0	る。		_/(			. 0	(	, , <u>1</u> ±		- 3、年ル ビ 旧	,
			İ	最終成	t 里 t	岩 煙																
				4X N 77	<i>.</i>	<b>п</b> 1ж																
		- 4	+ 4	4- 103-43		<del></del> -=	電線	類地中化により	町の美	観が向上で	する。											
芦	室市	のキ	寺色	など補ん	足する	事垻																
2	車	出す オンチュー	专.	活動配	△(¬	7 L	<u> </u>					平成16.4.1住民	1. 其木 4. 框	1	##	当り(円	٦)	44.7	0.4 仕	모1시	当り(円)	19,361
事	<del>**</del>		<u>₹</u>	費			) 平成	13年度(決算	( ) 平时	【14年度	(決質)	平成10.4.1任代						<del>44,70</del> 決算)	_		総額(決算	
7'		人	~~	件費		3.6%	1 13%	14,6			15,553	1 100 1 3 1 100	12,848				. (	., \ <del>-</del>	-	<b>不</b> 見	CHR (IN <del>)</del>	H1 (H)
		事		業 費		76.8%		186,5			194,509		277,343				1.	,735,25	58		2,	771,376
内	訓			門経費		19.6%		112,2			73,134		70,770					, .	-		,	-
		) 減	価	償却費	ì														-			-
		合		ħ		0.0%		313,4	_	-	283,196		360,961				1,	735,25	58		2,7	71,376
		国		· 県	_	19.5%		39,0			61,000		70,500									
財		市		債 等	_	53.6%		138,0			122,600		193,400						_			
( <del>T</del>	円	) そ		の 他		20.00		14,6	_		00 500		07.004				_	705.00	-			74 070
汗	#	力職		<b>見財源</b>		26.9%		121,7	9 <b>2</b> 20		<b>99,596</b> 2.30		<b>97,061</b>				1,	735,25	00		2,	71,376
活配		_		・臨時等	_	00.0%		Ζ.	20		2.30		1./3									
HU (		合		二四四元	_	OO 0%		2	20		2.30		1.75									

	<u> </u>					÷π./π									
評	価 視	点				計1四	<b>「チェック</b>							1次評価	2次評価
_	目的妥当性(2	2 ~ 2)		事業の主目的は明						的は一つに			211		
妥	H#3× 11±(-		<b>✓</b>	事業成果が上位旅	態策に不可	欠,または貢献か	が高い	□ 貢	貢献度が	不明確,ま	たは高く	ない			
			✓	市民ニーズに基づ	いて行うへ	(き事業		□∄	お民ニー	ズに基づい	て行う事	業では	ない		
当	市民ニーズ(2	2 ~ 1)		▶ ☑ ニーズが高	آل ۱				ニーズがア	高いとは言	えない,	または未	把握	_	A .
∃				□ 数字で	把握してい	13						☑ 未	把握	5	4
			V	事業に関わる社会			3	☐ <b>ネ</b>	社会環境	の変化にあ					
性	社会環境変化	<b>七(1~ 1)</b>		内容 電線類均			······································			2,0,0,0		011	~~		
6点	優先性,緊急	性(1)		事業を実施しなけ		この生命 安全等	が埍かけ	hhz							
0,	受益者(1~			事業意図と受益者					老が不敷	<u>と</u> 合 , または	·巫共が-	立R I RE	宇		
<b>≠</b>	又血省(1	1)											X.AE.		
有	進捗状況(2~	1)	1	進捗状況の実績値										2	2
効				☑ 実績値から計		ずしていると言える	<u> </u>		3 炒計凹	から遅れが	山にいる	•		3	3
性	- 進捗改善余均	也(1~ 1)		画から遅れが出てし マンカのエッ	ハる場合							¬ "			
4点				改善策あり	<u> </u>								になし		
				比較できる団体が		団体名				□ 比較			1		
	コスト(1~ 1	1)	1	他団体の数字を把				同一積算	算基準	☑ 把握!	していな	l I			
効	-	' /	<b>▶</b>	□ 他団体よりコ	ストが低い	□ 他団体	本と同程	度		□ 他団(	体よりコス	マトが高レ	, 1		
			高	ハ,または低い場合	の理由										
<del></del>			直	営事業(正規職員力	が執行)また	とは外郭団体へ	委託して	いる業務	多につい	τ				4	^
率				正規職員による執	行が義務	づけられている			固人,家原	庭,地域等;	が担うべ	き部分か	がある		0
	手段(1~ 3)	)		民間(企業, NPO等											
性				嘱託, 臨時職員等						時職員等で					
3点				コスト削減の取り組			70			ていない	V11/01 E	6 600			
ож.	コスト削減取	組(1~ 1)		内容 占用物の			FI) T≣			CVIAVI					
				内台 口/51000	が主収/本じ	2/2/ 9 50000	57, I	子貝の内」	1/19%0						
平 成	1 5 ~ 1 6	年度に	≐冊 日杏			li	改善						総合	٨	ь
実 施	15~16 した改	善 内 容	<b></b>			ļi	内容						評価	Α	В
- ^ /	// - 1 l <del>- / - /</del>														
5 今後	<u> 後の対応(アク</u>	<u> フション)</u>													
現在:	認識してい	る課題													
市民,関	係者 市民,関係	系者の名称													
からの		. 胡													
要 望	等思見,多	要望内容													
		A1 = 4 =													
	(1)	対応内容													
	, ,	実施期限	亚战	年	月										
課題·要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	₹/JE#JFK	1 13%	-	/ 3										
小心 女	(2)	対応内容													
^ ^ 4	, ,	±++++n==	₩	1/-											
へのす	אטון ניא	実施期限	半风	年	月										
	(2)	対応内容													
	(3)			1_											
		実施期限	半成	年	月月										
	考えられる														
改善の	カアイデア														
											4	多後の:	方 向 性	1次評価	2次評価
											拉	大 .	充 実		
			平成	18年度下水道普及	率100%を	E目指し事業を達	進める。				琈	1 状	維持		
											ナ	法	改 善		
平成.1	7~19年度	の方向性											託等		
											紙		小		
													期設定		
											<u> </u>		休止		
											131	<u> </u>	FIV 11L		<u> </u>
2 1/2 ≢17	值 委 員 会	コメント													
2 /A AT	叫 女 只 女	1 / J													

(投資	₹ 事	業)	事業		<u> </u>	14	41302	210					部	長)	欠	長	課	長
平成	1 5	年度	事	業	É	名言	南芦	屋浜公共下水道整	備									
۸ H	<b>⊨</b> ₩	K 101 =	<del>II.</del> / l* .	`														
			要(ドゥ		)の目	標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり	)				3	建設部			
総合				4				暮らしやすく質の					所 管	課	 下水道課	Į		
政策	新			<u>/</u>			3	市街地の整備					所管課長					
事		系業		期		即立	T ⊏t o	3年度から平成22年	F度 ·	投資臨時	☑ 投資 [	一院吐	記入者電話番		下岡 信		内線	2215
	処	<del>素</del> 法	令 '	要		等	+11X.0	04度7.547%224	r   2	<b>区貝</b>			実施主		 市		门級	2315
実		施	<u> </u>	手			<b>V</b>	直営	□ 一部委託		□ 全部委	託	□補助釒			負担金		
委			託			先		外郭団体委託	名称			□民間	委託 委託	内容				
事	Ì	業	Ø	ŧ	既			屋浜地区の公共下		0								
								芦屋浜地区の公共 街地整備事業主体		: 古艺层》	「敕借課)と	の協議						
事	ì	業	Ø	}	現			ロルモ 開事来工作 企業庁と受委託契	•		で正備いりて	Oフ IJJJ 日戎						
			実現のた															
								布設延長率										
				-		_		布設延長率=管渠				<b>立(中/4)</b>	₩ <b>#</b> 4.6	/	口抽丶	TICH 1	7.左左 /	口抽丶
アウ	トフ	<b>ポット</b>	(1)		手 指 標	_	平风	13年度(実績)	平成 1 4 年度 49	( 美縜 )	平成 I 5 年 / 54		平成16:	<u>年度(</u> 59	日悰)	平成Ⅰ	7年度( 68	日悰)
指		標					下水					·						
			結果指	標				道汚水整備面積率										
			(2)	_		_	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)			平成16:		目標)	平成 1	7年度(	目標)
2 耳	巨岩	≝ Fit E	L 果(アワ		指標 カ <b>ハ</b> )	旭		34	65		66	)		74			78	
事 業 対 象		目的	対  意					室浜地区の住民 	境の構築									
+		<u> </u>	(対象		語にして	(2)												
大	•	e	な			נם	<b>₽</b> //\	道整備による衛生	的で大胆な街フ	\ \ \ J								
								指標名	指標値				考え	え方・コ	t			
アウ				間	(1)		읱	<b>禁</b> 不設延長率	5 4 %		管渠布設延長)	長率 = 22,50	00m(管渠布	設済延	長)/32,	900m(全	体計画布	設延
风 果 (事業			成果指	襟	(2)		下	水道整備面積率	66%		下水道汚水	整備面積率	= 83ha(汚水	×整備面	積)/125	iha(全体)	5水計画	面積)
			最 終	成	果 指	標		下水道普及率	100%									
					する事													
3 事	丰業	<u>費</u> 業			) (コス # # # #	_	ग्र ट†	12年度/沖管》	亚战 1 1 年度	(油管)	平成16.4.1住 平成15年		1世帯当り			住民1人		23,055
<del>#</del>		<u>兼</u> 人		費費	構成%	3%	一以	13年度(決算) 3,146	平成14年度	5,048	十八人・コンザル	支(沃昇) 6,096	歳出累計	一時(グ	\ <del>开</del> 丿 -	尹未頁為	総額(決算	- 前四)
	ŀ	事	業	費	90.			484,100		79,800		59,363		2,0	066,336		3,4	04,876
	ŀ		門経												-			-
(千円			賃 却		400	ΩV		A97 2A6		QA QAQ		65 450		2.0	66,336		2.4	- 04 976
		<u>合</u> 国		計県	<b>100.</b> 90.	_		<b>487,246</b> 484,100		<b>84,848</b> 79,800		<b>65,459</b> 59,363			066,336			<b>04,876</b>
	源	市		等		. 70		.3.,.00										
(千円	9)			他														
エ	動		段 財	<b>源</b> 員	9.			<b>3,146</b> 0.40		<b>5,048</b> 0.65		<b>6,096</b> 0.70			0			0
	L		·臨時		100.	U%		0.40		0.00		0.70						
(人				計	100.	0%		0.40		0.65		0.70						

		エック)					÷=/=-					
評	価		点				評価チェック				1次評価	2次評価
_	日	的妥当性(	2 ~ 2)		事業の主目的は			□ 事業の目的は一つ		はい		
妥	I	#JX -1 IX (		V	事業成果が上位	が施策に不可欠。	または貢献が高い	□ 貢献度が不明確,	または高くない			
				-	市民ニーズに基	づいて行うべき	事業	☑ 市民ニーズに基つ	<b>がいて行う事業では</b>	ない		
117	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	<b>│</b>	<b>▶</b> □ ニーズが	高い		□ ニーズが高いとは	言えない,または未	:把握	4	4
当					□ 数字	で把握している			□ 未:	把握	4	4
				[] I		会環境の変化に		□ 社会環境の変化に				
性	社	会環境変化	化(1~ 1)		内容	<b>五級元の交回</b> に			このりとたり直りが	202		
E 6点	冱	先性,緊急	h+ (1)	[] T		ければ 士兄の	生命,安全等が損な	hh z				
一一						者は整合してい			145544 501-0	-		
	又	益者(1~	1)					図と受益者が不整合,また		及正		
有	進	<b>捗状況(2~</b>	- 1)	1				□ 実績値または目標			•	^
効						計画通り進捗し	ていると言える	□ 当初計画から遅れ	が出ている		3	3
性	- 谁:	<b>捗改善余</b> 均	也(1~ 1)		画から遅れが出て	ている場合						
4点	~	,, M = W.	5(1 1)		改善策あり				□特	になし		
					比較できる団体:		団体名 近隣各市		較できる団体はない	1		
	١	7 L / 4	4\	□ 1	他団体の数字を	・把握している	単位コスト	同一積算基準 🗹 把	握していない			
効	۱,	スト(1~ ′	1)	<b>→</b>	□ 他団体より	コストが低い	□ 他団体と同程	度 □ 他	団体よりコストが高し	١,		
					1,または低い場							
							<u></u> 外郭団体へ委託して	いる業務について			_	^
率						執行が義務づけ		□ 個人,家庭,地域	等が担うべき部分ナ	がある	0	0
	手	段(1~ 3	)					□ 民間(企業, NPO€				
.keL							ない業務である	□ 嘱託,臨時職員等				
性												
3点	٦,	スト削減取	組(1~ 1)			組みを行ってい	<b>১</b>	□ 特に行っていない	l			
				7	内容 ルーフ	バスト小坦						1
平成	1 5	~ 1 6	年度に	+m n=			改善			総合	<b>D</b>	Ь
実施	·b	た改善	善 内容	課題:	コスト削減		冷容 ル	ープ式下水道計画		評価	В	В
<u>5</u> 今後	色のな	付応(アク	<u> フション)</u>									
現在談	忍 識	してい	る 課 題									
市民,関	係者	市民,関係	系者の名称									
からの	意見											
要望	等	意 見 , 5	要望内容									
		(1)	対応内容									
		(1)	中标即阳	<del>17</del>	年							
≐冊 日石 一冊	计日本		実施期限	平风		月						
課題·要	呈寺		対応内容									
		(2)			1.							
へのタ	付 応		実施期限	平成	年	月						
			対応内容									
		(3)	NIFO FIE	_								
			実施期限	平成	年	月						
					·	·						-
その他	考え	えられる										
改善の	カ ア	イデア										
									A 44. A	方向性	1次評価	2次評価
									一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一			
									拡 大・	充 実		
									拡 大 · 現 状	充 実 維 持		
亚 成 1	7 ~	1 0 缶 度	の方向性	(世田県	男始区域の拡大				拡 大 · 現 状 方 法	充 実維 持改 善		
平成1	7 ~	19年度	の方向性	供用開	見				拡 大 現 状 方 法 民間 委	充 実 維 持 改 善 託 等		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性	供用開	見始区域の拡大				拡 大 · 現 · 状 方 · 法 民 間 多 縮	充 実 維 持 改 善 託 等		
平成1	7 ~	1 9 年 度	の方向性	供用開	見始区域の拡大				拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充     実       推     持       改     託       期設		
平成1	7 ~	19年度	の方向性	供用開	見始区域の拡大				拡 大 · 現 · 状 方 · 法 民 間 多 縮	充     実       推     持       改     託       期設		
				供用開	射始区域の拡大				拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充     実       推     持       改     託       期設		
			の方向性	供用開	見始区域の拡大				拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充     実       推     持       改     託       期設		

(投資	事	業)	事業	<b>I</b> -	۴	4330	020				部	人	長調	Ŗ	長
平成 ′	1 5	年度	事	業	名	奥山	処理区統合下水道	整備							
1 重	三型	€相∓3	要(ドゥ)												
			まちづ		目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり				建設部			
総合				中			安全で快適な生活				所 管 i	下水道部	₹		
政 策	旅	重策		小		3	下水道の整備				所管課長氏名	3 小野 武	<b>技</b> 春		
体		系		細							記入者氏名		=		
事		業		期			59年度 ~	投資臨時	☑ 投資 □	臨時		를 0797-31	-2121	内線	2314
根が	処			要綱		下水					実施主体		240		
実 委		施	託	<u> </u>	法先		直営 外郭団体委託	□ 一部委託 名称	□ 全部委託		□ 補助金 B委託 委 託 内 ਬ		負担金		
女			пЪ		九	ш	<b>介</b> 邦凹冲安託	百柳			安武 安 武 内 名	1			
事	Ì	業	Ø	概	要	奥山	下水処理場を廃止	し,奥山処理区を芦屋処	理区に統合する	5.					
	-							-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		- 0					
						・下	水処理施設の老朽	化							
							朽管の布設替え								
事	Ì	業	の	現	状	・管	更生による浸入水	対策							
		7 66 6	5TB 6.4	4.0											
			実現のた。 及び実施!												
	_	T+X/2	X U' 天心	/1 <del>11</del>											
				指 標	名	管渠	更新率								
			結果指標				更新率=更新延長/	計画更新延長							
			(1)	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
アウ	トフ			指 標			2 9	3 1	3 2		3 3			3 5	
指		標	/+ m +/-1	指標											
			結果指標	年 年		亚式	12年度/宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度	(日煙)	平成17	年度 (	日梅)
			(2)		値	T-13X	,13千及(天浪)	一成「4十反(天順)	十八八八十八	(大限)	一一八八八十尺	(口信)	T/13% 1 /	十尺(	ᄓᇷᄼ
2 重	3 業	抗与	果(アウ												
_				,											
			対		象	奥山	処理区								
事業															
対 象	٠,	思区			ভিস	小卉	区域去类层加强区	に統合し,奥山処理場を	ᅉᆄᅺ						
			怠 (対象を	主語にし		コ酸	区域で尸屋処理区	に続いり, 突山処理场で	(廃止する。						
			(),3,5,1,2		-,										
大	7	<u>*</u>	な	目	的	奥山	処理場の下水維持	管理費の削減							
									_						
							指標名	指標値			考え方	・式			
アウ	L .	+ /.	中	<b>旬</b> (1)	)		管渠更新率	3 2	管渠更新率=5	,067(更新	延長)/16,030(記	十画更新延	長)		
			成果指標	<u> </u>											
(事業			1-16 (F)	(2)	)										
			最終质	# == +=	+==		<b>等</b> 拒再	400	答洹西虾壶 4	6 020/西 <sup>+</sup>	<b>听证 巨 \ /40 000 /</b>	計画声並で	紅 巨 \		
			取於力	以朱指	信信		管渠更新率	100	官朱史新率=1	6,030(史》	新延長)/16,030(	計画史新	延長)		
芦屋市	市の	)特包	色など補	足する	事項										
າ 🖶	5 <del>1</del> 1	· 弗	これまりまご	1/\/	7 L '	\			平成16.4.1住民	甘木厶帳	1世帯当り(円)	1 0	住民1人当	11 / [11]	
事	<b>₹</b>	· <u>貝</u> ·	<u>活動配</u>			平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成10.4.1住民		歳出累計額		事業費総額		0 (画台+
-		人	件		7.5%	1 7-2	2,682	3,597	112212	3,299	NAME OF THE PARTY	-	3.2422		-
	-	事	業		2.5%		21,677	25,013		15,521					
			門 経 費	ŧ											
(千円			償却費									-			-
	_	<u>合</u>	İ		0.0%		24,359	28,610		18,820		0			0
B-±	- 1	国	· 県	_	0.00			22.000		11 710			-		
財 (千円	源 1		債 領の 化	_	8.3%			23,600		14,740			1		
( 1 1.	J )		り 財源		1.7%		24,359	5,010		4,080		0			0
活	動			_	0.0%		0.30	0.50		0.45					
	-		・臨時等	_							]				
		合	Ħ	_	0.0%		0.30	0.50		0.45	1				

		エック)					*** / T ~	- II - I			T	
評	価	視	点				評価チェック				1次評価	2次評価
_	日	的妥当性(	2 ~ 2)	_	事業の主目的は			=	的は一つに絞ること			
妥	Ī	#JX -11±(-		☑事	事業成果が上位	が施策に不可欠	,または貢献が高い	□ 貢献度が	不明確 ,または高く	ない		
				□ #	5民ニーズに基	づいて行うべき	事業	☑ 市民ニー.	ズに基づいて行う事	業ではない		
117	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	<b>│</b>	- 🗆 ニーズが	高い		□ ニーズがネ	高いとは言えない, ā	または未把握	4	4
当					□ 数字	で把握している			]	□ 未把握	4	4
				√ 3			 こ適応している	□ 社会環境	 の変化にあわせた見		_	
性	社:	会環境変化	化(1~ 1)		内容	. A & & O & 101	CABINO CVIO		<b>の支付にの行と</b> (こ)	DE 077 20 20		
l I	/百	先性,緊急	5 M+ /4 \			はわげ 主日の	生命,安全等が損な	to to 7				
6点			. ,						7.A. 2.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	÷00-0		
	又	益者(1~	1)			者は整合してい			合,または受益が-		_	
有	進:	<b>捗状況(2~</b>	- 1)	1 1			標値を設定している				_	_
効			,				ていると言える	□ 当初計画	から遅れが出ている	)	3	3
性	- 谁:	捗改善余 <sup>‡</sup>	也(1~ 1)		īから遅れが出っ	ている場合				_		
4点	Ų	17 K E W	· (1 1)		女善策あり				[	□ 特になし		
				☑ 比	比較できる団体:	がある	団体名 近隣市	i	□ 比較できる団(	体はない		
		7   /4 /	4\	口他	也団体の数字を	把握している	単位コスト	同一積算基準	☑ 把握していなり	١,		
効	۷,	スト(1~ 1	1)	┕	□ 他団体より	コストが低い	□ 他団体と同科	呈度	□ 他団体よりコス	いが高い		
					,または低い場						•	
							よ は外郭団体へ委託して	ている業務につい	7		1	
率						執行が義務づけ			こ 庭,地域等が担うべ:	き郊分がある	1	0
	手	段(1~ 3)	)				きない業務である					
141												
性							ない業務である		寺職員等で対応可能 	どじめる	_	
3点	٦,	スト削減取	組(1~ 1)			組みを行ってし		□ 特に行っ <sup>*</sup>	ていない			
				<b>→</b>	内容 官渠男	5生工法の経済	比較					
ᅏᄨ	1 5	~ 1 6	年 度 に				改善			総合		1
実施	را	た改善	年度に 善内容	課題			内容			評価	A	В
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•		, -							****		
5 今後	色の対	付応(アク	フション)									
現在記	忍 識	してい	る課題	管更生	等による不明	水量の流入量の	の数値が明確でない	١.				
市民、関	係者	市民、関係	系者の名称									
からの	音 目											
要望	心等	意見,弱	要望内容									
女王	₹		l									
		(4)	対応内容									
		(1)										
			実施期限	平成	年	月						
課題·要	望等		対応内容									
		(2)	ר ויייונא									
へのタ	付 応		実施期限	平成	年	月						
			***									
		(3)	対応内容									
			実施期限	平成	年	月						
					1 .	1 1.2						
その他	老者	えられる										
	_	イデア										
ιχ <del>Π</del> ν	,	1 ) )							^	後の方向性	1 / 分部/画	2 か☆ (本
												2 八計画
				- trz:	゠゙゠゙゙゙゙゙゙゙゠゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゠゙゙゙゙゙゙゚゠゙゙゙゙゙゙゙゙		<b>バナナのロキし ト☆☆</b>	L+ /- ~		大 充 美		
				史新姓	長(楽)を伸	は9 にめの史記	新方法の見直し検討	で行つ。	現			
										法改善		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性						E	間委託等		
									統	小		
									<u> </u>			
									<u> </u>			
									紡			
									紡	合/終期設定		
2 次 評	· 価:	委 員 会	コメント						紡	合/終期設定		

		_							部 伎	:	長部	•	攴
平成1	5年	度	<b>s</b> :	業名	  合流管更生・布設替事	:業							
1 12%	J	<i>1</i> .	<del>-</del> ,	ж п		**							
			_										
			된(ドゥ)										
				りの目標					所 管 課	建設部			
総 合		_	l	中	3 安全で快適な生活	5基盤の充実				下水道課	<u> </u>		
政 策	施	策	4	小	3 下水道の整備				所管課長氏名		春		
体		系	i	細				Ī	記入者氏名	下岡 信	=		
事		業	期	間	平成13年~	投資臨時	☑ 投資 □	臨時		0797-31	-2121	内線	2314
根 拠	法	<u> </u>			下水道法			99	実 施 主 体	市			
実	j.	施	手	法	☑ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託	,	□ 補助金		負担金		
委			託	先	□ 外郭団体委託	名称		□ 民間勢	委託 委託 内容	2			
					耐用年数を経過した合	流管渠の不明水浸入対策	<b>長及び漏水によ</b>	る地下水流	5濁防止のため	,管の更	生及び布設	替えを	行う。
事	業		の	概 要									
					・管内調査工(TV及び	目視調査)H15実施延長	L=1,253m						
事	業		の	現 状	·管渠更新工(更生及	び布設替)H15実施延長	L=216m						
					・管補修工(部分更生	:及び目地補修)H15実施	延長L=11箇所						
	目的	的実	現のため	oo									
			び実施内										
				指標 名	更新延長(m)								
		4				流管の管更生及び管布設	替延長						
			(1)	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
アウト	プッ	<i>,</i>	,	指標値		5 8 7	2 1 6		8 0	, ,		200	
指		標			補修箇所数		1	I					
•					耐用年数を経過した合え	流管の補修箇所							
		ľ			平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17	年度(	目標)
			(-)	指標値		12	11	(14.7)	10	( 1.1.1.)		10	,
2 事	業品	さま	具(アウト		1		1						
	<i></i>	7	() )	<i>,,</i>									
		3	रेर्ग	象	芦屋処理区の住民								
事業の	DΒ	1.		~.									
対象													
,,, ,,,	' 思	図											
	'思		<u> </u>	<b>図</b>	温水による地下水汚濁	の防止							
	' 思	7	意 (対象を3		漏水による地下水汚濁	の防止							
	' 思	7		図 E語にして)									
 大	· 息 	7		E語にして)	・漏水による地下水源	の水質保全	+ W-1/1+ O-1/1555						
<u></u> 大		7	(対象を主		・漏水による地下水源		共用水域の水質	保全					
大		7	(対象を主	E語にして)	・漏水による地下水源	の水質保全	共用水域の水質	保全	考え方・	式			
大			(対象を3 な	目 的	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値			考え方・	式			
	ਣੇ		(対象を主	目 的	・漏水による地下水源・浸入水による未処理	の水質保全 放流水量低減による公共	共用水域の水質 相修率 = 更新			式			
アウト	き	· ·	(対象を3 な 中 間	E語にして) 目 的	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値				式			
アウト	きカ指	ム標	(対象を3 な	目 的	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値				式			
ア ウ l 成 果	きカ指	ム標り	(対象を当な 間 成果指標	E語にして) 目 的 (1)	・漏水による地下水源 ・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値				式			
ア ウ l 成 果	きカ指	ム標り	(対象を当な 間 成果指標	E語にして) 目 的	・漏水による地下水源 ・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値				式			
ア ウ l 成 果	きカ指	ム標り	(対象を当な 間 成果指標	E語にして) 目 的 (1)	・漏水による地下水源 ・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値				式			
ア ウ <sup> </sup> 成 果 (事業	きり指完了	ム標り	(対象を3 な 中 間 報籍標 最終成	E語にして) 目 的 (1)	・漏水による地下水源 ・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値				式			
ア ウ <sup> </sup> 成 果 (事業	きり指完了	ム標り	(対象を3 な 中 間 報籍標 最終成	E語にして) 目 的 (1) (2)	・漏水による地下水源 ・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値				式			
アウ  成 果 (事業 芦屋市	お指定の物	ム標う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(対象を3 な 中 成果指標 最終補類	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 ピする事項	・漏水による地下水源 ・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値		延長÷対象			住民1人当	(円)じ	2,098
アウ  成 果 (事業 芦屋市	おおったおります。	ム標う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(対象を3 中 成 最 な 活動配 が )	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 Eする事項	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値 27%	補修率 = 更新	延長÷対象	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854	住民1人当事業費総額		
アウー 果 (事業 芦屋市 3 事	おおったおります。	ム標?) 特 <b>對</b> 業	(対象を3 中 成 最 な 活動配費	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 でする事項 分(コスト 構成%	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値 27% 平成14年度(決算)	補修率 = 更新	延長÷対象	食管路総延長	4,854			
アウー 果 (事業 芦屋市 3 事	おおったおります。	ム標?	(対象を主) おおり ない 中 成 最 な 活 件 費費	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 は には、 は では、 は では、 は には、 は では、 は には、 は	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ) 平成13年度(決算) 7,149	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値 27%	補修率 = 更新	延長÷対象	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854			
アウリス アウリス アウ果 産 下屋 市	おおって、「おおります」とは、「ままります」とは、「ままります」」は、「ままります」とは、ままります。」は、「ままります」とは、「ままりままります」とは、ままります。 これりまりままります。 これりままりままりままります。 これりまりまりまりままりまりまりまります。 これりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりま	ム標の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の一角の	(対 な 中 成 最 な 活 件業	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 でする事項 分(コスト 構成%	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ) 平成13年度(決算) 7,149	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915	補修率 = 更新	延長÷対象 基本台帳 (決算) 4,218	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854 決算) -			+計画) -
ア成(事業 本事 内 語	きカ指完の業人事他	ム標?)	(対象を主) おおり ない おおり はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 は には、 は では、 は には、 は	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ) 平成13年度(決算) 7,149	の水質保全 放流水量低減による公共 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915	補修率 = 更新	延長÷対象 基本台帳 (決算) 4,218	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854 決算) -			
ア成(事業 本事 内 語	き カ指完 の 業 人事他減	ム標フラー・一巻業・一部価	(対 な 中 成 最 な 活 件業門償 経却 配費費費費	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 は には、 は では、 は では、 は では、 は では、 は では、 は では、 は には、 は	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ) 平成13年度(決算) 7,149 51,496	で 水質保全 放流水量低減による公 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749	補修率 = 更新	延長÷対象 基本台帳 (決算) 4,218 13,829	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854 決算) - 188,074 -			+ 計画) - - -
ア成(事業 本事 内 語	き カ指完 の業・人事他減合	ム標?)	(対象を主) 中 成 最 な 活 件業門償 を な 動 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 は には、 は では、 は には、 は	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ) 平成13年度(決算) 7,149 51,496	での水質保全 放流水量低減による公共 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749	補修率 = 更新	延長÷対象 基本台帳 (決算) 4,218	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854 決算) -			+ 計画) - -
ア成事	き カ指完 の業・人事他減合国	ム標う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(対な 中 成 最 な 活 件業門償・・ の は 配 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 まずる事項 分(コスト 構成% 23.4% 76.6%	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ) 平成13年度(決算) 7,149 51,496	でか質保全 放流水量低減による公式 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749 127,664 46,200	補修率 = 更新	基本台帳 (決算) 4,218 13,829	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854 決算) - 188,074 - - 188,074			+ 計画) - - -
ア成(事 芦 3 事 内( 財 )	き カ指完 の業 人事他減合国市	ム標? ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(対 な 中 成 最 な 活 件業門償 ・債 象 と 動	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 は では、 は では、 は では、 は では、 は では、 は では、 は では、 できます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できまます。 は できままます。 は できままます。 は できままます。 は できまままままます。 は できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ) 平成13年度(決算) 7,149 51,496	での水質保全 放流水量低減による公共 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749	補修率 = 更新	延長÷対象 基本台帳 (決算) 4,218 13,829	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854 決算) - 188,074 -			+ 計画) - - -
ア成事	き カ指完 の業 人事他減合国市	ム標?	(対 な 中 成 最 な 活 件業門償 ・債の 象 な 動	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標でする事項 分(コスト構成% 23.4% 76.6% 100.0%	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率 ・浸入水による未処理 指標名 更新率 ・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー	でか質保全 放流水量低減による公式 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749 127,664 46,200 65,500	補修率 = 更新	基本台帳 (決算) 4,218 13,829 18,047	食管路総延長 1世帯当り(円)				+ 計画) - - - 0
ア成 (	き カ指完 の 業 (人事他減合国市そ)	」	(対 な 中 成 最 な 活 件業門償 ・債の財 象 な 事 と 動 経却 保却 保却 保却 保却 保証 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 でする事項 分(コスト 構成% 23.4% 76.6% 100.0%	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率    平成13年度(決算) 7,149 51,496	でか質保全 放流水量低減による公共 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749 127,664 46,200 65,500	補修率 = 更新	基本台帳 (決算) 4,218 13,829 18,047 13,130	食管路総延長 1世帯当り(円)	4,854 決算) - 188,074 - - 188,074			+ 計画) - - -
ア成(事 芦 3事 内(財) 活つ果業 市 事 語円 湯円 1	き カ指完 の 業 人事他減合国市そ一職	△標?)	(対 な 中 成 最 な 活 件業門償 ・債の財 な 制 標 成 補 配費費費費計県等他源員	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標でする事項 分(コスト構成% 23.4% 76.6% 100.0%	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率    平成13年度(決算) 7,149 51,496	でか質保全 放流水量低減による公式 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749 127,664 46,200 65,500	補修率 = 更新	基本台帳 (決算) 4,218 13,829 18,047	食管路総延長 1世帯当り(円)				+ 計画) - - - 0
ア成(事 芦 3事 内(財) 活つ果業 市 事 語円 湯円 1	き カ指完 の 業 尺) 原) 助ける 人事他減合国市そ一職嘱	△標?   特 <b>大</b>   部価   ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(対 な 中 成 最 な 活 件業門償 ・債の財 象 な 事 と 動 経却 保却 保却 保却 保却 保証 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 でする事項 分(コスト 構成% 23.4% 76.6% 100.0%	・漏水による地下水源・浸入水による未処理 指標名 更新率    平成13年度(決算) 7,149 51,496   58,645   0.95	でか質保全 放流水量低減による公共 指標値 27% 平成14年度(決算) 4,915 122,749 127,664 46,200 65,500	補修率 = 更新	基本台帳 (決算) 4,218 13,829 18,047 13,130	食管路総延長 1世帯当り(円)				+ 計画) - - - 0

	ロ(ナェッ		**************************************			
評	価	視点			1次評価	2次評価
TV	目的妥	当性(2~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができた	はい		
妥		,	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高くない			
			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では			
当	市民二	ーズ(2~ 1)	│		3	3
			1	把握	5	3
	차수퍰	境変化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが	が要		
性		. ,	内容			
6点	優先性	, 緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	受益者	(1 ~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限	艮定		
有	2年+止小上	(2 - 1)	☑ 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		_	
効	進7少1人	況(2~ 1)	┃ ▶ ☑ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている		3	3
性	`#:+#:7#	* <b>^ 11</b>	計画から遅れが出ている場合			•
4点	- 進捗改	善余地(1~ 1)	□ 改善策あり □ 特	になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない	. 1		
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 同一積算基準 ☑ 把握していない			
効	コスト(1	~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	. 1		
,			高い、または低い場合の理由	<u>,</u>		
			直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について			_
率			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人、家庭、地域等が担うべき部分か	がまっ	0	-2
	手段(1	~ 3)			_	
			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	1		
3点	コスト削	減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		,	<b>▶</b> 内容			
ᅏᄨ	1 5 ~	16年度に	改善	総合	_	_
実施	した	1 6 年 度 に 改 善 内 容	課題  内容	評価	В	В
				H. 1.E.		
5 今後	かんてい	( <del></del>				
J / 12	ママノスコルい	(アクション)				
J / 12	Z V / X 1 // L	<u>(アクション)</u>				
			耐用年数50年を経過する管渠延長に対し,地下埋設物等の支障により施工延長が延びない。			
			耐用年数50年を経過する管渠延長に対し,地下埋設物等の支障により施工延長が延びない。			
現在 部市民,関	忍 識 し					
現在記	窓識 し	ている課題,関係者の名称				
現在 部市民,関	窓識 し	ている課題				
現在 前民,関からの	窓識します。	ている課題 :,関係者の名称 記,要望内容				
現在 前民,関からの	窓識 し	ている課題,関係者の名称				
現在 前民,関からの	窓識 し	ている課題 :,関係者の名称 記,要望内容 対応内容				
現在 部市民,関から 望	図 識 し 信 市民 意 男 (	ている課題 ,,関係者の名称 見,要望内容 対応内容 実施期限				
現在 前民,関からの	図 識 し 居 意	ている課題 規制 ( ) 関係者の名称 ( ) 要望内容 対応内容 ( ) 対応内容 ( ) 対応内容				
現在に関か要課題	忍識 し 係者 市民 意 等 (	ている課題 :,関係者の名称 記,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	平成 年 月			
現在 部市民,関から 望	忍識 し 係者 市民 意 等 (	ている課題 原名の名称 でいる課題 の名称 でいる。 でいる。 でいる。 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成 年 月			
現在に関か要課題	窓識し 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」	ている課題 (大) 関係者の名称 (大) 関係者の名称 (大) 関係者の名称 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限	平成 年 月			
現在に関か要課題	窓識し 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」	ている課題 (大関係者の名称 (大関係者の名称 (大関係者の名称 では、関係者の名称 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月			
現在に関か要課題	窓識し 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」 「医療」	ている課題 (大) 関係者の名称 (大) 関係者の名称 (大) 関係者の名称 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限 (大) 対応 期限	平成     年     月       平成     年     月			
現在は、関の望います。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	窓 識 お 市 意 男 に ( )	ている課題 (でいる課題 (では、) 関係者の名称 (では、) 関係者の名称 (では、) 対の方に、 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、。 (では、) が、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (では、) が、) が、。 (	平成     年     月       平成     年     月			
現 市 市 大 ま ま の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>窓 議 者 見 等 応</li><li></li></ul>	ている課題 (でいる課題 (でいる。 (本者の内容) (本名の内容) (本名の内容) (本名の内で、 (本名の中で、 (本名の中で (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本	平成     年     月       平成     年     月			
現 市 市 大 ま ま の の の の の の の の の の の の の	窓 識 お 市 意 男 に ( )	ている課題 (でいる課題 (でいる。 (本者の内容) (本名の内容) (本名の内容) (本名の内で、 (本名の中で、 (本名の中で (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月			
現 市 市 大 ま ま の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>窓 議 者 見 等 応</li><li></li></ul>	ている課題 (でいる課題 (でいる。 (本者の内容) (本名の内容) (本名の内容) (本名の内で、 (本名の中で、 (本名の中で (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       今後の		1次評価	2次評価
現 市 市 大 ま ま の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>窓 議 者 見 等 応</li><li></li></ul>	ている課題 (でいる課題 (でいる。 (本者の内容) (本名の内容) (本名の内容) (本名の内で、 (本名の中で、 (本名の中で (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       本成     年     月       本成     本     大	充 実	1次評価	2次評価
現 市 市 大 ま ま の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>窓 議 者 見 等 応</li><li></li></ul>	ている課題 (でいる課題 (でいる。 (本者の内容) (本名の内容) (本名の内容) (本名の内で、 (本名の中で、 (本名の中で (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       小     京後の       拡大・現状	充 実 維 持	1次評価	2次評価
現 市 か 要 課 の の の き 数 の の き も 関 の の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	忍 (係意) 望 付 考 ア	ている課題 (でいる課題 (では、) 関係 (本)	平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         京後の       拡大         現状方法	充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
現 市 か 要 課 の の の き 数 の の き も 関 の の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	忍 (係意) 望 付 考 ア	ている課題 (でいる課題 (では、) 関係 (本)	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       小     京後の       拡大・現状	充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
現 市 か 要 課 の の の き 数 の の き も 関 の の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	忍 (係意) 望 付 考 ア	ている課題 (でいる課題 (では、) 関係 (本)	平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         京後の       拡大         現状方法	充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
現 市 か 要 課 の の の き 数 の の き も 関 の の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	忍 (係意) 望 付 考 ア	ている課題 (でいる課題 (では、) 関係 (本)	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       本成     年     月       本流     大     現       現     状     方       法     大     民間	充 実 維 持 改 善 託 等	1次評価	2次評価
現 市 か 要 課 の の の き 数 の の き も 関 の の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	忍 (係意) 望 付 考 ア	ている課題 (でいる課題 (では、) 関係 (本)	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       京後の     拡大・現状方法       現状方法     民間委縮	充 実       維 持       改 話 等       小期設定	1次評価	2次評価
現 市 か 要 課 の の の き 数 の の き も 関 の の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	忍 (係意) 望 付 考 ア	ている課題 (でいる課題 (では、) 関係 (本)	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       本成     年     月       本方     元     現 状方 法       現 状方 法     民間 委縮       統合/終	充 実       維 持       改 話 等       小期設定	1次評価	2次評価
現 市か要 課 の の き 関 の の あ し の の も し の の も し の の も し の も し の も し の も し の も し の も し の も し の も し の も し の も し の も し も し の も し も も も も も も も も も も も も も	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ている課題 類様の でいる。 は、関係のでは、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、では、では、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       本成     年     月       本方     元     現 状方 法       現 状方 法     民間 委縮       統合/終	充 実       維 持       改 話 等       小期設定	1次評価	2次評価

(投資	事業)	事業	¥ =	1 — F	4330	040			部	長	次	長課	長
च ⊏ 1	5年度	車	業	£ 57	雨水	浸水対策事業							
十八八	7 牛皮	.  尹	未	ŧ 1	N   N	<b>反小刈</b>							
								<u>.</u>					
1 事	業概	要(ド	))										
			づく!	)の目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり		所	管 課	建設部		
	計画		4	1	3	安全で快適な生活	基盤の充実		<i>[7]</i>	<b>5</b> 127	下水道課	Į.	
	施策		/J		3	下水道の整備				管課 長 氏 名		(春	
体	系		絽						_	入者氏名		_	
事	業		期			31年度 ~	投資臨時	☑ 投資 □ 臨時	電		0797-38	-2067 内線 23	315
	L 法				下水				実	施主体			
実	施		手		<u> </u>		一部委託	☑ 全部委託		補助金		負担金	
委		託		先	Ш	外郭団体委託	名称		間委計	委託 内容	f		
=	ж	•		.07		- レゲホケ/井 I 40 0L	(070 OL ) ( <del>1 **</del> 5		-1-4-1	_ ** <del>***</del> ↓ L <del>[ ] </del> 7 △			
事	業	の	1	既 要	. IN	小官登佣 L=42.6K	m (870.8ha)(南芦	至浜地区・街路事業と	上以・フ	「鹿壮地区际	( )		
						小滨車茶計画 国	<b>唐ば叶今の中等 を持っ</b>	「車の乳斗祭理					
事	業	Ø	1	現 状		小垣事業計画,国 治会,地元住民と	庫補助金の申請 , 各種] の協議調整	L <del>す</del> の政司旨注					
7	未	0)	,	·π 1/\			の励議調整 埋設物占用者との協議記	国敕					
	月的3	実現の	ための	D		**************************************	・エはいロロロロの関係は	-9.1E					
		及び実											
			į	指標 名	雨水	整備面積							
		結果打	旨標 き	考え方・式	雨水	整備面積(ha)							
		(1	) <b>f</b>	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績	) 平	成16年度	(目標)	平成17年度(目標	票)
アウト	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚		ł	指標 値		4.9ha	2.6ha	2.0ha		0.5ha		1.1ha	
指	標			指標 名									
		結果打	旨標 き	考え方・式									
		( 2	_	年 度		13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績	) 平	成16年度	(目標)	平成17年度(目標	<b>∓</b>
•									_				录)
	- NIZ -15 I			指標 値									宗 <i>)</i>
2 事	業成	 果(ア		指標 値									宗 <i>)</i>
2 事	業成			指 標 値 カム)	· 	見主中の字見 - 送	吹竿 计色示律 070	Obo / 충폭문동배区	. 4: P2		╌╧╌┼┼	- R4 / \	宗 <i>)</i>
		対		指 標 値 カム)	· 	屋市内の家屋,道	路等 対象面積 870	.8ha ( 南芦屋浜地区	・街路		≒麓荘地区	「除く)	宗 <i>)</i>
事業(	の目的	対		指 標 値 カム)	· 	屋市内の家屋 , 道	路等 対象面積 870	.8ha(南芦屋浜地区	• 街路		≒麓荘地区	除く)	<b>示</b> )
事業(		対     		指 標 値 カ <b>ム</b> ) 象	・芦	·			• 街路		六麓荘地区	除く)	<i>录)</i>
事業(	の目的	対	<u>ウト</u>	指 標 値 カ <b>ム</b> ) 象	・芦	·	路等 対象面積 870 浸水対策及び道路冠水能		・街路		≒荒荘地区	除く)	<i>录)</i>
事業(	の目的	対	<u>ウト</u>	指標値 カム) 象	・芦	·			・街路		≒麓荘地区	[除く]	<i>示)</i>
事業(	の目的	対	ウト	指標値 カム) 象	・芦/ ・雨:	·	浸水対策及び道路冠水鵤		· 街路		∵麓荘地区	除く)	<i>示)</i>
事業(対象	の目的・意図	対       意 (対象	ウト	指標値 カム) 象 図 語にして)	・芦/ ・雨:	水管整備による、	浸水対策及び道路冠水館できる		・街路	事業区域・戸		除く)	<b>示</b>
事業(対象	の目的・意図	対意(対象	ウト:	指標値 カム) 象 図の 語にして)	・芦/ ・雨:	水管整備による、	浸水対策及び道路冠水鵤		· 街路			[除く)	示 )
事業は対象	の目的・意図	対意対象な	ウト	指標値 カム) 象 図 語にして)	・芦 ・雨: ・安:	水管整備による、	浸水対策及び道路冠水館できる			事業区域・7		[除く)	<b>示</b> )
事業分大アウ	の目的 ・意図 ・ トカム	対意(対象	ウト: を主 問	指標値 カム) 象 図の 語にして)	・芦 ・雨: ・安:	水管整備による、	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値	<b>平</b> 消		事業区域・7		(除く)	示)
事対大ア成	の き カ指	対意(対象	ウト: を主 問	指標値 カム) 象 図の 語にして)	・芦 ・雨: ・安:	水管整備による、	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値	<b>平</b> 消		事業区域・7		除く)	<del>素</del> )
事対大ア成	の目的 ・意図 ・ トカム	意対な中成果打	ウ - E - E - E - E - E - E - E - E	指標値 カム) 象図 語にして) (1)	・ 声 ・ 雨 ・ 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名  羽水整備面積率	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96%	解析 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	十画雨2	事業区域・データングである。 考え方・ K整備面積		除く)	<b>示</b> )
事対大ア成	の き カ指	意対な中成果打	ウ - E - E - E - E - E - E - E - E	指標値カム) 象図語にして) 的 (1)	・ 声 ・ 雨 ・ 安:	水管整備による、	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値	<b>平</b> 消	十画雨2	事業区域・データングである。 考え方・ K整備面積		(除く)	<b>示</b> )
事対大ア成	の き カ指	意対な中成果打	ウ - E - E - E - E - E - E - E - E	指標値 カム) 象図 語にして) (1)	・ 声 ・ 雨 ・ 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名  羽水整備面積率	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96%	解析 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	十画雨2	事業区域・データングである。 考え方・ K整備面積		(除く)	<u> </u>
事対 大 ア成事	の・ き カ指字 カ標)	対 意対な 中 成 最終	ウ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	指標値 カム) 象図 語にして) (1)	· 声/	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名  羽水整備面積率	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96%	解析 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	十画雨2	事業区域・データングである。 考え方・ K整備面積		[除く)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
事対 大 ア成(事 屋	の・ き カ指完 か カ カ か か か か か か か か か か か か か か か か	対 意対な 中 成 最 など	ウ を 間 標 成 程 - H	指標値 (カム) 語にして) (1) (2) 果する事項	· 芦 · 雨 · 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名  羽水整備面積率	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96%	解析 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	†画雨2 †画雨2	事業区域・プラスタイプ 考え方・ 大整備面積	式		票)
事対     大     ア成(     声     3       業象     ウ果業     声     事	り 目意 き カ指完 の 業費	対 意対な 中 成 最 など	ウ を 間 標 成 足 ゲ	指力 (4) (2) (2) 標 項 (1) (2) 標 項 スト	· 芦 · 雨 · 安 · 雨	水管整備による、金で快適な生活が指標名の水整備面積率の水整備面積率	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96% 100%	平成16.4.1住民基本台	†画雨2 †画雨2	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	- 式	住民1人当り(円)	0
事対 大 ア成(事 屋	の・ き カ指完 か カ カ か か か か か か か か か か か か か か か か	対意対な中成最か活動	ウ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指標値 (カム) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	· 芦, · 雨; · 安; · 雨	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 可水整備面積率 可水整備面積率	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96% 100%	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算	十画雨2 十画雨2 帳 1t )	事業区域・プラスタイプ 考え方・ 大整備面積	- 式		0
事対     大     ア成(     声     3       業象     ウ果業     声     事	の・ き カ指完 の 業 人	対 意対 中 成 最 な 活 件	ウ を 間標 成 足 <u>分</u> 費	指標値 (カム) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (2) (1) (3) (4) (4) (5) (6) (7)	· 芦, · 雨; · 安; · 雨	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 引水整備面積率 引水整備面積率 13年度(決算) 9,571	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63	十画雨2 十画雨2 帳 1t )	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	- 式	住民1人当り(円)	0
事対 大 ア成( 芦 3事	の・ き カ指完 の 業 人事的図 ム標) 特 費業人事	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業	ウを間標成果で費費	指標値 (カム) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	· 芦, · 雨; · 安; · 雨	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 可水整備面積率 可水整備面積率	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96% 100%	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算	十画雨2 十画雨2 帳 1t )	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	· 式 0 決算)	住民1人当り(円)	0
事対 大 ア成( 芦 3 事 内 ) ( 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門	ウを間には、一種費費費	指標値 (カム) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (2) (1) (3) (4) (4) (5) (6) (7)	· 芦, · 雨; · 安; · 雨	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 引水整備面積率 引水整備面積率 13年度(決算) 9,571	浸水対策及び道路冠水能できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63	十画雨2 十画雨2 帳 1t )	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	0 決算)	住民1人当り(円)	0
事対 大 ア成( 芦 3 事 内 ) ( 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の・ ト 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門	ウを間には、一種では、一種では、一種では、一種では、一種では、一種では、一種では、一種で	指標値 カム) (1) (2) 果する事項 (コスト 構成% 11.4% 88.6%	· 芦 · 雨 · 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 引水整備面積率 13年度(決算) 9,571 364,719	浸水対策及び道路冠水館できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968 230,427	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63 35,88	十画雨2 十画雨2 十画雨2	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	() () () () () () () () () () () () () (	住民1人当り(円)	
事対 大 ア成( 芦 3 事 内 ) ( 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の・ ト 指完 の 業 人事他減合 的図 ム標) 特 費業 一音値	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門	ウを間には、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神ので	指標値 カム) 家図 部にして) (1) (2) 果指標する事項 大(コスト 構成% 11.4% 88.6%	· 芦 · 雨 · 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 引水整備面積率 引水整備面積率 13年度(決算) 9,571	浸水対策及び道路冠水館できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968 230,427	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63 35,88	十画雨2 十画雨2 十画雨2 0 0	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	0 決算)	住民1人当り(円)	0
事対	の・ ト 指完 の 業 人事他減合国的図 ム標 ) 特 費業 一音値	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償・	ウ を 間 標 成 禄 配費費費計県	指標値 カム) 家図 高語にして) (1) (2) 果指標する事項 大構成% 11.4% 88.6% 100.0% 25.0%	· 芦 · 雨 · 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 引水整備面積率 13年度(決算) 9,571 364,719	浸水対策及び道路冠水館できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968 230,427	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63 35,88 40,48	十画雨2 十画雨2 十画雨2 (0) (0)	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	() () () () () () () () () () () () () (	住民1人当り(円)	00回)
事対     大     ア成(     芦     3事     内(     財       業象     ウ果業     ご     事     二円     ご	の・ ト 指完 の 業 人事他減合国市的図 ム標) 特 費業 一音値	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償・債・債・債	ウを間には、神に、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは、神のでは	指標値 カム) 家図 部にして) (1) (2) 果指標する事項 大(コスト 構成% 11.4% 88.6%	· 芦 · 雨 · 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 引水整備面積率 13年度(決算) 9,571 364,719	浸水対策及び道路冠水館できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968 230,427	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63 35,88	十画雨2 十画雨2 十画雨2 (0) (0)	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	() () () () () () () () () () () () () (	住民1人当り(円)	00回)
事対	の・ ト 指完 の 業 人事他減合国市そ的図 ム標) 特 費業 一音値	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償・債の 象 と 動 経丸	ウ を 間 標 成 様 配費費費費計県等他	指標値 カム) 象図 高語にして) (1) (2) 果指標する事項 11.4% 88.6% 100.0% 59.3%	· 芦, 市 · 安:	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 可水整備面積率 13年度(決算) 9,571 364,719	浸水対策及び道路冠水館できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968 230,427 238,395 8,900 208,700	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63 35,85 <b>40,48</b> 10,10 23,96	十画雨2 十画雨2 十画雨2 (6) (6) (7) (7)	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積	() () () () () () () () () () () () () (	住民1人当り(円)	00回)
事対     大     ア成(     声     3事     内(     財(       業象     ウ果業     丁     事     "円     )円	の・	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償・債・債・債	ウ を 間 標 成 様 配費費費費計県等他	指標値 (カム) (1) (2) 果指標 する事項 (コスト (1) (1) (2) (1) (3) (1) (4) (4) (5) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	・ 芦 ・ 雨 · ・ 安: 雨 ・	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 引水整備面積率 13年度(決算) 9,571 364,719	浸水対策及び道路冠水館できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968 230,427	平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63 35,88 40,48	十画雨 2 十画雨 2 十画雨 2 十画雨 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積		住民1人当り(円)	0 
事対     大     ア成(     声     3事     内(     財(     活       業象     ウ果業     「事     「円」、円」	の・ ト 指完 の 業 人事他減合国市そ的図 ム標) 特 費業 一音値	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償・債の財	ウ を 間 標 成 祖 配費費費費計県等他源員 ト 主	指標値 カム) 象図 高語にして) (1) (2) 果指標する事項 11.4% 88.6% 100.0% 59.3%	・ 芦 ・ 雨 · ・ 安: 雨 ・	水管整備による、 全で快適な生活が 指標名 可水整備面積率 13年度(決算) 9,571 364,719 374,290	浸水対策及び道路冠水館できる 指標値 96% 100% 平成14年度(決算) 7,968 230,427 238,395 8,900 208,700	雨水整備済み面積/言 雨水整備済み面積/言 雨水整備済み面積/言 平成16.4.1住民基本台 平成15年度(決算 4,63 35,88 40,48 10,10 23,99	十画雨 2 十画雨 2 十画雨 2 十画雨 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業区域・方 考え方・ k整備面積 k整備面積		住民1人当り(円)	0 

4 計11	<u>叫(テェック)</u> 価 ネ	鬼 点	評価チェックリスト		1 次部/雨	2次評価
āŤ	1Щ 1	兄 灬	#**     ま業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな		一次計画	2次計111
妥	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の王白的は「うに紋などだってる」 □ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高くない	.01		
			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	tr1.1		
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ こーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未		_	
当	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(,	□ 数字で把握している □ 未抵		3	4
			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが			
性	社会環境変	怪(1~ 1)	内容	22		
6点	優先性,緊	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	受益者(1~	. ,	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限	定		
有	,		☑ 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入			
効	進捗状況(2	~ 1)	▶ ☑ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている		3	3
性	`#+#=##	-11h/A A)	計画から遅れが出ている場合		•	•
4点	- 進捗改善余	:地(1~ 1)	□ 改善策あり □ 特に	こなし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない	١		
	コスト(1~	1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	171/12	1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	١		
			高い,または低い場合の理由			
率			直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		1	0
<del></del>	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が		ı	U
	J +X(1	0)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	š		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減耳	双組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		,– (	→ 内容 二次製品の採用により工期短縮等による工事費削減			-
平成 .	15~16	年度に	改善改善	総合	٨	Г
実施	1 5 ~ 1 6 した改	善内容	課題 内容	評価	Α	В
5 0 44	<u> </u>	16.				
5 学修	<u> 後の対応(ア</u>	<u> グンヨン)</u>				
現 左 討	忍識してし	ハス 钾 晒				
現 住 前	び 誠 し くし	ハる味起				
市民関	係者  市民,関	(名字の夕称				
からの						
要望	意見,	要望内容				
	,,					
	(1)	対応内容				
	( , ,	実施期限	平成	-		
課題·要	望等					
	(2)	対応内容				
への対	寸 応	実施期限	平成年月			
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成 年 月			
	-					
その他	考えられる	3				
改善の	カアイデフ	7				
			今後の方		1次評価	2次評価
			拡 大・			
				維持		
				改 善		
平成 1	7~19年度	の方向性	民間委			
			縮	小		
			統合/終			
			廃止/	1木 止		
ე \ <del>/</del> - ÷π	压丢旦人		南かえココ   当時はに奴みてください			
2 从 評	一川 安 貝 云		更なるコスト削減に努めてください			

(	投	資	事	業)	事業		1 –	ド	43300	050								部		長	次	₽	課	長
되	ᇑ	<del>,</del> 1	5 年	度	事	業	i	名	待路	事業区域公	共下水	道整備												
	,-,	• •		<i>"</i> ~	<b>.</b>	<i></i>			12,000	F.K.C. 7/2		~===												
			NII/	ın <del>ı -</del>	<del>-</del>																			
					更(ドゥ		1 4 0	+#6		よかさってこ フ	7 +1 1 0	\ <del>+</del> 7 <del>*</del> 1	7ナベノ 1	1							7- <b>3</b> ÷ ∏ ÷ ∏	,		
				四画	まり >	<u> 中</u>	の目	倧		快適でうる 安全で快適				)				所	管	課	建設部下水道			
				策					3	下水道の整		一を強い	/元夫					ff 答言	# E G	エク	小野			
12		朿	旭	來系		<u>小</u> 細			3	ト小担の笠	全)相										山下			
手				業		期		問	亚式	13年度~	亚成 1:	0年度	1.	投資臨時	☑ 投				香			88-2067	内線	2315
		拠	. ;		令 '	要	綱		下水		1 /2% 1	0+1X		以具皿时	JX		IMHA		主			2001	NW.E.J.	2010
3		1/~	_	施	•	<u>×</u>			<u></u>			П -	一部委託		□ 全	部委託			<del>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</del>			] 負担金		
<b>7</b>				,,,,	託					<u>一一</u> 外郭団体委	新	名称	H-240				□民間					_ //		
								_		管整備 L										-	ļ			
事	Ī.		業		の	Ħ	既	要	雨水	管整備 L	= 1,17	2m												
									· 山	手幹線整備	事業に	伴い公	共下水道	を整備す	する。									
									·下	水道事業計	画,国	庫補助	金の申請	亅, 各種〕	[事の設	計管理								
事	<b></b>		業		の	Ŧ	見	状		治会,地元														
									・道	路管理者・	各地下	埋設物	占用者と	この協議訓	<b>周整</b>									
					ミ現のた																			
			手	段が	なび実施	内容	₹																	
			_	<u> </u>		1+	E +#	<i>t</i> 7	ニーレ	笠 数 供 江 巨														
					<b>独田北</b>	_		_		管整備延長 等车部延長														
						-				管布設延長 13年度(		亚战 1	1年度	(実績)	平成 1	5 年度 /	て宝績(	亚式	16年	- 庄 /	(目標)	亚式 1	7年度(	日梅)
_	, <sub> </sub>	ı	プ・	w L	(1)	£	<del>F</del> 旨標	_	十以	202	天領丿	十八人	81	( 天視 )	十八八	903	、天棋ノ	十八人		-1支( 298	(日信)	十八八	480	日信ノ
ガ		, 1		標					雨水	202 管整備延長			01			903			12	230			400	
31	=				结里指	_		_		音正冊是及 管布設延長														
					(2)	· 左				13年度(		平成 1	4年度	(実績)	平成 1	5 年度 (	(実績)	平成	16年	度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
					(-)	_	<u>·</u> 旨 標	_		0%	- 4		110	( - 4 )		941	( - 4 )	, , , ,		21	( 1 - 1 1 1 7			
2		事	業	成身	艮(ア:							I.			1									
		_							・山 <sup>:</sup>	手幹線整備	事業の	周辺地	域。											
					対			象																
				的																				
Ŕ	<b>∮</b> ≸	東 '	意	図					· 山	手幹線整備	事業区	域の汚	水管整備	<b>声</b> 。										
					意			_	· 山	手幹線整備	事業区	域周辺	の雨水管	整備。										
					(対象を	を主	語にして	<b>C</b> )																
						_		٠,		手幹線整備						- •								
フ	7		き		な	E	4	的	· Щ	手幹線整備	事業の	周辺地:	域が安全	で快適な	は生活が	できる。								
			_	1						七冊々			指標値	•					考え	<b>~</b> .	+			
					ф	88	(1)	Ė		指標名			拍惊唱	1					ちん	л•	IV.			
-	, ,	5 L	、力		中	間	(1)		汚	水管整備延	長率		38.10%	6	汚水整体	<b>備布設</b> 導	率=汚水管	布設延	延長(1	,185	m)/計画	画汚水管布	5設延長(3	3,114m)
					成果指	±==									エルゲ	か <i>は</i> サブT F	= + == -1.	, <u>~~</u> +- ±1	n 7₁7 FF	(4.0	\ /±	し声エンタ	±±n≠r =	
			疳 完 ¯		水木阳	1示	(2)		雨	水管整備延	長率		89.70%	6	雨水官3 (1,272m		文学=闲办	自作的	2.延長	(1,0	oim)/E	画附水管	節布設延長	
1	<del>-3</del> -7	*	,,,	1																				
					最 終	成:	果 指	標		下水道普及	率		100%		山手幹約	<b>泉整備</b> 事	<b>事業の周</b> 済	辺が安:	全で快	適な	注活が	できる。		
												1			l .									
ř	5 屋	市	の	特包	色など衫	#足	する事	項																
3	}	事	業	費·	活動的	记分	(コス	<b>.</b> ト)							平成16.4	4.1住民基	基本台帳	1世帯	当り(	円)	5,02	6 住民1ノ	(当り(円)	2,173
事	Į.			業		費	構成%	6	平成	13年度(	決算)	平成 1	4年度	(決算)	平成 1	5 年度 (	(決算)	歳出	累計	額(	決算)	事業費	総額(決算	+計画)
			Y			費	7.	.2%			2,682			7,884			9,735					-		-
			事	-		費	92.	.8%			7,312			61,570			125,879				194,76	1		
Þ	-		_		門経	_																-		-
(	千	円	_		償却	_					0.007			00.454			05.644				404 ===	-		-
			2			計	100.	_			9,994			69,454		1	35,614				194,76	_		0
	+	NF.	旦	•		県	15.	_			6.040			18,300			21,200				39,50			
	す エ		京オ			等	72.	.3%			6,940			39,000			98,070				144,01	U		
(	+	H	) <del>Z</del>			源	12.	10			3,054			12,154			16,344				11,25	1		0
沅	E	乖	力 暗		A 9/3	員	100.	_			0.30			1.15			1.50				11,20	•		U
バ西			_		·臨時		100.	.0/0			0.00			1.10			1.50							
			) 1			計	100.	.0%			0.30			1.15			1.50							
1	-	•	/			~ •		- 10																

評	価価	<u>ノノ)</u> 視	点				±	平価チェ	いカリフ	<b>.</b>			1 冷邨価	2次評価
町	ТЩ	170	<b>M</b>		=**	70 Teb +		TIЩノエ:				L	八計	2次計1回
_	目的妥	多当性(2	2 ~ 2)		事業の主目的は					□ 事業の目的は一つに絞る		はい		
妥		,	,	~	事業成果が上位	施策に不	「可欠,または貢	献が高い	۱ ۱	□ 貢献度が不明確,または高	引ない			
				$\Box$	市民ニーズに基づ	ブいて行	うべき事業		Ŀ	☑ 市民ニーズに基づいて行	事業では	ない		
当	市民二	ニーズ(2	!~ 1)		▶ □ ニーズがア	高い				□ ニーズが高いとは言えない	1,またはオ	・把握	1	1
=					□ 数字で	・ 把握して	ている				□未	把握	4	4
-				7	事業に関わる社会	会環境の	変化に適応して	いる		□ 社会環境の変化にあわせ	た見直しか	が要		
性	社会場	<sup>袁境変化</sup>	比(1~ 1)		内容									
6点	優先性	生,緊急	性(1)	V	事業を実施しなけ	thlf i	お民の生命 安全	- 筆が揖	たわれ	 ک				
OM		<u> </u>			事業意図と受益を					。 受益者が不整合,または受益:	が――空にに 🛚	見定		
有	ХШР	=('	1)							□ 実績値または目標値が未		K //L		
効	進捗制	犬況(2~	1)	1	☑ 実績値から言				_	□ 実績値なたは日標値が不り □ 当初計画から遅れが出てし			3	3
性					画から遅れが出て			1/1/2			1.9		3	3
	- 進捗改	女善余 均	也(1~ 1)		画から姓れか山で 改善策あり	いる場合	3				□特	になし		
4点							E74.2							
					比較できる団体が		団体名			□ 比較できる		. 1		
4.1	コスト	(1~ 1	)	1	他団体の数字を持					☑ 把握してい				
効			,		□ 他団体よりこ		**************************************	団体と同	程度	□ 他団体より	コストが高い	, 1		
					い,または低い場									
率				直	営事業(正規職員	が執行)	または外郭団体						1	0
_	<b>壬 €</b> Δ./·	1 ~ 3)			正規職員による執					□ 個人,家庭,地域等が担う				U
	<b>→+</b> X(	1 3)	'	<b>✓</b>	民間(企業, NPO	等)ではタ	付応できない業務	务である		□ 民間(企業, NPO等)で対応	可能であ	る		
性					嘱託, 臨時職員等	等では対	応できない業務	である		□ 嘱託,臨時職員等で対応	可能である			
3点	771	光小二: 日77	۷۵/4 <b>4</b> )		コスト削減の取り					□ 特に行っていない				
	177	削減取	組(1~ 1)	<b>L</b>	内容 二次製	品の採用	月により工期短縮	等による	工事費	<b>貴削減</b>				
平成1	1 5 ~	1 6	年度に 事内容	課題	•			改善				総合評価	Α	В
夫 虺	U IE	CX E			•			内容				7年1四	<i>,</i> ,	
5 今後	後の対応	で(アク	7ション)											
		_ (, ,	, ,,											
現在部	忍識し	てい	る課題											
市民、関	係者 市	民,関係	系者の名称											
要望	金宝意	見,要	要望内容											
× ±	,,													
		(1)	対応内容											
		(1)	実施期限	ਜ਼ ↔	年		 月							
≐冊 日石 一冊	ts 44		夫肥期സ	平风			Н							
課題·要		(2)	対応内容											
_ ,		(2)					_							
へのす	7 心		実施期限	平成	年		月							
			対応内容											
		(3)												
			実施期限	平成	年		月							
その他	_													
改善の	ロ ア イ	デア												
											今後の	方向性	1次評価	2次評価
											拡大·	充 実		
				引き組	続き街路事業と過	重携を図	リ下水道整備を	行う。			現状	維持		
											方 法			
平成1	7 ~ 1 9	年度	の方向性								民間委			
											縮	小		
											統合/終			
											廃止/			
											,,,, /	,,, 1		l
2 次 評		昌 会	コメント											
- // 11	тың 54	~ 4	- /· /											

( 报	資事	[業]	事 業	٦	- F	4330	070				部長	次	長課長
亚日	寸 1 5	年度	重	業	夕	汚水	幹線整備事業						
T-1	<b>JX</b> 1 J	十反	Ŧ	*	н	17/1/	开冰走州尹未						
	<del></del> \	IV IDT -	<del></del>										
1			要(ドゥ			1 .	11.5	+ = +n+ - × / 10			1		
			まちつ		の目標		快適でうるおいの				所 管 課	建設部	
		計画施策		<u>中</u> 小		3	安全で快適な生活 下水道の整備	基盤の允夫			所管課長氏名	下水道部	₹
体	來 /.	心系		細		3	下小垣の歪桶				記入者氏名		
事		業		期	問	平成	13年~	投資臨時	☑ 投資 □	臨時		0797 - 3	
根	拠		令 '			下水		1X Semina		пиина	実施主体		
実		施		手		<b>V</b>		□ 一部委託	□ 全部委託	,			負担金
委			託		先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 委託内容		
								•	-		·	-	
事		業	の	概	要	分流	区域及び合流区域の	の汚水を分離し,南芦屋	浜下水処理場は	こ送水しる	高度処理を行う。		
_		٠	•	70	4.15	<b>+-</b>	T-VM TELE 4\ > ±	サロンエン加田組みの選	こしを ナミハミレー	<b>**</b> -	000 4 51		
事		業	の	現	- 1大	尸座	ト小処理场から用	芦屋浜下水処理場への流	7小官仰政計画	來走(	600 × 1.5km)		
		日的写	実現のた	· አ ለ መ									
			を呪いた 及び実施										
		3 1 2 /2	~ 0 ) < 11	,, , ,									
				指	標名	汚水	管布設延長						
			結果指	標考	え方・式	年度	別の汚水管布設延っ	Ę					
			(1)	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(目標)
	<b>ウト</b> フ	プット		_	標値		0 m	0 m	0 m		0 m		0 m
指		標			標名								
				_	え方・式					( <del></del> /= >		, D.E.	
			(2)	年			13年度(美績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(美額)	平成16年度	(日標)	平成17年度(目標)
	車型	ᆂᇝᄩ	L 果(アウ		標値								
	<del>7</del> 7	長り入っ	<del>(</del> ( ) )	/   /J	<u> </u>								
			対		象	芦屋	処理区の住民						
事	業の	目的											
対	象,	意 図											
			意			雨天	時下水の処理効率は	改善					
			(対象を	主語	ほして)								
		_	4.		44		m-1/1+ の-1/55/11 へ	したな理論のなぎ					
大		き	な	目	Ħ.λ	公共	用水域の水質保全	と生活境児の改善					
							指標名	指標値			考え方・	<del>,</del> t.	
			中	間	(1)		• A 1.0. A				0, 1,0	- •	
ア	ウト	カム											
成	果力	指 標	成果指	標	(2)								
(事	業別	記了)			(2)								
			最 終	成果	見指 標		汚水処理	BOD	雨天時未処理》	放流水を	無くすことで公共月	月水域の傷	<b>発全を図る。</b>
							. =	環境基準値(25mg/?)	/				•
古 日	会市,	かはも	五かど対	お兄さ	「る事項								
, ).	포 I I) (	いけし	こるに相	н Æ 9	る事項								
3	事業	と 書き	活動兩	2分/	(コスト)	)			平成16.4.1住民	基本台帳	1世帯当り(円)	490	住民1人当り(円) 212
事	<del></del>	<u> </u>			( <b>コノ</b> ) 構成%		13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度		歳出累計額(		事業費総額(決算+計画)
		人		費	13.7%			1,150		1,995	,		-
		事		費	86.3%			6,390		12,600		18,990	
内		_	『門経』	_								-	-
( ₹	円)	-	賞 却									-	-
		合		<u> </u>	100.0%		0	7,540		14,595		18,990	0
D-1	NET.	国士		県	00.00			F 000		44.070		47.070	
財		市		等	82.0%			5,900		11,970		17,870	
( +	円)		のが	他	18.0%		0	1,640		2,625		1,120	0
活	動			員	100.0%		U	0.10		0.20		1,120	U
心配		_	·臨時		100.0%			0.10		0.20	1		
	, 人 )			ii ii	100.0%		0.00	0.10		0.20	1		
ι .	• )			~ '	. 55.0/0		0.00	0.10		7.20	I		

	曲(チェック)															
評	価 礼	見 点	į				評价	5チェックリ	リスト						1次評価	2次評価
_	目的妥当性	(2 ~ 2)		事業の主目的									ることができ	きない		
妥		.(		事業成果が上位				が高い					は高くない			
			1 1	市民ニーズに基		うべき事	業						亍う事業で			
当	市民ニーズ	(2 ~ 1)		<b>▶</b> □ =-ズカ			ŗ		Ш	ニーズた	が高いと	は言えな	い,または		2	2
					で把握し		辛広してい	7		ᆉᄉᅖ	<b> 辛のボ</b>	()/ I= <del>+</del> +o -	•	未把握	<b>-</b> −	_
	社会環境変	化(1~ 1)		事業に関わる社	I 会	)変化に	<b>固心してい</b>	<u> </u>		在会坛 <sup>J</sup>	現の変	とにめわっ	せた見直し	か必要	.	
性 6点	優先性,緊急	<b>当州</b> (1)		内容 事業を実施しな	>1++>1+ :	キロの生	·수 호수약	がおかわ	hz						4	
一	受益者(1 ~			事業意図と受益				事業意図		さ者が不		またけ受え	はが一部に	限定		
有	•			進捗状況の実績								目標値が		-PIXAE	1	
効	進捗状況(2	~ 1)	1 1	☑ 実績値から								星れが出っ			3	3
性	\4-1:L=1 == A	III da es	計画	画から遅れが出			тосди								<b> </b>	
4点	- 進捗改善余	地(1~ 1)		改善策あり										特になし		
			V	比較できる団体	がある		団体名	近隣都市				比較でき	る団体はな	はい		
	コスト(1~	1)	l 🗅	他団体の数字を	を把握して	いる	単位コスト	同	一積	算基準	V	把握して	いない			
効	171/(12	1)	<b>▶</b>	□ 他団体よ	リコストが作	<b>洗し</b> 1	□ 他団	体と同程度	ŧ			他団体よ	リコストが高	高い		
			高い	い,または低いは	場合の理目	<u> </u>										
率				営事業(正規職				委託してに							_1	-2
	手段(1~ :	3)		正規職員による									らべき部分		•	
	312(	-,		民間(企業, NP								,	応可能で			
性				嘱託, 臨時職員				5る					芯可能であ	5 <b>5</b>		
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)		コスト削減の取	り組みを行	っている	5		<b>✓</b>	特に行っ	っていた	111				
			-	内容												
平 成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	. 課題	•				改善						総合	В	В
実施	した改	善内容	HAT ACC	•				内容						評価	ן ט	
5 今後	<u></u>	クション)														
	( )	, , ,,			-											
現在意	認識してし	1る 課 題	処理均	場流入管の分離	准計画並び	バに合流	管の不明か	対策等の	完了	を進めた	なければ	ばならな	l 1。			
	係者 市民,関	係者の名称	1													
からの		要望内容														
要望	等◎光,															
	(1)															
	(1)	対応内容														
課題·要						П										
小吃 女	· 迪 生	対応内容		年		月										
			平成	年		月										
への対	(2)	実施期限対応内容	平成													
へのす	(2)	実施期限対応内容実施期限	平成平成			月月										
へのす	(2)	実施期限対応内容	平成平成													
へ の タ	対 応	実施期限対応内容実施期限	平成平成													
へ の タ	対 応	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	年		月										
その他	(2) 対応 (3)	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年		月										
その他	(2)	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年		月										
その他	(2) 対応 (3)	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年		月								の方向性		2次評価
その他	(2) 対応 (3)	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年		月							拡 大	· 充 寅	2	2次評価
その他	(2) 対応 (3)	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	年		月							拡大現状	· 充 実	E F	2次評価
その他改善の	(2) 対応 (3) 2考えられる D アイデラ	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成平成	年		月	慢への液)	色荷墨の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を図る			拡 大 現 状 方 法	· 充 実 · 維 持 · 改 善	F	2次評価
その他改善の	(2) 対応 (3) 2考えられる D アイデラ	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成平成	年		月	場への流入	負荷量の	軽減	を図る。			拡 大 現 状 方 法 民 間	· 充 実 : 維 持 : 改 善 委 託 等		2次評価
その他改善の	(2) 対応 (3) 2考えられる D アイデラ	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成平成	年		月	場への流 <i>入</i>	負荷量の	■軽減	を図る。			拡 現 法 民 縮	· 充 実 、維 持 、改 善 委 託 等	<b>F</b>	2次評価
その他改善の	(2) 対応 (3) 2考えられる D アイデラ	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成平成	年		月	場への流 <i>入</i>	負荷量の	<b>車軽減</b>	を図る。			拡 大現 法民 間 統合/	· 充 第	F	2次評価
その他改善の	(2) 対応 (3) 2考えられる D アイデラ	実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成平成	年		月	場への流 <i>入</i>	、負荷量の	• 奉圣减	を図る。			拡 大現 法民 間 統合/	· 充 実 、維 持 、改 善 委 託 等	F	2次評価
その他改善の	(2) 対応 (3) 2考えられる D アイデラ	実施期限 対応期限 対応の内容 実施期限 対応内容 実施期間 の方向性	平成平成	年		月	場への流 <i>入</i>	負荷量の	車圣 減	を図る。			拡 大現 法民 間 統合/	· 充 第	F	2次評価

											_						
( —	般事	(業	事 業	コード	4330	190					Ī	部	長	次	長	課	長
											t						
平万	戈15	年度	事	業 名	下水:	道施設建設費	貴負担領	金設計業務			1						
		~									1						
											_						
,	<u></u>	17 Tu± =	E / la ·														
1_	事美	<b>€概</b>	要(ドゥ)														
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるる	おいの	ある都市づくじ	)				**	建設部			
		·—· 計画		<u>中</u>		安全で快適な						所	管 課	下水道課	!		
				-				全皿のル天				CC ***	细目化石				
	東方	も 策		小	3	下水道の整体	闸						課長氏名				
体		系		細				<del></del>				記入	、者氏名	西村 仁			
事		業	期		四和	10年~		T.	経常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797-31-		内線 2	2314
	160							i	한 다 말 다 보다		はこれ				<u> </u>	Y   NK   Z	.014
	拠				下水							実力	施 主 体	ф			
実		施	手		>	直営		□ 一部委託		□ 全部委託	<u> </u>		補助金		負担金		
委			<u>-</u> 託	先			Ŧ	名称					委託内容				
			нь	76		ハギロ中女は	a b	ויידו				u <b>≭</b> nl	女癿门台				
事		業	の	概 要	排水	設備設置計画	画による	5下水道取付管	工事								
					- '												
事		業	の	現 状	戸	建て並びに集	<b>[</b> 合住3	宅等の新築に際	し,公共	下水道管へ接続	きする 下水	取付額	管布設申請1	こ基づく	L事設計:	並びに積算	<u>[</u>
			・・) 実現のため			足く金のにが 現場管理業務			,		1 .3		/ MI31	_ , ,-	>=		
					IX U	元物日任采约	73										
		于段及	ひ実施内	]谷													
				指 煙 夕	排水:	設備設置計画	面由詩作	<b>生数</b>									
									/ 字/s \	亚出 1 5 左帝	(中)(ま)	- ਜ਼	1 ( / =	/ D += \	ਜ਼ਾ ਦੇ ⁴	7 左 安 / 口	+== >
			結果指標				た領)	平成14年度		平成15年度		平均	16年度(	、日標)	平成 T	7年度(目	信)
			(1)	指標値		505件		474件		386件	<u> </u>			_			
7 -	- א ל	プット		単位コスト													
	-   -				エーレ	*************************************	n do ÷≠			l		L					
指		標				道取付管布部				1							
			結果指標	年 度	平成	13年度(3	実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	116年度(	(目標)	平成 1	7年度(目	標)
			(2)	指標値		118件		128件		128件	E						
			(2)					12011		12311	•						
		12 . 15	<b>-</b> ·	単位コスト													
2	事業	<b>直成</b> 身	果(アウ)	トカ <u>ム</u> )													
			4.1	_	***	111   1.4- 111					T = W =						
			対	象	新た	に排水設備設	设置 ( 新	新設)をする市	民及び下	水取付管布設.	上事業者						
<u>.</u>	ш		·		<u> </u>	z		400 I.	W 14 1111		400	1	II. <del></del>	\	1	400	
			灯 家 力	バー率	对多	k 釵 (a)		128	受 益 数	( (b)	128		比 率 (b	÷ a) %		100	
対	象・:	意 図															
			意	<b>₩</b>	<b>卯</b> 理!	区域内の字は	h推水?	を公共下水道管	へすべて	接続する							
					~_*_		יודרוי (		.,	12100 / 00							
			(刈家を3	E語にして)													
大		き	な	目 的	水洗	化100%を図	り,市目	民衛生環境の保	全に努め	る。							
				北	て-レ゙	m/⊹⇔≠÷n ċ	コフホ										
						取付管布設完											
			中間成果	考え方・式	拟付:	官布設数÷排	[[水設	<b>備設置に伴う新</b>	設取付管	甲請件数							
			指 標	年 度	平成	13年度(写	実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度(	(目標)	平成 1	7年度(目	標)
7.	<b>-</b> , .			-		100%		100%	,	100%		T	100%	,		100%	,
	<b>ノ</b> ト	カム		指標値	1.50			100%		100%	1	<u> </u>	100%			100/0	
指		標		指標名	水洗	化率											
			最終成果	考え方・式	取付	管布設数÷排	非水設保	備設置計画数 (	新設)	·					· <u></u>		
				<b></b>				平成14年度		平成15年度	(実績)	平点	116年度(	(目標)	平成 1	7年度(目	標)
				<u> </u>			4115K /		( - < mpt /		• •	, ,,,,			, /-~ '		100 )
				指標値		100%		100%		100%	)		100%			100%	
芦厚	屋市(	の特色	色など補品	足する事項													
. ,=	. ,	,,,	110 ^	•													
_	<u> \</u>	L #	\	// /!	<u> </u>										- "	. ,. –	
3	事美	<b>€</b> 質	沽動配:	<u>分(コスト</u>	)					1世帯当り(円)	831		人当り(円)		半成16.4	.1 住民基本	台帳
事		業	費	構成%	平成	13年度()	夬算)	平成14年度	(決算)	平成15年度	(決算)	平成	16年度(	(予算)			
		人	件費				3,091		3,666		4,441						
		_					-				•			04.000			
		事	業費	86.2%		29	9,827		32,457		27,755			31,200			
内	訳	他部	『門経費											-			
( <del>T</del>			償却費											_			
( 1	/			400.00		04	2 040		26 400		20 400			24 200			
		合	計			32	2,918		36,123		32,196			31,200			
		玉	· 県									<u> </u>					
財	源	市	債 等			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											
	円)		の他			2.	2,918		36,123		32,196	1					
( T	13)			100.0%		3,								04 000			
		<u> </u>	段 財源				0		0		0			31,200			
活	動	職	員	85.7%			0.35	<del></del>	0.45		0.60			-			
配			·臨時等				0.05				0.10			_			
									A 1-					• • • •			
( ,	人 )	台	計	100.0%			0.40		0.45		0.70			0.00			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
н		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1 // 1   1	2 /X
	目的妥当性(2~2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
2		□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>∃</b> 3	2
=	市民ニーズ(2~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	3	_
性	1020- 7(2 1)	□ 二 大が同い □ 二 大が同い □ 二 大が同いには日だない。 ○ 記は不記述 □ 大・・・・ □ 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
8点		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
0,	社会環境変化(1~1)	内容		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	1	3
性		成甲があがっていたい提合		
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	¥ / 1 /4 4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	文面有其担(0~ 1)	□ → ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直U不能 □ 徴収可能)	1	-3
-4		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>–</b> 1	-3
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	于校(1 <sup>22</sup> 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	-771133#W-IXME()	→ 内容		
亚成	15~16年度に	改善  総合		
実施	15~16年度にした改善内容			D
5 4	* a + 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1			
5 学程	<u> 後の対応(アクション)</u>	ナギをエナスールにより、第二本以体でをエナスールができる。その中に手持ては		
TB +- =		市が施工することにより,適正な単価で施工することができるが,民間に委ねると 5.(毎投がばらばらになりなど)		
現 住 記	認 誠 し し い る 誄 越	■価格がばらばらになり均衡が保てない。 ■ また、結構復収工事についてもま道路間の立合供数が増えて		
士兄 既	関係者 市民 , 関係者の名称	また,舗装復旧工事についても市道路課の立会件数が増える。		
要望	意見,要望内容	排水設備指定店から取付管布設工事もできないか。		
	(1) 対応内容			
	実施期限	平成 年 月		
課題·要	<b>- 草</b>			
	(2) 対応内容			
へのす	対 応 実施期限	平成年月		
	対応内容			
	(3)			
	実施期限	平成 年 月		
	3考えられる			
改善(	の ア イ デ ア			
		今後の方向		2次評価
			美	
		拡大・充田は	+±	
		現、状維		
亚 라 1	7~10年度の亡句#	現 状 維 方 法 改	善善	
平成 1	7 ~ 1 9 年度の方向性	現 状 維 方 法 改       民間委託による対応に向け,他市の事例や問題点を整理する。     民 間 委 託	等	
平成 1	7 ~ 1 9 年度の方向性	現 状 維 方 法 改       民間委託による対応に向け,他市の事例や問題点を整理する。     民間 委 託       縮	善 等 小	
平成 1	7 ~ 1 9 年度の方向性	現 状 維 方 法 改 民間委託による対応に向け,他市の事例や問題点を整理する。 民間 委 託 縮 統合/終期設	善 等 小 定	
平成 1	7 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性	現 状 維 方 法 改       民間委託による対応に向け,他市の事例や問題点を整理する。     民間 委 託       縮	善 等 小 定	
		現 状 維 方 法 改 民間委託による対応に向け,他市の事例や問題点を整理する。 民間 委 託 縮 統合/終期設 廃 止 / 休	善 等 小 定	
		現 状 維 方 法 改 民間委託による対応に向け,他市の事例や問題点を整理する。 民間 委 託 縮 統合/終期設	善 等 小 定	

(内	部	事	務)	事業	コード	4330210					部	長次	長	課	長
平月	τ <b>ί</b> 1	5 £	王度	事	業名	  下水道本管及び取付管	の維持補修・2	10000000000000000000000000000000000000							
' '	~ ·		' /~	<b>-</b>	ж п	T SIZE T EIZO AKTIE	100 ME 3 3 110 100 100								
	_	- كىلىد	.107 =	<del>-</del> (   ) )											
				要(ドゥ)	12 0 0 14	.   th'辛売こったい	カナス切士づく	12				7-4-1 - 0.7			
			至巾		りの目標	A II > 1, 11 >		J.			所 管 詩	果 建設部 下水道課	,		
					<u>中</u>	•	古基盤の允夫				50 答知 E 50				
	朿	池	策		<u>小</u>	3 下水道の整備					所管課長氏				
体			系		細	DTI 1 0 7		/			記入者氏名				
事	461		業	斯		昭和10年~		経常臨時	☑ 経常	□臨時		号 0797-31·	-2121	内線	2314
根空	拠	Ŀ				下水道法		•		F±1	実施主		<del>수</del> 비스		
実委			施	手 <u></u>		☑ 直営	一一部委託	5	□ 全部都			_	負担金		
安				託	先	□ 外郭団体委託	名称				<b>調委託</b> 委託 内容	<b>学</b>			
事		<del>3</del> 1	¥	$\sigma$	±1947 ===5	  公共下水道管の維持補	。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	いきひきナ 4巻	質 田坦答	IH					
<b>尹</b>		詳	₹	Ø	概 要	公共下小道自切維持作		ノロスロー・作具・	异,坑物目	垤					
						  苦情 , 要望及び日常点	*************************************	ミカニ レグ	━木兀ァメロ	カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	佐 し 対象を分がない。	<b>(</b> )	<b>⁄=≥</b>		
事		当	£	Ø	現 状	日間,安全及び口市に H15不良箇所発生件数		יטוער	<b>神旦及び日</b>	沈神旦で天!	旭の神鳥型のに	ス区工争で	1」ノ。		
<b>尹</b>		#	₹	0)	况 1八	1113个民国刑先主计数	1021+								
		F	9 665	実現のため	ν <b>Φ</b>										
				を成めため なび実施内											
		٦	FFX/	メび天心と											
					<b>坞 煙 夕</b>	不良(破損等)箇所数	7								
ァ	<i></i>	<b>=</b> .	ィブ		年 度	_ ,		(宝績)	平成 1 5 年	度(実績)	平成16年度	(日煙)	亚成 1	7年度(	日煙)
指	<i>,</i> .		標	活動指標	指標値		128			- <del>汉(天順)</del> 02	1/32/10 -132	. ( H'I# )	1 13% 1	7 +12 (	H1# /
10			ាភ		単位コスト	_	120		<u>'</u>	02					
						補修,改良箇所数									
יק	ל ל	プ	ット		年 度	_ ,	平成14年度	(宝績)	平成 1 5 年	度(実績)	平成16年度	(日標)	平成1	7年度(	日標)
指	,		標	結果指標	指標値		128			02	177% 1 0 1138	( H 1 / )	1 13%	, 132 (	H 135 /
10			ាភ		単位コスト	70	120		<u>'</u>	02					
2	車	丵	FIT E	果(アウ			-	ļ			<u> </u>		<u> </u>		
_		_													
				対	象	補修・改修が必要な下	水道管								
事	業(	D E	目的	対象力	バー率	対 象 数 (a)	102	受 益 数	(b)	102	比 率 (b	÷ a) %		100%	
			. 図		<u> </u>	100 100 100 (19)	-		. (-)		120 ; (:				
		-		意	図	  快適な市民生活を維持	まするため , 下水	く道施設の	状態を良好	に保つ。					
					 E語にして)		.,,								
				(*****											
大		ð	Ē	な	目 的	下水道施設の適正な維	i持管理を行うこ	ことにより	, 快適な市	民生活を維持	持する。				
									,						
					指 標 名	補修・改良率									
				中 間		補修・改良箇所数 / 不	良(破損等)箇	所数							
				成果指標		平成13年度(実績)			平成 1 5 年	度(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ָ ל	トナ	בל	7221311	指標値		100%			0%	1009			100%	
指			標		指標名		I.	Į.			ı				
				最 終	考え方・式										
				成果指標		平成13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年	度(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
					指標値							-		-	
					ı						I				
芦	12	屋	の	特包	きなど										
3			费,	活動師.					1 世帯当り ( F	H) 1.430	住民1人当り(円	040		.1 住民基	本台帳
事	事	業		/O =//III/	分(コスト	)			「匠でコッ(」	J 1, <del>1</del> 30		618	平成16.4		
<del>_</del>	事	業	業	費	分(コスト 構成%	) ┃平成13年度(決算)	平成14年度	(決算)		度(決算)	平成16年度		平成16.4	12242	
<del></del>	事			費	構成%		+	(決算) 6,571					平成16.4		
7	事	_	業	費	構成% 7.7%	平成13年度(決算) 5,603	3			度(決算)			平成16.4		
内		/ Julii	業 人 事	費 件 費	構成% 7.7%	平成13年度(決算) 5,603	3	6,571		度(決算) 4,254		(予算)	平成16.4		
内	į	沢化	業 人 事 也 部	<b>費</b> 件 費 業 費	構成% 7.7%	平成13年度(決算) 5,603	3	6,571 73,412		度(決算) 4,254		(予算)	平成16.4		
内	į	ア 沢 (1 ) <sup>え</sup>	業 人 事 也 部	費 件 費 業 費 引 経 費	構成% 7.7% 92.3%	平成 1 3年度 (決算) 5,603 40,744	3	6,571 73,412		度(決算) 4,254		(予算)	平成16.4		
内	į	》 訳 () <b>1</b>	業 人 事 で ば ば	費件 費業 費那 經費 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種	構成% 7.7% 92.3%	平成 1 3年度 (決算) 5,603 40,744	3	6,571 73,412 5,601		度 (決算) 4,254 51,150		- 50,955 - -	平成16.4		
内	· 円	》 訳 () <b>1</b>	業 人事 他成 <b>合</b> 国	費件 費 業 費	構成% 7.7% 92.3% 100.0%	平成 1 3 年度 ( 決算 ) 5,603 40,741 46,344	3	6,571 73,412 5,601		度 (決算) 4,254 51,150		- 50,955 - -	平成16.4		
内 ( 千	i 一円	訳 ) <b>1</b> 原	業 人事也咸 <b>合</b> 国市	件 費 件 費 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	構成% 7.7% 92.3% <b>100.0%</b> 28.3%	平成 1 3 年度 ( 決算 ) 5,603 40,741 46,344	3	6,571 73,412 5,601 <b>85,584</b>		度 (決算) 4,254 51,150 55,404		- 50,955 - -	平成16.4		
内(千財	i 一円	訳 ) <b>1</b> 原	大事 地 成合 国 市 そ	件 費費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 量 會 量 會 量	構成% 7.7% 92.3% <b>100.0%</b> 28.3%	平成 1 3 年度 ( 決算 ) 5,603 40,741 46,344	,	6,571 73,412 5,601 <b>85,584</b>		度 (決算) 4,254 51,150 55,404		- 50,955 - -	平成16.4		
内(千財	: 円	訳 ) <b>1</b> 原	大事也 咸合 国市そー	費費費費 番別 経費費 計量・ ・ 原 ・ の 他	構成% 7.7% 92.3% <b>100.0%</b> 28.3%	平成 1 3 年度 (決算) 5,603 40,741 46,344	,	6,571 73,412 5,601 <b>85,584</b> 22,200		度 (決算) 4,254 51,150 <b>55,404</b>		(予算) - 50,955 - - 50,955	平成16.4		
内(千	一一門		大事也成合国市そ一職	費費費費 費費 費費 費費 費費 費 費 費 費 費 費 費 乗 乗 乗 乗	構成% 7.7% 92.3% 100.0% 28.3% 71.7%	平成 1 3 年度 (決算) 5,603 40,741 46,344		6,571 73,412 5,601 <b>85,584</b> 22,200		度 (決算) 4,254 51,150 <b>55,404</b> 15,670		(予算) - 50,955 - - 50,955	平成16.4		

評	価	<i></i>	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	対象カバ	一率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低	低い		
有	受益者(1		☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	Ē		
			☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		4	4
効	成果の実	績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	211	4	4
性			成里があがっていたい場合			
4点	- 成果同上	余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特	手になし		
- 711,			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣都市 □ 比較できる団体はない	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
			□ 他団体の数字を把握している 活動配分 □ 把握していない			
	活動配分	(1 ~ 1)	□ 他団体より少ない □ 他団体と同程度 □ 他団体より多い			
効			多い、または少ない場合の理由			
743			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣都市 □ 比較できる団体はない			
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 同一種算基準 ☑ 把握していない			
	単位コス	·(1 ~ 1)	□ 他団体の数子を記述している			_
率			高い、または低い場合の理由		1	0
			直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について			
			□ 行政職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	<del>=</del> 2		
	手段(1~	3)		ກຈ		
性			<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>			
4点			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減	成取組(1~ 1	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
			/ □ 内容 新材料及び新工法等の採用			
平成	1 5 ~ 1	6 年 度	ライニング工法の検討 こ <sub>課題</sub> 改善	総合	۸	D
実施	した改	6 年 度 [ 善 内 :	内容   内容	評価	Α	В
5 64	<u> </u>	<b></b>				
5 学程	受の対心(	アクション)	78.4.1. L. ph. le-m. a. F. A. John Ph. A. L. J. J. J. J. J. J. J. J. J. J. J. J. J.			
TD #- *	77 ±60 1		発生した時点での「対症療法的」対応			
块 仕 話	総識 して	いる課	<u>現</u>			
	1/7 ±/1 ± 1	<b>四</b> / よっ ク:	L COLOR A MANAGEMENT AND A STATE OF THE STAT			
		関係者の名	尔住民,他企業埋設物管理者			
からの	意 見	,要望内:	マース マース マース マース マース マース マース マース マース マース			
要望	等心力	· .				
		対応内容	本管部分更生工事			
	(1)	)				
		実施期限	R 平成 年 月			
課題·要		対応内容	・ ド 取付管布設替え			
	(2)	)				
へのタ	付 応	実施期限	₹   平成   年			
		対応内容				
	(3)	×1,0,1,1,2				
		実施期限				
			マッピングシステムの導入			
	考えられ					
改善の	カアイデ	ア				
			今後の方	5 向性	1次評価	2次評価
			拡大・	充 実		
			維持管理レベルの総合化 現 状 糸	維持		
			経済比較による施工 方法 己	改善 善		
平成1	7~19年	度の方向は	民間委	託 等		
			縮	小		
			統合/終其	期設定		
			廃止/	休 止		
2 次 評	価委員	会コメン	F			

(内部引	耳務)	事業	J - F	4330	220			部 長 次	欠 長課 長
平成15	年度	車	業名	T-7k	道施設の維持管理美	<b>学</b> 黎			
T-13X 1 3	十反	Ŧ :	* 1	1.777	色/地域(グ)神) 寸台 注え	<del>K</del> 177			
							<u> </u>		
1 事業	<b>業概</b> 弱	要(ドゥ)							•
第3次芦	屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり		所 管 課	建設部
総合言	計画		中	3	安全で快適な生活	基盤の充実		所 管 課~	下水道課
政策	施 策		小	3	下水道の整備			所管課長氏名/	小野 政春
体	系	1	細					記入者氏名	西村 仁
事	業	期	間	昭和	10年~	経常臨時	□ 経常 □ 臨時	電 話 番 号	内線 2314
根 拠	法	令 , 身	要 綱 等	下水				実 施 主 体	<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金	□ 負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称	□民間	蜀委託 委託 内容	
						<u> </u>	1		
事	業	Ø	概 要	他企	業及び他課事業の道	道路掘削工事に伴う協議	, 及び各管理者への占属	用協議事務	
					他企業及75他事業	果より道路掘削丁事に伴	う協議書の提出があり	それに対する回答	5,現場立会い,現地明示,
事	業	Ø	現 状		び工事中の巡回等を			,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
•	<b>-1</b>		.,,		各管理者への下水道				
	日的国	実現のため	າທ						
		へがいため 及び実施内							
	J +X/	X O ZIJEF S	, 🗆						
			指標 名	施丁	拉美件粉				
アクテ	, <del>-</del>				13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標)   平成17年度(目標)
指	1ヶ標	活動指標			165	108	101	十八八〇十反()	日保) 十八 7 千皮(日保)
18	行示		指標値		100	100	101		
			単位コスト		<u> </u>				
코스	٠ ا				立会件数	亚代1.4年度(宋纬)	亚代15年度/安建》	五代16年度(1	口捶、【亚代 1 7 年度 / 口捶、
アウトス		結果指標	年 度		13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
指	標		指標値	_	165	108	101		
• ==	U/ _L\ _	<u></u>	単位コスト						
2 事業	を 入り	果(アウト	<u>`刀厶)</u>						
		対	象	協議	の対象となった下ス	K道施設			
<del></del> 314 -					- 144			Iu	
			バー率	र्ग ≩	R 数 (a)	9 益 数	女 (b) 101	比 率 (b ÷	a) % 100
対象·	怠 凶	l	_						
		意		快適	な市民生活を維持す	するため,下水道施設の	状態を良好に保つ。		
		(対象を主	主語にして)						
大	き	な	目 的	施設	の損傷を防ぎ適正な	は管理を行う。			
					掘削工事に伴う立会	会協議実施率			
		中 間	考え方・式						
		成果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
アウト	カム		指標値		100%	100%	100%	100%	100%
指	標				の保全が図られた図	<u> </u>			
			考え方・式						
		成果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標) 平成17年度(目標)
			指標値		100%	100%	100%	100%	100%
芦屋	の	特色	きなど						
3 事業	業費∙	活動配:	<u>分(コスト</u>	)			1世帯当り(円) 73	住民1人当り(円)	32 平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成 1 6 年度 ( -	予算)
	人	件 費	100.0%		6,559	1,992	2,837		-
	事	業費	0.0%		215	145	0		105
内 訳	他部	3 門 経 費							-
(千円)	減価	賃 却 費							-
	合	計	100.0%		6,774	2,137	2,837		105
	国	· 県							
財 源	市	債 等							
(千円)		の他							
·		設 財 源			6,774	2,137	2,837		105
活 動	職	員			0.75	0.25	0.35		-
		·臨時等			0.10				-
( <b>,</b> )		#			0.85	0.25	0.35		0.00

4 計1	<u> </u>	見 点	☆(帯イーックリフト		\/≖	2.55±±.7±
計	<u>価 視</u> 対象カバー <sup>図</sup>				次評価	2次評価
有	受益者(1 ~		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低 □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	文皿日(1	'')	□ 事業总因に支血質は差白している □ 事業总因に支血質が不差白,まだは支血が 部に成足 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入			4
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えな	: <b>し</b> 1	3	4
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点			□ 成果向上策あり □ 特に	になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣都市 □ 比較できる団体はない			
	活動配分(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 活動配分 □ 把握していない			
効			→ □ 他団体より少ない □ 他団体と同程度 □ 他団体より多い			
XIJ			多い,または少ない場合の理由   □ 比較できる団体がある   団体名 近隣都市   □ 比較できる団体はない   □ 比較できる団体はない			
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		_	_
率			高い、または低い場合の理由		-2	-3
			直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について			
			   □ 行政職員による執行が義務づけられている □ 個人 家庭 地域等が担うべき部分があ	る		
性	手段(1~ 3	3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
4点			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取	14日(1 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		(RE(1 - 1)	→ 内容			
ᄑᄨ	15~16	在 度 に	改善	総合	)	)
実施	1 5 ~ 1 6 した改	善内容		評価	В	В
Γ <b>Δ</b>	* ^ <del>+   -   -   -   -   -   -   -   -   -   </del>	h>>.\				
5 7713	<u> 後の対応(ア</u>		発生した時点での「対症療法的」対応			
現在記	認識してし					
+0 86		<b>バ</b> キの <b>ク</b> か				
			住民,他企業埋設管管理者			
要 望	<sup>息兒</sup> 意見,	要望内容	下水道管等の木の根等による閉塞,及び老朽化による破損。			
	(1)	対応内容				
	(1)	実施期限	平成 年 月			
課題·要		対応内容				
へのタ	(2)	実施期限	   平成			
	(2)	対応内容				
	(3)	D+1:078				
		実施期限	平成      年      月       マッピングシステムの導入			
その他	考えられる		くりこうプラステムの寺八			
	カアイデア					
, L			今後の方	向性1	次評価	2次評価
			拡大・3		D CHI IM	-17 (H) IM
			維持管理レベルの総合化 現 状 維	<b>赴持</b>		
			方法改	女 善		
平成 1	7~19年度	の方向性	民間委託	託 等		
			縮	小		
			統合/終期	設定		
			廃止/6	休 止		
2 次 評	̄価 委 員 会	コメント				

(内	部事	務)	事業	コード	4430010			部 長	次	長課	長
,		/						II.			
平成	ί15	年度	事	業名	河川・海岸環境整備事	業					
1	事業	き 概 望	要(ドゥ)							L.	
				りの目標	4 快適でうるおいの	ある都市づくり		CC 25 ±m	建設部		
総 1	合言	+ 画		中	4 個性と風格のある	街並みの創造		所 管 課	下水道課		
政策	策於	も 策		小	3 親しみのある水辺	]環境の整備		所管課長氏名	小野 政着	ŧ	
体		系		細				記入者氏名	山下 真志	3	
事		業	期	間	昭和60年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号	0797-38-20	067 内線	2315
根	拠	法	令 · §	要綱 等				実 施 主 体	県・市		
実		施	手	法	☑ 直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金			
委			託	先	□ 外郭団体委託	名称	到 民間	蜀委託 委 託 内 容	除草・清掃	業務	
事	į	業	の	概 要	芦屋川,宮川,堀切川	及びキャナルパークの環	境保全を図る。				
						683㎡) 除草年 5 回,清排					
						571㎡ ) 除草年 7 回 , 清技	帚 2 回				
事	Ī	業	の	現 状	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	m <sup>²</sup> ) 除草年2回 					
				_	芦屋川河口 0.6ha清掃						
			実現のため		キャナルバーク 2,65	0m(41,200㎡),清掃1	1回				
		于段力	及び実施内	]谷							
				七 抽 夕	吹苔。连担同***						
アク	, =	, <del>-1</del>			除草・清掃回数 平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	日梅ノ「	平成 1 7 年度 (	日梅~
指	, ,	1ヶ標	活動指標	年   度     指標値		116	126	120	日信ノー	120	口信儿
扣		尓		担 信 温		110	120	120		120	
				指標名							
アウ	, , =	f w h		年 度	_ n	平成14年度(実績)	平成15年度(宝績)	平成16年度(	日種)	平成17年度(	日桓)
指	'   '	グー 標	結果指標	指標値		173.1寸十及(天順)	17%13十及(天順)	1 13% 1 0 +1% (	, H1x /	11111 7 -12	ᆈᇄᄼ
111		135		単位コスト							
2	事当	£πt s	果(アウ)		<u> </u>			ļ			
	3.7			· ·							
			対	象		及びキャナルパークを利	用する市民。				
事業	ี € の	目的	対象力	バー率	対象数(a) 12	29,692㎡	文 (b) 129,692㎡	比 率 (b	÷ a) %	1 0 0 %	
対象	マーラ	意 図									
			意	図	河川,海岸の美化と生	活環境の保全。					
			(対象を言	<b>E語にして</b> )							
大	;	ŧ	な	目 的	市民の憩いの場として	供する。					
				指標名	除草・清掃面積						
			中 間	考え方・式	,						
			成果指標	年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(		平成17年度(	目標)
	ナト	カム		指標値		88,492m²	129,692m²	129,692r	ท์		
指		標			芦屋川満足度	Mr · · · · · · · · · · · · · · · ·					
						策定に係るアンケート調		_			
			成果指標			平成14年度(実績)		平成16年度(	<u> </u>	平成17年度(	目標)
				指標値			42.60%				
*		•	#±	h +> 12							
芦	屋	の	特色	もなど							
າ .	申子	坐弗.	、千まりあつ。	<u>۱</u>	\		1世帯当り(円) 452	住民11411(田)	400 7	P成16.4.1 住民基	十ムhE
事	<del>丁</del> 月	· 具 · 業	<u>/白乳間</u> 費	分 (コスト) 構成%		平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	住民1人当り(円) 平成16年度(		F/JX 10.4.1 庄氏茎	がロチュ
<del>-</del>		<del>*</del>	件費	15.7%		2,592	2,752	1 13% 1 0 +1% (	. J <del>J+</del> /		
		事	業費	84.3%		13,600	14,777		18,058		
内	訳	-	門経費	04.0%	12,120	10,000	17,111				
			道却費						-		
(		合	計	100.0%	14,837	16,192	17,529		18,058		
		国	· 県	52.5%		8,542	9,195		10,970		
財	源	市	債 等				· · · ·				
	円)		の他								
			段 財源		7,111	7,650	8,334		7,088		
活	動		員	100.0%		0.30	0.30		-		
配			・臨時等						-		
( )	( )	슾	Ħ	100.0%	0.25	0.30	0.30		0.00		

	叫(テエック)									1	
評	価視	•				評価チェック! 	リスト			1次評価	2次評価
	対象カバー図			カバー率は高		□ 他団体と同程度		□ 他団体よりカバー		]	
有	受益者(1~	1)			皆は整合してに			合,または受益が一部	に限定	_	
効	成果の実績(	2 ~ 1)			実績値を把握	し,目標値を設定してい いると言える		たは目標値が未記入 ら成果があがっていると	言えない	4	4
性	- 成果向上余均	₩(1~ 1)	成果があ	がっていな	い場合						
4点	- 成未同工小	·ເພ( i i)	□ 成果区					i	□ 特になし		
				できる団体が		団体名 近隣都市		□ 比較できる団体に	はない		
	活動配分(1~	~ 1)			把握している	活動配分		☑ 把握していない			
	7,12,3,10,3,(1	-,		他団体より生		□ 他団体と同程度		□ 他団体より多い		-	
効				たは少ないは							
				できる団体か		団体名 近隣都市		□ 比較できる団体に	はない		
	単位コスト(1	~ 1)	1		把握している	単位コスト 同		☑ 把握していない			
率		·			コストが低い	□ 他団体と同程度		□ 他団体よりコストか	が高い	-1	-3
				たは低い場合						•	
						3団体へ委託している業		- 1111-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	. / . /		
	手段(1~ 3	3)		<b>載員による</b> 教	れてが義務つけ	けられている きない業務である	□ 個人,家園	き,地域等が担うべき部	分がある		
性											
4点						ない業務である		寺職員等で対応可能で	める		
	コスト削減取	組(1~ 1)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		組みを行ってい	16	☑ 特に行っ <sup>7</sup>	(11211			
平成.	15~16	年度に	÷=====			改善			総合	D	Ь
実施	15~16した改	善内容	課題			内容			評価	B	В
[		カシュンハ									
3 71	タリスショルい (ア	<u> </u>									
現在;	認識してい	ヽる 課 題									
市民,関	引係者 市民,関	係者の名称									
からの	意見意見,	要望内容									
女王		対応内容									
	(1)	実施期限	vi ct	年	月						
課題·要		対応内容	平成	+-	<del> </del>						
	(2)										
へのす	对 心	実施期限	半成	年	月						
	(3)	対応内容									
		実施期限	平成	年	月						
	考えられる										
改善の	カアイデア	1								1	
									の方向性		2次評価
			712422			7 - VV- LL 665 - 24 // / - 27			大 充 実		
			りさ続され	氏の憩い項	易じめる河川/	及び海岸等の美化に努	න රං		状 維 持		
<del></del> +	- 10 F	~ 4							法改善		
平 风 1	7~19年度	の方同性							間委託等		
								縮	小丝曲弧字		-
									/終期設定 比 / 休 比		<u> </u>
									止 / 休 止	1	<u> </u>
2 次 評	『価委員会	コメント									

(投資	事	業)	事業	¥ :	I	4130	)220				部長	次	長課	長
平成 ′	1 5 :	年度	事	¥	<b>É</b> 2	南芦	屋浜下水処理場整	備事業						
										•				
1 事	掌	€概3	要(ド:	)										
第3次	(芦	屋市	まちこ		りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			所 管 課	建設部		
総合					<u> </u>			高い市街地の形成				下水処理		
政策	т	東系		り		3	市街地の整備				所管課長氏名記 入者 氏名			
体 事		業		期		平成	<u>┃</u> .8年度~平成20:	年度 投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電話番号			2877
根が	処		令 '				道法・下水道事業			тини	実施主体		- J I F J MAK	2011
実		施		手	洁	<u> </u>	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金	
委			託		先	_		名称		☑ 民間	委託 委託 内容	工事監理	<b>季</b> 託	
事	긜	業	Ø		概 要		屋浜下水処理場の	施設・設備の整備						
<del>-</del>	7	•	٠		19% 34									
						平成	,15年度 南	芦屋浜下水処理場二期建	建築工事及び工	事監理委	託			
							·	平成13年原		平成14年		平成15年		
事	3	業	の		現り		費(千円) :処理水量(千m3)					6,19		
	E	目的写	実現の	<u>-</u> λh	M		処理小重(〒III3) 事業費は建設費で		/	1 9	4	2 1	б	
			るび実施				<b>子来只</b> 16年16月 C							
				-	指標 名									
				-			契約数+委託契約		T	. <del></del> /= >		/ D.#= \	1 = + 4 = <i>F</i> = =	/ D.#= \
7 A	L <del>-f</del>	ا ا بر ا	(1)	-			(13年度(美績)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 3 件	(美績)	1件	(目標)	平成17年度 0件	(目標)
アウ 指	·	が標		_	指 標 値 指 標 名	_			317		'IT		VI <del>T</del>	
, H		125		-	<del>パープープープープープープープープープープープープープープープープープープープ</del>									
			(2)		年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度	(目標)
					指標値	Ī								
2 事	1	[风	果(ア	フト	カム)	1								
			対		多	初理	場施設設備の整備							
事業	の	目的			~		3004X4X110-0-1111							
対 象	· 意	意 図												
			意				i芦屋浜地区(9 ,	000人 7,700m	n3/日)の水珠	環境を保≦	全する。			
			(对家	を王	語にして)									
大	į	<del>\$</del>	な			 1 汚水	処理を効果的に行	う。						
		_				,,,,,		J.						
							指標名	指標値			考え方・	式		
<b>-</b> -		т,	中	間	(1)		進捗率	100%	実績事業費÷	計画事業	費×100			
ア ウ <sub>咕</sub> 甲			成果指	≤ <del>†</del> ==										
ル (事業			ル木加	小示	(2)		処理量	216,062 <b>m3</b>	汚水処理量(千	<del>-</del> m3)				
,		- /	旱 级	ct	果指標	ВО	D(生物化学的酸素	2 m g / l	·年平均BOD					
			取於	IJΧ	木 1日 15		要求量)	2 mg / L	·兵庫県基準値	<b>直</b> 25mg.	/ L			
* <b>-</b>	± 1	\ #± 4	ユナヽ じ・	* -	ナフ声で			しエネルギーの縮減に著		<b>○</b> +8€	▲ ≔ニー テハフ			
户座「	<b>П</b> Э (V.	ノ <del>行</del> E	当なて	開疋	:9 0 争り	又,	汚水処理水を膜処	理した浄化水を「たっぷ	いり遅へる思い	の場所」	へ返兀している。			
3 ₫	[学	套書・	活動	10.5	ナ(コスト	.)			平成16.4.1住民	基本台帳	1世帯当り(円)	0	住民1人当り(円)	0
<del>ップ</del> 事		<u>美</u>	/   3//	費	構成%	_	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度		歳出累計額(		事業費総額(決算	1
		人	件	費	3.69	6	14,766	10,235		12,907		-		-
		事	業	費	96.49	6	158,914	126,760		346,190				
			門経									-		-
( <del>†</del>	-	减 値 <b>合</b>	貸却	計	100.09	4	173,680	136,995		359,097		- 0		0
	_	国	•	県	48.19	+	87,402	68,903		172,781		J		J
財	源		債	等	43.3	_	64,360	52,000		155,400				
(千円	9)		の	他	5.09		7,152	5,857		18,009				
			段 財	源	3.69	+	14,766	10,235		12,907		0		0
	動		. E与 n+	員	100.0	_	1.50	0.90		1.15				
配(人	-	嘱 <b>合</b>	:臨時	計	100.09		0.00 <b>1.50</b>	0.10 <b>1.00</b>		0.00 <b>1.15</b>				
1	11	_		M 1 1	100.0	v	1.00	1.00		1.10	i .			

4 計11	川(ナエツン	<u>/)</u> 視 点	⇒ (		1 次本/画	1 次 ≕ / ≖
評	価	倪 朱	評価チェックリスト ☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	1. 44-55 + 451 1	1次評価	2次評価
妥	目的妥当	1性(2~ 2)				
y.						
	+	<b>7</b> °(0 4)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う			
当	市氏	ズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない。		4	4
			□ 数字で把握している	→ 未把握	•	•
	社会環境	<b>電変化(1~ 1)</b>	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた	見直しが必要		
性			内容特に変化はない。			
6点		緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	受益者(1	~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が			
有	准挑狀沒	₹(2 ~ 1)	│ ☑ 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記	入		_
効	X=12-1/()	b(= 1)	▶ □ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出てい	<b>ర</b>	2	2
性	- 准块沙金	<b>禁余地(1~ 1)</b>	計画から遅れが出ている場合			
4点	- 進沙以言	5 示 2 B( 1	② 改善策あり 企業庁の開発を積極的に行ってほしい。	□ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団	体はない		
	コスト(1 -	. 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していた	il 1		
効	コスト()	1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコ	ストが高い		
			高い,または低い場合の理由			
			直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		4	2
率			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うへ	き部分がある	- 1	-2
	手段(1~	3)	<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応で</li></ul>			
性			☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可			
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	10 000		
OM	コスト削え	咸取組(1~ 1)	→ 内容			
			開口部を蓋で覆う。			
平成	1 5 ~ 1	6 年 度 に	理期 加理提の安全対策   改善	総合	В	В
実施	した改	び 善内 容	内容	評価	ט	ט
	をの対応(	アクション)				
J 718		<u> </u>	・平成19年度から平成22年度にかけて機械・電気・付帯設備工事を実施			
現 左 🗉	刃輪して		・平成19年度がら十成22年度にかりて機械・電気・行帯設備工事を実施・平成23年には、計画人口9,000人の汚水処理を実施			
坑 红 前	ici field C	いる味度	・一成と3年には,中国人口チ,000人の万小処理を失肥			
古兄 悶	16岁 古兄	関係者の名称		_		
からの						
要望	<sup>思 兄</sup> 意 見	,要望内容				
女 笙	₹					
		対応内容	機械・電気・付帯工事完了			
	(1		T-# 00 F 0 D			
+m == ==	+ ^^	実施期限	平成 23 年 3 月			
課題·要		対応内容	南芦屋浜地区全体の汚水処理開始			
	( 2	)				
へのタ	付 応	実施期限	平成 23 年 4 月			
		対応内容				
	( 3	)				
		実施期限				
			南芦屋浜に1.8hrの用地を購入し,芦屋市全域の高度処理ができる施設整備を行う	) <sub>o</sub>		
その他	考えられ	เธ				
改善の	カアイデ	・ア				
				今後の方向性	1次評価	2次評価
			実施計画に基づき実施	拡大・充実		
				現 状 維 持		
				方法改善		
平成 1	7~19年	度の方向性	l F	民間委託等		
			l l			
				縮小		
				縮 小統合/終期設定		
				縮小		
2 次 評	: 価 秀 昌	会コメント		縮 小統合/終期設定		
2 次 評	蓝価 委 員	会コメント		縮 小統合/終期設定		

(投資	事業)	事業	<b>_</b> _	ド	43302	250					部長	次	長課	長
		=	ш	٦.	#	エーレ加加まれ供売	ж							
平成1!	4度	争	業	名	户厔	下水処理場整備事	美							
1 事	業概	要(ドゥ	)											
第3次声	古屋市	まちづ	くりの目	標	4	快適でうるおいの	ある都	市づくり				建設部		
総合			中			安全で快適な生活					所 管 課	下水処理	胆場	
					_		1 生血り	70,50			C 竺 钿 E C A			
政策			小		3	下水道の整備					所管課長氏名			
体	系		細								記入者氏名	竹中清	<b>5</b>	
事	業		期	間	昭和	46年度~平成2	7年度	投資臨時	☑ 投資 □ [	臨時	電話番号	3 2 - 1	291 内線	え 2877
根 拠	法	今 ,	要 綱	等 -	下水:	道法・下水道事業	の手引き	<b>*</b>			実 施 主 体	芦屋市	•	•
	施		<u> </u>			直営		- -部委託	□ 全部委託				負担金	
<u>実</u>	旭		<del>,</del>					<b>副安</b> 武			****			
委		託					名称				委託 委託 内容			計
				Ī	芦屋	下水処理場,奥山	下水処Ŧ	浬場 , 場内ポンプ	プ場,大東ポンフ	プ場,南	宮ポンプ場の施	設・設備の	の整備	
事	業	の	概	要										
				-	π <del>ct</del> .	15年度 水処	I⊞tc≐⊓i	東屋上防水,送》	2≐ℓ/供≐ℓ(架 沖1	小小小小久	<b>*</b>			
					十八人	15年長 小処	生/世記1							
								平成13年度		14年度		15年度		
事	業	の	現	状	汚水	関係事業費 ( 千円	)	107,296	165	, 258	177	, 686		
				3	汚水	処理水量 ( 千m3 )	)	10.384	1 0	. 4 2 2	1 0	, 920		
	F1 65 9	宝田のた	ሐጠ			関係事業費(千円						, 5 0 3		
		実現のた												
	<b></b>	及び実施	内谷	F	羽水:	処理水量(千m3)	)	7,684	7	, 5 6 4	1 0	, 417		
			指 標	名	整備	件数								
		<b>姓里</b> 指				契約数 + 委託契約	数							
			0.1270	- •		13年度(実績)		1年度(宝繕)	平成15年度(	(宝績)	平成16年度	(日輝)	平成17年度	10日押)
	. م	(1)	年	_	十以	13年及(天順)	十八人	4 千皮(天根)		(天領)		(日信)		
アウト	フット		指標	値					11件		10件		10 <b>4</b>	<del>T</del>
指	標		指 標	名										
		結果指	票考え方	·式										
		(2)	年		平成	13年度(実績)	平成 1	4年度(宝績)	平成15年度(	(宝績)	平成16年度	(日標)	平成17年度	ま(日標)
		(2)		_	1 13%	13十及(入殿)	1 /2% 1	11及(入限)	172013 1720		172 1 0 172	( 113. )	172 7 173	Z ( H IM )
	117 -12 1		指標	胆										
2 事	<b>業</b> 成	果(アワ	<u> トカム)</u>											
		対		象	処理:	場・ポンプ場の施	設設備(	の機能維持						
事業の	日的													
対象・														
X1 3K .	忠 凶	l .			·			_ >= -	_					
		意			方水:	処理・雨水排水を	女正か	つ適止に処埋する	5.					
		(対象を	主語にし	て)										
大	き	な	目	的	汚水	処理・雨水排水効	率的に征	Ħう。						
	_	٥.	_	-5/			1 231							
						北井市石		+比+亜/古			<b>キ</b> ュナ			
				L		指標名		指標値			考え方・	エレ		
		中	間 (1)			稼働率		100%	稼働日÷365日	1 1 0 0				
アウト	カム					你則平		100%	1731111日 テラリラム	1 X 1 U U				
成果	指 標	成果指	堙											
/** (事業)			(2)			処理量	21,	337,581m3	汚水処理量(10	,920,390	m3) + 雨水処理:	量 (10,417	',191m3)	
( 尹 未 )	, L J )					. / /L-44-70 W / / = 2 = 2	<b> </b>		<b>#</b> #! <b>!</b>					
		最 終	成果指	標	BOD	)(生物科学的酸素		2mg/L	·年平均BOD					
			. 714 714			要求量)	<u></u>	•	·兵庫県基準値					
				1	供用	開始日 芦屋処	理場	昭和49年1月	奥山処理場	昭和5	0年4月 南芦	屋浜処理:	場 平成13年4	1月
芦屋市	の特値	色など補	足する事	頂		場内ポ	ンプ場	昭和51年6月	南宮ポンプ場	昭和4	7年4月 大東	ポンプ場	昭和39年	
. — .						2.00								
<u>ر جد ر</u>	TT -==	ンイチ上が	7/\/	, , ,					TI #404 : 12 F =	ナナ ハ・ロ	4 ### W. (A. C. T. )		<b>⇔</b> □4 1 31/4 = =	<b>D</b> \ -
			2分(コス						平成16.4.1住民基		1世帯当り(円)	1	住民1人当り(ア	
事	業		費 構成 %	6	平成	13年度(決算)	半成 1	4年度(決算)	平成15年度(	(決算)	歳出累計額(	决算)	事業費総額(決	(画信+ 稈
	人	件	費 4	.9%	_	11,823	1	13,695		15,642		-		-
	事			.1%		276,508		319,087	3	304,929		344,000		
内 訴	3.	<u>常</u> 『門経』		- ,,		-,		,				,		
							<del>                                     </del>							
(十円)		道償却	_									-		-
	合		H 100	.0%		288,331		332,782	3	320,571		344,000		0
	国	· j	果 46	.2%		108,350		24,807	1	148,143		128,980		-
財源	市		_	.6%		148,400		256,900	-	133,300		96,100		
<i>(</i> 千円)				.0%		0		0		0		00,100		
(				_										^
	_		_	.2%		31,581		51,075		39,128		118,920		0
	職		員 100	.0%		1.30		1.60		1.95				
配分	嘱託	·臨時	等		_									
(人)			ii 100	.0%		1.30		1.60		1.95				

		ェック)		<u></u>		
評	価	視	点		1次評値	2次評価
<del>17</del>	目	的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
妥				□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
	_	<b>-</b>	2 4)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない		
当	ф	民ニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	/ _	4
				□ 数字で把握している □ 未把握		•
441	社:	会環境変化	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	£	
性	盾	<b>开州 50</b> 左	5 M+ (4)	内容		
6点		先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる ☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		1
<b>#</b>	文:	益者(1~	1)	□ 事業息図と支流有は空台している □ 事業息図と支流有が小空台、または支流が一部に限定 □ 進捗状況の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		
有効	進:	<b>捗状況(2~</b>	- 1)	□ 建砂状元の美績値を拒獲し、日標値を設定している □ 美績値または日標値が未記入 □ 当初計画から遅れが出ている □ 当初計画から遅れが出ている	3	3
性				計画から遅れが出ている場合	J	3
·····································	- 進	捗改善余 <sup>5</sup>	也(1~ 1)	□ 改善策あり □ 特にな	ı,	
7				□ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
				□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	٦,	スト(1~ ′	1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
7.0				高い、または低い場合の理由		
				直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		
率				□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	,   -1	-2
	一 手	段(1~ 3	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		<b>ラ 1 半12年117</b>	40 (4 A)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	۱,	スト削減取	組(1~ 1)	│ <b>→</b> 内容		
	4 5	4 6	<i>F</i>	12 ・沈砂池の改築	^ _	
平 成 油	1 5 L,	~ 1 6 t= 改 章	年 度 に 盖 内 容	課題 施設・設備等の改善 内容 ・水処理棟の改築 総評	篇 B	B
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	•	70 12 1	<b>-</b> 13 H	T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	Т	
5 今後	色の対	対応(アク	フション)			
				合流改善,降雨10年確率の排水強化,高度処理などの要請課題がある。		
現在談	忍 識	してい	る 課 題	施設・設備の更新は,機能維持のためには必要不可欠である。		
\						
		I == .		高度処理実施に用地1.8ha取得。		
からの			系者の名称	高度処理実施に用地1.8ha取得。		
<b>==</b> ←B	意 見	辛日 5		高度処理実施に用地1.8ha取得。		
要望	辛 日	辛日 5	系者の名称 要 望 内 容	高度処理実施に用地1.8ha取得。		
要望	意 見	意見,	要望内容	高度処理実施に用地1.8ha取得。		
要望	意 見	辛日 5	要望内容	高度処理実施に用地1.8ha取得。 電気設備改築 (平成17年度~平成22年度)		
	意 見 等	意見,	要望内容	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7 年度 ~ 平成 2 2 年度)		
要望 課題·要	意 見 等	意見,到	要望内容 対応内容 実施期限	高度処理実施に用地1.8ha取得。 電気設備改築 (平成17年度~平成22年度)		
課題・要	意見 等望等	意見,雪(1)	要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7 年度 ~ 平成 2 2 年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため)		
	意見 等望等	意見,雪(1)	要望内容对応内容 実施期限	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。  電気設備改築 (平成 1 7 年度 ~ 平成 2 2 年度)  平成 17 年 4 月  南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため)  平成 25 年 4 月		
課題・要	意見 等望等	意見,雪(1)	要望内容对応内容 実施期限	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7 年度 ~ 平成 2 2 年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため)		
課題・要	意見 等望等	意見,至(1)	要望 内容 对応期限 对応内容 実施期限 対応内容	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7年度~平成 2 2年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成 2 6年度~) 実施設計は平成24年度		
課題・要	意見 等望等	意見,至(1)	要望内容对応内容 実施期限	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7年度~平成 2 2年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成 2 6年度~) 実施設計は平成24年度	రెం	
課題・要への対	意 男 望	意見,至(1)	要望 内容 字	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7年度~平成 2 2年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成 2 6年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月	<b>ప</b> .	
課題・要への対	意 第 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 元 二 元 元 元 元	意見,雪(1)	要望 内容 字	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7年度~平成 2 2年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成 2 6年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月	<b>రె</b> .	
課題・要への対	意 第 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 元 二 元 元 元 元	意見, 引 (1) (2) (3)	要望 内容 字	高度処理実施に用地 1 . 8 h a 取得。 電気設備改築 (平成 1 7年度~平成 2 2年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地 1 . 8 h a の取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成 2 6年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月		i 2次評価
課題・要への対	意 第 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 元 二 元 元 元 元	意見, 引 (1) (2) (3)	要望 内容 字	高度処理実施に用地1.8ha取得。 電気設備改築 (平成17年度~平成22年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月 芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備す	可性 1次評価	i 2次評価
課題・要への対	意 第 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 元 二 元 元 元 元	意見, 引 (1) (2) (3)	要望 内容 字	高度処理実施に用地1.8ha取得。 電気設備改築 (平成17年度~平成22年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月 芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備す	7 1 / 1 / 次評( 実 持	i 2次評価
課題・要への対	意 望 対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見, § (1) (2) (3)	要望 对 実施 期 內 內 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期	高度処理実施に用地1.8ha取得。  電気設備改築 (平成17年度~平成22年度)  平成 17 年 4 月  南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため)  平成 25 年 4 月  合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度  平成 26 年 4 月  芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備す  事業計画に基づき実施  次 次 の方に  東	列性 1次評( 実 持	1 2次評価
課題・要への対	意 望 対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見, § (1) (2) (3)	要望 内容 字	高度処理実施に用地1.8ha取得。 電気設備改築 (平成17年度~平成22年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月 芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備す 事業計画に基づき実施 今後の方向現 状 維 方 法 改	列性 1次評( 実 持	i 2次評価
課題・要への対	意 望 対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見, § (1) (2) (3)	要望 对 実施 期 內 內 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期	高度処理実施に用地1.8ha取得。 電気設備改築 (平成17年度~平成22年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月 芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備する。 ウ後の方に事業計画に基づき実施 拡大・充現 状 維 方 法 改 民間委託 縮	可性 1次評価 実 持 善 等	i 2次評価
課題・要への対	意 望 対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見, § (1) (2) (3)	要望 对 実施 期 內 內 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期	高度処理実施に用地1.8ha取得。  電気設備改築 (平成17年度~平成22年度)  平成 17 年 4 月  南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため)  平成 25 年 4 月  合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度  平成 26 年 4 月  芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備す  事業計画に基づき実施  「ク後の方に現状を表現します。」  「会しまする。。  「会しまする。。  「会しまする。。 「会しまする。。	回性 1次評価 実 持 善 等 小 设定	1 2 次評価
課題・要への対	意 望 対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見, § (1) (2) (3)	要望 对 実施 期 內 內 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期	高度処理実施に用地1.8ha取得。 電気設備改築 (平成17年度~平成22年度) 平成 17 年 4 月 南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため) 平成 25 年 4 月 合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度 平成 26 年 4 月 芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備する。 ウ後の方に事業計画に基づき実施 拡大・充現 状 維 方 法 改 民間委託 縮	回性 1次評価 実 持 善 等 小 设定	i 2次評価
課題のの美の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の	意 望 対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見, (1) (2) (3) えられるア	要望対 実が 実対 たん かん 期内 期内 期内 期内 期 向 向 で の の かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	高度処理実施に用地1.8ha取得。  電気設備改築 (平成17年度~平成22年度)  平成 17 年 4 月  南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため)  平成 25 年 4 月  合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度  平成 26 年 4 月  芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備す  事業計画に基づき実施  なた、充現、状態方法、改民間委託縮 統合/終期記 廃止/体	回性 1次評価 実 持 善 等 小 设定	i 2次評価
課題のの善の善成1	意 望 対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意見, (1) (2) (3) えられるア	要望 对 実施 期 內 內 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期 內 期	高度処理実施に用地1.8ha取得。  電気設備改築 (平成17年度~平成22年度)  平成 17 年 4 月  南芦屋浜用地1.8haの取得(合流改善,高度処理のため)  平成 25 年 4 月  合流改善,高度処理設備等整備事業(平成26年度~) 実施設計は平成24年度  平成 26 年 4 月  芦屋下水処理場・南芦屋浜下水処理場の更新等をにらみ,双方向からの送水が可能な設備を整備す  事業計画に基づき実施  なた、充現、状態方法、改民間委託縮 統合/終期記 廃止/体	回性 1次評価 実 持 善 等 小 设定	i 2次評価

(投資	[ 争 :	兼 )	争		1 4	4330260				部		1	支バ		ŧ	支 詸	攴
平成1	5 年	F度	事	<b>業</b>	名:	兵庫東流域下水汚泥	<b>広域処理事業</b>										
			更(ドゥ)														
					標	4 快適でうるおい				所	管		建設		D.T.E.		
総合政策				<u>中</u> 小		3 安全で快適な生 3 下水道の整備	<b>沽基盤の允実</b>			FE.	管課	E CC 4		〈処理			
以 束 体	旭	來系		<u>小</u> 細		3 下小垣の霊哺					入 者		_				
<u></u> 事		業	期		間:	L 平成13年度~	投資臨時	時 ☑ 投資 □	臨時	電					291	内線	2877
	L ;		令 · ·			下水道法	322,524	3, _ 3,2,2 _	EAR! J	実						1 3 ///34	
実		施	手		法	☑ 直営	□ 一部委託	☑ 全部委託	£		] 補助	力金			負担金	:	
委			託		先	☑ 外郭団体委託	名称 兵庫東流域下水		□ 民間								
事	業		Ø	概	要	公共用水域の水質 <sup>。</sup> 水環境を目指す。	保全,生活環境の高度化	泛及び浸水防除を	図り,安	全7	で安心	なまち	<b>5づく</b>	りや	健全な	水循環・	良好な
						下水処理場で沈下	した汚泥を,武庫川下流	下水処理場へ送	泥ポンフ	゚゚゚でi	送水し	処理す	ける。				
事		的第	の ミ現のため なび実施内	o Ø	状 <sup>:</sup>	平成15年度 グ	処理に係る経費(委託料	∤・負担金) 11	19,792,33 搬出汚シ						1,627 查量 39		
				指 煙	夕	初沈汚泥引抜量											
			結果指標			初沈汚泥引抜量(t)											
			(1)				) 平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度	(実績)	4	<sup>2</sup> 成 1	6 年度	(目标	票)	平成 ′	17年度	(目標)
アウト	・プ	ット	,	指標	_	·	,	1,627.	11t			630.				1,630.0	
指		標		指標		し渣量	<b>-</b>	1							1		
			結果指標		_	し <b>渣量</b> (t)											
			(2)	<u> </u>		平成13年度(実績	) 平成14年度(実績			平	<sup>2</sup> 成 1			票)	平成 ′	17年度	
· +	- 2114		- · ·	指標	値			39.0	9 t			40.0	0 t			40.00	t
2 事	兼	カメラ	艮(アウ)	トカム)													
事業( 対象		的図	対 意 (対象を		図	送水汚泥量	で送水汚泥量が減少する	Po									
大	き		(X)家を主	主語にして	Ĺ	送水汚泥量が減少す	ることで事業に係る経費	が節減する。									
						指標名	指標値				考	きえ方	・式				
アウ		۵	中 間			搬出送泥量	158,802m3	送泥量									
成 果 (事業			成果指標	(2)													
			最終 成	果指		処理コスト	754円/m3	(委託料+負担									
			色など補足		項	し渣を取除く機器を	設置している。将来的に	:は,汚泥を濯ぐ 	゛装置を設	]置[	し,な	おいっ	そう				
	業		活動配			= D		平成16.4.1住民			世帯当				1	人当り(円)	
事		業	費		_	平成13年度(決算	) 平成14年度(決算	) 平成15年度		j	歳出累	計額	(决算	. )	事業費	総額(決算	1+計画)
	<u>ノ</u> 事		件 費業 費		4% C%				8,185					-			-
内			業 費門経費		6% 0%				179,903								
	_		貸却費		0%				0					-			-
, 113	1 / K		計		_		0	)	188,088					0			0
	<u> </u>		· 県		_				29,925								
	源市		債 等		3%				26,900								
(千円	1) 7		の他	61.	4%				115,540								
	-		とり かっこう しゅうしゅう しゅうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう		4%		0	)	15,723					0			0
	動雕		員		_			1	0.95	-							
配 : (人	_		·臨時等		0% 0%		0.00		0.00	-							
		3	計	100.	U%I	0.0	0.00	<i>J</i>	0.95	1							

		エック)		·I					±π	(エイ	. 5 11 7	1					4.35-27-77	0.55 T.T.
評	価	視	点		± 317 = 3 1				評	価チェッ				- 1 . / 4			1次評価	2次評価
77	目	的妥当性(	2 ~ 2)		事業の主										ることができ	ない		
妥					事業成果					ばが高い					は高くない			
				1 1	市民ニー			べき事	業						亍う事業でに			
当	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)		<b>&gt;</b> □ =·				<b></b>		L	<b>」 ニー</b> ク	でが高いと	とは言えな	い,またはき		3	3
							把握して		<u> </u>						□未	把握	3	J
	<b></b>	会環境変化	化(1~ 1)	✓ ▮	事業に関	わる社会	≷環境の変	E化にi	適応してい	1る		] 社会班	環境の変	化にあわっ	せた見直した	が必要		
性			, ,		内容													
6点	優:	先性,緊急	!性(1)		事業を実施	施しなけ	れば,市	民の生	命,安全	等が損な	なわれ	る						
	受:	益者(1~	1)	✓ ▮	事業意図	と受益者	ば整合し	ている	5 [	]事業意	意図と	受益者が	不整合,	または受	益が一部に	限定		
有	2年 -	性性に(2・	. 1)	☑ ì	進捗状況の	の実績値	直を把握し	ノ, 目標	標値を設定	<b>ごしている</b>	3 [	□ 実績値	直または目	目標値がき	未記入		_	_
効	進:	<b>捗状況(2~</b>	- 1)	<b>▶</b> [	☑ 実績信	値から計	画通り進	捗して	いると言え	える		□ 当初記	計画から	屋れが出て	ている		3	3
性	`仕・	此小羊人+	Jh/4 4\	計画	画から遅れ	が出て	いる場合											
4点	- 進:	涉改善余 <sup>‡</sup>	也(1~ 1)		改善策あり	)										になし		
					比較できる	る団体が	ある		団体名	近隣市	<b>†</b>			比較でき	る団体はな	l I		
		- 1 / 4	• >		他団体の	数字を抵	2握してい	る	単位コス	<b>.</b> F			<b>V</b>	把握して	いない			
効	رد	スト(1~ 1	1)	1 1	□ 他団				□ 他団		程度			他団体よ	リコストが高	L١		
					 1,または						1			ЮЩПО				
					学事業(正			たはタ	・郭団体/	、季託し	ている	* 業務につ	コルて				4	
率				l l	ュチス(エ 正規職員)									対金が担	2うべき部分:	がある	- 1	0
	手!	段(1~ 3)	)												応可能であ			
性					嘱託,臨時										で可能である。 で可能である			
3点					場で、品間 コスト削減					. ທ ຈ		<u>□ 嘱託,</u> □ 特に?			いり形でめる	J		
っ元	コス	スト削減取	組(1~ 1)	1 1	コスト門/成 内容						L	1寸1⊂1	12 (11/	¥61				
				1	汚泥内の			の以上	1		し漆を	取除く。						
平成	1 5	~ 1 6	年度に	±田 日石	, CONSINC.	118世初7	か多い。			改善、	ひ退を	- AXIホ〜。 - 3羽 /*				総合	D	В
実 施	J :	た改善	善 内 容	休起						改善 内容	けがとる	准人。				評価	В	D
5 0 44			<b>5</b> 5															
<u>5 学移</u>	せいメ	付応(アク	<u> /ンョン)</u>	1														
			→ +m ==	+m >+==	U++ >= >= 1	/+ 4/-	" +¢											
現 仕 記	忍 識	6 6 11	る課題	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	扱汚泥は	二个純物	かさ有象	ර ව										
<del></del>	15 +	<del>+</del>	T+ 11-															
		巾氏, 舆信	系者の名称															
からの		意見,	要望内容															
要望	等																	
			対応内容	引抜活	5泥中の7	下純物を	取除くだ	- めの	機器を設	置する。								
		(1)																
			実施期限	平成	18	年	3 月											
課題·要	望等		対応内容															
		(2)																
へのタ	寸 応		実施期限	平成	:	年	月											
			対応内容	•														
		(3)	X1/U/VI <del>T</del>															
			実施期限	平成	:	年	月											
				・滞留	召時間を₹	長く取り	) , 不純物	かの除:	去密度を	高くする	る。							
その他	考え	られる																
改善の	D ア	イデア																
															今後の	方向性	1次評価	2次評価
			I												_	・充実		
				更に取	双除くこと	との改革	を行う。									維持		
					,		1, , , 0									改善		
平成 1	7 ~ .	19年度	の方向性													委託 等		<del>                                     </del>
1 73%	•	. , , ,	/J I-J IX												縮	小 <u>在加</u>		<del>                                     </del>
																<u>小</u> 終期設定		
																/ 休 止		1
															光	, W TT		<u> </u>
		禾 吕 △	7 1 1	≐田 日古 魚2	の油のたり	トの世 !!!	空里弗	1 1.	ナルナベ	蛙杰Ⅰ-	T / +	: <del></del> 1.\						
) \/≂ ≐π	/m ·		_ ^ / L															
2 次 評	価	女只云	_ , , ,	1 本起州	年/大り/こり	ソリノ作及名詞	以且貝以		CIAIN	相互し	( < /5	. C V I.						

								-	,			
(	引部 事	務)	事業		4330270				部 長	次	長課	長
		,	_	NI		1 + 44 m NV 7 h						
<del>*</del>	成15	年度	事	業名	下水処理場・ポンプ場終	<b>[持管埋業務</b>						
1	事業	€概₹	要(ドゥ)					_				
笙				りの日標	4 快適でうるおいの	ある都市づくり				建設部		
	合言			<u>,。,,,</u> 中	3 安全で快適な生活				所 管 課	下水処理	<del> </del>	
				•		<b>を金の元夫</b>						
政	策が	色 策		小	3 下水道の整備				所管課長氏名	竹中満		
体		系	;	細					記入者氏名	竹中 満		
事		業	期	間	昭和27年度~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨	油寺	電話番号	0797-32-	1291 内線	2877
根	‡b∏.	法			下水道法・同法施行例		_ %2.15 _ 288		実施主体			
	1700											
実		施	手		☑ 直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□補助金		負担金	
委			託	先	□ 外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 委託内容	維持管理	業務	
					国土交通省令で定めら	れた技術上の基準に従い	,施設の機能を維	佳持管理	するものである	·		
事	ŧ	業	Ø	概 要								
<del></del>	-	*	0)	144 32								
					1.芦屋下水処理場,:	場内ポンプ場 , 大東ポン	ブ場の直営による	る維持管	理			
					2. 奥山下水処理場,	南芦屋浜下水処理場,南	宮ポンプ場の委託	毛業務に	よる維持管理			
事	ì	業	Ø	現 状								
-5-	-	.,~	.,	- 70 1/1		0 , 9 2 0 , 3 9 0 m3/	ケー 古屋てっとかって	田七 10	505 020m2/5	無山です	火加 押担 400 200	m2/年
					/73小处注里(計 <i>)</i> 「	u, 520, 590M3/			, ,	突山下	N25年7万 199,308	1113/ 午
		目的到	実現のため						記16,062m3/年			
		手段及	ひ実施内	]容	雨水等排出(計) 1	0,417,191m3/	年 場内ポンプ場	易 9,	,867,506m3/年	大東ポン	ノプ場 356,178	m3/年
							南宮ポンプ場	易	193,507m3/年			
									,			
				lu	T-14-45-151-151-151							
					正常稼働日数							
ア	クテ	ィブ	ンエチャナトンエ	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度(	実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
指		標	活動指標	指標値	365日	365日	365日		3 6 5 E	1	365日	
311		1234				1,945,416円/日	941,408円 /		941,408円	•	941,408円 /	
				単位コスト			,			<u> </u>	941,400 7	н
						理場の運転を中止しなけ						
ア	ウトフ	゚゚゚ット	結果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(第	実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
指		標	<b>給未拍</b> 係	指標値	0件	0件	0件		0件		0件	
				単位コスト								
<u> </u>	古半	⊬ <del>- 1</del> } F	11/フム1					!				
	尹ヲ	€刀火ラ	果(アウ)	`ルム)	1							
			対	免	勿理提・ポンプ提の維	持管理およびそれを利用	する市民					
			Λ1	30	た。生物 パンフ物の流	り自注のなり これを刊力	) DIPL					
事	業の	目的	対象力	バー率	対象数(a) 9	I,418人 受益数	文 (b) 91,4	118人	比 率 (b	÷ a) %	100%	
	象・対					,	,		(			
^1	3( )	C/ 124	<del></del>	LOVE .		は祭団ナイミュ しゃ エ		L <del>+</del>	さん キエムへき	<del></del>	_	
			意		処理場・ボンノ場の維	持管理を行うことで,汚	水処理・雨水排水	<b>ドを女正</b>	的,適止かつ効	挙的に行	つ。	
			(対象を3	E語にして)								
大		È	な	目 的	汚水処理・雨水排水を	効率的に行う。						
		_	•		75/3/2/2 1/3/3/11/3/2/	W 1 4 3 1 C 1 3 7 8						
				l.,	YT -1, 50 TE =							
				指標名	汚水処理量							
			中 間			下水処理場・南芦屋浜下						
			成果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
ᄀ	ウト			指標値		10,422,575m3	10,920,390n		11,442,000		11,989,000r	
	_					, ,	.5,525,55011		.1,172,000		.1,000,0001	
指		標			BOD(生物化学的酸		# F = + + · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>.</b>		144.5=	·	
						下で水中の汚濁物質を酸			<b>愛索の量。水の有</b>	機汚濁の		
			成果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(	目標)	平成17年度(	目標)
				指標値		3 m g / m3	2 m g / m		4 m g / r		4 m g / m	
				2 H 1W 10	昭和10年 都市計画	_	8/111	-	8 / 1	-	8,	-
	_		4+ -			大化·尹耒祕引以付						
芦	屋	の	特色	となど	昭和49年 供用開始							
					平成15年 下水普及	率 99.8%						
_			:壬制和:	分(コスト	)		1世帯当り(円)	12 347	住民1人当り(円)	5,338	平成16.4.1 住民基	本台帳
3	事業	≦費・	/ <b>□ #</b> /  <b>□</b> •									
3	事業					平成14年度(沖管)	平成15年度(		平成16年度(		172.0	
3	事業	業	費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度()	決算)	平成16年度(		1 / M. O EDGE	
		業 人	費 件 費	構成% 45.8%	平成13年度(決算) 217,910	214,422	21	決算) 19,256	平成16年度(	予算)	1 100000	
		業 人 事	費     件   費     業   費	構成% 45.8%	平成13年度(決算) 217,910		21	決算)	平成16年度(		1,000	
		業 人 事	費     件   費     業   費	構成% 45.8%	平成13年度(決算) 217,910	214,422	21	決算) 19,256	平成16年度(	予算)		
事内	訳	業 人 事 他部	費 件 費 業 費 8 門 経 費	構成% 45.8% 54.2%	平成13年度(決算) 217,910	214,422	21	決算) 19,256	平成16年度(	予算)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
事内	訳(千円)	業 人 事 他 部 減 価	費件 費費 費 野 経 費 打 償 却 費	構成% 45.8% 54.2%	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130	214,422 612,320	21 25	決算) 19,256 59,157		予算) - 303,596 - -	170.000	
事内	訳 「円)	業 人事 他 減 <b>合</b>	費 件 費 費 門 経 員 員 員 計	構成% 45.8% 54.2% <b>100.0%</b>	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130 830,040	214,422	21 25	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b>		予算) - 303,596 - - 303,596	12000	
事内	訳 「円)	業 人 事 他 部 減 価	費費 件 費費 等 経費 計價却 <b>計</b>	構成% 45.8% 54.2% <b>100.0%</b> 0.0%	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130 830,040	214,422 612,320	21 25	決算) 19,256 59,157		予算) - 303,596 - -	12000	
事内	訳 「円)	業 人事他減 <b>合</b> 国	費 件 費 費 門 経 員 員 員 計	構成% 45.8% 54.2% <b>100.0%</b> 0.0%	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130 830,040	214,422 612,320	21 25	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b>		予算) - 303,596 - - 303,596	1 10000	
事内(予財	訳 F円) 源	業 人事他減 <b>合</b> 国市	件 費 費 費 費 費 費 費 計 県 等	構成% 45.8% 54.2% <b>100.0%</b> 0.0% 0.0%	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130 <b>830,040</b>	214,422 612,320 826,742	21 25 <b>47</b>	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b> 0		予算) - 303,596 - - 303,596 0	1 10000	
事内(予財	訳 「円)	業人事他減合国市そ	費費費費 計算 を ・ 原 ・ 原 ・ の 他	構成% 45.8% 54.2% 100.0% 0.0% 0.0% 48.0%	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130 <b>830,040</b> 688,224	214,422 612,320 826,742	21 25 47	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b> 0 0		予算) - 303,596 - - - 303,596 0 0 269,093	1 10000	
事内(財)	訳 F円) 源 F円)	大事の減合国市そー	費費費費費 (特別を) (を) (ものでは、) (できまり) (でき	構成% 45.8% 54.2% 100.0% 0.0% 0.0% 48.0% 52.0%	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130 <b>830,040</b> 688,224 141,816	214,422 612,320 826,742 710,077 116,665	21 25 47 22 24	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b> 0 0 29,705 <b>18,708</b>		予算) - 303,596 - - 303,596 0	1 10000	
事内(予財	訳 (千円) (千円) (千円) 動	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	費費費費費 ・ 情の 他 ・ 情の 地源	構成% 45.8% 54.2% 100.0% 0.0% 0.0% 48.0% 52.0% 88.6%	平成 1 3 年度 (決算) 217,910 612,130 <b>830,040</b> 688,224 <b>141,816</b> 23.00	214,422 612,320 826,742 710,077 116,665 23.60	21 25 47 22 24	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b> 0 0 29,705 <b>18,708</b> 22.95		予算) - 303,596 - - - 303,596 0 0 269,093		
事内(財)	訳 (千円) (千円) (千円) 動	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	費費費費費 (特別を) (を) (ものでは、) (できまり) (でき	構成% 45.8% 54.2% 100.0% 0.0% 0.0% 48.0% 52.0% 88.6%	平成 1 3年度 (決算) 217,910 612,130 <b>830,040</b> 688,224 <b>141,816</b> 23.00	214,422 612,320 826,742 710,077 116,665	21 25 47 22 24	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b> 0 0 29,705 <b>18,708</b>		予算) - 303,596 - - - 303,596 0 0 269,093		
事 内 月 財 月 活配	訳 (千円) (千円) (千円) 動	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職嘱託	費費費費費 ・ 情の 他 ・ 情の 地源	構成% 45.8% 54.2% 100.0% 0.0% 0.0% 48.0% 52.0% 88.6% 11.4%	平成 1 3年度 (決算) 217,910 612,130 <b>830,040</b> 688,224 <b>141,816</b> 23.00 2.00	214,422 612,320 826,742 710,077 116,665 23.60	21 25 47 22 24	決算) 19,256 59,157 <b>78,413</b> 0 0 29,705 <b>18,708</b> 22.95		予算) - 303,596 - - - 303,596 0 0 269,093		

評	<u> </u>	<i>)</i> 視	点	il				訶	平価チェ	ックリフ	スト							1次評価	2次評価
н і		<del>-                                       </del>			対象カバ	(一座は高)	l 1						f	カ団体よ	リカバー	変が低!	. 1	· //(#1  #4	2 // LI IM
有	受益者(1	-	- /				<u>・・</u> は整合してし				受益者2	が不整			<u>//3/ N</u> 益が一部I				
	p =																	4	4
効	成果の実	績(2~ 1	)	1 1				こいると言える							ていると	言えない	١	4	4
性	###	<b>△ J I b</b> / <b>a</b>	4)	成果	<b>見があが</b>	っていない	場合												
4点	- 成果向上	:余地(1~	1)	□Б	成果向上	ニ策あり	[									] 特に	なし		
					比較でき	る団体があ	53	団体名	近隣	市				比較でき	る団体は	ない			
	活動配分	·/1 1\		□ f	他団体の	)数字を把持	握している	活動配名	<del>'</del> r				√	巴握して	いない				
	/百里//日じ刀	(1~ 1)		┕	□ 他回	団体より少な	ない	□ 他団	体と同	程度			□ f	也団体よ	り多い				
効					-	は少ない場合													
						る団体があ		団体名		市					る団体は	ない			
	単位コス	<b>├</b> (1 ~ 1)		1			握している			<u> </u>				巴握して					
率		,				団体よりコス		□ 他団	体と同	程度			_ <u> </u>	也団体よ	リコストか	高い		0	-2
					-	低い場合				- 114									
								郭団体へ委託						# <b>&amp;</b>		// //·*	.		
Let.	手段(1~	3)						けられている									5		
性							-	できない業務											
4点							では対心で みを行ってl	きない業務で	ීගර		□ 鳩記				シリ形で	かる			
	コスト削減	<b>咸取組(1~</b>	1)					ハる 電気使用量等	<b>等削減</b> (			-117	C 1 1/4 1	1					
					1312	±-1-77	日左C 11/1	モス(区/川里・	יו איוונט בי			見らず	他職利	の事務を	を割当てる	ί.			
平成	1 5 ~ 1 した改	6 年 度	[ [c	. 課題 ‡	扫当事科	8の細分化			改善		J#17ICF	KJ,	105444411	E0プライカで		44	合	В	В
美 施	U TE EX	( 善 内	谷			3 - 7 11-75 10			内容							₽,	严価		
5 今後	後の対応(	アクション	ン)	<u>,                                      </u>															
				・奥山	山処理区	を芦屋処理	理区へ統合	してコストi	削減										
現在意	認識して	いる謝	題	・平成	戊28年	度を目途に	こ合流改善	・高度処理の	の実施										
					戊24年	度を目途に	こ都市計画	変更と事業	認可変勢	更									
	係者 市民,	関係者の	名称	7															
からの		,要望内	5 容	2															
要望	等点先	, , , , ,	, ,																
	(4)	対応区	内容	合流改	奴善・高	度処理に促	系る設計												
	(1)	·	+0.70			<b>1</b>													
課題·要	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	実施期	切り比	平成	25	年	4 月												
林思 女	(2)	対応区	内容	南芦屋	屋浜地区	に1.81	h a の用地	買収											
へのす		実施期	tere	亚战	26	年	3 月												
( 0) /	,, ,,,,																		
	(3)	対応区	内容	合流改	タ善・高	度処理に信	系る整備工	事(平成2	7年度/	からの	5ヵ年	事業)							
		実施期	胡限	平成	27	年	4 月												
		- 4.5-2.7					1 1. 2												
その他	考えられ	<b>こ</b> る																	
改善の	カアイデ	ア																	
															今後	の方「	句 性	1次評価	2次評価
				事業計	画に基	づき実施										大・ 充			
																状 維			
			. , .													法改			
平成 1	7~19年	度の方向	可性													引 委 ii			
															縮	/ //h ++= :	小		
																/終期			
															発	上 / 付	νШ		
2 次 証	证 価 季 昌	会 7 乂	ソト	指定營	9世老制	度道 λ ≠ <	今め民間季	託について	給計1,7	てくだ	さい								
- // AT	IM & 52	۵ <b>-</b> 7 .	-	] - ~ E	그~도 더 마기	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		# JIC - V I C 1	, O 1	- \/	v 'o								
				1															

, 4	n == .	MK /	= **			100			ı	<b>→</b> n =	-1.4	=14	-ш	
(一般	分事:	棄)	事業	J - F	5230	490				部長	次	長	::	長
平成	15年	F度	事	業 名	都市	計画情報管理シス	テムの維持管理							
1	[業	概3	要(ドゥ)						ı		ļ			
				(りの目標	5	市民と協働してつ	くる自立した行政基盤:	づくり			建設部			
総合		-		中	1	効率的な市役所シ	ステムの確立			所 管 誢	都市計画	i課		
政 策	施	策		小	3	事務事業の効率化				所管課長氏名	藤井 高	j		
体		系		細						記入者氏名	野々上	裕人		
事		業	其			15年4月~	経常臨時	☑ 経常 □臨時	•	電話番号		2093	内線	2924
	処	法	令 '		なし					実施 主体	芦屋市			
実		施			V		☑ 一部委託	全部委託		補助金		負担金		
委			託	先			名称			委託 委託 内容		- 10 4 11		
=	يلند	_	•	107 <del>215</del>	I	S(地埋情報システ	ム)を利用した,都市計	一回アータの管理・	窓口で	での都市計画情報	はの閲覧等	の総合的	村沽用	
事	業	ŧ	の	概 要										
					<b>≠</b> 7 ±	ショニーク祭理の	簡素化・効率化・高度化	オキロ データをせ	+ = /\cutu	オス				
事	業	É	Ø	現 状			<sup>歯系化・効率化・</sup> 同反に 指導確実化・効率を計り	•			- 上11117丝	たトげス		
<b>-</b>			した 『現のため				計画決定・変更のデータ	•						
			び実施は		• > <		衣頼(地図関係), 県(							
	,	. ~,,	/ 1001				容の印刷サービス(1枚3			·			A70-13	
				指標 名	利用									
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実	績)	平成16年度	(目標)	平成17	'年度(	目標)
			(1)	指標 値				2,500人		3,00	0人	3,	000.	人
アウ	トプ	ット		単位コスト										
指		標		指標 名										
			結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実		平成16年度	• •	平成 1 7		
			(2)	指標値				1,231枚	Ţ	1,50	0枚	1,	5 0 0	枚
	= 1114		- /	単位コスト	•									
	<b>美</b>		<u> </u>	トカム)	ı									
			対	象	市民	・土地の利害関係を 機関(市・県・国	者・不動産取引従事者 )							
車 丵	ഗ ⊨	自的	対 象 ナ	」バー率			受益数	(h)		比 率 (b	÷ a) %			
対象			71 3( //							10 + (5	. u, 70	I		
,,,	,_		意	叉	都市	計画法・建築基準	去関係の規制を周知し , 円滑な運営	誘導を図れる。						
			(対象を	主語にして)	印印	計画・建築行政の	1月4連呂							
		•												
大	き		な	目 的	都市	計画法・建築基準	去の規制関係の認知が広	まり,良好なまち	づく!	〕が図れる。				
				_										
						テム利用者数,資	料印刷枚数							
				考え方・式		4.2 左座 / 中/4.2	亚武 4 4 左连 / 克徒 >	亚 <b>弗</b> 4.5.左连 / 克	1/± \		/ <b>口 </b>	TT-#-4 7	左	
	ι +		指標		-	13年度(美額)	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (美 2,500人 1,231				平成 1 7		
アゥ 指	٦, ١	標		指標値		関係周知率,違反	建筑物数	2,500/\ 1,231/	1X	3,000人,1	,5004%	3,000	人,1,5	0001X
18			最终成果	考え方・式		<b>庆</b> ] [[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [	生未170以							
						13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実	[績)	平成16年度	(目標)	平成 1 7	'年度(	目標)
				指標値	-				,		( , , , , ,			,
					芦屋	市独自での , まち <sup>・</sup>	づくり条例・景観条例に	よる制限	ı			1		
芦屋ī	市の	特包	となど補足	足する事項	į									
	業	費·	活動配	<u>分(コスト</u>	· -			1世帯当り(円)	130	住民1人当り(円)	56	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事		業	費			13年度(決算)	平成14年度(決算)			平成16年度	(予算)			
	/	<u> </u>	件 費					4	,549		-			
_	- 日本		業 費門 経費						473					
			貸却費											
( 1 1	] / //·	_	見が見			0	0	5	,022		0			
			· 県		1		•	0,	,022					
財	源市													
(千円			の他						369					
	-		段 財 源			0	0	4,	,653		0			
活	動單	哉	員	81.8%					0.45		-			
	_		·臨時等	18.2%					0.10		-			
( 人	) [	1	計	100.0%	S	0.00	0.00		0.55		0.00			

評	<u>叫(フェソノ)</u> 価 初				評価チェックリ	7 6		1次部価	2次評価
пТ	1Щ 17	r	☑ 事業の主目的に		計画フェックリ	<u>^                                    </u>	マーレが <i>で</i> キかい	八計画	2人計画
	目的妥当性	(2 ~ 2)			けるお母が立い				
						□ 貢献度が不明確、または		ł	
_		_,		う法律等で義務づける		□ 民間でやるべき、または			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な	は生活の維持に必要で	である	□ 他団体では見直しがされ	ている		
						☑ いずれにも該当しない			
当				づいて行うべき事業		□ 市民ニーズに基づいて行	テう事業ではない	4	4
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	<b>└</b> → ☑ ニーズか	<sup>「</sup> 高い		□ ニーズが高いとは言えな	い,または未把握		
性			☑ 数字	で把握している 利	用者数2,500人		□ 未把握		
8点	カク理培布	/lz/4 4)	☑ 事業に関わる社	会環境の変化に適応	している	□ 社会環境の変化にあわt	た見直しが必要		
	社会環境変	1七(1~ 1)	内容						
	優先性,緊急	急性(1)	 □ 事業を実施しな	ければ,市民の生命,	安全等が損なわれ	าจ			
	対象カバー図	- ' '				□ 他団体よりカ	バー率が低い		
有	受益者(1~					と受益者が不整合 , または受益			
		•				る□ 実績値または目標値がま		1	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	1			□ 実績値から成果があがっ		3	3
性			成果があがっていた。		- 17.9	□ 天順にから成木がめかう	CUSCHAGO	1	
	- 成果向上余	地(1~ 1)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
4点			□ 成果向上策あり		:		□ 特になし		
			☑ 比較できる団体	±	<i>D</i> = = 1	□ 比較できる団体はない			
4.1	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を	・把握している 単 コストが低い □	位コスト	□ 把握して			
効	(	,		p	他団体と同程度	□ 他団体よりコス	トが高い		
			高い、または低い場						
	受益者負担	(n ~ 1)	☑ 負担を求めるこ	とができる事業である	□ 負担	を求めるべき事業ではない			
率	又血白只正	(0 1)	→ ☑ 現在,適正	な負担あり 🗌 負	担なし,過少 (	(□ 徴収不能・見直し不能	□ 徴収可能 )	2	n
<del>'1''</del>			直営事業(正規職員	員が執行)または出資					U
	T 50 (4		□ 正規職員による	執行が義務づけられて	ている	□ 個人,家庭,地域等が担	うべき部分がある		
	手段(1~ 3	3)				☑ 民間(企業 , NPO等)で対			
性			□ 曜託 臨時職員	笑でけ対応できかい	*発がなる	☑ 嘱託,臨時職員等で対応	可能である		
3点			☑ コスト削減の取り	タンは対心でとない。	**************************************	□ 特に行っていない	1-1 HE C 00 0		
о <u>ж</u>	コスト削減取	7組(1~ 1)		7の更新修正は内部処	1冊で行っている	□ 49(c1) 2 C(1&(1)		ł	
						プロセスが八け かきせず	- 中並不		
平 成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	果題外部委託	システムエラー修復	改善改善機具	で出来る部分は,外注せず	総合 総合	Ι Λ	В
実 施	した改	善内容	(超) 外部安託		改善 内容	UIC.	評価	A	D
	ダクサウ (フ	h > > . \							
5 751	後の対応(ア	<u> クション)</u>	7555-00-00-0	<b> </b>	- 41.5 101.0.6				
	÷37 +*h ! — !	, <del>, ,</del> , , , , ,		システムの保守費・					
現 在	認識してし	1 る 課 題			」と古い。 (事業)	見送りのため更新できない)			
			窓口システムの数が						
			一般市民・不動産取						
からの	意見	要望内容	E数料の現全収受が	システムの窓口で出	まないため 別の	か窓口で収受しており , 利用	老に負扣をかけてに	13.	
要望	等心光,	X = 13 L	XX1100%111X1XX	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	17(15(0) 17(0) 7 7330		THICK THE COLOR		
						呆守契約・ライセンス契約を			
	(1)	\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1\1		015 (00.5 , 137)	主体でのひょう。		19 0 10 7 17 CVICA	W17100	0
		実施期限	P成 年	月					
課題·要	要望等	A10-4-0-	. = 1 +> 11-11		·				
	(2)	刃心内谷	(一人となる) 地形	データを早急に更新	19る。				
への		実施期限	P成 年	月					
		7 (30)(3)							
	(3)	対応内容	∛□のシステムのク	ライアントを 1 台増	設する。				
	(3)	中批1979	7.世 左						
		実施期限	P成 年	月					
7 m //	. +								
	と考えられる.								
改善。	のアイデア	7					_		1
							今後の方向性		2次評価
			タ後も継続的な,一	般市民・関係業者が	ゝらのニーズがある	るため,データを更新し内容	拡大・充実		
			£充実・Webを利	用した拡充が必要。			現 状 維 持		
							方 法 改 善		
平成 1	7~19年度	の方向性					民間委託等		
1 12%		/J     I							
							紹		
							縮 小		
							統合/終期設定		
				_			統合/終期設定		
2 次 評	平価 委 員 会	コメント					統合/終期設定		
2 次 評	平価 委 員 会	コメント					統合/終期設定		

(一般	事業)	事業	⊐	<b>–</b> ド	44100	020			部 長	次	長記	果	長
平成1	5年度	事	業	名	大規模	模建築物等の届出	· 等						
		_											
1 重	茶和豆	要(ドゥ	١										
			_	の日標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			建設部			
総合			中	о п <sub>13</sub>	_	個性と風格のある					リ・開発事	業担当	i
政策			<u>小</u>			個性ある景観の創			所管課長氏名			*****	
体	系		細						記入者氏名	秋富 由	己波		
事	業	:	期	間	平成	8年10月~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号	0797-38-	2109	内線	2925
根 拠	法	令 ·		綱等	芦屋	市都市景観条例,	芦屋市都市景観条例施行	規則	実施 主体	市			
実	施		手		V		□ 一部委託	全部委託	□補助金		負担金		
委		託		先		外郭団体委託	名称		間委託 委託内容	- =   4	<b>とたは ロナ</b> ・	<u></u>	
=	<del>111.</del>	Φ.	概				全域で行なう一定規模以					言を仃/	よつ。
事	業	Ø	彻	. <del>女</del>			おいて行なう建築物・エ「 超える等,大規模な建築					≐た行	かろ
					-	規模建築物等の届		3 件		<b>公田北ICので</b>		□ G 11,	<b>پ</b> کی
事	業	Ø	現	! 状		観地区内における		0件					
_	目的	実現のた	めの		・芦	屋市都市景観アド	バイザー会議 9回 1	7件					
	手段	及び実施	内容	!	緑	化・色彩等の基準	を制定して,接道面の縁	化、外壁・屋根等の色	色彩変更等の指導を	行なって	いる。		
							観地区内における行為の						
		結果指					平成14年度(実績)	,	) 平成16年度(	目標)	平成17	年度(	目標)
7 4 1	<b>→</b> ı	(1)		標値	<b>-</b>	5 3件	135件	9 2 件					
アウト 指	ノット標			・ 恒 タ		市都市暑粗アドバ	<u> </u> イザー会議おいて指導し	 					
314	125	結果指					平成14年度(実績)		) 平成16年度(	日標)	平成 1 7	在度 (	日標)
		(2)		標値		3 0 件	2 3件	17件	7 172 (	- 13.7	1 1-70	1 ~ (	- 13. 7
		, ,		.位コスト									
2 事	業成	果(アウ	1トナ	Jム)					•				
		対		象	・大	規模な建築物,工	作物等及び南芦屋浜地区	【における建築物,工作	F物等				
= ** 4		<u> </u>		1º <del>1/1</del>		民及び芦屋を訪れ		<b>-</b> (1.)	116 <del>275</del> (1	) O/			
事 業 0. 対 象・			<i>J</i> J /	( - 平		t 数 (a)	受益数		比率 (b =	,			
V.) SV	心区	意		図			やデザインについて奇抜 での緑化を促進し,出来			景観に調	机させる。	•	
		. — .	主語	ー 言にして)	. +4=		物は出来るだけ小さくし						
大	き	な	目	的	「国	際文化住宅都市」	にふさわしい魅力ある景	<b>観を創造する</b>					
		ı	1100			<del>+</del> (0)							
				標名			こり,景観上の是正をした。	た割合(早知旦正した	車項 / 圪道。 肋 章 1 :	た車頂)	v 1 0 0		
			末 <u>ち</u> 漂 年				平成14年度(実績)				平成17	生度 (	日煙)
アウト	. א ג			標値	-	72.5%	87.5%	89.8%	90%	H 13.7		90%	H 135 /
指	標		_	標名			l	I.					
		最終成果	果 考	え方・式									
		指	漂年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績	) 平成16年度(	目標)	平成17	年度(	目標)
			指	標値									
<b>₩</b> = +	- A #± 4	ユ ナヽ lゞ ゥ <del>ヹ</del>	÷ 🗆 🗝	+ 7 <b>=</b> 15									
尸座巾	の行り	当な C 雅	1 任 9	する事項									
3 事	<b>坐</b> 費。	:活動西	2分	(コスト	)			1世帯当り(円) 13	7 住民1人当り(円)	59	平成16.4.1	1 住民基	本台帳
事	業					13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算		予算)			
	人	件	費	88.8%			4,377	4,72	0	-			
	事		費	11.2%			794	59	7	1,416			
		7門経								-			
(千円		貸却	_	400.00			F 474	5.04	7	- 4 440			
	<b>合</b> 国		<b>計</b> 県	100.0%		0	5,171	5,31	/	1,416			
財が	東市		等										
(千円	-		也										
( 1 1 3		投財法	_	100.0%		0	5,171	5,31	7	1,416			
活 重	助 職		員	100.0%			0.50	0.5	0	-			
		,臨時								-			
(人	) 合	1	Ħ	100.0%		0.00	0.50	0.50	0	0.00			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1 /2 = 17/11	2次評価
部	1叫 · 倪 · 宗 T		「次評1曲	2次評1回
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	1132111(1 -)	│ ☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	,,	☑ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	3
=	+ A)		5	3
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変化(1~1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	1124(7)(2)()	内容		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	<b> </b>	4
効	成果の実績(2~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	4
性		成果があがっていない場合	-	
	- 成果向上余地(1~ 1)			
4点		□ 成果向上策あり □ 特になし		
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	· · · · · · · · · · · · · · · ·	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由	_	
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	安益有貝担(U ~ 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	4	9
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	7 1	-2
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
44		☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		→ 内容 写真の現像はデジカメによる撮影をおこない、カラープリンターでの打出しを行なっている。		
平 成	15~16年度に	改善 改善 と と と と と と と と と と と と と と と と と		Ъ
実施	15~16年度にした改善内容		A	В
5 学程	<u> </u>			
		市民・事業者の景観に対する認識が十分ではなく,協力が得にくい。		
	<u> </u>			
現在意	認識している課題			
現在 請市民,関	認 識 し て い る 課 題			
現在 請市民,関	認 識 し て い る 課 題			
現在 請市民,関	認 識 し て い る 課 題			
現在 請市民,関	認識している課題 原名 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容			
現在 請市民,関	認 識 し て い る 課 題			
現在 請市民,関	認識している課題 原名 市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内容 対応内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。		
現在 請市民, 関から 望	認識している課題 原名 意見 意見,要望内容 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月		
現在 請市民,関	認識している課題 原名 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月		
現在は、関の関連を関する。	認識 している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月		
現在 請市民, 関から 望	認識 している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月		
現在は、関の関連を関する。	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月		
現在は、関の関連を関する。	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月		
現在は、関の関連を関する。	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月		
現在は、の要課のの意味を表する。	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月		
現市か要課のののののの	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月		
現市か要課のののののの	認識している課題 (1) 対応内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月		
現市か要課のののののの	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月	± 1次評価	2次評価
現市か要課のののののの	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月		2次評価
現市か要課のののののの	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	₹	2次評価
現市か要課のののののの	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。         平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         次       次       次         次       次       次         現       状       維         現       状       維	持	2次評価
現 市か要 課 の の の も 他 の の も 他 の も の も の も の も の も の	認識している課題 部長,関係者の名称 意見, 要望内内容 実施期限 (1) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本茂 中 月	寺寺	2次評価
現 市か要 課 の の の も 他 の の も 他 の も の も の も の も の も の	認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  「一方法 改善現 状 維 ま 方 法 改善民間委託 18	等等	2次評価
現 市か要 課 の の の も 他 の の も 他 の も の も の も の も の も の	認識している課題 部長,関係者の名称 意見, 要望内内容 実施期限 (1) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 末 千 元 3 現 状 維 月 方 法 改 3 民 間 委 託 4 縮	<b>等</b>	2次評価
現 市か要 課 の の の も 他 の の も 他 の も の も の も の も の も の	認識している課題 部長,関係者の名称 意見, 要望内内容 実施期限 (1) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 大・充・現 状 維 月  方 法 改 書  民 間 委 託・編  統合 / 終期設済	等 字 下 E	2次評価
現 市か要 課 の の の も 他 の の も 他 の も の も の も の も の も の	認識している課題 部長,関係者の名称 意見, 要望内内容 実施期限 (1) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容 実施期限 (3) 対応内内容	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 末 千 元 3 現 状 維 月 方 法 改 3 民 間 委 託 4 縮	等 字 下 E	2次評価
現 市か要 課 の の き 成 の の き の の き の も の も り も り も り も り も り も り も り も り も	認識 している課題 語(A)	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。   平成	等 字 下 E	2次評価
現 市か要 課 の の き 成 の の き の の き の も の も り も り も り も り も り も り も り も り も	認識 している課題 語(A)	広報などを利用して景観の重要性について認識してもらい,協力をお願いする。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 年 月  本成 大・充・現 状 維 月  方 法 改 書  民 間 委 託・編  統合 / 終期設済	等 字 下 E	2次評価

. 45 =	<b>⊢</b> 317 3	± 111									<b>-</b>		-1	-1-	m	
(一般	事業)	事業		<u> </u>	1220	080					部	長	次	長割	果	長
平成15	年度	事	業	名	危険	宅地等宅地防災事	務									
1 事	業概3	要(ドゥ	)										ļ			
				の目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づ	くり			55 5	× +=	建設部			
総合			中		2	安全と防災の確保	Į.				所有	管 課	開発指導	課		
政策	施策		小	ı	2	防災生活圏の整備	充実				所管課	長氏名	砂田章	吉		
体	系		細										砂田章			
事	業		期	間				経常臨時	☑ 経常	□臨時			0797-38-	-2071	内線	2912
		令 ·				造成等規制法						主体	<u> </u>	<del>-</del>		
<u>実</u> 委	施	託	手				一一部委託	t	□ 全部		□ 補			負担金		
安		ĒΤ		7.		外郭四体安託 に提出される書類(	名称  の受理に関する	ス事殺を行	ニントトキに		委託委					
事	業	Ø	根	и <u>т</u>		防災にかかる調査			76666	- ,大净未恢1	中田木以	内に圧が	3 O C			
<del></del>	*	0)	און	и 32	-026	別人にカカる副直	1.口》(口到4.0	د ۱۱ ک								
					提出	された書類を受理	し,意見をつけ	ナて兵庫県	阪神南県民	局建築課に	送付する	0				
事	業	の	玥	見状	兵庫	県阪神南県民局建	築課の行う宅均	也防災パト	ロール及び	で地防災相談	淡に協力	する。				
	目的詞	実現のた	<b>め</b> の	)												
	手段及	なび実施	内容	\$												
						造成に関する工事						c	/ D I == :	I	<b>F</b> -	
		結果指				13年度(実績)					平成 1	6年度	(目標)	平成17	年度(	目標)
7 4 1	<del>-1</del> l	(1)	_	信標値		2 4件	2 7 1	<del> T</del>	2	7件						
アウト: 指				単位コスト 旨 標 名												
扫	標	結果指導	_		_	13年度(実績)	亚成 1 / 年度	手 ( 宝结 )	亚成 1 5 年	F度(宝结)	亚式 1	6 年度	(日煙)	平成17	午度 (	日煙)
		(2)		F 及 旨標値		13年及(天禄)	TIX 1 4 + IX	2(大限)	T11X 1 3 4	十及(大限)	T/1% 1	0 千皮		T11X 1 7	十尺(	ᄓᆥᅲᄼ
		(2)		ョ <u>ルデード</u> 単位コスト	_											
2 事	業成.	果(アウ			I		1				1					
		対			在陸	と感じている宅地	た氏方するか	『米+立   ブ	1127							
							CUIH & SVI.									
			カノ	バー率	対象	象数 (a)		受 益 数	(b)		比	率 (b	÷ a) %			
対象·	恵 凶			lav.	<b>在</b> 76	し成じていて空地	≠∝≠≠≠≠×	フ (+ 7米+立 <del>- )</del>	· フ === +=	⊒≐火 <b>ム</b> がもっ:	ーレナホ	· トフ				
		意	t±±	凶 語にして)	心吹	と感じている宅地	を別付9の白ン	人に対対 9	の白に,作	砂云かのつ	ことをは	.ທຣ.				
		(X)38(C		in IC U C)												
大	き	な	E	1 的	危険	と感じている宅地	を所有する者と	又は隣接す	る者の不安	を取り除く。	,					
				旨標 名												
						の解消や対策の検										
		指	標年			13年度(実績)				F度(実績)	平成 1	6 年度	(目標)	平成17	年度(	目標)
アウト				信標 値		0件	0 件	'	1	1件						
指	標					にかかる土砂流出・安心のまちづく		王什釵								
			未  で			13年度(実績)	,	王 ( 宝绪 )	平成 1 5 包	F度(実績)	平成 1	6 年度	(日煙)	平成 1 7	生度 (	日煙)
		3H '		<u>F                                    </u>		0件	0 件			<u>- (文) (</u> ) 件	1 /2% 1	0 712		175% 1 7	TIX (	H 155 /
			131	1 1 1 1			911	!		- 11	1					
芦屋市	の特色	色など補	<b></b>	する事項												
3 事	業費·	活動酶	己分	(コスト					1世帯当り(		住民1人			平成16.4.1	1 住民基	本台帳
事	業		_			13年度(決算)	平成14年度		平成 1 5 年	F度(決算)	平成 1	6年度	(予算)			
	스		費	99.6%				2,890		2,955			-			
ф +п	事	業 門 経	費	0.4%				12		11			11			
内 (千円)					-								-			
( + 13 )	合		計	100.0%		0		2,902		2,966			11			
	国		県	.00.07				2,502		_,000				1		
財源	市		等													
(千円)			他													
		段 財 🤅	源	100.0%		0		2,902		2,966			11			
	職		員	100.0%				0.05		0.05			-			
		·臨時											-			
(人)	合	I	Ħ	100.0%		0.00		0.05		0.05			0.00			

評	<u>叫(フェソノ)</u> /西 <sup>7</sup> 日 「	評価チェックリスト	1次評価 2次	<i>h</i> =π/==
計	一		「次評1曲 27	火評1個
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	H13×31±(= =)	$igwedge$ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い $igworpi$ 貢献度が不明確、または高 $\langle$ ない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
_	10121 3(2 2)	□ いずれにも該当しない		
114			-  <sub>1</sub>	A
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点		☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	7	
-7	社会環境変化(1~1)	内容		
	盾件州 取名州(1)		<b>⊣</b>	
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	+ +	
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	<b>」</b>	
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
*+	世界の宝徳(2014)	│ ☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		2
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	3
性		成果があがっていない場合	┪ ┃	
	- 成果向上余地(1~ 1)			
4点		□ 成果向上策あり □ 特になし	+ +	
		□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	│ └│ 他団体の数字を把握している  単位コスト  ┆      ┆ └│ 把握していない		
効	キロコヘバ(!~ !)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由	···	
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	┥	
	受益者負担(0~ 1)			
率		□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	<b>⊣ ∩ ∣</b> -	- 1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	0	•
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	于段(1~ 3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
			<b>⊣</b>	
3点	コスト削減取組(1~ 1	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		→ 内容		
亚战	15~16年度1			_
実施	15~16年度にした改善内容		B	В
,,,,				
5 今往	<b>麦の対応(アクション)</b>			
	夂 Vノスシルい ( 丿 丿 丿 フ コ 丿 丿			
	<u> </u>			
現在意	<u> </u>	<b>1</b>		
現在	<u> </u>	and .		
	認識している課是			
市民既	認識している課品			
市民既	認識している課品			
市民既	認識している課品			
市民既	認識している課題 原名 市民,関係者の名称意見 意見,要望内名	が   		
市民既	認識している課題 原名市民,関係者の名称意見 意見,要望内名 等 対応内容	が   		
市民既	認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見 意見,要望内名 (1)対応内容			
市民,関からの要望	認識 している課 是 (1) (1) 認識している課 是 京島 意見,要望内名 対応内容 実施期限			
市民既	認識 している課 是 (1) 関係者の名称 意見	が   P		
市民,関からの要望	認識 している課 是 (1) 対応内容 (1) 対応内容 (2) 対応内容	(T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T)		
市民,関からの要望	認識 している課 是 (1) 対応内容 (2) 対応内容	(T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T)		
市民、関からの要望	認識 している課 是 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	Y   F   F   F   F   F   F   F   F   F		
市民、関からの要望	認識している課題 引係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	Y   F   F   F   F   F   F   F   F   F		
市民、関からの要望	認識 している課 是 引係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	F		
市民、関からの要望	認識している課題 引係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	F		
市民の要望課題・要ので	認識 している課 是 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 対応内容 実施期隔 (3) 対応内容 実施期隔	F		
市民の要望課題・要ので	認識 している課 是 引係者 市民,関係者の名利 意見,要望内名 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	F		
市か要課のである。	認識 している課 是 原係者 意見, 要望内名 意見, 要望内名 対応内容 実施期隔 (3) 対応内容 実施期隔	F		
市か要課のである。	認識している課題 原係者 意見,要望内名 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	F	生 1次評価 2次	欠評価
市か要課のである。	認識している課題 原係者 意見,要望内名 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	所   平成 年 月   平成 年 月   平成 年 月   平成 年 月		欠評価
市か要課のである。	認識している課題 原係者 意見,要望内名 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	(京)   平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	<b>€</b>	欠評価
市か要課のである。	認識している課題 原係者 意見,要望内名 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	(する) 日	寺	欠評価
市か要課のの事の事のを改せ、	認識している課題 司係者 意見,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	平成   年   月	寺	欠評価
市か要課のの事の事のを改せ、	認識している課題 原係者 意見,要望内名 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日	寺	欠評価
市か要課のの事の事のを改せ、	認識している課題 司係者 意見,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	平成   年   月	寺	欠評価
市か要課のの事の事のを改せ、	認識している課題 司係者 意見,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	平成   年   月   月	等   ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	欠評価
市か要課のの事の事のを改せ、	認識している課題 司係者 意見,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	平成   年   月	<b>目</b>	欠評価
市か要課のの事の事のを改せ、	認識している課題 司係者 意見,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	「	<b>目</b>	欠評価
市か要 課へ そ改 平 成 1	認識 している課 是 原係者の名称 意見,要望内名 意見,要望内名 対応 対応 対応内容 実対応 対応応期所容 対応 (3) 対応応期所容 まるのアイデア	P	<b>目</b>	欠評価
市か要 課へ そ改 平 成 1	認識している課題 司係者 意見,関係者の名利 意見,要望内名 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 実施期限 (3) 実施期限	P	<b>目</b>	欠評価

(一般事	重業 /	事業	□ <b>-</b> ド	4110	160				部長	次	長課長
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,				<del>100</del> 市住みよいまちづ	くり条例に、	よる住環境の	保全及び育成		. //	IX IIX
平成15	年度	事	業名		る事務	( ) /////(	S & L-12(-7, 0)	/从主及0月/戏			
		要(ドゥ)							T	I	
			<u>リの目標</u>		快適でうるおいの				│ │所 管 課	建設部	·+=
総合意政策			<u>中</u> 小	-	暮らしやすく質の 市民と描くまちの		り形成		所管課長氏名	開発指導	
	ル 系		細	1	中氏と描くまらい	「京又市」			記入者氏名		
<u>体</u> 事	業	其		549年	<u> </u> E度指導要綱 H12:	主度条例化.	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時		10円 早	
根 拠		令 '			市住みよいまちづ				実施主体		2011 F 3 MAX 2011
実	施	手		V	直営	□ 一部	委託	□ 全部委託	□ 補助金		負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称			間委託 委託 内容		
											行うとともに緑豊かな
事	業	Ø	概 要					こ対しては勧告・命令を			
					環境紛争調停委員 地開発事前協議届					浄を解决	するための調停を行う。
事	業	Ø	現 状		<sup>心用光争削励</sup> 議庙 定建築物建築事前		特定宅地開発 届出数		/1 <del>11</del> 件数 19件(内10	)供け前年	
_		した。 実現のため		1	定姓来彻廷来事的 築物建築届	加姆和	шшх	393件 紛争調停	,	7111649171	
		ひ実施内			N 13 C N III			נופות ניאו	1122		
			5 H 1191 H		建築物事前協議届						
		結果指標		1				平成15年度(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標値		478件	4 6	5 8件	4 1 8 件			
アウト:			単位コスト		3年の六付りは	カウ聿の始	6±				
指	標	結果指標			通知書の交付又は 13年度(実績)			平成15年度(実績)	平成16年度	(日標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標値		484件		7 0 件	373件	十成10十度	( H 15 )	十八八十尺(白1京)
		(-)	単位コスト					2 7 2 11			
2 事	業成	果(アウ	トカム)			I.			1		
		対	象	字地	開発や建築物を建	遊しようと.	する個人 法。	人及75周辺住民			
NIZ -						**************************************			I.,		I
事業の対象・			バー率	对多	R 数 (a)		受 益 数	( (b)	比 率 (b	÷ a) %	
X) AK	思凶	意	ভ	建筑:	計画を制限し、国	刀の仕環接	に配慮した建	  築にする。そのことに	<b>FI) 国辺住民</b> の	自好か住	: 晋倍を保仝する
			主語にして)	是未		207 II 307.76		**************************************	& 5 ,问这任以·	) (XX) 'G II	- ペー・パー・アン。
		(*		-7.		F 40 A ++ 1.	_ +1 —+- +		++-1-1++	8 + 17 A	
大	き	な	目 的	昭和	46年に東定した 盤となる住環境の	'総合的か' 保全及び育!	つ計画的な行 成するための	が以の連宮を凶るための 施策	基本構想」に基つ	)き , 健全	で快適な生活を営む上
	-										
					2年度以降の特定				吹 の田 シン		
								の件数(H12年度以 平成15年度(実績)		(日標)	平成17年度(目標)
アウト		1日 作	指標値		63件		<u>+ 及(关與)</u> 5 件	124件	十八八〇千尺	(日信)	十八八十尺(日标)
指	7 点 標				境への市民の満足		311				
		最終成果	考え方・式	アン	ケート調査等(平	成15年度環	境についての	アンケート / お住まい	近くの環境の総合	的な満足	度)
		指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年	F度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(目標)
			指標 値					6 0 %			
	- 4			ı				光明媚な優れた住宅都			•
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	I			<b>宅都市建設法</b>	:」を制定し,以来この	法律の埋念を基調	りとする誇	りと愛着を感じるまち
2 車3	<b>华弗</b> ,	(千重) 而	分(コスト		りに係る取り組み	カー <sub>境。</sub>		1世帯当り(円) 353	住民1人当り(円)	152	平成16.4.1 住民基本台帳
」 <del>す</del>	業	<u>/口乳化</u> 費		· -	13年度(決算)	平成 1 4 5	E度(決算)	平成15年度(決算)		L	一次10.4.1 住民至华日报
3.	人	件 費		1	12 (201)	1 7-20 1	12,799	13,338		-	
	事	業費	2.6%				183	354		354	
内 訳	他部	門 経 費								-	
(千円)		償却費								-	
	合	計			0		12,982	13,692		354	
日才 次本	国	· 県							<del> </del>		
財 源 (千円)	市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	賃 等の 他							+		
(113)		<b>投財源</b>			0		12,982	13,692		354	
活動	職	<u>~ ~ ~ ~</u>					1.55	1.55		-	
		·臨時等								-	
(人)	合	計	100.0%		0.00		1.55	1.55		0.00	

評	<u> </u>	点					評価チェック	1171			1次証価	2次評価
П	1			業の主目的	け明確で	* ホス	піщутуу		事業の目的は一つに絞ることが	(ブキかし)	八八叶叫	2次計画
	目的妥当性(2	~ 2)	_				またけ舌砂度が高い		貢献度が不明確、または高くな			
							<sub>ほんは貝M及が向い</sub> けられている		民間でやるべき、または対応可			
777	士胆上(2) 2	<b>)</b>										
妥	市関与(2~ 2	<u>2)</u>	<u> </u>	民の基本的	な生活の	維持に必	安じのも		他団体では見直しがされている	)		
N/					サベいて	にいいと言	- ATK		いずれにも該当しない	K1-1-1-1-1	5	A .
当	+ ··	4)		民ニーズに		付りへさ事	·美		市民ニーズに基づいて行う事業		၁	4
1.1	市民ニーズ(2~	~ 1)		□ ニーズ	か高い			Ш	ニーズが高いとは言えない,ま			
性			<b>-</b>				市民満足度60%		•	未把握		
8点	社会環境変化(	(1 ~ 1)					適応している	Y	社会環境の変化にあわせた見	直しが必要		
	/5 4- JL 50 2 J	11-11	<b>-</b>				整物への対応等	1				
	優先性,緊急性	. ,					命,安全等が損なれ			: ±\$/1T   \		
有	対象カバー率(								□ 他団体よりカバー率			
19	受益者(1~ 1	1)							益者が不整合 ,または受益が一語 実徒	部に限た		
効	成果の実績(2・	~ 1)	1 1						実績値または目標値が未記入	レニョかい	4	4
A44-				ン			しって日へっ		実績値から成果があがっている	に言んない	-	
性 4点	- 成果向上余地(	(1 ~ 1)				1				] 特になし		
4点				成果向上策あ 比較できる団(	ナがちっ	田体々	!!!		比較できる団体はない	」 衬になり		
				対しての対象	キtmtEl	四四十二	出位コフト	V	に繋 Cc 9回体はない			
効	単位コスト(1~	1)		四件の数子	で指揮し	(LIS	単位コスト □ 他団体と同程	····	□ 把握していない □ 他団体よりコストが高			
XII							山 地図体と回信	泛	□ 四川かよりコントか同	V 1		
				または低い			- 7 日 台	+0 + <del>11</del>	めるべき事業ではない			
	受益者負担(0	~ 1)	1 1						徴収不能・見直し不能 □ 復		_	_
率							」 負担なり, 過少 出資団体へ委託してし			X4X PJ BE )	0	<b>∣ -1</b>
				事乗(正祝報 E規職員によ∂					腐にったて 個人,家庭,地域等が担うべき	立ひかちゃ		
	手段(1~ 3)											
性				:间(止来,Ni ≥≤1、吃吐啦	ひき) でに	より心でさ	ない耒務である		民間(企業, NPO等)で対応可能 嘱託, 臨時職員等で対応可能	E C Ø S		
3点				スト削減の取					特に行っていない	Cos		
э <del>м</del>	コスト削減取組	1(1 ~ 1)	🕌	人下別点のも	い組みを	117 (118	)	<u> </u>	付に1]フていない			
				ritt								
平成	15~16 <sup>9</sup> した改善	年度に	課題				改善			総合	В	В
実 施	した改善	内谷					内容			評価		
5 今往	<b></b>	ション)										l
	×>-37-0-(> >		想定し	ていなかった	た建築物	への対応	等,見直しを行って	こいくり	 必要がある。			
現在意	認識してい	る課題										
市民,関	係者 市民,関係	者の名称										
からの	意見意見,要											
要望	等 見 , 要	+										
		望内容	:									
		望内容										
	(1)			年		月						
課題·要	(1)	対応内容実施期限		年		月						
課題·要	(1)	対応内容		年		月						
課題・要への言	(1) 至望等 (2)	対応内容実施期限	平成	年		月月月						
	(1) (1) (2) 対応	対応内容実施期限対応内容実施期限	平成	•								
	(1) (1) (2) 対応	対応内容実施期限対応内容	平成	•								
	(1) 至望等 (2) 対応	対応内容実施期限対応内容実施期限	平成平成	•								
	(1) 至望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	年		月						
へ の i	(1) 至望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	年		月						
へのう	(1) 至望等 (2) 対 応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	年		月						
へのう	(1) (1) (2) 対応 (3) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	年		月				後の方向性		2次評価
へのう	(1) (1) (2) 対応 (3) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成	年		月				後の方向性大・充実		2次評価
へのう	(1) (1) (2) 対応 (3) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成平成	年		月			拡			2次評価
へのう	(1) (1) (2) 対応 (3) (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成平成,	年		月			拡 現 方	大 · 充 実状 維 持法 改 善		2次評価
へ の <sup>5</sup> そ の 他 改 善 (	(1) (1) (2) 対応 (3) (3)	対応内容 実 対 実施期内容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成中域中域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域	年		月			拡 現 方	大 · 充 実 状 維 持		2次評価
へ の <sup>5</sup> そ の 他 改 善 (	(1) 空望等 (2) 対応 (3) で 3 で 3 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7	対応内容 実 対 実施期内容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成中域中域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域	年		月			拡 現 方 民 縮	大 · 充 実状 維 持法 改 善間 委 託 等小		2次評価
へ の <sup>5</sup> そ の 他 改 善 (	(1) 空望等 (2) 対応 (3) で 3 で 3 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7	対応内容 実 対 実施期内容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成中域中域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域	年		月			拡 現 方 民 縮 統	大·充 実 状 維 持 法 改 善 間 委 託 等 小 合 / 終期設定		2次評価
へ の <sup>5</sup> そ の 他 改 善 (	(1) 空望等 (2) 対応 (3) で 3 で 3 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7	対応内容 実 対 実施期内容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成中域中域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域域	年		月			拡 現 方 民 縮 統	大 · 充 実状 維 持法 改 善間 委 託 等小		2次評価
その他改善(	(1) (2) 対応 (3) 3 3 3 3 7 ~ 19年度の	対底内容 限 対 実施期内容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成果以上,	年		月			拡 現 方 民 縮 統	大·充 実 状 維 持 法 改 善 間 委 託 等 小 合 / 終期設定		2次評価
その他で 平成 1	(1) 空望等 (2) 対応 (3) で 3 で 3 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7	対底内容 限 対 実施期内容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成果以上,	年		月			拡 現 方 民 縮 統	大·充 実 状 維 持 法 改 善 間 委 託 等 小 合 / 終期設定		2次評価

/ AD =									
( ─	事業)	事業	J - F	4110180				部 長次	長課長
,				古层市生迁晋		ための建築等の規制に関	する冬例に其		
平成15	年度	事	業名	づく建築等の		7.0000连来守切戏时已读	リタる示例に基		
				フ、産業等の	W. In 3 = 10				
1 事	業概	要(ドゥ)							
第3次产	屋市	まちづく	りの目標	4 快適でう	るおいの	ある都市づくり		建設部	
総合	計画		中	1 暮らしや	すく質の	高い市街地の形成		所 管 課 開発指導	課
政策			<u>'</u> /\	1 市民と描					吉
	系		<u></u> 細	1 1120031	1 (0.50)	- HXH1		記入者氏名森本勝	
体							I — —		
事	業	其		平成8年3月			☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38-	-2071 内線 2912
根 拠	法	令 '	要綱等	芦屋市生活環境	境保全の	ための建築等の規制に関	する条例	実施 主体 芦屋市	
実	施	手	≦ 法	☑ 直営		□ 一部委託	□ 全部委託	□補助金□□	負担金
委		託	先	□ 外郭団体	委託	名称	□ 民間	委託 委託 内容	
								出を義務付け,条例による	規制、指導を行う。
事	業	Ø	概 要						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
<del></del>	未	0)	15% 女						
				届出数 0件	窓口に	おける事前相談は有り。			
事	業	の	現 状	相談にあたり	,条例の	目的・主旨等の説明を行	iハ,芦屋市内における	遊戯施設等を建築をしない	はうに
	目的	実現のため	ხთ	理解を求めて	いる。				
	手段7	及び実施内	容						
	J T'X/.	~ ~ //IEP	. н						
			北 # ~	タロズのセギ	/ <del>/</del> 米Ի				
		/+ m / - ! -		窓口での相談		亚代 4 4 左南 4 中位:	亚武士 5 左南(南)建。	亚代 4 6 左秦 7 □ 堙 5	五代 4 3 左左 / □堙、
		結果指標			(美績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標 値				1件	0件	0 件
アウト	プット		単位コスト						
指	標		指標 名						
		結果指標	-		( 実績 )	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標値		()()	17-00 1 1 1/2 (2010)	1100 1100 (20100)	11-2 ( 11.3.7	1770 1 1 1 2 (1111)
		(2)							
2 = 2	114 <del>- 12</del> 1		単位コスト						
	美风	<u>果(アウ</u>	トカム)	T					
		対	兔	遊技場及びホー	テル等重	<b>学</b> 老等			
		^1	20	217-8/2011	, ,, ,, <del>, ,</del> ,	, L			
事業の	目的	対象力	バー 率	対 象 数 (a)		受 益 数	(h)	比率 (b ÷ a) %	
				\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		× m ×	(0)		
対象・	意 図			73 2K XX (a)		X	( ( ( )	10 1 (1 1 1)	
対象・	意 図			ì			1	, (s - s - s - s - s - s - s - s - s - s	L
対象・	意 図	意	図	ì		遊技場及びホテル等の建	1	122 . (1	I
対 象・	意 図	意	図 主語にして)	事業者等が芦	屋市内に	遊技場及びホテル等の建	2築計画を断念させる。	,	
		意 (対象を	図 主語にして)	事業者等が芦	屋市内に	遊技場及びホテル等の建	2築計画を断念させる。	,	
	意図	意	図 主語にして)	事業者等が芦	屋市内に 屋市内に と教育環	遊技場及びホテル等の建	・ 発計画を断念させる。 な場及びホテルについて	必要な規制を行い,もって	
		意 (対象を	図 主語にして) 目 的	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個	屋市内に と教育環 性を維持	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい	・ 発計画を断念させる。 な場及びホテルについてが いる。	,	
		意 (対象を な	図 主語にして) 目 的 指標 名	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営	屋市内に と教育環 性を維持 業・風俗	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書	・ 楽計画を断念させる。 な場及びホテルについて いる。	,	
		意 (対象を な	図 主語にして) 目 的 指標 名 考え方・式	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 芦屋市風俗営	屋市内に と教育環性を維持 業・風俗	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出	・ は場及びホテルについて いる。 計 は件数	必要な規制を行い,もって	
		意 (対象を な 中間成果	図 主語にして) 目 的 指標 名 考え方・式	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 芦屋市風俗営	屋市内に と教育環性を維持 業・風俗	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書	・ は場及びホテルについて いる。 計 は件数	必要な規制を行い,もって	
	<u>ੈ</u>	意 (対象を な 中間成果 指 標	図 主語にして) 目 的 指標 名 考え方・式	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 戸屋市風俗営 平成13年度	屋市内に と教育環持性を維持 業・風俗 (実績)	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出	・ は場及びホテルについて いる。 計 は件数	必要な規制を行い,もって	本市の国際文化住宅都
大	<u>ੈ</u>	意 (対象を3 な 中間成果 指 標	を 注語にして) 目	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 平成13年度 0件	屋市内に と教育環持性を維持 業・風俗 (実績)	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績)	集 は場及びホテルについて いる。 は件数 平成 1 5 年度(実績) 0 件	必要な規制を行い,もって	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標)
大アウト	き	意 (対象を3 な 中間成果 指 標	型 注語にして) 目 標 考え方・式 度 指標標標 指標標名	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 平成13年度 0件 遊技場及びホ	屋市内に と教育環持 性を維持 業・風俗 (実績)	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市	集計画を断念させる。 は場及びホテルについている。 は件数 平成15年度(実績) 0件 で民の満足度	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	き	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果	世 注 語 に し し し し し し し に り に り に り に り に り に り	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 平成13年度 の件 遊技場及びホ アンケート調	屋市内に と教育環持 と性を・風俗 業・風俗 で に で で で で で で で の の の で で で の の の の の	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について	築計画を断念させる。  は場及びホテルについている。  は特数  中成 1 5 年度 (実績)  の件  「民の満足度  のアンケート/お住ま	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	き	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果	主語目指考年指指表年指指表年	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 戸屋市風俗営 平成13年度 遊技場及びホ アンケート調 平成13年度	屋市内に と教育環持 と性を・風俗 業・風俗 で に で で で で で で で の の の で で で の の の の の	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市	集 (場及びホテルについて) (は (は (は (は (は (は (は (は (は (は	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	き	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果	世 注 語 に し し し し し し し に り に り に り に り に り に り	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 戸屋市風俗営 平成13年度 遊技場及びホ アンケート調 平成13年度	屋市内に と教育環持 と性を・風俗 業・風俗 で に で で で で で で で の の の で で で の の の の の	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について	築計画を断念させる。  は場及びホテルについている。  は特数  中成 1 5 年度 (実績)  の件  「民の満足度  のアンケート/お住ま	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	き カム標	意 (対象を な 中間成果 標 最終成果 指	主語にして) 的 名式度値名式度値	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 平成13年度 0件 遊技場及びホ アンケート調 平成13年度	屋市内に と教育環持 と性を・風俗 業・風俗 で に で で で で で で で の の の で で で の の の の の	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について	集 (場及びホテルについて) (は (は (は (は (は (は (は (は (は (は	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	き カム標	意 (対象を な 中間成果 標 最終成果 指	主語目指考年指指表年指指表年	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 平成13年度 0件 遊技場及びホ アンケート調 平成13年度	屋市内に と教育環持 と性を・風俗 業・風俗 で に で で で で で で で の の の で で で の の の の の	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について	集 (場及びホテルについて) (は (は (は (は (は (は (は (は (は (は	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	き カム標	意 (対象を な 中間成果 標 最終成果 指	主語にして) 的 名式度値名式度値	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 平成13年度 0件 遊技場及びホ アンケート調 平成13年度	屋市内に と教育環持 と性を・風俗 業・風俗 で に で で で で で で で の の の で で で の の の の の	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について	集 (場及びホテルについて) (は (は (は (は (は (は (は (は (は (は	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	カム標の特色	意 (対象を な 中間 成 展 指 最終 成 標	を	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 平成13年度 0件 遊技場及びホ アンケート調 平成13年度	屋市内に と教育環持 と性を・風俗 業・風俗 で に で で で で で で で の の の で で で の の の の の	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について	禁計画を断念させる。 は場及びホテルについてがる。 は件数 平成15年度(実績) 0件 i民の満足度 のアンケート/お住ま 平成15年度(実績) 60%	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件 い近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件
大アウト	カム標の特色	意 (対象を な 中間 成 展 指 最終 成 標	を (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三)	事業者等が芦門 良好な住環境市としての個学 戸屋市風俗学 平成13年度 0件 遊技場及びホアンケート調 平成13年度	屋市内に 受力 を と 教育 は 学 を 能 ・ 風 ( 実	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについて は は は は は は は は は は は は は	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件 い近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 アウト 芦屋市 3 事	カカ標の特質	意 (対象を な 中指 最終成 果標 上なず動 ・活動動	(型) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対	事業者等が芦 良好な住環境 市としての個 芦屋市風俗営 戸屋市風俗営 平成13年度 遊技場及びホ アンケート調 平成13年度	屋市内に 受力 を とと 教育 は できまれる は できまれる は できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについてかる。 は件数 平成15年度(実績) の件 5民の満足度 のアンケート/お住まり 平成15年度(実績) 60%	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件 い近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 アウト 芦屋市 3 事	きかり、大きない。	意 (対象をません) な 中指 最指 な 活動 電費 件 費	を 主語目 指考年指指考年指 で が を 式度値を式度値 項 の の の の の の の の の の の の の	事業者等が芦門 良好な住環境個	屋市内に 受力 を とと 教育 は できまれる は できまれる は できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件ないことの住環境への市成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについてがる。 出件数 平成15年度(実績) の件 5民の満足度 のアンケート/お住ま! 平成15年度(実績) 60%	必要な規制を行い, もって 平成16年度(目標) 0件 い近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標) 年成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指	きカの業人事	意 (対 な 中指 最指 な 活 件業 費 費 費	図()   図()   図()   図()   図()   図()   目   目   目   掲   表年   指   表年   指   表年   まままままままままままままままままままままままままままままままま	事業者等が芦門 良好な住環境個	屋市内に 受力 を とと 教育 は できまれる は できまれる は できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについてかる。 は件数 平成15年度(実績) の件 5民の満足度 のアンケート/お住まり 平成15年度(実績) 60%	必要な規制を行い,もって 平成16年度(目標) 0件 い近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 3 事 内	きカの業人事他	意 (対 な 中指 最指 と 活 件 業門 展標 と に の で は の で で で で で で で で で で で で で で で で	を 主語目 指考年 指考年 指考年 指考末 標序方 標標方 標高 では では では では では では では では では では	事業者等が芦門 良好な住環境個	屋市内に 受力 を とと 教育 は できまれる は できまれる は できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件ないことの住環境への市成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについてがる。 出件数 平成15年度(実績) の件 5民の満足度 のアンケート/お住ま! 平成15年度(実績) 60%	必要な規制を行い, もって 平成16年度(目標) 0件 い近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標) 年成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 3 事 内	きカの、大き人事他減に	意 (対 な 中指 最指 と 活 件業門償	を 主語 目 指 考年 指 指 考年 指 まった 標 病 方 標 標 方 標 標 方 標 不 は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業者等が芦門 良好な住環境個	屋を大きまである。	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績)	2 環 環 環 環 は は は は は は は は は は は は は	必要な規制を行い,もって  平成16年度(目標)  0件  ハ近くの環境の総合的な満  平成16年度(目標)  住民1人当り(円)  7  平成16年度(予算)  - 1	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 3 事 内	きカの業人事他	意 (対 な 中指 最指 と 活 件 業門 展標 と に の で は の で で で で で で で で で で で で で で で で	を 主語 目 指 考年 指 指 考年 指 まった 標 病 方 標 標 方 標 標 方 標 不 は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業者等が芦門 良好な住環境 市としての 俗学 で 下屋市 風俗 と で の 名学 で が は 3 年度 で が 1 3 年度 で が 1 3 年度	屋市内に 受力 を とと 教育 は できまれる は できまれる は できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件ないことの住環境への市成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについてがる。 出件数 平成15年度(実績) の件 5民の満足度 のアンケート/お住ま! 平成15年度(実績) 60%	必要な規制を行い, もって 平成16年度(目標) 0件 い近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標) 年成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 3 事 内	きカの、大き人事他減に	意 (対 な 中指 最指 と 活 件業門償	を 主語にして) 自 指 考 年 指 指 考 年 指 者 表 大 標 表 大 標 表 大 で は の の の の の の の の の の の の の	事業者等が芦門 良好な住環境 市としての 俗学 で 下屋市 風俗 と で の 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で	屋を大きまである。	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績)	2 環 環 環 環 は は は は は は は は は は は は は	必要な規制を行い,もって  平成16年度(目標)  0件  ハ近くの環境の総合的な満  平成16年度(目標)  住民1人当り(円)  7  平成16年度(予算)  - 1	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 万 事 内 千 円 )	きカの業人事他減合	意 ( 中指 最指 を 所	を 主語にして) 目 据 考年 指 考年 指 指 考年 指 名 事 標 方 で 標 で カー で は で か で の . 1% で の	事業者等が芦門 良好な住環境 市としての 俗学 で 下屋市 風俗 と で の 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で	屋を大きまである。	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績)	2 環 環 環 環 は は は は は は は は は は は は は	必要な規制を行い,もって  平成16年度(目標)  0件  ハ近くの環境の総合的な満  平成16年度(目標)  住民1人当り(円)  7  平成16年度(予算)  - 1	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 3 事 内( 財 別 別 別 別 の の の の の の の の の の の の の	きカの業人事他減合国市	意 ( 中指 最指 を 所成 水 中指 最指 な が 一	を 主語にして) 目 指考年 指名 年指表え 標標方 標標方 標標方 標標方 標の の の の の の の の の の の の の の	事業者等が芦門 良好な住環境 市としての 俗学 で 下屋市 風俗 と で の 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で	屋を大きまである。	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績)	2 環 環 環 環 は は は は は は は は は は は は は	必要な規制を行い,もって  平成16年度(目標)  0件  ハ近くの環境の総合的な満  平成16年度(目標)  住民1人当り(円)  7  平成16年度(予算)  - 1	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 万 事 内 千 円 )	きカの業人事他減合国市そ	意 対 な     中指     最指     む     活     件業門償・債の       ・     ・     ・     ・     債の	を 主語にして) 自 指考年 指指考年 指指考末 標標方・標標方・標標 で)の の の の の の の の の の の の の の	事業者等が芦門 良好な住環境市 を 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	屋を大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについて 10	必要な規制を行い,もって     平成16年度(目標) 0件     八近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成 1 7年度(目標) 0件 に足度) 平成 1 7年度(目標)
大 ア指 芦 3 事 内 ( 財 ( ) (	き カ の 業 人事他減 <b>合</b> 国市そ 人標 特 費業 一部個 一	意 (対 な 間 最指 な 活 件業門償 ・ 債の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の	を 注語にして) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	事業者等が芦門 良好な住環境市	屋を大きまである。	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについて 10	必要な規制を行い,もって  平成16年度(目標)  0件  ハ近くの環境の総合的な満  平成16年度(目標)  住民1人当り(円)  7  平成16年度(予算)  - 1	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件 に足度) 平成17年度(目標)
大     ア指     声     3事     内( 財( 活) 所) 動	き カの 大 大 事他減合 国市そー職	意 (対 な 間 最指 な 活 件業門償 ・ 債の 財 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 財	を 注語にして) 目 指考に 指考を 指指表に 年指標 標方・標標 を は で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	事業者等が芦門 良好な住環境市	屋を大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績) 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについて 10	必要な規制を行い,もって     平成16年度(目標) 0件     八近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件 に足度) 平成17年度(目標)
大     ア指     声     3事     内( 財( 活) 所) 動	き カ の 業 人事他減合国市そー職嘱 特費業 高値 手託	意 (対 な 間 最指 な 活 件業門償 ・ 債の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の 財 の	を 注語にして) 目 指考年 指 指 考年 指 指 考年 指 者 を す る 事 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業者等が芦門良好な住環境間で	屋を大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	遊技場及びホテル等の建 境を保全するため,遊技 することを目的としてい 関連営業建築計画届出書 関連営業建築計画の届出 平成14年度(実績) 0件 ないことの住環境への市 成15年度環境について 平成14年度(実績)	集計画を断念させる。 は場及びホテルについて 10	必要な規制を行い,もって     平成16年度(目標) 0件     八近くの環境の総合的な満 平成16年度(目標)	本市の国際文化住宅都 平成17年度(目標) 0件 に足度) 平成17年度(目標)

4 計1	<u>叫(テェッ</u> 価	<u>ノ)</u> 視 点	評価チェックリスト		1次証価	2次評価
<del>at</del>	1Щ	1兄		E #>1 \	八計1四	2次評価
	目的妥	当性(2~ 2)	□ 事業の生日的は明確である □ 事業の目的は ラに紋などとができ □ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	241		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能で	で あ ろ		
妥	市関与(	2 ~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている	2000		
•	) د انجا دا ۱	- <i>-</i> /	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業で	<b>まない</b>	5	5
_	市民二-	- ズ(2~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		9	3
性	11,500	X(2 )	② 数字で把握している 市民満足度60% □ 未			
8点			□ 象別でに対している □ 社会環境の変化にあわせた見直し			
OM	社会環境	竟変化(1~ 1)	内容	13 20 32		
	優先性	緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
		<u>、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</u>	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低	£11		
有	受益者(		☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に		1	
**	###	7/= (0 4)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		4	4
効	放果の	€績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言	えない	4	4
性	- 世田白	<b>-</b> △+₩/4 4)	成果があがっていない場合		1	
4点	- 风未円」	_余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特	寺になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	単位コス	. h(1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	千匹コグ	.1 (1 - 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者的	負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	Хшп,	£3=(o )	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収す	可能 )	0	_1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		0	- •
	手段(1~	3)	│ □ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分			
	312(	-,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能であ			
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能であ	<u>る</u>		
3点	コスト削	減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
			→ 内容			
平 成	1 5 ~	6 年 度 に 女 善 内 容	改善改善	総合	В	В
実 施	した。	女善内容	内容	評価	D	D
5 全征	後の対応	(アクション)				
3 71	タリスコルい	<u>() ) ) = ) </u>	現在,この条例により遊技場及びホテル建築等可能な区域は限定されているが,その所有者が	公共(市)	) である	<del>-</del>
現在意	認識して	こいる課題	から , 実質的に市内では建築ができない状況となっている。しかしながら , 市の財政状況によ			
			予定されていることから,その売却に当たっての条件等の調整が必要である。	- /		
市民,関	関係者 市民	,関係者の名称				
からの	意見	<b>西胡力</b> 劳				
要 望	. 等 思 5	, 要望内容				
	(1	対応内容				
	(	実施期限	平成 年 月			
課題·要	 更望等					
W/ NO.	(2	対応内容				
へのき	,	実施期限	平成年月			
		A-1 (**1- (**)				
	(3	対応内容				
		実施期限	平成年月			
その世						
	と考えら;					
	8 考えら; の ア イ ラ					
				の方向性		2次評価
			拡 大	· 充 実		2次評価
			拡 大 現 状	· 充 実		2次評価
改 善 (	の ア イ <del>5</del>	÷ 7	拡 大 現 状 方 法	· 充 実 : 維 持 : 改 善		2次評価
改 善 (	の ア イ <del>5</del>		拡 大 現 状 方 法 民 間	· 充 実 法 維 持 法 改 善 委 託 等		2次評価
改 善 (	の ア イ <del>5</del>	÷ 7	拡 大 現 状 方 法 民 間 縮	· 充 実 法 維 持 。 改 善 委 託 等		2次評価
改 善 (	の ア イ <del>5</del>	÷ 7	拡 大 現 状 方 法 民 間 縮 統合/	· 充 実 維 持 改 善 委 託 等 小 終期設定		2次評価
改 善 (	の ア イ <del>5</del>	÷ 7	拡 大 現 状 方 法 民 間 縮 統合/	· 充 実 法 維 持 。 改 善 委 託 等		2次評価
平成 1	の ア イ ラ 7 ~ 1 9 £	ぎァ	拡大現状 方法 民間 縮 統合/ 廃止	· 充 実 維 持 改 善 委 託 等 小 終期設定		2次評価
平成 1	の ア イ ラ 7 ~ 1 9 £	÷ 7	拡大現状 方法 民間 縮 統合/ 廃止	· 充 実 維 持 改 善 委 託 等 小 終期設定		2次評価

( -	- 般	事業)	事業	J - F	1230	030				部		Ę	次	長課長
Ì		- <del></del>	=	2114	h. ///	7. ******	÷ 1/1/1 = 25							
平.	放门:	5年度	争	業名	被災	建築物の応急危険原	<b>芟判正事務</b>							
			•					•	•					
1	事	業概	要(ドゥ)											·
第	3次	当屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			所	管	誄	建設部	3
		計画		中	2	安全と防災の確保							建築指	導課
	策	施策		小	3	防災機能の強化					管課 長			· 樹
体		系		細									林繁	
事		業	期			12年度~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電				38-2114 内線 2915
根	拠		令 · !										芦屋市	
実		施	手				一部委託	□ 全部委託			補助:			□ 負担金
委			託	九			名称    図せの英工などか	ことはマーなく	□ 民間					ᆹᆫᆥᄿᄀᆂᅉᄳᄼ
事		業	Ø	概 要			到壊,部材の落下などか かつ的確に実施する。	ら主しる二次を	火舌から1	土氏(	ル女王	全唯17	k 9 る/ご	のに,恨火廷架初の
<b>→</b>		未	U)	1000 女	心忌	厄陜反判 足を迅速/	アクツ唯に夫心する。							
					阪油	南地域の建筑十合		の他の建筑技術	村老乃八	776	強の建:	筑技术	きおでは	
事		業	Ø	現 状			, 建来工事物/// 1882 , で 7 0名により , 阪神南地							
			ェラ 実現のため				坡災建築物応急危険度判							
			及び実施内			,				, ,				
				指標 名	市職	員のうち応急危険原	度判定士の研修,講習,	実施訓練に参加	加した者					
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成 1 6	年度	(目標)	平成17年度(目標)
			(1)	指標 値		5人	5人	5人				6人		6人
ア	ウト	プット		単位コスト		103,800円/人	166,600円/人	96,200円	/人		92,5	00円。	/人	92,500円/人
指		標		指標 名										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16	年度	(目標)	平成17年度(目標)
			(2)	指標値										
Ļ		NIZ -12 1		単位コスト										
2	事:	業成!	果(アウ	<u>トカム)</u>	Г									
			対	象	被災	を受けた地域の建築	<b>築物</b>							
車	ψη	口的	하 수 ㅋ	バー率	ે તે તે €	<b>を 米 (2)</b>	受 益 数	, (b)			H ⅓	? /h	÷ a)	06
		意図		1 // <del>*</del>	ע אַ	R XX (a)	又 皿 攰	(0)			IL A	<u> </u>	<del>.</del> a)	70
V.1	31		意	図	余震	による建築物等の値	到壊に関して、建築技術	i者等を活用して	て、被災す	建築集	物に対	するが	5急危険	度判定の実施体制の整備
				 主語にして)	3,,,,,	,-0.0 221(13:3:17)			- / 1			, ,,,		(X) 3/2 10 / (105)   1 (10) 10 III
			ļ,	<u> </u>										
大		き	な	目 的	防災	機能の向上(地震に	よる2次災害の防止)							
						員のうち応急危険原	度判定士に登録している	者						
				考え方・式				I =						
			指標				平成14年度(実績)		• •	平			(目標)	
	ウト	・カム		指標値		20人	20人	15人				17人		1 7人
指		標		- IIII		危険度判定体制の3 ま物 / 資格適格表								
				-	-	者数/資格適格者 13年度(宝績)	双 平成14年度(実績)	亚成 1 5 年度	(宝绩)	<u> </u>	成 1 6	任度	(目標)	平成17年度(目標)
			7日 作示	指標値		100%	100%	100	•			<u> </u>	• /	100%
				기타 기ホ IIE		1 0 0 70	1 0 0 70	100	70	<u> </u>		00.	70	1 0 0 70
芦	屋市	の特色	色など補足	足する事項										
			_ 1107											
3	事	業費	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	12	住民	1人当じ	(円)		5 平成16.4.1 住民基本台帳
事		業	費	1		13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度	(決算)	平	成16	年度	(予算)	
		人	件 費	99.4%		493	828		478					-
		事	業費			26	5		3					4
内		_	7門経費	1										-
( =	F円	) 減 価	「償却費											-
		合	計			519	833		481					4
<b>.</b> .		国	· 県											
財		市った	債 等											
( =	F円		の 他			F4^	000		404					4
エ	Ŧ.	力職	<b>設財源</b> 員			<b>519</b> 0.05	<b>833</b>		<b>481</b> 0.05					4
活配		_	·臨時等			0.05	0.10		0.03					-
AC (		)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			0.05	0.10		0.05				0.0	0

	<u>叫(ナェック)</u>		1			4T/T				1	
評		見 点				評価チェック				1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)		主目的は明確				D目的は一つに絞る			
	1177711	-(/						きが不明確、または高			
					聿等で義務づけ			ごやるべき , または対			
妥	市関与(2~	2)	│ ☑ 市民の	基本的な生活	の維持に必要	である		‡では見直しがされ <sup>−</sup>	ている		
							□ いず∤	こにも該当しない		] _	_
当					て行うべき事業			ニーズに基づいて行		∃ 3	∣ 4
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	<b>→</b> ✓	ニーズが高い	١		□ ニース	(が高いとは言えな)	1, または未把握		
性				] 数字で把					☑ 未把握		
8点	社会環境変	(l/(1 ~ 1)	□ 事業に	関わる社会環	境の変化に適応	むしている	□ 社会班	環境の変化にあわせ	た見直しが必要		
		,	内容								
	優先性,緊急					i , 安全等が損なれ		_			
	対象カバー	• •		バー率は高い		□ 他団体と同程	~	□ 他団体よりカハ			
有	受益者(1~	1)			整合している			不整合,または受益		_	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	1 1					直または目標値が未 * / / > ポロバカバー		3	3
		<u> </u>				と言える	□ 実績៕	inら成果があがっ <sup>-</sup>	ていると言えない	<b>↓ ઁ</b>	
性	- 成果向上余	地(1~ 1)		バっていない場 ・グェル	易合						
4点			□ 成果向		7 日休久	に残士		****ログログログ	□ 特になし	1	
					る団体名	近隣市 単位コスト		できる団体はない	1+211		
効	単位コスト(1	l ~ 1)		の数字を把握 団体よりコスト		ニⅳコスト 〕 他団体と同程		☑ 把握してい □ 他団体よりコスト			
				団体よりコスト は低い場合の			支	□ 世国神よりコスト	ハ, 回 い		
					<del>生四</del> ごきる事業である		切た 求めるべ	き事業ではない			
	受益者負担	(0 ~ 1)	1 1					「能・見直し不能	徳川7 可能 )		
率						₹ <u>∫='&amp;゚゚, 過ン</u> 賢団体へ委託してし				<b>⊣ -3</b>	-2
					が義務づけられ			v. c 家庭, 地域等が担う	べき部分がある		
	手段(1~ :	3)						ぶた , 2030年75 三 . 企業 , NPO等)で対応			
性			1	•			,	臨時職員等で対応			
3点			□ コスト削		を行っている	-><->>		すっていない	110 000		
	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容					3 2 2 7 7 6 7 7			
			登録判	定士の減少値	頁向。	訓	練,研修及で	が講習により体制整			
半 成	15~16した改	年度に	課題			改善 内容			総合評価	l B	B
	0 /2 13	e ri e				737			піщ		
5 今行	後の対応(ア	'クション)									
			市の建築技術	桁職員が減員	することにより	) , 応急危険度判	定士に登録	できる職員が減少	しつつある。		
現在	認識してし	1る課題									
	原名 市民,関	係者の名称									
からの		要望内容									
要望	等思先,										
	(4)	対応内容	建築行政職員	員に対して応	急危険度判定(	の研修,講習の糾	継続し,登録	者を増やす。			
	(1)	<b>⇔</b> ⊁++070		T							
<u>+</u> ⊞ 85 ==	5 ±0 00	実施期限	平成	年	月						
課題·要		対応内容									
へのす	(2)	実施期限	₩.	左							
/( 0) ;	אין ויא	夫加别സ	平成	年	月						
	(3)	対応内容									
	(3)	実施期限	亚成	年	月						
	I	大ルの共分で	1 7%	+	/3						
その他	きえられる	3									
	のアイデフ										
–									今後の方向性	生 1次評価	2次評価
			体制整備と終	推持					拡大・充実	Ę	
									現状維持		
									方法改善	<b></b>	
平成 1	7~19年度	の方向性							民間委託等	<b></b>	
									縮	١	
									ин .		
									統合/終期設定	Ē	
									統合/終期設定		
2 次 評	平価 委 員 会	:コメント							統合/終期設定		

(一般	事業)	事 業		1230	460					1	部		Ę	次	長	課	長
亚成 1	5年度	重	業名	雪洁	改修促進法に関する	ス重発											
T 11X 1	7 午 反	<del>7</del>	未 口	间记	以形促進法に関する	<b>○ <del>丁</del>1万</b>											
		要(ドゥ)															
			りの目標		活気あふれる豊か		( I)				所	管	譲	建設部			
	計画		中		安全と防災の確保								HP1	建築指導			
政 策	施策		小	3	防災機能の強化									林繁樹			
体	系		細								記	入 者		島津ク			
事	業	斯			12年度~		経常臨時	· 🗸	経常 🗌	臨時		話		0797-38-	-2114	内線	2918
根 拠					物の耐震改修の促進	進に関する法律	<u> </u>					施主		市			
実	施	手	法		直営	□ 一部委託	,		全部委託			補助3			負担金		
委		託				名称				□民間							
					定建築物の所有者に		を建築物の	)耐震	診断及び	耐震改修I	こつし	て必要	要な指	<b>『導,助言</b>	及び指示	等を行う	<b>う</b> 。
事	業	の	概 要	・建	築物の耐震改修の記	計画の認定											
					定建築物の状況調査	•		,									
事	業	の	現 状		震診断及び耐震改修												
	目的記	実現のため	5 <b>0</b>	・兵	庫県の耐震改修促済	進事業の推進(ノ	広報への?	掲載:	10月15日	3号 , ダイ	レク	トメー	ルの	発送:115	5通)。		
	手段》	及び実施内	容														
			指標 名	Γħ	つが家の耐震改修促	進事業」の補	助金交付的										
		結果指標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成	15年度	(実績)	平月	成16	年度	(目標)	平成 1 7		目標)
		(1)	指標値		-	-			0 件				5件			5 件	
アウト	・プット		単位コスト		-	-			-			300,	000円	/件	300	,000円/	件
指	標		指標 名														
		結果指標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成	15年度	(実績)	平月	成16	年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
		(2)	指標値														
			単位コスト														
2 事	業成	果(アウ	トカム)														
		対	免	性定	建築物の所有者及び	バ建筑物の耐雪	砂修をし	ر دار	レオス老								
		<b>^</b> 3	<i>3</i> \	11775	生来物の川内日及(	ひ姓来物の間は	ELX IS C. C	, a , j	_ 7 0 日								
			バー率	対象	<b>&amp; 数 (a)</b> 20	,062棟	受 益 数	አ (b)		0		比率	(b	÷ a) %		0 %	
対 象	・意 図			性完	建築物の所有者及び	バ神筑物の耐雪	シング タングラング かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅう	. FA	レオス耂・	が、神気が	<b>መ</b> ው ਜ	ᆏᆂᆄ	タ/兄弟	ŧのための	世霊を護	オスニュ	<b>⊢</b>
		意	図	り建	建築物の所有自及で 築物の地震に対する	の建築物の耐息 る安全性の向上	を図るこ	ル こと。	こりの日か	/J',廷采1	إاا لاك لوو	別辰以	多胚足	E07120707	加里で明	, y & C C	-100
		(対象を3	主語にして)														
大	き	な	目 的	地震	による建築物の倒り	懐等の被害から	国民の生	命,!	身体及び	財産を保護	護する	ること。					
					建築物の減少数(累												
		中間成果			建築物が建替え若し												
		指 標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成	15年度	(実績)	平月	成16	年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
アウ	トカム		指標値		13件	26件	<u> </u>		2 7 件	<u> </u>		3	3 2 件			3 7 件	
指	標		指標 名														
		最終成果	考え方・式														
		指 標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成	15年度	(実績)	平月	成16	年度	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
			指標値														
芦屋市	⋾の特も	色など補足	足する事項														
	·業費	·活動配	<u>分(コスト</u>	)				1 世帯	当り(円)	24	住民	1人当り	(円)	10	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事	業	費	構成%	平成	,13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成	15年度	(決算)	平月	成16	年度	(予算)			
	人	件費	99.4%		-		565			927				-		人件費	৳:1,486
	事	業費			-		5			6				14			
内	沢他部	『門経費	t											-			
(千円	) 減 個	賃 却 費	!											-			
	合	Ħ	100.0%		0		570			933				14			
	国	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・													]		
財		債 等													]		
(千円	) そ	の他	!												]		
		設 財源	100.0%		0		570			933				14			
活	動職	員	100.0%		-		0.05			0.10				-			
		,臨時等												-	]		
(人	) 合	計	100.0%		0.00		0.05			0.10				0.00			

評	<u>叫 (フェッフ)</u> 価 視	. 点						評	価チェッ	ックリフ	スト						1次評価	2次評価
н	1			事業の主	目的は明	確でお	 5る	н	іш/ т/			事業の日	的は一つ	に絞るこ	とができ	ない	1 // (11 1144	2 / (11 1144
	目的妥当性(2	2 ~ 2)	_				-	たけ貢献	きだ高				「不明確、					
							で義務づI						るべき,ま			ある		
妥	市関与(2~	2)					性持に必要				_		は見直し					
	11/10/15/	-,	_ '	10 20 00 1		-711 -> ///	23310203						も該当した		• • •			
当				市民二一	ズに基づ	いて行	うべき事業	 堂					·ズに基づ		事業では	ない	5	5
-	市民ニーズ(2	2 ~ 1)			ハに坐っ		17 (0 3-)	~					高いとは記				9	9
性	1,500	- ',			数字で		ている						1-31		□未担			
8点			<b>√ ≡</b>				変化に適	応してい	13			<b>社会環境</b>	節の変化に	あわせた				
	社会環境変化	匕(1~ 1)			,		女修促進					122-20-20		., ., .,				
	優先性,緊急	性(1)	<b>✓ ■</b>				市民の生命			こわれ	,る							
	対象カバー率	- ' '											他団体	よりカバ・	- 率が低	l I		
有	受益者(1~	, ,											整合 ,また					
**	世界の中/生/	2 4)	V F	中間成果	指標の実	[績値を	を把握し,	目標値を	設定して	ている		実績値ま	たは目標	値が未訂	己入		4	2
効	成果の実績(2	2~ 1)					がってい						ら成果が			えない	1	
性	### 1 04	16/4 45			っていない													
4点	- 成果向上余均	四(1~ 1)			策あり		わが家の								□特	になし		
			☑ t	北較でき	る団体が	ある	団体名	近隣	市			比較でき	る団体はな	<b>311</b>				
	単位コスト(1・	4)	□ ft	他団体の	数字を把	握して	้เาอ	単位コス	<b> </b>				☑ 把排	星してい:				
効	単加コスト(17	~ 1)	<b>▶</b>	□ 他団	]体よりコス	ストが低	์เเง	□ 他団	体と同	程度			他団体よ	りコストだ	で高い			
			高い	いまたは	低い場合	の理由	1											
	受益者負担((	) ~ 1)		負担を求	めることか	べできる	事業であ	る	<b>V</b>	負担を	を求る	めるべき事	事業ではな	11				
率	八四百月四八	J 1)	-	□ 現在	, 適正な	負担あ	ı) 🗆	負担なし	, 過少	(		徴収不能	€・見直しる	能	〕徴収可	能 )	_1	_1
_			直営	含事業(正	三規職員だ	が執行)	または出	資団体へ										
	手段(1~ 3)	١	☑ I	正規職員	による執	行が義	務づけられ	れている				個人,家	庭,地域等	₩が担う	べき部分が	がある		
	J-4X(1 0)	'		民間(企業	≰, NPO等	ま)ではタ	対応できな	い業務で					業 , NPO等					
性			<b>☑</b> Ŋ	属託 , 臨日	時職員等	では対	応できなり	い業務で	ある			嘱託,臨	時職員等	で対応回	「能である	)		
3点	コスト削減取	組(1~ 1)			成の取り組	みを行	っている				<u>v</u>	特に行っ	ていない					
			₩	内容														
- "		<b>左                                    </b>	<u> </u>	当該事業	に対する	市民の	ひ聞い座の	$\sim \mu \sim$							# 55		l .	
平 成	15~16	正 度 1,				. 15 200	الكران الكراري	りにる	改盖	・補助	功事:	業につい	ての仏報	への掲	以寺	総合		<b>D</b>
平 成実 施	15~16 した改	年 度 に	課題			. 10 200	۰ <i>ک</i> رات(برارکرا	いにら	改善 内容	・補助	功事	業につい	ての仏報	への掲	1000000	総合 評価	В	В
			課題				7 KI O 1 X O	<b>がばら</b>		・補助	助事:	業につい	ての仏報	への掲	<b>以寺</b>	総合評価	В	В
	1 5 ~ 1 6 し た 改 ま <mark>多の対応(ア</mark> ク								内容							評価		
5 今往	後の対応(アク	クション)	今世紀	己前半に	発生する	可能性	Eがあると	される勇	内容				の備え、こ			評価		
5 今往		クション)	今世紀	己前半に	発生する	可能性	Eがあると	される勇	内容							評価		
5 今行現在 1	<b>後の対応(ア</b> ク	クション)	今世紀早急に	己前半に	発生する	可能性	Eがあると	される勇	内容							評価		
5 今行現在 清市民,関	<b>後の対応(ア</b> クロックで) では、 でいる では、 でいる では、 できます。 では、 できます。 できます。 できます できます できます できます できます できます しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう はい しゅう はい しゅう しゅう しゅう はい しゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	クション) る 課 題 系者の名称	今世紀早急に市民	己前半に	発生する 耐震性向	可能性 上を図	Eがあると 日る必要か	ごされる す がある。	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現在 清市民,関	<b>後の対応(ア</b> クロックで) では、 でいる では、 でいる では、 できます。 では、 できます。 できます。 できます できます できます できます できます できます しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう はい しゅう はい しゅう しゅう しゅう はい しゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	クション) る 課 題 系者の名称	今世紀早急に市民	己前半に	発生する 耐震性向	可能性 上を図	Eがあると 日る必要か	ごされる す がある。	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現在 清市民,関	<b>後の対応(ア</b> ク	クション) る 課 題 系者の名称	今世紀早急に市民	己前半に	発生する 耐震性向	可能性 上を図	Eがあると 日る必要か	ごされる す がある。	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現在 清市民,関	後の対応(アクロックの対応(アクロックの対応(アクロックの対応) でいる (アクロックの対策) できます。 関係者 市民,関係意見、関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	クション) る 課 題 系者の名称	今世紀早急に市民当であり	記前半に に住宅のi 事業の支 ) 負担額	発生する 耐震性向 援事業と の割にメ	可能性上を図してのリット	Eがあると 図る必要か の「わが家 かいない	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現在 清市民,関	<b>後の対応(ア</b> クロックで) では、 でいる では、 でいる では、 できます。 では、 できます。 できます。 できます できます できます できます できます できます しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう はい しゅう はい しゅう しゅう しゅう はい しゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	フション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容	今世紀に市民当びあり上記事	記前半に に住宅のi 事業の支持 り負担額 事業につ	発生する耐震性向援事割にとメールでは、	可能性 しての しての 平成 1	まがあると 図る必要か の「わが家」 が少ない 6 年度分	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現在 前 市民,関からの要 望	参の対応(アクロックで) (アのロックで) (アのロック	フション) る課題 系者の名称 要望内容	今世紀に市民当びあり上記事	記前半に に住宅のi 事業の支持 り負担額 事業につ	発生する 耐震性向 援事業と の割にメ	可能性上を図してのリット	まがあると 図る必要か の「わが家」 が少ない 6 年度分	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現在 清市民,関	参の対応(アクロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロック	フション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容	今世紀 早急に 市民 当であまり 上記 平成	記前半に に住宅のi 事業の支持 り負担額 事業につ	発生する耐震性向援事割にとメールでは、	可能性 しての しての 平成 1	まがあると 図る必要か の「わが家」 が少ない 6 年度分	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行 現 在 R R の 望	参の対応(アクロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロック	フション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 対応内容	今世紀に 市民 当で 記事	記前半に に住宅のi 事業の支 0負担額 事業につ 16	発生する耐震性向 援事業とメ いては、	可能性 上を図 しての ト 平成 1	まがあると 1る必要か )「わがす ・が少ない 6年度分	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現在 前 市民,関からの要 望	参の対応(アクロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロック	フション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	今世紀に 市民 当で 記事	記前半に に住宅のi 事業の支 0負担額 事業につ 16	発生する耐震性向援事割にとメールでは、	可能性 上を図 しての ト 平成 1	まがあると 図る必要か の「わが家」 が少ない 6 年度分	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行 現 在 R R の 望	参の対応(アクロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロック	フション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 対応内容	今世紀に 市民 当で 記事	記前半に に住宅のi 事業の支 0負担額 事業につ 16	発生する耐震性向 援事業とメ いては、	可能性 上を図 しての ト 平成 1	まがあると 1る必要か )「わがす ・が少ない 6年度分	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行 現 在 R R の 望	参の対応(アクロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロック	フション)	今世紀に市民事の事中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の	記前半に に住宅のi 事業の支 j負担額 事業につ 16	発生する 耐震性向 援事割には, 年 年	可能性 上を図 しての 平成 1 4	まがあると 引る必要か )「わがない 6 年度分 月	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行 現 在 R R の 望	参の対応(アクロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロックで) (アのロック	フション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内期 対応内期 実施期限	今世紀に市民事の事中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の	記前半に に住宅のi 事業の支 j負担額 事業につ 16	発生する耐震性向 援事業とメ いては、	可能性 上を図 しての 平成 1 4	まがあると 1る必要か )「わがす ・が少ない 6年度分	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今行現 市か要 課題・要 の 3	後の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3)	フション) る 課 題 系 書 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	今世紀に市民事の事中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の	記前半に に住宅のi 事業の支 j負担額 事業につ 16	発生する 耐震性向 援事割には, 年 年	可能性 上を図 しての 平成 1 4	まがあると 引る必要か )「わがない 6 年度分 月	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今 在 関	後の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3)	フション) る 課 題 系 要 対 実 が 窓 容 容 限 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	今世紀に市民事の事中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の	記前半に に住宅のi 事業の支 j負担額 事業につ 16	発生する 耐震性向 援事割には, 年 年	可能性 上を図 しての 平成 1 4	まがあると 引る必要か )「わがない 6 年度分 月	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	神・淡路	各大震災の	の教訓か	5,
5 今 在 関	後の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3)	フション) る 課 題 系 要 対 実 が 窓 容 容 限 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	今世紀に市民事の事中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の	記前半に に住宅のi 事業の支 j負担額 事業につ 16	発生する 耐震性向 援事割には, 年 年	可能性 上を図 しての 平成 1 4	まがあると 引る必要か )「わがない 6 年度分 月	される見 である。 その耐震さ	東南海地	也震、	南海	毎地震へ(	の備え、る	また、阪	事業でも	許価 各大震災の	の教訓か開助金額	ら、が少額
5 今 在 関	後の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3)	フション) る 課 題 系 要 対 実 が 窓 容 容 限 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	今世紀に 市民 当で お記 水 不成 平成 平成	記前半に に住宅のi 事業の支 0負担額 16	発生する向接事業には、年年年	可能性 してのト マ 1 4	まがあると る 必要か かがい 6 年度分 月	こされる見がある。	東南海地 牧修促進 协金額 の	也震、生事業の若干	南海	毎地震へ(C	の備え、言は,兵庫りった。	また、阪	事業であ	京価 お大震災の あるため を	の教訓か開助金額	ら、が少額
5 今 在 関	後の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3)	フション) る 課 題 系 要 対 実 が 窓 容 容 限 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	今世紀に 市当で 上 平 成 平 成 平 原 県	記前半に に住宅のi 事業の支 )負担額 16	発生する向援事業には、年年年年ので家の耐機	可能性と しり 平成 1 4	まがあるされる。 される がかい がかい 6 年度分 月 月 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	こされる見べある。	東南海山 牧修促近 助金額の 9年度ま	也震、生事業の若干に実	南南海	毎地震へ() こついて() 曽額があっ	の備え、る	また、阪	神・淡路 事業で を を な 大	許価 各大震災の	の教訓か 前助金額 1次評価	ら、が少額
5 今 在 関	後の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3)	フション) る 課 題 系 要 対 実 が 窓 容 容 限 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	今早 市当で 上 平 平 平 平 兵当 県 支	記前半に 注集の支 り負担額 16 16	発生する向 援動 T て 年 年 年 「	可上 しリ 平 4 と と と と と と と と と と と と と と と と と と	まがある要かがいがい らがの がかり がない 年度分 月 月 上進事業 よこの	cされる見 がある。 の耐震さ い。 かより補間 は平成1 にしても 3	東南海 と	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へ(Caramatana) はいません では、いてには、いてには、いてには、これの実力には、これの実力には、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いて	の備え、言は,兵庫りった。	また、阪	神・淡路 事業でも 後大 状現 ポープ 大 状 の た 大 状 の か た 大 状 の か た 大 状 の か た か か か か か か か か か か か か か か か か か	評価	の教訓か開助金額	ら、が少額
5 現 市か要 課 へ そ改 の善 ( の望 ) 要 う ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	後の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (3)	クション) 3 課 類 系 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	今早 市当で 上 平 平 平 兵当な 原該る 記 成 成 庫該る	記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう	内容 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へ(Caramatana) はいません では、いてには、いてには、いてには、これの実力には、これの実力には、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いて	の備え、 言は , 兵庫! った。	また、阪	神・淡路・淡路では、後大状法	評価	の教訓か開助金額	ら、が少額
5 現 市か要 課 へ そ改 の善 ( の望 ) 要 う ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) 3 課 類 系 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	今早 市当で 上 平 平 平 兵当な 原該る 記 成 成 庫該る	記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう	内容 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へ(Caramatana) はいません では、いてには、いてには、いてには、これの実力には、これの実力には、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いて	の備え、 言は , 兵庫! った。	また、阪	神・淡路・淡路では、後大状法	評価	の教訓か開助金額	ら、が少額
5 現 市か要 課 へ そ改 の善 ( の望 ) 要 う ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) 3 課 類 系 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	今早 市当で 上 平 平 平 兵当な 原該る 記 成 成 庫該る	記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう	内容 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海 中海	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へ(Caramatana) はいません では、いてには、いてには、いてには、これの実力には、これの実力には、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いて	の備え、 言は , 兵庫! った。	また、阪	神・淡路・淡路・淡路・淡路・淡路・淡路・淡路・水道・水道・水道・水道・水道・水道・水道・水道・水道・水道・水道・水道・水道・	対して   大	の教訓か開助金額	ら、が少額
5 現 市か要 課 へ そ改 の善 ( の望 ) 要 う ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) 3 課 類 系 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	今早 市当で 上 平 平 平 兵当な 原該る 記 成 成 庫該る	記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう	内容 中	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へ(Caramatana) はいません では、いてには、いてには、いてには、これの実力には、これの実力には、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いて	の備え、 言は , 兵庫! った。	また、阪	神 事 今拡現方民縮統の 後大 状法間 の 大状法間 / ※	大	の教訓かまりの教訓がませる。	ら、が少額
5 現 市か要 課 へ そ改 の善 ( の望 ) 要 う ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	クション) 3 課 類 系 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	今早 市当で 上 平 平 平 兵当な 原該る 記 成 成 庫該る	記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう	内容 中	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へ(Caramatana) はいません では、いてには、いてには、いてには、これの実力には、これの実力には、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いては、いて	の備え、 言は , 兵庫! った。	また、阪	神 事 今拡現方民縮統の 後大 状法間 の 大状法間 / ※	大	の教訓かまりの教訓がませる。	ら、が少額
5現市か要課へそ改平今在 (民) (民) (民) (日) (民) (日) <b< td=""><td>参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td><td>カション 課 名 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 方 向 性 質 の の の の の の の の の の の の の の の の の の</td><td>今早 市当で 上 平 平 平 兵当な建 原 変 発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい</td><td>発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい</td><td>可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の</td><td>## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##</td><td>cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう</td><td>内容 中</td><td>也震、 集 ガ若干 にますれば</td><td>南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、</td><td>毎地震へいていています。 き額があった。 はい実効性</td><td>の備え、 言は , 兵庫! った。</td><td>また、阪</td><td>神 事 今拡現方民縮統の 後大 状法間 の 大状法間 / ※</td><td>  大</td><td>の教訓かまりの教訓がませる。</td><td>ら、が少額</td></b<>	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	カション 課 名 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 方 向 性 質 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	今早 市当で 上 平 平 平 兵当な建 原 変 発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう	内容 中	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へいていています。 き額があった。 はい実効性	の備え、 言は , 兵庫! った。	また、阪	神 事 今拡現方民縮統の 後大 状法間 の 大状法間 / ※	大	の教訓かまりの教訓がませる。	ら、が少額
5現市か要課へそ改平今在 (民) (民) (民) (日) (民) (日) <b< td=""><td>参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td><td>カション 課 名 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 方 向 性 質 の の の の の の の の の の の の の の の の の の</td><td>今早 市当で 上 平 平 平 兵当な建 原 変 発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい</td><td>発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい</td><td>可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の</td><td>## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##</td><td>cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう</td><td>内容 中</td><td>也震、 集 ガ若干 にますれば</td><td>南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、</td><td>毎地震へいていています。 き額があった。 はい実効性</td><td>の備え、 言は , 兵庫! った。</td><td>また、阪</td><td>神 事 今拡現方民縮統の 後大 状法間 の 大状法間 / ※</td><td>  大</td><td>の教訓かまりの教訓がませる。</td><td>ら、が少額</td></b<>	参の対応(アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (アクロックで) (3) (3) (3) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	カション 課 名 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 方 向 性 質 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	今早 市当で 上 平 平 平 兵当な建 原 変 発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	記前半に言葉のです。 ままま できまり 真業につける 変援 はっかん 変援 おれい おおまま かんしゅう おおまま かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう かんしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	発生する向援のい年年年家のいり、対していていていていていているが、対しているが、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	可上 しリ 平 4 と さん でん は 強 は 政 後 に 市 の	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	cされる夏 である。 での耐震さ い。 かより補助 はでもう にしてもう	内容 中	也震、 集 ガ若干 にますれば	南南に「山地」「一の地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つの地」「一つでは、	毎地震へいていています。 き額があった。 はい実効性	の備え、 言は , 兵庫! った。	また、阪	神 事 今拡現方民縮統の 後大 状法間 の 大状法間 / ※	大	の教訓かまりの教訓がませる。	ら、が少額

( -	- 般	事業	€)	事業	€ ⊐	_	۴	1310	160				]	部	Ð	次	長	課	長
平	<b>5₺</b> 1	5年	度	事	業		名	建設	リサイクル法に基 <sup>:</sup>	づく分別解体σ	)審杳事務	<u> </u>							
	-20 '	٠,	ΙX	7				~ 11.	<b>フライフル</b> 石に至	- C 75 755 764 FT. C.	/H <u> </u>		1						
1	畫	<del>기</del> 11	का न	<b>雨 / じュ</b>	٠,														
				<u>要(ドゥ</u> まちつ	_	ΔВ	抽	1	活気あふれる豊か	か生活理培づい	/ I1					建設部			
		一座 計	_ L	A D .	<u> </u>		ीक	_	環境適合型社会の		( )			所	管 誤	建築指導	1		
		施			/ \				環境への負荷の低					所管記	果長氏名	林繁植			
体			系		細											島津ク			
事			業		期		間	平成	1 4 年度 ~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話		0797-38		内線	2918
根	拠	注	ţ.	令 ·	要	綱	等	建設	工事に係る資材の	再資源化等に関	する法律	<u> </u>		実施	主体	市			
実		1	施		手		法	7	直営	□ 一部委託	;	□ 全部委託	ŧ	_ □ Ài	助金		負担金		
委				託			_		外郭団体委託	名称					5 託内容				
									資源の十分な利用	と建設廃棄物の	減量を通	じて,資源の	有効な利	用と廃棄	₹物の適፤	Eな処理を	図る。		
事		業		の	椎	兓	要												
										T	<b>=</b> 10.10		4+ 7	1 \m 1 + 1 ===	<del>*************************************</del>	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- /- > -	1 4 4 2	54113
=		<del>41.</del>		•	т	<b>a</b>	445		-定規模以上の工事 <del>-</del> ラシ(3,000 <sup>;</sup>				,特正建設	資材廃	乗物の再	資源化寺·	を打つこ	とを義務	うけける
事		業		の E現の#	1. 1		状		- フシ(3,000/ 建設業部局,環境部	,		=	年2回い						
				を現めた				· A	E政未即问,城况可	1回及の田田町1	미드까디	IJ/ ( Г· Ш — ) <b>/</b> (	+ 2 四)						
		J-+	**	~ <del>~</del> //	or JT	1													
			I		‡	旨 標	名	届出	 件数										
				結果指	_				13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(1)	扫	旨 標	値		-	1 3 1	件	157	件		1501	<u>'</u>		150件	=
ア	ウト	プッ	<i>,</i>		单	単位コス	スト		-	19,103円	]/件	17,660円	9/件		18,300円	/件	18	,300円/	件
指			標		扌	旨 標	名	現場	パトロール										
				結果指	標点	F	度	平成	13年度(実績)	平成14年度		平成15年度		平成	16年度		平成 1	7年度(	目標)
				(2)		1 標			-	15件		251			30件			30件	
Ĺ	_	<u>ш</u> –	<u> </u>	<del></del>		単位コス	スト		-	19,103円	]/件	17,660₽	9/件		18,300円	/件	18	,300円/	件
2	争	美力	以え	具(アワ	フトス	<u> </u>				2.1					2				- n -
				対			象	対象の額	建設工事( 床面積 1億円以上の建築 <sup>;</sup>	iの合計80m以. 物の修繕・模様	上の建築物 き き	勿の解体 , 万 1負代全の額50	K面積の台 0㎡以 bσ	計500n テの他	í以上のst の工作物	建築物の新 に関する	⊺築・増乳 丁事)の乳	₹, 請 ≸注者	負代金
重	<b>举</b> a	ηВ	的	対 象	ħ	バ ー					受益数		157件			÷ a) %		87%	
		意		<u> </u>	/5 /		-	V1 2	( xx (u)	0 0 11	<u>х ш х</u>	( ( )	. 3 , 11		<u> </u>	. u) /0	1	0 7 70	
,,,		,_,		意			図	対象	建設工事の発注者	ま,工事着手の	7日前ま	でに市に届け	出なけれ	ばならな	£61。				
				(対象:	を主語	語にして	(2												
			•																
大		き		な	E	1	的	産業	廃棄物の約2割を	占める建設廃棄	物のリサ	イクル率を高	めること	による鼠	<b>景終処分</b> 量	量の削減			
					1			-t (C)	M Mr.										
						1 標				+ 1 - T 1 1 7 1 7 1 -	-341	<b>シェケナ</b> とこ	<del>- 1.</del>						
					_		_		をせずに対象工事 13年度(実績)					₩ ct	1 6 年度	(日插)	ਹਾ≓ 1	7年度 /	日抽~
7	<b>ф</b> 1	- カ		扫	標白	F 旨標			- 1 3 牛皮(夫棋)	十八 1 4 千 及 1 0 件		1件		十八人	1 6 年度 5 件	(日信)	十八八	7 年度 ( 5 件	日信丿
指	ر ا		標		_		_		県の建設廃棄物の		'	'''			311			311	
311				最終成			_		解体等が適切に実施		設廃棄物	のリサイクル	率が上昇・	する。					
					標年				13年度(実績)						16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
					扫	旨 標	値		-	9 6 %	6	未集詞	it .		98%	)		98%	
芦	屋市	ī の‡	寺包	色などネ	浦足	する事	項												
		3117 <del>-</del>	-	\=I-	<del></del>	<u> </u>	Ц					1				1	I —		
	争			活動				)	4.2 左座 / 法签 \	亚代人人东南	( )+ <del>(</del> ( )	1世帯当り(円)		1	(当り(円)		平成16.4	.1 住民	基本台帳
事		1	業	<i>II</i> +	費費	構成%	-	半风	13年度(決算)	平成   4 年度	(	平成15年度	3,178	平风	16年度	( 予昇 )		1 /4-3	井 , 0, 054
		事			費		.9% .1%				15		3,176			43		八十	費∶3,251
内	<b>‡</b>	3.		押 経			. i /0				13		30			-	1		
			_	償却															
		合			計	100	.0%		0		2,789		3,214			43			
		国			県												1		
財		原市		債	等														
( <del>T</del>	一円	) そ			他				-								]		
				段 財		100	_		0		2,789		3,214			43	1		
活		助職		r	員	100	.0%		-		0.40		0.45			-	4		
配		_		・臨時		100	000		0.00		0.40		0.45			-	-		
(	人	) 合			計	100	.0%		0.00		0.40		0.45			0.00	I		

評	<u> </u>	点	評価チェックリスト		1次部/画	2次評価
П		<i>\ldots</i>	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることが	「ブキか」)	1人計画	2次計画
	目的妥当性(2~	2)				
			□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くな			
	→=== (o o)		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可□ ホロュオナがなからなるがまた。			
妥	市関与(2~2)		□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている	)		
			□ いずれにも該当しない	W = 1 1 1 1 1 1	_	4
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業		5	4
	市民ニーズ(2~	1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, ま			
性			•	] 未把握		
8点	社会環境変化(1~	1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見	直しが必要		
		1	内容			
	優先性,緊急性(1)		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~	1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率	が低い		
有	受益者(1~ 1)		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部	部に限定		
効	成果の実績(2~	1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		2	2
XII	ル木の大順(2	1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっている	と言えない	_	_
性	- 成果向上余地(1~	1)	成果があがっていない場合			
4点	- 成未内工未地(	1)	□ 成果向上策あり □	] 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない			
	***	,	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1~ 1	)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高	l I		
			高い、または低い場合の理由			
	52 + 2 10 to		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(0~	1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 復	数収可能 )	4	4
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-1	- 1
			☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき	部分がある		
	手段(1~ 3)		<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)で対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能</li></ul>			
性			☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能			
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	200		
0,,,,	コスト削減取組(1~	~ 1)	→ 内容			
			国出の徹底 ・他部局と連携して 国出の周知徹底			
平成	15~16年, した改善	度に	課題	総合	В	В
美 施	した改善を	内 谷	内容	評価		
5 今往	<b></b>	ョン) <sup>1</sup>				
	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		台帳が電算化できていないため,照会等があった際に検索に時間を要する。			
現在意	認識している	課題				
		H/L 1677				
市民,関		IV. ACT				
	関係者 市民,関係者の	の名称				
からの	原名 市民,関係者の 意見	の名称				
からの 要 望	意見 意見 意見,要望	の名称				
からの 要 望	意見等意見,要望	力名称 内容				
からの要望	意見意見,要望	力名称 内容	アクセス等でデータベースを作成し,台帳管理する。			
からの要望	意見	力名称 内容 内容				
からの 要 望	意見等意見,要望対応(1)対応実施	力名称 内容				
からの望	意見等 意見,要望対応 (1) 対応 実施	力名称 内容 内容				
からの要 望課題・要	意見 等 意見,要望 対応 実施 (2)	D名称 内容 内容 期限 内容	平成 18 年 3 月			
からの 要 望	意見 等 意見,要望 対応 実施 (2)	内容 阿尔	平成 18 年 3 月			
からの要 望課題・要	意見等 (1) 対応実施対応 実施対応	D名称 内容 内容 期限 内容	平成 18 年 3 月			
からの要 望課題・要	意見 等 意見,要望 対応 (1) 実施 対応 (3)	D 名称 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成 18 年 3 月 平成 年 月			
からの要 望課題・要	意見 等 意見,要望 対応 (1) 実施 対応 (3)	D名称 内容 内容 期限 内容 期限	平成 18 年 3 月 平成 年 月			
からの望 課題·要 へのご	意見 等 (1) 東雄 対 応 (3) 東施 (3)	D 名称 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成 18 年 3 月 平成 年 月			
からの望 課題・要 その他	意見 等 (1) 字望等 対応 (2) 対応 実施 対応 (3) 字解	D 名称 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 期 内 容 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成 18 年 3 月 平成 年 月			
からの望 課題・要 その他	意見 等 (1) 東雄 対 応 (3) 東施 (3)	D名称 内容 期内容 期内容 期内容 期内容 期内容 期内容 期内容 期内容 期内容	平成     4     3     月       平成     年     月	後の方向性	1 √ <del>p</del> ≤ <del>0</del> / <del>1</del> / <del>1</del> / <del>1</del> / <del>1</del> / <del>1</del> / <del>1</del> / <del>1</del> / <del>1</del>	↑~□
からの望 課題・要 その他	意見 等 (1) 字望等 対応 (2) 対応 実施 対応 (3) 字解	20名称容容期内容明期内容明期内容明期内容明期内容明期内容明期内容明期内容明期内容明期内	平成     4     3     月       平成     年     月       平成     年     月	後の方向性	1次評価	2次評価
からの望 課題・要 その他	意見 等 (1) 字望等 対応 (2) 対応 実施 対応 (3) 字解	20名称容	平成 年 月 平成 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大 · 充 実	1次評価	2次評価
からの望 課題・要 その他	意見 等 (1) 字望等 対応 (2) 対応 実施 対応 (3) 字解	20 内内期内期内期内期内 11 内,则以为,则以为,则以为,则以为,则以为,则以为,则以为,则以为,则以为,则以为	平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  学されたばかりであるが、建設リサイクル法の特定建設資材 拡発薬物3品目等のうち、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の再資源化につ 現	大 · 充 実 状 維 持	1次評価	2次評価
か要 課 の で き の き の き の き の き る の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	意見 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 3 対応 実施 3 カアイデア	20 内内期内期内期内期内期内	平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         当該事業は、平成14年度から実施されたばかりであるが、建設リサイクル法の特定建設資材、拡充発棄物3品目等のうち、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の再資源化につ現れては既に平成22年度の目標値である95%を超えており、今後もその維持に努める。方       方	大 · 充 実状 維 持法 改 善	1次評価	2次評価
か要 課 の で き の き の き の き の き る の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	意見 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 3 対応 実施 3 カアイデア	20 内 内 期 内 期 内 期 内 阻 向性	平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  18 ままります。 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大充実状維持法改善間委託等	1次評価	2次評価
か要 課 の で き の き の き の き の き る の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	意見 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 3 対応 実施 3 カアイデア	20 内	平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  当該事業は、平成14年度から実施されたばかりであるが、建設リサイクル法の特定建設資材 拡 廃棄物 3 品目等のうち、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の再資源化につ 現いては既に平成22年度の目標値である95%を超えており、今後もその維持に努める。 方 建設発生木材については、引き続き目標値に向けて、試行錯誤しながら進歩を続けていきた 民 いと考える。平成16年度からは、すみよいまちづくり条例の届出等において、当該法律等に 縮	大 · 充 実 状 維 持 法 改 善 間 委 託 等 小	1次評価	2次評価
か要 課 の で き の き の き の き の き る の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	意見 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 3 対応 実施 3 カアイデア	20 内 如 期 内 期 内 期 向	平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  当該事業は、平成14年度から実施されたばかりであるが、建設リサイクル法の特定建設資材 拡発棄物3品目等のうち、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の再資源化につ 現いては既に平成22年度の目標値である95%を超えており、今後もその維持に努める。 方理設発生木材については、引き続き目標値に向けて、試行錯誤しながら進歩を続けていきた 民いと考える。平成16年度からは、すみよいまちづくり条例の届出等において、当該法律等に 網関する指示書の添付も始めており、届出の提出率は更に上昇することが予想される。また、統	大     充     実       状     維     持       法     改     語       間     委     託       市     小       合     / 終期設定	1次評価	2次評価
か要 課 の で き の き の き の き の き る の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	意見 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 3 対応 実施 3 カアイデア	20 内 如 期 内 期 内 期 向	平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  当該事業は、平成14年度から実施されたばかりであるが、建設リサイクル法の特定建設資材 拡発棄物3品目等のうち、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の再資源化につ 現いては既に平成22年度の目標値である95%を超えており、今後もその維持に努める。 方理設発生木材については、引き続き目標値に向けて、試行錯誤しながら進歩を続けていきた 民いと考える。平成16年度からは、すみよいまちづくり条例の届出等において、当該法律等に 網関する指示書の添付も始めており、届出の提出率は更に上昇することが予想される。また、統	大 · 充 実 状 維 持 法 改 善 間 委 託 等 小	1次評価	2次評価
か要 課 の の 要 が の あ が の も の も ん り し り し り し り し り し り り り り り り り り り	意見等 (1) 対応 対応 実対応 実対応 (2) 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応	20 内	平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  当該事業は、平成14年度から実施されたばかりであるが、建設リサイクル法の特定建設資材 拡発棄物3品目等のうち、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の再資源化につ 現いては既に平成22年度の目標値である95%を超えており、今後もその維持に努める。 方理設発生木材については、引き続き目標値に向けて、試行錯誤しながら進歩を続けていきた 民いと考える。平成16年度からは、すみよいまちづくり条例の届出等において、当該法律等に 網関する指示書の添付も始めており、届出の提出率は更に上昇することが予想される。また、統	大     充     実       状     維     持       法     改     語       間     委     託       市     小       合     / 終期設定	1次評価	2次評価
か要 課 の の 要 が の あ が の も の も ん り し り し り し り し り し り り り り り り り り り	意見 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 3 対応 実施 3 カアイデア	20 内	平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  当該事業は、平成14年度から実施されたばかりであるが、建設リサイクル法の特定建設資材 拡発棄物3品目等のうち、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の再資源化につ 現いては既に平成22年度の目標値である95%を超えており、今後もその維持に努める。 方理設発生木材については、引き続き目標値に向けて、試行錯誤しながら進歩を続けていきた 民いと考える。平成16年度からは、すみよいまちづくり条例の届出等において、当該法律等に 網関する指示書の添付も始めており、届出の提出率は更に上昇することが予想される。また、統	大     充     実       状     維     持       法     改     語       間     委     託       市     小       合     / 終期設定	1次評価	2次評価

			1							7				,
( —	般引	[業]	事業	<u> </u>	1310	190					部長	次	長	課長
亚丘	t 1 5	年度	事	業を	3 省工	ネ法に基づく届出	に関すること							
1 72	~	1 /2	7	ж -	1	「なに至って加田	ICIXI 7 UCC							
			要(ドゥ											
第3	次芦	屋市	まちづ	くりの目標	₹ 1	活気あふれる豊か	な生活環境づ	くり			所 管 課	建設部		
		計画		中	3	環境適合型社会の	形成					建築指導	課	
政	策力	施策		小	1	環境への負荷の低	減				所管課長氏名	林 繁樹	ţ	
体		系		細							記入者氏名	島津 久	夫	
事		業		期間	平成	12年度~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-38-	-2114	内線 2918
根	拠	法	令 '	要 綱 等	エネ	ルギーの使用の合	理化に関する流	<u>-</u> 去律			実 施 主 体	市		
実		施		手	<u> </u>	直営	□ 一部委託	f.	□ 全部委託		□ 補助金		負担金	
委			託	<del> </del>		外郭団体委託	名称	<u>-                                      </u>			委託 委託 内容			
_				•		<u>におけるエネルギ</u>		的社会的	1環境に応じたぬ					
事		業	Ø	概 要		100170-1771	200 ( 0/12/)	1831228.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	MI 152 M31	,	- 1710		
7		*	0)	1144 3										
					+=	スキックグルカルフトップナ級 ナボ	翌月について4	トナナリナ	では田の合理	(田 /レ Iー 月日-	ナッに声の世界ス	の供エコ	11 <del>1</del> 7	体田の
_		ALL.	_	TB		,建築物及び機械				埋化に関	9 る所要の指直を	・の他エイ	ルキーの	使用の
事		業 	の		野台	化を総合的に進め	るために必要な	『措直寺を	:講すること。					
			実現のた											
		手段.	及び実施	内容										
				指標 名	届出	 件数								
			結果指	票 年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成 1 7	7年度(目標)
			(1)	指標値	1	-	-		1件		2件			2件
アウ	. א ל	プット		単位コス	,	-	-		331,000円	9/件	166,000円	/件	166	,000円/件
指		標		指標名			l				,		l.	,
,11		123	  結果指		_	(13年度(実績)	平成14年度	(宝績)	平成15年度	(宝績)	平成16年度(	′日樗)	平成 1	7年度(目標)
			(2)	指標値	_	,一五十及(八八八)	172. 1 172		11201 3 1120		175% 1 0 1752 (		1 /2% 1 /	, 1 (C ( 11 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /
			(2)	単位コス										
1	ᆂ	바 <del>다</del>	<u> </u> 田 / マ さ											
	<del>事</del> =	表 八人:	<del>末</del> ( ) 'フ	トカム)										
			対	氰	床面	積の合計が2,000m	i以上の特定建	築物を建築	築しようとする	者。				
<b>.</b>			11.6		- > 1 - 6	7 1/4- ( )	4 114	- 1/ 1/4/	- 4. )	4 14	lu <u>+</u>			1 0 0 0 /
				カバー 薬	≝ 对 ፮	R 数 (a)	1件	受 益 数	(b)	1件	比 率 (b	÷ a) %		100%
对	冢 '	意 図		_	特定	建築物を建築しよ	うとする考け	丁重の差	手予定の21日	前までに	新定の事項を記載	辻た届出	書を所管	行政庁に提出
			意	<u> </u>	しな	ければならない。	JC , J G IG ,	, 170	1) ) (2)21 [] [	336 6161		, О /С ЖШ	18 6/// 6	IT JECT CIVE LL
			(対象を	主語にして)										
大		き	な	目的	経済	の健全な発展に寄	与すること。							
				指標名	当該	届出をした建築物	の完成件数							
			中間成果	果 考え方・ヹ	_									
						,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	〔目標)	平成 1 7	7年度(目標)
ァィ	ナト	カム		指標値		-	-	,	-		1件	,		2件
指	- 1	7. 7. 標				省エネルギー量の <sup>・</sup>	 低減値		I.				I	• •
,,,		127			_	事業によって,年		当費量が何	減される					
						<u>事</u> 条によって, 平 ,13年度(実績)				(宝績)	平成16年度(	(日煙)	平成1	7年度(目標)
			3H 1	指標値	1	,,了一汉(大浪)	11% 1 + 十反	. (大順)	17% 1 3 午皮	(大順)	17%10千段(	、山1ボノ	1777.	
				11日 信 11日	3		-		-					
±+ =	⊒ →	<b>↑</b> #+	5 to 1° +-	ロナッキャ	5									
户區	至巾(	の特	巴など無	i足する事項	Ę									
	<u></u>	ᄣᆂ	\T =   -	7/1/	Ļ				I		I =		T = "	=== /
	事		'沽虭酉	<u> </u>	1				1世帯当り(円)		住民1人当り(円)	4	平成16.4.	1 住民基本台帳
事		業	j	費 構成%	平成	,13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度	(決算)	平成16年度(	(予算)		
		人		費 99.19	%	0		0		328		-		人件費:328
		事		費 0.99	6	0		0		3		4	]	
内	訳	他音	『門経』	費										
(千	円)	減化	「償却	費										
		合	1	100.09	6	0		0		331		4		
		国		果									1	
財	源			等									1	
	円)			也									1	
, ,	,		般財法	_	6	0		0		331		4	1	
活	重h	職		<b>月</b> 100.09		0.00		0.00		0.05			†	
加配					101	0.00		0.00		3.00			1	
		合			,	0.00		0.00		0.05		0.00	1	
( ,	· )			tt 100.09	U	0.00		0.00		0.00		0.00	1	

評	<u>岡(フェクフ)</u> 価 視 点	評価チェックリスト	1 \左=亚/亚	2次評価
部	1		「次評1画	2次評1個
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	113211(- 1)	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□ いずれにも該当しない		
当			<b>∃</b> 3	3
=		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	J	S
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変化(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	]	
	江五城先交10(1 1)	内容は法改正による対象範囲の拡大		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	٠,	_
効	成果の実績(2~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
441			-	_
性	- 成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合		
4点	, ,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	キロコス (( ) )	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由	···]	
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>⊣</b> 0	-1
	手段(1~ 3)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	, ,	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない	]	
	17(11)3//3/1X/MIZ(1 1)	<b>→</b> 内容		
<del></del>	1 「 1 ( 年 年 1-	7万章	_	_
平成事施	15~16年度に	改善 課題 内容	В	В
	1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容	改善 (課題 内容	В	В
	1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容 後の対応(アクション)	改善 (課題 内容	В	В
		改善 内容 わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず,とりわけ,オフィスビル,大規模小売店舗,7	В	
5 今征	後の対応(アクション)		В	
5 今征	後の対応(アクション)		В	
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認 識 し て い る 課 題 鼠係者 市民 関係者の名称	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認 識 し て い る 課 題 鼠係者 市民 関係者の名称	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認 識 し て い る 課 題 鼠係者 市民 関係者の名称	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今征現在 記	<u>後の対応(アクション)</u> 認 識 し て い る 課 題	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内容 (1) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今行現在に対している。	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今征現在 記	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見等 見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今行現在に 市民, 関の望 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、2 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今行現在に対している。	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容 対応内容 実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。	В	
5 今行現在に 市民, 関の望 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見等	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月	В	
5 今行現在に 市民, 関の望 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月	В	
5 今行現在に 市民, 関の望 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見意見,要望内容 (1) 対応内容実施期限 対応内容実施期限 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月	В	
5 今行現在に 市民, 関の望 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者 意見, 要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月	В	
5 今往 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月	В	
5 今往 課 の 望 課 へ の の 他	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見, 要望内容 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月	В	
5 今往 課 の 望 課 へ の の 他	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、7	トテル,病	院等の
5 今往 課 の 望 課 へ の の 他	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見, 要望内容 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスビル、大規模小売店舗、2 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	大テル , 病生 1次評価	院等の
5 今往 課 の 望 課 へ の の 他	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見, 要望内容 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、2業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	生 1次評価	院等の
5 今往 課 の 望 課 へ の の 他	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見, 要望内容 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、2業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 月 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	サ 1次評価実	院等の
5	後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる には、関係者の名称 (A) またの名の (A) またの内容 (A) 対応内内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、2業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  ボナ・充・法律において当該届出は所管行政庁(建築主事を置く市町村の長)に届けなければならない旨が規定されているため、地道に続けていく。	生」次評価とき、	院等の
5	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称意見, 要望内容 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、対策務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  ※ 後の方向・年間の実績が非常に少ないので、芦屋市単体としての事業効果が明確でない事業であるが、拡大・充法律において当該届出は所管行政庁(建築主事を置く市町村の長)に届けなければならない旨現、状維・が規定されているため、地道に続けていく。  ※ 民間委託・	生は実験	院等の
5	後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる には、関係者の名称 (A) またの名の (A) またの内容 (A) 対応内内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、7業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。   平成 年 月	生 1次評価 まき	院等の
5	後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる には、関係者の名称 (A) またの名の (A) またの内容 (A) 対応内内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、対策務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  ※ 後の方向・年間の実績が非常に少ないので、芦屋市単体としての事業効果が明確でない事業であるが、拡大・充法律において当該届出は所管行政庁(建築主事を置く市町村の長)に届けなければならない旨現、状維・が規定されているため、地道に続けていく。  ※ 民間委託・	生 1次評価 まき	院等の
5	後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる には、関係者の名称 (A) またの名の (A) またの内容 (A) 対応内内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、7業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。   平成 年 月	生は実持事等	院等の
5	後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる には、関係者の名称 (A) またの名の (A) またの内容 (A) 対応内内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず、とりわけ、オフィスピル、大規模小売店舗、対策務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。   平成 年 月	生は実持事等	院等の
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     年、関の望     要     他     1	後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる課題 (A) おいる には、関係者の名称 (A) またの名の (A) またの内容 (A) 対応内内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容 実施期限 (A) 対応内容	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず,とりわけ,オフィスピル,大規模小売店舗, 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本間の実績が非常に少ないので,芦屋市単体としての事業効果が明確でない事業であるが,拡大・充・法律において当該届出は所管行政庁(建築主事を置く市町村の長)に届けなければならない旨が規定されているため,地道に続けていく。  民間委託・縮縮  統合/終期設 廃止/休	生は実持事等	院等の
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     年、関の望     要     他     1	後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 である。 アイデア	わが国のエネルギー消費の増加傾向に歯止めがかからず,とりわけ,オフィスピル,大規模小売店舗, 業務部門等におけるエネルギー消費の増加傾向が著しい状況となっている。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本間の実績が非常に少ないので,芦屋市単体としての事業効果が明確でない事業であるが,拡大・充・法律において当該届出は所管行政庁(建築主事を置く市町村の長)に届けなければならない旨が規定されているため,地道に続けていく。  民間委託・縮縮  統合/終期設 廃止/休	生は実持事等	院等の

(一般	事業)	事業	□ <b>-</b> ド	2530	010			部長次	長課長
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,					ー甘べノ油祭伽の京木五	パや木声型		
平成15	中度	争	業 名 ————	<b>価</b> 征	のまらつくり余例!	に基づく建築物の審査及	(ひ快宜事務		
1 ====	光机	要(ドゥ)							
			りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり		建	設部
総合			<del></del> 中		障害者の社会参加			一一听 管 調	<sup>染</sup> 工作 築指導課
政策			小	3	生活環境の整備			所管課長氏名林	繁樹
体	系		細					記入者氏名尾	
事	業	斯			13年度~	経常臨時	☑ 経常 □臨時		97-38-2114 内線 2918
根拠	<u>法</u> 施	令 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		福祉	のまちづくり条例		□ ムヤチャ	実施主体市	
委	旭	託				□ 一部委託	□ 全部委託 □ R	間委託 委 託 内 容	□ 負担金
_					物のバリアフリー			14 X 10 X 10 F 3 E	
事	業	の	概 要						
	NII/	_	T		的施設や共同住宅	等の建築の届出に関する	審査,指導・助言及び	が検査を行う。	
事	業	の 実現のため	現状						
		を現のため なび実施内							
	J PX		<i>,</i>						
			指標 名	届出	・通知件数				
	(1) 指標値 21件 17件 31件						平成15年度(実績)		
	(1) 指標値 21件 17件 31							3 5 件	3 5 件
アウト: 指	フット 標		単位コスト指標名		182,715円/件	215,000円/件	96,710円/件	94,000円/件	94,000円/件
相		結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	) 平成16年度(目	標) 平成17年度(目標)
			指標値			That I To Come	112 ()	7 1720 1720 17	11.0 1 1.00 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		,	単位コスト						
2 事	業成	果(アウ	トカム)			•	•	•	
		対	象	一年	間に建築又は用途	変更された公益的施設等	•		
車業の	日的	tot 免 力	バー率	र्भ ≸	克 数 (2)	4 0 件	(b) 31件	比 率 (b ÷	a) % 77.5%
対象・			// ==	. Y.1 ≶	K 9X (a)	文	(0)  3111	LC ++ (D +	a) 70 77.570
		意	図	公益	的施設等がすべての	の利用者にとって使い易	いものとなることを意	気でする。	
		(対象をヨ	主語にして)						
_	4	45		^-	σ 1 <i>4</i> % 1 <del>3 1</del> 1 1 3 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 1 4 1 1 1 4 1	<b>エバマナフナナベノハナ</b>	<i>z</i>		
大	ਣੇ	な	目 的	至(	の人かいさいさと	生活できるまちづくりを	行つ。		
			指標名	適合	率				
		中間成果			件数×100/届出件	数 ( % )			
		指 標			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)		標) 平成17年度(目標)
アウト			指標値		4 8 %	8 9 %	7 4 %	8 8 %	8 8 %
指	標		指標名 考え方·式						
					13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	) 平成16年度(目	標) 平成17年度(目標)
		10.	指標値		12 (2002)	112 (2000)	1 120 1 2 122 (2010)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	12.0 1 12.0 1 12.0
				平成	14年の末に条例	- が厳しくなっている為 ,	15年度に適合率が低	下している。	•
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項						
2 == 3	***	これまり無コ	/\	\			4 ## W/ 12 ( FF )		
3 事 事 3	美 <u>貸</u> 業	<u>活期能</u> 費	分(コスト - <sub>構成%</sub>		13年度(沖質)	平成14年度(決算)		3 住民1人当り(円) ) 平成16年度(予	36 平成16.4.1 住民基本台帳
<del></del>	人			_	4,003	3,777	3,178		-
	事	業費			32	15	36	3	43
内 訴	他部	『門経費							-
(千円)		償却費							-
	合	計			4,035	3,792	3,214		43
財源	国市	· 県			198	137	216		
(千円)		の他							<del> </del>
(113)		段 財源			3,837	3,655	2,998	3	43
	職	員			0.40	0.40	0.49	5	-
		·臨時等							-
(人)	合	計	100.0%		0.40	0.40	0.45	5	0.00

評	価	<u>- / / /</u> 視	. 点				評個	<b>ゴチェックリ</b>	リスト			1次評価	2次評価
		5页1/44/	0 0)	✓ •	事業の主目的は明	目確である				事業の目的は一つに絞るる	ことができない		
	日出	的妥当性(2	2 ~ Z)	☑▮	事業成果が上位的	施策に不可欠,	または貢献原	きが高い		貢献度が不明確、または高	高くない		
				✓ī	市が実施するようえ	去律等で義務で	づけられてい	გ		民間でやるべき,または対	応可能である		
妥	市隊	写与(2~	2)	☑ ī	市民の基本的な生	三活の維持に必	必要である			他団体では見直しがされて	こいる		
										いずれにも該当しない			
当				✓ ī	市民ニーズに基つ	いて行うべき	事業			市民ニーズに基づいて行	事業ではない	□ 6	6
	市目	ミニーズ(2	2 ~ 1)		► ☑ ニーズが高					ニーズが高いとは言えない		_	•
性		,	,			- 把握している					☑ 未把握		
8点			1	<b>✓ •</b>	事業に関わる社会	環境の変化に	適応している	)		社会環境の変化にあわせる	•		
	社会	:環境変f	七(1~ 1)		内容								
	優労	t性,緊急	.性(1)	<b>✓ </b>	事業を実施しなけ	れば,市民の	生命,安全等	が損なわれ	na				
	対象	カバー率	<u>≪</u> (1 ~ 1)	□ 3	対象カバー率は高	<del>§</del> ι\	☑ 他団(	本と同程度	F	□ 他団体よりカバ	一率が低い		
有	受益	益者(1~	1)	✓ ▮	事業意図と受益者	fは整合してい	<b>პ</b> □	事業意図の	と受益	益者が不整合 , または受益/	が一部に限定		
効	战甲	見の実績(2	2 ~ 1)	- [	中間成果指標の第	<b>ミ績値を把握し</b>	,,目標値を設	定している	る □	実績値または目標値が未認	記入	3	3
XIJ	IJΣ.ΣΙ	マンナ 減(	2 1)	-	☑ 実績値から成	果があがって	いると言える			実績値から成果があがって	こいると言えない		3
性	- 成旦	ᆲᆔᅡᄼᆂ	也(1~ 1)	成果	具があがっていない	\場合							
4点	126.7	ハコエバハ	G(1 1)		成果向上策あり						□ 特になし		
					北較できる団体が					比較できる団体はない			
	単位	ユコスト(1・	~ 1)	1 1	也団体の数字を把					☑ 把握してい			
効	- 1-		•,		□ 他団体よりコン		□ 他団(	本と同程度	Ę	□ 他団体よりコスト:	が高い		
					1、または低い場合								
	受益	益者負担((	0 ~ 1)	I T .	負担を求めることが					めるべき事業ではない	<b>-</b>		
率					□ 現在,適正な				•	徴収不能・見直し不能	」 徴収可能 )	<b>⊣</b> -1	_1
					的事業(正規職員)			<b>を託してい</b>					•
	手段	<b>设(1~ 3</b> )	)	<u> </u>	正規職員による執	行が義務つけ	られている			個人,家庭,地域等が担う			
		,			民間(企業 , NPO等	等)では対応でき	きない業務で	ある	Ц	民間(企業, NPO等)で対応			
性					属託,臨時職員等			<del>්</del>		嘱託, 臨時職員等で対応す	可能である		
3点	コス	ト削減取:	組(1~ 1)		コスト削減の取り組 内容	1みを行ってい	ర			特に行っていない			
					•	事符士フケー	フがキフ	88 25	· 北公治:	毎に担山されて東莞拉送書	2 th 7 th 25 thm		
平成 ′	1 5	~ 1 6	年度に	≠車車	<b>届出を行わずに</b> 發	≣採りるソーノ		改善  建金		課に提出される事前協議書 返却の際に福祉のまちづく	17名間の 総論	∄ B	В
実 施	U ta	는 改善	善内容	課題				NH		要である旨を伝えること 要である旨を伝えること	T 1		
5 今後	きのす	1応(ア/	クション)					/414	1/3 2	у соонедлюсе	C 07C.		l .
3 7 15	2077	J / LD ( )	<i>,,</i> ,	特にな	٤١،								
現在部	忍 識	してい	る課題		0								
市民,関	係者i	市民,関係	係者の名称										
からの	意見.	÷ = =	<b>要担去应</b>										
要望	等	<b>息</b> 兑 , \$	要望内容										
			社内中容										
		(1)	対応内容										
			実施期限	平成	年	月							
課題·要	望等		対応内容				-						
		(2)	ציויטוינג										
への対	付 応		実施期限	平成	年	月							
			対応内容										
		(3)											
			実施期限	平成	年	月							
7 0 114	+z =	> do 7											
その他改善の													
以 書 0	יל כו	1 7 1									☆後の★白	M+ 4 \5 ± 7 / =	1 2 No ±0 /=
				A+7	IN LESMORT	u-정도 무비	ひ起 /ロエッジタ /	ᆔᅩᅉᄉᆂ	- 7 7 <del>1</del> 1	☆ 柳 ナ 7中 ☆ ナ フ ト こ   一 北 洋	今後の方向		2次評価
						ルンガツ,庙出(	ル盲证及ひ余り	別に適言 9	る建	築物を建築するように指導	拡大・充理・推維		
				に努め	<i>、</i> る。						現 状 維 方 法 改	善善善	
亚战士	7 ~ 1	0 年度	の方向性								民間委託	• •	
- 13% T	,	十尺	<b>マン ノコ IPJ I主</b>								縮	小	
											統合/終期設		
											廃止/休		
											.55 IL / PI		<u> </u>
2 次 評	価を	5 員 会	コメント										

/ An =	<b>=</b> ₩, /	= **							7	÷0			\ <u>_</u>	=1+	·m	
(一般事	美	事 業	<u> </u>	2530	020				1	部		長	次	長	米	長
平成15	年度	事	業 名	ハー	トビル法に基づく	認定等事務										
									1							
1 事	業概認	要(ドゥ)											ļ	<u>_</u>		
第3次芦	屋市	まちづく	(りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会	会づくり			所	管	課	建設部			
総合			中	5	障害者の社会参加	の実現				וליו	B	歃	建築指導	課		
政策	施策		小	3	生活環境の整備					所	管課長	氏名	林 繁樹			
体	系		細										尾髙 尚			
事	業	期	•		15年度~		経常臨時		臨時	電			0797-38-	2114	内線	2918
		令 · ·		_	者,身体障害者等が円					-						
<u>実</u> 委	施		•=			一一部委託	;	□ 全部委託			」補助₃			負担金		
安		配	π		<u> 外郭凹体安託</u> 的な高齢社会の到	名称	極老や自	休陪宝老笙の			活委託			不特定	かつ名巻	かがも
事	業	Ø	概 要		る建築物(特定建	-								•		
<del></del>	*	0)	1144 32		な建築物のストック			いて、同風石	に対性は		47,111	FICT.	ım ce ə	ひ ノ ひ正	MH C IACA	<b>E O</b> ,
					規模以上の特別特別			,特定建築物	の努力義	務及	び特定	建築物	の認定			
事	業	の	現 状		7,01,50 70 = 10 10 33 10 7		~	7 1372,27113		.,,,,,			, ,			
	目的詞	実現のため	ხთ													
	手段及	ひ実施内	內容													
					建築物の認定件数											
		結果指標			,13年度(実績)	平成14年度	(実績)		• •	4	<sup>2</sup> 成16		(目標)	平成 1 7		目標)
		(1)	指標値					0件				1件			1件	711
アウト			単位コスト			4L 44-		_			110,6	67円	/件	110,	667円 /	件
指	標	/+ FB +15+#		_	特定建築物の適合		/ 字/丰 \	亚代 1 5 年度	(安建)	V.	7 <del>    1</del>	左帝 /	(口插)	ਜ਼ ਜ਼ 1 7	左	口抽~
		結果指標			(13年度(実績)	平成   4 年度	(	平成 1 5 年度 1 件		+	<sup>Z</sup> 成 1 6	<u>年段(</u> 2 件	(日信)	平成 1 7	年度( 2件	日信)
		(2)	指標値単位コスト	_				331,000F			221,3		/ 件	221	334円 /	件
2 事	学式目	果(アウ						331,000	J / IT		221,0	00411	/ IT	221,	334[]/	IT
			,													
		対	新	局齡	者及び身体障害者	等										
事業の	目的	対象力	バー率	対象	<b>聚数 (a)</b>		受 益 数	(b)	0件		比率	(b	÷ a) %		-	
対象·	意 図															
		意	図	高齢	者及び身体障害者	等が円滑に利用	できる特	定建築物の建	築の促進:	を行	·う。					
		(対象を	主語にして)													
	_	4.	_ ^		カカマック 仕座中 ヤ	- /÷ 2. rb ι \/t⁻ <del>/</del>	/ -									
<u></u>	き	な	目 的	高酸	者及び身体障害者	こ任み良い街を	つくる。									
			七 抽 夕	, ,, _	トビル法による高値		・利用でき	ス建筑物への	(2) 往数							
		山間成里			建築物の認定数+				促進数							
				_	13年度(実績)				(実績)	4	7成16	年度(	(目標)	平成 1 7	'年度(	目標)
アウト			指標値	+	1 122 (2 4104)		(	1件				3件	( 1-1 1107 )		3件	,
指	標		指標 名	,			<u> </u>									
		最終成果	考え方・式													
		指 標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平	₹成16	年度(	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
			指標 値	Ī												
#	~ 4+ A	- 4. 1° <del>4. 1</del> .	n <u>+                                   </u>													
芦屋市	の特色	らなと補え	足する事項	Į												
2 事 à	<b>光弗</b>	(千香九冊)	ハ (コフト	\				1世帯当り(円)		/÷ =	₹1人当り	( M )	4	平成16.4.	4 / 中 兄 甘	t <del>★</del> ムħE
3 事	<u>未貝'</u> 業	<u>/立野川</u> 費	<u>分(コスト</u> 構成%		,13年度(決算)	亚成 1 // 任度	(注質)	平成15年度		_	Z成16			十八、10.4.	1 住氏型	外口収
7	<del>*</del>				(八年)	十八八十十尺	( // # /	十八八十八	328		-13X T O	十汉(	- ·			
	事	業 費	1		-				3				4			
内 訳	他部	門経費											-			
(千円)	減 価	償 却 費	t										-			
	合	計	100.0%	6	0		0		331				4			
	国	· 県														
	市	債 等	1													
(千円)		の 他														
)I FI	-	<b>投財源</b>		_	0		0		331				4			
	職嘱託	,陈昳笙		'o	0.00		0.00		0.05				-			
配分		·臨時等 <b>計</b>	. †	4	0.00		0.00		0.05				0.00			
( / )	_	A I	100.07	4	0.00		0.00		0.00				0.00			

4 証価(チェック)

	叫(ナエツク)	B _E				☆/エイ	51171			4 No +111 /111	2.75 ±17.71
評	一価 初 	見 点		) + D M H D	D7th -75 + 7	評価チェック			- トゼマキャル	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)		)主目的は明		** !***		)目的は一つに絞る。			
						, または貢献度が高い					
_	<b>→</b> BB <b>-</b> /o	2)				らづけられている ンエーナ <b>-</b>		でやるべき , または対			
妥	市関与(2~	2)	凶 市民の	)基本的な3	上活の維持に	必要である		は見直しがされて	116		
N/					٠. ١ / - ١ - ١ - ١			にも該当しない	・主光マリかり	7	6
当	+ *	(0 4)			ブいて行うべき ≒・・	手業		ニーズに基づいて行う		/	6
444	市民ニーズ(	(2~ 1)		ニーズが高		<u> </u>	□∠	が高いとは言えない			
性 8点					把握している	<u></u>		環境の変化にあわせ	☑ 未把握	_	
の無	社会環境変	化(1~ 1)	内容	,	現場の支孔	に通心している	니 11 조명	以見の友化にのわせ	に兄且∪ <i>か必安</i>	_	
	優先性,緊急				<b>カば 市民</b> σ	)生命,安全等が損な	hhā			_	
	対象カバー図			バー率は高		☑ 他団体と同程		□ 他団体よりカバ	一率が低い		
有	受益者(1~	, ,	☑ 事業意	国と受益者	<u>-</u> よは整合してい			不整合 ,または受益;			
<b>☆</b> h	世界の実建	(0 4)	☑ 中間点	<b>以果指標の</b> 写	実績値を把握	し,目標値を設定して	いる□ 実績値	<b>直または目標値が未</b>	記入	2	2
効	成果の実績	(2~ 1)	<b>▶</b> ☑ ∌	€績値から成	<b>以果があがって</b>	ていると言える	□ 実績値	<b>並から成果があがって</b>	こいると言えない	3	3
性	- 成果向上余	±±1/1 - 1\	成果があ	がっていなし	/\場合						
4点	- 成未向工示	가면( I ~ I)	□ 成果向	月上策あり					□ 特になし		
			☑ 比較で	できる団体が	ある 団体	名 近隣市	□ 比較で	できる団体はない			
	単位コスト(1	~ 1)			型握している	1		☑ 把握してい			
効	(.	.,			ストが低い	□ 他団体と同程	建度 [	□ 他団体よりコスト:	が高い		
				は低い場合							
	受益者負担	(0 ~ 1)	1		ができる事業で			き事業ではない			
率						□ 負担なし,過少			」 徴以可能 )	-1	-1
				•		は出資団体へ委託して + シ ねている			がキャンがキュ	-	_
	手段(1~ 3	3)			に行が義務づけ 第2では対応で			家庭,地域等が担う			
性			1		•	ごきない業務である きない業務である	,	E業,NPO等)で対応 臨時職員等で対応す			
3点					ff C はメラルン C o flみを行ってい			<u> </u>	引起である		
)	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容		107-2117 CV	1.9	<u> </u>	) J CVIAVI		-	
	I.			• :							
平成宝施	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	課題			改善 内容			│ 総合 │ 評価	A	В
× 7/18	0 /2 12	- r, n				131			піщ		
5 今往	後の対応(ア	<u>クション)</u>	T								
		+		って認定を	受けること	によるメリットが少	ない。				
現 住 詩	認識してし	1 る 課 題	<u> </u>								
市民 即	引係者 市民,関	(名字の夕称	,								
からの	· = -										
要望	黄 貝	要望内容									
		***									
	(1)	対応内容									
		実施期限	平成	年	月						
課題·要	<b>要望等</b>	対応内容									
	(2)										
へ の 5	对 心	実施期限	平成	年	月						
	(2)	対応内容									
	(3)	実施期限	<b>ਹ</b> ਾ ⊏	<b>4</b>							
		<b>夫</b> 厄朔സ	十八人	年	月						
その他	し考えられる	5									
	のアイデア										
									今後の方向性	1次評価	2次評価
			兵庫県下で	は,当該法令	令よりも内容の	の厳しい「福祉のまち	づくり条例」	が施行されており,	拡大・充実		
						きていると考えてい	-		現状維持		
			法律に定め	があり,認え	定を受けるこ	とによるメリットを望	<b>むケースがあ</b>	るため,業務継続の	方 法 改 善		
平成 1	7~19年度	の方向性	必要性があ	る。					民間委託等		
	7 7 7 13									1	
	, , , , , ,								縮	1	
	7 77 70								統合/終期設定		
	7 17 7 18										
2 16									統合/終期設定		
2 次 評	平価委員会	コメント							統合/終期設定		

(一般	事業)	事業	□ - H	4130	110			部長次	長課長
平成15	,				基準法の施行に関	ナス 車 教			
平成(5	中皮	尹	来 1	建架	<b>基準法の施行に関</b>	9 の事務			
1 車	朱 和 5	要(ドゥ)							
			(1)の日標	1	快適でうるおいの	ある都市づくり		建設部	
総合			<u>・                                    </u>			高い市街地の形成		所 管 課 建築指導	課
政策			小		市街地の整備			所管課長氏名林 繁樹	†
体	系		細					記入者氏名林 繁樹	ţ
事	業	其			12年度~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38	-2114 内線 2915
根拠		令 ·			基準法			実施主体市	
実	施	<b>手</b>		<u> </u>		☑ 一部委託	全部委託		負担金 「物の京地提生
委		託	Žt.					引委託 委 託 内 容 特殊建築 や建築指導など特定行政庁	
事	業	Ø	概 要		を 中広 の 祝 足 に を	ノC唯祕中明の食且なし	. 廷宋工事の事物と計り	ド 建采用 等 は こ 付 走 1 1 以 1	の事物で11フ。
<del></del>	*	0)	1144 32	5					
				建築	確認申請171件(民		查143件(民間検査236f	件) 計画通知15件 18条	· 完了検査10件
事	業	の	現 状					・ 報告(建築物17件・昇降機	
	目的詞	実現のため	かの	特殊	建築物等の定期報	告(建築96件・設備16件	- ・昇降機等682件)建築	物安全安心実施計画の推議	進
	手段及	ひ実施内	内容		•	一般174件・団体126件)			
			III	. —	審査会開催2回	-± /1L #L			
		結果指標			市内の建築確認申	請件致 平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		紀末拍信 (1)	指標値	_	475件	468件	436件	400件	400件
アウト	プット	(1)	単位コスト		53,429円/件	154,502円/件	122,039円 / 件	111,283円/件	111,283円 / 件
指	標		指標名		50, 120, 37, 11	.0.,002/37/11	.22,00013711	,20013771	,20013711
		結果指標		1	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標 値						
			単位コスト	`					
2 事	業成	<u>果(アウ</u>	<u>トカム)</u>	1					
		対	多	芦屋	市全域の建築物				
事業の	日的	対象ナ	」バー 薬	₹ \$1 \$	を数 (a) すべ <sup>.</sup>	ての建築物 受 益 数	(b) すべての建築	物 比率 (b ÷ a) %	1 0 0 %
対象・			, , , ,				, (1)	(1 1 1)	
		意	図	建築	物は基本的生活基績	盤としての性格を有して 良質な建築物,豊かな生	[おり,その災害等に対す ○活空間を宝租する	する安全性を確保し,質 <i>の</i>	)向上を図っていくこと
		(対象を	主語にして)	10.6	グドリトリング間グの	尺具 <b>多是</b> 未初,豆11 6工	加工同已关机 , 0。		
	_	f	- 4		^	/ io _ +	_		
大	ਣੇ	な	目 的	] 快適	で安全な住まいつ	くり・まちづくりの推進			
			比描句	建筑	物の完了検査率				
		中間成里				こより,違反建築物の発	生を防ぐ。		
						平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	カム		指標値		7 5 %	8 6 %	8 7 %	9 0 %	9 2 %
指	標		指標 名	建築	物の適格率				
				-	な建築物の割合				
		指 標	` <u> </u>			平成14年度(実績)	, ,	` '	平成17年度(目標)
			指標値		98% 其進法に其づく性:	98% 定行政庁と建築主事の事	98%	99%	9 9 %
芦屋市	の特色	色など補!	足する事項			正行政庁と建衆主事の事 を置き,芦屋市長が特定	•	六岸ホガリノしいた。	
, ,= .,,	02 10 0	3 G C III /	~ , 0 + ,	1 /22	12   及に是水工子		111111111111111111111111111111111111111		
3 事	業費·	活動配	分(コスト	• )			1世帯当り(円) 1,373	住民1人当り(円) 594	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	費		-	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人	件 費	95.2%	6	70,932	69,985	50,667	-	
	事	業費		6	1,947	2,322	2,542	2,527	
	1	門経費						-	
(十円)	八 1	「償却費 <b>計</b>		,	72,879	72,307	53,209	2,527	
	国	・ 県		v	12,019	12,301	33,209	2,021	
財源	市	債 等							1
(千円)		の 他		6	16,277	16,498	8,320		1
	- 4	段 財 源	84.49	6	56,602	55,809	44,889	2,527	
	職	Ę		6	7.30	7.70	5.85	-	
		·臨時等		1	0.00	0.00	0.00	-	
(人)	合	計	100.09	6	7.30	7.70	5.85	0.00	

評	<u> 曲(チェック)</u> 価 視	点	評価チェックリスト	1次輕症	1 2次評価
B I			<ul><li>□ 事業の主目的は明確である</li><li>□ 事業の目的は一つに絞ることができない</li></ul>		4 2 M AT IM
	目的妥当性(2~	21	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	გ	
妥	市関与(2~2)		□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		_
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	il <b>4</b>	4
	市民ニーズ(2~	1)	□ ニーズが高いとは言えない,または未打	<b></b> 把握	
性			□ 数字で把握している 建築確認申請件数436件 □ 未把拡		
8点	社会環境変化(1~	1)	■ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	必要	
	万少业 50 <u>4</u> 业/小	,	内容		
	優先性,緊急性(1) 対象カバー率(1~		<ul><li>☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる</li><li>☑ 対象カバー率は高い</li><li>☑ 他団体と同程度</li><li>□ 他団体よりカバー率が低い</li></ul>		
有	受益者(1~ 1)		□ 対象がパー学は高い □ 旭団体と向往及 □ 旭団体よりがパー学が低い □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	, ,		□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績(2~	1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	่นเา   4	4
性	## <b>5</b>   <b>5</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>   <b>1</b>	4)	成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上余地(1~	1)	□ 成果向上策あり □ 特に	:なし	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1	)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	十四3八(1	,	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~	1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない		
率			→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	<u>* )                                   </u>	1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について  ☑ 正規職員による執行が義務づけられている  □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がる	± z	_
	手段(1~ 3)		<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>☑ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取組(1~	~ 1)	→ 内容 GISと確認情報をリンクし短時間に的確な処理を行う。		
ਜ਼ 🕂	1 5 1 6 7	<b>庄</b> 1-	効率的な事務運営 職員構成の削減	総合 Λ	
平 ル	1 5 ~ 1 6 年 D した改善 P	及 に	改善 課題		1 A
天	した改善を	为 容 ℃	内容	評価   A	A
			内容	評価   A	А
	した 改善 P 後の対応(アクシ:	<u> </u> ョン)	り合	評価	
5 今往	後の対応(アクシ:	       行	「 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	評価 人	「緊急の
5 今往	後の対応(アクシ:	ョン)                   	「	評価 人	「緊急の
5 今行現在	後の対応(アクシ: 認 識 し て い る	ョン) 「 課題 i	「 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	評価 人	「緊急の
5 今行現在	後の対応(アクシ: 認識している 関係者市民,関係者の	ョン) 深題 記 の名称	「	評価 人	「緊急の
5 今行現在市民,限	後の対応(アクシ: 認識 している <sup>関係者 市民,関係者の 意見</sup> 音 見 要望	ョン) 深題 記 の名称	「	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市民, 原 からの	後の対応(アクシ: 認識 している 引係者 市民,関係者の 意見 意見, 要望	まり 行 親 題 おって おって 内 容	「	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市民, 原 からの	後の対応(アクシ: 認識 している 引係者 市民,関係者の 意見 意見, 要望	ョン) 深題 記 の名称	「	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市民, 原 からの	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 市民,関係者の 意見 意見,要望 (1) 対応	まり 行 親 題 おって おって 内 容	行政区域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより,特定行政庁の取り扱い課題となる,その整備には,建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ,確認審査等で技術的知識され,確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市民, 原 からの	後の対応(アクショ 認識している 関係者市民,関係者の 意見 意見,要望 対応 (1)	まり、行記されている。日本の内内の内容のでは、日本の内内の内容のでは、日本の内内の内容のでは、日本の内内の内容のでは、日本の内容のでは、日本の内容のでは、日本の内容の内容のでは、日本の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の	行政区域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより,特定行政庁の取り扱い課題となる,その整備には,建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ,確認審査等で技術的知識され,確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市か 要 課題・要	後の対応(アクショ 認識している 関係者 市民,関係者の 意見 意見,要望 (1) 実施 要望等	まり、一行記されている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	「一方政区域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより、特定行政庁の取り扱い課題となる、その整備には、建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ、確認審査等で技術的知識では、確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。	評価 人	「緊急の
5 今行現在市民, 『の要望	後の対応(アクショ 認識している 関係者 市民,関係者の 意見 意見,要望 (1) 実施 要望等	まり、行記されている。日本の内内の内容のでは、日本の内内の内容のでは、日本の内内の内容のでは、日本の内内の内容のでは、日本の内容のでは、日本の内容のでは、日本の内容の内容のでは、日本の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の	「一方政区域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより、特定行政庁の取り扱い課題となる、その整備には、建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ、確認審査等で技術的知識では、確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市か 要 課題・要	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 要望 (1) 対応 実施 対応 (2) 対応	まり、一行記されている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	「一方政区域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより、特定行政庁の取り扱い課題となる、その整備には、建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ、確認審査等で技術的知識では、確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市か 要 課題・要	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 要望 (1) 対応 実施 対応 (2) 対応	ままれる おおお おおお おお お お お お お お お お お お お お お	対合	評価 人	「緊急の
5 今 現 在 市か 要 課題・要	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 要望 (1) 対応 実施 対応 (2) 対応	まり では かっち では かっち できる できる かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち	対合	評価 人	「緊急の
5 今行現在 「限の望」 課題・要の	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 要望 (1) 対応 実施 対応 (2) 対応	ままれる おおお おおお おお お お お お お お お お お お お お お	対合	評価 人	「緊急の
5 今 在 「	後の対応(アクシ: 認識している 引係者 意見, 関係者の 意見, 要望 (1) 実施 対応 (3) 実施	ままれる おおお おおお おお お お お お お お お お お お お お お	対合	評価 人	「緊急の
5 今 在 「	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 要望 (1) 要望等 (2) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 も考えられる	ままれる おおお おおお おお お お お お お お お お お お お お お	「対容	評価 人	(緊急の )要と
5 今 在 「	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 要望 (1) 要望等 (2) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 も考えられる	ままれる 内内 期内 期内 期内 期内 期内 期間 お 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	「対容	評価 へい 基準の整備が必 知識の蓄積が必 方 向性 1次評価 充 実	(緊急の )要と
5 今 在 「	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 要望 (1) 要望等 (2) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 も考えられる	コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	「対な区域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより、特定行政庁の取り扱い。 課題となる、その整備には、建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ、確認審査等で技術的失され、確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。    平成	評価 へい 基準の整備が必 い 基準の整備が必 可識の蓄積が必 方 向性 1次評価 充 実 維 持	(緊急の )要と
5 存在 ほら 課 へ そ改 の善	後の対応(アクション 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 関係者の 東望等 (1) 実施 (3) 実施 を まんで アー ものアイイ アー を の アイイ アー ・ で の アイ・デアー ・ で の で アー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	万政区域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより,特定行政庁の取り扱い課題となる,その整備には,建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ,確認審査等で技術的疾され,確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。    平成	評価 へい 基準の整備が必 い 基準の整備が必 い 高級の 蓄積が必 に で で で で で で で で で で ま は で で で き は で き で で で で で で で で で で で で	(緊急の )要と
5 存在 ほら 課 へ そ改 の善	後の対応(アクシ: 認識している 関係者 意見, 要望 (1) 要望等 (2) 対応 実施 対応 (3) 対応 実施 も考えられる	コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	「	評価 へい 基準の整備が必 い 基準の整備が必 の 直標 1次評値 を維持で表 は、一方で、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは	(緊急の )要と
5 存在 ほら 課 へ そ改 の善	後の対応(アクション 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 関係者の 東望等 (1) 実施 (3) 実施 を まんで アー ものアイイ アー を の アイイ アー ・ で の アイ・デアー ・ で の で アー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	対象	評価 へい 基準の整備が必要構成の 整備が必要 が必要 は 1次 評価 と 1次 評価 と 1 次 評価 と 1 次 評価 と 1 次 評価 と 1 次 評価 と 1 次 評価 と 1 次 評価 と 1 次 評価 と 1 次 評価 と 1 か と	(緊急の )要と
5 存在 ほら 課 へ そ改 の善	後の対応(アクション 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 関係者の 東望等 (1) 実施 (3) 実施 を まんで アー ものアイイ アー を の アイイ アー ・ で の アイ・デアー ・ で の で アー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	「対な域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより、特定行政庁の取り扱い。 課題となる、その整備には、建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ、確認審査等で技術的疾 され、確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。    平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	評価 へいま 準の整備が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要を制度を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	(緊急の )要と
5 存在 ほら 課 へ そ改 の善	後の対応(アクション 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 関係者の 東望等 (1) 実施 (3) 実施 を まんで アー ものアイイ アー を の アイイ アー ・ で の アイ・デアー ・ で の で アー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	対象	評価 へいま 準の整備が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要を制度を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	(緊急の )要と
5 現 市か要 課 へ そ改 平 の の 善 成 1	後の対応(アクション 認識している 関係者 意見, 関係者の 意見, 関係者の 東望等 (1) 実施 (3) 実施 を まんで アー ものアイイ アー を の アイイ アー ・ で の アイ・アー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 間 な 容 容 限 容 限 容 限 容 限 合 性 性 サージ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	「対な域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより、特定行政庁の取り扱い。 課題となる、その整備には、建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ、確認審査等で技術的疾 され、確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。    平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	評価 へいま 準の整備が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要を制度を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	(緊急の )要と
5 現 市か要 課 へ そ改 平 の の 善 成 1	後の対応(アクシ: 認識している	コ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 間 な 容 容 限 容 限 容 限 容 限 合 性 性 サージ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	「対な域内で複数の指定確認検査機関が建築確認審査等を行うことにより、特定行政庁の取り扱い。 課題となる、その整備には、建築基準法の趣旨や目的を正確に把握のうえ、確認審査等で技術的疾 され、確認審査体制と事務の効率性の整合を図る必要がある。    平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	評価 へいま 準の整備が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要権が必要を制度を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	(緊急の )要と

(一角	殳 事	業)	事業	<b>_</b> _	ド 422	0050				$\exists$	部	長	次	長	<del></del> 課	長
ਜ਼⊹	1 [	左曲	声	₩.	Ć X±ι₽·	光学的数件事类										
平成	15	干及	<b>∌</b>	業	台一狭的	益道路整備事業										
					•					_						
1 事	1	€概号	要(ドゥ)												-	
				(りの目)	標 4	快適でうるおいの	ある都市づく	IJ					建設部			
総合				中		快適な交通体系の					所	管 課	建築指導	課		
政策				<u>'</u>	2	生活道路の整備					所管	課長氏名				
体		系		細								者 氏 名				
事		業	Į.		謂 亚 F	_ <del> </del>		経常臨時	✓ 経常 [			話番号			内線	2918
根抗	<b>Ы</b> П.		令 '			z,之一及 Z市狭隘道路拡幅整	借に関する悪紅			□ mm n n	_	施主体		2117	P J MAK	2310
実	ᇨ	施				直営				±1		<u>施工格</u> 補助金		負担金		
<del>天</del> 委		INU.	<del>-</del> 託			 外郭団体委託		Շ	□ 土卲安					貝担並		
女			пЪ	:				<b>许甘油汁学</b>	10名祭の西に			委託内容		生の1用4刀	レカカの	+ -
_		ш		inr		道のうち,幅員4m未										
事	3	業	の	概		建築行為等に係る後	退迫路用地を値	催保し,独	<b>医通路</b> 据幅图	経備を促進	すると	ともに,追	路に面し	た生坦等	を設直で	<b>する</b>
						うに指導する。										
						章物件の除去に要す										
事	Ì	業	の	現	伏 用 <sup>t</sup>	<b>地測量等の費用の一</b>	部を助成									
		目的詞	実現のため	かの	後让	図道路用地の整備は	市が実施									
	Ξ	手段及	ひ実施に	内容	隅七	刃り用地は市が買い	取り									
					協調	議件数(平成13年)	度:3件,平成	14年度	: 2件,平成	5 年度:	2件)					
				指標	名 整体											
			結果指標			成13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5 年	度(実績)	平万	<b>丸16年度</b> (	(目標)	平成 1 7	7年度(	目標)
			(1)	指標		3 箇所	2 簡	( , , , , ,	2 筐	, ,		4箇所			5箇所	
アウ	١ ٦	P NI F	(1)			,247,000円/箇所	3,730,500	"	1,227,000		1	,593,650円			,920円 /	笛昕
指	, ,	標		指標			0,700,000	J / 121/1	1,227,000	137 12171		,000,00013	, P111	1,217,	020137	<u>13</u> 771
314			結果指標			成13年度(実績)	平成14年度	F ( 宇健 )	平成15年	・ (字4)	₩.	뷫16年度(	(日捶)	平成 1 7	7 年 年 (	口抽)
					_	55m		• •	7 3		十月			十以1 /		日1示丿
			(2)	指標			3 7					8 0 m			9 0 m	
	= 311		7/	単位コス	1	122,564円/m	201,649	9 / m	33,617	<u>ዛ</u> / m		79,683円	/ m	70,	828円 /	m
2		<u> きかんき</u>	果(アウ	<u> トカム)</u>												
			対		象市道	道のうち , 幅員 4 m未	<b>ミ満のもので建</b>	築基準法	第42条第2項は	規定され	る道路	等に面して	建築され	る敷地		
			_			_ , , , , , , ,							~~~~			
			対象が	」バー	率 対	象 数 (a)	2 4 件	受 益 数	(b)	2件		比 率 (b	÷ a) %		8 %	
対 象	· j	意 図														
			意	ļ	図市道	道のうち,幅員4m未	₹満のもので建	築基準法	第42条第2項に	こ規定され	る道路	いい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい い	mに拡幅	する。		
			(対象を	主語にして	)											
			-													
大	7	ŧ	な	目	的都市	市の防災性能の向上	とゆとりある街	封なみの形	<b></b> 成							
				指標:	名 整体	<b>備済み延長</b>										
			中間成果			丸12年度からの事	業であるため、	平成12	年度の整備な	延長(43	m ) [5	各年度の整	4備延長を	累計した		
						成13年度(実績)						<b>以16年度</b>		平成 1 7		月標)
アウ	١.		) I	·····································		9 8 m	1 3 5		2 0		1	2 8 8 r			3 7 8 m	
指		標		指標	_					<u> </u>		2001			,, , , , , , , ,	
111			里级 代田	考え方・	_											
						成13年度(実績)	亚武 1 1 年度	F ( 宇佳 )	平成15年	・ (字4)	₩.	t 1 6 年度 i	(日播)	₩ ct 1 5	7年度(	口抽~
			指標		_	以13 牛皮(夫縜)	十八 1 4 十 反	2(夫縜)	平成15年	支(天縜)	+7	【16年度)	(日信)	平成 1 7	牛皮(	日信ノ
				指標	世											
		- 4+ /	- 4. I * <del>4. *</del>		.=											
户屋i	中 0	)特包	色なと補	足する事	貝											
									1					1		
	<b>事</b>	€費・	沽動配	<u> 分(コス</u>			•		1世帯当り(円	_	住民 1	人当り(円)	27	平成16.4.	1 住民基	本台帳
事		業	費	構成%	平月	成13年度(決算)	平成14年度	【(決算)	平成15年	度(決算)	平万	<b>艾16年度</b> (	(予算)			
		人	件費	60.2	2%	3,657		5,471		1,478			-			
		事	業	39.8	3%	3,084		1,990		976			5,120			
内	訳	他部	引門 経費			0							-			
(千円	9)	減価	首償 却 費	Ē		0							-			
		合	ħ	100.0	)%	6,741		7,461		2,454			5,120			
	_	<u>-</u> 国	· 県			0							•			
財	源		債 等	-		0					1					
(千月			<u>ラ</u> の 他			0										
( 1 1	/ د		<u>~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~</u>		1%	6,741		7,461		2,454			5,120			
活	動			_	_	0.35		0.30		0.15			5,120			
					<i>)</i> /0	0.33	1	0.50	1	0.10						
配(人			·臨時等	_	10/	0.35		0.30		0.15			0.00			
1 1	- 1	_			# 701	U.30		V30								

評	<u> </u>					=	評価チェッ	カリフト			1次証価	2次評価
PT	IЩ 17	t		の主目的は	円なでま		1丁1叫ノエク		事業の目的は一つに絞る	ことができない	八八叶叫	2次計画
	目的妥当性(	(2 ~ 2)					ᆂᆇᄽᆕ					
									貢献度が不明確、または高			
177	<b>→</b> ■ ⊢ (o	0)				で義務づけられて			民間でやるべき,または対			
妥	市関与(2~	2)		り基本的は?	王沽の辞	<b>i</b> 持に必要である			他団体では見直しがされて	.116		
N/a					-*				いずれにも該当しない	<del></del>	<b>1</b>	_
当	<u> </u>					うべき事業			市民ニーズに基づいて行う		4	5
	市民ニーズ(	2 ~ 1)		ニーズが		<del></del>		Ш	ニーズが高いとは言えない	••		
性				□ 数字で						□ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)			会環境の	変化に適応して	いる	Ш	社会環境の変化にあわせる	た見直しが必要		
				容								
	優先性,緊急					市民の生命,安全						
	対象カバー図								□ 他団体よりカバ			
有	受益者(1~	1)							益者が不整合 , または受益か			
効	成果の実績(	(2 ~ 1)							] 実績値または目標値が未記		0	2
	ガルスペックスが受く	- ',	<b>→</b> ☑ §	実績値から原	成果があ	がっていると言え	.る		実績値から成果があがって	いると言えない	J	_
性	- 成果向上余	Hπ/1 ~ 1\	成果があ	がっていな	い場合							
4点	- 版本的工示	(ויייו)שיו	□ 成果□	句上策あり						☑ 特になし		
				できる団体が	がある			<b>√</b>	比較できる団体はない			
	₩ /☆¬¬   /4	4)	□ 他団(	本の数字を持	把握して	いる 単位コ	スト		□ 把握してい			
効	単位コスト(1	~ 1)	┕ □ f	也団体よりコ	ストが低	;い □ 他	団体と同和	程度	□ 他団体よりコストカ	が高い		
			高い、また	とは低い場合	合の理由	ı					1	
	₩¥±	(0 4)				事業である	<b>√</b> ∮	負担を求	えめるべき事業ではない			
	受益者負担(	(0 ~ 1)	<b>└→</b> □ ₹	見在,適正な	は負担あ	り □ 負担な	し,過少	( $\square$	] 徴収不能・見直し不能 [	□ 徴収可能 )		1
率						または出資団体				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1 0	-1
						務づけられている			・・・・・ ]個人 , 家庭 , 地域等が担う	べき部分がある		
	手段(1~ 3	3)							民間(企業 , NPO等)で対応			
性				正来 / 111 0 臨時職員領	らりとはか	応できない業務。	である		嘱託 , 臨時職員等で対応。	T能である		
3点				削減の取り					特に行っていない	180 600 0	1	
0,	コスト削減取	【組(1~ 1)	→ 内容		MT07.611	7 (1)			1 101011 2 CV16V1			
			協議		にも係ら	らず,協議届の	1	対象建筑	<b>築物の建築主に対し,協議</b>	対象物件		
平成	15~16した改	年度に	課題 提出7				改善 _		旨を伝えている。	総合	D	В
美 施	した改	善 内 谷	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	. , , , , , , , , ,		1-37 10	内容			評価	-	
5 今往	<b>多の対応(ア</b>	クション)										
	<u> </u>	, ,	年間2件程	度にとどる	まってお	り,事業による	成果が十	分にあ	るとは言いがたい。			
現在意	認識してし	いる 課 題										
市民,関	原名市民,関	係者の名称										
からの	意見意見,											
要 望	意見,	要望内容										
	(1)	対応内容	建築を行う	際に提出る	される書	類の副本に、狭	経道路の	協議対	象物件である旨を記載し返	<b>返却する。</b>		
	( ' )	実施期限	平成 16	年	4	В						
課題·要	胡笙	大旭知似	T/13% 10	+	7	73						
小丛 女	(2)	対応内容										
へのす		実施期限	₩ ct	年		 月						
. ( 0)	X3 //C/	天心别似	十八人	1+		73						
	(3)	対応内容										
	(3)	実施期限	₩	<b>4</b>								
		夫加别派	半成   後退用地の	年	_	月						
Z 10 14	きえられる		交付金の増									
	3 ちんりれる の ア イ デ ア		文刊並の項	16共								
以 普(												2.25年/王
	<i>D</i>									△ 後 △ ナ 白 桝	- 4 N= ±0 /±	
	<i>D</i>		旧たのべ	フズやカオ	・タブナ	<b>火芸学のが</b> 合わ	★ 하스 I — tr≿ hē	ョナゎヮ		今後の方向性		2次計画
	D								には,相当の年月を要する	拡大・充実	2	2// 11 11 11
	<i>D</i>					,当該道路が全体 の改善が必要で			には,相当の年月を要する	拡 大 · 充 実 現 状 維 持	: :	27/11
4- 11			と考えられ						には,相当の年月を要する	拡 大 · 充 実現 状 維 持方 法 改 善		2//11/14
平成 1	7~19年度		と考えられ						には,相当の年月を要する	拡大・充実現状維持       方法改善       民間委託等		2//11/14
平成 1			と考えられ						には,相当の年月を要する	拡大・充実現状維持方法。改善民間委託等       は、数・充実	F	
平成 1			と考えられ						には,相当の年月を要する	拡大     充実       現状     維持       方法     改善       民間     委託       縮     小       統合/終期設定		2// 11
平成1			と考えられ						には,相当の年月を要する	拡大・充実現状維持方法。改善民間委託等       は、数・充実		2// 11
	7~19年度	の方向性	と考えられ	る。抜本的	竹な政策	の改善が必要で	であると考	<b>ぎえる</b> 。		拡 大 · 充 美現 状 維 技方 法 改 善民間委託等縮 小統合/終期設定廃 止 / 休 止		2./X.11   III
	7~19年度	の方向性	と考えられ	る。抜本的	竹な政策	の改善が必要で	であると考	<b>ぎえる</b> 。	には,相当の年月を要する	拡 大 · 充 美現 状 維 技方 法 改 善民間委託等縮 小統合/終期設定廃 止 / 休 止		2 /

( —	- 般 重	(業	事 業	⊔    -	4230030	)				Ī	部 長	次	長課長
_	132 3	- )( )	5 X							ł	ш,	<i>7</i> (	
₩ =	tt 1 c	年度	<b>=</b>	業名	駐車場為	去に規定する建	築物である路外	駐車場の	設置に関する				
+ 1	כו אָנו	牛皮	<del>7</del>	未 口	事務								
										1			
	<del></del> vi	V 1077	<del></del>										
1	事系	<b>削</b>	要(ドゥ)										
笋 2	少古	层市	まちづく	りの目標	4 性	適でうるおし(	のある都市づくり					建設部	
											所 管 課		
総	合言	十画		中	2 快	適な交通体系の	D整備				–	建築指導	課
邗	等;	も 策		<u>/</u> ]\	3 駐	車・駐輪対策の	が推進				所管課長氏名	林 慜結	1
	ж <i>п</i>			_	3 191	十 向工+m / 1 / K /	71年25						
体		系		細							記入者氏名	尾髙 尚	純
事		業	期	問	平成 1	2 年度~	4	经常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-38-	2114 内線 2918
							ñ	注币咖咐		四四十寸			2114 円線 2916
根	拠	法	令 · 引	医綱 等	駐車場	去					実 施 主 体	市	
実		施	<b></b>	法	☑ 直	<b></b>	□ 一部委託		□ 全部委託	:			負担金
		ルビ		,,					□ 土部安託				貝担並
委			託	先	│	郭団体委託	名称			│ │ │ 民間	委託 委託 内容		
					道路亦	<b>番の円滑化を</b> 図	リ,都市機能の	維地乃び	単准に	<u></u>		•	
						E071 1/8 10 C E	1 7 , EDID 182 BE 07		石座に可つり	<b>o</b> .			
事		業	の	概 要									
										_			
					路外駐車	車場の構造及び	(設備の基準を定)	め,設置	の届出を受理で	する。			
事	-	業	Ø	現 状									
#					1								
		目的第	実現のため	のの	1								
			ひ実施内		1								
		ナキヌク	xい天心へ	Ħ	1								
					1								
		1		北 # 4	戸山//+*	Kh							
				指標 名									
			結果指標	年 度	平成 1	3年度(実績)	平成14年度(	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成17年度(目標)
								( ) ( ) ( )		( ,			
			(1)	指標値		0 件	0 件		0件		0 件		0 件
ァィ	ナトフ	プット		単位コスト									
指		標		指標 名									
			結果指標	年 度	平成 1	3年度(実績)	平成14年度(	( 実績 )	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(月標)	平成17年度(目標)
							17-20 172		17% : 5 172	( ) ( ) ( )	1 1/2 . 5 1/2 .		172 7 12 (1137)
			(2)	指標値									
				単位コスト									
<u> </u>	<del></del> 1	<u> </u>											
2	争身	長り とう	果(アウト	`カム)									
					道路の9	8面外に設置さ	カス白動車の駐	歯のため	の施設であって	て一般かさ	出の田に供される	キので	白動車の駐車の田に供
			対	象	さる郊外	いのからは	・100日新年の航	十のにの	市判全を判旧で	さるまの	た処害するものに	限るし	自動車の駐車の用に供
事	業の	目的	対 象 カ	バー率	対象	数 (a) 対	象物件無し	受益数	(b) 対象	物件無し	比 率 (b	÷ a) %	-
	象・					( )			. ( )		(	,	
: ניא	家'.	思凶											
			意	図	対象物係	牛の設置者が扱	出する届出の審	査を行う	ことにより, 種	都市機能の	の維持及び増進に	寄与する	ことを目的とする。
			( <del>)</del> + <del>()</del> + - 1										
			(対象を3	E語にして)									
+		き	な	目 的	お中に	おける道路交通	の田海ル						
大		C	<i>'</i> &	נים 🗀	却いいにの	いいる垣昭文世	ひつけし						
				指標 名	昆虫家								
			中間成果	考え方・式	届出件数	数×100/届出	必要件数(%)						
							平成14年度(	(宝繕)	平成15年度	(宝绩)	平成16年度(	(日煙)	平成17年度(目標)
ア・	ウト	カム		指標値	届出	必要件数無し	届出必要件数	牧無し	届出必要件	数無し	1009	6	100%
指		標		指標名			•						
314													
			最終成果	考え方・式									
			指 標	年 度	平成 1	3年度(宝績)	平成14年度(	( 実績 )	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(日煙)	平成17年度(目標)
						ン十以(大視)	「ル・マヤ皮(	(大順)	「ルーラ十反	(大順)	「ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、ロ1ホノ	17%17年及(日1年)
				指標値									
							•				•		
l													
芦	室市の	の特色	色など補足	足する事項									
					1								
_		14	\+ =	/\ /==:	<u> </u>			-			I		
3	事為	€費・	沽動配:	分(コスト	)				1世帯当り(円)	6	住民1人当り(円)	3	平成16.4.1 住民基本台帳
事		業	費		亚成 1	3年度 / 油管 >	平成14年度(	( 決質 )	平成15年度	(決質)	平成16年度(	不管 \	
Ť					1772.1	- 一以(八弁)	「ル・マヤ皮(		「ルーラ十反		「ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	J <del>T</del> /	
		人	件費	100.0%				490		231		-	
		事	業費										
		,					1						
内	訳	他部	『門経費		1							-	
( =			賞 却 費				1						
( ]	LJ )						1					-	
		合	計	100.0%		C		490		231		0	
		Π					1						
					i		I						
		国	・ 県										
財	源	国	· 宗 債 等										
		国市	債 等										
	源 · 円)	国市そ	債 の 他										
		国市そ	債 等			C		490		231		0	
(∓	円)	国 市 そ <b>一 f</b>	債 等の 他 <b>以財源</b>	100.0%									
(千	一円)	国 市 そ 一 贈	債 等の 他 <b>股財源</b> 員	<b>100.0%</b> 100.0%		0.00		<b>490</b> 0.05		<b>231</b> 0.05		0	
(∓	一円)	国 市 そ 一 贈	債 等の 他 <b>以財源</b>	<b>100.0%</b> 100.0%									

評	<u>叫(フェッフ)</u> 価					評価チェック	1176			1 \左=□/≖	2次評価
āT .	1Щ 13 Т	<del>ال</del>		+ 60   + - 111	Tやっつ ナフ	計画デェック		かけったカフェルがオ	(++)()	□从評価	2次計画
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□事業の					的は一つに絞ることがで			
						欠,または貢献度が高い					
_		_,				務づけられている		るべき , または対応可能	でめる		
妥	市関与(2~	2)	│ □ 市民の	基本的な生	活の維持	こ必要である		は見直しがされている			
							□ いずれに:			_	
当			│ □ 市民二			き事業	☑ 市民ニー.	ズに基づいて行う事業で	ごはない	<i></i>	3
	市民ニーズ(	2 ~ 1)		ニーズが高	<b>61</b>		□ ニーズがネ	高いとは言えない , またl	は未把握		
性				] 数字で打	巴握してい	3			未把握		
8点	社会環境変	(l/(4 4)	☑ 事業に	関わる社会	環境の変化	とに適応している	□ 社会環境	の変化にあわせた見直	しが必要		
	任宏琼児安/	化(1~ 1)	内容								
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を	実施しなけれ	1ば,市民	の生命,安全等が損なわ	れる				
	対象カバー図	<b>率(1~ 1)</b>				☑ 他団体と同程		他団体よりカバー率が	低い		
有	受益者(1~					「いる □ 事業意図					
		•				屋し,目標値を設定してい				4	
効	成果の実績	(2 ~ 1)				ていると言える		ら成果があがっていると	≐えかい	1	2
性				がっていない		, cviociji.o		JRX 本方 切 方 て V T & C	<u>п/с.ъ.v і</u>		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向		·物口				特になし		
4,					- 7 🖼	ナタ に迷士	ロ いおった		付になり		
				の非中本型	ng m.	体名 近隣市	□ 比較できる				
**	単位コスト(1	~ 1)	│ □ 他団体	の数字を把	握している	・ 単位コスト ☑ 他団体と同程		□ 把握していない			
効		,				□ 他団体と同程	芟 □	他団体よりコストが高い			
				は低い場合							
	受益者負担(	(0 ~ 1)					旦を求めるべき事	業ではない			
率	<b>人皿日外</b>	(0 1)	┗ 🗕 🛭 現	在 , 適正な!	負担あり	□ 負担なし,過少	( 🗌 徴収不能	·見直し不能 🗹 徴収	可能 )	1	1
-			直営事業	正規職員が	(執行)また	は出資団体へ委託してに					ı
	手段(1~ 3	١١.	☑ 正規職	員による執行	テが義務に	づけられている	□ 個人,家屬	匡,地域等が担うべき部	分がある		
	于权(1~ 3	9)	☑ 民間(企	業 , NPO等	)では対応	できない業務である					
性			☑ 嘱託, 8	臨時職員等:	では対応で	できない業務である	□ 嘱託, 臨日	・ 寺職員等で対応可能で	ある		
3点	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		□ コスト削				□ 特に行っ		<del></del>		
- JAN	コスト削減取	(組(1~ 1)	→ 内容		-, -, -, -,						
	I		特に無								
平成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	課題	•		改善			総合	Α	$\mathbf{C}$
実 施	した改	善 内 谷	W1174			内容			評価		
5 4	後の対応(ア	クション)									
7 / 1	× 02×31/05 ( 7	<i>// 1/ )</i>	特に無し								
1日 左 第	認識してし	いる 卸 晒									
ルル 1上 1	DIES DEE C C V	I SO DAT MES									
+ P B	関係者 市民,関	(2) マカクか									
巾氏, 度	部名 中氏, )	派有の名称									
からの	意見意見,	要望内容									
安 望	寺	1									
		対応内容									
	(1)	×1,0.1,1									
		実施期限	平成	年	月						
課題·要	<b></b> 望等	対応内容									
	(2)	刈心内台									
へのす	対 応	実施期限	平成	年	月						
	(3)	対応内容									
	(5)			7							
		宝施期限	平成	土							
		実施期限	平成	年	月						
マの 供	 		平成	<u> </u> #	H						
	 也考えられる	5	平成	<u> </u> #	H						
	 b考えられる の ア イ デ ア	5	平成	<del> </del>	<i>H</i>			\[ \( \lambda \) \( \tau \)	<b>○</b> ★ 宀 ₩	4.V= +T/T	2.5-T/T
		5							の方向性	1次評価	2次評価
		5	都心における	5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される 拡 力	て・充 実		2次評価
		5		5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される <u>拡 </u>	<ul><li>・ 充 実</li><li>状 維 持</li></ul>		2次評価
		5	都心における	5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される 拡 力 現 : 方 :	大 充 実       状 維 持       法 改 善		2次評価
改善(			都心における可能性は低い	5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される 拡 力 現 : 方 :	<ul><li>・ 充 実</li><li>状 維 持</li></ul>		2次評価
改善(			都心における可能性は低い	5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される 拡 力 現 : 方 :	大 充 実       状 維 持       法 改 善		2次評価
改善(			都心における可能性は低い	5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される 拡 J 現 : 方 : 民 間 縮	充実       状 維 持       法 改 善       長 託 等		2次評価
改善(			都心における可能性は低い	5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される 拡 J 現 : 方 : 民 間 縮 統合	<ul><li>充 実</li><li>状 維 持</li><li>法 改 善</li><li></li></ul>		2次評価
改善(			都心における可能性は低い	5立体駐車場	最を対象と	していると考えられ,市	内において近年	中に建築される 拡 J 現 : 方 : 民 間 縮 統合	大     充     実       状     維     持       法     改     善       引     委     託     等       小     / 終期設定		2次評価
改善(	の ア イ デ ァ 7 ~ 1 9 年 度	の方向性	都心における可能性は低い	5立体駐車場 いと考えら:	を対象とれる。	していると考えられ,市		中に建築される 拡 プ 現 : 方 : 民 <sup>間</sup> 縮 <u>統 合</u> 廃 」	大     充     実       状     維     持       法     改     善       引     委     託     等       小     / 終期設定		2次評価
改善(	の ア イ デ ァ 7 ~ 1 9 年 度	の方向性	都心における可能性は低い	5立体駐車場 いと考えら:	を対象とれる。			中に建築される 拡 プ 現 : 方 : 民 <sup>間</sup> 縮 <u>統 合</u> 廃 」	大     充     実       状     維     持       法     改     善       引     委     託     等       小     / 終期設定		2次評価

( -	般	事業)	事	業	コ	- F	4310	250					部	Ð	長 次	長	課	長
平局	戈1.	5年度	事		業	名	住宅	金融公庫からの受	託に係る審査及	び検査事	務							
												1						
1	事	業概	要(	ドゥ)											ļ			
					りの	目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくじ					** 1	建設部			
総	合	計画	Ī		中		3	安全で快適な生活	基盤の充実				所	管 訓	建築指導	課		
政	策	施策	ž		小		1	住宅の整備					所管	課長氏名	3 林 繁樹			
体		系			細								_		3島津 久			
事		業		期				12年度~	1	経常臨時	☑ 経常 □	臨時			를 0797-38-	2114	内線	2918
根密	拠	法	令	· :				金融公庫法	□ ₩ <i>₹</i> ₩		□ 人がそせ	r			市	ᅀᄞᄉ		
実 委		施	! 言			法		直営 外郭団体委託	□ 一部委託 名称		□ 全部委託			補助金 委 託 内 智		負担金		
			н			70		所得者層向けの良		を促進す	るため,技術					宅の質を	確保する	వె.
事		業	0	)	概	要					, , , , , , , , , , , , , , , ,							- 0
							・住	宅金融公庫融資住	宅の審査,中間核	食査及び	竣工検査: 2 1·	件						
事		業	0		現	状	・災	害復興住宅に関す	る認定: 4件									
				のため														
		<del>于</del> 段	及ひ	実施内	]谷													
					毕	標名	由語	<b></b> 生数										
			結	果指標				13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平点	116年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(1)	<u> </u>	標値		2 3 4件	2 0 0 f		2.5 #	• •		9 0 件			90件	
アワ	ト	プット	-		_	īコスト		10,398円/件	2,760円/	件	117,200F	円/件		32,089円	]/件	32	,089円/	件
指		樗	Ē		指:	標名												
			結	<b>果指標</b>			-	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平点	116年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				(2)		標値												
1	毒.	₩ 🕂		アウ		<u> コスト</u>												
	<b>尹</b> ∶	耒戍	天(	<i>y</i> .)	トハエ	<b>A</b> )												
			対			象	住宅	の建設及び購入に	必要な資金を,	銀行その	他一般の金融	機関からの	の融資	を受ける	ことが困難	な者。		
事業	業の	目的	対対	象 力	バ	- 率	対象	象数 (a) 1	2 5 件	受益数	(b)	2 5 件		比 率 (b	÷ a) %		2 0 %	
対	象·	意 図	3				<del></del>	へて書き几 72 7 8 円並	必要な姿合を	色にての	44 机の合動	松門からん	の可は次	ナ巫はっ	ーレが田数	+>=\	11 7	≡ #¤ .
			意			図	固定	の建設及び購入に 資金を安定的に提	必安な貝並を, 供する。	越1丁での	他一放の金融	筬  美  から(	ルベリ	(を文1) の(	ここが函類	は白にメン	J U C , 1	<b>区别</b> •
			(文	象を	主語に	:して)												
大		±	+		П	65	仕字	の質の変化を足分	水準の白 ト									
^		ਣ	7,	L.	Ħ	מם	注七	の質の確保と居住	小年の同工									
					指:	煙 名	現場	検査合格等件数										
			中国	間成果				基準に適合し,検	査に合格した件	数								
			指	標	年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	116年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア・	ウト	カム	_			標値		2 4 1件	198件	<u> </u>	3 3 件	ļ .		85件	=		85件	
指		梧			_	標名	-											
						.方·式		13年度/安健》	東岸 1 4 年度	/ 字/丰 \	亚代 1 5 年度	: / 安健 \	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1.6年度	/口插\	ਜ਼ਾਜ਼ 1 :	7 年 年 /	口抽~
			指	悰	年	<u> </u>		13年度(実績)	平成   4 年度	( 夫縜 )	平成15年度	.(夫縜)	+ 17.	116年度	(日信)	平成「	7年度(	日信)
					1H	1法 但												
芦属	量市	の特	色な	ど補足	足する	る事項												
3	事	業費	·活	動配	分(:	コスト	)				1世帯当り(円)	80	住民 1	人当り(円)	35	平成16.4	.1 住民基	基本台帳
事		業		費	_	成%	平成	13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度	(決算)	平成	116年度	(予算)			
		<u></u>	件		1	98.8%		3,546		1,993		3,081			-		人件輩	豊∶3,145
_	<b>±</b> г	事	業四期			1.2%		37		80		36			43			
内 工				経費却費														
( [	IJ	合	四(貝	의 팅 計	1	100.0%		3,583		2,073		3,117			43			
		国		<del>-      </del>				3,030		_,		-,						
財	源	市	債															
( <del>T</del>	円		の	他		6.0%		1,150		1,521		187				財源∷	300	
			般	財源		94.0%		2,433		552		2,930			43			
					+			•				•						
活配		職		員語時等		100.0%		0.45		0.30		0.45			-			

4 計1	<u>   (ナェック)</u>   価 視 点	評価チェックリスト	1 1/	<i>फ ≐च /</i> म	いた証価
<del>aT</del>	1四 1兄			八計1四	2次評価
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の目的は一つに絞ることができない□ 事業の目のは一つに絞ることができない□	, 1		
		□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	,		
	<b>→</b> □□ (2 0)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である □ ホワッドナギャルになる(特性に) メディカス	5		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
114		□ いずれにも該当しない		2	2
当	+ *(0 4)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない		-2	-2
44	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,または未把□ □ **********************************			
性		□ 数字で把握している □ 未把握 □ 表光に またしている □ 大把握 □ 表光に またい □ 大田東 □ かん □ たんしょ しゅうしゅう			
8点	社会環境変化(1~1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必 内容	少安		
		○			
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
13	又皿目(1 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入			
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えな	71.1	0	0
性		成果があがっていない場合	501		
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな	なし		
1700		☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない	-20		
		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
		高い、または低い場合の理由			
	E7+7-10(0 )	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(0~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	( )	2	0
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	-2	-2
	T = 11 (1 0)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	<b>ある</b>		
	手段(1~ 3)	□ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
141		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
性					
性 3点	コフト当心成取4月(4	□ □ □ □ □ □ 特に行っていない			
	コスト削減取組(1~ 1)	□ □ □ □ □ □ 特に行っていない			
3点	, ,	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない  → 内容	<b>松</b> 合		
3点	, ,	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない  → 内容	総合評価	D	D
3点 平 成 実 施	1 5 ~ 1 6 年 度 にした 改善内容	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない  → 内容		D	D
3点 平 成 実 施	, ,	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない  → 内容 □  改善  内容 □	評価		
3点 平成 実施 5 今行	1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容 後の対応(アクション)	□ コスト削減の取り組みを行っている	評価 , それに連	動して	公庫の
3点 平成 実施 5 今行	1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容 後の対応(アクション)	□ コスト削減の取り組みを行っている	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 成施 5 今行 現 在 i	1 5 ~ 1 6 年 度 に した改善内容 後の対応(アクション) 認識している課題	□ コスト削減の取り組みを行っている	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 成施 5 今行 現 在 記 市民,関	15~16年度に した改善内容 後の対応(アクション) 認識している課題 関係者 市民,関係者の名称	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容  改善 内容  平成12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で, 審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立 決定しており,市が新しい団体とも委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべ	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 成施 5 今行 現 在 i	15~16年度に した改善内容 後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称 意見	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容  改善 内容  平成12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で, 審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立 決定しており,市が新しい団体とも委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべ	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 今 7 現 在 で からの	15~16年度に した改善内容 後の対応(アクション) 認識している課題 場係者市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容	□ コスト削減の取り組みを行っている	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 今 7 現 在 で からの	1 5 ~ 1 6 年度に した改善内容 後の対応(アクション) 認識している課題 関係者市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で, 国審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立 決定しており,市が新しい団体とも委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべ	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 現 市か要 市か要	1 5 ~ 1 6 年 度 に 2 0 た 改 善 内 容 後の対応(アクション) 認 識 している課 題 は でいる課 題 で いる課 題 で は で いる 課 題 で は で いる は で で は で は で で は で で で で で で で で で で	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で, 審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立 決定しており,市が新しい団体とも委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべ	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 今 7 現 在 で からの	1 5 ~ 1 6 年 度 に 名 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で, 審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立 決定しており,市が新しい団体とも委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべ	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 現 市か要 市か要	1 5 ~ 1 6 年 度 に 2 と 2 と 2 と 2 と 3 を 4 と 2 と 3 を 4 と 4 と 4 と 4 と 5 と 5 と 5 と 5 と 5 と 5 と	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない  → 内容 □  → トラス □	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 現 市か要 課題 ・要	1 5 ~ 1 6 年 度 に容 後の対応(アクション) 認識 している課題 間係者 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	□ コスト削減の取り組みを行っている	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 現 市か要 課題 ・要	1 5 ~ 1 6 年 度 に 2 と 2 と 2 と 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 5 を 4 を 4 を 5 を 5	□ コスト削減の取り組みを行っている	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 現 市か要 課題 ・要	1 5 ~ 1 6 年 度 応容 後の対応(アクション) 認識 している課題 ほんち 市民,関係者の名称意見 意見,要望内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善内容 □ 改善内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し、確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で、審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて、住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立決定しており、市が新しい団体とも委託契約を結び、事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべる。 □ 平成 年 月 □ 平成 年 月	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 現 市か要 課題 ・要	1 5 ~ 1 6 年 度 応容 後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おおまり (B) おおまり (B) 対応内容 実施期限 (B) 対応内容 実施期限 (B) 対応内容 実施期限 (C) 対応内容	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善内容 □ 改善内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し、確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で、審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて、住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立決定しており、市が新しい団体とも委託契約を結び、事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべる。 □ 平成 年 月 □ 平成 年 月	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 平実 5 現 市か要 課 へ で	1 5 ~ 1 6 年 度 応容 後の対応(アクション) 認識している課題 (A) おおまり (B) おおまり (B) 対応内容 実施期限 (B) 対応内容 実施期限 (B) 対応内容 実施期限 (C) 対応内容	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善内容 □ 改善内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し、確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で、審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて、住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立決定しており、市が新しい団体とも委託契約を結び、事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべる。 □ 平成 年 月 □ 平成 年 月	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 成施 今 在 民ら 題 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	1 5 ~ 1 6 年 度 に容 後の対応(アクション) 認識している課題 原係者の名称 意見, 要望内容 実施期限 (3) 要望等 (3)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善内容 □ 改善内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し、確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で、審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて、住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立決定しており、市が新しい団体とも委託契約を結び、事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべる。 □ 平成 年 月 □ 平成 年 月	評価 , それに連 立行政法人	動して、になる	公庫のことが
3点 成施 今 在 民ら 題 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	1 5 ~ 1 6 年 度 に容 後の対応(アクション) 認識 している課題 の対応(アクション) 認識している課題 の名称 意見, 要望内容 実施期限 (1) 要望等 対応内容 実施期限 (3)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 改善内容 □ 改善内容 □ で成12年度に指定確認検査機関が発足し、確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で、審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて、住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立決定しており、市が新しい団体とも委託契約を結び、事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべる。 □ 平成 年 月 □ 平成 年 月	評価 , それに連立行政法人	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点 成施 今 在 民ら 題 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	1 5 ~ 1 6 年 度 に容 後の対応(アクション) 認識 している課題 の対応(アクション) 認識している課題 の名称 意見, 要望内容 実施期限 (1) 要望等 対応内容 実施期限 (3)	□ コスト削減の取り組みを行っている	評価 , それに連立行政法人である。	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点 成施 今 在 民ら 題 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	1 5 ~ 1 6 年 度 に容 後の対応(アクション) 認識 している課題 の対応(アクション) 認識している課題 の名称 意見, 要望内容 実施期限 (1) 要望等 対応内容 実施期限 (3)	□ コスト削減の取り組みを行っている ② 特に行っていない    → 内容	評価 おんだき かんしゅう かんしゅう おんだい かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしん かんし	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点     成施     今在     民ら     題のの善       0     の善     他(	1 5 ~ 1 6 春 年 内 で	□ コスト削減の取り組みを行っている ② 特に行っていない  → 内容  ・	評価 おおお おおお から から	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点     成施     今在     民ら     題のの善       0     の善     他(	1 5 ~ 1 6 春 年 内 で	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない  → 内容  □ 内容  □ 内容  □ 内容  □ 特に行っていない  □ 特に行っていない  □ 内容  □ 内容  □ 内容  □ 内容  □ 内容  □ 内容  □ 内容  □ 特に行っていない  □ 内容  □ 内であるかどうかを検討すべる  □ 大・  □ 内の容  □ 内の音  □ 大・ □ 現 大・ □ 現 大・ □ 日 大・ □ 日 大・ □ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	評価 おおお おおお で	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点     成施     今在     民ら     題のの善       0     の善     他(	1 5 ~ 1 6 春 年 内 で	□ コスト削減の取り組みを行っている ② 特に行っていない 内容 。  「映画 内容 」  「中成 12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で,審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立決定しており,市が新しい団体とも委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべい。  「中成 年 月 日	評価 おおお おおお おお お	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点     成施     今在     民ら     題のの善       0     の善     他(	1 5 ~ 1 6 春 年 内 で	□ コスト削減の取り組みを行っている ② 特に行っていない	評価 おおお おおお おお お	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点     成施     今在     民ら     題のの善       0     の善     他(	1 5 ~ 1 6 春 年 内 で	□ コスト削減の取り組みを行っている ② 特に行っていない 内容 。  「映画 内容 」  「中成 12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で,審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末までに独立決定しており,市が新しい団体とも委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべい。  「中成 年 月 日	評価 おおお おおお おお お	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点     成施     今     在     RO望     要     他     1	1 5 ~ 1 6 番 年 内 2 1 6 番 年 内 2 1 7 2 1 9 年 度 の 方 向 性 1 5 ~ 1 8 番 年 内 2 1 7 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 5 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 1 9 ~ 1 9 年 度 の 1 9 ~ 1 9 年 度 の 1 9 ~ 1 9 年 度 の 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9	□ コスト削減の取り組みを行っている ② 特に行っていない 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 改善 内容 □ 内容 □ 内容 □ 内容 □ 内部 前しい回体とも委託契約を結び、事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべい □ 中成 □ 日 □ 中成 □ 日 □ 日 □ 中成 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □	評価 おおお おおお おお お	動して、になる。といえ	公庫のことがる。
3点     成施     今     在     RO望     要     他     1	1 5 ~ 1 6 番 年 内 2 1 6 番 年 内 2 1 7 2 1 9 年 度 の 方 向 性 1 5 ~ 1 8 番 年 内 2 1 7 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 5 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 性 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 か 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 1 9 ~ 1 9 年 度 の 方 向 1 9 ~ 1 9 年 度 の 1 9 ~ 1 9 年 度 の 1 9 ~ 1 9 年 度 の 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9 ~ 1 9	□ コスト削減の取り組みを行っている ② 特に行っていない	評価 おおお おおお おお お	動して、になる。といえ	公庫のことがる。

( — 報				1														1
כניו ו	金事	業)	事業	コード	4310260	)							部		長次	長	課	長
`												†						
平成1	1 5 <b>£</b>	丰度	事 :	業 名	租税特別	別措置法	に基づ	く優良住宅	官の認定事務									
1 7-70		. ~~			12170137				5 -									
1 重	業	概要	更(ドゥ)												•			•
					4 144	流でこっ	7 +110	セッション サー	<b>ベノ</b> ロ						Z+D ÷Ω †7			
			まり ノ (	りの目標									所	管	建設部			
総合	計	. 画		中	3 安	全で快通	適な生活	基盤の充	実				171		*** 建築指導	課		
政策				小	<b>4</b> 仕	宅の整備	#.						66 수	5 锂 匡 氏:	名 林 繁樹	<del>.</del>		
	שונו	-		-	1 11	での正常	H											
体		系		細									記 .	入者氏:	名尾高 尚	<b>ó純</b>		
事		業	期	間					経常臨時	<b>✓</b> 4	産常 □	臨時	電	話番	号 0797-38·	-2114	内線 2	2918
									光工山田町山		<u>т</u> п ⊔	I EMHA				2117	P 3 NOK 4	2310
根数	処	法	令 ' 舅	要綱 等	租机特别	別措置法	<u> </u>						実	施主	本市			
実		施	手	法	☑ 直	· 쓸		□ 一部	<b>『委託</b>		全部委託	f.	П	補助金		負担金		
委		.,,,	<del></del> 託				<b>F</b> ±1									<u> </u>		
安			記	兀		·郭団体都		名称						委託内				
					一定の値	優良な住	宅につい	ハて税制」	上の優遇措置を	E講じる	ことに	より、良質	質な付	主宅及び宅	地の供給を	促進する	0	
事	業	£	の	概 要														
<del></del>	未	₹	0)	15% 女														
					傷良住3	宅の認定	?											
									w == ··· =									
事	業	€	の	現状	この事詞	業では,	台所,	水洗便所,	,洗面設備及び	)浴室並	ひに収	納が無い	王宅,	で床面積が	40平方メ-	・トル未満	の住宅を	認定基
	E	的自	₹現のため	O O	ı±ਰ*ਰ :	ーレにょ	(1) (原)	良か住宅+	が提供されるこ	- とを日	的上1.	ている						
					ودحا		・ファ 変	スタルてん	1 1/5 C 1 6 00 C	- C C A	ں ے رہ	CV100						
	手	-段及	なび実施内	]谷														
		1		北	盾占少于	<b>少</b> 韧 宁 严	- *h											
				指標名														
			結果指標	年 度	平成 1	3年度(	(実績)	平成14	年度(実績)	平成 1	5年度	(実績)	平	成16年度	【(目標)	平成 1 7	7年度(目	標)
				指標値		0 件			1件		1 件			1 作	E		1件	
						O I I												
アウト	トフ	ット		単位コスト				303,	000円/件	29	6,000円	] / 件		235,000F	9/件	235	,000円/作	<del>†</del> ∣
指		標		指標 名	優良住3	字認定戸	数(優	良住宅供給	合戸数)									
										च ते 1	r 左 莊	(中雄)	777	<b>武16年</b> 年	F / 口插 \	च ते 1 -	7年度(日	1+= /
			結果指標	平 岌	平成「		、夫縜)		年度(実績)	平成「		(実績)	+	成16年度	2(日信)	平成「	7年度(目	(信)
			(2)	指標値		0戸		4	4 8戸		4 8 F	=		-			-	
				単位コスト														
	- 3112																	
2 事	業	成り	艮(アウト	トカム)														
			対	象	住宅の類	購入者												
		L																
事業(	の目	目的	対象カ	バー 率	対象	数 (a)			受 益 数	女 (b)		48戸		比 率 (b	÷ a) %			
対 象	, 崔	音 図												•				
V1 3/	/0		**	F	/	n# \ +v /v		/										
			意	凶	性毛の類	購入者か	慢民な	圧毛を購り	へできることを	目的と	する。							
			(対象を主	<b>注語にして</b> )														
			`	,														
١.																		
大	ð																	
		•	な	目 的	居住水	準の向上	<u>-</u>											
		•	な	目 的	居住水	準の向上	_											
		:				準の向上	-											
				指標名		準の向上	-											
						準の向上	<u> </u>											
			中間成果	指標名 考え方·式				平成 1 4	年度(実績)	平成 1	5年度	:(実績)	亚	成16年度	ま(目標)	平成 1 -	7 年度(目	標)
			中間成果 指 標	指 標 名 考え方·式 年 度	平成 1			平成 1 4	年度(実績)	平成 1	5年度	〔(実績)	平	成16年度	〔〔目標〕	平成 1 7	7年度(目	標)
アウ	トカ	<b>Д</b>	中間成果指  標	指標名 考え方·式 年 度 指標値	平成 1	3年度(		平成 1 4	年度(実績)	平成 1	5年度	〔実績〕	平	成 1 6 年度	臣(目標)	平成17	7年度(目	標)
ア ウ 指	トカ		中間成果指  標	指 標 名 考え方·式 年 度	平成 1	3年度(		平成 1 4	年度 (実績)	平成 1	5年度	〔(実績)	平	成16年度	[〔目標〕	平成 1 7	7年度(目	標)
	トカ	フム 標	中間成果指  標	指標名 考え方·式 年 度 指標値 指標名	平成1	3年度(	〔実績〕											
	トカ	コム <sub>[</sub> 標	中間成果指標	指標名 考え方·式度 指標值 指標点方·式	平成 1 優良住等販売目的	3年度 ( 宅率 りに建て!	〔実績 <b>〕</b> られたフ	アミリーク	タイプの住戸で	,専有面	面積が40	平方メート	- <b>ル</b> 以	人上あり生活	舌に必要な詞	段備の整っ	た住宅の害	副合
	トカ	コム <sub>[</sub> 標	中間成果指標級成果	指 標 名式 年 標 標 方 指 標 標 表 方・式 度 値 名 式 度	平成 1 優良住 <sup>3</sup> 販売目的 平成 1	3年度 ( 宅率 りに建て!	〔実績 <b>〕</b> られたフ	ァミリーク 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績)	,専有面	面積が40 5 年度	平方メート	- <b>ル</b> 以	人上あり生活	舌に必要な詞	及備の整っ 平成 1	た住宅の害 7 年度(目	副合
	トカ	コム <sub>[</sub> 標	中間成果指標級成果	指標名 考え方·式度 指標值 指標点方·式	平成 1 優良住 <sup>3</sup> 販売目的 平成 1	3年度 ( 宅率 りに建て!	〔実績〕 られたフ 〔実績〕	ァミリーク 平成 1 4	タイプの住戸で	,専有面	面積が40	平方メート	- <b>ル</b> 以	人上あり生活	舌に必要な記 【(目標)	及備の整っ 平成 1	た住宅の害	副合
	<b>ト</b>	コム <sub>[</sub> 標	中間成果指標級成果	指 標 名式 年 標 標 方 指 標 標 表 方・式 度 値 名 式 度	平成 1 優良住 <sup>3</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度(	〔実績〕 られたフ 〔実績〕	ァミリーク 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績)	,専有面	面積が40 5 年度	平方メート	- <b>ル</b> 以	人上あり生活 成16年度	舌に必要な記 【(目標)	及備の整っ 平成 1	た住宅の害 7 年度(目	副合
指		ュム <sub>[</sub> 標	中間成果標量終成果標	指考え 標標方 標標 京方 · 標標 京方 · 標標 標 京 方 · 標標 標 京 方 · 標  標	平成 1 優良住 <sup>3</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度(	〔実績〕 られたフ 〔実績〕	ァミリーク 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績)	,専有面	面積が40 5 年度	平方メート	- <b>ル</b> 以	人上あり生活 成16年度	舌に必要な記 【(目標)	及備の整っ 平成 1	た住宅の害 7 年度(目	副合
指		ュム <sub>[</sub> 標	中間成果標量終成果標	指 標 名式 年 標 標 方 指 標 標 表 方・式 度 値 名 式 度	平成 1 優良住 <sup>3</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度(	〔実績〕 られたフ 〔実績〕	ァミリーク 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績)	,専有面	面積が40 5 年度	平方メート	- <b>ル</b> 以	人上あり生活 成16年度	舌に必要な記 【(目標)	及備の整っ 平成 1	た住宅の害 7 年度(目	副合
指		ュム <sub>[</sub> 標	中間成果標量終成果標	指考え 標標方 標標 京方 · 標標 京方 · 標標 標 京 方 · 標標 標 京 方 · 標  標	平成 1 優良住 <sup>3</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度(	〔実績〕 られたフ 〔実績〕	ァミリーク 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績)	,専有面	面積が40 5 年度	平方メート	- <b>ル</b> 以	人上あり生活 成16年度	舌に必要な記 【(目標)	及備の整っ 平成 1	た住宅の害 7 年度(目	副合
指 芦屋市	市の	つ 点標	中間成果 指 標 最終成果 指 標	指考年 標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標準 まる式度値名式度値 事	平成 1 優良住 <sup>3</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度(	〔実績〕 られたフ 〔実績〕	ァミリーク 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績)	,専有面平成 1	面積が40 5年度 100	平方メー   (実績) %	トル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E ( 目標 ) %	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指芦屋市	市の	フム 標 特色 <b>費</b> ・	中間成果 根 服 根 が 根 に が は で 補 が 活 動 配 活 動 配 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	指考え 年 指 書 表 年 指 書 表 ま 標 標 方・標 標 恵 す ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	平成 1 優良住 <sup>5</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ 「実績) 6	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00%	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メー   (実績) %	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) %	受備の整っ	た住宅の害 7 年度(目	標)
指 芦屋市	市の	つ 点標	中間成果 指 標 最終成果 指 標	指考年 指指考年 指 える 工度値名 式度値 名 式度値 項 ト	平成 1 優良住 <sup>5</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ 「実績) 6	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績)	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メー   (実績) %	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) %	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指芦屋市	市の	ム標等	中間成果 根 経 が 根 経 が は で る が る が る が る が る う る う る う る う る う る う	指考え方・ 年 指指考年 指 表え 度値名式度値	平成 1 優良住 <sup>5</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ 「実績) 6	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00%	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メー   (実績) %	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) %	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指芦屋市	市の	なった。	中間成果 提絡成標 指 を 活動配 費 件 費	指 考 年 指 指 標 標 標 病 方 ・ に ま 表 年 ま ま に に に ま に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	平成 1 優良住 <sup>5</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) ( (決算) 346	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % 9 (決算) 328	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) % ) ) ( 4 E (予算)	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指 芦屋下 3事	市の	ム標等を登業人事	中間 成標 根 が 成成 は が が が が が が が が が が が が が が り で り で り 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	指 考 年 指 指 標 標 標 病 方 ・ に ま 表 年 ま ま に に に ま に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	平成 1 優良住 <sup>5</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) (6	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算)	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メー   (実績) % 9 (決算)	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) %	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指 芦屋下 3事	市の	ム標等を登業人事	中間成果 提絡成標 指 を 活動配 費 件 費	指 考 年 指 指 標 標 標 病 方 ・ に ま 表 年 ま ま に に に ま に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	平成 1 優良住 <sup>5</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) ( (決算) 346	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % 9 (決算) 328	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) % ) ) ( 4 E (予算)	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の	ム 標 特 費 業 人 事 也	中間成果標 最終成果標 は が 動配費費費費	指 考 年 指 指 標 標 標 病 方 ・ に ま 表 年 ま ま に に に ま に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	平成 1 優良住 <sup>5</sup> 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) ( (決算) 346	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % 9 (決算) 328	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) % ) ) ( 4 E (予算)	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の業には、	」	中指 最指 な 活 件業門償 果標 補 配費費費費費	指表えて 年指 指表えて標標 持ええで 標標 方・標標 方・標標 インス度値 インス度値 インス度値 インスの インスの インスの インスの インスの インスの インスの インスの	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ (実績) 6 (決算) 346 0	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度 (実績) 00% 年度 (決算) 338 0	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績)% 9 (決算) 328 3	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E (目標) % ) 4 E (予算) -4 	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の業には、	ム 標 特 費 業 人 事 也	中間成果標 最終成果標 は が 動配費費費費	指表えて 年指 指表えて標標 持ええで 標標方・標標 インス度値 インス度値 インス度値 インスの インスの インスの インスの インスの インスの インスの インスの	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) ( (決算) 346	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % 9 (決算) 328	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	舌に必要な記 E (目標) % ) ) ( 4 E (予算)	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の製料の製料を	」	中指 最指 な 動 費費費費費 計	指 考え 年 指 表 年 標標 標標 素 大 年 指 表 年 ま え ま ま す る は は の は の の の の の の の の の の の の の	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ (実績) 6 (決算) 346 0	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度 (実績) 00% 年度 (決算) 338 0	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績)% 9 (決算) 328 3	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E (目標) % ) 4 E (予算) -4 	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の <b>業</b> 訳(1)	」	中指 最指 な 活 件業門償・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指 考え 年 指 表 年 標標 病 病 標標 病 有 に ま る は ま る は は ま る は の の の の の の の の の の の の の	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ (実績) 6 (決算) 346 0	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338 0	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績)% 9 (決算) 328 3	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E (目標) % ) 4 E (予算) -4 	受備の整っ	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の業別では、		中指 最指 な 動 経却 経却 養費費費 <b>計</b> 県等	指 考	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ (実績) 6 (決算) 346 0	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338 0	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % 9 (決算) 328 3 331	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E (目標) % ) 4 E (予算) -4 	役備の整っ 平成 1	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の業別では、		中指 最指 な 活 件業門償・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指 考	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	「実績) られたフ (実績) 6 (決算) 346 0	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338 0	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績)% 9 (決算) 328 3	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E (目標) % ) 4 E (予算) -4 	役備の整っ 平成 1	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の業に対しては、源りには、源りには、源りには、源りには、源りには、源りには、源りには、源りに	力標 特費業   部価	中指 最指 な 動 を を動 を を動 を を 動 を を 動 を を 動 き を り し の し の し の し の り の り の り の り の り の り	指標 名式度 年 標標 高	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) 6 (決算) 346 0	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338 0	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % 9 (決算) 328 3 331	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E(目標) % ) 4 E(予算) - - 4	役備の整っ 平成 1	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市の業に別り、「「「「」」では、「「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では	コ 特 費業   部価	中指 最指 な 活 件業門償・債の 財 機 が 配費費費費計県等他源	指標 名式度 値名式度 値名式度 値名式度 値名式度 値名 事項 か (コスト 横 が 99.1% 0.9% 100.0% 89.4% 89.4%	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) 6 346 346	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338 0 338 35 303	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % (実績) 328 331 35 296	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E (目標) % ) 4 E (予算) -4 	役備の整っ 平成 1	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市業(一代)の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」	ム標 特費業 人事也成 <b>合</b> 国市そ一職	中指 最指 な 活 件業門償・債の 財 成 成 が 動 の を 果標 果標 補 配費費費費計県等他源員	指標 名式度 年 標 値 若え方・式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 100.0% 100.0%	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) 6 (決算) 346 0	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338 0 <b>338</b>	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % 9 (決算) 328 3 331	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E(目標) % ) 4 E(予算) - - 4	役備の整っ 平成 1	た住宅の割7年度(目100%	標)
指	市業(一代)の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」の「一年」	ム標 特費業 人事也成 <b>合</b> 国市そ一職	中指 最指 な 活 件業門償・債の 財 機 が 配費費費費計県等他源	指標 名式度 年 標 値 若え方・式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 100.0% 100.0%	平成 1 優良住3 販売目的 平成 1	3年度( 宅率 りに建て! 3年度( 100%	(実績) られたフ (実績) 6 346 346	ァミリーグ 平成 1 4	タイプの住戸で 年度(実績) 00% 年度(決算) 338 0 338 35 303	, 専有可平成 1	面積が40 5 年度 1 0 0	平方メート (実績) % (実績) 328 331 35 296	・ル以平	人上あり生活 成 1 6 年度 1 0 0	話に必要な記 E(目標) % ) 4 E(予算) - - 4	役備の整っ 平成 1	た住宅の割7年度(目100%	標)

±π	<u> </u>	ı <u>-</u>		≒並(悪イーックリフト	1 \2 ± π / π	2 2 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1
評		点		評価チェックリスト	「次評価	2次評価
	目的妥当性(	2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確で			
	· ·			こ不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
_		_,	☑ 市が実施するよう法律領			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の			
				□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて -		4	3
	市民ニーズ(2	2 ~ 1)	┗━▶ □ ニーズが高い	□ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
性			□ 数字で把握			
8点	社会環境変化	¥(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境	筒の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		_ (	内容			
	優先性,緊急	性(1)	□ 事業を実施しなければ	、市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率	<b>≊</b> (1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い			
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整	整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値	直を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	2	3
XVJ	八木の大順(	2 1)	▶ ☑ 実績値から成果が	があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		3
性	世田白 L 全t		成果があがっていない場合	合		
4点	- 成果向上余均	·맫(1~ 1)	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある	団体名 近隣市 🗌 比較できる団体はない		
	₩ / <del>\</del> ¬ ¬   /4	4)	□ 他団体の数字を把握し	レている 単位コスト ☑ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	┗ し 他団体よりコストが	「低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	22 × 2 + 11/	0 4)	☑ 負担を求めることができ	きる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(	0~ 1)	└▶ ☑ 現在,適正な負担	望あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )	4	4
率				行)または出資団体へ委託している業務について	1	- 1
			☑ 正規職員による執行が			
	手段(1~ 3	)		は対応できない業務である 日間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			,	は対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点			□ コスト削減の取り組みを			
0,,,,	コスト削減取	組(1~ 1)		正な処理を行うように心がけている。		
			特に無し			
平成	1 5 ~ 1 6	年度に	題	改善 総語	A	В
美 池	した改善	善 内 谷		内容	'   ' `	
5 今1	後の対応(ア	クション)				ı
		,	に無し			
TD +- 4			ric <del></del> U			
現 住	認識してい	る課題	ric <del>m</del> U			
块 仕 記	認識してい	る 課 題	nc <del>m</del> ∪			
	認識してい		IC無U			
	関係者 市民,関係	係者の名称	riciii U			
市民,関 からの	関係者 市民,関係 意見 音見		ric <del>iii</del> U			
市民,関 からの	関係者 市民,関係 意見 音見	係者の名称 要 望 内 容	IC## U			
市民,関 からの	想係者 市民,関係意見 意見 意見,意	係者の名称	IC#R U			
市民,関 からの	関係者 市民,関係 意見 音見	系者の名称 要 望 内 容 対応内容		目		
市民,関からの要望	見係者 市民,関係意見 意見, 事 (1)	系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限		月		
市民,関 からの	関係者 市民,関係 意見, 語 見, 語 (1)	系者の名称 要 望 内 容 対応内容		月		
市民,関からの要望	関係者 意見 意見 (1) 要望等 (2)	系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	成年			
市民,関からの要望	関係者 意見 意見 (1) 要望等 (2)	系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	成年	月		
市民,関からの要望	有係者 意見 意見, (1) 是望等 (2) 対応	系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	成年			
市民,関からの要望	関係者 意見 意見 (1) 要望等 (2)	系者の名称 要望内内容 対応期内内 実施期内容 実施のの期限容 実対応の期の容	成 年 成	月		
市民,関からの要望	有係者 意見 意見, (1) 是望等 (2) 対応	系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	成 年 成			
市民、関から望課題・要への言	(1) (1) (2) (3)	系者の名称 要望内内容 対応期内内期内内期内の期内容 実施の期内容 実施の期内容 実施の期の容別	成 年 成	月		
市民の要課のでは、要のでは、要のでは、またのでは	根係者 意見 意見, 意見, (1) 要望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要望内内容 対応期内内期内内期内の期内容 実施の期内容 実施期内容 実施期の存り	成 年 成	月		
市民の要課のでは、要のでは、要のでは、またのでは	(1) (1) (2) (3)	系者の名称 要望内内容 対応期内内期内内期内の期内容 実施の期内容 実施期内容 実施期の存り	成 年 成	月月	性 1次評価	2次評価
市民の要課のでは、要のでは、要のでは、またのでは	根係者 意見 意見, 意見, (1) 要望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要望内内容 対応期内内期内内期内の期内容 実施の期内容 実施期内容 実施期の存り	成 年 成 年 成 年 成 年	月月		2次評価
市民の要課のです。	根係者 意見 意見, 意見, (1) 要望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要望内内容 対応期内内期内内期内の期内容 実施の期内容 実施期内容 実施期の存り	成 年 成 年 成 年 成 年	月 月 タ後の方向ないが認定基準に適合しており、現状維持が適切であると考える。 拡 大 ・ 充	実	2次評価
市民の要課のです。	根係者 意見 意見, 意見, (1) 要望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要望内内容 対応期内内期内内期内の期内容 実施の期内容 実施期内容 実施期の存り	成 年 成 年 成 年 成 年	月   月   今後の方向ないが認定基準に適合しており、現状維持が適切であると考える。   拡 大 ・ 充 現 状 維	実持	2次評価
市か要課への多の善のの事がである。	根係者 意見, 意見, 意見, (1) を望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要 望 応 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	成 年 成 年 成 年 成 年	月	持善	2次評価
市か要課への多の善のの事がである。	根係者 意見 意見, 意見, (1) 要望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要 望 応 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	成 年 成 年 成 年 成 年	月	持善等	2次評価
市か要課への多の善のの事がである。	根係者 意見, 意見, 意見, (1) を望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要 望 応 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	成 年 成 年 成 年 成 年	月	実 持 善 等 小	2次評価
市か要課への多の善のの事がである。	根係者 意見, 意見, 意見, (1) を望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要 望 応 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	成 年 成 年 成 年 成 年	月	実 持 善 等 小 定	2次評価
市か要課への多の善のの事がである。	根係者 意見, 意見, 意見, (1) を望等 (2) 対応 (3)	系者の名称 要 望 応 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	成 年 成 年 成 年 成 年	月	実 持 善 等 小 定	2次評価
市か要 課 へ そ改 平 民ら 題 の の善 成 1	高 高 意 見 (1) 要 (2) 対 (3) と もの 7 ~ 19年度	系 要 対 実 対 実 対 実 対 実 が 溶 容 容 限 容 限 容 限 の 方 向 性	成 年 成 年 成 年 成 年	月	実 持 善 等 小 定	2次評価
市か要 課 へ そ改 平 民ら 題 の の善 成 1	根係者 意見, 意見, 意見, (1) を望等 (2) 対応 (3)	系 要 対 実 対 実 対 実 対 実 が 溶 容 容 限 容 限 容 限 の 方 向 性	成 年 成 年 成 年 成 年	月	実 持 善 等 小 定	2次評価

( <del>-  </del>	设事	事業)	事	業	<b>_</b> _	۲	44206	600				1	部	長	次	長言	果	長
亚战	1 5	年度	重		業	夕	层 F	緑化計画の届出に	関すること									
1 /3%	, ,	712	7		*	Н	注上,		x, , o c c									
4 =	<b>=</b> ≥	TT TO 1	<del></del>	* . \											<u> </u>			
		業概:	_		/ I)	□ +m		小帝でラスカリの	セッ 初 士 づ ノ	17					Z <del>±</del> 1 ÷Ω →Ω			
第3次総合			_		(リのE	3 信		快適でうるおいの 個性と風格のある		<i>'</i>			所	管 課	建設部建築指導	-≐⊞		
施 耳					<u>中</u> 小			緑の保全と育成	担业のの制造				66 答:	理阜氏名	建架拍导 林 繁樹			
体体	< 1.	心系	-		細		2	派の休里と自成							島津 久			
事		業		其		間	平成	<u>                                     </u>		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話		0797-38-		内線	2918
-	拠	法	令		<del>.</del> 要綱			の保全と創造に関す	する条例	WET 113 EMM. 3		, man, , ,			市		1 3 11/3	
実		施		- 手		法	<b>V</b>	直営		ŧ	□ 全部委託	E		 甫助金		負担金		
委			訊	;		先		外郭団体委託	名称			□民間	<b>季託</b>	委託内容				
							建築	物を新たに緑化スク	ペースとして払	足え,大規	模な建築物の	屋上等の	緑化を	義務づける	ることによ	って,		
事		業	$\sigma$	)	概	要	都市:	環境問題の改善を	図る。									
								規模以上の建築物で		合に ,屋上	や壁面の緑化	を義務付	ナ , そ(	の計画の履	国出に関し	て		
事		業	σ,		現	状	審查	及び指導等を行う。										
		目的																
		手段.	及び	<b>美施</b> 内	]容													
					+比 +西	47	43/レ	 計画届数										
			幺± 日	!指標				13年度(実績)	平成14年度	・ ( 宇結 )	平成15年度	(宇績)	亚战	16年度	(日標)	平成 1 7	/ 午度 /	日煙)
				รายา <del>ภ</del> 1)	指標	<u>`</u> ~	113%		3件	• •	6件	• •	777	5件		T-13%, 1 7	5件	ᄓᇷᄼ
アウ	١.	プット	١,	' /	単位コ	-			-		315,429			157,616円	1/件	204	,900円/	件
指		- · · · 標			指標		完				2127121	3,11		,	,,,,		,	
-				!指標		_		13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
			(	2)	指 標	値		-	-		1件	:		8件			5件	
					単位コ						315,429	円/件		157,616円	]/件	204	,900円/	件
2 -	事	業成	果(:	アウ	トカム)	)												
			対			象	市街	化区域において建築	築面積1.0(	0 0 ㎡以上	の建築物を新	築する者						
312																		
				家 兀	1 // –	平	对 豸	R 数 (a)	6件	受 益 数	( (b)	6件	į	比	÷ a) %	1	0 0 %	
対象	•	思区	意			図	市街	化区域において建築	築面積1,00	0 0 ㎡以上	の建築物を新	築する者に	は,当記	该建築物の	の屋上面積	の20%	以上を	,建築
				免を:	主語にし		物の	緑地として確保した	なければならな	ない。								
			(\neq)	3(		()												
大		き	な		目	的	都市	部のヒートアイラン	ンド現象を緩和	回するとと	:もに , 建物の	冷暖房効果	率を高め	め,地球温	温暖化対策	に貢献す	る。	
											,			,			•	
					指 標	名	屋上	緑化面積										
			中間	成果	考え方	j·式	当該	によって屋上緑化等	等の整備がさ∤	<b>れた面積</b>								
			指	標	年		平成	13年度(実績)	平成14年度	【(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1 7	年度(	目標)
アウ	۲	カム	\		指 標			-	-		0 m	1	7	769.1	8 m²	8	3 0 0 m²	
指		標						緑化による気温の位										
								を緑化することに						4.6.左座	/口無>	TF 4 7	左南人	
			指	枵	年		半放	13年度(実績)	平成14年度	〔(美績)						平成 1 7		
					指標	1但		<u>-</u>	-		市単独分の計	測は小り	中里	独分の計	則は不可	市単独分	が計測	は小り
古层	<b>+</b> /	の性	色か	ば浦!	足する事	車 百												
	, רוו	UJ 11J	<b>□</b> ′&	_ IHI /	C 7 0 =	开块												
3 =	ĒÌ	<b>坐</b> 費	·活	助配	分(コ)	<u>スト</u>	)				1世帯当り(円)	57	住民1/	人当り(円)	25	平成16.4.1	1 住民星	本台帳
事	, ,	業	<i>т</i> н.	<del>",[]</del>			平成	13年度(決算)	平成14年度	【(決算)	平成15年度			16年度				
		人	件	費	9	9.2%		_		-		2,195			-		人件費	貴∶2,037
		事	業	費	i (	0.8%		_		-		18			17			
内	訳	他音	17 門	経 費	į										-			
( 千 F	円)		賃		_										-			
		合		Ħ		0.0%		0		0		2,213			17			
n.,		国	, /==	県		0.2%						5	ļ		5			ļ
財・イト				等									<del>                                     </del>					
(千F	<del>၂</del> )		<u>の</u>			0.0%		^		0		2 200			10			
活	番h	職	般!	<b>才源</b>	.	<b>9.8%</b> 0.0%		0		U		<b>2,208</b> 0.30			12			
		嘱訊	F. 防			0.0%						0.30			-			
化人			. ada	計		0.0%		0.00		0.00		0.30			0.00			

4 証価(チェック)

1 <b>±</b> 07	<u> </u>			4.55 ****	- 2.5±±±.7±
評	価 視	点	評価チェックリスト		2次評価
	目的妥当性(	2 ~ 2)		の目的は一つに絞ることができない	
			□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献		
	<b>→</b> □□ ⊢ /o	0)		でやるべき、または対応可能である	
妥	市関与(2~	2)		体では見直しがされている	
114				れにも該当しない	ာ
当	+	2 4)		ニーズに基づいて行う事業ではない	3
444	市民ニーズ(2	2~ 1)		ズが高いとは言えない,または未把握	
性 8点			□ 数字で把握している □ 数字で把握している □ 社会 □ 社会		
ᇮᄴ	社会環境変化	<b>化(1~ 1)</b>	内容 都市緑化促進事業助成金の募集(兵庫県)	現現の支 化にのり せた兄直 ひか必安	
	優先性,緊急	9性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率	- ' '	<ul><li>□ す業と失過しなければ、おけび、工能 , 気生をかける</li><li>□ 対象カバー率は高い</li><li>□ 他団体と同程度</li></ul>	□ 他団体よりカバー率が低い	
有	受益者(1~	• •		「不整合,または受益が一部に限定	
4.1	·	,	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績	(古また) はロ (声) ながまさつ )	
効	成果の実績(	2 ~ 1)		値から成果があがっていると言えない 3	3
性	世田白 上〇十	.lh/4 4)	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余均	也(1~ 1)	② 成果向上策あり 都市緑化促進事業助成金(兵庫県)の推	<b>進</b> □ 特になし	
				できる団体はない	
	単位コスト(1	~ 1\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト	☑ 把握していない	
効	キロコヘド()	- 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度	□ 他団体よりコストが高い	
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求める/		
率	× = 1 × 1=(	.,	▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収		_1
•			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務にご		
	手段(1~ 3	)		, 家庭, 地域等が担うべき部分がある	
		,	<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間</li></ul>	· ·	
性			•	, 臨時職員等で対応可能である	
3点	コスト削減取	組(1~ 1)		行っていない	
			□ 内容 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	推進することによって,	
平 成	1 5 ~ 1 6	年度に	頭睛	敷供 ななま   総合   D	В
実 施	した改善	善内 容	内容している。	聖備を従り。   評価   日	
5 今後	<u></u>	クション)			1
		· · · · · · ·	F間に当該事業の対象になる建築物は非常に少ないため , 市単体で	では当該事業の成果を見ることが難しい。	
現在意	認識してい	る課題			
	信子 市民,関	係者の名称			
からの					
要望	等思先,	要望内容			
		要望内容			
	(1)	要望内容			
	(1)	対応内容			
寶頭. 西	. , ,		z <sub>成</sub> 年 月		
課題・要	望等	対応内容	<sup>z</sup> 成 年 月		
	望等 (2)	対応内容実施期限対応内容			
課題・要へのう	望等 (2)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限			
	望等 (2)	対応内容実施期限対応内容			
	望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	<sup>2</sup> 成 年 月		
	望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	<sup>2</sup> 成 年 月		
へ の ゔ	望等 (2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	<sup>Z</sup> 成 年 月		
へのす	(2) 対 応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	Z成 年 月  Z成 年 月  R市緑化促進事業助成金の推進(兵庫県)		
へのす	記望等 (2) 対 応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成 年 月    一	今後の方向性 1次評価	i 2次評価
へのす	記望等 (2) 対 応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	五成 年 月  五成 年 月  万成 年 月  万市緑化促進事業助成金の推進(兵庫県)  下市緑地保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野	野かつ長いスパンで 拡大・充実	fi 2次評価
へのす	記望等 (2) 対 応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	五成 年 月  「本成 年 月  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記が保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  「エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	予かつ長いスパンで 拡 大 · 充 実 ⇒等の支援制度を 現 状 維 持	i 2次評価
へのう	記望等 (2) 対 応 (3) 2考えられる の ア イ デ ア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	五成 年 月  五成 年 月  万成 年 月  万市緑化促進事業助成金の推進(兵庫県)  下市緑地保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野	野かつ長いスパンで 拡大・充実 ⇒等の支援制度を 現状維持 方法改善	fi 2次評価
へのう	記望等 (2) 対 応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	五成 年 月  「本成 年 月  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記が保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  「エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	野かつ長いスパンで   拡 大 · 充 実 現 · 状 維 · 持 方 法 改 善 民間 委託 等	1 2次評価
へのう	記望等 (2) 対 応 (3) 2考えられる の ア イ デ ア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	五成 年 月  「本成 年 月  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記が保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  「エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	野かつ長いスパンで   拡 大 · 充 実 現 状 維 持 方 法 改 善 民間委託等 縮 小	1 2次評価
へのう	記望等 (2) 対 応 (3) 2考えられる の ア イ デ ア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	五成 年 月  「本成 年 月  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記が保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  「エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	がつ長いスパンで   拡 大 · 充 実 現   状 維   持 方   法 改 善   民 間 委 託 等 縮	1 2次評価
へのう	記望等 (2) 対 応 (3) 2考えられる の ア イ デ ア	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	五成 年 月  「本成 年 月  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記が保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  「エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	野かつ長いスパンで   拡 大 · 充 実 現 状 維 持 方 法 改 善 民間委託等 縮 小	fi 2次評価
その他改善の	記望等 (2) 対応 (3) ま考えられるアフィデア 7~19年度	対応内容 実施期内容 実施が 実施が 実施が 実施が 実施が を の方向性	五成 年 月  「本成 年 月  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記が保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  「エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野であるので、関係法名	がつ長いスパンで   拡 大 · 充 実 現   状 維   持 方   法 改 善   民 間 委 託 等 縮	2 次評価
その他で 平成 1	記望等 (2) 対 応 (3) 2考えられる の ア イ デ ア	対応内容 実施期内容 実施が 実施が 実施が 実施が 実施が を の方向性	五成 年 月  「本成 年 月  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記れては事業的成金の推進(兵庫県)  「下記が保全法の規定による緑化施設整備計画認定制度の利用  「エートアイランド現象の緩和や冷暖房効率の改善等という広い視野であるので、関係法名	がつ長いスパンで   拡 大 · 充 実 現   状 維   持 方   法 改 善   民 間 委 託 等 縮	1 2次評価

(投)	資事	業)	事業	ŧ	<b>_</b> _	۴	4210	090			]	部		長次		長	課	長
平成	1 5	年度	車	à	<u></u>	夕	结规											
T 13%	, 1 J	十反	₹	7	*	П	ים און בון	尹未(山丁轩冰)			]							
_																		
			<u> 要(ド:</u>															
			まちこ			標		快適でうるおいの				所	管	=里	设部			
総合					<u>†                                    </u>			快適な交通体系の				4			路課			
政员	表 所				<u>'</u>		1	幹線道路・交通機	能の整備				宣課 長氏					
体		系			細			<u> </u>	0 T 0 D				入者氏				1.64	
事	+bn	業	令 '	期				5年8月~平成2		☑ 投資 □	臨時	電中	話番		97 - 3	8 - 2074	内線	2941
根	拠		₹ '						道路整備緊急措置法 ☑ 一部委託		·		施主	14		수비스		
<u>実</u> 委		施	÷τ	手					会称 兵庫県土地開発公	全部委託			補助金	京田:		負担金		
女			託						石称  共庫宗工地開光公 街路事業は,阪神地域を				を託内	谷田	也积和	争伤		
事	3	業	Ø		概				<sub>国路争乗は,阪神地域で</sub> 路線として整備を進めて		以针称坦	EH C	, נינט,					
7	5	*	0)		141	女			暗録として歪備を進めて 幅員22m~34m	. v 100								
									大原工区:平成5年度,	<b>西丁区・</b> 亚成	7年度	車丁	区・五박	10年度	(1) を	取得1.事	<b>举</b> 差毛	
									ス原工区:十成3千及, 93%,約38782n			<b>*</b> _	_C . \\\	,10+15	2) ~	ᄊᅜᅜ	未自丁	
事	à	業	Ø		現	<del>/ </del> k			タラル, MJS 0 7 0 2 11 路整備工事に着手し , 1			区間	で道路整	備を完	マポ	上75丁事	<b>.</b> ф	
7	7	~	0,		276	1/1			ロ正備エずに冒うる, っては,地元自治会を追							00 T +	'	
	-	目的写	実現の7	t <del>-</del> め	D				域住民と話し合い対策を		12 C)11 E	0-2	-101 - 1007 5	C 10, G				
			ひ実施															
					指標	名	事業											
			結果指	標	考え方	·式	事業	進捗率 = 執行済み	事業費/全体事業費									
			(1)		年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年	度(目	標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	トフ	<sup>プ</sup> ット		Ī	指 標	値		5 9 %	6 5 %	71%	)		7 7	%			81%	
指		標			指 標	名	用地	取得率		•								
			結果指	標	考え方	·式	用地	取得率 = 用地取得	済み面積/全体用地面積									
			(2)		年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年	度(目	標)	平成 1	7年度(	目標)
					指標	値		80%	8 6 %	9 3 %	)		9 7	%			100%	
2	事業	€成5	果(ア	ウト	<u>・カム)</u>													
						_	• th:	域幹線道路として	整備し,交通の円滑化と	- 都市機能の向	1上を図る							
<del>-</del> »			対			冢			以北地域の安全性や利便									
事業																		
対象	ξ',	思凶				ভিস		道2号の交通混雑( 芦屋駅周辺の交通:										
			总 が象	を‡	語にし				<sup>低報の解析</sup> の生活道路の交通混雑の	D解消 , 交通事	故の解消							
			(V)3(															
大	7	ŧ	な		目	的	阪神	・淡路大震災時に	芦屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上,	があり、当時の	救援・救	助:	復旧活動	に大き	く支	障をきた	したこと	こから,
,					-		収件	地域の都市父連の	円消化と女全性の向上,	、災害に強い女	全・女心	でけ	でして、	( ) ()	この	早期に整	1有96	
								指標名	指標値				考えフ	う・式				
			中	間	(1)		р	/ C費用対効果	E 7	再評価時点(1	↑午423年1	414.4	主由) 不好	<b>市</b>	/ 社	事業の弗1	中海共	
アウ	1	カム					В	/ C質用別別未	5 . 7	一件	0午絟迴(	ノ紀丕が	元中)で%	<b>事</b> 耒買	/ 9发=	事業の質が	刊使益	
成易	果 指	旨 標	成果指	<b>i標</b>	(2)													
(事	業完	[了]			( 2 )													
			最 終	成	果 指	標												
			4x //\	1-2	W 1H	144												
									過する幹線道路であるこ									
芦屋	市の	り特も	色など	補足	≧する ፟	耳	・電	線類の地中化や残	地を活用しポケットパー	-クとして整備	し,都市	景観	や都市防	災の強	化を	図る		
٦-	<del>声</del> 知	¥ ##	(エチ+:	<b>ボフ /</b>	<u> </u>	7 1 1				亚出4044年中	甘木ム*F	4.1	# <b>#</b> # # 11 / 17	1)	0.000	<b>介ワ4</b>	来17 / ED /	000 000
	争茅		/古野//		<u>分(コス</u>	_		1 2 年度 / 油管 >	平成14年度(決算)	平成16.4.1住民			世帯当り(円 気出累計額			住民1人		
事		業	<i>II</i> +	費費	構成		十八人	13年度(決算)	99,073	平成15年度	90,877	h	3.山糸司命	! ( /大 /	早 丿	争来其為	総額(決算	+ 計画)
	-	<u>へ</u> 事	件 業	費		3.4%		3,304,123	2,424,255	2	,576,746			29,548	- 2 446		40.7	- 787,546
т	L	<del>-</del>	<u>乗</u> 『門 経		90	5.6%		3,304,123	2,424,200	2	,370,740			29,540	5,440		40,7	67,540
内(千)			i償却															
( 1 1		合	I I 및 기	計	100	).0%		3,415,870	2,523,328	2	,667,623			29,548	3.446		40.7	87,546
	_	国		県		7.5%		1,294,250	1,227,600		,268,200			13,613	•		·	207,200
財	源		債	等		).7%		1,811,800	1,022,600		,085,200			13,93	-	1		733,200
» (千)			の	他		1.2%		8,204	7,446		113,351				9,001			161,695
(	. 5 /		段財			7.5%		301,616	265,682		200,872			1,871				85,451
活	動			員		0.9%		11.00	11.00		10.00				•	Г		
配			·臨時			9.1%		1.00	1.00		1.00							
(人		合		計		0.0%		12.00	12.00		11.00							

		エック)	ı <u>.</u> =						≐π	7年イーツ	<i>5</i> 1171	1					4 NA 5TE/TE	235-57/1
評	価	視	点		<del>-</del> *~-		7 7 60 -73 1	L -	ĒT	価チェッ			7514		- 1. 10-22 + 4	-11	1次評1回	2次評価
妥	目	的妥当性(	2 ~ 2)			目的は明			++.1+==	EL 40'=- 1.1					ことができた	¥61		
女						が上位的				<b>駅か高い</b>				隹,または高		4513		
	_	<i></i>	2 4)	1		·ズに基づ		丁つへさ事	· 美						う事業では			
当	ф	民ニーズ(2	2~ 1)			一ズが高			F			」ニース	か高いと	は言えない	1,または未		4	4
						数字で			<u> </u>						•	把握	•	•
	社	会環境変化	化(1~ 1)			わる社会	環境0	D変化にi	<b>適応して</b> に	,1る	L	」社会環	境の変化	とにあわせ	た見直しか	必要		
性					内容	<u> </u>												
6点		先性,緊急				施しなけ												
	受	益者(1~	1)			と受益者									が一部に陥	定		
有	谁	<b>捗状況(2~</b>	~ 1)	1										標値が未				
効	_	12 1/100(=	• ,			賃値から計			いると言	える		」当初計	画から返	れが出て	,1る		2	3
性	- 谁	<b>捗改善余</b> 均	也(1~ 1)			れが出てい	1る場	合							·			
4点	2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	B(1 1)		改善策を											になし		
						る団体が				西宮市	等				団体はない	1		
	٦.	スト(1~ ′	1)	1		)数字を把			単位コス				V	把握してい	ない			
効		~ ( ( )	',	₩	□ 他回	団体よりコ	ストがイ	低い	□ 他回	団体と同種	程度			他団体より	コストが高し	١,		
				高い	1,またに	は低い場合	の理	由										
率				直宫	営事業(Ⅰ	E規職員力	が執行	)またはタ	<b>卜郭団体</b>	へ委託し	ている	業務につ	いて				1	0
-	<b></b>	段(1~ 3	١			員による執									べき部分だ			U
	J-	+X(1 3	)	V	民間(企業	業 , NPO等	∮)では	対応でき	ない業務	である		〕民間(ゴ	È業 , NP(	O等)で対応	可能であ	<b>ర</b>		
性					嘱託,臨	時職員等	ではタ	寸応できな	い業務で	である		] 嘱託 , [	臨時職員	等で対応	可能である			
3点	٦.	スト削減取	組(1~ 1)	· [2]	コスト削減	域の取り組	みを行	テっている	5			]特に行	っていな	L١				
	1,	^   HJ//%,4X	.ж <u>н</u> (т т)	-	内容	工事コス	トの縮	減										
	4 5	4 6	<i>F</i>		工事コス	くトの縮洞	戓			75 並 他	也工事と	:合併施工	·再生材(	D活用·工事	間流用等	<i>w</i> .^	_	
半	1 5	~ 1 b t= zb i	年度に 善内容	課題						改善内容						総合 評価	Α	В
	U	/C 1/	- r, -							L 2 [						піщ		
5 今後	きの?	対応(ア:	クション)													-		
				・地均	或住民に	道路の必	要性及	ひび環境	対策等に	ついて理	里解と	劦力を得	る必要だ	<b>がある</b>				
現在;	認 識	してい	る課題	・残り	用地の取	得を今年	度中に	こ合意を行	得る必要	がある								
				・工具	事におけ	るコスト	縮減を	を図ってし	いく必要	がある								
			係者の名称	地域球	環境を守	る会及び	沿線自	自治会										
からの	意 見	辛日 3	要望内容	理·培·	付筆を護	1.2												
要望	等	忘元 , 3	X = ri T	14K17K1	1) R C III	.00												
			対応内容	<b>晋培</b> (	カ钼湿押	据・瑨堷	子測。	· 晋培孙	第分等に	ついて部	되었다	八甲解を	得る					
		(1)	X370-F3 II	AX-760	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	JIE 28-70	_				попо	, .>±/ii+ C	10.00					
			実施期限	平成	17	年	3	月										
課題·要	望等		対応内容															
		(2)		_														
へのタ	対 応		実施期限	平成		年		月										
			対応内容															
		(3)																
			実施期限			年		月										
				他工具	事との調	整および	再生机	オの活用を	などによ	リエ事ニ	コスト	の縮減を	図る					
その他	考え	えられる																
改善の	カ ア	イデア																
															今後の	方 向 性	1次評価	2次評価
				早期に	こ用地買	収を終え	るとと	ともに,	まとまっ	て用地取	双得が?	完了した	区間から	順次道路	拡大・	充 実		
				整備	∐事に着	手し,早	期に引	事業効果の	の発現に	:努めてに	١<				現状	維持		
				芦屋)	∥アンダ	一工事に	着手?	する。着	手にあた	:り関係機	機関なる	どの理解	と合意を	得る	方 法	改 善		
平成 1	7 ~	19年度	の方向性												民間委	託 等		
															縮	小		
															統合/終	期設定		
															廃 止 /	休 止		
2 次 評	一個	委員 会	コメント	さら	こ事業費	の節減に	努める	ること。										
				l														

(内部	車 級 \	事業	J - K	1230250			部長次	長課長
(	<del>す</del> 1カ)	尹 未	<u> </u>	1230230			마 져서	K DK K
平成1	5年度	事	業 名	消防団施設・設備維持領	管理事務			
1 事	<b>業概</b>	要(ドゥ)						
			りの目標	1 活気あふれる豊か	な生活環境づくり		。	ß
総合			<u>中</u>	2 安全と防災の確保			所 管 課総務課	•
政策	施策		小	3 防災機能の強化			所管課長氏名向堂 晋	<b>2</b>
体	系		<u> </u>				記入者氏名上田(	
事	業	斯	間	平成13年4月~	経常臨時	☑ 経常 🗌 臨時	電 話 番 号 0797-32	-2345 内線 4101
根 拠	法	令 · ·	要 綱 等	消防組織法・芦屋市消	防団条例・芦屋市消防団	規則	実施 主体市	
実	施	手	法	☑ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金 □	負担金
委		託	先	□ 外郭団体委託	名称	□民間	委託 委託 内容	
				市内に4箇所設置されて	ている消防分団詰所の光	熱水費及び電信電話の通	通信費等を含めた施設・設	}備を
事	業	の	概 要	適正に維持管理し,職	場環境を良好に保つ。			
					及び電信電話の通信費等			
					及び発生した不良箇所の	修繕。		
事	業	の	現 状					
		実現のため						
	于段》	及び実施内	J谷					
			七 # 4	点検箇所数				
アクテ	- , <del>, ,</del>			平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	「1 ノ 標	活動指標	-		4箇所	4箇所	4箇所	4箇所
18	尓		指標値単位コスト		4 回川	4 回 川	4 回川	4 回川
			指標名					
アウト	プット			平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指	クラー 標	1 結果指標	指標値		48回	48回	48回	48回
10	ាភ		単位コスト		64,979	101,416	7 0 2	7 0 2
2 事:	業成り	果(アウ		.0,0	0.,0.0	,		1
				LA CAR TAKE	- + - >\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			
		対	冢	点検の結果 , 个民箇所( 	のある消防団施設・設備	0		
事業の	目的	対象力	バー率	対 象 数 (a)	3箇所 受益数	文 (b) 2 箇所	比率 (b ÷ a) %	66.7%
対象・	意 図							
		意	図	消防活動拠点としての	環境整備を図る。			
		(対象をヨ	主語にして)					
大	き	な	目 的	消防業務を効率よく遂行	行させることにより,消	防業務が迅速に行える。		
			1					
				施設・設備の充実度		//	-1 63671	
					を改善することにより、			元代 4 3 左京 / 口煙 >
		成果指標			平成14年度(実績)			平成17年度(目標)
アウト			指標値			6 7 %	8 5 %	1 0 0 %
指	標		指標名					
			考え方・式		亚世1.4年度(宝建)	亚武15年度(宝建)	亚出16年度1月類)	立代17年度(日挿)
			一 中					
		成果指標		平成13年度(実績)	十八   4 十尺 ( 夫縜 )	十八 1 3 十尺 ( 夫縜 )	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		<b>以未</b> 14标	年 度指標値		十八 1 4 斗及(美績)	十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	平成10年度(日标)	十八八十尺(日标)
古 屋	<u> </u>		指標値		十八 1 4 十 년 ( 夫順 )	平成 1 3 牛皮 ( 美韻 )	十八八〇年년(日信)	十八八十尺(日保)
芦屋	<u>ි</u> ග	特色	指標 値		平成   4 平皮 ( 夫順 )	十八 1 3 十 反 ( 夫線 )	平成 1 0 年長(日標)	十成17年及(日標)
		特色	指標値		平成   4 平戊 ( 夫順 )			
		特色活動配	指標値 など 分(コスト	)				平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	業費・	特色	指標値 など 分(コスト 構成%	) 平成 1 3 年度 (決算)		1世帯当り(円) 126	住民1人当り(円) 54	
3 事	業費・	特 6 活動配 費	指標値 など 分(コスト 構成% 90.1%	) 平成 1 3 年度 (決算) 3,424	平成14年度(決算)	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度(決算)	住民1人当り(円) 54	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	業費 業 人 事	特 包 活動配 費 件 費	指標値 など 分(コスト 構成% 90.1%	) 平成 1 3 年度 (決算) 3,424	平成 1 4年度 (決算) 2,791	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度(決算) 4,384	住民1人当り(円) 54 平成16年度(予算)	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	業費 業 人事 他部	特 在 活動配 費 件 費 業 費	指標値 など 分(コスト 構成% 90.1%	) 平成 1 3 年度 (決算) 3,424	平成 1 4年度 (決算) 2,791	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度(決算) 4,384	住民1人当り(円) 54 平成16年度(予算)	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	業費 業 人事 他部	特 色 活動配 費 件 費 業 費 3 門 経費	指標値 分(コスト 構成% 90.1% 9.9%	) 平成13年度(決算) 3,424 343	平成 1 4年度 (決算) 2,791	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度(決算) 4,384	住民1人当り(円) 54 平成16年度(予算)	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	業費 業 人 事 他 部 減 値	特 仓 活動配費費費費費 工程 经費費 計算	指標値 分(コスト 構成% 90.1% 9.9%	) 平成13年度(決算) 3,424 343	平成14年度(決算) 2,791 328	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度 (決算) 4,384 484	住民1人当り(円) 54 平成16年度(予算) - 1,232 -	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	業 人 事 他 減 <b>合</b> 国 市	特 仓 活動配費 費費 業 費費 話償却費	指標値 分(コスト 構成% 90.1% 9.9%	) 平成13年度(決算) 3,424 343	平成14年度(決算) 2,791 328	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度 (決算) 4,384 484	住民1人当り(円) 54 平成16年度(予算) - 1,232 -	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事	業費業人事他減合国市そ	特 を	指標値 分(コスト 構成% 90.1% 9.9%	) 平成13年度(決算) 3,424 343	平成 1 4 年度 (決算) 2,791 328 3,119	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度 (決算) 4,384 484 4,868	住民1人当ウ(円) 54 平成16年度(予算) - 1,232 - - 1,232	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事 事 内 部 (千円)	業費 人事他減合国市そ一	特 を 活動配費費費費費 計県等 他 W 財 源	指標値 分(コスト 構成% 90.1% 9.9%	平成 1 3 年度 (決算) 3,424 343 3,767	平成 1 4 年度 (決算) 2,791 328 3,119	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度 (決算) 4,384 484 4,868	住民1人当り(円) 54 平成16年度(予算) - 1,232 - 1,232	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事 内 部 (千円) 財 源 (千円) 活 動	業費業人事他減合国市そ一職	特 を	指標値 分(コスト 構成% 90.1% 9.9% 100.0% 80.0%	平成 1 3 年度 (決算) 3,424 343 3,767 3,767	平成 1 4 年度 (決算) 2,791 328 3,119 3,119	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度 (決算) 4,384 484 4,868 4,868 0.40	住民1人当リ(円) 54 平成16年度(予算) - 1,232 - - 1,232 1,232	平成16.4.1 住民基本台帳
3 事 内 部 (千円) 財 源 (千円) 活 動	業費業 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職嘱託	特 を 活動配費費費費費 計県等 他 W 財 源	指標値 分(コスト 構成% 90.1% 9.9% 100.0% 80.0% 20.0%	平成 1 3 年度 (決算) 3,424 343 3,767 3,767 0.30 0.10	平成 1 4 年度 (決算) 2,791 328 3,119	1世帯当り(円) 126 平成 1 5 年度 (決算) 4,384 484 4,868	住民1人当り(円) 54 平成16年度(予算) - 1,232 - 1,232	平成16.4.1 住民基本台帳

	<u> </u>					AT 17							
評	価 視		_				「チェックリ 	スト				1次評価	2次評価
<b>+</b>	対象カバー率			象カバー率は高		☑ 他団体			□ 他団体よりカ				
有	受益者(1~	1)		業意図と受益者					<u>合 , または受益が</u>		Œ.		
効	成果の実績(	2 ~ 1)	1 1	間成果指標の美 ] 実績値から成			定している		たは目標値が未記 ら成果があがって <b>に</b>		ない	4	3
性	- 成果向上余均	<b></b>	成果が	があがっていない	\場合								
4点	一成未同工小	ו) טי		果向上策あり						□ ‡	寺になし		
			□比	較できる団体が	ある	団体名			☑ 比較できる団		ı		
	活動配分(1~	- 1)		団体の数字を把		活動配分	<u></u>		□ 把握していな	111			
	/口重//日じ/ノ」(!	')	┕ □	□ 他団体より少	ない	□ 他団体	と同程度		□ 他団体より多	11			
効			多い,	または少ない場	合の理由								
				較できる団体が	ある	団体名			☑ 比較できる団	体はない	ı		
	単位コスト(1	~ 1)	│ □ 他	団体の数字を把	2握している	単位コスト			□ 把握していな	111			
率	十四コスパバ	'/	┡ [	□ 他団体よりコ	ストが低い	□ 他団体	と同程度		□ 他団体よりコ	ストが高い	١	2	_1
			高い,	または低い場合	の理由							_	
			直営(	正規職員が執行	亍)または外郭	3団体へ委託し	ている業績	务について					
	手段(1~ 3	١	□ 行i	政職員による執	行が義務づけ	けられている		□ 個人,家原	庭,地域等が担うべ	き部分が	ある		
性	7+X(1, 2	)		間(企業 , NPO 🤄	€)では対応で	きない業務で	ある	☑ 民間(企業	É, NPO等)で対応□	可能である	,		
4点			□ 嘱	託,臨時職員等	では対応でき	ない業務であ	る	☑ 嘱託,臨日	<b>庤職員等で対応可</b>	能である			
	コスト削減取	组(1~ 1)		スト削減の取り組		-		□ 特に行っ	ていない				
	171 HJ/M4X	ж <b>д</b> (т т)	•	内容 光熱水		を実施				_			
√ ct	1 5 . 1 6	年 庄 仁	老	朽化設備の更新	所及び修繕		カチュア エア	コン修理(平	成15年度)		<b>*</b>	_	)
宇施	15~16 した改音	年 及 に 善 内 容	課題				改善 内容 フェ	ンス扉改修工	事(平成15年度	( )	総合 評価	Α	В
<i>,</i> ,,,	0 12 22	, _					シャ	ッタ-の改修]	事(平成16年月	度)			
<u>5 今後</u>	<u> </u>												
			打出分区	団詰所シャッタ	' - の改修								
現在意	認識してい	る課題	打出分区	団詰所雨漏りの	改修								
市民,関	原者 市民,関係	係者の名称											
からの	意見。	= 和 土 南											
要 望		要望内容											
	(1)	対応内容											
		実施期限	平成	年	月								
課題·要	(2)	対応内容											
へのす	対応	実施期限	平成	年	月								
		対応内容			1 1: -								
	(3)			1_									
		実施期限	半成	年	月								
7.00 ///	. #												
	! 考えられる の ア イ デ ア												
以 書 (	カア1テア								-	A 14 A -	<b>~</b> ~ .44		
			시/ 表カッレ a	まの祭滅し 枚	÷π ÷π/#.σ-	└ <del></del>	ᅡᄷᄼᆢᄊᆿ	<b>ラシナのにつ</b> し		今後の		1 次評価	2次評価
				貴の節減と,施 こ改修する。	は文・政権のた	ス快でMJ1」U[	スドリンと	と なものに ブ	·	拡 <u>大・</u> 現 状			
				CIXIB 9 O.					l l				
	- 40Æ	~ + + 14							-	方法			
平成「	7~19年度	の方同性							-	民間委			
									<u> </u>	縮	小		
									<u> </u>	統合/終			
									ļ	廃止 /	1木 止		
2 次 評	平価 委員 会	コメント											

(内	部	事務)	事業	<b>¬</b>	1220	005				部		長	次		長	課	長
平瓦	戈15	年度	事	業	占地域	防災拠点・地区防	災拠点の維持管理業務										
1	車	<b>坐</b> 概:	要(ドゥ)												1		
				りの目标	票 1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり				A-/-		消防本	部			
		計画		中		安全と防災の確保	ţ			所	管	課	警防誤	Ŗ			
政	策	施策	į	小	2	防災生活圏の整備	充実			所管	課長	氏名	樋口	文夫			
体		系		細							入者日						
事		業			目 経常		経常的	時 🗹 経常 🗌	臨時	_	話番		0797-	32-234	15	内線	4121
根	拠	法			_		資機材保守管理要綱			_	施主			7 6			
<u>実</u> 委		施	託			直宫 外郭団体委託	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	□ 全部委託		 B <b>*</b> €±1	補助金			負	<b>世金</b>		
女			пU	7			<u> 五砂 </u> している各防災拠点(	tht或防災拗占8度			委託[拠占21億			継材の	昌数占	5 拾	
事		業	Ø	概 弱		の点検稼動を実施			4//1 202	المردواء	Jem 2 i p	41/1 /		N. 113 U.J	~ ×× ·	W1X	
-			••	1970 3	-	水兼用貯水槽を3:											
					有事	の際に,住民が拠	点の資機材を有効かっ	能率的に活用で	きるよう	,各署	<b>野所の消</b>	防職	員が月	2回資	機材の	)	
					点検	を実施するもの											
事		業	の	現	大 飲料	水兼用貯水槽の点	検予算を水道部と25	の 1 づつ予算化	し,実施し	してい	る。						
			実現のため														
		<b>于</b> 段。	及び実施内	7谷													
				指標名	点検	回数											
ア !	<b>ケテ</b>	ィフ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	年 月	-		平成14年度(実績	) 平成 1 5 年度	〔(実績)	平月	成16年	F度 (	目標)	) 平	成17	7年度	(目標)
指		標	活動指標	指標値	直	24回	24回	24回	]		3	6回				36回	
				単位コス		169,000	231,000	224,0	00								
				指標名	_												
	)ト:	プット	結果指標			13年度(実績)	平成14年度(実績	-	•	平月	成16年		[目標]	) 平	成17		(目標)
指		標		指標値		1回	2回	2回			(	)回				0回	
	由斗	바라	<u> </u> 果(アウ	単位コス	٢	4,482,000	2,949,000	2,865,	000								
		≖пν∙	未しょう	r/1/\													
2	尹 :	~/·~		,,,													
2	<del>丁</del> =	~ 1-20.	対		防災	拠点											
			対				! 9か所 受 益	数 (b) 2	2 9か所		比率	(b	÷ a)	%		1009	%
事業	業の		対対象が	•			!9か所 受 益	数 (b) 2	2 9 か所		比率	(b	÷ a)	%		1009	<b>%</b>
事業	業の	目的	対対象が	! ! /\" — ∑	☑ 対 纟	象数 (a) 2	. 9 か所 受 益 民は , 災害時に有効が			できる	ı	(b	÷ a)	%		1009	<b>%</b>
事業	業の	目的	対 対 象 カ 意	! ! /\" — ∑	対対が	象数 (a) 2				できる	ı	(b	÷ a)	%	,	1009	<b>%</b>
事美対	業の 象・	目的意図	対 対 象 カ ] 意 (対象を	」 バ ー ∑ [ 注語にして)	対対が	象数(a) 2 拠点を活用する市	民は,災害時に有効が			できる	ı	(b	÷ a)	%		1009	<b>%</b>
事業	業の 象・	目的	対 対 象 カ 意	」 バ ー ∑ [ 注語にして)	対対が	象数 (a) 2	民は,災害時に有効が			できる	ı	(b	÷ a)	%	,	1009	/6
事美対	業の 象・	目的意図	対 対 象 カ ] 意 (対象を	』 バ ー ∑ [ 注語にして)	図 防災	<ul><li>数 (a) 2</li><li>拠点を活用する市</li><li>時の被害の軽減を</li></ul>	民は , 災害時に有効が			できる	ı	(b	÷ a)	%		1009	<b>%</b>
事美対	業の 象・	目的意図	対 対象 か 意 (対象を:	バー図                         	対が	象数(a) 2 拠点を活用する市	民は , 災害時に有効が			できる	ı	(b	÷ a)	%	,	1009	%
事美対	業の 象・	目的意図	対 対象が 意 (対象を) な	が - 2 注語にして) 目 標 <del>信</del> 考え方・3	対が変め、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	<ul><li>数 (a) 2</li><li>拠点を活用する市</li><li>時の被害の軽減を</li><li>正常に稼動する資</li></ul>	民は , 災害時に有効が	つ効果的に資機	材を活用で		ı						(目標)
事対が大	業の 象・	目的意図	対 対象が 意 対象を な 中 成果指標	が - 2 注語にして) 目 標 <del>信</del> 考え方・3	対がのの対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	<ul><li>数 (a) 2</li><li>拠点を活用する市</li><li>時の被害の軽減を</li><li>正常に稼動する資</li></ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類)	つ効果的に資機	材を活用で		成16年						
事対が大	業の 象・	目的意図	対 対象が 意 対象を な 中 成果指標	が - 図 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	対が災害に対している。	<ul><li>数 (a) 2</li><li>拠点を活用する市</li><li>時の被害の軽減を</li><li>正常に稼動する資</li><li>13年度(実績)</li></ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績	つ効果的に資機 ) 可成 1 5 年度	材を活用で		成16年	F度(				7年度	
事対が大アリ	業の 象・	目的図	対 対象が 意 対象を な 中成果指標	が - 図 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	対が変め、対対の対象を対しています。	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35	・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35	材を活用で	平月	成16年	· 手度( 35	〔目標〕	) 平	成 1 7	7 年度 <sup>。</sup> 35	(目標)
事対が大アリ	業の 象・	目的図	対 対象が 意 対象を な 中 成果指標	が ー 図 B T T T T T T T T T T T T T T T T T T	対が災害に対している。	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績	・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35	材を活用で	平月	成16年	· 手度( 35	〔目標〕	) 平	成 1 7	7 年度 <sup>。</sup> 35	
事対が大アリ	業の 象・	目的図	対 対象が 意 対象を な 中成果指標	が - 図 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	対が災害に対している。	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35	・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35	材を活用で	平月	成16年	· 手度( 35	〔目標〕	) 平	成 1 7	7 年度 <sup>。</sup> 35	(目標)
事対 大 ア指	<b>業</b> の・	目の図のおります。	対 対 ま 意 対象を な 中成果指標 成果指標	が 一 <sup>図</sup> ( ) 「 ) 「 ( )	図     り     1 </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35</td> <td>・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35</td> <td>材を活用で</td> <td>平月</td> <td>成16年</td> <td>· 手度( 35</td> <td>〔目標〕</td> <td>) 平</td> <td>成 1 7</td> <td>7 年度<sup>。</sup> 35</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35	・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35	材を活用で	平月	成16年	· 手度( 35	〔目標〕	) 平	成 1 7	7 年度 <sup>。</sup> 35	(目標)
事対が大アリ	<b>業</b> の・	目の図のおります。	対対 象 が 意対 な 中成 最成果指標	が 一 <sup>図</sup> ( ) 「 ) 「 ( )	図     り     1 </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35</td> <td>・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35</td> <td>材を活用で</td> <td>平月</td> <td>成16年</td> <td>· 手度( 35</td> <td>〔目標〕</td> <td>) 平</td> <td>成 1 7</td> <td>7 年度<sup>。</sup> 35</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35	・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35	材を活用で	平月	成16年	· 手度( 35	〔目標〕	) 平	成 1 7	7 年度 <sup>。</sup> 35	(目標)
事対 大 ア指 芦	<b>業象</b> ウト 屋	目意 き カ楞	対 象 カ 意 対 象 を で	が は	X     Y       X     Y       Y </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35</td> <td>・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35</td> <td>材を活用で</td> <td>平序</td> <td>成16年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標</td> <td>) 平 ) 平</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35	・つ効果的に資機 ) 平成 1 5 年度 35	材を活用で	平序	成16年	F度 ( 35 F度 (	目標	) 平 ) 平	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦	<b>業象</b> ウト 屋	目意 き カ楞	対対 象 が 象 が 象 を	が に に に に に に に に に に に に に	対	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資訊 3年度(実績) 35</li> <li>は13年度(実績)</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度	材を活用で	平身	成16年	F度 ( 35 F度 (	目標	) 平	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3	<b>業象</b> ウト 屋	目意をある。	対対 象 が 象 が 象 を で 中成 最成 特 動配	が に に に に に に に に に に に に に	対	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資訊 3年度(実績) 35</li> <li>は13年度(実績)</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度	材を活用で	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標	) 平	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3	業象· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意 き カ 豊業 人事	対対 意対 な 中成 最成 活 件業 動 費費	が にして にして にして にして にして には 標方 標方 標序 標序 には 標方 標序 で には 標方 には で は は は に に に に に に に に に に に に に	対	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績)</li> <li>35</li> <li>13年度(実績)</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 平成14年度(決績	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度	材を活用で を活用で を を (実績) を (実績)	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標	) 平 64 平,	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内	「	目意 き カ	対 対 対 対 対 対 ま 対 な 中 成 最 果 特 動 経 経 標 り し る り る り る り る り る り る り る り る り る の る り る の る の	が にして は にして にして にして には には には には には には には には には には	対	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績)</li> <li>35</li> <li>13年度(実績)</li> <li>4,071</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 平成14年度(決績	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度	材を活用で を活用で を を (実績) を (実績) (実績) 5,388	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標》	) 平 64 平,	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内	「	目意   き   カ   紫   人事他減	対 対 対 対 対 対 ま 対 な 中 成 最 成 特 動 に 経 類 長 石 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	が にしして) 日 指 ま に に に に に に に に に に に に に	図     内     3     1 </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5</td> <td>つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44</td> <td>材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342</td> <td>平身</td> <td>成 1 6年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標 / 日標 / 62</td> <td>) 平 664 平, 675</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44	材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標 / 日標 / 62	) 平 664 平, 675	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内	「	目意 き カ 賞 人事他減合	対 対 対 対 対 う 意 対 な 中 成 最 成 特 動 に 経 類 長 石 に ろ る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る	が	図     内     3     1 </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績)</li> <li>35</li> <li>13年度(実績)</li> <li>4,071</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 平成14年度(決績</td> <td>つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44</td> <td>材を活用で を活用で を を (実績) を (実績) (実績) 5,388</td> <td>平身</td> <td>成 1 6年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標》</td> <td>) 平 664 平, 675</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を</li> <li>正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績)</li> <li>35</li> <li>13年度(実績)</li> <li>4,071</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 平成14年度(決績	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44	材を活用で を活用で を を (実績) を (実績) (実績) 5,388	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標》	) 平 664 平, 675	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内(	業象 ・ ・ ・   屋事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意 き カ 賞 人事他減 <b>合</b> 国的区 ム標 の 費業 高値	対 対 対 対 対 対 ま う ま う な 中 成 最 成 、 特 動 一 経 毎 月 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6	が	図     内     3     1 </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5</td> <td>つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44</td> <td>材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342</td> <td>平身</td> <td>成 1 6年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標 / 日標 / 62</td> <td>) 平 664 平, 675</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44	材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標 / 日標 / 62	) 平 664 平, 675	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	業象 ウ 屋事 訳) 源	目意 き カ 賞 人事他減 <b>含</b> 国市的図	対対意対な 中成 最成 活 件業門償・債 を 配費費費費割 県等	が にして にして にして にして にして にして には には には には には には には には には には	図     内     3     1 </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5</td> <td>つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44</td> <td>材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342</td> <td>平身</td> <td>成 1 6年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標 / 日標 / 62</td> <td>) 平 664 平, 675</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44	材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標 / 日標 / 62	) 平 664 平, 675	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	業象 ・ ・ ・   屋事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意 き カ 葉 人事他減合国市そ	対 対 対 対 対 対 ま う ま う な 中 成 最 成 、 特 動 一 経 毎 月 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6 日 6	が	A     A     B </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5</td> <td>つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44 44</td> <td>材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342</td> <td>平身</td> <td>成 1 6年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標 / 日標 / 62</td> <td>) 平 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績) 35</li> <li>35</li> <li>13年度(実績) 4,071</li> <li>411</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 平成14年度(決績 5,5	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44 44	材を活用で を活用で を(実績) を(実績) 148 を(決算) 5,388 342	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標 / 日標 / 62	) 平 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財	業象 ウ 屋事 訳) 源)	目意 き カ 葉 人事他減合国市そ	対 対 意 対 な 中 成 最 成 活 件 業 門 償 ・ 債 の 象 象 象 象 象 象 象 象 第 集 第 事 が 経 却 が 異 と 最 ま に 費 費 費 費 費 費 男 男 他	が ー 図	A     A     B </td <td><ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績)35</li> <li>13年度(実績)4,071</li> <li>411</li> <li>4,482</li> </ul></td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 下成14年度(決績 5,5 3</td> <td>つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44 88</td> <td>材を活用で を活用で を(実績) (実績) 148 を(決績) 5,388 342 5,730</td> <td>平身</td> <td>成 1 6年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (</td> <td>) 平 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	<ul> <li>数 (a) 2</li> <li>拠点を活用する市時の被害の軽減を正常に稼動する資</li> <li>13年度(実績)35</li> <li>13年度(実績)4,071</li> <li>411</li> <li>4,482</li> </ul>	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 下成14年度(決績 5,5 3	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44 88	材を活用で を活用で を(実績) (実績) 148 を(決績) 5,388 342 5,730	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	) 平 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活	「	目意 き カ 賞業	対対 意	が - 図 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	A     A     B </td <td>表数(a) 2 拠点を活用する市 時の被害の軽減を 正常に稼動する資 に13年度(実績) 35 に13年度(実績) 4,071 411 4,482</td> <td>民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 5,5 3</td> <td>つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44 88</td> <td>材を活用で を活用で を を (実績) 148 (決算) 5,388 342 5,730</td> <td>平身</td> <td>成 1 6年</td> <td>F度 ( 35 F度 (</td> <td>目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (</td> <td>) 平 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td> <td>成 1 .</td> <td>7 年度 35 7 年度</td> <td>(目標)</td>	表数(a) 2 拠点を活用する市 時の被害の軽減を 正常に稼動する資 に13年度(実績) 35 に13年度(実績) 4,071 411 4,482	民は,災害時に有効が 図る 機材数(種類) 平成14年度(実績 35 平成14年度(実績 5,5 3	つ効果的に資機 ) 平成15年度 35 ) 平成15年度 1世帯当り(円) ) 平成15年度 44 88	材を活用で を活用で を を (実績) 148 (決算) 5,388 342 5,730	平身	成 1 6年	F度 ( 35 F度 (	目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	) 平 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	成 1 .	7 年度 35 7 年度	(目標)

評	<u>叫 (フェン</u> 価	<u>/ / /</u> 視	点				±\\#	チェックリ	7 L			-	1 治河浦	2次評価
āŤ			<u>元</u> (1~ 1)		対象カバー率は高	1.1			<u> </u>	□ #### FI1-	Ь 11° — ¬Ф - А́́	SAEL V	八計	4 八計1川
有	受益者				家ガハー率は同                   				レ巫芸老が不動	<ul><li>□ 他団体より</li><li>合 , または受益か</li></ul>				
н	又無石	(1~	1)									<b>止</b>		
効	成果の	実績(2	!~ 1)	1 1	『間成果指標の実 ② 実績値から成果					こは日信値が未記 ら成果があがって		<i>†</i> >! \	3	3
.b4L					<u>」 美観 値 から放え</u> があがっていない		いると言える		□夫縜旭/バ	0 风未かのかうし	いると日人	411		
性	- 成果向	]上余地	2(1 ~ 1)			场口					] [] #	+±1-+>1		
4点					は果向上策あり ・***・********************************		D/4-2	까 뉴 ᄼ ᆂ			•	持になし、		
					、較できる団体があ			阪神各市		□ 比較できる		1		
	活動配	分(1~	1)		団体の数字を把		活動配分	L EXTOR		☑ 把握してい		ļ		
۸h					□ 他団体より少れ		□ 他団体	と同程度		□ 他団体より	511			
効					,または少ない場合		744	7C 34 67 -			74			
					較できる団体があ		団体名			□ 比較できる		1		
	単位コ	スト(1~	~ 1)	1 1	団体の数字を把		単位コスト	·		☑ 把握してい				
率			,		□ 他団体よりコス		□ 他団体	と同程度		□ 他団体より:	コストが高し	1	0	-4
					,または低い場合								0	•
					(正規職員が執行							ļ		
	手段(1	~ 3)			「政職員による執行					匡,地域等が担う				
性	J PX(1	0)		□民	間(企業, NPO等	)では対応で	きない業務でも	53	☑ 民間(企業	, NPO等)で対応	可能である	ا ذ		
4点					託,臨時職員等			3	☑ 嘱託,臨時	詩職員等で対応回	丁能である			
	コスト賞	训诫取么	组(1~ 1)		スト削減の取り組む				□ 特に行って	ていない				
	1/15	11/1% <del>1</del> 1/1/10	<u>а</u> (і і)	<b>→</b>	内容 職員で行	う。備蓄燃料	を使用している	3.			_			
ਜ਼ ਹੈ	1 [	1 (	左 庄 仁				-	14 <del>*</del>				<i>w</i>		
字 施	1 5 ~	1 5	年度に ト内容	課題			1	改善 内容				総合 評価	В	В
~ <i>n</i> e	0 /2	, E	3 13 H				[	311				н і іщ		
5 今後	後の対応	ふ(アク	7ション)											
現在意	忍識し	てい	る 課 題	いずれ	は市民で管理で	きるように扌	旨導する。							
市民,関	係者 市民	民,関係	系者の名称											
からの	意見。	<b>=</b> =	更望内容									-		
要 望	等思	兄,多	2 望 内 谷											
			计位中容											
	(	(1)	対応内容											
			実施期限	平成	年	月								
課題·要	望等		****		· '	l l								
	(	(2)	対応内容											
へのす	讨 応		実施期限	平成	年	月						-		
					L	1 1 -								
		(3)	対応内容											
		`	実施期限	平成	年	月								
			- 400/010	~		1 1/3								
その他	考えら	れる												
	, ったっ カアイ	F												
, I		, , <u>,</u>									今後の	方向性	1次証価	2次証価
		l.		食庫の!	点検については	白丰防災約	日織に委わたし	1			拡大・		1 / N II III	2次前岡
					無用貯水槽の点				ま 租状の ままと	する	現状			
				ムハヤイソくス	いいしょういいロックボイ	~ C ~ V I C I	ᅩ,ᄭᄰᇚᆫᇜ	E-V/ J/		. , <b>.</b> .	方法			
亚比1	7 ~ 1 0	午 庄 /	の方向性								民間委			
T 10%	, 19	十 皮(	, 기미개	1							縮	小		
											統合/終			
											廃 止 /	W II		
ე ∿	<b>/</b>		7 4 1, 1	白十四十	巛幻婢竿づの次は	<b>数せか</b> がよこ	日 占烩去!?	r± r = :	z トン田71140/	ブエナハ けち	ニついて	七注北洋	· 사까 표 -	でオ
2 次 評	一叫安!	灵 云	コ	日土四多	災組織等での資格	茂竹 い利 店	け、从快をし(	てりんな	シよう取り組ん	ててさい。 仏報	110 7610,	刀太以吾	い必妥	C 9 。

(投資	手	兼)	争		F 122	J010				部	攴	次	攴	詸	攴
平成1	5 全	王度	事	業	名地垣	<b>以</b> 防災拠点整備事業									
1 /2/	,	1 152	<del>-</del>	*	<b>—</b>	(17)人)及:(() 上									
1 事	業	概要	要(ドゥ)						_						
第3次	芦	室市	まちづく	りの目	漂 1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			55 2	章 課	消防本部	3		
総 合	計	画		中	2	安全と防災の確保	Į.			所 î	章 課	警防課			
政策	施	策		小	2	防災生活圏の整備	充実			所管課	長氏名	樋口 文	夫		
体		系		細						記入者	当 氏 名	樋口 文	(夫		
事		業	期	]	間平成	2.8年度~2.4年度	投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電話	番号	0797-32	-2345	内線	4121
根 扱	L :		令 · 5	要 綱	等 芦属	市防災会議条例・	芦屋市防災会議運営要網		防災計画	実施	主体				
実		施	手			直営		□ 全部委託			助金	П	負担金		
<del>么</del> 委		,,,,	<u></u>		九 <u></u>		名称								
			H-0				ロ単位である小学校区で	*防災生活圏と					00トン	)	
事	業	É	Ø	概		mの防災倉庫を設				,				,	
-	~		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1976 .		…0月八月十七以	<b>A</b> / <b>O</b> 0								
					亚丘	3.8 年度から1小学	校づつ整備し,平成1:	3年度において	は 2 其	整借Ⅰ,#:					
							が整備され,概ね計画。			E III O N	-0				
事	業	£	Ø	現			が金備とれ、Madriaに 学校に整備予定である。	200万座9000	V 1 000						
7	*	=	0)	-九	IX - 13,	いっ十尺に相違う	子仪に正備了たてのる。								
	_	165	1日のたま	<b>5</b>											
			€現のため 及び実施内												
	7	ード又か	メザ夫加り	T t											
				+6 +==	← + + + + -	<b>成於拠点整備箇所</b>	жh								
			V+ ED +P: 1=		_	柳火炒点整桶固所	<b>ΦX</b>								
			結果指標			* 4 2 左京 / 京/桂 \	正式 4 4 左座 / ウは >		( ch/± )	TI # 4	6 左	/ D.##.\	T # 4	7.左座 /	
	_		(1)				平成14年度(実績)	平成15年度		平成 T	6年度(	、日標)	平成1	7年度(	日憬)
アウト	・フ				直	1箇所	2箇所	0箇所			0箇所			0箇所	
指		標				<b>防災拠点整備済み</b>	<b>箇</b> 所数								
			結果指標												
			(2)	年	度 平原	【13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度		平成 1	6 年度 (	〔目標)	平成 1	7年度(	[目標]
					直	6箇所	8箇所	8箇所	r l		8箇所			8箇所	
2 事	達	成员	果(アウ)	トカん)											
<del>ا</del> 4	• *	13/6/	1 ( ) )	734)	_										
<u>∠ <del>す</del></u>	• *			•											
<u>∠ <del>ş</del></u>	***		対	•	象各小	\学校校区に居住す	る市民								
事業の				•	象各小	\学校校区に居住す	る市民								
	の目	目的		•					LZON	<b>≚</b> ₩.⊏₩	楽器・オマ	L L+1-	<b>企</b> 《公	・	此せで迁
事業は	の目	目的		•	· 各小	・学校校区に居住す	る市民 る市民は,大規模災害 田貯水槽から飲料水を	寺には避難所と 確保し被害を軽	しての小: 減する。	学校に過	達難する。	とともに	,防災倉	庫の資格	幾材で活
事業は	の目	目的	対意	•	図各が動を	学校校区に居住す	る市民は , 大規模災害	寺には避難所と 寉保し被害を軽	しての小 <sup>:</sup> 減する。	学校に過	選挙する。	とともに	,防災倉	庫の資格	幾材で活
事業は	の目	目的	対意	:	図各が動を	学校校区に居住す	る市民は , 大規模災害	寺には避難所と 確保し被害を軽	しての小: 減する。	学校に過	選挙する (	とともに	,防災倉	庫の資格	幾材で活
事業は	の目	目的 图	対意	主語にして	図 動を )	↑学校校区に居住す :実施し,飲料水兼	る市民は , 大規模災害	雀保し被害を軽	減する。 		産難する。	とともに	,防災倉	庫の資格	幾材で活
事 業 ( 対 象	の 目 ・ 意	目的 图	対 意 (対象を3	主語にして	図 動を )	↑学校校区に居住す :実施し,飲料水兼	る市民は , 大規模災害 用貯水槽から飲料水を研	雀保し被害を軽	減する。 		産難する (	とともに	,防災倉	庫の資格	機材で活
事 業 ( 対 象	の 目 ・ 意	目的 图	対 意 (対象を3	主語にして	図 動を )	↑学校校区に居住す :実施し,飲料水兼	る市民は , 大規模災害 用貯水槽から飲料水を研	雀保し被害を軽	減する。 	の軽減	登難する。		,防災倉	庫の資材	機材で活
事 業 ( 対 象	の 目 ・ 意	目的 图	対 意 (対象を3	主語にして	図 各小動を か 「自	↑学校校区に居住す ・実施し,飲料水兼 ・日分たちのまちは自	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事 業 ( 対 象	の F 意	目的 図	対 意 (対象をE	主語にして	図 各小動を か 「自	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 日分たちのまちは自 指標名	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研究を持分で守る」という原	雀保し被害を軽	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事業は大り	の まき トカ	目的区域	対 意 (対象をE	上語にして 目 (1)	図 各小動を か 「自	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事業は大り	の き	目的図:	対意 (対象を言な	上語にして 目 (1)	図 各小動を か 「自	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事対大ア成	の き	目の ・	対意(対象を主なない)のは、対象を主ない。	主語にして 目 (1)	図) 各切を 地址	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事対大ア成	の き	目の ・	対意 (対象を言な	主語にして 目 (1)	図) 各切を 地址	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事対大ア成	の き	目の ・	対意(対象を主なない)のは、対象を主ない。	主語にして 目 (1)	図) 各切を 地址	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事対 大 ア成(事業	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目的図 :	対意(対象を主なない)のは、対象を主ない。	主語にして 目 (1) (2) ; 果 指:	图到) 的「自地均	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事対 大 ア成(事業	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目的図 :	対 意 (対象をき) 間 標標 成	主語にして 目 (1) (2) ; 果 指:	图到) 的「自地均	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	変に がまる軽 がまる がっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	減する。	の軽減	考え方・	式	,防災倉	庫の資材	機材で活
事対 大 ア成(事 産	の ト 清完 あ	自愈図 :: ム標) 特色	対 意 (対象をきる) は 中 成 最 と は 神 な に 根 が は は は は れ が は れ が は れ が は れ が は れ が れ が	主語にして 目 (1) (2) に果指に 足する事	図) 的 地址 票 頁	学校校区に居住す 実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数94	減する。	の軽減年度、精	考え方・	式()			
事対 大 ア成(事 屋 事	の ト 清完 あ	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	対 意(対 な 中 成 最 な 動配)	注語にして 目 (1) (2) 果指: 足する事:	図別)的地域	マ学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 自分たちのまちは自 指標名 対防災拠点整備箇所 数	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研究を受ける。 という 指標値 8基	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害( ま(平成19	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予な	式()()()()()()()()()()()()()()()()()()()	住民1人	当り(円)	0
事対 大 ア成(事 産	の き	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対 意(対 な 中 成 最 な 活 種 原 成 が か か か か か か か か か か か か か か か か か か	主語にして 目 (1) ; 果 指 : ごする事。 分(コス 構成%	図) 的 地域 票 頁 上) 平	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 付かたちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研分たちで守る」という所指標値 8基 平成14年度(決算)	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数94	減する。 と,被害( を,平成19 基本台帳 (決算)	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・	式()()()()()()()()()()()()()()()()()()()	住民1人		0
事対 大 ア成(事 屋 事	の ト 清完 「	的図	対 意(対 な 中 成 最 な 活 件 展 様 成 種 配費費	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0	図) 的 地域 票 頁 上 平 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 付かたちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数	る市民は、大規模災害田用貯水槽から飲料水を研究を受ける。 分たちで守る」という開発機値 8基 平成14年度(決算) 3,304	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害( を,平成19 基本台帳 (決算) 3,714	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予な	式()()()()()()()()()()()()()()()()()()()	住民1人	当り(円)	0
事対 大 ア成(事 屋 事	の・ ト指完 の 業 / 1	自然 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対 意対な 中成 最 を活件業 と 動 費費費	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0	図) 的 地域 票 頁 上 平 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 付かたちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数	る市民は,大規模災害田用貯水槽から飲料水を研分たちで守る」という所指標値 8基 平成14年度(決算)	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害( を,平成19 基本台帳 (決算)	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予な	式 (E) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	住民1人	当り(円)	0
事対 大 ア成(事 芦 3事 内 業) 東京 東 「 事 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 」 「 」	の・ ト 語	的図	対 意対な 中成 最 ら 活 件業門 経経 が 動 賃費費費	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0	図) 的 地域 票 頁 上 平 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 付かたちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数	る市民は、大規模災害田用貯水槽から飲料水を研究を受ける。 分たちで守る」という開発機値 8基 平成14年度(決算) 3,304	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害( を,平成19 基本台帳 (決算) 3,714	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式()()()()()()()()()()()()()()()()()()()	住民1人	当り(円)	0 [+計画) -
事対 大 ア成(事 芦 3事 内 業) 東京 東 「 事 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 」 「 」	の・ ト 派 市 業 一 訳)	的図	対 意対な 中成 最 ら 活 件業門償却 な 中 成 最 ら 活 件業門償却 経却 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	注語にして 目 (1) (2) : 果指: 分(コス 構成% 100.0	図) り 切る 「	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 付分たちのまちは自 指標名 以防災拠点整備箇所 数 数 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害の ま(平成19 基本台帳 (決算) 3,714 0	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 () () () () () () () () () () () () ()	住民1人	当り(円)	0 [+計画) - -
事対 大 ア成(事 芦 3事 内 業) 東京 東 「 事 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 事 」 「 「 」 「 」	の・ ト 指完 「	的図	対 意対な 中成 最 さ 活 件業門債 標 成 補 配費費費費計	注語にして 目 (1) (2) (2) (3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	図) り 切る 「	文学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 日分たちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数 以加点を 数 以加点を (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害( を,平成19 基本台帳 (決算) 3,714	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 (E) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	住民1人	当り(円)	0 [+計画) -
事対 大 ア成( 芦 3事 内( ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の・ ト 派 下 業 一 訳)	的図	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償・・ な 動 骨費費費計県	注語にして 目 (1) (2) (2) (3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	図) り 切る 「	マ学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 日分たちのまちは自 指標名 球防災拠点整備箇所 数 女 女 1 3 年度(決算) 2,646 53,509 56,155 16,221	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害の ま(平成19 基本台帳 (決算) 3,714 0	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 () () () () () () () () () () () () ()	住民1人	当り(円)	0 [+計画) - -
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財業象 ウ果業 『 事 『 円 …	の・トが、おり、おり、は、これの一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	的図	対 意対 な 中 成 最 と 動 を 経却 長 は 動 を 経却 長 の に し う し う し う し う し う し う し う し う し う し	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0	図) り 切る 「	文学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 日分たちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数 以加点を 数 以加点を (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	減する。 と,被害の ま(平成19 基本台帳 (決算) 3,714 0	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 () () () () () () () () () () () () ()	住民1人	当り(円)	0 [+計画) - -
事対 大 ア成( 芦 3事 内( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の・トが、おり、おり、は、これの一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	的図	対 意対 な 中成 最 を 動 を 経却 長の に して で して に して に して に して に に に に に に に に に に に に に	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0	図) 内 地切って 単地 地域 はいい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 引分たちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531 77,835 21,405 53,100	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	基本台帳 (決算) 3,714 0	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 (E) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	住民1人	当り(円)	0 [+計画] - - 0
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財(	の・トが、おり、「おり」のでは、「おり」のでは、「おり」では、「まり」では、「まり、これり、「まり」では、「まり」では、「まり、「まり、「まり、「まり、「まり、「まり、「まり、「まり、「まり、「まり	100	対意対な中成最も活件業門價・債の財象を指標、成補に費費費費計県等他源	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0	図) 内 地均 東京 頁 上 平 月 上 平 月 十 十 中 月 中 月 十 十 中 月 中 月 十 十 中 月 中 月 中	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 日分たちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数 数 1 3 年度(決算) 2,646 53,509 56,155 16,221 33,500	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531 77,835 21,405 53,100	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	基本台帳 (決算) 3,714 0 3,714	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 () () () () () () () () () () () () ()	住民1人	当り(円)	0 [+計画) - -
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財( 活業象 ウ果業 屋 事 門円 三円	の・トゥ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・トラ・	目	対意対な中成最色活件業門價・債の財象を指標、成補配費費費費計県等他源員	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0 100.0	図) 内 地均 東京 頁 上 平 月 上 平 月 十 十 中 月 中 月 十 十 中 月 中 月 十 十 中 月 中 月 中	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 引分たちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531 77,835 21,405 53,100	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	基本台帳 (決算) 3,714 0	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 (E) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	住民1人	当り(円)	0 [+計画] - - 0
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財( 活業象 ウ果業 屋 事 門円 三円	の・ ト ※ 下 第 一 訳) 原) 動分	自愈	対意対な中成最を活件業門價・債の財象を指標、成補に費費費費計県等他源	注語にして 目 (1) (2) 果指: 分(コス 構成% 100.0 100.0	図) 内 地均 東京 頁 上 平 月 上 平 月 十 十 中 月 中 月 十 十 中 月 中 月 十 十 中 月 中 月 中	学校校区に居住す 主実施し,飲料水兼 日分たちのまちは自 指標名 成防災拠点整備箇所 数 数 1 3 年度(決算) 2,646 53,509 56,155 16,221 33,500	る市民は、大規模災害用貯水槽から飲料水を研 分たちで守る」という原 指標値 8基 平成14年度(決算) 3,304 74,531 77,835 21,405 53,100	を保し被害を軽 方災意識の向上 整備箇所数9基 平成164.1住民	基本台帳 (決算) 3,714 0 3,714	の軽減 年度、精 1世帯	考え方・ 道小予気	式 (E) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	住民1人	当り(円)	0 [+計画] - - 0

4 計1	川(フ	<u>エック)</u> 視	点						±ĭ	平価チェック	ארוול						1 1/2 前/高	2次評価
āT	ТЩ	170			事業の主	中的什般	なって	<b>エ</b> ス	п	∱1叫アエック		車業の日	1651+	つに絞る:	ことができた	21.1	八計画	2次計1曲
妥	目	的妥当性(	2 ~ 2)		事業の工作				たけ音	対が高い		貢献度だ				¥V1		
^					市民ニー					+J/ /J					<u>。 う</u> 事業では	<i>†</i> ?1.1		
	亩	民ニーズ(2	2 ~ 1)	1	► □ =·			) ), vc <del>11</del> :	*						かまたは未 1、または未			
当	115	LU— X(2	- ')			数字で		ている				_ ^/	IDV ICIO	LD /L/6.V		把握	4	2
					 事業に関				第応して	1.13		차수품병	音の変化	にあわせ	た見直しか			
性	社	会環境変化	化(1~ 1)		内容				2/0000	V 1 0		11246	20210	(C0)17 C	に元旦し万	202		
6点	優	先性,緊急	(性(1)	\[\bar{\pi}\]					命.安全	等が損な	われる							
		<u>☆                                    </u>	. ,		事業意図の							益者が不	整合、ま	とは受益	が一部に阻	定		
有			-							定している								
効	進	<b>捗状況(2~</b>	- 1)	1 1	☑ 実績(							当初計画					3	3
性	`,#-	LIF36 * A I	Il-74 A		画から遅れ												•	0
4点	- 進	捗改善余 <sup>均</sup>	也(1~ 1)	□i	改善策あり	j									□特	になし		
					比較できる	る団体が	ある		団体名				☑ bt	較できる	団体はない	١		
	١	7 L / 4	4.\	□ 1	他団体の数	数字を把	握して	113	単位コス	<b>ζ</b> ト			□担	握してい	ない			
効	۱,	スト(1~ ′	1)	<b>▶</b>	□ 他団	体よりコ	ストが亻	氏い	□ 他[	団体と同程	度		□ 他	団体より	コストが高い	. 1		
				高い	1,または1	低い場合	の理	由										
率				直宫	当事業(正	規職員力	が執行	)または外	·郭団体·	へ委託して	こいる業	€務につい	て				2	0
<del>~</del>	<b>=</b>	段(1~ 3	١		正規職員										べき部分だ		_	U
		FX(I - S	)	<b>V</b>	民間(企業	, NPO≅	₹)では	対応できた	ない業務	子である		民間(企	業 , NPO	等)で対応	可能であ	<b>ర</b>		
性					嘱託,臨時					である	<b>✓</b>	嘱託,臨	時職員等	手で対応す	可能である			
3点	:	スト削減取	組(1~ 1)		コスト削減							特に行っ	ていない	1				
		(	л <u>ы</u> ()	₩	内容	国県への	の補助	要望										
平成	1 5	~ 1 6	年度に	+m n=						改善						総合		_
実施	์	た改善	年度に 善内容	課題						内容						評価	Α	В
- 4	د م ب	<u></u>																
5 7918	せいり	付応(アク	<u>/ンョン)</u>															
田 左 =	:刃 ≐並	1 7 11	る課題															
現 住 記	160 高联	0 ( 61	の味起															
市民既	[	市民 悶(	系者の名称	タ小岩		足仕す	ス市日	로 코										
からの									<b> </b>	10 +81 1	+	・庁恕して	-1=1 1 1	担庇女	知ってい	てナ (市	田士汁+	がわかこ
要望	巡汽	意見,	要望内容	貝版がない。		いのるこ	C T 5	9 / \ C \( \( \( \) \)   :	エスロスエ	1041.	<b>5</b> 70	. 仏報して	- IA U 1 1	物別で	加りてい	(七,使	用刀(広).	פינונויו
× ±	,,																	
		(1)	対応内容	広報約	氏の発行。													
		( . ,	実施期限	平成	15	年	6	月										
課題·要	望等							, ,										
		(2)	対応内容	随時記	川練指導到	<b>€施</b>												
へのす	讨 応		実施期限	平成	- 1	年		月										
				-														
		(3)	対応内容															
			実施期限	平成	1	年		月										
その他	考え	えられる																
改善の	カ ア	イデア																
															今後の		1次評価	2次評価
				精道小	小学校の建	建替えと	合わt	せて実施し	していく	. 0					拡大・			
															現状			
															方 法			
平成 1	7 ~	19年度	の方向性												民間委			
															縮	小		
															統合/終			
															廃 止 /	1不 止		
ე \ <del>/</del>	; / <del>=</del>	<del>⊀</del> ₽ ^	7 / >	rt ±n ··	-01177	<b>-:+</b> ¬+≠	<b>ナ</b> ル・ハ コ	<b>ラブナ</b>										
2 从 評	- 1Щ	女貝式	コメント	仏牧は		」、広以普	小火冷	<del>-</del> (9 ,										
				i														

(投	資	事業	)	事業		- ド	12200	020								部		長	次		長課		長
平片	Ì 1 5	5年月	度	事	業	名	地区	防災拠点整	備事業														
1 /3/		, 1 %		<i>-</i>	*	П	-66-1	777CJ&MIE	.m														
	<u></u> .	elle im		- / la . \																			
				<u> </u>		□ +m		<b>江乍までお</b>	って曲ム	+\4\1	四埣ベノ	12							2보 P는 -	- ÷n			
弗 ₃ 総				まちづ	<u>くりの</u> 中	日信	-	活気あふれ安全と防災			塚児 ノく	IJ				所	管	課	消防本 警防部				
総政					小			安主 こ 内 の 防災生活圏								所管訓	里匡	<b>丘夕</b>		•			
体	來		<sub>來</sub> 系		細		2	例火工/口區	砂定性	八大						記入							
事			<u>ボ</u> 業	1	胡	問	平成	8年度~平	成 2 4	<b>年度</b>	#	肾臨時	☑ 投	<b>容</b>		電話				32-2345	内約	a a	4121
根	拠				要經			市防災会議												02 20 10	P J nv		7121
実	,,,_		<u>.</u> 施		<u>~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ </u>		<u> </u>				部委託			部委託			, 甫助á				<del></del>		
委				託		先		外郭団体委	託	名称					□ 民間	委託 委	き 託	内容					
							・災	害時におい	て , 住	民による	5防災活	動を支援	爰する。										
事		業		の	概	要	・防	災生活圏内	の集会	所,公園	遺等に耐煙	震性貯水	k槽を整体	構する。	,								
								期消火用資															
								成8年度か								2 1 箇	所整	備済る	<del>Ŋ</del> 。				
							-	成15年度				として2	\園緑地記	果にて	整備)								
事		業		の	現	状		主防災組織															
			<b>-</b>	7TB 4-	<b>L</b> A			民ニーズに															
				現のためで実施			• 扣	区と密着し	に防災	普及合乳	€												
		士的	又以	ひ夫虺	小台																		
			1		<b>指</b> 核	<b>重</b> 夕	<del> </del> ₩ 又	<b></b> 防災拠点整	借笛所														
			ı,	結果指標				<u>奶点数</u> (最															
			ď	(1)	年			13年度(				実績)	平成 1 5	5年度	(実績)	平成	161	F度 (	〔目標〕	) 平成	17年	复(目	標)
アウ	<b>)</b>	プッ	١	( - )	指相			3拠点			2拠点			1拠点				拠点			1拠		,
指		1	標					防災拠点整	備済み	箇所数			1										
				結果指標																			
				(2)	年	度	平成	13年度(	実績)	平成 1	4年度(	実績)	平成 1 5	5年度	(実績)	平成	1 6 វ	F度 (	〔目標〕	) 平成	17年	复(目	1標)
					指標			18拠点			20拠点			21拠点	į		2 3	拠点			24拠	点	
2	事	業成	以某	₹(アウ	<u>トカム</u>	)																	
2	事	業成			<u>トカム</u>																		
			Ż	具(アウ 対	<u>トカム</u>		地区位	住民															
事為	≰の	目目	的		<u>トカム</u>		地区位	住民															
	≰の	目目	的 _ 図	対	<u> </u>	· 象			· 佐才 Z :	₩▷★□	¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬	<b>ゴノ11</b> 0	<b>0</b> 士坪										
事為	≰の	目目	的 図 j	対意		象		住民の住民が実	施する	地区を守	守る体制・	づくりの	D支援										
事為	≰の	目目	的 図 j	対		象			施する	地区を守	守る体制・	づくりの	D支援										
事第対象	<b>養の</b>	目目	的 図 j	対意		象 図 Uて)	近隣(	の住民が実						圣減を[	図る。								
事為	<b>養の</b>	意	的 図 j	対 意 (対象を	主語に	象 図 Uて)	近隣(							圣減を[	図る。								
事第対象	<b>養の</b>	意	的 図 j	対 意 (対象を	主語に	象 図 して)	近隣(	の住民が実						圣減を[	ଅ≾.		考え	方・	式				
事対対	<b>養</b> の	意	的_ 図 j	対 意 (対象を な	主語に	象 図 Uて) 的	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		,被害の輔		図る。	所	考え	-方・	式				
事対対大ア	<b>賞の</b> ・	目記しまります。	的図	対 意 (対象を な 中	主語に	象 図 Uて) 的	災害	の住民が実	,住民		災活動を		,被害の輔			所	考え	-方・	式				
事対大ア成	<b>き</b> の・ ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・	目意きかお	的図り	対 意 (対象を な	主語に	象 (Uて) (的	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		,被害の輔			所	考え	_方・	式				
事対大ア成	<b>き</b> の・ ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・	目記しまります。	的図り	対 意 (対象を な 中	主語に目	象 (Uて) (的	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		,被害の輔			所	考え	<u>-</u> 方・	式				
事対大ア成	<b>き</b> の・ ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・	目意きかお	的図りな標()	対 意 (対象を な 中	主語に目 (1	象 UT) 的	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		,被害の輔			所	考え		式				
事対大ア成	<b>き</b> の・ ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・	目意きかお	的図りな標()	対 意 (対象を な 中 間 成果指標	主語に目 (1	象 UT) 的	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		,被害の輔			所	考え	方・	式				
事対 大 ア成(事	美家・ トミデ	目意 き カ指完	的図り、人標・)」	対 意 (対象を な 中 間 成果指標	主語に目 (1) 禁 (2)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		,被害の輔			所	考え		式				
事対 大 ア成(事	美家・ トミデ	目意 き カ指完	的図り、人標・)」	対 意 (対象を な 中 成果指 最 終 原	主語に目 (1) 禁 (2)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		,被害の輔			所	考え	_方·	式				
事対 大 ア成( 芦	また アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル	目意き カ指元の特	的図	対 意 (対象を な 中 成果指 最 終 原	主語に目 (1) 乗	象 図() 1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	災害	の住民が実時において	,住民		災活動を3 指標値		・被害の動	<b>構箇</b> 所:		所				0 住民	人当り(月	9)	0
事対 大 ア成( 芦	また アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル	目意き カ指定の業費	的図	対意 (対象を 中 成	主語に 目 (1) 果 ガ 足 する コ	(a) (b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	災害・地区	の住民が実時において	(備箇所	への防ジ	災活動を3 指標値	支援し,	・被害の動	構箇所	数 30箇	1世帯	歩当り!	(円)			人当り(ド		
事対 大 ア成( 芦 3	また アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル	目意き カ指定の業費	的図	対 意 対 な 中 成 最 な 話 件 弱	主語に 目 (1) (2) (2) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(a) (b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	災害・地区	の住民が実時において指標名	(備箇所	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し,	・被害の動計画整体	構箇所	数 30箇	1世帯	歩当り!	(円)					
事対 大 ア成( 芦 3	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意き カ指元の業人事	的図	対 意 対 な 中 成 最 な 活 件業	主語に 目 (1) (2) (2) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	象 図() 的 l) 指 事 ス%	災害・地区	の住民が実時において指標名 防災拠点整	,住民 備箇所	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し、	・被害の動計画整体	構箇所	数 30箇 基本台帳 (決算)	1世帯	歩当り!	(円)					
事対 大 ア成( 芦 3事 内	の・   )果業   市  事   訴	目意 き カ指元 の 業 人事他	的図	対 意 対 な 中 成 最 な 動 骨 異 経 が 動 骨 異 経 が 動 骨 異 経 が 動 骨 異 経 が 動 骨 異 経 が 動 骨 異 経 が 動 骨 異 経 が 動 骨 異 経 が あ ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	主語に目 (1) (2) 様 (1) 様 (1) 様 (1) 様 (1)	象 図(C) 的 (D) 指 事項 (ス½(M) (D) (D) (M) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	災害・地区	の住民が実時において指標名 防災拠点整	,住民 備箇所 決算) 2,646	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し, 決算) 2,684	・被害の動計画整体	構箇所	数 30箇 基本台帳 (決算) 3,022	1世帯	歩当り!	(円)					計画) - -
事対 大 ア成( 芦 3事 内	の・   )果業   市  事   訴	目意 き カ指元 の 業 人事他減	的図	対 意 対 な 中 成 最 な 活 件業門償 経却 に 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引	主語に 目 (1) (2) 様子 (1) 様子	象 図(C) 的 l)	災害・地区	の住民が実時において 指標名 防災拠点整	決算) 2,646 29,927	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し, 決算) 2,684 0	・被害の動計画整体	構箇所	数 30箇 基本台帳 (決算) 3,022 0	1世帯	歩当り!	(円)	決算)	事業 - -			計画)
事対 大 ア成( 芦 3事 内	の・   )果業   市  事   訴	目意 き カ指元 の 業 人事他減合	的図	対 意対 な 中 成 最 な 活 件業門償 を 関 指 原 補 配 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引 引	主語に 目 (1) (2) (2) (3) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	象 図(C) 的 (D) 指 事項 (ス½(M) (D) (D) (M) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	災害・地区	の住民が実時において 指標名 防災拠点整	,住民 (備箇所 ( 注集) ( 2,646 ( 29,927 ( 32,573	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し, 決算) 2,684	・被害の動計画整体	構箇所	数 30箇 基本台帳 (決算) 3,022	1世帯	歩当り!	(円)	決算)	事業			計画) - -
事対 大 ア成( 芦 3事 内(	で は	目意 き カ指元 の 業 人事他減合国	的図	対 意 対 な 中 成 最 な 活 件業門償・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	主語に 目 (1 (2 ) (2 ) (4 ) (4 ) (4 ) (4 ) (4 ) (4 )	象 図(C) 的 l)	災害・地区	の住民が実時において 指標名 防災拠点整 13年度(	,住民 (備箇所 ( 2,646 29,927 ( 32,573 3,967	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し, 決算) 2,684 0	・被害の動計画整体	構箇所	数 30箇 基本台帳 (決算) 3,022 0	1世帯	歩当り!	(円)	決算)	事業 - -			計画)
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財	「大川学   下   下   下   下   下   下   下   下   下	目意 き カ指元 の 業 人事他減合国市	的図	対意対な中成最な活件業門償・債象を制料終が動産を経却に発力を	主語目 (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	象 図(C) 的 l)	災害・地区	の住民が実時において 指標名 防災拠点整 13年度(	,住民 (備箇所 ( 注集) ( 2,646 ( 29,927 ( 32,573	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し, 決算) 2,684 0	・被害の動計画整体	構箇所	数 30箇 基本台帳 (決算) 3,022 0	1世帯	歩当り!	(円)	決算)	事業 - -			計画)
事対 大 ア成( 芦 3事 内(	「大川学   下   下   下   下   下   下   下   下   下	目意 き カ指元 の 業 人事他減合国市そ	的図	対意対な中成最な活件業門償・債のを制料終が動産を経却に発力を	主語目 (2) 大きをきます (構成) (2) 大きをきます (構成) (2) は、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	象 図(C) 的	災害・地区	の住民が実時において 指標名 防災拠点整	決算) 2,646 29,927 32,573 3,967 10,700	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し (2,684 0 <b>2,684</b>	・被害の動計画整体	構箇所	基本台帳 (決算) 3,022 0	1世帯	歩当り!	(円)	決算)	事業 - - - 0			計画) - - - 0
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財( ) 財( ) 財( ) 対( ) 対( ) 対( ) 対( ) 対(		目意 き カ指元 の 業 人事他減合国市そ一	的図	対意対な中、成最な活件業門償・債の財象を指揮を対する。「おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお	主語に	象 図して) 的 I ) I 標 事項 スト) 700.0% 000.0% 000.0%	災害・地区	の住民が実時において 指標名 防災拠点整	決算) 2,646 29,927 32,573 3,967 10,700	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し, 決算) 2,684 0 <b>2,684</b>	・被害の動計画整体	構箇所	基本台帳 (決算) 3,022 0 3,022	1世帯	歩当り!	(円)	決算)	事業 - -			計画)
事対 大 ア成( 芦 3事 内( 財		目意 き カ指元 の 業 人事他減合国市そ一職	的図	対意対な中成最な活件業門償・債のを制料終が動産を経却に発力を	主語 目 (2) (2) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	象 図(C) 的	災害・地区	の住民が実時において 指標名 防災拠点整	決算) 2,646 29,927 32,573 3,967 10,700	への防ジ	炎活動を: 指標値 21箇所	支援し (2,684 0 <b>2,684</b>	・被害の動計画整体	構箇所	基本台帳 (決算) 3,022 0	1世帯	歩当り!	(円)	決算)	事業 - - - 0			計画) - - - 0

	叫(アエック)															
評	価	視点					语	₹価チェック	リスト						1次評価	2次評価
	口的公尔州	F(0 0)	<u>\</u>	事業の主	目的は明	確である				事業の	目的は一	つに絞る	ことができた	にい		
妥	目的妥当性	E(2 ~ 2)	V	事業成果	が上位施	策に不可力	欠,または貢献	献が高い		貢献度/	が不明確	₹,またはi	高くない			
				市民二一	ズに基づし	ハて行うべ	き事業		<b>✓</b>	市民二-	- ズに基	づいて行	う事業では	ない		
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	1 1	<b>→</b> □ =									ハ,または未			_
当		.(= .)			数字で把		z				, 10,0.01	од / с-ос		把握	4	3
			$\vdash$				<u>。</u> とに適応してし	117		Ն스TEI	きの赤仏	/I= = +5 +1				
441	社会環境変	图化(1~ 1)	ΙЧ	:	わる社会な	表現の安11	こに週心して	/ I S	Ц	仙云塚	見の安11	ルーのれりし	た見直しか	'必安		
性	/= // I/I ##	to tel ess		内容			- 11 4 4									
6点	優先性,緊						の生命 , 安全									
	受益者(1~	1)		事業意図									が一部に降	艮定		
有	進捗状況(2	·~ 1)	1 1				目標値を設定								_	
効	2017-1770(2	٠ '/	₩	▶ ☑ 実績	値から計画	画通り進捗	していると言	える		当初計画	画から遅	れが出て	いる		3	3
性	- 進捗改善余	>+₩/1 <sub>~</sub> 1\	計	画から遅れ	いが出てい	る場合										
4点	- 進抄以告示	(1 ~ 1)		改善策あ	ı)								□特	になし		
			<b>V</b>	比較できる	る団体があ	5 <b>3</b>	団体名					比較できる	る団体はない	. 1		
				他団体の	数字を把持	握している	単位コス	ζ ŀ			<u> </u>	巴握してい	ない			
効	コスト(1~	1)					□ 他[		度				コストが高い	. 1		
				い,または				に配慮した		勿であり、						
							:は外郭団体					0,0,0,0	20.07207			
率							がけられている					お生が担	うべき部分が	がまっ	-1	-3
	手段(1~	3)								, -						
1.1							できない業務			•			心可能であ			
性							きない業務で	じある					可能である	1		
3点	コスト削減耳	双組(1~ 1)	1 1	コスト削減	の取り組み	みを行って	いる		✓	特に行っ	っていな	l I				
		, , ,	<b>→</b>	内容												
77 ct	1 5 - 1 /							改善						総合	_	1
宇施	1 5 ~ 1 ( した改	。 一	課題					内容						評価	В	В
× 100	0 /2 12	п ., п						134						HI IM		
5 今後	後の対応(ア	<b>'</b> クション)														
現在意	認識してし	ハる課題	市民	ニーズの	高いとこ?	ろに,適当	当な公園,集	会所等公	共施設	がない。						
			補助	金の打ちも	切りと財政	敗事情の思	悪化から配備	資機材の	見直し	,						
市民、関	係者 市民,関	係者の名称														
からの	<b>⊕</b> B															
要望	意見,	要望内容	身近	なところ	に防災施語	没がほしい	١.									
<u> </u>	7															
	(1)	対応内容														
	(1)	対応内容		1	<del></del>	16										
+m n=					年	月										
課題·要	望等	対応内容	平成		年	月										
	(2)	対応内容実施期限対応内容	平成			1										
課題・要	(2)	対応内容	平成		年	月月月										
	(2)	対応内容実施期限対応内容実施期限	平成平成			1										
	(2)	対応内容実施期限対応内容	平成平成			1										
	(2) 対応	対応内容実施期限対応内容実施期限	平成平成			1										
	(2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成		年	月										
へ の 対	(2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成		年	月										
へのす	型等 (2) 対応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成		年	月										
へのす	(2) 対応	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成		年	月							今後の	方向性	1次評価	2次評価
へのす	型等 (2) 対応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成		年	月月	が管理ととも	ir Hrs;	ことを	・目的とで	† Z		今後の拡大・		1次評価	2次評価
へのす	型等 (2) 対応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	防災組織の	年	月月	対策課ととも			目的とす	する。		拡大・	充 実	1次評価	2次評価
へのす	型等 (2) 対応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成平成	防災組織の	年	月月	寸策課ととも 本制づくりを		ことを	:目的とで	する。		拡大・ 現状	充 実 維 持	1次評価	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	型等 (2) 対応 (3) 3) 3 考えられき	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成自主民	防災組織の	年	月月			ことを	:目的とで	する。		拡 大 · 現 状 方 法	充 実 維 持 改 善	1次評価	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	型等 (2) 対応 (3)	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成自主民	防災組織の	年	月月			ことを	:目的と3	する。		拡 大 · 現 · 状 方 · 法 民 間 · 委	充 実 維 持 改 善 託 等	1次評価	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	型等 (2) 対応 (3) 3) 3 考えられき	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成自主民	防災組織の	年	月月			ことを	:目的とで	する。		拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 実 維 持 改 善 託 等	1次評価	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	型等 (2) 対応 (3) 3) 3考えられデ	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成自主民	防災組織の	年	月月			ことを	:目的とで	する。		拡現 法 民縮 合/終	充     集       故     話       功     記	1次評価	2次評価
へ の s そ の 他 改 善 の	型等 (2) 対応 (3) 3) 3考えられデ	対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成自主民	防災組織の	年	月月			ことを	:目的とで	する。		拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充     集       故     話       功     記	1次評価	2次評価
その他の 平成 1	型等 (2) 対応 (3) 3 3 3 7 ~ 19年度	対応内容 実施期限 対応 所別限 対応 対応 対応 方向 性	平成平成自主民	防災組織がらも安か	年の組織率でひして活躍	月月を,防災対策できる体	本制づくりを	構築。					拡現方法間 縮統合/終廃止/	充 維 持 善		
その他の 平成 1	型等 (2) 対応 (3) 3) 3考えられデ	対応内容 実施期限 対応 所別限 対応 対応 対応 方向 性	平成平成自主民	防災組織がらも安か	年の組織率でひして活躍	月月を,防災対策できる体	本制づくりを	構築。				ži. Д	拡現方法間 縮統合/終廃止/	充 維 持 善		

(内部	事務)	事業	□ <b>-</b> ド	1230020			部 長次	長課長
√7 ⊑t 1	5年度	車	業名	火災・警戒及び水防活	動に関する 坐教			
十八八	3 牛皮	. <del>P</del>	来 台	人人・言地及い小的/占	別に削りの耒份			
-								
		要(ドゥ)						
				1 活気あふれる豊か			所 管 課 消防本	
	計画		中	2 安全と防災の確保			警防部	•
政策			小	3 防災機能の強化			所管課長氏名樋口	
体	系		細				記入者氏名樋口	
事	業			平成13年度~平成2	11-11-AN 0		電 話 番 号 0797-	32-2345 内線 4121
					水防法・災害対策基本法	_	実施主体市	7 447
実 委	施	託		<ul><li>☑ 直営</li><li>☑ 外郭団体委託</li></ul>	一 一部委託	全部委託		] 負担金
女		пЪ	7.		名称  う,常日頃から調査・研		要託 委託 内容 現場活動の姿機材の点	
事	業	Ø	概 要	有事に備える。	フ,市口はから鳴車、例	ド 訓練で生は、みた。	,坑场归勤の負債的の点	快を大胆し、
<del></del>	未	0)	144 32	日子に備んる。				
事	業	Ø	現 状	  災害シーズンごとの警	戒を強化し,(例:山林	火災警戒(16回)・花	を火警戒(22回)・年	末警戒(38回))
_					こ,訓練,調査,研修を			
	目的	実現のたる	めの	現場資機材の点検を日	々の行事に組み込み実施	する。		
	手段	及び実施ロ	内容	(ホース・ノズル・背!	負器・予備燃料・分岐金	具・空気呼吸器・発電機	機・三連梯子等約60種	)
				資機材点検回数(5/月				
アク・	ティブ	1.活動指標	#		平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	1 1
指	標	703311	指標値		2 4 0 回	2 4 0 回	2 4 0 回	2 4 0 回
			単位コスト		41	32		
	<u> </u>			資機材活用件数(火災		五式4.5左克(克)(c)	五式4.6左克(D.梅)	
	・プット	結果指標			平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	
指	標		指標値		3 6件	2 0 件	2 0 件	2 0 件
າ ≢	光二	<u> </u> 果(アウ	単位コスト	336	273	384		
∠ <del>∓</del>	未ル	<del>木() )</del>	1/1/4)					
		対	象	現場資機材を取扱う職員	員。			
事業(	の目的	対象	カバー率	対 象 数 (a)	60 受益数	女 (b) 60	比 率 (b ÷ a)	% 100
対 象				, , ,			, , ,	
		意	図	資機材を良好に維持し	, 取扱いに習熟する。			
		(対象を	主語にして)					
大	き	な	目 的	火災警戒活動及び水防	活動等に無駄なく迅速に	対応し,市民の被害及び	び災害不安の軽減を図る	0
		1	T		. //	88.		
		١			1件あたりの延べ活動時			
					より活動時間を短縮すれ		亚式16年度1日標	東武13年度(日博)
	トカム	成果指標			平成14年度(実績)	<u> </u>		
ァリ 指	トルム標		指標値指標名	73分 大規模火災件数(焼損i	91分 面積10㎡以上のもの)	0 / /3	6 5 分	6 0 分
14	15			焼損面積及び損害額の				
		成果指標			平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		7-22/5/1	指標値		3/36件	0/20件	0件	0件
		1	1		l		l	
芦	屋 の	特 1	色 な ど	他市に比較して災害の	少ない安全で安心のまち	である。		
3 事	業費	·活動配	分(コスト					88 平成16.4.1 住民基本台帳
事	業			平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人	件費		·	9,809	7,674		-
	事	業		769	782	236	54	5
		I 門 経 費						-
(千円		画償 却 引	_	0.400	40.801	= 0:0	_	-
	合	İ	_	9,162	10,591	7,910	54	<del>0</del>
п <del>.)</del> ,	国	·						_
財活	源を	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	_					
(十円		の ff 設財派		9,162	10,591	7,910	54	5
		Wi #	თ <sub>.</sub> IUU.U%	9,102	10,091	1,310	J.	<del>-</del>
活 i			100.0%	0.95	1.15	1.00		-
	動職	į		0.95	1.15	1.00		<u>-</u>
配 :	動職	・臨時等			1.15 1.15	1.00	0.0	<u>-</u> - 0

評	<u> </u>	<u>レファ</u> 視	点						評	価チェ	・ック	リスト	<b>-</b>						1次評価	2次評価
н			<u>(1 ~ 1)</u>		対象カハ	「一率は高	L١		☑ 他団体							団体より	カバー率が	低い	· // (11 IIII	2 // WI IM
有		含者(1~				と受益者							益者2	が不整			一部に限			
						見指標の実													4	_
効	成集	その実績(2	2~ 1)	1		値から成り											いると言え	ない	4	3
性		3 <del>4</del> 1 A 11	l.// 0	成	果があが	っていない	場合													
4点	- 成果	同上余地	也(1~ 1)		成果向上	ニ策あり												寺になし		
				-		る団体があ	ある		団体名	近隊	株市田	町村				一較できる	団体はない	١		
	27.5	h=7/\/4	4)	V	他団体の	)数字を把	握して	いる	活動配分	}	Ţ				□把	握してい	ない			
	活里/	加分(1~	1)	┕	□ 他[	団体より少さ	ない		☑ 他団	体と同	程度	芰			□ 他	団体より	多川			
効				多	ハ,またに	は少ない場	合の理	里由												
				7	比較でき	る団体があ	ある		団体名	近隊	株市田	町村			□ tt	一較できる	団体はない	1		
	出化	コスト(1~	1\	V	他団体σ	)数字を把	握して	いる	単位コス	٢					□把	握してい	ない			
率	半世	ZJ     (   "	- 1)	▶	□ 他回	団体よりコス	ストがイ	氏い	☑ 他団	体と同	程度	麦			□ 他	団体より:	コストが高い	١	4	1
<del>4</del>				高	ハ,または	は低い場合	の理	±											ı	
				直	営(正規職	哉員が執行	)また	は外郭団	体へ委託	してい	る業	終に	つい	τ						
	手段(1~ 3)																べき部分が			
性	性			民間(企業	業 , NPO等	)では	対応でき	ない業務で	である			】民間	引(企業	, NPO	等)で対応	可能である	5			
4点	.—			嘱託,臨	時職員等	ではタ	応できな	い業務で	ある			」嘱i	毛,臨時	寺職員等	穿で対応 🕫	丁能である				
	コスト削減取組(1~ 1)				咸の取り組	みを行	うっている					〕特に	こ行って	ていない	١					
	-7.	וואר-איווננו ו	<u>,                                    </u>	<b>→</b>	内容												-			
亚成	1 5	~ 1 6	年 度 に							改盖	E							総合		
実施	゚し゚ゟ	- 改善	年 度 に 隽 内 容	課題	現場対応	い数が減	沙傾	句にある。	•	内容	イメ	<b>시</b> ージ	<b>ドレー</b>	・ニング	の導入			評価	Α	A
	\																			
5 今後	多の対	応(アク	7ション)	I																
			- +m n=		機関との															
現 在 記	認 識	してい	る課題																	
+0 8	B /5. ±z -	+ D 88/2	5 + 0 A 1h		発生件数	が減少の	頃回に	こある。												
		中氏, 関係	系者の名称																	
からの 要 望	, E	意 見 ,要	要望内容																	
安 堂	寸																			
		(1)	対応内容	平時	に現場想	定を見て	,職員	間で意見	見の交換を	を行う	イメ	<b>トージ</b>	<b>ドレ</b> ・	ーニン	′グを実	施する。				
		(1)	実施期限	₩ ct	15	年	6	le l												
課題·要	9 9 9		大肥积水	T11X	13	1+	0	73												
W. K.	· = ·	(2)	対応内容																	
へのす	动成	(2)	実施期限	平成		年		月												
,						1.	<u> </u>	1/3												
		(3)	対応内容																	
		, ,	実施期限	平成		年		月												
						1 .	·	i												
その他	考え	られる																		
改善	カア・	イデア																		
		-															今後の	方向性	1次評価	2次評価
				平時	において	危険及び	活動团	国難地域と	ヒ想定され	こる場	所(	道路	<b>發</b>	地域,	密集地	,,大規	拡大・	充 実		
				模商	業地域)を	を職員全員	で確	認し,活	動に対す	る意見	きをと	出しま	合うイ	(メー	ジトレ-	-ニング	現状	維持		
				を推済	進する。												方 法	改 善		
平成 1	7 ~ 1	9年度(	の方向性														民間委	託等		
																	縮	小		
																	統合/終	期設定		
																	廃 止 /	休 止		
2 次 評	平価 委	員 会	コメント																	

										7			_			
( —	般事	[業]	事業	コード	1240	020					部	ŧ	長 次	長	課	長
亚터	1 5	年度	重	業名	白士	防災組織の育成・	古摇事器							· -		
۲ ۲	<b>(</b> 1)	十反	<del>  </del>	未 口	H II	<b>列炎組織の自成。</b>	义 及 尹 未									
										_						
1	事業	<b>羊概</b>	要(ドゥ)										-		Į.	
				りの日標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づ	< I)					消防本部	3		
		計 画		<del>,。,。</del> 中		安全と防災の確保					所	管言	響防課			
		1 策		<u>'</u> //\		防災意識の向上	<u> </u>				所 答	5 課 長 氏 4	3 樋口 文	· <b>‡</b>		
	× 11			· <u>······</u> 細	4	の久心臓の门工							3 樋口 文			
事		系業			ਜ਼ ਦੇ		<b>左</b>	/▽₩π <b>=</b> n+		π <b>=</b> n+			与他口 X 号 0797-32-		+ //±	4404
	1bn		期			8年度~平成245	午贤	経常臨時	☑ 経常 □	臨時				·2345	内線	4121
	拠		令 , 5					_				施主位				
実		施	手			直営	一一部委託	t	□ 全部委託			補助金		負担金		
委			託	先			名称					委託内容				
					組織	化された自主防災口	に対して,小麸	見模な防災	訓練を通じて	資機材の国	取扱し	1を指導す	る。			
事		業	の	概 要	災害	時の避難方法を教持	受する。									
					消防	職員及び消防団員	は,自主防災約	且織と頻繁	に接触して,	資機材の技	操作方	法や員数	確認をはじ	め,		
事		業	Ø	現 状	災害	初動時における役割	割等を教授する	5.								
_		日的国	€現のため	າ <b>ກ</b>				•								
			ひ実施内													
		J PX		JA												
				七 抽 々	±   4≠·	<b>设</b> 道同数										
				指標名			亚出 4 左旁	(中/丰)	亚武 1 5 左旁	/ 中/丰 \	777 -	+ 1 6 左座	(口插)	ㅠᆣᄼ	7年安 /	口插丶
			結果指標			13年度(実績)			平成15年度	•	半片	成16年度	( ,	平成1	7年度(	日標)
			(1)	指標値		10回	9 回		170			2 4 [	믜		2 4 回	
アウ	ナトラ	プット		単位コスト		272,700	708,0	00	396,58	39						
指		標		指標 名												
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値												
				単位コスト												
2	事業	€成.5	果(アウ)				l .		I.							·
_	3.2	127-707														
			対	象	自主	防災組織の住民										
車当	<b>⊭</b> ω	日的	対 象 カ	バー率	対 象	き数 (a) 2.7	0 4 2 世帯	受 益 数	(h) 2	3 9 5 世紀	<del></del>	H	÷ a) %		8.9%	
		意図		/\ +	<b>∧</b> 1 ⊗	(a) 27,	0 + Z E III	又皿奶	(0) 2,	J J J E	ılı	IC + (D	- a) 70		0.570	
אַנגע	ж .			図	自主	防災組織の住民は	, 資機材の取扱	ひいを習得 かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	して,災害時	に「自分が	たちの	まちは ,	自分たちで	守る」の	0精神を[	句上さ
			意 /対象を1	_	せる。	<b>.</b>										
			(対象を3	E語にして)												
١.			t.	- 44			lon   1714# - 1/+4									
大		き	な	目 的	目主	防災組織の構築と	郷土防護の精剤	神の同上								
				指標 名	訓練	に参加した世帯数										
			中間成果	考え方・式												
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	ト	カム		指標値	1	I , 5 0 0 世帯	1,85	0 世帯	2,395	世帯						
指		標		指標 名	自主	防災組織の組織率	•							•		
						対策課と連携し組織	織率を向上さt	せる。								
				年 度		13年度(実績)			平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		57.1%	6 4 9		71.1			7 5 9			8 5 %	.,,
				1다 기자 IIC		37.170	0 1		, , , ,	70		, , ,			0 3 70	
ᅔᇀ	₹ <b>+</b> /	ひれきょ	カかど猫5	足する事項												
一点	יווי כ	ソ付け	いると言え	とりの事項												
_	<del></del>	と 建	ンエチもまつ	<u>/\                                    </u>	\				4 III ## \/ (A C FE )		4-	L L N/ (A / FFI		TT = 10		ナナハギ
	争身			<u>分(コスト</u>	)		I = *	, ) L Mr >	1世帯当り(円)			1人当り(円)	<del></del>	平成16.4	4.1 住民基	<b>本台帳</b>
事		業	費		半成	13年度(決算)	平成14年度		平成15年度	• •	半片	成16年度	(予昇)			
		人	件費			2,583		6,378		6,742			•			
		事	業費			144										
内	訳	他部	門 経 費										-			
(千	円)	減 佃	首償 却 費										-			
		合	計	100.0%		2,727		6,378		6,742			0			
		国	・県											1		
財	源		債 等											1		
(千			の他											1		
( 1	, L ,		<u>ジ 間</u>			2,727		6,378		6,742			0	1		
活	新州	職	<u>以 201 205</u> 員	100.0%		0.30		0.95		0.90				1		
			·臨時等			0.30		0.33		0.30				1		
配		嗎 it	+ + +			0.30	ļ	0.95	ļ	0.90			0.00	1		

日外記書性以下 2	4 計1	<u>叫(テェック)</u> 価 祷	. 点	評価チェックリスト	1次到	価 2次評価
日初会日間2   日初会日間2   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	н					- IM 2 / AT IM
		目的妥当性(	(2 ~ 2)			
日本						
□ いずれに接当しない	妥	市関与(2~	2)			
中国			,			
世代   1	当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>□</b> 5	4
日本		市民ニーズ(	2 ~ 1)	」 └─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把持		•
	性			□ 数字で把握している □ 未把握		
個条性 繁急性(1)   万字	8点	<b>社会理</b> 情恋的	(¥(1 ~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	更	
対象カバー等(1 - 1)			, ,	****:		
			. ,			
カ	<del>_</del>					
対	19		1)			
性 4点	効	成果の実績(	2 ~ 1)		1	3
4点	11/1-				,1	
単位コスト(1 - 1)		- 成果向上余年	地(1~ 1)		4.	
対	7////			·		
中国		w 45 1 44		<u></u>		
要益者負担(0-1) □ 自担を求めることができる事業である □ 負担を求めるくき事業ではない □ 例似不能・見直し不能 □ 例似可能 ) □ 自担をは、過少 □ 別位、過少 □ 別位、場所の事業権 □ 別域である。 □ 会担をが担ったも紹介がある □ 保証・経験である □ はまりをくの住民に参加できるよう・広報を充実させる。 □ 保証・経験である □ なが、の 対応の容 実施期限 平成 □ 年 □ 月 対応の容 実施期限 平成 □ 年 □ 月 対応の容 実施期限 平成 □ 年 □ 月 対応の容 実施期限 平成 □ 年 □ 月 対応の容 は 日本・経験である □ なが、の 発表を充実させる。 □ 保証・経験である □ 保証・経験の言と □ 表記・経験の言と □ 表記・	効	単位コスト(1	~ 1)			
平成17~19年度の方向性  **    **   **   **   **   **   **   *				高い、または低い場合の理由		
事		受益老負扣/	′∩ ~ 1\			
# 手段(1 - 3)	蒸	文曲百只三(	0 1)		) 0	0
性性   3点	'				"	0
性 3点 コスト削減取組(1 - 1) □ コスト削減の配組みを行っている □ 嘱託、臨時職員等で対応可能である □ 嘱託、臨時職員等で対応可能である □ 団 対応行っていない □ 対応行っていない □ 特に行っていない □ 特に行っていない □ 特に行っていない □ 特に行っていない □ 特に行っていない □ 特に行っていない □ 対応 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		手段(1~ 3	3)		3	
3点 コスト削減収銀(1~1) □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 内容 □ 球型 □ 大の 音 内容 □ おり を ク後の対応(アクション) □ 自市所災組織加盟世帯の一部しか訓練に参加されない。 まり多くの住民に参加してほしい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施期限 平成 年 月 対応内容 実施期限 平成 年 月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	141	,	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
平成 1 5 ~ 1 6 年度 に 課題						
平成 1 5 ~ 1 6 年 度 に 課題	る点	コスト削減取	!組(1~ 1)			
5 今後の対応(アクション) 自主防災組織加盟世帯の一部しか訓練に参加されない。 現 在 認 識 し て い る 課 題 より多くの住民に参加してほしい。 市民、関係者市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その 他 考えられる 改善の アイデア  平成 17~19年度の方向性  本 1度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。 に 1 1次評価 と次評価 を 1 1次 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
5 今後の対応(アクション) 自主防災組織加盟世帯の一部しか訓練に参加されない。 現 在 認 識 し て い る 課 題 より多くの住民に参加してほしい。 市民、関係者市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その 他 考えられる 改善の アイデア  平成 17~19年度の方向性  本 1度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。 に 1 1次評価 と次評価 を 1 1次 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成	15~16	年度に	課題	See B	B
現 在 認 識 し て い る 課 題 自主防災組織加盟世帯の一部しか訓練に参加されない。	夫 旭	U IE EX	普内谷		#1Щ	
現 在 認 識 し て い る 課 題 より多くの住民に参加してほしい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施したい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっと広報を実施りたい。 もっとなるにはない。 もっとなるにはない。 もっとなるにはないるはない。 もっとなるにはないるはない。 もっとなるにはないるはないるはないるはないるはないるはないるはないるはないるはないるはないる	5 今後	後の対応(ア	クション)			
*** おっと広報を実施したい。  **市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その他考えられる 改善のアイデア  ***  で で で で で で で で で で で で で で で で で						
市民、関係者市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等 (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  ズの 対 応 (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その 他 考えられる 改 善の アイデア  マ成 17~19年度の方向性  より多くの住民が参加できるよう,広報を充実させる。 年1度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。  平成 17~19年度の方向性  「現 状 維 持 方 法 改 善 民間 委 託 等 縮 小 統合 / 終期設定 原 止 / 休 止	現在意	認識してい	1る 課 題			
からの意見要望等     (1)     対応内容 実施期限 平成 年 月       への対応     実施期限 平成 年 月       (3)     対応内容 実施期限 平成 年 月       その他考えられる改善のアイデア     年 月       平成17~19年度の方向性     より多くの住民が参加できるよう, 広報を充実させる。 年 1 度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。 現 状 維 持 方 法 改 善民 間 委 託 等 編 小 統合/終期設定 廃 止 / 休 止 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 」	B		// dv = 4/1			
(1) 対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   日   日   日   日   日   日   日   日						
実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   対応内容   実施期限   平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日		意見,	要望内容			
課題・要望等		(1)	対応内容			
(2) 対応内容   実施期限 平成   年   月			実施期限	平成年月		
(2)     実施期限 平成 年 月       対応内容 実施期限 平成 年 月       その他考えられる 改善のアイデア     今後の方向性 1次評価 2次評価       より多くの住民が参加できるよう, 広報を充実させる。 年 1度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。     拡大・充実 現 状 維 持 方 法 改 善 民間委託等 編 小 統合/終期設定 廃 止 / 休 止	課題·要		対応内容			
対応内容   実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日						
実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(i) I(i)		<u> </u>		
実施期限     平成     年     月       その他考えられる 改善のアイデア     今後の方向性 1次評価 2次評価 本 1度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。       平成17~19年度の方向性     振大・充実 現 状 維 持 方 法 改 善 民間委託等 縮 小 統合/終期設定 廃止/休止		(3)	対応内容			
その他考えられる 改善のアイデア    今後の方向性   1次評価   2次評価		(3)	宝施期限	平成 年 日		
改善のアイデア		I	Zabzata	173		
平成17~19年度の方向性	その他	考えられる	)			
より多くの住民が参加できるよう,広報を充実させる。 年1度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。 平成17~19年度の方向性 では、17~19年度の方向性 には、17	改善の	カアイデア				
年1度の芦屋市防災総合訓練に「市民参加」の種目を増やす。 現 状 維 持 方 法 改 善 民 間 委 託 等 縮 小 統合/終期設定 廃 止 / 休 止						価 2次評価
方法改善         平成17~19年度の方向性         底間委託等         縮小         統合/終期設定         廃止/休止						
平成17~19年度の方向性       民間委託等         縮       小         統合/終期設定       廃止/休止						
縮     小       統合/終期設定       廃止/休止	<del> +</del> 4		~ + 4 #			
統合/終期設定 廃止/休止	平成「	/~19年度	の方同性			
廃止 / 休止					_	
						+
2 次 評 価 委 員 会 コメント より多くの市民が訓練に参加できるよう、地元と協議しながら進めて下さい。				<del>                                    </del>		
	2 次 評	猫 価 委 員 会	コメント	より多くの市民が訓練に参加できるよう、地元と協議しながら進めて下さい。		

(一般	事業)	事業	□ <b>-</b> ド	1240	060			Г	部長	次	長	課	長
平成15	,		<u> </u>		証明等発行及び各種			ľ					
十八八	十反	<b>尹</b> :	未 1	火火	証明寺光11及び台村	里隙用山处垤							
1 車	茶和豆	要(ドゥ)						L					
			りの日標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づく!)				消防本部			
総合			<u> </u>		安全と防災の確保				所 管 課	警防課			
政策			<u>·</u> 小		防災意識の向上				所管課長氏名		夫		
体	系	-	細						記入者氏名	下江 久	<b>左</b> 住		
事	業	期	間	随時		経常臨時	☑ 経常 □臨時		電話番号	0797-32-	2345	内線	4131
	法			芦屋	市火災予防条例				実施 主体				
実	施	手			直営	一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金		
委		託	先			名称		民間	委託 委託 内容				
<b>=</b>	<b>м</b>	•	107 ===			り、り災証明を発行する							
事	業	の	概 要	2 2	5種連路工事及ひ火	気使用等の願届等を受け	里する。						
				1 /	/巛店笹乃が夕恁起	告書を基にパソコン(「	コードンロブ 11巛	±π op:	また作はしてい	z			
事	業	Ø	現 状			后音を基にバクコン( には,謄・抄本,住民郭							
<del></del>		した。 実現のため				なる原因を排除するため					73		
		るび実施内				ない場合の届出の必要			V. 0/3 , / [R3@]	173 -J BC	_		
	3 1 2 %	/	-	<b>'</b>	( <u></u> .) ( 0 X + 1)		1/1830						
			指標名	受理	件数(各種届出)								
		結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実統	績)	平成16年度(	[目標]	平成 1	7年度(	目標)
		(1)	指標値		185件	193件	147件		140件	ŧ		140件	
アウト	プット		単位コスト		41,109円	35,726円	45,068円						
指	標				証明等の発行件数								
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実統	績)	平成16年度(		平成 1	7年度(	目標)
			指標値		2 1件	8 1件	2 4件		2 0 件			20件	
• = 1	NI -12 F		単位コスト		362,143円	85,124円	276,042円						
2 事	<b>業</b> 成	果(アウ)	トカム)										
		対	象	届出	義務者(個人,法)	人等)							
重業の	日的	対象力	バー率	対 象	e 数 (a) 1	4 7 件 受 益 数	(b) 147	件	比 率 (b	÷ a) %		100%	
対象・			/\ <u>+</u>	V1 8	( xx (u)	· / II	( ( )   /		10 + (D	. u) 70		. 0 0 70	
,,, <sub>2</sub> ,	Ž I	意	図	全署	所に出動経路の確詞	忍をさせる。							
		(対象を主	と語にして)										
大	ਣੇ	な	目 的	各種	届出により活動障害	害を排除し,市民生活の	安全を確保する。						
			1										
					活動障害解消率(外		· 阿巴什勒 100						
						道路工事及び火気使用等 平成14年度(実績)		(書 )	平成16年度(	(日梅)	亚式 1	7年度(	日畑ノ
アウト	<b>†</b> /\		指標値	十八人	100%	100%	100%	視丿	100%	•		100%	口信儿
指	カム標		指標名		1 0 0 70	1 0 0 70	1 0 0 70	J	1007	<u> </u>		1 0 0 70	
311	123		考え方・式										
				平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実統	績)	平成16年度(	[目標]	平成 1	7年度(	目標)
			指標値			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,			, ,			,
							1						
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	幹線	道路以外,道路狭窄	益地域が多い。							
			<u>分(コスト</u>			- 10			住民1人当り(円)		平成16.4	.1 住民基	本台帳
事	業	費		半成	`		平成15年度(決		平成16年度(	(予算)			
	<u>人</u> 事	件 費業 費			7,605	6,895	6,	625		-			
		来 頁 『門経費											
		首償却費											
(11)	合	計	100.0%		7,605	6,895	6.0	625		0			
	国	· 県			7,000	0,000	0,1	020					
財源	<u> </u>	債 等											
(千円)		の他											
,		段 財 源			7,605	6,895	6,0	625		0			
活 動	職	員	100.0%		0.90	0.85	C	0.80		-			
		・臨時等								-			
(人)		計	100.0%		0.90	0.85	0	.80		0.00			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1次並(事	2次評価
計	1		「次評1曲	2次評1個
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	H   3 \( \times   1 \times ( \times   1 \)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
_	10101 3(2 2)	□ いずれにも該当しない		
114			<b>⊣</b> →	1
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	/	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	41.4 =m1+-+-11	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
- ****	社会環境変化(1~1)	内容		
		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	=	
	対象カバー率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(2~ 1)	│ □ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1	3
X/J		▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		3
性		成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余地(1~1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
7////		□ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
4.1	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
効	,			
		高い、または低い場合の理由		
		☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 ☑ 徴収可能)	1	4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>-</b> 1	- 1
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
		<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	   コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		<b>→</b> 内容		
		75-50	_	
平 成		課題 工事順延等の報告の義務付け。 内容変更等事前連絡を指示。 神内容変更等事前連絡を指示。	∣B	В
			1 1 3	
美 肔	した改善内谷	内容「コーダスマットのとは、アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・アンドル・		)
		内容には、大学の表にいる。		
	した改善 N を <u> </u>	内容「コロダメサルにはいる。」		
5 今往	後の対応(アクション)			
5 今往	後の対応(アクション)	内容には、大容には、これが、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では		
5 今征 現 在 記	<b>後の対応(アクション)</b> 認識している課題			
5 今征現在記	後の対応(アクション) 認識している課題 派者市民関係者の名称			
5 今征現在記	後の対応(アクション) 認識している課題 派者市民関係者の名称			
5 今征現在記	<b>後の対応(アクション)</b> 認識している課題			
5 今征現在記	参の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称 意見 等 り、要望内容	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い		
5 今征現在記	参の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称 意見 等 り、要望内容			
5 今征現在記	後の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内容 対応内容	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 環災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 環境を表現して、「おります」である。 消防活動(消火栓支障なし、片側通行可能)に支障とならない届出に関し、届出の必要性の有無等を検		
5 今後現在 請市民, 関か要 望	参の対応(アクション) 認識している課題 間係者 意見 等 (1) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 高震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 今征現在記	参の対応(アクション) 認識 している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 高震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	参の対応(アクション) 認識 している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 清防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 今後現在 請市民, 関か要 望	参の対応(アクション) 認識 している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見 等 見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称意見等	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い		
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	参の対応(アクション) 認識 している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い		
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	後の対応(アクション) 認識している課題 引係者市民,関係者の名称意見,要望内容 (1) 対応内容実施期限 対応内容実施期限 対応内容	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	をの対応(アクション) 認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見 等 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 今 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクション) 認識している課題 引係者 市民,関係者の名称 意見 等 (1) 対応内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月		
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクション) 認識している課題 原係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月 平成 年 月	討中。	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月 平成 年 月	討中。	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月 平成 年 月	討中。	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称意見等 (1) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限 (3) 対応内容実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月 平成 年 月	討中。	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応(アクション) 認識している課題 活係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い	討中。 <b>注</b> 1次評価 <b>注</b> = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応(アクション) 認識している課題 活係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月 平成 年 月	討中。 <b>注</b> 1次評価 <b>注</b> = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応(アクション) 認識している課題 活係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 清防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月 平成 年 月 平成 年 月 ・ ・	討中。 <b>注</b> 1次評価 <b>注</b> = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応(アクション) 認識している課題 活係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 清防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月 平成 年 月 平成 年 月 ・ ボス・充・3 現 状 維 ま 方 法 改 ま 日	計中。	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応(アクション) 認識している課題 活係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	計中。	
5現市か要課へそ改今在 展ら題 の の善0の ●	参の対応(アクション) 認識している課題 活係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い 消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月  平成 年 月  平成 年 月  中成 年 月  中成 年 月  日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	計中。	
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 関の望   要 う 他で	後の対応(アクション) 認識している課題 高意見, 要望内容 意見, 要望内容 実施期限 (3) 対応 (3) 対応 (3) 対応 (3) である アイデア (1) (3)	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い  消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月  平成 年 月  平成 年 月  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	計中。	
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 関の望   要 う 他で	参の対応(アクション) 認識している課題 活係者 市民,関係者の名称 意見,要望内容 実施期限 (2) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限	震災復興等の整備事業継続中のため届出件数が多い  消防活動(消火栓支障なし,片側通行可能)に支障とならない届出に関し,届出の必要性の有無等を検 平成 16 年 12 月  平成 年 月  平成 年 月  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	計中。	

	<b>- 111</b>	>11/2						i	=1.7	=1 =
(一般	事業)	事 業	<u> </u>	21400	050				部長次	長課長
平成15	年度	事	業名	応急:	救護知識の普及啓	発				
1 事	業概3	要(ドゥ)						I	ļ .	<u> </u>
			じの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			所 管 課	ß
総合			中	1	保健・医療・福祉	の連携と充実			所 管 課 警防課	<b>枚急救助担当</b>
政策	施策		小	4	医療体制の充実				所管課長氏名 重野 化	<b>言弘</b>
体	系		細		応急救護知識の普		1		記入者氏名柳田	
事	業	期	•		8年4月1日~	経常臨時			電 話 番 号 0797-32	-2345 内線 4131
		令 · !				動の推進に関する実施要			実施主体市	- I - A
実 委	施	 託				一部委託	全部委託	7 088		負担金
女		пъ	71			名称   告問け3時間で 心肺蘚			委託  委 託 内 容  などを実施し,講習を修	フした老に対し
事	業	Ø	概 男		数命講習修了証を		工/公,八山皿叫02	ттш/д	なこを天地し、晦日を形	JOZEPCZJO,
7	*	0,	11/10 34		が は 日 日 日 田 氏 こ	00119 000				
				普通	救命講習会の実施	場所は,消防本部の会場	で実施している。	また		)要望により
事	業	の	現 状			を派遣して実施している			, ,	
	目的詞	実現のため	<b>5</b> 0	平成	15年度は,消防	本部で26回実施し,事	業所等には11億	箇所に 出	出向している。	
	手段及	ひ実施内	內容							
			指標名				I <del></del>			1 <del></del>
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(3	実績 )	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
741	<del>-</del>	(1)	指標値		3 8 回	38回	37回		40回	4 0 回
アウト: 指			単位コスト		367,578 救命講習会受講者	393,000	411,540			
扫	標	結果指標		_		平成14年度(実績)	亚成 1 5 年度 <i>(</i> 9	宇结)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値		689人	560人	692人	大順 /	1,000人	1,200人
		(2)	単位コス		20,272	26,667	22,004		1,000,	1,200,0
2 事	業成	果(アウ			- /	.,	,			
		対	· · ·	()	車業所の従業員	・ 白主院災知嫌の堪成員	1 中学生 草坎4	+ +=	学生,教職員,市職員,氵	当時団昌 冬番ガリューゴ
			バー薬	対象	え数 (a) 1 ,	000人 受益数	(b) 6 9	2人	比率 (b ÷ a) %	69.2%
対象·	思 凶	意	No.	中学	2 年生以上の住民	及び事業所等の従業員か	、正しい応急手当	当の知識	哉を認識し,適切な処置(	心肺蘇生法.止血法等)を
			ュ (主語にして	行う。	•					
		()/38(22	<u> шино с</u>							
大	き	な	目 的	傷病	者の救命率の一層の	の向上につながる。				
					救命講習修了者					
			考え方・式		4 2 5 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	五世 4 4 左京 / ウ.は、	T== 4 = 5= 6 ( =	/= \		
7 4 1		指標	年 度指標値		13年度(美績)	平成14年度(実績) 560人	平成15年度(至692人	実領)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標) 1,200人
ア ウト 指	カム標		- III- II-	1			092		1,000	1,200人
38		最终成果		3	場に占占りとだる 件数 ÷ 心肺機能停.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
						平成14年度(実績)	平成 1 5 年度()	実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			指標値	1	2 1 %	2 8 %	2 4 %	,	3 0 %	3 5 %
			1				l			
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	į						
			<u>分(コスト</u>	1			1世帯当り(円)		住民1人当り(円) 194	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業 T _	費				平成14年度(決算)	平成15年度(流		平成16年度(予算)	
	事	件 費業 費			13,632 336	14,636	-	4,981 2,402	427	
内 訳		来 頁 『門経費		0	330	298		۷,40۷	427	1
		賞却費							-	
(113)	合	計		6	13,968	14,934	1	7,383	427	1
	国	・ 県			•			2,156		1
	市	債 等	=							]
(千円)		の他			-				-	_
		段 財源			13,968	14,934	1:	5,227	427	
	職	員		6	1.40	1.50		1.70	-	_
		・臨時等		,	4 40	4 50		4 70	-	-
(人)	Ħ	計	100.09	D	1.40	1.50		1.70	0.00	

評	<u> </u>	<i>)</i> 視 点	評価チェックリスト	1次	マ評価	2次評価
н	1		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		(H1 1PM	- 77(41 1144
	目的妥当性	生(2~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
妥	市関与(2~	- 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	,		□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	1 .	5	5
	市民ニース	ズ(2~ 1)	└─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把	握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握			
8点	十 十 会 環 情 2	变化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	要		
			内容 応急手当普及啓発推進委員会で、カリキュラム等の変更があり統一基準になった			
	優先性,緊		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
有		- 率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体とりカバー率が低い □ 他団体よりカバー率が低い □ 恵業舎図し至さればて数の。または至され、第15回り			
F	受益者(1~	- 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		_	_
効	成果の実績	責(2~ 1)	□ 中间成業指標の美順値を指揮し、自標値を設定している□ 美順値なたは自標値が来記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えな	1.1	4	3
性			成果があがっていない場合	<u> </u>		
4点	- 成果向上領	余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな	بان		
.,,,,,			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣消防本部 □ 比較できる団体はない			
	>>		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト	(1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 把握していない □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	<b>受</b> 达老負地	旦(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又血白虫	=(0 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	) .	1	_1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•	
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	<u>გ</u>		
	,	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減	取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない ト 内容 緊急地域雇用創出特別交付金を活用した			
			議習会開催数の増加 2 か日に1回宝施していた議習会を			
平成	1 5 ~ 1	6 年 度 に 善 内 容	課題 改善	総合	Α	В
美 池	0 /2 FX	善 内 谷	内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内容の内	評価	` `	
5 今征	後の対応(こ	アクション)	<u> </u>			
			心肺機能停止患者に対する応急処置数が低い。			
現在意	認識して	いる課題				
		関係者の名称				
からの	<sup>思 見</sup> 意 見	,要望内容	講習会の開催を増やしてほしい。			
安 望	寺					
	(1)	対応内容	日曜日の午後から講習会を実施して,受講者が参加しやすいようにする。			
	(1)	実施期限	平成 年 月			
課題·要	望等					
	(2)	対応内容	2 か月に1回開催しているのを毎月1回開催に増加した。			
へのが		実施期限	平成年月			
		対応内容				
	(3)					
		実施期限				
		_	各団体に普通救命講習会を開催するよう働きかける。			
	考えられ		中学2年生以上の普通救命講習会をカリキュラムに入れるよう教育委員会に働きかける。			
改善(	カアイデ	<i>y</i>	今後の方	白州 1次	7 <b>≐</b> 亚 / 莱	2 1/2 ≑亚/本
			フロック    普通救命講習会の受講者を増加させるとともに,心肺機能停止患者に対する応急処置件数が   拡 大 · 3		(計1川	2次計111
			増えるよう充実強化する。 現 状 維			
			方法改			
平成 1	7~19年月	度の方向性				
			縮	小		
			統合/終期	設定		
			廃止 / 位			
			,			
2 次 評	価委員会	会コメント	普通救命講習会については、全市職員を対象とすることや、中学校での開催、休日での開催などを	検討して	下さり	<b>√</b> 1.

		I = 1112		1			-	1.,	l+m	
(内剖	『事務)	事業	コード	1230110			部 長	次	長課	長
₩ +	/	-	ج <i>ر</i> بلا	ツルのおる <i>体</i> は まむ	o h⊓ T⊞					
平成	15年度	争	業 名	消防の指令統制・情報	の処理					
1 事	事業概.	要(ドゥ)								
第3次	芦屋市	まちづく	(リの目標	1 活気あふれる豊か	いな生活環境づくり			消防本部	}	
	計画		<del>中</del>	2 安全と防災の確保			所 管 課	通信装備		
			•	<del> </del>	<u> </u>		C ~ = C A			
	施策		小	3 防災機能の強化			所管課長氏名			
体	系		細				記入者氏名	鈴木 精	司	
事	業	其	間	常時	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号	0797-32-	-2345 内線	270
根が	処 法	今 ,	要 綱 等	消防組織法・消防法・	雷波法	L.	実 施 主 体	市		
実	施			☑ 直営		□ 全部委託			負担金	
	ne.		,						只比亚	
委		託	π	□ 外郭団体委託	名称		<b>5</b> 委託内容			
				・119番による災害	通報受信 , 情報収集及び	各部隊(消防・救急・	救助 ) への出動指	令及び各	種情報等の	
事	業	の	概 要	伝達並びに各出動隊	への後方支援。					
				・事案発生初動時にお	ける,救急・救命処置の	迅速対応及び火災の延	<b>饶拡大防止等災害</b>	に因る被	害の軽減	
					ら緊急車両出動までの所					
				1 '	装置導入)を行うことに		, 消防本部庁吉の	建し省ん:	登 伸 争 耒 C	
事	業	の	現 状	亚行することにより	, 経費の二重投資の防止	になる。				
				・部隊運用等情報ネッ	トワーク確立まで,通信	業務従事者の研修・研	讚を行うことによ	り受信技	能の向上に	
	目的:	実現のため	50	努め119番通報に	かかる所要時間の短縮及	び簡潔的正確な情報伝	達による被害の軽	減		
		及び実施内								
	J-1-X/		, II							
			1							
			指標 名	119番通報受信件数						
アク	ティブ		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	(目標)	平成17年度(	[目標]
指		上活動指標			8,543件	8,737件	11.10	( 1-1 1.1.7	1110	
314	フティブ 標 活動指標 指 標					•				
			単位コスト		2,053	816				
			指標 名							
アウ	トプット	. 結果指標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	(目標)	平成17年度(	[目標]
指	標	<b>福米拍</b> 惊	指標値	3,123件	3,419件	3,521件				
			単位コスト		5,130	2,025				
	光代	田(マウ		0,200	0,100	2,020	<u> </u>		ļ	
າ 重										
2 事	⇒未ル:	<u>果(アウ</u>	<b>レカカ</b> )	T						
2 事	<b>→未</b> /以:		•	消防職員						
2 事	*未以:	<del>末</del> (アワ 対	•	消防職員						
		対	象	消防職員 対象数(a)	受 益 数	牧 (b) 3,056 <i>/</i>	比 率 (b	÷ a) %		
事業		対対象が	象		受益 第	牧 (b) 3,056 <i>)</i>	比 率 (b	÷ a) %		
事業	の目的	対象な	· 象 リバ - 率	対 象 数 (a)						扣煤筑
事業	の目的	対象が	象 1 バー 率 図	対 象 数 (a)	受益 勢					<b>朝構築</b>
事業	の目的	対象が	· 象 リバ - 率	対 象 数 (a)						期構築
事業	の目的	対象が	象 1 バ - 率 図 主語にして)	対象数(a) 消防職員の受信技能の	向上を行い,「被害軽減	のため迅速な指令の確	立」及び部隊運用	等情報ネ	ットワークの早期	
事業	の目的	対象が	象 1 バ - 率 図 主語にして)	対象数(a) 消防職員の受信技能の	向上を行い,「被害軽減	のため迅速な指令の確	立」及び部隊運用	等情報ネ	ットワークの早期	
事業対象	の目的・意図	対 対 象 カ 意 (対象を	象 1 バ - 率 図 主語にして)	対象数(a) 消防職員の受信技能の		のため迅速な指令の確	立」及び部隊運用	等情報ネ	ットワークの早期	
事業対象	の目的・意図	対 対 象 カ 意 (対象を	象 コバー 率 図 主語にして)	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必	向上を行い,「被害軽減	のため迅速な指令の確	立」及び部隊運用	等情報ネ	ットワークの早期	
事業対象	の目的・意図	対 対 象 カ 意 (対象を:	象 コバー 率 図 主語にして) 目 的	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数	   向上を行い,「被害軽減     技能(通信業務従事者)   須情報の伝達により被害	のため迅速な指令の確の向上を行い,119	立」及び部隊運用	等情報ネ	ットワークの早期	
事業対象	の目的・意図	対 対象が 意 (対象を: な	ま語にして) 目 指標式 考え方式	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務份	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修	・ 立」及び部隊運用 番通報受信から各	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早期までの所要時間短	短縮及
事業対象	の目的図	対 対象 意 (対象を な 中 成果指標	ま語にして) 目 相 掲表方方度	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績)	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務従 平成14年度(実績)	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績)	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度(	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早期までの所要時間知	短縮及
事業対象	の目的・意図	対 対象 意 (対象を な 中 成果指標	ま 京 で ま 計 に に に に に に に に に に に に に	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績)	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務份 平成14年度(実績) 8回	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修	・ 立」及び部隊運用 番通報受信から各	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早期までの所要時間短	短縮及
事業対象	の目的図	対象 た 意 (対象を な 中 成果指標	ま 京 で ま 計 に に に に に に に に に に に に に	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績)	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務份 平成14年度(実績) 8回	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績)	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度(	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早期までの所要時間知	短縮及
事業対象	の 目 的 ・意 図 き トカム	対 対象が 意 (対象を な 中成果指標	ま語にして) ボー 図() を 図() の 名式度値名	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務従 平成14年度(実績) 8回 時間	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度(	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早期までの所要時間知	短縮及
事業対象	の 目 的 ・意 図 き トカム	対 対象 意 (対象を 中 成 最 終	ま語 目 指考 展標 方 標標 所 標標 方 標標 所 が 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 き	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務従 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早ま までの所要時間知 平成 1 7 年度 ( 2 8 回	短縮及
事業対象	の 目 的 ・意 図 き トカム	対 対象が 意 (対象を な 中成果指標	ままれる (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績)	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務の 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績)	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績)	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早ままでの所要時間知 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度(	豆縮及 目標)
事業対象	の 目 的 ・意 図 き トカム	対 対象 意 (対象を 中 成 最 終	ま語 目 指考 展標 方 標標 所 標標 方 標標 所 が 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 き	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務の 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早ま までの所要時間知 平成 1 7 年度 ( 2 8 回	豆縮及 目標)
事業対象	の 目 的 ・意 図 き トカム	対 対象 意 (対象を 中 成 最 終	ままれる (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務の 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績)	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早ままでの所要時間知 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度(	豆縮及 目標)
事対大ア指	の 目 的 ・意 図 き トカム	対 意 対象を な 中成 最成 果指標	ままれる (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務の 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早ままでの所要時間知 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度(	豆縮及 目標)
事対大ア指	の・きカカ標	対 意 対 ま な 中成 最成 果指標	ままり は	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務の 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早ままでの所要時間知 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度(	豆縮及 目標)
事対大ア指	の・ き カ 標 の	対 象 た 意 対象を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ままり 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務の 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒 世帯数の半数以上を占	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ部隊出動:	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対 大 ア指 芦 3	の・とというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	対 対 意 対 な 中成 最成 特 動 配	ままり 目 指考年指指考年指 か 分 名式度値名式度値 ど ト	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務位 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒 世帯数の半数以上を占の 1世帯数の半数以上を占の	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標)	ットワークの早ままでの所要時間知 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度(	短縮及 [目標]
事対大ア指	の・ き カ 標 の	対 象 た	ままり 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報をにおける 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務( 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確 の向上を行い、1 1 9 の軽減 事者)の向上研修 平成 1 5 年度(実績) 1 2 回 での所要時間の短縮 平成 1 5 年度(実績) 3 分 1 5 秒 世帯数の半数以上を占 1世帯当り(円) 184 平成 1 5 年度(決算)	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標)	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対 大 ア指 芦 3	の・とというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	対 対 意 対 ま な 中 成 最 成 特 動 費 費 の の の の の の の の の の の の の	ままり 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報をにおける 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務( 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確 の向上を行い,119 の軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒 世帯数の半数以上を占の 1世帯数の半数以上を占の	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標)	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対 大 ア指 芦 3	の・とというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	対 象 た	ままり	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務份 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確 の向上を行い、1 1 9 の軽減 事者)の向上研修 平成 1 5 年度(実績) 1 2 回 での所要時間の短縮 平成 1 5 年度(実績) 3 分 1 5 秒 世帯数の半数以上を占 1世帯当り(円) 184 平成 1 5 年度(決算)	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標)	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対   大   ア指   芦   3事	の・ き カ 屋 業 人事的図	対 対 意 対 ま な 中 成 最 成 特 動 質 件	ままり (1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務份 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確 の向上を行い、1 1 9 の軽減 事者)の向上研修 平成 1 5 年度 (実績) 1 2 回 での所要時間の短縮 平成 1 5 年度 (実績) 3 分 1 5 秒 世帯数の半数以上を占い 1世帯当り(円) 184 平成 1 5 年度 (決算) 5,500	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) (7)	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦     3事     内	の・	対 対 対 意 対 な 中 成 一 長 成 十 大 一 大 一 、 に で 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に に に に に に に に に に に に	ままり	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務份 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確 の向上を行い、1 1 9 の軽減 事者)の向上研修 平成 1 5 年度 (実績) 1 2 回 での所要時間の短縮 平成 1 5 年度 (実績) 3 分 1 5 秒 世帯数の半数以上を占い 1世帯当り(円) 184 平成 1 5 年度 (決算) 5,500	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) (7)	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦     3事     内	の・	対 対 対 ま ま な 中 成 も 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ままります。 ままります。 ままります。 ままります。 ままります。 は、ままりままりままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりまます。 は、ままりままます。 は、ままりまままままままままままままままままままままままままままままままままま	対象数(a) 消防職員の受信技能の被害軽減のため,受信び出動途上における必研修回数各災害事案毎における平成13年度(実績)8回119番通報受信所要数急事案通報における平成13年度(実績)3分20秒共同住宅(マンション) 平成13年度(決算)	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務位 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減 での軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒 世帯数の半数以上を占成 1世帯当り(円) 184 平成15年度(決算) 5,500 1,628	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) - 1,780 	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦     3事     内	の・ ト 屋業 訳) 目意 き カ 屋業 人事他減 <b>合</b>	対 対 対 ま ま な 中 成 最 成 特 動 任 業 門 質 費 費 費 費 質 費 再 に の に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	ままます。 まままままます。 まままままままます。 まままままままます。 ままままままままます。 まままままままままま	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務位 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確 の向上を行い、1 1 9 の軽減 事者)の向上研修 平成 1 5 年度 (実績) 1 2 回 での所要時間の短縮 平成 1 5 年度 (実績) 3 分 1 5 秒 世帯数の半数以上を占い 1世帯当り(円) 184 平成 1 5 年度 (決算) 5,500	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) (7)	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦     3事     内	の・	対 対 対 意 対 な 中 成 最 成 活 件 業 門 質 費 費 費 再 ま に に に に に に に に に に に に に	ま語目 指え 標標方 標標方 標	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務位 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減 での軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒 世帯数の半数以上を占成 1世帯当り(円) 184 平成15年度(決算) 5,500 1,628	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) - 1,780 	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦 3     内       業象     ウ     事     内	の・ ト 屋業 訳) 目意 き カ 屋業 人事他減 <b>合</b>	対 対 対 ま ま な 中 成 最 成 特 動 任 業 門 質 費 費 費 費 質 費 再 に の に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	ま語目 指え 標標方 標標方 標	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務位 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減 での軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒 世帯数の半数以上を占成 1世帯当り(円) 184 平成15年度(決算) 5,500 1,628	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) - 1,780 	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦     3事     内     財	の・ ト 屋業 (計) 源目意 き カ 屋業 (人事他減 <b>合</b> 国市的図 (人事性)	対 対 対 意 対 な 中 成 最 成 活 件 業 門 質 費 費 費 再 に に に に に に に に に に に に に	ま語目 指表に	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 平成13年度(実績) 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務位 平成14年度(実績) 8回時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減 での軽減 事者)の向上研修 平成15年度(実績) 12回 での所要時間の短縮 平成15年度(実績) 3分15秒 世帯数の半数以上を占成 1世帯当り(円) 184 平成15年度(決算) 5,500 1,628	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) - 1,780 	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦 3     内       業象     ウ     事     内	の・ ト 屋業 訳) 源引 目意 き カ 屋業 人事他減 <b>合</b> 国市そ 的図 4	対 対 対 対 対 対 な 中 成 最 成 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ままり ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	対象数(a) 消防職員の受信技能の 被害軽減のため,受信 び出動途上における必 研修回数 各災害事案毎における 8回 119番通報受信所要 救急事案通報における 平成13年度(実績) 3分20秒 共同住宅(マンション	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務従 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全 平成14年度(決算) 15,352 2,185	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減 (の軽減 (の軽減 での軽減 での所要時間の短縮 での所要時間の短縮 で成15年度(実績) 3分15秒 (世帯数の半数以上を占って (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変)	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (予算) - 1,780 - 1,780	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦 3事     内( 財 千 財 千 財 千 財 千 財 千 財 千 財 千 財 千 財 千 財	の・	対 対 意 (対 な 中成 最成 ・ 下町 ・ 債の <b>財</b> を ・ 下町 ・ 債の <b>財</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ま語 目 指表	対象数(a) 消防職員の受信技能の被害軽減のため,受信び出動途上における必研修回数各災害事案毎における平成13年度(実績)8回119番通報受信所要数急事案通報における平成13年度(実績)3分20秒共同住宅(マンション) 平成13年度(決算) 10,266	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務従 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全 平成14年度(決算) 15,352 2,185	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減   事者)の向上研修   平成15年度(実績)   12回   での所要時間の短縮   平成15年度(実績)   3分15秒   世帯数の半数以上を占め   1世帯当り(円)   184   平成15年度(決算)   5,500   1,628   7,128	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (目標) - 1,780 	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     声 3事     内( 財 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所	の・ と ト 屋業 (訳) 源) 動目意 き カ 屋業 (人事他減合国市そ一職的図 (人事を) の で の で の で で で で の で の で で の で で の で	対 対 意 (対 な 中成 最成 活 件業門償 · 債の財 条 象 ・	ま語にして) 指表に 指表に 指指表に 標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標準です。 では、 一方では、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	対象数(a) 消防職員の受信技能の被害軽減のため,受信び出動途上における必研修回数各災害事案毎における平成13年度(実績)8回119番通報受信所要数急事案通報における平成13年度(実績)3分20秒共同住宅(マンション) 平成13年度(決算) 10,266	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務従 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全 平成14年度(決算) 15,352 2,185	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減 (の軽減 (の軽減 での軽減 での所要時間の短縮 での所要時間の短縮 で成15年度(実績) 3分15秒 (世帯数の半数以上を占って (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変)	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (予算) - 1,780 - 1,780	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]
事対     大     ア指     芦 3事     内( 財代 活配 単)	の・ と ト 屋業 (訳) 源) 動目意 き カ 屋業 (人事他減合国市そ一職的図 (人事を) の で の で の で で で で の で の で で の で で の で	対 対 意 (対 な 中成 最成 ・ 下町 ・ 債の <b>財</b> を ・ 下町 ・ 債の <b>財</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ま語にして) 指表に 指表に 指指表に 標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標準です。 では、 一方では、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	対象数(a) 消防職員の受信技能の被害軽減のため,受信び出動途上における必研修回数各災害事案毎における平成13年度(実績)8回119番通報受信所要数急事案通報における平成13年度(実績)3分20秒共同住宅(マンション) 平成13年度(決算) 10,266	向上を行い,「被害軽減 技能(通信業務従事者) 須情報の伝達により被害 ,受信技能(通信業務従 平成14年度(実績) 8回 時間 ,受信から救急車出動ま 平成14年度(実績) 3分25秒 等)の世帯数が,市内全 平成14年度(決算) 15,352 2,185	のため迅速な指令の確認の向上を行い、119年の軽減   事者)の向上研修   平成15年度(実績)   12回   での所要時間の短縮   平成15年度(実績)   3分15秒   世帯数の半数以上を占め   1世帯当り(円)   184   平成15年度(決算)   5,500   1,628   7,128	立」及び部隊運用 番通報受信から各 平成16年度( 28回 平成16年度( 3分05 める。	等情報ネ 部隊出動: (目標) (予算) - 1,780 - 1,780	ットワークの早期 までの所要時間知 平成17年度( 28回 平成17年度( 3分00利	短縮及 [目標]

評	価価	<u>エフフ)</u> 視	点	評価チェックリスト		1 炉 証 価	2次評価
計		<sub>1兄</sub> 象カバー率			(EL )	八計	4 八計1
有		<sub>象刀八一</sub> 率 益者(1~		□ 対象カバー率は高い □ 他団体とりカバー率が □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
н	Zi	<b>三</b> 百() ~	1)		Ė.		
効	成	果の実績(2	2~ 1)	<ul><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入</li><li>▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える</li></ul>	61.1	2	3
344					711		
性	- 成	果向上余地	b(1~ 1)	成果があがっていない場合	+ 1 4> 1		
4点					寺になし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	活動	<b>勯配分(1~</b>	1)	☑ 他団体の数字を把握している 活動配分 □ 把握していない □ 把握していない □ □ に握していない □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
*+				→ □ 他団体より少ない □ 他団体と同程度 □ 他団体より多い			
効				多い、または少ない場合の理由 ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ			
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	単化	· 立コスト(1 ~	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
率			·	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		2	2
				高い、または低い場合の理由		_	_
				直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について			
	手E	设(1~ 3)		☑ 行政職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ			
性	, ,	<b>X</b> (. 0)		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
4点				□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
	٦2	スト削減取約	組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		V1 133# W-1X#	,	→ 内容 機器保守官埋業務の見直し及び消耗品の削減			
राग होरे	1 5	~ 1 6	年 度 に	119番通報受信所要時間の短縮 予告指令の導入 改善 大き指令の導入 おおり おおり おおり おおり おおり かんき アンドラ かんり おおり かんしゅう かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり	松合		
実施	่	た改善	年度に 野内容	課題 内容	総合評価	Α	A
<u>5 今後</u>	後の対	対応 (アク	7ション)				
				受信技能 (通信業務従事者)の向上			
現在:	認 識	してい	る 課 題	各事案毎,聴取必須事項の簡潔化と出動途上部隊への情報伝達			
				部隊運用等情報ネットワークの早期構築(阪神間におけるシステム未構築は本市のみ)			
市民,関	係者	市民,関係	系者の名称				
からの	意 見	音 目 章	更望内容				
要 望	等	AC 70 , 3	Z = 13 T				
			対応内容				
		(1)	אַן נייטיונג				
			実施期限	平成 年 月			
課題·要	望等		対応内容				
		(2)	אנייטייניע				
へのか	対 応		実施期限	平成    年    月			
			対応内容				
		(3)	对心内台				
		-	実施期限	平成年			
				予告指令の再徹底			
その他	考え	られる		聴取必須事項の簡潔化			
改善	カ ア	イデア		機器取り扱いの習熟			
		-		今後の方	う向性	1次評価	2次評価
				通信業務従事者の研修・研鑽を行い、受信技能の向上に努め、受信所要時間の短縮 拡 大・	充 実		
				現状	維持		
				方法:	改善		
平成 1	7 ~ 1	9年度(	の方向性	民間委	託 等		
				縮	小		
				統合/終			
				廃止 /			
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		<u> </u>	
2 次 評	一個 名	委員会	コメント				

										<del>,</del>						
( —	般事	業)	事業	コード	1230 <sup>-</sup>	150					部	+	長次	長	課	長
亚叶	1 5	年度	事 :	業名	消防	用機械器具の整備	・改善及び技術	5指道・研	<b>F修</b>							
1 /2/	, , ,	T 1X	<del></del>	ж н	ונפוכוז	川城城田共り正開	KEKOK	1111444 M								
1	事業	€概₿	要(ドゥ)										•		•	
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づ	くり			55	~~ -	消防本部	3		
総	合 言	十画		中	2	安全と防災の確保					所	管	通信装備	担当		
政	策が	16 策		小	3	防災機能の強化					所管	課長氏	名市川 武	夫		
体		系		細								者 氏 :		夫		
事		業	期		常時			経常臨時	☑ 経常 □	臨時			号 0797-32		内線	230
	拠					組織法・消防法		WITTIJITHE	WE113	пини		<del>1                                    </del>			I J MAK	200
実	JÆ	施	· 手			直営	□ 一部委託	<u> </u>	□ 全部委託	:		<u></u>		負担金		
委		שנו				外郭団体委託	名称	L .				委託内容		只に业		
34			по	70		バ郭西体安記 活動資機材等の整f		1万71谷料	対生の翌朝治		JZnl;	女心的				
事		業	Ø	概 要	北北河	四割貝(成り) サの正(	伸(更初百0)	/ 及び負物	がみの自然性	10						
<b>→</b>	ž	未	0)	饭 女												
					E tr		1日1日/イチトロ	D 327 1111 1 1 1 1 1 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	<del>/.</del> 14 /l/						
_		ш	•	TD 4.6		機器の情報を収集	-		)表備機能を払;	允独化						
事		業 	の 		消化	用機械器具の改善	・探作技術の	可以拍导								
			<b>尾現のため</b>													
		<b>于</b> 段及	ひ実施内	]谷												
				1												
				指標名			<b>-</b>		I <del></del>		I — -		– . –	I — :		
			結果指標		平成	13年度(実績)	平成14年度		平成15年度		平成	.16年度	【(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値		8 💷	8 回		8 回							
アウ	トフ	゚゚゚ゕト		単位コスト		711,000	697,5	00	605,87	75						
指		標		指標 名	訓練	回数										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	〔〔目標〕	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値		2 4 回	2 4 [	0	2 4 🗈	]						
				単位コスト		237,000	232,5	00	201,95	59						
2	事業	€成.5	果(アウ)	トカム)					ı		1					
			- ,	,	• 現:	場活動資機材等(頭	車両含む)									
			対	象	・資	機材を扱う現場隊	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
事第	€の	目的	対象カ	バー率	対象	è数 (a)		受 益 数	(b)			比 率 (b	÷ a) %			
対纟	i i	意 図												•		
			意	図	・規	場活動資機材等(『 機材の操作技術の『	車両含む)の導 翌孰 強ルを®	導入及ひ改 Ϡz	【善を行つ。							
			(対象を主	注語にして)	, A	成小7071末1円1又  1107	aww Tailogs	700								
					- 0	71. B. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C.	H - 10 10 17 1	T >42 THE TT 44		o * \ 7 -	- v	<del>-</del> / ,	// chan le 14	·=		TO 10
大	÷	ŧ	な	目 的	現場	活動隊員の意見を 隊員の事故がなく	垦に,現場沽重 ない 独宝の	加貧機材等 x減	៖(単両含む)(	の導入及で	ひ改善	を行い、	災害現場店	動の回_	<b>上により</b>	,垷場
					/口玉川	小貝の手以かる \ /	より,阪吉の事	土川弘								
				指標 名	車両	装備改善										
			中間成果	考え方・式												
			指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	[(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウ	<b>7</b> ト	カム		指標値		0 回	1台・	1 回	1台・1	1 回						
指		標		指標 名	公務	災害者数										
				考え方・式												
					平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	〔(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		0人	0人	,	0人							
				•										•		
芦屋	市の	り特色	となど補足	足する事項												
3	事第	ξ費⋅	活動配:	分(コスト	)				1世帯当り(円)	125	住民1.	人当り(円	) 54	平成16.4	4.1 住民基	基本台帳
事		業	費	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度	(決算)	平成15年度	(決算)	平成	16年度	(予算)			
		人	件 費	64.1%		3,717		3,197		3,105			-	1		
		事	業費	35.9%		1,971		2,383		1,742			2,717			
内	訳	他部	門経費										-	1		
			償却費										-	1		
		合	計	100.0%		5,688		5,580		4,847			2,717			
		<u>-</u> 国	· 県	1				1,432		1,390			1,432	1		
財	源	-	債 等					,						1		
(千			の他											1		
, ,	. 5 /		<b>皮財源</b>			5,688		4,148		3,457			1,285			
活	動		<del> </del>	100.0%		0.35		0.30		0.30			-	1		
配			・臨時等										-	1		
( )			#			0.35		0.30		0.30			0.00	1		

評	<u>叫(フェソフ)</u>   価		評価チェックリスト	1 \/□ =	平価 2次評価
<del>aT</del>	1Щ 13 Т	元			平1世 2 次計1世
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな	.61	
			☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	. 7	
_			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能であ	) ර	
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		.
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	ัมเท <b>4</b>	<b>∤</b>   5
	市民ニーズ(	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未	把握	
性			□ 数字で把握している □ 未把	握	
8点	<b>ユム理培</b> 亦	/k/4 4)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが	必要	
	社会環境変	1七(1~ 1)	内容		
	優先性,緊急	急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	١	
有	受益者(1~	,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限		
		•	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	_	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	$t_{\text{CL}}$   2	2   3
性			成果があがっていない場合	./4./ 1	
	- 成果向上余	地(1~ 1)		- +>	
4点			□ 成果向上策あり □ 特に	_なし	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
4.1	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効		,	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	(∩ ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又血石只让	(0 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	能) 4	2
4			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		_
	T = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	• •	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	<b>゙</b> ある	
	手段(1~ 3	3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等で対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
3 M	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容 訓練及び研修内容の充実強化		
			現場活動資機材の導入整備及び改善消防車両の後部赤色灯の強化		
平 成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	パライ   パライ	総合	\
実 施	し た 改	善内容	内容	評価	<b>\</b>
	* o ++ = (=	<del> </del>			
5 77	後の対応(ア	<u> クション)</u>	を扱うせルナスの中市中央リス 17月77年次州44の英人物供力が55		
	±37 ±46 1 1	· → +m ==	複雑多様化する災害事案おいて , 現場活動資機材の導入整備及び改善		
現 仕	認識してし	1 る 課 題			
市民, [	月係者 市民,関	係者の名称			
からの	意見意見,	亜 切 贞 夵	2		
要望	! 等 🛎 光 🖊	女主门口			
	(1)	対応内容			
		実施期限	平成年月		
課題・要	要望等				
W// X22 3	(2)	対応内容			
への		実施期限	平成 年 月		
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	^3 //0	大旭知似			
	(2)	対応内容			
	(3)				
		実施期限	平成   年   月		
その他	也考えられる	5			
改善	のアイデァ	7			
			今後のこ	方 向 性 1次記	平価 2次評価
			複雑多様化する災害事案おいて,現場活動資機材の導入整備及び改善拡大・	充 実	
			現、状	維持	
			方法		
亚成 1	7~19年度	の方向性			
1 13%	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	בן ניין כל כיי		小	
			N. C.	-	-
				HH = A TE	I
			統合/終		
			統合/終  廃 止 /		
			廃止/		
2 次 部	平価委員会	コメント	廃止/		
2 次 評	平価 委員 会	コメント	廃止/		

( 内	部事	事務)	事 業	<b>J</b> -	· ド	1230	300				部 長	次	長	課	長
77.5	tt 1 c	左庇	車	<del>31.k</del>	47	沈化	田東市の姓は、答	田光双							
<del>"</del> "	<b>X</b> 1 3	年度	<del>*</del>	業	4	消化	用車両の維持・管理	生耒務							
1	事	業概.	要(ドゥ	)											
第3	次产	屋市	まちつ	() क।	目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			CC 25 ±==	消防本部	3		
総	合:	計画		中		2	安全と防災の確保				所管課	通信装備	担当		
政	策	施策		小		3	防災機能の強化				所管課長氏名	市川武	;夫		
体		系		細							記入者氏名	市川武	;夫		
事		業		期	間	常時	!	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電 話 番 号			内線	230
根	拠	法	令 ·	要 綱	等						実 施 主 体	市			
実		施		手			直営	□ 一部委託	□ 全部委託				負担金		
委			託		先		外郭団体委託	名称			<b>雲託</b> 委託内容				
								 応体制の確立を行い,火	災等の災害時間						
事		業	の	概	要										
_															
						車両	の運行実績管理								
								理等に関する日常管理							
事		業	Ø	現	状			2 4台の消防用車両の運	行運用						
							, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
		目的	実現のた	めの											
			及び実施												
		~ /													
				指 標	! 名	常備	・非常備車両の運行	· 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一							
ア・	クテ	ィブ	エギル	年	度	平成	(13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標	活動指	指標	[ 値		6,673回	7,199回	7,40	9回					
				単位	コスト		1,459	1,154	6,281						
				指標	. 名	整備	件数								
アワ	ל ל	プット	(+ m + s	在			(13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度(	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指		標		標 指 標			393件	285件	3 4 8	件					
				単位											
2	事	業成!	果(アウ	ナカム		l					ļ		Į		
			++		<i>-</i>	2出7十	四本五								
			対		豖	用奶	用車両								
事	業の	目的	対 象	カバー	- 率	対	象数 (a)	受 益 数	女 (b) 3	48件	比 率 (b	÷ a) %			
対:	象,	意 図													
			意		义	消防	用車両の適正な日常	常維持管理							
			(対象を	を主語にし	ノて)										
				_		l									
大		き	な	目	的	消防	用車両の適正な日常	常維持管理を行い,現場	活動隊が整備国	車両の現場	場使用による被害	の軽減			
			ı	1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		#h /++	<del></del>								
							率(%)	T#h 1 0 0							
							件数/整備必要箇所		亚武 1 5 左麻	(中纬)	一页式16年度。	/ D 抽 \	ਹਾ≓ 1 '	7年度(	口描〉
l		т,	成果指				(13年度(実績)		平成15年度		平成16年度			7年度(	
	ノト	カム		指標			100%	1 0 0 %	1 0 0	%0	1 0 0 %	0		100%	)
指		標					回数 (代替指標)								
				終考えた			:19年度/中雄、	亚武 1 4 年度(京建)	亚出 1 5 左	(中継)	双盘46左右	( D #= \	π±.	7年史 /	口抽丶
			成果指				11回		平成 1 5 年度		平成16年度(	(日標)	<del>ገ</del>	7年度(	口信)
				指標	1 1 1 1 1 1		11回	19回	2 1件	Η	-			-	
盐	屋	の	特	<b>台</b> か	تع										
芦	烂	()	1র্ড	色な	۲										
3	車	<b>学</b>	、千番九	記分(コ	7 h	\ \			1世帯当り(円)	1,201	住民1人当り(円)	519	平成16.4	1 住民基	1木 4 框
事	Ŧ,	<del>大貝</del> 業		費構成			13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度		平成16年度		1 /// 10.4		E411K
<b>-</b>		人			7.1%		3,432	2,012	13213 132	3,312	13210112	-			
		事			15.8%		6,300	6,290		7,334		5,472			
内	≢□		 7門経		0.0/0		0,000	0,290		7,004		5,712			
			貨却		77.1%					35,884					
( 1	(٦)	合			0.0%		9,732	8,302		46,530		5,472			
		国		朝 10 県	,u.U%		9,132	0,302		70,000		0,712			
財	汇	市		等							1				
	<i>师</i> (円:			他							<del> </del>				
( 1	1)		段 財		0.0%		9,732	8,302		46,530		5,472			
活	重†	職		_	0.0%		0.35	0.20		0.35		-			
/H	王/.					<del>                                     </del>	0.00	0.20		0.00			1		
丙丙	4	喔缸	· PM n=												
配	分 人 )	嘱託			0.0%		0.35	0.20		0.35		0.00			

対象がに一取(1 - 1)   対象がに一取(1 - 1)   対象がに一取(1 - 1)   対象がに一取(1 - 1)   対象がに一取(1 - 1)   対象がに対していると言えら   単数を設定と対しまで表示を記したはら言えら   東端を対しまっていると言えら   東端からの展光が多かでは対しま言えら   東端からの展光が多がでは対し   東端を対しまっていると言えら   東端からの展光が多がでは対し   東端を対しまっていると言えら   東端からの展光が多がでは対し   東端を対しまっていると言えら   東端からの展光が多がでは対し   東端とからの展光が多がでは対し   東端とからの展光が多がでは対し   東位コスト(1 - 1)   地位での数字を形態している   海部に対し   地位での数字を形態している   海部に対し   地位での数字を形態している   海部に対し   地位での数字を形態している   海部に対し   地位での数字を形態している   海部に対し   地位での数字を形態している   海部に対し   地位での数字を形態している   海部に対し   地位のの数字を形態している   海部に対し   地位のの数字を形態している   海部に対しまった。   中間によりない場合の理由   中位コスト   中間によりない場合の理由   中位は大りない場合の理由   中間によりない場合の理由   中間によりない場合の理由   中間によりない場合の理由   中間によりない場合の理由   中間によりない場合の理由   中間によりない場合の変形   東部によりないが表も   東部によりない場合の数字を形式では、単位コスト   東部によりない場合の数字を形式では、単位コスト   東部によりは、からの数字を形式では、単位コスト   東部によりない場合の理由   中間によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位の表   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりないは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、単位コスト   東部によりは、	評	価 視	,点				評価チェック	7リスト			1次評価	2次評価
対象の実績(2-1)		対象カバー率	<b></b> (1 ~ 1)		対象カバー率は高	56 N	☑ 他団体と同程度	ŧ	□ 他団体よりカバー率	が低い		
対	有	受益者(1~	1)	<b>V</b>	事業意図と受益者	は整合して	[いる ] 事業意[	図と受益者が不整	合,または受益が一部に降	艮定		
性	λh	世田の安建/	2 4\	<b>V</b>	中間成果指標の第	€績値を把掛	握し,目標値を設定してに	ハる □ 実績値ま#	たは目標値が未記入		2	2
4点   成果同上体化  1     成果同上体化  1	ХIJ	成果の美額(2	2~ 1)	<b>└</b>	☑ 実績値から成	果があがっ	ていると言える	□ 実績値か	ら成果があがっていると言	えない		၂
(1)	性	###	Ib/4 4\	成.		\場合					1	
透動配分(1~1)	4点	- 成果问上宗功	で(1~ 1)		成果向上策あり	[				特になし		
透動配分(1~1)				<b>V</b>	比較できる団体が	<u>.</u> ある	団体名		□ 比較できる団体はな	l I		
売加応分(1-1)		\\ \T=1\\ \T\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\					活動配分		□ 把握していない			
タリュスト(1-1)		<b>沽</b> 動配分(1~	· 1)	1 1			5 · · · · ·	 芰				
# 位 コスト(1-1)	効											
# 位 コスト(1-1)				V	比較できる団体が	ある	団体名		□ 比較できる団体はな	l I	1	
単位コストパニ 1												
本		単位コスト(1	~ 1)	1 1			i			il I		_
重点   正規職員が執行  または外部団体へ委託している業務について   「個人、家庭・地域等が担うべき部分がある   「日間に乗り入の等で対応可能である   日間に乗り入の等で対応可能である   日間に乗り入の等で対応可能である   日間に乗り入の等で対応可能である   日間に乗り入の等で対応可能である   日間に対したできない業務である   日間に行っていない   「日間を筆の元実強化及び車両運転者の技能的上   日常   日常   日常   日常   日常   日常   日常   日	率										-2	-1
日本								<b>業務について</b>				
性 4点									存 地域等が担うべき部分:	がある		
編託 臨時職員等で対応可能である	₩	手段(1~ 3)	)									
コスト削減取組(1 - 1)												
TAPHIMUMAI( ~ 1)	+ 7.77									ر		
平成15~16年度に実施した改善内容     日常維持整備の充実       5 今後の対応(アクション)     老朽化車両の維持管理       7 表 の		コスト削減取	組(1~ 1)						CALGAI			
平成 1 5 ~ 1 6 年度 に容												
5 今後の対応(アクション) *** おおんな 課題 ** おおいます	平 成	1 5 ~ 1 6	年度に	<b>運</b> 頭	口中能引症側の人	L <del>X</del>	改善	3寸走 開り3虫に		総合	B	B
選問	実施	した改善	善内 容	小龙			内容			評価	ם	ם
選問	L	4の対応(マ/	カミノコン/)		L							
現 在 認 識 し て い る 課 題  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等	7 7 18			少朽		1						
市民,関係者 市民,関係者の名称 からの意見 要 望 等  (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月  対応内容 実施期限 平成 年 月  (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  をの他考えられる 改善のアイデア  で、	1月 左 彰	の無してい			心半凹の無可日生	1						
からの意見要望等     (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月       (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月       (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月       (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月 車両取り扱い知識・技能の向上研修       その他考えられる 改善のアイデア 老朽化車両の維持管理       平成17~19年度の方向性       老朽化車両の維持管理       本方法 改善 万法 改善 月 現 状 維 持 方 法 改善 日民間委託等 編 小 統合/終期設定 原 止 / 休 止 」	坑 江 中		る味歴									
からの意見要望等     (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月       (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月       (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月       (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月 車両取り扱い知識・技能の向上研修       その他考えられる 改善のアイデア 老朽化車両の維持管理       平成17~19年度の方向性       老朽化車両の維持管理       本方法 改善 万法 改善 月 現 状 維 持 方 法 改善 日民間委託等 編 小 統合/終期設定 原 止 / 休 止 」	中日 問	(名字) 古兄 問(	を 半の 夕 称									
要望等     (1) 対応内容       実施期限 平成 年 月       (2) 大が応内容     実施期限 平成 年 月       その他考えられる 改善のアイデア       平成17~19年度の方向性       をお代化車両の維持管理       をお代化車両の維持管理       をお代車両の維持管理       をお代車両の維持管理       をお代・車両の維持管理       をお代・車両の維持管理       をお代・車両の維持管理       をお代・充実 現 状 維 持 方 法 改善 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 原 止 / 休 止 目 の に か に か に か に か に か に か に か に か に か に		-	ボロの口が									
(1) 対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東商取り扱い知識・技能の向上研修   子の他考えられる 改善のアイデア   タ後の方向性 1次評価 2次評価   技術 維持   方 法 改善   民間 委託等   規			要望内容									
(1)   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東施期限 平成   年   月   東藤期限 平成   年   月   東藤期限 平成   東藤期限 平成   年   月   東藤期限 平成   東藤期限 平成   年   月   東藤期限 平成   東藤東和 東京 東藤東和 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	女 主	ਚ			_							
実施期限 平成     年     月       への対応     実施期限 平成     年     月       その他考えられる 改善のアイデア     本の他考えられる 改善のアイデア     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行化車両の維持管理     本行・充実 現 状 維 持 方 法 改善 定 限 人 、		(1)	対応内容									
課題・要望等		(1)	C +/- +1070	t								
(2) 対応内容   実施期限 平成   年   月	±⊞ 85 æ5	t= **	<b>美</b> .	平成		H						
文の対応     実施期限 平成     年     月       実施期限 平成     年     月       車両取り扱い知識・技能の向上研修       その他考えられる     今後の方向性 1次評価       改善のアイデア     本朽化車両の維持管理     拡大・充実現	<b>詸</b> 超 ' 安		対応内容									
対応内容   実施期限 平成   年   月   車両取り扱い知識・技能の向上研修   子の 他 考えられる 改善の アイデア   今後の方向性 1次評価   2次評価   本 大・充 実 現 状 維 持 方 法 改 善 民間 委 託 等 縮 小				<b>-</b>	I							
実施期限 平成   年   月   車両取り扱い知識・技能の向上研修   子の他考えられる   改善のアイデア   一	~ W X	17 心	美施期限	半成	牛	月						
実施期限     平成     年     月       まの かん まっと できます。     車両取り扱い知識・技能の向上研修       できる アイデア     今後の方向性 1次評価 2次評価       本朽化車両の維持管理     拡大・充実現 状維持方法改善民間委託等       現状維持方法改善民間委託等       経済 (終期設定廃止 / 休止)			対応内容									
車両取り扱い知識・技能の向上研修         その他考えられる         改善のアイデア         老朽化車両の維持管理         拡大・充実         現状維持方法改善         民間委託等         縮         小         統合/終期設定         廃止/休止		(3)										
その他考えられる       今後の方向性 1次評価 2次評価         文後の方向性 1次評価 2次評価       拡大・充実         現状維持方法改善       民間委託等         経済       経済         中成17~19年度の方向性       経済												
改善のアイデア       今後の方向性 1次評価 2次評価         老朽化車両の維持管理       拡大・充実現 状維持方法改善民間委託等         平成17~19年度の方向性       民間委託等         経済       施合/終期設定廃止/休止				車両)	<b>収り扱い知識・技</b>	能の向上を	<b>州修</b>					
マ成17~19年度の方向性       老朽化車両の維持管理       拡大・充実現 状維持方法改善民間委託等         展間委託等       編         小統合/終期設定廃止/休止       原止/休止												
老朽化車両の維持管理     拡大・充実現状維持方法改善民間委託等       平成17~19年度の方向性     民間委託等編       が合/終期設定廃止/休止	改善 0	D アイデア									1	
現状維持       方法改善       民間委託等       縮小       統合/終期設定       廃止/休止												2次評価
方法改善         平成17~19年度の方向性         館         が合/終期設定         廃止/休止				老朽	化車両の維持管理	!						
平成17~19年度の方向性       民間委託等         縮       小         統合/終期設定       廃止/休止												
縮 小 統合/終期設定 廃止/休止												
統合/終期設定       廃止/休止	平成 1	7 ~ 1 9 年 度	の方向性									
<u>廃止 / 休止</u>												
2 次評価委員会コメント									廃 止	/ 休 止		
2 次 評 価 委 員 会 コメント												
	2 次 評	価委員会	コメント									

( 内	部事	事務)	事 業	I	12303	10				部 長	次	長部	<b>#</b>	長
77.5	tt 1 c	午莊	<b>=</b>	** <	7 (出7七):1	チョカロ 谷地 サクル	<b>生,答用</b> 类双							
<del>"</del> "	<b>X</b> , 1 3	年度	<del></del>	業	讨用的话	舌動用資機材の維持 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	付・官理業務							
								<u>.</u>						
1	事業	業概	要(ドゥ	)										
第3	次芦	屋市	まちづ	くりの目標	票 1 %	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			所 管 課	消防本部			
総	合言	計画		中	2 3	安全と防災の確保				7/1 E DA	通信装備	担当		
政	策力	施策		小	3	防災機能の強化				所管課長氏名	市川 武	夫		
体		系		細						記入者氏名	市川 武	夫		
事		業		期間	常時		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電 話 番 号		2345	内線	230
根	拠	法	令 ·	要綱等	Ť					実 施 主 体	市			
実		施	:	手 法	ţ	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金		
委			託	#	Ē 🗆 🖇	外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 委託内容				
					現場活	<b>動時における危</b>	害防止及び二次災害に万	全を期するため	的消防活動	動用資機材の維持	管理			
事		業	の	概 要	5									
					法定点	気検・定期自主点	検の実施							
					機器取	双扱者資格取得派法	晝							
事		業	の	現り	機器取	双扱者研修実施								
		目的	実現のた	めの										
		手段》	及び実施	内容										
				指標 名			T							
	クテ	ィブ	1:古町沿入	<u> </u>		13年度(実績)		平成15年度		平成16年度	(目標)	平成17	年度(	目標)
指		標	/U±//Jロ1	指標値	1	5 2 回	52回	5 2 回	]					
				単位コス	<b>\</b>	96,866	71,500	71,308	3					
				指標 名										
	: אל	プット		₩		13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17	年度(	目標)
指		標	WI WIN	指標 個										
				単位コス	<b>-</b>									
2	事	業成	果(アウ	トカム)										
			対	复	当消防治	5動用資機材								
										1				
				カバー 薬	対象	! 数 (a)	受 益 数	女 (b)		比 率 (b	÷ a) %			
対	象,	意 図	l											
			意		機能を	を良好に維持管理	し、現場隊員の安全を確	保する。						
			(対象を	:主語にして)										
		_	4.		L TO 18 \4									
大		き	な		1 現場活	古動隊員の安全催化	保、災害現場活動の向上							
			1		\ <u>+</u> - +									
			١				検の実施機器検査合格率	(%)						
					-	合格率/機器数×			/ ch/# >		( D.#= \	<del></del>	/= ri= /	- L
l			成果指				平成14年度(実績)			平成16年度		平成17		
	フト	カム		指標値		100%	100%	1009	%	1 0 0 9	Ő	1	00%	
指		標				当割負機材使用に	よる公務災害者数							
				冬考え方・豆		1 2 左座 / ウ/き、	亚代 1 4 左左 / ウ.健、	亚巴 4 5 左左	(中)(ま)	東げると左岸	( <del>                                     </del>	₩#4 -	左帝 ′	口抽、
			成果指				平成14年度(実績)		(実績)	平成16年度	(目標)	平成17		目標)
				指標値	1	0人	0人	0人		0人			0人	
<del>-,,-</del>	_	_	4+	<del>4. +</del> . 1	4									
芦	屋	(1)	特	色なと	-									
Ļ	= 1	LL #	・イ チェエ	1/\ /						In management	1		/> D #	+ /: +=
_	事			3分(コスト		4 2 5 5 7 1 5 5	京武 4 4 年度 7 法签入	1世帯当り(円)		住民1人当り(円)	41	平成16.4.1	任氏星	基本台帳
事		業		費構成%	_	13年度(決算)		平成15年度		平成16年度	( ) 力昇 )			
		스_		貴 67.69		2,801	2,012		2,506					
		事		費 32.49	%	2,236	1,706		1,202		1,515			
内			7門経								-			
( <del>T</del>	円)		「償却 <u>。</u>	-							-			
		合		100.09	%	5,037	3,718		3,708		1,515			
		国	اِ ،	_						1				
財	\F	市		等						<b>.</b>				
					1		Ĭ			i .				
( Ŧ	<i>。</i> 円)	そ	<u>の f</u>											
	円)	そ <b>ー</b> !	設財法	<b>9</b> 100.09	_	5,037	3,718		3,708		1,515			
活	一円)	そ 一 』 職	段財法	<b>100.0</b> 9	_	<b>5,037</b> 0.30	<b>3,718</b> 0.20		<b>3,708</b> 0.25		1,515 -			
活配	一円)	そ 一 月 職 嘱託	<b>股財</b> : : 臨時等	<b>100.0</b> 9	_		•				1,515 - - 0.00			

評	<u> </u>		点			i	平価チェックリ	スト				1次評価	2次評価
	対象カバー	一率(1~ 1)		対象カバー率は高	高い		体と同程度		□ 他団体よりカ	バー率が	低い	.,	.,
有	受益者(1	~ 1)	<b>✓</b>	事業意図と受益者	ば整合し			と受益者が不整	隆合,または受益が-	一部に限え	Ē		
効	出田の中	績(2~ 1)	V	中間成果指標の第	実績値を排	巴握し,目標値を	設定している	る □ 実績値ま	たは目標値が未記ん	λ		2	3
XIJ	双未の夫:	#貝(∠~ I)	•	▶ ☑ 実績値から成	果があが	っていると言える	5	□ 実績値か	ら成果があがってい	ると言え	ない	2	3
性	- 成里向上:	余地(1~ 1		果があがっていない	/場合								
4点	ルスホラエ	27.2B(1 1		成果向上策あり							寺になし		
				比較できる団体が		団体名	i		□ 比較できる団				
	活動配分(	(1 ~ 1)		他団体の数字を把					□ 把握していな				
*+		,		▶ □ 他団体より少		·	団体と同程度		□ 他団体より多	L1			
効				い,または少ない場		•				/ <del>-</del>			
				比較できる団体が		団体名	•		□ 比較できる団				
	単位コスト	·(1 ~ 1)	1 1	他団体の数字を把			·		□ 把握していな		,		_
率				▶ □ 他団体よりコ		1 区 10区	体と同程度		□ 他団体よりコ	ストか高い	1	-1	1
			_	iハ,または低い場合 営(正規職員が執行		がいませんで	エーテニ 12 光子	タについて				_	
									庭,地域等が担うべ	き部分が	<b>ホ</b> ス		
性	手段(1~	3)							産, 地域寺が担け、 Ě, NPO等)で対応回				
4点				嘱託,臨時職員等	-			•	時職員等で対応可能 ・				
1755				コスト削減の取り組				□ 特に行っ		35 600 0			
	コスト削洞	<b>域取組(1~</b> ′		内容 資機材化			数の計上)						
				法的検査義務機器	器の完全	実施							
平成宝施	1 5 ~ 1 した改	6年度	に課題				改善 内容				総合 評価	В	Α
	0 /2 12	- r <sub>3</sub>					731				піщ		
5 今往	後の対応(∶	アクション								·-			
				取扱者研修におけ	る研修内	容の充実・強	化						
現在:	認識して	いる課	題										
+0 8	315 X + D	即なおのな	<i>t</i> -										
からの	引係者 市民,	関係有の石	NI										
からの 要 望		,要望内	容										
女主	<del>- 1</del>												
	(1)	対応内容	3										
	( . ,	実施期限	₹ 平成	年	F	1							
課題·要	望等			1		•							
	(2)	対応内容	Ť										
へのす	対 応	実施期	艮 平成	年	F.	]							
		対応内容	3										
	(3)	XJ/W/Z	1										
		実施期限	マ 平成	年	F	]							
	考えられ												
改善の	カアイデ	ア							F	A /// = =	<u> 1</u> 11		
			1414 00	四世 老世 ゆに もに	L 7 TT 1/2 H		/v + 🖼 z			今後のプ		1次評価	2次評価
			機益	取扱者研修におけ	る研修と	対谷の允美・強	化を図る。			<u>広大・</u> 現 状			
									<u> </u>	<del>况 1//</del> 方 法			
च्या हो। 1	7~19年	度の方向の	<del>/</del>							<u>7  本</u> 民間委			
T 13% 1	/ ·· / ) <del>+</del>	反の刀門	_							宿	小		
									<u> </u>	···· ································			
									_	<del>邓山/ ////</del> 桑 止 /			
									Į.				1
2 次 評	価 委 員	会コメン	٢										
				-									

(	与剖	事	務)	事業	<b>¬</b> –	۲	1230	340				部長	次	長	課	長
							347+	数名無約の実用	C. 7 \$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\							
₩.	DX,	1 2 1	年度	<del>**</del>	業	10	用仍	・双忌無縁の連用が	及び維持・管理業務							
											=					
	_	_		要(ドゥ)								1	T			
				まちづく		標		活気あふれる豊か				所 管 課	消防本部			
			一画		中			安全と防災の確保				5. 签细 E 5. 4	通信装備			
	朿	. 1011	策		細		3	防災機能の強化				所管課長氏名記 入 者 氏 名				
体事			系業		·····································	問:	常時		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号			内線	230
	扮	<u>л</u>	法		<del>"</del> 要 綱			組織法・電波法	火工 口3 正開かり		пинил	実施主体		2010	N/N C 1	200
実			施		F			直営	□ 一部委託	□ 全部委託	;	□ 補助金		負担金		
委				託				外郭団体委託	名称			委託 委託 内容				
							災害	現場における情報の	の収集伝達手段の確立を	行い,情報の共	共有化等!	こよる被害の軽減	į			
事		当	Ě	の	概	要										
							_,_			N						
									・無線従事者の選解任等	法的義務の励行	J					
事		꿐	Ě	Ø	現			交信の統制 知識及び操作の習動	釻							
₹		7	K	0)	<b>-</b> ∕£	1/(:	ACC INST.	和職/又の一来「ドックログ	W.							
		E	目的	実現のため	かの											
		Ę	手段)	及び実施の	内容											
				1												
_	_	_						通信使用回数(暦年			/ ch/# >	五世46年度	/ D.#= \		7 /T IT (	
が指		ァ	ィブ 標	活動指標	年			13年度(美額) 57,141回	平成14年度(実績) 61,420回	平成 1 5 年度 5 8 , 0 5		平成16年度	(日標)	平成Ⅰ	7年度(	日標)
扫			尓		* <u>指標</u> 単位コ			145	76	88	9 4 四			$\vdash$		
							作動	点検実施数	70	00				<u> </u>		
ア	ウΙ	トプ	ット	/+ m +k +a	年			13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
指			標	結果指標	指標	値		3 6 5 回	3 6 5 回	3 6 5						
					単位コ	スト		22,655	12,751	13,88	0					
2	事	業	成	果(アウ	<u>トカム)</u>											
				対		象	現場	活動隊員								
車	光	σ F	3 65	计争士	7 11" —	弦:	ਹੈਰ ⊈	录 数 (a)	受 益 数	t (b)		比 率 (b	. 2) 06			
			医圆道	A) 3K /.	<i>,</i> , ,		<b>V</b> ) <	(a)	X m x	X (D)		IC + (D	÷ a) 70	<u> </u>		
				意		図	現場	活動隊員に対し,[	良好機器の提供を行い無	線知識及び操作	作の習熟で	を行う。				
				(対象を	主語にして	て)										
							생 모모	の4生+生管1用 ひょがねん	た取り扱い社後の白しま	<b>仁」、 1日+日:千</b> 乗	がおきがら	たむして使用でき	フーレニ	F13 4mm	(伯六/广/	<b>ひ</b> 4六年II
大		5	<u> </u>	な	目	的	を行り	の維持官珪及び採り い,被害の軽減	乍取り扱い技術の向上を	1」6 1 ,北北海/白里	訓外負力的	又心して使用でき	のここに	<b>より</b> , 無	版义 IE V	ノがルロリ
					TF: T#		<del> </del> ###									
				中間	<u>垣 標</u> 考え方	_	坊市;	無線機修理基数								
				成果指標		-	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア	ウ	١,	b Δ	7-2071431412	指標	値		1基	1基	3基	-					
指			標		指 標	名	使用	可能数 ( H1!	5 年度 1 基老朽廃棄	所有数 5 7 基	基)					
					考え方	_										
				成果指標		_	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度		平成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
					指 標	値		5 8 基	5 8 基	5 7 基	<u> </u>					
芦		室	の	特(	色 な	ٹے										
_	,	至	U)	1ਚ 6	<b>=</b> 4	۲										
3	#	業		活動配	分(コス	<u>ا</u> کا کا				1世帯当り(円)	131	住民1人当り(円)	57	平成16.4	.1 住民基	基本台帳
事		- /	<u>火</u>	<del>/ロェ//IC</del> 費			平成	13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度		平成16年度				- 1 - 1 - 1
			人	件 費	98	3.2%		8,011	4,459		4,973		-			
		L	事	業費		.8%		258	195		93		94			
内				門経費									-			
( <del> </del>	F F.	_		貸却費	-			2.22	4.0-1		F 000		-			
		_	<u>合</u> 国		_	.0%		8,269	4,654		5,066		94	1		
財		 源 i		· 県	_									1		
		//ぶし ] )   ·		の他										1		
` '		-		段財源		.0%		8,269	4,654		5,066		94			
活		動	職	Ę	_	0.0%		0.80	0.45		0.50					
配		<u> </u>		·臨時等									-			
1	1	١.	_	*	H 400	00/		0.00	0.45		Λ ΕΛ		0.00	i		

評	価 視	点				評·	価チェッ	ックリスト			1次評価	2次評価
	対象カバー率	<b></b> (1 ~ 1)	V	対象カバー率は高	١١	□ 他団体	と同程		□ 他団体よりカバー率	 が低い		
有	受益者(1~	1)	V	事業意図と受益者	は整合してに	13	事業意	意図と受益者が不	整合,または受益が一部に『		1	
λħ	成果の実績(2	2	V	中間成果指標の実	績値を把握	し,目標値を	没定して	ている 🗌 実績値ま	たは目標値が未記入		2	1
効	成未の美領(4	2~ 1)	<b>▶</b>	・☑ 実績値から成り	果があがって	いると言える		□ 実績値だ	いら成果があがっていると言:	えない	2	4
性	- 成果向上余均	H/1 1\	成:	果があがっていない	\場合							
4点	- ル木円エホリ	B(1~ 1)		成果向上策あり						特になし		
			<	比較できる団体があ	ある	団体名	i		□ 比較できる団体はな	l 1		
	活動配分(1~	. 1)		他団体の数字を把		活動配分			□ 把握していない			
	/ロ宝が自じ/」(「	'/	<b>▶</b>	・ 🗌 他団体より少	ない	☑ 他団	本と同科	呈度	□ 他団体より多い			
効				い,または少ない場								
				比較できる団体があ		団体名	<u></u>		□ 比較できる団体はな	<b>L 1</b>		
	単位コスト(1 <sup>-</sup>	~ 1)	1 1	他団体の数字を把		単位コス	i.,		□ 把握していない			
率	- III-J/()	.,		· 🗌 他団体よりコス		☑ 他団	本と同科	呈度	□ 他団体よりコストが高	۱J	0	2
				い,または低い場合							0	_
				営(正規職員が執行								
	手段(1~ 3)	1		行政職員による執行					【庭,地域等が担うべき部分】			
性	3 +2(1 0)			•	•			•	業 , NPO等)で対応可能であ			
4点				嘱託,臨時職員等			ある		時職員等で対応可能である	;		
	コスト削減取	組(1~ 1)		コスト削減の取り組		, I る		□ 特に行っ	ていない			
	17(16)	мш( і і)	→	内容 機器の整	理							
√7 ⊏t;	1 5 1 6	年 庄 仁		無線交信の統制			7/	使用波別の徹底		松合		_
実施	1 5 ~ 1 6 した改善	サ 反 に 善 内 容	課題				改善,	無線知識及び操作	F技能の向上	総合評価	B	Α
<u>5 今後</u>	後の対応(アク											
				知識及び操作の習	熟による,	無線交信統制	の確立	Z				
現在記	忍識してい	る課題										
		T + = TL										
	係者 市民,関係	糸者の名称										
からの		要望内容										
要望	等心力力											
	(1)	対応内容										
	(1)	\$2 th: \$40.7B	ਜ਼ ਦੇ									
課題·要	t用华	実施期限	平风	年	月							
球超 安	(2)	対応内容										
へのタ		実施期限	ᅲ	年	月							
, (O) X	טון ני	夫加期限	十八		H							
	(3)	対応内容										
	(3)	実施期限	VV ct	年	月							
		天肥期സ	十八人	+	/ <del> </del>							
その他	考えられる											
	カアイデア											
м <b>Б</b> •									△ 後 σ	方向性	1 冷郁/雨	2.冷証/高
			無線	知識及び操作の習	勃に トス	無媳衣信締集	の確さ	7		· 充 実		2.从計画
			<del>八代</del> 和水,	和職及の末15の目:	然(C みる ,	無冰又口沁巾	リヘンが用ファ	L		維持		
π <del>-1</del> 1	7 10年 🛱	Λ <del>+</del> ← #								改善		
十	7 ~ 1 9 年度	の方向性								委託等		
									縮ケーク	少₩≒೧字		
										終期設定 / /* 止		
										/ 休 止	·	
2 % ≢17	: 価 委 員 会	7 1 1 1										
2 八 計	叫 女 貝 云	コノフト										

/ An =	<del>-</del>	= W		I a	00.40					-	Ī	<b>→</b> n	_	-1	_	<b>+</b> m	
(一般	事 兼)	争		<u> </u>	2340	340						部	₽	次	長	詸	長
平成15	年度	事	業	名	緊急	通報システム受信	業務										
											ļ.						
1 事			_			[m, 1, -1, 4, 1, 10]		A = \$ / 10				1		INVENT L			
						健やかでぬくもり						所 :	管 課	消防本部			
総合意政策			中小			高齢者の自立をサ 高齢者の生活自立		会の美規				66 答 锤	上上下之	通信装備 市川 武			
体	系系		細		4	同歌 日 0 工/11口立	又及び正と							妹尾 公			
事	業		<u>期</u>		昭和	6 3 年度 ~		経常臨時	□経	常□	臨時			0797-32-		内線	270
根 拠	法	令 ·	要	綱等	緊急	通報システム事業	運営要綱						主体				
実	施		手			直営	□ 一部委託	ŧ	□ 全	部委託		□補			負担金		
委		託		先			名称		-1FY> 111 +-	H = E7/			託内容	F			
事	業	•	根	, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>		おむね65歳以上の			一般有世界	がいいい	<b>思</b> 事態時為	<b>权</b> 即。					
<b>∌</b>	未	Ø	15,	龙 女	同	齢者への早期救急	* 水	华市リ									
					٠ ペ	ンダントによる緊急	急通報受信										
事	業	の	玗	見 状		信後,折り返し安		し,救急車	等出動拍	旨令を行	うう。						
	目的詞	実現のた	めの	)													
	手段及	及び実施	内容	<b>?</b>													
			11-	s +== /-	亚广	/ <del>/ */</del>											
		結果指導		標 名		件致 13年度(実績)	平成14年度	ま(宝繕)	平成 1	5 年度	(宝績)	亚成 1	6 年度	(日煙)	平成 1	7年度(	日煙)
		(1)		- <u>反</u> 6 標 値		118件	9 2		T/1% 1	83件		T/1X 1	- 0 十反		T11X 1		ᄓᄺ
アウト	プット					30,390円	32,7		6 9	, 0 9							
指	標		指	標 名	うっ	かり押し数	I		ı			ı			I		
		結果指				13年度(実績)	平成14年度	医(実績)	平成 1	5 年度	(実績)	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(2)		標値		44件	3 5			4 1件	•		-			-	
2 事	₩ <del>-1;</del> F	# / <del>7</del> 2		位コスト	8	31,500円	86,0	29円	1 3	9,8	79円						
4 <del>事</del>			ノトハ														
		対		象	緊急	通報システム利用	者(高齢者)										
事業の	目的	対 象	カノ	バー 率	対象	è数 (a) 2	25人	受 益 数	(b)	2	25件	tt	× (b	÷ a) %		1 0 0 %	ı
対象・	意 図					•			·								
		意			緊急	通報システム利用	者(高齢者等)	) が有線電	話を使用	目する。	ことがな	く , 緊急	.時,即問	寺通報がで	きる。		
		(対象を	生土前	吾にして)													
大	き	な	E	的	高齢	傷病者への迅速・	適正処置の向_	上に努め,	緊急通幸	<sub>最シス</sub>	テム利用	者への早	期救急・	・救護・救	援体制σ	)確立	
, ,								,									
						車等緊急車両の出	動回数										
				え方・式			I = _* = =	- / /= >	I —		, <del></del> /= \			(D.E.)			
7 4 1		指	標年			13年度(実績) 42件	平成 1 4 年度 2 6 f		半成 1	5 年度 2 1 作	(実績) +	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
ア ウト 指	カム標		_	<ul><li>標値</li><li>標名</li></ul>		4 2 1+	2.0	<del>                                      </del>		2 1 ]-	<del>r</del>					-	
311				・ え方・式													
			標年			13年度(実績)	平成14年度	甚(実績)	平成 1	5 年度	(実績)	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指	<b>手標</b> 値													
芦屋市	の特色	色など補	<b>手足</b> 了	する事項													
3 事	坐弗,	·壬 重加而	口分	(コスト	\ \				1世帯当り	1(円)	1/18	住民 1 人	当り(円)	64	亚成164	.1 住民基	本公帳
事	<del>本貝</del> 業				1	13年度(決算)	平成14年度	夏(決算)			(決算)		6年度		1 /2% 10.1	11.04	E-T-H-TK
	人	件	費	100.0%		3,586		3,011			5,735			-			
	事		費	0.0%		0		0			0			0			
		門経	_											-			
(千円)				400.0%		0.500		0.044			F 70F			-			
	国		県	100.0%		3,586		3,011			5,735			0			
財源	市		乐 等														
(千円)			他														
( 113)		设財		100.0%		3,586		3,011			5,735			0			
活 動	職		員	100.0%		0.35		0.30			0.60			-			
		·臨時												-			
(人)	合	1	Ħ	100.0%		0.35		0.30			0.60			0.00			

4 計1	<u> </u>	. 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
н			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	17/411144	2 // 11 1144
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	7	
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		6
当	市民ニーズ(	2 1)	<ul><li>☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li><li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない</li><li>□ ニーズが高いとは言えない、または未把握</li></ul>	<b>5</b>	6
性	IDEC	2~ 1)	□ = スか高い □ = -スか高いには言えない,または木把握 □ 数字で把握している 利用者225人 □ 未把握		
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	-	
	社会環境変化	化(1~ 1)	内容		
	優先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	1	
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	_	
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定 □ 申罪は思われている □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	4	
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	<ul><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li><li>□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない</li></ul>	2	3
性			成果があがっていない場合	1	
4点	- 成果向上余均	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
**	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	,,	,	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由  □ 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない	4	
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 貝哇は水のようにかってきる事業である。 □ 貝哇は水のようでも実ではない。 □ 貝哇は水のようです業ではない。 □ 徴収可能 □ 徴収可能 □ 徴収可能 ○		4
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<del> </del> 0	1
	手段(1~ 3	3)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	312(.	·/	<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性			☑ 嘱託,臨時職員等で対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	4	
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない ▶ 内容		
_ "			関係課(高年福祉課)との協議 データーの分析		
半 成実 施	15~16した改	年 度 に 善 内 容	課題   内容   下では、	B	Α
5 %	後の対応(ア	<u> クンヨン)</u>	緊急即時通報機器の誤発信(バッテリ切れ、うっかり押し)が少なからずある(平成15年度21件)		
現在意	認識してい	しる 課 題			
	原名 市民,関	係者の名称			
からの 要 望	] 春 目	要望内容			
女主	- ਹ				
	(1)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
課題·要		対応内容			
へのす	(2) <del>♦</del>	実施期限	平成    年    月		
. 0,	^, ,,,,				
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
41					
	3 考えられる の ア イ デ ア				
以書(	<i>U)</i>		今後の方向	‡ 1次評価	2次評価
		1	関係課・利用者・協力員との協議・指導・コミュニケーション等を通じて,意識改革及び正しい 拡大・充っ	_	2 // CH 1 IM
			緊急即時通報機器の意識啓発を行う。 現 状 維 技	寺	
			方法改善		
平成 1	7~19年度	の方向性	民間委託領		
			編		
					1
2 次 評	平価 委 員 会	コメント			

(一般	<b>車素</b> )	事 業	<b>□</b> - ド	12201	110				Ī	部	Ę	次	長	課	長
,	,		<u> </u>							ы				HVIN	
平成15	中度	<del>事</del> :	業名	建梁?	物の消防同意										
1 <del>= 1</del>	<del>44. 1</del> 87 5	<b>冊</b> / じょヽ													
		要(ドゥ)	コの日標	1	活気あふれる豊か	か生活環境づくロ						消防本部			
総合			<u>ッのロ源</u> 中		安全と防災の確保					所	管 課	予防課	•		
政策			<u>·</u> 小		防災生活圏の整備					所管	課長氏名		典		
体	系	-	細							記)	∖ 者 氏 名	町田 昭	典		
事	業	期			2 5 年 ~	経	常臨時	☑ 経常 □	臨時	電	話 番 号	0797-38-	2098	内線	4141
		令 ' 引		消防							施主体	市			
実	施	手		7		一部委託		□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称	<b>ホナナ</b>	. 7		<b>持</b> 委託	委託内容				
事	業	Ø	概 要		確認申請に対して	の火に戻しての番	直を9	<b>ට</b> ං							
<del>-</del>	耒	0)	100 安												
				一定	規模以上の建築物Ⅰ	こは、消防法令等	に基づ	いて防火に関す	する指導を	をして	「同意してい	1る.			
事	業	Ø	現 状		件数127件、条件						.1-1/2/0 CV	. 50			
-		実現のため													
	手段及	ひ実施内	]容												
					確認受理件数										
		結果指標			13年度(実績)		実績)	平成15年度	• •	平局	<b>丸16年度</b>	•		7年度(	
<b></b>	<b>-</b> ₽ ı		指標値		199件	117件		1 2 7			申請数に。	よる	甲	請数によ	る
アウト: 指			単位コスト		2 8 ,1 4 6 円 <u> </u> 確認同意件数	40,171	円 一	39,02	4円						
捆	標	結果指標			唯祕问总什 <u>奴</u> 13年度(実績)	平成14年度(3	宇繕)	平成15年度	(宝績)	亚瓦	戊16年度	(日煙)	亚成 1	7年度(	日梅)
			指標値	_	199件	117件	<b>大小</b> 县 /	127		7 /3	申請数によ	•		, 十及( 青数による	
		, ,	単位コスト		8,146円	40,171	<u>H</u>	39,02			THEXTICO		1.4	HXX1-01 (	-
2 事	業成	果(アウ)			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,										
		र्रो	· +	<del>ረ ቅ</del>		2. 市民,建筑士車	<b>*</b>								
													1		
			バー 率	対象	转数 (a) 1	27人 受	益 数	(b) 1	27人		比 率 (b	÷ a) %		100%	
対象・	怠 凶			72-11		* 1 TIM + 2 -	1.40-	+ >							
		意 が免をす	凶 E語にして)	的火.	上安全な建物を建	終し、利用りるこ	とかで	ਰ ਹ							
		(対象を3	E語にUC)												
大	き	な	目 的	防火.	上安全な建物とし <sup>.</sup>	て利用できる。									
			指標 名	条件的	付同意率(%),	(かっこ内は条件	付同意	件数)							
			0 70 - 7		法による規制から			_							
		指 標			13年度(実績)									7年度(	
アウト				1 0	00%(75件)	100%(54	件)	100%(5	5 1件)	1 0	0%(申請数	対による)	1 0 0 %	(申請数は	こよる)
指	標		指標名 考え方・式												
					13年度(実績)	平成14年度(3	<b>主績)</b>	平成15年度	( 実績 )	平月	戊16年度	(日標)	平成 1	7年度(	月標)
			指標値	1 7-2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	172 : 12	Chige )	17-20 - 172		1 /-	<i>x</i> . • 1 <i>x</i>	( 11 13 )	1 7-20	, 12	H 13.7
			3H 13. IL	工場	等はなく,駅前等の	レーン の一部商業地域を	除き,		マンション	 ン等σ	住宅地がま	Eな街並み	である。		
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項												
			<u>分(コスト</u>					1世帯当り(円)			人当り(円)		平成16.4	1.1 住民基	本台帳
事	業	費		平成	13年度(決算)	`		平成15年度	•	平局	找16年度	(予算)			
	人	件 費			5,601		4,700		4,956			-			
内 訴	事他部	業 費			0		0		0			1			
		i償却費	0.0%		0		0		0			_			
(113)	合	計			5,601	,	4,700		4,956			1			
	国	・ 県			0		0		0			-			
財 源	市	債 等			0		0		0						
(千円)	そ	の他	0.0%		0		0		0						
		段 財源			5,601		4,700		4,956			1			
	職	員			0.60		0.50		0.60			-			
配分		·臨時等			0.00 <b>0.60</b>		0.00 <b>0.50</b>		0.00			0.00			
(人)		計	100.0%												

	曲(チェック)				
評	価 視 点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな	111		
	目的妥当性(2~2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
		☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能であ	5.2		
557	市関与(2~ 2)				
妥					
		□ いずれにも該当しない		^	^
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	l I	6	6
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未	把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把	握		
8点	なる では ない かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが	必要		
	社会環境変化(1~1)	内容			
	優先性, 緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	.1		
有	受益者(1~ 1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限			
	又血目(1 1)	□ 事業总図と文面では至らしている □ 事業总図と文面でが不至ら、または文面が 品に成 □ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	KAE.	_	_
効	成果の実績(2~ 1)	1 1	45.1.3	3	3
		▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	にない	•	•
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	**************************************	□ 成果向上策あり □ 特に	こなし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣消防機関 □ 比較できる団体はない			
	₩ /☆¬¬ L /4 4\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
		高い、または低い場合の理由			
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(0~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	台)		
率			BE )	-1	1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	«± ¬	-	-
	手段(1~ 3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分か			
	, ,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	3		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取組(1~1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		▶ 内容			
<del></del> +	4 C F A F	76.45	/// A	_	_
平成害施	15~16年度に	改善 課題	総合	В	Α
平 成実 施	1 5 ~ 1 6 年 度 にした 改善内容	課題 内容	総合評価	В	Α
		改善 内容	総合評価	В	Α
	1 5 ~ 1 6 年 度 に し た 改 善 内 容 <mark>後の対応(アクション)</mark>	改善 内容	総合評価	В	Α
5 今征	<b>後の対応(アクション)</b>		総合評価	В	Α
5 今征	<b>後の対応(アクション)</b>	課題 改善 内容 関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。	総合評価	В	Α
5 今後現 在 記	<u></u>	関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。	総合神価	В	Α
5 今征 現 在 記 市民,関	<b>後の対応(アクション)</b> 認識している課題 『係者』市民,関係者の名称	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合神価	В	Α
5 今征 現 在 記 市民,関	<b>後の対応(アクション)</b> 認識している課題 『係者』市民,関係者の名称	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合 評価	В	A
5 今征 現 在 記 市民,関	後の対応(アクション) 認識している課題 係者 市民,関係者の名称 意見 意見 要望内容	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合 評価	В	Α
5 今征 現 在 記 市民,関	参の対応(アクション) 認識している課題 原格者市民,関係者の名称意見 意見,要望内容	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合 評価	В	A
5 今征 現 在 記 市民,関	<b>後の対応(アクション)</b> 認識している課題 『係者』市民,関係者の名称	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合評価	В	Α
5 今征 現 在 記 市民,関	参の対応(アクション) 認識している課題 原格者市民,関係者の名称意見 意見,要望内容	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合評価	В	A
5 今征 現 在 記 市民,関	参の対応(アクション) 認識している課題 張橋者市民,関係者の名称意見 等 対応内容 実施期限	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合評価	В	A
5 今征現 在 請市民,関から 望	参の対応(アクション) 認識している課題 係者 市民,関係者の名称 意見 等 は、要望内容 (1) 対応内容 実施期限	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合評価	В	A
5 今征現 在 請市民,関から 望	参の対応(アクション) 認識している課題 係者市民,関係者の名称意見等 は 対応内容 実施期限 (2)	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。	総合評価	В	A
5 今征 現 在 議 市 か 要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 係者 市民,関係者の名称 意見 等 は、要望内容 (1) 対応内容 実施期限	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	総合評価	В	A
5 今征 現 在 議 市 か 要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番) 意見, 要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	総合評価	В	A
5 今征 現 在 議 市 か 要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番) 意見, 要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	総合評価	В	A
5 今征 現 在 議 市 か 要 課題・要	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番) 意見, 要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	総合評価	B	A
5 今征 課題・要 課題・の 3	参の対応(アクション) 認識している課題 語係者 市民,関係者の名称 意見,等 (1)対応内容 実施期限 (3)対応内容 実施期限	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	総合評価	В	A
5 今往 課 課 へ その 他	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番音) 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	総合神価	В	A
5 今往 課 課 へ その 他	参の対応(アクション) 認識している課題 語係者 市民,関係者の名称 意見,等 (1)対応内容 実施期限 (3)対応内容 実施期限	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	評価		
5 今往 課 課 へ その 他	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番音) 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	方 方 位 性		
5 今往 課 課 へ その 他	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番音) 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月	方 方 位 性		
5 今往 課 課 へ その 他	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番音) 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	方 方 位 性		
5 今往 課 課 へ その 他	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番音) 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	関係法令に基づいた的確な指導を行い, 火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月	方 方 方 充		
5 存在 関の望 課 へ そ改 他の の 善	参の対応(アクション) 認識している課題 語(番音) 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる	関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  ボ 大・現 状 方 法	方 (中 (中 (東 持 善		
5 存在 関の望 課 へ そ改 他の の 善	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見,要望内容 意見,要望外応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  「一 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	方 (中 (中 (東 持 善		
5 存在 関の望 課 へ そ改 他の の 善	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見,要望内容 意見,要望外応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  小孩の 年 月  小孩の は 大・現 状 方 法 民間 委縮	方 企		
5 存在 関の望 課 へ そ改 他の の 善	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見,要望内容 意見,要望外応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下成 年 月  下成 年 月  下成 年 月  下成 日 日	方 向 充 維 と 大 の た に も に に に に に に に に に に に に に		
5 存在 関の望 課 へ そ改 他の の 善	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見,要望内容 意見,要望外応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	関係法令に基づいた的確な指導を行い、火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  小孩の 年 月  小孩の は 大・現 状 方 法 民間 委縮	方 向 充 維 と 大 の た に も に に に に に に に に に に に に に		
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     に関の望     ・要     が     他     ()	参の対応(アクション) 認識している課題 「「おいま」の対応(アクション) 認識している課題 「「おいま」の名称 「「京見」のでは、「「おいま」のでは、「「おいま」では、「「いま」では、「「いま」では、「「いま」では、「「いま」では、「「いま」では、「「いま」では、「「いま」では、「「いま」では、「いま」では	関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  小消防法に基づく事務であり,現状を維持します。  本法 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現	方 向 充 維 と 大 の た に も に に に に に に に に に に に に に		
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     に関の望     ・要     が     他     ()	参の対応(アクション) 認識している課題 語(者) 意見,要望内容 意見,要望外応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	関係法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る。  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  小消防法に基づく事務であり,現状を維持します。  本法 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現 大・現	方 向 充 維 と 大 の た に も に に に に に に に に に に に に に		

( —	般事	[業]	事業	コード	12201	120				部 長次	長課長
平万	龙 15	年度	事	業 名	防火	対象物の指定					
1	事業	€概3	要(ドゥ)								
笙?	次芒	层市	まちづく	りの日煙	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			<i>三</i> 湖防本部	3
										中 字   字	
		計 画		中		安全と防災の確保				/// □ □ 予防課	
政	策力	施 策		小	2	防災生活圏の整備	充実			所管課長氏名  町田 昭	典
体		系		細						記入者氏名吉岡幸	-2/
<b>一</b>					07770	2.5.4	(7.44.75-1				
事		業	斯			3 5 年 ~	経常臨時	☑ 経常 □臨	<b></b>	電 話 番 号 0797-38-	·2098 内線 4141
根	拠	法	令 ' 5	要 綱 等	消防流	去				実施 主体市	
実		施			$\overline{\checkmark}$	古兴	□ 一部委託	□ 全部委託			負担金
		IJШ									貝担並
委			託	先	Ш	外郭団体委託	名称	L		委託 委託 内容	
					建物	の規模や用途に応	じ,消防法令に基づく消	防用設備等を設置	置させる	3.	
事		業	の	概 要							
#		未	U)	15从 女							
					新築	や増改築・模様替:	え等をされた建物を検査	し, 防火対象物。	としてキ	指定する。	
事		羋	$\sigma$	現 状			の対象となる建築物等(	-		•	
#		業 					,	四八丘七は防く	,		
		目的	実現のため	00	申請	受付、図面審査、技	诣導、同意指定				
		手段7	ひ実施内	容	ĺ						
		~ //	, - , \ 1001 .		ĺ						
					<u> </u>						
				指標名	防火	対象物使用開始届品	出受理件数				
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(	実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		•		指標値		87件	8 9 件	100件		届出数による	届出数による
アウ	フトフ	プット		単位コスト		3 , 4 0 3 円	58,787円	84,740	) 円		<u>                                      </u>
指		標		指 標 名	使用	開始届出に基づく	- 完成検査回数				
		174					平成14年度(実績)	平成15年度(	中佳)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			結果指標				`	`	夫縜 )	, ,	, ,
			(2)	指標値		7 1 回	50回	46回		届出数による	届出数による
				単位コスト							
1	ᆂ	¥ rt: F	田 / 元 占		l						
	争,	長八人 元	果(アウ	rna)							
			対	会	Z 由 空气 A	物の建築主,使用	<del>*</del>				
			ניג	34	建来1	例00 连采工,使用 <sup>2</sup>	<b>≡</b>				
<b>事</b> 3	<b>≝</b>	D 65	th 色 th	バー率	<del>)  </del>	· 米/ (a)	3 6 受 益 数	7 (h) 2	6	比率 (b ÷ a) %	100%
				八 - 卒	צון אַ	( 数 (a)	文 並 数	(0)	0	LL 率 (D - a) %	1 0 0 70
对	冢'	意 図									
			意	図	建物值	使用者,利用者の	安全を図る。				
			(対象を言	主語にして)							
			(V)3(C-	Lillico C)							
					١.						
大		き	な	目 的	火災:	を防止し , 地域の	安全に寄与する。				
				1F 1= 5	2年17千1	口:1. 供公司 己 (4. 本)	文記の支付供物				
						用設備等完成検査					
			中間成果	考え方·式		双検査済証は、新	没で延べ面積300㎡以	上に交付			
			指 標	年 度	平成	1 3 年度 ( 実績 )	平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 (	実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
7.	<b>-</b> , L	h /.				3 2 件	3 3 件	3 6件	,,,,,	建物完成数による	建物完成数による
	ノト	カム		指標値	ļ	3 4 17	3 3 1	J 0 1 <del>†</del>		医 の 元 収 数 に よ る	<b>生彻兀</b> 观奴による
指		標		指標 名	L						
			最終成果	考え方·式		-					
					平式	13年度 ( 宇繕 )	平成14年度(実績)	平成15年度/	宝績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
						. 3 干/又(大限)	・ル・イナ区(大限)	「ルル・フ十反(:	人順丿	」ル・○十/又(口信)	17%17年1又(日157)
				指標値							
					共同位	住宅(マンション	) が多い				
古尼	ままり	の特も	五など補 5	足する事項	ĺ						
, ,=	_ ,,,, (	-> 171 C	_ G C IM A	_ , o + /!	ĺ						
					<u> </u>					1	
3	事業	€費	沽動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	219	住民1人当り(円) 95	平成16.4.1 住民基本台帳
事		業	費		平成	1 3 年度 ( 決算 )	平成14年度(決算)	平成15年度(	決算)	平成16年度(予算)	
						6,386	5,210		8,474	( 7 71 )	
		스	件費		<u> </u>	<u> </u>	· ·		-	-	
		事	業費		L_	0	23	<u> </u>	0		
内	訳	他部	引門 経費	0.0%		0	0		0	-	
			道却費			0	0		0		
( T	13)	_								-	
		合	計	100.0%		6,386	5,233		8,474	0	]
		国	・県	0.0%		0	0		0		
財	源		債 等		1	0	0		0		1
					<b> </b>						
( <del>T</del>	円)		の他			0	0		0		
		- 1	段 財源	100.0%		6,386	5,233		8,474	0	
活	動		員			0.75	0.55		1.00		
					<b> </b>					-	
配		_	・臨時等			0.00	0.00		0.00	-	
(	人 )	合	計	100.0%		0.75	0.55		1.00	0.00	1

評	<u> </u>						評価:	チェックリ	スト			12	次評価	2次評価
н	T			業の主目的に	明確で	<u></u> ある	нтіш			事業の目的は一つに絞るこ	とができない	1 7	7 H I IIII	- // (   1
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑事	業成果が上位	<b>が</b> 策に	不可欠 / :	または貢献度	が高い		貢献度が不明確、または高				
							がけられている			民間でやるべき、または対り				
妥	市関与(2~	2)	☑市目	民の基本的な	生活の紹	維持に必	要である			他団体では見直しがされて				
	·	,								いずれにも該当しない				
当			□市目	民ニーズに基	づいて行	テうべき 事	業			市民ニーズに基づいて行う	事業ではない		6	6
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	<b>└</b>	□ ニーズカ	高い					ニーズが高いとは言えない	,または未把握			
性				□ 数字	で把握し	ている					□ 未把握			
8点	社会環境変	(V(1 ~ 1)	☑ 事訓	業に関わる社	会環境(	の変化に	適応している			社会環境の変化にあわせた	:見直しが必要			
	社云垛况友	16(1 ~ 1)		内容										
	優先性,緊急						命,安全等か							
	対象カバー									□ 他団体よりカバ・				
有	受益者(1~	1)								益者が不整合 , または受益か				
効	成果の実績	(2 ~ 1)	1 1							実績値または目標値が未記			3	3
444							いると言える		Ш	実績値から成果があがって	いると言えない	·		
性 4点	- 成果向上余	地(1~ 1)		があがっていた 果向上策あり		·					□ 特になし			
4点						団体夕	近涨消防機	閱	_	比較できる団体はない	□ 村にない	_		
											tr.1.1			
効	単位コスト(1	~ 1)		ョ体の数子で ↑他団体よパ	コストが作	FI.1	単位コスト ② 他団体	と同程度		□ 他団体よりコストだ				
,				または低い場			_ 1041				, 100 4			
							<u>:</u> ある	√ 負扣	を求し					
	受益者負担	(0 ~ 1)	1							徴収不能・見直し不能 □	] 徴収可能 )		4	^
率							出資団体へ委				,	-	- 1	U
	T 50/4			現職員による						個人,家庭,地域等が担う	べき部分がある			
	手段(1~ 3	3)		間(企業 , NPC	)等)では	対応でき				民間(企業 , NPO等)で対応				
性							い業務である			嘱託, 臨時職員等で対応可				
3点	コスト削減取	74日(1~ 1)	□ <b>□ □ □</b>	スト削減の取り	組みを行	うっている	3		<b>V</b>	特に行っていない				
	コスト門がむ	(MH(I · I)	<b>-</b> → F	内容										
亚ᆎ	15~16	年 度 に					 	<b>文善</b>			総	<b>_</b>	)	_
実施	15~16 した改	善内容	課題					容			評	価	В	В
- A	* o +1 = ( =	<b>h</b> > . = >												
5 771	<u> </u>	<u> クション)</u>	当代は人		たがなれ	かせ道を	/二 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	ニー トマカ	中宝石	 D軽減を図る。				
租 左 章	認識してし	いる 锂 顊		7守に至 ノい	/こロリル田 /	み担待で	1101, 人火モ	FICみ OT/	以古り	//キ±/タスで囚る。				
270 111 1		1 60 B/K AGS												
市民,関	属係者 市民,関	係者の名称												
からの	意見一口													
要 望	意見意見,	要 望 内 容												
	(1)	対応内容				_								
		実施期限	平成	年		月								
課題·要	望等	対応内容												
	(2)			1.										
へ の 5	対応	実施期限	平成	年		月								
	(2)	対応内容												
	(3)	<b>☆</b> ⊁++170	<del></del>			1								
		実施期限	平成	年		月								
マの供	きえられる													
	3 写 ん 5 11 6 の ア イ デ ア													
K = C	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										今後の方向	1 性 12	次評価	2次評価
											拡大・充		Хитіш	2 // III IIII
											現状維			
			消防法に	基づいた事	務であり	り,現状絲	掛します。				方 法 改			
平成 1	7~19年度	の方向性		3							民間委託			
											縮	小		
											統合/終期記	设定		
											廃 止 / 休			
2 次 評	平価 委 員 会	コメント												

		<del>-</del>								7		T	_1,_		
(一般	[業]	事業	コ	<u> </u>	1220	130					部長	次	長課	Į.	長
平成15	年度	事	業	名	防火:	対象物定期点検報	告制度								
										1					
1 事	宋和13	<b>西</b> / ドム	١												
				の日標	1	活気あふれる豊か	か生活環接づ	< 11				消防本部			
総合		<u> </u>	中	<b>07</b> 口 1示		安全と防災の確保		( )			所 管 課	予防課	•		
政策			//\			防災生活圏の整備					所管課長氏名		<u>#</u>		
体	系		細			1737 (	,,,,				記入者氏名				
事	業		期	間	平成	15年10月1日	~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号			内線	4141
根 拠	法	令 '	要	綱等	消防	 法					実 施 主 体	市			
実	施		手	法	V	直営	□ 一部委託	E	□ 全部委託	ŧ	□ 補助金		負担金		
委		託		先		外郭団体委託	名称			□民間	委託 委託 内容				
					消防	法に基づき,大規	漠な百貨店等	,3 階以上	で屋内階段が	1つしか	ない雑居ビル等の	安全につ	いて報告さ	させる。	
事	業	の	栶	要 要	(平	成15年9月30	∃までは,適▽	マーク表示	制度)						
						であった適マーク				定期点検	制度となり,その	対象を精	査し通知済	きである	5.
事	業	の	瑪		なお	, 適マーク表示は	3年間の暫定と	こし運用す	る。						
		ミ現のた													
	<b>手</b> 段力	ひ実施	内容	F											
			+1-	· 抽 ~	海っ	一力丰二社会物类	( 小井 1 「午 7	1085	古上松却生	<i>t</i> ì Z 1	6年0日士士でに	- 起生 \			
		結果指				<ul><li>ク表示対象物数</li><li>13年度(実績)</li></ul>							平成 1 7 3	午度 (	日捶\
		(1)		· 及 i 標 値		26件	2 4 f		111		対象数によ	,	十八八	十反(	口信儿
アウト	プット	(1)	_			64,577円	3 3 8 , 9	·	648,5		対象数にも	. ຈ			
ガラー. 指	標					一ク交付書交付数	330,3	2 2 1 1	0 4 0 , 3	4 2 1 1					
10		結果指	_			13年度(実績)	平成14年度	( 実績 )	平成15年度	( 実績 )	平成16年度	(月標)	平成 1 7 3	年度(	月標)
		(2)		標値		26件	2 4 f		1 1 1		対象数によ		1 720 . 7	12	H 14.7
		(-)		<u>にはいる</u> 位コスト		64,577円	3 3 8 , 9	·	648,5	-					
2 事	業成身	果(アウ				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,		,		I.				
		対			7 <del>2</del> 717	対象物定期点検報	生生中のは小さ	+会物門/2	±×						
							ゴ前皮の内穴の	当然彻底活	(1)						
			カノ	「 - 率	対象	寸象数 (a)									
対象・	意 図														
		意			防火	対象物定期点検報	告制度の防火対	寸象物関係	者は,消防法	に基づき	平成16年9月3	0日まで	に点検し報	B告さt	さる。
		(対象を	主語	吾にして)											
	<b>±</b>	+>		1 64	7 <del>2</del> .l.:	対象物の欧ルウム	大生! 大 7束/只 士 2	,							
大	ਣੇ	な	H	I HA	沙火	対象物の防火安全位	本刑を惟休りる	٥,							
			+ヒ	· 抽 夕	表示	マーク表示数									
		中間成り				へいない奴 の安全を確保してい	ハることを表え		5年度から3	年間は、	表示対象で希望す	るところ	に交付する	5.	
			標年			13年度(実績)							平成174		目標)
アウト		<b>J</b> H	_	標値		26件	2 41		1 1		対象数によ		1 7-20 1 1	1 ~ (	
指	標			標名							I				
		最終成!		え方・式											
		指	標年	度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成 1 7 4	年度(	目標)
			指	信標 値											
					大規	模な百貨店等は少れ	なく,階段が´	一つしかな	:い雑居ビル等	も阪神,「	阪急,JRの駅σ	近辺に集	中している	5.	
芦屋市	の特色	色など補	<b>記</b>	する事項											
										1	1	1			
				<u>(コスト</u>	í –			, ) L ## \	1世帯当り(円)		住民1人当り(円)		平成16.4.1	住民基	本台帳
事	業		_			13年度(決算)	平成14年度		平成15年度		平成16年度	(予昇)			
	<u>へ</u> 事		費費	100.0%		6,879		8,125		7,134					
rth ≐□		 『門 経』		0.0%		0		10		0					
内 (千円)				0.0%		0		0		0					
(113)	合		計	100.0%		6,879		8,135		7,134		0			
	国		<del>!!</del> 県	0.0%		0		0,.55		0					
財源	市		等	0.0%		0		0		0					
(千円)			他	0.0%		0		0		0					
, , ,		段 財 🤅	源	100.0%		6,879		8,135		7,134		0			
活 動	職	Į.	員	100.0%		0.80		0.85		0.80					
配分	嘱託	·臨時	等	0.0%		0.00		0.00		0.00		-			
(人)	合	1	Ħ	100.0%		0.80		0.85		0.80		0.00			

評	<u> </u>		評価チェックリスト	1)	次評価	2次評価
н			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		7 KH 1 IM	- // (H ) [M
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	3		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	,	,	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	١J	6	6
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	→ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把	9握		•
性			□ 数字で把握している □ 未把握			
8点	社会環境変化	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	沙要		
			内容			
	優先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
有	対象カバー型 受益者(1~		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 東来寺図と英さされて教会。または英さな、郊に四号	5		
ы	文皿省(112	1)	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定</li><li>□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している② 実績値または目標値が未記入</li></ul>	=		_
効	成果の実績	(2 ~ 1)	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	21.1	0	0
性			成果があがっていない場合	***		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特に7	なし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣消防機関 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1	- 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1	~ 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率		,	□ 現在 , 適正な負担あり □ 負担なし , 過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	) .	-1	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<del>-</del> -	•	
	手段(1~ 3	3)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている	າ ຈ		
性			<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>☑ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である</li><li>☑ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である</li></ul>			
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
0,,,,	コスト削減取	【組(1~ 1)	→ 内容			
	4.5.4.6	<i>-</i>	対象の結査	w. 4	_	
半成事施	15~16 した改	年 度 に 基 内 容	課題 内容	総合	В	В
				H.1.10-1		
5 今1	後の対応(ア	<u>クション)</u>				
田左:	認識してし	、 マ ≐田 日百	防火対象物関係者への指導強化			
况 红 i	部の観りしてい	この 味 超				
市民、関	関係者 市民,関	係者の名称				
からの	意見」					
要望	意見意見,	要望内容				
	(1)	対応内容				
		実施期限	平成年			
課題·要	要望等	対応内容				
	(2)					
への:	対応	実施期限	平成   年   月			
	(2)	対応内容				
	(3)	実施期限	平成			
		大池州水	<u> </u>			
その他	きえられる	3				
改善。	のアイデア	7				
			今後の方		次評価	2次評価
			拡大・			
			消防法に基づく事務であり,現状を維持します。 現 状 編			
			方 法 7			
平成1	7~19年度	の方向性	民間委			
			縮 44 今 / 49 世	小田中		
			発	W II		
2 次 部	平価委員会	コメント				
,, , , ,						

(一般	事業)	事 業	□ <b>-</b> ド	1220	140			<u> </u>		部	長	次	長	課	長
, , , , , ,	,		<u> </u>						•	нг				H/K	
平成15	中度	争	業名	防火'	管理者講習会										
1 <b>व</b> ि	<del>71.</del> 181 9	<b>亜</b> / じょヽ													
		要(ドゥ) l + ぉ づ ≀	コの日標	1	活気あふれる豊か	か生活環境づくけ						消防本部	ζ		
総合			<u>りの日標</u> 中		安全と防災の確保					所	管 課	予防課	,		
政策			<u>'</u>		防災生活圏の整備					所管	言課長氏名		  典		
体	系		細								入者氏名				
事	業	期	間	昭和	3 5 年 ~	経常	臨時	☑ 経常 □	臨時	電	話 番 号	0797-38-	2098	内線	4141
	法	令 · 身		消防		•				実	施主体	市			
実	施	手		V		□ 一部委託		□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称			□ 民間	委託	委託内容	F			
<b>=</b>	ш	•	407 ===	消防	法に定められた資本	各取得講習会を実施	也する	0							
事	業	の	概 要												
				午問	2回 (1回2日間	延べ4日間)の講習	2000	関催する							
事	業	Ø				4 ,000円(市職			人中91.	人から	う徴収)				
3		ェラ 実現のため		~ III-5	11() 12(110)	. / 0 0 0 13 ( 16.42	w 5 2 10.		(1)						
		及び実施内													
			指標名												
		結果指標				平成14年度(実	績)	平成15年度		平	成16年度			7年度(	
	•		指標値		112人	75人		107,			110)			110人	
アウト			単位コスト		0,420円	86,334	4	73,53	6円						
指	標		指標名			亚产 4 4 左连 / 字	ル主ゝ	亚世 4 5 左南	(中4)	77.	<b>武16左</b> 南	/口插\	₩# 1	7.左连 /	口抽丶
		結果指標			108人	平成14年度(実 72人	: 穥 )	平成15年度 107		+/	成 1 6 年度 1 1 0 ノ	• •		7年度( 110人	
		, ,	指標値単位コスト		73,028円	89,931	1	75,59			1107			1107	
2 車	業 代 5	L 果(アウ)		· '	5,020[]	09,951	J	73,39	011						
	****		,		*****************************	T to 1									
		対	家	防火	管理者の資格が必要	要な人									
事業の	目的	対象力	バー率	対 象	え数 (a)	受	益 数	(b) 1	07人		比 率 (b	÷ a) %			
対象・	意 図														
		意		防火	管理者を定めなけ	ればならない防火対	寸象物	及び資格が必要	要な人が	, 受詞	冓できる。				
		(対象を3	<b>注語にして</b> )												
大	ŧ	な	日的	/L/ (((	の発生を主然に防っ	上する。万一火災だ	(茶牛	1.た提合でま	その独写	主た。	是小限にとり	ごめる			
	C	'Φ	מו בו	7,20	の光土を水然に例		· 无工		, C 0711X F	- C B	取りが区にこと	_0,0,			
			指標名	資格!	取得者数										
					の知識技能を修得	した。									
						平成14年度(実	績)	平成15年度	(実績)	平	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウト	カム		指標値		108人	7 2人		107,	人		1107			110人	
指	標		指標 名												
			考え方・式				· / = \		· /= >		- L	( D I = )			- III \
			-	半成	13年度(実績)	平成14年度(実	績)	平成15年度	(実績)	半	成16年度	(目標)	半成 1	7年度(	目標)
			指標値												
古层市	の性も	カかど補 5	足する事項												
广座巾	V) 117 C	5 % C THI A	とりの事点												
3 事	業費・	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	209	住民	1人当り(円)	90	平成16.4	4.1 住民基	本台帳
事	業	費			13年度(決算)	平成14年度(決	算)	平成15年度	(決算)	平	成 1 6 年度	(予算)			
	人	件 費	98.2%		7,648	6	,319		7,940			-			
	事	業費	1.8%		239		156	· · · · ·	149			248			
		門経費	0.0%		0		0		0			-			
(千円)		貸却費	0.0%		0		0		0			-			
	合	計	1		7,887	6	,475 ^		8,089			248			
B+ :/=	国	- 県			0		0		0						
財 源 (千円)		債 等の 他			364		0 276		388						
( F F3 )		とり 財源	4.8% <b>95.2%</b>		7,523	6	,199		7,701			248			
活 動	職	<del>以                                    </del>	100.0%		0.85		0.65		0.80						
		· 臨時等			0.00		0.00		0.00			-			
	合	<u></u> 計			0.85		0.65		0.80			0.00			

評	<u>叫(テェック)</u> 価 荷 初	. 点	評価チェックリスト	1次章	平価	2次評価
HI			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	17/4	т іщі	2 / <b>/</b> II IIII
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
		,	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	· 5	;	5
_	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把技		<b>'</b>	
性	,	,	□ 数字で把握している □ 未把握			
8点		/////	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	更		
	社会環境変化	化(1~ 1)	内容			
	優先性,緊急	急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー図	<b>率(1~ 1)</b>	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	. 3	•	3
ХЛ	ル末の夫領	(2 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	ر, ع	<b>'</b>	3
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	- 成米尚工水	יו) פיי	□ 成果向上策あり □ 特にな	.U		
			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣消防機関 □ 比較できる団体はない			
4.1	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
効	(	,	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率			□ 対現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 □ 数 □ 数 □ 数 □ 数 □ 数 □ 数 □ 数 □ 数 □ 数 □	<u> </u>	2	-3
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	_	
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	5		
44			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性 3点			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である □ 場に行っていない			
о <u>ж</u>	コスト削減取	(1~ 1)	□ コスト町点の取り組みを11 りている □ 村に11 りていない □ 内容			
平成	1 5 ~ 1 6 した改	年度に	課題 改善	総合 平価	2	В
美 肔	U /E FX	善 内 谷	内容	平価		
5 今後	後の対応(ア	クション)				
			開催回数・受講者人数を増加させたい			
現在意	認 識 してし	1る 課 題				
	係者 市民,関					
からの	意見意見,	要望内容				
要 望	等	1				
	(1)	対応内容				
	(1)	ch+/c++070				
★田 日本 一番	i +8	実施期限	平成 年 月			
課題·要		対応内容				
へのす	(2) 対 応	実施期限	   平成			
, 0, ,	יטין ניי					
	(3)	対応内容				
	(3)	実施期限	平成年			
		>\\IDNIIK				
その他	考えられる	5				
改善の	カアイデア	7				
			今後の方し	向性 1次記	平価	2次評価
			拡大・充	ē 実		
			18年度から,開催回数を年2回から年3回にしたい。 現 状 維	持		
			方 法 改			
平成 1	7~19年度	の方向性	民間委託	毛 等		-
			縮	小		
			統合/終期			
			廃止/ 休	下止		
2 15 1-	: /m -=					
2 次 評	" 仙 委 員 会	コメント	開催回数の増加により受講人数を増やすよう進めて下さい。			

										7						
( —	般事	業)	事 業	コード	1220 <sup>-</sup>	150				<u> </u>	部		長次	長	課	長
퍼	1 5	年度	車 :	業名	合除	物の規制										
ענו די	( I J	十反	<del>7</del> :	* 1		19J Cフ A元 (19j										
										_						
1	事当	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	要(ドゥ)													
				りの日標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づ	< I)					消防本部	3		
		十 画		<del>,。</del> 中		安全と防災の確保					所	管	課予防課			
		も 策		<u>'</u> /\		防災生活圏の整備					所管	5 課 長 氏	名町田 昭	2曲		
体	× 13	系		· <u>·····</u> 細		的人工相同心正常					_		名町田 昭			
事		業	期		n71 <b>4</b> ⊓	 2 5 年 ~		経常臨時	√ 経常 □	1 c/s n±			등 0797-38		<b>山</b>	44.44
	+60			要綱等				<b>經吊歸时</b>		臨時				-2090	内線	4141
	拠											施主		2412		
実委		施	手			直営	一一部委託	t	□ 全部委託			補助金		負担金		
安			託				名称	m47 > 18 4	- v=++-			委託内	谷			
						数量以上の危険物		以扱つ場合	に必要な許り	を与える。	0					
事	-	業	の	概 要	貯蔵	・取扱いの基準を	遵守させる。									
					危険:	物施設の設置や変	更について,『	申請させ技	術上の基準に	合致して	いたら	ら許可する	0			
事	į	業	の	現 状	完成	<b>뷫したら,完成検査</b>	<b>計に基づき</b>	完成検査な	を実施して,旨	合格の場合	は施	設の使用を	を許可し,	維持管理	状況に	
		目的第	実現のため	<b>O</b> O	つい	ては,立入検査を	実施する。事業	(主に定期	点検や漏洩検	査の実施	結果幹	假告を指導	する。			
		手段及	ひ実施内	容	危険:	物許可施設数:5	3 施設									
				指標 名	完成	検査・立入検査回	数									
			結果指標			13年度(実績)		〔(実績)	平成15年度	(実績)	平	成16年度	₹(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		98回	1 0 4		1 2 0			施設数に				. ,
アウ	1 1 7	プット	( · )	単位コスト		7 1 , 6 0 2 円	52,1	• •	31,38	• •						
指	, ,	標				 点検及び漏洩検査			0.,00		1					
38			結果指標			13年度(実績)			平成15年度	: (宝结)	31/	成16年度	チ ( 日煙 )	亚式 1	7年度(	日梅)
				指標値		70回	5 1[		4 4 [		17	施設数に		T-13% 1	7 干皮(	ᄓᇷᄼ
			(2)			00,243円	106,4				-	川田は女女人に	-40			
Ļ	申か	⊬ <del>-1:</del> Ε	11 ( フ 凸 )			00,243円	106,4	12円	85,59	9 1 17						
	尹ヲ	トルラ	果(アウ)	rna)	1											
			対	象	危険:	物を製造,貯蔵,〕	取扱う事業者等	手								
車式	± Λ	日的	计包力	バー率	ਹੈਰ ਉ	ち 米h (a)	1 1	受 益 数	(h)	1 1		ll 竦 /l	o ÷ a) %		100%	
		意図		/ - 4	נע 🏻	K 🕉 (a)		又血奶	(0)			16年(1	(a, b)	1	1 0 0 70	,
נג ו	к .	문 즈	意	ভিয়	在除	物を製造,貯蔵,〕	四切る車業老台	されぶ出た辻	:	淮に今か	t z t	毎≦凸 レ オン ス				
				と語にして)		70亿表足,别成,	以以 ノザ未日 ヤ	711.1HM117	マに至って至	午に口玖	9 2011	Rux C 'みる				
			(X)3/(C)	LIBICO C)												
大		<b>÷</b>	な	日的	合除	物災害を防止し,均	地域の安全に国	ミニオス								
		_	'δ	Н н	/GPX	物火日已初正0,	6-%00 <b>又</b> 主に									
				<b>指煙</b> 夕	設署	・変更の許可申請	<b>生数</b>									
				<b></b>		を必要とする件数	1120									
						13年度(実績)	平成14年度	( 実績 )	平成15年度	(実績)	平	成 1 6 年度	き (目標)	平成 1	7年度(	日標)
7 4	ר ל	カム		指標値		6件	6件		1 1 f		1 '	申請数に		1 7-20 .	, 12	H 1/4 /
」 指	- 1	カム標				物災害発生件数	ı • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			•	1	I WH XV I		1		
10				考え方・式	יביא.	ルスロルエロ奴										
					亚式	13年度(実績)	亚成 1 / 年度	(宝績)	亚成 1 5 年度	(宝繕)	<u> </u>	成16年度	き (日煙)	亚战 1	7年度(	日煙)
				指標値		0件	1 平成 1 4 平层		1 1 2 年及		1	0件		-\7(1-\1	/ 十皮(	日1示丿
				1日 信 10		り 精製工場等の大型					田の明			しズキフ		
<b>₩</b> =	- ·	n #± ∠	z +> ば <del>&gt;±</del> □	コナッまで		相袋工场寺の人堂	ノフノト寺はん	よく、カシ	リンスタント	,建物内	HUU	丁風心改守	が土は他設	ැ ( ගත		
户压	Σητ	リ特日	となる相に	足する事項												
Ļ	由斗	Y 建	ンエチもまつ	/\	\				4 III ##3/4/0 4 FF >		4-	4 1 1/12 / 17	10	TT = 10	4	ナナハホテ
	争习			<u>分(コスト</u>	)   <del>         </del>	4.2左座(清笠)		· / >+ ^* >	1世帯当り(円)		+	1人当り(円		平成16.4	4.1 住民基	<b>本中</b> 古帳
事		業	費 ##		平成	13年度(決算)	平成 1 4 年度		平成15年度		平	成16年度	(			
		<u>人</u>	件費			7,017		5,417		3,766			-			
		事	業費	0.0%		0		10		0						
内			門経費	0.0%		0		0		0			-			
(千			償却費	0.0%		0		0		0			-			
		合	計	100.0%		7,017		5,427		3,766			0			
		国	・ 県			0		0		0				_		
	源		債 等			0		0		0				_		
(千	円)		の他			0		0		0						
			段 財源	100.0%		7,017		5,427		3,766			0			
活	動		員	100.0%		0.80		0.55		0.40			-			
	4	嘱託	・臨時等	0.0%		0.00		0.00		0.00			-			
配	۱ ۱															

平 計1	<u>叫(テェック)</u> 価 視	. 点			 評価チェック	リスト		1次評価	2次評価
	目的妥当性(		☑ 事業の主目	的は明確である	#1.IE. = 7.7	□ 事業の目的は一つに終	{ることができない		.,
	日的女司注(	(2 ~ 2)				□ 貢献度が不明確、また			
				るよう法律等で義務		□ 民間でやるべき,またに			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本	的な生活の維持に	必要である	□ 他団体では見直しがさ	れている		
当			□ 末足ニーブ	に基づいて行うべき	重光	<ul><li>□ いずれにも該当しない</li><li>☑ 市民ニーズに基づいて</li></ul>	 行ら車器でけない	5	5
=	市民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ H		尹未	□ ニーズが高いとは言えれ		5	5
性	1520- 74(	,		数字で把握している			□ 未把握		
8点	社会環境変化	(k(4 4)	□ 事業に関わ	る社会環境の変化は	 こ適応している	□ 社会環境の変化にあわ	せた見直しが必要		
		,	内容						
	優先性,緊急				生命,安全等が損なわ				
有	対象カバー率		□対象カバー		☑ 他団体と同程		コバー率が低い	4	
F	受益者(1~	1)		受益者は整合してい 標の実績値を押据し		と受益者が不整合 , または受  る□ 実績値または目標値が		1	
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	1			□ 実績値なたは日標値が		3	3
性	### 1 ^ 1	LIL (4)	成果があがって				У СТУВЕД/СВТУ		
4点	- 成果向上余均	吧(1~ 1)	□ 成果向上策	あり			□ 特になし		
				団体がある 団体名	<b></b>	□ 比較できる団体はない			
効	単位コスト(1	~ 1)		字を把握している		☑ 把握し			
XJJ			→ □ 他団体	よりコストが低い	□ 他団体と同程原	度 □ 他団体よりコン	4.トか高い	-	
				<u>い場合の珪田</u> ることができる事業で	<u>:</u> である			1	
<del>\dagger</del>	受益者負担(	(0 ~ 1)	1			(□ 徴収不能・見直し不能	□ 徴収可能 )	4	4
率			直営事業(正規	融韻が執行)または	は出資団体へ委託してい	る業務について		1	ı
	手段(1~ 3	3)		よる執行が義務づけ		□ 個人,家庭,地域等が			
141		,	,			□ 民間(企業, NPO等)で			
性 3点				職員等では対応でき )取り組みを行ってい		<ul><li>□ 嘱託,臨時職員等で対</li><li>□ 特に行っていない</li></ul>	心可能である		
о <u>ж</u>	コスト削減取	(組(1~ 1)				15年度は2人に減員した。		1	
	4 5 4 6	<b>左</b>				·	<i>W</i> .	_	_
平 成 実 施	1 5 ~ 1 6 した改善	年 及 に	課題		改善 内容		│ 総合 │ 評価	A	A
- A	<b>4の対応(ア</b>	<i>h</i> > , = > , )							
3 71:	<u> </u>	<u> </u>	消防法に基づい	た的確な指導を行う	う職員の育成				
現在意	認識してい	いる 課 題			2 14,32 -0 137-2				
	係者 市民,関	係者の名称							
からの 要 望	意見,等意見,	要望内容							
	(1)	対応内容							
		実施期限	平成 年	月					
課題·要		対応内容							
へのす	(2)	実施期限	平成年	月					
( 0)	(1) //()		十八八   千						
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成 年	月					
	! 考えられる D ア イ デ ア								
以 吾 (	D						今後の方向性	1次輕価	2次輕価
		l					拡大・充実		2 // II IIII
			消防法に基づい	た事務であり,現れ	犬を維持します。		現状維持		
							方 法 改 善		
平成 1	7~19年度	の方向性					民間委託等		
							統合/終期設定		
							統合/終期設定 廃 止 / 休 止		
							, PI, III	1	<u> </u>
2 次 評	価 委 員 会	コメント							

										<del>-</del>							
(一般	事業	( ≱	事業	コード	1220 <sup>-</sup>	160					部		長	次	長	課	長
平成1	5年	度	<b>\$</b>	業名	危険:	物取扱者の指導											
1 7-70	- '	_			,0,,,	13 1/3/ 11 -5 31 (3											
. =	- MIC 1r	n	E / Ia \														
			<u> </u>		ı	\ <u> </u>	6. /1 \rightarrante - 10							N/ E \   + E			
		-				活気あふれる豊か		<b>〈</b> リ			所	管	課	消防本部	'		
総合				<u>中</u>		安全と防災の確保						<u>~~</u> == = = =	T 47	予防課	rth .		
政策		-		小 /m	2	防災生活圏の整備	允美					管課長日					
事		系業		細	n71 <b>4</b> ⊓	2 5 年 ~		なみに		] [[=n±	電	入者氏		町田 昭 0797-38-		<b>中</b> 炉	44.44
_	-				消防			経常臨時	☑ 経常 □	] 臨時	_	施主			2090	内線	4141
実		施	<del>マ ・ 3</del> 手					£	□ 全部委託	Į.		<u>////</u> ]補助金			負担金		
委	- 1	שונו	託				名称	<u>.</u>				1 委託 7			只让亚		
						物取扱者を対象に		上のための	研修会や立入			U S HU P	ן ביינ				
事	業		Ø	概 要		定数量以上の危険						いが必要	であ	る。)			
-						会は,平成15年								- 0 )			
						物取扱者に対する						,					
事	業		の	現 状	危険	物保安監督者・危	険物従事者の遺	選任・解任	届出を指導す	る。							
	目的	的実	現のため	o Ø													
	手	设及	び実施内	容	(届	出者数 保安監督	者21人 ,危	5)険物従事	者81人	計102,	人)						
				指標名	研修	会出席者数											
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	〔(実績)	平	成16年	度 (	目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(1)	指標値		11人	9人	•	16,	人		3	5人				
アウト	プッ	<i>i</i>				96,637円	424,2	2 3 円	117,6	88円							
指		標				検査時指導件数											
			結果指標	<b></b>		13年度(実績)			平成15年度		平	成 1 6 年		目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		70件	8 1 f		7 31			5	0件				
<u> </u>	· 2114 –			単位コスト	6	51,451円	47,13	3 6 円	25,7	9 5 円							
∠ 事	·美b	以月	₹(アウト	トカム)	I												
			対	象	給油	取扱所に従事するが	危険物取扱者										
車業の	ν П	651	计包力	パ _ 弦	ਹੋਰ ਉ	t 数 (a)	1 7 J	受 益 数	(h)	16人		比兹	/h	÷ a) %	C	4.19	0/6
対象		-	XI SK //	/\ — <del>*</del>	אַן אַ	K XX (a)	1 / /	又血效	(u)	107		11. 平	(D	- a) 70		4.1	70
V) 3/	Œ		意	図		物取扱者に対して	, 危険物災害を	を防止のた	め最近の災害	事例等か	ら取	扱い上注	意事	項等を徹	底し,	動防止:	を図
			_	上語にして)	る。												
		!	(2320122														
大	き		な	目 的	危険:	物に関し,人的なi	面から安全を研	催保する。									
				指標 名	立入	検査時指導件数											
			中間成果	考え方・式	法令	の基準を遵守し,	事故等の発生を	を防ぐ									
		:	指 標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	【(実績)	平	成16年	度 (	目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウト	トカ	ム		指標値		70件	8 1 f	4	7 31	牛		5	0件				
指		標		指標名	危険:	物事故発生件数(	15年度の1件	‡は,機器	の不良による	もの。)							
				考え方・式			I —		<del></del>		1 -	13. :			- "		
		:			半成	13年度(実績)					平	成 1 6 年		目標)	半成 1	7年度(	目標)
				指標値		0件	0 件	-	1件	<u> </u>		0	件				
<b>₩</b> □→	- ~ #:	+ <b>4</b>	. +> 12 +± C	コナッまで													
户座巾	3 W ¥	寸巴	はて相互	足する事項													
2 重	₩≠	曳.	:千番九而],	<u>分(コスト</u>	\ \				1世帯当り(円)	10	住民	₹1人当り(	ш \	21	₩ 5t 16 /	1.1 住民基	主木ム框
事		<u>見</u> 業	<u>/口到/60.</u> 費	1	<i>)</i> 亚成	13年度(決算)	平成14年度	( 注質 )	平成15年度		+	成16年			T132, 10.5	r.1 III.(3	
7	丁		件費		1 /3%	4,363	11321 7 7132	3,818	1132 1 3 -132	1,883	<u> </u>	13X 1 0 <del>1</del>	152 (	- 1 <del>21 )</del>			
	事		業費			0		0,010		0							
内言			門経費	1		0		0		0				-			
			償却費	0.0%		0		0		0				-			
	合		計			4,363		3,818		1,883				0			
	国		・ 県			0		0		0							
財			債 等			0		0		0							
(千円	) そ		の他	0.0%		0		0		0							
		鱼	財源	100.0%		4,363		3,818		1,883				0			
	動職		員	100.0%		0.50		0.40		0.20				-			
	_		·臨時等	1		0.00		0.00		0.00				-			
(人			計	100.0%		0.50		0.40		0.20				0.00			

評	<u> </u>	評価チェックリスト	1 \n =\u /#	2次評価
ПT	<u>іш 1ж ж</u>		「八計Ⅲ	2次計画
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	,	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		□ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
.141	1320- 7(2 1)			
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変化(1~1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		内容		
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	i i	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績(2~ 1)	→ ② 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
44			_	
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣消防機関 □ 比較できる団体はない		
	** (** = = 1 (4 4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 団 把握していない		
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	_	
	受益者負担(0~ 1)	T		
率		□ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	<b>⊣ 1</b>	1
		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	•
	手段(1~ 3)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	于政(1 ~ 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
υ.π.	コスト削減取組(1~ 1)	→ 内容 隔日勤務の担当者を平成14年度の4人から,15年度は2人に減員した。		
			_	
平成	15~16年度に	<sub>理期</sub> 改善	<b>≙</b> ∧	Α.
実 施	15~16年度にした改善内容		<b>             </b>	A
<u>5 今後</u>	<u> 後の対応(アクション)</u>			
		平成16年度は,法が改正されたため研修会2回を行う必要性を感じている。		
現在意	認識している課題			
市民、関	関係者 市民,関係者の名称			
からの	音目			
J. 5 W	意見意見,要望内容			
安 望	寺			
	対応内容			
	(1)			
	実施期限	平成年月		
課題·要	<b>草</b> 草等			
	(2) 対応内容			
へのす		平成 年 月		
( () )	A.」 //U	平成   月		
	対応内容			
	(3) 対応内容			
	(3) 対応内容 実施期限			
	(3)			
その他	(3)			
. –	実施期限			
. –	実施期限	平成 年 月	<b>杜</b> 1 次部 研	2.冷顿価
. –	実施期限	平成 年 月		2次評価
. –	実施期限	平成     年     月       今後の方向     拡大・充	実	2次評価
. –	実施期限	平成       年       月         今後の方向       拡大・充消防法に基づいた事務であり、現状を維持します。       現状維	実 持	2次評価
. –	実施期限	平成     年     月       今後の方向     拡大・充	実 持	2次評価
改善(	実施期限	平成     年     月       今後の方向     拡大・充       消防法に基づいた事務であり、現状を維持します。     現状維方法改	実 持 善	2次評価
改善(	(3) 実施期限 2考えられる のアイデア	平成     年     月       今後の方向     拡大・充       消防法に基づいた事務であり、現状を維持します。     現状維方法改	実 持 善	2次評価
改善(	(3) 実施期限 2考えられる のアイデア	平成     年     月       今後の方向     拡大・充       消防法に基づいた事務であり、現状を維持します。     現状維方法改民間委託縮	実 持 善 等 小	2次評価
改善(	(3) 実施期限 2考えられる のアイデア	平成       年       月         今後の方向       拡大・充         消防法に基づいた事務であり、現状を維持します。       現状維方法改民間委託縮         統合/終期設	実 持 善 等 小	2次評価
改善(	(3) 実施期限 2考えられる のアイデア	平成     年     月       今後の方向     拡大・充       消防法に基づいた事務であり、現状を維持します。     現状維方法改民間委託縮	実 持 善 等 小	2次評価
平成 1	(3) 実施期限 3 考えられる のアイデア 7~19年度の方向性	平成       年       月         今後の方向 拡大・充 現状維 方法改 民間委託 縮 統合/終期設 廃止/休	実 持 善 等 小	2次評価
平成 1	(3) 実施期限 3 考えられる のアイデア 7~19年度の方向性	平成       年       月         今後の方向       拡大・充         消防法に基づいた事務であり、現状を維持します。       現状維方法改民間委託縮         統合/終期設	実 持 善 等 小	2次評価

(一般	事業)	事 業	コード	1220170					部	長次	長課	長
平成1	5年度	事	業 名	防火対象物	・危険物施	設の違反処理						
1 重	<b>举</b> 概	要(ドゥ)										
			/ 11 の 日 煙	1 活気あ	ふわる豊か	な生活環境づくり				消防本部	7	
総合			<u>いりり日1家</u> 中	2 安全と					所 管 i	果	,	
施 丘			小	2 好主と					所管課長氏名		<u></u>	
			-	2 防火土	心固の霊俑	元夫						
体	系		細	7770 2 5 AT		(27 AH 17 C C C		r⊬n+	記入者氏名			
事	業			昭和35年		経常臨時	☑ 経常 □	品時		를 0797-38-	-2098 内線	4141
根 拠				消防法					実施主作			
実	施			☑ 直営		□ 一部委託	□ 全部委託		□補助金		負担金	
委		託		□ 外郭団		名称			委託 委託 内容	<b>₹</b>		
						設に重大な違反事項があ						
事	業	の	概 要			行政の対象となる建築物	•		-			
				危険物施設	:消防法で	定める固体又は液体の危	放験物を指定数量	量以上貯	蔵し又は取扱っ	ている施設	ţ	
				違反処理を要	要するよう	な重大な違反事項は,発	生していない。					
事	業	の	現 状	消防が行う道	皇反処理は	, 立入検査時や市民から	の通報により遺	皇反事実	を確認したとき	, 法的な手	続きを行うもの	で,
	目的	実現のため	りの	規程に基づく	く違反処理の	の区分は , 警告 命	令 特例認定	官の取消	し 許可の取	消し		
	手段	及び実施内	勺容			告発 科	料事件の通知	代執1	行 略式の代	執行 があ	る。	
			指標 名	市民通報数								
		結果指標	年 度	平成 1 3 年	隻(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(	目標)
		(1)	指標値	3 (	<u></u>	3件	7件		通報に。	はる		
アウト	プット		単位コスト		333円	2,015,667円	684,857	円				
指	樗	5		違反判明数		, , ,	,		1			
•		·   結果指標		平成 1 3 年	宴(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	平成16年度	(目標)	平成17年度(	目標)
		(2)	指標値			0件	0件	( ) ( ) (	0件	• •	0件	H 120 /
		(-)	単位コスト		•	- 11						
2 重	業成	<u>_</u> 果(アウ										
<del></del>	<del>*</del> 11%		1/1/4)									
		対	象	防火対象物	・危険物施	設の関係者(所有者,管	[理者,権原者]	)				
重業σ	つ日か	1 対 免 ナ	1 バー 落	対象数(a	2) 2	, 0 3 7 受益数	(h)		H	÷ a) %		
対象・			, , , +	7) XX /& (A	1) 2	, 0 5 7   又 皿 以	(6)		LC + (b	- a) 70		
Y1 3K		意	ভো	造らが防ル5	左仝 上雷士·	な事実の場合には,使用	停止を今が消	おきに其が	づく違反処理手	结会を行う		
			さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい さ	连及小例人。	人土工里八	は事夫の物口には,使用	は正で見り出め	カムに至	ノく 達及処理士	がらで11ノ	<b>'</b> °	
		(X) 3K & 1	THE C C)									
+	<b>±</b>	t:	目 的	※字や車47	た『亡』⊢』 +₩·							
大	ਣੇ	な		火古 ピ争収で		はの空みに安ヒオス						
			П ну		を防止 ひ地.	域の安全に寄与する。						
		1				域の安全に寄与する。 						
			指標名	警告・命令等		域の安全に寄与する。						
			指 標 名 考え方・式	警告・命令等	等発動件数			, rinks \				
	<b>.</b>	指 標	指 標 名 考え方·式 年 度	警告・命令等 平成13年原	等発動件数度(実績)	平成14年度(実績)		(実績)	平成16年度	• •	平成17年度(	目標)
		指標	指標名 考え方·式 年度指標値	警告·命令等 平成13年/	等発動件数度(実績)		平成15年度0件	(実績)	平成16年度	• •	平成17年度(	目標)
	<sup>、</sup> カ ム 標	指 標	指標名 考え方·式 年 度 指標值 指標名	警告・命令等 平成13年/	等発動件数 度(実績) 件	平成 1 4 年度 (実績) 0 件	0件			• •	平成17年度(	目標)
		指 標	指標名 考え方·式度 年標值 指標名 考え方·式	警告・命令等 平成13年 00 事故災害発生	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防	平成 1 4 年度(実績) 0 件 火対象物,危険物施設の	0件 )違反によるも <i>0</i>	D)	0件			
		指 標	指 標 名 式 度 值 名 式 度 值 名 式 度	警告·命令章 平成13年 01 事故災害発生 平成13年	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防. 度(実績)	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績)	0件 違反によるも <i>0</i> 平成 1 5 年度	D)	0件平成16年度	(目標)	平成17年度(平成17年度(	
		指 標	指標名 考え方·式度 年標值 指標名 考え方·式	警告·命令章 平成13年月 01 事故災害発生 平成13年月	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績)	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件	0件 違反によるもの 平成15年度 0件	)) (実績)	0件	(目標)		
アウト 指	標	指標量級成果指標	指考方 標標方 標標方 標標方 標標 標	警告・命令等 平成13年 01 事故災害発生 平成13年 01 住宅都市であ	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績)	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績)	0件 違反によるもの 平成15年度 0件	)) (実績)	0件平成16年度	(目標)		
指	標	指標量級成果指標	指 標 名 式 度 值 名 式 度 值 名 式 度	警告・命令等 平成13年 01 事故災害発生 平成13年 01 住宅都市であ	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績)	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件	0件 違反によるもの 平成15年度 0件	)) (実績)	0件平成16年度	(目標)		
指 芦屋市	標である。	指標 最終成果 指標 色など補足	指考え 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 事 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重	警告·命令章 平成13年版 01 年 1 3年版 2 1 3年版 1 3 年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績)	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件	0件 違反によるもの 平成15年度 0件	)) (実績)	0件平成16年度	(目標)		
指 芦屋市	標である。	指標 最終成果 指標 色など補足	指考方 標標方 標標方 標標方 標標 標	警告·命令章 平成13年版 01 年 1 3年版 2 1 3年版 1 3 年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1 3年版 1	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績)	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件	0件 違反によるもの 平成15年度 0件	D) (実績) 3。	0件平成16年度	(目標)		目標)
指 芦屋市	標である。	指標 最終成果 指 を ど補 が ・活動配	指考え方・ 標標	警告·命令章 平成 1 3 年 月 0 位 事故災害発生 平成 1 3 年 月 0 位 住宅都市であ	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績) 件 あり共同住:	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 €反が是正される	D) (実績) S。	0件 平成16年度 0件	(目標)	平成17年度(	目標)
指芦屋市	で 特 業費	指標 最終成果 指 を ど補 が ・活動配	指考え方・度 指考え方・標標 標 方・標 標 標 点 方・標 標 標 方・ 標 標 点 が は	警告·命令章 平成 1 3 年 月 0 位 事故災害発生 平成 1 3 年 月 0 位 住宅都市であ	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績) 件 あり共同住:	平成 1 4 年度 (実績) 0件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0件 宅が多く,指導段階で追	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) S。	0件 平成16年度 0件	(目標)	平成17年度(	目標)
指芦屋市	· で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	指標 最終成果 指ので補足 をおいて、 をおいて、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	指表元 指表元 指標標 指標標 指標標 指標標 指標 で で で で で で で で で で で で で	警告·命令章 平成 1 3 年 月 0 位 事故災害発生 平成 1 3 年 月 0 位 住宅都市であ	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防 度(実績) 件 あり共同住 度(決算)	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件 宅が多く,指導段階で追	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 3。 124 (決算)	0件 平成16年度 0件	(目標)	平成17年度(	目標)
芦屋市	での特を登業した。	指標 最終成果 指 を と 補 が ・ 活動配費 件 費	指表元 指標 方 度値 指標 標 方 標 標 方 標 相 表	警告·命令章 平成 1 3 年 月 0 位 事故災害発生 平成 1 3 年 月 0 位 住宅都市であ	等発動件数 度 (実績) 件 生件数 (防: 度 (実績) 件 あり共同住: 度 (決算) 5,548	平成 1 4 年度 (実績) 0件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0件 宅が多く,指導段階で通 平成 1 4 年度 (決算) 6,037	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 5。 124 (決算) 4,794	0件 平成16年度 0件	(目標)	平成17年度(	目標)
指 芦屋市 事 内 稿	で、業人事の特別を表して、	指 標 最終成果 指 と が	指表方 を 指標 方 値 指標	警告·命令章 平成 1 3 年 月 0 位 事故災害発生 平成 1 3 年 月 0 位 住宅都市であ	等発動件数 度 (実績) 件 生件数 (防: 度 (実績) 件 あり共同住: 度 (決算) 5,548	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件 宅が多く,指導段階で通 平成 1 4 年度 (決算) 6,037	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 3。 124 (決算) 4,794 0	0件 平成16年度 0件	(目標)	平成17年度(	目標)
指 芦屋市 事 内 稿	で、業人事の特別を表して、	指 最終成標 を 活動 で 神 業門 経 に に で に で に で に り で り で り り り り り り り り	指表元 指標 指標標 指標標 指標標 指標 指標 指標 指標 1 1 3 3 4 3 4 4 5 5 4 4 5 5 6 6 6 6 7 6 7 6 7 7 7 7 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	警告・命令等 平成13年月 の付 事故災害発生 平成13年月 の付住宅都市であ	等発動件数 度 (実績) 件 生件数 (防 度 (実績) 件 あり共同住: 度 (決算) 5,548 18	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物, 危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件 宅が多く, 指導段階で遺 平成 1 4 年度 (決算) 6,037 10	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) S。 124 (決算) 4,794 0	0件 平成16年度 0件	(目標)	平成17年度(	目標)
指 芦屋市 事 内 稿	で 業 人事他派 (の)	指 最終が 様 を 活 作業門償 の で で の で の で の で の で の で の で の で の で	指標 指標 指標標 指標標 指標標 指標 指標 指標 指標 指	警告・命令等 平成13年月 の付 事故災害発生 平成13年月 の付住宅都市であ	等発動件数 度(実績)件 生件数(防: 度(実績)件 あり共同住: 度(決算) 5,548 18 0	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物,危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件 宅が多く,指導段階で道 平成 1 4 年度 (決算) 6,037 10 0	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 5。 124 (決算) 4,794 0 0	0件 平成16年度 0件	(目標) 53 (予算) -	平成17年度(	目標)
指	で	指 最終が 様 を 活 作業門償 を が が が が が が が が が り り り り り り り り り り	指 標 名式度	警告・命令章 平成13年月 0位 事故災害発生 平成13年月 0位 住宅都市であ	度(実績) 件 生件数(防 度(実績) 件 あり共同住: 度(決算) 5,548 18 0 0 5,566	平成14年度(実績) 0件 火対象物,危険物施設の 平成14年度(実績) 0件 宅が多く,指導段階で適 平成14年度(決算) 6,037 10 0 6,047	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) So. 124 (決算) 4,794 0 0 0 4,794	0件 平成16年度 0件	(目標) 53 (予算) -	平成17年度(	目標)
指	で 業 人事他減合国市	指 最 指 最 指 を 活 件 業 門 償 ・ に を が の で の の の の の り の り の り の り の り の り の り	指標 名式度 値名式度 値名式度 値名式度 値名式度 値名式度 値名式度 値名式度	警告・命令等 平成13年月 0位 事故災害発生 平成13年月 0位 住宅都市であ	等発動件数 度 (実績) 件 生件数 (防: 度 (実績) 件 あり共同住: 度 (決算) 5,548 18 0 0 5,566	平成14年度(実績) 0件 火対象物,危険物施設の 平成14年度(実績) 0件 宅が多く,指導段階で遺 平成14年度(決算) 6,037 10 0 6,047 0	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 5。 124 (決算) 4,794 0 0 0 4,794	0件 平成16年度 0件	(目標) 53 (予算) -	平成17年度(	目標)
指	の業 人事他減合国市で	指 最指 を 活 件 業 門 償 ・ 債 ・ 債	指 標 方・式度 値名式度 値名式度値名式度値 100.0% 位 0.	警告・命令等 平成 1 3 年 月 0 位 事故災害発生 平成 1 3 年 月 0 位 住宅都市である	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防: 度(実績) 件 あり共同住: 度(決算) 5,548 18 0 0 5,566 0	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物, 危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件 宅が多く, 指導段階で道 平成 1 4 年度 (決算) 6,037 10 0 6,047 0	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 5。 124 (決算) 4,794 0 0 4,794 0	0件 平成16年度 0件	(目標) 53 (予算) -	平成17年度(	目標)
指	の業人事他派合国市モー	指 最指 色・活件業門償・債の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個	指標 名式度値 指標 標	警告・命令等 平成13年月 の付 事故災害発生 平成13年月 の付住宅都市であ )	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防 度(実績) 件 あり共同住: (決算) 5,548 18 0 0 5,566 0 0	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物, 危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件 宅が多く,指導段階で適 平成 1 4 年度 (決算) 6,037 10 0 6,047 0 0	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 5。 124 (決算) 4,794 0 0 4,794 0	0件 平成16年度 0件	(目標) 53 (予算) - - 0	平成17年度(	目標)
指	の業 人事他派 (角) 前 特 費業 一部 (一) 前 (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一)	指 最指 色 ・	指標 名式度 指標 信名式度 指標 標 値 名式度 指標 標 値 名式度 1 4 4 7 7 7 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8	警告・命令等 平成13年月 の付 事故災害発生 平成13年月 の付 住宅都市で  で  で  で  で  で  で  で  の  の  の  の  の  の	等発動件数 度(実績) 件 生件数(防 度(実績) 件 あり共同住 度(決算) 5,548 18 0 0 5,566	平成 1 4 年度 (実績) 0 件 火対象物, 危険物施設の 平成 1 4 年度 (実績) 0 件 宅が多く,指導段階で道 平成 1 4 年度 (決算) 6,037 10 0 6,047 0 6,047	0件 違反によるもの 平成15年度 0件 反が是正される	D) (実績) 55。 124 (決算) 4,794 0 0 4,794 0 0	0件 平成16年度 0件	(目標) 53 (予算) - - 0	平成17年度(	目標)

評	価	·	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
		立小州小	o o)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに紋	ることができない		
	HBA	妥当性(2	2 ~ Z)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、また	は高くない		
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または	対応可能である		
妥	市関	与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがさ	れている		
				□ いずれにも該当しない		_	_
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて	行う事業ではない	5	5
	市民	ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えた	い,または未把握		
性				□ 数字で把握している	□ 未把握		
8点	ナム	理培亦人	七(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわ	せた見直しが必要		
	Ľ.K.	城児女 l	to(1 ·- 1)	内容		]	
	優先	性,緊急	性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象	カバー率	<b>≝</b> (1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりた	バー率が低い		
有	受益	者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受			
効	成里	の実績(2	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が	未記入	3	3
~/3	72.71	U)	- '/	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があが	っていると言えない	J	J
性	- 成果	向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合 	········		
4点	7-2071	1 3 == 23 (*)	5(,	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 近隣消防機関 □ 比較できる団体はない			
4.1	単位	コスト(1・	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 四 把握して			
効			,	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコスト	いが高い		
				高い、または低い場合の理由			
	受益	者負担((	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率				→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能	□ 徴以可能 )	1	1
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	D > - 0 + +D // / 0 + -		•
	手段	(1 ~ 3)	)	<ul><li>☑ 正規職員による執行が義務づけられている</li><li>□ 居間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li></ul>	<sup>出ってき</sup> 部分がある		
				<ul><li>□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である</li><li>□ 嘱託, 臨時職員等で対</li></ul>	寸応可能である 		
性					心可能である		
3点	コスト	削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		ł	
				→ 内容 平成14年度より15年度は担当者を減員している。			
平 成	1 5 ~	1 6	年度に	違反処理に関する規定を整備した。 課題 違反処理規程の制定 改善 違反処理マニュアルの作成	総合	Α	Α
実施	した	改善	善 内 容	内容	評価	^	_ ^
5 今後	きの対	応(ア/	クション)				
3 7 15	X 42 X J	<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<i>,</i> , , , ,	当防庁の指導もあるが,立入検査時の違反処理強化が必要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
現在意	忍 識し	ってい	る課題				
市民,関	係者市	民,関係	系者の名称				
からの	意見ュ	. H					
要 望	等	3.兄,3	要望内容				
			対応内容				
		(1)	对心内台				
			実施期限	平成 年 月			
課題·要	望等		対応内容				
		(2)	אויטיונג				
へのす	付 応		実施期限	P成 年 月			
			対応内容				
		(3)	×11/0/13/E				
			実施期限	<u>F成</u> 年 月			
その他							
改善の	D ア イ	′ デ ア					1
					今後の方向性	1	2次評価
					拡大・充実		
				肖防法に基づいた事務であり,現状を維持します。	現 状 維 持		
			- > 4 111		方法改善		
平成 1	/ ~ 1	9 牛 度	の方向性		民間委託等		
					缩一小		
					統合/終期設定	_	
					廃止/休止		
າ ∿≂ ≐π	(価 禾	금 스	7 1 1				
2 次 評	価 委	員 会	コメント				

( —	船事	(業	事業	□ <b>-</b> ド	12201	180			Ī	部		長次	Æ	: 課	長
(	132 3	- x /	<del>-</del> *	<u> </u>	1220	100				ПР		K //		. HAN	L L
平成	Ì, 15	年度	事	業 名	火災	予防の指導と広報	及び予防統計								
									l						
1	車3	5 把[3	要(ドゥ)							<u> </u>					
	-			コの日梅		<b>活生まるわる曲か</b>	か出活理接づてい					沿位力	<b></b>		
						活気あふれる豊か				所	管	課 消防 3			
		十 画		<u>中</u>		安全と防災の確保 防災生活圏の整備				55	<b>竺钿 巨</b>	予防記			
	中 //	l.		小 /m	2	<b>防火土活圏の整備</b>	<b>元夫</b>				管課長氏				
体		系		細	07110	2.5.45	17 W F-04			_	入者氏				
事		業	斯			35年~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電	話番		38-2098	内線	4141
	拠			要綱等							施主				
実		施	手		$\overline{\mathbf{A}}$		一部委託	□ 全部委託			補助金		□ 負担金		
委			託				名称			一	丢 託 内	容			
						対象物関係者への									
事		業	の			に関する広報紙を									
						対象物,危険物施									
							実施する消防訓練時に出								
事		業	の				週間中に広報あしやに掲	•	ターや啓	発ち	らしを配わ	Fして防り	<b>火意識を向</b> .	上させる。	
		目的第	実現のため	00	防火	対象物や危険物施	設の実態を集計し,国に	:報告する。							
		手段及	なび実施内	容											
				指標 名	広報網	紙 (ポスターと啓	発ちらし)を防火対象物	管理者等に配る	布						
			結果指標	年 度	平成	1 3年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	4	成16年月	度(目標	) 平成 1	7年度(目	]標)
			(1)	指標値	1	,0 2 5 対象物	1,081対象物	1,042\$	対象物		1 , 1 0	0 対象	1	, 150対	象
アウ	)トラ	プット		単位コスト		6,373円	6,850円	11,24	4 9 円						
指		標		指標 名	消防	訓練指導出向回数							l .		
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	4	<sup>2</sup> 成16年/	度(目標	) 平成1	7年度(目	1標)
			(2)	指標値		1 9 回	25回	28 🖪	1		希望数は	こよる		-	
			, ,	単位コスト		43,790円	296,160円	417,2	15円						
2	事業	<b>É成</b>	果(アウ		I		,	,					l l		
	, ,			,				_							
			対	象	全市	民,防火対象物関係	<b>係者,危険物施設関係者</b>	Ī							
事当	ŧσ	目的	対象力	バー率	対象	₹ 数 (a)	受 益 数	(b) 1.	417人		比率(	b ÷ a)	%		
		意図			//3 %	(-)		( ( )	- , ,		<b>70</b> 1 (	/			
			意	図	防火	に関する意識を向	上させる。知識を身につ	ける。							
				ー 主語にして)	1,5,5 (			., =0							
			(2.3.5.1.2.2												
大		ਣੇ	な	目 的	防火:	安全体制及び協力の	体制を確立する。								
•		_	O.		1,5,5 (.	× = 11 . F3. X 0 1 / 3 1	7								
				指 煙 名	消防	訓練参加人員									
						安全に関すること	 を学んだ。								
							平成14年度(実績)	平成15年度	(宝績)	立	<sup>2</sup> 成16年/	き ( 日標 )	) 平成 1	7年度(目	1煙)
7 -	ל ל	カム				1,071人	1,294人	1,41		<u>'</u>	1,5		1 12% 1	7 172 ( 1	11/1/
, 指	- 1	7 4 標		指標名			. , = > 1/1	,	- / \	<u> </u>	. , 3	/ \			
10				考え方・式	7,90	/U									
					平成	13年度(宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度	(実績)	<u>ग</u>	<u>∞</u> 成16年/	<b>宴</b> (日樗	) 平成 1	7年度(目	1標)
			תו בו	指標値		2.4件	3 5 件	2 2 件			72 T	<u>~(日1赤</u>	1 17%	· 112 ( F	1137
				ᆙ					1	<u> </u>					
古屋	市	かはん	るかど猫「	足する事項	/RZ 2K 1	IX , MJ/(IC JV1 C	A.O.C.1 いた社物ルンへは	- /Co							
广连	ב ווי כ	ノ 1寸 日	_ で C T用 A	こって手点											
2	事》	<b>坐</b> 建	(千番)而]	公(コフ!	\			1 ## # # # / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /	200	/÷ =	21 1 平17 7 5		24 W F 40	11 仕尺甘-	★스hE
事	<del>]</del> 3			<u>分(コスト</u>		1 2 年度 / 計算 >	亚式 1 / 生帝 / 沈答 \	1世帯当り(円)		_	そ1人当り(F		31 平成16.	住氏基4	十口収
#		業	費		一九以		平成14年度(決算)	平成15年度	• •	+	Z成 1 6 年)	又〔〕了异	,		
		<u>人</u>	件 費			6,532	7,353		11,682				20		
+	<b>-</b>	事	業費			0	51		39				28		
内ィ			門経費			0	0		0				-		
(+	円)		貸却費	0.0%		0	0		0				-		
		<u>合</u>	計			6,532	7,404		11,721				28		
		国	- 県			0	0		0	<u> </u>					
	源		債 等			0	0		0	<u> </u>					
(千	円)		の他			0	0		0						
			段 財源	<b>†</b>		6,532	7,404		11,721			- :	28		
活	動		員			0.75	0.80		1.20				-		
配			・臨時等			0.00	0.00		0.30				-		
( )	( )	合	Ħ	100.0%		0.75	0.80		1.50			0.0	00		

評	<u>叫(フェッフ)</u> 価 ネ	現 点					評価チェック	カリフト			1 次 評 / 而	2次評価
П	1		☑ 事業の	士日的け	明確であ	: Z	піщуту		事業の目的は一つに絞る	ことができない	「八町Щ	2次計画
	目的妥当性	(2 ~ 2)				_	·나중라효사호					
									貢献度が不明確、または高		-	
	→ BB I– (o	0)					られている		民間でやるべき、または対			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の	)基本的な	生活の維	<b>E持に必要</b>	でめる		他団体では見直しがされる	(116		
					S /=				いずれにも該当しない	S == 112 - 1 1 1 1 1	<b>-</b>	_
当			市民=			うべき事業			市民ニーズに基づいて行		4	3
	市民ニーズ	(2 ~ 1)		ニーズが		<del></del>		Ш.	ニーズが高いとは言えない	***		
性				□ 数字で						□ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)			会環境の	変化に適	応している	Ц	社会環境の変化にあわせ	た見直しが必要		
			内容									
	優先性,緊急						3,安全等が損な					
	対象カバー								□ 他団体よりカハ			
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意	益受と図述	者は整合	している	□事業意	図と受益	益者が不整合 ,または受益	が一部に限定		
効	成果の実績	{(2 ~ 1)	☑ 中間点	は果指標の	実績値を	・把握し,目	目標値を設定して	いる□	実績値または目標値が未	記入	3	3
X/J	ル木の大漠	1(2 1)	<b>→</b> 🗹 🧃	€績値から	成果があ	がっている	と言える		実績値から成果があがって	ていると言えない	<u> </u>	3
性	- 成果向上余	·+\h/1 - 1\	成果があ	がっていな	い場合							
4点	- 风未凹工ホ	:JB(1~ 1)	□ 成果向	上策あり						□ 特になし		
			☑ 比較で	きる団体だ	がある	団体名	近隣消防本部		比較できる団体はない			
	¥ / <del>2</del> ¬ ¬ 1 //	4 4\							☑ 把握してい	いない		
効	単位コスト(1	1~ 1)	<b>-</b> □ ft	は団体より ニ	ストが低	ا ا	単位コスト □ 他団体と同程	 建度	□ 他団体よりコスト	が高い		
				は低い場								
							5 <b>② 負</b>	担を求	めるべき事業ではない			
	受益者負担	!(0 ~ 1)	1 1						徴収不能・見直し不能	□ 徴収可能 )	a	_
率							資団体へ委託して			, , , , , , ,	<b>⊣ -</b> 1	-3
			□ 正規聯						個人 , 家庭 , 地域等が担う	べき部分がある		
	手段(1~ :	3)							民間(企業, NPO等)で対応			
性							V1乗扱である 1業務である		嘱託, 臨時職員等で対応			
3点			コストド				1 <del>×1</del> 77 C 00 0		特に行っていない	-1 HE C 00 50	-	
о <i>т</i>	コスト削減耳	双組(1~ 1)	→ 内容	33 <i>119</i> 2,02,42,7; 5	תו ביייט בו	2 (118			141C117 CV1/4V1			
				г								
平成	15~16 した改	年度に	課題				改善			総合	В	В
実 施	した改	善内 容	HANNAGE.				内容			評価		
	後の対応(ア	7 クシュンハ										l .
7 7	タリスコルい(フ	<i>)</i> / 3 / )	防火意識の	低下が縣:	今される							
租在	認識してに	ハる锂顎		ILV 1.17 YES	WC100	0						
九 1上												
市民	関係者 市民,関	(名字の夕称										
からの	意見意見,											
西胡	<sup>  意見</sup> 意見,	要望内容										
女王	. ਚ											
	(1)	対応内容										
	(1)	C +/- HD 70		<i></i>		_						
+m == ==	E += 6/4	実施期限	平成	年		月						
課題·要		対応内容										
	(2)				1 1							
への	对心	実施期限	半成	年		月						
		対応内容										
	(3)			<u> </u>								
		実施期限	平成	年		月						
	と考えられる											
改善	のアイデフ	ア										
										今後の方向か		2次評価
										拡大·充掌		
			火災予防の	指導と広	報は,火タ	炎予防週間	閉等を通じて実施	でするよ	う消防庁通知による	現状維持	寺	
			ものであり	,予防統訂	計も同様	であるの	で現状を維持し	ます。		方 法 改 割		
平成 1	7~19年度	その方向性 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん								民間委託等	手	
			I							縮	J\	
											-	
										統合/終期設定	E	
										統合/終期設定廃止/休」		
2 次 評	平価 委 員 会	ミコメント	地域、家庭	等でも防力	火啓発の	取り組み	が進むような事	業を検言	対して下さい。課題改善	廃 止 / 休 」	Ł	•
2 次 部	平価委員会	ミコメント	地域、家庭	等でも防力	火啓発の	取り組み	が進むような事	業を検言	対して下さい。課題改善	廃 止 / 休 」	Ł	

( -	一般事	事業)	事業	J - 1	1220	270			部 長	次	長	課	長
亚	<b>ы</b> 15	年度	車	業名			王ガス消費施設,火薬庫	等への立入検					
	1320 1 3	1 152	<del>-</del>	ж н	<b>查火</b>	災予防措置							
	<del></del> »	U4 107 =	<del></del> (   4								ļ		
_			要(ドゥ)	/ 10 = II II		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	* # \rangle = 1.10		ı	>\/ <del>                                     </del>	,		
						活気あふれる豊か			所 管 課	消防本部	i		
		計画施策		<u>中</u> 小		安全と防災の確保防災生活圏の整備			所管課長氏名	予防課	ш		
体	來 /	厄泵系		細	2	内火土/10世代	兀夫		記入者氏名				
事		ー が 業	Į		亚式	6年~	経常臨時	□ 経常 □ 臨時	電話番号			内線	4141
	抑.		令 '			· · · ·	完全   四   四   日		実施主体		2000	l a way	4141
実	عار	施	_ ₹			直営	□ 一部委託	□ 全部委託			負担金		
委		,,,,	 託				名称		委託 委託 内容		71-11		
							<u>  〒 : 1  </u> で,液化石油ガス設備,				する。		
事		業	の	概 要	ı								
					高圧	ガス(アセチレン	) 1箇所,火薬庫貯蔵	所1箇所,庫外(火薬)	車外)貯蔵所3箇	所がある	が,		
事		業	の	現 状	立入	検査は実施してい	ない。						
		目的記	実現のため	かの	アセ	チレン貯蔵・取扱	所 1箇所:海技大学校	<b>E</b>					
		手段》	ひ実施に	内容		庫貯蔵所	1 箇所:警察学校						
				1		貯蔵所	3 箇所:警察学校 2	箇所,芦屋警察署1箇月	折 計5施設				
			A+ F= !!= !	指標名			T	T-4 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 -	TI-# 4 5 5 5	· □ μ= ·	<del></del>	7 /T r	□ <del>-</del> = \
			結果指標		1		平成14年度(実績)		平成16年度(	(目標)	平成 1	/ 年度 (	目標)
_	<u> </u>	<del>-</del> ^ 1	(1)	指標値		0 回	0 回	0 回	各1回				
指	ソト、	プット 標		単位コスト指標名		平川0日米h							
抇		行示	結果指標				平成14年度(実績)	平成 1 5 年度 ( 宝績 )	平成16年度(	(日煙)	亚成 1	7 年度(	日梅)
			(2)	指標値		0回	0回	0回	0回	、口がノ	T-13% 1	一十尺(	口1示 <i>)</i>
			(2)	単位コスト		<u> </u>	<u>о</u> п	0 [	0 12				
2	事業	<b>崖成</b>	<u></u> 果(アウ	1	I								
	3.7				\ \ <del></del>		13 → 110 / ← \	- XX 1_ 88 / 2 - XX 1_ 88 / / _	+- ^-				
			対	家	液化	石油刀人法 , 局圧	ガス取締法,火薬取締法	寺に関係する施設関係	首寺				
事	業の	目的	対象が	」バー率	対 🖠	象数 (a)	5 受益数	(b)	比 率 (b	÷ a) %			
対	象・	意 図											
			意	义	施設	関係者等が関係法	令を遵守する。						
			(対象を	主語にして)									
		_	4.		1161-4	。 の 中 人 ナ 功 但 士 ネ							
大		き	な	目 的	地现	の安全を確保する。	•						
				指標 名	小小你	米力							
			<b>山間</b> 成年			<del>図</del> 指示に対する改修							
				-			平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	(日標)	平成 1	7 年度 (	月標)
ア	ウト		) I	指標値		0 🛮	0 回	0 回	0 🗇		1 720	12	H 1/4 /
指		標		指標名			<u> </u>	<u> </u>					
				考え方・式									
						13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	[目標]	平成 1	7年度(	目標)
				指標 値		0 回	0 回	0 回	0 回				
						れも公的機関の施	没である。			_	_	_	_
芦	屋市の	の特色	色など補	足する事項									
Ļ	<u></u>	ᄣᆂ	<b>ヽイエ</b> 」 ==	// / — — ·				I	I			=	+ 1 /
	事			分(コスト	· -	11255 (155)			住民1人当り(円)		平成16.4	.1 住民基	基本台帳
事		業	4			2,939	平成14年度(決算) 1,937	, ,	平成16年度(	( ) 中身 )			
		<u>へ</u> 事	件 費業 費	-	-	2,939	1,937	1,883		-			
内	±₽	•				0	0	0		_			
			道却費	_	_	0	0	0		_			
(	( L I	合				2,939	1,937	1,883		0			
		国	· 県		_	0	0	0			交付金を	51)	
財		市	債 等	_	_	0	0	0					
	F円)		の他			0	0	0					
		- 1	段 財 選	100.0%		2,939	1,937	1,883		0			
活	動	職	Ē	100.0%		0.30	0.20	0.20		-			
配			・臨時等			0.00	0.00	0.00		-			
(	人 )	合	Ħ	100.0%	5	0.30	0.20	0.20		0.00			

4 計1	<u> </u>	見 点				 評価チェッ	ックリス	<u> </u>		1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業の主	注目的は明確で	ゔある			] 事業の目的は一つに絞	ることができない		
	нихэн	(2 2)						② 貢献度が不明確、または			
<del></del>	<b>+</b> ■ ⊢ /o	0)		もするよう法律等				□ 民間でやるべき,または			
妥	市関与(2~	2)	凶 市氏の基	基本的な生活の	維持に必	安じめる		□ 他団体では見直しがされ □ いずれにも該当しない	1(116		
当			□ 市民二-	 -ズに基づいて	行うべき事			」 市民ニーズに基づいて行	 〒う事業ではない	2	2
_	市民ニーズ(	2 ~ 1)		ニーズが高い	137 .64			□ ニーズが高いとは言えな		_	_
性				数字で把握	している				□ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)			の変化に	適応している		□ 社会環境の変化にあわっ	せた見直しが必要		
		,	内容	:	<del>+</del>	- A - A - A - A - A - A - A - A - A - A	n 1 - 1a =			_	
	優先性,緊急対象カバー			<u> E施しなけれは</u> (一率は高い		命,安全等が損な □ 他団体と同			バー率が低い		
有	受益者(1~	, ,		<u>、 一は高水.</u> 図と受益者は整				受益者が不整合 , または受益			
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成界	果指標の実績値	5を把握し	,目標値を設定して	ている[	□ 実績値または目標値がき	<b></b>   記入	1	2
X/J	ル木の天順	(2 - 1)				いると言える		☑ 実績値から成果があがっ	ていると言えない	<u> </u>	
性	- 成果向上余	地(1~ 1)		っていない場合		* 0 0 25					
4点			☑ 成果向」			査の実施 近隣消防機関		☑ 比較できる団体はない	□ 特になし		
				の国体がある の数字を把握し		単位コスト		□ 把握して	いない		
効	単位コスト(1	~ 1)		団体よりコストが			程度	□ 他団体よりコス			
			高い、または	は低い場合の理	由						
	受益者負担	(0 ~ 1)	1 (					求めるべき事業ではない	_		
率		.,						□ 徴収不能・見直し不能	□ 徴収可能 )	-1	1
				止規職員が執行 員による執行が		出資団体へ委託し されている		業務について □ 個人,家庭,地域等が担	らべき郊仏がある		•
	手段(1~ 3	3)						」 個人 ,			
性				•				□ 嘱託 , 臨時職員等で対ル			
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)		減の取り組みを	行っている	3		□ 特に行っていない		]	
	1/\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(nii )	▶ 内容								
平 成	1 5 ~ 1 6	年 度 に	<b>運</b> 耳			改善			総合	D	
実施	した改	善内容	DAY NESS			内容			評価		
5 今往	後の対応(ア	クション)									
				通した職員の		·- · - · · <del>- ·</del> · · · -	_				
現 在 記	認識してし	1る 課 題	立人検査を実	能していない	ので,実	施する必要がある	5。				
市民,関	原名 市民,関	係者の名称									
からの	辛日	要望内容									
要望	等思見,	安里内谷									
	(4)	対応内容									
	(1)	実施期限	亚战	年	月						
課題·要	 夏望等		1 13%	<del>  -</del>	1/ 1						
	(2)	対応内容									
へのす	対応	実施期限	平成	年	月						
	(2)	対応内容									
	(3)	実施期限	亚战	年	月						
		大儿也来们下队	1 13%	<u> </u>							
その他	考えられる	5									
改善(	のアイデア	7									1
									今後の方向性		2次評価
			<b>目から古への</b>	↑ <b>投</b> 链重数 →	λ  桧本た	実施後、担当要員	るたぼり	いた嫁小する	拡大・充 到現 状 維 技		
			光からかべい	/炒 <del>成 字</del> / / / / / /	八俣旦で	关	マでパン	クし細小する。	方法改善		
平成1	7~19年度	の方向性							民間委託等		
									縮		
									統合/終期設定		
									廃止/休」		
2 次 氫	平価 季 昌 今	コメント	関係法令に特	誦した職員の	育成に努	め 立入絵杏け草	さ曲的に	こ実施する必要があると <del>*</del>	≝ੇਂ≳≢ਰਾਂ		
- // nī		7 / 7	1001001A Y ICTE	った ひた 似只の	っぺにカ	······································	—™11 7 10		,, <u>.</u>		
			i								

			1			1					
( —	般引	業	) 事	業	<b>□</b> - ド	12202	280			部長次	長課長
平成	<b>ኢ</b> 15	年度	事		業名	消防	用設備等の設置規制	制・指導			
1	丰兴	光机	<del>==</del>	/ L° _ \							
				<u>(ドゥ)</u> ナゴノ	コの日梅	4	活気あふれる豊か	か先洋理培づノロ			7
		'屋!! 計 画	_		<u>りの日標</u> 中		安全と防災の確保			所 管 課	,
		il 四 施 策			<u>中</u> 小		防災生活圏の整備			所管課長氏名町田 昭	2曲
体	ж <i>1</i> .	必系	_		<u>/</u>		例 久工 / 1 図 の 主 備	八大			<del>"</del> 典
事		業	_			四和	 3 5 年 ~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38	
	±bn				要綱等		•	第二十 四 四 円 寸		実施主体市	-2000 Pylink 4141
実	ابر	施				\ <u>\</u>		□ 一部委託	□ 全部委託		負担金
委		ne.		<del></del> 託				名称		型	共三亚
_								1435    画段階で消防用設備等の			
事		業		Ø				維持管理について指導す		, -0	
•		<b>-1</b>		-		7131737					
						防火	対象物の規模や用詞	金に応じて,必要な消防		設置後の維持管理を守らせ	් ද <sub>ි</sub>
事		業		の			設置に係る経緯	事前打合せ			\$
-		目的	実現	見のため				着工届出(届出件数	13年度:150件,14年度	15年度:187件,15年度:188件	)
				が実施内				設置届出		,	•
								消防検査			
					指標 名	消防	用設備等設置届出伯	牛数(設備毎の届出)			
			結	果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
				(1)	指標値		170件	175件	209件	届出数による	届出数による
アウ	)ト:	プット	-		単位コスト		7 3 , 8 5 9 円	62,589円	48,120円		
指		樗	Ē		指標名	消防	用設備等検査件数	(対象物毎の検査:設備	は複数を検査)		
			結	果指標	年 度	平成	• • •	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
					指標値		7 9 件	7 8 件	7 2 件	届出数による	届出数による
						1	58,937円	140,423円	139,681円		
2	事	<b>美成</b>	<u>果</u>	(アウト	<u> トカム)</u>						
			対	+	象	防火	対象物の所有者 , 領	管理権原者等			
<del>+</del> 4	¥ ~			<b>4</b> 1						III. +- // > o/	ı
		日的意 図	_	家 刀	バー率	刈落	表 数 (a)	受 益 数	(D)	比率 (b ÷ a) %	
אַן אַ	₹ '	思区	1_	:	ভ	R亡 ル/ :	対象物の担棋・田	金に応じた消防用設備等	た借う 姓は答理させ	z	
			怠		と語にして)	M)V.	X13X4907从1关:用1	並に心 ひた 内別用設備寺	で備ん,維持官兵では	<b>ు</b>	
			(,	v)%(C)	LIBIC O C)						
大		き		な	目 的	防火	上の安全を確保し	, 地域に寄与する。			
. ,		_						,			
					指標 名	消防	用設備等点検結果報	银告件数			
			中	間成果	考え方・式	自己	の責任において設備	<b>構の状況を把握している</b>	0		
			指	標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウ	ל ל	カム	Δ.		指標値		5 4 5 件	5 3 1件	6 3 4 件	点検対象数	
指		樗	Ē		指標 名	火災	発生件数				
					考え方・式					1 _ "	
			指					平成14年度(実績)		平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
					指標値		2 4 件	3 5 件	2 2 件		
- <del></del>	<b>-</b>	~ 4+	. ط	-> L* +	] <del>                                     </del>						
产居	重市(	か特	色で	よと補力	足する事項						
2	由斗	坐建	. 3.5	たまもまつ.	分(コスト	\			1 ### # 12 / 四 \	住民11年117日	平成16.4.1 住民基本台帳
	<del>事</del> =					) 17 ct	1 2 年度 / 注答 \	亚武 1 4 年度 ( 注管 )			平成10.4.1 住民基本百帐
事		業 人				十八	12,556	平成14年度(決算) 10,943	平成 1 5 年度 (決算) 10,057	平成16年度(予算)	-
		<u>ヘ</u> 事					12,556	10,943	10,037	-	
内	章□	_		· 貝 引経費	0.0%		0	0	0	_	
				<u>」に 貝</u> 賞却 費	0.0%		0	0	0	_	1
( 1	)	合	, 15	計			12,556	10,953	10,057	0	
		国		· 県			0	0	0		1
財	源		信				0	0	0		1
(千			σ.				0	0	0		1
	- /			財源			12,556	10,953	10,057	0	1
活	動	職		員	100.0%		1.45	1.20	1.20	-	]
配	分	嘱言	ŧ٠	臨時等	0.0%		0.00	0.00	0.00	-	
( )	( )	合		計	100.0%		1.45	1.20	1.20	0.00	

	叫(テェック)			
評	価 視	点 評価チェックリスト	1次評価	2次評価
		☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性(2~2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	_	
妥	市関与(2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
女				
		□ いずれにも該当しない		_
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>5</b>	5
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	   社会環境変化(1~ 1	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会域境交10(1 1	内容消防法の改正		
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
4.1	* T	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	_	_
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性		成里があがっていない場合	_	
4点	- 成果向上余地(1~ 1	□ 成果向上策あり □ 特になし		
+		□ 比較できる団体がある 団体名:近隣消防機関: □ 比較できる団体はない		
		in a contract of the contract		
۸h	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	, ,	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又皿日只三(▽ 1)	□ 日本 , 適正な負担あり □ 負担なし , 過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )	_ 1	0
<del>'T'</del>		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>-</b> I	U
	T [ ] ( )	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
<i>э</i> ж	コスト削減取組(1~	D		
		·		
平 成	1 5 ~ 1 6 年度	に 蝙蝠		В
			$\mathbf{H}$	
実施	した改善内		В	D
× 118		容   内容   評価	В	Ь
× 118	した改善内	)	В	Ь
5 今往	後の対応(アクション		В	
5 今往	後の対応(アクション		В	
5 今行現在	後の対応(アクション 認識している課:		В	
5 今 行現在 計市民,関	後の対応(アクション 認識している課 根係者		В	
5 今4 現 在 ii 市民, 関 からの	後の対応(アクション 認識している課 関係者市民,関係者の名 意見		В	
5 今 行現在 計市民,関	後の対応(アクション 認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 音目 要望内		В	
5 今4 現 在 ii 市民, 関 からの	後の対応(アクション 認識している課 係者 市民,関係者の名 意見 等 見,要望内		В	
5 今4 現 在 ii 市民, 関 からの	後の対応(アクション 認識している課 原係者 意見 意見 等 意見, 要望内		В	
5 今行現在に関する。 現 在 原 の 要	後の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内科 実施期間		В	
5 今4 現 在 ii 市民, 関 からの	後の対応(アクション 認識している課 原係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内名 実施期間		В	
5 今行 現 在 展ら 要 課題・要	後の対応(アクション 認識している課 間係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内程 実施期間		В	
5 今行現在に関する。 現 在 原 の 要	後の対応(アクション 認識 している課 間係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内程 実施期間		В	
5 今行 現 在 展ら 要 課題・要	後の対応(アクション 認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内犯 実施期即 対応内犯 実施期即 対応内犯		В	
5 今行 現 在 展ら 要 課題・要	後の対応(アクション 認識している課 間係者 意見 意見,要望内 (1) 対応内容 実施期間 対応内容 実施期間 (3)	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避 遡及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   「ないでする。」   「ないできないできないでする。」   「ないできないでする。」   「ないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	В	
5 今行 現 在 展ら 要 課題・要	後の対応(アクション 認識している課 関係者 市民,関係者の名 意見 意見,要望内 (1) 対応内犯 実施期即 対応内犯 実施期即 対応内犯		В	
5 今行 現 市か要 課題・要 。	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避 遡及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   「ないでする。」   「ないできる。」   「ないでする。」   「ないできる。」   「ないでする。」   「ないできる。」 「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」 「	В	
5 今 在 K K K K K K K K K K K K K K K K K K	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避 遡及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   「ないでする。」   「ないできる。」   「ないでする。」   「ないできる。」   「ないでする。」   「ないできる。」 「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」   「ないできる。」 「	В	
5 今 現 市か要 課 へ そ の の 他	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避遡及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	難器具が	
5 今 現 市か要 課 へ そ の の 他	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・遊遊及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	難器具が	
5 今 現 市か要 課 へ そ の の 他	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (維居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避避及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	難器具が	
5 今 現 市か要 課 へ そ の の 他	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   領域居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・遊遊及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   「「「「「「「「」」」」	難器具が	
5 今 現 市か要 課 へ そ の の 他	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (維居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避避及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	難器具が	
5     現 市か要     課 へ     そ改       6     現 市か要     課 へ     そ改       6     要     他()	後の対応(アクション 認識している課 関係者 意見, 関係者の名 意見, 要望内 (1) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯 実施期間 (3) 対応内犯	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ピルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・遊遡及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	難器具が 1次評価 ほ 1次評価 ほききき	
5     現 市か要     課 へ     そ改       6     現 市か要     課 へ     そ改       6     要     他()	後の対応(アクション 認識している課 意見,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内容 実施期間 (3) 対応内容 実施期間 は考えられるのアイデア	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ピルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・遊遊及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	難器具が 1次評価 ほ 1次評価 ほききき	
5     現 市か要     課 へ     そ改       6     現 市か要     課 へ     そ改       6     要     他()	後の対応(アクション 認識している課 意見,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内容 実施期間 (3) 対応内容 実施期間 は考えられるのアイデア	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ピルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・遊遊及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	難器具が出まれている。	
5     現 市か要     課 へ     そ改       6     現 市か要     課 へ     そ改       6     要     他()	後の対応(アクション 認識している課 意見,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内容 実施期間 (3) 対応内容 実施期間 は考えられるのアイデア	清防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   通(雑居ビルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・遊遡及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   日本	単 1次評価 は 1次評価 等 ト	
5     現 市か要     課 へ     そ改       6     現 市か要     課 へ     そ改       6     要     他()	後の対応(アクション 認識している課 意見,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内容 実施期間 (3) 対応内容 実施期間 は考えられるのアイデア	消防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ピルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・遊遊及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)	単 1次評価 は 1次評価 等 ト	
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     1     0     0     0       6     0     0     0     0       7     0     0     0     0       8     0     0     0     0       8     0     0     0     0       9     0     0     0     0       9     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       2     0     0     0     0       3     0     0     0     0       4     0     0     0     0       5     0     0     0     0     0       6     0     0     0     0     0     0       8     0     0     0     0     0	後の対応(アクション 認識している課 意見,関係者の名意見,要望内 (1) 対応内容 実施期間 (3) 対応内容 実施期間 は考えられるのアイデア	清防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ピルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避適及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	単 1次評価 は 1次評価 等 ト	
5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     1     0     0     0       6     0     0     0     0       7     0     0     0     0       8     0     0     0     0       8     0     0     0     0       9     0     0     0     0       9     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       1     0     0     0     0       2     0     0     0     0       3     0     0     0     0       4     0     0     0     0       5     0     0     0     0     0       6     0     0     0     0     0     0       8     0     0     0     0     0	後の対応(アクション 認識 している課 関係者 意見,関係者の名 意見,要望内 (1) 対応内科 実施期間 (3) 対応内科 実施期間 (3) 対応内科 実施期間 である。のアイデア	清防法の改正により,消防用設備の遡及適用がある。   (雑居ピルで3階以上の階に飲食店等があり,階段が1箇所(屋内)の場合は,自動火災報知設備・避適及適用される。平成17年9月30日までに設置する。)   (	単 1次評価 は 1次評価 等 ト	

(一般事業)事業コード1240130 部 長平成15年度事業 名 芦屋危険物安全協会,芦屋市少年消防クラブの育成指導	次 長課 長
4	
1 事業概要(ドゥ)	: 2   1   -
第3次芦屋市 まちづくりの 目標 1 活気あふれる豊かな生活環境づくり 総合計画 中 2 安全と防災の確保 所 管 課	消防本部 予防課
放 音 計   四	
体 系     細	** · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
事 業 期 間協会SSS3~,クラブH3~ 経常臨時 ☑ 経常 □ 臨時 電 話 番 号	
根拠法令・要綱等    実施主体	
実 施 手 法 🖸 直営 🗆 一部委託 🗆 全部委託 🗆 補助金	□ 負担金
委 託 先 □ 外郭団体委託 日本 □ 民間委託 委 託 内 容	
危険物安全協会員は、危険物事業所等の関係者を中心とし、危険物災害の防止を図る。	
事 業 の 概 要 少年消防クラブ員は , 小学生で消火器の取扱いや防火広報などの活動通じて防火意識の	)向上を図る。
开放 B 学人 L P- (( *)   ( ) - ( ) - ( )	
研修見学会や防災訓練に参加する。 事業の現状火災予防週間中に防火の街頭広報をする。	
事	
手段及び実施内容 会員数 芦屋危険物安全協会 : 9 4 会員	
芦屋市少年消防クラブ: 役員15人,クラブ員51人 計66人	
指標名 研修会や訓練・広報・教室等の実施回数	
結果指標 年 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(	(目標) 平成17年度(目標)
(1) 指標値 11回 11回 11回 11回	1 1 回
アウトプット 単位コスト 616,455円 624,456円 460,455円	
指標 名 研修会や訓練・広報・教室等の参加者数	, p
結果指標 年 度 平成 1 3 年度 (実績) 平成 1 4 年度 (実績) 平成 1 5 年度 (実績) 平成 1 6 年度 (	
(2) 指標値 420人 408人 428人 参加者数に 単位コスト 16,146円 16,836円 11,834円	<u> </u>
単位コスト 16,146円   16,836円   11,834円   2 事業成果(アウトカム)	
対しています。 はいまするは、 はいまするは	
事業の目的対象カバー率対象数 (a) 受益数 (b) 比率 (b	÷ a) %
対象・意図	·
意 図 危険物災害の防止及び火災予防についての知識,技能を研究修得させる。	
(対象を主語にして)	
大きな目的地域安全に寄与できるリーダー的な人材を養成する。	
指標名 少年消防クラブ修了者数	
中間成果 考え方・式 一定の知識,技能を修得した。 指 標年 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(	(目標) ▼成17年度(目標)
中間成果 考え方・式 一定の知識,技能を修得した。	
中間成果 考え方·式 一定の知識,技能を修得した。 指 標年 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(	
中間成果 指標 年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(アウトカム 指標 個 13人 11人 10人 修了者数に 指標 名 最終成果 考え方・式	£3
中間成果	£3
中間成果 指標度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(アウトカム 指標値 13人 11人 10人 修了者数に 指標名 最終成果 考え方・式	£3
中間成果	£3
中間成果	£3
中間成果   考え方・式 一定の知識,技能を修得した。   指 標 年 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(アウトカム 指 標 値 13人 11人 10人 修了者数に 指 標 名 最終成果 考え方・式 指 標 年 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度( 方屋市の特色など補足する事項	(目標) 平成17年度(目標)
中間成果	よる (目標) 平成17年度(目標) 57 平成16.4.1 住民基本台帳
中間成果	よる (目標) 平成17年度(目標) 57 平成16.4.1 住民基本台帳
中間成果 指標 年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度( 指標値 13人 11人 10人 修了者数に 指標 名 最終成果 指標 値 13人 11人 10人 修了者数に 指標 値 13人 11人 10人 修了者数に 指標 値 13人 11人 10人 修了者数に 指標 名	よる (目標) 平成17年度(目標) 57 平成16.4.1 住民基本台帳
アウトカム       中間成果 指標 信	よる (目標) 平成17年度(目標) 57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算)
アウトカム       中間成果	よる (目標) 平成17年度(目標)  57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算)
中間成果	よる (目標) 平成17年度(目標) 57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算)
アウトカム       中間成果 指標 度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(実績) 指標 名         指標	よる (目標) 平成17年度(目標)  57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算)
中間成果 考え方・式 一定の知識,技能を修得した。 指標 値 13人 11人 10人 修了者数に 指標 値 13人 11人 10人 修了者数に 指標 色 表え方・式 標	よる (目標) 平成17年度(目標)  57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算)
アウトカム       中間成果 考え方・式 一定の知識,技能を修得した。         指標 年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(実績) 指標 値 13人 11人 10人 修了者数に指標 名 最終成果 考え方・式 指標 年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(指標値) 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	よる (目標) 平成17年度(目標)  57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算) 67 67
アウトカム       中間成果 指標年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度( 指標値 13人 11人 10人 87者数に 指標 個 13人 11人 10人 87者数に 指標 名 最終成果 指標値 13人 11人 10人 87者数に 指標値 13人 11人 10人 87者数に 指標値 13人 11人 10人 87者数に 指標値 97成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度( 指標値 97成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度( 第1 標値 99.2% 6,671 6,809 5,037 事業費 0.8% 110 60 39 (千円) 減価償却費 0.0% 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	よる (目標) 平成17年度(目標)  57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算)
中間成果 考え方・式 一定の知識,技能を修得した。 指標 年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度( 指標 値 13人 11人 10人 修了者数に 指標 名 最終成果 考え方・式 指標 年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(	よる (目標) 平成17年度(目標)  57 平成16.4.1 住民基本台帳 (予算) 67 67

評		マ(ホイェックリフト	1 \/n ≐\\/ /#	~~~ ☆ 1 / 本
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		「次評1曲	2次評価
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	,	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		☑ いずれにも該当しない		
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>∃</b> 4	0
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握		U
.141	1320- 7(2 1)			
性				
8点	社会環境変化(1~1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
		内容 危険物安全協会を防火協会とし、対象を拡大する。		
	優先性,緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
**	世界の立体(S )	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		2
効	成果の実績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
性		成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
4只				
		☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣消防機関 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
効	- may((, ,)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
		高い、または低い場合の理由		
	<b>亚兰≯4日/0</b>	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(0~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)		4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>⊣</b> 0	-1
		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)			
1.1		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取組(1~1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	,	→ 内容 当務員で対応		
π <del>ι:</del>	1 「 1 ( 左 庄 1-		.   _	_
宇施	15~16年度にした改善内容	改善  改善  総合   内容	∃ B	D
× ""			•	
5 今往	後の対応(アクション)			
		危険物の貯蔵施設等が減少し,危険物安全協会会員数も減少している。(油から電気・ガスへ変換)		
現在意	認識している課題			
市民歴	関係者 市民,関係者の名称	<u>+</u>		
からの				
13. 5 0)	高い日 中氏・氏に日の日代			
	意見意見,要望内容			
要望	意見意見,要望內容			
要望	意見意見,要望内容	3		
要望	意見 意見,要望内容	·		
要望	意見意見,要望內容	·		
要望課題・要	意見 等 意見,要望内容 対応内容 実施期限	平成   年  月		
	意見 意見,要望內容 対応内容 実施期限	平成   年  月		
	意見	平成   年  月		
課題·要	意見 等 意見,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	平成   年  月		
課題·要	意見 等 意見,要望內容 対応內容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成     年     月       平成     年     月		
課題·要	意見 等 意見,要望內容 対応內容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成     年     月       平成     年     月		
課題·要	意見 等 意見,要望內容 対応內容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月		
課題・要へのう	意見	平成     年     月       平成     年     月		
課題·要 へ の ゔ そ の 他	意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月		
課題·要 へ の ゔ そ の 他	意見	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月		
課題·要 へ の ゔ そ の 他	意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月	性 1次評価	2次評価
課題·要 へ の ゔ そ の 他	意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       危険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。		2次評価
課題·要 へ の ゔ そ の 他	意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成     年     月       平成     年     月       平成     年     月       危険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。     今後の方向拡大・充	実	2次評価
課題·要 へ の ゔ そ の 他	意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         危険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。       今後の方向         拡大・充       育成については自主防災の観点からも必要であり,現状を維持します。       現状維	実 持	2次評価
課題・要へのう	意見 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 の オ え ら れ る の ア イ デ ア	平成       年       月         平成       年       月         市産険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。       今後の方向         「有成については自主防災の観点からも必要であり」現状を維持します。       拡大・充現状維力法改	実 持 善	2次評価
課題・要へのう	意見 意見,要望内容 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限	平成       年       月         平成       年       月         危険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。       今後の方向         育成については自主防災の観点からも必要であり,現状を維持します。       拡大・充現 状維方 法 改民 間委託	持善等	2次評価
課題・要へのう	意見 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 の オ え ら れ る の ア イ デ ア	平成       年       月         平成       年       月         危険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。       今後の方向         育成については自主防災の観点からも必要であり,現状を維持します。       拡大・充現状維方法改民間委託縮	実 持 善 等 小	2次評価
課題・要へのう	意見 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 の オ え ら れ る の ア イ デ ア	平成     年     月       平成     年     月       危険物安全協会を防火安全協会とし、対象を広げる。     今後の方向       育成については自主防災の観点からも必要であり、現状を維持します。     拡大・充現状維方法改民間委託縮       経期設	実 持 善 等 小 定	2次評価
課題・要へのう	意見 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 の オ え ら れ る の ア イ デ ア	平成       年       月         平成       年       月         危険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。       今後の方向         育成については自主防災の観点からも必要であり,現状を維持します。       拡大・充現状維方法改民間委託縮	実 持 善 等 小 定	2次評価
課題・要う での での での での でん 本 の でん は 1	意見 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 フィデア マーフィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー	平成       年       月         平成       年       月         危険物安全協会を防火安全協会とし,対象を広げる。       今後の方向         育成については自主防災の観点からも必要であり,現状を維持します。       拡大・充現状維 方法改民間委託縮 統合/終期設廃止/休	実 持 善 等 小 定	2次評価
課題・要う での での での での でん 本 の でん は 1	意見 (1) 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 フィデア マーフィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー	平成     年     月       平成     年     月       危険物安全協会を防火安全協会とし、対象を広げる。     今後の方向       育成については自主防災の観点からも必要であり、現状を維持します。     拡大・充現状維方法改民間委託縮       経期設	実 持 善 等 小 定	2次評価

(一般事	<b>事業</b> )	事業	コ	<b>–</b> F	1220	200						部	Ð	次	長	課	長
平成15	年度	事	業	名	防火	対象物,消防用設備	帯の検査										
1 == 3	<del>!</del> ### 3	田(じょ	١														
1 事				<u> </u>	il a	活気あふれる豊か	かみば理論づ	Z 11						消防署・	<b>宣汇</b> 公里	<b></b>	
第3从F 総合		<b>エ</b> り ノ		の日標		安全と防災の確保		\' '				所 🏗	<b>善</b> 謂	/月四省 ·	同供刀名	<b>≦</b>	
総 ロ i			中小			防災生活圏の整備						66 管 锂	巨氏名	<b>基 樋口文夫</b>	- ・ 亚 野 湯	<b>E</b> —	
体	必系		細			例及工石圏の歪桶	九 <del>人</del>							小渕順治			
事	業		······ 期		昭和	23年~		経常臨時	<b>夕</b> 紹	常 🗆	臨時			号 0797-38·		内線	4141
根拠		令 '				之 5 平 法 ,消防法施行令 ,;	当防法施行担目			:rb 🗀	四加中立			市	2030	PUNK	4141
実	施		<u>美</u>		√   ✓		□ 一部委託			部委託					負担金		
委	,,,,	託					名称			. LIP & FID		委託委			×1-11		
						対象物の用途,規		方用設備及	び消火	活動用放					か検査を	きする	
事	業	の	概	. 要													
					防火	対象物の完成検査を	を実施する		(平成 1	5 年度	完成検	查数	46対	象物実施)	)		
事	業	の	現	1 状	消防	用設備等の設置に何	半う検査を実施	でする	(平成 1	5 年度	検査回	数	72件	)			
	目的詞	実現のた	めの	)													
	手段及	なび実施	内容														
			指			対象物の使用開始											
		結果指				13年度(実績)			平成 1	5 年度	(実績)	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(1)	指	信標 値	i	7 1件	5 0 f	<del>*</del>		46件	=						
アウト				位コスト		978,986	1,460,	840	,	1,682,7	40						
指	標		_		_	用設備の検査											
		結果指				13年度(実績)	平成14年度		平成 1		(実績)	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		(2)		標値		7 9 件	7 8 f			7 2 件							
2 == 3	₩ <del>- +</del>	# / <del>7</del> 4		位コスト		879,849	936,4	36		1,075,0	84						
2 事	<b>美</b> 別え	長( グリ	<i>/ ۲ /</i> .	JA)	ı												
		対		象	防火	対象物の関係者・柞	<b></b> 霍原者										
事業の	日的	计会	<del>†</del> 1	l" — 弦	रोत ≸	東数 (a)	4 6人	受 益 数	7 (h)		4 6 人	H	玄 (h	÷ a) %		100%	, n
対象・		X) 3K	// /			. /			, ,				•	·			-
Y3 3/		意		叉	消防	法令に適合した建物	物となる。(消	火器 , 屋	为消火格	設備,	スプリン	クラー語	设備 , 自	動火災報	印設備 ,	避難器具	具等の消
			主語	ー 雪にして)	防用	設備が適正に設置る	され、止吊に低	使用できる	状態と	なる。)							
		(		,													
大	ਣੇ	な	目	的	地域	安全体制の整備											
			指	福 名	消防	用設備等是正数											
		中間成果	果考	え方・式	是正	件数											
		指	標年	度	平成	13年度(実績)			平成 1		(実績)	平成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
アウト	カム			標 値	1	7 9 件	7 8 f	<del>*</del>		7 2 件	=						
指	標					発生件数											
						の安全が確保される								. = .= .	I — » .		
		指	標年		1	13年度(実績)			平成 1		(実績)	半成 1	6年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			指	付標 値		2 4 件	3 5 f	<del>*</del>		2 2 件	=						
	O #+ 6	z 4× 19 ++	·	+ 7 = 13													
芦屋市	の特目	らなど 相	) 正 9	りる事項	!												
2 事 3	<b>坐弗</b> .	:千番5番	<u> </u>	( <b>77</b> L	\				1 ###	り(円)	1 000	住民1人	K11 ( III )	004	₩ ct 16 /	1.1 住民	まま は まま は まる は に に に に に に に に に に に に に に に に に に
3 事	<u>未貝'</u> 業			<u>(コスト</u> 構成%		13年度(決算)	亚成 1 / 任度	: (			(決算)			(予算)	十八人10.2	F. 1 1± EC2	がロチを
<del></del>	未		費	100.0%		69,508	十八八十十月	73,042	十八八	3 牛皮	77,406	十八人	0 十皮	()'异丿			
	事		費	100.07		00,000		70,042			77,400						
内 訳	_	門経	_											_	-		
(千円)														_			
( 1 13 /	合		H	100.0%		69,508		73,042			77,406			0			
	国		果			•		•			•						
財 源	市		等														
(千円)			他														
,		段 財 🤅	源	100.0%		69,508		73,042			77,406			0			
活 動	職		員	100.0%		8.45		8.65			8.40			-			
	嘱託	·臨時	等											-			
(人)	合	1	H	100.0%	5	8.45		8.65			8.40			0.00	1		

評	<u>叫(テェック)</u> 価 褐	見点	評価チェックリスト	1 1/2	* 証価	2次評価
н			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		.п⊤ιщ	2次計画
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	·	,	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	1	6	6
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	└─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把			
性			□ 数字で把握している □ 未把握			
8点	社会環境変	(比(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	要		
		, ,	内容			
	優先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ 字標係からば思ざまがっているよう		1	3
.b.4-			□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない □ 実績値から成果があがっていると言えない □ 実績値から成果があがっているい場合	<b>υ</b> 1	•	
性 4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな	N		
7/11			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない	.0		
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又血甘克正	(0 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能	)	0	0
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			U
	手段(1~ 3	3)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	る 		
		,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取	7組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない 			
平成	1 5 ~ 1 6	年度に	改善 課題	総合	3	В
美 肔	した改	善 内 谷	内容	評価		
5 今往	<b>多の対応(ア</b>	クション)				
			消防法令に基づいた的確な指導を行い,火災等による被害の軽減を図る			
現在意	認識してし	1る 課 題				
\		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	原名 市民,関					
からの 要 望		要望内容				
要望	守					
	(1)	対応内容				
	(1)	実施期限	平成年			
課題·要	望等					
	(2)	対応内容				
へのす	対 応	実施期限	平成年月			
		対応内容				
	(3)					
		実施期限	平成 年 月			
7 0 11	. +	,				
	1 考えられる の ア イ デ ア					
以 普 (	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		今後の方	向性 1次	* 証価	2次証価
		1	消防法令に基づいた的確な指導を行う 拡 大・・ 発		.п⊤ιщ	2次計画
			現状維			
			方法改			
平成1	7~19年度	の方向性	民間委員	託 等		
			縮	小		
			統合/終期			
			廃止 / 6	木 止		
2 14 4-	. <i> </i>	- 4 5				
2 次計	平価 委 員 会	コメント				
			_			

(一般	事業)	事業	<b>¬</b>	ド 1220	)210			部長次	長課長
平成1	5 年度	車	業	名防火	対象物,危険物施	設等の立入検査			
1 /2%	3 1 JZ	<del>-</del>	*	1777	וטומו איוטר ו מואפנא				
		要(ドゥ)			T				
			くりの目	標 1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり		 →所 管 課 消防署・	高浜分署
総合			中	2	安全と防災の確保			—	
政策			小	2	防災生活圏の整備	· 充実		所管課長氏名樋口文夫	
体	系		細			1	I = =	記入者氏名小渕順治	
事	業				123年~		図 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-38	-2098 内線 4144
						,消防法施行規則,芦屋市		実施主体市	- I - A
実	施			法 🗵		一部委託			負担金
委		託			外郭団体委託	名称		間委託 委 託 内 容	
=	गर	•	+0.7				,消防法令違反の是正を		
事	業	の	概	安心的	物他設の関係者に	りし,厄陕初の貯風・月	以扱寺に関して火災予防	i上の見地から規制を行う	
				고까	誤と署予防担当で	细数上 計画 支安			
事	業	Ø	現				⇒↓短が統領等)につ	いては重点的に立入検査を	- <b>中</b> 統
<del></del>		ま現のたる				•		切けては単点的に立入検査を物棟数 1984棟 立入検査	
		を成めた。 なび実施に					ミル(H15年度 - 例入対象 ミ施(H15年度 - 危険物施		
	丁杉又人	x U'天心	114	1319	ころいにし しょうしん	,た知いに北八侠且でき	マルビ(1110十反 121)で付加	30.200 以外国 以外に	1%A 941T)
			指 煙	名 立 λ	 検査の実施棟数				
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(1)	指標		219棟	3 4 4 棟	3 4 2 棟	200棟	200棟
アウト	プット	( ' )	単位コス	_	17,389円	212,332円	197,094円	2 0 0 1/10	2 0 0 pk
指	標				改善計画書の指示	· ·	, , , , , ,		
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		(2)	指標	_	6件	1件	8 5 件	, , ,	, , ,
		, ,			,584,667円	73,042,000円	793,012円		
2 事	業成	果(アウ	トカム)				4		•
		対		全 (社)	√計争㎞ / 1	4 棟)及び危険物施設。	( Ε Ͻ t/α≐Λ \		
		נא		3K 1911 X	(大) ( 1 , 9 6	4 株)及び危険物施設	(33/地段)		
			b バ ー	率 対	象数 (a) 2	, 0 3 7 受 益 数	牧 (b) 3 4 2	比率 (b ÷ a) %	16.79%
対象	意 図			防火	対象物(各除物施制	今ないの違反事項が早で	Fさわることに上げ 消	防用設備等(消火器 , 屋内)	消水栓設備 フプロンク
		意			·設備,自動火災報	知設備,避難器具等)の	維持管理や避難経路等(	障害物の撤去等)が良好と	なる。
		(対象を	主語にして	)					
	<b>±</b>	+>	_	5/5 (7 <del>/-</del> /L	, し地様の字合が図	こわ、小巛にトフか字も	が起ばされて		
大	2	な	目	אלמווגי	、土地域の女主が凶	られ,火災による被害だ	い軽減される。		
			+6 +m		改善計画書の指示	/H 米h			
		<b>市胆</b> 式 E	担 信 信 考え方・			十叔			
				_	:	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
アウト	. + /.	JH 12		直	5件	1件	38件	十八八十八八十八八十八八十八八十八八十八八十八八十八八十八八十八八十八八十八八	十八八十尺(百小八
指	カム標		_			' 11	3 011		<u>l</u>
711	ាភ	最終成里			:光エロ奴 :発生件数の軽減				
					13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		) H	指標		2 4件	3 5 件	2 2件		1770 1 1 12 (11111)
			311 131	-					
芦屋市	の特色	色など補	足する事	項					
3 事	業費	活動配	分(コス	<b>h</b> )			1世帯当り(円) 1,740	住民1人当り(円) 752	平成16.4.1 住民基本台帳
事	業	ţ	構成%	平瓦	113年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人	件	100.	0%	69,508	73,042	67,406	-	
	事	業	ŧ						
		8 門 経 費						-	
(千円	) 減 個	首償却費						-	
	合	ħ		)%	69,508	73,042	67,406	0	
	国	· 県							
	京市	債 等							_
(千円		の ft							
		设财源	_		69,508	73,042			1
	脚職	<u> </u>		0%	8.45	8.65	8.40	-	-
		・臨時等						-	4
(人	) 合	Ħ	† 100.	)%	8.45	8.65	8.40	0.00	1

	<u>叫(ノエフノ)</u>					
評	価 裶	点	評価チェックリスト	17	欠評価	2次評価
			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	١		
	目的妥当性	(2 ~ 2)	┃ ☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	.1	6	6
_	市民ニーズ(	2 - 1)			U	U
	11 HZ(	2~ 1)		l l		
性			□ 数字で把握している □ 未把握			
8点	社会環境変	(V(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	要		
	社云塚児女	10(1 - 1)	内容を全度の高い防火対象物			
	優先性,緊急	<u></u> 急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い			
有		•				
H	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
効	成果の実績の	(2 ~ 1)	│ ☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		3	3
~//	が入り入順	(2 1)	┃ ▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える     □ 実績値から成果があがっていると言えな	١ ا ا	J	5
性			成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな	λl.		
7			' '	***		
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	+ M = X ( )	• ,	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
			□ 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 対元とれるもとはない □ 対元とれるよう による □ 対元とれるよう □ 対元とれ	)	_	_
率				)	0	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			
	手段(1~ 3	1)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	る		
	J-4X(1 C	''	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点			□ コフト当時頃の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
о <i>т</i>	コスト削減取	【組(1~ 1)	→ 内容			
			→ NA :			
平成	15~16	年度に	改善改善	総合	_	П
実施	15~16 した改	善内容	課題 内容	評価	В	В
5 今征	後の対応(ア	クション)				
現在	認識してし	いる 課 題				
-76 III I	140 O C V	. 6 11/1 123				
+0 8		にせのなり				
巾氏, 溪	原名 市民,関	係者の名称				
からの	意見意見,	亜 胡 贞 宓				
要望	等常元,	女 主 ri 廿				
	(1)	対応内容				
	(1)	実施期限	双式			
Am ===		夫他期限	平成 年 月			
課題·要		対応内容				
	(2)	7.370.131				
へのき	対 応	実施期限	平成年月			
	(3)	対応内容				
	(3)					
		実施期限	平成			
その他	1考えられる	•				
改善(	のアイデア	'				
			今後の方	向性 1%	欠評価	2次評価
			災害弱者の利用及び居住している対象物については重点的に立入検査を実施 拡 大・・		1	
			一般対象物については,定期的に立入検査を実施現、状態			
			危険物施設については,定期的に立入検査を実施 方法 改			
平成 1	7~19年度	の方向性	民間委	託 等		<u></u>
			縮	小		
			統合/終期	設定		
			廃止//			
				KIN III		
2 14 1-						
2次割	平価 委 員 会	コメント				

										<del>-</del>						
(一般	事業	)	事 業	コード	1220	220					部	-	長次	長	課	長
平成1	5 午 6	+ 3	<b>i</b> :	業名	防火	管理者の選解任及で	<b>、</b>									
T 13% 1	J + 1.	又 =	<del>!</del> :	<del>*</del> "		自注目の医解止及	プロ号									
			を(ドゥ)										•		<u>-</u>	•
第3次	芦屋市	市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づ	くり			所	管	消防署			
総 合	計词	画	ı	中	2	安全と防災の確保					PIT		沫			
政 策	施負	策	-	小	2	防災生活圏の整備	充実				所管	課長氏:	名 樋口 文	夫		
体	3	系	1	細							記	入者 氏:	名松代 洋	史		
事	美		期	間	昭和	23年7月~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電	話番	号 0797-38	-2098	内線	4141
根拠	l 法		令 ' 星			法,消防法施行令						施主				
実	<u></u> 方		<u> </u>	· 法	<b>V</b>	直営 ・		:	□ 全部委託	f.		補助金		負担金		
委			<del></del>			<u> </u>	名称	<u> </u>				委託内容		747=34		
						管理者を必要とする		)権原者に	対し,防火管					5/C		
事	業		Ø			された防火管理者に			,							
3	<i>&gt;</i> K		••	170 🔍	~:-	C 10/C /3/\Line										
					ψλ	検査時等において	未選任対象数	カナ 女 1 ,選								
事	業		Ø	現 状		された防火管理者に			江油台							
<del></del>		5=	り 現のため		医江	C10亿的人自建省1		で大ル								
			び実施内													
	<del>J-</del> F:	メバス	い夫他内	台												
				北	188 AT	<b>化尼山米</b>										
				指標名			亚产 4 4 左京	/ <del></del>	TH 1 5 F F	: / 中/= >		+ 1 c /	· / 🗆 🗯 🔻 🗎	₩#.	フケー・	□ ## \
		1	結果指標			13年度(実績)		•	平成15年度	• •	半片	成16年度		+	7年度(	
	•		` '	指標値		117件	111		1 3 9			1 3 0	件		130件	
アウト	・ブッ	1		単位コスト		73,649円	79,83	3 7 円	36,6	5 4 円						
指	1	標		指標 名												
		1	結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成15年度	(実績)	平月	成16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
			(2)	指標値			2 回		2 回			2 🗖			2 回	
				単位コスト			443,1	0 0円	2,547,	500円						
2 事	業成	ţ,Ţ	₹(アウト	カム)							1			1		· ·
_						4+17-012-1-1-1-2-1										
		3	讨	家	市民	,特定の防火対象物	<b>勿関係者</b>									
事業の	の目的	的	対象カ	バー率	対象	き数 (a) 7	85人	受 益 数	( (b)	5 7 4 人		比 率 (b	· ÷ a) %	7	73.19	%
対 象	・意[	巡				, , , ,								1		
			意	図	市民	,特定の防火対象∜ の軽減を図る。	勿関係者に対し	,,多数の	者が出入りし	,勤務し	,居住	Èする特定	の防火対象	物におり	tる火災 <sup>-</sup>	予防,
			- (対象を主	上語にして)	(放告)	<b>刀蛭</b> 減を凶る。										
			(	,												
大	き		な	目 的	防火	管理者の指定に伴 <sup>。</sup> 予防と火災損害の	う,防火上必要	な事項を	指導する。							
					火災	予防と火災損害の	<sup>怪</sup> 減を図るため	)必要な事	<b>リストリー はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた</b>	0						
		T		指 煙 名	指道:	講習受講者数										
		١,		考え方・式												
						13年度(実績)	平成14年度	( 実績 )	平成15年度	(実績)	平	成16年度	(日標)	平成 1	7年度(	日標)
アウ	<b>Ь</b> カ	- 1-		指標値	1 7-20	·······································	5 1	•	5 7			× · · · / ×	(	1 7-20 1	. 12	H 13.7
指		ム 標		指標名	選仁:	玄 ( % )	3 17		3 , ,		1			Į		
10	1					デ(%) 対象物数÷要選任范	付象物数 ↓ 1 ∩	0	全国値73.	3 %						
						13年度(実績)			平成15年度		<u> </u>	成16年度	(日煙)	平成 1	7年度(	日煙)
		1			T11X	75.5%	72.		73.		一丁/.	及 I O 干皮	2 (口1示)	T132 1	7 午及(	ᄓᆥ
				指標値		7 3 . 3 %	12.	1 %0	73.	1 70						
# <b>=</b> +	= 10 Hd	E 42	ナ> ビ ナギ ロ	コナッ声で												
尸座巾	3 UJ }7	<del>,</del> E	はて相互	足する事項												
2 ===	· 사	ė :	ンチャギコ	/\	\				4 111 ## 3/4/2 4 ## 3	101	40	4 L N/42 / FE		TT = # 4.0		ナナハギ
				<u>分(コスト</u>	)   <del></del>			( ) L ## \	1世帯当り(円)			1人当り(円	_	平成16.4	4.1 住民基	<b>基本台帳</b>
事	- 第		費		半成	13年度(決算)	平成14年度		平成15年度		平月	成16年度	(予算)			
	人		件 費	100.0%		8,617		8,862		5,095			-			
	事		業費											1		
		_	門経費										-			
(千円	) 減	価	償却費										-			
	合		計	100.0%		8,617		8,862		5,095			0			
	国		· 県													
財	原市		債 等											1		
(千円			の他											1		
			財源			8,617		8,862		5,095			0	1		
活	動職		員	100.0%		1.10		0.95		0.65				1		
		託	·臨時等			•							-	1		
	合	5	計			1.10		0.95		0.65			0.00	1		

	(アエック) 	☆ (悪イーックリフト		4 \/a ±0 /≖	子が出
評				1 次評価	2次評価
	目的妥当性(2~2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができな	:61		
	,	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高〈ない			
		□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能であ	る		
妥	市関与(2~2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
		□ いずれにも該当しない		_	_
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	211	5	4
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未打	把握		-
性		□ 数字で把握している □ 未把	握		
8点		☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが過	<b>必要</b>		
-7	社会環境変化(1~1)	内容			
		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体よりカバー率が低い	١		
有	受益者(1~ 1)	□ 対象が、 中は同い □ 同日体に同主度 □ 同日体のが、 中がにいる □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限			
	文皿日(1 1)	□ 事業总因と支血目は至日のでいる □ 事業总因と支血目が不至日、または支血が一部に限めて 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入	Æ	_	_
効	成果の実績(2~ 1)		4513	4	3
1.1		└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言える	はい	-	•
性	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	,	□ 成果向上策あり □ 特に	こなし		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 他市町村 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	+ M = X ( ( )	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
		高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
40	文金有貝担(0~ 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能	能 )	4	4
率		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	·	- 1	- 1
		☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	ある		
	手段(1~ 3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	´		
3点		□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
る無	コスト削減取組(1~ 1)	□ コスト的版の取り組みを11 J C いる □ 村に11 J C いない			
		▼ N合 :			
平 成	1 5 ~ 1 6 年 度 に した改善内容	· <sub>细 晒</sub>	総合	В	В
実 施	した改善内容	内容	評価	D	D
- A	<b>多の対応 (フカン・- ) ハ</b>				
5 71	後の対応(アクション)	十階/エナーを動き、のは ルグロサン照/エの (東北ア・北洋			
	+77 +4h     \ +12	未選任対象物への防火管理者選任の積極指導			
現 仕 i	認識している課題				
<del></del>					
	関係者 市民,関係者の名称				
からの	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一				
要望	. 等				
	対応内突				
	(1) 対応内容	選任指導は,毎年実施している			
	(1) 対応内容 実施期限	選任指導は,毎年実施している			
課題·要	実施期限	選任指導は,毎年実施している 平成 年 月			
課題·要	実施期限	選任指導は,毎年実施している 平成 年 月			
課題・要	度望等 (2) 対応内容	選任指導は,毎年実施している 平成 年 月			
	度望等 (2) 対応内容 対応 実施期限	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月			
	度望等 (2) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月			
	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3)	選任指導は,毎年実施している           平成         年         月           平成         年         月			
	度望等 (2) 対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	選任指導は,毎年実施している           平成         年         月           平成         年         月			
へ の i	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 実施期限	選任指導は,毎年実施している           平成         年         月           平成         年         月			
へ の 5 そ の 他	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 が応内容 実施期限 は考えられる	選任指導は,毎年実施している           平成         年         月           平成         年         月			
へ の 5 そ の 他	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 実施期限	選任指導は,毎年実施している 平成 年 月 平成 年 月 平成 年 月			
へ の 5 そ の 他	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 が応内容 実施期限 は考えられる	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月		1次評価	2次評価
へ の 5 そ の 他	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 が応内容 実施期限 は考えられる	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本	充 実	1次評価	2次評価
へ の 5 そ の 他	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 が応内容 実施期限 は考えられる	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下が、 年 月  下が、管理者資格取得者数の増加と選任率の向上  平成 カース カース カース カース カース カース カース カース カース カース	充 実 維 持	1次評価	2次評価
その他改善(	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる のアイデア	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下が、 年 月  下が、 日	充実維持改善	1次評価	2次評価
その他改善(	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 が応内容 実施期限 は考えられる	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下が 年 月  下が 年 月  下が 年 月  下が 日 月  下が 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	充実維持改善	1次評価	2次評価
その他改善(	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる のアイデア	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下が、 年 月  下が、 日	充実維持改善	1次評価	2次評価
その他改善(	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる のアイデア	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下が、 年 月  下が、 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	充実維持改善託小	1次評価	2次評価
その他改善(	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる のアイデア	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下が、管理者資格取得者数の増加と選任率の向上  「防火管理者資格取得者数の増加と選任率の向上  「関 状方法 民間 委縮	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価
その他改善(	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 (3) 対応内容 実施期限 む考えられる のアイデア	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下防火管理者資格取得者数の増加と選任率の向上  「防火管理者資格取得者数の増加と選任率の向上  「関 状方法 民間 委縮 統合/終:	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価
への 3 その 他改善 (	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	選任指導は,毎年実施している 平成 年 月 平成 年 月  平成 年 月  下放 年 月  下放 年 月  下次 1 年 月  下次 1 年 月  下次 2 日	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価
への 3 その 他改善 (	(1) 実施期限 対応内容 実施期限 対応内容 実施期限 は考えられる のアイデア	選任指導は,毎年実施している  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  下防火管理者資格取得者数の増加と選任率の向上  「防火管理者資格取得者数の増加と選任率の向上  「関 状方法 民間 委縮 統合/終:	充 実       維 持       改 善       託 等       小       期設定	1次評価	2次評価

(一般	事業	事業	J - 1	1220230			部 長	次	長	課長
平成1	5 年度	事	業名	と その他の災害警防ぎょ	及び各種調査					
		]								
1 車:	茶椒	要(ドゥ)							ļ	
			(りの目標	1 活気あふれる豊か	かな生活環境づく!)			消防署・	高浜分署	
総合			<u>中</u>	2 安全と防災の確保			所 管 課	713173 🗀	1-37773	•
政策		ī	<u>/</u> \	2 防災生活圏の整体			所管課長氏名	樋口 文	夫・平野	予 憲一
体	系		細				記入者氏名	長縄	夫・長谷	训 準一
事	業	Į	明 間		経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号	0797-32-	-2345	内線 4121
	法	令 ·		消防法及び関係法規全			実 施 主 体			
実	施			☑ 直営	一一部委託	全部委託	補助金		負担金	
委		託	先	□ 外郭団体委託	名称		事務 <b>多</b> 託 内 容			
事	業	Ø	概 要	•	J水圧調査 , 実態調査 , 消	1的用设备调宜,追路调	直寺の合種調宜業	<b>7</b> 分		
<del></del>	未	U)	1000 女							
				   消火栓・貯水槽等σ	)地水利調査・・消防水利	1(公設消火栓816箇所	公設貯水槽80箇月	近、そのf	tb213簡頁	f ) 119回宴施
事	業	Ø	現 状	l	状況・街区・空家・駐車	•				-
-	目的	実現のため	かの	屋内消火栓・防火水	《槽等の消防用設備に係る	調査・・・・・・・・				・ 92回実施
	手段	及び実施内	内容	上記外の,苦情相談	(等処理・防災パトロール	·等の調査・・・・・・				・ 64回実施
				地水利調査回数						
		結果指標	·	, , ,	平成14年度(実績)	, ,				7年度(目標)
	<u> </u>	(1)	指標値		110回	119回	1 3 0 🗈	]		1 3 0 回
アウト		_	単位コスト	697,127円 警防対策のための実態	652,418円	611,050円				
指	梧	· 結果指標				平成15年度(実績)	平成16年度(	日煙)	亚成 1	7年度(目標)
			指標値	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	93回	86回	十八八 1 0 千尺(	口作。	T11X 1	/ 牛皮(口标)
		(2)	単位コスト	_	771,677円	845,523円				
2 事	業成	<u>_</u> 果(アウ			,	,			l	
			,	主力の選及を利(選月						
		対	<b>新</b>	市内の消防水利(消火	(柱,灯水惜寺)					
			」バー率	対象数(a) 1,	109箇所 受益数	t (b) 1,109箇	所 比 率 (b	÷ a) %		100%
対象·	意 図	1								
		总		良好な機能を維持する	00					
		(対象を)	主語にして)							
大	き	な	目 的	  消防戦術の向   消火	(栓 , 貯水槽等の維持管理	!に努め 市民の生命・	身体及び財産を火	災等から	守る	
^	_		н	//3/// TOP   1/3/		10000 / 10000 <u>— 10</u>	3 FX O ME CX	X.373	., &,	
			指標 名	地水利の不良箇所数 (	是正数)					
		中間成果	考え方・式	地水利調査で判明した	地水利の不良数					
		指 標	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(	目標)	平成 1	7年度(目標)
アウト	カム	<b>\</b>	指標 値		3 箇所	1 4 箇所	0 箇所			0 箇所
指	梧	17		水利有効機能率(代替		:+	TD <del>/ </del> #L			
				<del></del>	と箇所は,是正処置済みで 「巫は1.4年度(宝績)		,	口描入	₩ r# 4	7年度/口+=、
		指標	<u> </u>	` ` `	平成14年度(実績) 99.73%	平成 1 5 年度 ( 美額 )       98.74%	平成16年度(			7年度(目標)
			指標値	TO 0 %   芦屋市の消防水利(平		96.74%	100%	)		1 0 0 %
芦屋市	の特	色など補	足する事項		f,公設防火水槽 80箇所	. 私設消防水利 151箇戶	斤,自然水利等 62	簡所	計 1109	簡所
, <u>12</u> 11	-> 10	im .	,_ , U + /			, .asx(13)/3-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	,		a,	
3 事	業費	·活動配	分(コスト	)		1世帯当り(円) 1,877	住民1人当り(円)	811	平成16.4	.1 住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(	予算)		
	人	件 費	100.0%	71,107	71,766	72,715		-		
	事	業費		C	0	0		0		
	_	部門経費	+					-		
(千円		西償却費	- 1	74.407	74 700	70.745		-		
	合田田		_	71,107	71,766	72,715		0		
財源	国市	債等								
的 版 (千円		の他								
(     ]		般財湯		71,107	71,766	72,715		0		
活 重	力職	<u>,</u>		·	·	8.85		-		
	属言	氏・臨 時等	<del>-</del>					-		
/ 1	. 4	*	100.0%	8.30	8 35	8.85		0.00	Ī	

評	価	視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
		44 TO 11 ML /	0 0)	☑ 事業の主目的は明確である ☑ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		的妥当性(	2~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市	関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
		,	,	□ いずれにも該当しない		
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<b>∃</b> 4	4
_	市	民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		_
性			,	□ 数字で把握している □ 未把握		
8点				□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	┪	
O/M	社:	会環境変化	<b>化(1~ 1)</b>	内容		
	- 優	先性,緊急	钟(1)	□	┪	
			区(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	-	
有		<del>益者</del> (1~		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
		·		☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	٦ ٫	4
効	成:	果の実績(	2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	4
性				成果があがっていない場合	7	
4点	- 成:	果向上余均	也(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
- 7,111				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない	+	
				□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	単	位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
				高いまたは低い場合の理由		
				□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
	受:	益者負担(	0 ~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>⊣</b> 0	0
				□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手	段(1~ 3	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 「		
3点				□ コスト尚は成の取り組みを行っている □ 特に行っていない	┪	
O/M	7.	スト削減取	組(1~ 1)	→ 内容		
	<u> </u>			慣例的な検査の内容を改める。 検査のための検査を改め、実務重視の検査を		
平成	1 5	~ 1 6	年 度 に 善 内 容	課題 というないない という という という という という という という という という とい	В	В
夫 肔	U	IC FX 1	普內谷	内容を表施する。		
5 今後	きの?	付応(アク	クション)			
		•		・実際の災害現場で役立ち、被害軽減につながる調査を実施する。		
現在記	認識	してい	る課題	・平成15年度は , 地水利の不良箇所が14件あった。		
			係者の名称			
からの	意 見	辛日 i	要望内容	   to   .		
要望	等	忘无,	女主门台	74.0		
			対応内容			
		(1)	ברייוונג			
			実施期限	平成年月		
課題·要	望等		対応内容			
		(2)	といういとと			
へのす	対応		実施期限	平成 年 月		
			対応内容			
		(3)				
			実施期限			
				月間調査計画の策定		
その他	きき	えられる		警防対策としての実態調査をより重視して,消防対象物等の状況を把握する現地調査を増やす。		
改善の	のア	イデア	1			
				全後の方向/	生 1次評価	2次評価
				7 8 0 71 1-3		
				計画的な調査の実施を継続する。 拡 大 ・ 充 3		
				計画的な調査の実施を継続する。       拡 大 · 充 項         現 状 維 項	寺	
				計画的な調査の実施を継続する。       拡大・充電         現状維持       方法改画	持	
平成 1	7 ~	19年度	の方向性	計画的な調査の実施を継続する。       拡大・充         現状維       方法         方法       改	持	
平成 1	7 ~	1 9 年度	の方向性	計画的な調査の実施を継続する。	持	
平成 1	7 ~	1 9 年 度	の方向性	計画的な調査の実施を継続する。	等   	
平成1	7 ~	1 9 年 度	の方向性	計画的な調査の実施を継続する。	等       	
				計画的な調査の実施を継続する。	等       	
			の方向性	計画的な調査の実施を継続する。	等       	

(一般	事業	) 事 🛊	業 :	П  -  -	12301	190			部長次	長課長
平成1	5年度	事	킠	業 名	火災	, 救急救助現場活	重力			
1 7-70	- 1 %		_		, ,,,	, 1X,C-1X-13-70 X/A				
		1						<del></del>		
1 事	業概	要(ド	( לי						•	•
						<b>近年までわて曲か</b>	かたチェチャー		3475里	・高浜分署
			ノ(	リの日標			な生活環境づくり		一所 管 課 <sup>用的者</sup>	· 向洪万省
総合	計画	画		Þ	2	安全と防災の確保	1		//1 🖨 🖟	
政策				١	2	防災機能の強化			所管課長氏名樋口 又	文夫・平野 憲一
					3	別外域能の強化				
体	系	Ŕ	×	Œ					記入者氏名 下江 /	ス雄・丸岡 輝雄
事	業	f	期	間			経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 0797-32	-2345 内線 4131
						(E) (4h) L   N(E) ) L	※工 (1) 正開 4.7			2040 P3MX 4101
根 拠	法	令	要	更綱 等	消防	組織法,消防法			実 施 主 体	
実	施	Fi .	手	法	<b>V</b>	古台	□ 一部委託	□ 全部委託	□補助金□□	負担金
	7,1			,,						, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>
委		託		九		外郭団体委託	名称		間委託 委 託 内 容	
					火災	及び救急救助活動	等を実施して市民の生命	i , 身体及び財産を守る	0	
击	गर	•		+0.7 <del>775</del>						
事	業	の		概 要						
					1					
事	業	の		現 状	市民:	からの119通報を受	をけ,火災,救急,救助	等,災害種別ごとに出り	易隊を決定し出動する。	
								•		
		実現の					, 119通報の災害覚知か			
	手段	及び実	施内	容	上記	活動のため,研修	及び訓練等の日々研鑽か	不可欠であり,署内訓	練等を実施し,体制の強作	とに努めている。
					Ì					
				指標 名	活動(	件数(火災)				
		結果技	台煙	在 度	平式	13年度(宝績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			-							
			)	指標値	L	2 5 件	3 6件	20件	10件	10件
アウト	プッ	<b>-</b>		単位コスト		5,144,680円	3,638,917円	6,394,400円		
		_					0,000,013	0,00.,.00,5		
指	村	崇		指 標 名	主活	動時間(火災)				
		結果打	旨標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
			-			1,825分	3,257分		600分	600分
		( 2	)	指標値			3,23/Л	1,333分	0005	6007
				単位コスト		70,475円	40,222円	95,940円		
2 事	ᄣᅼ	<u> 由 / マ</u>		+ /. )						
<u>∠ <del>y</del></u>	未以	<u>木 ( ア</u>	· / [	(JA)						
		対		会	ے ا	世 (卅世粉につ	いては,平成15年4月1日	現た、	*## 20 //+	
		נא		31	主 四	市、(世市数にフ	11 Cla , 十成15年4月1日	况任 / 主省所入火日	-χχ22IT	
<b>事</b> ₩ 4	N = 4	4 ++ #	. +	11" 140	<b>→</b> + #	5 #h /-\ 2.0	0 2 2 ##	(b) 20世帯	Lb <del>str</del> /b> 0	0.0006%
			IJ	八 - 平	刈多	总数 (a) 38,	022世帯 受益数	( (D) Z U 世帝	比率 (b ÷ a) %	0.0006%
対象·	・意図	2								
		意		ভা	塢宝·	が少なくなる。				
		. — .			1只古 /	ルンダイダの。				
		(対象	を主	語にして)						
+	±	+>		D 65	,I, «« I	による被害の軽減				
大	き	な		目 的	火火	による饭舌の軽減				
				华 煙 夕	性指i	面積(火災)				
			-		いい月					
		中間原		考え方・式	<u> </u>					
		指	標	年 度	平成.	13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
7 A L	L + 1		-			1 3 0 m²	5 6 4 m²	0 . 2 m²	0 m²	0 m²
アウト				指標値	<u> </u>		3 0 4 111	0 . 2111	UIII	UIII
指	村	崇		指標 名	小損	世帯数(火災)				
		最終F	<b>戊果</b>	考え方·式						
					파라	1 2 午度 / 宁佳 \	亚成1/年度/宇健》	平成15年度(実績)	立成16年度(日播)	平成17年度(目標)
		指	標				平成14年度(実績)			, ,
				指標値	Ì	2 3 世帯	3 3 世帯	20世帯	10世帯	10世帯
									•	
<del>+</del>	- A 4+	4 4 10		1 <del>+ 2 = -</del>	L#	住事がなり コー	ノがオはほかいかことと	· ** * * * * * * * * * * * * * * * * *		
户屋巾	の特	色なと	伸足	する事項	共同1	圧毛か多く,山ろ	く部では傾斜地等に住宅	か立ち並んでいる。		
					Ì					
3 事	<b>業</b>	- 注制	而る	分(コスト	)			1世帯当り(円) 3,301	住民1人当り(円) 1,427	平成16.4.1 住民基本台帳
					<i>J</i>	4.2/=== (\\\	亚产4.4左克(计作)			「ルン・・・・」 上い坐午口帳
事	業	=	費	構成%	半成	Ⅰ 3 年度(沢鼻)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人	件	費	100.0%		128,617	131,001	127,888	-	
	事	<u>''</u>		.00.070	<del> </del>	,	,501	,500		╡
	3.		費							-
内 i	沢他:	部門 紹	<b>養</b>		Ì				-	
(千円										7
(   13		삐 ị릿 지	_						_	-
	合		計	100.0%		128,617	131,001	127,888	0	
	玉		県							
		唐	等		1				1	╡ !
B-# 21	百士	債								4
	原市		他		ĺ		I		1	
財 派 (千円		の	먠							
	) そ			100 0%		128 617	131 001	127 888	0	1
(千円	) そ ー	の 般 財	源	100.0%		128,617	131,001	127,888		]
(千円	) そ 一 動職	般 財	<b>源</b> 員	<b>100.0%</b> 100.0%		<b>128,617</b> 15.00	<b>131,001</b> 14.95	<b>127,888</b> 15.35		
(千円	) そ 一 動職		<b>源</b> 員			<u>.</u>		·		

4 計1	<u> </u>	<u>)                                    </u>				≟亚	価チェック	7117 h				1 次 評 / 而	2次評価
aT.	<u> </u>		☑ 事業の	主目的はF	旧確である		コЩノ エック		事業の目的は一つに絞る	ことができか	LI	八計画	2 八計Ⅲ
	目的妥当性	生(2~ 2)					食が高い		貢献度が不明確、または高				
						<u>うべ、めたは気間</u> 義務づけられてい			民間でやるべき、または対		<u>م</u>		
妥	市関与(2~	~ 2)				表のプラウライでで 寺に必要である	. •		他団体では見直しがされる		9		
^	1-120 3 (=	-/		±-1-25-0-1	工,口。2,11年1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			いずれにも該当しない				
当			□ 市民二	ーズに基つ	ブいて行う	べき事業			市民ニーズに基づいて行	う事業ではな	:11	5	5
	市民ニース	ズ(2~ 1)				- 3-210			ニーズが高いとは言えない				0
性		` ,		] 数字で		いる				□ 未把挂	屋		
8点	ᇪᄼᅖᆄ	± (/∠/4	□ 事業に	関わる社会	会環境の変	で化に適応してい	اة ا		社会環境の変化にあわせ	た見直しがぬ	必要		
	任宏琼児多	变化(1~ 1)	内容										
	優先性,緊	<b>緊急性(1)</b>	☑ 事業を	実施しなけ	れば,市	民の生命,安全等	等が損な∤	つれる					
	対象カバー	−率(1~ 1)	□ 対象力				団体と同程	度	□ 他団体よりカバ	一率が低い			
有	受益者(1~	~ 1)							益者が不整合 ,または受益:		È		
効	成果の実績	漬(2~ 1)	I 1						実績値または目標値が未			3	3
		,				べっていると言える	3	Ш	実績値から成果があがって	こいると言え	ない		
性	- 成果向上名	余地(1~ 1)	成果があた		い場合						-d-s-1		
4点			□ 成果向		*+ 7 G	<b>コナ</b> ク	:		し	□特に	なし		
			□ 比較で			団体名 Nる 単位コス	L	V	比較できる団体はない	1+51.1			
効	単位コスト	(1 ~ 1)	│ □ 他団体 │ □ 世 □ 他						□ 把握してい □ 他団体よりコスト				
~/3			高い、また			ا ات الالع	1件に1円作	反	□ 16日本キュコン1	ハ.回ぃ			
						 詳業である	7 負	扣を求	めるべき事業ではない				
	受益者負担	担(0~ 1)	1		_				徴収不能・見直し不能	□ 徴収可能	į )	4	4
率						たは出資団体へ					,	1	1
	T 50.4	0)	1			いづけられている			 個人,家庭,地域等が担う	べき部分が	ある		
	手段(1~	3)	☑ 民間(企	業 , NPO	等)では対	応できない業務っ	である		民間(企業 , NPO等)で対応				
性			☑ 嘱託,日	福時職員等	手では対応	できない業務で	ある		嘱託, 臨時職員等で対応	可能である			
3点	コスト削減	取組(1~ 1)	□ コスト削		且みを行っ	ている			特に行っていない				
	17/101/%	- <del>1</del> /	▶ 内容										
平成	1 5 ~ 1	6 年度に					3/2 <b>3E</b>		性制の確立		総合		
実施	した改	6 年 度 に 善 内 容	課題  警防計	画等の作用	坂		内容	物の様	態に応じた計画の見直し		評価	Α	A
F . \( \dag{4}	<b>多の対応(</b> 2	アクションハ											
J 71:	タリノメリルいし、	<u> </u>											
現在意	認識して	いる課題	近年高齢化/	が進み,高	<b>高齢者収</b> 額	<b>緊施設が増えた。</b>							
市民,関	係者 市民,	関係者の名称											
からの		,要望内容											
要望	等芯元	, <u> </u>											
		対応内容	高齢者施設等	等の実態訓	間査を実施	もし,各種警防語	計画を作品	成する。					
	(1)			7-									
課題·要	te 公	実施期限	平成 16	年	12 月								
<b></b>	(2)	対応内容											
へのす		実施期限	平成	年	F	<u> </u>							
			1 7-70	· ·		·							
	(3)	対応内容											
		実施期限	平成	年	F								
	考えられ												
改善(	カアイデ	ア								A /// = =	- <del></del> 111		
										今後の方		1次評価	2次評価
			训练也道学。	たるじ白と	스스 쓴대	明如今空 女孫原	⊞/ <b>★</b> Λ Λ 1	生场 65 1	な働きかけを実施して,	拡大・ 現状	<u>允 美</u> 維 持		
						E組口守,日程は ]体制を推進する		) はいいい	は倒さがりを天心して、	方法			
亚成 1	7~19年1	度の方向性		L 11X \ \ \ \ \ \ \ \	K (0)	7件的と16度する	٥,			民間委			
1 72		~ ~ /] [] [								縮	小		<u> </u>
										統合/終			
										廃止 /			
										•			
2 次 評	严価 委 員 会	会コメント											

(一般事	事業)	事業	J - 1	1230	200				部長次	長課長
平成15	午庄	車	業名	,I, ««	調査,救急救助事	<b>名加</b> 珊		ĺ		
十八人	十尺	#	未 口		响且,X总X以 <del>了</del>	<b>友</b> 処垤				
1 事	業概	要(ドゥ)						-	•	•
第3次产	草屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			所 管 課 消防署	・高浜分署
総合			中	2	安全と防災の確保	:				
政策	施策		小	3	防災機能の強化				所管課長氏名樋口	文夫・平野 憲一
体	系		細						記入者氏名樋口	文夫・平野 憲一
事	業	其	間	昭和	23年~	経常臨時	☑ 経常 □臨時		電 話 番 号 0797-33	2-2345 内線 4011
根 拠	法	令 '	要綱等	消防	組織法,消防法,	その他消防関係法規			実施 主体市	
実	施	手	法	· 🔽	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□補助金□□	〕 負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称		民間	委託 委託 内容	
				• 1	V災原因調査報告 <b>書</b>	<b>浸び救急・救助活動報</b>	告書を作成し,国・!	県へ	の報告	
事	業	の	概 要	・台	<b>各報告書内容の分析</b>	「及び事後対応				
				(火	災の原因を究明し	, 類似火災の防止。救急	報告書を分析し,图	医師に	こよる症例研修等により	救命率の向上を図る)
				・消	肖火活動中の現場見	l分及び鎮火後の人的・4	勿的要因を調査し , :	火災	原因調査報告書を作成す	る。 20件
事	業	の	現 状	÷ 2	S調査書(火災原簿	5,火災判定書,火災状況	兄見分書,質問調書	, 損	害調査書,死傷者調査書	引, その他)
	目的	実現のため	ხთ	・求	枚急活動報告 2,	363/全件数329	8件, 救急救命:	士に	よる救急救命処置実績輔	设告書 32件
	手段及	及び実施内	容	・求	效助活動報告 42	件				
				・狙	<b>主例検討研修(指導</b>	医研修等) 30回,	受講者192人			
					現場活動報告(出					
		結果指標				平成14年度(実績)	平成15年度(実績	績)		平成17年度(目標)
		(1)	指標 値	Ī	2,248件	3,669件	3,298件		3 , 7 0 0件	3,700件
アウト	プット					25,573円	27,421円	]		
指	標		指標 名	処置	内容等の検証(搬	送人員数)				
		結果指標	年 度	平成	,13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実統	漬)		, , ,
		(2)	指標 値	<u>[</u>	2,098人	3,255人	3,074人		3,300人	3,300人
			単位コスト	. 4	44,843円	28,825円	29,419円	]		
2 事	業成	果(アウ	トカム)							
		対	象	全市	民(平成15年1	2月住基人口)	(全署所搬送人員	3 3	3.074人)	
		_								_
			バー率	対象	象数 (a) 9 1	3 1 4 人 受 益 数	(b) 3,074	4人	比率 (b ÷ a) <sup>c</sup>	% 3.3%
対象・	意 図		_							
		意		適切	な救命処置を実施	し,救命率の向上を図る	0			
		(対象を	主語にして)							
	<u>.</u>	4.			<b>水4 の切けしせた</b>	*****				
大	ਣ	な	日 10	火災	発生の軽減と救急	<b>牧市率の向上</b>				
			# # A	加里	中容等の投紅 「床	可医性性核毒性				
					内容等の検証,症	列医即研修美施				
			考え方・式	_	1.1.7. 中华、	亚世 1 4 左连 / 安娃 >	亚产 4 5 左连 / 字//	连、	亚世 1 6 左座 7 日博 2	
<b>-</b>	Ι,	指標			, I 3 年及(美額) 2 8 症例	平成14年度(実績) 49症例	平成 1 5 年度 (実績 7 2 症例	<b>惧</b> )	平成16年度(目標) 80症例	平成17年度(目標) 80症例
アウト			指標值				/ Z 11E191		8 0 担刊	8 0 11上1列
指	標				患者に適切な救命を 急救命士による特別					
						平成14年度(実績)	亚成15年度(宝纸	書 /	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		1日 作	年     度       指標値	-	30件	35件	32件	リノ	40件	40件
			1日 1示 10						4 0 17	4 0 IT
古层市	の性を	カかど 猫!	足する車項			者・山旅州 ) 秋叩エ帝で 常時1名乗車,不足時署F				
一连巾	V) 113 C	5 % C 1111 /	C 7 0 7 7	* 3X.ES	网络 一种 (万道川)	市的「日本平,17年的日/	川町で脚走			
3 事	<b>坐</b>	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円) 2,	334	住民1人当り(円) 1,009	9 平成16.4.1 住民基本台帳
事	<del>太只</del> 業	費	1		(13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算		平成16年度(予算)	TAX TOTAL ELECTRICAL
-	T.			_	94,080	93,825	90,4		112 (14)	-
	事	業 費	1	-	0	0		0	(	5
内 訴	_	<u>来 克</u> 阝門 経 費			0			,		-
		道却費								-
(113)	合	計	1		94,080	93,825	90,4	432	(	0
	国	· 県			2.,000	55,525				
財 源	市	債 等								
(千円)		の他		l						
, , , ,		段 財 源		i i	94,080	93,825	90,4	432	(	)
活 動	職	員		0	10.95	10.90	10	.85		-
		・臨時等								-
(人)		計		6	10.95	10.90	10.	.85	0.00	)

評	価	視	点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日的至	2当性(*	2 ~ 2)	~	事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができ	きない		
	Биля	X = 1±(2	<i>L L</i> )		事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い 🗌 貢献度が不明確、または高くない			
				$\checkmark$	市が実施するよう法律等で義務づけられている 日間でやるべき、または対応可能で	ごある		
妥	市関与	ī(2 ~	2)	V	市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
					□ いずれにも該当しない		_	_
当					市民ニーズに基づいて行うべき事業 団 市民ニーズに基づいて行う事業で		5	5
	市民二	ニーズ(2	2~ 1)		► □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または □ ニーズが高いとは言えない ( また ) □ ローズが高いとは   ローズ ( また ) □			
性					□ 数字で把握している □ □ ★			
8点	社会環	環境変化	<b>匕(1~ 1)</b>		事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直し	が必要		
	/百 + 4	L BV A	.44.743		内容 救急救命士による高度救命処置			
		上, 緊急	[[]至(1) ☑(1~ 1)		事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる 対象カバー率は高い	ŒI V		
有		<u>///一平</u> 首(1~	, ,		対象カバー率は高い			
	又血足	1(1	1)		事業息図と支血省は翌日のといる □ 事業息図と支血省が不翌日, または支血が一部に 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	PIXAL	_	_
効	成果の	)実績(2	2 ~ 1)	1 1	「中間成末指標の実験値を記録し、目標値を設定している」 実績値なたは目標値が不記入  ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言	ミネ かしし	4	4
性					□ 実績値がの成末がめがりていると日だる □ 実績値がの成末がめがりているとE 果があがっていない場合	17/4/1		
4点	- 成果向	]上余均	也(1~ 1)			寺になし		
-1WL					比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない	110.00		
					他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	単位コ	スト(1 ·	~ 1)		□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
					い、または低い場合の理由			
	W. + +	· /2 10 //			負担を求めることができる事業である			
<del></del>	<b>党</b> 益者	可担((	0 ~ 1)	↳	▶ 🗌 現在,適正な負担あり 👚 負担なし,過少 ( 🗌 徴収不能・見直し不能 🔲 徴収:	可能 )	4	Λ
率				直	営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			0
	<b>∓</b> Fπ./4	1 - 2)		$\checkmark$	正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分	}がある		
	于[5]	l ~ 3)	)	$\checkmark$	民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能で	ある		
性				<b>✓</b>	嘱託,臨時職員等では対応できない業務である 帰託,臨時職員等で対応可能であ	る		
3点	コストi	当心試 耳又:	組(1~ 1)		コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	7	71//%4A	<u>к</u> ц ( 1 )	→	内容			
亚 tt	1 5 ~	1 6	在 度 に		救急活動報告書の改正 とお生中の第9位 2 と	総合		)
実施	した	改善	等 内 容	課題	(報告内容等の統一) 改善 内容	評価	Α	В
5 学程	せいメル	ひ( )′ !	<u> クション)</u>	#-	率向上のため,救急救命士による「応急処置範囲」の拡大が進められている中,病院実習	空のおろさ	* <u>^</u>	数本が
現 左 🕯	刃≐蛛Ⅰ	7 II	ス 神 晒		牟向上のため,秋忌秋中上による「心忌処重軋曲」の拡入が進められている中,病院美育れているが,職員の派遣に苦慮している。	守の权忌を	次叩上丹:	教育か
ът 1⊥ в	ио п <b>ни</b> О	C V1			ませいるが、概要の派遣に占慮している。 書は,現在本署のみ消防単独PCの「警防統計システム(救急ソフト)」でデータ入力し	ておりーラ	テ化が必	亜
市民、関	係者 市	民,関係	系者の名称				01073 20.	
からの	意見		要望内容					
要望	等意	見,對	と 望 内 谷					
		(1)	刈心内谷	料剂分	時間中に隊編成の職員を研修に派遣。			
			実施期限	平成	年月			
課題·要	望等		交内总坛	翠矿/	の救急活動報告書を本署員が直接PC入力。			
		(2)	אניוטיונג	有別	ル教志内野報の首を平者員が直接下した力。 			
へのす	寸 応		実施期限	平成	年 月			
			対応内容					
		(3)						
			実施期限			·		
7 O //L	± = >	40 7		'警	防統計システム」導入により,消防署所間での報告処理,統計事務の一元化及び迅速化が	図れる。		
その他								
改善の	<b>リ</b> ア 1	ナノ			A 44.	<b>ひたら</b> #	4 \h ±= /≖	2.25年
				- 11/		の方向性		2次評1曲
				1		· 充 実 t 維 持		
				• 啦·		、 維		
平成 1	7 ~ 1 Q	年 度	の方向性			委託等		
1 75%		ı ıx	/J I-J IX	37	NING COLONIA C	ᆇᆘᄓᆟ	l	
					縮	小		
					統合/	小終期設定 / 休 止		
					統合/	終期設定		
2 次 評		員会	コメント		統合/	終期設定		
2 次 評		員 会	コメント		統合/	終期設定		

( —	般事	業)	事業	コード	1240	080					部	Æ	次	長	課	長
T	٠, -	7	=	<b>ж</b> Б			T 66 76			Ĭ						
平加	, 15	年度	争 :	業名	消池	訓練と応急手当普	<b>又</b> 合宪									
										ļ						
4	ᆂᆠ	¥ 107 2	FF (   1 × 1 × 1													
			要(ドゥ)								1					
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり				所	管 誤	消防署・	高浜分割	Š	
総 1	合言	十 画	1	中	2	安全と防災の確保	:				771					
政策	策方	も 策		小	4	防災意識の向上					所管部	果長氏名	樋口文夫	, 平野語	<b>唐一</b>	
体		系		細									柳田忠彦			
事		業	期				4 <b>▽</b> ☆	常臨時	☑ 経常 □				· 0797-32-		内線	4131
	1kn					/ロ /#ハンナ	紅子	一点		WHH . J		. –		2343	门級	4131
	拠		令 ' 9			組織法,消防法						主体				
実		施	手			直営	□□□一部委託		□ 全部委託			献金		負担金		
委			託	先		外郭団体委託	名称			□ 民間	委託 多	医託内容	7			
					避難	訓練,通報訓練,	肖火訓練等を実施し	して防	災知識を身に何	寸ける。						
事	į	業	Ø	概 要	市民	を対象とした救命:	ライセンス取得に向	51+1-	IIVI)組み及び	木魚毛出記	<b></b>	宇宙施				
7	•	~	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1976	113 20	CAJAC C JOSEP		31770		0.60 1 — 1	H					
					D-11.	1445 a 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	*~\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- Lul	<u> </u>	:	±- >\/ □	W/+** ~ +	D+W+ = = 1			
							等で消防訓練の重要			また、目復	取消防調	川練寺の下	目談を受け	て美施し	している。	
事	1	業	の	現 状	自衛	消防訓練実施回数	40回/参加社	<b>皆数 2</b>	25人							
		目的第	€現のため	<b>O</b> O	救命	ライセンス取得講	習会を定期的に実施	もして	救命率の向上な	を目指して	ている。					
	:	手段及	ひ実施内	容	普通	救命講習会実施回	数 37回/受講者	<b>皆数 6</b>	9 2 人							
							数 32回/受講者									
						消防訓練実施回数										
				<b></b>			亚代11年度/生	24書 \	<b>亚式15年</b>	(宝德)	ㅠヰ	16年度	(日輝)	\(\pi\c\t)\(\pi\)	7年度 /	日梅~
			結果指標				平成14年度(実	に が見 )	平成 1 5 年度		十八		( ,	十八八	7年度(	口惊丿
			(1)	指標値		5 6 回	60回		40 🖪	Ц		60回			60回	
アウ	・トラ	プット		単位コスト		707,483円	659,200円		1,148,95	0円						
指		標		指標 名	自衛	消防訓練参加者数										
			結果指標	年 度	平成	13年度(実績)	平成14年度(実	(績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
				指標値		2 4 6 人	295人	,	2 2 5			300/	` ,		3 0 0 人	,
			(2)	単位コスト		161,053円	134,075円		204,258				`	·	3 0 0 7 (	
1	<del>=</del> +	¥ <del>- 1</del>	田 / 코 스 1			101,033	134,075		204,230	)[]						
۷ .	尹ヲ	長り入え	果(アウ)	rua)												
			対	象	住民	. 事業所 . 自衛防	災組織の構成員, 含	5種学	校の生徒							
			Λ,	31	3	, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>	八元四四四八八八八	11± 1	X 9 7 16							
事業	έの	目的	対象力	バー率	対 象	え数 (a) 3	00人 受	益 数	(b) 2	25人	t	比 率 (b	÷ a) %		7 5 %	
対象	え・:	意 図				•	•		•							
			意	図	火災	又は地震などによっ	って発生する人的	物的	な被害を最小隊	限に抑える	<b>5</b> .					
				ー 上語にして)	, , , , ,	7(10° B/R 0 C 1C 0	- C/01- / G/(H)	, 1/5#3	WIX LL C4X 3 1	X1-1-1-1-1	•					
			(X)3/(C)	LIBIC O C)												
١.		_	4.	_ **	<i>,,,</i>	~~ 1. ~ 1 AL AL	h 1									
大		2	な	目 的	災害	等から人的,物的	<b>被害が少なくなる。</b>									
				指標 名	初期	消火実施件数										
			中間成果	考え方・式												
					平成	13年度(実績)	平成14年度(実	(績)	平成15年度	(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
구너	7 F	カム		指標値		15件	2 4 件		2 0 件				( 1-1 1-1 )	, , , , ,	, ,,,,,	
指	,				加井口		2711		2017	•	I			1		
归		標		<b></b>		消火実施率	EH.									
						消火件数 ÷ 火災件	,	14 ± · I	T-4	/ <del>                                     </del>		1 6 5 -	/ D I = :		<b>-</b>	
				年 度	半成		平成14年度(実	縺)	平成15年度		半成	16年度			7年度(	
				指標値		6 0 %	64.9%		1 0 0	%		1 0 0	%		100%	
芦屋	市	の特色	色など補足	足する事項												
3	車子	노弗.	注 新 和	分(コスト	)				1世帯当り(円)	1 106	住民 1	(当り(円)	513	亚成167	1.1 住民基	t 木 台 帳
	<del>]'</del> 7			T	<i>)</i>	1.2万亩(油等)	亚产 4 4 左座 / 注	· 44 \					<del></del>	T/1% 10.5	F. 1 II LV4	外口収
事		業	費 ##		平风		平成14年度(決	-	平成15年度	•	平成	16年度	(丁昇)			
		人	件費			39,619	38	9,552		45,958			-			
		事	業費													
内	訳	他部	『門 経 費										-			
(千	円)	減価	償却費										-			
		合	計	100.0%		39,619	39	,552		45,958			0			
		国	· 県			30,010	00	,		.5,500						
в÷	汨															
財	源		債 等													
(千	円)		の他	1												
		_ #	段 財源	100.0%		39,619	39	,552		45,958			0			
活	動	職	員	100.0%		4.60		4.55		5.55						
配	分	嘱託	·臨時等	0.0%		0.00		0.00		0.00			-			
( <b>J</b>		슾	#H			4.60		4 55		5 55			0.00	1		

	<u>ш(Д Т Д Д Д</u>	50/E-7 61/7	4 No +TI /TT	2.75 ± 17 / 17
評		点 評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(2~ 2	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
		☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
•		□ いずれにも該当しない		
			<b>⊣</b> →	_
当		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	/	5
	市民ニーズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性		□ 数字で把握している □ 未把握		
8点		□ 東業に関わる社会理情の恋化に海応している □ 社会理情の恋化にあわせた目古しが必要		
0,	社会環境変化(1~	1) 内容		
	百七世 取名址(1)		_	
	優先性,緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー率(1~	1) □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
**	**************************************	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	٦ ،	2
効	成果の実績(2~ 1	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性		成果があがっていない場合	-	
	- 成果向上余地(1~	1)		
4点	,	「		
		☑ 比較できる団体がある 団体名 他市消防 □ 比較できる団体はない	1	
	単位コフし(4 4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	1	
効	単位コスト(1~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い	1	
		高い、または低い場合の理由		
		□ 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない	+	
	受益者負担(0~ 1			
率	,	- □ 現在,適止な負担あり □ 負担なし,適少 (□ 徴収不能·見直U不能 □ 徴収可能)	-2	-2
•		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		_
	<b>Ξ</b> ΕΠ(4 ο)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている ☑ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性		□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		コスト削減の取り組みを行っている	-	
ож	コスト削減取組(1~			
亚成	15~16年度	訓練の参加数 訓練に参加しやすい日時に実施するように 改善 改善 おました		
1 /3/				
実 施	した改善内		B	В
	1 5 ~ 1 6 年 度 し た 改 善 内		В	D
	した改善内 <b>をの対応(アクショ</b> )		В	D
			В	Б
5 今往		人)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。	В	В
5 今往	<b>後の対応(アクショ</b>	人)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。	В	В
5 今征	<u> </u>	人)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。       題	В	В
5 今後現在 記市民,関	<u> </u>	人)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。       B	В	В
5 今後現在 記市民,関	<u> </u>	人)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。       B	В	В
5 今後現在 記市民,関	<u> </u>	人)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。       題	В	В
5 今後現在 記市民,関	後の対応(アクショ 認識している語 原係者市民,関係者の 意見 等	/)	В	D
5 今後現在 記市民,関	参の対応(アクショ) 認識している説 係者市民,関係者の 意見 等	人)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。       B	В	D
5 今後現在 記市民,関	後の対応(アクショ 認識している調 原名者市民,関係者の 意見 等 意見,要望の 対応の	/)	В	Б
5 今後現在 記市民,関	参の対応(アクション 認識 している 認識 している 認識 している 認識 している 認意 見、関係者の意見 意見、要望 アイス はいい 対応でいる はいい はいい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい は	ノ)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。         B       と称 市民         B       マベランダに障害物を置いているので,避難障害のため撤去するよう指導してほしい。         B       2 方向避難の重要性,燃えやすい物を外に置かないよう指導している。         B       平成       年       月	В	Б
5 今後現在 請市民, 関か要 望	参の対応(アクション 製 識 し て い る 調 係者 市民,関係者の意見等	ノ)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。         B       と称 市民         B       マベランダに障害物を置いているので,避難障害のため撤去するよう指導してほしい。         B       2 方向避難の重要性,燃えやすい物を外に置かないよう指導している。         B       平成       年       月	В	Б
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	参の対応(アクショ) 認識している調 (所者) 意見, 要望の (1) 対応の 実施類		В	Б
5 今後現在 請市民, 関か要 望	参の対応(アクショ) 認識している調 (所者) 意見, 要望の (1) 対応の 実施類	ノ)       火災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。         B       と称 市民         B       マベランダに障害物を置いているので,避難障害のため撤去するよう指導してほしい。         B       2 方向避難の重要性,燃えやすい物を外に置かないよう指導している。         B       平成       年       月	В	В
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	をの対応(アクショ) 認識している調 のでは、関係者の 意見、要望の (1) 対応の 実施調 対応の 実施調 対応の 実施調		В	В
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	参の対応(アクショ) 認識している調 (所者) 意見, 要望の (1) 対応の 実施類		В	D
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	をの対応(アクション 認識 している 記 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大		В	B
5 今後 現 成 民 の 望 課題・要	をの対応(アクション 認識 している 記 市民,関係者の 意見,要望 (1) 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大		В	B
5 今 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクション 認識 している 語		В	Б
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクショ語 製		В	Б
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をの対応(アクション 認識 している 語			
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクショ語 製		1次評価	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクショ語 製	大災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。    大災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。   大変を表しているので、避難障害のため撤去するよう指導してほしい。   本でである。   大きないよう指導している。   大きないよう指導している。   本のでは、   大きないます。   本のでは、   本のでは	生 1次評価	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクショ語 製	大災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。    大災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。   大・充   調練日は別の日に実施するよう推進を図る   大・充   現 状 維   株 1 大・充   現 大・在   現 大・在   現 大・在   現 大・充   現 大・在   現 大・充   現 大・在   現 大   和   和   和   和   和   和   和   和   和	生工次評価	
5 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	後の対応(アクショ語 製	大災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。    大災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。   大変を表しているので、避難障害のため撤去するよう指導してほしい。   本でである。   大きないよう指導している。   大きないよう指導している。   本のでは、   大きないます。   本のでは、   本のでは	生工次評価	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ の の 善	後の対応(アクショ語 製	大災発生時にそれぞれが担う役割を普及する。    大・充   調練日は別の日に実施するよう推進を図る	生 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ の の 善	をの対応(アクショ) 認識している 部 の対応(アクショ) 認識している 部 意見,関係者の 意見,要望原 (1) 対応原 実施 対応の 実施 (3) 実施 またのアイデア		生 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ の の 善	をの対応(アクショ) 認識している 部 の対応(アクショ) 認識している 部 意見,関係者の 意見,要望原 (1) 対応原 実施 対応の 実施 (3) 実施 またのアイデア		生 1次評価	
5 現 市か要 課 へ そ改 の の あ の の 善	をの対応(アクショ) 認識している 部 の対応(アクショ) 認識している 部 意見,関係者の 意見,要望原 (1) 対応原 実施 対応の 実施 (3) 実施 またのアイデア		生 1 次評価	
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 関の望   要 う 他で	参の対応(アクショ語 認識している語 原係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 また また また また また また また また		生生手	2次評価
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 関の望   要 う 他で	参の対応(アクショ語 認識している語 原係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 また また また また また また また また		生生手	2次評価
5 現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     1 関の望   要 う 他で	参の対応(アクショ語 認識している語 原係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 また また また また また また また また	大・充調練日は別の日に実施するよう推進を図る     「自治会等の会合を兼ねた日に訓練を実施するところが多く、訓練時間が短いので     訓練日は別の日に実施するよう推進を図る     「独し、大・充調練日は別の日に実施するよう推進を図る     「独し、大・充・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	生生手	2次評価
5   現 市か要   課 へ   そ改   平     今 在 民ら   題 の の善 成     ば 関の望   要 う 他で	参の対応(アクショ語 認識している語 原係者 市民,関係者の 意見,要望 (1) 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 対応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 実施 オカ応 また また また また また また また また		生生手	2次評価

													T .			
(一般事	<b>事業</b> )	事業		ı – F	1240	090					部	t	長次	長	課	長
平成15	年度	事	業	2	火災	予防相談と防火思	想の普及啓発									
1 7-20 1 5	۰ / / /	•	<i>7</i> 1<	_	, ,, ,	3 1/3 1/4/2 = 1/37 (10.11										
4 <del>=</del> 3	TT TU1 =	<b>≖</b> / I≬ .	,													
1 事業				) <b>~</b> [] !!!		バケナンねっ曲ム	九上江四连づ	Z 12					ンポルナ EE	= にハ =		
					1	活気あふれる豊か		<b>(</b> )			所	管言	消防署・	<b>高</b> 洪万者	Ť	
総合記数策が			<u>中</u> 小			安全と防災の確保防災意識の向上	:				ff 答 th	果長氏1	タ 協口 も	夫・平野	。 憲一	
	厄來系		細		4								当 他 日			
<u>体</u> 事	業		期		即五十二			経常臨時	✓ 経営				号 0797-38-		ラック あんり あんり あいま あいま あいま あいま かいま しゅう ちゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	4141
	-11-	令 ·			消防			紅吊師时		5		i 主 (		2090	门級	4141
実	施	7	<u>妥</u>					<u> </u>	□ 全部	R 季		<u>* 工  </u> 輔助金		負担金		
委	,,,,	託			_		名称	<u> </u>				5託内?		77.		
					1	火災予防に関する		ひ対応を	実施する	1		~ #0   3				
事	業	の	相	既 要	広報	等により防火思想の	の啓発を行う									
					火災	予防上危険とされ	る事項等に対し	ノ相談を <b>受</b>	付け,調	査し改修,改	善を必要	要とされ	る事項に対	しては		
事	業	の	Ð	見 状	改修	, 改善させる火災	予防に関する位	気報を作成	し広報を	実施する						
	目的質	実現のた	こめの	D												
	手段及	及び実施	也内容	\$												
			-		<u> </u>											
		=	_		_	・調査・指示件数	T - 1 : : : :		· ·					- "	- t	
		結果指				13年度(実績)		, ,		年度(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
	٠١	(1)	<u> </u>	旨標値		8件	1 1 1			13件						
アウトス				単位コスト		2,077,000	1,440,	121	9	80,307						
指	標	/+ m +b		旨標 名			亚世 1 4 年度	: / <del>==</del> /= \	<b>ਹਾ≓ 1</b> Γ	左帝 ( 安雄 )	ᇴ	16年度	(口插)	ਜ਼-1 -	7年度(	口抽~
		結果指			-	13年度(実績)	平成14年度		十成13	年度(実績)	十八	10年段	(目標)	平成 1 7	/ 干及(	日信丿
	(2) <u>指標</u> 単位コン					2 ഥ	2 년		2 回							
2 事業		里 / アロ														
2 379			<u> </u>	<u> </u>	1.											
		対		象 市民,防火対象物関係者,危険物施設関係者,一般住宅.土地					. 土地所有者	又は占礼	有者					
事業の	目的	対 象	<b>力</b>	バ - 率	対象	象数 (a) 38,	747世帯	受 益 数	(b)	38,747世帯	t	t 率 (b	÷ a) %		1 0 0 %	1
対象·	意 図				L.,	D. J. M. J. D. J. F. B. J. C.	± 5 55 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 1		400						53.4	/// <del></del> 440
		意		図		,防火対象物関係 <sup>。</sup> 上させる。	者,危険物施設	投関係者 ,	一般住宅	. 土地所有者	乂は占礼	育者に対	し,火災予	防及び防	i火,防	災意識
		(対象を	を主詞	語にして)	613											
					11/55	の亜田・合除とか	ス事項に対し.	車前に変	401.同键	加罟を宝施す	スニレロ	11 44	小玄を軽減	オスレレ	土に防	ıl R <del>`</del>
大	き	な	E	目 的	災意	の要因・危険となる 識の向上を図り出	と事項に対し、 火防止,災害に	、事前に宗 こよる被害	の軽減を	図る。	2 C C I	са уш.	八 <del>二</del>	,9500	O ICPJ.	Λ, MJ
			1													
		<b></b>				当たり出火件数										
			_			件数÷365日	亚世 1 4 年度	: / <del>==</del> /= \	<b>ਹਾ≓1</b> Γ	左帝 ( 安雄 )	ᇴ	16年度	(口插)	ਜ਼-1 -	7年度(	口抽~
アウト		指	標料	F 塔 旨標 値		13年度(実績)	1 1 4 年度 0 . 0 9 6			年及(美額) 06件/日		).0 年度 ).0 5 <sup>6</sup>	(目標)	平成 1	05件	
指	カム標			目标 怪			0.090	/ IT / Ц	0.	о о гт/ ц		. 0 5	ΙΤ/ Ц	0.	0.317	/ Ц
314			_			05件/日										
			標白			13年度(実績)	平成14年度	(実績)	平成 1 5	年度(実績)	平成	16年度	(目標)	平成 1	7年度(	目標)
		, ,	<u> </u>	<u>'                                    </u>	-	7,080千円	62,98			3 0 0 千円	1	, 0 0			0 0 0	
					1日	当たり出火件数	I.	全国 1	57.9	件/日(平成	15年	隻)、兵	庫県7.2	件/日(	平成 1	5年)
芦屋市の	の特色	色などネ	甫足	する事項	出火	率(人口1万人あ	たりの出火件数	女)芦屋市	2.2	件/日(平成	15年月	度)				
								全国	4.9	件/日(平成	14年月	隻)、兵	庫県4.7	件/日(	平成 1	5年)
3 事業	業費·	活動	配分	(コスト	)				1世帯当り	(円) 329	住民1人	人当り(円	) 142	平成16.4	1 住民基	基本台帳
事	業		_	構成%	平成	13年度(決算)	平成14年度		平成 1 5		平成	16年度	(予算)			
	<u> </u>		費	100.0%	5	16,616		15,848		12,744			-			
=	事		費													
		門経											-			
(千円)			計	400.00		16,616		15,848		12,744			0			
	国		県	100.0%	1	10,010		10,040		12,744			U			
財源	市		等								+					
(千円)			他								+					
(113)				100.0%		16,616		15,848		12,744			0			
活 動	職		員	100.0%		1.90		1.70		1.40			-			
		·臨時	_										-			
(人)			計	100.0%		1.90		1.70		1.40			0.00			

	<u> </u>		Are for an analysis of the same and the same		
評	一	見点			五 2次評価
	日的玄小州	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
57	士問上(2	2)			
妥	市関与(2~	2)			
			☑ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	3
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把	握	
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	<del></del>	
ож.	社会環境変	化(1~1)		<u> </u>	
	(T) (1) (T)	- III	内容		
	優先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー	率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
			☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	.   3	3
441				71	
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点			│ □ 成果向上束あり □ □ 特にな	:し	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	W 45 1 / /		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
745					
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	×== ×:=	(/	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能		-3
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-3	-3
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があっ	వ	
	手段(1~ 3	3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
.keL					
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		,	→ 内容		
\(\tau_\) =\(\tau_\)	1 5 - 1 6	年 庶 1-		% <u></u>	
主施	1 5 ~ 1 6 した改	<b>并 反 に</b>	投善  投善  大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田	総合 B	l B
× ""	0 /2 12	_ ,, _		1 1	
5 今往	後の対応(ア	クション)	<u> </u>	·	
	•	,	防火対象物だけでなく住宅防火の推進		
現在意	認識してし	\る課題			
-70 12 1	10 H4M O C V	. 5 11/1 12			
+ D BE	3/5 2/ + 0 88	<b>に ナ の わ</b> む			
市氏,展	係者 市民,関	係有の名利			
からの	意見意見,	要 垣 贞 宓			
要 望	等心力,	Ø ± 13 🗅			
		***			
	(1)	对心内谷	独居老人,高齢者だけで構成される世帯の住宅防火診断の実施		
	, ,	実施期限	平成 16 年 11 月		
±⊞ 85 <del>2</del> 2	i te de	大ル朔സ	T		
課題·要		対応内容			
	(2)				
へのが	对 応	実施期限	平成   年   月		
		***			
	(3)	対応内容			
	` ′	実施期限	平成年月		
		∠//CMJFK	1		
7 0 //	. =	,			
	考えられる				
改善(	カアイデァ	7			
			今後の方	向性 1次評価	五 2次評価
			拡大・3	実	
			防火対象物だけでなく,一般住宅の防火対策の推進 現 状 維	持	
			方法改		
<b>∏</b>		うかひを			+
- // /	7~10年中			L <del>\ \ \</del>	1
1 7-20	7~19年度	. W 万 凹 1 <del>1</del>			
1 7-20	7 ~ 1 9 年 度	. W 万 四 1 <del>1</del>	縮	小	
	7 ~ 1 9 年 度	. W /J  4] 1 <del>1</del>	縮 統合/終期	小 設定	
	7~19年度	. O 万 四 旺 	縮	小 設定	
	7 ~ 1 9 年度	. W 力 回 H	縮 統合/終期 廃 止 / <i>を</i>	小 設定 木 止	
			縮 統合/終期 廃止/ ケ 訓練指導等を通じ自治会,管理組合等,各種団体への積極的な働きかけにより,出火の防止や放火	小 設定 木 止	丁体制を
	7 ~ 1 9 年度		縮 統合/終期 廃 止 / <i>を</i>	小 設定 木 止	つ体制を

## 芦屋市

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7番6号 芦屋市役所 総務部行政改革推進室

電話(直通)0797-38-2005 FAX 0797-31-4841 E-mail <u>info@city.ashiya.hyogo.jp</u>